

修 士 論 文

視覚障害者が開設するあん摩マッサージ指圧，
はり，きゅう施術所における施術および経営の
実態に関する質的調査研究

平成30年度

筑波技術大学大学院技術科学研究科

保健科学専攻 鍼灸学コース

佐々木孝浩

目 次

【要 旨】	1
I 緒 言	4
II 研究の目的	5
III 研究の方法	5
1. データの収集について	5
2. 調査方法	5
3. インタビューガイド	6
4. データの分析方法	6
5. 倫理面への配慮	7
IV 結 果	7
1. 施術者 1 2 名への面接分析結果	7
2. 加藤康昭氏データ分析結果	12
V 考 察	23
1. 施術者 1 2 名について	24
2. 加藤康昭氏データについて	25
3. 施術者 1 2 名および加藤康昭氏データに見出す共通点	26
4. 本研究の限界と展望	31
VI 結 論	33
謝 辞	33
参考・引用文献	34
図・表	37
参考資料 1 インタビューガイド	78
参考資料 2 施術者 1 2 名インタビューデータおよびコード表	82
参考資料 3 加藤康昭氏データおよびコード表	303

筑波技術大学大学院

修士（鍼灸学） 学位論文

要 旨

1. 目 的

あん摩マッサージ指圧業，はり業またはきゅう業を提供する施術所を経営する視覚障害者 12 名に行った半構造化面接および元茨城大学教授で教育学博士（盲人社会史）の加藤康昭氏（1929～2002）が昭和 43 年に 4 名の視覚障害施術者に行ったインタビューの音声を書き起こしたデータを質的に考察することで，次の 3 点を明らかにする。①あん摩マッサージ指圧，はりおよびきゅう施術所を開設する視覚障害者の経営に対する考え方，②あん摩マッサージ指圧業，はり業およびきゅう業を継続できる要因，③患者とのコミュニケーションが施術者に与える影響

2. 方 法

質的研究として実施することから，対象者 12 名の選考に当っては規準依拠型で行い，関連団体複数名より情報提供を受け，本研究の内容に書面による同意の得られた 12 名を選定した。インタビューガイド（質問計画書）を作成したうえで，各対象者に 60 分程度の半構造化面接を実施した。また，加藤康昭氏が昭和 43(1968)年に「鍼按徒弟制度聞き書き集」と題し 4 名の「盲人施術者」に対し面接を実施した。今回，その際の録音データをテキストデータに起こしたものを，ご家族の同意を得た上で筑波技術大学藤井亮輔教授より提供を受け，分析を実施した。収集したデータはすべてテキストデータとして VERBI 社の MAXQDA および Microsoft Excel 2016 を用いて，Grounded Theory Approach を参考として分析を進めた。その手順は，①データの読み込み，②データの切片化，③コード（ラベル）の抽出，④カテゴリーの抽出，⑤カテゴリーを現象ごとに分類，⑥カテゴリーどうしの関連づけ，となっている。なお，本研究は筑波技術大学研究倫理委員会の承認（承認番号：H29-15）を受けて実施した。

3. 結 果

施術者 12 名への面接は平成 29 年 9 月から 11 月に実施した。対象 12 名は全て男で平均年齢は 63 歳（43～82 歳），インタビュー時間は平均 69 分で，Txt データに起こした際の平均データサイズは 25,420.16 バイト，平均文字数は 12,579.33 であった。開業継続年数の平均は 27 ± 15 年で，身体障害者手帳（視覚障害）の等級は 1 級，2 級の重度視覚障害者が 11 名（91.6%）であった。平成 28 年分の年収（税込みベース）の中央値は 345 万円（100 万円から 1,000 万円に分布）であった。「まあまあ満足している」を 50%として，仕事に対する満足感について尋ねた質問では 55%から 100%に分布し，80%と回答した人が 4 名，数値では表せないとしたものが 3 名であった。なお，この 3 名についても回答内容より仕事に対しては一定程度の満足感を得ていた。分析の結果から，16 のカテゴリーと 568 種のコードが見出され，カテゴリーどうしの関連づけにおいては，①「患者とのコミュニケーションの状況」に関わるカテゴリー関係図，②「経営状況」に関わるカ

テゴリー関係図，③「国家資格の取得」に関わるカテゴリー関係図と3種のカテゴリー関係図を構築することができた。

加藤康昭氏のデータは，昭和43年の9月30日，10月1日，10月12日の3日間で4名の盲人施術者に面接を実施したものである。対象者4Textデータのサイズは40,042バイトから113,689バイトで中央値が67,734.5バイトであった。分析の結果から，19のカテゴリーと635種のコードが見出され，カテゴリー関係どうしの関連づけにおいて，①「師匠の教え」に関わるカテゴリー関係図，②「検定試験・免許取得の状況」に関わるカテゴリー関係図，③「実技の稽古」に関わるカテゴリー関係図，④「講習所・学校の状況」に関わるカテゴリー関係図の4種のカテゴリー関係図を構築することができた。

4. 考 察

施術者12名について，「患者とのコミュニケーションの状況」に関わるカテゴリー関係図からは患者とのコミュニケーションという相互行為を通じて施術内容を振り返り・見直しながら方法を工夫したり，改善に繋がったりしている様子が見られた。またそれが「仕事への満足度」「施術者としてのやりがい」「施術者としての充実感」をもたらしていることが分かる。「経営状況」に関わるカテゴリー関係図から，施術所経営に関わる積極的な発言をほとんど見ることはできず，それが営業努力や施術料金収入に影響を及ぼしていることが示唆された。特に営業努力については，各対象者が低リスクで，自らが行うことができる営業活動にウェイトを置く傾向があった。「国家資格の取得」に関わるカテゴリー関係図では，視覚障害という状況を踏まえた「国家資格の取得」という相互行為，つまり，あはき師養成施設への入学，学習及び資格取得を通じた自らの障害受容，新たな人間関係の構築が行われている。これらを基盤として卒業後の家族，同業者，あるいは公的機関等からの様々なサポートを受けるとともに，周囲の環境からの影響も受けながら，施術所の経営を実践していることが示唆された。

加藤康昭氏データについて，「師匠の教え」に関わるカテゴリー関係図からは，師匠は，弟子に対して生活全般の指導を行いつつ，あん摩の実技指導に力を入れており，一早く現場に出して稼ぐことができるようとの思いを垣間見ることができる。その営業の中で，流しによる収入は師匠にとっては大きく，弟子にとっては施術経験を積む貴重な場となり，仲間との交流の機会にもなっていたことが語られている。また，弟子の稼ぎに対して1割の歩合を支払うのが一般的であり，それに対する不満が語られていないことは注目すべきことである。「検定試験・免許取得の状況」に関わるカテゴリー関係図からは，検定試験の受験条件として，4年間師匠について修行した証明が必要とされ，師匠によっては弟子として指導していない者に対しても金銭と引き換えに証明書を発行していたことが語りに明示されており，それも師匠によっては収入源の一つになっていたことが推測できる。

「実技の稽古」に関わるカテゴリー関係図では，「師匠の経験と状況」を元とした実技指導を受けることで，施術者自身の価値観や考え方に影響をもたらす，その

中で施術者の独自の施術が身についていったことが分かる。「講習所・学校の状況」に関わるカテゴリー関係図からは、徒弟制が担ってきた盲人の教育の場が学校へ移り行く、当時の状況を映している。ただ、その学校と呼ばれるものについては形態、内容がさまざまであり、その質は玉石混合な状態であったことが各対象者の語りから推測できる。この当時から、学校で講師・教師を務めるものは盲人が多くいたことは、徒弟制度の影響も大いに働いているものと思われる。

施術者 12 名を対象に行った面接調査の分析結果および「加藤康昭氏データ」の分析結果について、それぞれ実施した社会的背景、聞き取りの対象としている内容が大きく異なることから単純に比較することは困難である。しかし、上記のようなそれぞれの結果を生じた背景には視覚障害を持つ者のアイデンティティ確立とコミュニケーション特性が強く作用していることが考えられる。

人はアイデンティティを形成する過程において、自らの所属する集団の中で能力を発揮しながら自分を価値付けたり、自分の尊厳を支えたりしようとする存在証明を行うことになるとされており、今回の調査では、施術者 12 名に対する面接結果から見出された「患者とのコミュニケーションの状況」に関わるカテゴリー関係図で、施術者自信が「仕事への満足度」「施術者としてのやりがい」「施術者としての充実感」という感覚を得ていることが明らかになった。これは施術所を開業し、あはき施術を継続する中で自己を確立でき、自らを肯定的に受け入れることになる。これと同様な行為は、加藤康昭氏データの分析から得られた各カテゴリー関係図からも読み取ることができる。

一般的・社会学的な立場からコミュニケーションをみると視覚障害者にとっては課題が多いことが分かる。「施術者 12 名」を対象に行った面接調査の結果から考えると、施術者は患者とのコミュニケーションを通じて施術内容を振り返り、見直しながら方法を工夫したり、改善に繋げたりしている様子がみられたこと等からも、独立開業している者はコミュニケーションに関する課題を克服している様子が示唆された。また、加藤康昭氏データの分析で明らかになったことから、あん摩の流しは、コミュニケーションの訓練の場となっており、開業独立後の患者対応に活かされていたことが推測された。

5. 結 論

①施術所経営について、その厳しい現状が語られる一方、その具体的な改善策についての語りは見られなかった。

②視覚障害者は社会の状況が変化する中でも、あはきを業とすることで自らの障害を前向きに捉えることができ、社会にその存在位置を確保する努力を継続してきており、これが職業継続の要因にもなっていることが示唆された。

③視覚障害者が施術者として独立開業するうえで、視覚障害に起因するコミュニケーション問題の克服に向けた工夫と努力が必須になることが見出された。また、開業後は特に患者との相互関係を通じて自らの施術内容や方法を振り返り、改善につなげている様子が見られた。

I 緒 言

視覚障害者が開設するあん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（以下、あはきと略す）施術所における施術および経営の実態に関しては、藤井ら（2014）¹⁾が、全国の、あはき施術所 1 万件を対象に実施したアンケート調査の結果にその一端を見ることができる。同調査では営業をしていた施術所の 89%が個人経営、11%が法人経営であり、経営者の身体障害者手帳（視覚障害）の所持率は個人では 20%、法人では 7%で、障害等級は 1 級と 2 級を併せた重度視覚障害が 88%を占めていた。また、年収について見てみると全体で平均値は 571 万円、中央値は 350 万円であったが、視覚障害者においては 290 万円、180 万円（同順）に対し、晴眼者は 636 万円、400 万円（同順）であった。視覚障害者と晴眼者の年収を比較すると平均値で 346 万円、中央値で 220 万円の開きがあるとの結果が出ている。

また、この年収については藤井らが 2016 年に、あはき施術所 2 万件を対象に実施したアンケート調査²⁾において平成 27 年分年収は、視覚障害者で平均値は 470.1 万円、中央値 128 万円、晴眼者で 854.8 万円、400 万円（同順）であり、両者の差は平均値 384.7 万円、中央値 372 万円となった。この 2016 年および 2014 年のアンケート調査により視覚障害者は晴眼者に比較して年収が明らかに低いことが分かるが、これは藤井らの調査²⁾で 70.9%を年収 300 万円以下の低年収層が占めることが指摘されていることから明らかである。

このような低所得の状況は、視覚障害を有する施術者個人の技量や障害の程度に起因するものと社会の制度や情勢に影響を受けている部分の両面性があると推測できる。その一端を具体的にあげるとすれば、前述の調査¹⁾で「公的サービスのニーズ」について尋ねた設問において、視覚障害者の 57%が事務を補助する職場介助者を、また、42%が訪問施術の際のガイドヘルプをそれぞれ望んでいた。これは健康保険を取り扱う施術所と出張を取り入れている施術所の割合において、晴眼者と比較すると視覚障害者の方がそれぞれ 11%と 10%程度低いことに繋がっている可能性は否定できない。

また、矢野ら³⁾が平成 20 年に、あはき師を養成する学校・養成施設の卒業生を対象に行った調査によると、独立開業を考えた場合の難易度について、視覚障害者の 40.0%が「困難だが可能性はある」、21.8%が「ほぼ不可能」と答えており、合わせると 61.8%が施術所を開業することに困難さを感じている実態が示されている。さらに、鍼灸教育機関に入学した理由として、視覚障害者の 80.6%が「視力に障害があったから」と解答しており、このようにネガティブな要因から学習を開始したことも、視覚障害者が、あはき施術所を開業した際の施術ないし経営に影響を及ぼしていることも考えられる。

このように、現在までの調査研究（いわゆる量的研究）により視覚障害者が開設するあはき施術所は、視覚障害に起因する課題を抱えながらの個人経営であること、7 割以上が低所得層であること等、その具体的実態については明らかにされ

ているものの、なぜこのような課題を抱えながらも施術所の経営を継続しているのか、どのように患者との信頼関係を構築し、施術を行っているのかなどについて質的に迫った研究は見あたらない。

II 研究の目的

本研究は、あん摩マッサージ指圧業、はり業またはきゅう業を提供する施術所を経営する視覚障害者 12 名に半構造化面接を行うことで施術内容・経営実態を詳細に聴取する。また、元茨城大学教授で教育学博士（盲人社会史）の加藤康昭氏（1929～2002）が昭和 43 年に 4 名の視覚障害あはき師（いずれも全盲）に行ったインタビューの音声を書き起こしたデータを入手した。これらのデータを質的に考察することで、あはき施術所を開設する視覚障害者の経営に対する考え方、あはき業を継続できる要因、患者とのコミュニケーションが施術者に与える影響、この 3 点を明らかにすることを目的とする。

III 研究の方法

1. データの収集について

(1) 施術所情報の収集方法と対象者の人選

本研究は質的研究として実施することから、対象者の選定は、研究目的にそって条件を満たす施術者を選ぶ規準依拠型⁴⁾で行った。選定の条件として、①「視覚障害のあるあはき施術所経営者兼施術者で、かつ 10 年程度の施術所開業実績があること」に加え、②「1 日の平均取扱患者数が 1 名以上から 10 名程度の範囲であること」とした。研究対象の施術所及び施術者については、公益社団法人茨城県鍼灸マッサージ師会及び茨城県立盲学校同窓会役員複数名から情報提供を受け、前述の条件に合致するもので、本研究の内容に書面による同意の得られた 12 名を人選した。

(2) 加藤康昭氏データ

加藤康昭氏が昭和 43（1968）年 9 月から 10 月にかけて、YK、ON、HM、YK の 4 氏の「盲人施術者」に直接面接法による聞き取りを実施し、『鍼按徒弟制度聞き書き集』と題した資料に残している。今回、その録音データをテキストデータに起こした資料（筑波技術大学藤井亮輔教授所蔵）を、ご家族の同意を得た上で、藤井教授より提供を受け、分析を行った。

2. 調査方法

書面で同意の得られた視覚障害を有する施術所経営者 12 名に 60 分程度の半構造化面接を実施した。

3. インタビューガイド（資料1）

視覚障害を有する施術所経営者 12 名の面接に当っては、Michael Quinn Patton⁵⁾の記述を参考にインタビューガイド（質問計画書）を作成した。ただし、実際の面接では、話しの流れに応じ質問の項目、順序、形式を柔軟に入れ替えながら進めた（半構造化面接）。

インタビューガイドの記載内容は、「インタビューの方法」「インタビューの内容」「質問の順序に関する基本的方針」「インタビューにおける具体的説明内容と質問」となっている。具体的質問項目は、次の事柄を基本的事項とした。

- ① 属性（性別、年齢）
- ② 視覚障害の状態（受傷年齢、手帳の有無、視力）
- ③ 所持免許の種類（あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師）
- ④ 直近営業日 1 日当たりの取扱い患者数（実人数、延べ人数）
- ⑤ 標準的な施術の 1 回あたりの料金
- ⑥ 平成 28 年 1 年分の税込施術料収入（実数）
- ⑦ 開業のきっかけと開業後の経過
- ⑧ 現在の経営状況
- ⑨ 今後の経営への不安感
- ⑩ 営業努力

4. データの分析方法

収集したデータはすべてテキストデータとして VERBI 社の MAXQDA および Microsoft Excel 2016 を用いて分析した。本研究においては Anselm L. Strauss に学んだ慶応大学教授 戈木クレイグヒル滋子が「質的研究法ゼミナール・グラウンデッド・セオリー・アプローチを学ぶ(第 2 版)」⁶⁾で紹介し、実践している手法である Grounded Theory Approach（以下、GTA と略す）⁶⁾を参考として進めた。その手順は次のとおりである（図 1）。

①データの読み込み

データを丹念に読込む。

②データの切片化

データを内容ごとに区切り、細かい点まで検討する状況をつくる。1 つの内容を 1 つの切片になるよう基本的には「,」「。」ごとに区切り、必要な場合には結合・分割を行った。分析者の研究目的に対するバイアスを極力軽減するための作業過程でもある。

③コード（ラベル）の抽出

1 つの切片データだけを読み込み短めのコード名をつける。コード名はデータを思い出せるくらいの抽象度がよいとされていることから、できるだけインタビューの中で話し手が発した言葉が切片化したデータの内容を表しているときには、その言葉をコード名とした。

④カテゴリーの抽出

コードを付けた切片を切り出し類似のコードを持つ切片を集める。この集められたコードごとに、それを包括するカテゴリー名を付けた。

⑤カテゴリーを現象ごとに分類

明らかにしたい現象の構造とプロセスを捉えるには、最初にどのような状況があり、それをもとにしてどのような行為／相互行為が生じ、どのような帰結が生じたのかを明らかにすることが求められる。そこで、各カテゴリーが「状況」「行為／相互行為」「帰結」のいずれに該当し、どのような組み合わせをすることで、どのような現象を表すことができるかの検討を行い、分類を進めた。

⑥カテゴリー相互の関連づけ

上記の作業で現象ごとに分類したカテゴリーを整理し、その関連を把握した上でカテゴリー関連図を作成した。このカテゴリー関係図は、戈木クレイグヒル⁶⁾がカテゴリー相互の結びつきを可視化し、根拠を持たせるため提案したものである。関連図の作成に当たっては、次の点を確認しながら進め、当てはまらない場合には再構築を繰り返した。

- ・カテゴリーどうしは適切に関連づけられているか。
- ・カテゴリーの主語は統一されているか。
- ・1つの『状況』と2つ以上の『帰結』があるか。
- ・中心となるカテゴリーの名前が現象名としてふさわしいか。
- ・データの時系列にとらわれない、おもしろい関連づけがなされているか。
- ・データに出てくる事例すべての変化のプロセスが含まれているか。

5. 倫理面への配慮

研究対象者の人権を保護するため、①本調査が匿名化されていること、②収集データの目的外使用はしないこと、③個人等が特定されうるデータは公表しないことなどを記載した説明文書を作成し、説明の上、同意を得た。また、収集・作成した紙媒体は研究代表者が厳重に保管するほか、電子データはパスワード認証付き USB メモリに保存した。

なお、本研究は筑波技術大学研究倫理委員会の承認（承認番号：H29-15）を受けて実施した。

IV 結 果

1. 施術者 12 名への面接分析結果

(1) 対象者の背景（表 1, 表 2）

面接は平成 29 年 9 月から 11 月に実施した。対象 12 名は全て男で平均年齢は 63 歳（43 歳～82 歳）、インタビュー時間は平均 69 分で、Txt データに起こした際の平均データサイズは 25,420.16 バイト、平均文字数は 12,579.33 であった。

開業継続年数の平均は 27 ± 15 年で、身体障害者手帳（視覚障害）の等級は 1 級，2 級の重度視覚障害者が 11 名（91.6%）であった。平成 28 年分の年収（税込みベース）の中央値は 345 万円（100 万円から 1,000 万円に分布）であった。

「辛くてすぐにでもやめたい」を 0%，「まあまあ満足している」を 50%，「十分満足している」を 100% として、仕事に対する満足感について尋ねた質問では 55% から 100% に分布し，80% と回答した人が 4 名，数値では表せないとしたものが 3 名であった。なお，この 3 名についても回答内容より仕事に対しては一定程度の満足感を得ていた。

(2) コードおよびカテゴリーの抽出（表 3，表 4）

568 種のコードと 16 種のカテゴリーが見出され，1 つのカテゴリーに含まれるコード数は 150 コード（施術者としての思い）から 3 コード（仕事としてのあはきに関すること）に分布し，平均で 35.5 コードとなった。このうち「施術者としての思い」が 150 種，「施術内容・方法」が 110 種のコードを含んでおり大きなカテゴリーとなっている。一方「国家資格の取得」「周囲のサポートに関すること」および「仕事としてのあはきに関すること」は，それぞれ含まれるコードが 9，8，3 と小規模なカテゴリーとなっている。

(3) カテゴリー相互の関連づけ

カテゴリーの「施術料以外の収入」は 2 名の対象者で抽出されなかったため除いた。そのたの 15 種のカテゴリーより次の 3 種のカテゴリー関係図を見出した。以下具体的な語りを記載していくが，「」の中の（ ）内は語った対象者，コード名およびデータの文章番号の順で記入している。

① 「患者とのコミュニケーションの状況」に関わるカテゴリー関係図（図 2）

来院する患者（状況：取扱患者の状況）によって施術を行いながら患者とのコミュニケーション（行為／相互行為：患者とのコミュニケーションの状況）を通して，施術者自身が施術内容・方法を工夫したり，振り返ったり（帰結：施術内容・方法）している。さらに，施術を行うことで，施術者自身の充実感ややりがい（帰結：施術者としての思い）に繋がっている様子が見られた。

「患者とのコミュニケーションの状況」として，「取扱患者の状況」を配置した。このサブカテゴリーでは 45 種のコードが抽出されており，主なコードとして，患者数（67 コード），患者の状態（23 コード），定期来院患者（20 コード），通院地域（9 コード）等があげられる。

「患者数」に関わる具体的な語りとして「（患者の数は）増えもしなければ，減りもしないというか。（対象 2：39）」／「従業員使ってたところが 3 軒私も含めてありましたから。それでもお客さんがいてやっていけたんですよ。（対象 3：患者数，39）」／「多い時で 6・7 人かな。入り方にもよるんだけど。毎日そんなに来る訳じゃないけど。日によって大分違うね。（対象 4：患者数，50）」／「まず

患者さんがやる前に来るかどうか。始まって2・3年はほとんどあんまり。そんで患者さんの口コミできてくれるようになってきました。(対象5：患者数，64)」というように、全体的には患者数が低調であることや、来院患者数が不安定であることが語られている。また、定期的に来院する患者については、「(定期来院患者は) いない。みんな痛いから来るんだよね。先生どのくらい定期的に通えばいいんですかって聞かれて答えるでしょ。じゃあ来ますよなんて言ってもほとんどきたことないよ。痛くないと来ないよ。そういう面ではよそ様とは違うところあるんだな。予約だとかは定期的に来てもらうためにするんだからね。あれは補償だよ。俺のうちに来る電気屋もそうなんだけど、まだいいよって言われると買いたくなるんだ。(対象6：定期来院患者，43)」といないとするものから、「まあ、半分ぐらいの方はリピーターですね。半分じゃ効かないかもしれませんね、6割ぐらい。6・7割。完全なるリピーターっていうのが半分。まあまあっていうリピーターが4分の1ぐらいで、7割以上はリピーターです。75%ぐらいはリピーターだと思います。(対象12：定期来院患者，91)」というように高いリピート率を語る対象者もあり幅がみられた。

「患者の状態」は、「(患者は) 痛みがづらくなってくると来るんです。よっぽど大変になってくると来る。(対象2：2 患者の状態，10)」／「みんな年金生活者で、本当に日々の暮らしも大変だっていう。国民年金の、じいちゃん、ばあちゃんが多いから。1,000 円だって 2,000 円だって惜しいわけです。そういう人が、3,000 円も 4,000 円も 5,000 円も払って来れないね (対象11：患者の状態，259)」と患者側の立場に立った語りがみられる。

その一方で、「患者が 60 後半のおばあちゃんが風邪引いたみたい、微熱があるってかかりに来たわけ。この人は交通事故で大腿骨を骨折したから足が曲がらないって人だったんだけど。お金は持ってる人だったから。あっちの医者、こっちの医者、漢方薬も飲んでって。まあ、お金持ち独特の贅沢な治療をしてた人だから。それで見せてもらって7度1分・2分の微熱なんだけど、風邪みたいなんだけどって言って。医者行ったのって聞くと、医者でも風邪だって。(対象7：患者の状態，75)」や「で、変股症の患者さんで、人工股関節の対象なんだけど、本人なかなかやらないのよ。自分の息子も理学療法士なんだ。それで息子の勤めている病院で手術する気になった時があったんだけど、何かその息子が岩間から飛び出して神戸の方に行っちゃって。神戸の方に所帯を持っちゃったもんでっていうことで今でも筋力の訓練をして現状を維持している。本人も手術すればいいってことは知ってたんだけど。中華料理屋の奥さんなんだけど、出前をしている。でも2階までは行くって言ったのかな、でも3階以上は絶対行きませんって。3階以上のところから注文が来た時には下まで取りに来てくれるなら持っていきますって、私は上までは持っていきませんって。(対象8：患者の状態，37)」と行ったように、自らの施術について語るものも見られた。

上記のような「取り扱い患者の状況」を条件としてなされる相互行為が「患者

とのコミュニケーション」である。このカテゴリーには 150 種のコードが抽出されており、主なものとして患者との信頼関係の構築 (15 コード)、患者のニーズ (30 コード)、患者とのコミュニケーション (72 コード)、患者教育 (8 コード) 等が抽出された。

具体的な語りとして「この中にいる分には。あとは患者さんも私一人だつてことで気を遣ってくれますので。誰かいればなんて言ったらいいか、気の使い方も変わってくるんだと思うんですけど。私が見えなくて一人だから、こういうことは無理だろうなつてところは分かつて、手伝ってくれますね。(対象 12: 患者との信頼関係の構築, 41)」／「最初、その揉み方に文句付けられたり (笑い)。力入ってないとか、いろいろ言われたんだ。来なくていいんじゃないって思うんだけど、毎週来るんだよね。すごくもめたんだけど。俺、もう断ろうと思うぐらい。頸のそこに塊があるんだつていうんだけど、いまだに俺それがよくわかんないんだ。頸の 6・7 当たりの際にあるつていうんだけど。俺には良く分かんないんだけど。それに腰、腰つていうんだけど、仙骨なんだよね。そこだけを 15 分とか 20 分やらされるのよ。(対象 4: 患者のニーズ, 67)」。あるいは、「落語でもそうだけど掴みが大事で。ここがこつてるねとか、疲れてるねとか言いながら、ここがこんなに張ってるんだからなんかやんなかったなんて言つてぴったり当たつたりすると信頼に繋がるので。信頼とコミュニケーションを繋ぐように普通の言葉でね。(対象 3: 患者とのコミュニケーション, 27)」／「施術するときにはね、とにかく患者さんの問診を大事に。話を聞いて。症状がどういうもので、どこが痛いかな。うん、それは大事にしています。(対象 5: 患者とのコミュニケーション, 25)」というように各施術者は患者主体のコミュニケーションを通じて信頼関係を得ながら、施術に当る様子が見られた。

上記「状況」と「相互行為」を受け「施術内容・方法」および「施術者としての思い」を帰結とした。

② 「経営状況」に関わるカテゴリー関係図 (図 3)

施術者自身の意思で開業し継続 (状況: 開業のきっかけと開業後の経過の状況) する中で、施術所の経営を行っている同業者のノウハウを追求することや経営について積極的に学ぶ様子は見られず (行為／相互行為: 施術所の経営状況)、それが営業努力 (帰結: 営業努力に関すること) や年収 (帰結: 現在の施術料金収入) に影響を及ぼしている様子が見られた。

「開業のきっかけと開業後の経過の状況」では、各対象者の語りから、病院勤務退職後に開業した 1 名を除いて学校を卒業し、間もなく開業に踏み切っている様子が分かる。卒業から開業まで最も長い対象者でも 8 年であったが、それもゆくゆくは開業を念頭に置いての仕事であったことが語られている。

「施術所の経営状況」のカテゴリーには「経営に対する考え方 (17 コード)」「経営上の工夫 (3 コード)」「経営についての学習 (4 コード)」「仕事の減少」「個人

経営の限界」「経営の大変さ」等 61 種が抽出されている。

具体的には、「先輩から後輩へ伝えられるノウハウをしっかりと作っておきたいし、経営的にも、できれば今は個人経営ですけども、法人経営となっていければいいのかなって。(対象 1：経営に対する考え方, 87)」と言ったポジティブな語りが見られる一方で、「というか、逆に全部自分でできることしかやらないような、考え方として、形でやろうというところですかね。それは最初からそんな感じ。(対象 2：経営に対する考え方, 284)」／「それで宣伝すんのも嫌いだったんで、コソコソやって、口伝で紹介してもらったりするようにして。経費かけないから怖くないんですよ。家賃と食べていければ、まずはその収入があれば開業当時はいいし。それからどんどん伸ばしていけばいいし。(対象 3：経営に対する考え方, 59)」,そして、「すから、算数も地理も、英語も全部分からないんですよ。ですから経営学なんていうのはおおよそ、算数ができないですから。数字はどうでもいいんですよ。1,000 円札以下はあんまり考えないようにしているんです。(対象 9：経営に対する考え方, 49)」というように経営についての語りはネガティブな発言が散見される。さらに今回の対象者の中で年収が高い対象 1 が「ミクロ的なところまではね、時間を割かないようにしています。(対象 1：経営に対する考え方, 41)」と発言しており、対象 6 については経営に関する発言がほぼ皆無であった。

上記の状況、相互行為を受け「営業努力に関すること」および「現在の施術料金収入」を帰結とした。

③ 「国家資格の取得」に関わるカテゴリー関係図（図 4）

視覚障害があったこと、または視覚障害になったこと（状況：視覚障害の状況）ではき師を目指すことになり盲学校等への入学（行為／相互行為：国家資格の取得）を通じて、障害の受容や新たな人間関係を構築することによって、開業した際の施術所や使用する道具を工夫（帰結：施術所と設備に関すること）したり、周囲の人からサポートを受けたり、公的なサービス（帰結：周囲のサポートに関すること）を受けている様子が見られた。

「視覚障害の状況」では、視覚障害となった原因や時期について、各対象者が語っており、それぞれ状況は異なるものの各対象者は雄弁であり、視覚障害を受容し、受け入れている様子が伝わってきた。これが「盲学校への入学(16 コード)」に繋がっている者と考えられる。

行為としての「国家資格の取得」は、「学習の状況(2 コード)」「学習への意欲」「資格取得の苦労」等 9 種のコードが抽出されている。

具体的には、「大変だった。全部初めてだから。もう頭も固くなってるし。いやー、大変だった。まず言葉が出ないよね。全然分かんない言葉ばかりで、専門用語で。(対象 5：資格取得の苦労, 54)」／「半年で一気に視力落ちちゃって（笑い）。生理学だの解剖学だの勉強したから頭の中おかしくなるしね（笑い）。それから今度、ルーペっていう便利なものがね。うちは虫眼鏡みたいなでっかい凸レ

ンズは、あれはだめなんです。あれでは拡大にもなんないんですよ。凸レンズとなんかを合わせて、ルーペってうまくできてるんですよ。それでちょっと出張ってるような眼鏡をつけて教科書を見るようになって。(対象 10：学習の状況, 43)」と資格取得の学習に苦労した様子が伺える語りが見られる。

一方で、「そういうのをより分けながら見て、それで4月に盲学校の方に入校したので。そのときに、ほんとは〇リング学会には鍼灸師じゃなければ入れない、学会に。たまたまその先生がフォローしてくれて必ず鍼灸師になるからって特枠で、その〇リングの会員になれるようになって手続きしてくれて。〇リング学会の会員になって、通ったんです。そういうのもいろんなところで鍼灸師ばかりじゃなくてお医者さんだの、歯医者さんだのようになって。話を聞いている中で私は医学の知識がないので、勉強のきっかけになったかも知れませんね。なかなか覚え悪かったけども、苦にはならなかったですね。入学前から〇リングとの出会いがあったので、かえてそういうことには興味があった。(対象 12：学習への意欲, 125)」というような発言も見られた。

帰結は、「周囲のサポートに関すること」「施術所と設備に関すること」とした。

2. 加藤康昭氏データ分析結果

(1) 対象者の背景 (表 5)

加藤康昭氏⁷⁾が東京教育大学修士課程在学中に、妻である滋子さんとともに、昭和 43 年の 9 月 30 日、10 月 1 日、10 月 12 日の 3 日間をかけ計 4 名の盲人施術者に面接を実施した。インタビューガイドの存在は不明であるため面接がどのような目的で実施されたかは定かではないが、そのタイトルが『鍼按徒弟制度聞き書き集』となっており、内容を見ていくと江戸末期から明治・大正にかけての徒弟制の状況について聞き取っていることが分かる。特に明治 44 (1911) 年の内務省令⁸⁾として出された「按摩術営業取締規則」(内務省令第 10 号)、「鍼術灸術営業取締規則」(内務省令第 11 号)が施行された後の検定試験を取り巻く状況については、各施術者の学習方法や学習の場について詳しく聞き取っている様子が分かる。

面接を行った施術者の氏名も明らかになっており、I F (1894 年生まれ、74 歳)、O N (1908 年生まれ、60 歳)、H M (1898 年生まれ、70 歳)、Y K (1894 年生まれ、74 歳)の 4 名である。なお、() 内記載の年齢は加藤氏が面接を実施した 1968 (昭和 43) 年当時のものである。

Txt データのサイズは 40,042 バイトから 113,689 バイトで中央値が 67,734.5 バイトであった。また、文字数は 19,508 文字から 56,022 文字で中央値は 33,477 文字であった。インタビュー時間についての記載は見当たらないが、施術者 12 名に実施したデータサイズ 25,420.16 バイト、12,579.33 字から推定すると、おおよそ短い人でも 90 分程度、長い人では 4 時間弱の面接を行ったのではないかと推定

できる。

なお、このデータには、一部対象者が加藤氏に提供したものも含まれているであろうことが、データを読み込むことで分かる。

データ分析を行うにあたり、面接の録音を文字に起こした際に聞き取りができなかったのか文字が抜け落ちているところがあった。そのため、内容がとれるところのみ分析を実施した。

(2) コードおよびカテゴリーの抽出（表 6，表 7）

635 種のコードと 19 のカテゴリーが見出され、1 つのカテゴリーに含まれるコード数は 123 コード（講習所・学校に関すること）から 7 コード（歩合制に関すること）に分布し、平均で 58.3 コードとなった。このうち「講習所・学校に関すること」のカテゴリーが 83 種のコードを含んでいる他、「施術者の経験と状況」の 72 種、「同業者・仲間に関すること」69 種が大きなカテゴリーとなっている。一方「施術者としての独立に関すること」9 種、「歩合制に関すること」4 種などが小規模なカテゴリーとして見出された

(3) カテゴリー相互の関連づけ

「あはき以外での生活の糧に関すること」「江戸時代の位・制度に関すること」「娯楽・余暇に関すること」の 3 つのカテゴリーは 4 人の対象者全員が語ったものではないため、カテゴリー関係図を構築する際には除外した。結果、16 のカテゴリーで 4 種のカテゴリー関係図を構築できた。なお、以下具体的な語りを記載する際「」の最後の（）内は対象者とコード名、該当の語りの文章番号を付記している。

① 「師匠の教え」に関わるカテゴリー関係図（図 5）

徒弟（状況：「徒弟制の内容と状況」）に入ること、師匠からの様々な教え（行為／相互行為：「師匠の教え」）を受けることができた。その結果として施術者に歩合による収入（帰結：「歩合制」）をもたらし、流しによる施術の経験（帰結：「流しの状況」）を得ることができた。次に、各カテゴリーの主なコードをあげ、具体的な語りを見ていく。

○状況：「徒弟制の内容と状況」

「弟子入りする際の契約」のコードが 4 つあるが、それを見ると、「先生は、ぜひ年季証文を入れてもらいたい。ここに年季契約書を入れることになりました。この時代はいかなる職業も問わずして、年季証文を入れることは通常常識でありました。こうした年季証文は今日では見ることはできません。それでは参考までに、私の年季証文をご紹介します。(HM：弟子入りする際の契約，8)」／「ええ、そうなんです。そういう保証人がありましてね、保証人が立ち会いの下に契

約書を交換するわけです。(I F：弟子入りする際の契約，186)」ということであり徒弟に入る際には書面で契約が交わされていたことが分かる。

しかし、一方では、「ええ、大抵は口約束だよね。◇加藤：かり業者によっても、また違うんでございましょうね。人によっても。◇Y：ええ。人によつてね、まったくそれをばかに頑なにしてね。それで、途中でいやんなって、本人がなんしたときには非常にやかましく言ったりする人もありますけどもね。(Y K：異なる契約方法，325-327)」というように決まった形があったわけではないことが分かる。また、存在した契約書の内容についてはHM師が詳細に語っている。

「年季証文。『この度、不思議なるご縁をもち、不肖荒川ウヘイの一子実こと、鍼、あんまの修行につき、ウノキイチ先生宅に 21 歳まで勤めるべきことをお約束仕り候。但し年季終了の暁は、その恩義を謝し、なお 1 年間を礼奉公として勤めることを承知仕り候。また本人に不都合あるときは、その責任を親元にて負うべき候。なお本人病気の...には、薬料はもちろん、一切の費用は親元にて負担いたすべきこと、この段承知仕り候。本人途中にてやめたり、あるいは他の先生に移動したるときには、お世話に相なりたるときよりその当日までの月謝、食い扶持を納むることを承知いたし候。月謝 2 円、食料 3 円、計 5 円。この段承知仕り候こと実証なり。大正 4 年 10 月 10 日、深川千田町 225 番地、荒川ウヘイ。ウノキイチ先生』(H M：契約書の内容，9)」

このように契約書には勤める期間、費用、その他について明記されていたことが分かる。ただ、師匠によっては、「加藤：食費を出せば、少し年季が短くなったのですか。◇O：ええ、そうですね。つまりお礼奉公なんかで縛らないと。自由に出て行く。だから、免状取れば、すぐにつまり稼げる。(O N：授業料としての食い扶持，468-469)」ということもあったようである。

師匠への入門に当っては、「初めに、浜松では学校っていうのはなかったもんですから、学校に入って勉強する前に、弟子に入ったんです。徒弟に入りましてね、徒弟にはなかなかやかましい規則がありましてね。(I F：師匠への入門，11)」／「ミタという方がいて、そこに行ったのですよ。その先生が、まず来てよかったと、12 じゃあもう限界だと。11 か 12 で入らなければ、いいものにならない。13 じゃ駄目、だんだん年をとるにしたがってそういうことですね。13 ぐらいで行ったんじゃ、どうしてもいいものが出来上がらないと、いまでも耳に残ってますね。私ども、大抵 11 か 12 で昔はみんな入ったね。学校がないから。(O N：師匠への入門，332)」と、明治末期から大正にかけて各地に盲学校の創立がなされる中であっても師匠へ入門するものもまだ多数を占めていることが分かる。なお、4 名のうち Y K 師のみが師匠へ入門はしていない。

この他、このカテゴリーには、「◇加藤：先生は 12 歳でお入りになられて 20 歳で年季が明けたことになりますか。◇O：そうです。20 歳年明けですね。(O N：年季の期間，361-362)」／「H：年季が明けるまでは羽織というものを着せないんだそうですよ。半纏と言ってね、奥さん、ご存じかもしれませんが、襟があっ

てね、紐が付いてないんです。◇加藤夫人：それで、紋かなんかは入ってないんですか。◇H：ええ、背中に一つ紋が付いてるんです。◇加藤夫人：それは、そのお師匠さんによって違うわけでしょう。◇H：お師匠さんが出すんです、それは。◇加藤夫人：そのお師匠さんの紋を付けるわけですね。(HM：年季中のこと、115-120)」と入門中の様子が分かる語りも多く見られた。

○行為／相互行為：「師匠の教え」

「◇加藤：入門してから1カ月ですか。◇H：ええ、入門して1カ月。それで300文で、ゼロ。◇加藤：師匠から習ったのでしょうか。◇H：師匠からです。◇加藤：兄弟子からではなくて師匠からですか。◇H：ええ、師匠です。(HM：師匠から習う実技、634-636)」／「ええ、やったですね。それから、実技は師匠がやった。実技は師匠がやって、目的は学校では主に学問のほうだけが目的というかね。それだけの検定試験が受けられないから。(ON：師匠から習う実技、65)」と師匠があん摩の実技指導を弟子に対して行っていたことが分かる。さらに、「昔のことですよ。だからあれだったですよ。預けておけば、着物の着方からね、おしっこの仕方、鼻のかみ方から教えてくれて。しまいには、私どもの師匠よく言ったけれども、つまりお膳の並べ方からね、どこに何があると。(ON：師匠の生活指導、473)」と生活全般の指導を行っていた様子も語られている。

○帰結：「歩合制」

「あんまの場合は1割でしたね。だけど、1割くれるというのはあの師匠だけだった。他には食い扶持も取らないし、何もくれなかったです。師匠は初め食い扶持取る代わりに1割の割戻しがあるわけだから、条件が。他では大抵、昔貧乏だからね、.....盲人のできるうちは大抵貧乏だからね、金がありゃいいんだ。年季も明けたといっても、実際は昔はいまと違って、預けておけば飯食わしてくれただから。急がないから、お金のほうは7円でもよがんすということでもって、みんないたですね。(ON：1割の歩合、473)」／「◇加藤夫人：先生は、オオキ先生のところにいらっしゃいましたときに、大体1割いただいたということでしたけど、オオキ先生以外のお師匠さん、ほかのお師匠さんに付いてるお方の話でも、やはりそれぐらいだったんでございましょうか、当時一般に。◇I：そうだったらしいですよ。私はあんまり調べないで、そんなこと気にしないでね(IF：1割の歩合、498-499)」と師匠に弟子入りしているうちの歩合は1割が一般的であったようである。ただ、「割合、条件がよくて2割もらって自分は遊べたものだから、遊びといったって、師匠、自分の自由がおかしかったものだから、この男、免状取ったからと言って、私に無理矢理患者を押し付けて、自分は勝手なことをして、私にほとんど任せっぱなしで。こっちも免許取ったという、免状があるということをして土台にして免許振り回してね、やたらよくやったものです。(ON：2割の歩合、346)」／「それで、今度は、じゃ、まず月にどのくらい取ると、

取れるようになると、そこでもって歩合を払うわけなんです。1人についていくらか。例えば8銭取れば、そのうちの3銭をやるとかね、何割やるとかっていう具合にして、そうしてやるよか方法はないもんですからね。事実、親がどうしても送れないのは、そうでもしてやるよか方法はないと思ってね。そして、私もポツポツ、随分それやりました。」(YK：お金を取れるようになると歩合制，220)」と弟子によっては歩合の割合が違ったり上がったりしていることが分かる。

○帰結：「流しの状況」

「(略)，結局，いくらかできると流しに歩くんですよ。そうすると今度はム……で歩くと言って，先生がやかましいんですよ。◇加藤：それは鑑札を持っていなくてもよかったのですか。◇H：ええ，よかったんですよ，徒弟修行ですから。(略)(HM：免許鑑札がなくてもできた流し，408)」／「ちっとあっちこっち歩いてみねえか，運動になるからと言われましてね。それで，ときどきこうやってみたりね。でも，親の家にいるもんですからね。ですから，呑気に，雨が降ったっちゃ休んでね，風が吹いちゃ休み，本当の退屈しのぎでね，ちっとばかりやってみましたけどね。(YK：退屈しのぎでの流し，1022-1024)」と言った語りから分かるように気楽な小遣い稼ぎのように流しが行われていたようである。

また，稼ぎについては，「日に10銭あったぐらいでね。でも，何ですよ，少し一生懸命にやる者は月にでも6，7円や8，9円とれるんですよ。(YK：流しの稼ぎ，198)」／「(略)そうです。カミシモ，その時分で，そうですね，やり始めが8銭ぐらいですね。8銭ぐらいって言えばいいほうですよ。(YK：流しの稼ぎ，200)」／「◇加藤夫人：流して得た分は全部その人の収入になるわけですか。◇O：いや，ならない。(略)いや全部。暇で遊んでしょうがないから行くんだから。三島辺りとか沼津は，みんなどこでもお弟子は夜は強制的に。(ON：流しの稼ぎ，547-550)」と言った語りがみられた。

さらに，流しに関連しては，「このときは『笛祝い』と称し，赤飯を炊き下駄，手ぬぐいに1本の笛をくれます。これまでになるのには容易ではありません。こうした笛祝いのできる弟子が1人でも多く出ると，同業者に対し，先生の誇りとしてあります。(HM：笛祝い，7)」／「◇加藤：吹き方も流派で違うものですか。◇O：あれは吹き方っていってもね。だんだんに自然にこう。◇加藤夫人：個人差が出てくるようになるのですか。◇O：ええ。息の入れ方も3段になるんですよ。あれがなかなか難しいんですよ。(ON：自然に覚える笛の吹き方，541-545)」と流しの際に使用する笛についての語りも多数みられた。

②「検定試験・免許取得の状況」に関わるカテゴリー関係図(図6)

明治44年の内務省令以後，按摩・鍼・灸の免許取得には検定試験の受験が必要になったことで，各対象者はその試験受験に向けての学習を工夫し(状況：学習・教材に関すること)，検定試験を受けて免許を取得し(行為／相互行為：検定試験・

免許取得の状況」)、施術者として独立(帰結:「施術者としての独立に関すること」「施術料・収入の状況」)していった。

○状況: 学習・教材に関すること

「それはありませんし、私は、当時あった医書はすべて、自分の手に入るだけのものは手に入れて写した。(I F: 自分で写した教科書, 135)」／「◇加藤: そうすると学校よりも、どんどんご自分で勉強なさったんですね。◇Y: ええ。多くね。やっぱり何ですわ、その時分に友だちに本をなにしたり何かしてね、それでやってたんですけど。(Y K: 自分で進めた勉強, 148-149)」／「大向いですね。それで、墨字のをまた写したりね、また、やってるんですよ。◇加藤: ああ、読んでもらって。◇Y: 読んでね。そして、そういうのをやったり、それから方々の地方のね。例えば千葉県は今度はどういう試験があったとか、こういう試験の問題があったとか、そういうのまた集めてね、こしらえて、結構出してるんですね、河越ゲンキって人がね。(Y K: 過去問の収集と出版, 258-260)」というようにそれぞれが努力し学習していた様子が分かる。

また、「いまないね。解剖学、局所解剖ですからね、全部、局所的にずうっとやってですね。頭から頭へ行ったり、筋肉から筋肉からね、全部局所的に。で、あとは自分でもって教科書、私どもはチカラクラ先生の『解剖学局処』、あれなんか読んだかな。(O N: 専門科目の学習, 39)」／「ですから、教会の、耶蘇の話ですね。たまには地理みたいな、歴史みたいなことも話しましたよね。そんなことしてたんでしょう。(Y K: 講義内容, 97)」／「あれをね、こう、先生が暗唱してくれるんです。それを、じーっと、うつむきになってね。(略)◇I: それで覚えたんです。そういうやり方をやってた時代ですね。(I F: 師匠の暗唱, 127)」と当時の学習の様子についての語りも多くみられた。

○行為／相互行為: 検定試験・免許取得の状況

当時、検定試験の受験には師匠の証明が必須であり、それに関わる語りが散見される。「4年間の修業を先生に付いてしたという証明をもらうんです。その証明をもらえば、試験が受けられた。ところがね、その証明を出すのにお金を取った奴がいるんです。(I F: 検定試験・免許取得の状況, 310)」／「昔のね、早い話が、私は検定試験、鍼と按摩取りましたが、あの時分には師匠の証明を持ってね、警視庁へ、警察へ、台帳に書いていますから出すんです。で警視庁で試験する。まあ、あんな程度じゃないですか。(H M: 検定試験を受けるための証明, 333)」

また、検定試験の様子については、「当日は父に連れられて警視庁の試験室に入ります。まず、按摩の実地を初めとして解剖学、生理学、按摩学、衛生学であります。(H M: 検定試験の内容, 41)」／「(略)◇O: ええ、点字ですよ。問題は墨だけでも、答えは点字で。(O N: 検定試験の内容, 506-507)」／「警視庁のなんでね。その時分には年に4回ありましてね、試験がね。それで、12年前だから、

ちょうど 20 歳のときですね。だから、大正に移るときかな。ちょうどそんなんでしたね。(Y K : 検定試験の回数, 29)」等の語りがみられた。

○帰結 : 「施術者としての独立に関すること

独立するに当たっては師匠により一定の条件が存在していた。

「そうですよ。それで開業が、その先生の家から 7 丁以内にはできなかったんです。それは組合の連中もやいやい言ってくるしね、間に人も入るし、それでやっぱり人が間に入ったのが酒の 1 升ももらったら、まあ、H 君、そういったっていいじゃないか。自分の所で仕込んだ弟子だ、ほかから来たんじゃねえから我慢してやれよと、そこへいっちゃうんじゃないですか。(H M : 開業のルール, 532)」
／「8 町以内にね、8 町以内っていうんですよ、随分ひどい話ですよ、8 町以内に開業しちゃいかんと、こういう、吉田流にはその例があるんです。(I F : 開業のルール, 388)」
／「ええ、技術を覚えるだけです。だから、私どもの師匠は土地が狭いし、田舎町だから。沼津辺り、ヒラタさんなんかだと、その土地には開業させなかったですね。(O N : 師匠により異なる独立条件, 571)」

その他としては、「◇加藤：普通の商家ですと暖簾分けといったように、本家のほうが営業資金などいろいろと世話をしますね。◇O：そういうことはないですね。何にもないですね、昔は。ただ、年が明けて出れば、戻れば笛一丁だから。笛一丁で始まるんだから。(O N : 師匠からの支援はない, 568-569)」
／「だんだん、何ていうか、お得意が増えるということでございますね。で、年季を終えなくても免許を取ってしまえば一人前の人で独立もできたわけでございますね。(I F : 独立, 367)」というような語りも見受けられた。

○帰結 : 「施術料・収入の状況」

このカテゴリーには弟子の時代の収入についての語りも多数含まれているが、「この先に清水橋という橋があるんです。そのそばに鈴木ヒロアンという按摩師ですけど、大正時代に他人が 30 銭の時分に 1 円ですよ、治療代。それでもお前のとこ俺の治療にかかるほど身上持ちか、俺は 1 円だぞ。それでよけりゃ行くけど、お前のとこ 1 円の按摩賃払えるかっていうぐらいに頑張っていて、木場から人力車で迎えにいくんですよ。それはうまかったそうだね。3 人いれば 3 円なんですよ。当時あんた、1 日 1 円 20～30 銭しか労働者は取れない時分にね、木場の材木屋に行って 3 人やってくると、1 円もらって、それで御飯食べて、それで帰ってくる。それはやっぱり技術ですよ。(H M : 技術力があれば取れる施術料, 1044)」
／「何だって、金がなかった、収入がね。普通の者の 1 カ月收入が、その当時 40～50 円だからね。1 回 50 銭で、よくあっても 5 人か 3 人かね。いまだって、一般の収入、どうかな、わからんけども、あんまり 10 万ないんじゃないかな、最高がね。よく点字新聞なんかで、.....だって収入 5 万、5 万というけれど、5 万も稼げて娯楽に回したって。(O N : 少ない収入, 613)」という語りがみられた。

③ 「実技の稽古」に関わるカテゴリー関係図（図7）

師匠に入門し生活を共にする中で（状況：師匠の経験と状況）、按摩や鍼の実技を学び（行為／相互行為：実技の稽古）、施術者に影響をもたらすとともに施術を身に着けていった（帰結：「施術者の経験と状況」「施術の方法と考え」）。

○状況：師匠の経験と状況

「◇加藤：ああ。そうすると、えらい身分のある人しか揉まない。◇H：そうそう、揉まないんじゃないくて、揉めないんですよ。1遍行ったら3日ぐらい帰さないんだもの。◇加藤：ああ、そんなに長いこと。長いことというより。◇H：1療治いくらじゃないんです。3日ぐらいいて包み金もらって帰ってくる。それで仕着せは27から買ったことないって。みんな御前のお下がりです。当時は、生まれもそうですけど、盲人には……っていいのと悪いのが、いまよりもっと簡単にあったんです。（HM：師匠の施術，662-665）」／「流行られたけどね、あれは細君がだらしのない人でしたからね、貧乏してましたよ。冬になると、質に入れちゃあ米買ったもんですよ。（IF：貧乏な師匠，384）」／「私の師匠の所は治療をしてもらったらば、まあ揉むったっていえば、自慢だから。本当の俗にいう素人の急所、芯のどこ揉むから。だから、按摩して終わったときは、何ともないですよ。効かないわけですね。また来なきゃと言ってくるです。それで異感覚になるね。それで、あと治っちゃう。（ON：師匠の按摩，255）」と、師匠はそれぞれが個性的であることが分かる。

○行為／相互行為：実技の稽古

按摩の稽古についての主な語りは次のとおりである。

「さて、ウノ先生に入門いたしますと、明けても暮れても自分の膝を揉んだり、あるいは人の肩を借りて揉んでおります。こうして想像以上の辛いことばかりであった。ようやく一通りの治療を覚えしました。はや、ここに1カ月を経過いたします。（HM：辛いあん摩の練習4）」／「何しろ、柱を揉んでね、柱をこう揉んでいく。私らは目が見えないからその真似ごとはした。だから、いまでも指はこんなに柔らかいですよ。この指、こんなに柔らかいでしょう。揉んできたからこの親指。（ON：手技の練習，389）」／「大抵私はそうしてやりました。そうすると、中には洗剤でも買ってきたりね。何しろ金は取らないからね。御足なんていないよ、お婆さん、そう言ってね。そうしてやってたんですよ。そのほうが割合に研究ができるんですよ。（YK：近所の人で練習，289）」／「ええ、先生は襦袢を着ているんだけど、私はシャツです。震えていると、こんなことするくらいで震えて一人前になれるかと聞かれるんですよ、指に力がなくなると。震えるから力が入らないでしょ。（HM：按摩の寒稽古 655）」

次に、鍼の稽古についての語りをみていく。

「それは按摩のほうですけど、鍼は最初は新しい綿でね、その時分、当時は綿がいちばん鍼の通りがいい。それで鍼の押し手の構えと刺し手と管の持ち方を教えて、そのままふとんに刺すんですよ、綿に、先生の使った古い鍼で。新しいのなんか使わせないんだよ。(HM：鍼の練習, 645)」／「◇加藤：2, 3年目ぐらいから。◇O：私ら早く入ったから、結局そうじゃないね。でも、そうだね、17ぐらいかね。いちばんそのころがわかるんだね。(ON：鍼の練習 500-501)」／「鍼の寒稽古は、昔は厳しかったね。いまより寒かったから、宵のうちに桶に水汲んでおいて、朝一番鶏が鳴くと起きて、お宮様にお参りをして、それで戸を開け放して、廊下へ箆を敷いて、凍っている氷を手で割って、その氷の水を手でガシャガシャと音をさせて自分の腿へ何十本か、片方 25 本ですかね、刺しちやってね。音がしないといって、音がしないと水かけられたりするから、水をこうして、それで鍼をやる。(ON：鍼の寒稽古, 400)」

○帰結：「施術者の経験と状況」

「それで……, 私が勉強することは文句言わなかったんですね。そのかわりね、自分の家で弟子をとっておきましょう、それを教えてくれというんです。(IF：兄弟子として教える 43)」／「ある日、兄弟子のトウリンさんの話に、『これからの盲人は技術だけに頼ってはいられないと思う。お前が 30 ぐらいになると、このままに進むと時代遅れの按摩さんになる。もちろん技術は大切であるが、これからの盲人は、盲学校に入り盲教育を受けることである』と兄弟子は説明してくれました。後に、この人は埼玉盲学校の教員を務めました。(HM：兄弟子の言葉, 36)」／「だから、いつでもいう。1本鍼打つにしても信念を持ってやる。1本の鍼でも大事なんだから、1本1本は自分の将来に繋がっている。まず、治療というものは誠心誠意愛を持って、患者さんの身になって、来た患者さんを何でも味方に引き付けるといって、でなきゃならんとね。(ON：患者の身になった施術, 373)」

○帰結：「施術の方法と考え」

「私、昔の式はさっきも言ったけど、まず座らせて肩を揉んで、肩を1時間揉んで、今度は寝かして足を揉むというのが昔のしきたりですよ。(ON：以前からの施術の仕方, 503)」／「それじゃあいけないと思います。やっぱり独創的でなければ駄目だと、そういう考えを持っておりますもんですからね、だから他人の真似は絶対にしないと。だから私は、技術、私独特の技術でやっております。(IF：独自の手技, 53)」／「あるとき、ナカイという待合から迎えがきました。この待合の主人はお菊さんと称し、先生が昔将棋の伝授を受けました、あの恩人歌沢の隠居の孫娘にあたります。今は常陸山、横綱の二号さんであります。大きな体を触って、私はびっくりいたしました。当時引退しても、まだ 42 貫あったそうであります。この巨大な体を治療し、終わると横綱自ら私の手に治療代を渡し、「み

んな持っていらっしゃい」。(HM：横綱の施術，43)」

④ 「講習所・学校の状況」に関わるカテゴリー関係図（図8）

目まぐるしく変化する社会の中で（状況：社会情勢に關すること），学校の創設や盲人の運動が活発となり，学校への入学を目指す盲人も増加した（行為／相互行為：講習所・学校の状況）。その結果として優秀な講師や仲間が育成されることになった（帰結：講師／教師に關すること）「同業者・仲間に關すること」。

○状況：社会情勢に關すること

盲人自信がさまざまな場面で積極的な運動を展開していたことが分かる語りが多く見られる。

「出たんですね。それとみんな，我々もね，どうもこれから学校が方々へ，各県に1校以上できると。それで学校ができてくる，ちゃんとした学校ができるとこんなことで圧倒されちゃう。それで，学校へ行くべきだというんで，学校へ行くべく運動を私なんか率先してやったですよ。また浜松もこうやって，静岡でもこうやってね，方々の学校の学則を取ったり，みんなそんなのはこれこれと大歓迎ですよ。(ON：入学へ向けた運動 41)」／「(略) 盲人按摩專業論を盛んに唱えた時代に，盲人には何も仕事，鍼，按摩を離したらなくなると。なんか商売をやらしてくれという。(HM：盲人の運動，431)」／「明治41年，両国国技館において，初めての全国盲人大会を開き，国会においては按摩盲人の專業とすべしと。既に專業案が通過するときの盲会の首脳部が鍼按協會である故，これは鍼の兼業にすべしと言って，按摩專業に鍼を主張したため廃案となりました。(HM：按摩專業の運動，914)」

また，生活に苦勞する盲人についての語りも散見される。

「したがって，貧困者の子供は按摩になることもできません。もっぱら木魚をたたいて歌を歌い，1文，2文の恵みを受ける。また，辻に立ってジロリンザエモンを肩にその日の生計を細々と立てる，誠に非人に等しくあわれな盲人がたくさんおったそうであります。(HM：貧困の盲人，904)」／「ええ。なかなかこれで，一緒にやると，それが何故かっていうと，どっちかっていうと，盲人になるくらいの者はもう，それは貧困の家が多いんですよ。YK：貧困の盲人. 216)」／「幕末，埼玉県出身で吉田久庵と稱する人が現れて，晴眼のあんまの養成をいたし，花柳界，各旅館，遊郭に進出するという。(HM：晴眼者あん摩の擡頭. 906)」

○行為／相互行為：講習所・学校の状況

盲教育の草創期を伺い知ることができる語りが多くみられる。

「授業は少しやったけども，結局半年ぐらいでやめちゃったでしょ。だから潰しっぱなし。えらくもめたよ。その場でやっていきやよかったけど，クスマさんが来て，学校で喧嘩して，学校に対抗する学校を創るんだと言って，飛んで来て

始めたんだけど、うまくいなくて。(ON：もめながらもうまくいかない学校530)」

「◇加藤夫人：そういう例はときどきお聞きになりましたか。◇H：ええ、ありました。結局、駄目に終わっちゃったんですよ。◇加藤夫人：計画したけれども、駄目だったということですね。◇H：ええ。それはオシダさんじゃなく、まだまだいっぱいいたんですよ、そういう人が。(HM：学校を計画した人は多かった885-889)」

また、学習内容については次のような語りがみられる。

「ええ、国語みたいなもの。それをやって、それから今度は解剖学へ入り、いちばん初め『生理解剖学初歩』というかな、それをやって、それからいよいよ本科みたいな、本科になってから奥村先生の『普通按摩鍼灸学』というかな、これを大体基礎として教育したね。私どもはそれだけしか教育。あとは自分で必要な参考書を読んだんですけどね。(ON：学習内容、13)」／「ですから、教会の耶蘇の話ですね。たまには地理みたいな、歴史みたいなことも話しましたよね。そんなことしてたんでしょ。(YK：講義内容、97)」

○帰結：講師／教師に関すること

「いや、ほとんど出なかったからね、名前だけで。その代わり校長で、師匠は設立者としてね、設立者兼講師。だから、教授というのは講師、みんな講師。(ON：師匠も講師、91)」／「◇加藤：そして、いわゆるシンリリョウって、シンエンのほうは加藤先生がお1人でお持ち。◇Y：ええ、そうです。加藤先生が主任としてね。それで、もう1人、その時分に先生いましたよ、鈴木先生ってね。やっぱり浅草に、浅草のフクイ町かな、あの辺にいた人です。(YK：専門の先生、98-99)」／「オオギミ先生はね、別に何って、何か教会の話をしてね。あの人は大体牧師ですからね。(YK：牧師の先生、95)」

○同業者・仲間に関すること

「このミマツ講は30数人となり、こうした人々が盲会を作ることに共鳴いたし、盲会の運動に踏み切りました。(HM：運動に力入れた同氏 908)」／「ええ、いましたですね。あの人は、31のときに失明したんだそうですね。エンショウ皇太后陛下のご大喪のときに行って、目が非常に痛んでね、それで見えなくなっただそうですね。(IF：盲人の政治家、461)」

V 考 察

本研究は、あはき業を提供する施術所を経営する視覚障害者に対する半構造化面接を通し、施術内容・経営実態を質的に考察することを目的として実施した。この研究では、インタビューデータを文字化し、VERBI 社の MAXQDA および Microsoft Excel 2016 で分析する方法を用いた^{9・10)}。分析手法は GTA の分析プロセスを参考にして進めた。

これは Grounded Theory (GT) と呼ばれ、米国の社会学者である Barney G. Glaser, Anselm L. Strauss¹¹⁾が 1967 年の著書「Strategies for Qualitative Research」¹²⁾で提唱した社会学における質的研究の一つの手法である。この GTA とは「現象を構成する複数のカテゴリー（概念）を把握し、カテゴリーどうしの位置関係を明確にすることによって理論を作り上げようとする方法¹³⁾」というものである。

つまり、対象者へのインタビューや観察などを実施し、その結果をデータ化し、そのうえで特徴的な単語を用いコード化を行う。その後コードの整理、分類をして分析を実施する。この手法は質的調査法でありながら、分析や理論構築を目指す方法であるとされている¹³⁾。

ただし、この GTA については、提唱者である Barney G. Glaser と Anselm L. Strauss の考え方に違いが生じたことは、1987 年に Anselm L. Strauss が「Qualitative analysis for social scientists¹⁴⁾」を出版し、1992 年に Barney G. Glaser が「Basics of grounded theory analysis¹⁵⁾」を出版したことからも分かる。また、上記 2 名以外でもよりフィールドに根ざした知見を得ることを目指したキャシー・シャーマズの「グラウンデッド・セオリーの構築:社会構成主義からの挑戦¹⁶⁾」や切片化という技法を用いることなく限定的一般化を目指して木下康仁が提唱・実践する修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (MGTA)¹⁷⁾等、研究手法としてやや混乱があることも事実である。

本研究の対象者は 12 名で、選定条件を設定したうえで関連団体の複数名より推薦を受け選定した。そのため、対象者はすべて茨城県内で施術所を開設しており、年収については中央値で 345 万円と、藤井らによる 2014 年の調査¹⁾の中央値 180 万円、あるいは同じく藤井らの 2016 年の調査²⁾の中央値 128 万円と比較すると高い値となっている。さらに、300 万円以下の低年収層は 5 人 (46%) と藤井ら (2016) の調査で示された 7 割超 (70.9%)²⁾よりは低い値となっている。

質的研究は扱えるデータが少数であること、標本に偏りが生じること、研究者の主観を排除できないため研究者の存在自体を研究の道具として捉えるといった特性を持つ。だが、これらは客観的ではない、非科学的であるとの批判があること¹⁸⁾も確かに存在する。

しかし、質的研究は、アンケート調査などに代表される量的研究で数量化できないために扱われない対象者の会話や観察などをデータとして扱うことができる。

すなわち、面接などで研究者と研究対象者が相互作用する中で、参加者の経験と生活世界の説明理解を深め、データから理論を生成することを目的としている¹⁹⁾。そのため、人を対象とする教育や介護、看護等の分野で研究が行われており、特に看護の分野では2000年以降、大学における看護学部、研究科の設置が増加したこともあり、質的研究の原著論文の数は飛躍的に増加している⁶⁾。

あはきの分野も人と人の相互行為で成り立っていることから、質的研究の対象として適しており、今後必須になる研究分野となると思われる。

1. 施術者 12 名について

結果として3つのコアカテゴリー（患者とのコミュニケーションの状況、経営状況、国家資格の取得）が抽出され、結果に示したような3種のカテゴリー関係図を構築できた。

まず、「患者とのコミュニケーションの状況」に関わるカテゴリー関係図（図2）においては、患者とのコミュニケーションという相互行為を通じて施術内容を振り返り・見直しながら方法を工夫したり、改善に繋がったりしている様子が見られた。また「仕事への満足度」「施術者としてのやりがい」「施術者としての充実感」をもたらしていることが分かる。

また、「施術内容・方法」と「施術者としての思い」という帰結が、状況である「取扱患者の状況」に影響しており、来院する患者のキャラクターを規定している要因になっていることが示唆された。

一方で、「経営状況」に関わるカテゴリー関係図（図3）においては、施術所経営に関わる積極的な発言をほとんど見ることができず、それが営業努力や施術料金収入に影響を及ぼしていることが示唆された。このような経営に対して「営業努力に関すること」「現在の施術料金収入」という帰結が生じている。特に営業努力については、各対象者が行っている「口コミの効果」「ホームページの効果」「信頼が患者を呼び込む」「施術結果を出すことが広報活動」と言ったように低リスクで、自らが行うことができる営業活動にウェイトを置く傾向があった。

こうした帰結は「開業のきっかけと開業後の経過の状況」に作用し、施術所開業後厳しい経営状況をほぼすべての対象者が経験している。ただし、これは施術者の語りから客観的に判断されるものであり、対象者本人が主観的に厳しい経営状況について「辛さ」「苦悩」等について語られないことは注目すべき点である。また、対象者12名全員が自らの意思で施術所を開業しており、平均で27年という開業が継続できる一因になっているのではないかと考えられる。

「国家資格の取得」に関わるカテゴリー関係図（図4）では、視覚障害という状況を踏まえた「国家資格の取得」という相互行為、つまり、あはき師養成施設への入学、学習及び資格取得を通じた自らの障害受容と、新たな人間関係を構築している。これらを基盤として卒業後の家族、同業者、あるいは公的機関等からの様々なサポートを受けるとともに、周囲の環境からの影響も受けながら、施術

所の経営を実践していることが示唆された。

すべての対象者が視覚障害を持つことで、あはき業に携わるようになったことを語っており、2008年の矢野らの調査³⁾と相違しない。しかし、国家資格取得に向けては各対象者が苦勞しながらも意欲的に学習を進めていたことが、学校卒業、資格取得へと繋がり、「周囲のサポートに関すること」「施術所と設備に関すること」という帰結に達しているのではないかと考えられる。

2. 加藤康昭氏データについて

結果で示したように、「師匠の教え」「検定試験・免許取得の状況」「実技の稽古」「講習所・学校の状況」の4つのコアカテゴリーが見出され、それぞれカテゴリー関係図を構築することができた。

「師匠の教え」に関わるカテゴリー関係図(図5)では、この面接での聞き取り対象となっている明治末期から大正にかけても、師匠に入門し、技術を学ぶという徒弟制が続いていたことが、その語りから明らかとなった。また、その入門の時期については12歳前後で、7年程の修行ののち、1年のお礼奉公を終え、21歳前後で独立というのが一般的であったことも分かる。

師匠は、弟子に対して生活全般の指導を行いつつ、あん摩の実技指導に力を入れており、それは一早く現場に出し稼ぐことができるようとの思いを垣間見ることができる。その営業の中で、流しによる収入は師匠にとっては大きく、でしにとっては施術経験を積む場となり、仲間との交流の機械にもなっていたことが語られている。また、弟子の稼ぎに対して1割の歩合を支払うということは、一般的であり、それにたいする不満が語られていないことは注目すべきことである。考えられることとしてはその1割の歩合というのが当時の一般的価値観として共有されていたということ、あるいは弟子が師匠に対する尊敬、敬いの気持ちが強かったことなどが考えられる。

「検定試験・免許取得の状況」に関わるカテゴリー関係図(図6)で、明治44年の内務省令以後あはきの免許取得に検定試験の受験が必要になったことで、それまでの徒弟性に変化がしょうじて来たことが分かる。検定試験の受験条件として、4年間師匠について修行をしたとの証明が必要とされ、師匠によっては弟子として指導していない者にたいしても金銭と引き換えに証明書を発行していたことが語りから明らかになっており、それも師匠によっては収入源の一種になっていたことが推測できる。ちなみに対象となった4名のうちYK師は弟子入りせず、検定試験を受験している。

独立に際しては、この検定試験に合格し、免許を取得することが必須となり、開業する者は一定の基準をクリアできたという証明である免許を取得している者の、その収入については個人差が大きかったようである。

「実技の稽古」に関わるカテゴリー関係図(図7)では、その状況として挙げた「師匠の経験と状況」について、さまざまな語りが各対象者よりなされており、

弟子入りしたもののによって師匠の存在が大きかったことが推測できる。さらに、その師匠から習うあん摩や鍼は、師匠の施術そのものであり、師匠によりその方法や内容が異なっていたことが容易に想像できる。弟子入りしたものは感受性の高い10台を師匠の下で過ごすことで施術者自身の価値観や考え方に影響をもたらす、その中で施術者の独自の施術が身についていったことが分かる。

「講習所・学校の状況」に関わるカテゴリー関係図（図8）からは、徒弟制が担ってきた盲人の教育の場が学校へ移り行く、当時の状況に移している。当時の時代背景も反映し、盲人自身のさまざまな社会的な運動が活発となり、そのなかで学校の創設が相次いだ様子が各対象者の語りから明らかになっている。ただ、その学校と呼ばれるものについて、携帯、内容がさまざまであり、その室は玉石混合な状態であったことが推測できる。また、この当時から、学校で講師・教師を務めるものは盲人が多くいたことは、徒弟制度の影響も大いに働いている者と思われる。

3. 施術者12名および加藤康昭氏データに見出す共通点

「施術者12名」を対象に行った面接調査の分析結果および「加藤康昭氏データ」の分析結果について、それぞれ実施した社会的背景、聞き取りの対象としている内容が大きく異なることから単純に比較することは困難である。しかし、上記のようなそれぞれの結果を生じた背景には視覚障害を持つ者のアイデンティティ確立とコミュニケーション特性が強く作用していることが考えられる。

(1) 視覚障害者のアイデンティティ問題と、あはき業

アイデンティティとは大変多義的な概念であるが、静岡県立大学教授の石川准はその著書の中でアイデンティティとは「自分を世界の中に位置づけるあるいは分類すること」²⁰⁾と述べている。つまり「自分」がどこに所属し、どのような活動を行い、どのような人とのネットワークを持っているのか等を指す。人は生まれながらにして、このアイデンティティを管理する手段として、石川²⁰⁾は「存在証明」を行うことになるのだと訴える。これは各人が実感として持っているように、人はあらゆるところから評価され、そこで評価を求めることになる。つまり、家庭や職場、地域あるいは国等、自らが所属する組織や集団が常に存在証明を求めているということが出来る。よって我々は自身の価値を証明する存在証明に励むことになる。ここでいう「存在証明」とは「自らが価値ある人間であり、特別な存在だということを周囲の人々に訴えるすべての活動」²⁰⁾のことを示している。

もちろん、これは例えその個人が何らかの障害を有していたとしても同様なはずなのであるが、実際には異なり、それは「障害者」というカテゴリーが存在することに端を発している。

アイデンティティが形成されていく過程において自らがどこに所属するかということは大変重要なことである。つまり「私たちは自分が所属している集団によ

って自分を分類しようとし、そして自分を価値付けたり、自分の尊厳を支えようとしたりします。」²¹⁾とされており、自らの所属する集団の中で能力を発揮することで、自分を世界の中に秩序付けようとしているのである。

ということは、心身の機能に通常とは異なる点が生じた場合「障害者」という集団に所属することになり、ここで自らの存在証明をしていくことになる。この「障害者」というカテゴリーの特性は、本人の意思とは関係のないところで、社会によって強制的に所属させられてしまうところにある。これは学校や職場のように自分の意志と努力で所属、脱退が選択可能なものとは異なり、ジェンダーや民族、あるいは国家と同様で自らの意志で選択が困難な集団である。こうして、ある条件を満たせばその社会により強制的に所属させられる「障害者」という集団は、その個人のアイデンティティ形成に影響を与えることは容易に想像できる。この具体的な影響を考えるために「障害者」という集団が生じてきた背景を考えてみたい。

星加良司²²⁾は「障害者」という集団は「残余、つまり残り物の寄せ集めのカテゴリー²²⁾」と表現している。つまり社会にとって有用な身体から逸脱している人々を包摂するカテゴリーとして「障害者」という集団が存在しているというのである。ここでいう社会的な有用性とは様々な社会的因子によって規定されることになるが、一般的には仕事をして生産活動に従事しているということである。

また、一方で「障害者」という集団には社会のリスク管理という側面もある。それは社会生活を送る人々が安全に過ごすため、その安全を脅かすような行為を禁止し、リスクが高いと見なされる人たちを管理するといったことが行われるなかで、社会から逸脱した人々を「障害者」として特別な扱いを強いたのである。

こうした歴史的経緯を経て作られた「障害者」という集団に強制的に所属させられた人たちは、その否定的な意味付与を通じて自分のアイデンティティを形成していかざるを得なかったのである。

これが「障害アイデンティティ²²⁾」ともいうべきものであり、それを形成していく中で障害当事者は、自らの「障害」の肯定と否定、あるいは肯定と克服という態度を並存させているとされる。そして「障害」が肯定されるべきものか克服されるべきものかといった問いに対しては、星加²³⁾が次のように述べている。

「スティグマとしてのインペアメントやディスアビリティに照準すればそれはまさに克服すべき対象である。一方、差異のとしてのインペアメントに照準すると、「障害」は特定の条件を形作るのであって、その価値的な評価は本来多様であり得る。それを肯定して受け入れる生き方も、それを否定して改変しようとする生き方も、障害者のアイデンティティを肯定的に形成していく過程の1つのバリエーションであり得る。」²³⁾

例えば、一般的に視覚に障害があると自力での移動が全くできず、日常生活の

あらゆる場面で介助が必要であるというのがスティグマである。この社会の中で形成されたスティグマに基づき付与されたインペアメントやディスアビリティに対しては、その克服は比較的容易である。つまり移動は白杖を使用したり盲導犬を使用することで自力歩行も可能であり、日常生活も補助具の使用や工夫によりほとんどのことができることを当事者が実践すればよいからである。

これに対して視力が 1.0 の人と、0 かそれに限りなく近い人とでの差，すなわちインペアメントをどのように克服していくかは，周囲の要求と，本人がその要求を肯定的に受け入れるのか，否定するのか，その個人のアイデンティティに大きく関わる。もし社会からの要求を否定した場合は，「障害者」自身がその要求（評価項目）を提示し，自らを価値付けていくことになる。これが「障害アイデンティティ」形成の過程であり，非常に多彩なバリエーションをもたらす要因となっている。「視覚障害者」について見ると，前述した「障害アイデンティティ」の特性に加え，職業における自己確立の要素がそのアイデンティティに影響を及ぼしていることが考えられる。

今回の調査では，施術者 12 名に対する面接結果から見出されたカテゴリー関係図のうち「患者とのコミュニケーションの状況」に関わるカテゴリー関係図（図 2）で，施術者自信が「仕事への満足度」「施術者としてのやりがい」「施術者としての充実感」という感覚を得ていることが明らかになった。これは施術所を開業し，あはき施術を継続する中で自己を確立でき，自らを肯定的に受け入れることになる。結果「差異としてのインペアメント」に対する社会からの要求を肯定的に受け入れ，改変するエネルギーとしていることが分かる。これと同様な行為は，加藤康昭氏データの分析から得られた各カテゴリー関係図からも読み取ることができるが，そもそも施術者の思いに焦点を当てた質問が少ないことから具体的な語りをあげることはできない。しかし，「師匠の教え」「検定試験・免許取得の状況」「実技の稽古」「講習所・学校の状況」というそれぞれのカテゴリー関係図において，社会の状況が急速に変化する中で，盲人（視覚障害者）自信が積極的に，その社会の中で自らの位置を確保している様子を読み取ることができる。

よって，「施術者 12 名」を対象に行った面接調査および「加藤康昭氏データ」の分析から，視覚障害者は仕事があることで自らの障害をポジティブに捉え，場合によっては利用し，社会にその存在位置を確保する努力を継続しているという共通的な行為の存在が示唆され，それが職業継続の要因にもなっていることが考えられる。

(2) 視覚障害者のコミュニケーションと，あはき業

次に視覚障害のコミュニケーションに焦点を当て考えていくことにする。

さて，コミュニケーションという言葉は，日常的に使用されているが『社会学小辞典』²⁴⁾によると次のように記されている。「コミュニケーションとは「身振り，言葉，文字，映像等の記号を媒介として，知識，感情，意思等の精神内容を伝達

しあう人間の相互作用過程をいう」。ここに記されているコミュニケーション過程とは「送り手」「チャンネル」「受け手」の3要素よりなる。つまり、精神内容を記号に置き換えて発信すること（送り手）、記号を運び伝えること（チャンネル）、記号を受け取り精神内容に復元すること（受け手）がコミュニケーションには不可欠なのである。

コミュニケーションについて社会学的な視点でみようとするとき、その基礎的理論を提供してくれるのはジョージ・H・ミード²⁵⁾である。その著書『精神・自我・社会—社会的行動主義者の立場から』によれば、コミュニケーションの現場において「身振りのみが個体間のやり取りとして現実として存在する」という。つまり、彼がいうコミュニケーションとは個体相互の動作のやりとりによって進行するものであり、ある個体の身振りの意味を決めるのはそれに対する他の個体の反応である。よって「送り手の行為の」の意味が「受け手の反応」により決定することになる。こうした「身振り（記号）」に媒介され進行する相互適応がコミュニケーションの一義である。さらにミード²⁵⁾は「言語」も「身振り」の一種と考える。これは「有声身振り」(vocal gesture)と呼ぶ。有声身振りは相手に聞こえるように自分自身にも聞こえることで、相手にひきおこす反応を同時に自分自身の中にもひきおこすことができるとされる。結果として自らに他社の反応を取り込むことができ、自分の発する言語の意味を意識できる。そして、このような反省的なメカニズムが自我意識の発生の基盤となる。つまり、ミードは身振りを通したコミュニケーションプロセスから自我が生じていくことを指摘しているのである。

このミードの他、社会学的にコミュニケーションについて重要な示唆を与えてくれるのはユルゲン・ハーバーマス²⁶⁾である。彼は、その著書「コミュニケーション的行為」において、コミュニケーションは合理的な討議を通じて互いが了解して根拠を持ち合意に達することと訴えた²⁷⁾。そのため問題を金銭によって解決したり、権力によって問題を解決したりということは良しとしないのである²⁸⁾。これに対して、ゲオルク・ジンメル²⁹⁾は相互作用の立場から、対話を始めてしまうと楽しみが減少してしまうと言う遊戯のコミュニケーション³⁰⁾を主張する、それは結合と分離を揺れ動くとされる。つまり、分かり合い合意を目指すこと（結合）が関係を行き詰らせてしまうことがあり、秘密を守り、冷淡に距離を取ること（分離）が関係を続けコミュニケーションの喜びを生むのだという。そして、このジンメルと同様、相互作用の立場で人と人との対面的状況における行為のパターンを詳細に分析・体系化し、相互行為の場での儀礼的要素を抽出してその社会的機能を明らかにしようとしたのがアーヴィング・ゴフマン³¹⁾³²⁾である。この理論において相互行為は演劇になぞらえ、個人を演技者とする。よって、社会を構成する各個人がその中で演技者として、その振る舞いが判定される基準を守って行動しているという印象を維持することにあるとされる。ここで重要な働きをしているのが挨拶や握手、礼儀正しさ等の儀礼で、個人にとってその演技を他人に見ら

れる機会となっている。そして、周囲の人の協力によって演技を全うすることで自尊心を感じることができるのである。ただ、一方で、儀礼と演技の秩序は、そこからはみ出したものを容赦なくその社会からはじき出すことに躊躇しないのである。

「コミュニケーション」の意味と社会学的な理論について述べてきたが、視覚障害者にとって、その軽重、障害を受けた時期等各人の障害の状態により影響は異なるが、コミュニケーションにバリアが存在していることは明らかである。以下ではコミュニケーション過程に沿って具体的に考えてみる。

【送り手】

この過程では、精神内容を記号に変換することが必要である。視覚障害者にとっては使用できる記号に制限が生じる。つまり、文字、イラスト、映像等視覚を必要とする記号は使用できないか、できたとしても単純なものになってしまう。よって使用できる記号は言葉、音声、文字（点字、活字）に加え、準盲や弱視者では映像やイラストの一部ということになる。

【チャンネル】

この過程では「送り手」で変換した記号をどのような手段を使用し、「受け手」に伝えるかということが問題になる。やはり視覚障害があることにより使用できるチャンネルも制限される可能性はある。だが、「直接対話」「電話」「郵便」といったチャンネルを使用することにより、変換できた記号は確実に送ることができ、さらなる制限を受けることは少ないものと考えられる。そして、このチャンネルは視覚の状態が全盲から弱視まで差異はほとんどないが、各人の能力の差による差異が生じている可能性がある。

【受け手】

「送り手」で使用可能として挙げた記号については視覚に障害があっても概ね受け取ることができる。しかしながら、それ以外の記号については、受け取ることが不可能か大きな制限を受ける。このように視覚に障害があることで、コミュニケーションの3つの過程すべてにおいて制限を受けることになり、コミュニケーションは先天性の全盲＞後天性の全盲＞準盲＞弱視の順で、言葉や音声にウェートを置いたものとなる。

典型的にはパーソナル・コミュニケーション以外では、「チャンネル」「受け手」の過程において制限が拡大する傾向がある。さらに社会学的な理論から見た際に、特にミードの理論において視覚障害者自身は「有声身振り」を使用することはできることも多い。しかし、受け手として相手の身振りの意味を受け取ることは視覚障害が重度になるほど困難なことが多く「意味の共有」が不十分になる。その結果コミュニケーションプロセスに歪みを生じ、自我の形成にも影響を与えていると言わざるを得ない。それが如実に現れた状態が「バーバリズム（唯言語主義）³³⁾」である。これは実体や具体的経験を伴わないまま、言葉による説明だけで事物・事象や動作を捉えてしまっている状態であり、特に先天性の視覚障害者に生

じやすい傾向がある。

このような事態は、視覚による情報の収集が困難なことから、限られた情報や経験の範囲内で概念を形成することにあるとされている。つまりコミュニケーションの歪みによって「バーバリズム」が形成されて行くのであり、こうした傾向は先天性の視覚障害者のみではなく、視覚障害者全般にみられるコミュニケーションの「特性」と考えることができる。

こうした特性を背景として、過去には「自己中心性・依頼心³⁴⁾」というような視覚障害者に固有の性格が存在するとされていた。このように視覚障害者はコミュニケーションに関わる諸問題を内在することで、社会生活に困難さを感じる場面が多いことは容易に想像できる。

一般的・社会的な立場からコミュニケーションを捉え、視覚障害者にとっては課題が多いことについて述べてきた。ここで、「施術者 12 名」を対象に行った面接調査の結果から考えると、施術者として独立開業している者はコミュニケーションに関する課題を克服している様子が次のことから示唆される。

それは、「患者とのコミュニケーションの状況」に関わるカテゴリー関係図（図 2）で、患者とのコミュニケーションを通じて施術内容を振り返り・見直しながら方法を工夫したり、改善に繋がったりしている様子がみられたこと、「国家資格の取得」に関わるカテゴリー関係図（図 4）の「国家資格の取得」のため入学したあはき師養成施設での学習及び資格取得を通じた自らの障害受容と、新たな人間関係を構築していることである。

また、加藤康昭氏データの分析で明らかになったカテゴリー関係図の中で、特に「師匠の教え」に関わるカテゴリー関係図（図 5）で流しによる施術が、その対象者にとっては施術経験を積む場となり、仲間との交流の機会にもなっていたことが語られていたことから、言い換えれば流しは、コミュニケーションの訓練の場となっており、開業独立後の患者対応に活かされていたのではないだろうか。

視覚障害者にとっては課題が多いコミュニケーションであるが、施術者として独立開業するうえでは、その克服に向けた工夫と努力が必須になることが施術者 12 名および加藤康昭氏データの分析結果から見出された。

4. 本研究の限界と展望

本研究の結果は、茨城県内に在住する視覚障害を有する施術者兼経営者 12 名を対象に行った面接調査と加藤康昭氏のデータを質的に分析することで得られた。

今後の課題としては、まず、今回得られた施術者 12 名の結果を元に、晴眼施術者に対しても同様の調査を行うことである。そうすることで、本研究の結果との比較が可能になる。また、視覚障害者を対象にした面接調査においても、年齢、施術所開業継続年数、そして地域性を考慮した調査研究を実施することで、あはき師養成や卒後教育にフィードバックできると考える。さらに、加藤康昭氏のデータに沿った詳細なインタビューガイド（質問計画書）を作成し、面接調査を実

施することで、現代の視覚障害者にとってのあはき業の位置づけや、存在意義を明らかにできるのではないかと考える。

あはきの分野においては、アンケート調査を中心とする量的研究が一定数存在するものの、質的研究についてはほとんど見られないのが現状である。しかし、質的研究は、量的研究で数量化できないために扱われない対象者の会話や観察などをデータとして扱うことができるため、参加者の経験と生活世界の説明理解を深めて、データから理論を生成することができる。このことから、人と人の相互行為で成り立っている、あはき分野は質的研究の対象として適していると考ええる。

ただし、質的研究の性格上、研究者の存在そのものを研究の道具として捉えると言われるように、その経験が研究結果にも影響を及ぼすこともある。筆者自身も今後経験を重ね、より質的に高い研究ができるよう努力していくとともに、あはきの分野において質的研究が活発に行われるよう、その魅力を伝えることに力を注いでいきたい。

VI 結 論

- ・施術所経営について、その厳しい現状が語られる一方、その具体的な改善策についての語りは見られなかった。
- ・視覚障害者は社会の状況が変化する中でも、あはきを行とすることで自らの障害を前向きに捉えることができ、社会にその存在位置を確保する努力を継続してきており、これが職業継続の要因にもなっていることが示唆された。
- ・視覚障害者が施術者として独立開業するうえで、視覚障害に起因するコミュニケーション問題の克服に向けた工夫と努力が必須になることが見出された。また、開業後は特に患者との相互関係を通じて自らの施術内容や方法を振り返り、改善につなげている様子が見られた。

謝 辞

本研究の実施および修士課程研究報告の執筆にあたり、終始暖かい激励とご指導、ご鞭撻をいただきました筑波技術大学技術科学研究科 藤井亮輔教授に心より感謝申し上げます。藤井教授には、研究の手順から分析にいたるまで貴重なお時間を割いてご指導いただきました。心より厚くお礼申し上げます。

研究の実施において、貴重なご指導とご助言をいただきました 筑波技術大学技術科学研究科 石崎直人准教授に心より感謝申し上げます。

研究の実施にあたり、手順から分析に至るまで細部にわたるご指導をいただきました筑波技術大学技術科学研究科の各先生方に心より感謝申し上げます。

研究を実施するにあたり、対象者のリクルートでお世話になりました公益財団法人茨城県鍼灸マッサージ師会の役員の先生方、茨城県立盲学校同窓会事務局の皆様心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本研究の実施にあたり、インタビューを快く引き受けていただき、ご協力くださいました施術者の方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

<参考文献>

- 1) 藤井亮輔, 近藤宏, 坂井友実, 矢野忠. 全国施術書調査報告書 2014. 社会福祉法人 1 障害者支援総合センター (東京都杉並区). 2014 : 13-54.
- 2) 藤井亮輔, 矢野忠, 近藤宏, 福島正也. あん摩マッサージ指圧の受療状況と当該施術所の実態に関する調査研究, 平成 28 年度厚生労働科学特別研究事業報告書. 2017:8-34.
- 3) 矢野忠, 石崎直人, 藤井亮輔, 他. 鍼灸師養成教育機関に在籍する学生の鍼灸医療に対する意識と要望等に関する調査研究—卒業学年を対象とした調査—. 医道の日本. 2010 ; 69(3) : 96-102, 2010 ; 69(4) : 83-91.
- 4) Margaret D. LeCompte, Judith Preissle, with Renata Tesch. Ethnography and qualitative design in educational research . San Diego Academic Press . 1993:358-408.
- 5) Michael Quinn Patton. Qualitative evaluation and research methods (2nd ed.). Newbury Park, CA. 1990:277-368.
- 6) 戈木クレイグヒル 滋子. 質的研究法ゼミナール グラウンデッド・セオリー・アプローチを学ぶ (第2版). 医学書院. 2013:71-142.
- 7) 加藤 康昭. 盲人社会史研究. 未来社. 1974:599-605.
- 8) 坂部昌明. 鍼灸師とはり灸に係る法制度の変遷-医制成立から現在にいたるまで-. 社会鍼灸学研究. 2013:8:8-18.
- 9) 佐藤郁哉. QDA ソフトを活用する実践質的データ分析入門. 新曜社. 2008:24-57.
- 10) 佐藤 郁哉. QDA ソフトウェア入門. 新曜社. 2010:5-30.
- 11) Barney G. Glaser, Anselm L. Strauss. Strategies for Qualitative Research. Aldine. 1967:3-20.

- 12) バーニー・G. グレイザー, アンセルム・L. ストラウス. データ対話型理論の
発見—調査からいかに理論をうみだすか. 新曜社. 1996:1-37.
- 13) 戈木クレイグヒル滋子. グラウンデッド・セオリー・アプローチ 改訂版 理論
を生みだすまで. 新曜社. 2016: I.
- 14) Anselm L. Strauss. Qualitative analysis for social scientists. Cambridge,
England: Cambridge University Press.1987:305-312.
- 15) Barney G. Glaser. Basics of grounded theory analysis. Mill Valley, CA:
Sociology Press. 1992:1-15.
- 16) キャシー・シャーマズ. グラウンデッド・セオリーの構築:社会構成主義からの
挑戦. ナカニシヤ出版. 2008:3-17.
- 17) 木下康仁.分野別実践編 グラウンデッド・セオリー・アプローチ』弘文
堂.2005:1-15.
- 18) 灘光 洋子, 浅井 亜紀子, 小柳 志津. 質的研究方法について考える:グラウン
デッド・セオリー・アプローチ, ナラティブ分析, アクションリサーチを中心として.
異文化コミュニケーション論集. 立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科.
2014:12,67-84.
- 19) グレグ美鈴. 麻原きよみ. 横山美江. よくわかる質的研究の進め方・まとめ
方—看護研究のエキスパートをめざして. 医歯薬出版部式会社. 2007:46-87.
- 20) 石川准. アイデンティティ・ゲーム—存在証明の社会学. 新評論. 1992:5-13.
- 21) 石川准. 人はなぜ認められたいのか—アイデンティティ依存の社会学. 旬報社.
1999:5-10.
- 22) 星加良司. 障害アイデンティを越えるとは?:社会学的視点から. 東京大学大学
院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター. 2011:112-117.

- 23) 星加良司. 「障害」の意味付けと障害者のアイデンティティ「障害」の否定・肯定をめぐって. ソシオロギス. 2002 : 26:105-120.
- 24) 浜嶋朗, 石川晃弘, 竹内郁郎. 社会学小事典. 有斐閣. 1997.
- 25) ミード, 稲葉三千男, 滝沢正樹, 中野収訳. 精神・自我・社会—社会的行動主義者の立場から. 青木書店. 197:319-348.
- 26) ユルゲン・ハーバーマス. コミュニケーション的行為の理論 上. 未来社.1985:33-71.
- 27) ユルゲン・ハーバーマス. コミュニケーション的行為の理論 中. 未来社.1986:34-45.
- 28) ユルゲン・ハーバーマス. コミュニケーション的行為の理論 下. 未来社.1987:25.
- 29) ゲオルク ジンメル. ジンメル・コレクション. ちくま学芸文庫. 1999:259-268.
- 30) ゲオルク ジンメル. 社会学の根本問題—個人と社会. 岩波文庫. 1979:81-86.
- 31) E. ゴッフマン. 集まりの構造—新しい日常行動論をもとめて. 誠信書房. 1980:252-258.
- 32) E. ゴッフマン. 儀礼としての相互行為—対面行動の社会学. 法政大学出版局. 1986:7,35,51-81.
- 33) 香川邦生. 猪平眞理. 牟田口辰己大. 視覚障害教育に携わる方のために. 慶應義塾大学出版会. 2010:88-115.
- 34) 榊原清. 盲児の心理と教育. 金子書房. 1967:15.

図・表

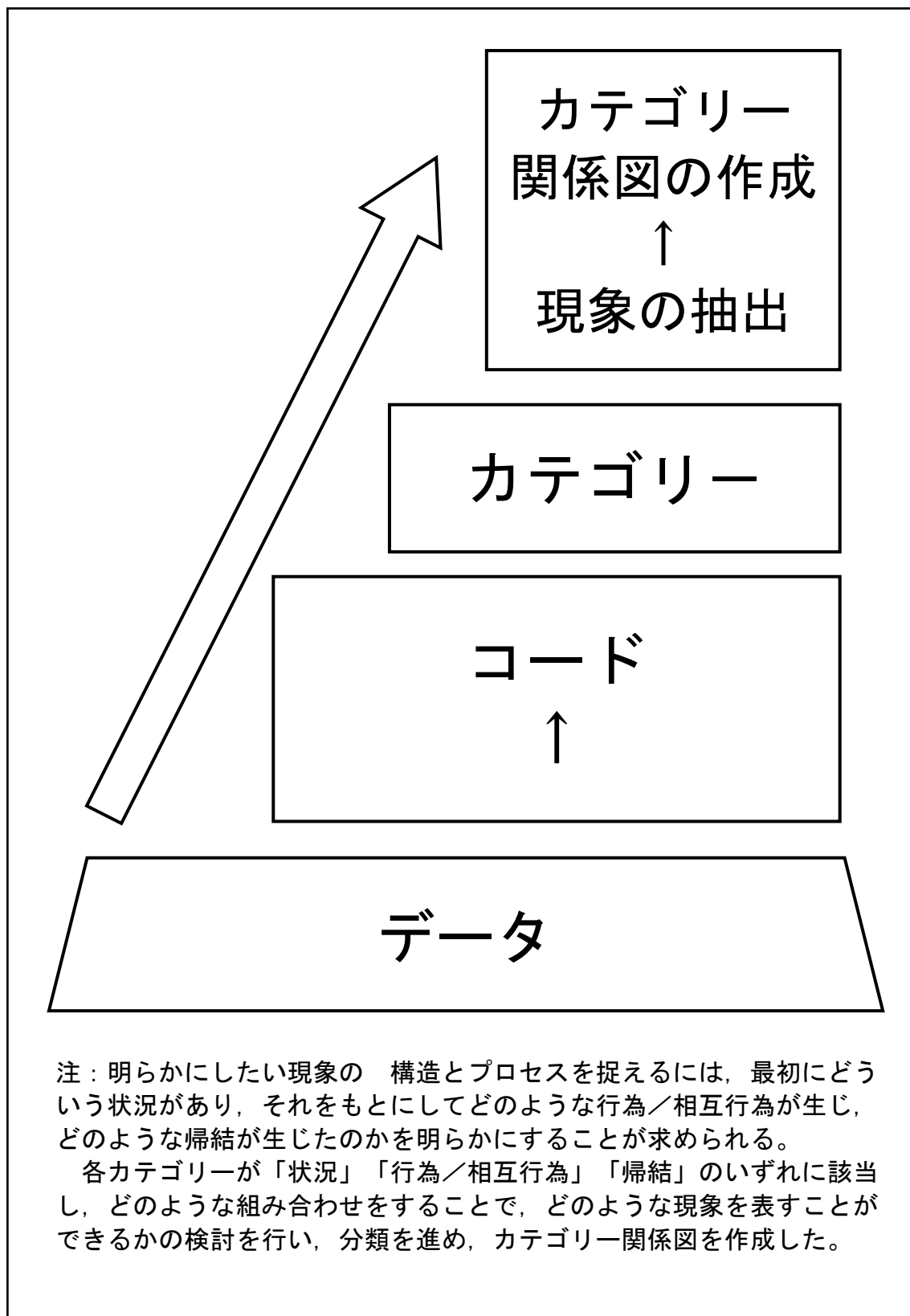
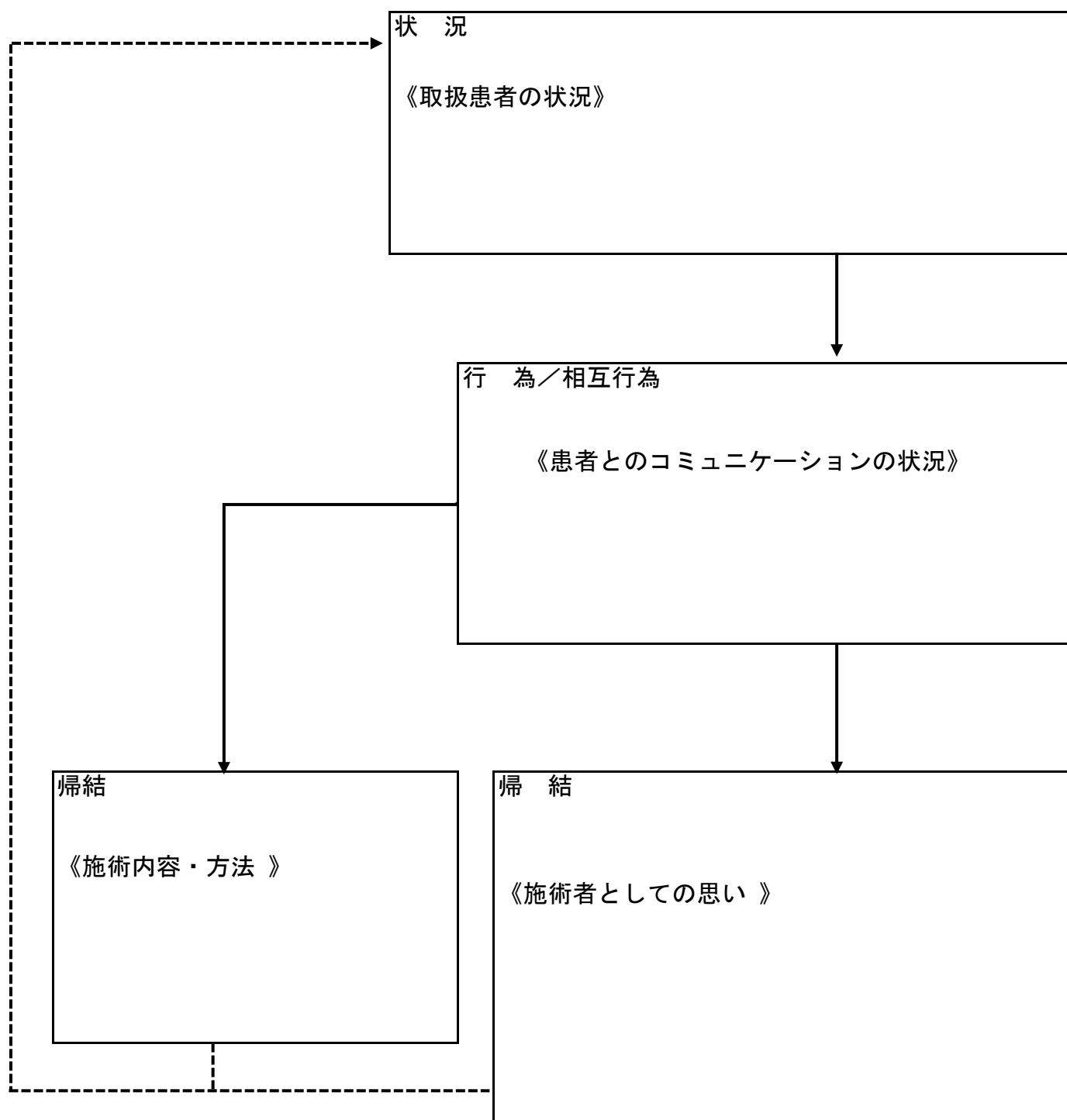
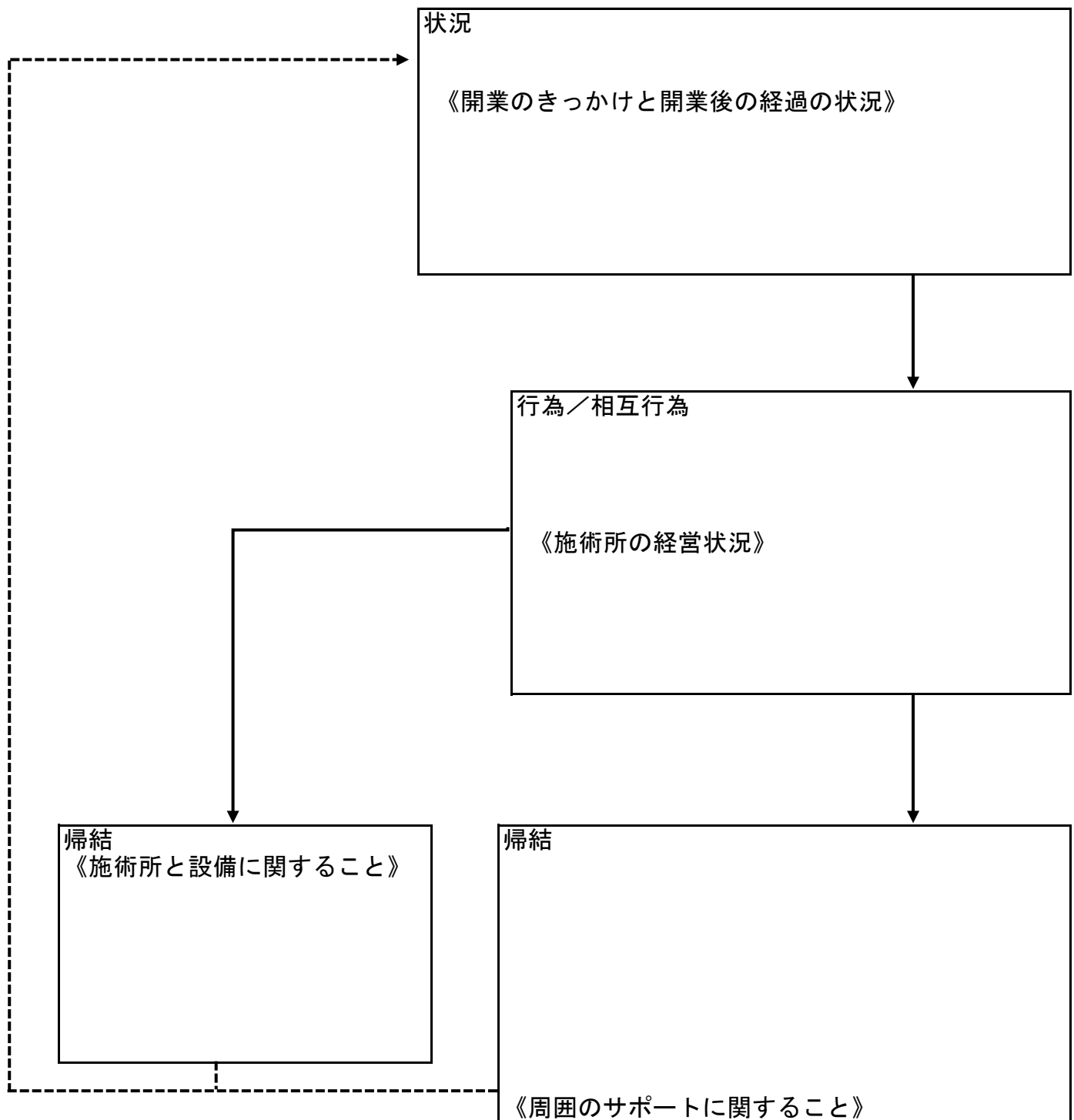


図1 分析の進め方



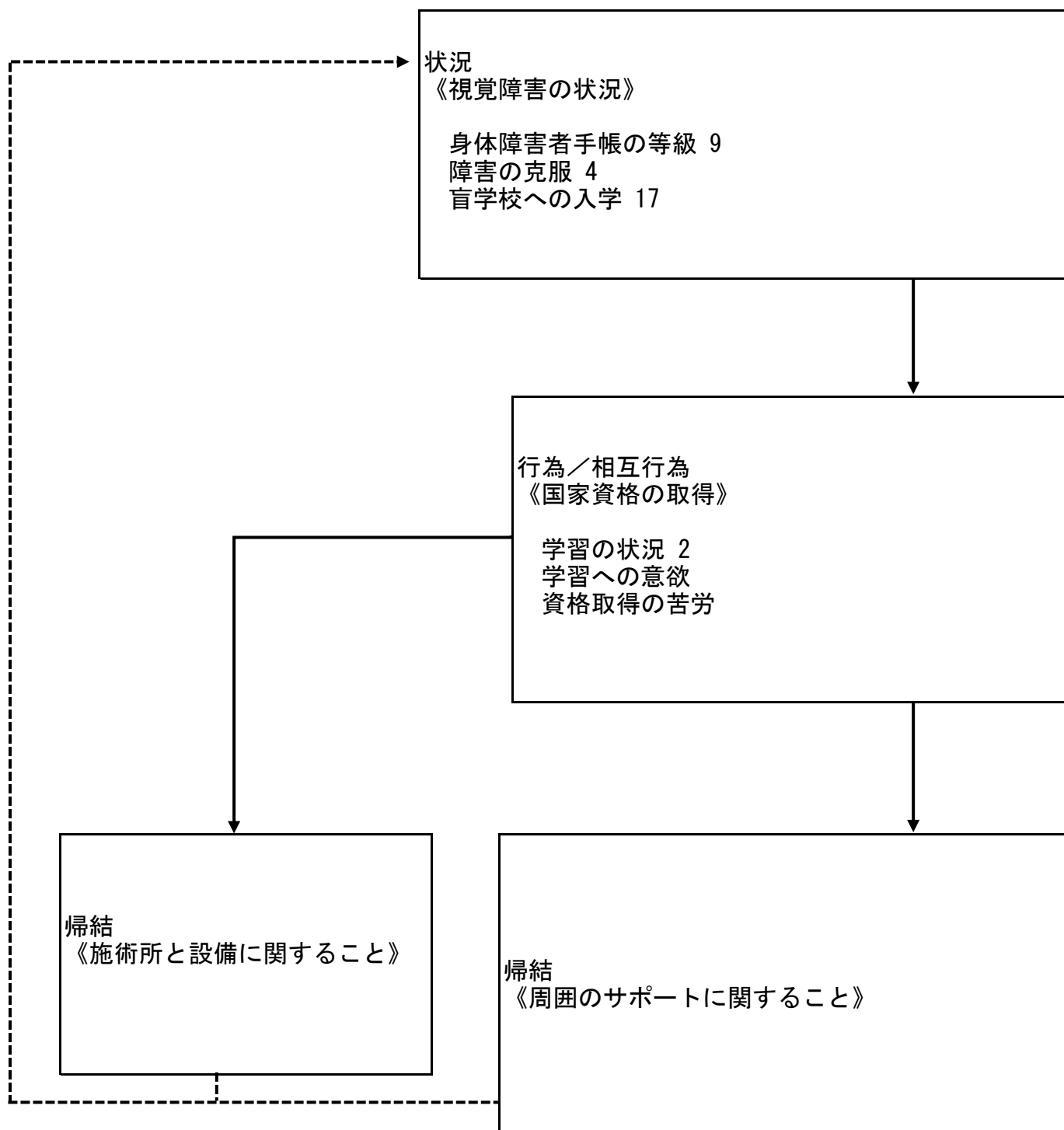
注：図は来院する患者（状況：取扱患者の状況）によって施術を行いながら患者とのコミュニケーション（行為／相互行為：患者とのコミュニケーションの状況）を通して，施術者自身が施術内容・方法を工夫したり，振り返ったり（帰結：施術内容・方法）している。さらに，施術を行うことで，施術者自身の充実感ややりがい（帰結：施術者としての思い）に繋がっている様子を表す。

図2 「患者とのコミュニケーションの状況」に 関わるカテゴリー関係図



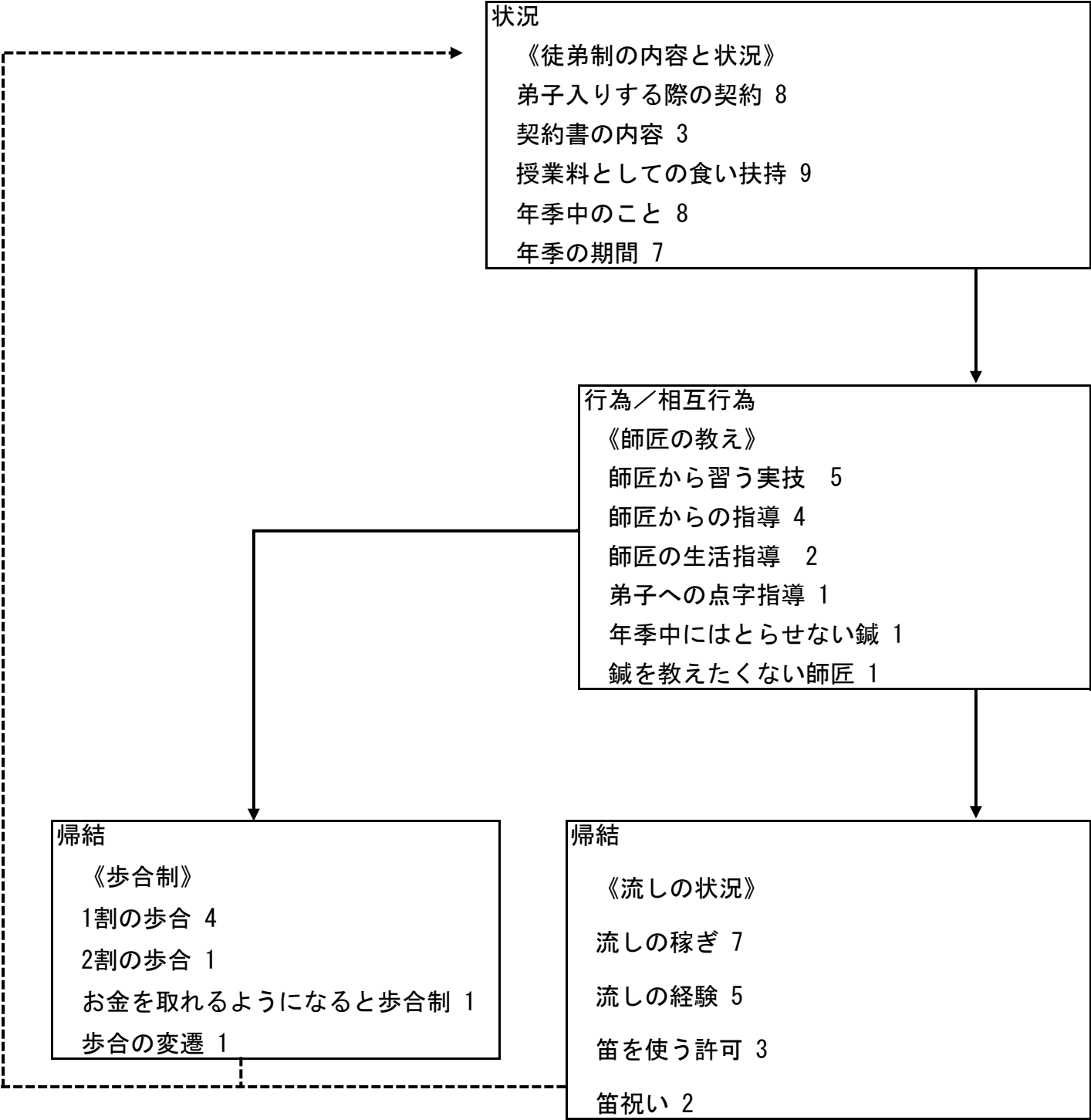
注：視覚障害があったこと，または視覚障害になったこと（状況：視覚障害の状況）であはき師を目指すことになり（行為／相互行為：国家資格の取得）を通じて，障害の受容や新たな人間関係を構築することによって，開業した際の施術所や使用する道具を工夫（帰結：施術所と設備に関すること）したり，周囲の人からサポートを受けたり，公的なサービスのサービス（帰結：周囲のサポートに関すること）を受けている様子を表す。

図3 「経営状況」に関わるカテゴリー関係図



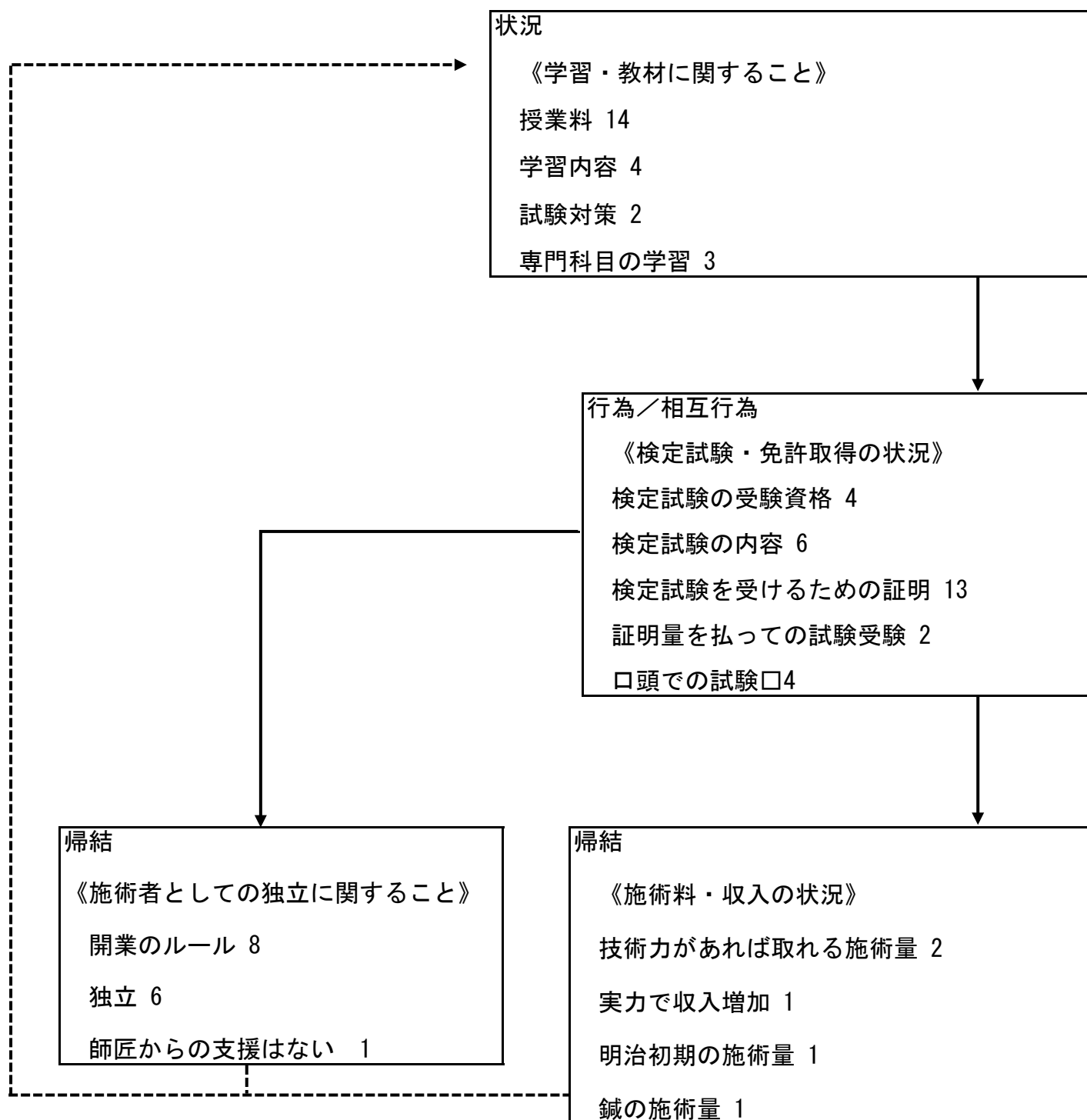
注：視覚障害があったこと，または視覚障害になったこと（状況：視覚障害の状況）ではあはき師を目指すことになり（行為／相互行為：国家資格の取得）を通じて，障害の受容や新たな人間関係を構築することによって，開業した際の施術所や使用する道具を工夫（帰結：施術所と設備に関すること）したり，周囲の人からサポートを受けたり，公的なサービスのサービス（帰結：周囲のサポートに関すること）を受けている様子を表す。

図4 「国家資格の取得」に関わるカテゴリー関係図



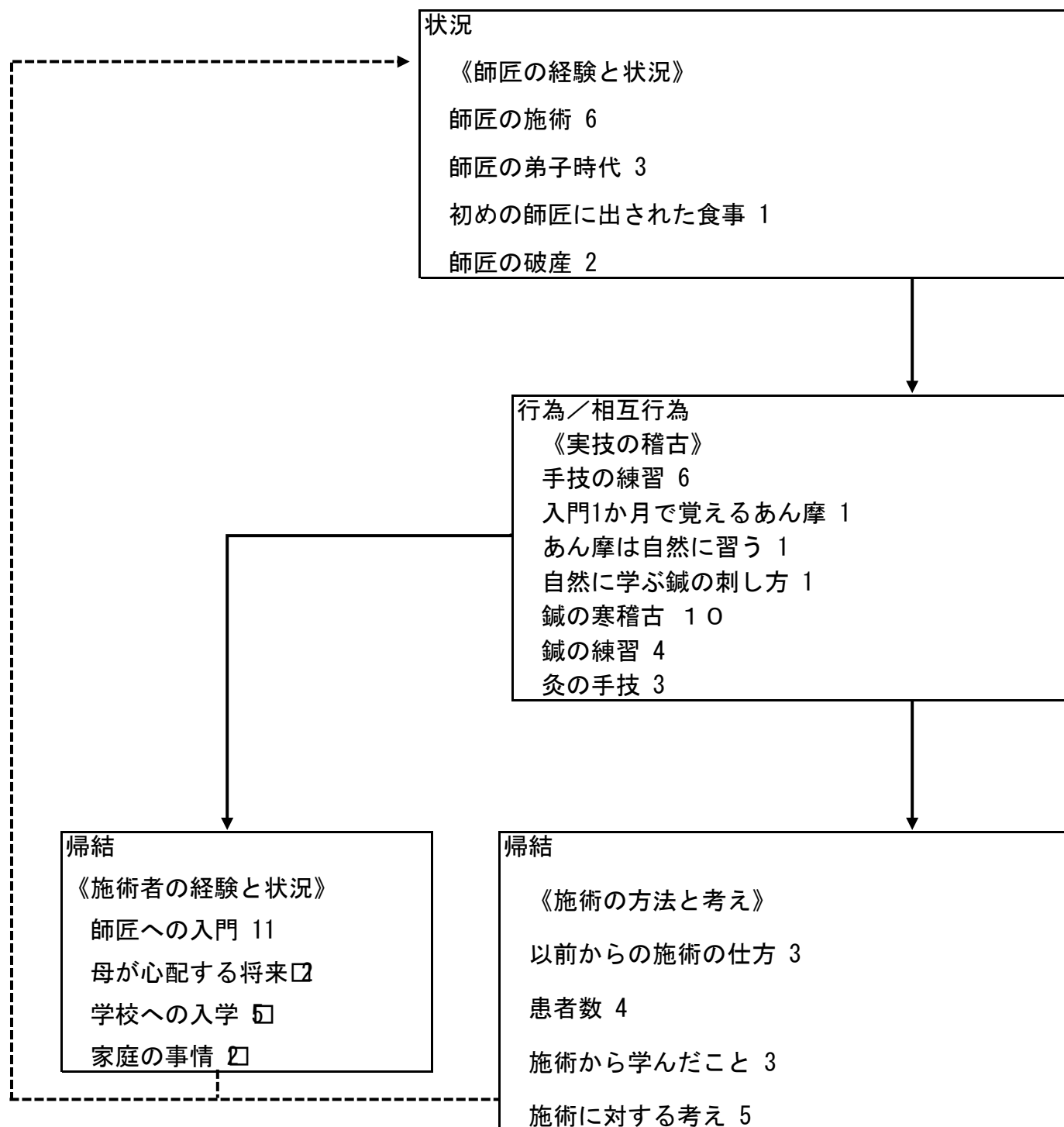
注：図は徒弟（状況：「徒弟制の内容と状況」）に入ること、師匠からの様々な教え（行為／相互行為：「師匠の教え」）を受けることができた。その結果として施術者に歩合による収入（帰結：「歩合制」）をもたらす、流しによる施術の経験（帰結：「流しの状況」）を得ることができた様子を表す。

図5 「師匠の教え」に関わるカテゴリー関係図



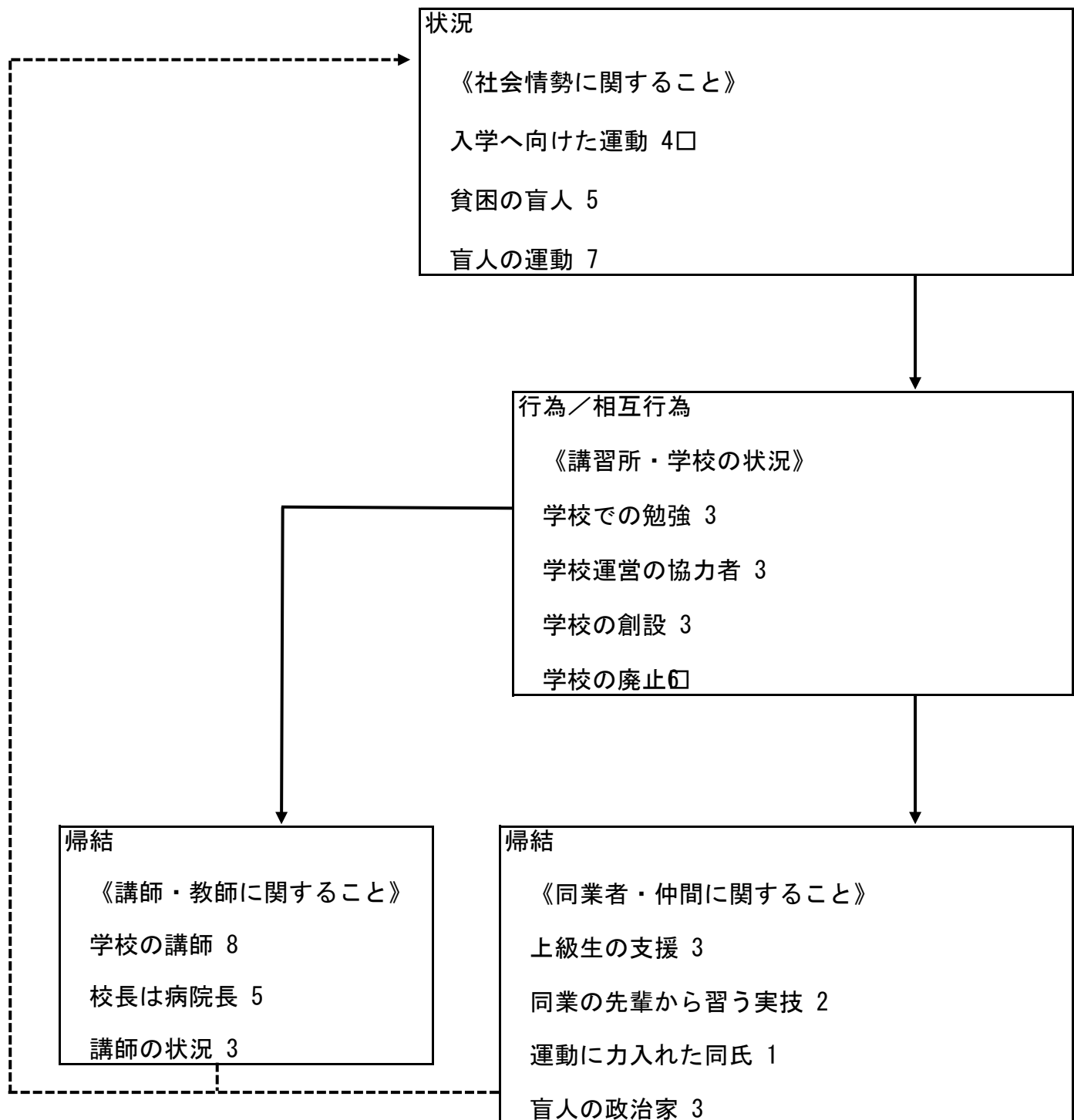
注：図は検定試験受験に向けての学習を工夫し（状況：学習・教材に関すること）、検定試験を受けて免許を取得し（行為／相互行為：検定試験・免許取得の状況）、施術者として独立（帰結：「施術者としての独立に関すること」「施術料・収入の状況」）していった様子を表す。

図6 「検定試験・免許取得の状況」に関わるカテゴリー関係図



注：図は師匠に入門し生活を共にする中で（状況：師匠の経験と状況），按摩や鍼の実技を学び（行為／相互行為：実技の稽古），施術者に影響をもたらすとともに施術を身に着けていった（帰結：「施術者の経験と状況」「施術の方法と考え」）様子を表す。

図7 「実技の稽古」に関わるカテゴリー関係図



注：図は目まぐるしく変化する社会の中で（状況：社会情勢に関すること），学校の創設や盲人の運動が活発となり，学校への入学を目指す盲人も増加した（行為／相互行為：講習所・学校の状況）。その結果として優秀な講師や仲間が育成されることになった（帰結：講師／教師に関すること」「同業者・仲間に関すること）様子を表す。

図8 「講習所・学校の状況」に関わるカテゴリー関係図

表 1 対象者背景 (1)

対 象	性 別	年 齢	インタビュー時間 (分)	データサイズ (byte)	データ文字数
1	男	65 歳	56	20, 238	10, 066
2	男	50 歳	57	28, 712	13, 808
3	男	71 歳	65	25, 169	12, 503
4	男	43 歳	80	21, 405	10, 666
5	男	66 歳	63	17, 922	8, 819
6	男	82 歳	61	18, 700	9, 305
7	男	61 歳	68	30, 430	15, 194
8	男	76 歳	72	21, 965	10, 889
9	男	70 歳	88	29, 322	14, 579
10	男	65 歳	68	21, 929	10, 903
11	男	48 歳	75	39, 889	19, 715
12	男	63 歳	77	29, 361	14, 505
平 均	—	63 歳	69. 17	25, 420. 17	12, 579. 33

表 2 対象者背景 (2)

対 象	開業継続年数	年 収	身体障害者手帳の等級	仕事に対する満足度
1	33	10, 000, 000	1 種 1 級	80%
2	26	4, 000, 000	1 種 1 級	85%
3	48	2, 400, 000	1 種 1 級	55%
4	9	2, 600, 000	1 種 2 級	－
5	14	3, 500, 000	1 種 1 級	80%
6	55	10, 000, 000	1 種 1 級	－
7	29	2, 400, 000	1 種 1 級	70%
8	16	3, 400, 000	1 種 1 級	100%
9	39	2, 200, 000	1 種 1 級	80%
10	35	1, 000, 000	1 種 2 級	80%
11	8	6, 000, 000	1 種 1 級	75%
12	21	4, 000, 000	1 種 1 級	－

表3 コードの種類および抽出状況

カテゴリー	コード	対象者1	対象者2	対象者3	対象者4	対象者5	対象者6	対象者7	対象者8	対象者9	対象者10	対象者11	対象者12	計
営業環境に関すること	収入増加への努力	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	フリーペーパーの効果	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	社会情勢	2	0	9	1	1	1	0	0	8	3	7	1	33
営業環境に関すること	業界全体の好景気	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	融資した金額	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
営業環境に関すること	周辺環境	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4
営業環境に関すること	地域の集会場	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	同業者との関係	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	14	0	16
営業環境に関すること	検番制度	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	共同経営の終焉	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	さまざまな問題の出現	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	あはき師が置かれている状況の変化	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業環境に関すること	過去の営業モデルの終了	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	経営者としての仕事の終了	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	以前の職場の状況	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業環境に関すること	周辺の施術料状況	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	周囲環境の変化	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
営業環境に関すること	盲学校で事件の発生	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
営業環境に関すること	自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
営業環境に関すること	被害状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
営業環境に関すること	不正請求の実態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
営業努力に関すること	新たな取り組み	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
営業努力に関すること	広報活動	2	4	2	1	4	3	1	1	1	1	5	1	26
営業努力に関すること	過去の広報の方法	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業努力に関すること	広報の効果	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
営業努力に関すること	広報のコスト	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
営業努力に関すること	広報活動への戸惑い	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業努力に関すること	ブログの更新頻度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	ブログの効果	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	ホームページの効果	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

営業努力に関すること	口コミの効果	1	0	0	0	1	4	2	1	3	1	3	2	18
営業努力に関すること	チラシの効果	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
営業努力に関すること	折り込み広告の効果	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業努力に関すること	広告への期待	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	ホームページの作成	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業努力に関すること	音楽を通じての広報	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	音楽活動	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
営業努力に関すること	健康教室の開始	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	コンサートの内容	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	コンサートの回数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	依頼による演奏	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	イベントでの広報活動	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	コンサートの効果	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
営業努力に関すること	営業努力	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
営業努力に関すること	回数券の導入	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業努力に関すること	回数券の自作	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
営業努力に関すること	回数券利用者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	回数券の営業への貢献	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業努力に関すること	回数券	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
営業努力に関すること	コンサートの開催	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
営業努力に関すること	患者開拓	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	コンサート会場	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	営業努力の重要性	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
営業努力に関すること	営業努力の不足	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	施術結果を出すことが広報活動	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	患者の確保	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	信頼が患者を呼び込む	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	あはきへの理解促進	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	広報に対する考え方	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
営業努力に関すること	電話帳の効果	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
営業努力に関すること	地元企業との関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業	5	9	13	7	8	3	2	2	6	3	11	6	75

開業のきっかけと開業後の経過の状況	新規一転	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	1	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	7
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の意思	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	周囲からの勧め	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の決心	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	2	1	0	0	2	0	0	1	1	1	2	1	11
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	4	1	11
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業場所	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業場所の選択理由	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	0	1	0	3	2	0	0	0	0	0	2	1	9
開業のきっかけと開業後の経過の状況	患者受け入れの準備	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	営業日の変更	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
開業のきっかけと開業後の経過の状況	3人での開業	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人で開業することの困難さ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人で融資を受ける困難さ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	個人での開業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	それぞれの場所での開業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	営業形態の変化	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	高い利息	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	新たな融資	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	自宅での開業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の原点	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	卒業直後の開業	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	最初の開業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業当初の思い	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業のきっかけ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	地域性の問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の理由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの言葉	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	3	0	6	1	0	0	0	3	1	0	0	1	15
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	4	2	9	3	4	2	7	14	11	4	7	5	72
患者とのコミュニケーションの状況	院長への信頼	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

患者とのコミュニケーションの状況	安心感	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	3	4	5	3	3	2	1	2	0	1	2	4	30
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの学び	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	0	2	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	8
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの感謝	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
患者とのコミュニケーションの状況	コミュニケーション特性の把握	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
患者とのコミュニケーションの状況	患者との関係	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
患者とのコミュニケーションの状況	信頼関係の不成立	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
患者とのコミュニケーションの状況	あん摩の需要	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの指示	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	3	0	10
現在の施術料収入	保険収入	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
現在の施術料収入	施術料	2	4	4	4	4	2	2	2	2	4	6	5	41
現在の施術料収入	料金の値上げ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	料金体系	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
現在の施術料収入	年収	1	2	0	2	1	1	2	1	1	1	1	1	14
現在の施術料収入	自らの収入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	無報酬	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	一定の収入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	安い施術料	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
現在の施術料収入	地域内での取り決め	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
現在の施術料収入	施術料の検討	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	当時の施術料	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	施術料に対する考え方	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	6
現在の施術料収入	上げられない施術料	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	患者に合わせた料金設定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
現在の施術料収入	施術料の変遷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
現在の施術料収入	当時の収入	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
現在の施術料収入	鍼の施術料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
国家資格の取得	出身学校	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
国家資格の取得	資格取得	1	0	2	1	1	1	2	2	1	1	2	0	14
国家資格の取得	自由な学校生活	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
国家資格の取得	取得資格	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
国家資格の取得	過去の資格取得制度	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
国家資格の取得	資格取得の苦労	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
国家資格の取得	資格取得の年	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
国家資格の取得	学習の状況	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
国家資格の取得	学習への意欲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
仕事としてのあはきに関すること	生活の糧	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
仕事としてのあはきに関すること	視覚障害者の適職	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	人生も半ば	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	体力の衰え	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	社会への貢献	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術者としての満足感	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
施術者としての思い	家族の協力	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	6	0	14
施術者としての思い	研修	8	10	3	0	0	0	4	2	1	1	1	1	31
施術者としての思い	開業への自信	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
施術者としての思い	研修への意欲	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	進路希望	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

施術者としての思い	挫折	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	施術者としてのキャリア	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	5
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	1	4	3	2	2	3	6	3	1	2	1	5	33
施術者としての思い	施術者としての充実感	4	5	5	1	3	1	5	3	1	1	2	1	32
施術者としての思い	施術者への信頼	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	患者からのスタッフの指名													
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	スタッフの仕事	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
施術者としての思い	新人スタッフの優遇	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	3	3	0	0	2	0	0	1	1	0	4	0	14
施術者としての思い	スタッフの役割	7	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	9
施術者としての思い	スタッフとの信頼関係	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
施術者としての思い	施術者としてのプライド	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術者の支持	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	スタッフの専門性	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
施術者としての思い	スタッフ間のコミュニケーション													
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	期待外れ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	スタッフに求める力	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
施術者としての思い	技術力	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
施術者としての思い	院長としての責任	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	技術向上の意識	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	6
施術者としての思い	研修への参加	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	6
施術者としての思い	ベテランスタッフ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術者としての思い	一般スタッフ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	ベテランスタッフの条件	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	ベテランスタッフへの期待													
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	スタッフとして不適格	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	仕事への意欲	2	1	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	8
施術者としての思い	経営者としての誇り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	自らの変化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	スランプ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	施術者としての自信	1	2	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	12
施術者としての思い	職業継続の意思	2	2	2	1	1	1	0	2	1	0	0	2	14
施術者としての思い	時間の有効活用	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術者としての思い	ロールモデルとしての先輩の存在													
		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	進路への展望	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	0	11
施術者としての思い	自らの力を客観化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	継続的な探求心	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	基本的技術の習得	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	求人における苦労	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	求人誌への不信任感	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	目標とする先生の実在	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術の未熟さ	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
施術者としての思い	施術に対する迷い	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	尽きない物欲	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	卒業後の研修	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	開業までの仕事	0	1	0	1	2	0	0	1	1	1	4	3	14
施術者としての思い	職場の所在地	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	技術力の向上	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	鍼施術への自信	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	盲学校への入学	0	1	1	1	2	0	0	1	3	1	4	2	16
施術者としての思い	盲学校卒業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	研修内容	5	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	13
施術者としての思い	貴重な経験	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	研修生の内訳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	一人だけの全盲	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	自宅で仕事できるメリット													
		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	自宅から出での仕事	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	手段としての職業選択	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	施術者としての責任感	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3

施術者としての思い	家族への気遣い	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	業団体の仕事	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	経営者としての自信	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	施術者の自信	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	年齢	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
施術者としての思い	職業以外でやりたいこと の存在	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	社会的責任を果たした自 覚	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	気づいたら迎えた年齢	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	過去の求人状況	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術者としての態度	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
施術者としての思い	守秘義務	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術者としての思い	さ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
施術者としての思い	仕事量の制限	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	社会貢献的活動	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4
施術者としての思い	融資の返済	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
施術者としての思い	融資を受けるための取り 組み	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	共同経営の仲間	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術者としての自立	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	在学中の施術経験	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
施術者としての思い	バイト経験	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	施術向上への意欲	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
施術者としての思い	自己研修	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
施術者としての思い	セルフケア	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	技術の習得	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術者としての思い	後輩への思い	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4
施術者としての思い	経験の重要性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	見学者の訪問	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術に対する自信	0	0	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	5
施術者としての思い	病院での経験	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
施術者としての思い	側溝転落後の状況	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	専門学校受験の失敗	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	経理専門学校への入学と 挫折	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	視覚障害となった不安と 希望	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3
施術者としての思い	盲学校での学習	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
施術者としての思い	太っていた自分	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	盲学校への通学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
施術者としての思い	灸施術を受けた経験	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	視力による環境の把握	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術者の思い	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	以前の仕事の経験	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	業団体への所属	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
施術者としての思い	過去のスポーツ経験	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	後進の指導	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
施術者としての思い	開業できる技術力	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術者のキャラクター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	まとまった支出	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	盲学校への訪問	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	職業観	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	目標の明確化	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	施術者としての苦悩	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
施術者としての思い	自主的な訓練	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	視覚障害者としての工夫	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	家族環境の変化	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	周囲の説得で帰郷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術者としての思い	健康への不安	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
施術者としての思い	施術への意欲	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
施術者としての思い	自己研修の方法	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術者としての思い	目標の達成	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

施術者としての思い	スタッフからの信頼	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術者としての思い	在学中の研修	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術者としての思い	パソコンの仕様	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術者としての思い	初めての就業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術者としての思い	進路の決定	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術者としての思い	ストレスの解消	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術者としての思い	盲学校の状況	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
施術者としての思い	視覚障害から選択	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術者としての思い	地域の特性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
施術者としての思い	通学の状況	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術者としての思い	失望感	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
施術者としての思い	家族の状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
施術者としての思い	自力での移動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
施術者としての思い	通勤手段	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
施術者としての思い	実家の状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
施術者としての思い	実家の管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
施術者としての思い	地域の施術者間のコミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術者としての思い	インタビューへの興味	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
施術者としての思い	経営者の不当な扱い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
施術者としての思い	経営者の適性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術者としての思い	通常の仕事の限界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術者としての思い	自己のケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
施術者としての思い	盲学校のイメージの転換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
施術者としての思い	学会への参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
施術所と設備に関する こと	施術所の建設	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	5
施術所と設備に関する こと	ベッド数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	設備	3	3	5	1	4	5	2	4	2	1	2	1	33
施術所と設備に関する こと	使用鍼	2	3	0	1	0	1	2	1	2	0	0	0	12
施術所と設備に関する こと	道具への拘り	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
施術所と設備に関する こと	施術所の設備	2	3	4	1	4	5	2	2	2	1	2	1	29
施術所と設備に関する こと	不十分なインターネット 環境	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	物理療法機器の使用法	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所と設備に関する こと	立地の良さ	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術所と設備に関する こと	開業当時の設備	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	現在の施術所を建築	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	施術所の移転	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
施術所と設備に関する こと	物理療法機器	0	1	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	7
施術所と設備に関する こと	レーザーへの信頼	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	現在地への移転	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	施術室設置目的	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	施術室の広さ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	設備品の入手方法	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
施術所と設備に関する こと	自宅の構造	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

施術所と設備に関する こと	税金の査定	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
施術所と設備に関する こと	不利な立地条件	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	自宅の建築	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	使用機器のレビュー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術所と設備に関する こと	プレハブでの施術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術所の経営状況	経営の継続	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	人材育成	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
施術所の経営状況	雇用人数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術所の経営状況	最大雇用人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	気楽な経営	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	事務の仕事	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
施術所の経営状況	雇用条件	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
施術所の経営状況	当初の雇用条件	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	優秀なあん摩マッサージ 師	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	スタッフの雇用	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5
施術所の経営状況	現状とのギャップ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	人を雇用することの難し さ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	採用条件	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	最低条件	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	スタッフへの還元	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	給料体形	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
施術所の経営状況	優秀なスタッフを持つ誇 り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	経営方針	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
施術所の経営状況	経営に対する考え方	4	6	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	17
施術所の経営状況	経営者としての判断	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術所の経営状況	試行錯誤した時代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	経営者としての苦悩	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	場所代の節約	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	合理的思考	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	仕事の委託	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	必要コスト	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	個人経営の限界	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	経営方針の転換	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	施術所継続への意欲	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	人材の不足	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	地元のスタッフの採用	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	養成学機関への求人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	二人での経営	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	経営についての学習	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4
施術所の経営状況	経営についての興味のな さ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	保険の取り扱い	0	1	0	2	2	0	0	1	1	0	30	0	37
施術所の経営状況	営業時間	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	経営上の工夫	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
施術所の経営状況	今後の展望	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	4
施術所の経営状況	現在の状況	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	3人の決断	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	仕事の減少	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	現状の客観化	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	廃業へ向けての準備	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	これからの経営方針	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	ずさんな経営	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	経営の立て直し	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	漠然とした経営方針	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	今後の不安	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
施術所の経営状況	経営の大変さ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

施術所の経営状況	コスト意識	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
施術所の経営状況	休業日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
施術所の経営状況	鍼の納入方法	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術所の経営状況	見通しを持った経営	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術所の経営状況	往診料類みの施術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
施術所の経営状況	地域に合った経営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術所の経営状況	医師の判断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12
施術所の経営状況	他の市町村の状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術所の経営状況	経営のノウハウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
施術所の経営状況	往診の順	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術所の経営状況	当初の計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
施術内容・方法	患者のためになる施術	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
施術内容・方法	過去の施術方針	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術に対する考え方	2	4	3	3	3	7	10	4	7	1	5	8	57
施術内容・方法	患者から信頼を得ている自信	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	心がけ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	ローテーション	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	患者への配慮	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
施術内容・方法	施術内容	2	9	8	2	2	1	2	1	1	2	3	5	38
施術内容・方法	施術の工夫	2	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	7
施術内容・方法	施術のバリエーション	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術内容・方法	訪問による施術	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	5
施術内容・方法	院長の役割	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
施術内容・方法	合理的な施術	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	6
施術内容・方法	患者への情報提供	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
施術内容・方法	手技療法の導入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	研修内容	5	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	13
施術内容・方法	印象に残った患者	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
施術内容・方法	鍼の施術方法	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術方法	1	5	0	0	1	0	1	0	0	3	1	1	13
施術内容・方法	施術内容の変化	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術効果	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
施術内容・方法	実感できない施術効果	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	患者のニーズ	3	4	5	3	3	2	1	2	0	1	2	4	30
施術内容・方法	患者の反応	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	腹部への施術の重視	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	重視する所見	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	あん摩の施術効果	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	患者本人が変化を実感	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術内容・方法	患者に変化を実感してもらうことの重要性	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施術内容・方法	患者を向かい入れる準備	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	心地よい時間の提供	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	研修への参加	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	6
施術内容・方法	施術力向上の意欲	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
施術内容・方法	施術時間	0	7	1	0	1	1	0	0	1	0	3	2	16
施術内容・方法	別の施術コースを設定	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	患者の受付形態	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術時間の変更	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術内容・方法	連続の施術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	仕事の終了	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
施術内容・方法	患者へのサービス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	オイルマッサージの導入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	オイルマッサージのイメージ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	オイルマッサージの施術	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	小児鍼の導入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術効果なし	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	刺激量	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
施術内容・方法	鍼の効果	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
施術内容・方法	予約による施術	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	0	4	11
施術内容・方法	患者からの印象	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	採用した技術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

施術内容・方法	研修を生かした施術	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
施術内容・方法	業務内容	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	出張での開業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	鍼施術	0	1	2	1	0	2	1	2	1	1	1	0	12
施術内容・方法	灸施術	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	1	0	5
施術内容・方法	ホテルでの施術	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	10
施術内容・方法	出張先でのできごと	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	出張先との関係性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	次の予約	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	灸施術の内容	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	灸の施術効果	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	物理療法機器の使用効果	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	4
施術内容・方法	患者から予約の入るタイミング	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	尽くした施術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	改善しない症状	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	触察に対する自信	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	全力での施術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	来た順での施術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術の効果	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	皮内鍼の効果	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	サウナでの施術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	経絡治療との出会い	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	手技による施術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	独自の診断法の導入	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	診断法の試行錯誤	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	フィンガーテストとの出会い	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術の流れ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	症状による鍼の選択	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	経絡治療の試行錯誤	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	古典の解釈	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	施術上の思い込み	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	効果を出すことの重要性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	患者の興味の高さ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	適切なアドバイス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	自分の時間を大切に	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	診察の結果	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	目的を持った診察	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	家族のための施術	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術内容・方法	医学的常識の変化	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術内容・方法	医療機関との連携	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	5	0	12
施術内容・方法	適切な施術	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術内容・方法	患者の評価	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術内容・方法	信頼のおけるドクターとの連携	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施術内容・方法	自分の時間	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
施術内容・方法	あん摩施術	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術内容・方法	施術部位	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術内容・方法	施術時間以外の過ごし方	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
施術内容・方法	老人ホームでの施術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
施術内容・方法	老人ホームでの施術方法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
施術内容・方法	老人ホームの所在地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
施術内容・方法	デイサービスでの施術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
施術内容・方法	使用する灸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術内容・方法	自宅での施術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術内容・方法	レセプトの素性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
施術内容・方法	施術に対するイメージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
施術内容・方法	経営者の施術に対する考え方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
施術内容・方法	気を用いた施術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
施術内容・方法	気功への理解	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
施術内容・方法	施術への興味	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
施術内容・方法	〇リングとの出会い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

施術料以外の収入	施術所外での収入の確保	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術料以外の収入	副収入	0	2	1	1	2	0	1	1	4	3	1	1	17
施術料以外の収入	家族の収入	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
施術料以外の収入	年金の受給	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
施術料収入に関するこ と	収入への影響	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術料収入に関するこ と	収入が多かった時代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施術料収入に関するこ と	収入の減少	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
施術料収入に関するこ と	収入に対する満足度	1	1	2	0	1	0	1	0	1	1	1	1	10
施術料収入に関するこ と	月収	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
施術料収入に関するこ と	年収	1	2	0	2	1	1	2	1	1	1	1	1	14
施術料収入に関するこ と	収入の目標	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
施術料収入に関するこ と	以前の年収目標	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術料収入に関するこ と	最低限の収入目標	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施術料収入に関するこ と	収入に対する考え	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
施術料収入に関するこ と	計算できる収入源	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
施術料収入に関するこ と	収入の見込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
視覚障害の状況	障害の克服	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	4
視覚障害の状況	当時の視力の状態	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4
視覚障害の状況	失明	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
視覚障害の状況	視覚障害の原因	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	6
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	9
視覚障害の状況	視覚障害の状況	0	1	1	4	1	0	0	0	2	0	5	2	16
視覚障害の状況	視力障害となった時期	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4
視覚障害の状況	移動の困難さ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4
視覚障害の状況	右目の失明	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
視覚障害の状況	移動に問題なし	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
視覚障害の状況	盲学校選択の理由	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
視覚障害の状況	身体障害者手帳の取得	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
視覚障害の状況	衛生管理の難しさ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
視覚障害の状況	失明後の経過	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
視覚障害の状況	通常学校での苦労	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
視覚障害の状況	現在の視力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
視覚障害の状況	盲学校入学までの経過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
視覚障害の状況	移動手段の確保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
視覚障害の状況	盲学校への入学	0	1	1	1	2	0	0	1	3	1	4	2	16
取扱患者の状況	患者数	4	10	7	4	8	4	4	2	9	5	6	4	67
取扱患者の状況	患者データ	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	6
取扱患者の状況	新患者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	患者数の減少	1	0	1	0	2	2	0	0	0	4	0	0	10
取扱患者の状況	通院地域	1	2	1	0	1	1	0	0	1	0	0	2	9
取扱患者の状況	定期来院患者	2	1	1	1	2	1	1	2	1	3	4	1	20
取扱患者の状況	患者来院の頻度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	過去の患者数	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
取扱患者の状況	患者の状態	1	2	0	0	1	0	1	1	1	1	6	9	23
取扱患者の状況	通院の方法	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	鍼の希望	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
取扱患者の状況	患者の利益	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	症状のある患者の来院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	来院する患者の特徴	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
取扱患者の状況	来院状況	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
取扱患者の状況	長期来院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	鍼未経験の患者	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

取扱患者の状況	患者意識	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
取扱患者の状況	患者の高齢化	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
取扱患者の状況	新患の受け入れ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	患者数の増加	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
取扱患者の状況	出張先患者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	患者のプライド	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	来院方法	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	様々な患者	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
取扱患者の状況	少ない患者数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
取扱患者の状況	飛び込みの患者への対応	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	不明な患者数減少の理由	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	患者の年代	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	当時の患者数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
取扱患者の状況	高校生の患者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	世代を超えての受診	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	近所での話題	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	難しい患者との出会い	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	環境による患者数の増減	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
取扱患者の状況	肝炎の発見	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	患者の満足	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	重症な患者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	経過の確認	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	1日の患者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
取扱患者の状況	不安定な患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
取扱患者の状況	患者の病気が再発	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
取扱患者の状況	昔からの患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
取扱患者の状況	患者情報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
取扱患者の状況	月の患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
周囲のサポートに関する こと	親からの支援	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
周囲のサポートに関する こと	公的機関への信頼	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
周囲のサポートに関する こと	周囲からの支援	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	5
周囲のサポートに関する こと	公的な補助	0	2	0	2	3	0	1	1	0	0	8	0	17
周囲のサポートに関する こと	有力者の協力	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
周囲のサポートに関する こと	先輩施術者の支援	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
周囲のサポートに関する こと	助成券の仕組み	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
周囲のサポートに関する こと	第三者からの援助	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2

表4 対象者別カテゴリー抽出状況

カテゴリー名	対象1	対象2	対象3	対象4	対象5	対象6	対象7	対象8	対象9	対象10	対象11	対象12	計	含まれない人	含まれるコード数
視覚障害の状況	5	4	2	11	5	3	3	1	4	7	10	6	61	0	19
国家資格の取得	4	1	3	1	1	1	2	3	2	2	2	1	23	0	9
取扱患者の状況	11	27	12	8	15	9	8	8	18	11	17	17	161	0	45
現在の施術料収入	9	8	7	3	5	4	5	3	6	5	7	6	68	0	18
施術料以外の収入	1	2	1	1	3	0	1	2	4	3	3	1	22	1	4
施術料収入に関すること	4	1	6	2	13	1	2	2	2	2	3	1	39	0	12
開業のきっかけと開業後の経過の状況	8	13	16	5	8	2	2	2	6	3	9	4	78	0	29
施術所の経営状況	49	15	16	8	6	1	2	2	7	4	53	2	165	0	61
営業努力に関すること	11	46	5	1	6	9	5	3	5	2	13	3	109	0	40
施術者としての思い	89	49	49	22	19	20	34	31	25	23	47	21	429	0	150
施術内容・方法	32	64	21	20	20	28	38	17	18	19	31	38	346	0	110
施術所と設備に関すること	9	10	8	2	6	9	7	8	8	2	3	3	75	0	24
患者とのコミュニケーションの状況	14	6	25	5	4	4	12	23	16	6	10	6	131	0	15
仕事としてのあはきに関すること	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	0	3
営業環境に関すること	7	1	17	4	2	1	1	1	9	4	30	1	78	0	21
周囲のサポートに関すること	2	3	2	3	4	1	3	2	2	1	8	1	32	0	8

表 5 加藤康昭データ対象者背景

対 象	性 別	年 齢	生 年	実 施 日	データサイズ (byte)	データ文字数
I F	男	74 歳	1894 年	S43. 9. 30	44, 555	21, 743
O N	男	60 歳	1908 年	S43. 10. 1	90, 914	45, 211
H M	男	70 歳	1898 年	S43. 10. 12	113, 689	56, 022
Y K	男	74 歳	1894 年	S43. 10. 12	40, 042	19, 508
平 均			—	—	72, 300	35, 621
中央値			—	—	67, 734. 5	33, 477

表6 コードの種類および抽出状況

カテゴリー	コード	I	F	O	N	H	M	Y	K	計
あはき以外での生活の糧に関すること	ホ一六飛ばし	0	0	0	2	0	0	0	2	
あはき以外での生活の糧に関すること	悪い盲人	0	0	0	1	0	0	0	1	
あはき以外での生活の糧に関すること	演歌師の活動	0	0	0	4	0	0	0	4	
あはき以外での生活の糧に関すること	演歌師の再現	0	0	0	3	0	0	0	3	
あはき以外での生活の糧に関すること	音曲の検校	0	0	0	1	0	0	0	1	
あはき以外での生活の糧に関すること	金貸しをする盲人	0	0	0	4	0	0	0	4	
あはき以外での生活の糧に関すること	芸能で生きる盲人	0	0	0	1	4	0	0	5	
あはき以外での生活の糧に関すること	巡業はしない盲人	0	0	0	1	0	0	0	1	
あはき以外での生活の糧に関すること	土地の盲人が見世物としてやる	0	0	0	1	0	0	0	1	
あはき以外での生活の糧に関すること	謎解きはしない盲人	0	0	0	1	0	0	0	1	
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人の挨拶	0	0	0	2	0	0	0	2	
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人の煙草屋	0	0	0	3	0	0	0	3	
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人相撲	0	0	0	1	0	0	0	1	
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	0	2	0	0	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	たくさんの本	2	0	0	0	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	移すことが学習	1	0	0	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	医学の知識	2	0	0	0	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	過去問の収集と出版	0	0	0	0	1	0	0	1	
学習・教材に関すること	学習内容	0	4	0	0	0	0	0	4	
学習・教材に関すること	旧姓中学の勉強	1	0	0	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	教材の取得	0	0	0	0	3	0	0	3	
学習・教材に関すること	苦手だった数学	0	0	0	0	1	0	0	1	
学習・教材に関すること	型にはまった教育	1	0	0	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	口移しでの勉強	0	1	1	1	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	算盤を用いた学習	0	0	0	0	2	0	0	2	
学習・教材に関すること	使用した製版機	2	0	0	0	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	使用した点字機	2	0	0	0	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	師匠の暗唱	1	0	0	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	試験対策	0	0	1	1	1	0	0	2	
学習・教材に関すること	寺子屋方式	0	1	0	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	自宅での学習	1	0	0	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	自分で進めた勉強	0	0	0	0	1	0	0	1	
学習・教材に関すること	授業料	4	3	5	2	14	0	0	28	
学習・教材に関すること	聖書の作成	3	0	0	0	0	0	0	3	
学習・教材に関すること	聖書の値段	2	0	0	0	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	専門科目の学習	0	3	0	0	0	0	0	3	
学習・教材に関すること	卒業と試験	0	1	0	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	大正から昭和にかけて作られた点字版	0	0	1	0	0	0	0	1	
学習・教材に関すること	点字での学習	1	1	0	0	0	0	0	2	
学習・教材に関すること	点字の学習	0	5	1	3	9	0	0	18	
学習・教材に関すること	点字機	4	0	0	0	0	0	0	4	

学習・教材に関すること	点字教材	2	0	0	0	2
学習・教材に関すること	点字本	1	0	0	0	1
学習・教材に関すること	点訳された旧約聖書	1	0	0	0	1
学習・教材に関すること	当時の教科書	3	2	0	0	5
学習・教材に関すること	当時の教材	1	3	0	3	7
学習・教材に関すること	読んだ専門書	0	1	0	0	1
学習・教材に関すること	入学巨脾	1	0	0	0	1
学習・教材に関すること	聞き書き	0	1	0	0	1
学習・教材に関すること	本の手写し	2	1	0	0	3
学習・教材に関すること	本の売却	1	0	0	0	1
学習・教材に関すること	良い本の出版	3	0	0	0	3
学習・教材に関すること	悪質な座頭	0	0	4	0	4
検定試験・免許取得の状況	苦学生の状況	0	0	0	2	2
検定試験・免許取得の状況	2年で受けた鍼	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	あん摩の免許取得	0	0	1	0	1
検定試験・免許取得の状況	あん摩術の試験	0	1	0	0	1
検定試験・免許取得の状況	お情け免許	0	2	0	0	2
検定試験・免許取得の状況	乙種と甲種の違いはなし	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	乙種按摩	1	1	0	0	2
検定試験・免許取得の状況	開業するのに必要な免許	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	警視庁での検定試験	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	検定試験の回数	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	検定試験の監督	2	0	2	0	4
検定試験・免許取得の状況	検定試験の合格	0	0	1	1	2
検定試験・免許取得の状況	検定試験の受験資格	2	2	0	0	4
検定試験・免許取得の状況	検定試験の内容	2	2	1	1	6
検定試験・免許取得の状況	検定試験の不合格者	1	0	0	0	1
検定試験・免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	3	3	2	5	13
検定試験・免許取得の状況	口頭での試験	1	0	0	3	4
検定試験・免許取得の状況	甲種をとったものもいた	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	甲種按摩	1	0	0	0	1
検定試験・免許取得の状況	行けない師匠のところ	0	0	1	0	1
検定試験・免許取得の状況	師匠の判断	0	1	0	0	1
検定試験・免許取得の状況	試験を受けるために通った学校	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	資格取得	0	1	0	0	1

検定試験・免許取得の状況	取得した免許	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	証明量を払っての試験受験	0	0	1	1	2
検定試験・免許取得の状況	弟子でいれば不必要な免許	0	0	0	1	1
検定試験・免許取得の状況	内務省例による検定試験	1	5	0	0	6
検定試験・免許取得の状況	筆記での資格試験	0	1	0	1	2
検定試験・免許取得の状況	免許を取る目的	0	1	0	0	1
検定試験・免許取得の状況	鍼灸の試験	0	1	0	0	1
娯楽・余暇に関すること	お使いに出る	0	0	1	0	1
娯楽・余暇に関すること	テントとに興じる盲人	0	0	1	0	1
娯楽・余暇に関すること	バイオリンとの出会	0	0	1	0	1
娯楽・余暇に関すること	演歌師のバイオリンも芸術	0	0	1	0	1
娯楽・余暇に関すること	若い時にはやった楽器	0	1	0	0	1
娯楽・余暇に関すること	若い時は良かったバイオリン	0	1	0	0	1
娯楽・余暇に関すること	習ったバイオリン	0	1	0	0	1
娯楽・余暇に関すること	大正時代に流行った演歌	0	0	4	0	4
娯楽・余暇に関すること	当時の娯楽	0	0	1	0	1
娯楽・余暇に関すること	盲人の賭博	0	0	9	0	9
娯楽・余暇に関すること	友達に誘われ始めたバイオリン	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	なかなか取れない検校	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	位によって違う杖	0	0	2	0	2
江戸時代の位・制度に関すること	位はお金のみでは得られない	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	0	6	11	0	17
江戸時代の位・制度に関すること	京都に行かないともらえない位	0	0	2	0	2
江戸時代の位・制度に関すること	検校でも学者	0	0	2	0	2
江戸時代の位・制度に関すること	検校と勾当の取り分	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	検校の位	0	0	3	0	3
江戸時代の位・制度に関すること	検校の講義	0	0	3	0	3
江戸時代の位・制度に関すること	検校の弟子	0	0	4	0	4
江戸時代の位・制度に関すること	検校の没年	0	0	1	0	1

江戸時代の位・制度に関すること	検校は晴眼者ではできない	0	0	2	0	2
江戸時代の位・制度に関すること	座頭に集まるお金	0	0	4	0	4
江戸時代の位・制度に関すること	座頭の遺書	0	1	0	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	座頭の杖	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	座頭の縄張	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	残った検校は鍼あん摩	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	取り上げられる座頭の位	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	収めた金は戻らない	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	杉山本家でもらえる一名	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	晴眼の勾当	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	存在しなかった別当	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	鳥目の配糖は勾当以上には無関係	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	弟子に継がせることはできる検校	0	0	2	0	2
江戸時代の位・制度に関すること	弟子入りと位は別	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	徳川の盲人11箇条の内容	0	0	4	0	4
江戸時代の位・制度に関すること	廃藩置県で検校の位は取り上げられる	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	幕末に存在した検校	0	0	2	0	2
江戸時代の位・制度に関すること	盲人に還元される検校に収めた金	0	0	1	0	1
江戸時代の位・制度に関すること	有名な検校	0	0	1	0	1
講師・教師に関すること	開業している腺性	0	0	0	1	1
講師・教師に関すること	学校の講義	0	1	0	0	1
講師・教師に関すること	学校の講師	2	4	0	2	8
講師・教師に関すること	学校をやめた先生	0	0	0	1	1
講師・教師に関すること	学校を作った人	0	0	1	0	1
講師・教師に関すること	学校を作ろうと計画した人	0	0	1	0	1
講師・教師に関すること	元気である先生	0	0	0	1	1
講師・教師に関すること	交流のあった先生	0	0	0	1	1
講師・教師に関すること	校長は病院長	0	5	0	0	5
講師・教師に関すること	講師の状況	0	3	0	0	3
講師・教師に関すること	講師の待遇	0	1	0	0	1
講師・教師に関すること	講師の通勤	0	1	0	0	1
講師・教師に関すること	講習所の講師は検校	0	0	1	0	1
講師・教師に関すること	師匠も講師	0	1	0	0	1
講師・教師に関すること	専門の先生	0	0	0	1	1
講師・教師に関すること	牧師の先生	0	0	0	1	1
講師・教師に関すること	盲学校の校長をやった人	0	0	1	0	1
講師・教師に関すること	盲人の講師	1	2	0	0	3

講師・教師に関すること	落とし胤は盲学校の先生	0	0	2	0	2
講習所・学校の状況	講義内容	0	1	0	1	2
講習所・学校の状況	開校10周年記念	0	7	0	0	7
講習所・学校の状況	1度で納得する人はいない	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	3年在籍した福井盲学校	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	4年通った同愛	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	どうしても入学できなかった学校	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	ミマツ講が存在した期間	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	ミマツ講での勉強	0	0	2	0	2
講習所・学校の状況	ミマツ講に集まる盲人	0	0	2	0	2
講習所・学校の状況	ミマツ講の会費	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	ミマツ講の場所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	ミマツ講の創立	0	0	2	0	2
講習所・学校の状況	もめながらもうまくいかない学校	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	開業したものが入る講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	外からの生徒	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	学校が移った先での被災	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	学校での実技指導	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	学校での勉強	0	0	2	1	2
講習所・学校の状況	学校には通わなかった弟子	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	学校の維持	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	学校の校舎	0	1	0	2	3
講習所・学校の状況	学校の資料	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	学校の廃止	0	5	0	0	6
講習所・学校の状況	学校の場所	0	2	0	0	2
講習所・学校の状況	学校の創設	1	2	0	0	3
講習所・学校の状況	学校の歴史	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	学校を計画した人は多かった	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	学校運営の協力者	0	3	0	0	3
講習所・学校の状況	学校時代のこと	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	学校名	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	簡単には入れない講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	寄付での運営	0	1	0	1	2
講習所・学校の状況	月謝が必要な講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	県立となった福井盲学校	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	江戸にのみあった講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	講義時間	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	講習所に集まる盲人	0	0	2	0	2
講習所・学校の状況	講習所の数	0	0	2	0	2
講習所・学校の状況	師匠のところから通う生徒	0	0	0	2	2
講習所・学校の状況	指定にならなかった按鍼学校	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	自宅からの通学	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	取らない授業料	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	受け取った卒業証書	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	授業をやらない学校	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	修業年限	0	0	0	2	2
講習所・学校の状況	塾のシステム	1	0	0	0	1
講習所・学校の状況	昭和まで残っていた講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	沼図にできた盲学校	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	申請は困難	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	神田美土代町の講習会	1	0	0	0	1

講習所・学校の状況	生徒や先生の勧誘	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	生徒勧誘の状況	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	生徒数の状況	0	2	0	1	3
講習所・学校の状況	青年の集会所	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	浅草に会った学校	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	創立の混乱	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	卒業生	4	1	0	0	5
講習所・学校の状況	存在した講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	存在した盲学校	2	1	0	0	3
講習所・学校の状況	存在しない寄宿舎	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	中野に移った学校	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	通学した期間	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	田方の鍼学校	0	2	0	0	2
講習所・学校の状況	同愛での宗教教育	0	0	0	3	3
講習所・学校の状況	同愛に入る時期	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	同愛の授業料	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	内務省の指定	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	入学の時期	0	0	0	2	2
講習所・学校の状況	入学の費用	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	廃校時のこと	0	3	0	0	3
講習所・学校の状況	廃藩置県で廃止された講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	分からない運営の詳細	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	文京盲を吸収した技盲	1	0	0	0	1
講習所・学校の状況	名前だけの学校	0	2	0	0	2
講習所・学校の状況	盲学校も技術指導に力を入れるべき	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	盲学校指定制度	1	0	0	0	1
講習所・学校の状況	盲学校令	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	盲人会の運動でできた盲学校	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	夜中にやる講習所	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	予科の内容	0	1	0	0	1
講習所・学校の状況	鍼とあん摩で区別のないカリキュラム	0	0	0	1	1
講習所・学校の状況	鍼の研究グループ	0	0	1	0	1
講習所・学校の状況	当時の校長	0	0	0	1	1
師匠の教え	師匠からの指導	0	0	3	1	4
師匠の教え	やらなかった三部書	0	1	0	0	1
師匠の教え	師匠からは習わなかった杉山流	0	0	1	0	1
師匠の教え	師匠から習う実技	0	2	3	0	5
師匠の教え	師匠から貰った名前	0	0	1	0	1
師匠の教え	師匠の考え	6	0	0	0	6
師匠の教え	師匠の生活指導	0	2	0	0	2
師匠の教え	弟子への点字指導	0	0	0	1	1
師匠の教え	入門した際に言われた言葉	0	1	0	0	1
師匠の教え	年季中にはとらせない鍼	0	0	1	0	1
師匠の教え	鍼を教えたくない師匠	0	0	1	0	1
師匠の教え	つぼに貼るあんま膏	0	0	2	0	2
師匠の教え	学校に行かせたくない師匠	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	600円の借金	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	引き抜きがあると乗り組んでくる師匠	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	押し付けられる寒邪	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	外には出さない弟子	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	宮中での施術	0	0	7	0	7

師匠の経験と状況	金貸しはしなかった師匠	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	金貸しを始めた師匠	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	検校である師匠	0	0	4	0	4
師匠の経験と状況	三島の先生	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の思い	0	2	0	0	2
師匠の経験と状況	師匠が学んだ杉山流	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠だけの三部書	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠のあん摩	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の援助	1	0	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の恩人	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の観察力	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の危篤	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の境遇	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の経済的負担	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の経歴	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の施術	0	0	6	0	6
師匠の経験と状況	師匠の死	0	1	3	0	4
師匠の経験と状況	師匠の所在地	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の将棋の稽古	0	0	3	0	3
師匠の経験と状況	師匠の上京	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の生まれ	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の弟子	0	1	3	0	4
師匠の経験と状況	師匠の弟子時代	0	0	3	0	3
師匠の経験と状況	師匠の邸宅	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の年齢	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の破産	0	0	3	0	3
師匠の経験と状況	師匠の勉強仲間	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	師匠の名前	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠の養子	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	師匠はできなかった点字	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	自分の師匠	0	2	0	0	2
師匠の経験と状況	初めの師匠	0	0	2	0	2
師匠の経験と状況	初めの師匠に出された食事	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	女将さんの死	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	低級な師匠	2	0	0	0	2
師匠の経験と状況	弟子の数	1	2	1	0	4
師匠の経験と状況	弟子の養成	0	1	0	0	1
師匠の経験と状況	二人の師匠	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	年季中は小遣いのみ	0	0	1	0	1
師匠の経験と状況	貧乏な師匠	1	0	0	0	1
師匠の経験と状況	本が嫌いな師匠	2	0	0	0	2
師匠の経験と状況	盲人の師匠	0	1	0	0	1
施術の方法と考え	お客に出された酒	0	0	1	0	1
施術の方法と考え	お客の紹介を受ける	0	0	1	0	1
施術の方法と考え	チップで食べたてんぷら蕎麦	0	0	1	0	1
施術の方法と考え	以前からの施術の仕方	0	3	0	0	3
施術の方法と考え	異感覚	0	2	0	0	2
施術の方法と考え	横綱の施術	0	0	1	0	1
施術の方法と考え	温泉でのあん摩	0	1	0	0	1
施術の方法と考え	患者の獲得	0	1	0	0	1
施術の方法と考え	患者の受け止め方	0	1	0	0	1
施術の方法と考え	患者の要望	0	0	0	1	1
施術の方法と考え	患者数	2	2	0	0	4
施術の方法と考え	蕎麦を食べたことを師匠に知られる	0	0	1	0	1
施術の方法と考え	禁穴に対する考え	2	0	0	0	2
施術の方法と考え	経絡を基礎とした考え	0	1	0	0	1

施術の方法と考える	仕事の開始	1	0	0	0	1
施術の方法と考える	刺鍼に対する考え	2	0	0	0	2
施術の方法と考える	師匠から宛がわれた患者	0	1	0	0	1
施術の方法と考える	施術から学んだこと	1	1	0	1	3
施術の方法と考える	施術に対する考え	0	5	0	0	5
施術の方法と考える	施術の経験	1	1	0	0	2
施術の方法と考える	施術の方法	0	2	0	0	67
施術の方法と考える	施術時間	0	3	0	0	3
施術の方法と考える	自らの施術	0	3	0	0	2
施術の方法と考える	自信をもって提供する自らの技術	0	0	1	0	1
施術の方法と考える	手技に対する考え	2	0	0	0	2
施術の方法と考える	出先での食事のふるまい	1	0	0	0	1
施術の方法と考える	初めてのお客	0	0	1	0	1
施術の方法と考える	小学校の知識	1	0	0	0	1
施術の方法と考える	小児鍼の習得	0	5	0	0	5
施術の方法と考える	少徒弟制の生活	0	0	0	1	1
施術の方法と考える	昭和10年ごろの仕事	0	1	0	0	1
施術の方法と考える	上京に合わすことが上手	0	1	0	0	1
施術の方法と考える	杉山流の教育	0	1	0	0	1
施術の方法と考える	杉山流の施術	1	1	0	0	2
施術の方法と考える	他人の手技	1	0	0	0	1
施術の方法と考える	独自の手技	1	0	0	0	1
施術の方法と考える	盲人をだます患者	0	0	1	0	1
施術の方法と考える	料亭での施術	0	0	2	0	2
施術者としての独立に関すること	開業のルール	2	1	3	2	8
施術者としての独立に関すること	開業の時期	0	0	0	1	1
施術者としての独立に関すること	師匠からの支援はない	0	1	0	0	1
施術者としての独立に関すること	師匠により異なる独立条件	0	1	0	0	1
施術者としての独立に関すること	師匠の2軒隣りでの営業	0	1	0	0	1
施術者としての独立に関すること	師匠の跡継ぎ	0	3	0	0	3
施術者としての独立に関すること	自宅で開業	0	0	1	0	1
施術者としての独立に関すること	地元での開業	1	0	0	0	1
施術者としての独立に関すること	独立	1	5	0	0	6
施術者の経験と状況	1年ほどしか行かなかった小学校	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	2・3回通ったキンスケ町	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	2歳以降住む東京	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	3人兄弟の末っ子	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	あはき業で得られた自信	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	あん摩さんの段階	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	インタビュー当時の年齢	0	1	1	1	3
施術者の経験と状況	しなかった弟子入り	0	0	0	1	1

施術者の経験と状況	悪い癖	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	家の建築	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	家族の共力妻との作業	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	家庭の事情	0	1	1	0	2
施術者の経験と状況	学校に入学した理由	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	学校への入学	1	0	4	0	5
施術者の経験と状況	巻き込まれた面島後と	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	患者の身になった施術	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	技術力がないことで生活 が低下する	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	苦学の辛さ	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	兄からの手紙	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	兄弟子として教える	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	兄弟子の言葉	0	0	2	0	2
施術者の経験と状況	合格後の友人からの試適	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	再上京	2	0	0	0	2
施術者の経験と状況	再上京して受けた中等教育	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	師匠の代診	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	師匠への入門	2	5	3	1	11
施術者の経験と状況	視覚障害の程度	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	自らは孫弟子	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	実技を習った都市	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	若くて相談役となった	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	受け入れ先の常法	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	出生年	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	巡査に声をかけられる	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	女将さんからのアドバイ ス	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	小児鍼への自信	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	新たな師匠との出会い	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	親からの入学反対	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	親の勧めの入門	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	親元から通った盲学校	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	身に着けるものによる違 い	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	進級できず退学	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	震災前にとったひま	0	0	2	0	2
施術者の経験と状況	人との出会い	1	0	2	0	3
施術者の経験と状況	晴眼者との行動	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	生まれた土地での成功は 希	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	洗礼	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	地域での開業者数	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	徴兵検査	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	長所を伸ばすという心が	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	弟子として残ったことで 条件は向上	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	弟子に出した両親の思い	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	田舎での仕事	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	都電での通学	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	東京への上京	2	0	0	0	2
施術者の経験と状況	逃げる弟子	2	1	1	0	4
施術者の経験と状況	同愛に入った年齢	0	0	0	1	1
施術者の経験と状況	特別待遇	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	入学する必要のない盲学 校	1	0	0	0	1

施術者の経験と状況	入門して間もなくのエピソード	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	入門に際しての不安と絶望	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	廃業	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	避難場所で迎える正月	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	不履行な場合の請求	0	1	0	0	1
施術者の経験と状況	福井の盲学校への入学	0	0	2	0	2
施術者の経験と状況	福井の盲学校卒業	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	母が心配する将来	0	0	2	0	2
施術者の経験と状況	務めた参事	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	無教会派	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	盲人となった時期	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	乱暴	1	0	0	0	1
施術者の経験と状況	両親の説得	0	0	1	0	1
施術者の経験と状況	老友会の旅行	0	0	0	1	1
施術料・収入の状況	1日の収入	1	0	0	0	1
施術料・収入の状況	あん摩施術量	2	0	0	0	2
施術料・収入の状況	いただいた施術量	0	0	1	0	1
施術料・収入の状況	お客の数で変わる収入	0	0	1	0	1
施術料・収入の状況	位の値	0	0	6	0	6
施術料・収入の状況	技術力があれば取れる施術量	0	0	2	0	2
施術料・収入の状況	月給	2	1	0	0	3
施術料・収入の状況	仕事の対価	2	0	0	0	2
施術料・収入の状況	施術の開始	0	1	0	0	1
施術料・収入の状況	実力で収入増加	1	0	0	0	1
施術料・収入の状況	少ない収入	0	1	0	0	1
施術料・収入の状況	弟子により違う施術量	0	0	1	0	1
施術料・収入の状況	明治初期の施術量	0	0	1	0	1
施術料・収入の状況	鍼の施術量	1	0	0	0	1
実技の稽古	2か月で全身が揉めるようになる	0	0	1	0	1
実技の稽古	2年は食い扶持も取れない	0	1	1	0	2
実技の稽古	あん摩の寒稽古	0	2	2	0	4
実技の稽古	あん摩は自然に習う	0	1	0	0	1
実技の稽古	鍼の寒稽古	0	9	1	0	10
実技の稽古	近所で教わるあん摩	0	0	1	0	1
実技の稽古	近所の人で練習	0	0	0	2	2
実技の稽古	厳しく指導された実技	0	0	1	0	1
実技の稽古	師匠の話	0	1	0	0	1
実技の稽古	手技の練習	2	4	0	0	6
実技の稽古	辛いあん摩の練習	0	0	1	0	1
実技の稽古	先に習うあん摩	0	1	0	0	1
実技の稽古	入門1か月で覚えるあん摩	0	0	1	0	1
実技の稽古	良い臨床科	0	1	0	0	1
実技の稽古	弟子の歩合	0	0	1	0	1
実技の稽古	灸の手技	3	0	0	0	3
実技の稽古	近所の人で鍼の練習	0	0	0	1	1
実技の稽古	自然に学ぶ鍼の刺し方	0	1	0	0	1
実技の稽古	実技の練習	0	0	0	2	2
実技の稽古	卒業の条件	0	2	0	0	2
実技の稽古	鍼の寒稽古	0	9	1	0	10
実技の稽古	鍼の手技	1	0	0	1	2
実技の稽古	鍼の練習	0	1	2	1	4
社会情勢に関すること	2派になっていた	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	あん摩専門の運動	2	0	1	0	3
社会情勢に関すること	うちの中にいる盲人	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	お金の価値	0	1	0	0	1

社会情勢に関すること	一般的年収	0	1	0	0	1
社会情勢に関すること	会長なら知る支部のこと	0	0	0	1	1
社会情勢に関すること	回ってきた御下賜金	0	2	0	0	2
社会情勢に関すること	各地での聞き歩き	0	0	0	1	1
社会情勢に関すること	各町の組合からの情報提供	0	0	0	1	1
社会情勢に関すること	学校に通えない盲人	0	0	0	1	1
社会情勢に関すること	株の暴落から不況に	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	吉田流は盲人を取らない	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	協会20周年	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	蕎麦屋の出前	1	0	0	0	1
社会情勢に関すること	乞食あん摩	0	0	3	0	3
社会情勢に関すること	広がる盲人の運動	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	支払われた香典	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	自然災害	0	1	1	0	2
社会情勢に関すること	受け取った御下賜金	0	1	0	0	1
社会情勢に関すること	所在不明となった木造	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	神仏を分離した時代	0	0	2	0	2
社会情勢に関すること	成金	0	2	0	0	2
社会情勢に関すること	晴眼者あん摩の擡頭	0	0	2	0	2
社会情勢に関すること	戦災と震災	0	0	0	1	1
社会情勢に関すること	選挙運土	2	0	0	0	2
社会情勢に関すること	東京盲人協議会	1	0	0	0	1
社会情勢に関すること	東京鍼灸協会	2	0	0	0	2
社会情勢に関すること	当時の寄宿量	0	0	0	1	1
社会情勢に関すること	当時の風呂大	0	0	0	1	1
社会情勢に関すること	当時存在した病院	0	1	0	0	1
社会情勢に関すること	逃げ歩く盲人	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	入学へ向けた運動	0	4	0	0	4
社会情勢に関すること	配当はされないお金	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	売りに来た野菜	0	0	2	0	2
社会情勢に関すること	貧困の盲人	0	0	3	1	5
社会情勢に関すること	文政廃止	0	1	0	0	1
社会情勢に関すること	米国聖書協会	1	0	0	0	1
社会情勢に関すること	補助金	0	6	0	0	6
社会情勢に関すること	明治以前の資格制度	0	2	0	0	2
社会情勢に関すること	盲人の運動	1	1	5	0	7
社会情勢に関すること	盲人会の設立	0	1	0	0	1
社会情勢に関すること	盲人教育界	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	盲人鍼灸協会	0	0	2	0	2
社会情勢に関すること	盲僧	1	0	0	0	1
社会情勢に関すること	良かったり即	0	1	0	0	1
社会情勢に関すること	鍼灸協会時代の人	0	0	1	0	1
社会情勢に関すること	鍼灸同盟会	2	0	0	0	2
徒弟制の内容と状況	1か月の滞在	0	3	0	0	3
徒弟制の内容と状況	3人で食べる揚げ玉	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	あん摩の免許を取らず飛び題した最初の師匠	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	お礼奉公の期間	0	1	1	0	2
徒弟制の内容と状況	お礼奉公をしなければ喧嘩別れ	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	ここで異なる契約方法	0	0	0	1	1
徒弟制の内容と状況	とるのをやめた契約書	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	なかなか受けさせてもらえない鍼の検定試験	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	みんな入る年期	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	やめる事情	1	0	0	0	1
徒弟制の内容と状況	何とかもらったヒマ	0	0	1	0	1

徒弟制の内容と状況	開ける前にやめれば請求される食い扶持	1	2	0	0	3
徒弟制の内容と状況	近所の者は弟子に取らない	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	契約書には書かないお礼奉公	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	契約書の内容	0	0	2	1	3
徒弟制の内容と状況	口約束での契約	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	口利きしてもらっての入門	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	再び迎えてくれた師匠	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	三島の条件	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	師匠からの小遣	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	師匠に食べさせられた芋	0	0	2	0	2
徒弟制の内容と状況	師匠に渡す食い扶持と家賃	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	師匠のお使い	0	0	2	0	2
徒弟制の内容と状況	師匠の差し押さえ	1	0	0	0	1
徒弟制の内容と状況	師匠の食い扶持	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	自然に受ける感か	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	自分で購入する半纏	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	手数料としての米二俵	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	授業料としての食い扶持	1	2	5	1	9
徒弟制の内容と状況	住込みで入った二人目の師匠	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	重い負担	1	0	0	0	1
徒弟制の内容と状況	存在しない契約書	0	1	0	1	2
徒弟制の内容と状況	待遇が悪く1年で離れた師匠	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	大変だった始末書	0	0	0	0	1
徒弟制の内容と状況	通いでのある期	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	弟子に頼まれた家族の説得	0	0	0	1	1
徒弟制の内容と状況	弟子の役割	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	弟子入りする際の契約	2	0	4	2	8
徒弟制の内容と状況	弟子入りできるのは中流階級	0	0	2	0	2
徒弟制の内容と状況	徒弟の仕組み	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	徒弟制度の否定	2	0	0	0	2
徒弟制の内容と状況	入門量	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	年季中のこと	0	6	2	0	8
徒弟制の内容と状況	年季の期間	2	2	1	1	7
徒弟制の内容と状況	必要なかったお礼奉公	1	0	0	0	1
徒弟制の内容と状況	米二俵はお金で納めるものもいた	0	0	1	0	1
徒弟制の内容と状況	無駄飯は基礎教育	0	1	0	0	1
徒弟制の内容と状況	練習の自汗	1	0	0	0	1
徒弟制の内容と状況	練習台	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関すること	3年で生じた損失	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関すること	いなくなった同級生	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関すること	さまざまな状況の生徒	0	0	0	2	2
同業者・仲間に関すること	運動に力入れた同氏	0	0	1	0	1

同業者・仲間に関する こと	運動のため借りた金	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	温厚な先生	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	開業する芸の得意な先生	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	学のある盲人は嫌われた	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	学を学べるのは裕福な人	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	学校に入った者	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	学校に入れなかった者	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	関東の総録	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	吉田流の人	1	1	0	0	2
同業者・仲間に関する こと	教育を受けない盲人	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	芸が好きな先生	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	今は少なくなった同業者	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	三味線が上手な先生	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	仕送り	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	試験を合格した仲間	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	自分の意思で学校に行か なかった弟子	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	写本を持つ弟子	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	手技の違い	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	周囲にも多くあった同業 者	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	順調に巣立った弟子	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	所在が不明な検校の子孫	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	女性の生徒	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	女性の弟子	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	上級生の支援	0	0	3	0	3
同業者・仲間に関する こと	新しい学問の先生	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関する こと	進路変更した弟子	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関する こと	尋ね人	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	杉山検校の掛け軸	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関する こと	杉山検校の崇拜者	0	0	3	0	3

同業者・仲間に関すること	晴眼の師匠	0	2	0	0	2
同業者・仲間に関すること	晴眼の先生	0	1	1	0	2
同業者・仲間に関すること	切腹したものの孫	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関すること	先生の所在	0	0	0	2	2
同業者・仲間に関すること	先生の年齢	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関すること	戦後まで活躍した人	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関すること	前借する弟子	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関すること	地域の師匠との交流はない	0	0	2	0	2
同業者・仲間に関すること	通信法の考按	0	0	2	0	2
同業者・仲間に関すること	弟子の苦しみ	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関すること	弟弟子	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関すること	点字出版	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関すること	点字版を作った人	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関すること	点訳をさせた人	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関すること	同級生にはいなかった苦学生	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関すること	同業の先輩から習う実技	0	0	0	2	2
同業者・仲間に関すること	内容のある話	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関すること	抜き書き	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関すること	別な流派	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関すること	無くなった先生	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関すること	無理矢理に開業する人	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関すること	名を知らない人	0	0	3	0	3
同業者・仲間に関すること	名を知る人	0	0	9	1	10
同業者・仲間に関すること	盲学校の卒業生	4	0	0	0	4
同業者・仲間に関すること	盲人として尊敬	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関すること	盲人の出版社	1	0	0	0	1
同業者・仲間に関すること	盲人の常法	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関すること	盲人の人	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関すること	盲人の政治家	1	0	2	0	3

同業者・仲間に関するこ と	盲人会の会長	0	0	0	1	1
同業者・仲間に関するこ と	戻ってきた兄弟子	0	1	0	0	1
同業者・仲間に関するこ と	優れた先生	2	0	0	0	2
同業者・仲間に関するこ と	友人との出会い	0	0	2	0	2
同業者・仲間に関するこ と	友人の家でのもてなし	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関するこ と	力のある盲人がいいところ にいる	0	0	1	0	1
同業者・仲間に関するこ と	鍼を取れば逃げ出す弟子	0	0	1	0	1
歩合制	1割の歩合	1	2	1	0	4
歩合制	2割の歩合	0	1	0	0	1
歩合制	お金を取れるようになると 歩合制	0	0	0	1	1
歩合制	歩合の変遷	0	1	0	0	1
流しの状況	1貫文になるまでもらえ ない笛	0	0	1	0	1
流しの状況	うまくいかない流し	0	0	1	0	1
流しの状況	楽しかった流し	0	1	0	0	1
流しの状況	興味本位での流し	0	0	0	1	1
流しの状況	自己判断での流し	0	1	1	0	2
流しの状況	自然に覚える笛の吹き方	0	1	0	0	1
流しの状況	習う笛の作り方	0	1	0	0	1
流しの状況	退屈しのぎでの流し	0	0	0	1	1
流しの状況	笛1本で始まる施術	0	1	0	0	1
流しの状況	笛の音で誰かが分かる	0	2	0	0	2
流しの状況	笛を使う許可	0	0	3	0	3
流しの状況	笛を使えるまでは叫ぶ	0	0	1	0	1
流しの状況	笛を吹いての流し	1	1	0	0	2
流しの状況	笛祝い	0	0	2	0	2
流しの状況	福井での流し	0	0	2	0	2
流しの状況	免許がなくてもできた流 し	0	0	1	0	1
流しの状況	流しができない日本橋	0	0	1	0	1
流しの状況	流しでの客	0	0	1	0	1
流しの状況	流しで移動する距離	0	1	0	0	1
流しの状況	流しで捕まらない客	0	0	1	0	1
流しの状況	流しの稼ぎ	0	3	2	2	7
流しの状況	流しの経験	1	0	3	1	5
流しの状況	流しの地域を分ける	0	0	1	0	1
流しの状況	流し禁止令	0	0	1	0	1

表7 対象者別カテゴリー抽出状況

カテゴリー	I F	O N	H M	Y K	計	含ま れない 人数	含ま れるコー ド数
あはき以外での生活の糧 に関すること	0	2	25	4	31	1	14
実技の稽古	6	23	11	4	44	0	23
江戸時代の位・制度に関 すること	0	7	65	0	72	2	30
学習・教材に関すること	40	26	6	16	88	0	39
検定試験・免許取得の状 況	15	20	8	22	65	0	30
講習所・学校の状況	9	54	29	31	123	0	83
娯楽・余暇に関すること	0	3	17	0	20	2	11
師匠の経験と状況	6	24	44	1	75	0	47
師匠の教え	7	6	15	2	30	0	13
社会情勢	13	26	37	8	84	0	47
施術者としての独立に関 すること	4	10	4	3	21	0	9
施術者の経験と状況	19	16	38	13	86	0	72
施術の方法と考え	16	37	10	3	66	0	38
施術料・収入の状況	9	3	7	0	19	1	14
同業者・仲間に関するこ と	16	16	46	21	99	0	69
流しの状況	2	12	23	5	42	0	24
徒弟制の内容と状況	18	32	41	9	100	0	49
歩合制	1	4	1	1	7	0	4
講師・教師に関すること	3	18	7	8	36	0	19

【参考資料 1】

視覚障害者が開設するあん摩マッサージ指圧、はり、きゅう施術所における
施術および経営の実態に関する質的調査研究に関わるインタビューガイド

1 インタビューの方法

インタビューは、対象者が開設する施術所において約 60 分（途中休憩約 10 分を含む。）
で個人インタビューの形式で実施。

次の項目を基本とした半構造化面接として実施。

- ・属性（性別、年齢）
- ・視覚障害の状態（受傷年齢、手帳の有無、視力）
- ・所持免許の種類（あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師別）
- ・直近営業日 1 日当たりの取扱い患者数（実人数、延べ人数）
- ・標準的な施術の 1 回あたりの料金
- ・昨年（平成 28 年）1 年分の税込施術料収入（実数）
- ・開業のきっかけと開業後の経過
- ・現在の経営状況
- ・今後の経営への不安感
- ・営業努力

2 インタビューの内容

インタビューに含まれるべき内容、以下 6 項目を念頭に質問を設定した。

- （1）経験／行動に関する質問
- （2）意見／価値に関する質問
- （3）感情に関する質問
- （4）知識に関する質問
- （5）知覚に関する質問
- （6）背景／人口統計に関する質問

3 質問の順序に関する基本的方針

このインタビューは一定の質問に従って面接を進めながら、被面接者の状況や回答に応じて面接者が反応を示したり、質問の表現、順序、内容を、その場の状況に応じて変えることができる半構造化面接（semi-structured interview）として実施する。ただし、次の（1）～（4）の順を質問の際の基本とする。

- （1）現在の事柄に関すること
- （2）経験・行動に関すること
- （3）意見や感情等について
- （4）背景、人口統計、属性に関すること

4 インタビューにおける具体的説明内容と質問

- ・インタビューは「導入」「section1」「section2」の順で実施する。
- ・「section1」で被面接者が語った内容を「section2」の質問で補完、確認する。
- ・「section1」と「section2」間に 10 分の休憩を設ける。

【導入】

- ・本日は、このようなお時間をいただきましてありがとうございます。
- ・このインタビューは、以前書面でもお示した通り、あん摩マッサージ指圧業、はり業またはきゅう業（以下、あはき業と略す）を提供する施術所を経営する視覚障害者の施術内容・経営実態と収入との相関性を考察するとともに、視覚障害を補うために受けている支援の内容とその成果及び今後受きたい支援の内容と期待される成果等を客観的に明らかにすることを目的としています。
- ・本インタビューの内容については、実施責任者と実施分担者が厳重に管理し、保管します。また、実施責任者と実施分担者が学術雑誌や学術講演会等で発表しますが、個人が特定されるデータは一切公表しないなど、研究対象者のプライバシーに最大限配慮した取扱いをします。
- ・それではインタビューを始めていきますが、途中で不都合なこと、気分が悪い等がありましたら、すぐに申し出てください。インタビューを中止させていただきます。
- ・なお、インタビュー内容を確実に記録するため、このインタビューは録音させていただきます。

【section1】

- 問：日々の施術の実践の中で充実感、誇り、やりがいを感じていることや体験があれば教えてください。
- 問：施術所を開業してから苦労したことがあれば教えてください。そして、それはどのように乗り越えてきたかお話ししていただけませんか。
- 問：施術所を経営していく中で、施術に対する考えが変化したできごとやきっかけがあれば教えてください。

【section2】

- ・施術について

問：患者さんに対してどんな風な施術をされていますか。

問：そのような施術をする際に最も大切にしていることはどんなことですか。

問：施術を行う際工夫していることはありますか。あれば具体的に教えてください。

問：施術をする際に、不便なこと、不自由なことはありますか。
- ・スタッフについて

問：自分以外にスタッフがいたら教えてください（人数、性別、続き柄等）。

問：スタッフの方の業務内容を教えてください。
- ・直近営業日1日当たりの取扱い患者数（実人数、延べ人数）

問：前月に扱った患者の実人数と延べ人数を教えてください。

問：定期的にいらっしゃる患者さんは何人ぐらいいらっしゃいますか。

問：1日当たりの患者さんの数について、どの程度が適当だと感じられていますか。
- ・現在の経営状況

問：施術所を経営されている、経営者としての立場で最も大切にしていることは何ですか。

問：経営上何か工夫されていることはありますか。あれば、それはどのようなことですか。具体的に教えてください。

問：施術所を経営していく上で、不便なこと、不自由なことはありますか。あれば具体的に教えてください。

- ・標準的な施術の1回あたりの料金

問：通常1回の施術で患者さんからいただく料金を教えてください。

問：開業時どのように料金を設定されましたか。そして、その料金を変更をされたことはありますか。あれば、そのきっかけを教えてください。

問：今の施術料金についてどのように感じられていますか。

- ・昨年（平成28年）1年分の税込施術料収入（実数）

問：昨年1年間の施術量収入教えてください。

問：施術料以外の収入はありますか。

問：施術料収入が最も高い月と、低い月ではどの程度差がありますか。

問：施術所の運用コストは1年でどの程度かかりますか。

問：昨年1年間の世帯収入を教えてください。

問：今の年収についてご自身でどのように感じられていますか。

- ・開業のきっかけと開業後の経過

問：開業される前のことを教えてください。

問：なぜ開業をされようと思ったんですか。

問：実際に開業する際のことを教えてください。大変だったこと、重視したこと

問：開業時の初期投資はどの程度で、それはどのように調達しましたか。

問：開業されて何年になりますか。

問：今まで転業について考えたことはありますか。

- ・今後の経営への不安感

問：今後施術所を続けていくに当っての目標あるいは夢は何ですか。

問：今後施術所を続けていくに当って不安なことはありますか。

- ・営業努力

問：営業努力として何かされていることがあれば具体的に教えてください。

問：施術所をPRするために行っていることがあれば、具体的に教えてください。

- ・視覚障害の状態（受傷年齢、手帳の有無、視力）

問：今の見え方お教えてください。それはいつからになりますか。

問：視覚障害があることを自覚した時どのように感じたか教えてください。

問：視覚障害があっても不便に感じていることがあったら教えてください。

問：視覚障害がなくても、今の仕事を選んでいたと思いますか。

問：身体障害者手帳について確認させてください。お持ちであれば等級と種別を教えてください。

- ・所持免許の種類（あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師別）

問：お持ちの免許を教えてください。

問：免許を取ったのはどこでいつになりますか。

問：あはきの免許を目指して学校に入学されたと思いますが，その入学前の思いを思い出していただけますか。

- ・属性（性別，年齢）

問：年齢と性別を確認させてください。

【仕事に対する満足度】

問：現在の仕事に対する満足度と，その理由を教えてください。

【謝辞】

- ・質問は以上になります。長時間ご協力ありがとうございました。

【参考文献】

Michael Quinn Patton (1990) Qualitative evaluation and research methods (2nd ed.)
Newbury Park, CA: Sage の pp. 277-368

【 参考資料2 】 施術者12名データ 及びコード 表

対象： 1 訪問日 2017/09/09(土)

インタビュー時間 56分

1	佐々木 ここを開業されてどのくらいたちますか。
2	対象1 ええ、そもそもの開院っていうのは1974年に一人院として開業したんですが、2001年に、あの一、このように雇用するという形態での開業になったのね。2001年9月なので、今年は2016年だから、16年になるんだね。
3	佐々木 施術所の名称も変えたんですか。
4	対象1 名前も変えたし、住所・所在地もね。場所も変えたんです。それこそ一人院だったので八畳間ぐらいのところにベッドを2台置いて、せまっ苦しいところでやってました。
5	佐々木 施術所を大きくしようと思ったきっかけはなんだったんですか。
6	対象1 私50になるときに、もう50だと！まあ、子供がいなかったもんですから、50になって子供がいらない。ある意味で、もう将来が見えてきたし、そういう意味では世の中に貢献することを考えてもいいのかなあと。自分の生活だけは支えられるようになった。この鍼灸マッサージの技術を磨く場所を提供するというようなことを考えてもいいのかなあというようなこと。当時は亡くなっちゃった女房にけつを叩かれまして。あの一、なんていうかな。
7	佐々木 その2001年の開業時は何人ぐらい雇用されたんですか。
8	対象1 だいたい常時施術スタッフ一人から二人、多くて三人です。ええ一、四人いた時期もあった。二人から四人ですね。今は二人ですね、雇用しているのは。
9	佐々木 では、2001年にここを開業される前はずっと一人でされてたんですね。
10	対象1 1974年から2001年までは一人院でね。まあ、女房の手伝いや何やらは受けてましたが。一人院で、気楽にやってました。
11	佐々木 先生は卒業されてすぐ開業されたんですか。
12	対象1 そうです。卒業してすぐ。
13	佐々木 学生の中から開業しようと思っていたってということですか。

14	<p>対象1 実は東洋はり医学会って今でもあるんですが、当時福島弘道先生が会長で、学生聴講制度って言うのがあったんですよね。それは、初級家庭の皆さんと口座に入って勉強させてもらってるんで経絡治療の基礎を、基礎講座みたいな感じで受けさせてもらって、これならいけるかなって。最初はね、福島弘道先生のところに弟子入りをお願いしたんですよ。でも、競争が激しくて負けちゃって（笑い）。でも、独立開業もありだよってみんなから言われて。じゃあやっちゃえって。親あたりからさんざん反対されたんですが。ここから歩いて1分、2分の世界の話なんでね。施術をするようになって43年になりますね。</p>
15	<p>佐々木 施術を続けられている中で、充実感とか、やりがいとか感じる瞬間とか、出来事って思いつくものはありますか。</p>
16	<p>対象1 そうだねえ、例えば不妊治療をやったら、赴任外来に行くより鍼灸の方がいいね、何か明るくていいねって言うてるうちに双子が生まれちゃったりしてね。そういう感動みたいなのはあるね。今でも、その患者さんたまに来てくれてんですけど。うーん、だから・・・！</p>
17	<p>佐々木 施術は最初福島弘道先生の教えで始まって、施術に対する考え方って、続けていく中で変わったりってことはありましたか。</p>
18	<p>対象1 まあ、先生だからいい！当時はねえ、経絡治療ってのは陰経の、陰経陽経の陰経ね、この補法を中心にした考え方でやってたんですが、陽経の瀉を中心にして、陽経から瀉をやって取り除いて症状が戻らないための、陰経の補法という形に変わってます。</p>
19	<p>佐々木 先生が施術をする際に一番大事にしていることは何ですか。</p>
20	<p>対象1 一番大事にしてることね、やっぱり患者さんの話をよく聞くことね。自分、いろんなこと話したいんだけど。やっぱりお話しやすい環境作り、「先生だからいうんだけど・・・」って言われると、俺環境作りできてんだって喜びを感じますよね。信頼されている感覚があるからね。施術で患者さんがお話ししやすい環境作りを常に考えている。</p>
21	<p>佐々木 施術者が担当する患者さんって決まっているんですか。</p>
22	<p>対象1 指名をするようにしてもらってるんですね。あの、鍼灸は院長が9割以上、9割以上が院長指名です。で、保険の鍼灸に関してはスタッフがやります。マッサージはスタッフが全部やっています。マッサージをやるにあたってそれぞれの指名が9割。フリーで誰でもいいよっていうときには若い先生順に入れていく。入社の新しい順にね。いれていくようにしてる。</p>
23	<p>佐々木 施術されるときに工夫されていることってあります。</p>

24	対象1 施術しているときに、工夫していること・・・？とりあえず痛くない鍼をすること。鍼治療の時は補法にはセイリンの軟鍼って鍼が一番切皮時に痛くないってことなんで。それで瀉法は銀鍼が適しているっていうんですよ。瀉法は。大宝医科工業っていう広島の方の会社がありまして、ディスポの銀鍼を出してくれてる会社なんです。そのディスポの銀鍼を買ってきて瀉法には使ってやっています。太さは0番から3番までだね。
25	佐々木 施術の際に不便だとか不自由だとか感じることはありますか。
26	対象1 施術で不便なこと・・・。ある意味皮内鍼なんかを一人で張るって言うのは大変なんで、暗黙の了解で、今健常者のスタッフがいるから、その健常者のスタッフに皮内鍼を張ってもらってるんですが。暗黙の了解で私が皮内鍼を置きますよね。その下に枕を当てて、その上から・・・。普通はほら、皮内鍼って枕を張って、その横に皮内鍼を指すわけでしょ。私の場合は、スタッフとの暗黙の了解で、私が鍼を指しましたよ、そこに枕をやって、押さえてねって。っていうような工夫はしている。だから、不便って、そういう意味での不便っていうのは感じないけど、一人で皮内鍼を張るって言うのはできないことはないけども、張ろうとすると不便ですね。一人でできないことはないけど。
27	佐々木 お灸なんかはやらないですか。
28	対象1 透熱灸やってますよ。透熱灸もやってるし、灸頭鍼もやってるし知熱灸も・・・、スタッフ任せです。取穴を私がしてね。前は長生灸やら、カマヤミニやら、私も含めて視覚障害者が扱うと、エアコンの空気なんかで灰が飛んじゃうんだよね。それなんでスタッフにもやらせないようにしています。汚れる。
29	佐々木 スタッフは施術者が2名のほかはいらっしゃいますか。
30	対象1 受け付けは、まったく免許を持っていないスタッフが事務専用として雇用しています。1名の方にね。保険のレセプトなんか事務員がやっています。
31	佐々木 先生のところでは保険の取り扱いは全体の何割ぐらいですか。
32	対象1 全体の売り上げの4分の1ぐらいですね。4分の1ぐらいが訪問も含めた保険の売り上げですね。往診する際には晴眼のスタッフがやっているんですが、もちろん視覚障害者が出かけるときには車を提供してあげて、まあ、あの訪問をやる場合には患者さんのところに。スタッフE（全盲）も全鍼師会の訪問認定をとっているんで。そのスタッフEが治療方針を立てる、文章を作る。その方針に基づいてなるべく入社間もないスタッフが行くようにする。それで迷ってたりなんかしたら、院の中でカンファレンスみたいなことをしながら先進めてあげる。原則は入社間もない方に担当してもらうということにしています。鍼灸も含めてね。

33	佐々木 スタッフは鍼灸マッサージの免許を持っている人を採用しているんですか。
34	対象1 マッサージのみの人も雇用しています。ただ、今うちで勤務しているのはスタッフEとスタッフNは、どちらも鍼灸マッサージ持っているスタッフなんです。最初は鍼灸もマッサージも持ってた方がいってことだったんですが、マッサージだけでも相当優秀な人がいて見たり、逆に三科持っていたも何だこりゃって（笑い）。あるんですね、特にうちが2001年に、ここに移って、一人は筑波技術大学で鍼灸マッサージ全部取った、もう一人は平塚盲学校で卒業した人で、これは中学しか出てなくて、要するにその後3年であん摩科だけの資格を取ってきた。どっちが上手かって言ったら、その平塚盲の方が上手ですよ。そういうことがあるんですね。なんで、自分で描いていたもののギャップは、実際に雇用してみると、思い描いていたようにいかない。スタッフを採用する際には、私が実技を含めて面接をします。よほどじゃないとアウトにはなんないんですが、これはひどすぎるってのはアウトにしますけどね。
35	佐々木 経営者として大切にしているっていうか、重視していることってありますか。
36	対象1 経営者として大切にしていることは、スタッフの修業年限が、長くなればなるほど給料をいっぱい上げる。昇給できるような施術者として成長して欲しいし、成長できないのはうちではダメかなって思ってます。給料の体形は、基本給があって、平たく言えば歩合給っていうようなのがあってって感じなんです。修業年限が長くなっても、基本給とちょっとしか取れないっていうのは怒りますよ。逆に修業年限が長くなればなるほど、いかに短時間で合理的な施術ができてご満足をいただけるかってことを考えながら施術してもらう。そうすればねえ、タイムイズマネーで短い時間でいっぱい稼げるような施術スタッフを育成する努力はします。だってねえ、平たい話先生がたって定期昇給があるよね。こういう院だって定期昇給をできるような力付けてもらわないと。定期昇給分の力をつけるようにけつ叩いてます。そういう意味で、うちのスタッフには県師会の行事にはかなり出てきてくれてい
37	佐々木 経営に関わってくる事務は事務職員がやってくれてることなんですよ。
38	対象1 そうそう。いろんな労働保険とか、雇用保険とかもね。私も支持はしますが、ミクロの細かい数字はっていうよりは、マクロ的な部分で「この数字数字どうなってんだ」みたいなね。ことを指導するだけで、ミクロ的なところまではね、時間を割かないようにしています。
39	佐々木 患者さんの数は日によって違うと思いますが、昨日の患者数はどのくらいですか。
40	対象1 昨日は14人。
41	佐々木 前月8月の患者さんの数を教えてくださいませんか。
42	対象1 ええーっ！受付に数えてもらっているんで少しお待ちください。新患者数は11人なんです。平均新患者数11人っていう集計を出しました。8月ってお盆休みが入る分、夏季休暇ね、それでちょっと少なくなっちゃうんですね。
43	佐々木 自由診療で施術を受ける場合の料金はどのようになっていますか。

44	<p>対象1 ベテランマッサージの1時間のマッサージって言うのは4,300円なんです。って、うちは決まりを作ってますね。一般スタッフって言うのは、うちに入社して4年間だけは一般スタッフとして、1時間のマッサージ3,600円。8年一応過ぎたらベテランスタッフとして、もうちょっと高い料金を設定できるように、はっぱをかけているんです。そういう意味で、話をしたように修業年限が長くなればなるほど、それなりの料金が患者さんに請求できるような実力と人格をつけろ。だから、そういう意味でば一っとしてると首が飛んじゃう！でも首を飛ばすんじゃなくて、逆に言えば、例えばね、この職場じゃ荷が重いのだろうから、私の人脈を通じてどっかそれなりの職場を紹介してあげますよってケースはたくさんありますよ。8年目までに力をつけていないとね。力をつけるお手伝いはしますけども、ただ実際に施術して信頼関係を作るのは施術スタッフそのものだからね。だから同じ施術を1時間受けるにも3,600円でいいよって言われちゃうのと、ベテランスタッフの施術を受けたいなあってことで違っちゃう。</p>
45	<p>佐々木 こういう料金の形は初めからですか。</p>
46	<p>対象1 10何年か過ぎてからだね。分かんなかった。どういう風にしていいんだかね。本当に暗中模索だね。どういう風にしてベテランスタッフと、中堅スタッフ、一般スタッフの差を出していったらいいのかなって。たどり着いたのはそこです。スタッフEの場合、5年目に入った時に患者さんが100人ぐらいいたんですよ。その患者さんに対して「この4月をもって中堅スタッフになりましたから、料金はこうになりました」ってのがきでお知らせをしたんですけど、それなりにきてくれてるんで、中堅スタッフとして、ベテランス</p>
47	<p>佐々木 今後この料金体系を変える予定とってはありますか。</p>
48	<p>対象1 このパターンは変えません。私が、ここの院長である限り。変える気はないです。やっとここまでたどり着いたので。この形に。あ、あ、先月の患者数は365人でした。</p>
49	<p>佐々木 28年の施術料収入はどの程度でしたか。</p>
50	<p>対象1 えーとですね。1,000万前後なんです。消費税を取られるか微妙なところでね(苦笑)。青色申告だからごまかし聞かないんですよ。青色申告なんで逆に言えば節税対策として福利厚生がっちりやったりしてね。してますが、収入のごまかしはできませんので。スタッフの充実しているときには1,300万から1,500万。今はちょっとね。コストは人件費を含めると収入の7割。私の手元には3割ぐらい。施術所自体は私の持ち物なので、そういう意味</p>
51	<p>佐々木 先生の施術料以外の収入ってあったりします。</p>
52	<p>佐々木 ないです。施術料以外の収入はないです。</p>
53	<p>佐々木 営業努力としてされていることあったら教えてください。</p>

54	<p>対象1 ホームページの充実と、そのホームページの、よく見ているエキテンっていう口コミサイトにちょっとお金をかけているとか。前はねえ、フリーペーパーなんかも使ったんですけど、フリーペーパー全く効果が出なくなっちゃいましたね。今はどちらかというとエキテンに出している広告で、月に2・3人新患を取れている。7,000円ぐらいかかるんですが、7,000円で2・3人取れば、プラスになると。と、あとはほんとにブログは毎日更新した方がいいって言うんですが、私文書が苦手なんで（苦笑）。2週間に1回しか更新してないんです。で、2週間に1回、ただし、古い個客は「私パソコンできないからブログの文書、郵便で送ってください」って言う人が10人ぐらいいるんですよ。文書送ると患者来てくれんですよ。こんなこと書いてあったねみたいなことも話題になるしね。ある意味で、そんなところにウェットをおいてね。やりたいなあってことでね。フリーペーパーはあきらめました。フリーペーパーとか電話帳とかね。昔は電話帳でも、職業別のタウンページとか、ああいうの見てきてくれたけど、いまは駄めね。ホームページは見てくれてて。</p>
55	<p>佐々木 ホームページの管理はどうされてるんですか。</p>
56	<p>対象1 ホームページの更新作業って言うのは面倒なことなのでプロバイダーにお願いしています。プロバイダーがよくやってくれているので、今はスマホサイトにも対応していないとだめなんだよね。対応させるのに今回お金がかかったんですが、スマホからもさっと入って、情報提供できるような、アクセスがすぐにできるようにした。患者さんからもすぐにアクセスできるような環境づくりをしておかなくちゃね。昔は口コミでたくさん連れてきてくれていたんですが、今はそういうサイトみたいなのを使わないとだめだね。口コミもないわけじゃないっすよ。</p>
57	<p>佐々木 患者さんとしていらっしゃるのはいくつかの方が多いですか。</p>
58	<p>対象1 近くが多いですよ。やっぱり。</p>
59	<p>佐々木 定期的にいらしている患者さんって何人ぐらいいらっしゃいますか。</p>
60	<p>対象1 さあー！！私の持っている患者さんで確実に1週間に1回って言う人が二人いるんですよ。それはずーっと1週間に1回。で、何らかの症状を訴える。あとは月1が30人ぐらいいるのかね。私のレベルでね。スタッフのレベルまではちょっと把握してない。</p>
61	<p>佐々木 先生が一番初めに開業されたときの初期投資はどの程度でした。</p>

62	対象1 えーとですね。親に土地を買ってもらったんですよ。1974年あたり350万銀行から借りて。公的融資が50万、銀行からの融資は300万。それでスタートしました。その当時家が500万で建ったんだ。それで、あの当時ってすごかったんですよ。私記憶に残っているだけで、1日25人やった日があるし、18人を三日続けてやったって言うのもあった。あの時はどうだったんだって！！当時は私もイケメンだったんで（笑い）！今は頭剥げちゃってるけどね。
63	対象1 それじゃ、開業してから患者さんが来なくて困るってことはなかったんですか。
64	佐々木 最初来なくて困ったってことはなかったですよ。1974年から1980年代って言うのはね、すごい時代だったね。同業者は割と、その時代ってみんなすごかったですよ。だから、この辺で鹿行鍼灸マッサージ師会って言うのがあったんですが、二伯三日の旅行に応募かけても50人の大型バスが埋まっちゃうぐらい、景気が良くてね。とにかくあの頃は、不謹慎な話だけど、飲みに行ったら4万いくらかの請求が来ちゃってね。財布にあったことはあったんですが！帰りのタクシーの金がねえから「運転士さん家に行ってとってくるから待っててくれ」っていったらいいよ、いいよってね！そんな時代もありました。それをずーっと越してスランプはありましたよね。その時はしょうがないから、遊び癖が付いてるから、遊ぶ金を確保するために健康サウナにアルバイト行って稼いできたお金で遊んでましたよ（笑い）。
65	佐々木 ここを2001年に開業されてからはいかがでしたか。
66	対象1 逆に私鍼灸専門で出だしましたから。東洋はり医学会で学んだから、鍼灸専門でってことで。2001年開業の時、鍼灸専門で、私の鍼の実力と人格がそれだけのものだったのか、何だったんだかわからないけど、限界がきちゃったね。うーん、マッサージもっ取り入れなくちゃ、取り入れるってことになるってやっぱりスタッフと一緒にやらないってことで。ここを始めるときは、土地だけで3千万ぐらかかったのかなあ。建物も3千万ぐらかかったんですよ。それだから、それまでにいくら稼いだって言っても！金は使っちゃってるから！稼いだ分はね（笑い）。おかげさまで今も借金経営です。2千300万借りましたから。
67	佐々木 施術室の広さはどのくらいあるんですか。
68	対象1 ええー。35坪ぐらい。施術室にはベッドが5台。物理療法の機器としてはパルスが1台あって、あとはないっす。パルスが1台だけ。
69	佐々木 物理療法の危機であったためにするのは使わないんですか。
70	対象1 電子レンジで温められるホットパックは使ってますよ。

71	佐々木 先ほど施術所経営が大変だった時期があるとお聞きしましたが、この仕事がいやになっちゃったことはないんですか。
72	対象1 嫌になったことはないですね。だから、スランプに入るから、スランプに入ったらしょうがない、時間があるわけだから、金がねえだけで。金がねえだけで、時間はあるんだから、図書館から本を借りてくんだよ。勉強するしかない。施術の勉強と、接遇の勉強ね。今うちのミーティングでは、あえて接遇だけのミーティングやってんですが。勉強は何とか、施術に関する者は、基本的なものは持ってるものになるんですが自由に勉強していいよってことで。でも、接遇についてはちょっと勉強しなくちゃってことで。
73	佐々木 先生が鍼灸とか、マッサージの免許をおとりになったのはいつになりますか。
74	対象1 マッサージが1972年、鍼灸が1974。茨城でね。
75	佐々木 盲学校に入学された理由は、やはり目が悪いってことですか。
76	対象1 昭和35年、1960年の入学なんですが。入学当初左目は全盲で、右目の視力が0.01に満たない程度の視力で。もうがきのころ生意気だからね、それこそよくやってましたよぶつかり、ぶつかりね。で、完全に全盲になったのは、1965年。その時、一晩にして全盲になりましたね。緑内障で発作がばあって行ってね。親はびっくりしたけどね。小学校5年の時ですね。
77	佐々木 あん摩マッサージ、鍼、灸を取るって言うのは盲学校に入学してからですか。
78	対象1 なんとなく、もうみんな一つの建物の中で、一つの敷地の中に6棟の寄宿舎が建ってたんですが、6棟の中に先輩の方が鍼灸だの、あん摩だとかしてるし。たまに、臨床室なんかのところを通過して、一般の外来患者さんを見るのを、小学校の低学年から「俺もこれで食うんだな」って、これで生活を支えるんだなってのは、子供ながらに思っていた。私の後輩で理教連会長の栗原先生なんですが、そういう頭も俺にはないしね。坂場先生とか、そういう先生がどんどん教員になるっていう選択をしたけど、俺にはその頭が無い(笑い)。遊び人だったしね(笑い)。
79	佐々木 勉強大変じゃないですか。
80	対象1 実務に沿った勉強をやるようになったらするようになりましたよね。目の前の患者を何とか治してあげなくちゃってなったりね。勉強ひっしこいてやりました。

81	佐々木 先生は身体障害者手帳はお持ちですか。
82	対象1 1種, 1級ですね。
83	佐々木 施術所を続けていくにあたって目標とか, 夢ってありますか。
84	対象1 私がこの施術から去った後も, 誰かがこの施術所を残してもらえたらなあって。残せるだけの, 維持できるだけのノウハウを残してあげたいなあって。金は俺が持っていくですよ(笑い)。そのノウハウみたいなのをね。例えば, うちでマッサージたりとはいえ, 単なる1時間だ, 2時間だって揉むんじゃないくて, スイナの系統のマッサージを初年度に皆マスターするんですよ。そういう, こうマッサージだから慰安じゃなくて, マッサージでもちゃんと治療という目的を掲げた施術ができるような力をつけられる。先輩から後輩へ伝えられるノウハウをしっかりと作っておきたいし, 経営的にも, できれば今は個人経営ですけども, 法人経営となっていければいいのかなって。
85	佐々木 今後の経営に際して不安なことはありますか。
86	対象1 不安を感じることに言うのは, やっぱり人がいないってことですね。施術スタッフを確保するのに, 盲学校も大変な時代になっちゃってる。で, 一般の健常者の学校にも求人案内出してるんですがやっぱり。たまたま, でも今回東洋鍼灸専門学校から卒業の生徒が2年前に入社してくれたんですが。だから施術スタッフを確保できないって言うのがね。
87	佐々木 その入社された晴眼の方は茨城の方なんですか。
88	対象1 そうなんです。たまたま, この近くで。
89	佐々木 スタッフのリクルートはハローワークを通じてのものですか。
90	対象1 ハローワークだけが頼りで。求人誌なんかはあんまりあてにならないしねえ。点字毎日を出しました。今点字毎日って広告やってないんだよね。あと求人誌は不安でやっておりません。専門学校には出してますよ。盲学校も含めて。
91	佐々木 今まで先生自身が施術をしてこられて印象的な患者さんとか, 施術があったら教えてください。

92	対象1 これはねえ、一人だけお話ししますが、本人はあんまり覚えてないみたいなんだけど、周りに言わせると酔っぱらってこけて手足が麻痺になった患者さん。医者には将来寝たきりになりますよって言われていた患者さんが12年たった今でも、ここに通院できてるっていう。もちろん奥さんのサポートがあって、杖を突きながらではあるんですが。でも、寝たきりだって医者に宣告されたのが来れてるんだから。嬉しいっすよね。
93	佐々木 どんな治療をされてるんですか。
94	対象1 私はもうタッチしていないんですが、30分のマッサージと鍼をやってるんですよ。鍼は苦痛を緩和する程度の、東洋医学の本治法的なものじゃなくてっというような程度しかやっていないんですが。それでもスタッフが施術していてもずーっとね。医者は誤診したのかもしれないけど。私が最初施術をやってたんですが、スタッフに任せるようにしました。だからベテランスタッフとか中堅スタッフには下に落とせって言ってますよ。若い人に教えられるようなものを持っていないと落とされるよって。
95	佐々木 先生のお年を聞くのを忘れていました。
96	対象1 65歳です。あと15年やりたいと思ってんだよね。日立のN先生って知ってますか。あの先生まだ現役だもんね。少なくともあそこぐらいまではがんばりたいと思って。
97	佐々木 この仕事に対する満足度を、普通を50%としてどのくらいか教えてもらえますか。
98	対象1 80%ですかね。足りないのは知識と、集中力ですね。そう思います。いろんな文献を頭の中には入んですよ。それが実際の臨床の現場では、あっわすれちったわって(笑い)。ちょっとカンニングしてくっかって。あとは世あたりがね、43年もやってるから、それはいくらでもどうにかなるんだけど。その取穴なんかは迷っちゃうことがありますよね。それが満たされたら100%かな。
99	佐々木 自身の年収に対しての満足度についてはいかがですか。
100	対象1 それもあと20%ぐらい足りない感じかな。やっぱり、この年になっても買いたいなあって思っても、これは月の稼ぎの中でやめておくかあって。買いたいのは全部買いたいね(笑い)。
101	佐々木 以上でインタビューは終了です。ありがとうございました。

対象： 訪問日 2017/10/22(日)
インタビュー時間 57分

1	佐々木 では、すみません、1時間ぐらい掛かってしまうと思いますが。
2	対象2 はい。
3	佐々木 順番にお話を。気楽にお話ししていただければ大丈夫です。
4	対象2 分かりました。
5	佐々木 自分は先生のことを知っているし、学校でもお話してもらったことがありますよね、多分。
6	対象2 ええ。
7	佐々木 こうやってお話をするのは初めてな気がします。先生がここ、治療室始められたのは何年ぐらい前になりますか。
8	対象2 91年から。
9	佐々木 では、もう25年。
10	対象2 26年か。
11	佐々木 この場所で。
12	対象2 そうですね、最初から。
13	佐々木 それは卒業されてすぐですか。
14	対象2 盲学校卒業して東京にあった東洋医学技術研修センターというのが、芹澤先生の、あそこで1年間いて。
15	佐々木 はい。その後。
16	対象2 それで、整骨院に1年いて、その後、開業かな。
17	佐々木 整骨院は茨城ですか。
18	対象2 栃木、小山。
19	佐々木 栃木。こちらに開業しようと思われたのは、こちらはもともと御実家が。
20	対象2 これ、実家が近くで、実家の畑がここなので。
21	佐々木 うん。
22	対象2 畑を宅地にして。

23	佐々木 もうすごい、25年。25年施術されてきて、いろいろな患者さんがいらっしやっただと思いますが、先生がやられる施術内容とか、施術に対する考え方とかは変わってきたりしていますか。
24	対象2 それほど変わらない、最初から。
25	佐々木 研修センターで習ったことと、学校のことを基礎にという感じですか。
26	対象2 そうですね。
27	佐々木 こう施術している中で、充実感とか、やりがいとかを感じる出来事とかはありますか。
28	対象2 普通に患者さんが喜んでくれることというのはいっぱいあるので、それがやっぱり一番なわけですね。
29	佐々木 お近くの方が多くいますか。
30	対象2 いや、そんなことないですね。うちはインターネットのお客さんが結構いるので、だから、この那珂市というよりも、もう少し水戸とか、ひたちなか市とか、常陸太田、常陸大宮とか周辺、全体的にありますね。
31	佐々木 みんなお車でいらっしやる。
32	対象2 車がほとんどですね。逆に交通機関がないというか、バスがあまりない。
33	佐々木 25年で世間は景気が良かったり悪かったりしていたと思いますけども、大変だったこととか、時期とか。
34	対象2 いや、地震のとき、少し落ちたんですけど、あとはそれほど別に。
35	佐々木 変わらない。
36	対象2 増えもしなければ、減りもしないというか。
37	佐々木 では、最初から、結構患者さんはいらしていた。
38	対象2 そこそこ。
39	佐々木 施術としては患者さんによって内容は少しずつ違うと思うんですけども、基本的な治療というのは決まっていたりするのですか。
40	対象2 大きくはマッサージを、あん摩を中心にして、結構やっぱり症状を持っている人は鍼をやってくれという人が多いので、それにちょっと鍼を入れるという感じで。
41	佐々木 鍼だけという人はあまりいないのですか。
42	対象2 あまり、ええ。

43	佐々木	では、患者さんの要望に合わせて。
44	対象2	そうですね。
45	佐々木	内容を少し。
46	対象2	ええ。
47	佐々木	割合としては、やはりあん摩のほうが多いですか。
48	対象2	いや、最近は、でも、やはり鍼を希望する人が結構多いですね。
49	佐々木	そうですか。
50	対象2	少し変わったのは、最初、パルスを研修センターの中でパルスをやっていたので、ああいうのをやっている頃はあん摩が多かったのです。最近、パルスはほとんどやっていないんですよ。
51	佐々木	使わなくなった。
52	対象2	1年間で考えても、ほとんどやっていないです。1人とか、2人とか。そうやってきた頃から、増えた感じがするのです、鍼の希望が。
53	佐々木	結構、パルスを使わないときは置鍼とか。
54	対象2	置鍼もしないですね。
55	佐々木	しない。
56	対象2	シール鍼、普通に。
57	佐々木	だけ。
58	対象2	だけですね。でも、結構、痛みも取れるし、可動域も広がるし、体調も良くなるしということで。
59	佐々木	使わなくなったきっかけとかあるのですか。
60	対象2	だんだんに面倒くさいというのと、つまらないという、感じとしてつまらないなというのが結構大きいかな。
61	佐々木	患者さんの反応が。

62	対象2 反応もそうだし、普通の鍼、シール鍼とパルスとをやっても、そんなに変わらない感じがしてきたんで、それは少しもしかしたら普通の雀啄とか、ああいう普通の鍼がうまくなってきたのかもしれないんですが、それほど別にパルスをやる必要がなくなってきた。あとは、案外、嫌う人が多いというところ。10分そのまま置いておくとか、15分置いておくというのは何かもったいない気がしてきてね。自分で鍼、手技でやっている、例えば5分で済んじゃうかもしれない話じゃないですか。場合によっては、1分ぐらいで済んじゃうかも。
63	佐々木 はい。効率もいいし、反応もいいと。
64	対象2 うん、そうそう、反応が出ればそれでいいので。
65	佐々木 何か施術するときにすごくというか、大事にしているというか、考えていることとかあるのですか。
66	対象2 自分の場合は、対象の所見、ちょっと緊張があったかな、そういうのをなるべく変化させること。それはあん摩でも鍼でもそうなんです。そこを中心に考えていますね。
67	佐々木 局所ということですかね。
68	対象2 うん。局所でも全体でも、例えば、あん摩するときに、お腹に特に、最初、お腹をちゃんとあん摩、全身やると結構変わるので、そういうことも含めて、お腹とか顔。
69	佐々木 お腹とかは、硬さとか。
70	対象2 表面の緊張とか。
71	佐々木 あん摩でも見るのですか。
72	対象2 あん摩でも見る。あん摩でもかなり変わりますよ。特に自律神経的な人なんかは見ておく。患者さん自身にも触ってもらって、覚えておいてもらおうと、結構、変化を感じてもらわないですか。
73	佐々木 自覚できるということ。
74	対象2 それが結構大事かなと思います。自律神経系というのは治療前と後で、なかなか効果を、良くなりましたと言えないじゃないですか。
75	佐々木 そうですね。
76	対象2 だけど、体表のお腹を触ったりとかしていると、自分でも納得して、次に来てもらえるかな。
77	佐々木 実感、やはりその自覚できる人が結構いるのですね、じゃあ、変化を。

78	対象2 そうですね。さっき押したら痛かったけど、今、押したら痛くないとか、そんな感じなんだけどね。自分で押させれば、ちょっとは分かるじゃないですか。
79	佐々木 はい、そうですね。
80	対象2 そんなようなことをやるようにしている。
81	佐々木 では、効果は実感してお帰りになれると。
82	対象2 そうそう。よく運動しているようなときは可動域が広まったとか、痛みがちょっと軽くなった、腕が上がるようになったとか言われますけど、自立神経のところはなかなか難しいじゃないですか。
83	佐々木 そうですね。
84	対象2 でも、それをなるべく分かってもらうことを心掛けてやるといいのかなということですね。
85	佐々木 何か意識して施術中に工夫していることとかあったりしますか。
86	対象2 工夫していることって、特にはないと思うんですけど、例えば、施術するベッドを温かくしておくんですね。下にバスタオルがあって、その下がシーツ、その下に低反発マット、2cmの低反発マットでその下に温かいカーペットみたいなやつを入れておいて、それで、部屋の温度は少し低めにしておいて、となると案外、気持ちいいということで喜んでいきますね。やっぱり気持ちよくするというのは、1つ大事なところではあるのかと思います。副交感神経を高めるという意味でもね。
87	佐々木 心地いい時間を作るということですね。
88	対象2 ええ。
89	佐々木 逆に、今、もう先生はベテランなので、そんなことはないのかもしれませんが、施術上、不便さを感じたりすることはあるのですか。
90	対象2 不便。
91	佐々木 多分、そういうのはもう克服、自分で克服されてるんだと思うんですけども。
92	対象2 うん。不便っていろいろある、聴覚障害の人が来たりとか。
93	佐々木 ああ、コミュニケーション。
94	対象2 一番最初にメールで全部問診して、あとは、紙を作ったんです、横向き、右側向いてくださいとか、寝てくださいとか。その紙を出して動いてもらって、それで何とかやったことがありますね。

95	佐々木	確かにそれは難しいですね。ちょっと見えないのと、聞えないので。
96	対象2	そうそう。
97	佐々木	先生は視力はどのぐらい。
98	対象2	全くゼロ、最初からゼロ。
99	佐々木	そうなんですね。
100	対象2	生まれたときからゼロ。
101	佐々木	じゃあ、盲学校も小さいときから盲学校で。
102	対象2	ええ、小1から盲学校で。
103	佐々木	盲学校を出て、先生が卒業されたのは平成の最初のほうなのですか。
104	対象2	平成の最初、平成元年の3月。
105	佐々木	じゃあ、今より全然、生徒が多かったですね。
106	対象2	多かったですね。
107	佐々木	この仕事をやるということに抵抗はなかったですか、そのずっと。
108	対象2	もう、これしかないと思ってました、逆に。というか、これなら何とかかなるのかなというところがあったから。
109	佐々木	じゃあ、何か違うことを考えたりとか。
110	対象2	あまりなかったですね。
111	佐々木	なかった。この研修所に行くのは何かきっかけがあったんですか。
112	対象2	いや、何となく、もう、そういうふうになろうと思ってた感じですね。そんなに、こうだからこうじゃなくて、ちょっと勉強したほうがいいなというのはあったんで、行ける所というのはそんなにないんですよね、選択肢がね。
113	佐々木	ええ。でも、そう誰でも入れるわけではないですよ。
114	対象2	でも、結構入れますよ。あと、治療院にどっか勤めるというのもあるのか、そういう意味ではね、勉強しようというか。でも、それは余り考えなかったですね。
115	佐々木	研修なのであれですよ、手当みたいなのは出ない。
116	対象2	出ないですね。
117	佐々木	では、1年間は東京で。

118	対象2	ええ。
119	佐々木	研修所だと施術をするんですか、ずっと。
120	対象2	午前中は講義とかそういうやつで、午後が臨床室ですね。
121	佐々木	患者さんを担当させてもらえるとか。
122	対象2	でも、なかなかさせてもらえないですね。
123	佐々木	見学。
124	対象2	助手みたいな感じです。
125	佐々木	物を準備したり。
126	対象2	そうそう、鍼を出してやったりとか。あとは、自分のときは、視覚障害の人がほとんどいなかったのので、実技とかになると全部モデルになれたんですよ。それはよかったですね、勉強という意味で。
127	佐々木	受けられた。
128	対象2	全部、芹澤先生の鍼とか、オイルマッサージとか全部。
129	佐々木	それは貴重な体験。
130	対象2	それは結構貴重な、よかったのかな。やっぱり晴眼の人ばかりなので、そういう感覚的なあれなんで、ずっとそれまで盲学校だったからね、そういう意味でもいいあれになったのかなと思いますけどね。
131	佐々木	では、結構いたんですね、研修生自体。
132	対象2	研修生は24人かな。盲学校から出た人が3、4人いて。
133	佐々木	少ないですね。
134	対象2	ほかの人はみんな結構、弱視でもかなり見える弱視の人だったんですね。全盲は自分だけだったんで。
135	佐々木	大変なときもありそうだけど。
136	対象2	うん。
137	佐々木	でも、その研修に行った時点で、もう開業されることは。
138	対象2	開業は、もう最初から開業しようと思っていた、盲学校にいる頃からね。
139	佐々木	頃から。

140	対象2 うん。やっぱり視覚障害者はうちで仕事するのが一番よくて、どこも出なくて済めばね、それはそれで楽し。
141	佐々木 確かに。
142	対象2 それで人も良くなってきて、そこそこお金になるんだったら、それが一番いいと思うんですよね。それがうまくいかないから、いろいろ今だったら、訪問やったりとかしなくちゃなんないんで。
143	佐々木 そうですね。実力があればそれが確かに一番安全だし、効率がいい。
144	対象2 それが一番安全、効率よくて、あと、余った時間は自由に使えるし。
145	佐々木 ここを準備するとか、建てた理由、物を準備したりというときは、卒業してそれほどまだお金がないとか。
146	対象2 親から借りた感じですかね。あとは、結構、建物もなんかも安くできたんです。たまたま材料、木材なんかが、木材屋さんが仕事を辞めるということで、余った木材なんかを結構もらうぐらい安く、あれできたりなんかして、かなり安かった、運が良かったとか、そういうのもありますね。
147	佐々木 時期的にはもうバブルがはじけた後なんですね。
148	対象2 そうなんだね。
149	佐々木 何かPRとか営業活動みたいなことは始まったときにしましたか。
150	対象2 一番最初は折り込みチラシをちょこっと入れただけですね。
151	佐々木 意外に効果は少ないという人が多いんですけれども。
152	対象2 というか、もっともそんなに折り込みチラシというのは効果があるものではないんだよね。
153	佐々木 もともと期待しない。
154	対象2 そうそう。だから、3%、0.3%だっけな、何かすごく少ないんですよね。1万枚まいて5人とか、10人、そんな感じなんですね、きっとね、折り込みというのはね、もともとね。だけど、結構、分からないと期待しちゃいますよね、意外と期待する。来ないねと、こうなっちゃうんですよね。一般業界、一般的なところという、そんなに反応率はよくないんですよ、それで何回もまくんですよね。
155	佐々木 何回か。
156	対象2 いや、1回しかやってない。
157	佐々木 1回しか。

158	対象2 うん。
159	佐々木 では、最近は、特にそういうことはしないということ。
160	対象2 そうそう。
161	佐々木 インターネット が中心なんですか。
162	対象2 インターネット は、これはね、最初それほど患者さん多くなかったから、時間があつたんで、それこそホームページを作る感じで自分で。これはホームページ、その頃は、まだWindowsの。
163	佐々木 95とか。
164	対象2 98が出た頃かな。音声で何とか、で、ほとんどブラウザなんかもなく、インターネット、ホームページ、見るのも大変だったぐらいな感じなんですよ。そういうところでいろいろ調べて作ったんですよ。
165	佐々木 自分で作った。
166	対象2 うん。それは結構、今でもお客さん来てますから、ほとんど何もしてないですけどね、その後は。
167	佐々木 それを見て連絡して来る。
168	対象2 そうそう。これは結構よかったですね。多分、古いからかな、検索エンジンでも結構上のほうに出るのです。
169	それと、あとはコンサートとか、そういう、健康教室なんかも結構やっているのです。そういうので知ってもらおうということが結構つながっているのかなという感じですね。
170	佐々木 先生、音楽はずっと学生のときからですか。
171	対象2 学生の頃からやってましたね。
172	佐々木 健康教室とか始められたのはいつぐらいからですか。
173	対象2 本当に始まったのは、2000年頃からですかね。
174	佐々木 あれは、依頼があつてというわけではなくて、自分たちで設定。
175	対象2 自分たちがするやつは健康に効くコンサートと言って、コンサートの中で健康の話をするやつ、それを年に4、5回やって、4回ぐらいかな、3、4回やって、そのほかには、依頼があつて、いろんな高齢者の集まりとか。

176	佐々木 そういうときは、何かお話に行って、配ったりはしないんですか、治療院の。
177	対象2 配れる場合には、治療室の案内を配ったりとか。
178	佐々木 そうなので、やはりいらっしゃる患者さんも。
179	対象2 そうですね、すぐに来なくても、後々覚えておいてくれて、あのときの話を聞いてるんですって、調子が悪くなったからって来るのは結構あります。
180	佐々木 那珂市は助成券はあるんですか。
181	対象2 助成券はないですね。無くなっちゃったんです。
182	佐々木 無くなってしまったんですね。
183	対象2 うん。
184	佐々木 使わないからですかね。
185	対象2 いや。お金が無くなっている。
186	佐々木 奥様と一緒に最初からもう開業当時からお二人。
187	対象2 いえいえ、開業は最初1人でしていて、2001年に結婚したのかな。その頃から一緒に。
188	佐々木 奥様も施術もされているのですか。
189	対象2 いや、今、やってないです。
190	佐々木 そうなんですか。先生、お一人。
191	対象2 そうそう。
192	佐々木 先生は施術所の経営について、勉強を御自身でなされることはありましたか。
193	対象2 いや、特にしてないですね。
194	佐々木 余りお困りにならないから、そういう感じ。
195	対象2 うーん、そうですね。
196	佐々木 結構定期的にいらっしゃる患者さんは何人かいらっしゃるんですか。
197	対象2 そんなに定期的にはなくて、やっぱり調子が悪くなると来る。
198	佐々木 来る。では、結構、症状を持った人が使われるということですね。

199	対象2 結構症状を持った人、そうそう、だから、余り疲れたとか、そんなのは余りないんですね。
200	佐々木 そうなんですね。
201	対象2 逆に症状を改善できないと、駄目なのかなと思うんですよね。それで、さっきの自立神経系でも、少し変化を実感してもらおうというのが大事なんですよね。
202	佐々木 大体、何回ぐらい続けていらっしゃるんですか、その調子が悪く、人によってですか。
203	対象2 人によってですけど、ちょっと、4、5回でしょうかね。あとは、疾患、例えば脊柱管狭窄とか、ああいうのだと結構続くときはあります。10回とか、15回やって、少し楽になるとまた離れて、またつらくなるとみたいな、そんなことはありますけど。
204	佐々木 感じとして、どういう症状の人が多いですか。
205	対象2 多いのは、肩こり、腰痛的なものです。痛み。
206	佐々木 やっぱ、つらい痛み。
207	対象2 痛みがつらくなってくると来るんです。よっぽど大変になってくると来る。もっと軽いうちに来たほうが早く 治るんですよと言うんですけど。
208	佐々木 ため込んで来る。
209	対象2 軽いうちはほかの接骨院に行ったりするわけですよね、整形に行ったりして。それで、いよいよになると、こっちに来るんです。
210	佐々木 料金はどのように設定されているのですか。
211	対象2 50分、大体基本コースで、3,500円です。
212	佐々木 それは、あん摩。
213	対象2 何をやっても3,500円です。
214	佐々木 何をやっても。
215	対象2 うん。50分の中で収めるようにしています。あと、一応、ロングということで、80分で5,500円とか。
216	佐々木 80分を選ぶ人もいたりするんですか。
217	対象2 そう、時々、うん。

218	佐々木	何か物理療法のような機械は使ったりはしないのですか。
219	対象2	超短波というのかな、パットを当てて、超短波。これは必ず、ほぼ必ず。
220	佐々木	みんなやる。
221	対象2	うん。
222	佐々木	ピリピリするやつですか。
223	対象2	ピリピリしない、温まるやつです。
224	佐々木	温まる。
225	対象2	肩こりだったら首とか、肩の辺りの緊張している部位の上に当てながら仰向けで寝てもらって、それで、お腹見たりとか、手足の経絡とかなんか見たりしながら10分間ぐらいおいて、治療しようかなと考える時間。
226	佐々木	それぐらいですか。
227	対象2	それぐらいですね。
228	佐々木	今、ベッドは1台なんですか。
229	対象2	一応、2台あります。
230	佐々木	患者さんは大体予約で、突然いらした方。
231	対象2	ほぼ予約です。
232	佐々木	ちなみに、保険は使っていますか。
233	対象2	保険はやっていないです。本当はやったほうがいいんですけどね。
234	佐々木	いや、でも、今、結構減らしている先生も多いみたいですね、何か同意書がね。ちなみに、料金はずっと変わっていないのですか。
235	対象2	変わってないですね、最初からそのまんまです。料金は変わってなくて、時間が変わったんですよ。
236	佐々木	時間が。
237	対象2	60分やっていたのを50分にしたんです。10分の間が空くと結構、体が楽に。
238	佐々木	続いたときにね。

239	対象2	そうそう。8人とか続いてても楽なんで。
240	佐々木	記録とかされているんですか、患者さんについて。
241	対象2	簡単にブレイルメモでカルテみたいなのをね。
242	佐々木	50分にしたのはいつぐらいからですか。
243	対象2	これは、いつになるかな、もう10年ぐらいになるかな、10年前ぐらいかな。それと、週休2日にしたんです、その頃。
244	佐々木	日曜と。
245	対象2	日曜日と祝日が休みだったのを月曜日も休みにしたんです。
246	佐々木	日、月がお休みなんですね。
247	対象2	そうそう。これも結構、ほかの仕事なんかでもみんな2日休みの人が多いし、うちもそのほうがいいかというのと、あとは、自分はいんですけど、うちで仕事していると、妻が結構緊張している感じなんで、そういう意味でも、1日増やして休みにしたほうがいいのかかと。
248	佐々木	大体、平均すると1日何人ぐらい患者さんは。
249	対象2	平均したら5人とか、そのぐらいなんじゃないですかね。
250	佐々木	多いときは8人とか。
251	対象2	8人とか、10人。
252	佐々木	10人ってすごいですね。本当に休む暇がなくなっちゃう。
253	対象2	そうそう。
254	佐々木	朝は何時からなんですか。
255	対象2	一応、9時から、夕方6時までで受付は終わりで、6時に入った人が7時頃終わるという感じで。
256	佐々木	10人というと、本当に目一杯ですね。
257	対象2	目一杯ね。
258	佐々木	ちなみに、9月は大体何人ぐらいだったか。
259	対象2	月ですか。
260	佐々木	月で。

261	対象2	9月は100ちょっとです、110ぐらいかな。
262	佐々木	ああ、そっか。大体そのぐらいですか。
263	対象2	大体そのぐらいですね。多少前後あるけど、100人いく 月といかない月と、今は100人前後ぐらいな感じだと思います。
264	佐々木	時期、毎年傾向として多い時期とか、少ない時期はあったりするのですか。
265	対象2	案外冬が少ないんですね。
266	佐々木	そうなんですか。何か冬のほうが調子悪くなりそうだけどね。
267	対象2	そうそう、冬が少ないかな、少し減るかな。案外、5月、6月、7月辺りが多かったりする。
268	佐々木	暑いときもいるんですね。
269	対象2	そうなんですね、ほかではよく来ないと思うんですけどね。
270	佐々木	そう、少ないという所もあります。
271	対象2	これも最近結構平均してきてる感じがします、この3年、5年ぐらいは。
272	佐々木	割合として、さっきもお聞きしましたけれども、新しく来られる人はほとんどインターネットが多いんですか。
273	対象2	インターネットと口紹介。
274	佐々木	ああ、やっぱり。聞いたよって言って。
275	対象2	ええ。
276	佐々木	患者さんが連れて来てくれるんですね。
277	対象2	そうですね。
278	佐々木	あとは、ふだん、ここ2人で経営されている感じなんですか。
279	対象2	そうですね。
280	佐々木	事務的なことというのはどうされているのですか。
281	対象2	というか、逆に全部自分でできることしかやらないような、考え方として、形でやろうというところですかね。それは最初からそんな感じ。
282	佐々木	書類とか、確定申告とかあると思いますが、ああいうのも御自身で。

283	対象2 確定申告は自分で紙に項目をまとめて書いて持って行って、役所のほうで申請用紙を記入してもらうような形で。
284	佐々木 やってくれるんですね。
285	対象2 うん、やってくれます。
286	佐々木 では、ほぼ自力で。
287	対象2 ええ。
288	佐々木 もうそんな忙しかったら、音楽の練習する時間は。
289	対象2 あまりないですね。
290	佐々木 休みのときぐらいですか。
291	対象2 ええ。
292	佐々木 鍼灸師会の仕事もされているから。
293	対象2 かなり結構面倒くさいんです、細かい仕事がね。
294	佐々木 ですよ。先生にお願いしているところ。
295	対象2 あと、あまりやっている人が少ないのは、回数券を使ったり。
296	佐々木 作ってあるのですか。
297	対象2 回数券は、うちで作ってやっているんです。
298	佐々木 それは何枚つづりとか。
299	対象2 これは6枚つづり。5回分の料金で6回かかれますよという感じがな。
300	佐々木 じゃあ、6枚まとめて販売して。
301	対象2 そうそう。これはA4の用紙を8等分すると、8枚出来るように一生懸命こうやって作ったんですよ。有効期限の月だけ、何月末までの月の所だけ変えれば、毎月使えるようにワードで作って、それを使っています。
302	佐々木 それを切り離す。
303	対象2 そう、ただ切って、ホチキスで留めてやっている感じです。
304	佐々木 利用される方はいるんですか。
305	対象2 結構、最近増えてきました。

306	佐々木	そうなんですね。
307	対象2	うん。やっぱりあれを買ってくれと、6回は来てくれるので、自然に。
308	佐々木	そうですね。
309	対象2	半年で6回来てくれるというのは結構いいかなと思ってね。
310	佐々木	それはいつ頃から始められたんですか。
311	対象2	これは結構最初から始めて。1人で開業した頃から。
312	佐々木	そうなんですか。随分、早い段階で投入されていたんですね。
313	対象2	そうそう、これはあまりやってないですね、きっと。
314	佐々木	聞かないですね、確かに。
315	対象2	特に盲学校関係の人はやってない感じですね。
316	佐々木	やはり機械が使えないとその辺は難しいですよ。
317	対象2	でも、見える家族がいたりする人もいっぱいいるじゃないですか。
318	佐々木	確かにいますけれども。でも、確かに、やっている人は聞かないですね。
319	対象2	あまり回数券の話は聞かないですよ。
320	佐々木	市議によっては、こう何気に、さっきの料金とか決めたりするみたいですが、那珂市はそういうことはないんですね。
321	対象2	全くないです。
322	佐々木	みんな結構自由なんですね。
323	対象2	そうですね。
324	佐々木	那珂市の人たちで集まったりすることはあるのですか。
325	対象2	あまりほとんどないです。
326	佐々木	その辺は支部によってですかね。
327	対象2	そうですね。
328	佐々木	日立などは結構定期的に集まっているみたいなこと言ってましたね。
329	対象2	やってますね、そうそう。

330	佐々木 水戸もやっているのかもしれないんですけども、水戸の先生方は結構、秘密主義なのかよく分からない、話を聞かせてもらえないのでよく分からない。
331	対象2 あとは、みんながやらないことを少しやるという、回数券のほかにも、オイルマッサージ。
332	佐々木 オイルマッサージ。
333	対象2 これも結構面白くて、オイルマッサージって、表面的な感じがするじゃないですか。
334	佐々木 そうですね。
335	対象2 じゃなくて、かなり圧掛けてやると、結構こりが取れたりするんです。筋肉、圧掛けて滑らせるってなかなかできないじゃないですか。
336	佐々木 そうですね。あん摩じゃできない。
337	対象2 普通のアん摩じゃね。あれが結構緩んだりとか、痛みが取れたりとかするので。
338	佐々木 あれも、でも面倒くさがってやっていない人、確かに受けると気持ちがいいし、効果はあるのですけれども。足とか手とかですか。
339	対象2 問診で全身やりますけど。
340	佐々木 希望すると。
341	対象2 うん。あとは、小児鍼、こういうのも結構インターネットで出しているから結構遠くからも来るんですよね。県内、これ、例えばこの辺でやっても、高萩から来るとか、つくばから来るとか、そういう意味でも1つの人集めにもなるのかなと思うね。
342	佐々木 小児鍼は短い時間ですか。
343	対象2 小児鍼は本当に5分か、10分で。
344	佐々木 子供だと自立神経の反応がよさそうですね、敏感そうだけどね。
345	対象2 そうですね。
346	佐々木 ディスポのやつですか。
347	対象2 小児はほとんどてい鍼を使って。
348	佐々木 てい鍼ですか。

349	対象2 それとかしてますね。あとは、簡単にマッサージをお母さんに、ベビーマッサージみたいなやつを簡単に教えるみたいな感じでやりながら。
350	佐々木 そういえば、ちなみに鍼は何を使っているのですか。
351	対象2 あれはセイリンのディスポ。
352	佐々木 ディスポ。Lタイプですか。クサビがないやつで。
353	対象2 鍼先が丸いやつって何だっけかな。
354	佐々木 JSP、ちょっと高いやつですね。
355	対象2 そうです、JSP、そうそう。
356	佐々木 もう決まった太さとか、決まった長さとかは。
357	対象2 ほとんど寸3、1番と、寸6、2番しか使ってないです。
358	佐々木 それぐらいでも刺激が十分ですかね。
359	対象2 うん。
360	佐々木 パルスをするときはもうちょっと。
361	対象2 ほとんどパルスしていないから、最近。
362	佐々木 鍼、初めての人もいますか。
363	対象2 初めての人もいます、結構。やっぱり、紹介なんかの場合には、鍼をやると治ると言われて来るんですよ。そうすると、ちょっと怖いけど、やりますという人はいっぱいいます。
364	佐々木 まだそうやって経験していない人も結構いるんですね。
365	対象2 いっぱいいますよ、それ。
366	佐々木 去年1年間の施術料の収入、大体でいいんですけども、幾らぐらいか教えてもらってもいいですか。
367	対象2 400ぐらいですかね。
368	佐々木 それは年によって結構変わったりするのですか。
369	対象2 でも、そんなには大きく変わらない。
370	佐々木 変わらない。
371	対象2 うん。

372	佐々木 施術料以外の収入とかは。
373	対象2 いや、ないですね。収入という言い方はおかしいですが、コンサートで少し謝金をもらうぐらいなもので。
374	佐々木 そうか。健康に効くっていうときは、取ってないんですか。無料で。
375	対象2 取ってないです。これもね、最初取ったんですよ、取ろうと思ったんですけど、結局宣伝するときに、例えば新聞に載せるとかそういうときに、有料だと載らないんですね、なかなかね。
376	佐々木 載せてくれない。
377	対象2 うん。そういうことがあって、全部無料でということ。
378	佐々木 無料でやっても、営業につながっている。
379	対象2 そうそう、逆につなげる。それで、これやるといいのは、健康のお客さんなんかにはやるといいのは、チラシを例えば公民館に置いて、いろいろな店に置いてもらったり、ポスターなんか結構行きつけの歯医者とかそういう所に貼ってもらえるので。
380	佐々木 そうか、そのときだけじゃないんですね。
381	対象2 そのPR効果もあると思います。それに、例えば今回やったら、11月にやるやつは「ダイエットのためのツボ療法」とか書いておくと、もしかしたらダイエットにいいのかなと思ってくれる人がいるかもしれないじゃないですか、そういう効果も結構あるので。
382	佐々木 11月は、ちなみにいつ。
383	対象2 11月3日なんです。文化祭の日なんです。
384	佐々木 文化祭の日か。そうか、学校は今、そればかりですね。あの日は、でもイベントは多いですね、文化の日だから。場所は公民館。
385	対象2 いや、これは水戸で。
386	佐々木 水戸でやるのですか。
387	対象2 今回はね。
388	佐々木 水戸でやったりするんだ。水戸はどこですか。
389	対象2 水戸は県生涯学習センターというのは、図書館の隣の三の丸庁舎の、あそこで、100人入る部屋があって。
390	佐々木 そこで、そういうことに貸してくれるんですね。

391	対象2 貸してくれます。やっぱり治療院を開いていても、何かしないと、ここにあるよというのを分かってもらえないんですよね。そうすると、誰も来てくれないとかなっちゃうんで、そういう意味では、やっぱり少し動かないとなんないんですよね。それが自分の場合にはコンサートだったり、そういうことなわけ。何だっていいと思うんですけど、やっぱり少しは動かないとね、分かってもらえないんですよね。
392	佐々木 いいですね、やっぱりそういう特技があるというのは。
393	対象2 でもね、健康の話なんか誰でもできることじゃないですか、普段患者さんに言ってることを言えればいいんだし。
394	佐々木 確かに。
395	対象2 それに、歌が好きな人だったらカラオケ、来た人と一緒にカラオケやるとか、何でもいいんじゃないですかね。お菓子が好きな人だったら、お茶飲み会やるとか何でもいから、何か人を集めるとか、そういう考え方は必要かもしれないですね。それには、別に目が見えなくてもできるじゃないですか。
396	佐々木 そうですね。そういうエネルギーがあるかどうかというのは大きいですよ、やっぱりね。
397	対象2 逆にね、いろいろ介護保険のどうのこうのとかいうのをやろうと思うと大変じゃないですか。ほかの業種とのつながりとか。
398	佐々木 そうですね、絡みがある。
399	対象2 そんなことよりも、よっぽど楽かなと思って。
400	佐々木 いろんな患者さんがいると思いますけれども、すごく今までで印象に残った人というのはいたりしますか。治った話とか、治らなかった話で。
401	対象2 最近の人ですと、顔面神経の麻痺、片側、これで来たんですけど、2週間後に胃がんの手術。
402	佐々木 胃がんの手術。
403	対象2 胃がんで、ほぼ胃全体に広がっちゃっていて、東大で手術するという話で、それまでに何とかなんないかなという話だったんです。で、それをやったりとか。
404	佐々木 それはどんな施術をされたんですか。

405	対象2 普通に全身調整と、あと、顔をちょっとした鍼とか、そんな感じで。で、結構、胃がんなんかもかなり進んでいる人なんで、強い刺激もできないんで、とにかく、何とかその病院に入るまでに治ったんで、かなり喜んでいましたね、それはね。
406	佐々木 良くなったんですか。
407	対象2 良くなりましたね。
408	佐々木 そんな重いというか、人が来るんですね。
409	対象2 うん。
410	佐々木 さっきの、ごめんなさい、話が飛んでしまって、施術の話を聞いたのですが、先生は年金も受給はされていますか。
411	対象2 はい。
412	佐々木 障害者手帳としたら1種1級。
413	対象2 1種1級。
414	佐々木 持っている資格というのは、あん摩マッサージと、鍼と灸。
415	対象2 ですね。
416	佐々木 ちなみにお灸なんかはあまりやらない。
417	対象2 お灸はあまりやらないですね。一応、全機能灸器とか用意はしてあるけれども。
418	佐々木 あまり使わない。
419	対象2 うん。何かやっている実感がいいしね、あまり。実際に効いている感じがしないというかね、やっぱりお灸というのはもぐさの香りがしないとか駄目なのかなと思いますけどね。
420	佐々木 あと、先生は、今、お幾つですか。
421	対象2 今、50です。
422	佐々木 資格を取ったときは21。
423	対象2 21か。
424	佐々木 今、仕事をされてきて、この仕事に対して満足感というか。
425	対象2 かなり満足してますね。

426	佐々木 まあまあというのを50だとすると、どのぐらいですか、パーセンテージで言うと。
427	対象2 80とか、90、かなり満足しています。
428	佐々木 それというのは、それだけ充実しているというか、満足しているというような、やりがいがあると。
429	対象2 やりがいもあるし、そうですね、そんなに、ほか、あまり考えられないというのもあるし、十分生活もできてるし、楽しく生きていられるし。
430	佐々木 じゃあ、あれですか、もう続けてくる中で、これ、もう辞めようとかと思ったことはないですね。
431	対象2 うん、そうですね。
432	佐々木 ちなみに、同じようにやりがいを感じている中ということだと、収入に対しての満足度はどんな感じですか。
433	対象2 収入もこんなもんですよ。そんなに要らないじゃないですか、お金っていってもね。
434	佐々木 生活を。
435	対象2 普通に生活して、後々考えてもね、何とかなるかな。
436	佐々木 今後のこと、施術所をこれからどうしていきたいとかという目標とか、夢とかあったりしますか。
437	対象2 大した軸とか目標じゃないですけど、そこそこ続けて、いつまでなのか、10年なのか分からないですけど、そのぐらいは続けて。
438	佐々木 10年は、まだ60だね。
439	対象2 だって、あとは他にもやりたいこと、音楽だってもっと活動広げて面白いかもしれないし、どう変わっていくか分からないですけど、そんなに、いつまでもいつまでも続けなくてもいいのかな、仕事しなくてもいいのかなと思うよね。
440	佐々木 ある程度のところで。
441	対象2 そうそう。その時になるとやりたくなるのかもしれないけどね、それはね。
442	佐々木 でも、そうするとやっぱり先生にとっても、音楽は大きい存在ですね。

443	対象2 そうですね。
444	佐々木 逆に続けていくことを考えたときに、不安なこととかはあったりしますか。
445	対象2 特に思い当たらないかな。あまり無理していない感じなんで、今の感じがね。これ、例えば保険もやらなくちゃとかになっていくと大変なんだと思うんです、介護保険もやんなくちゃとか、いろいろ考えるとね。
446	佐々木 そういう、ある意味背伸びしていない感じですか。
447	対象2 まあ、それで何とかなってるというのが有り難いっていうところもあるけどね。
448	佐々木 きっと先生の雰囲気患者さんも安心するんですね、その落ち着いた感じ。何か聞き逃してないかな。ありがとうございます。一応ないです。すみません、いろいろ聞いて。
449	対象2 いえいえ。

対象者3
訪問日 2017/09/30(月)
インタビュー時間 65分

1	佐々木 ここを開業されてどのくらいになるんでしょうか。
2	<p>対象者3 ここはね、昭和44年の暮れに、それまで3人で開業していた同じ茨城盲の先輩と後輩が共同マッサージと言うことで、経営が始まったんですよ。それは一人ではどうしようも無駄も多いうことで。ここは花柳界だったから、すぐ前が料亭なんですよ。当時検番制度というのがあって。検番っていうのは芸者組合をとりまとめるところだよね。そこに依頼があれば芸者さんを配置するわけ。そういうキーステーションになるのが検番。こういうのがあるからいいんじゃないかっていうことで、誰ともなく言い出して、じゃあ3人で共同でやろうって。我々に対して銀行からの融資がなかなか借りられなくて、一人ではね。公的な所得証明書がないと。だから借りられなくて、3本の矢じゃないけど、3人でやればなんとかなるんじゃないかってことでやった。20代の時だから怖いものなしで(笑)。土地だけは自分たちで買って、借金して共同マッサージっていうアパートのような、60坪近い家を建てて、3所帯で住んで治療院が始まった訳。45年から10年間。</p>
3	佐々木 10年間3人で共同マッサージをされた後はどうされたんですか。
4	<p>対象者3 手狭になったり、好景気になったりっていうのがあって。このままではしょうがねえから、支店を出すか、それとも分院するかなんて、我々は発展的解消って言ってんだけど。分割分院して。支店、本店って言う形じゃなくて、それぞれが開業って形で、ここを土台にしてね。それで私がここに残ったという訳。だから二人は市内にいます。</p>
5	佐々木 先生自身も施術をされてきて充実感とかやりがいを感じることはありますか。
6	<p>対象者3 いわゆるバブル時期と言われた時代がありましたよね。ニーズがあった訳よ、ここは花柳界だったから。料亭があったり、接待に使われたり、飲み屋さんとかも。やっぱり仕事があったので、楽になるとかよくなったとかで、夜まで仕事あったから。だいぶ意義を感じながら仕事やってましたね。いい時代を経験しましたね、我々は。</p>
7	佐々木 お客さんが減ってきて大変になってきた時期っていうのはいつぐらいからになりますか。

8	<p>対象者3 バブルがはじけて、交際費っていうのもなくなったっていうのが、大打撃だったね。料亭なんかで接待する客も少なくなって、そこで我々を呼んでもらえなくなってきて。世の中も不景気になってきたことから、タクシー代をかけて呼んでマッサージにかかるってことが少なくなっちゃった、一般の市民の方もね。やっぱり規制緩和の一つもあるんだろうけど。それは今の訪問マッサージに繋がってくるんだけど。それまでの間はだんだんじり貧になってきて。非正規が増えたり、職業選択の自由とか言って無免許者が大量に黙認されるような形で、国にしても、県にしてもね。だから、無免許業者が増えてきて我々の仕事が圧迫されてきてたんだね。で、バブルの頃は社会の感じとして、暗黙の了解みたいなので、視覚障害者の職域を荒らす必要がないんじゃないかって具体的に言われるような感じで、あん摩マッサージは我々の仕事ってことになってた。それが規制緩和とか、不景気とかで、そういう社会になって、我々も巻き込まれてやっぱり保険でやるしかないような状況になってきて、そういう意味では大分変わってきました。</p>
9	佐々木 長年施術を続けてきて苦労したことはありますか。
10	<p>対象者3 自分の力量だけでは、個人経営が難しくなってきたこと。だから、今言ったように訪問マッサージとか、職員を雇うとか、企業的に規模を大きくして治療をやるとか波に乗っていかないと、来院する患者だけを待ってるだけになって。これからの人は大変だねって。我々は飲んだ席で話したりしてんですけど。そういう風に様変わりしましたね。</p>
11	佐々木 先生ご自身も訪問マッサージをされてるんですか。
12	<p>対象者3 従業員も二年前にみんな開業させたんで。だから出張はやらないで、自宅だけで。もうだいたい年齢も年齢ですから。絞りながらやってるとこ。</p>
13	佐々木 先生は今おいくつなんですか。
14	対象者3 71。そうなっちゃった。
15	佐々木 スタッフは今はいないんですね。
16	<p>対象者3 そういないんです。そう、旧態依然とした住み込みでっていうのはないよね。</p>
17	佐々木 スタッフが一番いたときは何人いらしたんですか。
18	<p>対象者3 5人。バブルのときだね。これはもう需要があったから。あの頃は自分の所に来て欲しくて、あっちの学校、こっちの学校に求人を出したもんだけど。だから、茨城盲じゃ足りないから、塩原の人がかなり来ましたよ。</p>
19	佐々木 先生の施術は、今はどのようにされているんですか。

20	対象者3 普通に一時間のあん摩治療が多いんですが。私は昔からオーソドックスなあん摩です。ただ、アラカルト方式じゃないですが局所マッサージ30分とか。45分とか取り入れてますが。通常は一時間で、規定料金で。
21	佐々木 料金はいくらですか。
22	対象者3 ここは安いからあん摩料金は3800円。平成5・6年に上げたっけり、上げらんないんだ。ただ、その頃は会員も多かったので規定料金を決めて、それを全員で守ろうと。そうしないと営業がってことで土浦支部として最低料金を決めてる。私としては一人半とか、一人半っていうのは90分なんですが。80分5000円って言うのを作ったらこれが評判よくて。5000円って言うのは区切りがいいから。ちょっと疲れた人、ゴルフ帰りで眠りたい人とか。やる方の我々としても一時間も一時間二〇分も変わらないから。そんで5000円となればやりがいもあるってことで。けっこうそれが多くてね。料金を上げる条件としては社会の公共料金とか、いろいろ値上げされたとか、理髪店の料金とかは目安になったんですが。あんまりそういうことがなくなっちゃったんでね。この辺近辺では土浦は安い方なんだ。それはやっぱり大所帯ですから。それで統制執るためには最低料金ってことでいいだろうって。その他タクシー代とか取ればそれでいいだろうってことで。自分なりに一人半とか、増収を図れば。最低の料金を決めて協定を決めてるので。料金の値上げについては総会で会員からでなくて話題にならなかったですね。
23	佐々木 先生が施術をされる際に大切にしていることとか、気をつけていることはありますか。

24	<p>対象者3 難しい臨床用語とかじゃなくて、普通の言葉で天候の話に始まって、ここがこってるねとか。それでコミュニケーションが大切なんだよね。誠意を持ってやってるってことを見せることですよね。落語でもそうだけど掴みが大事で。ここがこってるねとか、疲れてるねとか言いながら、ここがこんなに張ってるんだからなんかやんなかったなんて言ってぴったり当たったりすると信頼に繋がるので。信頼とコミュニケーションを繋ぐように普通の言葉でね。それでやっぱり聞き上手になる事かな。患者のいろんな性格って言うのもありますから。眠りたい人に眠らせて、話し上手な人は1時間話しっぱなしって言う人もいますから。家庭の事情まで話されて困ることもありますけど、嫁姑関係まで聞かされて。心許してもらえるように患者に飛び込んでいこうことだね。あとは、それを絶対他言しない、守秘義務は守って。で守秘義務を守ってきたことも黙っていたら、同じ夫婦が二人できたことがあとで分かって(笑)。そこまで黙ってることはなかったかなって思ってる。いろいろ面白くて。ご主人の性格にもよるんだけど、何もしないで、遊んでばかりでなんて言って怒る親父もいて、そういう人がいないときに来るんですよ。そう思えば行ってきなって言われてくる人もいる。一応に扱っちゃおうと来たんだってとかなっちゃうから(笑)。そこらもあって面白いよ。あとはコミュニケーションの中で知ったかぶりをしないこと。医療関係でも何でも患者はこの頃はツボの名前もよく知っていたり、テレビなんかでやってるから良く知ってるんですよ。あとは人間関係がどの人とどの人が繋がってるか分かんないので、何か言っちゃおうとあの人私の親戚なんですよって始まっちゃったりするから。あとは、ここは花柳界だったから別な女の人といるところに、私たちも揉みに行くこともあったので、だからそれも黙ってないと(笑)。だから聞かれてることに答えてればいいんだ。あんまり考えなくて、平常心でコミュニケーションをとって聞かれたことに答えながら、気持ちよく帰ってもらえればね。</p>
25	<p>佐々木 施術の内容とかやり方って長い間やってきて変わってきたりしてますか。</p>
26	<p>対象者3 こんなこと言っちゃちょっとあれかなって思うんだけど。40年間きてくれる方々が多いんで、それこそ娘さんの時代から、東京に嫁に行き帰ってきたときに呼んでもらったりする人もいるし。おばあちゃんになったから呼んでもらったりってことなんで。言葉の操作とか、態度の操作をしなくても患者に入り込んでいる人が結構いるので、普通の天候の挨拶から、今日はどこがこったのかとか、何があったのかとか。ってやればだいたいどこがこってるのか分かるので、やりながら進めていくんですよ。私は公平に揉むってことをモットーにしてるんですが、こってるところを多くね。患者がやってほしいところを掴んで、そこに多く手を持っていくと喜んで満足して行きますから。</p>
27	<p>佐々木 施術について見づらくて不便だとか工夫してるとか言うことはありますか。</p>

28	<p>対象者3 特にないんですが。やっぱり，初めて来る人かな。初めての人には6割8割ぐらいの刺激の量でやるようにして。必ず，これは機械的な刺激でなくなるかもしれませんが，それをやり返すですって説明して。そうすると多少はやり返しがきても反応なんだから大丈夫なんだから最後に行っておいてあげると，後々までリピーターになってくれるのね。それがないとあそこに行ったらかえって痛くなったとかなるから。</p>
29	<p>佐々木 先生は経営者として経営の勉強ってされたことはありますか。</p>
30	<p>対象者3 特にないんですけど。私は個人の力量を尊重して，従業員の人も。で，山本五十六じゃないが，行ってみてさせてみてって言うやつだよ。実技をやってあんたのはこういう感じなんだって，おれはこんな感じでやるんだけどどっちの方がいいって？あんたが判断してやった方がいいってことで。まずは褒めることと実技で治してあげて，あとは任せてね。で，卒業して間もなくして自信がない時には，私が最後フォローしたりしてね。5分，10分私が変わってやってあげたりね。だんだん自信を持たせてあげるようにすると，独り歩きするようになるんで，従業員も。あと経営的にはコミュニケーションをしっかりとって，患者の主訴をよく聞くんだって言ったりして。真面目に汗流してやる姿を見れば患者あんまり文句言う人はいないんで。</p>
31	<p>佐々木 スタッフとして採用して患者さんの前に出すまでってどのくらい研修されるんですか。</p>
32	<p>対象者3 私も，経営的に収益を上げてもらわなきゃしょうがないので，半月から1か月ぐらいは私との実技を中心にやったり，来た患者にお願いして受けてもらって，私が仕上げをやるとかやってあげて。取れてないところがあったら，それは反省させてね。実技で示してあげたりしながらだいたい1か月ぐらいでローテーションに入れてやるようにしました。あとは患者のニーズによってだめだとか，あの人でいいよとか。ただ性格によって，従業員によってはコミュニケーションが取れないとか，いくら言っても直してくれない人がいて，困りましたがね。</p>
33	<p>佐々木 今鍼は行なっていないんですか。</p>

34	<p>対象者3 鍼は1割ぐらいで、私は肩・頸腰のはりが揉んではとれないぐらいのうんこってる人。患者側の言い分なんですけど、鍼をすると長く聞くんだったという人。だから、そうなんだよ。表面をもんで、奥のツボを鍼で刺激すれば長くつくんですよって言ってあげると、鍼をやってくれる人もいて。そういうやり方しかなかったんで。ときどき五十肩とかぎっくり腰とかありましたが。鍼に対する専門的なあれはなかったんで。で、ここはあん摩にいいところだったんで。さっき言ったように私は42年に卒業して、43年に開業して、44年にここで共動マッサージを始めましたので。だから借金しちゃったでしょ。それを返すためには、手っ取り早いのは、金になるあん摩だったんですよ。ここは遊郭だったんで。あん9、鍼1の割合でやってたのであんまり腕磨かなかったんで、あんまり自信はないんですが。</p>
35	<p>佐々木 ここはほんと栄えていたんですね。宣伝なんかはする必要はなかったんでしょね。</p>
36	<p>対象者3 当時はここから歩いて15分ぐらいで、駅なんですけど、その間にあん摩さん15人ぐらいいましたよ。従業員使ってたところが3軒私も含めてありましたから。それでもお客さんがいてやっていけたんですよ。</p>
37	<p>佐々木 その頃は一日何人ぐらい施術してたんですか。</p>
38	<p>対象者3 時間のかかることだから何十人ってできるもんじゃないけど、1日7・8人から10人ぐらいやったもんですよ。フル回転ですよ。出張すると、その時間もあるし。だからやっぱり手が必要だったんですよ。</p>
39	<p>佐々木 今は患者さん1日どのぐらいとってるんですか。</p>
40	<p>対象者3 今は2・3人です。ちょうどいい塩梅に従業員いないからってことで、仕事もうやんないんだろうって噂になって。ちょうど私もいいの。私でいいっていう人で、電話くれる人だけやってると、楽で。仕事に追われるとやっぱり疲れるようになってっちゃうんだよ。だから今は顔見知りの長い付き合いの人ばかりだから。</p>
41	<p>佐々木 そういう風に長く来てらっしゃる患者さんは何人ぐらいいるんですか。</p>
42	<p>対象者3 何人ぐらいいるんだろう?! ふるいにかけてた分けじゃないんだけど、10人や15人いるのかな? 数えたことはないんですが。かえって来ないと心配になるくらいで、入院してたとか、なんだのってそういう年の人も多くありましたね。近所の人が多いですね。まあ遠くからくる人もいるけど、小美玉の方から来たり、石岡から来たりね。あと、こっちだと牛久の方から来たりだとかね。何も近いところに行ってもいいと思うんだけど。やっぱり来てくれんですよ。ありがたいです。そういう人間関係はありがたいですよ。</p>

43	佐々木 昨年1年の施術料収入はどのくらいになりますか。
44	対象者3 去年はやっぱり一人になったからね。どのくらいだろう。従業員がいたころは、給料も払うから計算もしてたけど、この頃は計算もしないで。その日食べられればいいって感じだったから。特にやってないけどどのくらいなんだろうなあ。そんなに・・・20万か30万かなあ。でも一日1万ぐらいにはなるから25万ぐらいにはなるか。1か月で。日曜日以外働いているとね。今年になると大分ふるいにかけたから、熱い時には来院者も少ないですから。まあ3分の2ぐらいでしょう。ちょうど我々もそのくらいでいいんです。あとは会議みたいのも当て職で結構出てるので。今までは従業員がいたから、開けることはなかったんだけど。だから、電話してから来てくださいよってことになってるので。
45	佐々木 ご自身で仕事をこれくらいにしようってところでセーブしているということですか。
46	対象者3 そうです。そうです。ちょっとそれ心配したんですが、いきなりたくさん来られても困るし。どういう風にソフトランディングしたらいいかなあって思って。やっぱりこれまでの付き合いもありますから。新患をとらない訳じゃないけど、積極的にはやっていない。
47	佐々木 開業当時にあった借金は、そんな風に仕事されていたらあつという間に返済できたんでしょうね。
48	対象者3 あの頃はおもしろかったね。若かったし、必死だった。多少無理しても夜までも働いたしね。面白かったですよ。
49	佐々木 開業時お金を借りるのは3人3人がそれぞれ借りた感じなんですか。
50	対象者3 共同で借りた。そうなんですよね。一人ではなかなか銀行が相手にしてくれないから。みんな独立する頃には返し終わってた。あの頃は張り合いもあったしね。なかなかお金が借りられなくて、あれにはほんと困りました。一人でやっているとロスも多いし、とにかくやってみようってことで、始まっちゃったんでね。いや、今思えば高い利息の融資を借りてねえ。9.6だか8のすごい、昔の総合銀行なんつうところからね。他は相手にしてくんねんだ。3人で有力な保証人を頼んでね。いろいろ、そういう勉強もしましたねえ。面白かったねえ。それどれのところに得意さんがいて、その中に市議員の人がいたり、社長さんがいたり。そうするとあの頃はみんな福祉的な要素もあって、あんたらがそういうならやってやろうって言う男意気の強い人がいたんですよ。私たちは、その市議会議員の有力者に頼んで。そうすると弦の一声で借りられちゃうんだよ。面白かったね、あれは。今だったらとんでもないけど。そういうこともやりながらね。ろくなお礼もしないでやってもらっちゃった。

51	佐々木 一緒に経営されていた他のお二人も茨城の出身だったんですか。
52	対象者3 そうです。二人とも茨盲の先輩後輩で。ここらには花柳界だったこともあってずいぶん茨盲出身の人たちがいたんですよ。だから気心知れてるって言うか。話がすぐあっちゃうからね。みんな家建てたり、結婚したり独立心が強くてやってたんですよ。ほんとに土浦は大したもんだと思う。あれも、切磋琢磨っていうか、あいつが家建てたんだから俺も見たいに刺激になったんだと思うよ。だからみんな新築したよ。で、その家に行って新築祝いだって言って飲んだりね(笑)。みんな20代にそういうことしてたんだからすごかったなあって。
53	佐々木 先生はいつから盲学校で勉強されたんですか。
54	対象者3 昭和37年だったかなあ。潮来の田舎から。田舎の農家の次男だったから。みんな進学だの就職だのでいなくなっちゃったから、何しようかってことになって。できないってことになって。盲学校にってことに。中学の最後の頃はもう視力も下がって無理だったんだけど。こういう鍼灸の資格が取れるところがあるよってことで。町ン中にはバスで3・40分かかるんだけど、そこでは開業もできるというのを聞いて、逃げるように盲学校行ったんだよ。周りがみんないないんだもの(笑)。あの頃は中卒5年家庭ですから。3年であん摩が取れたの。そのあと2年で鍼灸。だからバイト行けたの。ああいう制度もよかったよね。ある意味経験が詰めたからね。バイトは伊香保まで行った。茨盲の先輩がいたんで、その紹介で夏休みにね。伊香保は会談と坂野町でねえ。私は色変だから夜は見えなかったんで、昼は見えるからいいけど、階段から落ちたりね。いやあ、えらい苦労したねえ。で、夜の街仕事宝あっち行ったりこっち行ったりねえ、伊香保の街歩きましたよ。あの頃はみんなバイト行きましたよ。
55	佐々木 卒業時には開業の意志はあったんですか。
56	対象者3 私は病院でのマッサージとかは嫌だったんで、自分でどのくらいできるか早くやってみたかったんでね。だから、とまり治療院には1年ちょっとしかなくて。これも失礼だったんだが、飛び出して開業しちゃった。開業したくて。やってみたくてね。あの頃は間借りで風呂もなくて、台所もないようなところですから。ここらはそういう空き家みたいなのがあって、芸者さんとか出入りの多い土地だったので部屋が空いてたりするんですよ。そういうところで電話もなく開業したんだ。大家さんの電話借りて。それで宣伝すんのも嫌いだったんで、コツコツやって、口伝で紹介してもらったりするようにして。経費かけないから怖くないんですよ。家賃と食べていければ、まずはその収入があれば開業当時はいいし。それからどんどん伸ばしていけばいいし。
57	佐々木 それで、その後3人で共同経営しようって話になったんですね。

58	対象者3 そう同じような友達が土曜の夜とか、休みの前の人か徹夜で話したり、遊んだりしたんですよ。そんなときに誰からともなく、これ検番制度があつて、我々もこういう無駄なことはやめて、3人でやればなんとかなるんじゃないかなあ、銀行の融資もそうだしって。まあ、耳情報なんですけど、怖いものなしで。ほんでやっちゃったら何とかなっちゃったんで。この3人で始まったのが昭和44年ですね。
59	佐々木 ちなみに当時の施術料ってどのくらいだったんですか。
60	対象者3 自宅で600円とか。外の出張言つて700円とか。って基準じゃなかったかなあ。1時間で。だから坪5万円の土地とか、土地がどんどん上がってきた時だからね。土地ころがしつて言葉が生まれたくらい1・2年で上がるって状況で！とても一人で土地を買つて開業するなんては難しい状況だったんだよ。その後社会情勢に合わせて施術料金も上げていったけど。厳密にいうと協定料金っていうのはいけないうだろうけど、もともと土浦の会長やってた人が統率力があつて、協定料金を決めてくれてたんだよね。
61	佐々木 先生がスタッフを使い始めたのはいつごろからになりますか。
62	対象者3 3人の経営が終わつて一人になってから。昭和44年から54年まで共同マッサージをやつて。58年ごろからスタッフを使い出したのかな。3人でやってるときは共動マッサージってことでやってたけど、一人になってからは今の治療院名にして、家も少し改造した。何回も言うけど、あの頃は怖いものなしだから、借金ができるもんなら借金をして、その方が張り合いがあるから。だから一人になった時もお金を借りて、ここを半分立て直した。3所帯住めるようなアパートみたいなうちだったから1所帯で済むにはロスが多くて。そう使いにくくて。だから半分壊してここを施術所と住まいにして、半分は従業員に住んでもらつてって形にした。
63	佐々木 施術所自体はどのくらいの広さがあるんですか。
64	対象者3 十畳間と七畳半。二間あつて大工さんとの相談で大きな治療室を作ろうと思ったんだけど、木造ではあんまり大きくしない方がいい、鉄骨入れなくちゃならなくなるってことになって。じゃあ二間に分けてくれってことで、十畳間と七畳半にして片方は洋間方式にしてベッドを2台置いて、片方は板の間だったんだけど、じゅうたんを引いて布団を2枚引いて。それが好悪そうして年寄とか眠りたい人は和室なんですよ。落ちちゃうから。落ちないんだけど、不安があるんでしょうね。そういうことがあつて、好評で。ゆっくり眠りたい人は布団の方で一人半やるとか。ぐうぐう寝ていくとか。二人で行くから和室を開けておいてくれとか。

65	佐々木 今少しずつ患者さんを減らしてるという話をされてましたが、今後施術所をどうされていくとかという考えはありますか。
66	対象者3 我々は今のままで縮小しながらやって行ってそれを良しとするしかないんですが後輩の人たちがちょっとね。時代に乗って行かないと独立開業が難しい時代になってきたので。その後世のために何かためになればと思うぐらいなんで。我々はこれでいいとして。自分の力量内で施術していければという状態なんだけど。気分的にものんびりね。余暇を楽しみながらね。
67	佐々木 先生の現在の収入は、その施術料以外にはありますか。
68	対象者3 年金とかですね。まあ、他はないですね。我々は経費かけなければ、かかんないから。
69	佐々木 先生は今どのくらい見えていらっしゃるんですか。
70	対象者3 全盲ですね。もう30代から。色変って怖いよね。人によって違うけどね。いくら眼鏡かけても0.08以上は見たことはなかったけどね。盲学校のころもね。でも、かけまわってたけど(笑)。まあ、夜になると元氣なくなっちゃうけど。
71	佐々木 今までで印象に残っている患者さんとか、施術があれば教えてください。
72	対象者3 印象に残ったって言うのは。職人氣質って言うのか我々の古い時代ですから、それこそカルテもなし、名前もなし誰でもいいから俺の腕でよければ来なさいぐらいのことでやった時もあったので。無謀なやり方なんだけど。それできてくれて、気持ちよかったとか言ってもらえたり。ぎっくり腰でこれは鍼をやんなきゃまずいなって思う患者に、どうしてもいやなんだということで、これ指鍼だからって言うことで、試圧方式でやったら治ったりね。喜ばれたりね。揉んで治った時もあるけど。そういう見極めが大事なんだよ。治ったときは喜ばれたね。あとは人づてで紹介してくれてね、やっぱり増えていったときはよかったしね。何かあとは気持ちをほぐすわけじゃないけど、コミュニケーションとりながら、こういうもんだい、ああいうもんだいって言ってあげると、うまく功を奏して、改めて電話が来たり、わざわざ尋ねてきてお礼に来てくれたりするんですよ。腰が治った、どこが直ったとかじゃなくて、こういう風に私生活を直したらこらなくなったとかね。痛くなくなったとかね。そういうこともありましたね。だから、偶然の一致なんだから、やっぱり面白いんだよね。昔先輩に聞いたのも自宅でやっているとあん摩マッサージの先生なんだと。出張に行くとあん摩さんになっちゃうんだよって(笑)。それも面白い話なんだけども。で、家で白衣を着てやっていると、多少はそういう治療効果があってよく見られることもあんのかあって。

73	佐々木 カルテを付けてられないということは患者さんのことは覚えているんですか。
74	対象者3 ですから、時候の挨拶に始まり、どこがこってんのとか、痛いとか。すぐにそこに手を持って行くことだよ。そうすると患者もすぐに答えてくれて、心開いてくれるんですよ。
75	佐々木 この仕事に対する満足感は、まあまあというのを50%だとするとどのくらいになりますか。
76	対象者3 そうですね。難しいですが、そういう考え方をしたことないけど。リピーターが40年いることと患者を紹介してくれることとか。たまには美人局みたいに痛くなったとかで賠償金を求められたことも1・2例ありましたが。概ねリピーターがあったことを考えると効果があったのかなと。俺のやり方でよかったのかと自負している所なんです。%で言うと5・60%でいいのかな。分かんない。家庭を守り、家を建てられたって、やってこられたことを考えれば大満足って言ってもいいのかも知れないけど。まあ満足って言えば満足なんだよね。
77	佐々木 収入に対する満足度はいかがですか。
78	対象者3 そうだね。借金払って、少し楽しみながらやってこれたから。
79	佐々木 視覚障害がなかったらこの仕事やっていたと思いますか。
80	対象者3 この仕事しかないと思ってやってたからね。でも見えなくなってなかったらやってなかったね。よく講習会なんかで講師の先生が言われるようにあんた方は見えないから仕方なくやってて、見える人は職業選択の中から選んだから意気込みが違うんだって言われれば。俺は違うんだけど。適職だと思ってやってるよって反発したんだけど。最初のほうは入り口は見えないから仕方なく始まったんだよね。やっぱり患者に喜ばれたりリピーターになってもらってやってると嬉しいもんね。で、待っててくれたりね。面白いのは商店街の人が毎週水曜日来てくれとか、火曜日来てくれとか。定期的に夫婦でやってくれてね。商店が終わった8時頃からとか。呼んでくれて嬉しかったね。認められたんだなあって。3・4件そんなのがあるとね。収入も少しは固まるでしょ。嬉しかったね、あれは。
81	佐々木 患者さんを集めるための営業努力は何かされてましたか。

82	<p>対象者3 ほとんどやらなかった。ただ私はとまりさんにいたから、家も近くだったし。異端者のように、そこから1年ぐらいで飛び出して開業しちゃったけど、そのときの顔もあった。あとは、その人たちは少なかったから、自分で開拓してね。あと、ホテルとか、料亭とか、そういう所には挨拶に行ったことはあったけど。個人の内はあんまり行かなかったね。そこにどうせお金かけても、一人でやってるので急に来られても困るし。やっぱりもっとも先輩に良く教えてもらったんだけど、患者が欲しいからって長くやったり、サービスしたりすると、そのときはいいけど、忙しくなったときに時間をぴったりにすると、あそこは雑になったとかって言われるからって。しんりがあるから、絶対そこは技術の安売りしちゃだめだって言うんだ。私もモットーだったし、先輩にも言われたから。やらないで通したから。チラシをまいても効果はあるけど、将来への実益はないと思ってとうとうやんなかったからね。</p>
83	<p>佐々木 所持免許を教えていただいてもよろしいでしょうか。</p>
84	<p>対象者3 あん摩マッサージ指圧師、鍼師、きゅう師。灸はやったことありません。温灸程度はやったことあったけど。</p>
85	<p>佐々木 ちなみに物理療法の機械は何かお使いですか。</p>
86	<p>対象者3 マイクロとか、牽引機も入れたんだけど、あんまり使わなかったね。あと、私ローリング療法って言うのを学んできて。ローラーを使って、ローラーベッドってあるでしょ、あれを手でやる、ローラーでね。これなんだけど、赤ローラーと青ローラーって言うのがあるんだけど。赤ローラーは柔らかくて、青ローラーは固い。これは赤ローラーで自分でも使ってるんだけど、これを使ってやる。脊柱起立筋とか、力は3割5割でいいんですが、刺激が強いんでね。で、今はあんまり患者にやらないで自分にやってんの。要するにこれを下に敷いて仰向けに寝て起立筋を転がすの。気持ちいいですよ！誰も背中揉んでくれないから（笑）。ミノハラさんって言う人が開発した揉んでもう20年、30年前になるかな。ローラーはいろんな種類があるんだけど、これだけ使ってます。</p>
87	<p>佐々木 このローラー両方についてはどこかで研修を受けられたんですか。</p>
88	<p>対象者3 そう。東京で1泊でやったりね。あの頃は若かったから行ったんだ。その頃頭が禿げ上がったおじいちゃんも来てて熱心な勉強家だなんて思った。九段会館でもやったしね、泊まり込みで。そういうのを併用していますね。</p>
89	<p>佐々木 先生は身体障害者手帳をお持ちですか。</p>
90	<p>対象者3 はい。1級です。全盲になったから1級になっちゃった。</p>

91	佐々木 今回の時代背景もあるのかもしれませんが、先輩から後輩へ伝え聞くチャンスがものすごく少ないように感じています。
92	対象者3 そう、だからもっと我々を活用してほしいんですよ。来てくればいくらでもやるよって。俺ら自己流なんだけど理論的にどうのこうのってはないんだが。やっぱり経験談ね。経験の医学なんだから。今度の日曜日だけかな来るんだよ。茨城の生徒が、一回学校で見学に来て、もう一回話聞かせてくれって言うから、いいよって。筑波技術大の人もくるし。けっこう来てくれると嬉しいよね。どんどん使ってくださいよ。今の訪問マッサージにしても対応能力って言うか刺激の量を調整しないと、体力が弱っている老人が多いから害になるかもしれないので、そこらの刺激の量もね。手技は必要だと思うよね。やっぱり経験の医学かなって思っちゃうよね。良くやってやろうと思ってやりすぎるとかえって悪かったりね。なかなかその見極めがね。我々をぜひ使ってほしい。

対象： 訪問日 2017/09/17(水)
インタビュー時間 80分

1	佐々木	ここを開業されてどのくらいになりますか。
2	対象者4	9年ぐらい。確か始まったのが20年の10月だか、11月かな。今年で9年かな。
3	佐々木	その前はどのようなお仕事されていたんですか。
4	対象者4	卒業してすぐが整形外科。赤塚のカナリ整形外科、そのあと小豆畑に行っ。そこから水戸の相川コアクリニックに行っ。それから開業の話になってから、そこやめて何人か卒業生が言っていた訪問マッサージの「ひまわり」で、卒業生とも一緒にしばらく働いていた。そしてここを開業か
5	佐々木	病院での業務はどんなものでしたか。
6	対象者4	だいたいがマッサージ。相川コアクリニックに行っていた時は、卒業生がいて、鍼をやっていたので。相川は今はやっていないと思う。コアクリニックっていう方にマッサージとか、電気とかあったんだけど、今はデイサービスになってる。俺が辞めた後、少しして変わっちゃったんだよね。俺の後に入った子は常澄の老健の方に行っちゃったから。その相川にいた時に、どういう経緯で鍼治療をやったのかは分からないけど、一人だけある意味特別待遇で他の患者さんがいないときにやってた。基本マッサージだね。
7	佐々木	開業しようと思ったきっかけって何かあるんですか。
8	対象者4	全然自分ではやる気はなかったんだけど、相方に「開業したら、開業するんだったら、今じゃない」って言われて。その相川にいたときに言われて、で、すぐもなかなか難しいでしょ。だからなぜかひまわりに行っただよね。1年間ぐらいいたかなあ。ある意味楽しかった。すごいって治療じゃないんだよ。仕事じゃないんだよ。今はないと思うんだけど、あの頃って社長が途中で茂木行こうって言い出して、患者さんは入ってるのにだよ。あのツインリンク茂木だよ。唐突に言い出してその入っていた患者さんキャンセルして(笑い)！あっちこっち連れていかれたよ。お昼もいつも弁当持ってきたって言ってのに食べに行こうって言って。やっていけないんだよ。だって、給料未払いしばらくあったもん。だから自分でやった人チェックしておいて。社長があんまり把握していないから。あれは患者にはいいと思うけど、店はとてもとてもやっていけないよ。俺がいたころレセプト請求していないんだから。患者さんからは保険の負担分しかもらってないんだから。保険請求できなかったの。やり方わかんなくて。水戸の助成券あるじゃん。あれも店として申請していないのに患者さんから使えますよってもらってきて。だからお店側としては売上ないんだよ。サービスだよ。でも、途中から知り合いが入って保険の請求とか全部やるようになったんだね。じゃないと続けらんないもんね。息子の保険解約してお金作ってきたとか言ってて、あれはすごかったんだよ。最初が奥さんの生命保険を元に始めたらしく、けっこう最初は使いまくってたらしくて。先輩なんかはいい思いしたんだよ
9	佐々木	開業の準備は新築に合わせて行なったんですか。
10	対象者4	最初看板付けてなかったんだよね。って言うか看板来たら市役所で速攻来たの！どこで見えたんだよ。家を建てる時に始めは二世帯住宅ってことで建てたんだよね。最初は開業って言っても届け出は出張専業で出してたの。看板付けたら、役所で来るのが早かった早かった。あれにはビックリした。看板を出したときにはベッドとパルスの機械は実家からもらったんだけど。実家が接骨院やってるから。使わないからってもらったんだけど、使わないんだ。電気で暖めるホットパックは、N先生にももらったね。N先生が間違っ。て二つ注文しちゃったから一つやるって。そんなもんだよ。だから別に特別な物は使ってない。N先生にはレーザー買え、レーザー買えって言
11	佐々木	では、施術所を始めるに当たっての初期投資って言うのはそれほどの金額にはならない感じでしょうか。
12	対象者4	ベッドとか椅子とか机とスリッパとぐらい。あとは看板。買えるものはネットで買っちゃう。
13	佐々木	鍼はどのようなものを使ってるんですか。
14	対象者4	セイリンのJSP?!これを使ったことあったけど、今はJタイプにしちゃった。鍼はそんなにやってないなあ。N先生に言わせると「ついでバリ」って言われるんだけど。やってることはやってるけど。お灸もたまーにやってる。お灸って言っても艾はできないからせんねん灸。一人しかやっ
15	佐々木	普段施術をやっててやりがいたとか充実感を感じることはあります

16	対象者4 施術が終わった後に楽になったとか、って言われること。そんなしょっちゅうないけどね(笑い)。
17	佐々木 施術って決まったパターンとかってあるんですか。
18	対象者4 特別決めてないなあ。その時によってだな。患者さんに合わせて。
19	佐々木 最初から患者さんは来てくれたんですか。
20	対象者4 最初から思ったよりは来てたかな。もともと、ここが馬屋さんで。あと勘違いで来た人もいた。相方の妹が近く、の病院に勤めてたから、その子が開業したと思って来てくれた人がいた(笑い)。もともとお店だった関係で来てくれた人もいた。宣伝ってしてない。あとN先生が大きかった。「あそこできたから行ってみる」「あそこにいる男いるから行ってみる」とか！宣伝の仕方が面白いでしょ。ばあさんたちにいい男いるって言ってんだから。N先生の所は基本鍼しかやらないから、そこから来た人もいた。だから最初はどれだけ来るか分からなかったからホテルの方のバイトも入れたんだよ。もともと日立の鍼灸師会に入ってる人がいて、その人が体調が悪いからってことでやめるなんて話してたときに、ちょうど引っ越してきたから。じゃあやりますよって言って代わりに入った。ほんとはホテルで待機しててもいいんだけどいつ来るかわかんないし、あるときもあれば、全くないときもあるのね。一番最初の日だけ向こうのホテルにいたんだけど、やだっと思って、耐えらんないと思って(笑い)ホテルの従業員の控え室みたいな所にぽつんといたから。入ったら連絡してくださいって形にしちゃったの。一応8時から11時の間を受付にして。呼ばれたら行くって感じかなあ。日曜、祝祭日以外、だから月から土まで。ホテルが駅前のプラザなのね。そこが旅行じゃなくて出張関係の人が多から、平日の方が泊まっている人が多いのかな、週末よりは。全く呼ばれない週もあるけど。昨日も行ったらキャンセルとかね。前もって言われたのね。それで約束の時間に行ったら、お客さんが戻ってなくて、連絡してもらったら9時番に変更って言われて。その後、今度はなくなりましたって(笑い)。会計はホテルのチェックアウトの時にまとめて払って、こっちに振り込まれる感じ。やった分って、あそこは40分で4,000円なのね。そのうちの1割がホテル、だから単純に言ったら4,000円やったら、3,600円こっちに入ってくる感じでって最初に言われたんだけど、明細とかはないから。契約書を見ると、あれには深夜1時までとかって書いてるんだけど、これは見なかったことにしようと思って。最近は更新の書類とか言ってこないから。最初2年目ぐらいまでの時には書類を書いてたんだけど、最近はないから、いいやって。最初やっていた人の時にはそういうのはなかったみたいなんだよね。なんかその人は遅い時間、1時とか2時とかでもいいって言ってたらしいの。その影響で入ったころはけっこう遅い時間にやっ
21	佐々木 こちらの施術所での料金はどのようになっているんですか。
22	対象者4 30分が2,000円。45分が3,000円で1時間で4,000円。で、何人しかやってないけど1時間半で5,500円。最近は1時間半やるって言わないの。最近長い治療が意味がない気がしてきて。
23	佐々木 どのコースを選ぶ患者さんが多いですか。
24	対象者4 1時間。30分とか45分もいるけど。でも30分とかもけっこういるか
25	佐々木 その料金は開業時からですか。
26	対象者4 この辺の他の治療院に比べると若干高いかもしれない。1時間3,500円とか、他は。この辺は安いんで。逆に整体とかの方が高いのかも。でも最近1時間2,980円とあって安いとかも出てきたからね。最初から、その料金で上げる気も下げる気もない。
27	佐々木 鍼をすると追加料金ももらったりするんですか。
28	対象者4 しない。時間内であれば鍼でも灸でもやって、別途取ることはな
29	佐々木 施術所の経営は先生一人でされているんですか。
30	対象者4 そう。
31	佐々木 ちなみに営業時間を教えてください。

32	<p>対家者4 朝は9時から、夜は7時まで。うて言うのはホテルが8時から始まるから。1時間やるんだったら6時半までには入ってもらわないと。もしホテルが入った場合がね。ここから走っていかないと駅まで(笑い)。夏場は酷い! 15分後には開始してるから。じゃあ、向こうで待ってればいいじゃんってことになるんだけど、何もできないし。だから15分でがんばって行く。夜暗いのは危ないと思います(笑い)。一度内原イオンができたころに、あの時はまだ周りが工事中で。あそこはなに? 溝? 側溝? 川・・・? そこに落ちたことがあるの。走ってて(笑い)。その頃イオンにボイトレ行ってたのよ。その頃バンドやってたから。帰りに電車がくる。間に合わないってなって軽く小走りしたら落っこっちゃった。暗くてわかんなくて。間違えば死んでた。だって高さが2メートルぐらいあったんじゃないのかな。全然どうなったのか分かんなくて。全然痛みもなかったのね。どうも前歩いてた女の人を抜いたのよ。そしたら俺落ちたでしょ。そしたら上から「大丈夫ですか」って声が聞こえんのよ。で、俺落ちてんだって分かって。で、大丈夫ですって言ったら行っちゃったんだけど。あんときってすごくて、痛みも無いし、って言うか恥ずかしさの方が強くて。自力で上ったんだね。駅に向かってる途中にだんだん痛みが出てきたぞって思って、パット右の太ももを見たらジーンズが股関節から膝まで裂けてたの。そこでも痛みより恥ずかしさが勝って。もちろん泥だらけになってるから内原から、当時住んでた勝田まで電車乗るの恥ずかしいじゃんって。鞆でひしに隠して歩いて、電車に乗って自宅まで帰ったら、もうジンジン傷んできて。言われたもんね「それどうしたのって」。仕事三日ぐらい休んだもんね。すごい打撲で病院にいったけど、骨には異常がないって言われて。そのあと明るい時に落ちたところを見に行ったら、けっこう幅があるところで、えっここに落ちたのって感じ。そこで頭打って気を失ってたら、くるぶしぐらいの水が溜まってたから下手すれば死んでたよ。でもここから駅まで15分で行っちゃ。一応気を</p>
33	<p>佐々木 先生の今の視力は何の程度ですか。</p>
34	<p>対家者4 右は0. 左は1なんだけど視力は眼鏡が1.1は0. 7とか0. 8。白内障もやってるから網膜剥離やった時に。大本は網膜剥離なのね。どうもアトピーでかゆくて顔を叩いちゃったの。どうも、その刺激で網膜がはがれたらしいのね。最初は右側で高校の時にやって。その頃がアトピーが一番酷くて。高校2年生の時に、なんだか見え方がおかしいってなって病院に言ったら網膜剥離だって言われて。レーザー治療したんだけど、けっきょく筑波大病院に飛ばされて、一応着いたんだ。でも、またかゆくて叩いちゃってたんだよね。そしたら、今度は左側もなっちゃって。何回も付いては剥がれ、付いては剥がれで。何十回やったのかなあ? 2週間に1回のペースで手術してた。それで右目はだめになっちゃって、左側だけ残って。何回も何回もレーザーやったから周りの細胞は死んじゃって、中心だけ残ったから。それで水晶体がないから眼鏡で調節。遠く用と、近く用と。何だかよくわかんないけど、あの時白内障にもなったんだよね。でも、不思議なことに瞳を広げると霞がとれたの。だから、手術する前は良く瞳開く目薬付けてたよ。結局白内障の手術をして、若いから眼内レンズを入れらんないからって言われて。眼鏡で調節。今でも近くは近く用の眼鏡。遠くは遠く用の眼鏡。この前作ったメガネは歩く分には遠くが見えるからすごくいいんだけど。治療中とか、家で居間にいるときなんかはピントが合わなくて使いにくい。処方してもらったんだけど、0. 8, 0. 8のレベルで合わせちゃってんのね。その一個前のレンズが、もっと近くを見やすいようなレンズにしてくれたんだよね。同じ眼科なんだけどね。先生が違うからかなあ。だから、普段いるときには前使ってた眼鏡を使って。さすがに歩くときには新しい眼鏡絵を使ってる。裸眼だと0. 01かな。なんだけど視野が狭いのね。95%欠損。最初は6級だったの。最初は視野が加味されてない時で。何かで水戸の小沢眼科行っただよね。級上がるよって言われたの。そしたら2級になったの。視野の関係で。感じ的にはトイレットペーパーの芯を覗いてる感じなのかな。人込みはだめ。子供は危険</p>
35	<p>佐々木 視力がそのような状態になったのはいつ頃だったんですか。</p>

36	佐々木 高校の時にはまだ右目も少し残ってたかなあ。高校出て最初親の影響もあって柔整の学校、仙台の赤門に行こうと思ったんだ。受験したんだけど受かんなかったんだよね。で、予備校に行ったんだ。予備校に行ったんだけど、そこでまた網膜剥離を発症しちゃって。赤門の方はやめたんだ。それでなぜか、親の勧めで経理専門学校に行ったんだ。なんでだったんだろう、よく自分でも覚えていないけど。そこに1年間は行ったの。2年に行くって言うときにまた再発してやめたんだ。そのあとかな、両目いっぺんにやったりとか、2週間にいっぺん手術をしたのは。それやっちゃったから、右はだめになっちゃって。片方だけ残って、どうしようってなって。そのときに盲学校の話が出てきて。あれは関東医療から親を通じて盲学校のことは知ったのかな。最初塩原の国リハ行こうとしてたのよ。塩原遠いって話になって。で、水戸にあるって話になって。それからかなあ、行ったのは。教育相
37	佐々木 盲学校に入学するってことについては抵抗はありませんでしたか。
38	対象者4 ない。別にこの病気になったからって言って別に落ち込みもしなかった。だってしょうがないじゃん。普通は押し込むとか言うんだけど、俺そんなことなかったよ。オペが何回もあって、やだったけど。その自分が病気になったことについては、別にへこんだりとかなかったなあ、全然。最初はちょこっと思ったことはあったけど、病院に入ると他にもっと重い人いるじゃん。まして俺がいた部屋何人か亡くなってんだよ。えっ！次俺みたいな！入院したのは眼科だけど、他の科の人もいたのよ。だから、亡くなった人が2・3人いて。なぜか、何人か減っていくんだよ。で、網膜剥離で、何
39	佐々木 あん摩とか鍼とか灸の勉強をすることについても抵抗はなかったで
40	対象者4 抵抗はなかったな。勉強はしなかったけど。いろいろとあったけどね。S先生には感謝しなくちゃね。だからあそこ4年いってるよ。最初は専保行って、それから理療科行ったから。
41	佐々木 何年卒業になりますか。
42	対象者4 何年だった？免許証見ればわかるか。この免許証をとったのが平成12年だから、学校に入ったのは平成8年ぐらい。
43	佐々木 盲学校に在学中嫌になったりしませんでしたか。
44	対象者4 勉強はしなかったけど、嫌にはならなかったかな。学校に通ったおかげで痩せたし。入院してるときに、網膜剥離だったから動けないじゃん。食べる方に走ったんだね。太っちゃったの。学校は言ったところは俺90キロあったの。今、その頃の写真見ると顔パンパンなんだよね。それ4年間、水戸駅から往復歩いたのよ。約4キロを毎日行きと帰り歩いてたの。4年通ってたから痩せたね。別に痩せようと思って歩いたわけじゃないよ。バスが混んでから嫌だったのよ。歩くのは平気だから、どこまでも歩けるから。一駅は余裕で歩くよ。ここから多芽とか、小木津とか。5・6キロあるよ。水戸の相川病院にいた時、水戸の千波から、一回歩いて帰ってみようと思って、勝田まで、10キロぐらいかなあ歩いて帰った。別に学校をやめようとかって思ったことはなかったかな。そうそうおばあちゃんが福島で女性灸師第1号だったんだよ。だからアトピーが酷いからって言って、にんにく灸の治療は受けてた。おばあさんから、身近って言えば身近だったのかな
45	佐々木 視覚障害があることで施術中に不便なこととかはありますか。
46	対象者4 ない。そんなに見えなかった訳じゃないから病院とかでも、低周波とかは普通に使えてたかな。眼鏡をちょっとずらせば近くも見えてたから。全然その辺は視力的な問題はなかったかな。
47	佐々木 昨年28年の施術料収入はいくらになりますか。
48	対象者4 そんなに稼いでないからなあ。300万円は行ってないよ。260万円ぐらいかなあ。ホテルでやった施術も込みでね。だから日立の中じゃ俺が一番稼いでないんじゃないかな。正直かみさんも仕事してるから、まあ生活できるけど。それで俺だけの給料だけだったら厳しいかなあ。かなり厳し
49	佐々木 施術料以外の収入ってあったりしますか。
50	対象者4 障害年金。ふた月に1回受給していて1回に13万円ぐらい入ってくるかな。
51	佐々木 これから施術所を経営していく中での目標があれば教えてください
52	対象者4 患者さん増やすしかないよね。何か考えている訳じゃないけど。
53	佐々木 1日の患者さんは何人ぐらいですか。
54	対象者4 多い時で6・7人かな。入り方にもよるんだけど。毎日そんなに来る訳じゃないけど。日によって大分違うね。
55	佐々木 8月の患者数は何人ぐらいでしたか。
56	対象者4 65人でした。

57	佐々木 施術所を続けていくにあたって不安なことがあれば教えてください
58	対象者4 年配の人が多いからさ、この後だんだん年取ってくると来れなくなるでしょ。そう考えるとちょっとね。
59	佐々木 今定期的に来ている患者さんは何人ぐらいいらっしゃいますか。
60	対象者4 何人ぐらいいるのかな。確実に来る人はそんなにいないか。あと日立の助成券がなくなるとぴったり来なくなる人もいる。助成券は1年間に12枚もらえるんだけどね。去年まで10枚だったんだけど、12枚に増やしてもらった。たぶん予算は変わってないんだけど、発行する部数は減らした。意外と助成券って言うんだけど、もらってきても使わなかったり、「いや俺年寄じゃないから」って言うてもらいに行かない人がいるのよ(笑い)。男の人けっこう多くて。行ったんだけど、年寄じゃないからってもらいに行かへえって。いや、もらえるんだからもらいに行ったらって言うんだけど。変なプライド持ってたんだよね。日立は65歳以上でももらえるんだけど。1枚1,000円で12枚。たぶん、この辺で1番多いのはひたちなかじゃないのかな。15枚ある
61	佐々木 保険を用いての施術は行っているんですか。
62	対象者4 やってない。やろうと思ったけど、手間を考えたら・・・。1度近所のおばあさんに薦めて、同意書を書いてもらおうと思ったら、その持って行った医者が訪問マッサージをやってって、うちでやるって言われちゃったんだよね(笑い)。それ以来やる気がなくなっちゃって。日立でも今保険での施術は減らしてる人が多いよね。今県師会を通さないで、自分で申請したり、他の代行業者を使ったりしてるみたい。代行してもらった方が安く済むみたいで。今県師会の保険代行の手数料が上がったんだよね。手書きの場合4 %って言ったかな。でも手書きでも、入力しても手間は変わらないんだってよ。結局全部見るから。保険を担当してる人に聞いたら、そう言ってた。パソコンだからって言って全部それが正しい訳じゃないから、全部見るから、パソコンも手書きも変わらないって言ってた。でも手書きの方が1 %ぐらい高いんだよね。パソコンの場合、結局パソコン導入って形になるから、若干手数料が安いのかな。保険を使ってくれ、使ってくれてと言われるけど。同意書も書いてもらうの大変だし、医師会の中でも、同意書を書かないようにって回ってるらしいもんね。
63	佐々木 今まで施術をしてきて印象的な患者さんがいたら教えてください。

	対象者4 いるよ、一人。もめた。喧嘩しそうになった。その入今も毎週毎週きてんだけど。頸が調子悪いって言うんだ。普段も枕をすごく高くして寝るらしいんだよね。最初それに対してもいろいろ言ったんだけども。言うのやめたのね。基本うつ伏せにしかねないって言うの。こっちは横向きとかの方がやりやすいんだけど。うつ伏せで45分やってんだけどけっこう辛いんだよね、こっちは。どうしてもうつ伏せだと、肩下げてもらっても力は行ったりするじゃん。最初、その揉み方に文句付けられたり(笑い)。力入ってないとか、いろいろ言われたんだ。来なくていいんじゃないって思うんだけど、毎週来るんだよね。すっごくもめたんだけど、俺。もう断ろうと思うぐらい。頸のそこに塊があるんだって言うんだけど、いまだに俺それがよくわかんないんだ。頸の6・7 当たりの際にあるっていうんだけど。俺には良く分かんないんだけど。それに腰、腰って言うんだけど、浅骨軟だよね。そこだけを15分とか20分やらされるのよ。最近自分の施術はやらない。最初頸やってるでしょ。そうすると、今度腰がいいって言って、仙骨になるのよ。そこを永遠ずーっとやらされるのよ。もう俺からは言わないの。もう言うのやめた
64	の。また喧嘩になるから。そんなに怒らないでとかって言われたんだけど、お前がそこは右手の方がいいんじゃないかと、いろいろ細かいこと言うからだよって。そんでもう4・5年きてんだよ。それはほんとにあった牧田から違う治療院を進めようと思ったもんね。もうできませんって言おうと思ったんだけど。いつの間にかそういうのはなくなったんだよな。普通に世間話して帰るようにはなったんだけど。いつも思うんだけど、良くなってんのかになって。だってうつ伏せしかできないから。もうもめんのはめんどくさいから何も言わないけど。45分長いんだよ。肩5分ぐらいで、残り仙骨って、辛い。やりようがないんだから。肩でも、そのピンポイントだけじゃなくて、肩甲骨とか腕とかやろうとすると、そこ違うって言われちゃうんだから。もう言われるままにやってる。正直あの人の職業も聞いてないんだよね。聞いちゃまずいのかになって雰囲気があったのよ。自宅は東京の渋谷なの。毎週月曜日はこっちに来るんだよね。なんか仕事の都合でこっち来るんだろうけど。聞こうと思ったけど、聞けない雰囲気だったんだよね。これ医者?でも違うよなあ?って。60?団塊の世代って言ってたなあ。また、めんどくさくて同年代にしては筋肉あるだろうとかって言うんだけど、そうです
65	佐々木 この仕事に対しての満足度を教えてください。
66	対象者4 人によって嫌になるときはあるけど、結果的に、何だろうな。少しでも楽になったとか、よかったって言うってくれる人が一人でもいるとモチベーションが上がってくるんだけどね。だから、困った人ばかり来てもしゃあ、そういう人がいると。正直嬉しいよね。たまにめんどくさって思うけど。意外と大変だからね。このご時世。患者さんが来ないときは暇だしね。だけど、不満はないよね。まあまあが50%?大満足までは行ってないな
67	佐々木 この仕事をやめようと思ったことはないですか。
68	対象者4 それはないなあ。この職業自体やめたいって思ったことはない。わがまま言う人もいるし、腹立つ人もいるけどね。あるけど、やめようって思ったことはないかなあ。予約入っているのでもできませんって言うてるのに、施術室の中に入ってきて、ぐるっと一周して帰ったやつがいた。何物色してんだよって感じ。あと、電話かけてくる人は意外と来ない。タウンページとかには一切乗せてない。県師会のホームページとか、日立市の鍼灸師会のホームページがあって、そっから見てくる人もたまにはいる。最初のころは、この目の前にある喫茶店、アーリーバードにも置いてもらった。あと、ここかみさんのお母さんが小島屋さんやってたから、近所の人とかがいろいろ
69	佐々木 ちなみに治療院の名前はどんな意味があるんですか。
70	対象者4 昔この辺も秀真の国って言うたらしくて。盲学校にいた先生に見てもらっていいって言われたんだよね。ちょうど漢字で書くと「真」って言う字が自分にもかみさんにも入ってたよ。それにしようってなって。漢字は読めないからってひらがなになった。でも、開業するって大変。雇われてた
71	佐々木 先生の年齢を確認させてください。
72	対象者4 43歳。
73	佐々木 インタビューは以上です。ありがとうございました。

対象： 訪問日 2017/11/08(日)
インタビュー時間 63分

1	佐々木	先生がこちらを開業されたのは何年になりますか。
2	対象者5	平成16年の6月30日です。14年になります。
3	佐々木	こちらの場所で開業されたんですね。
4	対象者5	うん、ずっと。
5	佐々木	盲学校を卒業されたのが平成16年なんですか。
6	対象者5	卒業したのは13年。2年ぐらいバイトして、そのあと準備して。家をここに建てて始まった。
7	佐々木	バイトはどんなことをしてたんですか。
8	対象者5	やっぱりマッサージやってて。
9	佐々木	訪問マッサージとかですか。
10	対象者5	いや、普通のところで。週に何回か行ってる。治療院で。
11	佐々木	先生の施術内容はどのようになっていますか。
12	対象者5	あん摩と鍼ときゅうと。全部一応やってる。
13	佐々木	どれが割合として多いって言うのはありますか。
14	対象者5	やっぱりあん摩マッサージ。中には鍼を受けたって言う人がいるけど。鍼は1割に満たないかな。あとは患者さんから灸って言う希望はないかな。症状に合わせて灸が効きそうな人には灸を勧める。灸って温灸器。見えないから灸を付けらんないんで。練り艾を燃やして筒みたいなやつに入れてずーっと当てていくやつ。服の上からでもできるんで。
15	佐々木	どのような患者さんに使用されているんですか。
16	佐々木	神経痛。結構効くんだったわ。肩と腕と足の場合ね。腰はあんまり熱がとおらないんで、物理療法として超音波を使ったりしてる。最近はレーザー
17	佐々木	他に物理療法機器は使用されていますか。
18	対象者5	干渉波、二つかな。最近レーザーを入れた。
19	佐々木	レーザーはいかがですか。
20	佐々木	あんまり使ってない。痛みについて聞いたんだけど。使う機会はあんまりない。どっちかって言うと超音波。超音波は腰、関節。まあ、鍼で膝やるときもあるけど、超音波を使う。けっこうねえ、腰にはすごく有効、超音波。深部まで行くのがあるので、それが有効かな。鍼では意外と局所だけだから。超音波の場合は腰全体をできるから。
21	佐々木	施術をする際に大切にしていること、考えていることはありますか
22	対象者5	施術するときにはね、とにかく患者さんの問診を大事に。話を聞いて。症状がどういうもので、どこが痛いかな。うん、それは大事にしています。
23	佐々木	先生の中では問診をする際に何をどのような順番で聞くかは決まっているんですか。
24	対象者5	まず、症状が四肢の場合は座位で、いろいろ痛いところを聞いて。で、触診して。それである程度効いたらうつぶせになってもらって全身をみる。それでずっと軽擦しながらどこが痛いかな、痛くないかを自分で感じた。これ痛いかなあって患者さんに聞いて。痛くないって言えばずうっと頸から
25	佐々木	主訴があるところだけみるわけではないんですね。
26	対象者5	全身をみる。なぜかって言うと内臓的なこともあるかも知れないってことでみてんですよ。
27	佐々木	施術内容としてあん摩がいいんじゃないかとか、鍼がいいんじゃないかっていうのは先生が決められてるんですか。
28	対象者5	いや、より患者さんに聞きますよ。希望の治療めりよりかって。鍼がいいって言えば鍼を。マッサージはどの患者さんに対してもやるんですよ。それで鍼がいいって要望があれば主訴に合わせて鍼を打つ。あとは鍼の方が効きそうな人には勧める。患者さんに併せてって。鍼どうですかって。嫌って言えばやらない
29	佐々木	施術時間って言うのはだいたいどのくらいですか。
30	対象者5	1時間。
31	佐々木	施術をする際に何か工夫していることなどはありますか。
32	対象者5	施術をしているときにはストレッチを入れている。手・脚。体幹はあんまりやらないけど。脚はやるようにはしています。だいたい治療の後が多いかな。私は叩打法があんまり得意じゃないんで。それでなんかいい方法がないかなあって。じゃあストレッチをやってみようと思って。けっこうねえ、ストレッチはいいんです。施術が終わった後にさらに伸ばしてあげるの

33	佐々木 施術をしていてよかったって言うか、充実感とかやりがいを感じることはありますか。
34	対象者5 ってはねえ、やっぱり患者さんに施術が終わった後に楽になったって言うのが1番だね。でもいろんな人がいて効いても言わない人もいるし、あとは少し良くなったかなって言う人もいるし。あとは来た時とは全然違うっていうときに1番。
35	佐々木 施術の仕方は開業されてから変わってきたりしてますか。
36	対象者5 うーんとね、内容的には変わらない。あんまり変えるのも、患者さんがいいと思ってるのが変わるのも何だと思って。パターンはだいたい変えないで。で、主訴的なものでもう少しやった方がいいかなあって思うときは時間をかけて
37	佐々木 施術をしていて不便だとか不自由だとか感じることはありますか。
38	対象者5 だいたい手の感触でやるのであんまりそういうことはないです。
39	佐々木 施術所を開業されて大変だったことは何ですか。
40	対象者5 まず患者さんがやる前に来るかどうか。始まって2・3年はほとんどあんまり。それで患者さんの口コミできてくれるようになってきました。広告出したのは開業してから1回だけ。開業しますって言うチラシを新聞の折り込みに。1回乗せたんです。この地域だけ。その広告で着た患者さんは一人。だから全然お金かけたほどじゃないの。10万もかかった。
41	佐々木 電話帳とかは載せているんですか。
42	対象者5 電話帳はタウンページ、あとは東海村の町のロードマップとかに載せました。
43	佐々木 それらは今も掲載しているんですか。
44	対象者5 今は載せてない。そういうときがあると、発行するところで広告どうですかって来るんで、そういう時は検討して乗せるか、載せないか。こっ
45	佐々木 そのようなタウン誌みたいなものに載せての効果はどうでしたか。
46	対象者5 あんまり。口コミだね。患者さんが連れてきてくれる。あとは家族。家族の誰かがかかって、別な家族が来るみたいな。家族が来るようになりました。そうすると家族の中で知り合いを紹介してくれるんですよ。
47	佐々木 そのようにして患者さんが増え始めたのが3年目ぐらいからって言うことでしょうか。
48	対象者5 開業して1・2年は1日誰も来ない日もあったり、週に3人とかもありましたよ。
49	佐々木 患者さんが少なくて不安になったりはしませんでしたか。
50	対象者5 いやーあ、周りで開業している人たちに暇だって言うのは聞いてたんだけど。始まった時期は良かったのかも。
51	佐々木 何か経営について勉強されたことありますか。
52	対象者5 経営については、私は途中であれしたんで。会社にいた時は総務で経理をしてたんです。で、経理的なもので、この辺はすごくやってました。とにかくあとは名刺を作ってきた患者さんに渡してって、ずーっとやってました。中には患者さんが施術を受けた後に名刺をくださいって言ってきてくれる人もいる。あれは有効に使った方がいいかも。名刺。それで持ち歩いて
53	佐々木 その他に経営上で工夫していることはありますか。
54	対象者5 あとはなるべく経費をかけないようにしてるぐらいですか。安い時に少しまとめて買いだめする。セールとかの時に少し余分にストックして。それはやってます。ずいぶん違うんですよ。その時に頼むと何割引きとか。へたすれば40%引きとか。
55	佐々木 前のお仕事はどのぐらいされていたんですか。
56	対象者5 24年。
57	佐々木 盲学校に入学されたのはいつになりますか。
58	対象者5 平成10年かな。
59	佐々木 その当時でおいくつだったんですか。
60	対象者5 48歳。黄斑変性だったんです。うんで、30年代の頃から、病院に行って診断されていたのが黄斑変性で34歳の時かな。その時は車の免許も持ってて、運転もできて、平成8年に免許無くなったんです。それで、もう会社もやめるかって思っていたんで。まず全盲にはなんないけど徐々に悪くなって。パソコンは、こうレンズを当ててみるようになったし。これじゃ会社に迷惑かけながらいるのも嫌だなあって思って、この道を選んだんですよ
61	佐々木 その当時盲学校って知ってたんですか。

62	対象者5 そんときうちの家内が安定所に勤めてて、うんで、塩原とか、水戸の盲学校とか調べてくれたんですよね。そして塩原もあるし、水戸の盲学校もあるしって。で、塩原は失業保険をもらいながら行けると。だけど、とにかく全寮だから。水戸の盲学校にってことで。そんで学校に行ったんです。まだ見えてて一人で歩けてたから。だから失業保険は6月に会社辞めて翌年の
63	佐々木 では、会社辞めるときには、盲学校に行って資格を取るというのは決めてたんですね。
64	対象者5 そうです。
65	佐々木 学校に入学して大変ではなかったですか。
66	対象者5 大変だった。全部初めてだから。もう頭も固くなってるし。いやー、大変だった。まず言葉が出ないよね。全然分かんない言葉ばかり
67	佐々木 そうすると平成13年には卒業されて、資格を取られたんですね。
68	対象者5 ええ。
69	佐々木 開業するって言うのはいつお決めになったんですか。
70	対象者5 学校に行ってるときから。私はほんとに日立市の久慈町ってところに家があるんですよ。今は人に貸してんだけど。そこはちょっと狭いんで駐車場が取れないんです。で、学校に行ってる間にこの東海を探してたんです。東海でやるってことで。
71	佐々木 東海村で開業しようと考えられた理由はなんかあったんですか。
72	対象者5 家から近いし。ちょうど久慈川から日立市って言っても一番南側だから。東海と近いんです。車でだと15分から20分で行けるから。で、近いところがいいなあって思って。それで東海に決めたんです。それで、ここに土地を買って家を建てて。そんで家を建てるときには最初から駐車場も含めて作ったんです。施術所兼自宅にして。
73	佐々木 施術室はどのくらいの広さがあるんですか。
74	対象者5 施術室は10坪。うーんとねえ、二十畳。畳で二十畳。待合室はここ。向こうの施術室にはベッドが二つあるんですよ。たまに夫婦で来る方がいるんで一緒にできるように。で、ベッドは二つ置いてあるんです。
75	佐々木 ここを開業される際の初期投資はどのくらいでしたか。
76	対象者5 けっこうかかったかな。
77	佐々木 開業資金の調達はどうされたんですか。
78	対象者5 退職金があったし。
79	佐々木 開業時に施術室に揃えたのはどのようなものですか。
80	対象者5 ベッド二台。あとは滅菌機と、あとは保管庫ですね。鍼の開業届するときには消毒と滅菌の奴は、鍼をやるんで。
81	佐々木 では、先ほど話に出てた物理療法の機械は開業後に導入されたんですか。
82	対象者5 そうです。
83	佐々木 施術料金はいくらになりますか。
84	対象者5 今は1時間3500円。
85	佐々木 その金額は鍼などを行うと変わったりするんですか。
86	対象者5 同じ。1時間の中で鍼灸、マッサージ全部合わせて3500円。
87	佐々木 それは開業時から変わりはしないですか。
88	対象者5 ずっと同じ。途中で消費税が上がったりしたけど。
89	Qこれから施術料を上げる予定とかはありますか。
90	対象者5 特にないね。消費税10%になったときに、周りの状況を見て。それで本当は3000円でやってる人たちが多いんですよ。業界では。で50分かな、だいたい。で、1時間にして、3500円にして、次ぎ上げるときに上げやすいように。次ぎ上げやすいかなって思って3500円にしたんですよ。周りの状況
91	佐々木 施術所の運営は先生一人でされているんですか。
92	対象者5 そうです。全部受付から。
93	佐々木 施術所は予約制なんですか。
94	対象者5 完全な予約制。電話で。予約制の方が患者さんも待たなくていいし、あとは通りすがりで来る人もいます。看板を見て入ってきて、今からやってもらえませんか。患者さんがいないときにはやるけど。だいたいが患者さんが入ってる時間に来るので、予約制なんですよ。そのときに名刺を渡して電話くださいって。今治療院の前の道がずっと広がって真っ直ぐです。先生が前に来た頃はまだ道が狭くて。10年前とは全然変わりました。家も周り増えて。今空いてる土地が、この通りにないぐらい建ちました。
95	佐々木 今1日当たりの患者さんの数はどのくらいになりますか。

96	対象者5	今はね、前は4・5人やってたんだけど。最近は少なくなってきて3・4人です。
97	佐々木	最近患者さんの数が少なくなってるっておっしゃる先生が多いんですが、何か思い当たる原因はありますか。
98	対象者5	なんだか分からない。少なくなりましたね。
99	佐々木	いつ頃からですか。
100	対象者5	うーんと、去年あたり。私の場合は。それまではずーっと右肩上がりで来てたんだけど。去年あたりから、だんだん下がってきてる。今年は去年より下がったかな。まあ、年寄りが多かったせいもあってだんだん来る人が減ってるのかも知れない。と言って若い患者さんは増えないから。
101	佐々木	一月の営業は二十日ぐらいになりますか。
102	対象者5	二十日ぐらいかな。そうすると月にやる患者さんは70人から80人。前は100人とかってあったんだけど。今は下がり気味。70人から80人。
103	佐々木	9月とか10月もそのくらいですか。
104	対象者5	そうですね。9月は70人。10月が70何人かな11月もそんなもんかな、だいたい。
105	佐々木	予約は何週間先からとれるとかというのはあるんですか。
106	対象者5	そういうのはなくて、その都度。その日であれば、その日の空いてる時間に入れちゃう。あとは患者さんがちょっと来ないなって思って帰り際に予約していきます。だから、あんまりその日っていうのは少ないかもその日の予約は。前の日か、前日っていうのが多いです。
107	佐々木	患者さんは近くの方が多いんですか。
108	対象者5	もう近く。東海村の周辺。歩きで来るような人。
109	佐々木	定期的にいらしている患者さんも結構いらっしゃるんですか。
110	対象者5	いる。定期的に来てる人がだいたい10人ぐらいかな。でもあんまり多くないけど。
111	佐々木	東海村ではマッサージの助成券はあるんですか。
112	対象者5	あります。1枚1000円で12枚。12枚あれば月1回の割合で。まとめて1冊くれて、12枚綴り。施術を受けるときに1枚とって行く感じ。
113	佐々木	助成券を使用される方はいらっしゃいますか。
114	対象者5	70歳になった方は、もらえた、もらえたって結構。券を使う人は月に15人から20人。それを月ごとに請求を出すんだけど、請求すると振り込まれる。患者さんの中には助成券の存在を知らない人もいてきて、券なくて施術受けて。こういう助成券があるんで言えば出してもらえるんでって言うてくさいって言う。中には知らない人がいるんですよ。受け取った助成券は月ごとにまとめて、請求書があってそれを書いて券と一緒に役場の方へ出すんだ。役場は歩いて20分ぐらい。けっこう近いんで便利なんです。
115	佐々木	昨年1年間の施術料収入はどのくらいになりますか。
116	対象者5	施術料収入は350万円ぐらいです。
117	佐々木	その施術料収入以外に収入があったりしますか。
118	対象者5	あとね、日立市のほんとの家賃してるんで、その収入が月5万、年間60万。その不動産の収入があります。それだけ。
119	佐々木	年金は受給されているんですか。
120	対象者5	年金はもらえる年なんだけど、障害年金をもらっているんで、会社勤めてたんで厚生年金と障害年金でどっちが高いのか聞いてきたんですよ。それで障害年金の方が高いって聞いて、そのまま。
121	佐々木	世帯収入としては他にあったりしますか。
122	対象者5	うちの家内が、ちょうど去年まで仕事してたんで。その収入があり
123	佐々木	先生の現在のお年はおいくつですか。
124	対象者5	66歳。今年67だ。
125	Q	これから施術所をどのようにしていきたいかという目標はありますか
126	対象者5	体の続く限りは。まあ、少なくともあと10年ぐらいはやってたい
127	佐々木	施術所を続けていこうって考えたときに何か不安なことがあったりしますか。
128	対象者5	不安なことは、やっぱり体力。患者さんの受け入れを少なくしてでも続けていこうかな。一番はやっぱり体力です。体力が続けば、まあまあなんとかやりたいなあって。
129	佐々木	あはきの免許を取得されて16年になると思うんですが、仕事を続けてくる中でもう嫌になってしまったことはありませんか。

130	対象者5	ないかな。自分が施術して良くなんない患者さんもいますけど。やっぱりね、痛みがこう回復したり、改善したり患者さんから直に聞くとやっぱり嬉しいもんで。やりがいのある仕事だと思います。
131	佐々木	どのような主訴の患者さんが多いですか。
132	対象者5	やっぱり多いのは肩こり、腰痛。それがほとんどです。あと、たまに高校生がスポーツ障害で来るのとあとは膝とあとは腕の症状かな。腕の痛みとか痺れとか。が、ほとんどです。
133	佐々木	患者さんの年代としてはどのくらいの方が多いですか。
134	対象者5	だいたい60代が半分ぐらい。あとは50代。30代の方はグッと少ない。20代も。やっぱり40, 50, 60。あとは、今はパソコンを使うんでけっこう指からくる目、肩頸な人が女性では多いです。
135	佐々木	今まで施術をされてきた中で、印象に残っている患者さんとか症状ってありますか。
136	対象者5	今まででは、治らない話ね。坐骨神経痛で一生懸命通ってくれたんだけど、少しは改善するんだけど、なかなか良くなっていかなかった人がいます。1週間に1回とか来てくれたんだけど。腰からずっと。そのうちなっちゃったけど。治ってはいないと思うんだけど。お灸で治療した。腰に鍼も打ったけど脚の方は灸でやりました。あとはねえ、腰の方はだいたい良くなってます。それは超音波で。痛くてきてああ良くなったって帰る人と、2・3日後に良くなったって人がいる。だから1回しか来ない人がいるんだよ。様子を見てくる人もいるし、聞いてみるとあのとき良くなっちゃって。超音波の場合は腰に非常に治療に有効ですね。患部に当たるとビーンって来るんですよ。そんなことも説明しながら、悪いところに当たるとビーンってきますからって。あと膝と、足首の捻挫にも超音波使いますね。捻挫の場合少し晴れが引いてから足幅人体の所にやるんだけど。内側が時間がかかるんだけど患者さんが来てくれんなら良くなるんだけど。1回しかこないとかあるんですよ。もう少し通った方がいいと思うんだけどって言うんだけど、来ないんだ。来る人は来るんですよ。来る人はだいたい良くなってんだけど、患者さんって1回で治ると思ってんですよ。だから良く説明します。これちょっと症状がひどいんで1回じゃ直らないと思いますよって、前もって。それが経
137	佐々木	先生は訪問でのマッサージなどは考えられたりしてるんですか。
138	対象者5	してないね。自分で動けないんで。何回か問い合わせがあったんですよ、訪問でやってくれないかって。で、私目が悪いんで行けませんって言って。何回か電話ありました。
139	佐々木	保険の取り扱いについてはいかがですか。
140	対象者5	保険はやってない。
141	佐々木	この周りには施術所は多いわけではないんでしょうか。
142	対象者5	東海の駅前に鈴木治療院って言うのがあったんですよ。その方は年配で亡くなりました。それと駅の反対側、今日降りたのと逆側の海側、やっぱり年配でやってた人がいたんです。その方も年配で亡くなりました。もう1軒北の方に行ったところにあるんですが。あんまり競合しているところはない。でも助成券を使えるところが東海村で9軒あるんですよ。村松とか篠原とかにはあるんですよ。舟石川は1軒だけかな。県の鍼灸師会は日立支部の方に開業前から入っていて、そのまま。東海支部が無くなっちゃって、日立支部にそのまま入ってていいって言うんで。でも開業したときには東海支部の先生に挨拶行きましたよ。開業前にはバイトしてたけど、もっと他の治療院もみておけば良かったなって。開業しちゃうとなかなか行けなくて。始める前、卒業してからいろいろな治療院に行って治療を受けた方がよかったって言う反省があるんですよ。開業してからだとなんかスパイをしてるみたいに
143	佐々木	先生が卒業された後、バイトされていた施術所は東海ではないんで
144	対象者5	違います。日立で。
145	佐々木	先生の、今の視力を教えてください。
146	対象者5	0.01。それでまだ視野があるので動くのにはいいんだ。真ん中の方が見えないんだよね。周りはまだ視野があるんで、何度かぶつかることもあるけど。よけて歩けるよ。急にぼーっんとものが見えたりっていうときは怖いんです。最近は変わりない。だんだん見えにくくなってきてるんで、一人で歩く機会は少なくなってきてる。
147	佐々木	身体障害者手帳はお持ちですか。

148	対象者5 持ってる。3級のまんまにしてある。本当は作り直せばいいんだけど、めんどうで。1種3級。2級になるはずなんだけど、病院に行って検査すればいいんですけど。
149	佐々木 身体障害者手帳をもらったのはいつになりますか。
150	対象者5 盲学校に入ってからすぐかな。前5級。見えなくなってきたんで、検査したら3級だってことになって。3級に直したんです。そのあとだんだん悪くなったんだけど。検査には毎年1回目の検査に入ってはいるんで。その時にはもう0.01なんで本当は申請すれば2級にはなるんですけど。そのままにし
151	佐々木 この仕事をされていての、仕事の満足度を教えてください。
152	対象者5 だいたい80%ぐらい。まあまあって言うのを50%だとすると8割ぐらいは行くかな。患者さんに喜ばれる仕事なんでそのあたりは満足度は高い。やりがいがあります。病院でも治んないような難治の奴を良くしてあげたってことがあるんですよ。それができるようになればね。
153	佐々木 収入に対しての満足度って言うことではいかがでしょうか。
154	対象者5 収入に対しては半分ぐらいかな。5割ぐらい。そこは整体とかカイロで4000から6000円とってんだから。あん摩は上げらんないのが難点かな。特に茨城は安いんですね。たまにいろんなところを知っている患者さんは、いやあ、安いねって言われます。
155	佐々木 長い時間ありがとうございました。以上になります。

対象： 訪問日 2017/11/05(日)
インタビュー時間 61分

1	佐々木	ここを開業されてどのくらいになるんでしょうか。
2	対象者6	もう50年以上だな。今82歳だから、27歳で開業だからな。55年だ。今やってるところの前に、別の町内で何年ぐらいいいたんだ。10年ぐらいいいたかな。今のところに移ってきたのは昭和48年のオイルショックの時。その時にうち建てたんだ。条南町にいたときから鍼だけになってたんだ。いやあ、すごかったな。患者すごかった。
3	佐々木	患者さんの数が一番多かったのはいつぐらいですか。
4	対象者6	ずーっと多かったなあ。最近だよ。この少なくなってきたのは最近これ2・3年。自分で減らしてるのもあるし。やる時間が9時から12時半の、2時から5時半。それ以上やらねえ。だから減ってるな。
5	佐々木	施術料はいくらになりますか。
6	対象者6	料金はねえ、会で2000円以上ってことになってたんだよ。日立で。今はだいたい最低料金が3000円でないの。俺んところは仏心で学生には半額なんだ。学生は1500円。運動選手だな。もらう人からは4000円から5000円もらう。運動選手連中なんかは広告になってんだ。昔からなんだけど。私が開業した時、俺が中学校の時。俺は陸上部だったんだ。で初めて県の大会が開催されたときなんだ、戦後ね。ほんで中学3年で、砲丸投げと400メートルの群を代表して。一番辛いやつね。けっこう県に行って優勝したんだ。で、砲丸投げは優勝したんだ。スパイク初めてはいてやったの。それまでは裸足だから。200メートルのグラウンドでやったわけ。いここにスパイク借りて走った。
7	佐々木	そういうこともあって先生のところには運動する人たちが多く来るんですね。
8	対象者6	今は高校生。県内の高校はほとんど来ます。陸上ばかりじゃなくて全部。だから常総学園だの日大土浦だの。今は明秀がいっぱいくるなあ。あそこはすごいんだ。今サッカーが120人も部員いるんだ。野球部が100人。陸上もソフトボールも、バスケット、バレーみんな。
9	佐々木	一人の施術時間はどのくらいですか。
10	対象者6	これはねえ、ええ、忙しく合理的にやると30分で3人。ベッド3台あるから。3台で、一人乗つけてちょちょいとやって電氣流して、今度二人目にちゃんとやって、そうすると3番目の人をちょいと刺して。今度最初の人に戻ってって。電氣はずしてから別なところ、お腹やったりちょいちょいってやるの。電氣かけるのは100%近い。レーザーは、なんだかこの頃はめんどくさい。でもレーザーだけっていう人もいるから120%かな。レーザーは、あれは素晴らしい機会だ。基本はパルスをして、レーザーをやって皮内鍼をやって、それで終わり。一人当たり30分はかかんないぐらい。一局所の人だったらほんと速いので。全身が入っちゃうと狂っちゃう。それは不定愁訴。さっきの話じゃないけど、お腹やって腰やってってなると。だから、腰だけとかって言う局所の人だと20分ぐらいで終わるんじゃないかな。俺はいかに効率よく言うのが願望だったんだよな。だから、機械も時間のかかるの。
11	佐々木	こうやって長いこと施術を続けてこられた秘訣って言うのは何だと思いますか。
12	対象者6	秘訣って言うのはやっぱりね、1回目にかかなりの率で本人が楽になりました、これがねえとだめだ。三日目に良くなるでしょうは医者様だよ。ね。我々の世界ではその場でなんぼかよくななんねえと。やっと来た腰痛の患者が帰りは喜んで帰ったとか。そういうのがねえと口コミも弱っちゃうよ。ね。口コミも困るんだよね。腰が一回で治っちゃったからってなると、1回で治してくれて患者が来るわけだ。そうするとこんなの治るわけないだろうって言うんだけど。でも、だいたいそういう感覚的にそれはそのレーザーとかパルスとかはすごい武器です。俺の手なんぞやいくら役立たない。どこにやったらいいかって探し当てんのが俺の仕事だよな。整形レントゲンとっても何ともありません、本人は苦しい痛い、その大本をめつけて患者にここだろうって、指が言って。先生そこって言う語彙があると、これ治ったに等しいよね。以下に揉んだり鍼刺したりがうまいじゃないんだよな。俺下手なんだ、鍼なんか。今勉強に来てる研修生がいるんだけど、これは見込みなし。ここ見てみろって言っても、この指の方角が全然違うんだ。縦にしたり横にしたり、繊維に直角に当たってないんだよ。その奥に絶対硬結があるはずなのに見つけれんない。あれが見つかれば一人前になるんだけど。
13	佐々木	先生の施術はどなたかに習ったわけではないんでしょうか。

14	対象者6 誰に習ったわけでもないなあ。初めは見つけることだよ。それに尽きるな。
15	佐々木 先生は開業される頃にはもう 見つけられるようになったって言う 自信はあったんですか。
16	対象者6 自信なんてないよ。夢中で。帰ってくるともう 疲れちゃってね。砂糖を入れた水。砂糖に水道水入れてかきまぜたやつを飲みたかったんだ。疲れすぎて、汗かきすぎて。東京いたときね。すごかった。よく 糖尿病ならなかった。東京でやってた時はけっこうお客さんいたよ。米は、田舎から 貰ってたんだけど。1年目ぐらいは田舎から 貰って、2年目ぐらいからは米は買えるようになったんだ。俺これは口癖なんだけど、おめえ開業して米買えるの かって言うんですよ。今は米安いから 買えるって言うんだけど（笑）。
17	佐々木 今までやってきて大変だった時期はないんでしょうか。
18	対象者6 大変だったの？そりゃあ収入がないのが一番大変だった。初めは あった。こっちに戻ってきてからもありましたよ。本当に往診専門みたいで ね。あの始めたころは俺も調子こんでたから、先輩のところにタオルもって 挨拶に歩くんだった、で、生意気に見えない人が出張してエネルギーを使って 大変なことです。うちにいてそのエネルギーを患者にぶっつけたらばいい治療 ができんじゃないですかって言ったの。先輩に怒られましたなあ。おめえみ たいな馬鹿は三日もやってたらどっかに行くようだ、そういわれたよ。俺は 生意気だったんだよ。ほとんど初めは往診だよ、あん摩だもの。鍼なんてや らしてくんねえもん。あと良かったのは兄貴がやっぱり盲学校の出身で、若 い人いっぱい置いててやってた傷痍軍人だったから。それもあって患者を回 してもらったりして助かったところもあった。患者が付いてくるには5年はか かったね。5年はかかんなかったか、3年か。3年はかかったな。その頃の日立 は東北の人たちが身上をたたんで来たぐらいだからね。でも日立に戻ってき たとき初めて住んだのが百姓の蔵の2 階で住んでた。下は米だの、麦だのが あって。八畳一間。入っていくと頭打つつけるんだ。梁があるから。そこが 出発点だから、6・7 年はいたかな。そこにベッドを1 台置いて仕事もして た。そこから近所に越して30メートルぐらい歩いたところに。四畳半の、 六畳、お勝手（台所）とあって。六畳の間にベッド二つ置いて、そこにちっ ちゃいお膳を置いていて、そこに待っててもらって。ああ、あれは苦しかっ たね。6 畳にベッド2 台置いて、それで窓際に人が待ってるから。二人ベッ ドに乗っけてやってると、待ってる人がお茶なんか飲んでしゃべってるわ け。そうするとイライラしてきちゃって余計なことしゃべったりするから。
19	佐々木 今でも予約制ではないんでしょうか。
20	対象者6 予約制ではねえ。だめなんだ予約やっても。30 分に一人予約して も、そこに別な不定愁訴の患者が入っちゃうと勘定できなくなっちゃうんだ よ。予約はやんねえほうが。で、遠くからくるようになっちゃったんだよ。 遠く の人がいきなり来たりするからね。県外からくるんだもん。よく 栃木か らくるんだ、今も。患者は来て、空いてればすぐにやれるけど、だいたい は 待ってもらえることが多いよ。今は昔みたいにイライラはしない。でもあっか なあ。俺もずいぶん丸くなったよ。ものすごいおっかない先生で通ってたか ら（笑い）。一回あったんだよね、前のところに来たことある人がきて、す ごい怖い先生がいたっていうから、それ俺だって言っても信じてくんねえっ てことが。こんな平和な顔してませんって。若い時はやくざっぽい人でも
21	佐々木 施術しているときに工夫されていることはありますか。
22	対象者6 施術してるときに工夫してるって言うのは、なんだろう？工夫はな いなあ。
23	佐々木 あの施術室の配置は工夫されていると思うんですけど。
24	対象者6 一回りできるようになってて。見え良いからああいう風にしたんだ よね。あれ、家建てる時幅が十畳には1 尺五寸狭いんだ。で、ちょうど見 えないうやつが真ん中に機械とか、鍼、道具を置いて、そこをぐるぐる回りな がら、壁際に置いた3 台のベッドを回れるようにしたんだ。幅もあれがちょ うどいいんだ。全盲だと広すぎるとだめなんだよね。
25	佐々木 レーザーはいつから使われてるんですか。

26	対象者6 30年ぐらいになるかな。デンマークで作ったレーザー。それを確か輸入したんだよね。で、輸入した第一号を俺が買ったよ。あれ、出力は弱いんだ。鉛筆みたいなやつだね。音ばかりでかくて。でも、あれはリウマチ、筋肉リウマチの人で、半身レーザーやったの。帰って様子見て、また明日か、あさって来なって言うて返したの。駅まで行ったんだけど、そしたらまっすぐに歩けないって言うんだよ。半分軽い方と重い方と。駅から引き返してきたんだ。それでまた半身やってあげたんだ。レーザー全身にやるっていうのは大変なことだよ、時間かかってね。でも、それがあってレーザーを信頼しちゃった。それが日本でもレーザーを作ったっていうのが来て。立派なんで350万。試してくださいって、関東医療と業者の人が来たんだ。でかい大掛かりな機会もって。その時友部の中学生が父兄と松葉づえついてきたんだ。捻挫でね。これはちょうどいいなあって思って、ボール紙で固定してあるから、それを外して、レーザーを照射したの。やってるうちに腫れたのがへっこんできちゃったんだよ。皮膚にしわよってきたんだ。いやあ、これ変だなあって思って。あるって見ろって言ったの。そしたら真っすぐ歩けんの、松葉づえなしで。俺もビックリしたし、本人もとにかくびっくりしたんだろうけど、父兄だの、機械屋までビックリしちゃって。こんなんでもいいんですかねえなんて。俺分かんねえべ、お前が作ったんだべって。それが第一号。小さい機械屋なんで、半導体を仕入れるのに安い仕入れたんで、
27	佐々木 レーザーのほかには何か機械を使っているんですか。
28	対象者6 パルスと、あと一時期超音波も使ったけど。あれはめんどくさい。でも、坐骨神経痛の人にやってたらうわー響くって言ったと覆ったら治ったってことはあったね。あれなかなか命中しないんだよね。あとは皮膚表面が超音波だとちかちかするから嫌だって言う人がいたんで。もうやめようっ
29	佐々木 スタッフは娘さんがずっとされているんですか。
30	対象者6 開業して前半は奥さんがやってたから。奥さんとやってた時はレーザーの代わりにお灸をやってたんだ。灸頭鍼やってたんだ。灸頭鍼やると家の中臭くなるし！レーザーが出てきたときにやめた。そのあと娘が学生終わって戻ってきてから、奥さんと交代交代に助手に入るようになってって感じた。根本治療院は助手が大事なんです。俺はパルスはめられないし、鍼も出してもらう。俺自分で鍼取らないから。だから鍼打つだけ。俺は楽なん
31	佐々木 今1日当たりの患者さんは何人ぐらいになりますか。
32	対象者6 13人最低やんなきゃだめなんだ。でも最近届かない日が多い。最低13人やると、だいたい4万円になるんです。するとだいたいつき100万円になる。それが今までの方程式なんだ。だが、この頃は、若い人から相談を受けんだけど、暇で困ります。俺んともなんか変だなって。メンバーも替わってきちゃった。年寄りには来ないし。ここ1・2年か、最近だよ。でも平均10人はできるかな。俺1番やったのは43人やったことある、1日で。あれは若さだな。うれしさ半分だから。でも、この頃は待合室がにぎやかになってくるといらいらすんの。昔は喜んでたんだ。にぎやかなのは金はいってくるから。今は金はいいいからもう少し来んのが少ない方がいいなあって。そういうことも多くなってきた。月にすると25日では計算できな
33	佐々木 先生は経営について勉強されたことはありますか。
34	対象者6 それはねえなあ。金が貯まった頃に高い買い物があるんだ。レーザーだの車だの。
35	佐々木 広告とかは出したりしたことはないんですか。

36	対象者6	ないな。有極見てきて入ってきた人は今までで、一人か二人かな。電話帳もね。ほとんどは口コミ。だって鍼って怖いでしょ、嫌でしょうよ。マッサージとは違うから。で、女なんか裸になんなきゃないべ。でも、この頃は若い女性は恥ずかしがらなくなっただけ。今の80歳ぐらい、70歳ぐらいのは、お腹を出しなさいっていうと、下げないんだよ。俺も一生懸命下げるんだけど(笑)。人に肌見せるもんじゃないって、そういう教えがね。それが今は美しいものは人に見せなさいだからな。そういう点でやりやすいよ。あとは、自分が学生だったときに運動選手でかかって、それが先生になって生徒を連れてくるの。それでその親が来るとか。地方から来るって言うのはそういうのがあるのね。もともと自分がかかって栃木来ましてって言えば紹介したりとか。笠間って言ったら笠間の人が来たり。常総学院が始めたのも、元の学生が先生になってサッカー部を連れてきて。次はいろんな部の子を常総学院のバスで連れてきたりね。だから近所で有名になっちゃうんだよ。常総学院のバスが止まってるぞって。だから宣伝しなくても、ネズミ講じゃないけど！半分ネズミ講かな。重傷名患者、笠間から来てたおばちゃんがいるんだ。どこの整形外科に入院しても腰が痛くて、直んない、立てない。誰かに聞いて、これが最後だって言うんで退院してきたんだ。それは腰痛じゃないんだ、腰背部が痛かったんだ。病院では坐骨神経痛だのって治療してたんだ。そしたら腰背部に打ち身っていうの？そこにもものすごい硬結があって。それが痛かったんだ。それを俺が見つけた。それに電気鍼やって。はい、立ちなさいって言ったら。いやあ、生き返っちゃった。死んだ人が生き返ったと同じ。完璧じゃないけど、それから何回も来てるけど。畑も、田んぼもやってるって言ってたから。未だに米送ってくるよ。みんなその患者の家の人も、病院から帰って来らんないでだめになっちゃうべって話だったんだ。その人が良くなったらば、その人が言ってる病院の人たちが来るんだよ。あの笠間の口コミはすごかったな。あのときははやったね、また笠間って感じで。それに肩こりなんて軽い人なんかは来ないから。とにかく重い人、へんなのきた。そのときにタイホウのツボ、脇の下の。あれは役だった。たいていの重症患者は、歩けないのがあそこにやると立ち上がって歩けるから。皮内鍼。癌で死にそうなのも、だめだ、嫌だって言ったんだ、 奥さんも来てやってくださいって、だめだって、その理由は何もって言う
37	佐々木	施術内容が違くと料金も違ったりしてるんですか。
38	対象者6	若干違う。俺は調整しちゃうんだよ。最後帳尻が合えばいい。半身で約3000円。お腹をやったり、前をするとプラスアルファで。500円とか。みんなは丁寧にやって5000円とかもらったりするけど、俺は効率も重視して
39	佐々木	定期的にいらしてる患者さんはどのくらいいるんですか。
40	対象者6	いない。みんな痛いから来るんだよね。先生どのくらい定期的に通えばいいんですかって聞かれて答えるでしょ。じゃあ来ますよなんて言ってもほとんどきたことないよ。痛くないと来ないよ。そういう面ではよそ様とは違うところあるんだな。予約だとかは定期的に来てもらうためにするんだからね。あれは補償だよ。俺のうちに来る電気屋もそうなんだけど、まだいいよって言われると買いたくなるんだ。
41	佐々木	昨年1年間の施術料収入はどのくらいになりますか。
42	対象者6	1000万ぐらいか。いいときは1200万ぐらいいったけど。
43	佐々木	どうすればそんなに稼げるんですか。
44	対象者6	治さなきゃだめ。なんぼ理屈言っても、いい機械使っても治んなきゃだめだ。治るっていうよりは改善か。治すっていうとうそつきになっちゃうから。これは堅く言ってんだ。治りはしません、改善はしますって。やっぱり見つけるのが上手になんなきゃだめだよ。第一条件だよ。これは絶対できななきゃだめだ。患者が頸が痛いんだって言ったときに。ここかなって聞いて、違うって言うときはだめだ。こっちかな、そっちでもない。って言うのは最悪だな。だから、触ってて、先生そって言われる。これがポイントだ。自分で指先にセンサーがついてんじゃないかって思うんだ。頸だの腰だのの脊中の両側は硬結は深いんだよ。優しくなったら届かないんだ。だから、指先でぐーっとえぐんないと、届かない。ツボの話は分かんないけ
45	佐々木	先生はもともと視覚障害をお持ちだったんですか。
46	佐々木	いや、中途かな。色素変性症で。俺の兄貴は兵隊に入ってたけど、色変だった。
47	佐々木	資格はどちらでお取りになったんですか。

48	対象者6 志願して人相悪かったんだ。盲学校に行ったんだよ。だぶだぶのにつかズボンはいて、うんではき物はサンダルか何か。靴じゃなかったな。何か草履かなんか。で、当時理療科に青木って言う先生がいたんだよ。有名なボス。そしたら根本君の弟ですか、全然違いますねえなんて。俺みたいのはだめかなって聞いたら。ちょっと・・・、塩原にもありますからって、そっちの方がいいでしょうって。塩原であん摩だけとったの。卒業証書はありません。あの頃はあん摩2年でとれたから。昭和32年か。そのあと4人でヘレン・ケラーの鍼灸科一端だ。そのうちの一人は福島弘道の代貸をやった。これは優秀だったな。あとはみんな助手に入って、けっこうお金貯めたなあ。で、俺はアパート借りてあん摩やったんだよ。学校は3年だから鍼灸の
49	佐々木 日立に帰ってきた頃は視力はどのくらいあったんですか。
50	対象者6 まだ結構見えてた。かろうじて自転車乗れるぐらい。危なっかしくな。東京にいた頃はかなり不自由したな。
51	佐々木 今先生は身体障害者手帳はお持ちですか。
52	対象者6 1級持ってます。昔作ったやつ、何年か前に書き換えたな。
53	佐々木 これから施術所はどのくらい続けるとかって目標はありますか。
54	対象者6 でも、ほれ、娘も免許とってあるから。おそらくやるでしょうから。俺はもう隠居様だな。でもね、みんなに話してんだけども、見えないのはやっぱり仕事はやしないとだめだ。家庭があるんなら仕事はやること。いっぱいやんなくてもやって自分が食うぐらいはやないとだめだ。それが長生きの秘訣だと思ってます。そうすれば自然にエネルギーが沸いてくるんだよね。それ何もなかったらば完全にぼけっちゃう。これは目に見えてる。人の施術をするって言うのは体力は使わないけど、精神疲労はあるよ。
55	佐々木 施術を続けてこられて、もう仕事として嫌だって、やりたくなくなったことはないですか。
56	対象者6 朝起きてそんな風に思ったことはないなあ。朝起きたら今日もやるぞって感じ。それはやっぱり俺は百姓生まれだからだと思ってんだけど。百姓って言うのはお金になんない仕事を、今日も、明日もって力いっぱいやって、結果金にならないで、でも一生懸命やってるよな。俺22歳まで百姓やっ
57	佐々木 見えなくなっただけでなかったら、このあん摩鍼灸の仕事はやってたと思いますか。
58	対象者6 やってないな。
59	佐々木 この仕事をやっての満足度を伺いたいんですが。
60	対象者6 患者の障害が改善したときの満足感はいいな。生きがいだな。立ってられればもうちょっと続けたい。
61	佐々木 収入に対してはいかがですか。
62	対象者6 これは限りないからね。とにかく一人の稼ぎだからそれは決まっていますよ。それ以上会っても何もならないでしょ。満足でしょうな。
63	佐々木 今までで一番印象に残ってる患者さんについて教えてください。
64	対象者6 肝臓病に関しては二つ例があるんだ。同じ時期にね。高校の先生、これはゴルフやってて上手な人。病院に行くと肝臓の数値が上がってて家に帰っちゃだめ、入院。それ繰り返してたの。その人は何でもないんだけどね。もう一人はパーマ屋さん。こうやって座って待合室で待ってらんないんだもの。ダルくて、横になっちゃう。俺が触診すると触れないぐらい痛がるの。肝臓のところがね。それで病院に行くと何でもありませんって言われて。さっきの先生の方は何でもないのに死にそうだ、肝臓の数字が上がって。どっちもどっちなんだ。これはよくよく印象的だ。その女のパーマ屋さんは鍼をすると帰りには生き返っちゃうの。肝臓の所触っても痛くないし、柔らかくなる。まだどっちも生きてます。肝臓の数値が上がっちゃった人もゴルフやったり、百姓やったりしてる。学校の先生なんだが。この二人対照的なんだ。でも化学的な検査も100%じゃないって示してんだ。でも鍼で
65	佐々木 お腹の施術に使用している鍼ってどのようなものを使ってるんです
66	対象者6 0番。捻鍼で。あれ鍼管で入れようとするとなっちゃうだろ。ぐねってなんねえのか。鍼が細い方が抵抗が少ないからずっと入っちゃうけど、太い鍼は抵抗が大きいから痛い。今短い針は5部0番って言うのを使ってるな。唯一鍼管使うのは足底。
67	佐々木 インタビューは以上になります。ありがとうございました。

対象： 訪問日 2017/09/18(月)
インタビュー時間 68分

1	佐々木	先生がこちらを開業されてどのくらいになるか教えてください
2	対象者7	ここ、そのものは29年。最初からここではないの。ここから3キロばかり離れた津田って言うところだったから。その時は両親が一緒に、そっちで約10年か。津田を入れればあと2年で40年になっちゃう。
3	佐々木	卒業してすぐに開業されたんですか。
4	対象者7	そう。俺は東京視力を出たから。ほんとは東京に1・2年いて帰ってこようと思ったんだけど。お嫁さんが、どうせ田舎に帰るなら早い方がいいって言う先生のアドバイスを受けて、俺より奥さんの方が早く帰った方がいいって言うことで。最初の開業当時は、駅から遠い不便さもあってさほど患者が来なかったの、1年目の冬からはサウナのアルバイト。夕方7時から11時まで。パークボールって言うボーリング場があったんだけど、その1回にサウナがあったの。そこで働いていた、人が辞めたのよ。で、ちょうど空きがあって、近所の人で、そこに勤めていた人の口利きで、「やってもらえませんか」って言う話が来て。で、屋はあんまり仕事もしないんで、じゃあって2年ぐらいいは行ったか。1年はまるまる行ったんだよ。1年半ぐらいいかなあ。毎日、ただ日曜は自分自身休みだったから、日曜は休ませてもらって。で、毎日夕方6時ぐらいいは夕飯食って、7時にはサウナに行って、11時
5	佐々木	その東京に勉強に出られるきっかけは何かあったんですか。
6	対象者7	きっかけは東京にいた時に経絡治療を、俺より奥さんの方が興味をもって聴講生として研修に言って、俺よりは先に彼女の方が先に経絡治療をしていたんだ。それで、子供ができたことで、彼女が抱えた患者を、俺が鍼をしなくちゃならない環境になって。それで、同じような治療ができないとまずいよねって言う話になって。彼女が言っていた勉強会に俺が行くようになって。それから経絡治療に携わるようになって、まるまる37年になる訳
7	佐々木	開業されるときはお二人で始められたんですか。
8	対象者7	そう。両親と住んでたから。それに次の年には娘が生まれたから5人でって感じかな。最初開業したところは、駅から離れてたから、結局勉強会に行くのにも、駅まで親父に送ってもらったのよ。それが10年経って親もだんだん年取ってくるから、東京に勉強に行くのに一人の単独歩行で行ける距離になってことで、今の場所に開業って、言うか移したんだ。そういう経緯
9	佐々木	かなりの患者さんを見てこられたと思うんですが、やりがいとか、充実感を感じる場面はありますか。

	対象者7 それは。彼女がやっていた経絡治療を引き継いで、自分なりにやれるようになって。やっぱり臓腑疾患からくる治療って言うのは、普通の治療でとれないことが多いってことで。経絡治療の面白さに2年目、3年目に気づかされて。3年目ぐらいに難しい患者に当たるんだよね。脈を診て、お腹を見て、証を立ててって言う、習った通りのことをやって結果が出る訳だよ。それが面白くて鍼ってすごいなあって、神経痛でも何でも治せるわって思ったところ。腰痛のおじいちゃんをとうとう治せなかったって言う経験をする訳。それががんだったのよ。がんがあるための腰痛だったのをそこまでの診断技術がないために。なんで同じことやって治らないんだらうって言う壁に当たる訳。とうとう1か月やったけど、結果が出なくて。半年過ぎたところに亡くなった話を聞いて、その原因ががんだったことを知ったんだ。鍼で何でも治せるって言うのは傲りであって、ちゃんと患者を診る。症状はどこが原因できてるか分からないと治療にならないと。それを経験してから、自分の診断の足りないところどうやったら補えるかって言うところが自分の壁になって。そこから10年ぐらいは悩んだかなあ。そう、腹診をやるときに、それが
10	はっきり分かって診断して、これはこれでとれるぞって言う、自分の確証があるものについては確実に治せる。ただ、通常の診断法だけではやっぱり取り切れないんだ。それがなぜ残ってしまうか。勉強会でいろんな質問をしたりとか、やっていくわけなんだけど。そういう先輩の話の中でも治らないものが出てくると。って自分の将来の目標が臓腑病を直そうと。心臓病でも、肝臓病でも、糖尿病でも臓器疾患を鍼で何とかする技術を身に着けたいって言うのが、10年過ぎてから出てきたって感じかな。最初からがんだって分かっていたら、鍼では無理ですよって話になるんだけど。そうではなくて、普通の神経痛とか腰痛とか思い込んで治療すると失敗すると。それは自分の中ではすごく残ってる。って言うか教訓みたいになっちゃってるあと、自分の中では、こっちに来てて体から、13・4年過ぎてからかな。脈診と、腹診と、もう一つ今自分がやっているフィンガーテストって言うのを混ぜてやるようになった。40年代のお父さんに、体を見るとがっちりしててママさんバレーのコーチもしてるって言う人で。なかなか体格もいいし、仕事もお肉屋さんだったんだよね。普通の腰痛なら取れるって思って治療始めたんだけど、 <small>見たら臓腑疾患が隠れてて、腰痛ではあるんだけど心臓がおかしくて</small>
11	佐々木 今先生が行うのは鍼治療のみですか。
12	対象者7 そうだけど、臓腑の病気には温熱が聞くので、お灸の代わりになる温灸器を使っている。だから治療としては鍼と温灸器って形。
13	佐々木 あん摩・マッサージを行わなくなったのはいつごろからですか。
14	対象者7 昔は鍼もマッサージもしてたけど。でもマッサージと鍼は一緒にしなかった。患者さんにどっちか選んでもらって。マッサージならマッサージしかその時はしない。鍼は鍼で別にやると。同時並行でマッサージをした後に鍼をやりますねってことはしない。こっちに来てから10年ぐらいはマッサージもやってたか。鍼だけになったのはここ20年ぐらいかな。昔の繋がりがきてた人はやってけど。でもいろいろ言われたよね。経絡治療って深鍼しないから。他で深い鍼を経験してきた方で、紹介されてきても、本人が深い鍼の方が効くと思っている人に「先生の鍼は俺には合わない」って何人かに
15	佐々木 経絡治療に加えてフィンガーテストを取り入れられたのはなぜです

16	<p>対象者7 フィンガーテストって言うのは診断法の一つ。触診、問診、脈診、そこにフィンガーテストを入れたって感じ。切診の一つと考えたらいいかな。きっかけは医道の日本。もともとは大村先生がやっていたリングテストを情報として昭和58年のころの医道の日本に乗っていて、リングテストに興味をもって。リングテストも一時期やったの。でもリングテストっていうのは患者さんへの負担がけっこう大きくてね。何べんもやってると患者さんが嫌になっちゃうっていうことがあって。そのあとに山口の先生が発案したフィンガーテストという、同じく指を使うんだけど、術所の指で行えるという。ただ見間違えるケースもない訳じゃないので。そこでフィンガーテストを考案した先生の記事を医道の日本で見て、その先生の活動拠点が大阪だったんだけど、東京で講演をするって言うので。平成2・3年のころかな、東京でやったのよ。そこに同じくひたちなかでやっているN先生と、会場が彼が出た会場だったの。彼に大森の衛星学園って知ってるって聞いたら、私の出身校ですって言うから。こんなのやるけど興味あるって聞いたら、彼も面白そうですねって言うんで彼に案内してもらって、1か月に1回3ヵ月講習を受けて。で、ほとんど見える先生だったんだけど、俺見えない中で、一緒に行ったN先生に「あれどうやってんの」とか、帰りの電車の中で聞いて。指をこんな風にして振るんですみたいな風に教わって。だから、自分としては話は分かったけども、実際やっている様子は全く分からなかった。同行したNさんに習って。あとは自分のトレーニングだから。それも講習会で教わったのは基礎。応用編はもう勝手にだよ。脈で言うと、その脈が何だっていうのは自分で見て、経験でこの脈だって言うのと一緒で。FTも基本的な形を教わったら、あとはもう自分なりのアレンジ。そんな見える先生みたいに手にライン</p>
17	<p>佐々木 もともとは行っていた経絡治療にFTを取り入れる際に矛盾のようなことは生じませんでしたか。</p>
18	<p>対象者7 だから、経絡に対してどんな風に向き合うかって言う基礎ができていた。っというところに、FTをやった時の反応が、経絡の端端に出てくると言う。各指の性穴に近いところを触ることで。だからそのあたりは、赤羽式の治療法と同じように、井穴にフィンガーテストをやると反応するところと反応しないところって言うのを見つけれられるようになって。だから基本的には12経絡を頭の中に入れて、その経絡の反応がどんな風に出るかって知ってれば、そんなに難しいことではないのよ。矛盾というよりは、手足に出た反応とお腹の反応が、どう関係するのかって言うトレーニングをしてきたから。だから、べつにFTをやってもお腹と手足が関係してるのは知ってたし、それをFTでも見れるようになったって言うだけで、それほど矛盾はない。経絡を知らないとか、経絡をあまり知らずに体を見ていると、理解度として臓</p>
19	<p>佐々木 そのようにして取り入れられたFTが、自分のものとして使えるようになるまでにはどのくらいの期間がかかりましたか。</p>

20	<p>対象者7 FIでも、最初に目を突っ込んで始めたころには、何でもかんでも反応が出るところが治療するところなんだろうと思ってやってけど。それこそ3割ぐらいしか結果が出ない。っていうのが4・5年は続いたね。見える先生たちは前腕に引いたラインって、発案者の通り診断をしていて、お腹に出る反応を前腕で見てた感じなんだけど。自分はそれができないから、最初に診断ポイントをどこに取ろうか、どこを見ようかって言うのをいろいろ悩んで。それで5年ぐらいいしてからかな、面白い患者にあった。経絡の反応が、こっちの意とするしない方向に患者が教えてくれるわけね。患者さん自身敏感で、施術しているうちにどんどん変化していく。診察していく中で、どんどん反映されていく感じで。そういう患者さんに教わって、臓腑疾患の治療ができるようになったっていうのが自信になった感じ。特に重症患者であればあるほど、反応が出やすい。でも持続しない。って、その持続しない理由が何だろうって、そこに何年かやってるとぶち当たるんだけど、経絡と臓腑を関連付けてやっていくことで自信になって。だけど、持続しない理由を探さなくちゃならなくなって、もうクッションあるんだけど。今の経絡治療家の先生たちと知識として持ってるものと、経験として持ってるものの違いは、自分の中で、良く整合性っていう言葉で表現するんだけど。古典に書いてあることを、現代の医学知識を把握しようとするすると矛盾してしまう。それは確かに、でもパソコンをやるようになって考え方が変わった。あれっていうのは入力の際にいろいろと条件付けをしてやることで画面に表示されてくる。古典に書いてあるのは、その黄帝の言った質問が入力条件。その結果として出てくるのが伎楽の回答。基本的に陰陽五行論手結卯之を元に黄帝の質問を考えてしまうと間違ってしまうわけ。黄帝が聞く時点で何が聞きたいのか、この情報だけでいいんだって言う条件付けがある訳で。何を意図として質問しているのかって言うのを考えて伎楽の答えを見ていくと合ってるんだよね。五行論で言うとおかしいんじゃないかよっていう先生も多いんだけど。それは、今患者が熱を出している病態を見ているのか、体に熱が入って壊れた状態を見ているのか。なんか熱と病態は同じように見えるんだけど。熱が発生してるってことは、体が冷えてるとも見る事ができるし。熱がこもっちゃったときっていうのは発汗ができなくてってことがあって。これは全然病態は違うの。その設定条件が間違っただけで、五行論で熱をとるた</p>
21	<p>佐々木 ちなみに道具としてはどのようなものをお使いですか。</p>
22	<p>対象者7 今使ってるのは、ステンレスの寸3の2番、あとたまに使うのは寸6の5番が多いかな。結局痛みの種類によって太い鍼の方がいい場合と、細い鍼がいい場合と。それから深さによって違うし。あとは鍼の中では提鍼。俺としては誰にも言っていないんだけど、もともと銀製品って言うのは熱をとる金属なので、熱感のある患者さんには銀の提鍼。それでよくよく弱っている患者さんには金。柔らかくて溶けやすいのはやさしい刺激だって一般的には言われるけど、これは術者の体温で金属が温まってその熱が患者に伝わる意味では弱ってる人に対して金を使うってことが多い。で、金の代わりにまあまあ体がしっかりしているので、そんなに弱っていない人にはほとんど銅を使う。って、金を使うのはめったにないかなあ。一応口鍼は金・銀・銅って</p>
23	<p>佐々木 その他物理療法の危機などは使用していらっしゃるんですか。</p>
24	<p>対象者7 物理療法って・・・！？ああっ！そういう類は一切ない。ほとんど手技療法なので、鍼一本です。あとは、さっき言った温灸器ぐらい。</p>
25	<p>佐々木 長く施術所をされてこられて、大変だったこと苦労されたことはございますか。</p>

26	対象者7 苦労したのはやっぱり、臓腑病に辿り着ける前。経絡治療っていうのは経絡をいじってれば治るって聞かされて。それを信じて経絡を一生懸命調整すれば治るって思い込んでやってた頃は、やっぱり苦労した。だって治らないんだもん。それでいくら教えを請おっても、お腹さえ整えれば治るんだって言われても。お腹がきれいになってるのに何で治んないのって。それは、結局臓腑病で出てるのは、お腹がきれいになっても治るはずがない訳よ。古いし、で疾患が深いから。鍼の深さも違うし、だからそういうものの理解ができてないときは、その浅くても、何でも浅くやったら治るって言うのを信じて、浅い鍼しかやらないじゃん。神経痛なんかは浅い鍼なんかで治るわけじゃないじゃん。だから、ある程度の深さが必要だってなったとき、鍼の深さが5センチも、6センチも入れんのに細い鍼じゃ入っていけない訳よ。もう筋の抵抗が強く。そうすると、今度ある程度太さも必要だし。で、「九鍼十二元」って言うのを読んでみると、同じ痛みなのに太い鍼と長い鍼の使い分けをしてる、古典の中では。同じ痛みでも関節痛には太い鍼を使えて！そして、筋肉の痛みの場合は長い鍼を使えて言う指示が、古典には書いてある。その、古典に書いてある意味が分かんないでいるときには、微鍼って言って、短い鍼で気を調整すればいいんだ、で、気を調整すればなんでも治
27	佐々木 患者さんがあまりいらっしゃらなくて困ったとかって言うことはなかったですか。
28	対象者7 あまりにも浅い鍼のせいで結果が出ない。結果が出なきゃやっぱり患者さんは来ない。だからあの先生のところ行くと治るよって言われるまでに、ある程度の時間はかかるから。だから相性があるって、気の変動で治ってた人たちは、あの先生いいよって。いや、やっぱりダメだって！それは病が違うから。その病の違いを知らずにやってる間は患者が今月はすごいね減らないってときもあったり。その気の調整だけで治んない患者ばかりになるとやっぱりあそこ行ってもだめだよって患者が減る訳よ。だから診断技術がどこまでできてるかで患者さんは来たり来なかったりするから。だから、あれでしょ。関節痛なんか、嫁さんの方が覚えちゃって。膝の治療俺なんかより上手だよ。だから、治すってことを主に考えれば、結果を出せないって患者
29	佐々木 患者さんに来ていただくように何か営業努力はされてますか。
30	対象者7 やっぱりそれは患者さんが勝手に決めてくれてたので。あの先生変わったことやってるよって、面白がって来てくれる患者さんと。あとはしばらくよかったんだけどって言って、間が空いてポツと来る患者さんと。で、何もしなくても。一時期は電柱広告を。それこそここから3キロも離れた津田にいた頃は、駅から遠いし、情報源もないから、電信柱に広告出したり、電話帳にやったりって、とかやったけど。でも、誰しもいうけど、それを見てきましたとか、電話しましたって言う人は、年に数人だから。やっぱり効果があるっていう意味では患者さんを治すことが一番の広告になっている。今は、そういう広告はしないで、税金対策で電話帳に載せてるぐらい。一時期電話帳に相談受け付けますって、治療を受けるんじゃないって、相談だけでもいいですよって広告出したことがあった。そしたら嫁さんに怒られた。分かんないから聞きたいって患者さんは結構いらっしゃって。で、番号を二つ持ってたから、見た人は2と3とあった場合、2からかけるじゃん。2が嫁さんで、3が俺ってことにしてたから、相談の電話が嫁さんのところに行っちゃ
31	佐々木 その相談を受けていて施術を受けにくる話になったりすることはな
32	対象者7 良く説明してもらったからって来てくれる人もいるし。話をしている時点で、俺自身が病院に行った方がいいんじゃないんですかって話になっちゃうんだよ。どうもちょっとそれは鍼をしても治るものではないように思えますってことになっちゃうから。だから病院で一回診察を受けてなんでもなければおいでくださいになっちゃうから。でも、病院で何もなかったんでって言って来た人はいなかったかな。だけど、鍼とか、施術について知ってもらうには相談を受けるっていうのはいいと思ったけど、開業してる人間
33	佐々木 施術所のスタッフは先生と奥様の二人ですか。
34	対象者7 そうそう。雇ったことはないなあ。
35	佐々木 お二人とも全盲で施術所を運営するにあたり不便なことはないです

36	対象者7 不便って言う意味では、俺は患者さんとか、患者さんが連れてきた子供にほこりを見つけれんのが！ベッドの下とかってめったに掃除やらないじゃん。掃除機はかけてるんで見えてるところはある程度きれいになってるんだけど。でも見える高さが低い子供たちにとってはベッドの下にほこりが乗ってたりすると言われたりする。それはええっとか思っちゃうんだけど。子供は正直だからさあ。しかも先生じゃなくておじちゃんだから。「おじちゃんほこりあるよ」何て。うん、どこに、そういう時は見えないのが二人でやってるからしょうがねえなあとか思って。何年かに一遍、ヘルパーさんに入ってもらって治療室の中を見てもらうようにはしてるけど。だから自分でも気を付けて掃除をするようにして。そういう細かいところではあるか
37	佐々木 施術を行うにあたり工夫していることはありますか。
38	対象者7 意識して・・・？！完全予約制にしちゃったのはそういう意味もあるかな。患者を待たせるとどうしても長くなっちゃうから、特に俺の治療は患者さんを診て面白くなってくるとあちこち見ちゃうので。そういう意味で患者さんを待たせちゃうのでねえ。途中から完全予約にしたっていうのは
39	佐々木 いつ頃から完全予約制にしたんでしょうか。
40	対象者7 どのくらいだろう？最初のころは完全予約ではなかったんだよな。今のやり方になったのは20年ぐらい前か。その前は飛び込みで入ってきてもどっちか空いてればやったりしてたもの。そういう意味で嫁さんに新しい患者はとらないよって言われてからは、飛び込みはやらなくなった。工夫してるっていう意味では、そんなところで時間の使い方を上手にするために予約
41	佐々木 先生は経営について勉強したことはありますか。
42	対象者7 ないなあ。全鍼師会の研究大会とか行けば、経営についてとかってあるよ。で、話は聞くけどじゃあ、それを取り入れて、衛生的にもきちんとして。それで回数券を作ってなんかは、東京ではやっている人はいるし、同じ勉強会の人でも、そういうの作ってサービス提供している人もいるけど。やっぱりうちはそこまではいいよなあって。地方ということもあってあんまり経営面は見たり聞いたりしても、やろうとは思わなかった。患者さんの中には回数券を作ってくれとか、年間契約で、毎回毎回支払いをする手間を省いてくれればいいのにつて話はあったけど。それは患者の勝手だから。結局、技術を提供するのはこっちだから。そういう意味では患者さんの便利さをつていうのはやったことないね。ひたちなかでは65歳以上に15枚のマッサージ助成券を配布しているけど、足がなくて来れないって言う人も多いん
43	佐々木 1回の施術料はいくらになりますか。
44	対象者7 うん、ひたちなかは団体二所属してれば、決まってるので基本的には1術3,500円。だからあん摩か、鍼か、灸かのどれか1術ってことで。マッサージして鍼って言うのは2術になるから。初診料とか、プラスアルファでやる治療の料金は違ってる。うちは基本的に鍼しかやらないので3,500円だけだね。他の先生の考えもあるだろうけど、俺としてはあんまり高くしたくないって言うのが本音かな。一番最初の開業時は1,800円だったよな。それこそ今から40年近く前。物価上昇とバブルのころには一番高くなっていて、床屋の料金に合わせて。昔の人に言わせると、床屋の料金よりうちの方が高かったんだって。今でもなんで3,500円のままだって言われるけど、通ってもらって考えると、3,500円でも1か月に3回も4回も来れる料金じゃないよねって。1回鍼をやって治りますよって言うならいいけど、治らないの分かっててそんなに高い料金で、何回も来なさいって言うのはないから。東京
45	佐々木 1日の患者さんの数ほどの程度ですか。
46	対象者7 だいたい2.5から3人。今は無理してやらなくなった。遊び歩いてるし。子供たちも自立したし、自分達が食べて行けばいいって考えに変わったから。平均すると1日3人ぐらいしかやってないんじゃないかな。
47	佐々木 8月1か月の患者さんの数は何人ぐらいですか。
48	対象者7 8月？！うーんと、お盆休みがあったりするので暑い時期だと人数で言うと60人ぐらいか。やっぱりお盆の時期、暑い時期は患者さんが出てこないよね。今年は天候不順だったからいつもより仕事あったような気がした。そう、高校野球が始まるとピタッと来なくなるから（笑い）。
49	佐々木 定期的にいらっしゃる患者さんって何人ぐらいいらっしゃいます

50	対象者7 いるよ。週に1回って言うのは、今は二人ぐらいか。だいたい良くなると、俺が2週間に1回って言っちゃうんで。毎週って言うのはそうそうはいないんだわ。ただ、1週間に1回受けたって来てる人が二人ぐらい。2週間に1回だったら4・5人かな。あとは病気によって続けてやった方が治るって患者が何人かって感じかな。1か月トータルすれば最低で30人は確保できてるって感じかな。毎日に来ない。って言うか来させないし。患者さんによっては毎日来た方がいいですかって言う人もいるんだけど、いや体の変化を見なきゃ分からないから来るなって俺が言っちゃうから。詰めて見てあげても1日おきかな。だから月・水・金か、火・木・土って感じで。それで2週間やったら、あとは良くなればどんどん開けて。最低で1週間に1回。良くなれば2週間に1回。最後は月に1回ぐらいに。それは長年やってきた中で、そういう
51	佐々木 昨年1年の施術料収入はどの程度になりますか。
52	対象者7 だいたい自分で、休んだりなんたりっていうのを考えると、240万円を目安にしてんの。自分の中で。そこから増えたり減ったりって言うのは多少あるけど。昨年申告してんのは243ぐらいだったと思う。昔はねえ、山口に友達がいるんだけど、自分は月にこれだけやんのが目標だとか言ってる。昔は俺も500ぐらい仕事するってやったんだ。でも、それだと疲れちゃってさあ。ほんと税金も余計にくるし。施術料収入には嫁さんの施術料は入れてないから。ほんとアルバイト程度しか今はやってないから。新規をとってないから。今ががんばると自分が壊れちゃうから。若い時はやれるけど。俺が一番収入として頑張ってた時代っていうのは40台もんね。50台に入ったら子育て終わって授業料を払わなくなると体の方が大事だから制限しちゃう。やればやるだけ確かに収入はあるかもしれないけど、収入より自分の体。最近では若いころ連れていけなかったから遊びに時間を割くようにして。そういう意味でも予約は助かる。時間が計算できからね。だから、このぐらい収入あれば良いよねって言って。天候によって増減はあるけど240を
53	佐々木 施術料以外の収入はありますか。
54	対象者7 そういう意味では役所の福祉推進委員とかって役をもらってる。そうすると年に4回、5回会議があって、交通費が出る会議があるの。それだと1回に6,000円から、所得税が引かれて、5,800いくらじゃなかったかな。それは市役所の方で還付金って言って収入じゃないけど、先に税金とっちゃったってことで所得に入れてくれてる。所得として入れてないけど、視覚障害福祉協会の会長やってるから活動費が25,000円。まあ、やめちゃえば入んないけど。そんなところかな。二人とも年金はもらってる。俺は働いて1年でけがしての厚生年金。嫁さんはいろいろあったけど、結局、国民年金になっ
55	佐々木 けがされたのはおいくつの時だったんですか。
56	対象者7 19歳。
57	佐々木 そのけがで視力を失ってからどうされたんですか。
58	対象者7 そうそう交通事故で見えなくなっちゃったのに対して、病状が安定して目はこれ以上回復しませんよって言われたのが12月で。翌年の1月にもう、どうしようか。って言って友部のリハビリテーションセンターに行って。これからどうしようね、鍼灸の免許取んなくちゃだめですよえなんて言ったら、東京視力受けたらどうですかってなって。で、その年の3月
59	佐々木 その東京視力に入学することについては抵抗はありませんでした
60	対象者7 抵抗があるとかじゃなくて、話すと、当時彼女がいて、その彼女に見えてた時にいずれは結婚したいと思ってたわけよ。で、見えなくなっても彼女が支えてくれて、いずれ私が目になるからねなんて言われてたからさ。こいつ食わしていかなくちゃならないんだなって思うじゃん。自分がどうこうじゃなくて、その子を、親御さんを説得して結婚するのに、こうやって具体的に稼げますから嫁にくださいって言うのには、とにかく仕事しなきゃならなかった。選ぶも何も見えなくてできる仕事なんだろうなって。だから職業の選択って言うよりは収入を得るための手段として1番手っ取り早いものを選んだ。だから悩んでるよりも、自分のことは置いて、彼女を受け入れるための準備として。即。迷いとかなんとかじゃなかった。この仕事
61	佐々木 あん摩マッサージ指圧、鍼灸の資格を取ったのはいつになります
62	対象者7 だから見えなくなっって4年目か。
63	佐々木 それって何年ぐらいになりますか。

64	対象者7 昭和54年の3月の試験に合格して。昭和53年にあん摩の免許を取って、そのあとに鍼灸。結局50年に高校が終わって51年に入学してっから。その54年の年にこっちに戻ってきて。ほんとは若いから東京にっって言ったのに、早く帰ろうって。まあセンターの職員の先生にも説得されて。
65	佐々木 卒業してこちらに戻ってきたばかりで、開業するのにお金が必要じゃなかったですか。
66	対象者7 福祉の世帯構成資金だっけ?! それ借りたの。福祉事務所に。あの当時いくらだっけ!! 70万ぐらい借りたんじゃなかったかな?! ほんと忘れちゃった。当時二人で働いた稼ぎが看板台だったよ。だって施術代が1,800円だもん。そう俺が就職したときの初任給が10万足らずだったんだから。借りたお金の返済期間は10年ぐらいだったと思うけど、10年かかんないで返した
67	佐々木 こちらに移られるときにはどうだったんですか。
68	対象者7 こっちに来たときは半分は支度金として払って、あとはローン。ただ、その頃難しい患者に出くわした後でいろいろ悩んだけど、患者さんはこなせるようになってたから。月10万ぐらい返してて、酷い時は17万ぐらい返してた時もあった。バブルのころはひどかった。でもその頃が1番働いたって。年間で言うと480万って。今の料金になる前だったけど、それだけ数もやって、今みたいに9時から6時で終わりってことはなくて、8時からやって夜の9時とかまでやったね。あの頃は確かに人数多かったもんなあ。それこそ1日平均4・5人だから、1か月120は、ざらだった。その頃は結局、あん摩もやってたあからね。今みたいに鍼だけなんてことはなくて、来ればあん摩も
69	佐々木 働いていて、この仕事がいやになっちゃったとか、違う仕事をしたってことはありましたか。
70	対象者7 思ったことはないね。だんだん経絡治療にのめりこんで、治せるって自信がついて面白くなって言っちゃって。だから、そういう意味で見えなくなっちゃったことを恨んだりってことじゃなくて、この仕事に出会えて面白さ、医者にかかなくなったりって治せるって言うのが逆だったね。だから、みんなとは逆な感じだよね。悩んでこの仕事選んだんじゃなくて。この仕事で何とかするぞって。始まってから患者が来ねえからどうするかって、温泉場に行っってバイトしようかって考えてたら。面白いよねえ、鍼ってこんなこと
71	佐々木 今までで印象的な患者さんがいれば教えてください。

72	対象者7 それはねえ、医者でも見つけられなかつた病気を見つけた時。その患者は確かに面白かった。肝炎。臓腑疾患をやるとこれ絶対肝臓おかしいよって。患者が60後半のおばあちゃんが風邪引いたみたい、微熱があるってかかりに来たわけ。この人は交通事故で大腿骨を骨折したから足が曲がないって人だったんだけど。お金は持ってる人だったから。あっちの医者、こっちの医者、漢方薬も飲んでって。まあ、お金持ち独特の贅沢な治療をしてた人だから。それで見せてもらって7度1分・2分の微熱なんだけど、風邪みたいなんだけどって言って。医者行ったのって聞くと、医者でも風邪だって。で、見せてもらって脈見て、やたらに固い脈してんなあって。お腹見たら季肋部おかしいし、肝臓変じゃないのって。FTもやって、臓腑病か経絡病かを分けてみていたら、どうも臓腑疾患だと。微熱で、で、そこで問診が出てくるんだ。眠いけど横になると眠れないことないって聞くと、そうだって。なんとなくイライラしないのって聞くと、おじいちゃんがうろうろするだけで、あっちに言ってって大きい声出したとかって。そういう病態見てこれ絶対変だって思って。肝に対して金を金を抑えて木製を瀉すと良くなるって言う方法で、治療したらよくなる訳よ。そんなときは、そして次の日になるとまた微熱が出てくるわけ。二日置いて三日目に治療に来ると、まだ先生変だって。って、3回繰り返して。さすがに3回目にはあきれて、医者もう一回行きなさいって。でも、先生、医者いったらまた体温はかって風邪で終わっちゃうって言うから、そこで患者に嘘つかせて。先生に熱は高くなることはないんだけど、胸のこの辺が苦しいし、眠れないって言いなって。で、胸ってどの辺ですかって言うから、季肋部教えて、この辺が何となく苦しいような気がする医者に言えって。それで医者に言ったら、血液検査しましょうってなって、そしたら肝炎だったって。肝機能が落ちてて、それは西洋医学的に証明されたから、医者がきちんと治療しましょうってなって。患者が面白いこと言ってて、医者に行く前に俺んとこ3回来てるわけだから1週間以上たってて。私はどうしようってって言うから。ちゃんと医者がみて肝炎って言ったんだから治療を受けなあって言って。そんな患者さんがいた。触察はやっぱり大事だと思うけど、自分が臓腑疾患まで治療するという目的意識をもって触察なんかをできるかが大切だよね。何を見ようかって言うのがあるから触れるんであって、見える先生は問診だけでどこが悪いんだろって
73	佐々木 先生はおいくつになられるんですか。
74	対象者7 もう61だよ。
75	佐々木 これからの目標を教えてください。
76	対象者7 今治療の目標は、さっき言った臓腑の治療が完成されつつあるんで。今からの目標は東京の勉強会言っている会で、自分と同じような治療ができる術者を増やしたいって言うのが目標かな。それから将来の目標と言えば嫁さんを鍼の力で長生きできたらそれはすごいと思うから。技術面での目標は100になるまで鍼して、病院にかかなくて済むって言うのが理想だか
77	佐々木 逆に今後について不安なことはありますか。
78	対象者7 やっぱり自分の体だろうな。やっぱり体力だったり、よく嫁さんが心配してくれんのはけがね。外に出ていくから。不安って言えばそういう体に関することだろうな。
79	佐々木 この仕事に対しての満足度を教えてください。
80	対象者7 満足してるって言う意味ではまあ、いい仕事してるなあって言う意味では70%ぐらいは。いい仕事できてたって言う意味でね。自分が診察をしてある程度結果が出せてって言う意味で。足りない30%は古典の本に書いてあるのを読んで自分なりに解釈しながら東京の勉強会の連中とともにやるけど。鍼の技術面での鍼の選び方や深さそれから鍼によって壊れたらどうなるとかって、まだ読んでない部分は自分の中でおそらく患者さんを診た時にまだ見落とししてるところがあるだろうなって。そういうところかな。
81	佐々木 収入に対しての満足度はいかがでしょうか。
82	対象者7 あんまりないね。本当に食べていければ。あんまり欲かかないのも確かだから。お金集めるより、患者さんが治る方が楽しい。

対象：8 訪問日 2017/09/07(木)

インタビュー時間 72分

1	佐々木	ここを開業されてどのくらいたちますか。
2	対象者8	正式に開業してから？届け出を出してから16年だ。けども、そのうちの4年半って言うのは、那珂市の小豆畑病院に半日手伝いに行って、帰ってきてから施術してた。だから、本格的にやってから12年ぐらいになります。
3	佐々木	施術所のお休みはいつになりますか。
4	対象者8	一応日曜日。日曜日でもいればやるし、中には日曜日じゃないと来られないっていう人もいるし。「ぎっくり腰起こしちゃったあ」って電話もらった時なんかは、かわいそうだし、待たせられないから。
5	佐々木	施術をしていて充実感とか感じたりしていますか。
6	対象者8	仕事が趣味だから、すごく感じている。開業して12年もいつの間にか過ぎてしまったって感じ。患者を見るのがすごく好きで、特に新患だと、すごく興味があって。分かっても分からなくても興味がある。だから充実感はいつでも持っている。
7	佐々木	その思いは勤めていた時と開業してから変わりはないですか。
8	対象者8	変わりはないねえ。
9	佐々木	そのやりがいを感じているのは、どんな患者さんかなっていう興味が支えてくれている感じですか。
10	対象者8	施術をした後、患者さんから満足感をもらえるっていうのがあるので。それは国立病院で働いていた時からそうだった。今も変わらないけど、患者さんに「よくなりました。ありがとうございます」って言って帰ってもらえると、やっぱり自分の疲れがとれるよね。満足してもらったんだあって。
11	佐々木	国立病院には何年いたんですか。
12	対象者8	えーっと、40年。施術するようになって50年超えてるね。
13	佐々木	50年間で先生自身の施術も変わってきてると思うんですが、今の施術をするようになったきっかけとか、考えが変わったなあって思うような出来事がありますか。
14	対象者8	方法は？何て言うのかな？今の医学って考え方が変わってきたりしているじゃない。それに合わせて治療やらなくちゃならないよな。っていうような思いはあるかな。昔は、例えば急性炎症を起こしている者は絶対に治療しなきゃいけないとかあったじゃない。
15	佐々木	そういった最新の情報については勉強されているんですか。
16	対象者8	医学書を読んだり、医学書関係の雑誌を読んだり。最近はあるまり行かなくなっちゃったけど、研修会とか、昔リハビリテーション学会に、うちのかみさんを連れて行ってプラステープレコーダーを2から3台持って行って。ああ言う学会って、ほら同時にA、B、Cみたいに講演があったりするでしょ。そうすると聞きたいのが二つとか、三つあったりする分けですよ。テープレコーダーは、その時のために持って行って、自分はここを聞いていて、B会場にはテープレコーダーを置いてきてもらって、それを後で聞くって感じで。俺は、その場で聞いているだけなんだけど、かみさんはテープレコーダーを置きに行ったり、回収して回ったり、そんなことやってた。今でも本は読んだりしてる。今情報源としてはサピエが多いかな。やっぱり新し
17	佐々木	先生の施術内容は患者さんによって違うと思いますが、決まっていることはありますか。
18	対象者8	施術の内容は疾患によって違うけど、例えばぎっくり腰だったら、それがしかもやったばかりの時だったら、あんまりできないからさらーっとしたマッサージをして、それからできるだけリラックスを図るようなことを考えて、モビライゼーションをやって、温熱療法をやって。まずはリラッ
19	佐々木	温熱療法は何をお使いですか。
20	対象者8	温熱療法は極超短波。それ1台しか俺んところにはないから。患者さん、この温熱療法が一番喜ぶよ。洋服は汚れないし、「すごく気持ちいいですー。」って言って。
21	佐々木	鍼はなさいますか。
22	対象者8	鍼もやるよ。頸にしろ、腰にしろ、何か中の方に筋の緊張があるようだなっていうときには、鍼を静かに入れて行ってっていうような感じで。鍼は寸6の2番とそれから寸3の2番と、それから短い1寸じゃなくて、もっと短い顔に使う5分ぐらいの鍼があるじゃないですか。この短い鍼は顎関節症の患者さんに使ったりする。顔面でも寸3の2番を使ったりするんだけど、たまにはそんなものがあるからそれを使ってみて、置鍼してたりする。鍼は関東医

23	佐々木 施術をしている中で思いとして一番大切にしていることって何になりますか。
24	対象者8 やつは少しでも患者さんに症状が軽くなつてほしいなうて。だから、たまにはあまり多くはないけど、1、2 例外の患者さんがいたね。その一人は脊髄腫瘍患者さんで腰痛で来て、通り一片の腰痛の治療をしたけど、一つもよくなんない。2回やって2回とも良くなる。それでもすごく痛がっているから、手に負えないから、大きい病院に行ってMRI 撮ってみてくださって伝えた。それからいいかげん時間がたってから、俺の友達が、この近くで医者やってるから、そこに行ってみて。そこに行ったら坐骨神経痛だって言われて、消炎鎮痛剤を出された。奥さんにも話しておいたんだけど、奥さんの話は聞かなくて、それで、そうとう悪くなってから医療センターを受信したら腫瘍だって言われて。それから東京の癌センターに行って見てもらったら、「2週間後に検査します。そこまで持つかどうか分かりません」って言われて、案の定っていうようなことがあった。だから、治療をした結果、成果が上がらなかった患者さんからは治療代をいただかない。患者さんが「痛みが一つも取れませんでした」っていうような時にはもらってない。これは開業の時からずっとそんなつもりでやってきている。ここにきてもらって、評価させてもらうのにいろいろ検査させてもらって、「俺の手には負えないよな、医療センターに紹介状書くから行く？」って言うときには、紹介状書いてあげて行ってもら。その時も治療代はいらないよって、俺は見せてもらって勉強になったんだから、それだけでいいから。勉強になるよね？見せてもらって勉強させてもらったんだから、こっちが患者さんに払わなくちゃならないぐらいだよ。いろんな症状を見せてもらって、自分のものになって、紹介状を書いた患者さんからも病院での診察の結果が返ってきたりするしね。俺は昔から野次馬的根性があるのよ。国立病院にいた時も整形外科のカンファレンスっていうのがあるんですよ。週1回月曜日にドクターと、病棟看護婦と我々とで、その時の手術を受ける患者さんと、新患とを一人一人カンファレンスをして、治療方針を決めていくんです。この患者何だかわからないんだよなあなんてなってくると「先生悪いんだけど、その患者俺にも見せてくれる」って言って見せてもら。そうすると1年で一つか二つ、医者が見過ごしたものをを見つけることがあって、それが楽しいんだ。今日の女性64歳の女性の患者さん。すごく細身の方で、両方のふくらはぎが重だるくしてしょうがないって言う患者さん、脊柱管狭窄症か
25	佐々木 先生は、そのように紹介先をお持ちなのは強みですよ。
26	対象者8 うん、そこはいいパイプを持っているからね。だからだいたい2回見て症状が変わらないというときには、「医療センターの整形外科を紹介するけど行く気ある？じゃなかったら近くの病院に行って見て」って。俺がやってもお金をもらってるだけじゃ申し訳ないからって伝えて。
27	佐々木 何か施術の際に工夫していることってありますか。
28	対象者8 工夫？あと何があるかなあ？改めてこれはっていうのは・・・。
29	佐々木 施術をしていて不便さを感じることはありませんか。
30	対象者8 灸はやらないから、別に不便なことはないよ。でも工夫はするよね。同じマッサージでも、どれにもこれにもやるわけじゃなくて、たとえばむちうち症の人だったら、やったばかりの人には軽擦法だけで終わりにしちゃう。しかも一番痛いところは、できるだけ安静にさせて温熱療法で温めるぐらいにしておいて、その後筋の緊張しているところをとってあげるといような方法で、特に急性の炎症を起こしているような場合は。だから、ぎっくり腰にしろ、むちうちにしろ、その来た日から、あと1週間したら来てとか2週間したら来てって見通しをつけて治療させてもら。その方が、患者
31	佐々木 奥さんはスタッフって形になっているんですか。
32	対象者8 お茶出し！それと予約係。たまに血圧図る他はほとんど一人でやっちゃう。
33	佐々木 定期的にいらしている患者さんは何人ぐらいいますか。

34	対象者8 平成元年から見ている患者さんがいる。変股症の人。岩間から週一回。国立病院で見ていた患者さんなんです。で、変股症の患者さんで、人工股関節の対象なんだけど、本人なかなかやらないのよ。自分の息子も理学療法士なんだ。それで息子の勤めている病院で手術する気になった時があったんだけど、何かその息子が岩間から飛び出して神戸の方に行っちゃって。神戸の方に所帯を持ちちゃったもんで。って言うことで今でも筋力の訓練をして現状を維持している。本人も手術すればいいってことは知ってたけど。中華料理屋の奥さんなんだけど、出前をしている。でも2階までは行ってく言ったのかな、でも3階以上は絶対行きませんって。3階以上のところから注文が来た時には下まで取りに来てくれるなら持っていけますって、私は上までは持っていけませんって。急性でこれはって言う患者さんでも週に2回とか来てもらうことはあるけど、毎日来いって言うのはないです。週1回来て
35	佐々木 8月の患者さんの数はどのくらいですか。
36	対象者8 120。実人数は？だいたい来ると1回か2回で治せんだよ。だから新患の数は多い。8月の新患は8名。でも1日10人やると嫌になっちゃうよ。鰓孔は13人。一人1時間かかるから、昼が取れない。
37	佐々木 先生としては1日何人ぐらいの患者さんが来るのが適当だと思います
38	対象者8 5人だと楽だね。犬の散歩もできるし、自分の仕事もできるし。
39	佐々木 営業努力は何かしてるんですか。
40	対象者8 何もしていない。全部口コミ。うちは看板出していませんから。電話帳にも治療院としては載っていないです。鍼灸マッサージ会のホームページには載っているかな。OCNの光電話の工事をした時には個人名も電話帳から削除された。水戸市のマッサージ助成券の対象施術所からも一時期消された(笑)。でも水戸市の助成券はできるだけ使ってやろうと思って。患者さんのお年を聞いて75歳以上かあるいは身障手帳を持っているかだと助成券を使える。5枚でも、特に年金で生活している方って言うのは少しでも負担が軽くなるように。でも券を取りに行くのにタクシーで行っちゃったら意味がないから、近くの地域支援センターに電話するとそこから持ってきてくれるって。あるいは家族がに取りに行ってもらってって伝えたりして。
41	佐々木 ちなみに保険は使っていますか。
42	対象者8 保険は使っていない。使い方知らないもん。茨師会で協同組合なんか作って推進しているけど、さっぱり。
43	佐々木 先生が施術所の経営者として大切にしていること、考えていることはありますか。
44	対象者8 うん、一人一人の患者さんを丁寧に見てあげるってこと。それだけです。よく宣伝だのがんばっている人もいて、患者さんの誕生日に花を贈るようなのみたいなものもあるけど。覚えておいてやればそれだけでなんて言ってね。俺なんか患者さんの方が気を利かせてくれて、面白いことがあるんだよ。自分の両親にマッサージ券をパソコンで作ってあげて、父の人母の日に稲村治療院でのマッサージを2回分とかプレゼント。お父さんとお母さんに渡すんです。それは娘なんだけど、先にこちらに来て「父と母に何回分マッサージ券を渡したから、これ何回分ね」ってお金を置いていく分け。面白いでしょ。だから、これ一、こうやってマッサージ券を作って父の人母の日と敬老の日にやってもらえたらかなり助かるだろうなあ。毎年ね、両親は喜んでね!「これが一番いいんだあ」って言って。娘に行ってるんだって。その家族はみんなもともとかかってんですよ。それで娘が何か思いついて何しろ金のいっぱいあるところだし、何を上げようかってなって、マッサージ
45	佐々木 1回の施術料って決まってるんですか。
46	対象者8 3,000円もらってる。普通は1時間だけど、短い人もいてその時には1,000円もらってる。時間もそうだし、あんまり簡単なマッサージだったら1,000円で。あんまりやらなくていい人もいるんだよ。やっぱり3,000円って言うのは週1回来てやっぱり払える最大限のお金かなあって言う感じがする。開業した時からずっと3,000円。消費税が変わってもそのまま、現金で支払える金額として、それぐらいなのかなあって、患者さんを見てても感じる。
47	佐々木 これから施術料を上げることは考えてませんか。
48	対象者8 はい。
49	佐々木 先生ならもっととれるんじゃないですか。

50	対象者8 でも、3,000円いただいて楽しませてもらうんだからいいじゃない。そう、それで患者さんに「気持ちよくなった」「良くなった」って言うてもらえる。挙句の果てには畑でとれましたって言って野菜は持ってきてくれるわ、うーん。そう言うコミュニケーションもあるんですよ。だから、がめつく施術料もらっても。この裏には、俺なんか年金もらってるじゃない。年金にプラスアルファ分だけあれば何も、いまさら金を残さなくてもいい
51	佐々木 先生ってもう年金をもらえる年なんですか。
52	対象者8 そうだよ。だから年金生活だっていうんだ。
53	佐々木 去年の施術料収入ってどのくらいありましたか。
54	対象者8 たいして無えーけど！どのくらいかなあ……。300万円ぐらいかな。（奥様に確認）去年の施術料収入は340万円。まず、年金だけでは食べていけない。っていうことで年金の2回分を1回で使えるように持って行こうって考えて。ぼくのときは60歳から年金をもらえたわけ、そしたら75まで働
55	☆来客があり、一時中断。
56	対象者8 そうすると60歳から75まで働くと15年、そうすると、その先あと15年生きたとして計算すると、後はもらえながら行けるから。年金2回分を稼げれば借金しないで暮らしていけるかなって。それまでの給料と同じぐらいお金もらえるようになるから。
57	佐々木 そうすると世帯収入としては施術料と年金になりますか。
58	対象者8 年金は使わないで施術料だけで食べていけるように。ある意味目標は達成できている。
59	佐々木 ところで先生はおいくつになるんですか。
60	対象者8 76になります。だから、ぼくの目標は、そういう生活設計を立てていたわけ。経済的には絶対に食べていけないよなって。
61	佐々木 そうすると開業のきっかけもそこにあるんですね。
62	対象者8 だけど、あくまでも金を稼ぐって言うよりは、何か仕事したいって思いはズーっとあった。年金生活で何もやらないでぶらぶらしてるって言うのも考えられなくて。仕事をともかく、国立病院で得た知識だけはいつまでも使いたいな。それに、年金はもらっても使わないでとっておけるように
63	佐々木 開業の時は自宅を開業されたりしたんですか。
64	対象者8 うん、この部屋？このうちを建てた時に、ほんとここはコミュニケーションルームにして病院の患者さんたちが「先生んとこ遊びに行きたい」って言うから、俺うち建てるとき集会場作るって言ってたんだ。それで、この部屋8畳間、4坪、そして治療室が4坪なんです。併せて8坪16畳なんです。それで、これ、真ん中でアコーディオンカーテンで切ってるんです。だから、これを開けると広い集会場になるんだ。うん、だから、この地域の集まりをうちが当番でやる時には、ここをガラッと開けちゃって、ここにみんな来てもらって。冬に集まりやるんですよ。顔合わせだって言って、みんな外でやんです。でも、俺はこの部屋があるから、上がってください
65	佐々木 開業時の初期投資はどのくらいですか。
66	対象者8 初期投資？だからもともと患者さんの集会場を作るって言って、この部屋を作ったから。初期投資ってほとんどなかった。ベッドも医療器具屋さんが、小豆畑病院に行っていた時に「先生、他の病院から、新しくするのにベッドもらったんだけど」って言われたから、俺にくれて言って、それをズーっと使ってた。今はさすがに電動の昇降ベッドに変えましたけど、そのもらったベッドは10年以上使いましたよ。だから、それはただでしょ。極超短波治療器は、俺の友達が2台持ってるから、1台やるよって言って、ただでは悪いからって5万円払った。それが今でもつかえんだよ、これ
67	佐々木 そこでも先生の人脈が生かされてるんですね。
68	対象者8 （笑）。机と本箱も森田商事の社長が、何か役所の総入れ替えの時に出したものを、そのまま使ってるって。
69	佐々木 先生って最初から全盲だったわけじゃないですよ。

70	対象者8 そう、中途失明で、国立病院に入って10年ぐらいたってから網膜剥離で。その前はかたっぽだけで0.08あったんだ。片目だけだったけど水戸駅から自転車に乗ってここまで通ってたんだ。考えてみたら危ないよね！だから、人脈って言うけど、全盲になった時も、国立病院も一時期やめなくちゃならないかなって思ったんだけど、うちの先生が「やめんのはいつでもできんだからやってみたら」って言うてくれて。で、その気になって。自分でも患者さんから必要とされなくなったらやめようと思って、仕事やらせてもらった。ずーっと、最後の、最後まで必要としていただいて。挙句の果てに看護学校5校の講師としてきてくれて、茨大の養護でもリハビリ理
71	佐々木 先生がお持ちの免許は。
72	対象者8 理学療法士と鍼灸とあん摩マッサージ指圧。我々の時には専攻科2年で、高3でマッサージの免許、それで、専攻科終わって鍼灸の免許。栃木でマッサージの免許。でも免許は茨城の免許なんだよ。茨城の方が優しいからって言って、茨城が早いからって。
73	佐々木 理学療法士の免許は働いてからとられたんですか。
74	対象者8 国家試験だから、だから特例試験で。特例って言うのがあったんですよ。その特例でとって、うん、昭和43年。まだ、あのう、経験年数5年って言うのがあって、条件だったんですね。8週間以上のリハビリの講習を受けないと、2年間かけて講習を受けてとったんだ。
75	佐々木 先生はもともと盲学校だったんでしたっけ。
76	対象者8 そうだよ。栃木に4年間いて、専攻科の1年だけ茨城にいて。そのあと国立病院に研修で入ったんです。研修で入りながら城里町にあって、今でもあるんだけど石塚中央病院に半日、午前中行って、午後から国立病院で研修してっていうのを1年間。1年間やって、2年目に採用されて、給料が7,800円。そして3年目は行政職で正式採用されて。行政職っていうのは何かっていうと、いわゆる行政職の2って言って、技術屋さんで1年間やって。その次の年に医療職の2ってことで採用された。
77	佐々木 あん摩マッサージ指圧、鍼灸の免許をとろうと思った時のことを教えてください。
78	対象者8 もともと目が強度近視だったじゃない。それで中学生の、その中学校の体育の先生のお姉さんが聾学校の先生をやってたんだ。それで盲学校があるって教えてくれて、そっち行ったらって。って言うことで栃木の盲学校に何となく入ったという。そうだね、栃木の盲学校で、まだある程度見えたからいろんな面で面白かった、寮に入って。俺の友達のお父さんが国立栃木病院のマッサージ室、いわゆる物理療法室にいたんだよ。うんで、そんなもんだから、そこへ研修って言うか、実習に来ないかって言うから、じゃあ夏休みに行くって言って。そこで一生懸命になって、当時はあかちゃんの股関節脱臼とか、斜頸とかのマッサージがほとんどでね、そういうやつ
79	佐々木 今の仕事は目が悪くなくてもしていたと思いますか。
80	対象者8 目が悪くなかったらやってなかったでしょうね。たぶんねえ、目が悪かったから、そういう聾学校の先生がそっちに行ったらどうだってことで、そのまま何のこともなく、方向を定めてくれた。うん、舵取りしてくれたからそのまま行っちゃったって言う感じだったけど、もし晴眼だったら、おそらくこういったことは全くなかったんじゃない。
81	佐々木 もともと医療系に興味があったって言うこともなかったんですか。

82	対象者8 医療系って言うのは、やっぱり盲学校に行ってから。それで病院に実習に来ないかって言うか、手伝えよって言われて、やってみたら、これは面白そうだってことだったですね。だから、国立水戸病院でも枠がないって言われたんだけど、研修でもいいよって。それで、研修だったんだけど、栃木での経験があったもんだから。もちろん国立病院は給料0だったわけ。だけど、東海村の原子力研究所のところに職員診療所って言うのがあって、そこへ国立病院の整形外科の先生が診察に行っていたもんですから、その当時赤ちゃんで内反足だとかが原研の職員に多かったんですよ。で、いちいち国立病院まで来るの大変だから「お前国立終わった後、向こうに行って患者を診てやれ」って。それは全部原子力研究所の健康保険組合から全部お金払うからってことで。そこで、経験を積ませてもらいながら金をもらってたから、お金には不自由しなかった。それがかなり続いて、10年ぐらいかなあ。それで、国立病院の安月給と、それがプラスされた。そのあと、今度、この近くにいた、もう無くなっちゃったんだけど内科の先生が、往診に行って脳卒中の患者さんを見ると、電話かけてきて「あそこの患者見て来てくんねえか」って、金好きなだけ取っていいよって。すごくいい先生で、最後には逆にぼくがみとったんだけど。最後には胃がんで亡くなったんだけど、済生会の医師会病棟に入院してて、ほんとに無くなる前日まで言ったかな。それで奥さんにぼくが慕われたもんだから、「いいのよ、いいのよ、別に治療してくれなくても、先生さえ来てくれれば、主人がニコニコしてて、元気になるから」って言われて。その先生は歴史が大好きな先生で、俺が行くたびに歴史の話をしてくれるの。俺歴史嫌いなんだけど！「ああそうなんですねえ」なんて聞いてやって、だから最後のころは、歩行訓練とかできるわけでもないから、背中が辛いって言えば、背中をマッサージしたりして。でも、
83	佐々木 先生がそんなにいろいろな人と人間関係を作っているのには、何か意識してしていることあるんですか。
84	対象者8 って言うか、俺がみんな患者さんからしてもらってるって感じで、別にあえてやっているってことは。できることだけをやってる。このうちを造るときにもゼーんぶ患者さんがやってくれたんです。大工さんは患者さんの旦那さんが宮大工だったから、「俺今度家建てようと思うんだけど、お父さん建ててくれっかな」。そしたら「先生是非やらせて欲しいって言うって」。それで、息子さんと二人で建ててくれたから、ハウスメーカーに頼むより格安で建ててくれて。それで、うちの柱触ってくると分かるんだけど、普通のお家っていうのは、柱は三寸か三寸後部って言って、1辺が9センチ、11.5センチぐらい。うちのは、これ全部柱が四寸なんですよ。ゼーんぶ四寸で、で2階まで通し柱なんです。1本の柱が2階まで行ってる。それでやってくれて。設備関係もみんな患者さんがやってくれて、水回りは俺がやるよ、電化製品は俺が安くしてやるよって。だから見かけよりはいいうちができた。屋根には銅板を使ってあって。最後の最後までわりいことまでしたけど！今だから話せるけど、最後に住宅の取得税がかかるじゃないですか。その税金の査定にくるわけですよ。そしたら、その査定に来んのを、患者さんがいて、その義理の弟が市役所の税務課にいるから、そいつを行かせるからって。それで必ず二人で来るんです。で、もう一人はって言うと、新人連れてきたわけだ。何もわかんねえ。しかもこのうちが、まだ、普通畳が入って、障子が入った時に、初めてそれを含めて評価されるわけですよ。それで税金を決めるわけだけど、まだ、畳は入っていたけど、障子は一切入っていないときに来て。それで、うちの障子っていうのは建具屋さんが先生のために作ってやるんだって言って、1枚板で、「俺田中角栄さんの家に行ってみてきたから、それと同じ障子作ってやるよ」なんて言って作ってくれた。それで、その障子が入る前に、税務署で来てくれて「普通の障子がいんでしょ」っていうから、そうですって。それで、和室は檜を使ってあんです。
85	佐々木 最後になるんですが、今の仕事の満足感ほどの程度ですか。
86	対象者8 満足感はあるね。それこそ100%仕事はほんとに楽しい。嫌々とか、嫌だってことっていうのは全く。患者がいない時が一番嫌で、「今日は何人、3人って言うときは・・・嫌になっちゃう！収入はともかくとして。
87	佐々木 質問は以上になります。今日はいいい話が聞けました。ありがとうございました。

対象：9 訪問日 2017/09/13(水)

インタビュー時間 88分

1	佐々木 ここを開業されてどのくらいたちますか。
2	対象者9 1978年の7月にこの場で。来年で40年。
3	佐々木 施術所のお休みは日曜ホームページに日曜日と木曜日と書いてありました。
4	対象者9 そうですね。日曜と木曜日が休みだったんですが、専門学校で点字を教えに行ってるのが木曜日だったんです。専門学校がつぶれたので、今は木曜日もやってるんですけど、ほとんどの人が木曜日は休みだと思ってるんで、あんまり来ないんで、その日は自分の時間です。
5	佐々木 初めからお休みの日は二日あったんですか。
6	対象者9 そうですね。はじめは1日だったんですが、最初は患者さんが来ないんで、本ばっかし読んでましたね。
7	佐々木 40年間施術をやっているといういろいろあると思うんですが、施術をしていて充実感を感じるのととか、やりがいを感じるのととかあれば、具体的に教えていただけますか。
8	対象者9 間違っって、普通に治療してたら治っちゃったときですよ。1回で治ったり、2回で治ったり、3回ぐらいで治っちゃったりすると、こちらがビックリしますね。あとはやたらに、最近なんですが、悩み事っていうか、私自身がよくしゃべるので向こうもしゃべる人が集まってきて、答えのない悩みをやたらにしゃべりまくっていく人が多くて。そういう人に好かれるといいましようかね、それがいいですね。そっちの方が大きいし、私も好きなんですよ。黙って治療してるよりね。特に背中の方からしゃべって言うのはやっぱり気が楽ですからね。私も気が楽だし、向こうも気が楽ですか。
9	佐々木 施術を続けてきて、やり方とか、考え方って変わったりしたことはありますか。
10	対象者9 そもそもが、あんまり勉強しないで。なんて言うんでしょうね、私は学問的なプロセスで治療するっていうもんじゃないもんで。だからこそ、間違っって治るとビックリするんですけど。やり方はそんなに変わってないで
11	佐々木 通常はどのような施術をされるんですか。
12	対象者9 昔は鍼と灸とマッサージと・・・。比率からいうとマッサージは5ぐらいで、マッサージと鍼が3か4で、灸が1ぐらいの比率だったんですけど。今灸はほとんどやってないですね。で、私はどちらかというとマッサージが好きで、本当に酷い患者さんの場合は、鍼だけっていう人も増えてますけどね。私は鍼の方で楽にやりたかったんですけど(笑い)。でもパルスなんかは好きなんで、遊びでやってたりしますね。
13	佐々木 パルスを用いた治療はどこかで学んだり、受けられたりしたんですか。
14	対象者9 私の元勤めていたところが新しいものの好きの先生で、パルスとか、ホットパックとか、超音波とか、そういうのをよく使ってたんです。私は超音波は使わないで、パルスが大好きですね。効果も高いですねパルスとホットパックがあればかなりの治療効果が上がってますね。
15	佐々木 鍼は何かこだわって使っている者がありますか。
16	対象者9 こたわらないです。安い鍼です。たまに京都の方の友達がいい鍼送ってあげるからといってもらうことはありますが、これ高級だなんて感じしますよ。切皮がすごく楽だなあって思って。いつもはまとめて2,000本ぐらいまとめてとって、適当に使って、また2,000本ぐらいずつとっています。使うのは寸3の2番があつとう的に多いです。あとは1番、3番、4番ぐらいをたまに使うくらいで。
17	佐々木 施術をするとき1番大切にしていることがあれば教えてください。
18	対象者9 まあ、希望なんですけど、今来た状態より悪くしないことですね。お金をとる以上は。悪くするとお金とりにくいんで。悪くだけはしないように気を使ってます。特にマッサージは悪くなることもあるんですよ。やりすぎないように気を付けてますね。
19	佐々木 施術をする際に、何か特に工夫していることはありますか。
20	対象者9 特にはないんですけど、指とか、関節とか、あと指と指の間の骨間筋とか、それから前腕の骨間筋とか、下腿の骨間筋とか、足の指と指の間の筋とかそのマッサージとか鍼が、私は好きですね。やっつけとか、そういうのもありますけど、マッサージだけでも全身に効果があるような気がしますね。かるーく触るだけで響くところですよ。疲れていたり、血の循環が悪くなってる人の反応がすぐ分かりますよね。末梢が好きです。

21	佐々木 施術中に見えないことで不便さを感じることはありますか。
22	対象者9 見えないことからくる不便さって言うのはありますよね。やっぱり顔色とかですね、あとは、落ち込んでるときに顔に出ますよね。そういうのが判断が難しいっていうのが不便。技術の方はもちろん、上手じゃないんですけども、診断上の材料に使えないのがね。
23	佐々木 先生、先程お灸をやってらっしゃるって言ってましたが。
24	対象者9 患者の反応を見るのに、家内に焼かせてたんですけど、私はあんまり自分では焼かなかったですね。
25	佐々木 奥様はスタッフという形で手伝ってくださっているんでしょうか。
26	対象者9 そういうわけではない。いつもどこかに行っちゃってますね。当てにはなりません。
27	佐々木 昨日は患者さん何人ぐらいでしたか。
28	対象者9 昨日と一昨日は8人ずつでした。みんな1時間以内での施術です。今日は2人です。日によって全然違いますね。特に昨日みたいに湿度が高くて雨模様だと、もう土曜日からみんなおかしくて。土曜日もしっかり8人ぐらい来ましたね。って、今日みたいになると。わざとらしく先生がいらっしゃる前
29	佐々木 8月の患者さんの数は何人ぐらいだったのでしょうか。
30	対象者9 8月ですかあ？8月はねえ。休みが多かったですからねえ。110ぐらいですかねえ。そんな来なかったですよ。でも、月によってですよ。9月は割と多いんですよ。あと12月になってボーナスをもらおうと誰も来ませんから。ボーナスもらおうと実家帰ることばかり考えてますからね。6月のボーナスはいくらか、入梅の辛さとかあるからいいんですけど。暮れのボーナスは
31	佐々木 定期的に来ている患者さんって何人ぐらいいらっしゃいますか。
32	対象者9 数は少ないんですけど、いますね。もう毎週来ないとだめっていう人が。まあ、そんないないんですけど。3・4人いますね。教員なんですけど、土曜日まで持たない、金曜日に来ちゃったとか言って。金曜日で限界マークっていう人がいますね。
33	佐々木 他の患者さんは不定期でいらっしゃるってことですか。
34	対象者9 あとは予約してね。全部予約制です。昔はそれでも合間に、待てるからやって下さいっていう人が来たんですけど。
35	佐々木 予約の管理はどうされてるんですか。
36	対象者9 予約の管理はブレイルメモのカレンダーに書き込んでいます。*のある日は予約ありって感じで。で、大分楽になりました。前はパソコンでやってたんですけど、持ち運べないしねえ。不便なんですよ。立ち上がるまでの時間がねえ。今のパソコンはそれでも、スリープのパソコンが多いですけどね。昔は最低でも1分はかかりましたからね。
37	佐々木 保険を使つての施術はしてらっしゃいますか。
38	対象者9 私は、前は使ってやってみたんですけど、今はめんどくさいから使わない。面倒なことは一切やらない。
39	佐々木 ちなみに1回の施術料はいくらですか。
40	対象者9 たちは安いんですよ。1時間3,000円から4,000円ぐらいですよ。人によって違いますね。施術内容も違いますね。その、何はいくら、何はいくらっていうのは掲げてないっていう、いいかげんさですが。全く私の気分次第です。数人ですが7,000円とか1万円とかとる人がいるんですけど。その人は、もう金持ちだからいくらとっても怒らないから、とるといふ。歯医者さんとか医者さんとか。払える人には出してもらう。普通の人からは安くとる。治してほしいっていうタイプの人、もし治ったりすると、もう悪いけど、いくらとっても嬉しいって感じで、置いてきますもんね。
41	佐々木 この治療室は、決して分かりやすい場所にあるわけじゃないと思うんですが、初めて来られる患者さんはどこで知っていらっしゃるんですか。
42	対象者9 ほとんどが口コミで、誰かの紹介ですね。だから、変なところから来ますよ。遠くからね。近所の人ほとんど来ませんよね。住宅街ですけど。大子町とか土浦とか、笠間とかね。変なところから来ますよ。
43	佐々木 先生からの売込みって、何かされてますか。

44	対象者9 私のホームページはあまり当てにしていなくていいですね。やっぱり口コミだけです。口コミの方がいいですね。昔はチラシを撒いたりしたんですけど。1万枚ぐらい撒いても、10人ぐらいしか来ないんですよ。割が悪いです。電話帳も割が悪いですね。年間5万ぐらいでも、二人ぐらいしか来ませんから。iPhone買うときに電話帳やめちゃいました(笑い)。私の場合、患者さんが連れてきてくれるのが一番効率がいいです。奥地ですから(笑い)。だって、看板出すにしても人の土地借りるしかないですからね。案内看板なら、今ナビがやってくれますからね。
45	佐々木 施術所経営者として、経営的に大切にしていることはありますか。
46	対象者9 経営学の方は、勉強してないです。で、私は義務教育はやってないんですよ。小学校から中学2年まで。通っただけで。一般の読んだり書いたり、計算したりってのは、一切やってないんですよ。ただ耳で聞いてただけなんです。で、盲学校に行くしかないだろうって、教員同士で相談して。それで中学3年で編入したぐらいですから。義務教育は中学3年からなんです。普通学校でただ通ってるだけ。ほぼ黒板の字も見えないんで。ですから、算数も地理も、英語も全部分からないんですよ。ですから経営学なんて言うのはおおそ、算数ができないですから。数字はどうでもいいんですよ。1,000円札以下はあんまり考えないようにしているんです。ただ、注意しているのは、今までのデータが少しできましたんでね。それがあって、まあ世の中の動きが激しく変わらない限りは、この線はいけるかなあ見たいな。そういう見通しは。一応カルテみたいなものは持ってるし、その人の個人情報を書き込んである。それは宝物ですよ。いなくなった人でもね。転職した人でも。30年たったら帰ってきたなんていうのも、すぐ分かりますんでね。最初は紙だったんですけど、特にここ15年ぐらいのはとってあるんで、すごく助かります。小学校ぐらいの時に鉄棒から落下して、頸捻ってきた女の子が、学校の先生になって、37・8になってまた来たりしてね。初めは思い出さないんだけど話しているうちに、何かこの辺にいたことあるとか、いろいろやってる間に、検索かけたら、あっ、そうだったとか
47	佐々木 施術後には、毎回記録をつけられているんですね。
48	対象者9 少しね。同じ人が来ると、その少しもプラス、プラスになって、ブレイルメモでぴっぴっぴって、もう入りませーんって言われたりして。じゃあ、同じ名前でも別タイトルにするか後か。
49	佐々木 施術所を経営されていると、確定申告等事務処理が出てきますよね。先生はどうされているんですか。
50	対象者9 妻がやっています。事務処理に今のところは心配はない。
51	佐々木 昨年28年の施術料収入を教えてください。
52	対象者9 施術料で出しているのは、たぶん220万ぐらいでござまして出していると思います。あと雑収入みたいなので、テープで雑誌を作って出しているんで、それも郵便局に振り込まれる。それも3・40万円。あとは、前は学校で教えてたのが、やっぱり3・40万円来たりしたんで、それも出したりしてね。300万ちょっとぐらいですかね。
53	佐々木 世帯全体の収入はどのようになっていますか。
54	対象者9 家内がパートに行ったりして働いていたんで、それが7・80万ありましたね。なので400万ぐらい弱ぐらいでしょうかね。年金ももらってます。それが90万ぐらいですかね。
55	佐々木 最近アンケート調査なんかから施術料収入が大変少ないことが分かっています。
56	対象者9 水戸もそうですよ。水戸は酷いですよ。
57	佐々木 もっといい時期もありましたか。
58	対象者9 ここに1978年に来て、90年代ですか。90年代はほんとに、月によっては一ヶ月で55万ぐらい稼ぎましたもんね。その代わり朝7時ぐらいから、夜12時ぐらいまでやってましたけど。この施術所だけでね。出張も一切しないで。それが今は20万ぐらいですもんね。20万ちょっと行く時と、25万ぐらいかなあ？だから、5万ぐらいは引かせてもらって20万ぐらいで申告してます
59	佐々木 その90年代たくさん患者さんがいらした際には何かされていたんで

60	対象者9 ないですよ。今よりも値段は安いしね。3,000円きっかりか、2,500円とかね。そんな時代で50万から言っていましたからね。それだけ来たんですよ。その頃は予約制じゃないんで、半日も待ってる人がいましたからね。バブルのはじける直前ぐらいですかね。橋本龍太郎総理大臣になって、あのころからだめになった。あの人が90坪以上の土地を売り買いするときには税金がどうのこうのって決めたんです。それで土地の値段が、あんまり上がらなくなっちゃったんですよ。銀行の担保価値も下がっちゃったし。それで住専とか農協とかのいろんなことが暴かれて、その不良債権はいまだに銀行は引きづってるわけですよ。橋本龍太郎の土地神話をつぶしちゃったのが
61	佐々木 1978年にここを開業されて、最初から患者さんがついてましたか。
62	対象者9 その頃は来ないですよ。もともと波崎町ってところでやっていて。出身が刃先町なもんで。そこでやっていて、家内と結婚して、患者さんも少なかったんで、水戸に出ようかって。家内が水戸の人だったので。でも3年ぐらいはほとんど来ないですよ。1日に1人も来ないっていう日が、1週間ぐらい続きました(笑い)。この奥の院ですからね。不安になりますよ。だからカルテをつけるようになったんですけれどね。マッサージにカルテはいらないっていう人もいますけど、やっぱりその人の性格とか、太ってる人とかね、ほんとに物言いがきついか。みんな書いておくとゼーンぶデータになりますからね。治療の方の既往歴とか、現症とか、そんなのより、私に患者さんの性格とかいろいろ書いたのがすごい貴重なデータですよ。それで「娘さん今年18歳ぐらいになりますよね」なんていったりするとビックリし
63	佐々木 その患者さんの来ない時期を過ぎれば、少しずつ増えていったんで
64	対象者9 つくばの万国博があったんですよ。85年ぐらいですか。その頃に常磐自動車道を作ったり、常磐自動車道を作るのに、この辺に道路公団の職員がワーツと来たり。それからNTTが光ファイバーを引くのに、この前のマンションに20世帯ぐらいワーツと来たりね。時代が動いてたんですね、ちょうど。で、そのころから景気がちょっと上向いてきたんですよ。それで私の患者数も少しずつ増えてきたんですよ。
65	佐々木 患者さんが少ない時期に、別な仕事をしようとか思ったりはしませんでしたか。
66	対象者9 だから、その頃暇でしょうがないから、テープの編集とか。そういう全国の情報を集めて、聞きたい人に送ったりとかしてて。それが今だに続いているわけですよ。あまりにも暇なもんで。テープレコーダーのデッキなんていうのを買って。患者さんも「えっ！いいデッキあるじゃん」って。「うちに空いているオープンリールあるから貸してあげるよ」とかね。で「使わないなら貸してください」なんて言って。それでできもしないような、テープ集めてきたりね。そうすると暇ネタを探してる新聞社が聞きつけてきたりして、新聞に載ったりすると、放送局が来たりして。それを、こっ
67	佐々木 それが収入になったりしてるんですよ。
68	対象者9 そう副収入にね。人にものを言うのも覚えたり。そのうち水戸の盲学校で大事件が起こって、それで朝日新聞なんかが聞きつけて。「名簿なんかないですかねえ。」「なんだよ」って言ったら。「ちょっと盲学校大変なことになってるんで、取材に行きたいんですよ」なんて言って。すごかったですよ。あれは。いわゆる試験の漏洩事件ですよ。それで内部でも、仲間内の対立が起こって、エンドウ タダオさんなんていう人はやめなくても
69	佐々木 先生は、学校を卒業時には開業の意志を持っていたんですか。
70	対象者9 とにかく頭も悪いし、能力も免許も三療以外は持ってないし。だから、最初は東京に行きたいって言ったんですよ。担任の青木先生っていう人にね。そしたら何か勝手に、お金もらってたんだか、なんだか知らないけど、日立に送り込まれて(笑い)。しかも日立ですよ。都落ちっていうか。でも、日立も今よりは栄えてましたが。今はかわいそうぐらい大変ですよ。それで年寄になっちゃったんですよ。私が行ったころには、昭和43年ですか、その頃はみんな40年代の人たちだったんですよ。若い人たちが日立製作所に働いてましたが。その人たちが今は90歳でしょ。だから日立は大変なんですよ。私が行った治療院なんか、当時すごい流行ってましたよ。日立で言うちょっと田舎なんですけど、でも多芽工場っていうのがまだ元気で。オリンピック選手なんかも何人も雇ってたしね。だからオリンピック選手を何人かマッサージでも、鍼でもしましたよ。そこで3年やって、実家に戻って。あんまり長くいると、先生も具合悪くなったりして、なもんで実家
71	佐々木 ここは水戸にいらしたときに建てられたんですか。

72	対象者9	そうです。家内の父親が土地用意しておくから来いとか言って。土地は家内の名義で買ってもらって、上に私が家を建てて、その借金は払ってって感じですね。だから、ちょっと贅沢ですよね。普通ではそんなことは
73	佐々木	治療院始めるための初期投資って言ったらどうなりますか。
74	対象者9	ちょっとの治療器具になりますね。パルスが1台と電気を使ってあっためるタイプのホットパックみたいなやつ。私は水をためておいてやるやつは好きじゃないんですよ。電気で蒸しタオルであっためるタイプののが好きなんです。あとは低周波の機械とマイクロ波の出る奴とね。それぐらいですね。ベッド2台でやってたんですけど、やっぱり1対1でやるのがいいってことで、ベッドは1台友達にあげちゃったんですけど。で、マイクロなんかも使わないって言って全部人にあげちゃったんですけど。マイクロ波当時で25万ぐらいしましたかね。だから、100万弱ですね。パルスといろいろ併せて
75	対象者9	その初期投資分を回収するにはそれなりの時間がかかったんです
76	対象者9	けっこうかかりましたね。やっぱり20年、30年、家のローンがね。確か20年ローン組んだんですよ。金利がすごいい高い時でね。私は波崎町でも1軒家を建てたんですよ。その時で9.5%。この家のローンが7.7%。今では嘘のようだけど、だから稼いでも稼いでも。だから夜寝ないで働くつもりで、鼻血出しながら働いてましたよ。なんかベッドにね、ぱたっ、ぱたっ、って垂れたかって思ったら、よだれじゃなくて鼻血だった！何度もありましたね。波崎の家はそのまま友達に貸したり、マッサージ屋やってもらったり、今は甥っ子にあげましたけどね。ずっと波崎にいるつもりだった
77	佐々木	失礼ですが、先生って今おいくつなんですか。
78	対象者9	70歳です。
79	佐々木	施術はいつまで続けようとかっていう目標はありますか。
80	対象者9	特にはないですけど、私の知り合いは80ぐらいまでやってた人いるんで、まあ、そこまで無理しなくてもいいから、できる間はやるつもりでいます。80までは無理でも75とか、77ぐらいは。今の健康状態で行ければ、いけると思うんですけど。まあ、突然ってこともあるんでね。突然死は嬉しいですけどね。仕事してた方が自分の健康が維持できるよね。あとは、その時の状態が自分で分かるよね。私けっこうしゃべるんで、患者さんの毒氣をもらうことあるんだよね。しゃべってる間にね。そのストレスを処理する方法みたいなのをよく大学教授としゃべるんですよ。ちょっと宗教学とか、心理
81	佐々木	ちなみに先生のストレスの解消方法は何ですか。
82	対象者9	そうですね。私はPTR2でほとんど編集しているんですよ。そういうので、こう、あちこちからくる情報を編集したりしてると、すっごく筋肉使うんですよ。すっごく筋肉と神経を使うんで、それで気持ちの中で、何か「離婚問題」とか「障害のある子供を持つ人の話」を聞いてると、すごくかわいそうで、ストレスになるんで。全然別の話をイヤホン聞きながらわって編集していくと。「ああ」とか「ええ」とか言うのをちょん切って聞きやすい状態にするんですけど、そうやってまとめていくとすっごいそれが気持ちいいんですよ。だから、日点の録音してきたものなんかをまとめてるとね、なんか「こいつは話が下手だなあ」なんて思いながら切っていくと、けっこう気持ちがいいんですよ。筋肉を使うって言うのがいいですね。このPTR2って言うのは筋肉をすごく使うんですよ。あの、ソニーのMDでやるころはほとんどフェザータッチだったんですけど。これはPTR2は押し込むようにしないと。使ったことない人たちが設計するとなっちゃうのかなあって思いながらね。一応レポートを送るんですけど、全然そんなの今の会社は反応しないですね。昔はわざわざ聞きに来たんですよ。シナノケンシの人がね。「どうしたらいいんだろう、どうしたらいいんだろう」って何かあ
83	佐々木	先ほど視覚障害は生まれつき持っていたとお聞きしたんですが、盲学校に中学3年生から資格を取得するまで在籍されたということになります
84	対象者9	その頃は高校に普通科がまだなかったんですよ。だから高等部で理療の方も一緒に入ってた、で専攻科が2年だったんですよ。中学を出て別科に入れた時代です。
85	佐々木	あん摩、鍼灸の資格を取得することには抵抗はなかったんですか。

86	対象者9 私は家から離れて、自立っていうか、独立できれば何でもいい。しょうがないと思ってましたね。そのぐらい貧しいし、そのぐらい非文化的なところにいましたからね。抵抗っていうかねえ、何か別の世界って言うのは夢は見てましたけど、現実には金稼ぐ方が先でしたね。父親が高等部2年の時に死んじゃいましたからね。だから3年の時には無免許で那須温泉なんかに行っってバイト やってましたよ。金を稼ぐしかなかったって感じです。人の体とか、医学に興味がそれほどあるって分けじゃないし。漢方なんかやってる人たちはすごいなあって思ったりするけど、クスクス笑っちゃったりしてることもあります。ちょっとそれってあれじゃないとかいって！なんかスピリチュアルじゃない（笑い！）でも自分でも漢方の理論なんかはちらっと取り込んだりしてやっていますけどね。でもパルスなんかやっていると、平方方式の人なんかにはね！」私の治療陰邪電機なんか使わないから、すごくよくなりま
87	佐々木 視覚障害がなかったら今の仕事をしていますか。
88	対象者9 当然していませんでしょうね。ええ、やってないですよ。見えたら百姓かなんかやってたんじゃないですか。実家が農家だったから、端の方の畑もらって農家やったり、あとはなんか適当なもの作って売ったりしてたんじゃないですかね。あんまり向学心はない方ですから、生きていくのに精いっぱいじゃなかったんですかね。シジミ 採って売ったり、どじょう 捕って売ったり（笑い）。波崎は海と川、両方ありますからね。利根川と海が少しずつ狭まって、一番先が三角形の、三角定規の角みたいになって開口するんですよ。その途中が全部波崎町なんですよ。昔は三角デルタ地帯ですよ。だから5メートルぐらい掘ると飲めるような水が出てくるんですよ。
89	佐々木 先生は身体障害者手帳をお持ちですか。
90	対象者9 持っています。1種1級。はじめは視力0.04あるって言われたんですよ。なんか測り方がおかしくて、そんなにはなかったんですよ。きっとねえ、先生がもう1級がもう0.04でってことで出したんじゃないでしょうかねえ。色変の酷いのですから、夜盲も酷いし、たぶん0.01ぐらいは、明るいところでね。ちょっと暗いところに入るとほとんど手探り状態ですから。ただ不思議なことには自転車が乗れたんですよ。だから5キロの中学校は自転車です通いましたよ。おっかなかったですよ。自動車は音たててくるからいいんですけど、牛なんか繋いであるとぶつかるんで！それが恐ろしくてねえ（笑い）。牛は嫌だなあ。角もあるし。馬は蹴られるしとかね。あいつら普段はあんまり声を出しませんからね。草食べてるときはね。でも砂利道とか、狭い道でも、何とかね。あとは友達と話しながらだと距離感があったりして。5キロは遠いんですよ。雨なんか降ったらね、カッパかぶって。中はサウナ状態ですよ。帰りが遅くなると全盲ですから友達の後ろに乗せてもらったり、翌
91	佐々木 小学校に入るときには自分が視覚障害があることは自覚していたんですか。
92	対象者9 知ってましたね。小学校には来なくていいって言われましたから。免除とか言われて。免除はないでしよって親が掛け合いに行っって、そしたら就学猶予で1年待ってくれるって。でも準備態勢が全くないのに普通の学校に放り込まれたからね。ちょっと胃が痛くなりますよね。教室のイメージもできていないところに放り込まれますからね。
93	佐々木 それでも先生は腐らなかったんですね。
94	対象者9 そうですね。生意気だったですからね。喧嘩もしたしね。でも無視されるのが一番大変だった（笑い）。無視だけは困るんだよね（笑い）、殴りかかって来たりね、ものを言ってくればね反応はできるんだけど。無視されると相手が行動をとってるかが分からないのでね。それはきつかったですね。だんだん学年が上がってくると、みんな知恵がついてきますからね。
95	佐々木 そういう状態で盲学校に行くとうどうでした。
96	対象者9 楽でしたねえ。ご飯もうちよりは美味しかったしね。生徒が140人ぐらいはいましたね。で、ほとんど寮でしたから、130人ぐらいはいましたから。すごかったですね。
97	佐々木 先生がお持ちの免許を教えてください。
98	対象者9 あん摩と鍼と灸。
99	佐々木 今やってる仕事に対する満足度を、普通を50%とするとどのぐらいになりますか。

100	対象者9 80%ぐらいですかね。20%足りないのは、安定性がちょっとないのがね。例えば毎日4人とか、5人とかいう患者でいいから平らに来られる能力が自分にあれば良いのに、いくら予約制と言ってもやっぱり8人も、9人も来る日があるかと思うと、2人ぐらいの日もあるというその安定のなさがやっぱり、こう何て言うんですかね。一応データを持っていて、ならばまあまあ行くだろうと思っても、少しふがないですね。これは自分のせいですか
101	佐々木 今後への不安はないですか。
102	対象者9 7・8年前かなあ、メニエルみたいな症状が出てすごい吐いたり、目が回ったりしたんですよ。それで一月ぐらい調子が悪くて寝たり起きたりしてたんですけど。そういうことがあると、そのあとどうなるかなあって思ったんですけど、2か月ぐらいで患者さんの数が回復したんですよ。ですから、例えばほんと復活できない病気になる限りは、まあ、2・3か月分貯蓄でもなんでも、遊びの金があればなんとかなるなあって感じはしますよ
103	佐々木 収入に対する満足度って言うのはどのぐらいでしょうか。
104	対象者9 やっぱり80ぐらいですね。それは仕事の満足度80%っていうのの元ですね。やっぱり今の倍とは言わないですけども3割ぐらい増えると、無理しなくなるんで、患者さんに対しても余裕のある話ができたり、今日は辛いからここで終わりとかね。私けっこう夜も治療するんですよ。8時ぐらいに来た人まで、だから、9時ぐらいまではやるんですよ。そういうことをやらなくちゃならないという、だらしのなさっていうかね(笑い)。夜やってくれていうか、萎えてやっちゃうっていうこの弱さがね。県庁なんか行ってる人なんかは7時ぐらいだったら行けるんだけどなんて言ってね。40年も前の人だからお前はもう終わりとは言えないんですよ。その気の弱さと言いましょ。それがどうもね。80%ですね。100%にはとてもいかないですね。その患者さんとの人間関係がね大事なんで、いくら家内が「夜はやめてね」って
105	佐々木 今までで印象に残っている患者さんがいたら教えてください。
106	対象者9 10年ぐらい前からの話になるんですけど、悪性リンパ腫で苦しんでいる人が来たんですよ。悪性リンパ腫なんか、もともと鍼なんかで治せるものじゃないし、その人が悩んでたんですよ。仕事がホテルマンで、東京のね。親が那珂湊の人のもんでたまに実家にくるときに、誰に聞いたかうちに来るようになって。まだ30ぐらいの若い人なんですよ。それで、その人もあまり手術とか、抗がん剤とかやりたくないとか、放射線もやりたくないとか。それで私がちょっと知り合いになった新潟大学の安保徹って先生がいて、その人を紹介してあげたのね。そしたら、その人の言うこと聞くように
107	そういうことが10年ぐらい前にあって。また、最近別のところに発症して、声帯圧迫が始まっちゃって声がつぶれちゃった。テニスとかを医者とやって「治療しろよ」とか言われて。でも安保先生が死んじゃってどうしようどうしようってやって、どんどん声は出なくなって、三重ぐらいのラッパみたいな声になってきちゃって。また実家に来て、で私に頼めばなんか治療、抗がん剤でも始まってくれんじやないかって親父がうちに連れてきて。40過ぎの息子を連れてきて、大分大きくなったね、急いで抗がん剤やらないと大変なことになるよって言って。そしたらすぐに始まったんだわね。ですっごく良くなっちゃったらしく、またホテルの仕事してるらしいんですよ。どうなんだろうなって思わせるような何かねえ、もう一回来るんじゃないかなあと思ってるんですけどね。何の治療もしないんですよ、軽く肩撫でながらそういうと私の言うことを聞くんですよ。1回目の話があるんで。抗がん剤やってたらあの時死んでたかもしれないよねえなんて言いながらね。言い聞かせるというか、向こうが信頼してくれれば私の言うことを聞くみたいなね。テニス一緒にやってる医者何人もいて、その人に抗がん剤やれよ、すぐに治るよとか言われても2年ぐらいがんばっちゃったんですよ。しゃべれなくてとても客商売だから、お客さんの前出れなくなっちゃって、でどうしようって来たんですけど。結局私らがやっても治らないものは治らないですよ。だから治らないものをどうするかって言うのが治療より問題なんじゃないですかね。治ると思いがながら……。水戸の駅前で漢方薬を打っている薬局の旦那さんが鍼灸の免許を取って、癌になってしまって、自分で治すって言って死んだ人がいるんですけど。やっぱり治らないものは治らないですよ。治らないものを、患者さんが来ちゃったときにどうするか私らの仕事の中では大きいですよ。ぐるぐる回って最後にたどり着いたみたいな言い方する人多いですから。その時、もう来ないでくださいって言えるかどうかですよ。言う方法も一つなんですよ。私では無理ですって言うのもね。

108	<p>私が、今本を出そうとしてるんですけど、この近所に元日本女子大に勤めていた先生がいて。それで、その人が学校が15年、20年ぐらい前からでしょうかね。学校が教授の部屋があれば定年まで安泰という時代がありましたよね。それが少しずつ研究費をどっかからとってこれる人なら事務長でも教授より偉くなっちゃったみたいな、そういう風に変わりつつありますよね。今はもっとひどいんですけどね。で、その先生もストレスからうつみたいになって、しょっちゅううちに来るようになったんですよ。そういう、その根っこの部分をどうやって聞き出すかという、そのストレスから心理的におかしくなるとか。それ体質だろうって言えば、体質なのかもしれないけど。根っこの部分を聞くまではやっぱり根掘り葉掘り聞かないとまずいですよね。で根っこの部分が分かれば、あとは解決方法はないかもしれないし、ない場合はどうするかという。ない場合は見ないで処理するか。あるいは自分を強くするか。時には体力をつけるかって、いろいろな方法があるわけですよ。そういうことをちりちりと言い含めるわけですよ。そうすると効果が表れてくることもあるわけですよ。走って言えば他のことは忘れますし、泳げって言えば他の事忘れますんで。で、参ってる人ってけっこう言うこと聞くんですよ。鍼を刺すよりも、鍼と一緒にとか、マッサージと一緒にとか、耳で囁くんですよ。それは、確かに前からしゃべるより、後ろからいいんですよ。具体的に、その人が今できそうなことを。食べるとか。一食抜けとか。三日間一食ぬいたら、いやでもお腹すきますから。食べてもいいよって言えばすごく美味しいわけですよ。一種絡繰のある何かを囁くわけですよ。仕込むんです。そうすると、言うことを聞いてくれば絶対効果はあるわけですよ。一食抜くことに意味があるんじゃないくて、神経目腹が減るっていう方に。本当は自分は生きるために生きてるんだから大学なんかどうでもいい分けですよ。ところが大学の奴らがもう、俺をいじめてるみたいな。そんな時は自律神経かなんか分からないけどおかしくなってますか</p>
109	<p>で、暗示にかかる訳ですよ。でも、みんな状況が違うからめんどうなんですよ。病気のある人にそんなこと言えませんからね。患者さんをだましてみたいなものですけど、雑学は必要ですよ。医学でも、常識でも。スポーツのトレーニングに関することでもね。聞けるものはメモしておくと便利です。難しい理論も大事ですけど。難しい理論でやる方は、それ一辺倒でやろうとする方が多いんですよ。で、研究データをいっぱい集めて自分は正しいみたいな風になりますけど。こちらは、ほんと風が吹いたら飛ばされそうな生き方してますから、だから飛ばされながら何かゴミでもなんでもいいから掴んでおくみたいな。そういう生き方ですから。あまり難しいことは分かんないですけど。その代わりなんでも反応しないとだめですよ。即ね。瞬間瞬間に。で、分かんないことは勉強しておきますからって。あとで電話しますとかね。嘘をなるべくつかないようにしてね。できれば医者に行ってほしいってことは言うんだけど、医者の精密検査の方を大事にして。私の言うことは参考意見だから早く医者に行けって言うことはなるべく。一番最後にうちに来てくれると助かるんですよ。みんな治らないって言うなら治らないんじゃないですかって言えるしね。私なんか70年も盲人でやって</p>
110	<p>佐々木 長くなっちゃいましたが以上で終わりにします。ありがとうございました。</p>

対象： 訪問日 2017/09/16(土)
インタビュー時間 68分

1	佐々木 先生がこちらを開業されてどのくらいになるか教えてください
2	対象者10 開業して、ここはねえ。1回別なところで開業したんですよ。昭和57年に盲学校を卒業しまして、その年そのまま開業ですね。水戸の北見町っていうところで。那珂川沿いなんです。そこで3年ぐらいやってたんですよ。それで昭和61年の夏に那珂川が洪水になって。それで、うちが借りてたのは平屋だったんですよ。だもんで天袋まで水が来て、屋根しか残ってない状態で。北見町の坂下だったんで。水戸二高の下の方ね。それから、こちらに移って。だから、ここにきて31年ぐらいかな。
3	佐々木 それでは先生は卒業されてすぐに開業されたんですね。
4	対象者10 そうです。卒業した時は丁度30歳だったんですよ。それで30だったんで、ちょっと最初は迷ったんですよ。病院関係に就職しようかなとかね。でも、また人の下で働くのもあれだし・・・、開業しちゃおうと思っ
5	佐々木 今治療院の定休日は決まってるんですか。
6	対象者10 一応日曜祭日が休みなんですけど。電話があって家にいるときにはやりますよってことでやってるんですけど。ただ、実際には日曜日っていういろんな会議が入ってるんで、そういう用事はけっこうあるんですよ。鍼灸師会の方と視覚障害者協会って方と。これが県の方と市部の方があるんで。市部の方も今会長やってたりしてるんで。鍼灸師会の方は一切今タッチしてないんですけども。そうするとなかなか日曜日っていうのは空いてる時が
7	佐々木 開業されて施術をするようになって30年以上やってこられたわけで
8	対象者10 私の場合は、開業して間もなくつくは博があつたでしょ。それでプラザホテルなんか建って、北見町にいた時の大家さんの関係でちょっとプラザホテルの方で仕事する気があるかどうかって言うのを聞かれて。それで直接プラザホテル関係の人とお話しして、それでプラザホテルに入ることになったんですよ。それで、こっちの条件としては、見えないと呼ばれていくのは大変でしょう。車も乗れないし。だから、ホテルに夜先入っちゃって、掃除する人たちの部屋があって、掃除の人たちは僕らが行くころにはいなくなっちゃうんですよ。その部屋にいて、フロントの方と繋がってますんで、僕らが部屋にいるうちは、その部屋から直接客室から電話が来て、部屋に誰もいないときにはフロントで受けていただくっていう形で、夜は12時ぐらいまで受け付けてやる形でできたんで。家の仕事は開業したばかりだとそんなにはないですからね。人を頼んで何人かで回してましたけど、その人たちからはマージンはとらないで、ホテルの方に800円バックしてました。お客さんには40分4,000円をもらってました。そんな形でホテルの方17年ですか、あそこ開業してから閉めるまでね。そのあとプラザホテルは移転しちゃったでしょ。その頃にはバブルがはじけて全体的にホテルのお客さんっていうのは減っちゃってますよね。景気のいいころはねえ、会社からもお金が出たんでしょうけども。バブルがはじけちゃってからはみんな景気が悪くなっちゃってね。で、それと合わせて老人ホーム。盲学校でも実習に行ってたところがあんだよ。今は特別養護老人ホームなんですけど、愛友園ってところが。僕らのころはそこに実習か何かで行ったりしてたんですよ。それで、その園長さんからの話があって、家でやんながらも愛友園の1部を
9	佐々木 老人ホームの方は週に何度か行かれていたんですか。
10	対象者10 週2回行って、長い時間ではないんですけど、マッサージをやってたんです。その愛友園ってところは陶芸もやってんですよ。園長がそういうのを大好きで。けっこう幅広くやってて東部デパートとかにまで年1回は出店してやってたぐらいなんですよ。
11	佐々木 愛友園って水戸のどの辺にあるんですか
12	対象者10 あれは緑町になるのかな。
13	佐々木 その老人ホームの仕事はいつまでやられていたんですか。
14	対象者10 平成10年ぐらいまでかな。園長さんが高齢で息子さんに代が変わってから、また内容が変わってきたんで。ただ、水害に遭っちゃっても老人ホームとホテルがあったんで、しばらくはこっちに移転しても仕事としてはなんとかあった。運がいいというか。実際ここに越してきたのも、お客さんのお姉さんが、こっちで大家さんをしてたんです。その妹さんが、私にかかりに来てたんで。水害にあった後、一時は水戸市営のアパートにいたんですよ。その妹さんがアパートの方にも足を運んでくれたんで、そのいいところあったら紹介してもらえないかって言うことで。それでその人が姉さんが持っているところ今空いてるよってことで。その辺も流れがよくてね。

15	佐々木 ホテルに行っていた時期と、老人ホームに行っていた時期は重なっている時期が何年ぐらいあったんですか。
16	対象者10 だから、老人ホームの方は、さっきも言ったように平成10年ぐらいまでで終わり。ホテルの方は基本的には移転した時点で終わりだった。ほら、向こうは遠いでしょ。とても行ったり来たりが、交通費もかかっちゃ
17	佐々木 施術をずっとやられてきてやりがいとか充実感とか感じることでか、出来事とかってありますか。
18	対象者10 まあ、やりがいはとにかく・・・。鍼灸も持ってたんですけど、基本的に揉む方が中心になっちゃってね。やっぱり性格上ですね。ちょっとお話ししながら気遣いながら話をしながら仕事をできる部分。やっぱり喜んでもらえるのが一番でね。最初開業時にはチラシを配って始めましたよってことだけだよ。それは伝えなくちゃならない。それ以降は口コミがほとん
19	佐々木 今はチラシ撒いたり、営業活動をしたりはしているんですか。
20	対象者10 チラシ撒いたのは最初のころに1回だけ。それだけで、あとは患者さんの口コミですね。
21	佐々木 施術を続けてこられる中で、あん摩とか、鍼をするときの考え方が変わったりはしましたか。
22	対象者10 やるときには、まず名前とどちらからいらしたんですか、どんなことでいらしたんですかってことは聞いてからですね。それでやりがいは、その1回来た人がまた来てくれたっていうときには、やっぱり。1回来てそれっきりって言うのは失望感がありますよね。やっぱりお客さんとも話になるんだけど、人間相性って言うのもありますから。だから、それもありますからって話しながら、仕事はするんですけど。とにかく卒業しちゃうとねえ、人それぞれやり方が変わってくるんですね。揉み方とか。
23	佐々木 普段先生がされる施術の流れみたいなのはどんな感じなんですか。
24	対象者10 最初始まったころから局所だけって言うのはなるべくやらないで、一応1時間ということで。揉むのもだいたい1時間かかるっていうので。1時間いくらってことでやってたんです。今はちょっと変わりましたね。時間もいろいろ変えました。基本は1時間なんですけども。30分で上半身だけとか、下半身の方だけとかって形もとってるし、でもうちちょっとやってもらいたいなって場合は10分間500円プラスしてね。今1時間3,000円でやってるんですね。だから30分だと1,500円でしょ。それに10分たすと2,000円。だから40分やってくれて言う人もいるし1時間半やってくれて言う人もいるしね。2時間やってくれて言う人もいるし。2時間だと6,000円です。でも長くやると安くなる。1時間半だと4,000円、2時間だと5,000円でやってますから。うちは長くやると安くなるんです(笑い)。来るたびに1時間半って来るんですけど、もっと疲れてるときには、今日は2時間やってくれて時があつて。そ
25	佐々木 鍼は今やってないんですか。
26	対象者10 要望に合わせてやります。でも鍼の方はどうしても自信が持てないっていうかね。鍼を希望する人はあんまりいないですね。
27	佐々木 鍼は料金を決めてあるんですか。
28	対象者10 鍼をやった場合には、あのう・・・、1,000円プラスになります。鍼はどうしてもそんなに長い時間はやらないんで。
29	佐々木 開業してやってきた中で苦労したことはありますか。
30	対象者10 苦労ですか？そうですね。僕自身そんなにねえ、こだわりがなく、適当にやってたんで。なんかそういうことについてはピンとは来ないですね。でも、なるべく、こう・・・。何て言うかなあ。まあ、その都度、そのお客さんには聞きながら対応していくっていうのは大事にしているんです
31	佐々木 施術をしていてなんか不便なこととか、不自由なこと感じることはありますか。
32	対象者10 ああ、そうですね。不便さって言うよりも、なんか、こう昔に比べて。今まで仕事をやってきて35年ぐらいになる訳でしょう、その中でやっぱり、高齢化っていう部分もあるのかもしれないですけど、お客さんの層も変わってんのかもしれないですね。結局いろんな人間高齢になるとデイサービスに行ったりね。デイケアに行ったりって人もかなり増えてますよね。昔のころはそういうのもなかったんでね。だから、その分家の方にいてマッサージにかかるとかっていう人が多かったような気がするんですけどね。今、高齢者もあんまり来ないですとね
33	佐々木 施術の中で意識して工夫をしていることはありますか。

34	対象者10 他の人はどういうやり方をするとか、そういうことは・・・。自分も盲学校にいた時とはやり方が変わってるっていうのがあるんで。だから、その辺のところはたまにほら、友達と・・・。
35	佐々木 経営について勉強をしたってことはありますか。
36	対象者10 うん・・・？経営学ってねえ。学校出てからなんも習ってないんですよ。習う、習わないっていうよりも。あとは、あの県の鍼灸師会でやる講習会は、まずは休みなく出てるんですけど。そういう情報だけは使わないにしても、情報として持つのは大事なことだと思いますよね。だいたい年4回からやる講習会は欠かさず出ています。
37	佐々木 施術所を運営しているとどうしても書類の処理とか出てくると思うんですが、どうされていますか。
38	対象者10 それはそれでね。あの、けっこう僕なんかも大雑把なあれで、領収書とかっていうのは揃えて。あとノートにはお客さんの名前とか付けてるんで、月何名ぐらいやったとかはね。僕もほら一応拡大読書器あるんですよ。それを使えばなんとかね。書いたりできるんですけど。
39	佐々木 先生の今の視力はどのくらいですか。
40	対象者10 右は0、左が0.02ぐらいかな。盲学校に入った時には、0.3ぐらいあったんです。その頃は新聞を近づければ読めたって視力ですよ。それでルーペも何も使わないで盲学校に入ったんですけど。半年で一気に視力落ちちゃって(笑い)。生理学だの、解剖学だの勉強したから。頭の中おかしくなるしね(笑い)。それから今度、ルーペって言う便利なものがね。うちは虫眼鏡みたいなでっかい凸レンズは、あれはだめなんです。あれでは拡大にもなんないんですよ。凸レンズとなんかを合わせて、ルーペってうまくできてるんですよ。それでちょっと出っ張ってるような眼鏡をつけて教科書を
41	佐々木 視覚障害者になったって言うのは途中からだったんでしょうか。
42	対象者10 僕は26歳まで、って言うか25の終わりまで、普通の仕事してたんですけど。それで交通事故で目を集中的にやって、それからですね。で、27で盲学校に入ったんで。
43	佐々木 なぜ盲学校と思ったんでしょう。
44	対象者10 僕クリーニングの配送をやってたんですね。ホテル関係の。遠くはいわきから那須、あっちの方まで行ったんですよ。それで、その会社において交通事故にあったんですけど。それで、その時に、そこに三の丸ホテルってあったでしょ。あそこに昔サウナがあったんですよ。そのサウナに今でいえば盲学校の先輩が男の人と、女の人二人が、そのサウナで仕事やってたんです。で、なんか目を悪くしてから、そういえばマッサージしてる人がいたなあと。今ハローワークにいったら、どこどこにこういう人がいるよって言うのを聞いて。最初そこに行って、それから前に会長さんやってたのかなあ。山田さん、夏次郎さんって言うのがいたんだけど、盲学校の近く、山田さんのところに行ったら、最初塩原にこういうところがあるよって言われて。タイミングがあれで、塩原の方は願書の受付が終わっちゃいましたって。そしたら盲学校の方はまだ大丈夫だったんで。それで盲学校に入学したんです。目を悪くしてから、仕事するならマッサージだと思うまでは割と早かったですね。だからブランクは1年ちょっとぐらいかなあ。まあ、決めるのは早かった方だと思うんですよ。とにかくみんなにも言われたんですよ。いやあ、大変だったねえって、言われたりしたんですけど。まあ、僕の不注意で事故をやって目を悪くしたんで、ほら他の人をケガさせたとかじゃないんで。自分の不注意でやっただけなんで。なんで、意外とねえ、大変だったとも思わないんですね。とにかく、ずっと一人で動ける状態
45	佐々木 その盲学校に入学したときは、どんな思いでしたか。
46	対象者10 まずは、もうしょうがないなあって思って。そしたらそんなこと考える余裕はなかったですね。勉強、勉強で。それでも僕が入ったころはクラス10人近くいたんでね。みんなバレーボールだの、盲人の野球だのやってて。うちのクラスも、同い年が一人、あと二つ上の人間が一人。10人ぐらいいるのでね。あとぐっと年上で40代の人かなが一人。あとはみんな学齢で来てた。まあまあ、そういう同じ年らの人がいたんでやっぱり学校生活もやりやすかった。話も分かってくれる人もいたんで。あとから友達とか入って
47	佐々木 身体障害者手帳はお持ちですか。
48	対象者10 1種2級です。
49	佐々木 この施術所は先生一人で運営されている感じですか。

50	対象者10 僕が開業して次の年に、うちのが盲学校卒業したんで。開業2年目にはうちのとは結婚しましたから。うちのは盲学校に入ったのは一緒だったんですけど。向こうはちょっと1年間、最初に合格しなかったの。1年間保理科にいたんで。僕の方は何とか合格したんで。専攻科に入ったんで。なので、うちのは1年遅れで専攻科卒業したんですけど。うちのは基本的には一切
51	佐々木 奥様はお仕事されてるんですか。
52	対象者10 してますよ。同じ仕事やってます。僕が卒業して結婚するまでうちのが車の免許持ってるとは思わなかったんですよ。目が悪いって思ってたから。まさか、結婚したら、そういうのを黙ってるわけにはいかないんでしょうね。うちのは生まれつき緑内障で、それで親が心配して、あちこち病院にもやって、先々のこと考えて盲学校に入れたみたいなんですけどね。薬は欠かさないでやってるみたいだし。定期的に毎月病院に行くようだし。幸い視力は変わらないで車も運転できるんで。でも関係では車でどうのこうのって手伝ってもらってことはほとんどないですね。この市内を動くことに対しては一切呼びつけたりはしないです。やっぱり自分のことは自分でやった方が気楽でね。変につまらないことと呼んで、どうのこうのなんて言
53	佐々木 8月は患者さんどのぐらいいらっしゃいましたか。
54	対象者10 仕事ですか。8月は酷いですね。良く2・8なんて言いますけど。この暑さだと、また昔と違うんでしょうね。熱中症でどうのこうのって言うくらいですからね。ほんと来ないです。来ても、この中で涼しい思いをしても、いざ表に出たら、あの暑さですもんね。何だか疲れとれるのか、なんだか分からないですよ。で、そういうのもあって、12・3年前からデイスサービスの方へ。それもどういう繋がりか、最初に言った、鍼灸マッサージをやるきっかけになった、その三の丸ホテルで働いていた人間ね。たまたまその人がデイスサービスに行き始めたんです。そしたら一人ではあれなんで、もう一人ってことで、僕が誘われて行ったんですけども。きっかけはホテルで見たって言うだけで、この仕事を自分が始めてから付き合うようになったんでね。僕らよりも二つぐらい上だったんですけどね。その人に誘われてデイスサービスの方に行き始めたんですよ。うちで忙しいんなら、デイに行くってこともなかったと思いますけど。それとうちでぼーっとしてるよりは気分転換にいいかなって、そういう気もありましたよね。じゃあ、決まったお金が
55	佐々木 デイスサービスはどのくらい行ってるんですか。
56	対象者10 誘われていったときには週二日だったんですよ。その誘ってくれた人が、自分が生き始めて1年ぐらいで急死しちゃったんですよ。心筋梗塞とかいってね。運動してて、アームレスリングやったり、走ったりなんかね。その人が急死しちゃったんで、僕の方で別な友達を、一人じゃどうしても休むときなんか困るんで。それがあつたんで一人お願いして、で僕は週に4日、もう一人の方に週に2日出てもらってるんだ。デイは基本的に休みは日曜日だけです。契約では9時から2時までって言うことで。その間に平均16・7人ですか。だいたい1時間で5人ぐらいのペースでやるような感じですね。だから午前中13人ぐらい、午後から4人ぐらいね。
57	佐々木 デイスサービスはここから近いところなんですか。
58	対象者10 今あるプラザホテルがあるでしょ。あそこのちょうど、もう一本後ろの通りになるんですけど。あそこの後ろの方に結婚式場があるんですよ。その結婚式場と隣り合わせにうちのデイがあるんですけど。で、行くときには利用者さんを送り迎えする車で利用者さんと一緒に乗せてってもらって、帰りは単独で乗せてきてもらうんですけど。送迎付きで。だから、僕らにとっては便利な勤め先だったんで。火、水、金、土、この四日行くんですけど。利用者は月、水、金とか、火、木、土とかで来るような人。あと意外とバラバラで、月曜日と木曜日だけの人とか、利用者の都合で違ったりしま
59	佐々木 28年の施術料収入を教えてください。
60	対象者10 これは少ないですね。100万を超えないぐらい。やっぱりずーっと減ってますね。
61	佐々木 最近特に患者さんは減っている感じですか。
62	対象者10 けっこう減ってます。
63	佐々木 その施術料収入以外って言うのは？
64	対象者10 デイスサービスでの収入。それもだいたい去年28年で申告したのは190万ぐらいですか。デイの方でね。
65	佐々木 先生は年金も受給されてるんでしょうか。
66	対象者10 僕は勤めていた時のあれで、厚生年金の方ですね。障害年金ですね。国からいただいているんで、これがやっぱり大きいですもんね。

67	佐々木	世帯全体の収入としては、それに奥様の収入が加わるって感じですよ。
68	対象者10	そうですね。子供にかかるとときにはホテルの仕事もやってたんでね。ホテルの仕事って言うのは大きかったですからね。あのバブルの前はねえ。最初にも話したようにバブルがはじけた後は、ホテルの仕事も、一緒に働いていた人間もどンドンやめていくって感じで。僕は最初に入ったっていう経緯があるんで、こっちを閉めるまではやめないで最後までいた
69	佐々木	最初にも開業するときのお話を聞きましたが、こちらを開業するときの初期投資はどのくらいでしたか。
70	対象者10	前に使っていたのは水没しちゃって全部だめになりましたからね。それでも最低限のものだけですね。前いたところではマイクロ、ホットパック、電気の鍼の道具からそろえたんですけども。こっちへ移転してからは、揃えたのはマイクロウェブだけですね。鍼消毒のオートクレーブ。これも今は使い捨て鍼が出たんで使うことはなくなっちゃいましたけどね。ベッドはねえ、友達が1台くれたんですけども、これまた別な友達が使ってた広いベッドと交換したんです。このベッド広くて畳一畳ぐらいあるんだけど、年寄も安心して乗れるんで。大工さんの作った木製の。足はボルトで取り外し
71	佐々木	卒業してすぐ開業した際の資金はどうしたんですか。
72	対象者10	前働いていた時の蓄えが少しあったんで。で、大した高いものは揃えなかったし。
73	佐々木	これからの目標を教えてください。
74	対象者10	僕は今65。もう高齢者の仲間入りをしたんで。それで僕も婿さんとして入って、婿さんのわりに実家で向こうの親と暮らしたってことがないでしょ。結婚してそのままこっちで、続けてましたから。水害にあった時、一時期話したんですよ。いいきっかけかなあって思って。うちも長男が生まれて2歳だったんですよ、その水害にあった時。向こうの親にそれとなく、口には出したんですけども、向こうの親の方が無反応なんで、じゃあいいや水戸にいるわって思って。実家は北茨城なんですよ。茨城県が一番端だよ。うちの後ろに1軒あるだけで、その後ろに川があって山があって、その山超えれば福島県。だから、電車は大津港ですから。生活自体は水戸の方が一人で動くのには最高ですよ。交通の便でもここはちょっと15分って時間はかかりますけど。でも水戸の駅まで行けば、どこに行くのにもバスがあるし。電車もあるし。大津港に行ったらまず、徒歩で行くってこと自体が無理。で、今ここで孫も生まれて、ちょっと考える部分もあるんですよ。ここも借家ですよ。大家さんもいい年なんですよ。この家もかなりの年数なんです。うちのも還暦になったんで。65になったら年金だなんて言ってるぐらいですから。そのことも考えると、実家の方は誰もいないんですから。土地もうちのが相続してますからね。ほどほどの時機を見て、うちのが年金でも受け取るようになったら移るかもしれないような状況なんですよ。そうすれば、家賃ここ5万1千円払ってるんで。家賃の分うちの方でなんかねえ。考えも出てるんで、商売の方どうのこうのって言うことはあんまり考えないんですけど。向こうの方には月に、うちのと行って草取りやったりね。草だけ取る分には手に触ったものみな抜けばいいんですから、大丈夫なんですけど。あれ、空気がよどんじゃうと畳がぶかぶかになったりとか、壁が空気に触れないと。けっこう行ってみんなガラガラ開けて風は入れてんですけど。ほん
75	佐々木	先生が持っている免許を教えてください。
76	対象者10	按摩師と、鍼師と灸師と。昭和57年卒業ですからね、その年に取得しています。専攻科3年終わって試験ですよ。そうすると実際免許が来るのはもっと後ですよ。あん摩マッサージ指圧の方は2年でとってますからね。2年でとれたんです。だから3年生の時には宇都宮の方に行ってバイトしてたりしました。向こうに1か月ぐらいいたかなあ。宇都宮市内で、あそこには競輪場とかあるでしょ。競輪場で選手なんかをマッサージしてたみたいですね。アルバイト生だった自分は競輪場とかには行かなかったけど、近所の出頭とか、治療室でのマッサージをしてました。そこには先輩なんかもいたんで。山田治療院って言いましたけど。宇都宮にはオリオン道理
77	佐々木	先生が今まで印象に残っている患者さんいたら教えてください。

78	対象者10 何年間だろうなあ。開業して間もなくからかな、それでこっちに来て、結局今で30年ぐらい通ってくれていたんですよ。この前しばらくぶりに息子さんが連れてきてくれたんですけど、脳こうそくで倒れて。もう90超えてるのかなあ。水府町に茨城電話工業株式会社って言うのがあるんですね。その社長さんだったんですよ。その方に気に入ってもらって、それまでずーっと通っていただいて。うーん。ついこの前息子さんが、思い出したんでしょね、連れてきて。週に2回ぐらいずつ2か月ぐらい来てくれたんですけど。やっぱりちょっと言語障害とか残っててね。僕の方も、しばらく来なかったからどうしちゃったのかなあと思ってたんですよ。亡くなったって話も聞いてないしなあ。そしたら突然息子さんから電話かかってきて、本人はそういうのも覚えてますからね。その人なんかは、ほんとに最初は会社で自分では車乗らないで運転士さんに乗せてもらってたんですけど。うちに来るようになってからは、自分で車を運転してくるようになって。週に何回か来てくれてそれがずっと続いていましたからね。うちに来るようになってからね、その患者さんねえ、ゴルフとかね、プール行ったりとかね。もともとダンスなんかやってた人なんで。身長も高くてすらっとしてて。自分で会社起こしたぐらいの人なので。東京の方にもビル持ってる。そっちこっちに
79	佐々木 そんな長くなくても、定期的に来られている患者さんってどのくらいいますか。
80	対象者10 今だいたい来てくれている人は5年以上、10年近くの人たちですね。だから、そういう人たちがだんだん減って行って(笑い)。新患少ないってことですね。高齢化が過ぎちゃうと来れないって言うか、車に乗れなくなると来れないとかあってね。大きいですよ。あと、よく来てくれたのは文化センターの入口のところにあるホテル、第一ホテル。あそこの社長さんと奥さんなんかも長くかかってきて。第一ホテルですね。あそこは別館なの
81	佐々木 この仕事に対する満足度は、普通が50%とするとどのくらいですか。
82	対象者10 そうですね。他の仕事してたらね、性格上ちゃらんぽらんになっちゃったかもしれないけど。会社だとリストラされる口だったかなあって言うような、あれあったんで。この仕事について80%ぐらいは行きますね。この仕事があったからこそ、ここまで子供3人育てて、やってこられたって言う部分がありますから。そういう部分では80%ぐらいですね。
83	佐々木 収入に対する満足度はいかがですか。
84	対象者10 これはねえ。もう少ないのは自分の努力足らなかったって言うだけのことでね(笑い)。ほんとにそうだと思います。年金もあるからいいやなんて言う気もあるんで。たぶんね、そうだと思うんですよ。とにかく自分の場合子供3人育てられたなあと思ってます。一番上はこの前結婚式をやった孫が生まれてっていう状況で。長男が33ですから。みんな三つ違いで、次男が30、一番下が12月で27歳になりますけど。みんな三つ違いなんですよ。子供はいつになっても子供ですもんね。
85	佐々木 長い時間ありがとうございました。以上になります。

対象： 訪問日 2017/10/15(土)
インタビュー時間 75分

1	対象者11 録音するの。
2	佐々木 録音する。
3	対象者11 テーブルあったほうがいいかな。
4	佐々木 全然大丈夫。この周りって住宅街ですか。
5	対象者11 この周りは住宅が幾つかあるけど、住宅街ではないです。
6	佐々木 ああ、そうなんですか。
7	対象者11 もう田んぼだらけ。
8	佐々木 田んぼ。
9	対象者11 ここは農村地帯だから。鬼怒川の決壊があったでしょ。
10	佐々木 はい。
11	対象者11 決壊現場はすぐ近くですから。
12	佐々木 よく大丈夫でしたね。ここは少し高いんですか。
13	対象者11 意外にね、川のこの近くは、自然の堤防でグッと上がっているの。だから、土手沿いっていうのは、大体助かった。
14	佐々木 ふーん。
15	対象者11 ちょっと離れた所のほうが結構潜っちゃって。
16	佐々木 あれはすごかったですよね。
17	対象者11 すごかった。
18	佐々木 家が流されるっていう衝撃的な。
19	対象者11 まあ、でも深さはそんななかったみたいですよ。膝ぐらいで流されちゃったみたい、やっぱり流れが急だったんですね。
20	佐々木 強かった。あのときって、じゃあ避難もしなかった。
21	対象者11 俺はしなかったよ。
22	佐々木 「俺は」しなかったの。
23	対象者11 うん。ここは大丈夫だったから。うちの庭先の、あそこ階段少し登りましたよね。
24	佐々木 はい。
25	対象者11 あそこの途中、ギリギリまで水が来たんですけど、家の中には入らなかったから。
26	佐々木 それはよかったですね。
27	対象者11 夜中の3時ぐらいまで、ずっと上がってきたんだよね、水位がね。もう駄目かなと思ったけど、4時ぐらいになったら引いてきたから、助かった
28	佐々木 あれやって、もう2年ぐらいになりますか。
29	対象者11 なる。うちはよかったけど、周りの障害者、先生方は何人か水が入っちゃった所があって、そのうち1軒はもうやってないよね。
30	佐々木 ああ、もう仕事は辞めちゃって。
31	対象者11 うん。もう1人の先生はプレハブ建ててやってるかな。
32	佐々木 何かそういう機会はあるんですか、周りの先生と。
33	対象者11 ない。本当は作らなくてはいけないんでしょうけど、向こうから何も話してこないし。
34	佐々木 上総の支部としてはあまり。
35	対象者11 私1人です。前にナカヤマ先生っていう先生がいたんですけど、おじいちゃん先生。あの先生も年も年だから、私が入ったらすぐに辞めちゃい
36	佐々木 入れ替わりで。
37	対象者11 探してたみたいですね、代わりの会長になる人を探してから辞めようと思ってたみたいで、入って2年ぐらいしたら辞めちゃったよね。いきなり私に上総支部長になってもらえませんかって電話が掛かってきて、やる人いないんだったらしょうがないですねって。仕方なくやっているんですけ
38	佐々木 1人で。
39	対象者11 1人で。
40	佐々木 もう何年になりますか、開業されて。
41	対象者11 うちは10年近くになるかな。
42	佐々木 そんなになりますか。
43	対象者11 そんなにならないか。いやいや、開業してからはない。
44	佐々木 卒業してそのぐらいですか。
45	対象者11 そのぐらいだね。だから開業して8年ぐらいかな。
46	佐々木 卒業した後って。

47	対象者11 筑波の訪問マッサージで、1年いく かいかないかぐらい働いたな。その間もちよこちょこやってたから、自分で。
48	佐々木 もうここを準備していたんですね。
49	対象者11 そう。施術室としては準備していなかったんだけど、近所のおじさん、おばさん、仕事やりながら土日とか休みのときに、何人かやってたんですよね。1人試しでやってみて、……それで通ったらもう1人増やそうかなって感じで、徐々に増やして行って、4、5人ぐらい定期的にかかる人がいれば食っていけるじゃないですか。5人ぐらいになったんで、向こうは辞めちゃって開業を本格的にやったんですけど。
50	佐々木 それが8年ぐらいになりますか。
51	対象者11 8年ぐらいになるね。
52	佐々木 あっという間ですね。
53	対象者11 あっという間だね。佐々木先生も長いね、じゃあ。茨城ね。
54	佐々木 長いですね、もう。干支が1周しちゃいましたから。びっくりですよ。そんなに長くいるとは。根っこが生え始めている。
55	対象者11 ははは。もうどっかに家は買ったの。
56	佐々木 いや、ないですね。自由に。借りてます。
57	対象者11 本当。
58	佐々木 ここって施術室を作るために、少し変えたりしたんですか。
59	対象者11 してない。ただ、和室の客間にベッドを置いて、ソファをそこに置いて、ちょこっと機械入れてやっているだけで、別に改修はしていない。
60	佐々木 してないんですね。もともとのうちをそのまま。
61	対象者11 もともとの。お金掛けられないからね。
62	佐々木 いやー、最小限で。
63	対象者11 最小限。
64	佐々木 今、毎日施術していると思うんですけども、その中で患者さんとのやり取りとか、あるいは施術そのものでもいいのですが、やりがいを感じる出来事あるいはそういう経験とかあったら、教えてください、うれしいこ
65	対象者11 患者さんと触れ合えるのはすごくいいことだね、1時間たっぷり濃厚な時間を。別に知らなくてもいいことまで話してくれるし、先生にだけねって教えてくれることもあるしね。信頼してくれるから、いろいろなこと、家族のこととかほかのこと、しゃべってくれて。そういう点では、ちょこっと話すだけじゃなくて、1人の人に対して、すごく深いところまで知ることができるから、そういう点では有り難い仕事だね。
66	佐々木 逆に嫌になることはないですか。
67	対象者11 逆に嫌になることもあるけどね。話したくない人もいるし、しゃべりづらい人もいるしね。
68	佐々木 人ですからね。やはりいろいろな人がいますか。
69	対象者11 いろんなタイプがいる。全くしゃべらない人もいるし、逆にずっとしゃべっている人もいます。聞きたくもないようなことを言う人もいるしね、自分の自慢話とか、孫の自慢話ずっとされてもね。
70	佐々木 聞いているのが嫌になる。
71	対象者11 聞いているのがもう本当に。ボケ老人かと思うほどだよ、ずっと同じこと、孫の話ね、自分の子供の話をずっとしている人もいるし。
72	佐々木 一方的に話しちゃうんだ。
73	対象者11 うん。それが仕事だからね、聞いてあげるのもね。
74	佐々木 そうですよ。
75	対象者11 うん。しょうがないけどね。
76	佐々木 施術内容としては、やってきた中で変わったりしていますか。やり
77	対象者11 施術はそんなに大きくは変わってないね。学校で習ってきたことに、プラスアルファをちょっとぐらいしているぐらいで、基本はもう学校
78	佐々木 マッサージが中心ですか。
79	対象者11 マッサージ中心ですね。どうしてもこの関東近郊、関東近郊っていても、ここ茨城県の県民性的に、鍼灸がまだまだ浸透していないんですね。「鍼やりますよ」って言うと、怖がっちゃう患者さんが多いので。まず取っ掛かりでマッサージから入ってきて、患者さんのほうから先生の所は鍼はやっているんですかとかっていうふうに聞いてきたら鍼をやりますけれども、こっちから鍼のほうがいいよとかって無理矢理にはやらないです。
80	佐々木 じゃあ、鍼はめったにいないですか。
81	対象者11 でもね、鍼をやる方は3割ぐらいです。
82	佐々木 いるんですね、やっぱり。

83	対象者11	まあ、鍼だけをやりに来る人はいないけれども、鍼プラスマッサージ、あん摩が1時間でやるような感じかな。
84	佐々木	大体1時間ですが。
85	対象者11	基本は鍼灸で1時間、あん摩だけだと45分。45分単位で施術をやっ て、準備、片付けやったり、次のお客さんの準備したりして、15分ぐらい間 を空けて、またすぐ1時間だったり45分だったりいろいろ。午前中に3人、午
86	佐々木	多くて。
87	対象者11	うん。まあ、そんなにいないけどね。
88	佐々木	1人当たり幾らぐらいの料金、金額。
89	対象者11	うちはマッサージ45分で3,000円、鍼灸で1時間やったら4,000円。
90	佐々木	鍼灸とマッサージでですか。
91	対象者11	鍼灸とマッサージで。
92	佐々木	お得ですね。
93	対象者11	お得なんですよ。
94	佐々木	お灸もあるんですか。
95	対象者11	お灸はね、かみさんいるときじゃないとやらない。めったにやら ない、だからね。本当はやりたんだけどね。助手さんがいれば、こことこ こにお灸してって指示してね、やりたんだけど。
96	佐々木	せんねん灸ですか。
97	対象者11	そうですね。台座付きのお灸。まあ、もぐさもやるときもあるけ ど、基本はお灸未経験者が多いから、台座灸で。
98	佐々木	施術で、自分で工夫しているというところはありますか。やり方、 内容含めて。
99	対象者11	患者さんに合わせてでしょうかね。元気な方は比較的刺激量を求 めるから、まずはうつぶせで寝てもらって、ぐいぐい最初から押すんですけ ど、お年寄りの場合はそんなに刺激量は要らないので、まずは側臥位で寝て もらって、話しながら、リラックスしてもらいながら、徐々に攻めていくっ ていう感じとかね。やり方は少しずつ人によって、どこから始めるのかは変 えていく。あとは、主訴があれば、主訴を先にやって、大分ほぐれてきたと 思ったら全身に移るとか、そういうような感じですかね。
100	佐々木	やはりその人。
101	対象者11	患者さんに合わせてやっていますね。全部単一的に同じようなや り方だと、気に入られなくなっちゃうから、患者さん重視で気に入ってもら えるようなやり方を工夫しながらやっていますけどね。
102	佐々木	何か、施術の中で不便さを感じるっていうことは。
103	対象者11	施術をやっている。
104	佐々木	見えないこととかで。
105	対象者11	見えないことではあるね。患者さんが、よく「ここが痛いんだ よ」って、痛い所を手で指し示しても、どこが痛いんだか分からないから、 結局「どこですか」と聞き直して、触ってもらって、そこを指で確認しなが らやっていますけど、そういう手間暇は、面倒くささはありますね。あと は、文字が書けないから、お客さんにこっちの内容を伝えるのに文字では伝
106	佐々木	予約はどうしているんですか。
107	対象者11	それは書いてもらう、家族に。いないときは前もって次の予約も 決めちゃって、大体この時間だというのを、1日分書いてもらって、それを渡 しているっていう感じです。
108	佐々木	スタッフは。
109	対象者11	スタッフは家族です。かみさんと、うちのおやじとおふくろ。家
110	佐々木	今は保険というか、訪問も。
111	対象者11	訪問が主体。訪問が大体7割、来てもらうのが3割、4割ぐらいか
112	佐々木	その移動も家族が。
113	対象者11	そうそう。
114	佐々木	それも家族がいるときに移動できるようにしないとイケませんね。
115	対象者11	そうそう、いるときじゃないと。今日なんか誰もいないから、今 日は来てもらう患者さんだけ。午前中、朝一で行ってきたんですけど、施設1 件と自宅の患者さん。
116	佐々木	施設も、まとめて何人かとかってあるんですか。
117	対象者11	施設はね、そうですね、まとめてできればいいんだけど、ま とめてやっちゃうと往療料が取れないんですよ。
118	佐々木	ああ、そうですね。

119	対象者11 だから、1日1人、若しくは2人ぐらいですね。やってほしいっていう要望もあるのはあるんだけど、まあ、往療料取れないとこっちも商売にな
120	佐々木 確かに。
121	対象者11 こっちは、ほかにちょっと患者さんたくさんいるんで、ちょっと午前中に1人か2人しかできないんですけどっていうような感じで、断りながらね、やってますけど。
122	佐々木 でも、他の家に行ったりすると、移動が大変じゃないですか。移動っていうか状況がいろいろですもんね。
123	対象者11 大変。本当はちゃんと一人一人金額がもらえれば、まとめてドーンとやっちゃったほうが効率はいいしね、有り難いんだけど、まあ、そういう法律になってないからね。
124	佐々木 そうですね。
125	対象者11 そういう仕組みになってないから、一軒一軒細かく回っていくしかないよね。
126	佐々木 営業とかはどうしているんですか。
127	対象者11 営業はね、本来、見えていればいろいろ施設に行ってケアマネとか、施設長の方にお話してやりたいのは山々なんだけど、結局移動手段も家族に頼まなくちゃいけないし、家の者は嫌がるんだよね、そういうのしたくないから。うちのおやじ、おふくろなんてのは田舎者だし、かみさんも余り一緒に出たくないタイプだから、行ったり来たりするのが、そういうところは嫌なんだよね。まあ、こっちも施術もあるしね、普通の一般の仕事もある
128	今やっている施設の人は、患者さんの家族の人がやっていたりとか、あとは俺のもともとの友だちがやっていたりとか、そういう患者さん絡み、自分の知り合い絡みで行っている所だけだから。あと、向こうのケアマネさんのほうから家に来てくれて、こういう患者さんがいるんだけど、「先生、やってくれますか」という話から、そこからのつながりでもらったりとか。
129	佐々木 じゃあ、ほとんどロコミが多いですね。
130	対象者11 そうそう。結構こっちの県南のほうでも、チャンスとか、いろいろ訪問系のマッサージの会社が来るんですよ。周りの施設なんかはそういう会社が来てやっていますよね。今まで、4、5年前ぐらいまではなかったんだけど、ここのところは営業かけられちゃって、よそから来てますね。
131	佐々木 ここに直接来てくれる方は、そのつながりでやっぱり来てくれる。
132	対象者11 ここに来る人はロコミ。うちは宣伝やってないから。
133	佐々木 やってないのですね。
134	対象者11 うん。
135	佐々木 電話帳とかも載せていないのですか。
136	対象者11 電話帳は載せてる。でも、今まで電話帳で掛かってきたのは、この8年間やっていて2件だけ。
137	佐々木 そんなもんですか。
138	対象者11 あとは冷やかし。掛かってきて、そこは料金が幾らなんですかと。「料金は幾らですか」といきなり聞いてくるのは、大体他の業者なんだよ。そういうのばかりで、あとはセールスだよね。余計な電話ばかり。お客さんから電話が掛かってきて、お客さんになってくれたのは2人だね。
139	佐々木 効率はよろしくないですね。
140	対象者11 電話帳はよくないね。でも、載せてないとね。何か連絡取ったりね、患者さんのほうも急に連絡を入れたっていう場合に、電話帳に載せていないと調べられないから。
141	佐々木 広告とかはやったことはありますか。
142	対象者11 広告はね、時刻表に1回載せたときがあります。
143	佐々木 時刻表ですか。
144	対象者11 うん。折込みのチラシで、関鉄の時刻表が来るんですけど、その端っこのほうに企業が10社か20社ぐらい広告するんですよ、ちょっとしたスペースです。そこをお願いしますよって言われたから、うちはそんな所に載せてもらってもって言ったんだけど、しつこく電話が掛かってくるか
145	佐々木 向こうも営業なんですね。
146	対象者11 そうそう。この金額、今回だけであれなんで「半額以下にしますんで」と言うから、「1万ならいいよ」と言って。
147	佐々木 ははは。
148	対象者11 最初は3万とか4万とかって言ってたんだけど、払えないよって
149	佐々木 それは反応はありましたか。

150	対象者11 全くなし。あったのかもしれないけど、分からないよね。「それを見て来た」って言う人はいないからね。言ってくればあれだけど。
151	佐々木 そうか、直接言ってくれた人はいないと。
152	対象者11 そうだね。「時刻表見て来ました」っていう人はいないです。ちらっと目に入ってくるから、もしかしたら効果はあったのかもしれないけど。はっきりとは分からないよね。
153	佐々木 経営について、勉強してたりしますか。
154	対象者11 全然、特にはやってないな。まあ、大学でそういう経営の勉強はしてきたけど。あと、ちよくちよくビジネス系のニュースは見るようにしてるけど、特に何かお金を払って講座を聴きに行くとか、そういうことは今のところはやってないですね。でも、鍼灸師会のほうで、何回か経営的なことの講座はあったけど、聴いていても大したことは言ってないよ。専門的な
155	個人個人で違うからね、そこの成功した人の事例で言われても、こういう田舎じゃ全然違うしね。茨城だって、つくばとか守谷とかのほうに行くと、もう大都市だから、そういう所のやり方とこっちの田舎のやり方とじゃ全然
156	佐々木 何より人間関係が大事になっていく。
157	対象者11 そうですね。この仕事はそうだと思いますよ。いくら宣伝かけても、結局評判、口コミが大事だから。今は結構どこの業界もそうですね。
158	佐々木 今、1日平均すると患者さんの数はどのぐらいですか。訪問も入れ
159	対象者11 平均すると6、7人ぐらいですか。多いときで10人。
160	佐々木 それは多いですね。休む間がなくなっちゃいますね。
161	対象者11 ないない。朝の8時からやって、夜の8時ぐらいまで。お昼の休憩を1時間入れて、あとは移動とかあると、ほとんどないね、10人だとね。少ないときで4人ぐらいかな。
162	佐々木 やはり結構差がありますね。
163	対象者11 差があるね。ドタキャンする人も結構いるから、当日出掛けることになっちゃったとか、病院へ行かなくなっちゃいけないとか。
164	佐々木 一時期、同意書がなかなか出ないっていう。
165	対象者11 あ、今は出ないですよ。それが一番困るんだよね。
166	佐々木 なかなか書いてくれない。
167	対象者11 書いてくれなくなっちゃった。
168	佐々木 一度書いてくれば、続けて書いてくれたりするんですか。
169	対象者11 そういうわけでもない。1回はやってあげるけど、2回目は無理だよって、この間も言われちゃったみたいで。1回目は書いてあげたけど、3か月も半年も掛けて治らない所だったら行くんじゃねえって言われて。
170	佐々木 そんな。
171	対象者11 怒られたから、もうそこには行かないなんて言ってたけど、おばあちゃんも。
172	佐々木 厳しいですね。
173	対象者11 もともと変な先生だったみたいだけどね、そこの先生。今ここでも8割方は書いてくれないよ。
174	佐々木 そうですね。厳しいですね。
175	対象者11 厳しい。
176	佐々木 本当に厳しい人っていうか、適用になっているような人でも、難しいという。
177	対象者11 適用になる人も、見方次第なんだけどね。腰が痛いって言えば、みんな腰痛だし、本来ならもらってもいいはずなんだろうけれども、なかなか検査しても分からないところがあるからね、レントゲンを幾ら撮って
178	佐々木 そうですね。写らない。
179	対象者11 腰ね、幾らレントゲンで異常なくても痛い人は痛いし、痛くない人は痛くない。
180	よほど寝たきりで拘縮も激しくて、この患者さんは絶対にやったほうがいいだろうっていう患者さんも、くれないっていう先生もいますよ。私は反対ですって言われて。やると「骨が折れちゃいますよ」って言われて。「骨が折れるまでやりませんよ、先生、分かりますよ、そのぐらい」って言って
181	佐々木 ひどい話ですね。
182	対象者11 私は反対ですとか言って。このままにしておいたほうがいいですって。先生が。
183	佐々木 先生が。

184	対象者11 うん。じゃあ無理ですねって帰ってきたけどさ。医者がもうほとんど書いてくれないんです。
185	佐々木 成り立たないというか、訪問自体が難しい。
186	対象者11 難しいですね、今はね。書いてくれる先生数人をお願いしに行くという感じ。
187	佐々木 そういう先生が何人かいるわけですね。
188	対象者11 そうそう。かかっている主治医の先生に駄目だって言われたら、私の知っている先生がいますから、そこに行って何回か受診して、それで書いてもらってくださいってお願いして、来るっていう場合が多いですね。
189	佐々木 3か月に1回ですね。
190	対象者11 同意をもらうのはね、うん。本来は口頭同意で構わないんだけど、最近はどうさくなっちゃって、同意書もらってこないと駄目だよって言われちゃうから、面倒くさいけどもらってきてってお願いして。
191	佐々木 レセプトは家族がやってくれるというか。
192	対象者11 そうそう。まだそこまでいっていないので、自分でできるけど。盲人の人でもやってる人はいるみたいだね。
193	佐々木 ああ、そうなんですか。できるんだ。
194	対象者11 うん。音声ガイドでね。そういうソフトもあるみたいなんだけど、厳しいよね。
195	佐々木 細かいですもんね、間違っちゃいけない。
196	対象者11 間違っちゃいけないし、返戻で戻ってきちゃうしね、1個でも抜けたらね。
197	今は、鍼灸師会のほうでも、お金を払えば事務員の人が行き代行してくれるみたいだから。
198	佐々木 入力ですか。
199	対象者11 そうそう。少しサポートしてくれる人がいれば、盲人の人でもできないことはないですよ。同意書取ってきてもらって、基本的な情報とか、そういうのを事務員の人に伝えれば向こうでやってくれるから。レセプトが大変なんですよ、レセプトと移動。
200	佐々木 移動の計算ですか。
201	対象者11 いや、訪問ね、車に乗って行かなくちゃいけないから。
202	佐々木 そうですね。
203	対象者11 こんな施術治療で保険でやってたら、マッサージなんて、1か所285円でね。たまに先生で1か所しか〇を付けてこない先生がいるんです。
204	佐々木 285円、それは。
205	対象者11 先生は分からないから、そんな金額なんてね。まあ、往療付くからいいかって感じで。それでも涙ちょちょ切れるよね。
206	佐々木 余り多すぎると引っ掛かるとかっていう、なかなか全ヶ所はくれないとあって。
207	対象者11 いや、そんなことないですよ。ちゃんと同意書の所に傷病名が書いてあれば、要は両膝変形膝関節症とか、頸椎症とかって、体幹と左右で大丈夫です。まあ、病名は何だって構わない。老齡症候群みたいな感じでも構わないし、筋麻痺と筋萎縮とね。
208	佐々木 何か付けば。
209	対象者11 何か付けば。ただ、本当に医者を書くか書かないかだけの話だね。
210	佐々木 そこはポイントになるのですね、書いてもらえるか。
211	対象者11 何年前かな、2年か3年ぐらい前かな、茨城の医師会の会長が通達で回したんだよね、同意書を勝手に書くなって。書くんだったら覚悟をもって書きなさいって。専門の先生じゃないと書けないんだから、整形の先生じゃないと書けないんだから、内科の先生とかほかの診療の先生が同意書を書いて構わないけど責任をもって書きなさいというふうに、通達が何回も何回も回ったみたいです。それ以来、ほとんど書かなくなっちゃって。
212	佐々木 それがずっと続いているんですね。
213	対象者11 多分ね。1回そういうのを目にしちゃった先生は、書けなくなっちゃうだろうね。できれば、医師会のほうの間違ったというか、極端な意見は、我々の業界にとってはちょっと厳しいね。
214	佐々木 うん。
215	対象者11 特に、盲人でやっている我々みたいなね。仕事なくなっちゃうか
216	佐々木 そうですね。
217	対象者11 荒しているのは晴眼者の資格を持っていない経営者が。

218	佐々木 なりふり構わず。
219	対象者11 そうそう。やってるからね。
220	佐々木 しかも、怪しい請求をしていたりするって言いますからね。
221	対象者11 1か月、30日しかないのに25回行っているとかね。
222	佐々木 あり得ない。
223	対象者11 毎日行っているようなもんだよ。
224	佐々木 Oさんも厳しいって言っています。
225	対象者11 Oさんの所は行きましたか。何日ぐらい。
226	佐々木 Oさんには直接インタビューには行ってないんだけど、この前に会って話したときに、書いてくれなくなったから減らしているっていうか、もう
227	対象者11 面倒くさいよね。本当に面倒くさい。いろいろ御機嫌も伺いに行
228	佐々木 そんなことまでしながら。
229	対象者11 そういうことまでしながらやってんだけど、それでも書かなくなっちゃった先生は何人もいるよね。
230	佐々木 ああー。
231	対象者11 最初に行ったときは、先生みたいに丁寧に挨拶しに来てくれる鍼灸の先生は初めてですよなんて言われて、ウェルカムみたいな感じで、書きますからって言った先生が、その医師会の会長から回ってきた途端に、こういうのは書けませんで。
232	佐々木 コロッと。
233	対象者11 今まで書いていた患者さんは書きますけれども、新規に来る患者さんには、うちは内科しかやってない、書けないからって言われて、こいつ何なんだって、小さい男だなと思って。
234	佐々木 あれを書いてくれる医者って、どこの医者でもいいんですか。その地域じゃないと駄目とか。
235	対象者11 基本的には主治医の先生がかかりつけのお医者さんに書いてもらうのが一番いいっていうふうに厚生労働省の通達では回っているんだけど、それは基本的なことだから、医師免許を持っていれば誰でも書ける。眼科医でも産婦人科医でも。
236	俺、最初に自分で困おうと思って書いてもらったのは眼科医の先生。肩が張るから鍼の先生にかかりたいんですなんて言いながら書いてもらった。眼科医でも書いてくれるんだと思って。
237	佐々木 そのときは書いてくれたんですね。
238	対象者11 書いてくれた。あとね、うちの患者さんで耳鼻科の先生に書いてもらった患者さんがいる。いつも行っている所は耳鼻科だからって言って。えー、書いてくれって。試しにこれ持って行ってみてって言ったら、書いて
239	佐々木 医者によっては書いてくれる。
240	対象者11 そうそう。逆に、整形の先生のほうが書いてくれないからね。
241	佐々木 ああ、そうなんですね。
242	対象者11 そうそう。
243	佐々木 プライドがあるのかな。
244	対象者11 プライドが高いんでしょうね。これでやるんだったら、うちではできないよなんて言われて、患者さんはびびっちゃうからね。
245	佐々木 それって、保険でやっている人は何人ぐらいですか。
246	対象者11 数えてはないけど、かみさんに聞けば分かるけど、何人ぐらいかな。20人ぐらいかな。まあ、週に3回やる人もいるし、週に1回しかやらない人もいるし、少ない人だと月に1回とか2回の人もあるからね。
247	佐々木 でも、ある程度、その人たちは数えられるというか、人たちなんで
248	対象者11 うん、保険の人はね。
249	佐々木 自由診療で来てくれる人で、定期的に来る人は何人ぐらい。
250	対象者11 定期的に来るのは、2、3人ぐらい。あとは不定期。1か月に1回電話が掛かってくる人もいれば、1年に1回ぐらいしか掛かってこない人もいるし、必ずお盆中に掛けてくる人もいる。
251	佐々木 何でその時期に。
252	対象者11 お盆休みなんじゃないの。
253	佐々木 思い出してくれるっていうのは。

254	対象者11 有り難いのは有り難いですけどね。それが1年に1回じゃね、商売にならないからね。安定した資金が欲しいからね。もうちょっと水戸とか土浦、つくば辺りの大都市だったら、所得層が高くなるから、現金で来るお客さんも増えるんだと思いますけど、この周りが田んぼだらけの田舎の状況だと所得が高い人はいないから。
255	佐々木 そうなんですかね。
256	対象者11 みんな年金生活者で、本当に日々の暮らしも大変だっていう。国民年金の、じいちゃんばあちゃんが多いから。1,000円だって2,000円だって惜しいわけです。そういう人が、3,000円も4,000円も5,000円も払って来れない。
257	佐々木 そうか、贅沢になる。
258	対象者11 この辺はね。
259	佐々木 この辺は、マッサージの助成金は。
260	対象者11 あるんですけど、1年に6,400円ぐらい。
261	佐々木 6回分ということですか。
262	対象者11 ああ、1,000円で考えるとね。6,400円分だと、うちでは2回分しかできないから。
263	佐々木 1回にそんな使っていいんですか。
264	対象者11 そう。2枚くれて、1回で3,200円分のチケット。
265	佐々木 2回分しかないんですか。
266	対象者11 それは自由。だから、6,400円分一気にもらって、それで1,000円ずつに分けて使ってもいいし、それは先生と患者さんで話し合っただけで決めてやってくださいという感じで言われたんで。
267	佐々木 自由なんですね。
268	対象者11 患者さんによって。
269	佐々木 じゃあ、全額それで払っちゃってもいいってということですか。
270	対象者11 全額それで払っちゃってもいいし、分けてもいいし、いろいろだ。
271	佐々木 使う人はいますか。
272	対象者11 持って来る人はいますよ。でも、告知度が低いせいか、回覧版でしか回って来ないから、サッと見ないで流しちゃう人が多いんだよね。見ても何だか分かんないみたいな感じで。
273	佐々木 65歳以上ですか。
274	対象者11 70歳以上。日立支部はすごいよね、あつちは。
275	佐々木 ひたちなかが一番多いです。
276	対象者11 多いですか。
277	佐々木 15枚です。1万5,000円。
278	対象者11 1,000円分を15枚。
279	佐々木 はい。
280	対象者11 いいね。
281	佐々木 そのぐらいあるといいですよ。
282	対象者11 そのぐらいあるとね。日立も多くなったよね。
283	佐々木 12枚になったって言っていましたね。水戸は6枚か。
284	対象者11 ああ、そう。
285	佐々木 大体でいいですけど、9月1か月の患者さんはどのぐらいになるか分かりますか。
286	対象者11 何人来るか。
287	佐々木 そうですね、延べで。
288	対象者11 1日平均6人と考えて、休みの日を入れて、休みの日はそんな取らないんで、25日分で150人ぐらいになるかな。
289	佐々木 そのうち大体7割ぐらいが保険。
290	対象者11 7、8割ぐらいが保険。現金で来る患者さんは1、2割ですね。あとは補助券で、それも数人いる。
291	佐々木 どういう使い方をする人が多いのですか。
292	対象者11 基本的に、1回1枚で使ってくる人が多い。3,200円分で、45分。200円多めにもらっちゃうんですけど、それは1回分ということ。
293	佐々木 その料金を決めるときというのは、45分3,000円というのは何か基準にしたものはありますか。
294	対象者11 そうだね、あれだね、最近流行の2,980円がこの辺にもいっぱいできてるんですよ。
295	佐々木 ああ、やっぱり。

296	対象者11 だから多分、4,000円取っちゃうと高いっていうイメージになっちゃうと思って、2,980円じゃなくて、きりのいい3,000円にして、3,000円1時間じゃできないから、45分単位で休憩も入れて、1時間ずつ回せばちょうどいいかなと思って、3,000円45分でやったんですけど。2,980円の影響が大きいな。看板に「2,980円」と出ているからね。
297	佐々木 確かに、インパクトがありますよね。
298	対象者11 インパクトが高いね。また、混んでいるんだ、結構ね。
299	佐々木 今はどこにでもありますからね、水戸にもあるし。
300	対象者11 あるよね。気軽に立ち寄れそうな感じの所だから、若い人はみんなあそこへ行っちゃうよね。
301	佐々木 ずっと変わっていないんですか、その料金。
302	対象者11 変わってない。最初は1時間3,600円でやっていたんですよ。ちょっと3,600円じゃ安いなと思ったんで、1時間やる場合は3,800円にしよう。それは途中で変えた。でも、3,600円でずっとやっている人には上げていなくて、3,600円のまま。新しく来た人には3,800円。
303	佐々木 じゃあ、今も1時間というのもありなのですか。
304	対象者11 1時間3,800円。45分はちょうどきりがいいので3,000円。長い時間やっていく人もいますけどね、75分とか90分とかやりたいっていう人もい
305	佐々木 そしたらプラスアルファで。
306	対象者11 うん、そしたらその都度プラスで、800円ずつ上がっていく。その辺の金額的な絡みっていうのは、地域によるよね。
307	佐々木 それはやっぱりあるかもしれません。聞いていると大きいですよ、地域性って。
308	対象者11 本来なら、1時間で5,6,000円ぐらい欲しいんだよね。でないと、そんなにお客さんも来ないし、1日、保険をやらなかったら、現金で来るお客さんなんていうのは4人か5人ぐらい、4人来ればいいよね。
309	佐々木 そうですね。
310	対象者11 それで3,000円でやっていたら、1万ちょっとだからね。暮らしていけない。休みの日も入れるとね、何とかギリギリやっていけるかなって感じ。店を自分で持ってやっていたら、1万ぐらいじゃ、ちょっと難しい
311	佐々木 そうですね。
312	対象者11 よほど、ひっきりなしに来ないとね。
313	佐々木 大体でいいんですけど、去年1年の施術料の収入ってどのぐらいです
314	対象者11 収入はね。売上げでですか。
315	佐々木 売上げで。
316	対象者11 売上げで言うと、いろいろあるけど施術だけでいったら、600、700万ぐらいかな。
317	佐々木 それ以外の収入っていうのは。
318	対象者11 それ以外の収入はそんなないんだけど、不動産とか、株とかそういうのだけど、ほかは商品売ったりいろいろ、うちはやっていないから。
319	佐々木 年金はもらっていないんですか。
320	対象者11 年金もらってる。
321	佐々木 障害年金ですか。
322	対象者11 障害年金。微々たるものだけどね。結構大きいわな、あれをもらえているとね。万が一のときは、それだけでギリギリ。
323	佐々木 家族がいると厳しい。
324	対象者11 厳しいですね、それだけじゃね、とてもじゃないけどね。こうやって持ち家があればまだいいけどね。なかったら厳しいだろうね。
325	佐々木 御家族は働いているんですか。
326	対象者11 ばあさんがたまにアルバイトに行くだけ。かみさんもこの仕事を手伝っているし、うちのおやじは定年して家にいるから。
327	佐々木 11さんにかかっている。
328	対象者11 そうそう。
329	佐々木 でも、この田舎でって言っちゃいけないけど、それだけの規模でやれるっていうのはすごいなと思います。
330	対象者11 そうでしょ。田舎じゃなかなか患者さんが来ないから。
331	佐々木 絶対数が少ないですよ。

332	対象者11 少ないし、移動も掛かるしね。田舎だから、もともとマッサージやりたいなんていう人も少ないからね。この間、老人ホームに行ってサービスでやってあげた人なんか、95で「初めてマッサージになんてかかったよ」なんて言われて、何人もいるんだから。「冥土の土産でよかったよ」なん
333	佐々木 受ける経験がそれだけないと。
334	対象者11 ないの。
335	佐々木 すごいな。
336	対象者11 マッサージっていうと贅沢なものなんだろうね。
337	佐々木 自分なんかは受けるもんじゃないって。
338	対象者11 そうそう。よほど腰が痛いだの歩けないだのとなったらかかるけど、普段ちょっと肩が張るとか、腰が痛いぐらいじゃ、かかるもんじゃないっていうような感じなんだよね。贅沢なものだと。近所の人からも変な目
339	佐々木 何やってんだみたいな。
340	対象者11 そうそう。あの母ちゃんは仕事もやらないでマッサージなんか受けてるわ、みたいな感じで見られるのが嫌なんだよね。
341	佐々木 その厳しい中で開業しよう、開業でいけると思ったのは何か。
342	対象者11 開業でいけると思ったのは、保険が使えるからだよ。自費だけじゃ、とてもじゃないけど、この田舎じゃ無理だよね。年金暮らししているおじいちゃん、おばあちゃんが、1回当たりの施術の料金の200円か300円ぐらいだったら、定期的にやってくれるんだろうなと思ったから、保険があったから開業したんで、保険がなければ、こんな所ではとてもじゃないけれども開
343	佐々木 その頃は、保険を使ってマッサージしているのは、ほとんどいなかったんですか。
344	対象者11 周りでですか。
345	佐々木 はい。
346	対象者11 いない。多分、俺が水海道じゃ初めてだと思う。周りの市町村の先生で、晴眼の先生でK先生もいるだろうけど、盲人でやったのは私が初めて
347	佐々木 そういうのも分かった上で開業されたっていうことですか。ここならまだいけるといって、人がいないっていうか。
348	対象者11 ああ、そういうのもあるね。今みたいに、いろいろな業者が入り込んできている状態でやるかと言ったら、ちょっと悩むかもしれない。同意書を書いてくれないでしょう。10年前ぐらいまでは、行けば「書いてあげるよ」っていう先生がまだいたから、これならいけるなと思ったんだよね。今、多分挨拶しに行くところ「うちは、そういうのはできないんだよね」っていう所が多くなっちゃってるから、それでまず凹むかもしれないね。
349	佐々木 最初からやろうとしたときに。
350	対象者11 うん。あとはノウハウだよね。今まで、盲学校でも保険で開業した先生なんてのはいなかったじゃない。
351	佐々木 そうですね。
352	対象者11 どうやっていいのかさっぱり分からなかったから、自分で一生懸命調べてやるしかなかったけど。きちんとノウハウが卒業する前に伝わっていれば、卒業したらすぐにやろうと思うかもしれないけど、今の盲学校では
353	佐々木 そうですね。卒業時には、もう開業することは決めていたのです
354	対象者11 決めてた。けど、やはりいきなりじゃ怖かったから、1回訪問系のマッサージで働いてみて、やり方をちょっと盗んでからやろうかなと思ったから。本当はつくばの訪問系のマッサージで2年ぐらいやろうかなと思ったんだけど、また社長がひどいのよ。
355	佐々木 変な人なんですか。
356	対象者11 うん。障害者を人間として見てくれないと言うかね、適当に扱わ
357	佐々木 道具としか思わない。
358	対象者11 道具だね。結局給料も安くて、丸一日いても1か月で15、6万ぐらいかな。
359	佐々木 厳しいですね。
360	対象者11 バスの時間がないから早く帰りたいと言ったら、「いいよ」って言うからそのまま帰ってたんです。定時の1時間ぐらい前かな、お客さんもいないし、訪問だから施設を回って、3時ぐらいには事務所に帰ってきて、2時間ぐらいボケツとしていただけなんです。お客さんいないならいいですかって言って、バスの時間がなくなっちゃうから1時間ちょっと早く帰ってたのね。そしたら、給料が振り込まれたら、その1時間半分ぐらい全部削ってあるの。で、時給も、その削った分がめちゃくちゃ高く計算されててね、手取り

361	佐々木	ひどいですね、何だそれ。
362	対象者11	削るんだったら前もって言うてくれよっていう感じだよね。
363	佐々木	本当ですね。
364	対象者11	ね、こっちだって生活あるんだからさ。
365	佐々木	削るにしてもすごい。
366	対象者11	すごい削り方だね、給料半分になっちゃうんだからね。そういうやり方されるしさ。向こうは障害者雇用の手当でね、ほぼただ働き同然でやらせてるんだからね。
367	佐々木	本当ですね。でも、1年半はいたんですか。
368	対象者11	うん、1年ちょっとね。話を聞いていると、どこもそうだね。
369	佐々木	そういう話は多いですね。
370	対象者11	無下に扱われちゃう場合が多いね。
371	佐々木	話を聞くと、全然違うことをやっていた経営者が多いですよ。
372	対象者11	金儲けの手段になっちゃってるからね、施術者側に立っていないから。利用者からどっかが痛いとか、何かひどいことされたみたいなことを言われると、マッサージは軽くていいからとか、首はもまないでくれ、足はやらないでくれとか、それを全部の患者さんに対してやらないでくれっていうような話になっちゃったりして、足をもまない、首をもまないじゃ、ど
373	佐々木	とにかく苦情が出ないようにと。
374	対象者11	出ないように。寝たきりのおばあちゃんに少しやってあげて、動かしてあげたりすると喜ぶのにさ、動かすのは絶対に駄目とかさ、けがさせちゃうとまずいとか。動かさないとどうやってやれって言うんだよ。
375	佐々木	全く患者のことを考えていないですね。
376	対象者11	うん。そういう経営者が多いから、その点は問題だね。
377	佐々木	そうですね。
378	対象者11	資格を持っていない人がやるべきじゃないよね。
379	佐々木	今はほとんどそうですね、特にチェーンの所は。
380	対象者11	うん。今、卒業生もチェーンに。
381	佐々木	そうですね、結構行ってますね。
382	対象者11	入っちゃう人が多いでしょ。
383	佐々木	はい。
384	対象者11	大丈夫ですか、その若い子たち。
385	佐々木	やはり、どこに入るかは大きいですよ。ちゃんと面倒を見てくれる人の所に行ければいいですけどね。
386	対象者11	今はどこが多いんですか。
387	佐々木	今はレースかな。
388	対象者11	レースが多いんだ。レースでも、県北のほうでしょ。
389	佐々木	県北です。水戸も人が足りないとは言っているんだけど、なかなかよく分からないです。時給が安いですよ。
390	対象者11	ああ、そうか。時給なんだね。
391	佐々木	時給みたいです、800円とか。
392	対象者11	安いな。その辺の高校生のアルバイトのほうか。
393	佐々木	そう、コンビニのバイトのほうが高いぐらいです。
394	対象者11	高いし、そうしたら運転手のほうが高いんじゃないの。
395	佐々木	結局、運転手も同じぐらいで使っているんだと思いますけど、安いんです。だから、運転手が安すぎてなかなか見付からなかったりするみたいで
396	対象者11	そうですか。運転手でも800円じゃ安いもんね。
397	佐々木	安いですよ。
398	対象者11	こっちのほうでありますか、訪問系の……。
399	佐々木	あいので、竜ヶ崎かな。牛久だったかな、その辺の。
400	対象者11	どのぐらい前の卒業生ですか。
401	佐々木	3年、4年ぐらい前かな。でも、こっちのはいいないですね、常
402	対象者11	ああ、生徒もいないだろうしね。
403	佐々木	今、下館の人がいるけど、彼はまだ1年生、理療科。先生が理療科に入ったときは、少し視力は残っていたんですか。
404	対象者11	残ってたんですよ。だから、盲学校に1人で行けたんですよ、高速バスに乗って。乗り継ぎ、乗り継ぎで。今はできないな。
405	佐々木	目が悪くなったのって、幾つぐらいだったんですか。
406	対象者11	病気になり始めたの。

407	佐々木 はい。
408	対象者11 23のとき。
409	佐々木 じゃあ、大学を卒業して。
410	対象者11 会社に入って、すぐぐらい。で、筑波大の近くの眼科に行ったんだけど、これはうちでは診られないので筑波大に行ってくださいと言われて、すぐに筑波大に行って、そのときも先生自体は分かっていたんだと思うけど、確定させるまでに1年ぐらい掛かったね。いろいろ検査して、教授会が何かで話し合って、ようやく病名が決まったんだよなって言われて、ベー
411	それからだから、前の仕事を辞める33までの10年間かな、働いて。で、辞めて1年ぐらいボケツとして、盲学校に入ったのが34か、35か。
412	佐々木 盲学校を知るきっかけがあったというか、何で知ったんですか。
413	対象者11 盲学校は、こういうマッサージの仕事しかないだろうなと思って、最初はね、ちょっと調べて、その筑波技術大学に行ったんです。そして、フジイ先生だったかな、お会いしているいろいろ聞いたんだけど、3年間勉強すればいいところを4年間やらなくちゃいけないよというのと、「学費が掛かりますよ」って言われちゃったの、大学だから。補助とか何とか、そういうのはないんですかって聞いたたら、「ないです」って言われたから、これは大変だなと思って、ほかの所はないかなと思って、塩原を見に行っただ。塩原を見に行ったら設備も古くて、ここから通うの大変だなと思って。温泉があるのはいいけど、周りに何もなし、これで3年間やるのは大変だなと思って、水戸にもあるよっていう話を聞いたんで、水戸にも最後に行って、水戸はお金は掛からないけど試験があるからと思ったんだけど、何とかギリ
414	佐々木 マッサージしかないと思ったのは、自分で調べてですか。やるとしたらそれしかない。
415	対象者11 どうだったかな。何かしなくちゃいけないというふうに思ってたね、仕事を辞めてから。漠然としたイメージで、盲人で、あん摩マッサージなんだろうなと思って。ほかにも仕事はないかなと思ったんだけど、技術大学に行ったときに、あん摩マッサージ以外の科が、何だっけ。
416	佐々木 理学療法と情報です。
417	対象者11 そうそう、情報。情報っていつでも何ができるのだろうと思ってね。パソコンを駆使してやっているって言ってたけど、見えている状態でもパソコンを打つのが大変なのに、見えないで仕事となると、結構難しいだろうなと思って。あと、電話交換手とか、そんな話があったけど、電話交換手も今時な、盲人を使う会社なんてないだろうなと思って。結局、この仕事しかないのかなと思ったからなんだろうね。技術大学に行ったのが、最終的に
418	佐々木 勉強を始めるときには、これでやるしかないっていうような決意があったってことですか。
419	対象者11 でしょうね。
420	佐々木 前の仕事って、もう限界だっていう意識があって。
421	対象者11 前の仕事はね、そう。住宅と不動産だったんだけど、見えてないと案内もできないし、重要事項説明、契約をするときにお客さんに対して説明をするんだけど、その説明だってできないしね。現況はこうですよ、ああですよとか、杭の位置とか、そういうのはやっぱり見えてないとね、確認できないから。ただ事務所にいるだけで、座っていてね、パソコン打つだけならできるけど、不動産業っていうのはそうじゃないから。現場に行ってお客さんと打合せしてやらなくちゃならない仕事だったんで、ちょっと見えてないと無理かな、難しいかなっていうふうに。上司にも言われちゃったしね。
422	佐々木 辞めたときから、1年間、次にやることを考えて、1年で結論が出たというか。
423	対象者11 そうだね。ちょうど時期的によかったんじゃないかな、ちょうど盲学校の入試が3月だっけ。俺が盲学校に行ったのが正月前だったの、12月ぐらい。願書出さないともう間に合わないよみたいなことを言われて、行って、その次の日か1週間ぐらいのうちに写真を撮ってきて、すぐに送ったんだよね。勉強をどんなふうにすればいいんですかって聞いたたら、高校入学ぐらいのあれかななんて言われて、数学とか理科とか勉強しなくちゃならないのって、参考書を買って行ったのが正月だったから、タイミングがよかった
424	その願書を受け付けてもらえなかったら、また来年でしょ。1年間棒に振ったからね。
425	佐々木 入って3年間。あん摩マッサージ指圧の免許を取ったのは、何回目の国家試験だったかは覚えてますか。

426	対象者11	覚えてない。何回だったかな。
427	佐々木	10回にはなっていないですよ、今が26回だと思っただけでも。
428	対象者11	今が26回。過去間で結構やったような気がするんだよね。10年分ぐらいやったような気がするんだよね、10何回。
429	佐々木	15、6回かな。
430	対象者11	正確には分からない。
431	佐々木	大丈夫です。ちなみに、お年は幾つなんですか。
432	対象者11	45。先生は幾つ。
433	佐々木	36。
434	対象者11	おお、まだまだですね。
435	佐々木	あの頃は若かった。
436	対象者11	今でも若いですよ、大丈夫ですよ。
437	佐々木	今後のことで、施術所をこうしていきたいとか、夢、目標があったら教えてください。
438	対象者11	施術所として持てればいいですよ。今は自宅の中なので、施術所として独立して、駐車場付きで持てればいいなと思うけど。あとは、できれば、本当はこれから後輩の人を育てていきたいなと思うんだけどね、なかなか今の現状だと人を雇って給料を払えるほど、そこまではいかないから。患者さんがもっといればいいんだけどね。なかなか田舎だと限界があるね。
439	佐々木	本当は、つくばとか守谷とかにお店を出してやれば、1人か2人ぐらい雇って、一緒にできると思うんだけど、現状だと、この常総市では難しい
440	佐々木	ここから守谷って、16キロ越えちゃうんですか。
441	対象者11	ここから守谷までだと、16キロを越える所と越えない所があるけど、行けないことはない。ただ、範囲が広くなっちゃうね。今やっている一番遠い所で8キロぐらいだから。
442	佐々木	じゃあ、基本的に常総市内ですね。
443	対象者11	常総市内でもやっぱり広いからね。端のほうまで行くと、行って帰ってくるだけで1時間掛かるからね。
444	佐々木	そんな広いんですね。
445	対象者11	片道30分ぐらい掛かる所もあるから、そんな所だと効率が悪くなっちゃうんで。
446	佐々木	難しいですね。効率と往療料の兼ね合いが。
447	対象者11	はい。午前中に遠い所を1人やって、近場を1人が2人がやって、午後にもまた反対側の遠いほうに行って、近場をちょこちょこ帰ってくるとか。
448	佐々木	その順番というのは、先生が考えるんですか、その日の。まあ、相手の都合もありますか。
449	対象者11	そう、相手の都合もあるんだけど、やはり往療料を取れないと話にならないんで、取れるように工夫しながら、この患者さんは1日フリーだなとか、この患者さんは午後しか駄目だなとかっていうのを、うまく頭の中で考えながら順番は決めています。
450	佐々木	今まで、すごく印象的な患者さんとか施術があったら教えてほしいのですが。
451	対象者11	今もそつなんだけど、ずっと長くかかってくる患者さんは信頼関係ができていて、何でも話してくれるから、家族みたいな感じだね。亡くなるギリギリまで施術を受けてくれている患者さんは何人もいるけど、印象に残るね。施術して、次の日に亡くなっちゃった患者さんもいるからね。危ないなと思ったんだけど、やってほしいっていうから、やりに行ったら、次の日かその次の日ぐらいに電話が掛かってきて、亡くなっちゃったよなんていうものもあるし。
452	佐々木	そこまで呼んでもらえるっていうのは。
453	対象者11	有り難いことだね。本当にやっててね、気持ちいいとか、助かったよっていうふうに言われると、うれしいね。
454	佐々木	目が見えなくなったから、そうでないとやっていない仕事だと思うんですけど、この仕事をやっていての満足度を聞きたいんですけど、まあまあというのを50%だとすると、どのぐらいでしょうか。
455	対象者11	精一杯やってるけど、満足度でいったら75%ぐらいかな。もうちょっといきたいね。
456	佐々木	話を聞いていて、もうちょっといくのかなと思ったんだけど、まだ目指すところがあるということですか。
457	対象者11	そうですね。目指すところはちょっと高めにね。

458	佐々木	収入に対してはどうですか、収入に対する満足度としては。
459	対象者11	収入に対する満足度としては、もうちょっと高くて85ぐらいまでいかな。この障害を持った状態で、これだけであれば、この田舎だしね。合格かなと思うよね。できれば、この年だから、周りの友だちを聞いている
460	佐々木	ちなみに、手帳は何級なんですか。
461	対象者11	1種1級。もう全盲になっちゃったから。
462	佐々木	光ぐらいですか。
463	対象者11	光もない。光覚もない。先生も全然見えないんだよね。
464	佐々木	そうなんですよ。
465	対象者11	よく歩けるね、1人で。
466	佐々木	いやー、きっと人が。
467	対象者11	いやいや、感心するよ。俺、まだ1人じゃ行けないもん、知らない所。全鍼師会の会合だって行けないもん。この間、福祉会館で鍼灸祭りがあったんだけど、こっちのアカツカのほうだったら行けるんだけど、向こう
468	佐々木	確かに、ちょっと行きづらいですね。バスが。
469	対象者11	うん、バスもね。でも、ああいう所でも行っちゃうんでしょ、佐々木先生は。
470	佐々木	知ってれば。あとは人がいればいいんですけどね。一番困るのは聞く人がいないっていう。だから、ちょっと田舎は困るんですけど。
471	対象者11	福祉会館の辺りもないもんね。
472	佐々木	いないんですけど、あそこはバスを降りてすぐだから、まだいいんですけど。
473	対象者11	長くなっちゃいましたが、ありがとうございました。

対象： 訪問日 2017/10/30(月)
インタビュー時間 77分

1	佐々木	こちらの施術所を始められてどのくらいになりますか。
2	対象者12	平成8年の9月。もう20年、21年になる。22年目に入りました。
3	佐々木	初めからこの場所でされていたんですか。
4	対象者12	そうです。盲学校を卒業してから、卒業と同時に着工して。
5	佐々木	開業されるためにこちらを立てられたんですね。
6	対象者12	そうです。隣が自宅で、もともと農家なんで土地はあって。
7	佐々木	先生が20年以上施術を続けてこられて、充実感だとか、やりがいを感じることはどのようなことですか。
8	対象者12	いつも後悔ですね。あの時、今のこれができるたら良かったんじゃないか。あの時なんでこれができなかったのかって言う後悔。後悔ばかりですね。仕事に関しては充実していると思うんですけど。あの時どうしてこれが分からなかったのかってことが多いです。
9	佐々木	患者さんによって違うとは思いますが、施術の流れなどは決まっていたりするんですか。
10	対象者12	大まかには。気を送って、気の調整が終わってからマッサージをしています。あと鍼を進める場合とお灸は全然やらないですけど。メインは気を送ってからのあん摩ですね。
11	佐々木	施術に気を取り入れられるようになったのは開業当初からなんでしょうか。
12	対象者12	徐々に目覚めてきたみたいな感じですね。
13	佐々木	気を扱えているという実感したのはいつぐらいからになりますか。
14	対象者12	うーん、始まった頃からリングをしていて、そのリングの感覚を気で確認して。始まったときから徐々に感じてですね。
15	佐々木	実際に気を調整する時間はどのくらいになりますか。
16	対象者12	所要時間。短い肩だと10分、長い方だと、病名がつくような症状の重い方だと初診で4・50分かかります。それは様々ですね病態に応じて。その後にあん摩を3・40分。できればトータル1時間で終わりにしようとしてるんですが、初診の患者さんと1時間20分ぐらい、場合によっては1時間半ぐらい。
17	佐々木	そのようなご自身の施術スタイルを確立されていて、人気があるとお聞きしているんですが、患者さんは初めから結構いらしていたんですか。
18	対象者12	どういうあれか、最初から付いてくれましたね。まあ、コンスタントに患者さんの数が伸びてきましたので。始まった当初でも月に7・80人ぐらい。少ない時はもうちょっと少ないけど、平均7・80人ぐらいやっていますので。極端に落ちたとか、そういうのはないですね。
19	佐々木	施術の中で気の調整とあん摩施術どちらをより重視しているとかとすることはあるんでしょうか。
20	対象者12	患者さんにもよりますが。その状態に合わせて。揉むことのできない方もいらっしゃると思いますので、その方は気功だけで。
21	佐々木	患者さんはどのような訴えをされる方が多いですか。
22	対象者12	さまざまですね、それは。あらゆるものがありますね。極端なこと言えば、子供さんが風邪引いたって言うのから、そういうのからアトピーとか。子供さんとかは触ることは一切できないので、気功だけ。
23	佐々木	アトピーなんかも対象になるんですね。
24	対象者12	そうですね。何が原因でアトピーになってるかで、気の流れで調整しようとしてますね。
25	佐々木	施術を行う際に大切にされていることは何ですか。
26	対象者12	いかに信頼関係を持っていただけか。その当たりの言葉とか、雰囲気とか、そういうのには気を遣ってますね。技術面はともかくそういうのをまず。オープンになっていただかないと、気功って自分の場合できないんですよ。一般的に行われている外気功ではなくて、外気功ではあるんだけど内気功をしていますから。体内を巡ってくるので患者さんにブロックされるとそれ以上は入れなかったり、気功なんて全然信じらんないよって人は見えてこないし。どこでどういう風に繋がれるかって言うのが大事なところでは。
27	佐々木	患者さんが心を開いてくれたかどうかと言うのは、先生の方で分かるんですか。

28	対象者12 そうですね。体の中には入れるか、全然邪気が見えないかそういうことですね。その人がこういう体調で、こんな症状があると言っても全然見えなかったりすると。オープンになってないのでは入れない。
29	佐々木 患者さん自身も気を自覚されたりするんですか。
30	対象者12 されたりされなかったりさまざまですね。こちらの気を感じて、こうなってますっておっしゃる人もいるし。何にも分かりませんって言う人もいるし。人によって違いますね。
31	佐々木 施術で工夫されていることはありますか。
32	対象者12 私気功とかに関しても何もマニュアルとかも持ってないんで。すべて患者さんに習ってきたって感じですね。
33	佐々木 先ほど患者さんと信頼関係を作ることを大事にしてるっておっしゃってましたが、視覚障害があると相手の表情とかは分からないため、声の調子とか内容でさまざまなことを判断していくことになりますか。
34	対象者12 そうですね。患者さんが治療室に入ってくる足音とか。まず耳で確認して、その次に会話で確認して。それからゆっくり入っていく。患者さんが肩が痛い、腰が痛いって訴えてきますよね。そのとき自分の調子の悪いところは確かに表現してくれるんですけど、ぼろっと簡単なことお話しすることがあるんですよ。そういうのを無視しちゃうと肝心なところが抜けてしまうみたい。実はそっちに原因があって、そちらを改善しないと改善できないなんてのがあるので。力を入れないで患者さんが軽く話すような言葉をしっかり聞こうという心がけはしてますね。案外患者さん自身が気づいてない、だけどぼろっとでる、それがけっこう大事なところありますので。
35	佐々木 この施術所の経営はお一人でされているんですか。
36	対象者12 はい。そうです。
37	佐々木 施術所を経営していく中で不便さは感じていらっしゃいませんか。
38	対象者12 この中にいる分には。あとは患者さんも私一人だってことで気を遣ってくれますので。誰かいればなんて言ったらいいか、気の使い方も変わってくるんだと思うんですけど。私が見えなくて一人だから、こういうことは無理だろうなってところは分かって、手伝ってくれますね。
39	佐々木 この施術室は広い感じがしますが。
40	対象者12 えーっとね。この受付カウンターまで入れて三十二畳16坪、で、待合室が6坪。待合室は奥が洗面トイレになっていますけど。まあ、玄関ホールまで入れて。ベッドは3台。4台おけるスペースはあるんですけど、一番奥だけは荷物置き場になっちゃってんですが。
41	佐々木 開業に会わせてここを立てられたってことでしたが、開業されるってことは学校にいたときから決めてらしたんですか。
42	対象者12 そうです。年も年でしたから。それで中途失明なので独り歩きって言うのがなかなか難しくて。他に勉強に以降って気はなかなか。まあ、中途半端な年齢で失明したので。中途半端っていうのはおかしいかも知れませんが50とか60だったら、もうそれであきらめて年金暮らしに使用と思ったんですけど。30後半で前の仕事を辞めたので、ちょっと今から遊んでるわけにも行かないので、最低でも食べるだけって気持ちで始まったんですけど。その食べるために、じゃあってことだったんです。
43	佐々木 学校に入学されたのはおいくつの時だったんですか。
44	対象者12 39で入学して卒業の時で42で。現在は63歳です。
45	佐々木 こちらの施術所を立てるに当たっての資金は、それまでの蓄えでまかなわれたんですか。
46	対象者12 一部だけで。生命保険なんかを解約したりして頭金を作って8割ぐらいはローンですね。野望はありましたので。だけど最初の考えと、徐々に自分の治療体型が変わってきたので。一人でするようになってしまったんですけどね。できたら、軌道に乗ったら何人かで、こうしてみたいのはあったんですけども。自分が気功の方にどんどん進むにつれて。あの、気功をしてスタッフに揉む、鍼を任せて、自分は気功だけをしようかなって、最初計画したんですけども。それが途中で断念したのは患者さんが揉んでくれないなら来ないよって。違う人に揉んでもらうなら他で揉んでもらっても同じなんで。って言うことを言われてしょうがないかって気功だけでスタッフ
47	佐々木 そのようなことがあったのはいつぐらい何ですか。
48	対象者12 開業して数年して。大まかですけど、そういう声が聞こえるようになったのは。

49	佐々木	経営について何か勉強されたりしたことはありますか。
50	対象者12	全然ないんです。
51	佐々木	特に経営面で意識されていることはありませんか。
52	対象者12	ないですね。オープン当初はこの周辺にチラシを配ったりだとか、しましたけど。今は待合室にこの周辺の案内図を置いて、そこに電話番号と住所を一緒にあるのを。それを患者さんが持って行って配ってくれる。来てくれた患者さんがリピーター担って先先広げていく。ほとんどが一元の方はいいんです。すべて紹介で。だから、気功ってなんだとか、何やるんだとかクエスチョンマークを抱いてくる方は今はいません。その人がこういう治療を受けて、こういう状態になったので、もしかしたら合うかも知れないから行ってみなよっていう。そのために、PRのためにうち周辺の略図。ほんとタクシーで来られちゃうと分かんないと思うんですが、田舎で説明しにくい場所なんです。ど田舎で。で、地図があつて。今は車のカーナビとかスマホもナビとかあるんで前ほどでは無くなりましたが。最初始まった当初はFAX送って欲しいとか。20年前ですね。それがいつの間にかFAXの必要性がない。逆にFAXがあるとコマーシャルメッセージばかり送られてくるようになって。売り込みでいろいろ来ますんで、うっとうしくて、来ても見えないしいらないし。5・6年？7・8年だったかな、使ったらFAX壊
53	佐々木	この周辺っていうのは住宅街なんでしょうか。
54	対象者12	いや、農村地帯。住宅とか、人口の多いところに出たかったけども予算がない。だから親の土地をもらって、農地を宅地に変えて治療室を作った。だから土地そのものは広いので、建物の資金だけあれば、いくらでも広く作れたんですけどね。たまたま見えているうちに、ここに自宅を建てたので、その続きに家に並べて、連結して作ったんですけどね。
55	佐々木	患者さんはお近くの方が多いいんでしょうか。
56	対象者12	そうですね口コミですから。遠い人もいますね。茨城をくるんだ周囲の県の方は来てますね。福島、栃木、千葉、埼玉、東京、神奈川。今来られている方で一番遠いのは静岡。こちらから移動になって遠くから来てる方っていうと、たまに九州とかね。島根とか、そういう方もいますけど。だいたいコンスタントっていうと神奈川県まで。だから、逆に田舎なので気功ってなんだと。気功なんかするなら早くもめよ。そういう人たちが多いので逆にドーナツ現象が起きて周囲の方は少ないんですよ。その周囲で、水戸ですとか、つくばとか、小山とか、宇都宮とか、都市部の患者さんが圧倒
57	佐々木	患者さんは定期的に来られる方も多いいんですか。
58	対象者12	ある程度リピーターになってきてくれている方もいるし、数回来て終わりになる方。1回で終わりの方もいます。
59	佐々木	標準的な施術料はいくらになりますか。
60	対象者12	一律4000円です。まあ、子供さんは気功だけなので2000円の方もいれば、気功の時間が長いと揉むのと同じように4000円いただく方と、その患者さんによってですね。
61	佐々木	鍼は行ってらっしゃるのですか。
62	対象者12	鍼は当初はしてたんですけど、今は月に一人とか。従来勉強したとおりに鍼はしてたんですけど患者さんの体に氣を送って、どういう鍼が必要ですかって聞いて。場所を決めて鍼を刺してました。治療しているうちにだんだん鍼の患者さんが居なくなっちゃったんです。今は患者さんの要求があつて、そして私が氣を送って。凝ってるところとか、触った感触でももちろん針は刺せるけど、氣を送ってここに必要性のあるところっていうのは分からないですって言うと、じゃあいいですって。こういうところに、こういう氣を送ると、鍼が効果的な反応がありますねって言うと。一瞬迷って鍼の好きな患者さんは「はい」って。鍼があんまり経験のない人は自重するときには、やめておきましょうね、揉むだけにしましょうねっていつて。無理押
63	佐々木	鍼の施術をされた場合はいくらになるんでしょうか。
64	対象者12	それでも4000円。あん摩と区別しないでやる。だから所要時間の中であん摩の時間が短くなる。本来であれば鍼代ぐらい、ちょっと乗せてもいいかなって思うんですけど。区別しちゃうとめんどくさくて。4000円って言うのが高いのか安いのか。
65	佐々木	4000円って言う施術料金は開業当初から何でしょうか。

66	対象者12	そうです。一律4000円。一律って言うのはおかしいけど。あん摩だけの人とあん摩、鍼だけの人区別せずに4000円で。そこに徐々に、徐々に気が入ってきたと言うことですけどね。
67	佐々木	施術料の値上げなどは考えられたことはございませんか。
68	対象者12	考えてます。だけれども上げたら大変なんだろう何だろうなあって人もいますから逆に4000で申しわけないっておつりいらないって5000円札置いていってくれる人もいますが。まあ、まれですけどね。本当のところ5・6000円ぐらいもらってもいいのかなあとは思ってますが。なんかのタイミングが合わないと言われてられない。だいたい1か月通してくるだけの患者さんが来るだけなんです。これがもっともっと忙しくなるようであれば、その時には値上げしてもいいのかなあって思って。今より患者さんの数が倍
69	佐々木	今は予約制で施術をされてるんですか。
70	対象者12	完全予約制。突然来られても見られません。
71	佐々木	そうすると1日に最大で何人の患者さんを取られるんですか。
72	対象者12	6人。1時間なるべく終わろうとしてるんですけど。1時間だと次の患者さんとぎりぎりになっちゃうんで、インターバルをとるために1時間半で患者さんを診てますので。午前中二人、午後4人の6人が自分の時間配分としては。だいたい1時間で終わりにしようって言う時間配分にはしてるんですけどね。でないと、終わった後患者さんがお茶飲んだり、トイレ行ったり、
73	佐々木	患者さん同士が重ならないようになっているんですね。
74	対象者12	なるべく。
75	佐々木	患者さんは電話で予約をされるんでしょうか。
76	対象者12	そうです。空いてれば来月の何日空いてますよって言って、そこに入ってくれる方もいますけども。95%以上はだいたい電話ですね。
77	佐々木	その予約の管理などはどのようにされているんですか。
78	対象者12	すべて私がしてます。毎月16日の日が、来月の予約の開始の日なんです。6日の午前中はもう殺到しちゃうので治療はしないで、電話だけ受けるだけにしていって、昼間から電話の数は少なくなるので。午後からは治療はするんですけど。ごめんね、多少電話くるけどって言って。予約内容は点字タイプライターでメモをとって、合間合間にノートに写しながら。
79	佐々木	患者さんについてカルテのようなものは作ってらっしゃるんでしょうか。
80	対象者12	はい。名前と、紹介者名と、電話、住所、その人の生年月日、簡単ですけど、その人の身長、体重、血圧。それだけ一応聞かせてもらって主訴、今どこが調子悪いか、既往歴を聞いて。服薬何を飲んでるかを聞いて。それだけ初心の時は聞いてますね。それで変更があった時には追加するみた
81	佐々木	1日6人の枠のうち、平均でどの程度埋まるものんでしょうか。
82	対象者12	私のところ？まあ、ほぼ100%。今現在で、来月11月で空いているのは5枠。今空いてるのは。それも後半だけ5枠ぐらい空いている。たぶんこれから来た方がだいたい入るのかな。って感じです。でも、突然のキャンセルって言うのはありますからね。だから多い時には月5枠ぐらい空くときもありますけどね。少なくとも2・3回はドタキャンがりますので。日にち間違えちゃったとか。寝すぎちゃって時間に間に合わないとか。
83	佐々木	施術所のお休みは月曜日のみなんですか。
84	対象者12	月曜日と祝日だけでも、なんか祝日に依頼があると私の用事がなければ開けちゃうの方が多いんですけどね。で、祝日が土日と重なるときには、極力土日を希望される方が多いので祝日でも休めない。で、月曜日は完全に休んでるんですけど。なので月の営業日は25日ぐらいになりますか。月曜日でも、第1月曜日はここでゼロの会って言うのがあって、多い時には10人、少ない時には4・5人ぐらい集まってワイワイとお茶飲み会をしてるんですけど。原則としてはうちの患者さんであって。
85	佐々木	一月当たりの患者さんの数はどのぐらいになりますか。
86	対象者12	多い時で150人。その月の予約の入り具合。だからさわやかな時期とか、疲れやすい時とか。電話が集中するし。だいたい予約を開始した日に120から130の枠は埋まっちゃうんですけど。
87	佐々木	患者さんの中で定期的にいらしている方はどのぐらいいらっしゃいますか。
88	対象者12	まあ、半分ぐらいの方はリピーターですね。半分じゃ効かないかもしれないですね、6割ぐらい。6・7割。完全なるリピーターって言うのが半分。まあまあっていうリピーターが4分の1ぐらいで、7割以上はリピーターです。75%ぐらいはリピーターだと思います。

89	佐々木 定期的にいらっしゃる患者さんは、こちらにいらっしゃる頻度としては月に1回程度でしょうか。
90	対象者12 病名の付いた方は月4回までいいですよって。病名のない方は月2回までにしてくださいってお願いはしてるんですけど。
91	佐々木 病名の付いている方って言うのは、医師に診断を受けているということでしょうか。
92	対象者12 そうです。そのような方は月4回で、肩こりとかの人は月2回、2週に1回までにしてくださいって。患者さんによっては電話かけてきたときに日曜の午後全部くくださいって言うような人もいますので、2回までにしてください
93	佐々木 病名の付いている方というのは、整形外科領域のものが多くいんでしょうか。
94	対象者12 整形外科というよりは内科的なもの。
95	佐々木 やはり病名の付いている患者さんと健康な方では気の流れは違うわけなんですよ。
96	対象者12 そうですね。それは個人差があるので何とも。
97	佐々木 先生は毎月それだけの人を気功で治療されているので、ご自身の体調管理にも注意を払ってらっしゃるんでしょうね。
98	対象者12 そうですね。自分自身を引き出して、自分自身に毎日気功の調整はしてますね。自分の体に対して。患者さんと同じようなマイナス要因があると、それが引き出されてしまうので。逆に患者さんと同じようなものがあって自分の隠れている者が引き出されたら、それがいい治療のチャンスとして、自分の中で治療して。隠れているものを調整して。それがきれいに、クリーンになれば次同じ患者さんを診ても、自分のところを通り抜けて壁にならないでぶつからないから自分も楽になってくるというのはあると思うんですけどね。患者さんの気は通り抜けていかないよね。でも私は患者さんの中をめぐって、内気功なので一度患者さんの気をすべて受けるので。受けて、それで滞ってるところを調整しようとするので。患者さんのマイナスの
99	佐々木 自分の体に残ってしまうということで、次の患者さんへの影響はないんでしょうか。
100	対象者12 まあ、10分、15分経てば、重篤な方以外でしたら私の中に残らないのと。あと、このベッド3台置いているのは同じベッドは使わない。ベッドにはある程度前の患者さんの情報が残ってしまうので。3台を順繰りに回して使ってるっていうか。
101	佐々木 ものにも残るんですね。
102	対象者12 そうですね。情報は残ります。重篤な方ほど残りますね。
103	佐々木 的外れな質問かもしれませんが、気功をされるのと、あん摩の施術をされるのでは先生の疲労度は違いますか。
104	対象者12 患者さん次第ですね。患者さんの気を流すのがうまくいけば、その後揉むのもそんなに疲れないし。気の流れが悪いと、肉体に残る情報も強いので。どちらが疲れるとかはなくて、同じぐらいですね。
105	佐々木 昨年1年間の施術料収入はどのくらいになりますか。
106	対象者12 税務署に届けてるのは400万ぐらいです。あとはいろいろな経費で落として。
107	佐々木 先生は施術料以外の収入はありますか。
108	対象者12 ありません。それだけです。年金とか、そういうのは入ってきます
109	佐々木 先生はもともととは違うお仕事をされていたんですね。
110	対象者12 いろいろしてきました。
111	佐々木 何か気功と関係のあるようなことをされていたりしたんですか。

112	対象者12 関係あるかもしれない。直接気功って言うのではないですけど。集中する仕事はしてました。目と耳と鼻と指が一体にならないとできないような加工の仕事をしてましたもしかすると気候を扱えるようになった基盤かも。はっきりとは。もしかすると多少訓練が始まってたかなあ。極端なことを言えば大根で作ったナイフで大根を切るようなことをやってた。極端な話。料理ではないですが、金属加工です。同じようなもので同じような金属を切ってた。同じ材質のもので。それで目と鼻と耳と指先の感覚で、歯を送るスピード。切れている音と、切れるときに発する臭いと、目で見る切りくずがどう飛んでるか。あと全部見指先で送るスピードとか、そういうの一致しないとすぐ歯がパーンと飛んで行っちゃうんで、じゃなかったら、その部分が焼けて火を噴いちゃう。そうするとそこはパーになっちゃうので。切り口が鏡みたいになるように切っていけないと。そういう仕事を10何年かしてました。金属の色を変えないように加工してたので、ちょっとするとあつという間に変色しちゃうので。ステンレスの加工をしてたんですけど。最初から鏡になってるとか、大理石の模様が入ってるとかっていうので。今は技術が進んでるのでレーザーで全然焼けずにピューっと切れちゃうんですけど、当時はレーザーの走りのところでレーザーで切ると焼き目がついちゃう、表面がパーになっちゃうので。単純な機械で加工するしかなかったのだからそれを捜査してました。なぜそういう仕事をしたのかって言うと、もともと色変でしたから。だから暗くなると動けなかったのだから自分の家で、そういう仕事
113	佐々木 色変であることはだいぶ前からご自身でも分かっていたんでしょう
114	対象者12 もう子供のころから。だから気が付いた時から夜盲は始まっていたので。
115	佐々木 今の視力はどの程度なんですか。
116	対象者12 光覚もありません。
117	佐々木 盲学校を選ばれたのは何かきっかけがあったんでしょうか。
118	対象者12 食べるためです。
119	佐々木 盲学校の存在はもともと知ってらしたんですか。
120	対象者12 あることは知ってましたけど、内容までは分からなくて。1か月ぐらいでカルチャーショックを受けました、盲学校で。それまでは暗い、陰湿的な、冷たい世界だと勝手に思っていました。それが4月の後半ぐらいの時にのんびり通路を歩いて帰ろうって思ったら、体育館から子供たちが鬼ごっこ。鬼ごっこしてるんですよ。それでわあーにぎやかだなんて思って、体育館の中を。その頃はある程度視力もあって通学だったので。ちらっと中を見るだけ見たんですよ。子供たちだけだと思ったら、体育館の中に体育の女の先生がいると知らなくて、子供たちと同じように奇声を上げて走り回って。一緒にやろうよって。やろうよって言っても、って見るだけって見たんだけど。ねえ、こんなに走ってんだって。壁のところに来ても、とんとノックして、どんとはぶつからないでいろんな方向に走り回ってんだって。この中で弱視は一人であと3・4人は全盲ですからねって。全盲だけ一人として体育館の中で壁にぶつからないでしょって、ほんで奇声あげて喜んで鬼ごっこしている。何この明るさは！その明るさに自分の思ってた世界とは全く違う。それからなんか自分が明るくなった。というのと、もう一つは最後の頃ずいぶん視力が落ちて自分一人で必死になって行動してたんだけど、危ないって見てたらしいのね。あほな話ですけど。それで自分が白杖を使いなさいって言われて、白杖を持つようになったら周りの人が手を貸すことができるようになって良かったって。それまでは見えないのに必死になって行動してる時は、危ない危ないって思ってもどのタイミングでサポートしたらいいか声掛けらんなかったけど。白杖を持つようになって声をかけられるようになって良かったっていう声を聴くようになった。見えないんだけど、見えるふりをしてた。周りと同じように行動しなくちゃって思って。そういうのが周りには危なかった。盲学校に入ってああいう出来事が2週間とか3週間後に起きなくちゃ嫌だなあ、どうしようって……。だから寮にも入れなかった
121	佐々木 盲学校の勉強内容はけっこう難しいと思うんですが、すんなり入り込めた感じでしょうか。

122	対象者12 うん、そうですね。きっかけというか、盲学校に入る前の年の夏にから個人的にテレビでオリング検査っていうのをみてたんです。それを通して、そのときテレビに出た方が色変の全盲の方が、視力をオリングで取り戻したって。っていうのをみて自分も出れば違う方向もあるかと思って。夏に無理矢理テレビ局に問い合わせして聞いたら九州の久留米大だってことまでは分かって。電話して予約とったんですけど、あとで連絡しますってことで。12月になってもないんですよ。そしたらテレビで放映になったあと、殺到して新しい患者さんをみられないんですよ。だめだって思っているうちに、たまたまこの近くでオリング学会に入られて、そのオリング治療をしている人がいるよって。たまたま聞いて。で、九州まで行かなくてもこの近くにそういう治療している人がいるんだってことで。通い始めて、いろいろそのオリングで。薬の適合とか、食べちゃいけないものとか、負担になるものとか。そういうのをより分けながら見て、それで4月に盲学校の方に入校したので。そのときに、ほんとはオリング学会には鍼灸師じゃなければ入れない、学会に。たまたまその先生がフォローしてくれて必ず鍼灸師になるからって特枠で、そのオリングの会員になれるようにって手続きしてくれて。オリング学会の会員になって、通ったんです。そういうのもいろんなところで鍼灸師ばかりじゃなくてお医者さんだの、歯医者さんだのようになって。話を聞いている中で私は医学の知識がないので、勉強のきっかけになったかも知れませんが。なかなか覚え悪かったけども、苦にはならなかったですね。入学前からオリングとの出会いがあったので、かえってそういうことには興味があった。オリング学会なんかに出る中でいろんな話を聞いて、それが言ってたところかとかね。いろんなところで見えない力が働いてサポートしてもらって。そのときに知り合った先生方とは今でもあって。そちらが私の知恵袋になって、変に考えるとない頭だと間違えるから。
123	佐々木 その際はどのような話題が出るんですか。
124	対象者12 いろいろですね。こんな状況にあるから、こうした方がいいよとか。新しい情報を入れてくれたり。で、気功の世界にも理解のある先生方なので、気功についての世界ではこういうのがありますとか、そう言うアドバイスとか。その先生たちもオリングとかしているのでも西洋、東洋問わず、その西洋医学ではやってるけど、代替医学とか。いろいろ幅広く見てる人たち
125	佐々木 視覚障害があったからこの仕事にたどり着かれたのだと思います
126	対象者12 そうですね。見えてれば趣味もありましたし。それを断念せざるを得なかったって言うのはあります。やらざるを得なかったっていうのはあ
127	佐々木 この仕事を続けてこられて、嫌になってしまったこと、やめたいと思ったことはありますか。
128	対象者12 うん、なったこともありますよ。自分が信じて治療してきたのにもかかわらずそれがうまくいかなくて、患者さんに捨て台詞を言われて去って行かれたり、いろいろですね。私神じゃないんだから全部見えてるわけじゃないんだからって言いたいんだけど、向こうはすべて見えてるんでしょって言わんばかりに来てる方がいるのでね。そういう方がうまくいかないと辛いですね。あとは西洋医学でも限界が来てて、ここになんとか藁をも掴みたいって来てる方が亡くなられたりすると辛いですね。
129	佐々木 今まで施術をされてきて印象に残っている患者さんについて話をしたいだけですか。

130	対象者12 まあ、その病気によっていろいろですけども、癌の患者さんとかね。ステージ4 でどうしようもない方も見えてるので。で、そう言う方は苦しくて、今ここに治療法がないんだってきて、治療されると楽になったって言われたときが一番。治ってるわけじゃないんですけどね。抗がん剤で苦しくてきて、やっと息をつけるようになったとかね。そういうことはたくさんありますね。それだけでも楽にしましょうって。できれば治したいですけど、限界がありますので、そういう方が少しでも楽になれるような。そういう調整はしてるんですけど。癌の患者さんは何人か亡くなられてますから、看取ってって最後まで見てるわけじゃないですけど、本当に最後の最後まで、すぐっていうほど。骨と皮だけになって、骨標本になるんじゃないかって言うぐらいまでやせ細ってまで来てくれてる方が何人もいたの。申しわけないなあって思いつつ、でもがんばろうねって。一縷の望みを捨てずに。まあ、患者さんとトラブって云々ってというのはあんまりないかな。患者さんが気に入らなくなれば、患者さんの方から去って行きますから。クレーム付けるよりは、うちにクレーム付けたって方はいないですね。何人か捨て台詞
131	佐々木 これからのことを伺いたいんですが。
132	対象者12 これまでの延長ですね。だから失礼ですが、患者さんが教材であり、先生なので、今の地天よりもっと先に進んでいかないと治療ができないので。次から次へ今日よりは明日、明日よりはあさってって。どんどん新しい教材が来ますので。それをどういう風に克服したらいいかって言うのが夢ですけども、目指したい。できるのであればあらゆる病気を治したい。
133	佐々木 それは気功だけを用いてということですか。
134	対象者12 いや、あん摩もやって。
135	佐々木 今されているあん摩は学校で習ったものとは違うんでしょうか。
136	対象者12 少しずつ変わっては来てますね。ベースは学校のあん摩ですけど。もみ方としては上向きと、うつぶせと、とあとは座位でって。それで代替。だいたいうつぶせで10分ちよっと、腹臥位で10分ちよっと、それで座位で10分ちよっとで40分ぐらい。そして気功が20分ぐらいで。気功はマニュアルもないし、誰に教えてもらったものでもないの、患者さんが教材であり、先生です。習うことができない代わりに毎日が勉強ですね。
137	佐々木 おいくつぐらいまで施術をされるとかっていうのは考えられてたりしますか。
138	対象者12 肉体が続くかぎり。患者さんからは100歳までって。
139	佐々木 気功について人に伝えるって言うのはやはり難しいんでしょうか。
140	対象者12 やり方ってことですか。同じものを見える方であれば今ここでこういう状態になってるよね、っていうのが分かる方であれば。話は繋がるけど。私が見えてる世界が、内気功で入っていったときにこの辺にこんな形であるのは、これはもしかして癌じゃないとか、ただの潰瘍じゃないのって、そういうのが感じ取れる方であれば自分と一緒に進んで行ければ感じ取れると思うんですけども。ここにこんな黒い塊があるよねっていても、それを分かってもらえる方でないと、私がこういうことをしたから、ここにこうなってるっていうマニュアルがないから。私一代限りだと思います。
141	佐々木 気功で具体的に体の中が見えるんですか。
142	対象者12 エネルギーですね。映像化はできないですけど、エネルギーですね。アウトラインを引くと、このぐらいの大きさで、イメージではこのぐらいの大きさで癌なのかってイメージだけですね。イメージのところずーっと抑えてきて、だいたい3センチぐらいかなって。映像では私は見えてない。
143	佐々木 この仕事に対する満足度って言うのは、まあまあっていうのを50%とするとどのくらいになりますか。

144	対象者12 満足度って言われても難しいですね。これでいいのかっていうのは常にありますから。今見えてる世界が、患者さんにとって本当にベストなのかって。見えてるものが完全に確立している訳ではないので。それなりに迷いはある。その日その日調整だけ是可以だけしたよねって言う、そのときの満足はありますが。これでいいのかっていうのは常につきまとしてますから。難しいですね。気の流れを整えるっていうのは患者さんに教えてるだけですね。こういう風な形で改善するといいですよって体に教えてるだけ。患者さんの中の病気を私が治しているわけじゃなくて、あくまで患者さんなので、ここにこういう気のつまりがあっているんで、これをこういう風な形で動かすといいよねって教える。悪いものをもって捨ててるわけじゃないです。神のようにとって捨てられる用であれば、癌を取って捨てちゃえば簡単でいいんですけど。そこまではできないで。100%確率されていないので、少しずつ少しずつ日々変わってきてるので自信がないですね。でも、今
145	佐々木 収入に対する満足度って言うのはいかがでしょうか。
146	対象者12 お金はたくさん入った方が、それはいいんですけど。月末になって、今月これくらい来たから、これくらいかっては思いますけど。日々仕事とお金はあんまり考えてないですよ。
147	佐々木 やはり患者さんとの関係を一番重視されてるということでしょう
148	対象者12 いかにか改善することができるかっての方に私の意識は常に向いてますね。そちらに向いてると、お金は二の次ですから。そりゃ有り余るほどあった方が、贅沢な生活もできるし、欲しいものも買えるし、それでいいんだけど。それだけを意識してるわけじゃないかな。自分の、本当のことを言えば自分の意識はそっちじゃないなあって。結果ですね、お金は。思っちはいますよ、自分の気功がもっともっと強くなれば5000円でも、10000円でもいいんじゃないかって。自分がそこまで治せてるかって、治せるんだったら10000円でも20000円でも、癌の患者さんがねえ1千万でも治れば末期の患者さんなんかでお金持ちを出すと思う。自分の治療をどの辺に持って行ったらいいかって言うのが、お金と一致していないので。自分の治療に満足していないので。できれば1万円でも5千円でもしたいとは思ってるけど。ともなってるかっていうと自信がないで。でも4000円ぐらいないとね、ちょっとはおいしいものも食べたいし、一応必要経費もあるし。けっきょく自己中なんです。本当に患者さんと向き合っているの
	佐々木 先生のそんな風な謙虚な姿勢に患者さんは信頼されているんですね。今日は長時間ありがとうございました。

表8 「対象1」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業	ええ、そもそもの開院っていうのは1974年に一人院として開業したんですが、
営業努力に関すること	新たな取り組み	2001年に、あの一、このように雇用するという形態での開業になったのね。
施術所の経営状況	経営の継続	2001年9月なので、今年は2016年だから、16年になるんだね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	新規一転	名前も変えたし、住所・所在地もね。
施術所と設備に関すること	施術所の建設	場所も変えたんです。
施術所と設備に関すること	ベッド数	それこそ一人院だったので八畳間ぐらいのところにベッドを2台置いて、せまっ苦しいところでやってました。
施術所と設備に関すること	設備	それこそ一人院だったので八畳間ぐらいのところにベッドを2台置いて、せまっ苦しいところでやってました。
施術者としての思い	人生も半ば	私50になるときに、もう50だと！まあ、子供がいなかったもんですから、
施術者としての思い	体力の衰え	50になって子供がいらない。ある意味で、もう将来が見えてきたし、
施術者としての思い	社会への貢献	そういう意味では世の中に貢献することを考えてもいいのかなあと。
施術者としての思い	施術者としての満足感	自分の生活だけは支えられるようになった。
施術所の経営状況	人材育成	この鍼灸マッサージの技術を磨く場所を提供するというようなことを考えてもいいのかなあというようなこと。
施術者としての思い	家族の協力	当時は亡くなっちゃった女房にけつを叩かれまして。
施術所の経営状況	雇用人数	だいたい常時施術スタッフ一人から二人、
施術所の経営状況	最大雇用人数	多くて三人です。ええー、四人いた時期もあった。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	1974年から2001年までは一人院でね。
施術所の経営状況	気楽な経営	一人院で、気楽にやってました。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の意思	そうです。卒業してすぐ。
施術者としての思い	研修	実は東洋はり医学会って今でもあるんですが、当時福島弘道先生が会長で、学生聴講制度って言うのがあったんですよ。
施術者としての思い	開業への自信	それは、初級家庭の皆さんと口座に入って勉強させてもらってるんで経絡治療の基礎を、基礎講座みたいな感じで受けさせてもらって、これならいけるかなって。
施術者としての思い	研修への意欲	それは、初級家庭の皆さんと口座に入って勉強させてもらってるんで経絡治療の基礎を、基礎講座みたいな感じで受けさせてもらって、これならいけるかなって。
施術者としての思い	進路希望	最初はね、福島弘道先生のところに弟子入りをお願いしたんですよ。
施術者としての思い	挫折	でも、競争が激しくて負けちゃって（笑い）。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	周囲からの勧め	でも、独立開業もありだよってみんなから言われて。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の決心	じゃあやっちゃえって。親あたりからさんざん反対されたんですが。ここから歩いて1分、2分の世界の話なんでね。
施術者としての思い	施術者としてのキャリア	施術をするようになって43年になりますね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの言葉	そうだねえ、例えば不妊治療をやったら、赴任外来に行くより鍼灸の方がいいね。
施術内容・方法	患者のためになる施術	何か明るくていいねって言ううちに双子が生まれちゃったりしてね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	何か明るくていいねって言ううちに双子が生まれちゃったりしてね。
施術者としての思い	施術者としての充実感	何か明るくていいねって言ううちに双子が生まれちゃったりしてね。そういう感動みたいなのはあるね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	今でも、その患者さんたまに来てくれてんですけど。
施術者としての思い	施術者としての満足感	今でも、その患者さんたまに来てくれてんですけど。
施術内容・方法	過去の施術方針	補法を中心にした考え方でやってたんですが、
施術内容・方法	施術に対する考え方	陰経の補法という形に変わってます。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	やっぱり患者さんの話をよく聞くことね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	自分、いろんなこと話したいんだけど。
施術者としての思い	施術者としての満足感	やっぱりお話ししやすい環境作り、「先生だからいうんだけど・・・」って言われると、俺環境作りできてるんだって喜びを感じますよね。信頼されている感覚があるからね。施術で患者さんがお話ししやすい環境作りを常に考えている。
施術者としての思い	施術者への信頼	やっぱりお話ししやすい環境作り、「先生だからいうんだけど・・・」って言われると、俺環境作りできてるんだって喜びを感じますよね。信頼されている感覚があるからね。施術で患者さんがお話ししやすい環境作りを常に考えている。

施術者としての思い	施術者としての充実感	やっぱりお話ししやすい環境作り，「先生だからいうんだけど・・・」って言われると，俺環境作りできてるんだって喜びを感じますよね。信頼されている感覚があるからね。施術で患者さんがお話ししやすい環境作りを常に考えている。
施術内容・方法	患者から信頼を得ている自信	やっぱりお話ししやすい環境作り，「先生だからいうんだけど・・・」って言われると，俺環境作りできてるんだって喜びを感じますよね。信頼されている感覚があるからね。施術で患者さんがお話ししやすい環境作りを常に考えている。
施術内容・方法	心がけ	やっぱりお話ししやすい環境作り，「先生だからいうんだけど・・・」って言われると，俺環境作りできてるんだって喜びを感じますよね。信頼されている感覚があるからね。施術で患者さんがお話ししやすい環境作りを常に考えている。
施術者としての思い	患者からのスタッフの指名	指名をするようにしてもらってるんですね。
患者とのコミュニケーションの状況	院長への信頼	あの、鍼灸は院長が9割以上，9割以上が院長指名です。
施術者としての思い	スタッフの仕事	保険の鍼灸に関してはスタッフがやってます。
施術者としての思い	スタッフの仕事	マッサージはスタッフが全部やってます。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	マッサージをやるにあたってそれぞれの指名が9割。
施術内容・方法	ローテーション	フリーで誰でもいいよっていうときには若い先生順に入れていく。
施術者としての思い	新人スタッフの優遇	入社の新しい順にね。
施術内容・方法	患者への配慮	とりあえず痛くない鍼をすること。
施術所と設備に関すること	使用鍼	鍼治療の時は補法にはセイリンの軟鍼って鍼が一番切皮時に痛くないってことなんで。
施術所と設備に関すること	道具への拘り	それで瀉法は銀鍼が適しているっていうんですよ。
施術所と設備に関すること	道具への拘り	そのディスポの銀鍼を買ってきて瀉法には使ってやっています。
施術所と設備に関すること	使用鍼	太さは0番から3番までだね。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	ある意味皮内鍼なんかを一人で張るって言うのは大変なんで。
患者とのコミュニケーションの状況	安心感	今健常者のスタッフがいるから，
施術者としての思い	スタッフの役割	その健常者のスタッフに皮内鍼を張ってもらってるんですが。
施術内容・方法	施術内容	私が皮内鍼を置きますよね。
施術内容・方法	施術の工夫	その下に枕を当てて，その上から・・・。普通はほら，皮内鍼って枕を張って，その横に皮内鍼を指すわけでしょ。
施術者としての思い	スタッフとの信頼関係	私の場合は，スタッフとの暗黙の了解で，
施術内容・方法	施術の工夫	私が鍼を指しましたよ，そこに枕をやって，押さえてねって。
視覚障害の状況	障害の克服	そういう意味での不便っていうのは感じないけど，
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	，一人で皮内鍼を張るって言うのはできないことはないけども，張ろうとすると不便ですね。
施術者としての思い	施術者としてのプライド	一人でできないことはないけど。
施術内容・方法	施術のバリエーション	透熱灸やってますよ。
施術内容・方法	施術のバリエーション	透熱灸もやってるし，灸頭鍼もやってるし知熱灸も・・・，
施術者としての思い	スタッフとの信頼関係	スタッフ任せです。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	取穴を私がしてね。前は長生灸やら，カマヤミニやら，私も含めて視覚障害者が扱うと，エアコンの空気なんかで灰が飛んじゃうんだよね。
施術者としての思い	施術者の支持	それなんでスタッフにもやらせないようにしています。
施術所の経営状況	事務の仕事	受け付けは，まったく免許を持っていないスタッフが事務専用として雇用しています。
施術所の経営状況	事務の仕事	保険のレセプトなんかも事務員がやっています。
現在の施術料収入	保険収入	全体の売り上げの4分の1ぐらいですね。
施術内容・方法	訪問による施術	4分の1ぐらいが訪問も含めた保険の売り上げですね。
現在の施術料収入	保険収入	4分の1ぐらいが訪問も含めた保険の売り上げですね。
施術内容・方法	訪問による施術	往診する際には晴眼のスタッフがやっているんですが，
施術者としての思い	スタッフの役割	もちろん視覚障害者が出かけるときには車を提供してあげて，
施術者としての思い	スタッフの専門性	スタッフE（全盲）も全鍼師会の訪問認定をとっているんで。
施術者としての思い	スタッフの役割	そのスタッフEが治療方針を立てる，文章を作る。
施術者としての思い	スタッフの役割	その方針に基づいてなるべく入社間もないスタッフが行くようにする。
施術者としての思い	スタッフ間のコミュニケーション	それで迷ったりなんかしたら，院の中でカンファレンスみたいなことをしながら先進めてあげる。

施術内容・方法	院長の役割	それで迷ったりなんかしたら、院の中でカンファレンスみたいなことをしながら先進めてあげる。
施術者としての思い	スタッフの役割	原則は入社間もない方に担当してもらうということにしています。
施術者としての思い	スタッフの役割	鍼灸も含めてね。
施術所の経営状況	雇用条件	マッサージのみの人も雇用しています。
施術者としての思い	スタッフの専門性	今うちで勤務しているのはスタッフEとスタッフNは、どちらも鍼灸マッサージ持っているスタッフなんです。
施術所の経営状況	当初の雇用条件	最初は鍼灸もマッサージも持ってた方がいいってことだったんですが、
施術所の経営状況	優秀なあん摩マッサージ師	マッサージだけでも相当優秀な人がいて見たり、逆に三科持っていても何だこりゃって（笑い）。
施術者としての思い	期待外れ	逆に三科持っていても何だこりゃって（笑い）。
施術所の経営状況	スタッフの雇用	あるんですよ、特にうちが2001年に、ここに移って、
施術者としての思い	スタッフの専門性	一人は筑波技術大学で鍼灸マッサージ全部取った、
国家資格の取得	出身学校	一人は筑波技術大学で鍼灸マッサージ全部取った、
施術所の経営状況	雇用条件	一人は筑波技術大学で鍼灸マッサージ全部取った、
国家資格の取得	出身学校	もう一人は平塚盲学校で卒業した人で、
施術者としての思い	スタッフに求める力	これは中学しか出てなくて、
施術者としての思い	スタッフの専門性	要するにその後3年であん摩科だけの資格を取ってきた。
施術所の経営状況	雇用条件	要するにその後3年であん摩科だけの資格を取ってきた。
施術者としての思い	技術力	どっちが上手かって言ったら、その平塚盲の方が上手ですよ。
施術所の経営状況	現状とのギャップ	自分で描いていたものとのギャップは、実際に雇用してみると、思い描いていたようにいかない。
施術所の経営状況	人を雇用することの難しさ	自分で描いていたものとのギャップは、実際に雇用してみると、思い描いていたようにいかない。
施術所の経営状況	スタッフの雇用	スタッフを採用する際には、私が実技を含めて面接をします。
施術所の経営状況	採用条件	よほどじゃないとアウトにはなんないんですが、
施術所の経営状況	採用条件	これはひどすぎるってのはアウトにしますけどね。
施術所の経営状況	最低条件	これはひどすぎるってのはアウトにしますけどね。
施術所の経営状況	スタッフへの還元	スタッフの修業年限が、長くなればなるほど給料をいっぱい上げる。
施術者としての思い	スタッフに求める力	昇給できるような施術者として成長して欲しいし、
施術所の経営状況	雇用条件	成長できないのはうちではダメかなって思ってます。
施術所の経営状況	給料体形	給料の体形は、基本給があって、平たく言えば歩合給っていうようなのがあってって感じなんです。
施術所の経営状況	雇用条件	修業年限が長くなっても、基本給とちょっとしか取れないっていうのは怒りますよ。
施術者としての思い	スタッフに求める力	逆に修業年限が長くなればなるほど、いかに短時間で合理的な施術ができてご満足をいただけるかってことを考えながら施術してもらう。
施術内容・方法	合理的な施術	逆に修業年限が長くなればなるほど、いかに短時間で合理的な施術ができてご満足をいただけるかってことを考えながら施術してもらう。
施術者としての思い	院長としての責任	そうすればねえ、タイムイズマネーで短い時間でいっぱい稼げるような施術スタッフを育成する努力はします。
営業環境に関すること	収入増加への努力	そうすればねえ、タイムイズマネーで短い時間でいっぱい稼げるような施術スタッフを育成する努力はします。
施術者としての思い	技術向上の意識	そうすればねえ、タイムイズマネーで短い時間でいっぱい稼げるような施術スタッフを育成する努力はします。
施術所の経営状況	雇用条件	そうすればねえ、タイムイズマネーで短い時間でいっぱい稼げるような施術スタッフを育成する努力はします。
施術者としての思い	院長としての責任	平たい話先生がたって定期昇給があるよね。こういう院だって定期昇給をできるような力付けてもらわないと。定期昇給分の力をつけるようにけつ叩いてます。
施術者としての思い	スタッフに求める力	こういう院だって定期昇給をできるような力付けてもらわないと。
施術者としての思い	研修への参加	そういう意味で、うちのスタッフには県師会の行事にはかなり出てきてくれていて。
施術所の経営状況	優秀なスタッフを持つ誇り	そういう意味で、うちのスタッフには県師会の行事にはかなり出てきてくれていて。
施術所の経営状況	事務の仕事	いろんな労働保険とか、雇用保険とかもね。
施術内容・方法	院長の役割	私も支持はしますが、
施術内容・方法	院長の役割	ミクロの細かい数字はっていうよりは、マクロ的な部分で「この数字数字どうなってんだ」みたいなね。
施術所の経営状況	経営方針	ミクロの細かい数字はっていうよりは、マクロ的な部分で「この数字数字どうなってんだ」みたいなね。

施術所の経営状況	経営に対する考え方	ミクロ的なところまではね、時間を割かないようにしています。
取扱患者の状況	患者数	昨日は14人。
取扱患者の状況	患者データ	A ええーっ！受付に数えてもらっているのでも少しお待ちください。新患数は11人なんです。平均新患数11人っていう集計を出しました。8月ってお盆休みが入る分、夏季休暇ね、それでちょっと少なくなっちゃうんですね。
施術所の経営状況	事務の仕事	受付に数えてもらっているのでも少しお待ちください。
取扱患者の状況	新患数	新患数は11人なんです。
取扱患者の状況	患者数の減少	8月ってお盆休みが入る分、夏季休暇ね、それでちょっと少なくなっちゃうんですね。
現在の施術料収入	施術料	ベテランマッサージの1時間のマッサージって言うのは4,300円なんですよ。
施術者としての思い	ベテランスタッフ	ベテランマッサージの1時間のマッサージって言うのは4,300円なんですよ。
施術者としての思い	一般スタッフ	一般スタッフって言うのは、うちに入社して4年間だけは一般スタッフとして、1時間のマッサージ3,600円。
現在の施術料収入	施術料	一般スタッフって言うのは、うちに入社して4年間だけは一般スタッフとして、1時間のマッサージ3,600円。
施術者としての思い	スタッフの役割	一般スタッフって言うのは、うちに入社して4年間だけは一般スタッフとして、1時間のマッサージ3,600円。
施術者としての思い	ベテランスタッフの条件	8年一応過ぎたらベテランスタッフとして、
施術者としての思い	スタッフに求める力	もうちょっと高い料金を設定できるように、はっぱをかけているんです。
施術者としての思い	スタッフに求める力	修業年限が長くなればなるほど、それなりの料金が患者さんに請求できるような実力と人格をつけろっ。
施術者としての思い	ベテランスタッフへの期待	修業年限が長くなればなるほど、それなりの料金が患者さんに請求できるような実力と人格をつけろっ。
施術者としての思い	スタッフとして不適格	だから、そういう意味でぼーっとしていると首が飛んじゃう！
施術者としての思い	仕事への意欲	だから、そういう意味でぼーっとしていると首が飛んじゃう！
施術内容・方法	院長の役割	私の人脈を通じてどっかそれなりの職場を紹介してあげますよってケースはたくさんありますよ。
施術所の経営状況	経営者としての判断	私の人脈を通じてどっかそれなりの職場を紹介してあげますよってケースはたくさんありますよ。
施術者としての思い	スタッフに求める力	私の人脈を通じてどっかそれなりの職場を紹介してあげますよってケースはたくさんありますよ。
施術者としての思い	スタッフに求める力	8年目までに力をつけていないとね。
施術内容・方法	院長の役割	力をつけるお手伝いはしますけども、
施術者としての思い	スタッフに求める力	ただ実際に施術して信頼関係を作るのは施術スタッフそのものだからね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	ただ実際に施術して信頼関係を作るのは施術スタッフそのものだからね。
施術料収入に関すること	収入への影響	同じ施術を1時間受けるにも3,600円でいいよって言われちゃうのと、ベテランスタッフの施術を受けたいなあってことで違っちゃう。
施術所の経営状況	経営方針	同じ施術を1時間受けるにも3,600円でいいよって言われちゃうのと、ベテランスタッフの施術を受けたいなあってことで違っちゃう。
施術所の経営状況	試行錯誤した時代	分かんなかった。どういう風にしていいんだかね。本当に暗中模索でね。
施術所の経営状況	経営者としての苦悩	どういう風にしてベテランスタッフと、中堅スタッフ、一般スタッフの差を出していったらいいのかなって。
施術者としての思い	スタッフの仕事	たどり着いたのはそこです。スタッフEの場合、5年目に入った時に患者さんが100人ぐらいいたんですよ。
施術内容・方法	患者への情報提供	その患者さんに対して「この4月をもって中堅スタッフになりましたから、料金はこうなりました」ってのがきでお知らせをしたんですけど
現在の施術料収入	料金の値上げ	その患者さんに対して「この4月をもって中堅スタッフになりましたから、料金はこうなりました」ってのがきでお知らせをしたんですけど
施術者としての思い	スタッフに求める力	それなりにきてくれてるんで、中堅スタッフとして、ベテランスタッフとしてのものをクリアできるかどうかというところ。
現在の施術料収入	料金体系	このパターンは変えません。私が、ここの院長である限り。変える気はないです。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	このパターンは変えません。私が、ここの院長である限り。変える気はないです。
現在の施術料収入	料金体系	やっとここまでたどり着いたので。この形に。
取扱患者の状況	患者数	先月の患者数は365人でした。

現在の施術料収入	年収	えーとですね。1,000万前後なんです。消費税を取られるか微妙なところでね（苦笑）。
施術者としての思い	経営者としての誇り	青色申告だからごまかし聞かないんですよ。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	青色申告なんで逆に言えば節税対策として福利厚生がっちりやったりしてね。
施術者としての思い	スタッフの仕事	スタッフの充実しているときには1,300万から1,500万。
施術所の経営状況	現状とのギャップ	スタッフの充実しているときには1,300万から1,500万。
現在の施術料収入	自らの収入	コストは人件費を含めると収入の7割。私の手元には3割ぐらい。
施術所の経営状況	場所代の節約	施術所自体は私の持ち物なので、そういう意味で家賃を取られてないから持ってますが。
営業努力に関すること	広報活動	ホームページの充実と、そのホームページの、よく見ているエキテンっていう口コミサイトにちょっとお金をかけているとか。
営業努力に関すること	過去の広報の方法	前はねえ、フリーペーパーなんかも使ったんですけど、フリーペーパー全く効果が出なくなっちゃいましてね。
営業環境に関すること	フリーペーパーの効果	前はねえ、フリーペーパーなんかも使ったんですけど、フリーペーパー全く効果が出なくなっちゃいましてね。
営業努力に関すること	広報の効果	今はどちらかというとエキテンに出している広告で、月に2・3人新患を取れている。
施術所の経営状況	合理的思考	7,000円ぐらいかかるんですが、7,000円で2・3人取れば、プラスになると。
営業努力に関すること	広報のコスト	7,000円ぐらいかかるんですが、7,000円で2・3人取れば、プラスになると。
営業努力に関すること	広報活動への戸惑い	と、あとはほんととはブログは毎日更新した方がいいって言うんですが、私文書が苦手なんで（苦笑）。
営業努力に関すること	ブログの更新頻度	2週間に1回しか更新してないんです。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	で、2週間に1回、ただし、古い個客は「私パソコンできないからブログの文書、郵便で送ってください」って言う人が10人ぐらいいるんですよ。
営業努力に関すること	ブログの効果	文書送ると患者来てくれんですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	こんなこと書いてあったねみたいなことも話題になるしね。
営業努力に関すること	過去の広報の方法	フリーペーパーはあきらめました。フリーペーパーとか電話帳とかね。昔は電話帳でも、職業別のタウンページとか、ああいうの見てきてくれたけど。
営業努力に関すること	ホームページの効果	ホームページは見てくれてて。
施術所の経営状況	仕事の委託	ホームページの更新作業って言うのは面倒なことなのでプロバイダーにお願いしています。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	プロバイダーがよくやってくれているんで、今はスマホサイトにも対応していないとだめなんだよね。
施術所の経営状況	必要コスト	対応させるのに今回お金がかかったんですが、スマホからもさっと入って、情報提供できるような、アクセスがすぐにできるようにした。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	患者さんからもすぐにアクセスできるような環境づくりをしておかなくちゃね。
営業環境に関すること	社会情勢	昔は口コミでたくさん連れてきてくれていたんですが、今はそういうサイトみたいなのを使わないとだめだね。
営業努力に関すること	口コミの効果	口コミもないわけじゃないっすよ。
取扱患者の状況	通院地域	近くが多いですよ。やっぱり。
取扱患者の状況	定期来院患者	私の持っている患者さんで確実に1週間に1回って言う人が二人いるんですよ。それはずーっと1週間に1回。
取扱患者の状況	患者来院の頻度	で、何らかの症状を訴える。
取扱患者の状況	定期来院患者	あとは月1が30人ぐらいいいんのかね。私のレベルでね。
施術者としての思い	スタッフの専門性	スタッフのレベルまではちょっと把握してない。
周囲のサポートに関すること	親からの支援	親に土地を買ってもらったんですよ。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	1974年あたり350万銀行から借りて。公的融資が50万、銀行からの融資は300万。それでスタートしました。
取扱患者の状況	過去の患者数	その当時家が500万で建ったんだ。それで、あの当時ってすごかったんですよ。私記憶に残っているだけで、1日25人やった日があるし、18人を三日続けてやったって言うのもあった。あの時はどうだったんだって！！
施術者としての思い	自らの変化	当時は私もイケメンだったんで（笑い）！今は頭剥げちゃってるけどね。
施術料収入に関すること	収入が多かった時代	最初来なくて困ったってことはなかったですよ。1974年から1980年代って言うのはね、すごい時代だったね。

営業環境に関すること	業界全体の好景気	同業者は割と、その時代ってみんなすごかったですよ。だから、この辺で鹿行鍼灸マッサージ師会って言うのがあったんですが、二伯三日の旅行に応募かけても50人の大型バスが埋まっちゃうぐらい、景気が良くてね。
営業環境に関すること	社会情勢	とにかくあの頃は、不謹慎な話だけど、飲みに行ったら4万いくら高の請求が来ちゃってね。財布にあったことはあったんですが！帰りのタクシーの金がねえから「運転士さん家に行ってとってくるから待っててくれ」っていったらいいよ、いいよってね！そんな時代もありました。
施術者としての思い	スランプ	それをずーっと越してスランプはありましたよね。
施術料収入に関すること	収入の減少	それをずーっと越してスランプはありましたよね。
施術料以外の収入	施術所外での収入の確保	その時はしょうがないから、遊び癖が付いてるから、遊ぶ金を確保するために健康サウナにアルバイト行って稼いできたお金で遊んでましたよ（笑い）。
施術者としての思い	施術者としての自信	逆に私鍼灸専門で出だしましたから。東洋はり医学会で学んだから、鍼灸専門でってことで。
施術所の経営状況	個人経営の限界	2001年開業の時、鍼灸専門で、私の鍼の実力と人格がそれだけのものだったのか、何だったんだかわからないけど、限界がきちゃったね。
施術内容・方法	手技療法の導入	うーん、マッサージもっ取り入れなくちゃ、取り入れるってことになるってやっぱりスタッフと一緒にやらないってことで。
施術所の経営状況	経営方針の転換	うーん、マッサージもっ取り入れなくちゃ、取り入れるってことになるってやっぱりスタッフと一緒にやらないってことで。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	ここを始めるときは、土地だけで3千万ぐらかかったのかなあ。建物も3千万ぐらかかったんですよ。
営業環境に関すること	融資した金額	それだから、それまでにいくら稼いだって言っても！金は使っちゃってるから！稼いだ分はね（笑い）。おかげさまで今も借金経営です。2千300万借りましたから。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	ええー。35坪ぐらい。施術室にはベッドが5台。物理療法の機器としてはパルスが1台あって、あとはないっす。パルスが1台だけ。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	電子レンジで温められるホットパックは使ってますよ。
施術者としての思い	職業継続の意思	嫌になったことはないですね。だから、スランプに入るから、スランプに入ったらしょうがない、時間があるわけだから、金がねえだけで。
施術者としての思い	スランプ	嫌になったことはないですね。だから、スランプに入るから、スランプに入ったらしょうがない、時間があるわけだから、金がねえだけで。
施術内容・方法	研修内容	金がねえだけで、時間はあるんだから、図書館から本を借りてくんだよ。勉強するしかない。
施術者としての思い	時間の有効活用	金がねえだけで、時間はあるんだから、図書館から本を借りてくんだよ。勉強するしかない。
施術内容・方法	研修内容	施術の勉強と、接遇の勉強ね。今うちのミーティングでは、あえて接遇だけのミーティングやってんですが。
施術者としての思い	スタッフに求める力	勉強は何とか、施術に関する者は、基本的なものは持ってるものになるんですが自由に勉強していいよってことで。
国家資格の取得	資格取得	マッサージが1972年、鍼灸が1974。茨城でね。
視覚障害の状況	当時の視力の状態	昭和35年、1960年の入学なんです。入学当初左目は全盲で、右目の視力が0.01に満たない程度の視力で。
国家資格の取得	自由な学校生活	もうがきのころ生意気だからね、それこそよくやってましたよぶつかり、ぶつかりね。
視覚障害の状況	失明	で、完全に全盲になったのは、1965年。その時、一晩にして全盲になりましたね。
視覚障害の状況	視覚障害の原因	緑内障で発作がばあーって行ってね。親はびっくりしたけどね。小学校5年の時ですね。
営業環境に関すること	周辺環境	緑内障で発作がばあーって行ってね。親はびっくりしたけどね。小学校5年の時ですね。
施術者としての思い	ロールモデルとしての先輩の存	なんとなく、もうみんな一つの建物の中で、一つの敷地の中に6棟の寄宿舎が建ってたんですが、6棟の中に先輩の方が鍼灸だの、あん摩だとかしてるし。
施術者としての思い	進路への展望	たまに、臨床室なんかのところを通過して、一般の外来患者さんを見てるのを、小学校の低学年から「俺もこれで食うんだな」って、これで生活を支えるんだなってのは、子供ながらに思っていた。

施術者としての思い	自らの力を客観化	私の後輩で理教連会長の栗原先生なのですが、そういう頭も俺にはないしね。坂場先生とか、そういう先生がどんどん教員になるっていう選択をしたけど、俺にはその頭が無いし（笑い）。
施術者としての思い	継続的な探求心	実務に沿った勉強をやるようになったらするようになりましてよね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの学び	目の前の患者を何とか治してあげなくちゃってなったりね。勉強ひっしこいてやりました。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	1種，1級ですね。
施術所の経営状況	施術所継続への意欲	私がこの施術から去った後も、誰かがこの施術所を残してもらえたらなあっと。残せるだけの、維持できるだけのノウハウを残してあげたいなっと。
施術者としての思い	基本的技術の習得	例えば、うちでマッサージたりとはいえ、単なる1時間だ、2時間だって揉むんじゃないくて、スイナの系統のマッサージを初年度に皆マスターするんですよ。
施術内容・方法	研修内容	例えば、うちでマッサージたりとはいえ、単なる1時間だ、2時間だって揉むんじゃないくて、スイナの系統のマッサージを初年度に皆マスターするんですよ。
施術内容・方法	患者のためになる施術	そういう、こうマッサージだから慰安じゃなくて、マッサージでもちゃんと治療という目的を掲げた施術ができるような力をつけられる。
施術内容・方法	施術に対する考え方	そういう、こうマッサージだから慰安じゃなくて、マッサージでもちゃんと治療という目的を掲げた施術ができるような力をつけられる。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	先輩から後輩へ伝えられるノウハウをしっかりと作っておきたいし、経営的にも、できれば今は個人経営ですけども、法人経営となっていけばいいのかなって。
施術所の経営状況	人材の不足	不安を感じることに言うのは、やっぱり人がいないってことです。
施術者としての思い	求人における苦労	施術スタッフを確保するのに、盲学校も大変な時代になっちゃってる。で、一般の健常者の学校にも求人案内出してるんですがやっぱり。
施術所の経営状況	スタッフの雇用	たまたま、でも今回東洋鍼灸専門学校から卒業の生徒が2年前に入社してくれたんですが。
施術所の経営状況	人材の不足	だから施術スタッフを確保できないって言うのがね。
施術所の経営状況	地元のスタッフの採用	そうなんです。たまたま、この近くで。
周囲のサポートに関すること	公的機関への信頼	ハローワークだけが頼りで。
施術者としての思い	求人誌への不信感	求人誌なんかはあんまりあてになんないしねえ。点字毎日が出しました。今点字毎日って広告やってないんだよね。あと求人誌は不安でやっておりません。
施術所の経営状況	養成学機関への求人	専門学校には出してますよ。盲学校も含めて。
施術内容・方法	印象に残った患者	これはねえ、一人だけお話ししますが、本人はあんまり覚えてないみたいなんだけど、周りに言わせると酔っぱらってこけて手足が麻痺になっちゃった患者さん。
施術者としての思い	施術者としての充実感	医者には将来寝たきりになりますよって言われていた患者さんが12年たった今でも、ここに通院できてるっていう。
取扱患者の状況	患者の状態	もちろん奥さんのサポートがあって、杖を突きながらではあるんですが。
施術者としての思い	施術者としての充実感	でも、寝たきりだって医者に宣告されたのが来れてるんだから。嬉しいっすよね。
施術内容・方法	施術内容	私はもうタッチしてないんですが、30分のマッサージと鍼をやってるんですよ。
施術内容・方法	鍼の施術方法	鍼は苦痛を緩和する程度の、東洋医学の本治法的なものじゃなくてっというような程度しかやってないんですが。
施術内容・方法	研修内容	それでもスタッフが施術していてもずーっとね。
施術内容・方法	研修内容	医者は誤診したのかもしれないけど。私が最初施術をやったんですが、スタッフに任せるようにしました。
施術者としての思い	スタッフに求める力	だからベテランスタッフとか中堅スタッフには下に落とせって言ってますよ。若い人に教えられるようなものを持っていないと落とされるよって。
施術者としての思い	仕事への意欲	65歳です。あと15年やりたいと思ってんだよね。
施術者としての思い	職業継続の意思	65歳です。あと15年やりたいと思ってんだよね。
施術者としての思い	目標とする先生が存在	日立のN先生って知ってますか。あの先生まだ現役だもんね。少なくともあそこぐらいまではがんばりたいと思って。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	80%ですかね。足りないのは知識と、集中力ですね。そう思います。
施術者としての思い	施術の未熟さ	いろんな文献を頭の中には入んですよ。それが実際の臨床の現場では、あっわすれちったわって（笑い）。ちょっとカンニングしてくっかって。

患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	あとは世あたりがね、43年もやってるから、それはいくらでもどうにかなるんだけど。
施術者としての思い	施術に対する迷い	その取穴なんかは迷っちゃうことがありますよね。それが満たされたら100%かな。
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	それもあと20%ぐらい足りない感じかな。
施術者としての思い	尽きない物欲	やっぱり、この年になっても買いたいなあって思っても、これは月の稼ぎの中でやめておくかあって。買いたいのは全部置きたいね（笑い）。

表9 「対象2」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業	91年から。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	26年か。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業場所	そうですね、最初から。
施術者としての思い	卒業後の研修	盲学校卒業して東京にあった東洋医学技術研修センターというのが、芹澤先生の、あそこで1年間いて。
施術者としての思い	開業までの仕事	それで、整骨院に1年いて、その後、開業かな。
施術者としての思い	職場の所在地	栃木、小山。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業場所の選択理由	これ、実家が近くで、実家の畑がここなので。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	畑を宅地にして。
施術内容・方法	施術方法	それほど変わらない、最初から。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	普通に患者さんが喜んでくれることというのはいっぱいあるので、それがやっぱり一番なわけですよ。
施術者としての思い	施術者としての充実感	普通に患者さんが喜んでくれることというのはいっぱいあるので、それがやっぱり一番なわけですよ。
施術内容・方法	患者のためになる施術	普通に患者さんが喜んでくれることというのはいっぱいあるので、それがやっぱり一番なわけですよ。
取扱患者の状況	通院地域	いや、そんなことないですね。うちはインターネットのお客さんが結構いるので、だから、ここの那珂市というよりも、もう少し水戸とか、ひたちなか市とか、常陸太田、常陸大宮とか周辺、全体的にありますね。
取扱患者の状況	通院の方法	車がほとんどですね。逆に交通機関がないというか、バスがあまりない。
取扱患者の状況	患者数	いや、地震のとき、少し落ちたんですけど、あとはそれほど別に。
取扱患者の状況	患者数	増えもしなければ、減りもしないというか。
施術内容・方法	施術内容	大きくはマッサージを、あん摩を中心にして、結構やっぱり症状を持っている人は鍼をやってくれという人が多いので、それにちょっと鍼を入れるという感じで。
取扱患者の状況	鍼の希望	いや、最近は、でも、やはり鍼を希望する人が結構多いですね。
施術内容・方法	施術内容の変化	少し変わったのは、最初、パルスを研修センターの中でパルスをやっていたので、ああいうのをやっている頃はあん摩が多かったのです。最近、パルスはほとんどやっていないんですよ。
取扱患者の状況	鍼の希望	1年間で考えても、ほとんどやっていないです。1人とか、2人とか。そうやってきた頃から、増えた感じがするのです、鍼の希望が。
施術内容・方法	施術方法	置鍼もしないですね。
施術内容・方法	施術方法	シール鍼、普通に。
施術内容・方法	施術効果	だけですね。でも、結構、痛みも取れるし、可動域も広がるし、体調も良くなるしということで。
施術内容・方法	実感できない施術効果	だんだんに面倒くさいというのと、つまらないという、感じとしてつまらないなというのが結構大きいかな。
施術内容・方法	施術効果	反応もそうだし、普通の鍼、シール鍼とパルスとをやっても、そんなに変わんない感じがしてきたんで、
施術内容・方法	施術方法	反応もそうだし、普通の鍼、シール鍼とパルスとをやっても、そんなに変わんない感じがしてきたんで、
施術者としての思い	技術力の向上	それは少しもしかしたら普通の雀啄とか、ああいう普通の鍼がうまくなってきたのかもしれないんですが、それほど別にパルスをやる必要がなくなってきた。
施術内容・方法	患者のニーズ	あとは、案外、嫌う人が多いというところで。10分そのまま置いておくとか、15分置いておくというのは何かもったいない気がしてきてね。
施術者としての思い	時間の有効活用	あとは、案外、嫌う人が多いというところで。10分そのまま置いておくとか、15分置いておくというのは何かもったいない気がしてきてね。

施術者としての思い	鍼施術への自信	自分で鍼、手技でやっていると、例えば5分で済んじゃうかもしれない話じゃないですか。場合によっては、1分ぐらいで済んじゃうかも。
施術内容・方法	患者の反応	うん、そうそう、反応が出ればそれでいいので。
施術内容・方法	施術に対する考え方	自分の場合は、対象の所見、ちょっと緊張があったかな、そういうのをなるべく変化させること。それはあん摩でも鍼でもそうなんです。そこを中心に考えていますね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	うん。局所でも全体でも、
施術内容・方法	腹部への施術の重視	例えば、あん摩するとき、お腹に特に、最初、お腹をちゃんとあん摩、全身やると結構変わるの、そういうことも含めて、
施術内容・方法	重視する所見	表面の緊張とか。
施術内容・方法	あん摩の施術効果	あん摩でも見る。あん摩でもかなり変わるのですよ。
施術内容・方法	患者本人が変化を実感	特に自律神経的な人なんかは見ておくと。患者さん自身にも触ってもらって、覚えておいてもらおうと、結構、変化を感じてもらわないですか。
施術内容・方法	患者に変化を実感してもらうこと	それが結構大事なと思います。自律神経系というのは治療前と後で、なかなか効果を、良くなりましたと言えないじゃないですか。
施術内容・方法	患者本人が変化を実感	だけど、体表のお腹を触ったりとかしていると、自分でも納得して、次に来てもらえるかな。
施術内容・方法	患者本人が変化を実感	そうですね。さっき押したら痛かったけど、今、押したら痛くないとか、そんな感じなんだけど。自分で押させれば、ちょっとは分かるじゃないですか。
施術内容・方法	施術に対する考え方	そんなようなことをやるようにしている。
施術内容・方法	患者に変化を実感してもらうこと	そうそう。よく運動しているようなときは可動域が広まったとか、痛みがちょっと軽くなった、腕が上がるようになったとか言われますけど、自立神経のところはなかなか難しいじゃないですか。
施術内容・方法	施術に対する考え方	でも、それをなるべく分かってもらうことを心掛けてやるといいのかなということですね。
施術内容・方法	患者を向かい入れる準備	工夫していることって、特にはないと思うんですけど、例えば、施術するベッドを温かくしておくんですね。
施術内容・方法	施術の工夫	下にバスタオルがあって、その下がシート、その下に低反発マット、2cmの低反発マットでその下に温かいカーペットみたいなやつを入れておいて、それで、部屋の温度は少し低めにしておいて
取扱患者の状況	患者の利益	となると案外、気持ちいいということで喜んでますね。やっぱり気持ちよくするというのは、1つ大事なところではあるのかと思います。副交感神経を高めるという意味でもね。
施術内容・方法	心地よい時間の提供	となると案外、気持ちいいということで喜んでますね。やっぱり気持ちよくするというのは、1つ大事なところではあるのかと思います。副交感神経を高めるという意味でもね。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	うん。不便っていろいろある、聴覚障害の人が来たりとか。
施術内容・方法	施術の工夫	番最初にメールで全部問診して、あとは、紙を作ったんです、横向き、右側向いてくださいとか、寝てくださいとか。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	患者受け入れの準備	番最初にメールで全部問診して、あとは、紙を作ったんです、横向き、右側向いてくださいとか、寝てくださいとか。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	全くゼロ、最初からゼロ。
視覚障害の状況	視力障害となった時期	生まれたときからゼロ。
施術者としての思い	盲学校への入学	ええ、小1から盲学校で。
施術者としての思い	盲学校卒業	平成の最初、平成元年の3月。
施術者としての思い	進路への展望	もう、これしかないと思ってました、逆に。というか、これなら何とかできるのかなというところがあったから。
施術者としての思い	卒業後の研修	いや、何となく、もう、そういうふうにしようと思ってた感じですね。
施術者としての思い	研修への意欲	そんなに、こうだからこうじゃなくて、ちょっと勉強したほうがいいなというのはあったんで、行ける所というのはそんなにないんですよ、選択肢がね。
施術内容・方法	研修への参加	そんなに、こうだからこうじゃなくて、ちょっと勉強したほうがいいなというのはあったんで、行ける所というのはそんなにないんですよ、選択肢がね。
施術内容・方法	施術力向上の意欲	でも、結構入れますよ。あと、治療院にどっか勤めるというものもあるのか、そういう意味ではね、勉強しようというか。でも、それは余り考えなかったですね。
現在の施術料収入	無報酬	出ないですね。
施術者としての思い	研修内容	午前中は講義とかそういうやつで、午後が臨床室ですね。
施術者としての思い	研修内容	でも、なかなかさせてもらえないですね。

施術者としての思い	研修内容	助手みたいな感じです。
施術者としての思い	貴重な経験	あとは、自分のときは、視覚障害の人がほとんどいなかった ので、実技とかになると全部モデルになれたんですよ。それは よかったですよね、勉強という意味で。
施術者としての思い	貴重な経験	全部、芹澤先生の鍼とか、オイルマッサージとか全部。
施術者としての思い	研修内容	それは結構貴重な、よかったのかな。やっぱり晴眼の人ばかり なので、そういう感覚的なあれなんで、ずっとそれまで盲 学校だったからね、そういう意味でもいいあれになったのか なと思いますけどね。
施術者としての思い	研修生の内訳	研修生は24人かな。盲学校から出た人が3、4人いて。
施術者としての思い	一人だけの全盲	ほかの人はみんな結構、弱視でもかなり見える弱視の人だっ たんですね。全盲は自分だけだったんで。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の決心	開業は、もう最初から開業しようと思っていた、盲学校に いる頃からね。
施術者としての思い	自宅で仕事できるメリット	うん。やっぱり視覚障害者はうちで仕事するのが一番よく て、どこも出なくて済めばね、それはそれで楽だし。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	それで人も良くなってきて、そこそこお金になるんだっ たら、それが一番いいと思うんですよ。
現在の施術料収入	一定の収入	それで人も良くなってきて、そこそこお金になるんだっ たら、それが一番いいと思うんですよ。
施術者としての思い	家族の協力	それで人も良くなってきて、そこそこお金になるんだっ たら、それが一番いいと思うんですよ。
施術者としての思い	自宅から出での仕事	それがうまくいかないから、いろいろ今だったら、訪問やっ たりとかしなくちゃなんないんで。
施術者としての思い	手段としての職業選択	それが一番安全、効率よくて、あと、余った時間は自由に使 えるし。
施術者としての思い	時間の有効活用	それが一番安全、効率よくて、あと、余った時間は自由に使 えるし。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	親から借りた感じですかね。
周囲のサポートに関すること	周囲からの支援	あとは、結構、建物もなんかも安くできたんです。たまたま 材料、木材なんかが、木材屋さんが仕事を辞めるというこ とで、余った木材なんかを結構もらうぐらい安く、あれでき たりなんかして、かなり安かった、運が良かったというか、そ ういうのもありますね。
営業努力に関すること	広報活動	一番最初は折り込みチラシをちょこっと入れただけです。
営業努力に関すること	チラシの効果	というか、もっともそんなに折り込みチラシというのは効果 があるものではないんだよね。
営業努力に関すること	折り込み広告の効果	そうそう。だから、3%、0.3%だっけな、何かすごく少 ないんですよ。1万枚まいて5人とか、10人、そんな感じなん です。きつとね、折り込みというのはね、もともとね。
営業努力に関すること	広告への期待	だけど、結構、分からないと期待しちゃいますよね、意外 と期待する。来ないねと、こうなっちゃうんですよ。
営業努力に関すること	折り込み広告の効果	一般業界、一般的なところでいうと、そんなに反応率はよく ないんですよ、それで何回もまくんですよ。
営業努力に関すること	広報活動	いや、1回しかやってない。
営業努力に関すること	ホームページの作成	インターネットは、これはね、最初それほど患者さん多くな かったから、時間があつたんで、それこそホームページを作 る感じで自分で。
施術所と設備に関すること	不十分なインターネット環境	98が出た頃かな。音声で何とか、で、ほとんどブラウザなん かもなくて、インターネット、ホームページ、見るのも大変 だったぐらいな感じなんですよ。
営業努力に関すること	ホームページの作成	そういうところでいろいろ調べて作ったんですよ。
営業努力に関すること	ホームページの効果	うん。それは結構、今でもお客さん来てますから、ほとんど 何もしてないですけどね、その後は。
営業努力に関すること	ホームページの効果	そうそう。これは結構よかったですね。多分、古いからか な、検索エンジンでも結構上のほうに出るのです。
営業努力に関すること	音楽を通じての広報	それと、あとはコンサートとか、そういう、健康教室なんかも 結構やっているのです。
営業努力に関すること	音楽活動	そういうので知ってもらおうということが結構つながっている のかなという感じです。
営業努力に関すること	音楽活動	学生の頃からやってましたね。
営業努力に関すること	健康教室の開始	本当に始まったのは、2000年頃からですかね。
営業努力に関すること	コンサートの内容	自分たちがするやつは健康に効くコンサートと言って、コン サートの中で健康の話をするやつ、
営業努力に関すること	コンサートの回数	それを年に4、5回やって、4回ぐらいかな、3、4回やって、 そのほかには、
営業努力に関すること	依頼による演奏	依頼があつて、いろんな高齢者の集まりとか。
営業努力に関すること	イベントでの広報活動	配れる場合には、治療室の案内を配ったりとか。

営業努力に関すること	コンサートの効果	そうですね、すぐに来なくても、後々覚えておいてくれて、あのときの話を聞いているんですって、調子が悪くなったからって来るのは結構あります。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	助成券はないですね。無くなっちゃったんです。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	いえいえ、開業は最初1人でしていて、
施術所の経営状況	二人での経営	2001年に結婚したのかな。その頃から一緒に。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	いや、今、やってないです。
施術所の経営状況	経営についての学習	いや、特にしてないですね。
施術所の経営状況	経営についての興味のなさ	うーん、そうですね。
取扱患者の状況	症状のある患者の来院	そんなに定期的にはなくて、やっぱり調子が悪くなると来る。
取扱患者の状況	定期来院患者	そんなに定期的にはなくて、やっぱり調子が悪くなると来る。
取扱患者の状況	来院する患者の特徴	結構症状を持った人、そうそう、だから、余り疲れたとか、そんなのは余りないですね。
施術者としての思い	施術者としての自信	逆に症状を改善できないと、駄目なのかなと思うんですよね。
施術内容・方法	患者に変化を実感してもらうこと	それで、さっきの自立神経系でも、少し変化を実感してもらうというのが大事なんですよ。
取扱患者の状況	来院状況	人によってですけど、ちょっと、4、5回でしょうかね。
取扱患者の状況	長期来院	あとは、疾患、例えば脊柱管狭窄とか、ああいうのだと結構続くときはあります。10回とか、15回やって、少し楽になるとまた離れて、またつらくなるとみたいな、そんなことはありますけど。
取扱患者の状況	患者の状態	多いのは、肩こり、腰痛的なものです。痛み。
取扱患者の状況	患者の状態	痛みがなくなってくると来るんです。よっぽど大変になってくると来る。
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	もっと軽いうちに來たほうが早く治るんですよと言うんですけど。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	もっと軽いうちに來たほうが早く治るんですよと言うんですけど。
営業環境に関すること	同業者との関係	軽いうちはほかの接骨院に行ったりするわけですよ、整形外科に行ったりして。
施術者としての思い	施術者としての責任感	それで、いよいよになると、こっちに来るんです。
施術者としての思い	施術者としての充実感	それで、いよいよになると、こっちに来るんです。
施術内容・方法	施術時間	50分、大体基本コースで、3,500円です。
現在の施術料収入	施術料	50分、大体基本コースで、3,500円です。
現在の施術料収入	施術料	何をやっても3,500円です。
施術内容・方法	施術時間	うん。50分の中で収めるようにしています。
現在の施術料収入	施術料	あと、一応、ロングということで、80分で5,500円とか。
施術内容・方法	施術時間	あと、一応、ロングということで、80分で5,500円とか。
施術内容・方法	別の施術コースを設定	あと、一応、ロングということで、80分で5,500円とか。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	そう、時々、うん。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	超短波というのかな、パットを当てて、超短波。これは必ず、ほぼ必ず。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	ピリピリしない、温まるやつです。
施術所と設備に関すること	物理療法機器の使用法	肩こりだったら首とか、肩の辺りの緊張している部位の上に当てながら仰向けで寝てもらって、
施術内容・方法	施術方法	それで、お腹見たりとか、手足の経絡とかなんか見たりしながら10分間ぐらいおいて、治療しようかなと考える時間。
施術内容・方法	患者の受付形態	一応、2台あります。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	一応、2台あります。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	保険はやっていないです。本当はやったほうがいいんでしょうけどね。
現在の施術料収入	施術料	変わってないですね、最初からそのまんまです。
施術内容・方法	施術時間	料金は変わってなくて、時間が変わったんですよ。
施術内容・方法	施術時間の変更	60分やっていたのを50分にしたんです。10分の間が空くと結構、体が楽に。
施術内容・方法	連続の施術	そうそう。8人とか続いてても楽なんで。
取扱患者の状況	患者データ	簡単にブレイルメモでカルテみたいなのをね。
施術内容・方法	施術時間の変更	これは、いつになるかな、もう10年ぐらいになるかな、10年前ぐらいかな。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	営業日の変更	それと、週休2日にしたんです、その頃。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	営業日の変更	日曜日と祝日が休みだったのを月曜日も休みにしたんです。

施術者としての思い	家族への気遣い	そうそう。これも結構、ほかの仕事なんかでもみんな2日休みの人が多いし、うちもそのほうがいいかというのと、あとは、自分はいいんですけど、うちで仕事していると、妻が結構緊張している感じなんで。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	営業日の変更	そういう意味でも、1日増やして休みにしたほうがいいのかなど。
取扱患者の状況	患者数	平均したら5人とか、そのぐらいなんじゃないですかね。
取扱患者の状況	患者数	8人とか、10人。
施術所の経営状況	営業時間	一応、9時から、夕方6時までで受付は終わりで、
施術内容・方法	仕事の終了	6時に入った人が7時頃終わるという感じで。
取扱患者の状況	患者数	9月は100ちょっとです、110ぐらいかな。
取扱患者の状況	患者数	大体そのぐらいですね。多少前後あるけど、100人いく月といかない月と、今は100人前後ぐらいな感じだと思います。
取扱患者の状況	患者数	案外冬が少ないんですね。
取扱患者の状況	患者数	そうそう、冬が少ないかな、少し減るかな。
取扱患者の状況	患者数	案外、5月、6月、7月辺りが多かったりする。
施術者としての思い	施術者としての自信	そうなんですね、ほかではよく来ないと思うんですけどね。
取扱患者の状況	患者数	これも最近は結構平均してきてる感じがします、この3年、5年ぐらいは。
取扱患者の状況	来院する患者の特徴	インターネットと口紹介。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	というか、逆に全部自分でできることしかやらないような、考え方として、形でやろうというところですかね。それは最初からそんな感じ。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	確定申告は自分で紙に項目をまとめて書いて持って行って、役所のほうで申請用紙を記入してもらうような形で。
営業努力に関すること	音楽活動	あまりないですね。
施術者としての思い	業団体の仕事	かなり結構面倒くさいんです、細かい仕事がね。
営業努力に関すること	営業努力	あと、あまりやっている人が少ないのは、回数券を使ったり。
営業努力に関すること	回数券の導入	あと、あまりやっている人が少ないのは、回数券を使ったり。
営業努力に関すること	回数券の自作	回数券は、うちで作ってやっているんです。
施術内容・方法	患者へのサービス	これは6枚つづり。5回分の料金で6回かかれますよという感じかな。
営業努力に関すること	回数券の自作	そうそう。これはA4の用紙を8等分すると、8枚出来るように一生懸命こうやって作ったんですよ。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	有効期限の月だけ、何月末までの月の所だけ変えれば、毎月使えるようにワードで作って、それを使っています。
施術所の経営状況	経営上の工夫	有効期限の月だけ、何月末までの月の所だけ変えれば、毎月使えるようにワードで作って、それを使っています。
営業努力に関すること	回数券の自作	そう、ただ切って、ホチキスで留めてやっている感じですよ。
営業努力に関すること	回数券利用者	結構、最近増えてきました。
営業努力に関すること	回数券の営業への貢献	うん。やっぱりあれを買ってくれると、6回は来てくれるので、自然に。
営業努力に関すること	回数券の営業への貢献	半年で6回来てくれるというのは結構いいかなと思ってね。
営業努力に関すること	回数券の導入	これは結構最初から始めて。1人で開業した頃から。
施術者としての思い	経営者としての自信	そうそう、これはあまりやってないですね、きっと。
施術者としての思い	経営者としての自信	特に盲学校関係の人はやってない感じですね。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	でも、見える家族がいたりする人もいっぱいいるじゃないですか。
営業努力に関すること	回数券	あまり回数券の話は聞かないですよ。
施術内容・方法	施術内容	あとは、みんながやらないことを少しやるという、回数券のほかにも、オイルマッサージ。
施術内容・方法	オイルマッサージの導入	あとは、みんながやらないことを少しやるという、回数券のほかにも、オイルマッサージ。
施術内容・方法	オイルマッサージのイメージ	これも結構面白くて、オイルマッサージって、表面的な感じがするじゃないですか。
施術内容・方法	施術内容	じゃなくて、かなり圧掛けてやると、結構こりが取れたりするんです。筋肉、圧掛けて滑らせるってなかなかできないじゃないですか。
施術内容・方法	施術効果	じゃなくて、かなり圧掛けてやると、結構こりが取れたりするんです。筋肉、圧掛けて滑らせるってなかなかできないじゃないですか。
施術内容・方法	施術効果	普通のアンプじゃね。あれが結構緩んだりとか、痛みが取れたりとかするので。
施術内容・方法	施術内容	普通のアンプじゃね。あれが結構緩んだりとか、痛みが取れたりとかするので。

施術内容・方法	オイルマッサージの施術	問診で全身やりますけど。
施術内容・方法	施術内容	問診で全身やりますけど。
営業努力に関すること	広報の効果	うん。あとは、小児鍼、こういうのも結構インターネットで出しているから結構遠くからも来るんですよ。
施術内容・方法	小児鍼の導入	うん。あとは、小児鍼、こういうのも結構インターネットで出しているから結構遠くからも来るんですよ。
施術内容・方法	施術内容	うん。あとは、小児鍼、こういうのも結構インターネットで出しているから結構遠くからも来るんですよ。
取扱患者の状況	通院地域	県内、これ、例えばこの辺でやっても、高萩から来るとか、つくばから来るとか、そういう意味でも1つの人集めにもなるのかなと思うね。
施術内容・方法	施術時間	小児鍼は本当に5分か、10分で。
施術所と設備に関すること	使用鍼	小児はほとんどてい鍼を使って。
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	それとかしてますね。あとは、簡単にマッサージをお母さんに、ベビーマッサージみたいなやつを簡単に教えるみたいな感じでやりながら。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	それとかしてますね。あとは、簡単にマッサージをお母さんに、ベビーマッサージみたいなやつを簡単に教えるみたいな感じでやりながら。
施術所と設備に関すること	使用鍼	あれはセイリンのディスポ。
施術所と設備に関すること	道具への拘り	鍼先が丸いやつって何だっけかな。
施術所と設備に関すること	道具への拘り	そうです、JSP、そうそう。
施術所と設備に関すること	使用鍼	ほとんど寸3、1番と、寸6、2番しか使ってないです。
施術内容・方法	施術内容	ほとんどパルスしていないから、最近。
取扱患者の状況	鍼未経験の患者	初めての人もいます、結構。やっぱり、紹介なんかの場合には、鍼をやると治ると言われて来るんですよ。
施術内容・方法	患者のニーズ	そうすると、ちょっと怖いけど、やりますという人はいっぱいいます。
施術者としての思い	施術者の自信	そうすると、ちょっと怖いけど、やりますという人はいっぱいいます。
取扱患者の状況	鍼未経験の患者	いっぱいいますよ、それ。
現在の施術料収入	年収	400ぐらいですかね。
現在の施術料収入	年収	でも、そんなには大きく変わらない。
施術料以外の収入	副収入	いや、ないですね。収入という言い方はおかしいですが、コンサートで少し謝金をもらうぐらいなもので。
営業努力に関すること	コンサートの開催	取ってないです。これもね、最初取ったんですよ、取ろうと思ったんですけど、結局宣伝するときに、例えば新聞に載せるとかそういうときに、有料だと載らないんですね、なかなか。
営業努力に関すること	コンサートの開催	うん。そういうことがあって、全部無料でということで。
営業努力に関すること	コンサートの効果	そうそう、逆につなげる。それで、これやるといいのは、健康のお客さんなんかにやるといいのは、チラシを例えば公民館に置いて、いろいろな店に置いてもらったり、ポスターなんか結構行きつけの歯医者とかそういう所に貼ってもらえるので。
営業努力に関すること	コンサートの効果	そのPR効果もあると思います。
営業努力に関すること	コンサートの効果	それに、例えば今回やったら、11月にやるやつは「ダイエットのためのツボ療法」とかと書いておくと、もしかしたらダイエットにいいのかなと思ってくれる人がいるかもしれないじゃないですか、そういう効果も結構あるので。
営業努力に関すること	患者開拓	それに、例えば今回やったら、11月にやるやつは「ダイエットのためのツボ療法」とかと書いておくと、もしかしたらダイエットにいいのかなと思ってくれる人がいるかもしれないじゃないですか、そういう効果も結構あるので。
営業努力に関すること	コンサートの開催	11月3日なんです。文化祭の日なんです。
営業努力に関すること	コンサートの開催	いや、これは水戸で。
営業努力に関すること	コンサート会場	水戸は県生涯学習センターというのは、図書館の隣の三の丸庁舎の、あそこで、100人入る部屋があって。
営業努力に関すること	営業努力の重要性	貸してくれます。やっぱり治療院を開いていても、何かしないと、ここにあるよというのを分かってもらえないんですよ。
営業努力に関すること	広報活動	そうすると、誰も来てくれないとかなっちゃうんで、そういう意味では、やっぱり少し動かないとなんないですよ。
施術内容・方法	研修内容	そうすると、誰も来てくれないとかなっちゃうんで、そういう意味では、やっぱり少し動かないとなんないですよ。
営業努力に関すること	コンサートの開催	それが自分の場合にはコンサートだったり、そういうことなわけ。

営業努力に関すること	営業努力の重要性	何だっていいと思うんですけど、やっぱり少しは動かないとね、分かってもらえないですよ。
営業努力に関すること	営業努力の不足	でもね、健康の話なんか誰でもできることじゃないですか、普段患者さんに言ってることを言えばいいんだし。
営業努力に関すること	営業努力	それに、歌が好きな人だったらカラオケ、来た人と一緒にカラオケやるとか、何でもいいんじゃないですかね。お菓子が好きな人だったら、お茶飲み会やるとか何でもいから、何か人を集めるとか、そういう考え方は必要かもしれないですね。それには、別に目が見えなくてもできるじゃないですか。
施術所の経営状況	経営上の工夫	それに、歌が好きな人だったらカラオケ、来た人と一緒にカラオケやるとか、何でもいいんじゃないですかね。お菓子が好きな人だったら、お茶飲み会やるとか何でもいから、何か人を集めるとか、そういう考え方は必要かもしれないですね。それには、別に目が見えなくてもできるじゃないですか。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	逆にね、いろいろ介護保険のどうのこうのとかというのをやろうと思うと大変じゃないですか。ほかの業種とのつながりとか。
視覚障害の状況	移動の困難さ	逆にね、いろいろ介護保険のどうのこうのとかというのをやろうと思うと大変じゃないですか。ほかの業種とのつながりとか。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	そんなことよりも、よっぽど楽かなと思って。
施術内容・方法	印象に残った患者	最近の人ですと、顔面神経の麻痺、片側、これで来たんですけど、2週間後に胃がんの手術。
施術内容・方法	患者のニーズ	胃がんで、ほぼ胃全体に広がっちゃっていて、東大で手術するという話で、それまでに何とかなんないかなという話だったんです。で、それをやったりとか。
施術内容・方法	患者のためになる施術	普通に全身調整と、あと、顔をちょっとした鍼とか、そんな感じで。で、
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの感謝	結構、胃がんなんかかなり進んでいる人なんで、強い刺激もできないんで、とにかく、何とかその病院に入るまでに治ったんで、かなり喜んでいましたね、それはね。
施術者としての思い	施術者としての充実感	良くなりましたね。
施術内容・方法	患者のためになる施術	良くなりましたね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	良くなりましたね。
施術料以外の収入	副収入	はい。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	1種1級。
国家資格の取得	取得資格	持っている資格というのは、あん摩マッサージと、鍼と灸。
施術内容・方法	施術内容	お灸はあまりやらないですね。一応、全機能灸器とか用意はしてあるけれども。
施術内容・方法	施術効果なし	うん。何かやっている実感がないしね、あまり。実際に効いている感じがしないというかね、やっぱりお灸というのはもぐさの香りがしないと駄目なのかなと思いますけどね。
施術者としての思い	年齢	今、50です。
仕事としてのあはきに関する事	仕事への満足度	かなり満足してますね。
仕事としてのあはきに関する事	仕事への満足度	80とか、90、かなり満足しています。
施術者としての思い	施術者としての充実感	やりがいもあるし、そうですね、そんなに、ほか、あまり考えられないというのもあるし、
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	やりがいもあるし、そうですね、そんなに、ほか、あまり考えられないというのもあるし、
仕事としてのあはきに関する事	生活の糧	十分生活もできてるし、楽しく生きていられるし。
施術者としての思い	施術者としての充実感	十分生活もできてるし、楽しく生きていられるし。
施術者としての思い	職業継続の意思	うん、そうですね。
施術料収入に関する事	収入に対する満足度	収入もこんなもんですよ。そんなに要らないじゃないですか、お金っていってもね。
施術所の経営状況	今後の展望	普通に生活して、後々考えてもね、何とかかなるかな。
施術者としての思い	仕事への意欲	大した軸とか目標じゃないですけど、そこそこ続けて、いつまでなのか、10年なのか分からないですけど、そのぐらいは続けて。
施術者としての思い	職業継続の意思	大した軸とか目標じゃないですけど、そこそこ続けて、いつまでなのか、10年なのか分からないですけど、そのぐらいは続けて。
施術者としての思い	職業以外でやりたいこと	だって、あとは他にもやりたいこと、音楽だってもっと活動広げても面白いかもしれないし、
施術所の経営状況	経営に対する考え方	どう変わっていくか分からないですけど、そんなに、いつまでもいつまでも続けなくてもいいのかな、仕事しなくてもいいのかなとは思うよね。

施術所の経営状況	経営に対する考え方	そうそう。その時になるとやりたくなるのかもかもしれないけどね、それはね。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	特に思い当たらないかな。あまり無理していない感じなんで、今の感じがね。これ、例えば保険もやらなくちゃとかになっっていくと大変なんだと思うんです、介護保険もやんなくちゃとか、いろいろ考えるとね。
施術所の経営状況	現在の状況	まあ、それで何とかなってるというのが有り難いっていうところもあるけどね。

表 1 0 「対象3」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	3人での開業	ここはね、昭和44年の暮れに、それまで3人で開業していた同じ茨城盲の先輩と後輩が共同マッサージと言うことで、経営が始まったんですよ。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人で開業することの困難さ	それは一人ではどうしても無駄も多いってことで。
施術所と設備に関すること	立地の良さ	ここは花柳界だったから、すぐ前が料亭なんですよ。
営業環境に関すること	検番制度	当時検番制度というのがあって。検番っていうのは芸者組合をとりまとめるところだよ。そこに依頼があれば芸者さんを配置するわけ。そういうキーステーションになるのが検番。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	3人での開業	こういうのあるからいいんじゃないかっていうことで、誰ともなく言い出して、じゃあ3人で共同でやろうって。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人で融資を受ける困難さ	我々に対して銀行からの融資がなかなか借りられなくて、一人ではね。公的な所得証明書がないと。
施術所の経営状況	3人の決断	だから借りられなくて、3本の矢じゃないけど、3人でやればなんとかするんじゃないかってことでやった。20代の時だから怖いものなしで（笑）。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	土地だけは自分たちで買って、借金して共同マッサージっていうアパートのような、60坪近い家を建てて、3所帯で住んで治療院が始まった訳。
施術所の経営状況	経営の継続	45年から10年間。
営業環境に関すること	共同経営の終焉	手狭になったり、好景気になったりっていうのがあって。このままではしょうがねえから、支店を出すか、それとも分院するかなんて、我々は発展的解消って言ってんだけど。
営業環境に関すること	さまざまな問題の出現	手狭になったり、好景気になったりっていうのがあって。このままではしょうがねえから、支店を出すか、それとも分院するかなんて、我々は発展的解消って言ってんだけど。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	個人での開業	分割分院して。支店、本店っていう形じゃなくて、それぞれが開業って形で、ここを土台にしてね。
営業努力に関すること	新たな取り組み	分割分院して。支店、本店っていう形じゃなくて、それぞれが開業って形で、ここを土台にしてね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	それぞれの場所での開業	それで私がここに残ったという訳。だから二人は市内にいます。
営業環境に関すること	社会情勢	いわゆるバブル時期と言われた時代がありましたよね。ニーズがあった訳よ、ここは花柳界だったから。料亭があったり、接待に使われたり、飲み屋さんとかも。
施術所と設備に関すること	立地の良さ	いわゆるバブル時期と言われた時代がありましたよね。ニーズがあった訳よ、ここは花柳界だったから。料亭があったり、接待に使われたり、飲み屋さんとかも。
施術者としての思い	施術者としての充実感	やっぱり仕事があったので、楽になるとかよくなったとかで、夜まで仕事あったから。
取扱患者の状況	患者数	やっぱり仕事があったので、楽になるとかよくなったとかで、夜まで仕事あったから。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	やっぱり仕事があったので、楽になるとかよくなったとかで、夜まで仕事あったから。
取扱患者の状況	過去の患者数	だいふ意義を感じながら仕事やってましたね。いい時代を経験しましたね、我々は。
施術料収入に関すること	収入の減少	バブルがはじけて、交際費っていうのもなくなったっていうのが、大打撃だったね。料亭なんかで接待する客も少なくなって、そこで我々を呼んでもらえなくなってきた。
営業環境に関すること	社会情勢	バブルがはじけて、交際費っていうのもなくなったっていうのが、大打撃だったね。料亭なんかで接待する客も少なくなって、そこで我々を呼んでもらえなくなってきた。
施術所の経営状況	仕事の減少	バブルがはじけて、交際費っていうのもなくなったっていうのが、大打撃だったね。料亭なんかで接待する客も少なくなって、そこで我々を呼んでもらえなくなってきた。

施術料収入に関すること	収入の減少	世の中も不景気になってきたことから、タクシー代をかけて呼んでマッサージにかかるってことが少なくなっちゃった、一般の市民の方もね。
取扱患者の状況	患者意識	世の中も不景気になってきたことから、タクシー代をかけて呼んでマッサージにかかるってことが少なくなっちゃった、一般の市民の方もね。
営業環境に関すること	社会情勢	やっぱり規制緩和の一つもあるんだろうけど。それは今の訪問マッサージに繋がってくるんだけど。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	営業形態の変化	やっぱり規制緩和の一つもあるんだろうけど。それは今の訪問マッサージに繋がってくるんだけど。
営業環境に関すること	社会情勢	それまでの間はだんだんじり貧になってきて。非正規が増えたり、職業選択の自由とか言って無免許者が大量に黙認されるような形で、国にしても、県にしてもね。
施術料収入に関すること	収入の減少	だから、無免許業者が増えてきて我々の仕事が圧迫されてきてたんだね。
営業環境に関すること	社会情勢	だから、無免許業者が増えてきて我々の仕事が圧迫されてきてたんだね。
営業環境に関すること	社会情勢	で、バブルの頃は社会の感じとして、暗黙の了解みたいなので、視覚障害者の職域を荒らす必要がないんじゃないかって具体的に言われるような感じで、あん摩マッサージは我々の仕事ってことになってた。
営業環境に関すること	あはき師が置かれている状況の	それが規制緩和とか、不景気とかで、そういう社会になって、我々も巻き込まれてやっぱり保険でやるしかないような状況になってきて、そういう意味では大分変わってききました。
営業環境に関すること	あはき師が置かれている状況の	自分の力量だけでは、個人経営が難しくなってきたこと。だから、今言ったように訪問マッサージとか、職員を雇うとか、企業的に規模を大きくして治療をやるとか波に乗っていかないと、来院する患者だけを待ってるだけになって。
施術所の経営状況	個人経営の限界	自分の力量だけでは、個人経営が難しくなってきたこと。だから、今言ったように訪問マッサージとか、職員を雇うとか、企業的に規模を大きくして治療をやるとか波に乗っていかないと、来院する患者だけを待ってるだけになって。
施術者としての思い	職業継続の意思	これからの人は大変だねって。我々は飲んだ席で話したりしてんですけど。そういう風に様変わりしましたね。
施術所の経営状況	現状の客観化	これからの人は大変だねって。我々は飲んだ席で話したりしてんですけど。そういう風に様変わりしましたね。
施術者としての思い	職業継続の意思	従業員も二年前にみんな開業させたんで。だから出張はやらないで、自宅だけで。もうだいたい年齢も年齢ですから。
施術者としての思い	社会的責任を果たした自覚	従業員も二年前にみんな開業させたんで。だから出張はやらないで、自宅だけで。もうだいたい年齢も年齢ですから。
施術者としての思い	仕事への意欲	絞りながらやってるとこ。
施術者としての思い	気づいたら迎えた年齢	71。そうなっちゃった。
営業環境に関すること	過去の営業モデルの終了	そういないんです。そう、旧態依然とした住み込みでっていうのはないよね。
施術所の経営状況	最大雇用人数	5人。バブルのときだね。
施術者としての思い	求人における苦労	これはもう需要があったから。あの頃は自分の所に来て欲しくて、あっちの学校、こっちの学校に求人を出したもんだけど。
施術者としての思い	過去の求人状況	だから、茨城盲じゃ足りないから、塩原の人がかなり来ましたよ。
施術内容・方法	施術内容	普通に一時間のあん摩治療が多いんですが。私は昔からオーソドックスなあん摩です。
施術内容・方法	施術時間	普通に一時間のあん摩治療が多いんですが。私は昔からオーソドックスなあん摩です。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	ただ、アラカルト方式じゃないですが局所マッサージ30分とか。45分とか取り入れてますが。
施術内容・方法	施術内容	通常は一時間で、規定料金で。
現在の施術料収入	安い施術料	ここは安いからあん摩料金は3800円。
営業環境に関すること	社会情勢	平成5・6年に上げたっきり、上げらんないんだ。
現在の施術料収入	地域内での取り決め	ただ、その頃は会員も多かったので規定料金を決めて、それを全員で守ろうと。そうしないと営業がってことで土浦支部として最低料金を決めてる。
営業努力に関すること	営業努力	私としては一人半とか、一人半っていうのは90分なんです。80分5000円って言うのを作ったらこれが評判よくて。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	5000円って言うのは区切りがいいから。ちょっと疲れた人、ゴルフ帰りで眠りたい人とか。

施術内容・方法	合理的な施術	やる方の我々としても一時間も一時間二〇分も変わらないから。そんで５０００円となればやりがいもあるってことで。けっこうそれが多くてね。
施術者としての思い	仕事への意欲	やる方の我々としても一時間も一時間二〇分も変わらないから。そんで５０００円となればやりがいもあるってことで。けっこうそれが多くてね。
営業環境に関すること	社会情勢	料金を上げる条件としては社会の公共料金とか、いろいろ値上げされたとか、理髪店の料金とかは目安になったんですが。あんまりそういうことがなくなっちゃったんでね。
現在の施術料収入	安い施術料	この辺近辺では土浦は安い方なんだ。
現在の施術料収入	地域内での取り決め	それはやっぱり大所帯ですから。それで統制執るためには最低料金ってことでいいだろうって。
営業努力に関すること	営業努力	その他タクシー代とか取ればそれでいいだろうってことで。自分なりに一人半とか、増収を図れば。
現在の施術料収入	施術料の検討	最低の料金を決めて協定を決めてんの。料金の値上げについては総会で会員からでなくて話題にならなかったですね。
施術内容・方法	施術内容	難しい臨床用語とかじゃなくて、普通の言葉で天候の話に始まって、ここがこってるねとか。
施術内容・方法	施術に対する考え方	難しい臨床用語とかじゃなくて、普通の言葉で天候の話に始まって、ここがこってるねとか。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	それでコミュニケーションが大切なんだよね。誠意を持ってやってるってことを見せることですよね。
施術者としての思い	施術者としての態度	それでコミュニケーションが大切なんだよね。誠意を持ってやってるってことを見せることですよね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	落語でもそうだけど掴みが大事で。ここがこってるねとか、疲れてるねとか言いながら、ここがこんなに張ってるんだからなんかやんなかったなんて言ってぴったり当たったりすると信頼に繋がるので。信頼とコミュニケーションを繋ぐように普通の言葉でね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	それでやっぱり聞き上手になる事かな。患者のいろんな性格って言うのもありますから。眠りたい人に眠らせて、話し上手な人は１時間話しっぱなしって言う人もいますから。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	家庭の事情まで話されて困ることもありますが、嫁姑関係まで聞かされて。心許してもらえるように患者に飛び込んでうことだね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	家庭の事情まで話されて困ることもありますが、嫁姑関係まで聞かされて。心許してもらえるように患者に飛び込んでうことだね。
施術者としての思い	守秘義務	あとは、それを絶対他言しない、守秘義務は守って。
施術者としての思い	施術者としての充実感	で守秘義務を守ってきたことも黙っていたら、同じ夫婦が二人できたことがあとで分かって（笑）。そこまで黙ってることはなかったかなって思って。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	で守秘義務を守ってきたことも黙っていたら、同じ夫婦が二人できたことがあとで分かって（笑）。そこまで黙ってることはなかったかなって思って。
患者とのコミュニケーションの状況	コミュニケーション特性の把握	いろいろ面白くて。ご主人の性格にもよるんだけど、何もしないで、遊んでばかりでなんて言ってて怒る親父もいれて、そういう人がいないときに来るんですよ。そう思えば行ってきなって言われてくる人もいる。一応に扱っちゃうと来たんだってとかなっちゃうから（笑）。そこらもあって面白いよ。
施術者としての思い	施術者としての態度	あとはコミュニケーションの中で知ったかぶりをしないこと。医療関係でも何でも患者はこの頃はツボの名前もよく知っていたり、テレビなんかでやってるから良く知ってんですよ。
施術者としての思い	守秘義務	あとは人間関係がどの人とどの人が繋がってるか分かんないので、何か言っちゃうとあの人私の親戚なんですって始まっちゃったりするから。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	あとは人間関係がどの人とどの人が繋がってるか分かんないので、何か言っちゃうとあの人私の親戚なんですって始まっちゃったりするから。
施術者としての思い	守秘義務	あとは、ここは花柳界だったから別な女の人といるところに、私たちも揉みに行くこともあったので、だからそれも黙ってないと（笑）。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	だから聞かれてることに答えてればいいんだ。あんまり考えないで、平常心でコミュニケーションをって聞かれたことに答えながら、気持ちよく帰ってもらえだね。

患者とのコミュニケーションの状況	患者との関係	こんなこと言っちゃちょっとあれかなって思うんだけど。40年間きてくれる方々が多いんで、それこそ娘さんの時代から、東京に嫁に行って帰ってきたときに呼んでもらったりする人もいるし。おばあちゃんになったから呼んでもらったりってことなんで。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	こんなこと言っちゃちょっとあれかなって思うんだけど。40年間きてくれる方々が多いんで、それこそ娘さんの時代から、東京に嫁に行って帰ってきたときに呼んでもらったりする人もいるし。おばあちゃんになったから呼んでもらったりってことなんで。
施術者としての思い	施術者としての態度	言葉の操作とか、態度の操作をしなくても患者に入り込んでいる人が結構いるので、
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	言葉の操作とか、態度の操作をしなくても患者に入り込んでいる人が結構いるので、
施術内容・方法	施術内容	普通の天候の挨拶から、今日はどこがこったのとか、何があったのとか。ってやればだいたいどこがこってるのか分かるので、やりながら進めていくんですよね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	私は公平に揉むってことをモットーにしてるんですが、こってるところを多くね。患者がやってほしいところを掴んで、そこに多く手を持っていくと喜んで満足して行きますから。
施術内容・方法	施術内容	特にないんですが。やっぱり、初めて来る人かな。初めての人には6割8割ぐらいの刺激の量でやるようにして。
施術内容・方法	刺激量	特にないんですが。やっぱり、初めて来る人かな。初めての人には6割8割ぐらいの刺激の量でやるようにして。
施術内容・方法	施術内容	必ず、これは機械的な刺激でだるくなるかもしれませんが、それを繰り返してですって説明して。
施術者としての思い	施術者としての態度	必ず、これは機械的な刺激でだるくなるかもしれませんが、それを繰り返してですって説明して。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	そうすると多少は繰り返しがきても反応なんだから大丈夫なんだって最後に行っておいてあげると、後々までリピーターになってくれるのね。
患者とのコミュニケーションの状況	信頼関係の不成立	それがないとあそこに行ったらかえって痛くなったとかなるから。
施術者としての思い	スタッフとの信頼関係	特にないんですけど。私は個人の力量を尊重して、従業員の人も。
施術所の経営状況	人材育成	で、山本五十六じゃないが、行ってみてさせてみてって言うやつだね。実技をやってあんたのはこういう感じなんだって、おれはこんな感じでやるんだけどどっちの方がいいって？あんたが判断してやった方がいいってことで。
施術者としての思い	スタッフに求める力	まずは褒めることと実技で治してあげて、あとは任せてね。
施術所の経営状況	人材育成	で、卒業して間もなくして自信がない時には、私が最後フォローしたりしてね。5分、10分私が変わってやってあげたりね。だんだん自信を持たせてあげるようにすると、独り歩きするようになるんで、従業員も。
施術者としての思い	基本的技術の習得	で、卒業して間もなくして自信がない時には、私が最後フォローしたりしてね。5分、10分私が変わってやってあげたりね。だんだん自信を持たせてあげるようにすると、独り歩きするようになるんで、従業員も。
施術者としての思い	施術者としての態度	あと経営的にはコミュニケーションをしっかりとって、患者の主訴をよく聞くんだよって言ったりして。真面目に汗流してやる姿を見れば患者あんまり文句言う人はいないんで。
施術内容・方法	研修内容	私も、経営的に収益を上げてもらわなきゃしょうがないので、半月から1か月ぐらいは私との実技を中心にやったり、来た患者にお願いして受けてもらって、私が仕上げをやるとかやってあげて。
施術所の経営状況	人材育成	取れてないところがあつたら、それは反省させてね。実技で示してあげたりしながらだいたい1か月ぐらいでローテーションに入れてやるようにしました。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	あとは患者のニーズによってだめだとか、あの人でいいよとか。ただ性格によって、従業員によってはコミュニケーションが取れないとか、いくら言っても直してくれない人がいて、困りましたがね。
施術所の経営状況	経営者としての苦悩	あとは患者のニーズによってだめだとか、あの人でいいよとか。ただ性格によって、従業員によってはコミュニケーションが取れないとか、いくら言っても直してくれない人がいて、困りましたがね。
施術内容・方法	施術内容	鍼は1割ぐらいで、私は肩・頸腰のはりが揉んではとれないぐらいのうんとこってる人。
施術内容・方法	鍼の効果	患者側の言い分なんですけど、鍼をすると長く聞くんだったという人。だから、そうなんだよ。

施術内容・方法	施術内容	表面をもんで、奥のツボを鍼で刺激すれば長くつくんですよって言ってあげると、鍼をやってくれる人もいて。そういうやり方しかなかったんで。ときどき五十肩とかぎっくり腰とかありましたが。
施術者としての思い	鍼施術に対する自信のなさ	鍼に対する専門的なあれはなかったんで。
患者とのコミュニケーションの状況	あん摩の需要	で、ここはあん摩にいいところだったんで。さっき言ったように私は42年に卒業して、43年に開業して、44年にここで共動マッサージを始めましたので。だから借金しちゃったでしょ。それを返すためには、手っ取り早いのは、金になるあん摩だったんですよ。
施術所の経営状況	経営者としての判断	で、ここはあん摩にいいところだったんで。さっき言ったように私は42年に卒業して、43年に開業して、44年にここで共動マッサージを始めましたので。だから借金しちゃったでしょ。それを返すためには、手っ取り早いのは、金になるあん摩だったんですよ。
施術者としての思い	鍼施術に対する自信のなさ	ここは遊郭だったので。あん9、鍼1の割合でやってたのであんまり腕磨かなかったんで、あんまり自信はないんですが。
施術所と設備に関すること	立地の良さ	当時はここから歩いて15分ぐらいで、駅なんですけど、その間にあん摩さん15人ぐらいいましたよ。
取扱患者の状況	患者数	従業員使ってたところが3軒私も含めてありましたから。それでもお客さんがいてやっていけたんですよ。
取扱患者の状況	過去の患者数	時間のかかることだから何十人ってできるもんじゃないけど、1日7・8人から10人ぐらいやったもんですよ。フル回転ですよ。
施術者としての思い	スタッフの役割	出張すると、その時間もあるし。だからやっぱり手が必要だったんですよ。
施術所の経営状況	経営者としての判断	出張すると、その時間もあるし。だからやっぱり手が必要だったんですよ。
取扱患者の状況	患者数	今は2・3人です。ちょうどいい塩梅に従業員いないからってことで、仕事ももうやらないんだろうって噂になって。
施術者としての思い	仕事量の制限	ちょうど私もいいの。私でいいっていう人で、電話くれる人だけやってると、楽で。仕事に追われるとやっぱり疲れるようになってっちゃうんだよ。だから今は顔見知りの長い付き合いの人ばかりだから。
取扱患者の状況	定期来院患者	何人ぐらいいるんだろう？！ふるいにかけた分けじゃないんだけど、10人や15人いるのかな？数えたことはないんですが。
取扱患者の状況	患者の高齢化	かえって来ないと心配になるくらいで、入院してたとか、なんだのってそういう年の人も多くなりましたね。
取扱患者の状況	通院地域	近所の人が多いですね。まあ遠くからくる人もいるけど、小美玉の方から来たり、石岡から来たりね。あと、こっちだと牛久の方から来たりだとかね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との関係	何も近いところに行ってもいいと思うんだけど。やっぱり来てくれんですよ。ありがたいです。そういう人間関係はありがたいっすよね。
営業環境に関すること	経営者としての仕事の終了	去年はやっぱり一人になったからね。どのくらいだろう。従業員がいたころは、給料も払うから計算もしてたけど、この頃は計算もしないで。その日食べられればいいって感じだったから。
施術料収入に関すること	月収	特にやってないけどどのくらいなんだろうなあ。そんなに・・・20万か30万かなあ。でも一日1万ぐらいにはなるから25万ぐらいにはなるか。1か月で。日曜日以外働いているとね。
取扱患者の状況	患者数の減少	今年になると大分ふるいにかけたから、熱い時には来院者も少ないですから。まあ3分の2ぐらいでしょう。
施術者としての思い	社会貢献的活動	ちょうど我々もそのくらいでいいんです。あとは会議みたいのも当て職で結構出てるので。今までは従業員がいたから、開けることはなかったんだけど。
施術内容・方法	予約による施術	だから、電話してから来てくださいよってことになってるのて。
施術所の経営状況	廃業へ向けての準備	そうです。そうです。ちょっとそれ心配したんですが、いきなりたくさん来られても困るし。どういう風にソフトランディングしたらいいかなあって思って。やっぱりこれまでの付き合いもありますから。
取扱患者の状況	新患の受け入れ	新患をとらない訳じゃないけど、積極的にはやっていない。
施術者としての思い	施術者としての充実感	あの頃はおもしろかったね。若かったし、必死だった。多少無理しても夜までも働いたしね。面白かったですよ。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	3人での開業	共同で借りた。そうなんですよ。一人ではなかなか銀行が相手にしてくれないから。

施術者としての思い	融資の返済	みんな独立する頃には返し終わってた。あの頃は張り合いもあったしね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	3人での開業	なかなかお金が借りられなくて、あれにはほんと困りました。一人でやってるとロスも多いし、とにかくやってみようってことで、始まっちゃったんでね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	高い利息	いや、今思えば高い利息の融資を借りてねえ。9. 6 だか8のすごい、昔の総合銀行なんつうところからね。
施術者としての思い	融資を受けるための取り組み	他は相手にしてくんねんだ。3人で有力な保証人を頼んでね。いろいろ、そういう勉強もしましたねえ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との関係	面白かったねえ。それぞれのところにお得意さんがいて、その中に市議員の人がいたり、社長さんがいたり。
周囲のサポートに関すること	有力者の協力	そうするとあの頃はみんな福祉的な要素もあって、あんたらがそういうならやってやろうって言う男意気の強い人がいたんですよ。私たちは、その市議会議員の有力者に頼んで。そうすると弦の一声で借りられちゃうんだよ。面白かったね、あれね。
周囲のサポートに関すること	有力者の協力	今だったらとんでもないけど。そういうこともやりながらね。ろくなお礼もしないでやってもらっちゃった。
施術者としての思い	共同経営の仲間	そうです。二人とも茨盲の先輩後輩で。ここらには花柳界だったこともあってずいぶん茨盲出身の人たちがいたんですよ。だから気心知れてるって言うか。話がすぐあっちゃうからね。
施術者としての思い	施術者としての自立	みんな家建てたり、結婚したり独立心が強くてやってたんですよ。ほんとに土浦は大したもんだと思う。あれも、切磋琢磨っていうか、あいつが家建てたんだから俺も見たいに刺激になったんだと思うよ。だからみんな新築したよ。で、その家に行って新築祝いだって言って飲んだりね（笑）。みんな20代にそういうことしてたんだからすごかったなあって。
施術者としての思い	盲学校への入学	昭和37年だったかなあ。潮来の田舎から。田舎の農家の次男だったから。みんな進学だの就職だのでいなくなっちゃったから、何しようかってことになって。できないってことになって。盲学校にってことに。中学の最後の頃はもう視力も下がって無理だったんだけど
国家資格の取得	資格取得	こういう鍼灸の資格が取れるところがあるよってことで。町ン中にはバスで3・40分かかるんだけど、そこでは開業もできるというのを聞いて、逃げるように盲学校行ったんだよ。周りがみんないないんだもの（笑）。
国家資格の取得	過去の資格取得制度	あの頃は中卒5年家庭ですから。3年であん摩が取れたの。そのあと2年で鍼灸。だからバイト行けたの。
施術者としての思い	在学中の施術経験	あの頃は中卒5年家庭ですから。3年であん摩が取れたの。そのあと2年で鍼灸。だからバイト行けたの。
施術者としての思い	バイト経験	ああいう制度もよかったよね。ある意味経験が詰めたからね。バイトは伊香保まで行った。
施術者としての思い	バイト経験	茨盲の先輩がいたんで、その紹介で夏休みにね。伊香保は会談と坂野町でねえ。私は色変だから夜は見えなかったんで、昼は見えるからいいけど、階段から落ちたりね。いやあ、えらい苦労したねえ。で、夜の街仕事宝あっち行ったりこっち行ったりねえ、伊香保の街歩きましたよ。あの頃はみんなバイト行きましたよ。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の決心	私は病院でのマッサージとかは嫌だったんで、自分でどのくらいできるか早くやってみたかったんでね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の決心	だから、とまり治療院には1年ちょっとしかいなくて。これも失礼だったんだが、飛び出して開業しちゃった。開業したくて。やってみたくてね。
施術所と設備に関すること	開業当時の設備	あの頃は間借りで風呂もなくて、台所もないようなところですから。ここらはそういう空き家みたいなのがあって、芸者さんとか出入りの多い土地だったので部屋が空いてたりするんですよ。そういうところで電話もなくて開業したんだ。大家さんの電話借りて
施術所の経営状況	経営に対する考え方	それで宣伝すんのも嫌いだったんで、コツコツやって、口伝で紹介してもらったりするようにして。経費かけないから怖くないんですよ。家賃と食べていければ、まずはその収入があれば開業当時はいいし。それからどんどん伸ばしていけばいいし。
営業環境に関すること	同業者との関係	そう同じような友達が土曜の夜とか、休みの前の人か徹夜で話したり、遊んだりしたんですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	そう同じような友達が土曜の夜とか、休みの前の人か徹夜で話したり、遊んだりしたんですよ。

開業のきっかけと開業後の経過の状況	3人での開業	そんなときに誰からともなく、これ検番制度があつて、我々もこういう無駄なことはやめて、3人でやればなんとかなるんじゃないかなあ、銀行の融資もそうだしって。まあ、耳情報なんですけど、怖いものなしで。ほんでやっちゃったら何とかなっちゃったんで。この3人で始まったのが昭和44年ですわ。
現在の施術料収入	当時の施術料	自宅で600円とか。外の出張言つて700円とか。って基準じゃなかったかなあ。1時間で。
営業環境に関すること	社会情勢	だから坪5万円の土地とか、土地がどんどん上がってきた時だからね。土地ころがしって言葉が生まれたくらい1・2年で上がるって状況で！とても一人で土地を買って開業するなんては難しい状況だったんだよ。
現在の施術料収入	地域内での取り決め	その後社会情勢に合わせて施術料金も上げていったけどね。厳密にいうと協定料金っていうのはいけないんだろうけど、もともと土浦の会長やっていた人が統率力があつて、協定料金を決めてくれてたんだよ。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	3人の経営が終わって一人になってから。昭和44年から54年まで共同マッサージをやって。58年ごろからスタッフを使いだしたのかな。3人でやってるときは共動マッサージってことでやってたけど、一人になってからは今の治療院名にして、家も少し改造した。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	新たな融資	何回も言うけど、あの頃は怖いものなしだから、借金ができるもんなら借金をして、その方が張り合いがあるから。だから一人になった時もお金を借りて、ここを半分立て直した。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	3所帯住めるようなアパートみたいなうちだったから1所帯で済むにはロスが多くて。そう使いにくくて。だから半分壊してここを施術所と住まいにして、半分は従業員に住んでもらってって形にした。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	十畳間と七畳半。二間あつて大工さんとの相談で大きな治療室を作ろうと思ったんだけど、木造ではあんまり大きくしない方がいい、鉄骨入れなくちゃならなくなるってことになって。じゃあ二間に分けてくれってことで、十畳間と七畳半にして片方は洋間方式にしてベッドを2台置いて、片方は板の間だったんだけど、じゅうたんを引いて布団を2枚引いて。
施術内容・方法	患者のニーズ	それが好悪そうして年寄とか眠りたい人は和室なんですよ。落ちちゃうから。落ちないんだけど、不安があるんでしょうね。そういうことがあつて、好評で。ゆっくり眠りたい人は布団の方で一人半やるとか。ぐうぐう寝ていくとか。二人で行くから和室を開けておいてくれとか。
施術所の経営状況	これからの経営方針	我々は今のままで縮小しながらやって行ってそれを良しとするしかないんですが後輩の人たちがちょっとね。時代に乗って行かないと独立開業が難しい時代になってきたので。その後世のために何かためになればと思うぐらいなんで。我々はこれでいいとして。自分の力量内で施術していければという状態なんだけど。気分的にものんびりね。余暇を楽しみながらね。
施術料以外の収入	副収入	年金とかですね。まあ、他はないですね。我々は経費かけなければ、かかんないから。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	全盲ですね。もう30代から。色変つて怖いよね。人によって違うけどね。いくら眼鏡かけても0.08以上は見たことはなかったけどね。盲学校のころもね。でも、かけまわってたけど（笑）。まあ、夜になると元気なくなっちゃうけど。
施術内容・方法	施術に対する考え方	印象に残つたて言うのは。職人氣質って言うのか我々の古い時代ですから、それこそカルテもなし、名前もなし誰でもいいから俺の腕でよければ来なさいぐらいのことでやった時もあったので。
施術者としての思い	施術者としての充実感	無謀なやり方なんだけど。それでできてくれて、気持ちよかったとか言ってもらえたり。ぎっくり腰でこれは鍼をやんなきゃまずいなって思う患者に、どうしてもいやなんだということで、これ指鍼だからって言うことで、試圧方式でやったら治ったりね。喜ばれたりね。揉んで治った時もあるけど。そういう見極めが大事なんだよ。治ったときは喜ばれたよ。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	無謀なやり方なんだけど。それでできてくれて、気持ちよかったとか言ってもらえたり。ぎっくり腰でこれは鍼をやんなきゃまずいなって思う患者に、どうしてもいやなんだということで、これ指鍼だからって言うことで、試圧方式でやったら治ったりね。喜ばれたりね。揉んで治った時もあるけど。そういう見極めが大事なんだよ。治ったときは喜ばれたよ。

取扱患者の状況	患者数の増加	あとは人づてで紹介してくれてね、やっぱり増えていったときはよかったしね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	何かあとは気持ちをほぐすわけじゃないけど、コミュニケーションとりながら、こういうもんだい、ああいうもんだいって言ってあげると、うまく功を奏して、改めて電話が来たり、わざわざ尋ねてきてお礼に来てくれたりするんですよ。腰が治った、どこが直ったとかじゃなくて、こういう風に私生活を直したらこらなくなったとかね。痛くなくなったとかね。そういうこともありましたね。
施術内容・方法	患者からの印象	だから、偶然の一致なんだから、やっぱり面白いんだよね。昔先輩に聞いたのも自宅でやっているってあん摩マッサージの先生なんだと。出張に行くとあん摩さんになっちゃうんだよって（笑）。それも面白い話なんだけども。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	自宅での開業	で、家で白衣を着てやっていると、多少はそういう治療効果があってよく見られることもあんのかなって。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	ですから、時候の挨拶に始まり、どこがこってんのとか、痛いとか。すぐにそこに手を持って行くことだよ。そうすると患者もすぐに答えてくれて、心開いてくれるんですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	ですから、時候の挨拶に始まり、どこがこってんのとか、痛いとか。すぐにそこに手を持って行くことだよ。そうすると患者もすぐに答えてくれて、心開いてくれるんですよ。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	そうですね。難しいですが、そういう考え方をしたことないけど。リピーターが40年いることと患者を紹介してくれることとか。たまには美人局みたいに痛くなったとかで賠償金を求められたことも1・2例ありましたが。概ねリピーターがあったことを考えると効果があったのかなと。俺のやり方でよかったのかと自負している所なんです。%で言うと5・
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	家庭を守り、家を建てられたって、やってこられたことを考えれば大満足って言うてもいいのかも知れないけど。まあ満足って言えば満足なんだよね。
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	そうだね。借金払って、少し楽しみながらやってこれたから。
施術者としての思い	進路への展望	この仕事しかないと思ってやってたからね。でも見えなくなってなかったらやってなかったね。
仕事としてのあはきに関すること	視覚障害者の適職	よく講習会なんかで講師の先生が言われるようにあんた方は見えないから仕方なくやって、見える人は職業選択の中から選んだから意気込みが違うんだって言われれば。俺は違うんだけど。適職だと思ってやってるよって反発したんだけど。最初のほうは入り口は見えないから仕方なく始まったんだよね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	やっぱり患者に喜ばれたりリピーターになってもらってやっていると嬉しいもんね。で、待っててくれたりね。面白いのは商店街の人が毎週水曜日来てくれとか、火曜日来てくれとか。定期的に夫婦でやってくれてね。商店が終わった8時頃からとか。呼んでくれて嬉しかったね。認められたんだなあって。3・4件そんなのがあるとね。収入も少しは固まるでしょ、嬉しいかもね、あれは。
営業努力に関すること	広報活動	ほとんどやらなかった。ただ私はとまりさんにいたから、家も近くだったし。異端者のように、そこから1年ぐらいで飛び出して開業しちゃったけど、そのときの顔もあった。あとは、その人たちは少なかったから、自分で開拓してね。あと、ホテルとか、料亭とか、そういう所には挨拶に行ったことはあったけど。個人の内はあんまり行かなかったね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	そこにどうせお金かけても、一人でやってんで急に来られても困るし。やっぱりもっとも先輩に良く教えてもらったんだけど、患者が欲しいからって長くやったり、サービスしたりすると、そのときはいいけど、忙しくなったときに時間をぴったりにすると、あそこは雑になったとかって言われるからって。しんりがあるから、絶対そこは技術の安売りしちゃだめだって言うんだ。私もモットーだったし、先輩にも言わ
施術所の経営状況	経営に対する考え方	そこにどうせお金かけても、一人でやってんで急に来られても困るし。やっぱりもっとも先輩に良く教えてもらったんだけど、患者が欲しいからって長くやったり、サービスしたりすると、そのときはいいけど、忙しくなったときに時間をぴったりにすると、あそこは雑になったとかって言われるからって。しんりがあるから、絶対そこは技術の安売りしちゃだめだって言うんだ。私もモットーだったし、先輩にも言わ

営業努力に関すること	広報活動への戸惑い	チラシをまいても効果はあるけど、将来への実益はないと思ってとうとうやんなかったからね。
国家資格の取得	取得資格	あん摩マッサージ指圧師、鍼師、きゅう師。灸はやったことありません。温灸程度はやったことあったけど。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	マイクロとか、牽引機も入れたんだけど、あんまり使わなかったね。
施術者としての思い	施術向上への意欲	あと、私ローリング療法っていうのを学んできて。ローラーを使って、ローラーベッドってあるでしょ、あれを手でやる、ローラーでね。これなんだけど、赤ローラーと青ローラーっていうのがあるんだけど。赤ローラーは柔らかくて、青ローラーは固い。これは赤ローラーで自分でも使ってるんだけど、これを使ってやる。脊柱起立筋とか、力は3割5割でいいんですが、刺激が強いんでね。
施術者としての思い	自己研修	あと、私ローリング療法っていうのを学んできて。ローラーを使って、ローラーベッドってあるでしょ、あれを手でやる、ローラーでね。これなんだけど、赤ローラーと青ローラーっていうのがあるんだけど。赤ローラーは柔らかくて、青ローラーは固い。これは赤ローラーで自分でも使ってるんだけど、これを使ってやる。脊柱起立筋とか、力は3割5割でいいんですが、刺激が強いんでね。
施術者としての思い	セルフケア	で、今はあんまり患者にやらないで自分にやってんの。要するにこれを下に敷いて仰向けに寝て起立筋を転がすの。気持ちいいですよ！誰も背中揉んでくれないから（笑）。
施術内容・方法	採用した技術	ミノハラさんっていう人が開発した揉んでもう20年、30年前になるかな。ローラーはいろんな種類があるんだけど、これだけ使ってます。
施術者としての思い	技術の習得	そう。東京で1泊でやったりね。あの頃は若かったから行ったんだ。その頃頭が禿げ上がったおじいちゃんも来てて熱心な勉強家だなんて思った。九段会館でもやったしね、泊まり込みで、そういうのを併用していますね。
施術内容・方法	研修を生かした施術	そう。東京で1泊でやったりね。あの頃は若かったから行ったんだ。その頃頭が禿げ上がったおじいちゃんも来てて熱心な勉強家だなんて思った。九段会館でもやったしね、泊まり込みで、そういうのを併用していますね。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	はい。1級です。全盲になったから1級になっちゃった。
施術者としての思い	後輩への思い	そう、だからもっと我々を活用してほしいんですよ。来てくれればいくらでもやるよって。俺ら自己流なんだけど理論的にどうのこうのってはないんだが。やっぱり経験談ね。経験の医学なんだから。
施術者としての思い	経験の重要性	そう、だからもっと我々を活用してほしいんですよ。来てくれればいくらでもやるよって。俺ら自己流なんだけど理論的にどうのこうのってはないんだが。やっぱり経験談ね。経験の医学なんだから。
施術者としての思い	見学者の訪問	今度の日曜日だっけかな来るんだよ。茨城の生徒が、一回学校で見学に来て、もう一回話聞かせてくれって言うから、いいよって。筑波技術大の人もくるし。けっこう来てくれると嬉しいよね、どんどん使ってくださいよ。
施術者としての思い	施術者としての充実感	今度の日曜日だっけかな来るんだよ。茨城の生徒が、一回学校で見学に来て、もう一回話聞かせてくれって言うから、いいよって。筑波技術大の人もくるし。けっこう来てくれると嬉しいよね、どんどん使ってくださいよ。
施術者としての思い	施術に対する自信	今の訪問マッサージにしても対応能力っていうか刺激の量を調整しないと、体力が弱っている老人が多いから害になるかもしれないので、そこらの刺激の量もね。手技は必要だと思うよね。やっぱり経験の医学かなって思っちゃうよね。良くやってやろうと思ってやりすぎるとかえって悪かったりね。なかなかその見極めがね。我々をぜひ使ってほしい。

表 1 1 「対象 4」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	9年ぐらい。確か始まったのが20年の10月だか、11月かな。今年で9年かな。

施術者としての思い	開業までの仕事	卒業してすぐが整形外科。赤塚のカナリ整形外科、そのあと小豆畑に行って。そこから水戸の相川コアクリニックに行って。それから開業の話になってから、そこやめて何人か卒業生が言っていた訪問マッサージの「ひまわり」で、卒業生とも一緒にしばらく働いていた。そしてここを開業かな。病院が多かった。
施術内容・方法	業務内容	だいたいがマッサージ。相川コアクリニックに行っていた時は、卒業生がいて、鍼をやっていたので。
営業環境に関すること	以前の職場の状況	相川は今はやってないと思う。コアクリニックっていう方にマッサージとか、電気とかあったんだけど、今はデイサービスになってる。俺が辞めた後、少しして変わっちゃったんだよね。俺の後に入った子は常澄の老健の方に行っちゃったから。
施術者としての思い	病院での経験	その相川にいた時に、どういう経緯で鍼治療をやったのかは分からないけど、一人だけある意味特別待遇で他の患者さんがいないときにやってた。基本マッサージだね。
施術者としての思い	家族の協力	全然自分ではやる気はなかったんだけど、相方に「開業したら、開業するんだったら、今じゃない」って言われて。その相川にいるときに言われて、で、すぐもなかなか難しいでしょ。だからなぜかひまわりに行ったんだよね。1年間ぐらいいたかなあ、ある意味楽しかった。
営業環境に関すること	以前の職場の状況	すごいって治療じゃないんだよ。仕事じゃないんだよ。今はないと思うんだけど、あの頃って社長が途中で茂木行こうって言いだして、患者さんは入ってるのにだよ。あのツインリンク茂木だよ。唐突に言い出してその入っていた患者さんキャンセルして（笑い）！あっちこっち連れていかれたよ。お昼もいつも弁当持ってきたって言ってのに食べに行こうって言って。
施術所の経営状況	ずさんな経営	やっていけないんだよ。だって、給料未払いしばらくあったもん。だから自分でやった人チェックしておいて。社長があんまり把握していないから。あれは患者にはいいと思うけど、店はとてもとてもやっていけないよ。俺がいたころレセプト請求していないんだから。患者さんからは保険の負担分しかもらってないんだから。保険請求できなかったの。やり方わかんなくて。水戸の助成券あるじゃん。あれも店として申請していないのに患者さんから使えますよってもらってきて。だからお店側としては売上ないんだよ。サービスだよ。
施術所の経営状況	経営の立て直し	でも、途中から知り合いが入って保険の請求とか全部やるようになったんだね。じゃないと続けらんないもんね。息子の保険解約してお金作ってきたとか言ってて、あれはすごかったんだよ。最初が奥さんの生命保険を元に始めたらしく、けっこう最初は使いまくってたらしくて。先輩なんかはいい思いしたんだよね。あれは経営の参考にはならない。社長はいい人かもしれないけど。でも施術はけっこうあちこち行っただけだし。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	最初看板付けてなかったんだよね。って言うか看板来たら市役所で速攻来たの！どこで見てんだよって。家を建てるときに始めは二世帯住宅ってことで建てたんだよね。最初は開業って言っても届け出は出張専業で出してたの。看板付けたら、役所で来るのが早かった早かった。
施術内容・方法	出張での開業	最初看板付けてなかったんだよね。って言うか看板来たら市役所で速攻来たの！どこで見てんだよって。家を建てるときに始めは二世帯住宅ってことで建てたんだよね。最初は開業って言っても届け出は出張専業で出してたの。看板付けたら、役所で来るのが早かった早かった。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	あれにはビックリした。看板を出したときにはベッドとパルスの機械は実家からもらったんだけど。実家が接骨院やってるから。使わないからってもらったんだけど、使わないんだ。電気で暖めるホットパックは、N先生にももらったね。N先生が間違っって二つ注文しちゃったから一つやるって。そんなもんだよ。だから別に特別な物は使ってない。N先生にはレーザー買え、レーザー買えって言われてるけど。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	ベッドとか椅子とか机とスリッパとぐらい。あとは看板。買えるものはネットで買っちゃう。
施術所と設備に関すること	使用鍼	セイリンのJSP？！これを使ったことあったけど、今はJタイプにしちゃった。鍼はそんなにやってないなあ。N先生に言わせると「ついでバリ」って言われるんだけど。やることはやってるけど。

施術内容・方法	鍼施術	セイリンのJSP?!これを使ったことあったけど、今はJタイプにしちゃった。鍼はそんなにやってないなあ。N先生に言わせると「ついでバリ」って言われるんだけど。やることはやってるけど。
施術内容・方法	灸施術	お灸もたまーにやってる。お灸って言っても艾はできないからせんねん灸。一人しかやってないけど。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	施術が終わった後に楽になったとか、って言われること。そんなしょっちゅうないけどね（笑い）。
施術内容・方法	施術内容	特別決めてないなあ。その時によってだな。患者さんに合わせて。
取扱患者の状況	患者数	最初から思ったよりは来てたかな。もともと、ここ小鳥屋さんで。あと勘違いで来た人もいた。相方の妹が近くの病院に勤めてたから、その子が開業したと思って来てくれた人がいた（笑い）。もともとお店だった関係で来てくれた人もいた。宣伝ってしてない。
周囲のサポートに関すること	先輩施術者の支援	あとN先生が大きかった。「あそこできたから行ってみろ」「あそこにいる男いるから行ってみろ」とか!宣伝の仕方が面白いでしょ。ばあさんたちにいい男いるって言ってんだから。N先生の所は基本鍼しかやらないから、そこから来た人もいた。
施術内容・方法	ホテルでの施術	だから最初はどれだけ来るか分からなかったからホテルの方のバイトも入れたんだよ。もともと日立の鍼灸師会に入ってる人がいて、その人が体調が悪いからってことでやめるなんて話してたときに、ちょうど引っ越してきたから。じゃあやりますよって言って代わりに入った。
施術内容・方法	ホテルでの施術	ほんとはホテルで待機しててもいいんだけどいつ来るかわかんないし、あるときもあれば、全くないときもあるのね。一番最初の日だけ向こうのホテルにいたんだけど、やだっと思って、耐えらんないと思って（笑い）ホテルの従業員の控え室みたいな所にぼつんといたから。入ったら連絡してくださいって形にしちゃったの。一応8時から11時の間を受付にして。呼ばれたら行くって感じかなあ。日曜、祝祭日以外、だんまりなときもある。
取扱患者の状況	出張先患者数	ホテルが駅前のプラザなのね。そこが旅行じゃなくて出張関係の人が多いから、平日の方が泊まっている人が多いのかな。週末よりは。
施術内容・方法	出張先でのできごと	全く呼ばれない週もあるけど。昨日も行ったらキャンセルとかね。前もって言われたのね。それで約束の時間に行ったら、お客さんが戻ってなくて、連絡してもらったら9時番に変更って言われて。その後、今度はなくなりましたって（笑い）。
施術内容・方法	ホテルでの施術	会計はホテルのチェックアウトの時にまとめて払って、こっちに振り込まれる感じ。やった分って、あそこは40分で4,000円なのね。そのうちの1割がホテル、だから単純に言ったら4,000円やったら、3,600円こっちに入ってくる感じでって最初に言われたんだけど、明細とかはないから。契約書を見ると、あれには深夜1時までとかって書いてるんだけど、これは見なかったことにしようと思って。
施術内容・方法	出張先との関係性	最近は更新の書類とか言ってこないから。最初2年目ぐらいまでの時には書類を書いてたんだけど、最近はないから、いいやって。最初やっていた人の時にはそういうのはなかったみたいなんだよね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	なんかその人は遅い時間、1時とか2時とかでもいいって言ってたらしいの。その影響で入ったところはけっこう遅い時間にやってくれてって言われた。12時とか1時とか、言われたんだけどきりないでしょ。そんな遅くまでやってても毎日のことだし、いつ入るか分からないし。もう今は割り切っちゃって11時過ぎたらやらないことにしてんの。
現在の施術料収入	施術料	30分が2,000円。45分が3,000円で1時間で4,000円。で、何人しかやってないけど1時間半で5,500円。
施術内容・方法	施術に対する考え方	最近1時間半やるって言わないの。最近長い治療が意味がない気がしてきて。
施術内容・方法	患者のニーズ	1時間。30分とか45分もあるけど。でも30分とかもけっこういるかなあ。
営業環境に関すること	周辺の施術料状況	この辺の他の治療院に比べると若干高いかもしれない。1時間3,500円とか、他は。この辺は安いんで。逆に整体とかの方が高いのかも。でも最近は1時間2,980円とかって安いとかも出てきたからね。
現在の施術料収入	施術料	最初から、その料金で上げる気も下げる気もない。

現在の施術料収入	施術料	しない。時間内であれば鍼でも灸でもやって、別途取ることはない。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	そう。
施術所の経営状況	営業時間	朝は9時から、夜は7時まで。って言うのはホテルが8時から始まるから。1時間やるんだったら6時半までには入ってもらわないと。
施術内容・方法	ホテルでの施術	もしホテルが入った場合がね。ここから走っていかないと駅まで（笑い）。夏場は酷い！15分後には開始してるから。じゃあ、向こうで待ってればいいじゃんってことになるんだけど、何もできないし。だから15分でがんばって行く。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	夜暗いのは危ないと思いますがねえ（笑い）。一度内原イオンができたころに、あの時はまだ周りが工事中で。あそこはなに？溝？側溝？川・・・？そこに落ちたことがあるの。
施術者としての思い	側溝転落後の状況	走ってて（笑い）。その頃イオンにボイトレ行ってたのよ。その頃バンドやってたから。帰りに電車がくる。間に合わないってなって軽く小走りしたら落っこっちゃった。暗くてわかんなくて。間違えば死んでた。だって高さが2メートルぐらいあったんじゃないのかな。全然どうなったのか分かんなくて。全然痛みもなかったのね。どうも前歩いてた女の人を抜いたのよ。そしたら俺落ちたでしょ。そしたら上から「大丈夫ですか」って声が聞こえんのよ。で、俺落ちてんだって分かって。で、大丈夫ですって言ったら行っちゃったんだけど。
施術者としての思い	側溝転落後の状況	あんときってすごくて、痛みも無いし、って言うか恥ずかしさの方が強くて。自力で上ったんだね。駅に向かってる途中にだんだん痛みが出てきたぞって思って、パット右の太ももを見たらジーンズが股関節から膝まで裂けてたの。そこでも痛みより恥ずかしさが勝ってて。もちろん泥だらけになってるから内原から、当時住んでた勝田まで電車乗るの恥ずかしいじゃんって。鞆でひっしに隠して歩いて、電車に乗って自宅まで帰ったら、もうジンジン傷んできて。言われたもんね「それどうしたのって」。仕事三日ぐらい休んだもんね。すごい打撲で病院にいったけど、骨には異常がないって言われて。そのあと明るい時に落ちたところを見に行ったら、けっこう幅があるところで、えっここに落ちたのって感じ。そこで頭打って気を失ってたら、くるぶしぐらいの水が溜まってたから下手すれば死んでたよね。
施術内容・方法	ホテルでの施術	でもここから駅まで15分で行っちゃう。一応気を付けてるよ。横は車通ってるからさ。だからなるべく人が通ってない所を通ってんだけど。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	右は0。左だけなんだけど視力は眼鏡かければ0.7とか0.8。白内障もやってるから網膜剥離やった時に。
視覚障害の状況	視力障害となった時期	大本は網膜剥離なのね。どうもアトピーでかゆくて顔を叩いちゃったの。どうも、その刺激で網膜がはがれたらしいのね。最初は右側で高校の時にやって。その頃がアトピーが一番酷くて。高校2年生の時に、なんだか見え方がおかしいってなって病院に言ったら網膜剥離だって言われて。レーザー治療したんだけど、けっきょく筑波大病院に飛ばされて、一応治ったんだけど。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	でも、またかゆくて叩いちゃってたんだよね。
視覚障害の状況	視覚障害の原因	そしたら、今度は左側もなっちゃって。何回も付いては剥がれ、付いては剥がれで。何十回やったのかなあ？2週間に1回のペースで手術してた。それで右目はだめになっちゃって、左側だけ残って。何回も何回もレーザーやったから周りの細胞は死んじゃって、中心だけ残ったから。

視覚障害の状況	視覚障害の状況	それで水晶体がないから眼鏡で調節。遠く用と、近く用と。何だかよくわかんないけど、あの時白内障にもなったんだよね。でも、不思議なことに瞳を広げると霞がとれたの。だから、手術する前は良く瞳開く目薬付けてたよ。結局白内障の手術をして、若いから眼内レンズを入れらんないからって言われて。眼鏡で調節。今でも近くは近く用の眼鏡。遠くは遠く用の眼鏡。この前作ったメガネは歩く分には遠くが見えるからすごくいいんだけど。治療中とか、家で居間にいるときなんかはピントが合わなくて使いにくい。処方してもらったんだけど、0.8、0.8のレベルで合わせちゃってんのね。その一個前のレンズが、もっと近くを見やすいようなレンズにしてくれたんだよね。同じ眼科なんだけどね。先生が違うからかなあ。だから、普段いるときには前使ってた眼鏡を使って。さすがに歩くときには新しい眼鏡絵を使ってる。裸眼だと0.01かな。なんだけど視野が狭いのね。95%欠損。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	最初は6級だったの。最初は視野が加味されてない時で。何かで水戸の小沢眼科行ったんだよね。級上がるよって言われたの。そしたら2級になったの。視野の関係で。感じ的にはトイレトペーパーの芯を覗いてる感じなのかな。人込みはだめ。子供は危険。
施術者としての思い	専門学校受験の失敗	高校の時にはまだ右目も少し残ってたかなあ。高校出て最初親の影響もあって柔整の学校、仙台の赤門に行こうと思ったんだ。受験したんだけど受かんなかったんだよね。
施術者としての思い	経理専門学校への入学と挫折	で、予備校に行ったんだ。予備校に行ったんだけど、そこでまた網膜剥離を発症しちゃって。赤門の方はやめたんだ。それでなぜか、親の勧めで経理専門学校に行ったんだ。なんでだったんだろう、よく自分でも覚えていないけど。そこに1年間は行ったの。2年に行くって言うときにまた再発してやめたんだ。
視覚障害の状況	右目の失明	そのあとかな、両目いっぺんにやったりとか、2週間にいっぺん手術をしていたのは。それやっちゃったから、右はだめになっちゃって。片方だけ残って、どうしようってなって。
施術者としての思い	盲学校への入学	そのときに盲学校の話が出てきて。あれは関東医療から親を通じて盲学校のことは知ったのかな。最初塩原の国リハ行こうとしてたのよ。塩原遠いって話になって。で、水戸にあるって話になって。それからかなあ、行ったのは。教育相談に行ったんだ。そこからあそこに入ったんだね。
視覚障害の状況	障害の克服	ない。別にこの病気になったからって言って別に落ち込みもしなかった。だってしょうがないじゃん。普通は押し込むとか言うんだけど、俺そんなことなかったよ。オペが何回もあって、やだったけど。その自分が病気になったことについて、別にへこんだりとかなかったなあ。全然。
施術者としての思い	視覚障害となった不安と希望	最初はちょこっと思ったことはあったけど、病院に入ると他にもっと重い人いるじゃん。まして俺がいた部屋何人か亡くなってんだよ。えっ！次俺みたいな！入院したのは眼科だけど、他の科の人もいたのよ。だから、亡くなった人が2・3人いて。なぜか、何人か減っていくんだよ。で、網膜剥離を、何で治せば、おれとか、それはわかんない。
施術者としての思い	進路への展望	抵抗はなかったな。勉強はしなかったけど。いろいろとあったけどね。S先生には感謝しなくちゃね。だからあそこ4年いってるよ。最初は専保行って、それから理療科行ったから。
施術者としての思い	盲学校での学習	抵抗はなかったな。勉強はしなかったけど。いろいろとあったけどね。S先生には感謝しなくちゃね。だからあそこ4年いってるよ。最初は専保行って、それから理療科行ったから。
国家資格の取得	資格取得	何年だっけ？免許証見ればわかるか。この免許証をとったのが平成12年だから、学校に入ったのは平成8年ぐらい。
施術者としての思い	太っていた自分	勉強はしなかったけど、嫌にはならなかったかな。学校に通ったおかげで痩せたし。入院してるときに、網膜剥離だったから動けないじゃん。食べる方に走ったんだね。太っちゃったの。学校は言ったところは俺90キロあったの。今、その頃の写真見ると顔パンパンなんだよね。
施術者としての思い	盲学校への通学	それ4年間、水戸駅から往復歩いたのよ。約4キロを毎日行きと帰り歩いてたの。4年通ってたら痩せたね。別に痩せようと思って歩いたわけじゃないよ。バスが混んでるから嫌だったのよ。歩くのは平気だから、どこまでも歩けるから。

視覚障害の状況	移動に問題なし	一駅は余裕で歩くよ。ここから多芽とか、小木津とか。5・6キロあるよ。水戸の相川病院にいた時、水戸の千波から、一回歩いて帰ってみようと思って、勝田まで、10キロぐらいかなあ歩いて帰った。
施術者としての思い	灸施術を受けた経験	別に学校をやめようとかって思ったことはなかったかな。そうそうおばあちゃんが福島で女性灸師第1号だったんだよ。だからアトピーが酷いからって言って、にんにく灸の治療は受けてた。おばあさんから。身近って言えば身近だったのかな。
視覚障害の状況	視力障害となった時期	別に学校をやめようとかって思ったことはなかったかな。そうそうおばあちゃんが福島で女性灸師第1号だったんだよ。だからアトピーが酷いからって言って、にんにく灸の治療は受けてた。おばあさんから。身近って言えば身近だったのかな。
施術者としての思い	視力による環境の把握	ない。そんなに見えなかった訳じゃないから病院とかでも、低周波とかは普通に使えてたかな。眼鏡をちょっとずらせば近くも見えてたから。全然その辺は視力的な問題はなかったかな。
施術料収入に関すること	年収	そんなに稼いでないからなあ。300万円は行ってないよ。260万円ぐらいかなあ。ホテルでやった施術も込みでね。
施術料収入に関すること	年収	だから日立の中じゃ俺が一番稼いでないんじゃないかな。正直かみさんも仕事してるから、まあ生活できるけど。それで俺だけの給料だけだったら厳しいかなあ。かなり厳しいねえ。
施術料以外の収入	副収入	障害年金。ふた月に1回受給していて1回に13万円ぐらい入ってくるかな。
施術所の経営状況	漠然とした経営方針	患者さん増やすしかないよね。何か考えている訳じゃないけど。
取扱患者の状況	患者数	多い時で6・7人かな。入り方にもよるんだけど。毎日そんなに来る訳じゃないけど。日によって大分違うね。
取扱患者の状況	患者数	65人でした。
施術所の経営状況	今後の不安	年配の人が多いからさ、この後だんだん年取ってくると来れなくなるでしょ。そう考えるとちょっとね。
取扱患者の状況	定期来院患者	何人ぐらいいるのかな。確実に来る人はそんなにいないか。あと日立の助成券がなくなるとぴったり来なくなる人もいる。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	助成券は1年間に12枚もらえるんだけどね。去年まで10枚だったんだけど、12枚に増やしてもらった。たぶん予算は変わってないんだけど、発行する部数は減らした。
施術者としての思い	施術者の思い	意外と助成券って言うんだけど、もらってきても使わなかったり、「いや俺年寄じゃないから」って言ってもらいに行かない人がいるのよ（笑い）。男の人けっこう多くて。行ったんだけど、年寄じゃないからってもらいに行かねえって。いや、もらえるんだからもらいに行ったらって言うんだけど。変なプライド持ってたんだよね。日立は65歳以上でももらえるんだけど。
取扱患者の状況	患者のプライド	意外と助成券って言うんだけど、もらってきても使わなかったり、「いや俺年寄じゃないから」って言ってもらいに行かない人がいるのよ（笑い）。男の人けっこう多くて。行ったんだけど、年寄じゃないからってもらいに行かねえって。いや、もらえるんだからもらいに行ったらって言うんだけど。変なプライド持ってたんだよね。日立は65歳以上でももらえるんだけど。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	1枚1,000円で12枚。たぶん、この辺で1番多いのはひたちなかじゃないのかな。15枚あると思う。券を持ってくる人けっこういる。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	やってない。やろうと思ったけど、手間を考えたら・・・。1度近所のおばあさんに薦めて、同意書を書いてもらおうと思ったら、その持って行った医者が訪問マッサージをやってって、うちでやるって言われちゃったんだよね（笑い）。それ以来やる気がなくなっちゃって。

施術所の経営状況	保険の取り扱い	日立でも今保険での施術は減らしてる人が多いよね。今県師会を通さないで、自分で申請したり、他の代行業者を使ったりしてるみたい。代行してもらった方が安く済むみたいで。今県師会の保険代行の手数料が上がったんだよね。手書きの場合4%って言ったかな。でも手書きでも、入力しても手間は変わらないんだってよ。結局全部見るから。保険を担当してる人に聞いたら、そう言ってた。パソコンだからって言って全部それが正しい訳じゃないから、全部見るから、パソコンも手書きも変わらないって言ってた。でも手書きの方が1%ぐらい高いんだよね。パソコンの場合、結局パソコン導入って形になるから、若干手数料が安いのかな。
営業環境に関すること	社会情勢	保険を使ってくれ、使ってくれって言われるけど。同意書も書いてもらうの大変だし、医師会の中でも、同意書を書かないようにって回ってるらしいもんね。
施術内容・方法	患者のニーズ	いるよ、一人。もめた。喧嘩しそうになった。その人今も毎週毎週きてんだけど。頸が調子悪いって言うんだ。普段も枕をすごく高くして寝るらしいんだよね。最初それに対してもいろいろ言ったんだけど。言うのやめたのね。基本うつ伏せにしかねないって言うの。こっちは横向きとかの方がやりやすいんだけど。うつ伏せで45分やってんだけどけっこう辛いんだよね、こっちは。どうしてもうつ伏せだと、肩下げてもらっても力は行ったりするじゃん。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	いるよ、一人。もめた。喧嘩しそうになった。その人今も毎週毎週きてんだけど。頸が調子悪いって言うんだ。普段も枕をすごく高くして寝るらしいんだよね。最初それに対してもいろいろ言ったんだけど。言うのやめたのね。基本うつ伏せにしかねないって言うの。こっちは横向きとかの方がやりやすいんだけど。うつ伏せで45分やってんだけどけっこう辛いんだよね、こっちは。どうしてもうつ伏せだと、肩下げてもらっても力は行ったりするじゃん。
施術内容・方法	患者のニーズ	最初、その揉み方に文句付けられたり（笑い）。力入ってないとか、いろいろ言われたんだ。来なくていいんじゃないって思うんだけど、毎週来るんだよね。すっごくもめたんだけど、俺。もう断ろうと思うぐらい。頸のそこに塊があるんだって言うんだけど、いまだに俺それがよくわかんないんだ。頸の6・7当たりの際にあるっていうんだけど。俺には良く分かんないんだけど。それに腰、腰って言うんだけど、浅骨軟だよね。そこだけを15分とか20分やらされるのよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	最初、その揉み方に文句付けられたり（笑い）。力入ってないとか、いろいろ言われたんだ。来なくていいんじゃないって思うんだけど、毎週来るんだよね。すっごくもめたんだけど、俺。もう断ろうと思うぐらい。頸のそこに塊があるんだって言うんだけど、いまだに俺それがよくわかんないんだ。頸の6・7当たりの際にあるっていうんだけど。俺には良く分かんないんだけど。それに腰、腰って言うんだけど、浅骨軟だよね。そこだけを15分とか20分やらされるのよ。
施術内容・方法	施術内容	最初、その揉み方に文句付けられたり（笑い）。力入ってないとか、いろいろ言われたんだ。来なくていいんじゃないって思うんだけど、毎週来るんだよね。すっごくもめたんだけど、俺。もう断ろうと思うぐらい。頸のそこに塊があるんだって言うんだけど、いまだに俺それがよくわかんないんだ。頸の6・7当たりの際にあるっていうんだけど。俺には良く分かんないんだけど。それに腰、腰って言うんだけど、浅骨軟だよね。そこだけを15分とか20分やらされるのよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの指示	最近自分の施術はやらない。最初頸やってるでしょ。そうすると、今度腰がいいって言って、仙骨になるのよ。そこを永遠ずっとやらされるのよ。もう俺からは言わないの。もう言うのやめたの。また喧嘩になるから。そんなに怒らないでとかって言われたんだけど、お前がそこは右手の方がいいんじゃないとか、いろいろ細かいこと言うからだよって。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	それでももう4・5年きてんだよ。それはほんとあった牧田から違う治療院を進めようと思ったもんね。もうできせんって言おうと思ったんだけど。いつの間にかそういうのはなくなったんだよな。普通に世間話して帰るようにはなったんだけど

施術内容・方法	施術に対する考え方	いつも思うんだけど、良くなってんのかなって。だってうつ伏せしかできないから。もうもめんのはめんどくさいから何も言わないけど。45分長いんだよ。肩5分ぐらいで、残り仙骨って、辛い。やりようがないんだから。肩でも、そのピンポイントだけじゃなくて、肩甲骨とか腕とかやろうとすると、そこ違うって言われちゃうんだから。もう言われるま
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	正直あの人の職業も聞いてないんだよね。聞いちゃまずいのかなって雰囲気があったのよ。自宅は東京の渋谷なの。毎週月曜日はこっちに来るんだよね。なんか仕事の都合でこっち来るんだろうけど。聞こうと思ったけど、聞けない雰囲気だったんだよね。これ医者？でも違うよなあ？って。60？団塊の世代って言ってたなあ。また、めんどくさくて同年代にしては筋肉あるだろうとかって言うんだけど、そうですねっ！インパクト強すぎだよ。どうも山登りが好きらしくて、そういう仲間はあるみたい。最初顎が痛くて腕の方に痺れもあったって言ってたんだけど。最近どうですかって聞くとしびれはなくなったって言うから、少しは良くなってんのかなあって。
施術内容・方法	次回の予約	終わった後楽になったとかっては1回もないし。毎回、終わった後にまた来週同じ時間になって言って帰るんだけど。
取扱患者の状況	来院方法	車で、来てるんだけど、この前は電車で着た時があった。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	うち駐車場もあるんだけど、ちょうど真ん中に電線の支線があって、あれがあるから入れづらいって文句言われる。最初家を建てた時、これとれますよってメーカーさんに言われたの。そしたらとれやしない。とったら倒れちゃうってね（笑）。もう1本6号側に電柱があれば外せるって言われたんだけど、それが無いから。でも少しだけ電柱をずらしてはもらったんだけど。だけど、真ん中にあるの。でも2台は止められるよ。文句言われることはけっこうあるけどね。
施術者としての思い	施術者としての充実感	人によって嫌になるときはあるけど、結果的に、何だろうな。少しでも楽になったとか、よかったって言ってくれる人が一人でもいるとモチベーションが上がってくるんだけどね。だから、困った人ばかり来てもさあ、そういう人がいると。正直嬉しいよね。たまにめんどくさって思うけど。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	人によって嫌になるときはあるけど、結果的に、何だろうな。少しでも楽になったとか、よかったって言ってくれる人が一人でもいるとモチベーションが上がってくるんだけどね。だから、困った人ばかり来てもさあ、そういう人がいると。正直嬉しいよね。たまにめんどくさって思うけど。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	意外と大変だからね。このご時世。患者さんが来ないときは暇だしね。だけど、不満はないよね。まあまあが50%？大満足までは行っていないなあ。自分がまだ未熟な部分もあるから。
施術者としての思い	施術の未熟さ	意外と大変だからね。このご時世。患者さんが来ないときは暇だしね。だけど、不満はないよね。まあまあが50%？大満足までは行っていないなあ。自分がまだ未熟な部分もあるから。
施術者としての思い	職業継続の意思	それはないなあ。この職業自体やめたいって思ったことはない。わがまま言う人もいるし、腹立つ人もいるけどね。あるけど、やめようって思ったことはないかなあ。予約入っているのでできませんって言うのに、施術室の中に入ってきて、ぐるっと一周して帰ったやつがいた。何物色してんだよって感じ。あと、電話かけてくる人は意外と来ない。
取扱患者の状況	様々な患者	それはないなあ。この職業自体やめたいって思ったことはない。わがまま言う人もいるし、腹立つ人もいるけどね。あるけど、やめようって思ったことはないかなあ。予約入っているのでできませんって言うのに、施術室の中に入ってきて、ぐるっと一周して帰ったやつがいた。何物色してんだよって感じ。あと、電話かけてくる人は意外と来ない。
営業努力に関すること	広報活動	タウンページとかには一切乗せてない。県師会のホームページとか、日立市の鍼灸師会のホームページがあって、そこから見てくる人もたまにはいる。最初のころは、この目の前にある喫茶店、アーリーバードにも置いてもらった。あと、ここかみさんのお母さんが小鳥屋さんやってたから、近所の人とかがいろんな人に声かけて一番最初は思ったより来たよ

施術所の経営状況	経営の大変さ	昔この辺も秀真の国って言ったらしくて。盲学校にいた先生に見てもらっていいって言われたんだよね。ちょうど漢字で書くと「真」って言う字が自分にもかみさんにも入ってんだよ。それにしようってなって。漢字は読めないからってひらがなになった。でも、開業するって大変。雇われてた方が楽だよ。
施術者としての思い	年齢	43歳。

表 1 2 「対象5」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業	平成16年の6月30日です。14年になります。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	卒業したのは13年。2年ぐらいバイトして、そのあと準備して。家をここに建てて始まった。
施術者としての思い	開業までの仕事	やっぱりマッサージやってて。
施術者としての思い	開業までの仕事	いや、普通のところで。週に何回か行ってて。治療院で。
施術内容・方法	施術内容	あん摩と鍼ときゅうと。全部一応やってる。
施術内容・方法	患者のニーズ	やっぱりあん摩マッサージ。中には鍼を受けたいって言う人がいるけど。鍼は1割に満たないかな。あとは患者さんから灸って言う希望はないかな。
施術内容・方法	灸施術の内容	症状に合わせて灸が効きそうな人には灸を勧める。灸って温灸器。見えないから灸を付けらんないんで。練り艾を燃やして筒みたいなやつに入れてずーっと当てていくやつ。服の上からでもできるんで。
施術内容・方法	灸の施術効果	神経痛。結構効くんだわ。肩と腕と足の場合ね。腰はあんまり熱がとおらないんで、物理療法として超音波を使ったりしてる。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	最近ではレーザーを入れた。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	干渉波、二つかな。最近レーザーを入れた。
施術内容・方法	物理療法機器の使用効果	あんまり使ってない。痛みにいいって聞いたんだけど。使う機会はあるかない。どっちかって言うと超音波。超音波は腰、関節。まあ、鍼で膝やるときもあるけど、超音波を使う。けっこうねえ、腰にはすごく有効、超音波。深部まで行くのがあるので、それが有効かな。鍼では意外と局所だけだから。超音波の場合は腰全体をできるから。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	施術するときにはね、とにかく患者さんの問診を大事に。話を聞いて。症状がどういうもので、どこが痛いかな。うん、それは大事にします。
施術内容・方法	施術内容	まず、症状が四肢の場合は座位で、いろいろ痛いところを聞いて。で、触診して。それである程度効いたらうつぶせになってもらって全身をみる。それでずっと軽擦しながらどこが痛いかな、痛くないかを自分で感じた。これ痛いかなあって患者さんに聞いて。痛くないって言えばずうっと頸から足までみます。
施術内容・方法	施術に対する考え方	全身をみる。なぜかって言うと内臓的なこともあるかも知れないってことでみてんですよ。
施術内容・方法	患者のニーズ	いや、まず患者さんに聞きます。希望の治療ありますかって。鍼がいいって言えば鍼を。マッサージはどの患者さんに対してやるんですよ。それで鍼がいいって要望があれば主訴に合わせて鍼を打つ。
施術内容・方法	施術に対する考え方	あとは鍼の方が効きそうな人には勧める。患者さんに併せて。鍼どうですか。嫌って言えばやらない。
施術内容・方法	患者のニーズ	あとは鍼の方が効きそうな人には勧める。患者さんに併せて。鍼どうですか。嫌って言えばやらない。
施術内容・方法	施術時間	1時間。
施術内容・方法	施術の工夫	施術をしているときにはストレッチを入れている。手・脚。体幹はあんまりやらないけど。脚はやるようにはしています。だいたい治療の後が多いかな。私は叩打法があんまり得意じゃないんで。それでなんかいい方法がないかなあって。じゃあストレッチをやってみようと思って。けっこうねえ、ストレッチはいいんです。施術が終わった後にさらに伸ばしてあげると。
施術者としての思い	施術者としての充実感	ってのはねえ、やっぱり患者さんに施術が終わった後に楽になったって言うのが1番だね。
取扱患者の状況	様々な患者	でもいろんな人がいて効いても言わない人もいるし、あとは少し良くなったかなって言う人もいるし。あとは来た時とは全然違うっていうときが1番。

施術内容・方法	施術に対する考え方	うーんとね、内容的には変わらない。あんまり変えるのも、患者さんがいいと思ってることが変わるのも何だと思って。パターンはだいたい変えないで。で、主訴的なものでもう少しやった方がいいかなあって思うときは時間をかけて。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	だいたい手の感触でやるのであんまりそういうことはないです。
取扱患者の状況	患者数	まず患者さんがやる前に来るかどうか。始まって2・3年はほとんどあんまり。それで患者さんの口コミできてくれるようになってきました。
営業努力に関すること	広報活動	広告出したのは開業してから1回だけ。開業しますって言うチラシを新聞の折り込みに。1回乗せたんです。この地域だけ。その広告で着た患者さんは一人。だから全然お金かけたほどじゃないの。10万もかかった。
営業努力に関すること	チラシの効果	広告出したのは開業してから1回だけ。開業しますって言うチラシを新聞の折り込みに。1回乗せたんです。この地域だけ。その広告で着た患者さんは一人。だから全然お金かけたほどじゃないの。10万もかかった。
営業努力に関すること	広報活動	電話帳はタウンページ、あとは東海村の町のロードマップとかに載せました。
営業努力に関すること	広報活動	今は載せてない。そういうときがあると、発行するところで広告どうですかって来るんで、そういう時は検討して乗せるか、載せないか。こっちからはあんまり言わない。
営業努力に関すること	口コミの効果	あんまり。口コミだね。患者さんが連れてきてくれる。あとは家族。家族の誰かがかかって、別な家族が来るみたいな。家族が来るようになりました。そうすると家族の中で知り合いを紹介してくれるんですよね。
取扱患者の状況	少ない患者数	開業して1・2年は1日誰も来ない日もあったり、週に3人とかもありましたよ。
施術所の経営状況	スタッフの雇用	A いやーあ、周りで開業している人たちに暇だって言うのは聞いてただけど。始まった時期は良かったのかも。
施術者としての思い	以前の仕事の経験	経営については、私は途中であれしたんで。会社にいた時は総務で経理をしてたんです。で、経理的なもので、この辺はすごくやってみました。
営業努力に関すること	広報活動	とにかくあとは名刺を作ってきた患者さんに渡してって、ずーっとやってみました。中には患者さんが施術を受けた後に名刺をくださいって言ってきてくれる人もいる。あれは有効に使った方がいいかも。名刺。それで持ち歩いてるとね。
施術所の経営状況	コスト意識	あとはなるべく経費をかけないようにしてるぐらいですか。安い時に少しまとめて買いだめする。セールとかの時に少し余分にストックして。それはやってます。ずいぶん違うんですよね。その時に頼むと何割引きとか。へたすれば40%引きとか。
施術所の経営状況	経営上の工夫	あとはなるべく経費をかけないようにしてるぐらいですか。安い時に少しまとめて買いだめする。セールとかの時に少し余分にストックして。それはやってます。ずいぶん違うんですよね。その時に頼むと何割引きとか。へたすれば40%引きとか。
施術者としての思い	以前の仕事の経験	24年。
施術者としての思い	盲学校への入学	平成10年かな。
視覚障害の状況	視力障害となった時期	8歳。黄斑変性だったんです。うんで、30年代の頃から、病院に行って診断されていたのが黄斑変性で34歳の時かな。
施術者としての思い	盲学校への入学	その時は車の免許も持ってて、運転もできて、平成8年に免許無くなったんです。それで、もう会社もやめるかって思っていたんで。まず全盲にはなんないけど徐々に悪くなって。パソコンは、こうレンズを当ててみるようになったし。これじゃ会社に迷惑かけながらいるのも嫌だなあって思って、この道を選んだんですよね。
施術者としての思い	進路への展望	その時は車の免許も持ってて、運転もできて、平成8年に免許無くなったんです。それで、もう会社もやめるかって思っていたんで。まず全盲にはなんないけど徐々に悪くなって。パソコンは、こうレンズを当ててみるようになったし。これじゃ会社に迷惑かけながらいるのも嫌だなあって思って、この道を選んだんですよね。
施術者としての思い	家族の協力	そんときうちの家内が安定所に勤めてて、うんで、塩原とか、水戸の盲学校とか調べてくれたんですよ。そして塩原もあるし、水戸の盲学校もあるしって。
視覚障害の状況	盲学校選択の理由	で、塩原は失業保険をもらいながら行けると。だけど、とにかく全寮だから。水戸の盲学校にってことで。それで学校に行ったんです。まだ見えてて一人で歩けてたから。だから失業保険は6月に会社辞めて翌年の4月から学校に行ったので。

国家資格の取得	資格取得の苦労	大変だった。全部初めてだから。もう頭も固くなってるし。いやー、大変だった。まず言葉が出ないよね。全然分かんない言葉ばかりで、専門用語で。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の決心	学校に行ってるときから。私はほんとに日立市の久慈町ってところに家があるんですよ。今は人に貸してんだけど。そこはちょっと狭いんで駐車場が取れないんです。で、学校に行ってる間にこの東海を探してたんです。東海でやるってことで。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	学校に行ってるときから。私はほんとに日立市の久慈町ってところに家があるんですよ。今は人に貸してんだけど。そこはちょっと狭いんで駐車場が取れないんです。で、学校に行ってる間にこの東海を探してたんです。東海でやるってことで。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業場所の選択理由	家から近いし。ちょうど久慈川から日立市って言っても一番南側だから。東海と近いんです。車でだと15分から20分で行けるから。で、近いところがいいなあって思って。それで東海に決めたんです。
施術所と設備に関すること	施術所の建設	それで、ここに土地を買って家を建てて。そんで家を建てる時には最初から駐車場も含めて作ったんです。施術所兼自宅にして。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	施術室は10坪。うーんとねえ、二十畳。畳で二十畳。待合室はここ。向こうの施術室にはベッドが二つあるんですよ。たまに夫婦で来る方がいるんで一緒にできるように。で、ベッドは二つ置いてあるんです。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	けっこうかかったかな。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	退職金があったし。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	ベッド二台。あとは滅菌機と、あとは保管庫ですね。鍼の開業届するときには消毒と滅菌の奴は、鍼をやるんで。
現在の施術料収入	施術料	今は1時間3500円。
現在の施術料収入	施術料	同じ。1時間の中で鍼灸、マッサージ全部合わせて3500円。
営業環境に関すること	社会情勢	ずっと同じ。途中で消費税が上がったりしたけど。
現在の施術料収入	施術料に対する考え方	特にないね。消費税10%になったときに、周りの状況を見て。それで本当は3000円でやってる人たちが多いんですよ。業界では。で50分かな、だいたい。で、1時間にして、3500円にして、次ぎ上げるときに上げやすいように。次ぎ上げやすいかなって思って3500円にしたんですよ。周りの状況を見て。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	そうです。全部受付から。
施術内容・方法	予約による施術	完全な予約制。電話で。予約制の方が患者さんも待たなくていいし、
取扱患者の状況	飛び込みの患者への対応	あとは通りすがりで来る人もいます。看板を見て入ってきて、今からやってもらえませんか。患者さんがいないときにはやるけど。だいたい患者さんが入ってる時間に来るので、予約制なんで。そのときに名刺を渡して電話くださいって。
営業環境に関すること	周囲環境の変化	今治療院の前の道がずっと広がって真っ直ぐです。先生が前に来た頃はまだ道が狭くて。10年前とは全然変わりました。家も周り増えて。今空いてる土地が、この通りにないぐらい建ちました。
取扱患者の状況	患者数の減少	今はね、前は4・5人やってたんだけど。最近は少なくなってきた。3・4人です。
取扱患者の状況	患者数	今はね、前は4・5人やってたんだけど。最近は少なくなってきた。3・4人です。
取扱患者の状況	不明な患者数減少の理由	なんだか分からない。少なくなりましたね。
取扱患者の状況	患者数の減少	うーんと、去年あたり。私の場合は。それまではずーっと右肩上がりで来てたんだけど。去年あたりから、だんだん下がってきてる。今年は去年より下がったかな。まあ、年寄りが多かったせいもあってだんだん来る人が減ってるのかも知れない。と言って若い患者さんは増えないから。
取扱患者の状況	患者数	二十日ぐらいかな。そうすると月にやる患者さんは70人から80人。前は100人とかってあったんだけど。今は下がり気味。70人から80人。
取扱患者の状況	患者数	そうですね。9月は70人。10月が70何人かな11月もそんなもんかな。だいたい。
施術内容・方法	予約による施術	そういうのはなくて、その都度。その日であれば、その日の空いてる時間に入れちゃう。

施術内容・方法	患者から予約の入るタイミング	。あとは患者さんがちょっと来ないなって思って帰り際に予約していきます。だから、あんまりその日っていうのは少ないかもその日の予約は。前の日か、前日っていうのが多いです。
取扱患者の状況	通院地域	もう近く。東海村の周辺。歩きで来るような人。
取扱患者の状況	定期来院患者	いる。定期的に来てる人がだいたい10人ぐらいかな。でもあんまり多くないけど。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	あります。1枚1000円で12枚。12枚あれば月1回の割合で。まとめて1冊くれて、12枚綴り。施術を受けるときに1枚とって行く感じ。
周囲のサポートに関すること	助成券の仕組み	70歳になった方は、もらえた、もらえたって結構。券を使う人は月に15人から20人。それを月ごとに請求を出すんだけど、請求すると振り込まれる。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	70歳になった方は、もらえた、もらえたって結構。券を使う人は月に15人から20人。それを月ごとに請求を出すんだけど、請求すると振り込まれる。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	患者さんの中には助成券の存在を知らない人もいてきて、券なくて施術受けて。こういう助成券があるんではい出してもらえるんでって言ってくださいって言う。中には知らない人がいるんですよ。
施術内容・方法	患者への情報提供	患者さんの中には助成券の存在を知らない人もいてきて、券なくて施術受けて。こういう助成券があるんではい出してもらえるんでって言ってくださいって言う。中には知らない人がいるんですよ。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	受け取った助成券は月ごとにまとめて、請求書があってそれを書いて券と一緒に持って役場の方へ出すんだ。役場は歩いて20分ぐらい。けっこう近いんで便利なんですよ。駅も近いし。
現在の施術料収入	年収	施術料収入は350万円ぐらいです。
施術料以外の収入	副収入	あとね、日立市のほんとの家賃してるんで、その収入が月5万、年間60万。その不動産の収入があります。それだけ。
施術料以外の収入	副収入	年金はもらえる年なんだけど、障害年金をもらっているんで、会社勤めてたんで厚生年金と障害年金でどっちが高いのか聞いてきたんですよ。それで障害年金の方が高いって聞いて、そのまま。
施術料以外の収入	家族の収入	うちの家内が、ちょうど去年まで仕事してたんで。その収入がありました。
施術者としての思い	年齢	66歳。今年67だ。
施術者としての思い	職業継続の意思	体の続く限りは。まあ、少なくともあと10年ぐらいはやってたいなって。
施術所の経営状況	今後の不安	不安なことは、やっぱり体力。患者さんの受け入れを少なくしてでも続けていこうかな。一番はやっぱり体力です。体力が続けば、まあまあなんとかやりたいなあって。
施術者としての思い	施術者としての充実感	ないかな。自分が施術して良くなんない患者さんもいますけど。やっぱりね、痛みがこう回復したり、改善したり患者さんから直に聞くとやっぱり嬉しいもんで。やりがいのある仕事だと思います。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	ないかな。自分が施術して良くなんない患者さんもいますけど。やっぱりね、痛みがこう回復したり、改善したり患者さんから直に聞くとやっぱり嬉しいもんで。やりがいのある仕事だと思います。
取扱患者の状況	患者の状態	やっぱり多いのは肩こり、腰痛。それがほとんどです。あと、たまに高校生がスポーツ障害で来るのとはと膝とあとは腕の症状かな。腕の痛みとか痺れとか。が、ほとんどです。
取扱患者の状況	患者の年代	だいたい60代が半分ぐらい。あとは50代。30代の方はグッと少ない。20代も。やっぱり40、50、60。あとは、今はパソコンを使うんでけっこう指からくる目、肩頸な人が女性では多いです。
施術内容・方法	尽くした施術	今まででは、治らない話ね。坐骨神経痛で一生懸命通ってくれたんだけど、少しは改善するんだけど、なかなか良くなっていかなかった人がいます。1週間に1回とか来てくれたんだけど。腰からずっと。そのうちなっちゃったけど。治ってはいないと思うんだけど。お灸で治療した。
施術内容・方法	改善しない症状	今まででは、治らない話ね。坐骨神経痛で一生懸命通ってくれたんだけど、少しは改善するんだけど、なかなか良くなっていかなかった人がいます。1週間に1回とか来てくれたんだけど。腰からずっと。そのうちなっちゃったけど。治ってはいないと思うんだけど。お灸で治療した。

施術所と設備に関すること	物理療法機器の使用法	腰に鍼も打ったけど脚の方は灸でやりました。あとはねえ、腰の方はだいたい良くなってます。それは超音波で。痛くてきてああ良くなったって帰る人と、2・3日後に良くなったって人がいる。だから1回しか来ない人がいるんだよ。様子を見てくる人もいるし、聞いてみるとあのとき良くなっちゃってって。超音波の場合は腰に非常に治療に有効ですね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	患部に当たるとビーンって来るんですよ。そんなことも説明しながら、悪いところに当たるとビーンってきますからって。あと膝と、足首の捻挫にも超音波使いますね。捻挫の場合少し晴れが引いてから足幅人体の所にやるんだけど。内側が時間がかかるんだけど
施術内容・方法	施術方法	患部に当たるとビーンって来るんですよ。そんなことも説明しながら、悪いところに当たるとビーンってきますからって。あと膝と、足首の捻挫にも超音波使いますね。捻挫の場合少し晴れが引いてから足幅人体の所にやるんだけど。内側が時間がかかるんだけど
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	患者さんが来てくれんなら良くなるんだけど。1回しかこないとかあるんですよ。もう少し通った方がいいと思うんだけどって言うんだけど、来ないんだ。来る人は来るんですよ。来る人はだいたい良くなってんだけど、患者さんって1回で治ると思ってんですよ。だから良く説明します。これちょっと症状がひどいんで1回じゃ直らないと思いますよって。前もって
取扱患者の状況	定期来院患者	それが経営的には難しいところね。なるべく何回も来てもらえるって言うのが理想なんだけど、収入の面からも。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	してないね。自分で動けないんで。何回か問い合わせがあったんですよ、訪問でやってくれないかって。で、私目が悪いんで行けませんって言って。何回か電話ありました。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	してないね。自分で動けないんで。何回か問い合わせがあったんですよ、訪問でやってくれないかって。で、私目が悪いんで行けませんって言って。何回か電話ありました。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	保険はやってない。
施術者としての思い	業団体への所属	県の鍼灸師会は日立支部の方に開業前から入っていて、そのまま。東海支部が無くなっちゃって、日立支部にそのまま入ってていいって言うんで。
施術者としての思い	施術者としてのキャリア	でも開業したときには東海支部の先生に挨拶行きましたよ。開業前にはバイトしてたけど、もっと他の治療院もみておけば良かったなって。開業しちゃうとなかなか行けなくて。始める前、卒業してからいろいろな治療院に行って治療を受けた方がよかったって言う反省があるんですよ。開業してからだとなんかスパイをしてるみたいになっちゃうから。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	0. 01。それでまだ視野があるので動くのにはいいんだ。真ん中の方が見えないんだよね。周りはまだ視野があるんで、何度かぶつかることもあるけど。よけて歩けるよ。急にぼーっんとものが見えたりっていうときは怖いんです。最近是不変りない。だんだん見えにくくなってきてるんで、一人で歩く機会は少なくなってきた
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	持ってる。3級のまんまにしてある。本当は作り直せばいいんだけど、めんどうで。1種3級。2級になるはずなんだけど。病院に行って検査すればいいんですけど。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の取得	盲学校に入ってからすぐかな。前5級。見えなくなってきたんで、検査したら3級だってことになって。3級に直したんです。そのあとだんだん悪くなったんだけど。検査には毎年1回目の検査に入ってはいるんで。その時にはもう0.01なんで本当は申請すれば2級にはなるんですけど。そのままにしてある
施術者としての思い	施術者としての充実感	だいたい80%ぐらい。まあまあって言うのを50%だとすると8割ぐらいは行くかな。患者さんに喜ばれる仕事なんでそのあたりは満足度は高い。やりがいがあります。病院でも治んないような難治の奴を良くしてあげたってことがあるんですよ。それができるようになればね。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	だいたい80%ぐらい。まあまあって言うのを50%だとすると8割ぐらいは行くかな。患者さんに喜ばれる仕事なんでそのあたりは満足度は高い。やりがいがあります。病院でも治んないような難治の奴を良くしてあげたってことがあるんですよ。それができるようになればね。

施術者としての思い	施術者としてのやりがい	だいたい８０％ぐらい。まあまあって言うのを５０％だとすると８割ぐらいは行くかな。患者さんに喜ばれる仕事なのでそのあたりは満足度は高い。やりがいがあります。病院でも治んないような難治の奴を良くしてあげたってことがあるんですよ。それができるようになればね。
現在の施術料収入	上げられない施術料	収入に対しては半分ぐらいかな。５割ぐらい。そこは整体とかカイロで４０００から６０００円とってんだから。あん摩は上げらんないのが難点かな。特に茨城は安いんですね。たまにいろんなところを知っている患者さんは、いやあ、安いわって言われます
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	収入に対しては半分ぐらいかな。５割ぐらい。そこは整体とかカイロで４０００から６０００円とってんだから。あん摩は上げらんないのが難点かな。特に茨城は安いんですね。たまにいろんなところを知っている患者さんは、いやあ、安いわって言われます

表 1 3 「対象6」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	もう50年以上だな。
施術者としての思い	年齢	今82歳だから、27歳で開業だからな。55年だ。
施術所と設備に関すること	現在の施術所を建築	今やってるところの前に、別の町内で何年ぐらいいたんだ。10年ぐらいいたかな。今のところに移ってきたのは昭和48年のオイルショックん時。そんな時にうち建てたんだ。
取扱患者の状況	当時の患者数	条南町にいたときから鍼だけになってたんだ。いやあ、すごかったな。患者すごかった。
施術内容・方法	鍼施術	条南町にいたときから鍼だけになってたんだ。いやあ、すごかったな。患者すごかった。
取扱患者の状況	患者数の減少	ずーっと多かったなあ。最近だよ。この少なくなってきたのは最近これ2・3年。自分で減らしてるのもあるし。やる時間が9時から12時半の、2時から5時半。それ以上やらねえ。だから減ってるな。
現在の施術料収入	施術料	料金はねえ、会で2000円以上ってことになってたんだよ。日立で。今はだいたい最低料金が3000円でないの。
現在の施術料収入	患者に合わせた料金設定	俺んところは仏心で学生には半額なんだ。学生は1500円。運動選手だな。もらう人からは4000円から5000円もらう。
営業努力に関すること	施術結果を出すことが広報活動	運動選手連中なんかは広告になってんだ。昔からなんだけど。私が開業した時、俺が中学校の時。
施術者としての思い	過去のスポーツ経験	俺は陸上部だったんだ。で初めて県の大会が開催されたときなんだ、戦後ね。ほんで中学3年で、砲丸投げと400メートルの群を代表して。一番辛いやつね。けっこう県に行って優勝したんだ。で、砲丸投げは優勝したんだ。スパイク初めてはいてやったの。それまでは裸足だから。200メートルのグラウンドでやったわけ。いここにスパイク借りて走ったけど、軽オギで走った感じだった。
取扱患者の状況	高校生の患者	今は高校生。県内の高校はほとんど来ます。陸上ばかりじゃなくて全部。だから常総学園だの日大土浦だの。今は明秀がいっぱいくるなあ。あそこはすごいんだ。今サッカーが120人も部員いるんだ。野球部が100人。陸上もソフトボールも、バスケット、バレーみんな
施術内容・方法	施術内容	これはねえ、ええ、忙しく合理的にやると30分で3人。ベッド3台あるから。3台で、一人乗っけてちょちょいとやって電氣流して、今度二人目にちょんとやって、そうすると3番目の人をちょいと刺して。今度最初の人に戻ってって。電氣はずしてから別なところ、お腹やったりちょいちょいってやるの。電氣かけるのは100％近い。レーザーは、なんだかこの頃はめんどくさい。でもレーザーだけっていう人もいるか
施術内容・方法	合理的な施術	これはねえ、ええ、忙しく合理的にやると30分で3人。ベッド3台あるから。3台で、一人乗っけてちょちょいとやって電氣流して、今度二人目にちょんとやって、そうすると3番目の人をちょいと刺して。今度最初の人に戻ってって。電氣はずしてから別なところ、お腹やったりちょいちょいってやるの。電氣かけるのは100％近い。レーザーは、なんだかこの頃はめんどくさい。でもレーザーだけっていう人もいるか

施術内容・方法	施術時間	レーザーは、あれは素晴らしい機会だ。基本はパルスをして、レーザーをやって皮内鍼をやって、それで終わり。一人当たり30分はかかんないぐらい。一局所の人だったらほんと速いので。全身が入っちゃうと狂っちゃう。それは不定愁訴。さっきの話じゃないけど、お腹やって腰やってってなると。だから、腰だけとかって言う局所の人だと20分ぐらいで終わるんじゃないかな
施術所と設備に関すること	施術所の設備	俺はいかに効率よく言うのが願望だったんだよな。だから、機械も時間のかかるのは買わないことになってんだ。
施術内容・方法	合理的な施術	俺はいかに効率よく言うのが願望だったんだよな。だから、機械も時間のかかるのは買わないことになってんだ。
施術内容・方法	施術に対する考え方	秘訣って言うのはやっぱりね、1回目にかかなりの率で本人が楽になりました、これがねえとだめだ。三日目に良くなるでしょうは医者様だよね。我々の世界ではその場でなんぼかよくなんねえと
施術内容・方法	患者のニーズ	秘訣って言うのはやっぱりね、1回目にかかなりの率で本人が楽になりました、これがねえとだめだ。三日目に良くなるでしょうは医者様だよね。我々の世界ではその場でなんぼかよくなんねえと
営業努力に関すること	口コミの効果	やっと来た腰痛の患者が帰りは喜んで帰ったとか。そういうのがねえと口コミも弱っちゃうよね。口コミも困るんだよね。腰が一回で治っちゃったからってなると、1回で治してくれって患者が来るわけだ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	やっと来た腰痛の患者が帰りは喜んで帰ったとか。そういうのがねえと口コミも弱っちゃうよね。口コミも困るんだよね。腰が一回で治っちゃったからってなると、1回で治してくれって患者が来るわけだ。
施術内容・方法	物理療法機器の使用効果	そうするとこんなの治るわけないだろうって言うんだけど。でも、だいたいそういう感覚的にそれはそのレーザーとかパルスとかはすごい武器です。
施術内容・方法	触察に対する自信	俺の手なんぞやいくらも役に立たない。どこにやったらいいかって探し当てんのが俺の仕事だよな。整形レントゲンとっても何ともありません、本人は苦しい痛い、その大本をめっけて患者にここだろうって、指が言って。先生そこっていう語彙があると、これ治ったに等しいよね。以下に揉んだり鍼刺したりがうまいかじゃないんだよな。俺下手なんだ、鍼な
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	俺の手なんぞやいくらも役に立たない。どこにやったらいいかって探し当てんのが俺の仕事だよな。整形レントゲンとっても何ともありません、本人は苦しい痛い、その大本をめっけて患者にここだろうって、指が言って。先生そこっていう語彙があると、これ治ったに等しいよね。以下に揉んだり鍼刺したりがうまいかじゃないんだよな。俺下手なんだ、鍼な
施術者としての思い	後進の指導	今勉強に来てる研修生がいるんだけど、これは見込みなし。ここ見てみろって言っても、この指の方角が全然違うんだ。縦にしたり横にしたり、繊維に直角に当たってないんだよ。そこの奥に絶対硬結があるはずなのに見つけれんない。あれが見つければ一人前になるんだけど
施術内容・方法	施術に対する考え方	頸だの腰って言うのはほんと深いからね。棘突起間なんて。
施術内容・方法	施術に対する考え方	誰に習ったわけでもないなあ。初めは見つけることだよ。それに尽きるな。
施術内容・方法	全力での施術	自信なんてないよ。夢中で。帰ってくるともう疲れちゃってね。砂糖を入れた水。砂糖に水道水入れてかきまぜたやつを飲みたかったんだ。疲れすぎて、汗かきすぎて。東京いたときね。すごかった。よく糖尿病ならなかった。東京でやってた時けっこうお客さんいたよ
施術者としての思い	開業できる技術力	米は、田舎から貰ってたんだけど。1年目ぐらいは田舎から貰って、2年目ぐらいからは米は買えるようになったんだ。俺これは口癖なんだけど、おめえ開業して米買えるのかって言うんですよ。今は米安いから買えるって言うんだけど (笑)

施術内容・方法	訪問による施術	大変だったの？そりゃあ収入がないのが一番大変だった。初めはあった。こっちに戻ってきてからもありましたよ。本当に往診専門みたいだね。あの始めたころは俺も調子こんでたから、先輩のところにタオルもって挨拶に歩くんた、で、生意気に見えない人が出張してエネルギーを使って大変なことです。うちにいてそのエネルギーを患者にぶっつけたらばいい治療ができんじゃないですかって言ったの。先輩に怒られましたなあ。おめえみたいな馬鹿は三日もやってたらどっかに行くようだ、そういわれたよ。俺は生意気だったんだよ。ほとんど初めは往診だよ、あん摩だもの。鍼なんてやらしてくんねえもん。
施術内容・方法	施術に対する考え方	大変だったの？そりゃあ収入がないのが一番大変だった。初めはあった。こっちに戻ってきてからもありましたよ。本当に往診専門みたいだね。あの始めたころは俺も調子こんでたから、先輩のところにタオルもって挨拶に歩くんた、で、生意気に見えない人が出張してエネルギーを使って大変なことです。うちにいてそのエネルギーを患者にぶっつけたらばいい治療ができんじゃないですかって言ったの。先輩に怒られましたなあ。おめえみたいな馬鹿は三日もやってたらどっかに行くようだ、そういわれたよ。俺は生意気だったんだよ。ほとんど初めは往診だよ、あん摩だもの。鍼なんてやらしてくんねえもん。
周囲のサポートに関すること	先輩施術者の支援	あと良かったのは兄貴がやっぱり盲学校の出身で、若い人いっぱい置いててやってた傷痍軍人だったから。それもあって患者を回してもらったりして助かったところもあった。
営業努力に関すること	患者の確保	患者が付いてくるには5年はかかったね。5年はかかんかったか、3年か。3年はかかったな。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の原点	その頃の日立は東北の人たちが身上をたたんで来たぐらいだからね。でも日立に戻ってきたとき初めて住んだのが百姓の蔵の2階で住んでた。下は米だの、麦だのがあって。八畳一間。入っていくと頭打つけるんだ。梁があるから。そこが出発点だから、6・7年はいたかな。そこにベッドを1台置いて仕事もしてた。
施術所と設備に関すること	施術所の移転	そこから近所に越して30メートルぐらい歩いたところに。四畳半の、六畳、お勝手（台所）とあって。六畳の間にベッド二つ置いて、そこにちっちゃいお膳を置いていて、そこに待っててもらって。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	ああ、あれは苦しかったね。6畳にベッド2台置いて、それで窓際に人が待ってるから。二人ベッドに乗っけてやってると、待ってる人がお茶なんか飲んでしゃべってるわけ。そうするとイライラしてきちゃって余計なことしゃべったりするから。怒鳴りましたよ。けっこう怒って、くんじゃねえとか、こいつやりたくないから帰れとか。2・3人に一人は怒鳴ってました。
施術内容・方法	合理的な施術	予約制ではねえ。だめなんだ予約やっても。30分に一人予約しても、そこに別な不定愁訴の患者が入っちゃうと勘定できなくなっちゃうんだよ。予約はやんねえほうが。
施術内容・方法	来た順での施術	予約制ではねえ。だめなんだ予約やっても。30分に一人予約しても、そこに別な不定愁訴の患者が入っちゃうと勘定できなくなっちゃうんだよ。予約はやんねえほうが。
取扱患者の状況	通院地域	で、遠くからくるようになったんだよ。遠くの人がいきなり来たりするからね。県外からくるんだもん。よく栃木からくるんだ、今も。患者は来て、空いてればすぐにやれるけど、だいたい待ってもらうことが多いよ。今は昔みたいにイライラはしない。
施術者としての思い	施術者のキャラクター	でもあつかなあ。俺もずいぶん丸くなったよ。ものすごいおっかない先生で通ってたから（笑い）。一回あったんだよね、前のところに来たことある人がきて、すごい怖い先生がいたっていうから、それ俺だって言っても信じてくんねえってことが。こんな平和な顔してませんって。若い時はやくざっぽい人でもぶっ飛ばしちゃうぐらいだったからな。
施術者としての思い	施術者としての自信	でもあつかなあ。俺もずいぶん丸くなったよ。ものすごいおっかない先生で通ってたから（笑い）。一回あったんだよね、前のところに来たことある人がきて、すごい怖い先生がいたっていうから、それ俺だって言っても信じてくんねえってことが。こんな平和な顔してませんって。若い時はやくざっぽい人でもぶっ飛ばしちゃうぐらいだったからな。
施術内容・方法	施術の工夫	施術してるときに工夫してるって言うのは、なんだろう？工夫はないなあ。

施術内容・方法	施術の工夫	一回りできるようになってて。見え良いからああいう風にしたんだよね。あれ、家建てるとき幅が十畳には1尺五寸狭いんだ。で、ちょうど見えないやつが真ん中に機械とか、鍼、道具を置いて、そこをぐるぐる回りながら、壁際に置いた3台のベッドを回れるようにしたんだ。幅もあれがちょうどいいんだ。全盲だと広すぎっとだめなんだよね。
施術内容・方法	合理的な施術	一回りできるようになってて。見え良いからああいう風にしたんだよね。あれ、家建てるとき幅が十畳には1尺五寸狭いんだ。で、ちょうど見えないやつが真ん中に機械とか、鍼、道具を置いて、そこをぐるぐる回りながら、壁際に置いた3台のベッドを回れるようにしたんだ。幅もあれがちょうどいいんだ。全盲だと広すぎっとだめなんだよね。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	一回りできるようになってて。見え良いからああいう風にしたんだよね。あれ、家建てるとき幅が十畳には1尺五寸狭いんだ。で、ちょうど見えないやつが真ん中に機械とか、鍼、道具を置いて、そこをぐるぐる回りながら、壁際に置いた3台のベッドを回れるようにしたんだ。幅もあれがちょうどいいんだ。全盲だと広すぎっとだめなんだよね。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	30年ぐらいになるかな。デンマークで作ったレーザー。それを確か輸入したんだよね。で、輸入した第一号を俺が買ったよ。あれ、出力は弱いんだ。鉛筆みたいなやつでね。音ばかりでかくて。
施術所と設備に関すること	物理療法機器	30年ぐらいになるかな。デンマークで作ったレーザー。それを確か輸入したんだよね。で、輸入した第一号を俺が買ったよ。あれ、出力は弱いんだ。鉛筆みたいなやつでね。音ばかりでかくて。
施術内容・方法	物理療法機器の使用効果	でも、あれはリウマチ、筋肉リウマチの人で、半身レーザーやったの。帰って様子見て、また明日か、あさって来なって言って返したの。駅まで行ったんだけど、そしたらまっすぐに歩けないって言うんだよ。半分軽い方と重い方と。駅から引き返してきたんだ。それでまた半身やってあげたんだ。
施術所と設備に関すること	レーザーへの信頼	レーザー全身にやるっていうのは大変なことだよ、時間かかってね。でも、それがあってレーザーを信頼しちゃった。
施術内容・方法	物理療法機器の使用効果	それが日本でもレーザーを作ったっていうのが来て。立派なんで350万。試してくださいって、関東医療と業者の人が来たんだ。でかい大掛かりな機会もって。その時友部の中学生が父兄と松葉づえついてきたんだ。捻挫でね。これはちょうどいいなあって思って、ボール紙で固定してあるから、それを外して、レーザーを照射したの。やってるうちに腫れてたのがへっこんできちゃったんだよ。皮膚にしわよってきたんだ。いやあ、これ変だなあって思って。あるって見ろって言ったの。そしたら真っすぐ歩けんの、松葉づえなしで。俺もビックリしたし、本人もとにかくびっくりしたんだろうけど、父兄だの、機械屋までビックリしちゃって。こんなんでもいいんですかねえなんて。俺分かんねえべ、お前が作ったんだべって。それが第一号。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	小さい機械屋なんで、半導体を仕入れるのに安いのを仕入れたんで、すぐに壊れちゃうんだよ。350万で2台買ったなあ。今はマウスみたいなコードレスの奴を使ってる。だからレーザーはいっぱい買ったよ。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	パルスと、あと一時期超音波も使ったけど。あれはめんどくさい。でも、坐骨神経痛の人にやったらうわー響くって言ったと覆ったら治ったってことはあったね。あれなかなか命中しないんだよね。あとは皮膚表面が超音波だとちかちかするから嫌だって言う人がいたんで。もうやめようって。あれは、あげちゃった。
施術者としての思い	家族の協力	開業して前半は奥さんがやってたから。奥さんとやってた時はレーザーの代わりにお灸をやってたんだ。灸頭鍼やってたんだ。灸頭鍼やると家の中臭くなるし！レーザーが出てきたときにやめた。
施術者としての思い	スタッフとの信頼関係	そのあと娘が学生終わって戻ってきてから、奥さんと交代交代に助手に入るようになってって感じだ。根本治療院は助手が大事なんですよ。俺はパルスはめられないし、鍼も出してもらおう。俺自分で鍼取らないから。だから鍼打つだけ。俺は楽なんだ。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	13人最低やんなきゃだめなんだ。でも最近届かない日が多い。最低13人やると、だいたい4万円になるんです。するとだいたいつき100万円になる。

取扱患者の状況	患者数の減少	それが今までの方程式なんだ。だが、この頃は、若い人から相談を受けただけど、暇で困ります。俺んともなんか変だ なって。メンバーも替わってきちゃった。年寄り是不来ない し。ここ1・2年か、最近だよ。でも平均10人はできるか な
取扱患者の状況	患者数	それが今までの方程式なんだ。だが、この頃は、若い人から相談を受けただけど、暇で困ります。俺んともなんか変だ なって。メンバーも替わってきちゃった。年寄り是不来ない し。ここ1・2年か、最近だよ。でも平均10人はできるか な
施術者としての思い	体力の衰え	俺1番やったのは43人やったことある、1日で。あれは若 さだな。うれしき半分だから。でも、この頃は待合室がにぎ やかになってくるといらいらすんの。昔は喜んでたんだよ。 にぎやかなのは金はいってくるから。今は金はいいいからもう 少し来んのが少ない方がいいなあなんて。そういうことも多 くなってきた
施術料収入に関すること	収入の目標	月にすると25日では計算できないのか。だいたい25日 か。休みは日曜祭日なんで。1日4万円が基本なんだ。
施術者としての思い	まとまった支出	それはねえなあ。金が貯まった頃に高い買い物があるんだ よ。レーザーだの車だの。
営業努力に関すること	広報活動	ないな。看板見てきて入ってきた人は今までで、一人か二人 かな。電話帳もね。ほとんどは口コミ。だって鍼って怖いで しょ、嫌でしょうよ。マッサージとは違うから。で、女なん か裸になんなきゃないべ。
営業努力に関すること	口コミの効果	ないな。看板見てきて入ってきた人は今までで、一人か二人 かな。電話帳もね。ほとんどは口コミ。だって鍼って怖いで しょ、嫌でしょうよ。マッサージとは違うから。で、女なん か裸になんなきゃないべ。
営業環境に関すること	社会情勢	でも、この頃は若い女性是不恥ずかしがらなくなったねえ。今 の80歳ぐらい、70歳ぐらいのは、お腹を出しなさいって いうと、下げないんだよ。俺も一生懸命下げるんだけど (笑)。人に肌見せるもんじゃないって、そういう教えが ね。それが今は美しいものは人に見せなさいだからな。そう いう点でやりやすいよ
営業努力に関すること	信頼が患者を呼び込む	あとは、自分が学生だったときに運動選手でかかってて、そ れが先生になって生徒を連れてくるの。それでその親が来る とか。地方から来るって言うのはそういうのがあるのね。も ともと自分がかかってて栃木来ましたって言えば紹介したり とか。笠間って言ったら笠間の人が来たり。常総学院が来始 めたのも、元の学生が先生になってサッカー部を連れてきて て。次はいろんな部の子を常総学院のバスで連れてきたり した
営業努力に関すること	口コミの効果	あとは、自分が学生だったときに運動選手でかかってて、そ れが先生になって生徒を連れてくるの。それでその親が来る とか。地方から来るって言うのはそういうのがあるのね。も ともと自分がかかってて栃木来ましたって言えば紹介したり とか。笠間って言ったら笠間の人が来たり。常総学院が来始 めたのも、元の学生が先生になってサッカー部を連れてきて て。次はいろんな部の子を常総学院のバスで連れてきたり した
取扱患者の状況	世代を超えての受診	あとは、自分が学生だったときに運動選手でかかってて、そ れが先生になって生徒を連れてくるの。それでその親が来る とか。地方から来るって言うのはそういうのがあるのね。も ともと自分がかかってて栃木来ましたって言えば紹介したり とか。笠間って言ったら笠間の人が来たり。常総学院が来始 めたのも、元の学生が先生になってサッカー部を連れてきて て。次はいろんな部の子を常総学院のバスで連れてきたり した
営業努力に関すること	広報活動	だから近所で有名になっちゃうんだよ。常総学院のバスが止 まってるぞって。だから宣伝しなくても、ネズミ講じゃない けど！半分ネズミ講かな。
取扱患者の状況	近所での話題	だから近所で有名になっちゃうんだよ。常総学院のバスが止 まってるぞって。だから宣伝しなくても、ネズミ講じゃない けど！半分ネズミ講かな。

施術者としての思い	施術者としての充実感	重傷名患者，笠間から来てたおばちゃんがいるんだ。どこの整形外科に入院しても腰が痛くて，直んない，立てない。誰かに聞いて，これが最後だって言うんで退院してきたんだ。それは腰痛じゃないんだ，腰背部が痛かったんだ。病院では坐骨神経痛だのって治療してたんだ。そしたら腰背部に打ち身っていうの？そこにもものすごい硬結があって。それが痛かったんだ。それを俺が見つけた。それに電気鍼やって。はい，立ちなさいって言ったら。いやあ，生き返っちゃった。死んだ人が生き返ったと同じ。完璧じゃないけど，それから何回も来てるけど。畑も，田んぼもやってるって言ってたから。未だに米送ってくるよ。みんなその患者の家の人も，病院から帰って来らんないでだめになっちゃうべって話だったんだ。
施術内容・方法	施術の効果	重傷名患者，笠間から来てたおばちゃんがいるんだ。どこの整形外科に入院しても腰が痛くて，直んない，立てない。誰かに聞いて，これが最後だって言うんで退院してきたんだ。それは腰痛じゃないんだ，腰背部が痛かったんだ。病院では坐骨神経痛だのって治療してたんだ。そしたら腰背部に打ち身っていうの？そこにもものすごい硬結があって。それが痛かったんだ。それを俺が見つけた。それに電気鍼やって。はい，立ちなさいって言ったら。いやあ，生き返っちゃった。死んだ人が生き返ったと同じ。完璧じゃないけど，それから何回も来てるけど。畑も，田んぼもやってるって言ってたから。未だに米送ってくるよ。みんなその患者の家の人も，病院から帰って来らんないでだめになっちゃうべって話だったんだ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの感謝	重傷名患者，笠間から来てたおばちゃんがいるんだ。どこの整形外科に入院しても腰が痛くて，直んない，立てない。誰かに聞いて，これが最後だって言うんで退院してきたんだ。それは腰痛じゃないんだ，腰背部が痛かったんだ。病院では坐骨神経痛だのって治療してたんだ。そしたら腰背部に打ち身っていうの？そこにもものすごい硬結があって。それが痛かったんだ。それを俺が見つけた。それに電気鍼やって。はい，立ちなさいって言ったら。いやあ，生き返っちゃった。死んだ人が生き返ったと同じ。完璧じゃないけど，それから何回も来てるけど。畑も，田んぼもやってるって言ってたから。未だに米送ってくるよ。みんなその患者の家の人も，病院から帰って来らんないでだめになっちゃうべって話だったんだ。
営業努力に関すること	口コミの効果	その人が良くなったらば，その人が言ってる病院の人たちが来るんだよ。あの笠間の口コミはすごかったな。あのときはやったね，また笠間って感じで。それに肩こりなんて軽い人なんかは来ないから。とにかく重い人，へんなのきた。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	そのときにタイホウのツボ，脇の下の。あれは役だった。たいていの重症患者は，歩けないのがあそこにやると立ち上がって歩けるから。皮内鍼。癌で死にそうなのも，だめだ、嫌だって言ったんだ，奥さんも来てやってくださいって。だめだって，その理由はやるって言うとき少し変化が起きて本人が誤解するんだって言ったの。良くなっちゃうような。それも背骨の癌になってたから腰痛がすごかったんだ。鍼入んないぐらい。それで最後に脇の下にやったんだ。そしたら，そいつがぺろっと立っちゃったんだ。それで杖二本ついてきたのにいらなくなっちゃった。誤解するんだ。奥様は狐につままれたみたいで。だからスポーツ選手は試合の前に来るんだ。足が上がるようになるんだよね。皮内鍼は向かしながらので，水平にさして，テープで留めるやつね。テープでかぶれたりすんだけど，俺の使ってるのはかぶれないんだ。なんだか孔があいてるらしい。皮内鍼も大分使ってるな。

施術者としての思い	施術者としての自信	そのときにタイホウのツボ，脇の下の。あれは役だった。たいていの重症患者は，歩けないのがあそこにやると立ち上がって歩けるから。皮内鍼。癌で死にそうなのも，だめだ、嫌だって言ったんだ，奥さんも来てやってくださいって。だめだって，その理由はやるって言うとき少し変化が起きて本人が誤解するんだって言ったの。良くなっちゃうような。それも背骨の癌になってたから腰痛がすごかったんだ。鍼入んないぐらい。それで最後に脇の下にやったんだ。そしたら，そいつがぺろっと立っちゃったんだ。それで杖二本ついてきたのにいらなくなっちゃった。誤解するんだ。奥様は狐につままれたみたいで。だからスポーツ選手は試合の前に来るんだ。足が上がるようになるんだよね。皮内鍼は向かしながらので，水平にさして，テープで留めるやつね。テープでかぶれたりすんだけど，俺の使ってるのはかぶれないんだ。なんだか孔があいてるらしい。皮内鍼も大分使ってるな。
施術内容・方法	皮内鍼の効果	そのときにタイホウのツボ，脇の下の。あれは役だった。たいていの重症患者は，歩けないのがあそこにやると立ち上がって歩けるから。皮内鍼。癌で死にそうなのも，だめだ、嫌だって言ったんだ，奥さんも来てやってくださいって。だめだって，その理由はやるって言うとき少し変化が起きて本人が誤解するんだって言ったの。良くなっちゃうような。それも背骨の癌になってたから腰痛がすごかったんだ。鍼入んないぐらい。それで最後に脇の下にやったんだ。そしたら，そいつがぺろっと立っちゃったんだ。それで杖二本ついてきたのにいらなくなっちゃった。誤解するんだ。奥様は狐につままれたみたいで。だからスポーツ選手は試合の前に来るんだ。足が上がるようになるんだよね。皮内鍼は向かしながらので，水平にさして，テープで留めるやつね。テープでかぶれたりすんだけど，俺の使ってるのはかぶれないんだ。なんだか孔があいてるらしい。皮内鍼も大分使ってるな。
現在の施術料収入	施術料	若干違う。俺は調整しちゃうんだよ。最後帳尻が合えばいい。半身で約3000円。お腹をやったり，前をするとプラスアルファで。500円とか。みんなは丁寧にやって5000円とかもらったりするけど，俺は効率も重視してやってる。
取扱患者の状況	定期来院患者	いない。みんな痛いから来るんだよね。先生どのくらい定期的に通えばいいんですかって聞かれて答えるでしょ。じゃあ来ますよなんて言ってもほとんどきたことないよ。痛くないと来ないよ。そういう面ではよそ様とは違うところあるんだな。予約だとかは定期的に来てもらうためにするんだからね。あれは補償だよ。俺のうちに来る電気屋もそうなんだけど，まだいいよって言われると買いたくなるんだ。
現在の施術料収入	年収	1000万ぐらいか。いいときは1200万ぐらいいったけど。
施術内容・方法	施術に対する考え方	治さなきゃだめ。なんぼ理屈言っても，いい機械使っても治さなきゃだめだ。治るっていうよりは改善か。治すっていうそうそつきになっちゃうから。これは堅く言ってんだ。治りはしません，改善はしますって。やっぱり見つけるのが上手になんなきゃだめだよ。第一条件だよ。
施術者としての思い	施術者としての自信	これは絶対できなきゃだめだ。患者が頸が痛いんだよって言ったときに。ここかなって聞いて，違うって言うときはだめだ。こっちかな，そっちでもない。って言うのは最悪だな。だから触ってて，先生そこって言われる。これがポイントだ。自分で指先にセンサーがついてんじゃないかって思うんだ。頸だの腰だのの脊中の両側は硬結は深いんだよ。優しくなったら届かないんだ。だから，指先でぐーっとえぐないと，届かない。ツボの話は分かんないけど。三陰交なんて，あれは素晴らしいよ。逆子が直っちゃうからね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	これは絶対できなきゃだめだ。患者が頸が痛いんだよって言ったときに。ここかなって聞いて，違うって言うときはだめだ。こっちかな，そっちでもない。って言うのは最悪だな。だから触ってて，先生そこって言われる。これがポイントだ。自分で指先にセンサーがついてんじゃないかって思うんだ。頸だの腰だのの脊中の両側は硬結は深いんだよ。優しくなったら届かないんだ。だから，指先でぐーっとえぐないと，届かない。ツボの話は分かんないけど。三陰交なんて，あれは素晴らしいよ。逆子が直っちゃうからね。

施術内容・方法	施術に対する考え方	これは絶対できなきゃだめだ。患者が顎が痛いんだよって言ったときに。ここかなって聞いて、違うって言うときはだめだ。こっちかな、そっちでもない。って言うのは最悪だな。だから触ってて、先生そこって言われる。これがポイントだ。自分で指先にセンサーがついてんじゃないかって思うんだ。顎だの腰だのの脊中の両側は硬結は深いんだよ。優しくなったら届かないんだ。だから、指先でぐーっとえぐんないと、届かない。ツボの話は分かんないけど。三陰交なんて、あれは素晴らしいよ。逆子が直っちゃうからね。
視覚障害の状況	視覚障害の原因	いや、中途かな。色素変性症で。俺の兄貴は兵隊に入ったけど、色変だった。
施術者としての思い	盲学校への訪問	志願して人相悪かったんだ。盲学校に行ったんだよ。だぶだぶのにつかズボンはいて、うんではき物はサンダルか何か。靴じゃなかったな。何か草履かなんか。で、当時理療科に青木って言う先生がいたんだよ。有名なボス。そしたら根本君の弟ですか、全然違いますねえなんて。俺みたいのはだめかなって聞いたら。ちょっと・・・、塩原にもありますからって、そっちの方がいいでしょうって。
国家資格の取得	資格取得	塩原であん摩だけとったの。卒業証書はありません。あの頃はあん摩2年でとれたから。昭和32年か。そのあと4人でヘレン・ケラーの鍼灸科一端だ。そのうちの一人は福島弘道の代貸をやってた。これは優秀だったな。あとはみんな助手に入って、けっこうお金貯めたなあ。で、俺はアパート借りてあん摩やったんだよ。学校は3年だから鍼灸の免許もらったのは36年か。免許もらって、それで日立に帰ってきたの。
視覚障害の状況	当時の視力の状態	まだ結構見えてた。かろうじて自転車乗れるぐらい。危なかしくね。東京にいた頃はかなり不自由したな。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	1級持ってます。昔作ったやつ、何年か前に書き換えたな。
施術者としての思い	職業継続の意思	でも、ほれ、娘も免許とってあるから。おそらくやるでしょうから。俺はもう隠居様だな。でもね、みんなに話してんだけども、見えないのはやっぱり仕事はやないとだめだ。家庭があるんなら仕事はやること。いっぱいやなくてもやって自分が食うぐらいはやないとだめだ。それが長生きの秘訣だと思ってます。そうすれば自然にエネルギーが沸いてくるんだよね。それ何もなかったらば完全にぼけっちゃう。これは目に見えてる。人の施術をするって言うのは体力は使わないけど、精神疲労はあるよ。
施術内容・方法	施術に対する考え方	でも、ほれ、娘も免許とってあるから。おそらくやるでしょうから。俺はもう隠居様だな。でもね、みんなに話してんだけども、見えないのはやっぱり仕事はやないとだめだ。家庭があるんなら仕事はやること。いっぱいやなくてもやって自分が食うぐらいはやないとだめだ。それが長生きの秘訣だと思ってます。そうすれば自然にエネルギーが沸いてくるんだよね。それ何もなかったらば完全にぼけっちゃう。これは目に見えてる。人の施術をするって言うのは体力は使わないけど、精神疲労はあるよ。
施術者としての思い	職業観	朝起きてそんな風に思ったことはないなあ。朝起きたら今日もやるぞって感じ。それはやっぱり俺は百姓生まれだからだと思ってんだけど。百姓って言うのはお金になんない仕事を、今日も、明日もって力いっぱいやって、結果金にならないで、でも一生懸命やってるよな。俺22歳まで百姓やってたから。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	患者の障害が改善したときの満足感はいいな。生きがいだな。立ってられればもうちょっと続けたい。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	これは限りないからね。とにかく一人の稼ぎだからそれは決まってますよ。それ以上会っても何もならないでしょ。満足でしょうな。
施術内容・方法	印象に残った患者	肝臓病に関しては二つ例があるんだ。同じ時期にね。高校の先生、これはゴルフやってて上手な人。病院に行くと肝臓の数値が上がってて家に帰っちゃだめ、入院。それ繰り返してたの。その人は何でもないんだけどね。もう一人はパーマ屋さん。こうやって座って待合室で待ってらんないんだもの。ダルくて、横になっちゃう。俺が触診すると触れないぐらい痛がるの。肝臓のところがね。それで病院に行くと何でもありませんって言われて。さっきの先生の方は何でもないのに死にそうだ、肝臓の数値が上がって。どっちもどっちなん

施術者としての思い	施術者としての自信	これはよくよく印象的だ。その女のパーマ屋さんは鍼をすると帰りには生き返っちゃうの。肝臓の所触っても痛くないし、柔らかくなる。まだどっちも生きてます。肝臓の数値が上がっちゃった人もゴルフやったり、百姓やったりしてる。学校の先生なんだが。この二人対照的なんだ。でも化学的な検査も１００％じゃないって示してんだ。でも鍼で内臓系を治療してうまくいくと、あとでなくなる。
施術内容・方法	鍼施術	これはよくよく印象的だ。その女のパーマ屋さんは鍼をすると帰りには生き返っちゃうの。肝臓の所触っても痛くないし、柔らかくなる。まだどっちも生きてます。肝臓の数値が上がっちゃった人もゴルフやったり、百姓やったりしてる。学校の先生なんだが。この二人対照的なんだ。でも化学的な検査も１００％じゃないって示してんだ。でも鍼で内臓系を治療してうまくいくと、あとでなくなる。
施術所と設備に関すること	使用鍼	0番。捻鍼で。あれ鍼管で入れようとするのにやってなっちゃうだろ。ぐねってなんねえのか。鍼が細い方が抵抗が少ないからずっと入っちゃうけど、太い鍼は抵抗が大きいから痛い。今短い針は5部0番って言うのを使ってるな。唯一鍼管使うのは足底

表 1 4 「対象7」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	ここ、そのものは29年。最初からここではないの。ここから3キロばかり離れた津田って言うところだったから。その時は両親が一緒に、そっちで約10年か。津田を入れればあと2年で40年になっちゃう
開業のきっかけと開業後の経過の状況	卒業直後の開業	そう。俺は東京視力を出たから。ほんとは東京に1・2年いて帰ってこようと思ったんだけど。お嫁さんが、どうせ田舎に帰るなら早い方がいいって言う先生のアドバイスを受けて、俺より奥さんの方が早く帰った方がいいって言うことで
施術内容・方法	サウナでの施術	最初の開業当時は、駅から遠い不便さもあってさほど患者が来なかったんで、1年目の冬からはサウナのアルバイト。夕方7時から11時までか。パークボールって言うボーリング場があったんだけど、その1回にサウナがあったの。そこで働いていた、人が辞めたのよ。で、ちょうど空きがあって、近所の人で、そこに勤めていた人の口利きで、「やってもらえませんかね」って言う話に来て。で、屋はあんまり仕事もしないんで、じゃあって2年ぐらいは行ったか。1年はまるまる行ったんだよ。1年半ぐらいかなあ。毎日、ただ日曜は自分自身休みだったから、日曜は休ませてもらって。で、毎日夕方6時ぐらいには夕飯食って、7時にはサウナに行って、11時までって言う生活をして。
施術内容・方法	研修内容	娘ができて1年ぐらい過ぎてから、鍼の勉強に東京に行き始めたの。だから、東京にも38年近く行くことになってて。
施術内容・方法	経絡治療との出会い	きっかけは東京にいた時に経絡治療を、俺より奥さんの方が興味をもって聴講生として研修に言ってて、俺よりは先に彼女の方が先に経絡治療をしていたんだ。それで、子供ができたことで、彼女が抱えた患者を、俺が鍼をしなくちゃならない環境になって。それで、同じような治療ができないとまずいよねって言う話になって。彼女が言っていた勉強会に俺が行くようになって。それから経絡治療に携わるようになって
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	きっかけは東京にいた時に経絡治療を、俺より奥さんの方が興味をもって聴講生として研修に言ってて、俺よりは先に彼女の方が先に経絡治療をしていたんだ。それで、子供ができたことで、彼女が抱えた患者を、俺が鍼をしなくちゃならない環境になって。それで、同じような治療ができないとまずいよねって言う話になって。彼女が言っていた勉強会に俺が行くようになって。それから経絡治療に携わるようになって
施術所と設備に関すること	現在地への移転	そう。両親と住んでたから。それに次の年には娘が生まれたから5人でって感じかな。最初開業したところは、駅から離れてたから、結局勉強会に行くのにも、駅まで親父に送ってもらったのよ。それが10年経って親もだんだん年取ってくるから、東京に勉強に行くのに一人の単独歩行で行ける距離になってことで、今の場所に開業って、言うか移したんだ。そういう経緯があった、今のところが29年。12月で30年にな

施術所と設備に関すること	施術所の建設	そう。両親と住んでたから。それに次の年には娘が生まれたから5人でって感じかな。最初開業したところは、駅から離れてたから、結局勉強会に行くのにも、駅まで親父に送ってもらったのよ。それが10年経って親もだんだん年取ってくるから、東京に勉強に行くのに一人の単独歩行で行ける距離にってことで、今の場所に開業って、言うか移したんだ。そういう経緯があった、今のところが29年。12月で30年にな
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	それは。彼女がやっていた経絡治療を引き継いで、自分なりにやれるようになって。やっぱり臓腑疾患からくる治療って言うのは、普通の治療でとれないことが多いってことで。経絡治療の面白さに2年目、3年目に気づかされて。3年目ぐらいに難しい患者に当たるんだよね。脈を診て、お腹を見て、証を立ててって言う、習った通りのことをやって結果が出る訳だよ。それが面白くて鍼ってすごいなあって、神経痛でも何でも治せるわって思ったころ。
施術内容・方法	施術方法	それは。彼女がやっていた経絡治療を引き継いで、自分なりにやれるようになって。やっぱり臓腑疾患からくる治療って言うのは、普通の治療でとれないことが多いってことで。経絡治療の面白さに2年目、3年目に気づかされて。3年目ぐらいに難しい患者に当たるんだよね。脈を診て、お腹を見て、証を立ててって言う、習った通りのことをやって結果が出る訳だよ。それが面白くて鍼ってすごいなあって、神経痛でも何でも治せるわって思ったころ。
施術者としての思い	施術者としての自信	それは。彼女がやっていた経絡治療を引き継いで、自分なりにやれるようになって。やっぱり臓腑疾患からくる治療って言うのは、普通の治療でとれないことが多いってことで。経絡治療の面白さに2年目、3年目に気づかされて。3年目ぐらいに難しい患者に当たるんだよね。脈を診て、お腹を見て、証を立ててって言う、習った通りのことをやって結果が出る訳だよ。それが面白くて鍼ってすごいなあって、神経痛でも何でも治せるわって思ったころ。
施術者としての思い	施術の未熟さ	腰痛のおじいちゃんをとうとう治せなかったって言う経験をやる訳。それががんだったのよ。がんがあるための腰痛だったのをそこまでの診断技術がないために。なんで同じことやって治らないんだろうって言う壁に当たる訳。とうとう1か月やったけど、結果が出なくて。半年過ぎたころに亡くなった話を聞いて、その原因ががんだったことを知ったんだ。鍼で何でも治せるって言うのは傲りであって、ちゃんと患者を診る。症状はどこが原因で起るかわからないと治療にならないと。それを経験してから、自分の診断の足りないところどうやったら補えるかって言うところが自分の壁になって。そこから10年ぐらいは悩んだかなあ。
取扱患者の状況	難しい患者との出会い	腰痛のおじいちゃんをとうとう治せなかったって言う経験をやる訳。それががんだったのよ。がんがあるための腰痛だったのをそこまでの診断技術がないために。なんで同じことやって治らないんだろうって言う壁に当たる訳。とうとう1か月やったけど、結果が出なくて。半年過ぎたころに亡くなった話を聞いて、その原因ががんだったことを知ったんだ。鍼で何でも治せるって言うのは傲りであって、ちゃんと患者を診る。症状はどこが原因で起るかわからないと治療にならないと。それを経験してから、自分の診断の足りないところどうやったら補えるかって言うところが自分の壁になって。そこから10年ぐらいは悩んだかなあ。
施術者としての思い	目標の明確化	そう、腹診をやるときに、それがはっきり分かって診断して、これはこれでとれるぞって言う、自分の確証があるものについては確実に治せる。ただ、通常の診断法だけではやっぱり取り切れないんだ。それがなぜ残ってしまうか。勉強会でいろんな質問をしたりとか、やっていくわけなんだけど。そういう先輩の話の中でも治らないものが出てくると。って自分の将来の目標が臓腑病を直そうと。心臓病でも、肝臓病でも、糖尿病でも臓器疾患を鍼で何とかする技術を身に着けたいって言うのが、10年過ぎてから出てきたって感じかな。

施術内容・方法	施術力向上の意欲	そう、腹診をやるときに、それがはっきり分かって診断して、これはこれでとれるぞって言う、自分の確証があるものについては確実に治せる。ただ、通常の診断法だけではやっぱり取り切れないんだ。それがなぜ残ってしまうか。勉強会でいろんな質問をしたりとか、やっていくわけなんだけど。そういう先輩の話の中でも治らないものが出てくると。って自分の将来の目標が臓腑病を直そうと。心臓病でも、肝臓病でも、糖尿病でも臓器疾患を鍼で何とかする技術を身に着けたって言うのが、10年過ぎてから出てきたって感じかな。
施術内容・方法	施術内容	最初からがんだって分かっていたら、鍼では無理ですよって話になるんだけど。そうではなくて、普通の神経痛とか腰痛とか思い込んで治療すると失敗すると。それは自分の中ではすごく残ってる。って言うか教訓みたいになっちゃってるあと、自分の中では、こっちに来てて体から、13・4年過ぎてからかな。脈診と、腹診と、もう一つ今自分がやっているフィンガーテストって言うのを混ぜてやるようになった。
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	40年代のお父さんに、体を見るとがっちりしててママさんバレーのコーチもしてるって言う人で。なかなか体格もいいし、仕事もお肉屋さんだったんだよね。普通の腰痛なら取れるって思って治療始めたんだけど。見たら臓腑疾患が隠れてて、腰痛ではあるんだけど心臓がおかしくて。本人はたまに胸が苦しくなることはあるけどって。だから、腰痛が治ったとしても心臓を病院で見てもらった方がいいって話をしたんだよ。本人に話して、俺の方でも心臓に対する治療もして、腰背の治療をして、そんな時は取れて帰った訳。
施術内容・方法	研修を生かした施術	40年代のお父さんに、体を見るとがっちりしててママさんバレーのコーチもしてるって言う人で。なかなか体格もいいし、仕事もお肉屋さんだったんだよね。普通の腰痛なら取れるって思って治療始めたんだけど。見たら臓腑疾患が隠れてて、腰痛ではあるんだけど心臓がおかしくて。本人はたまに胸が苦しくなることはあるけどって。だから、腰痛が治ったとしても心臓を病院で見てもらった方がいいって話をしたんだよ。本人に話して、俺の方でも心臓に対する治療もして、腰背の治療をして、そんな時は取れて帰った訳。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	40年代のお父さんに、体を見るとがっちりしててママさんバレーのコーチもしてるって言う人で。なかなか体格もいいし、仕事もお肉屋さんだったんだよね。普通の腰痛なら取れるって思って治療始めたんだけど。見たら臓腑疾患が隠れてて、腰痛ではあるんだけど心臓がおかしくて。本人はたまに胸が苦しくなることはあるけどって。だから、腰痛が治ったとしても心臓を病院で見てもらった方がいいって話をしたんだよ。本人に話して、俺の方でも心臓に対する治療もして、腰背の治療をして、そんな時は取れて帰った訳。
施術者としての思い	施術者としての苦悩	それで、半年ぐらいして患者さんの奥さんが娘さんを連れて治療に来た。やっぱりバレーをやって腰が痛いからって来たんだけど。そんなときに半年前に夫がお世話になってって言う話をしてて、俺の治療に来て1か月後に亡くなっちゃったの。それも、先生に心臓が悪いって言われたから、一片病院に行かなくちゃなあって言ってたのに、心筋梗塞で亡くなっちゃった。だから言われてすぐに病院に行ったらばきっと違ったんだと思うんですけどって奥さんも言ってたんだけど。やっぱり腰痛が取れてしまうと、いくら心臓病があっても、心電図っていうのはその場じゃないと出ないから、そういう隠れた疾患を持ってる場合に、医者が見落としてしまうようなものもあるから。その患者も自分の中ではすごく残ってる。せっかく見つけたのに助けてあげられなかったって言う意味で。

施術者としての思い	施術者としての充実感	それで、半年ぐらいいして患者さんの奥さんが娘さんを連れて治療に来た。やっぱりバレーをやって腰が痛いからって来たんだけど。そのときに半年前に夫がお世話になってって言う話をしてて、俺の治療に来て1か月後に亡くなっちゃったの。それも、先生に心臓が悪いって言われたから、一片病院に行かなくちゃああって言ってたのに、心筋梗塞で亡くなっちゃった。だから言われてすぐに病院に行ったらばきっと違ったんだと思うんですけどって奥さんも言ってたんだけど。やっぱり腰痛が取れてしまうと、いくら心臓病があっても、心電図っていうのはその場じゃないと出ないから、そういう隠れた疾患を持ってる場合に、医者が見落としてしまうようなものもあるから。その患者も自分の中ではすごく残ってる。せっかく見つけたのに助けてあげられなかったって言う意味で。
施術内容・方法	施術に対する考え方	鍼とは言え、どこまで診断があってるかって言うのは、鍼が結果を出してくれるから。腰痛の治療をろくろくしなくても心臓の治療をしたら、腰痛が取れちゃったって言う結果をみると分かる。俺としては患者さんの訴えに対して体を見るって言うよりは、体を見ることで、今出ている症状が・主訴が今請われている部位から来てるのか、二次的にきてる症状なのかを把握するように心がけている。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	そうだけど、臓腑の病気には温熱が聞くので、お灸の代わりになる温灸器を使っている。だから治療としては鍼と温灸器って形。
施術内容・方法	手技による施術	昔は鍼もマッサージもしてたけど。でもマッサージと鍼は一緒にはしなかった。患者さんにどっちか選んでもらって。マッサージならマッサージしかその時はしない。鍼は鍼で別にやると。同時並行でマッサージをした後に鍼をやりますねってことはしない。こっちに来てから10年ぐらいはマッサージもやってたか。鍼だけになったのはここ20年ぐらいかた。
施術内容・方法	鍼施術	昔は鍼もマッサージもしてたけど。でもマッサージと鍼は一緒にはしなかった。患者さんにどっちか選んでもらって。マッサージならマッサージしかその時はしない。鍼は鍼で別にやると。同時並行でマッサージをした後に鍼をやりますねってことはしない。こっちに来てから10年ぐらいはマッサージもやってたか。鍼だけになったのはここ20年ぐらいかた。
施術内容・方法	施術に対する考え方	昔は鍼もマッサージもしてたけど。でもマッサージと鍼は一緒にはしなかった。患者さんにどっちか選んでもらって。マッサージならマッサージしかその時はしない。鍼は鍼で別にやると。同時並行でマッサージをした後に鍼をやりますねってことはしない。こっちに来てから10年ぐらいはマッサージもやってたか。鍼だけになったのはここ20年ぐらいかた。
施術内容・方法	施術に対する考え方	昔の繋がりにきてた人はやってけど。でもいろいろ言われたよね。経絡治療って深鍼しないから。他で深い鍼を経験してきた方で、紹介されてきても、本人が深い鍼の方が効くと思っている人に「先生の鍼は俺には合わない」って何人かに言われて、それはそれで患者さんが選ぶことだから「いいですよ」として。
施術内容・方法	独自の診断法の導入	フィンガーテストっていうのは診断法の一つ。触診、問診、脈診、そこにフィンガーテストを入れたって感じ。
施術内容・方法	診断法の試行錯誤	切診の一つと考えたらいいかな。きっかけは医道の日本。もともとは大村先生がやっていたリングテストを情報として昭和58年のころの医道の日本に乗っていて、リングテストに興味をもって。リングテストも一時期やったの。でもリングテストっていうのは患者さんへの負担がけっこう大きくてね。何べんもやっていると患者さんが嫌になっちゃうっていうことがあって。
施術内容・方法	フィンガーテストとの出会い	そのあとに山口の先生が発案したフィンガーテストという、同じく指を使うんだけど、術所の指で行えるという。ただ見間違えるケースもない訳じゃないので。そこでフィンガーテストを考案した先生の記事を医道の日本で見ると、その先生の活動拠点が大阪だったんだけど、東京で講演をするって言うので。平成2・3年のころかな、東京でやったのよ。

施術者としての思い	研修への参加	そこに同じくひたちなかでやっているN先生と、会場が彼が出た会場だったの。彼に大森の衛星学園って知ってるって聞いたら、私の出身校ですって言うから。こんなのやるけど興味あるって聞いたら、彼も面白そうですねって言うんで彼に案内してもらって、1か月に1回3ヵ月講習を受けて。
施術者としての思い	自主的な訓練	で、ほとんど見える先生だったんだけど、俺見えない中で、一緒に行ったN先生に「あれどうやってんの」とか、帰りの電車の中で聞いて。指をこんな風にして振るんですみたいな風に教わって。だから、自分としては話は分かったけども、実際やっている様子は全く分からなかった。同行したNさんに習って。あとは自分のトレーニングだから。それも講習会で教わったのは基礎。応用編はもう勝手にだよ。脈で言うと、その脈が何だっていうのは自分で見て、経験でこの脈だって言うのと一緒で。FTも基本的な形を教わったら、あとはもう自分なりのアレンジ。
周囲のサポートに関すること	周囲からの支援	で、ほとんど見える先生だったんだけど、俺見えない中で、一緒に行ったN先生に「あれどうやってんの」とか、帰りの電車の中で聞いて。指をこんな風にして振るんですみたいな風に教わって。だから、自分としては話は分かったけども、実際やっている様子は全く分からなかった。同行したNさんに習って。あとは自分のトレーニングだから。それも講習会で教わったのは基礎。応用編はもう勝手にだよ。脈で言うと、その脈が何だっていうのは自分で見て、経験でこの脈だって言うのと一緒で。FTも基本的な形を教わったら、あとはもう自分なりのアレンジ。
施術者としての思い	視覚障害者としての工夫	そんな見える先生みたいに手にラインを引いて、そのラインを寸関尺とか、前腕の一部に引いた線を経絡とか臓腑とかって言うのは、見えない俺にはできないから。だからそこは独自で。
施術内容・方法	施術に対する考え方	だから、経絡に対してどんな風に向き合うかって言う基礎ができていた。つというところに、FTをやった時の反応が、経絡の端端に出てくると言う。各指の性穴に近いところを触ることで。だからそのあたりは、赤羽式の治療法と同じように、井穴にフィンガーテストをやると反応するところと反応しないところって言うのを見つけられるようになって。だから基本的には12経絡を頭の中に入れて、その経絡の反応がどんな風に出るかって知ってれば、そんなに難しいことではな
施術者としての思い	施術者としての自信	矛盾というよりは、手足に出た反応とお腹の反応が、どう関係するのかって言うトレーニングをしてきたから。だから、べつにFTをやってもお腹と手足が関係してるのは知ってたし、それをFTでも見れるようになったって言うだけで、それほど矛盾はない。経絡を知らないとか、経絡をあまり知らずに体を見ていると、理解度として臓腑と、臓器がどんな関係があるのかって言うところまでいかないんだよね。
施術者としての思い	技術向上の意識	FTでも、最初に首を突っ込んで始めたころには、何でもかんでも反応が出るところが治療するところなんだろうと思ってやってけど。それこそ3割ぐらいしか結果が出ない。っていうのが4・5年は続いたね。見える先生たちは前腕に引いたラインって、発案者の通り診断をしていて、お腹に出る反応を前腕で見てた感じなんだけど。自分はそれができないから、最初に診断ポイントをどこに取ろうか、どこを見ようかって言うのをいろいろ悩んで。
施術者としての思い	施術者としての自信	それで5年ぐらいしてからかな、面白い患者にあった。経絡の反応が、こっちの意とするしない方向に患者が教えてくれるわけね。患者さん自身敏感で、施術しているうちにどんどん変化していく。診察していく中で、どんどん反映されていく感じで。そういう患者さんに教わって、臓腑疾患の治療ができるようになったっていうのが自信になった感じ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの学び	それで5年ぐらいしてからかな、面白い患者にあった。経絡の反応が、こっちの意とするしない方向に患者が教えてくれるわけね。患者さん自身敏感で、施術しているうちにどんどん変化していく。診察していく中で、どんどん反映されていく感じで。そういう患者さんに教わって、臓腑疾患の治療ができるようになったっていうのが自信になった感じ。

患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	それで5年ぐらいしてからかな，面白い患者にあった。経絡の反応が，こっちの意とするしない方向に患者が教えてくれるわけね。患者さん自身敏感で，施術しているうちにどんどん変化していく。診察していく中で，どんどん反映されていく感じで。そういう患者さんに教わって，臓腑疾患の治療ができるようになったっていうのが自信になった感じ。
施術者としての思い	施術者としての自信	特に重症患者であればあるほど，反応が出やすい。でも持続しない。って，その持続しない理由が何だろうって，そこに何年かやっているとぶち当たるんだけど，経絡と臓腑を関連付けてやっていくことで自信になって。
施術者としての思い	施術者としての充実感	特に重症患者であればあるほど，反応が出やすい。でも持続しない。って，その持続しない理由が何だろうって，そこに何年かやっているとぶち当たるんだけど，経絡と臓腑を関連付けてやっていくことで自信になって。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	特に重症患者であればあるほど，反応が出やすい。でも持続しない。って，その持続しない理由が何だろうって，そこに何年かやっているとぶち当たるんだけど，経絡と臓腑を関連付けてやっていくことで自信になって。
施術内容・方法	施術に対する考え方	だけど，持続しない理由を探さなくちゃなくなかって，もうクッションあるんだけど。今の経絡治療家の先生たちと知識として持ってるものと，経験として持ってるものの違いは，自分の中で，良く整合性っていう言葉で表現するんだけど。古典に書いてあることを，現代の医学知識を把握しようとするすると矛盾してしまう。それは確かに，でもパソコンをやるようになって考え方が変わった。あれっていうのは入力の際にいろいろと条件付けをしてやることで画面に表示されてくる。古典に書いてあるのは，その黄帝の言った質問が入力条件。その結果として出てくるのが伎楽の回答。基本的に陰陽五行論手結卯之を元に黄帝の質問を考えてしまうと間違ってしまうわけ。黄帝が聞く時点で何が聞きたいのか，この情報だけでいいんだよって言う条件付けがある訳で。何を意図として質問しているのかって言うのを考えて伎楽の答えを見ていくと合ってるんだよね。五行論で言うとおかしいんじゃないかよっていう先生も多いんだけど。それは，今患者が熱を出している病態を見ているのか，体に熱が入って壊れた状態を見ているのか。なんか熱と病態は同じように見えるんだけど。熱が発生してるってことは，体が冷えてるとも見ることができるし。熱がこもっちゃったときっていうのは発汗ができなくてってことがあって。これは全然病態は違うの。その設定条件が間違っただめに，五行論では熱をとるためには，これって書いてあるから，結果があれっ！！ってことになっちゃう。
施術内容・方法	施術の流れ	だから，俺としては診察の方法の中に脈診，腹診，まあセツケイという経絡を触ったり，撫でたりというのと同じようにFTがあって。その先の理解の中に問診，聞診，望診っていうのが一番できればいいんだけど。望診ができないので，問診，聞診，切診という。耳は使えるんで，患者さんの声や元気を耳で聞いて。あとは，質問を自分なりにこういう時にはこんな質問をしようって。ある程度問診の順序も決めていて，そうすると，さっき言ったパソコンの入力の仕組みを分かってくれば出てくるって形なの。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	だから，俺としては診察の方法の中に脈診，腹診，まあセツケイという経絡を触ったり，撫でたりというのと同じようにFTがあって。その先の理解の中に問診，聞診，望診っていうのが一番できればいいんだけど。望診ができないので，問診，聞診，切診という。耳は使えるんで，患者さんの声や元気を耳で聞いて。あとは，質問を自分なりにこういう時にはこんな質問をしようって。ある程度問診の順序も決めていて，そうすると，さっき言ったパソコンの入力の仕組みを分かってくれば出てくるって形なの。
施術所と設備に関すること	使用鍼	今使ってるのは，ステンレスの寸3の2番，あとたまに使うのは寸6の5番が多いかな。結局
施術内容・方法	症状による鍼の選択	結局痛みの種類によって太い鍼の方がいい場合と，細い鍼がいい場合と。それから深さによって違うし。

施術内容・方法	施術に対する考え方	あとは鍼の中では提鍼。俺としては誰にも言っていないんだけど、もともと銀製品って言うのは熱をとる金属なので、熱感のある患者さんには銀の提鍼。それでよくよく弱っている患者には金。柔らかくて溶けやすいのはやさしい刺激だって一般的には言われるけど、これは術者の体温で金属が温まってその熱が患者に伝わる意味では弱ってる人に対して金を使うことが多い。で、金の代わりにまあまあ体がしっかりしているので、そんなに弱っていない人にはほとんど銅を使う。って、金を使うのはめったにないかなあ。一応口鍼は金・銀・銅って持ってて、今は銅の提鍼を使うことが多い。
施術所と設備に関すること	使用鍼	あとは鍼の中では提鍼。俺としては誰にも言っていないんだけど、もともと銀製品って言うのは熱をとる金属なので、熱感のある患者さんには銀の提鍼。それでよくよく弱っている患者には金。柔らかくて溶けやすいのはやさしい刺激だって一般的には言われるけど、これは術者の体温で金属が温まってその熱が患者に伝わる意味では弱ってる人に対して金を使うことが多い。で、金の代わりにまあまあ体がしっかりしているので、そんなに弱っていない人にはほとんど銅を使う。って、金を使うのはめったにないかなあ。一応口鍼は金・銀・銅って持ってて、今は銅の提鍼を使うことが多い。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	物理療法って・・・！？ああっ！そういう類は一切ない。ほとんど手技療法なので、鍼一本です。あとは、さっき言った温灸器ぐらい。
施術内容・方法	経絡治療の試行錯誤	苦労したのはやっぱり、臓腑病に辿り着ける前。経絡治療っていうのは経絡をいじってれば治るって聞かされて。それを信じて経絡を一生懸命調整すれば治るって思い込んでやってた頃は、やっぱり苦労した。だって治らないんだもん。それでいくら教えを請おっても、お腹さえ整えれば治るんだって言われても。お腹がきれいになってるのに何で治らないのって。それは、結局臓腑病で出てるのは、お腹がきれいになっても治るはずがない訳よ。古いし、で疾患が深いから。鍼の深さも違うし、だからそういうのの理解ができてないときは、その浅くても、何でも浅くやったら治るって言うのを信じて、浅い鍼しかやらないじゃん。
施術内容・方法	古典の解釈	神経痛なんかは浅い鍼なんかで治るわけじゃないじゃん。だから、ある程度の深さが必要だってなったとき、鍼の深さが5センチも、6センチも入れんのに細い鍼じゃ入っていけない訳よ。もう筋の抵抗が強くて。そうすると、今度ある程度太さも必要だし。で、「九鍼十二元」って言うのを読んでみると、同じ痛みなのに太い鍼と長い鍼の使い分けをしてる、古典の中では。同じ痛みでも関節痛には太い鍼を使えって！そして、筋肉の痛みの場合は長い鍼を使えって言う指示が、古典には書いてある。その、古典に書いてある意味が分かんないでいるときには、微鍼って言って、短い鍼で気を調整すればいいんだ、で、気を調整すればなんでも治るんだってさんざん聞かされて（笑い）。そうだと思い込んでやってた頃は、本当に苦労した。
施術内容・方法	施術上の思い込み	神経痛なんかは浅い鍼なんかで治るわけじゃないじゃん。だから、ある程度の深さが必要だってなったとき、鍼の深さが5センチも、6センチも入れんのに細い鍼じゃ入っていけない訳よ。もう筋の抵抗が強くて。そうすると、今度ある程度太さも必要だし。で、「九鍼十二元」って言うのを読んでみると、同じ痛みなのに太い鍼と長い鍼の使い分けをしてる、古典の中では。同じ痛みでも関節痛には太い鍼を使えって！そして、筋肉の痛みの場合は長い鍼を使えって言う指示が、古典には書いてある。その、古典に書いてある意味が分かんないでいるときには、微鍼って言って、短い鍼で気を調整すればいいんだ、で、気を調整すればなんでも治るんだってさんざん聞かされて（笑い）。そうだと思い込んでやってた頃は、本当に苦労した。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	あまりにも浅い鍼のせいで結果が出ない。結果が出なきゃやっぱり患者さんは来ない。

施術内容・方法	効果を出すことの重要性	だからあの先生のところ行くと治るって言われるまでに、ある程度の時間はかかるから。だから相性があるって、気の変動で治ってた人たちは、あの先生いいよって。いや、やっぱりダメだって！それは病が違うから。その病の違いを知らずにやってる間は患者が今月はすごいね減らないってときもあったり。その気の調整だけで治んない患者ばかりになるとやっぱりあそこ行ってもだめだよって患者が減る訳よ。だから診断技術がどこまでできてるかで患者さんは来たり来なかったりするから。だから、あれでしょ。関節痛なんか、嫁さんの方が覚えちゃって。膝の治療俺なんかより上手だよ。だから、治すってことを主に考えれば、結果を出せないと患者は来ない。
施術内容・方法	施術に対する考え方	だからあの先生のところ行くと治るって言われるまでに、ある程度の時間はかかるから。だから相性があるって、気の変動で治ってた人たちは、あの先生いいよって。いや、やっぱりダメだって！それは病が違うから。その病の違いを知らずにやってる間は患者が今月はすごいね減らないってときもあったり。その気の調整だけで治んない患者ばかりになるとやっぱりあそこ行ってもだめだよって患者が減る訳よ。だから診断技術がどこまでできてるかで患者さんは来たり来なかったりするから。だから、あれでしょ。関節痛なんか、嫁さんの方が覚えちゃって。膝の治療俺なんかより上手だよ。だから、治すってことを主に考えれば、結果を出せないと患者は来ない。
営業努力に関すること	口コミの効果	やっぱりそれは患者さんが勝手に決めてくれてたので。あの先生変わったことやってるよって、面白がって来てくれる患者さんと。あとはしばらくよかったんだけどって言って、間が空いてポッと来る患者さんと。
営業努力に関すること	広報活動	で、何もしなくても。一時期は電柱広告を。それこそここから3キロも離れた津田にいた頃は、駅から遠いし、情報源もないから、電信柱に広告出したり、電話帳にやったりって、とかやったけど。でも、誰しもいうけど、それを見てきましたとか、電話しましたって言う人は、年に数人だから。
営業努力に関すること	口コミの効果	やっぱり効果があるっていう意味では患者さんを治すことが一番の広告になっている。
施術内容・方法	患者の興味の高さ	今は、そういう広告はしないで、税金対策で電話帳に載せてるぐらい。一時期電話帳に相談受け付けますって、治療を受けるんじゃないくて、相談だけでもいいですよって広告出したことがあった。そしたら嫁さんに怒られた。分かんないから聞きたいって患者さんは結構いらっしゃって。で、番号を二つ持ってたから、見た人は2と3とあった場合、2からかけるじゃん。2が嫁さんで、3が俺ってことにしてたから、相談の電話が嫁さんのところに行っちゃう。怒られた（笑い）。俺はどっちかっていったらしゃべる方が好きだから全然関係なくても質問されると一生懸命しゃべっちゃうから。それは良し悪しでしたね。ちょっと失敗した。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	今は、そういう広告はしないで、税金対策で電話帳に載せてるぐらい。一時期電話帳に相談受け付けますって、治療を受けるんじゃないくて、相談だけでもいいですよって広告出したことがあった。そしたら嫁さんに怒られた。分かんないから聞きたいって患者さんは結構いらっしゃって。で、番号を二つ持ってたから、見た人は2と3とあった場合、2からかけるじゃん。2が嫁さんで、3が俺ってことにしてたから、相談の電話が嫁さんのところに行っちゃう。怒られた（笑い）。俺はどっちかっていったらしゃべる方が好きだから全然関係なくても質問されると一生懸命しゃべっちゃうから。それは良し悪しでしたね。ちょっと失敗した。
営業努力に関すること	新たな取り組み	今は、そういう広告はしないで、税金対策で電話帳に載せてるぐらい。一時期電話帳に相談受け付けますって、治療を受けるんじゃないくて、相談だけでもいいですよって広告出したことがあった。そしたら嫁さんに怒られた。分かんないから聞きたいって患者さんは結構いらっしゃって。で、番号を二つ持ってたから、見た人は2と3とあった場合、2からかけるじゃん。2が嫁さんで、3が俺ってことにしてたから、相談の電話が嫁さんのところに行っちゃう。怒られた（笑い）。俺はどっちかっていったらしゃべる方が好きだから全然関係なくても質問されると一生懸命しゃべっちゃうから。それは良し悪しでしたね。ちょっと失敗した。

患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	良く説明してもらったからって来てくれる人もいるし。話をしている時点で、俺自身が病院に行った方がいいんじゃないんですかって話になっちゃうんだよ。どうもちょっとそれは鍼をしても治るものではないように思いますってことになっちゃうから。だから病院で一回診察を受けてなんでもなければおいでくださいになっちゃうから。でも、病院で何でもなかったんでって言って来た人はいなかったかな。だけど、鍼とか、施術について知ってもらうには相談を受けるっていうのはいいと思ったけど、開業してる人間がそれをやっちゃうと仕事にならない。
施術内容・方法	適切なアドバイス	良く説明してもらったからって来てくれる人もいるし。話をしている時点で、俺自身が病院に行った方がいいんじゃないんですかって話になっちゃうんだよ。どうもちょっとそれは鍼をしても治るものではないように思いますってことになっちゃうから。だから病院で一回診察を受けてなんでもなければおいでくださいになっちゃうから。でも、病院で何でもなかったんでって言って来た人はいなかったかな。だけど、鍼とか、施術について知ってもらうには相談を受けるっていうのはいいと思ったけど、開業してる人間がそれをやっちゃうと仕事にならない。
営業努力に関すること	あはきへの理解促進	良く説明してもらったからって来てくれる人もいるし。話をしている時点で、俺自身が病院に行った方がいいんじゃないんですかって話になっちゃうんだよ。どうもちょっとそれは鍼をしても治るものではないように思いますってことになっちゃうから。だから病院で一回診察を受けてなんでもなければおいでくださいになっちゃうから。でも、病院で何でもなかったんでって言って来た人はいなかったかな。だけど、鍼とか、施術について知ってもらうには相談を受けるっていうのはいいと思ったけど、開業してる人間がそれをやっちゃうと仕事にならない。
施術所の経営状況	スタッフの雇用	そうそう。雇ったことはないなあ。
周囲のサポートに関すること	第三者からの援助	不便って言う意味では、俺は患者さんとか、患者さんが連れてきた子供にほこりを見つけられんのが！ベッドの下とかってめったに掃除やらないじゃん。掃除機はかけてるんで見えてるところはある程度きれいになってるんだけど。でも見える高さが低い子供たちにとってはベッドの下にほこりが、ベッドそのものの下ね。床ではなくて。あと道具類の上にうっすらほこりが乗ってたりすると言われてたりする。それはええっとか思っちゃうんだけど。子供は正直だからさあ。しかも先生じゃなくておじちゃんだから。「おじちゃんほこりあるよ」何て。うん、どこに、そういう時は見えないのが二人でやってるからしょうがねえなあとか思って。何年かに一遍、ヘルパーさんに入ってもらって治療室の中を見てもうようにはしてるけど。だから自分でも気を付けて掃除をするようにして。そういう細かいところではあるかな。治療上ではないけどね。
視覚障害の状況	衛生管理の難しさ	不便って言う意味では、俺は患者さんとか、患者さんが連れてきた子供にほこりを見つけられんのが！ベッドの下とかってめったに掃除やらないじゃん。掃除機はかけてるんで見えてるところはある程度きれいになってるんだけど。でも見える高さが低い子供たちにとってはベッドの下にほこりが、ベッドそのものの下ね。床ではなくて。あと道具類の上にうっすらほこりが乗ってたりすると言われてたりする。それはええっとか思っちゃうんだけど。子供は正直だからさあ。しかも先生じゃなくておじちゃんだから。「おじちゃんほこりあるよ」何て。うん、どこに、そういう時は見えないのが二人でやってるからしょうがねえなあとか思って。何年かに一遍、ヘルパーさんに入ってもらって治療室の中を見てもうようにはしてるけど。だから自分でも気を付けて掃除をするようにして。そういう細かいところではあるかな。治療上ではないけどね。
施術内容・方法	予約による施術	意識して・・・？！完全予約制にしちゃったのはそういう意味もあるかな。患者を待たせるとどうしても長くなっちゃうから、特に俺の治療は患者さんを診て面白くなってくるとあちこち見ちゃうので。そういう意味で患者さんを待たせちゃうのでねえ。途中から完全予約にしたっていうのはそうかな

施術内容・方法	予約による施術	どのくらいだろう？最初のころは完全予約ではなかったんだよな。今のやり方になったのは20年ぐらい前か。その前は飛び込みで入ってきてもどっちか空いてればやったりしてたもの。そういう意味で嫁さんに新しい患者はとらないよって言われてからは、飛び込みはやらなくなった。工夫してるっていう意味では、そんなところで時間の使い方を上手にするために予約制にしたってところで。
施術者としての思い	研修への参加	ないなあ。全鍼師会の研究大会とか行けば、経営についてとかってあるよ。で、話は聞くけどじゃあ、それを取り入れて、衛生的にもきちんとして。それで回数券を作ってなんかは、東京ではやっている人はいるし、同じ勉強会の人でも、そういうの作ってサービス提供している人もいるけど。やっぱりうちらはそこまではいいよなあって。地方ということもあってあんまり経営面は見たり聞いたりしても、やろうとは思わなかったよ。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	ないなあ。全鍼師会の研究大会とか行けば、経営についてとかってあるよ。で、話は聞くけどじゃあ、それを取り入れて、衛生的にもきちんとして。それで回数券を作ってなんかは、東京ではやっている人はいるし、同じ勉強会の人でも、そういうの作ってサービス提供している人もいるけど。やっぱりうちらはそこまではいいよなあって。地方ということもあってあんまり経営面は見たり聞いたりしても、やろうとは思わなかったよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	患者さんの中には回数券を作ってくれとか、年間契約で、毎回毎回支払いをする手間を省いてくれればいいのって話はあったけど。それは患者の勝手だから。結局、技術を提供するのはこっちだから。そういう意味では患者さんの便利さを考えていうのはやめたことないわ。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	ひたちなかでは65歳以上に15枚のマッサージ助成券を配布しているけど、足がなくて来れないって言う人も多いんだよね。治療代よりタクシー代の方が高くなったら続かないもんね。
現在の施術料収入	地域内での取り決め	うん、ひたちなかは団体二所属してれば、決まってるので基本的には1術3,500円。だからあん摩か、鍼か、灸かのどれか1術ってことで。マッサージして鍼って言うのは2術になるから。初診料とか、プラスアルファでやる治療の料金は違ってる。うちは基本的に鍼しかやらないので3,500円だけだね。
現在の施術料収入	施術料	うん、ひたちなかは団体二所属してれば、決まってるので基本的には1術3,500円。だからあん摩か、鍼か、灸かのどれか1術ってことで。マッサージして鍼って言うのは2術になるから。初診料とか、プラスアルファでやる治療の料金は違ってる。うちは基本的に鍼しかやらないので3,500円だけだね。
現在の施術料収入	施術料の変遷	他の先生の考えもあるだろうけど、俺としてはあんまり高くないって言うのが本音かな。一番最初の開業時は1,800円だったよな。それこそ今から40年近く前。物価上昇とバブルのころには一番高くなって行って、床屋の料金に合わせ。昔の人に言わせると、床屋の料金よりうちらの方が高かったんだって。今でもなんで3,500円のままなんだって言われるけど、通ってもらって考えると。3,500円でも1か月に3回も4回も来れる料金じゃないよねって。
施術内容・方法	患者への配慮	1回鍼をやって治りますよって言うならいいけど、治らないの分かっててそんなに高い料金で、何回も来なさいって言うのはないから。東京ならまだしも、地方はそうもいかない。
取扱患者の状況	患者数	だいたい2.5から3人。今は無理してやらなくなった。遊び歩いてるし。子供たちも自立したし、自分達が食べて行ければいいって考えに変わったから。平均すると1日3人ぐらいしかやってないんじゃないかな。
施術者としての思い	家族環境の変化	だいたい2.5から3人。今は無理してやらなくなった。遊び歩いてるし。子供たちも自立したし、自分達が食べて行ければいいって考えに変わったから。平均すると1日3人ぐらいしかやってないんじゃないかな。
取扱患者の状況	環境による患者数の増減	8月？！うーんと、お盆休みがあつたりするので暑い時期だと人数で言うと60人ぐらいか。やっぱりお盆の時期、暑い時期は患者さんが出てこないよね。今年は天候不順だったからいつもより仕事あったような気がした。そう、高校野球が始まるとピタッと来なくなるから（笑い）。

取扱患者の状況	患者数	8月?! うーんと、お盆休みがあつたりするので暑い時期だと人数で言うとか60人ぐらいか。やっぱりお盆の時期、暑い時期は患者さんが出てこないよね。今年は天候不順だったからいつもより仕事あつたような気がした。そう、高校野球が始まるとピタッと来なくなるから(笑)。
取扱患者の状況	定期来院患者	いるよ。週に1回って言うのは、今は二人ぐらいか。だいたい良くなると、俺が2週間に1回って言っちゃうんで。毎週って言うのはそうそうはいないんだわ。ただ、1週間に1回受けたいって来てる人が二人ぐらい。2週間に1回だったら4・5人かな。あとは病気によって続けてやった方が治るって患者が何人かって感じかな。1か月トータルすれば最低で30人は確保できてるって感じかな。
施術内容・方法	施術に対する考え方	毎日とは来ない。って言うか来させないし。患者さんによっては毎日来た方がいいですかって言う人もいるんだけど、いや体の変化を見なきゃ分からないから来るなって俺が言っちゃうから。詰めて見てあげても1日おきかな。だから月・水・金か、火・木・土って感じで。それで2週間やったら、あとは良くなつてればどんどん開けて。最低で1週間に1回。良くなれば2週間に1回。最後は月に1回ぐらいに。それは長年やってきた中で、そういう治療の方がいいよねって。
現在の施術料収入	年収	だいたい自分で、休んだりなんなりっていうのを考えると、240万円を目安にしてんの。自分の中で。そこから増えたり減ったりって言うのは多少あるけど。昨年申告してんのは243ぐらいだったと思う。
施術料収入に関すること	以前の年収目標	昔はねえ、山口に友達がいるんだけど、自分は月にこれだけやんのが目標だとか言ってて。昔は俺も500ぐらい仕事するってやったんだ。でも、それだと疲れちゃってさあ。
施術料収入に関すること	最低限の収入目標	ほんで税金も余計にくるし。施術料収入には嫁さんの施術料は入れてないから。ほんとアルバイト程度しか今はやってないから。新規をとってないから。今がんばると自分が壊れちゃうから。若い時はやれるけど。俺が一番収入として頑張ってる時代っていうのは40台もんね。50台に入ったら子育て終わって授業料を払わなくなると体の方が大事だから制限しちゃう。やればやるだけ確かに収入はあるかもしれないけど、収入より自分らの体。最近では若いころ連れていけなかったから遊びに時間を割くようにして。そういう意味でも予約は助かる。時間が計算できっからね。だから、このぐらい収入あれば良いよねって言って。天候によって増減はあるけど240を基礎に、それ以上増やす必要ないよねって。
施術内容・方法	自分の時間を大切に	ほんで税金も余計にくるし。施術料収入には嫁さんの施術料は入れてないから。ほんとアルバイト程度しか今はやってないから。新規をとってないから。今がんばると自分が壊れちゃうから。若い時はやれるけど。俺が一番収入として頑張ってる時代っていうのは40台もんね。50台に入ったら子育て終わって授業料を払わなくなると体の方が大事だから制限しちゃう。やればやるだけ確かに収入はあるかもしれないけど、収入より自分らの体。最近では若いころ連れていけなかったから遊びに時間を割くようにして。そういう意味でも予約は助かる。時間が計算できっからね。だから、このぐらい収入あれば良いよねって言って。天候によって増減はあるけど240を基礎に、それ以上増やす必要ないよねって。
施術者としての思い	社会貢献的活動	そういう意味では役所の福祉推進委員とかって役をもらってる。そうすると年に4回、5回会議があつて、交通費が出る会議があるの。それだと1回に6,000円から、所得税が引かれて、5,800いくらじゃなかったかな。それは市役所の方で還付金っていつて収入じゃないけど、先に税金とっちゃったってことで所得に入れてくれてる。所得として入れてないけど、視覚障害福祉協会の会長やってるから活動費が25,000円。まあ、やめちゃえば入んないけど。そんなところかな。二人とも年金はもらってる。俺は働いて1年でけがしての厚生年金。嫁さんはいろいろあつたけど、結局、国民年金になっちゃったもんね。

施術料以外の収入	副収入	そういう意味では役所の福祉推進委員とかって役をもらってる。そうすると年に4回、5回会議があって、交通費が出る会議があるの。それだと1回に6,000円から、所得税が引かれて、5,800くらいじゃなかったかな。それは市役所の方で還付金っていった収入じゃないけど、先に税金とっちゃったってことで所得に入れてくれてる。所得として入れてないけど、視覚障害福祉協会の会長やってるから活動費が25,000円。まあ、やめちゃえば入んないけど。そんなところかな。二人とも年金はもらってる。俺は働いて1年でけがしての厚生年金。嫁さんはいろいろあったけど、結局、国民年金になっちゃったもんね。
視覚障害の状況	視覚障害の原因	19歳。
視覚障害の状況	失明後の経過	そうそう交通事故で見えなくなっちゃったのに対して、病状が安定して目はこれ以上回復しませんよって言われたのが12月で。翌年の1月にもう、どうしようか。っていった友部のリハビリテーションセンターに行って。これからどうしましょうね、鍼灸の免許取んなくちゃだめですよえなんて言ったら、東京視力受けたらどうですかってなって。で、その年の3月には試験を受けて、4月に入学だから。
施術者としての思い	進路への展望	抵抗があるとかじゃなくて、話すと、当時彼女がいて、その彼女に見えてた時にいずれは結婚したいと思ってたわけよ。で、見えなくなっても彼女が支えてくれてて、いずれ私が目になるからねなんて言われてたからさ。こいつ食わしていかなくちゃならないんだなって思うじゃん。自分がどうこうじゃなくて、その子を、親御さんを説得して結婚するのに、こうやって具体的に稼げますから嫁にくださいって言うのには、とにかく仕事しなきゃならなかった。選ぶも何も見えなくてできる仕事なんだろうなって。だから職業の選択って言うよりは収入を得るための手段として1番手っ取り早いものを選んだ。だから悩んでるよりも、自分のことは置いといて、彼女を受け入れるための準備として。即。迷いとかなんとかじゃなかった。
施術者としての思い	手段としての職業選択	抵抗があるとかじゃなくて、話すと、当時彼女がいて、その彼女に見えてた時にいずれは結婚したいと思ってたわけよ。で、見えなくなっても彼女が支えてくれてて、いずれ私が目になるからねなんて言われてたからさ。こいつ食わしていかなくちゃならないんだなって思うじゃん。自分がどうこうじゃなくて、その子を、親御さんを説得して結婚するのに、こうやって具体的に稼げますから嫁にくださいって言うのには、とにかく仕事しなきゃならなかった。選ぶも何も見えなくてできる仕事なんだろうなって。だから職業の選択って言うよりは収入を得るための手段として1番手っ取り早いものを選んだ。だから悩んでるよりも、自分のことは置いといて、彼女を受け入れるための準備として。即。迷いとかなんとかじゃなかった。
国家資格の取得	資格取得	だから見えなくなって4年目か。
国家資格の取得	資格取得の年	昭和54年の3月の試験に合格して。昭和53年にあん摩の免許を取って、そのあとに鍼灸。
施術者としての思い	周囲の説得で帰郷	結局50年に高校が終わって51年に入学してっから。その54年の年にこっちに戻ってきて。ほんとは若いから東京にって言ったのに、早く帰ろうって。まあセンターの職員の先生にも説得されて。
営業環境に関すること	融資した金額	福祉の世帯構成資金だっけ？！それ借りたの。福祉事務所に。あの当時いくらだっけ！！70万ぐらい借りたんじゃなかったかな？！ほんと忘れちゃった。当時二人で働いた稼ぎが看板台だったよ。だって施術代が1,800円だもん。そう俺が就職したときの初任給が10万足らずだったんだから。借りたお金の返済期間は10年ぐらいだったと思うけど、10年かかんないで返したような気がするなあ。
施術者としての思い	融資の返済	こっちに来たときは半分は支度金として払って、あとはローン。ただ、その頃難しい患者に出くわした後でいろいろ悩んだけど、患者さんはこなせるようになってたから。月10万ぐらい返してて、酷い時は17万ぐらい返してた時もあった。バブルのころはひどかった。

現在の施術料収入	当時の収入	でもその頃が1番働いたって。年間で言うと480万って。今の料金になる前だったけど、それだけ数もやって、今みたいに9時から6時で終わりってことはなくて、8時からやって夜の9時とかまでやったね。あの頃は確かに人数多かったもんなあ。それこそ1日平均4・5人だから、1か月120は、ざらだった。その頃は結局、あん摩もやってたあからね。今みたいに鍼だけなんてことはなくて、来ればあん摩も鍼もやっ
取扱患者の状況	当時の患者数	でもその頃が1番働いたって。年間で言うと480万って。今の料金になる前だったけど、それだけ数もやって、今みたいに9時から6時で終わりってことはなくて、8時からやって夜の9時とかまでやったね。あの頃は確かに人数多かったもんなあ。それこそ1日平均4・5人だから、1か月120は、ざらだった。その頃は結局、あん摩もやってたあからね。今みたいに鍼だけなんてことはなくて、来ればあん摩も鍼もやっ
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	思ったことはないね。だんだん経絡治療にのめりこんで、治せるって自信がついて面白くなって言っちゃって。だから、そういう意味で見えなくなっちゃったことを恨んだりってことじゃなくて、この仕事に出会えて面白さ、医者にかかんなくたって治せるって言うのが逆だったね。だから、みんなとは逆な感じだよね。悩んでこの仕事選んだんじゃなくて。この仕事で何とかするぞって。始まってから患者が来ねえからどうするかって、温泉場に行ってバイトしようかって考えてたら。面白いよねえ、鍼ってこんなこともできんだってなって・・・。
施術者としての思い	施術者としての充実感	思ったことはないね。だんだん経絡治療にのめりこんで、治せるって自信がついて面白くなって言っちゃって。だから、そういう意味で見えなくなっちゃったことを恨んだりってことじゃなくて、この仕事に出会えて面白さ、医者にかかんなくたって治せるって言うのが逆だったね。だから、みんなとは逆な感じだよね。悩んでこの仕事選んだんじゃなくて。この仕事で何とかするぞって。始まってから患者が来ねえからどうするかって、温泉場に行ってバイトしようかって考えてたら。面白いよねえ、鍼ってこんなこともできんだってなって・・・。
施術者としての思い	施術者としての充実感	それはねえ、医者でも見つけられなかった病気を見つけた時。その患者は確かに面白かった。肝炎。臓腑疾患をやるとこれ絶対肝臓おかしいよって。
施術者としての思い	施術者としての自信	それはねえ、医者でも見つけられなかった病気を見つけた時。その患者は確かに面白かった。肝炎。臓腑疾患をやるとこれ絶対肝臓おかしいよって。
取扱患者の状況	患者の状態	患者が60後半のおばあちゃんが風邪引いたみたい、微熱があるってかかりに来たわけ。この人は交通事故で大腿骨を骨折したから足が曲がらんないって人だったんだけど。お金は持ってる人だったから。あっちの医者、こっちの医者、漢方薬も飲んでって。まあ、お金持ち独特の贅沢な治療をした人だから。それで見せてもらって7度1分・2分の微熱なんだけど、風邪みたいななんだけどって言って。医者行っただのって聞くと、医者でも風邪だって。
施術内容・方法	施術に対する考え方	で、見せてもらって脈見て、やたらに固い脈してんなあって。お腹見たら季肋部おかしいし、肝臓変じゃないのって。FTもやって、臓腑病か経絡病かを分けてみてったら、どうも臓腑疾患だと。
施術内容・方法	診察の結果	で、見せてもらって脈見て、やたらに固い脈してんなあって。お腹見たら季肋部おかしいし、肝臓変じゃないのって。FTもやって、臓腑病か経絡病かを分けてみてったら、どうも臓腑疾患だと。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	微熱で、で、そこで問診が出てくるんだ。眠いけど横になると眠れないことないって聞くと、そうだって。なんとなくイライラしないのって聞くと、おじいちゃんがうろうろするだけで、あっちに言ってって大きい声出したとかって。そういう病態見てこれ絶対変だって思ってた。
施術内容・方法	施術内容	肝に対して金を金を抑えて木製を瀉すと良くなるって言う方法で、治療したらよくなる訳よ。そのときは、そして次の日になるとまた微熱が出てくるわけ。二日置いて三日目に治療に来ると、まだ先生変だって。って、3回繰り返して。

患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	さすがに3回目にはあきれて、医者もう一回行きなさいって。でも、先生、医者いったらまた体温はかって風邪で終わっちゃうって言うから、そこで患者に嘘つかせて。先生に熱は高くなることはないんだけど、胸のこの辺が苦しいし、眠れないって言いなって。で、胸ってどの辺ですかって言うから、季肋部教えて、この辺が何となく苦しいような気がする医者に言うって
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	さすがに3回目にはあきれて、医者もう一回行きなさいって。でも、先生、医者いったらまた体温はかって風邪で終わっちゃうって言うから、そこで患者に嘘つかせて。先生に熱は高くなることはないんだけど、胸のこの辺が苦しいし、眠れないって言いなって。で、胸ってどの辺ですかって言うから、季肋部教えて、この辺が何となく苦しいような気がする医者に言うって
取扱患者の状況	肝炎の発見	それで医者についたら、血液検査しましょうってなって、したら肝炎だったって。肝機能が落ちてて、それは西洋医学的に証明されたから、医者がきちんと治療しましょうってなって
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	患者が面白いこと言ってる、医者に行く前に俺とこ3回来てるわけだから1週間以上たってる。私はどうでしょうって言うから。ちゃんと医者がみて肝炎って言ったんだから治療を受けなあって言うって
施術内容・方法	目的を持った診察	そんな患者さんがいた。触察はやっぱり大事だと思うけど、自分が臓腑疾患まで治療するという目的意識をもって触察なんかをできるかが大切だよね。何を見ようかって言うのがあから触れるんであって、見える先生は問診だけでどこが悪いんだろって言うのが、こうね、自分の中で、患者さんの中でここが痛いんですって言うのとそっちに目が言っちゃう。我々の治療は内科的な診察をして外科的に治療してるってこと言ってるよ
施術内容・方法	施術に対する考え方	そんな患者さんがいた。触察はやっぱり大事だと思うけど、自分が臓腑疾患まで治療するという目的意識をもって触察なんかをできるかが大切だよね。何を見ようかって言うのがあから触れるんであって、見える先生は問診だけでどこが悪いんだろって言うのが、こうね、自分の中で、患者さんの中でここが痛いんですって言うのとそっちに目が言っちゃう。我々の治療は内科的な診察をして外科的に治療してるってこと言ってるよ
施術者としての思い	年齢	もう61だよ。
施術者としての思い	後進の指導	今治療の目標は、さっき言った臓腑の治療が完成されつつあるんで。今からの目標は東京の勉強会言っている会で、自分と同じような治療ができる術者を増やしたいって言うのが目標かな
施術内容・方法	家族のための施術	それから将来の目標と言えば嫁さんを鍼の力で長生きできたらそれはすごいと思うから。技術面での目標は100になるまで鍼して、病院にかかなくて済むって言うのが理想だから。
施術者としての思い	健康への不安	やっぱり自分の体だろうな。やっぱり体力だったり、よく嫁さんが心配してくれんのはけがね。外に出ていくから。不安って言えばそういう体に関することだろうな。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	満足してるって言う意味ではまあ、いい仕事してるなあって言う意味では70%ぐらいは。いい仕事ができたとって言う意味でね。自分が診察をしてある程度結果が出せてって言う意味で。
施術者としての思い	技術向上の意識	足りない30%は古典の本に書いてあるのを読んで自分なりに解釈しながら東京の勉強会の連中とともにやってるけど。鍼の技術面での鍼の選び方や深さそれから鍼によって壊れたらどうなるかって、まだ読んでない部分は自分の中でおそらく患者さんを診た時にまだ見落とししてるところがあるだろうなって、そういうところかな
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	あんまりないね。本当に食べていければ。あんまり欲かかないのも確かだから。お金集めるより、患者さんが治る方が楽しい。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	あんまりないね。本当に食べていければ。あんまり欲かかないのも確かだから。お金集めるより、患者さんが治る方が楽しい。
施術者としての思い	施術者としての充実感	あんまりないね。本当に食べていければ。あんまり欲かかないのも確かだから。お金集めるより、患者さんが治る方が楽しい。

表 1 5 「対象8」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	正式に開業してから？届け出を出してから16年だ。けども、そのうちの4年半って言うのは、那珂市の小豆畑病院に半日手伝いに行っ、帰ってきてから施術してた。だから、本格的にやってからは12年ぐらいになります。
患者とのコミュニケーションの状況	患者のニーズ	一応日曜日。日曜日でもいればやるし、中には日曜日じゃないと来られないっていう人もいるし。
施術内容・方法	患者のニーズ	「ぎっくり腰起こしちゃったあ」って電話もらった時なんかは、かわいそうだし、待たせられないから。
施術者としての思い	施術者としての充実感	仕事が趣味だから、すごく感じている。開業して12年もいつの間にか過ぎてしまったって感じ。
施術者としての思い	施術への意欲	患者を見るのがすごく好きで、特に新患だと、すごく興味があつて。分かってても分からなくても興味がある。だから充実感はずいぶん持っている。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	患者を見るのがすごく好きで、特に新患だと、すごく興味があつて。分かってても分からなくても興味がある。だから充実感はずいぶん持っている。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	施術をした後、患者さんから満足感をもらえるっていうのがあるので。それは国立病院で働いていた時からそうだった。今も変わらないけど、患者さんに「よくなりました。ありがとうございます」って言って帰ってもらえると、やっぱり自分の疲れがとれるよね。満足してもらったんだあつてね。
施術者としての思い	施術者としての充実感	施術をした後、患者さんから満足感をもらえるっていうのがあるので。それは国立病院で働いていた時からそうだった。今も変わらないけど、患者さんに「よくなりました。ありがとうございます」って言って帰ってもらえると、やっぱり自分の疲れがとれるよね。満足してもらったんだあつてね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	施術をした後、患者さんから満足感をもらえるっていうのがあるので。それは国立病院で働いていた時からそうだった。今も変わらないけど、患者さんに「よくなりました。ありがとうございます」って言って帰ってもらえると、やっぱり自分の疲れがとれるよね。満足してもらったんだあつてね。
施術者としての思い	施術者としてのキャリア	えーっと、40年。施術するようになって50年超えてるね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	方法は？何て言うのかな？今の医学って考え方が変わってきたりしているじゃない。それに合わせて治療やらなくちゃならないよな。っていうような思いはあるかな。
施術内容・方法	医学的常識の変化	昔は、例えば急性炎症を起こしている者は絶対に治療しちゃいけないとかあったじゃない。
施術者としての思い	自己研修の方法	医学書を読んだり、医学書関係の雑誌を読んだり。最近はあるまり行かなくなったけど、研修会とか、昔リハビリテーション学会に、うちのかみさんを連れて行ってプラステープレコーダーを2から3台持って行って。
施術者としての思い	家族の協力	ああ言う学会って、ほら同時にA、B、Cみたいに講演があつたりするでしょ。そうすると聞きたいのが二つとか、三つあつたりする分けですよ。テープレコーダーは、その時のために持って行って、自分はここを聞いていて、B会場にはテープレコーダーを置いてきてもらって、それを後で聞くって感じで。俺は、その場で聞いているだけなんだけど、かみさんはテープレコーダーを置きに行ったり、回収して回ったり、そんなことやってた。
施術者としての思い	技術向上の意識	今でも本は読んだりしてる。今情報源としてはサピエが多いかな。やっぱり新しい知識を入れていかないと。
施術内容・方法	施術内容	施術の内容は疾患によって違うけど、例えばぎっくり腰だったら、それがしかもやったばかりの時だったら、あんまりできないからさらーっとしたマッサージをして、それからできるだけリラックスを図るようなことを考えて、モバイルゼーションをやって、温熱療法をやって。まずはリラックスできるように気を付けている。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	温熱療法は極超短波。それ1台しか俺んところにはないから。患者さん、この温熱療法が一番喜ぶよ。洋服は汚れないし、「すごく気持ちいいですー。」って言って。
取扱患者の状況	患者の満足	温熱療法は極超短波。それ1台しか俺んところにはないから。患者さん、この温熱療法が一番喜ぶよ。洋服は汚れないし、「すごく気持ちいいですー。」って言って。
施術内容・方法	鍼施術	鍼もやるよ。頸にしる、腰にしる、何か中の方に筋の緊張があるようだなっていうときには、鍼を静かに入れて行ってっていうような感じで。

施術所と設備に関すること	使用鍼	鍼は寸6の2番とそれから寸3の2番と、それから短い1寸じゃなくて、もっと短い顔に使う5分ぐらいの鍼があるじゃないですか。
施術内容・方法	鍼施術	この短い鍼は顎関節症の患者さんに使ったりする。顔面でも寸3の2番を使ったりするんだけど、たまにはそんなものがあるからそれを使ってみて、置鍼してたりする。鍼は関東医療で入れてもらっているディスプレイだよ。
施術内容・方法	施術に対する考え方	やっぱり少しでも患者さんに症状が軽くなってほしいなって。
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	だから、たまにはあまり多くはないけど、1、2例外の患者さんがいたね。その一人は脊髄腫瘍患者さんで腰痛で来て、通り一片の腰痛の治療をしたけど、一つもよくなんない。2回やって2回とも良くならない。それでもすごく痛がっているから、手に負えないから、大きい病院に行ってMRI撮ってみてくださってって来たら
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	それからいいかげん時間がたってから、俺の友達が、この近くで医者やってるから、そこに行ってみてって。そこに行ったら坐骨神経痛だって言われて、消炎鎮痛剤を出された。奥さんにも話はしておいたんだけど、奥さんの話は聞かなくて、それで、そうとう悪くなってから医療センターを受信したら腫瘍だって言われて。それから東京の癌センターに行ってみてもらったら、「2週間後に検査します。そこまで持つかどうか分かりません」って言われて、案の定っていうよう
取扱患者の状況	重症な患者	それからいいかげん時間がたってから、俺の友達が、この近くで医者やってるから、そこに行ってみてって。そこに行ったら坐骨神経痛だって言われて、消炎鎮痛剤を出された。奥さんにも話はしておいたんだけど、奥さんの話は聞かなくて、それで、そうとう悪くなってから医療センターを受信したら腫瘍だって言われて。それから東京の癌センターに行ってみてもらったら、「2週間後に検査します。そこまで持つかどうか分かりません」って言われて、案の定っていうよう
施術内容・方法	施術に対する考え方	だから、治療をした結果、成果が上がらなかった患者さんからは治療代をいただかない。患者さんが「痛みが一つも取れませんでした」っていうような時にはもらってない。これは開業の時からでずっとそんなつもりでやってきている。
施術内容・方法	医療機関との連携	ここに来てもらって、評価させてもらうのにいろいろ検査させてもらって、「俺の手には負えないよな、医療センターに紹介状書くから行く？」って言うときには、紹介状書いてあげて行ってもらう。
施術内容・方法	適切な施術	ここに来てもらって、評価させてもらうのにいろいろ検査させてもらって、「俺の手には負えないよな、医療センターに紹介状書くから行く？」って言うときには、紹介状書いてあげて行ってもらう。
施術者としての思い	施術向上への意欲	その時も治療代はいらないよって、俺は見せてもらって勉強になったんだから、それだけでいいから。勉強になるよね？見せてもらって勉強させてもらったんだから、こっちが患者さんに払わなくちゃならないぐらいだよな。いろんな症状を見せてもらおうと、自分のものになって、紹介状を書いた患者さんからも病院での診察の結果が返ってきたりするしね。
施術内容・方法	医療機関との連携	俺は昔から野次馬的根性があるのよ。国立病院にいた時も整形外科のカンファレンスっていうのがあるんですよ。週1回月曜日にドクターと、病棟看護婦と我々とで、その時の手術を受ける患者さんと、新患とを一人一人カンファレンスをして、治療方針を決めていくんです。
施術者としての思い	施術向上への意欲	この患者何だかわからないんだよなあなんてなってくると「先生悪いんだけど、その患者俺にも見せてくれる」って言って見せてもらう。そうすると1年で一つか二つ、医者が見過ごしたのを見つけることがあって、それが楽しいんだ。
施術者としての思い	施術に対する自信	この患者何だかわからないんだよなあなんてなってくると「先生悪いんだけど、その患者俺にも見せてくれる」って言って見せてもらう。そうすると1年で一つか二つ、医者が見過ごしたのを見つけることがあって、それが楽しいんだ。

施術者としての思い	施術者としてのキャリア	今日の女性64歳の女性の患者さん。すごく細身の方で、両方のふくらはぎが重だるくてしょうがないって言う患者さん。脊柱管狭窄症かなってということでMRIを撮ってみたら何でもない。ただ、左が特に症状が強いんだけど、左の股関節の外旋制限があるのと、右に対して左の方が、筋力テストだと左の方がワンランク低いんですよ。って言うことで、少しおかしいなあと思って膝蓋腱反射、patellar tendon reflexをやってみたら左の方が、右より更新してた。右は＋－だけど、左は＋＋ぐらい。場合によっては脊髄レベルで何かあるのかな
施術内容・方法	患者の評価	今日の女性64歳の女性の患者さん。すごく細身の方で、両方のふくらはぎが重だるくてしょうがないって言う患者さん。脊柱管狭窄症かなってということでMRIを撮ってみたら何でもない。ただ、左が特に症状が強いんだけど、左の股関節の外旋制限があるのと、右に対して左の方が、筋力テストだと左の方がワンランク低いんですよ。って言うことで、少しおかしいなあと思って膝蓋腱反射、patellar tendon reflexをやってみたら左の方が、右より更新してた。右は＋－だけど、左は＋＋ぐらい。場合によっては脊髄レベルで何かあるのかな
施術所の経営状況	今後の展望	指だけで触角を検査したんですけど、右左同？て聞くと「左右とも同じです」って言う。知覚障害はないし、お風呂に入ったときはどうって聞くと「左右とも同じです」って言うから……。なったのが今年の4月から足が重くなって来たって言うので、なんだか嫌な感じがする。腱反射の方はもう少し見せてもらって、これが更新して行くようだったら、医療センターでMRIを見てもらおうかと思って。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	指だけで触角を検査したんですけど、右左同？て聞くと「左右とも同じです」って言う。知覚障害はないし、お風呂に入ったときはどうって聞くと「左右とも同じです」って言うから……。なったのが今年の4月から足が重くなって来たって言うので、なんだか嫌な感じがする。腱反射の方はもう少し見せてもらって、これが更新して行くようだったら、医療センターでMRIを見てもらおうかと思って。
取扱患者の状況	経過の確認	指だけで触角を検査したんですけど、右左同？て聞くと「左右とも同じです」って言う。知覚障害はないし、お風呂に入ったときはどうって聞くと「左右とも同じです」って言うから……。なったのが今年の4月から足が重くなって来たって言うので、なんだか嫌な感じがする。腱反射の方はもう少し見せてもらって、これが更新して行くようだったら、医療センターでMRIを見てもらおうかと思って。
施術内容・方法	医療機関との連携	何か泉町の志村病院でMRIを撮って、東海村の石井整形外科で見て貰ったそうなんだけど。だからレントゲンとか、MRIとかいい機械があっても画像が上手に読めるかどうかというのが、もう一つのポイントなんだよね。
施術内容・方法	信頼のおけるドクターとの連携	何か泉町の志村病院でMRIを撮って、東海村の石井整形外科で見て貰ったそうなんだけど。だからレントゲンとか、MRIとかいい機械があっても画像が上手に読めるかどうかというのが、もう一つのポイントなんだよね。
施術内容・方法	医療機関との連携	うん、そこはいいパイプを持っているからね。だからだいたい2回見て症状が変わらないというようなときには、「医療センターの整形外科を紹介するけど行く気ある？じゃなかったら近くの病院に行って見て」って。俺がやってもお金をもらってるだけじゃ申し訳ないからって伝えて。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	工夫？あと何があるかなあ？改めてこれはっていうのは……。
施術内容・方法	施術に対する考え方	灸はやらないから、別に不便なことはないよ。でも工夫はするよね。同じマッサージでも、どれにもこれにもやるわけじゃなくて、たとえばむちうち症の人だったら、やったばかりの人には軽擦法だけで終わりにしちゃう。しかも一番痛いところは、できるだけ安静にさせて温熱療法で温めるぐらいにしておいて、その後筋の緊張しているところをとってあげるというような方法で、特に急性の炎症を起こしているような場合は、
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	だから、ぎっくり腰にしる、むちうちにしる、その来た日から、あと1週間したら来てとか2週間したら来てって見通しをつけて治療させてもらう。その方が、患者さんの方も変に考えたりしない。

患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	だから、ぎっくり腰にしる、むちうちにしる、その来た日から、あと1週間したら来てとか2週間したら来てって見通しをつけて治療させてもらう。その方が、患者さんの方も変に考えたりしない。
施術者としての思い	スタッフの役割	お茶出し！それと予約係。たまに血圧図る他はほとんど一人でやっちゃう。
取扱患者の状況	定期来院患者	平成元年から見ている患者さんがいる。変股症の人。岩間から週一回。国立病院で見ていた患者さんなんですよ。
取扱患者の状況	患者の状態	で、変股症の患者さんで、人工股関節の対象なんだけど、本人なかなかやらないのよ。自分の息子も理学療法士なんだ。それで息子の勤めている病院で手術する気になった時があったんだけど、何かその息子が岩間から飛び出して神戸の方に行っちゃって。神戸の方に所帯を持ちちゃったもので。って言うことで今でも筋力の訓練をして現状を維持している。本人も手術すればいいってことは知ってんだけど。中華料理屋の奥さんなんだけど、出前をしている。でも2階までは行くって言ったのかな、でも3階以上は絶対行きませんって。3階以上のところから注文が来た時には下まで取りに来てくれるなら持っていけますって、私は上までは持っていきませんって。
取扱患者の状況	定期来院患者	急性でこれはって言う患者さんでも週に2回とか来てもらうことはあるけど、毎日来いって言うのはないです。週1回来ている患者さんは、うーん、10ぐらい。
取扱患者の状況	患者数	120。実人数は？だいたい来ると1回か2回で治せんだよ。だから新患の数は多い。8月の新患は8名。でも1日10人やると嫌になっちゃうよ。鰓孔は13人。一人1時間かかるから、昼が取れない。
取扱患者の状況	1日の患者数	5人だと楽だね。犬の散歩もできるし、自分の仕事もできるし。
営業努力に関すること	口コミの効果	何もしていない。全部口コミ。うちは看板出していないです。から。電話帳にも治療院としては載っていないです。から。鍼灸マッサージ会のホームページには載っているかな。O C Nの光電話の工事をした時には個人名も電話帳から削除された。
営業努力に関すること	広報活動	何もしていない。全部口コミ。うちは看板出していないです。から。電話帳にも治療院としては載っていないです。から。鍼灸マッサージ会のホームページには載っているかな。O C Nの光電話の工事をした時には個人名も電話帳から削除された。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	水戸市のマッサージ助成券の対象施術所からも一時期消された（笑）。でも水戸市の助成券はできるだけ使ってやろうと思ってる。
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	患者さんのお年を聞いて75歳以上かあるいは身障手帳を持っているかだと助成券を使える。5枚でも、特に年金で生活している方って言うのは少しでも負担が軽くなるように。でも券を取りに行くのにタクシーで行っちゃったら意味がないから、近くの地域支援センターに電話するとそこから持ってきてくれるって。あるいは家族がに取りに行ってもらってって伝えたりして。そんなには多くないけどできるだけ使ってもいいようにしています。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	患者さんのお年を聞いて75歳以上かあるいは身障手帳を持っているかだと助成券を使える。5枚でも、特に年金で生活している方って言うのは少しでも負担が軽くなるように。でも券を取りに行くのにタクシーで行っちゃったら意味がないから、近くの地域支援センターに電話するとそこから持ってきてくれるって。あるいは家族がに取りに行ってもらってって伝えたりして。そんなには多くないけどできるだけ使ってもいいようにしています。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	A 保険は使っていない。使い方知らないもん。茨師会で協同組合なんか作って推進しているけど、さっぱり。
営業努力に関すること	広報に対する考え方	うん、一人一人の患者さんを丁寧に見てあげるってこと。それだけです。よく宣伝だのがんばっている人もいて、患者さんの誕生日に花を贈るようなのみたいなものもあるけど。覚えておいてやればそれだけでなんて言ってね。

患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	俺なんか患者さんの方が気を利かせてくれて、面白いことがあるんだよ。自分の両親にマッサージ券をパソコンで作ってあげて、父の人母の日に稲村治療院でのマッサージを2回分とかプレゼント。お父さんとお母さんに渡すんです。それは娘なんだけど、先にこちらに来て「父と母に何回分マッサージ券を渡したから、これ何回分ね」ってお金を置いていく分け。面白いでしょ。だから、これ一、こうやってマッサージ券を作って父の人母の日と敬老の日にやってもらえたらかなり助かるだろうなあ。毎年ね、両親は喜んでね！「これが一番いいんだあ」って言って。娘に行ってるんだって。その家族はみんなもともとかかってんですよ。それで娘が何か思いついて何しろ金のいっぱいあるところだし、何を上げようかってなって、マッサージしてもらってって、マッサージ券になったみたい。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	俺なんか患者さんの方が気を利かせてくれて、面白いことがあるんだよ。自分の両親にマッサージ券をパソコンで作ってあげて、父の人母の日に稲村治療院でのマッサージを2回分とかプレゼント。お父さんとお母さんに渡すんです。それは娘なんだけど、先にこちらに来て「父と母に何回分マッサージ券を渡したから、これ何回分ね」ってお金を置いていく分け。面白いでしょ。だから、これ一、こうやってマッサージ券を作って父の人母の日と敬老の日にやってもらえたらかなり助かるだろうなあ。毎年ね、両親は喜んでね！「これが一番いいんだあ」って言って。娘に行ってるんだって。その家族はみんなもともとかかってんですよ。それで娘が何か思いついて何しろ金のいっぱいあるところだし、何を上げようかってなって、マッサージしてもらってって、マッサージ券になったみたい。
現在の施術料収入	施術料	3,000円もらってる。普通は1時間だけど、短い人もいてその時には1,000円もらってる。時間もそうだし、あんまり簡単なマッサージだったら1,000円で。あんまりやらなくていい人もいるんだよ。
現在の施術料収入	施術料に対する考え方	やっぱり3,000円って言うのは週1回来てやっぱり払える最大限のお金かなあって言う感じがする。開業した時からずーと3,000円。消費税が変わってもそのまま、現金で支払える金額として、それぐらいなのかなあって、患者さんを見てても感じる。
施術者としての思い	施術者としての充実感	でも、3,000円いただいて楽しませてもらうんだからいいじゃない。そう、それで患者さんに「気持ちよくなった」「良くなった」って言ってもらえる。拳句の果てには畑でとれましたって言って野菜は持ってきてくれるわ、うーん。そう言うコミュニケーションもあるんですよ。だから、がめつく施術料もらってま
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	でも、3,000円いただいて楽しませてもらうんだからいいじゃない。そう、それで患者さんに「気持ちよくなった」「良くなった」って言ってもらえる。拳句の果てには畑でとれましたって言って野菜は持ってきてくれるわ、うーん。そう言うコミュニケーションもあるんですよ。だから、がめつく施術料もらってま
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	でも、3,000円いただいて楽しませてもらうんだからいいじゃない。そう、それで患者さんに「気持ちよくなった」「良くなった」って言ってもらえる。拳句の果てには畑でとれましたって言って野菜は持ってきてくれるわ、うーん。そう言うコミュニケーションもあるんですよ。だから、がめつく施術料もらってま
施術料以外の収入	年金の受給	この裏には、俺なんか年金もらってるじゃない。年金にプラスアルファ分だけあれば何も、いまさら金を残さなくてもいいよってね。
施術料以外の収入	副収入	そうだよ。だから年金生活だっていうんだ。
現在の施術料収入	年収	たいして無えーけど！どのくらいかなあ……。300万円ぐらいかな。（奥様に確認）去年の施術料収入は340万円。
施術料収入に関すること	収入に対する考え	まず、年金だけでは食べていけない。っていうことで年金の2回分を1回で使えるように持って行こうって考えて。ぼくのときは60歳から年金をもらえたわけ、そしたら75まで働く。
施術料収入に関すること	収入に対する考え	そうすると60歳から75まで働くと15年、そうすると、その先あと15年生きたとして計算すると、後はもらえながら行けるから。年金2回分を稼げれば借金しないで暮らしていけるかなって。それまでの給料と同じぐらいお金もらえるようになるから

施術者としての思い	職業継続の意思	そうすると60歳から75まで働くと15年，そうすると，その先あと15年生きたとして計算すると，後はもらえながら行けるから。年金2回分を稼げれば借金しないで暮らしていけるかなって。それまでの給料と同じぐらいお金もらえるようになるから。
施術者としての思い	目標の達成	年金は使わないで施術料だけで食べていけるように。ある意味目標は達成できている。
施術者としての思い	年齢	76になります。だから，ぼくの目標は，そういう生活設計を立てていたわけ。経済的には絶対に食べていけないよなっ
施術者としての思い	職業継続の意思	て。 ただど，あくまでも金を稼ぐと言うよりは，何か仕事したいって思いはずっとあった。年金生活で何もやらないでぶらぶらしてるって言うのも考えられなくて。仕事をともかく，国立病院で得た知識だけはいつまでも使いたいな。それに，年金はもらっても使わないでとっておけるようにと，それ以外の生活費を養う。
施術者としての思い	施術への意欲	ただど，あくまでも金を稼ぐと言うよりは，何か仕事したいって思いはずっとあった。年金生活で何もやらないでぶらぶらしてるって言うのも考えられなくて。仕事をともかく，国立病院で得た知識だけはいつまでも使いたいな。それに，年金はもらっても使わないでとっておけるようにと，それ以外の生活費を養う。
施術所と設備に関すること	施術室設置目的	うん，この部屋？このうちを建てた時に，ほんととはここはコミュニケーションルームにして病院の患者さんたちが「先生んとか遊びに行きてい」って言うから，俺うち建てる時集会場作るって言ってたんだ。
施術所と設備に関すること	施術室の広さ	それで，この部屋8畳間，4坪，そして治療室が4坪なんです。併せて8坪16畳なんですね。それで，これ，真ん中でアコーディオンカーテンで切ってあるんです。
営業環境に関すること	地域の集会場	だから，これを開けると広い集会場になるんだ。うん，だから，この地域の集まりをうちが当番でやる時には，ここをガラッと開けちゃって，ここにみんな来てもらって。冬に集まりやるんですよ。顔合わせだと言って，みんな外でやんです。でも，俺はこの部屋があるから，上がってくださいって言ってた。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	初期投資？だからもともと患者さんの集会場を作るって言って，この部屋を作ったから。初期投資ってほとんどなかった。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	ベッドも医療器具屋さんが，小豆畑病院に行っていた時に「先生，他の病院から，新しくするのにベッドもらったんだけど」って言われたから，俺にくれって言って，それをずっと使ってた。今はさすがに電動の昇降ベッドに変えましたが，そのもらったベッドは10年以上使いましたよ。だから，それはただでしょ。極超短波治療器は，俺の友達が2台持ってるから，1台やるよって言って，ただでは悪いからって5万円払った。それが今でもつかえんだよ，これが！壊れないんだもん。
施術所と設備に関すること	設備品の入手方法	ベッドも医療器具屋さんが，小豆畑病院に行っていた時に「先生，他の病院から，新しくするのにベッドもらったんだけど」って言われたから，俺にくれって言って，それをずっと使ってた。今はさすがに電動の昇降ベッドに変えましたが，そのもらったベッドは10年以上使いましたよ。だから，それはただでしょ。極超短波治療器は，俺の友達が2台持ってるから，1台やるよって言って，ただでは悪いからって5万円払った。それが今でもつかえんだよ，これが！壊れないんだもん。
施術所と設備に関すること	設備品の入手方法	（笑）。机と本箱も森田商事の社長が，何か役所の総入れ替えの時に出たものを，そのまま使ってるって。
視覚障害の状況	当時の視力の状態	そう，中途失明で，国立病院に入ってから10年ぐらいたってから網膜剥離で。その前はかたっぽだけで0.08あったんだ。片目だけだったけど水戸駅から自転車に乗ってここまで通ってたんだ。

患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	考えてみたら危ないよね！だから、人脈って言うけど、全盲になった時も、国立病院も一時期やめなくちゃならないかなって思ったんだけど、うちの先生が「やめんのはいつでもできんだからやってみたら」って言ってくれて。で、その気になって。自分でも患者さんから必要とされなくなったらやめようと思って、仕事やらせてもらった。ずーっと、最後の、最後まで必要としていただいて。挙句の果てに看護学校5校の講師としてきてくれって、茨大の養護でもリハビリ理の講義をした。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	考えてみたら危ないよね！だから、人脈って言うけど、全盲になった時も、国立病院も一時期やめなくちゃならないかなって思ったんだけど、うちの先生が「やめんのはいつでもできんだからやってみたら」って言ってくれて。で、その気になって。自分でも患者さんから必要とされなくなったらやめようと思って、仕事やらせてもらった。ずーっと、最後の、最後まで必要としていただいて。挙句の果てに看護学校5校の講師としてきてくれって、茨大の養護でもリハビリ理の講義をした。
施術者としての思い	スタッフからの信頼	考えてみたら危ないよね！だから、人脈って言うけど、全盲になった時も、国立病院も一時期やめなくちゃならないかなって思ったんだけど、うちの先生が「やめんのはいつでもできんだからやってみたら」って言ってくれて。で、その気になって。自分でも患者さんから必要とされなくなったらやめようと思って、仕事やらせてもらった。ずーっと、最後の、最後まで必要としていただいて。挙句の果てに看護学校5校の講師としてきてくれって、茨大の養護でもリハビリ理の講義をした。
国家資格の取得	取得資格	理学療法士と鍼と灸とあん摩マッサージ指圧。我々の時には専攻科2年で、高3でマッサージの免許、それで、専攻科終わって鍼灸の免許。栃木でマッサージの免許。でも免許は茨城の免許なんだよ。茨城の方が優しいからって言って、茨城が早いからって。
国家資格の取得	資格取得	理学療法士と鍼と灸とあん摩マッサージ指圧。我々の時には専攻科2年で、高3でマッサージの免許、それで、専攻科終わって鍼灸の免許。栃木でマッサージの免許。でも免許は茨城の免許なんだよ。茨城の方が優しいからって言って、茨城が早いからって。
国家資格の取得	資格取得	国家試験だから、だから特例試験で。特例って言うのがあったんですよ。その特例でとって、うん、昭和43年。まだ、あのう、経験年数5年って言うのがあって、条件だったんですね。8週間以上のリハビリの講習を受けないと、2年間かけて講習を受けてとったんだ。
施術者としての思い	盲学校での学習	そうだよ。栃木に4年間いて、専攻科の1年だけ茨城にいて。
施術者としての思い	開業までの仕事	そのあと国立病院に研修で入ったんです。研修で入りながら城里町にあって、今でもあるんだけど石塚中央病院に半日、午前中行って、午後から国立病院で研修してっていうのを1年間。1年間やって、2年目に採用されて、給料が7,800円。そして3年目は行政職で正式採用されて。行政職っていうのは何かっていうと、いわゆる行政職の2って言って、技術屋さんで1年間やって。その次の年に医療職の2ってことで採用された。
施術者としての思い	盲学校への入学	もともと目が強度近視だったじゃない。それで中学生の、その中学校の体育の先生のお姉さんが聾学校の先生をやってたんだ。それで盲学校があるって教えてくれて、そっち行ったらって。って言うことで栃木の盲学校に何となく入ったという。
施術者としての思い	在学中の研修	そうだね、栃木の盲学校で、まだある程度見えたからいろんな面で面白かった、寮に入って。俺の友達のお父さんが国立栃木病院のマッサージ室、いわゆる物理療法室にいたんだよ。うんで、そんなもんだから、そこへ研修って言うか、実習に来ないかって言うから、じゃあ夏休みに行くって言って。そこで一生懸命になって、当時はあかちゃんの股関節脱臼とか、斜頸とかのマッサージがほとんどでね、そういうやつマッサージの仕方を、そのお父さんから教わったりして。

施術者としての思い	進路への展望	目が悪くなかったらやってなかったでしょうね。たぶんねえ、目が悪かったから、そういう聾学校の先生がそっちに行ったらどうだってことで、そのまま何のこともなく、方向を定めてくれた。うん、舵取りしてくれたからそのまま行っちゃったって言う感じだったけど、もし晴眼だったら、おそらくこういったことは全くなかったんじゃない。
施術者としての思い	仕事への意欲	医療系って言うのは、やっぱり盲学校に行ってから。それで病院に実習に来ないかって言うか、手伝えよって言われて、やってみたら、これは面白そうだってことだったですね。
施術者としての思い	病院での経験	だから、国立水戸病院でも枠がないって言われたんだけど、研修でもいいよって。それで、研修だったんだけど、栃木での経験があったもんだから。もちろん国立病院は給料0だったわけ。だけど、東海村の原子力研究所のところに職員診療所って言うのがあって、そこへ国立病院の整形外科の先生が診察に行っていたもんですから、その当時赤ちゃんで内反足だとかが原研の職員に多かったんですよ。で、いちいち国立病院まで来るの大変だから「お前国立終わった後、向こうに行って患者を診てやれ」って。それは全部原子力研究所の健康保険組合から全部お金払うからってことで。そこで、経験を積ませてもらいながら金をもらってたから、お金には不自由しなかった。それがかなり続いて、10年ぐらいかなあ。
施術内容・方法	医療機関との連携	それで、国立病院の安月給と、それがプラスされた。そのあと、今度、この近くにいた、もう無くなっちゃったんだけど内科の先生が、往診に行って脳卒中の患者さんを見ると、電話かけてきて「あそこの患者見て来てくんねえか」って、金好きなだけ取っていいよって。すごくいい先生で、最後には逆にぼくがみとったんだけど。最後には胃がんで亡くなったんだけど、済生会の医師会病棟に入院してて、ほんとに無くなる前日まで言ったかな。それで奥さんにぼくが慕われたもんだから、「いいのよ、いいのよ、別に治療してくれなくても、先生さえ来てくれれば、主人がニコニコしてて、元気
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	それで、国立病院の安月給と、それがプラスされた。そのあと、今度、この近くにいた、もう無くなっちゃったんだけど内科の先生が、往診に行って脳卒中の患者さんを見ると、電話かけてきて「あそこの患者見て来てくんねえか」って、金好きなだけ取っていいよって。すごくいい先生で、最後には逆にぼくがみとったんだけど。最後には胃がんで亡くなったんだけど、済生会の医師会病棟に入院してて、ほんとに無くなる前日まで言ったかな。それで奥さんにぼくが慕われたもんだから、「いいのよ、いいのよ、別に治療してくれなくても、先生さえ来てくれれば、主人がニコニコしてて、元気
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	それで、国立病院の安月給と、それがプラスされた。そのあと、今度、この近くにいた、もう無くなっちゃったんだけど内科の先生が、往診に行って脳卒中の患者さんを見ると、電話かけてきて「あそこの患者見て来てくんねえか」って、金好きなだけ取っていいよって。すごくいい先生で、最後には逆にぼくがみとったんだけど。最後には胃がんで亡くなったんだけど、済生会の医師会病棟に入院してて、ほんとに無くなる前日まで言ったかな。それで奥さんにぼくが慕われたもんだから、「いいのよ、いいのよ、別に治療してくれなくても、先生さえ来てくれれば、主人がニコニコしてて、元気
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	その先生は歴史が大好きな先生で、俺が行くたびに歴史の話をしてくれるの。俺歴史嫌いなんだけど！「ああそうなんですわねえ」なんて聞いてやって、だから最後のころは、歩行訓練とかできるわけでもないから、背中が辛いって言えば、背中をマッサージしたりして。でも、いいから来てくれ、とにかく毎日来てくれって言って1時間ぐらいいて、そうずっといろんな話してくれて、自分の経験談とかね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	って言うか、俺がみんな患者さんからしてもらってるって感じで、別にあえてやっているってことは。できることだけをやってる。このうちを造るときにもぜーんぶ患者さんがやってくれたんです。大工さんは患者さんの旦那さんが宮大工だったから、「俺今度家建てようと思うんだけど、お父さん建ててくれっかな」。そしたら「先生是非やらせて欲しいって言ってるよって」。それで、息子さんと二人で建ててくれたから、ハウスメーカーに頼むより格安で建ててくれて。

施術所と設備に関すること	自宅の構造	それで、うちの柱触ってくれと分かるんだけど、普通のお家っていうのは、柱は三寸か三寸後部って言って、1辺が9センチ、11.5センチぐらい。うちのは、これ全部柱が四寸なんですよ。ぜーんぶ四寸で、で2階まで通し柱なんです。1本の柱が2階まで行ってる。それでやってくれて。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	設備関係もみんな患者さんがやってくれて、水回りは俺がやるよ、電化製品は俺が安くしてやるよって。だから見かけよりはいいうちができた。屋根には銅板を使ってあって。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	最後の最後までわりいことまでしたけど！今だから話せるけど、最後に住宅の取得税がかかるじゃないですか。その税金の査定にくるわけですよ。そしたら、その査定に来んのを、患者さんがいて、その義理の弟が市役所の税務課にいるから、そいつを行かせるからって
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	最後の最後までわりいことまでしたけど！今だから話せるけど、最後に住宅の取得税がかかるじゃないですか。その税金の査定にくるわけですよ。そしたら、その査定に来んのを、患者さんがいて、その義理の弟が市役所の税務課にいるから、そいつを行かせるからって
施術所と設備に関すること	税金の査定	それで必ず二人で来るんです。で、もう一人はって言うと、新人連れてきたわけだ。何もわかんねえ。しかもこのうちが、まだ、普通畳が入って、障子が入った時に、初めてそれを含めて評価されるわけですよ。それで税金を決めるわけだけど、まだ、畳は入っていたけど、障子は一切入っていないときに来て
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	それで、うちの障子っていうのは建具屋さんが先生のために作ってやるんだって言って、1枚板で、「俺田中角栄さんの家に行って見てきたから、それと同じ障子作ってやるよ」なんて言って作ってくれた。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	それで、うちの障子っていうのは建具屋さんが先生のために作ってやるんだって言って、1枚板で、「俺田中角栄さんの家に行って見てきたから、それと同じ障子作ってやるよ」なんて言って作ってくれた。
施術所と設備に関すること	税金の査定	それで、その障子が入る前に、税務署で来てくれて「普通の障子がいんでしょ」っていうから、そうですって。それで、和室は檜を使ってあんです。檜も贅沢品だから税金が高いんですよ。けども、これ全部檜じゃなくて杉材にするからって言って（笑い）
周囲のサポートに関すること	周囲からの支援	だから私はみんなに助けられて生きてるって、ほんと助けられている。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	満足感はあるね。それこそ100%仕事はほんとに楽しい。嫌々とか、嫌だってことっていうのは全く。
施術者としての思い	仕事への意欲	患者がいない時が一番嫌で、「今日は何人、3人って言うときは・・・嫌になっちゃう！収入はともかくとして。

表 1 6 「対象9」コード一覧

コード		文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	1978年の7月にこの場で。来年で40年。
施術内容・方法	自分の時間	そうですね。日曜と木曜日が休みだったんですが、専門学校で点字を教えに行ってるのが木曜日だったんです。専門学校がつぶれたので、今は木曜日もやってるんですけど、ほとんどの人が木曜日は休みだと思ってるんで、あんまり来ないんで、その日は自分の時間です。
施術所の経営状況	休業日	そうですね。日曜と木曜日が休みだったんですが、専門学校で点字を教えに行ってるのが木曜日だったんです。専門学校がつぶれたので、今は木曜日もやってるんですけど、ほとんどの人が木曜日は休みだと思ってるんで、あんまり来ないんで、その日は自分の時間です。
施術者としての思い	自己研修	そうですね。はじめは1日だったんですが、最初は患者さんが来ないんで、本ばっかし読んでましたね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	間違っって、普通に治療してたら治っちゃったときですよ。1回で治ったり、2回で治ったり、3回ぐらいで治っちゃったりすると、こちらがビックリしますね。

施術者としての思い	施術者としての充実感	あとはやたらに、最近なんですけど、悩み事っていうか、私自身がよくしゃべるので向こうもしゃべる人が集まってきて、答えのない悩みをやたらにしゃべりまくっていく人が多くて。そういう人に好かれるといいでしょうかね、それがいいですね。そっちの方が大きいし、私も好きなんですよね、黙って治療してる上にもね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	あとはやたらに、最近なんですけど、悩み事っていうか、私自身がよくしゃべるので向こうもしゃべる人が集まってきて、答えのない悩みをやたらにしゃべりまくっていく人が多くて。そういう人に好かれるといいでしょうかね、それがいいですね。そっちの方が大きいし、私も好きなんですよね、黙って治療してる上にもね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	特に背中の方からしゃべるって言うのはやっぱり気が楽ですからね。私も気が楽だし、向こうも気が楽ですから。7割方背中の方にいるからね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	そもそもが、あんまり勉強しないで。なんて言うんでしょうね、私は学問的なプロセスで治療するっていうもんじゃないもんで。だからこそ、間違っただけで治るとビックリするんですけど。やり方はそんなに変わってないですね。いいかげんですね。
施術内容・方法	施術内容	昔は鍼と灸とマッサージと……。比率からいうとマッサージは5ぐらいで、マッサージと鍼が3か4で、灸が1ぐらいの比率だったんですけど。今灸はほとんどやってないですね。
施術内容・方法	あん摩施術	で、私はどちらかというとマッサージが好きな方で、本当に酷い患者さんの場合は、鍼だけっていう人も増えてますけどね。私は鍼の方で楽にやりたかったんですけど（笑い）。でもパルスなんかは好きなので、遊びでやってたりしますね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	で、私はどちらかというとマッサージが好きな方で、本当に酷い患者さんの場合は、鍼だけっていう人も増えてますけどね。私は鍼の方で楽にやりたかったんですけど（笑い）。でもパルスなんかは好きなので、遊びでやってたりしますね。
施術内容・方法	鍼施術	で、私はどちらかというとマッサージが好きな方で、本当に酷い患者さんの場合は、鍼だけっていう人も増えてますけどね。私は鍼の方で楽にやりたかったんですけど（笑い）。でもパルスなんかは好きなので、遊びでやってたりしますね。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	私の元勤めていたところが新しものの好きの先生で、パルスとか、ホットパックとか、超音波とか、そういうのをよく使ってたんです。私は超音波は使わないで、パルスが大好きですね。効果も高いですねパルスとホットパックがあればかなりの治療効果が上がってますね。
施術所と設備に関すること	使用鍼	こだわらないです。安い鍼です。たまに京都の方の友達がいい鍼送ってあげるからっていつもらうことはありますが、これ高級だなんて感じしますよ。切皮がすごく楽だなあって思ってます。
施術所の経営状況	鍼の納入方法	いつもはまとめて2,000本ぐらいまとめてとって、適当に使って、また2,000本ぐらいずつとっています。
施術所と設備に関すること	使用鍼	使うのは寸3の2番があつとう的に多いです。あとは1番、3番、4番ぐらいをたまに使うくらいで。
施術内容・方法	施術に対する考え方	まあ、希望なんですけど、今来た状態より悪くしないことですね。お金をとる以上は。悪くするとお金とりにくいんで。悪くだけはしないように気を使ってます。特にマッサージは悪くなることがあるんですよね。やりすぎないように気を付けてますね。
施術内容・方法	施術部位	特にはないですけど、指とか、関節とか、あと指と指の間の骨間筋とか、それから前腕の骨間筋とか、下腿の骨間筋とか、足の指と指の間の筋とかそのマッサージとか鍼が、私は好きですね。
現在の施術料収入	施術料に対する考え方	特にはないですけど、指とか、関節とか、あと指と指の間の骨間筋とか、それから前腕の骨間筋とか、下腿の骨間筋とか、足の指と指の間の筋とかそのマッサージとか鍼が、私は好きですね。
取扱患者の状況	患者の状態	やっつけとか、そういうのもありますけど、マッサージだけでも全身に効果があるような気がしますね。かるーく触るだけで響くところですよ。疲れていたり、血の循環が悪くなってる人の反応がすぐ分かりますよね。末梢が好きです。

患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	見えないことからくる不便さって言うのはありますよね。やっぱり顔色とかですね、あとは、落ち込んでるときに顔に出ますよね。そういうのが判断が難しいっていうのが不便。技術の方はもちろん、上手じゃないんですけども、診断上の材料に使えないのがね。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	見えないことからくる不便さって言うのはありますよね。やっぱり顔色とかですね、あとは、落ち込んでるときに顔に出ますよね。そういうのが判断が難しいっていうのが不便。技術の方はもちろん、上手じゃないんですけども、診断上の材料に使えないのがね。
施術内容・方法	灸施術	患者の反応を見るのに、家内に焼かせてたんですけど、私はあんまり自分では焼かなかったですね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	一人での開業	A そういうわけではない。いつもどこかに行っちゃってますね。当てにはなりません。
取扱患者の状況	患者数	昨日と一昨日は8人ずつでした。みんな1時間以内での施術です。今日は2人です。日によって全然違いますね。
取扱患者の状況	環境による患者数の増減	特に昨日みたいに湿度が高くて雨模様だと、もう土曜日からみんなおかしくて。土曜日もしっかり8人ぐらい来ましたね。って、今日みたいになると。わざとらしく先生がいらっしゃる前にやったりして（笑い）。
取扱患者の状況	患者数	8月ですかあ？8月はねえ。休みが多かったですからねえ。110ぐらいですかねえ。そんな来なかったですよ。
取扱患者の状況	来院状況	でも、月によってですよ。9月は割と多いんですよ。あと12月になってボーナスをもらおうと誰も来ませんから。ボーナスもらおうと実家帰ることばかり考えてますからね。6月のボーナスはいくらか、入梅の辛さとかあるからいいんですけど。暮れのボーナスは私らには回ってきませんねえ。
取扱患者の状況	定期来院患者	数は少ないんですけど、いますね。もう毎週来ないとだめっていう人が。まあ、そんないないんですけど。
取扱患者の状況	患者数	3・4人いますね。教員なんですけど、土曜日まで持たない、金曜日に来ちゃったとか言って。金曜日で限界マークっていう人がいますね。
施術内容・方法	予約による施術	あとは予約してね。全部予約制です。昔はそれでも合間に、待ってるからやって下さいっていう人が来たんですけど。
施術内容・方法	予約による施術	予約の管理はブレイルメモのカレンダーに書き込んでいます。*のある日は予約ありって感じで。で、大分楽になりました。
施術者としての思い	パソコンの仕様	前はパソコンでやってたんですけど、持ち運べないしねえ。不便なんですよ。立ち上がるまでの時間がねえ。今のパソコンはそれでも、スリープのパソコンが多いですけどね。昔は最低でも1分はかかりましたからね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	私は、前は使ってやってみたんですけど、今はめんどくさいから使わない。面倒なことは一切やらない。
現在の施術料収入	施術料	うちは安いんですよ。1時間3,000円から4,000円ぐらいですね。人によって違いますね。
現在の施術料収入	患者に合わせた料金設定	施術内容も違いますね。その、何はいくら、何はいくらっていうのは掲げてないっていう、いいかげんさですが。全く私の気分次第です。数人ですが7,000円とか1万円とかとる人がいるんですけど。その人は、もう金持ちだからいくらとっても怒らないから、とるとい。歯医者さんとか医者さんとか。払える人には出してもらう。普通の人からは安くとる。治してほしいっていうタイプの人が、もし治ったりすると、もう悪いけど、いくらとっても嬉しいって感じで、置いてきぼりとかないです。
営業努力に関すること	口コミの効果	ほとんどが口コミで、誰かの紹介ですね。
取扱患者の状況	通院地域	だから、変なところから来ますよ。遠くからね。近所の人ほとんど来ませんよね。住宅街ですけど。大子町とか土浦とか、笠間とかね。変なところから来ますよ。
営業努力に関すること	口コミの効果	私のホームページはあまり当てにしていなくて。やっぱり口コミだけです。口コミの方がいいですね。
営業努力に関すること	チラシの効果	昔はチラシを撒いたりしたんですけど。1万枚ぐらい撒いても、10人ぐらいしか来ないんですよ。割が悪い。電話帳も割が悪い。年間5万ぐらいでも、二人ぐらいしか来ませんから。iPhone買うときに電話帳やめちゃいました（笑い）。
営業努力に関すること	広報活動	昔はチラシを撒いたりしたんですけど。1万枚ぐらい撒いても、10人ぐらいしか来ないんですよ。割が悪い。電話帳も割が悪い。年間5万ぐらいでも、二人ぐらいしか来ませんから。iPhone買うときに電話帳やめちゃいました（笑い）。

営業努力に関すること	口コミの効果	私の場合、患者さんが連れてきてくれるのが一番効率がいいです。奥地ですから（笑い）。だって、看板出すにしても人の土地借りるしかないですからね。案内看板なら、今ナビがやってくれますからね。
施術所と設備に関すること	不利な立地条件	私の場合、患者さんが連れてきてくれるのが一番効率がいいです。奥地ですから（笑い）。だって、看板出すにしても人の土地借りるしかないですからね。案内看板なら、今ナビがやってくれますからね。
国家資格の取得	学習の状況	経営学の方は、勉強してないです。で、私は義務教育はやってないですよ。小学校から中学2年まで。通っただけで。一般の読んだり書いたり、計算したりってのは、一切やってないですよ。ただ耳で聞いてただけなんですよ。
施術所の経営状況	経営についての学習	経営学の方は、勉強してないです。で、私は義務教育はやってないですよ。小学校から中学2年まで。通っただけで。一般の読んだり書いたり、計算したりってのは、一切やってないですよ。ただ耳で聞いてただけなんですよ。
施術者としての思い	盲学校への入学	で、盲学校に行くしかないだろうって、教員同士で相談して。それで中学3年で編入したぐらいですから。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	義務教育は中学3年からなんですよ。普通学校でただ通ってるだけ。ほぼ黒板の字も見えないんで。
施術所の経営状況	経営についての学習	義務教育は中学3年からなんですよ。普通学校でただ通ってるだけ。ほぼ黒板の字も見えないんで。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	すから、算数も地理も、英語も全部分からないんですよ。ですから経営学なんて言うのはおおよそ、算数ができないですから。数字はどうでもいいんですよ。1,000円札以下はあんまり考えないようにしているんです。
取扱患者の状況	患者データ	ただ、注意しているのは、今までのデータが少しできましたんでね。それがあって、まあ世の中の動きが激しく変わらない限りは、この線はいけるかなあ見たいな。そういう見通しは。一応カルテみたいなのは持ってるし、その人の個人情報を書いていっばい書き込んである。それは宝物ですよ。いなくなった人でもね。転職した人でも。30年たったら帰ってきたなんていうのも、すぐ分かりますんでね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	最初は紙だったんですけど、特にここ15年ぐらいのはとってあるんで、すっごく助かります。小学校ぐらいの時に鉄棒から落下して、頸捻ってきた女の子が、学校の先生になって、37・8になってまた来たりしてね。初めは思い出さないんだけど話しているうちに、何かこの辺にいたことあるとか、いろいろやってる間に、検索かけたら、あっ、そうだったとかね。「旧姓は？」なんて聞いたりして、旧姓で検索かけたら出てきたりしたんだ。
取扱患者の状況	患者データ	最初は紙だったんですけど、特にここ15年ぐらいのはとってあるんで、すっごく助かります。小学校ぐらいの時に鉄棒から落下して、頸捻ってきた女の子が、学校の先生になって、37・8になってまた来たりしてね。初めは思い出さないんだけど話しているうちに、何かこの辺にいたことあるとか、いろいろやってる間に、検索かけたら、あっ、そうだったとかね。「旧姓は？」なんて聞いたりして、旧姓で検索かけたら出てきたりしたんだ。
取扱患者の状況	患者データ	少しね。同じ人が来ると、その少しもプラス、プラスになって、ブレイルメモでぴっぴっぴって、もう入りませーんって言われたりして。じゃあ、同じ名前でも別タイトルにするか後か。
施術者としての思い	家族の協力	妻がやっています。事務処理に今のところは心配はない。
現在の施術料収入	年収	施術料で出しているのは、たぶん220万ぐらいでごまかして出していると思います。
施術料以外の収入	副収入	あと雑収入みたいなので、テープで雑誌を作って出しているんで、それも郵便局に振り込まれる。それも3・40万円。あとは、前は学校で教えてたのが、やっぱり3・40万円来たりしたんで、それも出したりしてね。300万ちょっとぐらいですかね。
施術料以外の収入	副収入	家内がパートに行ったりして働いていたんで、それが7・80万ありましたね。なので400万ぐらい弱ぐらいでしょうかね。年金ももらってます。それが90万ぐらいですかね。
取扱患者の状況	患者数	水戸もそうですよ。水戸は酷いですよ。
現在の施術料収入	当時の収入	ここに1978年に来て、90年代ですか。90年代はほんとに、月によっては一月で55万ぐらい稼ぎましたもんね。その代わり朝7時ぐらいから、夜12時ぐらいまでやってましたけどね。

施術料収入に関すること	月収	ここの施術所だけでね。出張も一切しないで。それが今は20万ぐらいですもんね。20万ちょっと行く時と、25万ぐらいかなあ？だから、5万ぐらいは引かせてもらって20万ぐらいで申告してますがねえ。
現在の施術料収入	当時の収入	ないですよ。今よりも値段は安いしね。3,000円きっかりか、2,500円とかね。そんな時代で50万から言っていましたからね。それだけ来たんですよ。その頃は予約制じゃないんで、半日も待ってる人がいましたからね。バブルのはじける直前ぐらいですわね。
取扱患者の状況	患者数	ないですよ。今よりも値段は安いしね。3,000円きっかりか、2,500円とかね。そんな時代で50万から言っていましたからね。それだけ来たんですよ。その頃は予約制じゃないんで、半日も待ってる人がいましたからね。バブルのはじける直前ぐらいですわね。
営業環境に関すること	社会情勢	橋本龍太郎総理大臣になって、あのころからだめになった。あの人が90坪以上の土地を売り買いするときには税金がどうのこうのって決めたんです。それで土地の値段が、あんまり上がらなくなっちゃったんですよ。銀行の担保価値も下がっちゃったし。それで住専とか農協とかのいろんなことが暴かれて、その不良債権はいまだに銀行は引きづってるわけですよ。橋本龍太郎の土地神話をつぶしちゃったのがね、何より響いてるんですよ。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	最初の開業	その頃は来ないですよ。もともと波崎町っていうところでやっていた。出身が刃先町なもんで。
取扱患者の状況	少ない患者数	そこでやっていて、家内と結婚して、患者さんも少なかったの、水戸に出ようかって。家内が水戸の人だったので。でも3年ぐらいはほとんど来ないですよ。1日に1人も来ないっていう日が、1週間ぐらい続きました（笑い）。この奥の院ですからね、不安になりますよ。
取扱患者の状況	患者データ	だからカルテをつけるようになったんですけどね。マッサージにカルテはいらないっていう人もいますけど、やっぱりその人の性格とか、太ってる人とかね、ほんとに物言いがきついとか。みんな書いておくとゼーんぶデータになりますからね。治療の方の既往歴とか、現症とか、そんなのより、私に患者さんの性格とかいろいろ書いたのがすごい貴重なデータですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	それで「娘さん今年18歳ぐらいになりますよね」なんていったりするとビックリしますからね。
取扱患者の状況	患者数の増加	つくばの万国博があったんですよ。85年ぐらいですか。その頃に常磐自動車道を作ったり、常磐自動車道を作るのに、この辺に道路公団の職員がワーツと来たり。それからNTTが光ファイバーを引くのに、この前のマンションに20世帯ぐらいワーツと来たりね。時代が動いてたんですね、ちょうど。で、そのころから景気がちょっと上向いてきたんですよ。それで私の患者数も少しずつ増えてきたんですよ。
営業環境に関すること	社会情勢	つくばの万国博があったんですよ。85年ぐらいですか。その頃に常磐自動車道を作ったり、常磐自動車道を作るのに、この辺に道路公団の職員がワーツと来たり。それからNTTが光ファイバーを引くのに、この前のマンションに20世帯ぐらいワーツと来たりね。時代が動いてたんですね、ちょうど。で、そのころから景気がちょっと上向いてきたんですよ。それで私の患者数も少しずつ増えてきたんですよ。
施術料以外の収入	副収入	だから、その頃暇でしょうがないから、テープの編集とか。そういう全国の情報を集めて、聞きたい人に送ったりとかしてて。それが今だに続いているわけですよ。あまりにも暇なもんで。
周囲のサポートに関すること	周囲からの支援	テープレコーダーのデッキなんていうのを買って。患者さんも「えっ！いいデッキあるじゃん」って。「うちに空いているオープンリールあるから貸してあげるよ」とかね。で「使わないなら貸してください」なんて言って。それでできもしないような、テープ集めてきたりね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	テープレコーダーのデッキなんていうのを買って。患者さんも「えっ！いいデッキあるじゃん」って。「うちに空いているオープンリールあるから貸してあげるよ」とかね。で「使わないなら貸してください」なんて言って。それでできもしないような、テープ集めてきたりね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	そうすると暇ネタを探してる新聞社が聞きつけてきたりして、新聞に載ったりすると、放送局が来たりして。それを、こっちが必死で録音したりして逆取材したりして。そういう遊びを暇だからしてたんですよ。

施術内容・方法	施術時間以外の過ごし方	そうすると暇ネタを探してる新聞社が聞きつけてきたりして、新聞に載ったりすると、放送局が来たりして。それを、こっちが必死で録音したりして逆取材したりして。そういう遊びを暇だからしてたんですよ。
施術料以外の収入	副収入	そう副収入にね。人にものを言うのも覚えたり。
営業環境に関すること	社会情勢	そのうち水戸の盲学校で大事件が起こって、それで朝日新聞なんか聞きつけて。「名簿なんかないですかねえ。」、「なんだよ」って言ったら。「ちょっと盲学校大変なことになってるんで、取材に行きたいんですよ」なんて言って。すげかったですよ。あれは
営業環境に関すること	盲学校で事件の発生	いわゆる試験の漏洩事件ですよ。それで内部でも、仲間内の対立が起こって、エンドウ タダオさんなんていう人はやめなくてもいいのにやめちゃった訳ですからね。
施術者としての思い	初めての就業	とにかく頭も悪いし、能力も免許も三療以外は持ってないし。だから、最初は東京に行きたいって言ったんですよ。担任の青木先生っていう人にね。そしたら何か勝手に、お金もらってたんだか、なんだか知らないけど、日立に送り込まれて（笑い）
施術者としての思い	進路の決定	とにかく頭も悪いし、能力も免許も三療以外は持ってないし。だから、最初は東京に行きたいって言ったんですよ。担任の青木先生っていう人にね。そしたら何か勝手に、お金もらってたんだか、なんだか知らないけど、日立に送り込まれて（笑い）
営業環境に関すること	社会情勢	かも日立ですよ。都落ちっていうか。でも、日立も今よりは栄えてましたが。今はかわいそうなぐらい大変ですよ。それで年寄になっちゃったんですよ。私が行ったころには、昭和43年ですか、その頃はみんな40年代の人たちだったんですよ。若い人たちが日立製作所に働いてましたが。その人たちが今は90歳でしょ。だから日立は大変なんですよ。
施術者としての思い	開業までの仕事	私が行った治療院なんか、当時すごい流行ってましたよ。日立で言うところとちょっと田舎なんですけど、でも多芽工場っていうのがまだ元気で。オリンピック選手なんかも何人も雇ってたしね。だからオリンピック選手を何人かマッサージでも、鍼でもしましたよ。そこで3年やって、実家に戻って。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業	あんまり長くいると、先生も具合悪くなったりして、なもんで実家に帰って8年やって。そのあと水戸に来て。
施術所と設備に関すること	自宅の建築	そうです。家内の父親が土地用意しておくから来いとか言って。土地は家内の名義で買ってもらって、上に私が家を建てて、その借金は払ってって感じですね。だから、ちょっと贅沢ですよ。普通ではそんなことはあり得ないですよ。
周囲のサポートに関すること	親からの支援	そうです。家内の父親が土地用意しておくから来いとか言って。土地は家内の名義で買ってもらって、上に私が家を建てて、その借金は払ってって感じですね。だから、ちょっと贅沢ですよ。普通ではそんなことはあり得ないですよ。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	ちょっとの治療器具になりますね。パルスが1台と電氣を使ってあっためるタイプのホットパックみたいなやつ。私は水をためておいてやるやつは好きじゃないんですよ。電氣で蒸しタオルであっためるタイプののが好きなんですよ。あとは低周波の機械とマイクロ波の出る奴とね。それぐらいですよ。ベッド2台でやってたんですけど、やっぱり1対1でやるのがいいってことで、ベッドは1台友達にあげちゃったんですよ。で、マイクロなんかも使わないって言って全部人にあげちゃったんですけど。マイクロ波当時で25万ぐらいしましたかね。だから、100万弱ですね。パルスといろいろ併せ
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	ちょっとの治療器具になりますね。パルスが1台と電氣を使ってあっためるタイプのホットパックみたいなやつ。私は水をためておいてやるやつは好きじゃないんですよ。電氣で蒸しタオルであっためるタイプののが好きなんですよ。あとは低周波の機械とマイクロ波の出る奴とね。それぐらいですよ。ベッド2台でやってたんですけど、やっぱり1対1でやるのがいいってことで、ベッドは1台友達にあげちゃったんですよ。で、マイクロなんかも使わないって言って全部人にあげちゃったんですけど。マイクロ波当時で25万ぐらいしましたかね。だから、100万弱ですね。パルスといろいろ併せ
施術者としての思い	融資の返済	けっこうかかりましたね。やっぱり20年、30年、家のローンがね。確か20年ローン組んだんですよ。金利がすごい高い時でね。

施術者としての思い	仕事への意欲	私は波崎町でも1軒家を建てたんですよ。その時で9.5%。この家のローンが7.7%。今では嘘のようだけど、だから稼いでも稼いでも。だから夜寝ないで働くつもりで、鼻血出しながら働いてましたよ。なんかベッドにね、ぱたっ、ぱたっ、って垂れたかって思ったら、よだれじゃなくて鼻血だった！何度もありましたね。
営業環境に関すること	社会情勢	私は波崎町でも1軒家を建てたんですよ。その時で9.5%。この家のローンが7.7%。今では嘘のようだけど、だから稼いでも稼いでも。だから夜寝ないで働くつもりで、鼻血出しながら働いてましたよ。なんかベッドにね、ぱたっ、ぱたっ、って垂れたかって思ったら、よだれじゃなくて鼻血だった！何度もありましたね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業当初の思い	波崎の家はそのまま友達に貸したり、マッサージ屋やってもらったり、今は甥っ子にあげましたけどね。ずっと波崎にいるつもりだったんですけどね。
施術者としての思い	年齢	70歳です。
施術者としての思い	職業継続の意思	特にはないですけど、私の知り合いは80ぐらいまでやってた人いるんで、まあ、そこまで無理しなくてもいいから、できる間はやるつもりでいます。80までは無理でも75とか、77ぐらいは。今の健康状態で行ければ、いけると思うんですけど。まあ、突然ってこともあるんでね。突然死は嬉しいですけどね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	仕事してた方が自分の健康が維持できるよね。あとは、その時の状態が自分で分かるよね。私けっこうしゃべるんで、患者さんの毒氣をもらうことあるんだよね。しゃべってる間にね。そのストレスを処理する方法みたいなのをよく大学教授としゃべるんですよ。ちょっと宗教学とか、心理学とかやってる先生と。
施術者としての思い	ストレスの解消	そうですね。私はPTR2でほとんど編集しているんですよ。そういうので、こう、あちこちからくる情報を編集したりすると、すごく筋肉使うんですよ。すごく筋肉と神経を使うんで、それで気持ちの中で、何か「離婚問題」とか「障害のある子供を持つ人の話」を聞いていると、すごくかわいそうで、ストレスになるんで。全然別の話をイヤホン聞きながらわーって編集していくと。「ああ」とか「ええ」とか言うのをちょん切って聞きやすい状態にするんですけど、そうやってまとめていくとすごいそれが気持ちいいんですよ。
施術所と設備に関すること	使用機器のレビュー	だから、日点の録音してきたものなんかをまとめてるとね、なんか「こいつは話が下手だなあ」なんて思いながら切っていくと、けっこう気持ちがいいんですよ。筋肉を使うって言うのがいいですね。このPTR2って言うのは筋肉をすごく使うんですよ。あの、ソニーのMDでやってるころはほとんどフェザータッチだったんですけど。これはPTR2は押し込むようにしないと。使ったことない人たちが設計するところなっちゃうのかなあって思いながらね。一応レポートを送るんですけど、全然そんなの今の会社は反応しないですね。昔はわざわざ聞きに来たんですよ。シナノケンシの人がね。「どうしたらいいんだろう、どうしたらいいんだろう」って何かあると聞きに来たんですけど、今はシナノケンシもつぶれかかってますからね。
施術者としての思い	盲学校の状況	その頃は高校に普通科がまだなかったんですよ。だから高等部で理療の方も一緒に入ってた、で専攻科が2年だったんですよ。中学を出て別科に入れた時代です。
施術者としての思い	進路への展望	私は家から離れて、自立っていうか、独立できれば何でもいい。しょうがないと思ってましたね。そのぐらい貧しいし、そのぐらい非文化的なところにいましたからね。抵抗っていうかねえ、何か別の世界っていうのは夢は見てましたが、現実には金稼ぐ方が先でしたね。父親が高等部2年の時に死んじゃいましたからね。だから3年の時には無免許で那須温泉なんかに行っただバイトやりましたよ。金を稼ぐしかないと思ってました。
施術者としての思い	盲学校への入学	私は家から離れて、自立っていうか、独立できれば何でもいい。しょうがないと思ってましたね。そのぐらい貧しいし、そのぐらい非文化的なところにいましたからね。抵抗っていうかねえ、何か別の世界っていうのは夢は見てましたが、現実には金稼ぐ方が先でしたね。父親が高等部2年の時に死んじゃいましたからね。だから3年の時には無免許で那須温泉なんかに行っただバイトやりましたよ。金を稼ぐしかないと思ってました。

営業環境に関すること	社会情勢	私は家から離れて、自立っていうか、独立できれば何でもいい。しょうがないと思ってましたね。そのぐらい貧しいし、そのぐらい非文化的なところにいましたからね。抵抗っていうかねえ、何か別の世界っていうのは夢は見てましたけど、現実には金稼ぐ方が先でしたね。父親が高等部2年の時に死んじゃいましたからね。だから3年の時には無免許で那須温泉なんかに行ってバイトやってましたよ。金を稼ぐしかな
施術内容・方法	施術に対する考え方	人の体とか、医学に興味がそれほどあるって分けじゃないし。漢方なんかやってる人たちはすごいなあって思ったりするけど、クスクス笑っちゃったりしてることもあります。ちょっとそれってあれじゃないとかいって！なんかスピリチュアルじゃない（笑い！）でも自分でも漢方の理論なんかはちらっと取り込んだりしてやってますけどね。でもパルスなんかやってると、平方式の人なんかにはね！「私の治療陰邪電機なんか使わないから、すごくよくなります」なんて、
施術者としての思い	視覚障害から選択	当然していませんでしょうね。ええ、やってないですよ。見たら百姓かなんかやってたんじゃないですか。実家が農家だったから、端の方の畑もらって農家やったり、あとはなんか適当なもの作って売ったりしてたんじゃないですかね。あんまり向学心はない方ですから、生きていくのに精いっぱいじゃなかったんですかね。シジミ採って売ったり、どじょう
施術者としての思い	地域の特性	波崎は海と川、両方ありますからね。利根川と海が少しずつ狭まって、一番先が三角形の、三角定規の角みたいになって開口するんですよ。その途中が全部波崎町なんですよ。昔は三角デルタ地帯ですよ。だから5メートルぐらい掘ると
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	持っています。1種1級。はじめは視力0.04あるって言われたんですよ。なんか測り方がおかしくて、そんなにはなかったんですよ。きつとねえ、先生がもう1級がもう0.04でってことで出したんじゃないでしょうかねえ。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	色変の酷いのですから、夜盲も酷いし、たぶん0.01ぐらいは、明るいところでね。ちょっと暗いところに入るとほとんど手探り状態ですから。ただ不思議なことには自転車に乗れたんですよ。だから5キロの中学校は自転車で通いましたよ。おっかなかったですよ。
施術者としての思い	通学の状況	自動車は音たててくるからいいんですけど、牛なんかが繋いであるとぶつかるんで！それが恐ろしくてねえ（笑い）。牛は嫌だなあ。角もあるし。馬は蹴られるしとかね。あいつら普段はあんまり声を出しませんからね。草食べてるときはね。でも砂利道とか、狭い道でも、何とかね。あとは友達と話しながらだと距離感があったりして。5キロは遠いですよ。雨なんか降ったらね、カッパかぶって。中はサウナ状態ですよ。帰りが遅くなると全盲ですから友達の後ろに乗せてもらったり、翌日バスでね。いいかげんなバスで行ったり
営業環境に関すること	社会情勢	知ってましたね。小学校には来なくていいって言われましたから。免除とか言われて。免除はないでしよって親が掛け合いに行って、そしたら就学猶予で1年待ってくれるって。でも準備態勢が全くないのに普通の学校に放り込まれたからね。ちょっと胃が痛くなりますよね。教室のイメージもできていないところに放り込まれますからね。
視覚障害の状況	通常学校での苦労	そうですね。生意気だったですからね。喧嘩もしたしね。でも無視されるのが一番大変だった（笑い）。無視だけは困るんだよね（笑い）、殴りかかって来たりね、ものを言ってくればね反応はできるんだけど。無視されると相手が行動をとってるかが分からないのね。それはきつかったですね。だんだん学年が上がってくると、みんな知恵がついてきますからね。なんか目くばせとかね？！
施術者としての思い	盲学校への入学	楽でしたねえ。ご飯もうちよりは美味しかったしね。生徒が140人ぐらいはいましたね。で、ほとんど寮でしたから、130人ぐらいはいましたから。すごかったですね。
国家資格の取得	資格取得	あん摩と鍼と灸。

仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	0%ぐらいですかね。20%足りないのは、安定性がちょっとないのがね。例えば毎日4人とか、5人とかいう患者でいいから平らに来られる能力が自分にあれば良いのに、いくら予約制と言ってもやっぱり8人も、9人も来る日があるかと思うと、2人ぐらいの日もあるというその安定のなさがやっぱり、こう何て言うんですかね。一応データを持っていて、ならせばまあまあ行くだろうと思っても、少しふがいないですね。これは自分のせいですから。
取扱患者の状況	不安定な患者数	0%ぐらいですかね。20%足りないのは、安定性がちょっとないのがね。例えば毎日4人とか、5人とかいう患者でいいから平らに来られる能力が自分にあれば良いのに、いくら予約制と言ってもやっぱり8人も、9人も来る日があるかと思うと、2人ぐらいの日もあるというその安定のなさがやっぱり、こう何て言うんですかね。一応データを持っていて、ならせばまあまあ行くだろうと思っても、少しふがいないですね。これは自分のせいですから。
施術者としての思い	健康への不安	7・8年前かなあ、メニエルみたいな症状が出てすごい吐いたり、目が回ったりしたんですよ。それで一月ぐらい調子が悪くて寝たり起きたりしてたんですけど。そういうことがあると、そのあとどうなるかなあって思ったんですけど、2ヵ月ぐらいで患者さんの数が回復したんですよ。ですから、例えばほんと復活できない病気にならない限りは、まあ、2・3ヵ月分貯蓄でもなんでも、遊びの金があればなんとかなるなあって感じはしますよね。
施術所の経営状況	見通しを持った経営	7・8年前かなあ、メニエルみたいな症状が出てすごい吐いたり、目が回ったりしたんですよ。それで一月ぐらい調子が悪くて寝たり起きたりしてたんですけど。そういうことがあると、そのあとどうなるかなあって思ったんですけど、2ヵ月ぐらいで患者さんの数が回復したんですよ。ですから、例えばほんと復活できない病気にならない限りは、まあ、2・3ヵ月分貯蓄でもなんでも、遊びの金があればなんとかなるなあって感じはしますよね。
施術者としての思い	施術者としての満足感	やっぱり80ぐらいですね。それは仕事の満足度80%っていうのの元ですね。やっぱり今の倍とは言わないですけども3割ぐらい増えると、無理しなくなるんで、患者さんに対しても余裕のある話ができたり、今日は辛いからここで終わりとかね。私けっこう夜も治療するんですよ。8時ぐらいに来た人まで、だから、9時ぐらいまではやるんですよ。そういうことをやらなくちゃならないという、だらしのなさっていうかね（笑い）。夜やってくれっていうか、萎えてやっちゃうっていうこの弱さがね。県庁なんか行ってる人なんかは7時ぐらいだったら行けるんだけどなんて言ってね。40年も前の人だからお前はもう終わりとは言えないんですよ。その気の弱さと言いましょうか。それがどうもね。80%ですね。100%にはとてもいかないですね。その患者さんとの人間関係がね大事なんで、いくら家内が「夜はやめてね」って言っても、これは私の自由なんでって。
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	やっぱり80ぐらいですね。それは仕事の満足度80%っていうのの元ですね。やっぱり今の倍とは言わないですけども3割ぐらい増えると、無理しなくなるんで、患者さんに対しても余裕のある話ができたり、今日は辛いからここで終わりとかね。私けっこう夜も治療するんですよ。8時ぐらいに来た人まで、だから、9時ぐらいまではやるんですよ。そういうことをやらなくちゃならないという、だらしのなさっていうかね（笑い）。夜やってくれっていうか、萎えてやっちゃうっていうこの弱さがね。県庁なんか行ってる人なんかは7時ぐらいだったら行けるんだけどなんて言ってね。40年も前の人だからお前はもう終わりとは言えないんですよ。その気の弱さと言いましょうか。それがどうもね。80%ですね。100%にはとてもいかないですね。その患者さんとの人間関係がね大事なんで、いくら家内が「夜はやめてね」って言っても、これは私の自由なんでって。

患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	10年ぐらい前からの話になるんですけど、悪性リンパ腫で苦しんでいる人が来たんですよ。悪性リンパ腫なんか、もともと鍼なんかで治せるもんじゃないし、その人が悩んでたんですよ。仕事がホテルマンで、東京のね。親が那珂湊の人のもんでたまに実家にくるときに、誰に聞いたかうちに来るようになって。まだ30ぐらいの若い人なんですよ。それで、その人もあまり手術とか、抗がん剤とかやりたくないとか、放射線もやりたくないとか。それで私がちょっと知り合いになった新潟大学の安保徹って先生がいて、その人を紹介してあげたのね。そしたら、その人の言うこと聞くようになって治ったんですよ。
施術内容・方法	医療機関との連携	10年ぐらい前からの話になるんですけど、悪性リンパ腫で苦しんでいる人が来たんですよ。悪性リンパ腫なんか、もともと鍼なんかで治せるもんじゃないし、その人が悩んでたんですよ。仕事がホテルマンで、東京のね。親が那珂湊の人のもんでたまに実家にくるときに、誰に聞いたかうちに来るようになって。まだ30ぐらいの若い人なんですよ。それで、その人もあまり手術とか、抗がん剤とかやりたくないとか、放射線もやりたくないとか。それで私がちょっと知り合いになった新潟大学の安保徹って先生がいて、その人を紹介してあげたのね。そしたら、その人の言うこと聞くようになって治ったんですよ。
取扱患者の状況	患者の病気が再発	そういうことが10年ぐらい前にあって。また、最近別のところに発症して、声帯圧迫が始まっちゃって声がつぶれちゃった。テニスとかを医者とやって「治療しろよ」とか言われて。でも安保先生が死んじゃってどうしようどうしようってやって、どんどん声は出なくなって、三重ぐらいのラッパみたいな声になってきちゃって。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	また実家に来て、で私に頼めばなんか治療、抗がん剤でも始まってくれんじゃないかって親父がうちに連れてきて。40過ぎの息子を連れてきて、大分大きくなったね、急いで抗がん剤やらないと大変なことになるよって言って。そしたらすぐに始まったんだわね。ですっごい良くなっちゃったらしく、またホテルの仕事してるらしいんですよ。どうなんだろうなって思わせるような何かねえ、もう一回来るんじゃないかなあと思ってるんですけどね。何の治療もしないんですよ、軽く肩撫でながらそういうと私の言うことを聞くんですよ。1回目の話があるんで。抗がん剤やったらあの時死んでたかもしれないよねえなんて言いながらね。言い聞かせるというか、向こうが信頼してくれれば私の言うことを聞くみたいだね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	また実家に来て、で私に頼めばなんか治療、抗がん剤でも始まってくれんじゃないかって親父がうちに連れてきて。40過ぎの息子を連れてきて、大分大きくなったね、急いで抗がん剤やらないと大変なことになるよって言って。そしたらすぐに始まったんだわね。ですっごい良くなっちゃったらしく、またホテルの仕事してるらしいんですよ。どうなんだろうなって思わせるような何かねえ、もう一回来るんじゃないかなあと思ってるんですけどね。何の治療もしないんですよ、軽く肩撫でながらそういうと私の言うことを聞くんですよ。1回目の話があるんで。抗がん剤やったらあの時死んでたかもしれないよねえなんて言いながらね。言い聞かせるというか、向こうが信頼してくれれば私の言うことを聞くみたいだね。

施術内容・方法	施術に対する考え方	<p>テニス一緒にやってる医者何人もいて、その人に抗がん剤やれよ、すぐに治るよとか言われても2年ぐらいがんばっちゃったんですよ。しゃべれなくてとても客商売だから、お客さんの前出れなくなっちゃって、でどうしようって来たんですけど。結局私らがやっても治らないものは治らないですよ。だから治らないものをどうするかって言うのが治療より問題なんじゃないですかね。治ると思いながら……。水戸の駅前で漢方薬を打っている薬局の旦那さんが鍼灸の免許を取って、癌になってしまって、自分で治すって言って死んだ人がいるんですけど。やっぱり治らないものは治らないですよ。治らないものを、患者さんが来ちゃったときにどうするか私らの仕事の中では大きいですよ。ぐるぐる回って最後にたどり着いたみたいな言い方する人多いんですから。その時、もう来ないでくださいって言えるかどうかですよ。言う方法も一つなんですよ。私では無理ですって言うのもね。でも相談かけられたときに追い返せるかどうかですよ。追い返さない場合は何かの判断をしてあげなくちゃならないんで。それはけっこう大きな仕事ですよ。</p>
施術者としての思い	施術者としての責任感	<p>テニス一緒にやってる医者何人もいて、その人に抗がん剤やれよ、すぐに治るよとか言われても2年ぐらいがんばっちゃったんですよ。しゃべれなくてとても客商売だから、お客さんの前出れなくなっちゃって、でどうしようって来たんですけど。結局私らがやっても治らないものは治らないですよ。だから治らないものをどうするかって言うのが治療より問題なんじゃないですかね。治ると思いながら……。水戸の駅前で漢方薬を打っている薬局の旦那さんが鍼灸の免許を取って、癌になってしまって、自分で治すって言って死んだ人がいるんですけど。やっぱり治らないものは治らないですよ。治らないものを、患者さんが来ちゃったときにどうするか私らの仕事の中では大きいですよ。ぐるぐる回って最後にたどり着いたみたいな言い方する人多いんですから。その時、もう来ないでくださいって言えるかどうかですよ。言う方法も一つなんですよ。私では無理ですって言うのもね。でも相談かけられたときに追い返せるかどうかですよ。追い返さない場合は何かの判断をしてあげなくちゃならないんで。それはけっこう大きな仕事ですよ。</p>
営業環境に関すること	社会情勢	<p>私が、今本を出そうとしてるんですけど、この近所に元日本女子大に勤めていた先生がいて。それで、その人が学校が15年、20年ぐらい前からでしょうかね。学校が教授の部屋があれば定年まで安泰という時代がありましたよね。それが少しずつ研究費をどっかからとってこれる人なら事務長でも教授より偉くなっちゃったみたいな、そういう風に変わりつつありますよね。今はもっとひどいですけどね。</p>
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	<p>で、その先生もストレスからうつみたいになって、しょっちゅううちに来るようになったんですよ。そういう、その根っこの部分をどうやって聞き出すかという、そのストレスから心理的におかしくなるとか。それ体質だろうって言えば、体質なのかもしれないけど。根っこの部分を聞くまではやっぱり根掘り葉掘り聞かないとまずいですよね。で根っこの部分が分かれば、あとは解決方法はないかもしれないし、ない場合はどうするかという。ない場合は見ないで処理するか。あるいは自分を強くするか。時には体力をつけるかって、いろいろな方法があるわけですよ。そういうことをちりちりと言い含めるわけですよ。そうすると効果が表れ</p>
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	<p>で、その先生もストレスからうつみたいになって、しょっちゅううちに来るようになったんですよ。そういう、その根っこの部分をどうやって聞き出すかという、そのストレスから心理的におかしくなるとか。それ体質だろうって言えば、体質なのかもしれないけど。根っこの部分を聞くまではやっぱり根掘り葉掘り聞かないとまずいですよね。で根っこの部分が分かれば、あとは解決方法はないかもしれないし、ない場合はどうするかという。ない場合は見ないで処理するか。あるいは自分を強くするか。時には体力をつけるかって、いろいろな方法があるわけですよ。そういうことをちりちりと言い含めるわけですよ。そうすると効果が表れ</p>

施術内容・方法	施術に対する考え方	走れって言えば他のことは忘れますし、泳げって言えば他の事忘れますんで。で、参ってる人ってけっこう言うこと聞くんですよ。鍼を刺すよりも、鍼と一緒にとか、マッサージと一緒にとか、耳元で囁くんですよ。それは、確かに前からしゃべるより、後ろからいいんですよ。具体的に、その人が今できそうなことを。食べるとか。一食抜けとか。三日間一食ぬいたら、いやでもお腹すきますから。食べてもいいよって言えばすごく美味しいわけですよ。一種絡繰のある何かを囁くわけですよ。仕込むんです。そうすると、言うことを聞いてくれれば絶対効果はあるわけですよ。一食抜くことに意味があるんじゃないくて、神経目腹が減るっていう方に。本当は自分は生きるために生きてるんだから大学なんかどうでもいい分けですよ。ところが大学の奴らがもう、俺をいじめてるみたい。そんな時は自律神経かなんか分からないけどおかしくなってますから。とりあえず腹減らすために走って食べるなって言うと、水だけは一生懸命飲んでとか言うと、本当にやるわけですよ。そうすると毎日お昼とか抜くと、もうお腹がすいてみんな美味しくなっちゃうわけですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者教育	走れって言えば他のことは忘れますし、泳げって言えば他の事忘れますんで。で、参ってる人ってけっこう言うこと聞くんですよ。鍼を刺すよりも、鍼と一緒にとか、マッサージと一緒にとか、耳元で囁くんですよ。それは、確かに前からしゃべるより、後ろからいいんですよ。具体的に、その人が今できそうなことを。食べるとか。一食抜けとか。三日間一食ぬいたら、いやでもお腹すきますから。食べてもいいよって言えばすごく美味しいわけですよ。一種絡繰のある何かを囁くわけですよ。仕込むんです。そうすると、言うことを聞いてくれれば絶対効果はあるわけですよ。一食抜くことに意味があるんじゃないくて、神経目腹が減るっていう方に。本当は自分は生きるために生きてるんだから大学なんかどうでもいい分けですよ。ところが大学の奴らがもう、俺をいじめてるみたい。そんな時は自律神経かなんか分からないけどおかしくなってますから。とりあえず腹減らすために走って食べるなって言うと、水だけは一生懸命飲んでとか言うと、本当にやるわけですよ。そうすると毎日お昼とか抜くと、もうお腹がすいてみんな美味しくなっちゃうわけですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との関係	で、暗示にかかる訳ですよ。でも、みんな状況が違うからめんどうなんですよ。病気のある人にそんなこと言えませんからね。患者さんをだましてるみたい。なもんですけど、雑学は必要ですよ。医学でも、常識でも。スポーツのトレーニングに関することでも。聞けるものはメモしておくと便利です。難しい理論も大事ですけど。難しい理論でやる方は、それ一辺倒でやろうとする方が多いんですよ。で、研究データをいっぱい集めて自分は正しいみたいな風になりますけど。こちらは、ほんと風が吹いたら飛ばされそうな生き方してますから、だから飛ばされながら何かゴミでもなんでもいいから掴んでおくみたい。そういう生き方ですから。あまり難しいことは分かんないですけど。その代わりなんでも反応しないとだめですよ。即ね。瞬間瞬間に。で、分かんないことは勉強しておきますからって。あとで電話しますとかね。嘘をなるべくつかないようにしてね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	で、暗示にかかる訳ですよ。でも、みんな状況が違うからめんどうなんですよ。病気のある人にそんなこと言えませんからね。患者さんをだましてるみたい。なもんですけど、雑学は必要ですよ。医学でも、常識でも。スポーツのトレーニングに関することでも。聞けるものはメモしておくと便利です。難しい理論も大事ですけど。難しい理論でやる方は、それ一辺倒でやろうとする方が多いんですよ。で、研究データをいっぱい集めて自分は正しいみたいな風になりますけど。こちらは、ほんと風が吹いたら飛ばされそうな生き方してますから、だから飛ばされながら何かゴミでもなんでもいいから掴んでおくみたい。そういう生き方ですから。あまり難しいことは分かんないですけど。その代わりなんでも反応しないとだめですよ。即ね。瞬間瞬間に。で、分かんないことは勉強しておきますからって。あとで電話しますとかね。嘘をなるべくつかないようにしてね。

患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	できれば医者に行ってほしいってことは言うんだけど、医者の精密検査の方を大事にして。私の言うことは参考意見だから早く医者に行けって言うことはなるべく。一番最後にうちに来てくれると助かるんですよ。みんな治らないって言うなら治らないんじゃないですかって言えるしね。私なんか70年も盲人でやってるんですから、治らなくても大丈夫ですよ
施術内容・方法	医療機関との連携	できれば医者に行ってほしいってことは言うんだけど、医者の精密検査の方を大事にして。私の言うことは参考意見だから早く医者に行けって言うことはなるべく。一番最後にうちに来てくれると助かるんですよ。みんな治らないって言うなら治らないんじゃないですかって言えるしね。私なんか70年も盲人でやってるんですから、治らなくても大丈夫ですよ

表 1 7 「対象10」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業	開業して、ここはねえ。1回別なところで開業したんですよ。昭和57年に盲学校を卒業しまして、その年そのまま開業ですね。水戸の北見町っていうところで。那珂川沿いなんです
営業環境に関すること	自然災害	そこで3年ぐらいやってたんですよ。それで昭和61年の夏に那珂川が洪水になって。それで、うちが借りてたのは平屋だったんですよ。だもんで天袋まで水が来て、屋根しか残ってない状態で。北見町の坂下だったんで。水戸二高の下の方
施術所と設備に関すること	施術所の移転	それから、こちらに移って。だから、ここにきて31年ぐらいいかな。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業のきっかけ	そうです。卒業した時は丁度30歳だったんですよ。それで30だったんで、ちょっと最初は迷ったんですよ。病院関係に就職しようかなとかね。でも、また人の下で働くのもあれだし・・・、開業しちゃおうと思ってしたんですけどね。
施術者としての思い	進路への展望	そうです。卒業した時は丁度30歳だったんですよ。それで30だったんで、ちょっと最初は迷ったんですよ。病院関係に就職しようかなとかね。でも、また人の下で働くのもあれだし・・・、開業しちゃおうと思ってしたんですけどね。
施術所の経営状況	休業日	一応日曜祭日が休みなんですけど。電話があって家にいるときにはやりますよってことでやってるんですけど。
施術者としての思い	社会貢献的活動	ただ、実際には日曜日って言うといろんな会議が入ってるんで、そういう用事はけっこうあるですよ。鍼灸師会の方と視覚障害者協会って方と。これが県の方と市部の方があるんで。市部の方も今会長やってたりしてるんで。鍼灸師会の方は一切今タッチしてないんですけども。そうするとなかなか日曜日って言うのは空いてる時が少なくてね。
施術内容・方法	ホテルでの施術	私の場合は、開業して間もなくつくば博があったでしょ。それでプラザホテルなんかが建って、北見町にいた時の大家さんの関係でちょっとプラザホテルの方で仕事する気があるかどうかって言うのを聞かれて。それで直接プラザホテル関係の人とお話しして、それでプラザホテルに入ることになったんですよ
施術内容・方法	ホテルでの施術	それで、こっちの条件としては、見えないと呼ばれていくのは大変でしょう。車も乗れないし。だから、ホテルに夜先入っちゃって、掃除する人たちの部屋があって、掃除の人たちは僕らが行くころにはいなくなっちゃうんですよ。その部屋にいて、フロントの方と繋がってますんで、僕らが部屋にいるうちは、その部屋から直接客室から電話が来て、部屋に誰もいないときにはフロントで受けていただくっていう形で、夜は12時ぐらいいまで受け付けてやる形でできたんで。家の仕事は開業したばかりだとそんなにはないですから
施術内容・方法	ホテルでの施術	人を頼んで何人かで回してましたけど、その人たちからはマージンはとらないで、ホテルの方に800円バックしてました。お客さんには40分4,000円をもらってました。そんな形でホテルの方17年ですか、あそこ開業してから閉めるまでね。
現在の施術料収入	施術料	人を頼んで何人かで回してましたけど、その人たちからはマージンはとらないで、ホテルの方に800円バックしてました。お客さんには40分4,000円をもらってました。そんな形でホテルの方17年ですか、あそこ開業してから閉めるまでね。

営業環境に関すること	社会情勢	そのあとプラザホテルは移転しちゃったでしょ。その頃にはバブルがはじけて全体的にホテルのお客さんって言うのは減っちゃってんですよね。景気のいいころはねえ、会社からお金が出たんでしょうけども。バブルがはじけちゃってからはみんな景気が悪くなっちゃってね。
取扱患者の状況	患者数の減少	そのあとプラザホテルは移転しちゃったでしょ。その頃にはバブルがはじけて全体的にホテルのお客さんって言うのは減っちゃってんですよね。景気のいいころはねえ、会社からお金が出たんでしょうけども。バブルがはじけちゃってからはみんな景気が悪くなっちゃってね。
施術料以外の収入	副収入	で、それと合わせて老人ホーム。盲学校でも実習に行ってたところがあんだよ。今は特別養護老人ホームなんですけど、愛友園ってところが。僕らのころはそこに実習か何かで行ったりしてたんですよ。それで、その園長さんからの話があって、家でやりながらも愛友園のしごとをして、年間80万ぐらい。そういうところにも行ったんで、まとまったお金がよってきてもうですよ
施術内容・方法	老人ホームでの施術	で、それと合わせて老人ホーム。盲学校でも実習に行ってたところがあんだよ。今は特別養護老人ホームなんですけど、愛友園ってところが。僕らのころはそこに実習か何かで行ったりしてたんですよ。それで、その園長さんからの話があって、家でやりながらも愛友園のしごとをして、年間80万ぐらい。そういうところにも行ったんで、まとまったお金がよってきてもうですよ
施術内容・方法	老人ホームでの施術方法	週2回行って、長い時間ではないなんですけど、マッサージをやってたんです。その愛友園ってところは陶芸もやってんですよね。園長がそういうのを大好きで。けっこう幅広くやってて東部デパートとかにまで年1回は出店してやってたぐらいなんですよ
施術内容・方法	老人ホームの所在地	あれは緑町になるのかな。
施術料収入に関すること	計算できる収入源	平成10年ぐらいまでかな。園長さんが高齢で息子さんに代が変わってから、また内容が変わってきたんで。ただ、水害に遭っちゃっても老人ホームとホテルがあったんで、しばらくはこっちに移転しても仕事としてはなんとかあった。運がいいというか
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	実際ここに越してきたのも、お客さんのお姉さんが、こっちで大家さんをしてたんです。その妹さんが、私にかかりに来てたんで。水害にあった後、一時は水戸市営のアパートにいたんですね。その妹さんがアパートの方にも足を運んでくれたんで、そのいいとこあったら紹介してもらえないかって言うことで。それでその人が姉さんが持っているところ今空いてるよってことで。その辺も流れがよくてね。
周囲のサポートに関すること	第三者からの援助	実際ここに越してきたのも、お客さんのお姉さんが、こっちで大家さんをしてたんです。その妹さんが、私にかかりに来てたんで。水害にあった後、一時は水戸市営のアパートにいたんですね。その妹さんがアパートの方にも足を運んでくれたんで、そのいいとこあったら紹介してもらえないかって言うことで。それでその人が姉さんが持っているところ今空いてるよってことで。その辺も流れがよくてね。
施術内容・方法	ホテルでの施術	だから、老人ホームの方は、さっきも言ったように平成10年ぐらいまでで終わり。ホテルの方は基本的には移転した時点で終わりだった。ほら、向こうは遠いでしょ。とても行きたかったけど、交通費もかかったやうしね
視覚障害の状況	移動の困難さ	だから、老人ホームの方は、さっきも言ったように平成10年ぐらいまでで終わり。ホテルの方は基本的には移転した時点で終わりだった。ほら、向こうは遠いでしょ。とても行きたかったけど、交通費もかかったやうしね
施術内容・方法	老人ホームでの施術	だから、老人ホームの方は、さっきも言ったように平成10年ぐらいまでで終わり。ホテルの方は基本的には移転した時点で終わりだった。ほら、向こうは遠いでしょ。とても行きたかったけど、交通費もかかったやうしね
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	まあ、やりがいはいとにかく・・・。鍼灸も持ってたんですけど、基本的に揉む方が中心になっちゃってね。やっぱり性格上ですね。ちょっとお話ししながら気遣いなし話をしながら仕事をできる部分。やっぱり喜んでもらえるのが一番でね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	まあ、やりがいはいとにかく・・・。鍼灸も持ってたんですけど、基本的に揉む方が中心になっちゃってね。やっぱり性格上ですね。ちょっとお話ししながら気遣いなし話をしながら仕事をできる部分。やっぱり喜んでもらえるのが一番でね。

営業努力に関すること	広報活動	最初開業時にはチラシを配って始めましたよってことだけだよね。それは伝えなくちゃならない。それ以降は口コミがほとんどですね。
営業努力に関すること	口コミの効果	チラシ撒いたのは最初のころに1回だけ。それだけで、あとは患者さんの口コミですね。
施術者としての思い	失望感	やるときには、まず名前とどちらからいらしたんですか、どんなことでいらしたんですかってことは聞いてからですよ。それでやりがい、その1回来た人がまた来てくれたっていうときには、やっぱり。1回来てそれっきりっていうのは失望感がありますよね。やっぱりお客さんとも話になるんだけど、人間相性っていうのもありますから。だから、それもありますからって話しながら、仕事はするんですけど。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	やるときには、まず名前とどちらからいらしたんですか、どんなことでいらしたんですかってことは聞いてからですよ。それでやりがい、その1回来た人がまた来てくれたっていうときには、やっぱり。1回来てそれっきりっていうのは失望感がありますよね。やっぱりお客さんとも話になるんだけど、人間相性っていうのもありますから。だから、それもありますからって話しながら、仕事はするんですけど。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	やるときには、まず名前とどちらからいらしたんですか、どんなことでいらしたんですかってことは聞いてからですよ。それでやりがい、その1回来た人がまた来てくれたっていうときには、やっぱり。1回来てそれっきりっていうのは失望感がありますよね。やっぱりお客さんとも話になるんだけど、人間相性っていうのもありますから。だから、それもありますからって話しながら、仕事はするんですけど。
施術内容・方法	施術方法	とにかく卒業しちゃうとねえ、人それぞれやり方が変わってくるんですね。揉み方とか。
現在の施術料収入	施術料に対する考え方	最初始まったころから局所だけって言うのはなるべくやらないで、一応1時間ということで。揉むのもだいたい1時間かかるっていうので。1時間いくらってことでやってたんです。
施術内容・方法	施術内容	最初始まったころから局所だけって言うのはなるべくやらないで、一応1時間ということで。揉むのもだいたい1時間かかるっていうので。1時間いくらってことでやってたんです。
現在の施術料収入	施術料	今はちょっと変わりましたね。時間もいろいろ変えました。基本は1時間なんですけども。30分で上半身だけとか、下半身の方だけとかって形もとってるし、でもうちちょっとやってもらいたいなって場合は10分間500円プラスしてね。今1時間2,000円でやってんですけど。
施術内容・方法	施術内容	今はちょっと変わりましたね。時間もいろいろ変えました。基本は1時間なんですけども。30分で上半身だけとか、下半身の方だけとかって形もとってるし、でもうちちょっとやってもらいたいなって場合は10分間500円プラスしてね。今1時間2,000円でやってんですけど。
施術内容・方法	患者のニーズ	だから30分だと1,500円でしょ。それに10分たすと2,000円。だから40分やってくれって言う人もいるし1時間半やってくれって言う人もいるしね。2時間やってくれって言う人もいるし。2時間だと6,000円です。でも長くやると安くなる。1時間半だと4,000円、2時間だと5,000円でやってますから。うちは長くやると安くなるんです（笑い）。来るたびに1時間半って来るんですけど、もっと疲れてるときには、今日は2時間やってくれって時があって。そこなんか家族でかかってるんですけど。
施術者としての思い	鍼施術に対する自信のなさ	要望に合わせてやります。でも鍼の方はどうしても自信が持てないっていうかね。鍼を希望する人はあんまりいないですね。
現在の施術料収入	鍼の施術料	鍼をやった場合には、あのう・・・、1,000円プラスになります。鍼はどうしてもそんなに長い時間はやらないんで。
施術内容・方法	施術に対する考え方	苦労ですか？そうですね。僕自身そんなにねえ、こだわりがなくて、適当にやってたんで。なんかそういうことについてはピンとは来ないですね。でも、なるべく、こう・・・。何て言うかなあ。まあ、その都度、そのお客さんには聞きながら対応していくって言うのは大事にしているんですけど。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	苦労ですか？そうですね。僕自身そんなにねえ、こだわりがなくて、適当にやってたんで。なんかそういうことについてはピンとは来ないですね。でも、なるべく、こう・・・。何て言うかなあ。まあ、その都度、そのお客さんには聞きながら対応していくって言うのは大事にしているんですけど。

取扱患者の状況	患者の高齢化	ああ、そうですか。そうですね。不便さって言うよりも、なんか、こう昔に比べて。今まで仕事をやってきて35年ぐらいになる訳でしょう、その中でやっぱり、高齢化っていう部分もあるのかもしれないですけど、お客さんの層も変わってんのかもしないですわね。
営業環境に関すること	社会情勢	結局いろんな人間高齢になるとデイサービスに行ったりね。デイケアに行ったりって人もかなり増えてますよね。昔のころはそういうのもなかったんでね。だから、その分家の方においてマッサージにかかるとかっていう人が多かったような気がするんですけどね。今、高齢者もあんまり来ないですよ。
施術内容・方法	施術方法	他の人はどういうやり方をするかとか、そういうことは……。自分も盲学校にいた時とはやり方が変わってるっていうのがあるんで。だから、その辺のところはたまにほら、友達と……。うん……。経営学ってねえ。学校出てからなんも習ってないんですよ。習う、習わないっていうよりも。あとは、あの県の鍼灸師会でやる講習会は、まずは休みなく出てるんですけど。そういう情報だけは使わないにしても、情報として持つのは大事なことだと思いますよね。だいたい年4回からやる講習会は休みなく出ています。
施術者としての思い	研修への参加	それはそれでね。あの、けっこう僕なんかも大雑把なあれで、領収書とかっていうのは揃えて。あとノートにはお客さんの名前とか付けてるんで、月何名ぐらいやったとかはね。僕もほら一応拡大読書器あるんですよ。それを使えばなんとかわ、書いたりできるんですけど。
視覚障害の状況	当時の視力の状態	右は0、左が0.02ぐらいかな。盲学校に入った時には、0.3ぐらいあったんです。その頃は新聞を近づければ読めたって視力ですよ。それでルーペも何も使わないで盲学校に入ったんですけど。
視覚障害の状況	現在の視力	右は0、左が0.02ぐらいかな。盲学校に入った時には、0.3ぐらいあったんです。その頃は新聞を近づければ読めたって視力ですよ。それでルーペも何も使わないで盲学校に入ったんですけど。
国家資格の取得	学習の状況	半年で一気に視力落ちちゃって（笑い）。生理学だの、解剖学だの勉強したから。頭の中おかしくなるしね（笑い）。それから今度、ルーペって言う便利なものがね。うちは虫眼鏡みたいなでっかい凸レンズは、あれはだめなんです。あれでは拡大にもなんないんですよ。凸レンズとなんかを合わせて、ルーペってうまくできてるんですよ。それでちょっと出っ張ってるような眼鏡をつけて教科書を見るようになった。
視覚障害の状況	視覚障害の原因	僕は26歳まで、って言うか25の終わりまで、普通の仕事してたんですけど。それで交通事故で目を集中的にやって、それからですね。で、27で盲学校に入ったんで。
施術者としての思い	開業までの仕事	僕クリーニングの配送をやってたんですね。ホテル関係の。遠くはいわきから那須、あっちの方まで行ったんですよ。
施術者としての思い	視覚障害となった不安と希望	それで、その会社において交通事故にあったんですけど。それで、その時に、そこに三の丸ホテルってあったでしょ。あそこに昔サウナがあったんですよ。そのサウナに今でいえば盲学校の先輩が男の人と、女の人二人が、そのサウナで仕事やってたんです。で、なんか目を悪くしてから、そういえばマッサージしてる人がいたなあと。思って。
施術者としての思い	盲学校への入学	今のハローワークにいったら、どこどこにこういう人がいるよって言うのを聞いて。最初そこに行って、それから前に会長さんやってたのかなあ。山田さん、夏次郎さんって言うのがいたんだけど、盲学校の近くにね。山田さんのところに行ったら、最初塩原にこういうところがあるよって言われて。タイミングがあれで、塩原の方は願書の受付が終わっちゃいましたって。そしたら盲学校の方はまだ大丈夫だったんで。それで盲学校に入学したんです。
視覚障害の状況	盲学校入学までの経過	今のハローワークにいったら、どこどこにこういう人がいるよって言うのを聞いて。最初そこに行って、それから前に会長さんやってたのかなあ。山田さん、夏次郎さんって言うのがいたんだけど、盲学校の近くにね。山田さんのところに行ったら、最初塩原にこういうところがあるよって言われて。タイミングがあれで、塩原の方は願書の受付が終わっちゃいましたって。そしたら盲学校の方はまだ大丈夫だったんで。それで盲学校に入学したんです。

視覚障害の状況	障害の克服	目を悪くしてから、仕事するならマッサージだと思いうまでは割と早かったですね。だからブランクは1年ちょっとぐらいかなあ。まあ、決めるのは早かった方だと思うんですよ。とにかくみんなにも言われたんですよ。いやあ、大変だったねえって、言われたりしたんですけど。まあ、僕の不注意で事故をやって目を悪くしたんで、ほら他の人をケガさせたとかじゃないんで。自分の不注意でやっただけなんで。なんで、意外とねえ、大変だったとも思わないんですよ。とにかく、ずっと一人で動ける状態ですからね。これできっと真っ暗になってしまったらだめだったかもしれませんね。
施術者としての思い	盲学校の状況	まずは、もうしょうがないなあって思って。そしたらそんなこと考える余裕はなかったですね。勉強、勉強で。それでも僕が入ったころはークラス10人近くいたんでね。みんなバレーボールだの、盲人の野球だのやってて。うちのクラスも、同い年が一人、あと二つ上の人間が一人。10人ぐらいいるのでね。あとぐっと年上で40代の人かなが一人。あとはみんな学齢で来てた。まあまあ、そういう同じ年らの人がいたんでやっぱり学校生活もやりやすかった。話も分かってくれる人もいたんで。あとから友達とか入ってきたんで。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	1種2級です。
施術者としての思い	家族の協力	僕が開業して次の年に、うちのが盲学校卒業したんで。開業2年目にはうちのとは結婚しましたから。うちのは盲学校に入っただのは一緒だったんですけど。向こうはちょっと1年間、最初に合格しなかったんで。1年間保理科にいたんで。僕の方は何とか合格したんで。専攻科に入ったんで。なので、うちのは1年遅れで専攻科卒業したんですけど。うちのは基本的に一切やらない
施術者としての思い	家族の状況	してますよ。同じ仕事やってます。僕が卒業して結婚するまでうちのが車の免許持ってるとは思わなかったんですよ。目が悪いって思ってましたから。まさか、結婚したら、そういうのを黙ってるわけにはいかないんでしょうね。うちのは生まれつき緑内障で、それで親が心配して、あちこち病院にもやって、先々のこと考えて盲学校に入れたみたいなんですけどね。薬は欠かさないでやってるみたいだし。定期的に毎月病院に行くようだし。幸い視力は変わらないで車も運転でき
施術者としての思い	自力での移動	でも関係では車でどうのこうのって手伝ってもらってことはほとんどないですね。この市内を動くことに対しては一切呼びつけたりはしないです。やっぱり自分のことは自分でやった方が気楽でね。変につまらないことと呼んで、どうのこうのなんて言うとかね、後々いやだから。自分で動けるだけ
取扱患者の状況	患者数の減少	仕事ですか。8月は酷いですね。良く2・8なんて言いますけど。この暑さだと、また昔と違うんでしょうね。熱中症でどうのこうのって言うくらいですからね。ほんと来ないです。来ても、この中で涼しい思いをしてても、いざ表に出たら、あの暑さですもんね。何だか疲れとれるのか、なんだか分
取扱患者の状況	患者数	仕事ですか。8月は酷いですね。良く2・8なんて言いますけど。この暑さだと、また昔と違うんでしょうね。熱中症でどうのこうのって言うくらいですからね。ほんと来ないです。来ても、この中で涼しい思いをしてても、いざ表に出たら、あの暑さですもんね。何だか疲れとれるのか、なんだか分
施術内容・方法	デイサービスでの施術	で、そういうのもあって、12・3年前からデイサービスの方へ。それもどういう繋がりか、最初に言った、鍼灸マッサージをやるきっかけになった、その三の丸ホテルで働いていた人間ね。たまたまその人がデイサービスに行き始めたんですよ。そしたら一人ではあれなんで、もう一人ってことで、僕が誘われて行ったんですけども。きっかけはホテルで見たって言うだけで、この仕事を自分が始めてから付き合うようになったんでね。僕らよりも二つぐらい上だったんですけどね。その人に誘われてデイサービスの方に行き始めたんですよ。うちで忙しいんなら、デイに行くってこともなかったと思いますけど。それとうちでぼーっとしてるよりは気分転換にいいかなって、そういう気もありましたよね。じゃあ、決まったお金が入ってくるならってこともあったんで。

施術内容・方法	デイサービスでの施術	誘われていったときには週二日だったんですよ。その誘ってくれた人が、自分が生き始めて1年ぐらいで急死しちゃったんですよ。心筋梗塞とかいってね。運動してて、アームレスリングやったり、走ったりなんかね。その人が急死しちゃったんで、僕の方で別な友達を、一人じゃどうしても休むときなんかに困るんで。それがあったんで一人お願いして、で僕は週に4日、もう一人の方に週に2日出てもらってるんだ。デイは基本的に休みは日曜日だけですから。
施術内容・方法	デイサービスでの施術	契約では9時から2時までって言うことで。その間に平均16・7人ですか。だいたい1時間で5人ぐらいのペースでやるような感じですね。だから午前中13人ぐらい、午後から4人ぐらいね。
施術者としての思い	通勤手段	今あるブラザホテルがあるでしょ。あそこのちょうど、もう一本後ろの通りになるんですけど。あそこの後ろの方に結婚式場があるんですよ。その結婚式場と隣り合わせにうちのデイがあるんですけど。で、行くときには利用者さんを送り迎えする車で利用者さんと一緒に乗せてってもらって、帰りは単独で乗せてきてもらうんですけど。送迎付きで。
施術内容・方法	デイサービスでの施術	だから、僕らにとっては便利な勤め先だったんで。火、水、金、土、この四日行くんですけど。利用者は月、水、金とか、火、木、土とかで来るような人。あと意外とバラバラで、月曜日と木曜日だけの人とか、利用者の都合で違ったりしますね。
現在の施術料収入	年収	これは少ないですね。100万を超えないぐらい。やっぱりずーっと減ってますね。
取扱患者の状況	患者数の減少	けっこう減ってます。
施術料以外の収入	副収入	デイサービスでの収入。それもだいたい去年28年で申告したのは190万ぐらいですか。デイの方ですね。
施術料以外の収入	副収入	僕は勤めていた時のあれで、厚生年金の方ですね。障害年金ですね。国からいただいているんで、これがやっぱり大きいですもんね。
施術内容・方法	ホテルでの施術	そうですね。子供にかかっているときにはホテルの仕事もやってたんでね。ホテルの仕事って言うのは大きかったですからね。あのバブルの前はねえ。最初にも話したようにバブルがはじけた後は、ホテルの仕事も、一緒に働いていた人間もどんどんドンやめていくって感じで。僕は最初に入ったっていう経緯があるんで、こっちを閉めるまではやめないで最後までいたんですけど。
営業環境に関すること	社会情勢	そうですね。子供にかかっているときにはホテルの仕事もやってたんでね。ホテルの仕事って言うのは大きかったですからね。あのバブルの前はねえ。最初にも話したようにバブルがはじけた後は、ホテルの仕事も、一緒に働いていた人間もどんどんドンやめていくって感じで。僕は最初に入ったっていう経緯があるんで、こっちを閉めるまではやめないで最後までいたんですけど。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	前に使っていたのは水没しちゃって全部だめになりましたからね。それでも最低限のものだけですね。前いたところではマイクロ、ホットパック、電気の鍼の道具からそろえたんですけども。こっちへ移転してからは、揃えたのはマイクロウェブだけですね。鍼消毒のオートクレーブ。これも今は使い捨て鍼が出たんで使うことはなくなっちゃいましたけどね。ベッドはねえ、友達が1台くれたんですけども、これまた別な友達が使ってた広いベッドと交換したんです。このベッド広くて畳一畳ぐらいあるんだけど、年寄も安心して乗れるんで。大工さんの作った木製の。足はボルトで取り外し
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	前働いていた時の蓄えが少しあったんで。で、大した高いものは揃えなかったし。
施術者としての思い	家族の状況	僕は今65。もう高齢者の仲間入りをしたんで。それで僕も婿さんとして入って、婿さんのわりに実家で向こうの親と暮らしたってことがないでしょ。結婚してそのままこっちで、続けてましたから。水害にあった時、一時期話したんですよ。いいきっかけかなあって思って。うちも長男が生まれて2歳だったんですよ、その水害にあった時。向こうの親にそれとなく、口には出したんですけども、向こうの親の方が無反応なんで、じゃあいいや水戸にいるわって思って。

施術者としての思い	年齢	僕は今65。もう高齢者の仲間入りをしたんで。それで僕も婿さんとして入って、婿さんのわりに実家で向こうの親と暮らしたってことがないでしょ。結婚してそのままこっちで、続けてましたから。水害にあった時、一時期話したんですよ。いいきっかけかなあって思って。うちも長男が生まれて2歳だったんですよ、その水害にあった時。向こうの親にそれとなく、口には出したんですけども、向こうの親の方が無反応なんで、じゃあいいや水戸にいるわって思って。
施術者としての思い	実家の状況	実家は北茨城なんですよ。茨城県が一番端だよ。うちの後ろに1軒あるだけで、その後ろに川があって山があって、その山超えれば福島県。だから、電車は大津港ですから。
施術者としての思い	自力での移動	生活自体は水戸の方が一人で動くのには最高ですよ。交通の便でもここはちょっと15分って時間はかかりますけど。でも水戸の駅まで行けば、どこに行くのにもバスがあるし。
施術所の経営状況	今後の展望	電車もあるし。大津港に行ったらまず、徒歩で行くってこと自体が無理。で、今ここで孫も生まれて、ちょっと考える部分もあるんですよ。ここも借家でしょ。大家さんもいい年なんですよ。この家もかなりの年数なんで。うちのも還暦になったんで。65になったら年金だなんて言ってるぐらいですから。そのことも考えると、実家の方は誰もいないんですから。土地もうちのが相続してますからね。ほどほどの時機を見て、うちのが年金でも受け取るようになったら移るかもしれないような状況なんですよ。
施術者としての思い	実家の管理	そうすれば、家賃ここ5万1千円払ってるんで。家賃の分うちの方でなんかねえ。考えも出てるんで、商売の方どうのこうのって言うことはあんまり考えないんですけど。向こうの方には月に、うちのと行って草取りやったりね。草だけ取る分には手に触ったものみな抜けばいいんですから、大丈夫なんですけど。あれ、空気がよどんじゃうと畳がぶかぶかになったりとか、壁が空気に触れないと。けっこう行ってみんなガラガラ開けて風は入れてんですけど。
施術所の経営状況	今後の展望	ほんと年とともに考えなくちゃならないことが増えてきちゃって。だんだん気楽に過ごしたいと思ってんですけど。大変ですよ。年取ると草取りなんて余計な仕事をしなくちゃならなくて。
国家資格の取得	資格取得	按摩師と、鍼師と灸師と。昭和57年卒業ですからね、その年に取得しています。専攻科3年終わって試験ですよ。そうすると実際免許が来るのはもっと後ですよ。あん摩マッサージ指圧の方は2年でとってますからね。
施術者としての思い	在学中の施術経験	2年でとれたんです。だから3年生の時には宇都宮の方に行ってバイトしてたりしました。向こうに1か月ぐらいいたかなあ。宇都宮市内で、あそこには競輪場とかあるでしょ。競輪場で選手なんかをマッサージしてたみたいです。アルバイト生だった自分は競輪場とかには行かなかったけど、近所の出頭とか、治療室でのマッサージをしてました。そこには先輩なんかもいたんで。山田治療院って言いましたけど。宇都宮にはオリオン道理とユニオン道理っていうのがあって、僕が通ってたんですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	何年間だろうなあ。開業して間もなくからかな、それでこっちに来て、結局今で30年ぐらい通ってくれていたんですよ。この前しばらくぶりに息子さんが連れてきてくれたんですけど、脳こうそくで倒れて。もう90超えてるのかなあ。水府町に茨城電話工業株式会社って言うのがあるんですね。その社長さんだったんですよ。その方に気に入ってもらって、それまでずーっと通っていただいて。うーん。ついこの前息子さんが、思い出したんでしょ、連れてきて。週に2回ぐらいずつ2か月ぐらい来てくれたんですけど。やっぱりちょっと言語障害とか残っててね。僕の方も、しばらく来なかったからどうしちゃったのかなあ思ってたんですよ。亡くなったって話も聞いてないしなあって。そしたら突然息子さんから電話かかってきて、本人はそういうのも覚えてますからね。

取扱患者の状況	昔からの患者	何年間だろうなあ。開業して間もなくからかな、それでこっちに来て、結局今で30年ぐらい通ってくれていたんですよ。この前しばらくぶりに息子さんが連れてきてくれたんですけど、脳こうそくで倒れて。もう90超えてるのかなあ。水府町に茨城電話工業株式会社って言うのがあるんですね。その社長さんだったんですよ。その方に気に入ってもらって、それまでずーっと通っていたいて。うーん。ついこの前息子さんが、思い出したんでしょうね、連れてきて。週に2回ぐらいずつ2か月ぐらい来てくれたんですけど。やっぱりちょっと言語障害とか残っててね。僕の方も、しばらく来なかったからどうしちゃったのかなあ思ってたんですよ。亡くなったって話も聞いてないしなあ。そしたら突然息子さんから電話かかってきて、本人はそういうのも覚えてますからね。
取扱患者の状況	患者の状態	その人なんかは、ほんとに最初は会社で自分では車乗らないで運転士さんに乗せてもらってたんですけど。うちに来るようになってからは、自分で車を運転してくるようになって。週に何回か来てくれてそれがずっと続いていましたからね。うちに来るようになってからね、その患者さんねえ、ゴルフとかね、プール行ったりとかね。もともとダンスなんかやっていた人なんで。身長も高くてすらっとしてて。自分で会社起こしたぐらいの人なので。東京の方にもビル持ってて。そっちこっちに営業所なんかも構えてて、今でも茨城電話工業って言ったらそれなりの会社ですね。一番長く来てくれるか
取扱患者の状況	定期来院患者	その人なんかは、ほんとに最初は会社で自分では車乗らないで運転士さんに乗せてもらってたんですけど。うちに来るようになってからは、自分で車を運転してくるようになって。週に何回か来てくれてそれがずっと続いていましたからね。うちに来るようになってからね、その患者さんねえ、ゴルフとかね、プール行ったりとかね。もともとダンスなんかやっていた人なんで。身長も高くてすらっとしてて。自分で会社起こしたぐらいの人なので。東京の方にもビル持ってて。そっちこっちに営業所なんかも構えてて、今でも茨城電話工業って言ったらそれなりの会社ですね。一番長く来てくれるか
取扱患者の状況	患者数の減少	今だいたい来てくれる人は5年以上、10年近くの人たちですね。だから、そういう人たちがだんだん減っていった（笑）。新患少ないってことですね。高齢化が過ぎちゃうと来れないって言うか、車に乗れなくなると来れないとかってね。大きいですよ。
取扱患者の状況	定期来院患者	今だいたい来てくれる人は5年以上、10年近くの人たちですね。だから、そういう人たちがだんだん減っていった（笑）。新患少ないってことですね。高齢化が過ぎちゃうと来れないって言うか、車に乗れなくなると来れないとかってね。大きいですよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	あと、よく来てくれたのは文化センターの入口のところにあるホテル、第一ホテル。あそこの社長さんと奥さんなんかも長くかかってきてて。第一ホテルですね。あそこは別館なのかな。本館の方が市内でやっててね。
取扱患者の状況	定期来院患者	あと、よく来てくれたのは文化センターの入口のところにあるホテル、第一ホテル。あそこの社長さんと奥さんなんかも長くかかってきてて。第一ホテルですね。あそこは別館なのかな。本館の方が市内でやっててね。
仕事としてのあはきに関する事	仕事への満足度	そうですね。他の仕事してたらね、性格上ちゃらんぼらんになっちゃったかもしれないけど。会社だとリストラされる口だったかなあって言うような、あれあったんで。この仕事について80%ぐらいは行きますね。
施術者としての思い	施術者としての充実感	この仕事があったからこそ、ここまで子供3人育てて、やってこられたって言う部分がありますから。そういう部分では80ぐらいですね。
施術料収入に関する事	収入に対する満足度	れはねえ。もう少ないのは自分の努力足なかったって言うだけのことでね（笑）。ほんとにそうだと思います。年金もあるからいいやなんて言う気もあるんで。たぶんね、そうだと思うんですよ。とにかく自分の場合子供3人育てられたなあと思ってます。
施術者としての思い	家族の状況	一番上はこの前結婚式をやって孫が生まれてっていう状況で。長男が33ですから。みんな三つ違いで、次男が30、一番下が12月で27歳になりますけどね。みんな三つ違いなんですよ。子供はいつになっても子供ですもんね。

表 18 「対象11」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
営業環境に関すること	周辺環境	この周りは住宅が幾つかあるけど、住宅街ではないです。
営業環境に関すること	周辺環境	もう田んぼだらけ。
営業環境に関すること	自然災害	ここは農村地帯だから。鬼怒川の決壊があったでしょ。
営業環境に関すること	自然災害	決壊現場はすぐ近くですから。
営業環境に関すること	社会情勢	意外にね、川のこの近くは、自然の堤防でグッと上がっているの。だから、土手沿いってというのは、大体助かった。
営業環境に関すること	被害状況	ちょっと離れた所のほうが結構潜っちゃって。
営業環境に関すること	社会情勢	まあ、でも深さはそんななかったみたいですよ。膝ぐらいで流されちゃったみたい、やっぱり流れが急だったんですね。
営業環境に関すること	社会情勢	俺はしなかったよ。
営業環境に関すること	被害状況	うん。ここは大丈夫だったから。うちの庭先の、あそこ階段少し登りましたよね。
営業環境に関すること	社会情勢	あそこの途中、ギリギリまで水が来たんですけど、家の中には入らなかったから。
営業環境に関すること	社会情勢	夜中の3時ぐらいまで、ずっと上がってきたんだよね、水位がね。もう駄目かなと思ったけど、4時ぐらいになったら引いてきたから、助かったと思って。
営業環境に関すること	周辺環境	なる。うちはよかったけど、周りの障害者、先生方は何人が水が入っちゃった所があって、そのうち1軒はもうやってないよね。
施術所と設備に関すること	プレハブでの施術	うん。もう1人の先生はプレハブ建ててやってるかな。
施術者としての思い	地域の施術者間のコミュニケー	ない。本当は作らなくてはいけないんでしょうけど、向こうから何も話してこないし。
施術者としての思い	業団体への所属	私1人です。前にナカヤマ先生っていう先生がいたんですけど、おじいちゃん先生。あの先生も年も年だから、私が入ったらすぐに辞めちゃいました。
施術者としての思い	社会貢献的活動	探してみたいですね、代わりの会長になる人を探してから辞めようと思ってたみたいで、入って2年ぐらいしたら辞めちゃったよね。いきなり私に上総支部長になってもらえませんかって電話が掛かってきて、やる人いないんだったらしょうがないですねって。仕方なくやっているんですけど。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	うちは10年近くになるかな。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	そんなにならないか。いやいや、開業してからはならない。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	そのぐらいだね。だから開業して8年ぐらいかな。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	筑波の訪問マッサージで、1年いくかいかないかぐらい働いたな。その間もちよこちょこやってたから、自分で。
施術者としての思い	開業までの仕事	筑波の訪問マッサージで、1年いくかいかないかぐらい働いたな。その間もちよこちょこやってたから、自分で。
施術者としての思い	開業への自信	そう。施術室としては準備していなかったんだけど、近所のおじさん、おばさん、仕事やりながら土日とか休みのときに、何人かやってたんですよ。1人試してやってみて、.....それで通ったらもう1人増やそうかなって感じで、徐々に増やして行って、4、5人ぐらい定期的にかかる人がいれば食っていけるじゃないですか。5人ぐらいになったんで、向こうは辞めちゃって開業を本格的にやったんですけど。
取扱患者の状況	定期来院患者	そう。施術室としては準備していなかったんだけど、近所のおじさん、おばさん、仕事やりながら土日とか休みのときに、何人かやってたんですよ。1人試してやってみて、.....それで通ったらもう1人増やそうかなって感じで、徐々に増やして行って、4、5人ぐらい定期的にかかる人がいれば食っていけるじゃないですか。5人ぐらいになったんで、向こうは辞めちゃって開業を本格的にやったんですけど。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	そう。施術室としては準備していなかったんだけど、近所のおじさん、おばさん、仕事やりながら土日とか休みのときに、何人かやってたんですよ。1人試してやってみて、.....それで通ったらもう1人増やそうかなって感じで、徐々に増やして行って、4、5人ぐらい定期的にかかる人がいれば食っていけるじゃないですか。5人ぐらいになったんで、向こうは辞めちゃって開業を本格的にやったんですけど。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	8年ぐらいになるね。
施術者としての思い	インタビューアへの興味	あっという間だね。佐々木先生も長いね、じゃあ。茨城ね。
施術者としての思い	インタビューアへの興味	ははは。もうどっかに家は買ったの。

開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	してない。ただ、和室の客間にベッドを置いて、ソファをそこに置いて、ちょこっと機械入れてやっているだけで、別に改修はしていない。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	してない。ただ、和室の客間にベッドを置いて、ソファをそこに置いて、ちょこっと機械入れてやっているだけで、別に改修はしていない。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	もともとの。お金掛けられないからね。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	最小限。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	患者さんと触れ合えるのはすごくいいことだね、1時間たっぷり濃厚な時間を。別に知らなくてもいいことまで話してくれるし、先生にだけねって教えてくれることもあるしね。信頼してくれるから、いろいろなこと、家族のこととかほかのこと、しゃべってくれて。そういう点では、ちょこっと話すだけじゃなくて、1人の人に対して、すごく深いところまで知ることができるから、そういう点では有り難い仕事だよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	患者さんと触れ合えるのはすごくいいことだね、1時間たっぷり濃厚な時間を。別に知らなくてもいいことまで話してくれるし、先生にだけねって教えてくれることもあるしね。信頼してくれるから、いろいろなこと、家族のこととかほかのこと、しゃべってくれて。そういう点では、ちょこっと話すだけじゃなくて、1人の人に対して、すごく深いところまで知ることができるから、そういう点では有り難い仕事だよ。
施術者としての思い	施術者としての充実感	患者さんと触れ合えるのはすごくいいことだね、1時間たっぷり濃厚な時間を。別に知らなくてもいいことまで話してくれるし、先生にだけねって教えてくれることもあるしね。信頼してくれるから、いろいろなこと、家族のこととかほかのこと、しゃべってくれて。そういう点では、ちょこっと話すだけじゃなくて、1人の人に対して、すごく深いところまで知ることができるから、そういう点では有り難い仕事だよ。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	逆に嫌になることもあるけどね。話したくない人もいるし、しゃべりづらい人もいるしね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	いろんなタイプがいる。全くしゃべらない人もいるし、逆にずっとしゃべっている人もいます。聞きたくもないようなことを言う人もいるしね、自分の自慢話とか、孫の自慢話ずっとされてもね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	A:聞いているのがもう本当に。ボケ老人かと思うほどだよ、ずっと同じこと、孫の話ね、自分の子供の話をずっとしている人もいるし。
施術者としての思い	施術者としての責任感	うん。それが仕事だからね、聞いてあげるのもね。
施術内容・方法	施術内容	施術はそんなに大きくは変わってないね。学校で習ってきたことに、プラスアルファをちょっとぐらいしているぐらいで、基本はもう学校で習ったこと。
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	マッサージ中心ですね。どうしてもこの関東近郊、関東近郊っていても、ここ茨城県の県民性的に、鍼灸がまだまだ浸透していないんですね。「鍼やりますよ」って言うと、怖がっちゃう患者さんが多いので。まず取っ掛かりでマッサージから入ってきて、患者さんのほうから先生の所は鍼はやっているんですかとかっていうふうに聞いてきたら鍼をやりますけれども、こっちから鍼のほうがいいよとかって無理矢理には言えないです。
施術内容・方法	施術に対する考え方	マッサージ中心ですね。どうしてもこの関東近郊、関東近郊っていても、ここ茨城県の県民性的に、鍼灸がまだまだ浸透していないんですね。「鍼やりますよ」って言うと、怖がっちゃう患者さんが多いので。まず取っ掛かりでマッサージから入ってきて、患者さんのほうから先生の所は鍼はやっているんですかとかっていうふうに聞いてきたら鍼をやりますけれども、こっちから鍼のほうがいいよとかって無理矢理には言えないです。
施術内容・方法	鍼施術	でもね、鍼をやる方は3割ぐらいです。
施術内容・方法	施術内容	まあ、鍼だけをやりに来る人はいないけれども、鍼プラスマッサージ、あん摩が1時間でやるような感じかな。
取扱患者の状況	患者数	基本は鍼灸で1時間、あん摩だけだと45分。45分単位で施術をやって、準備、片付けやったり、次のお客さんの準備したりして、15分ぐらい間を空けて、またすぐ1時間だったり45分だったりいろいろ。午前中に3人、午後にやって6人。
施術内容・方法	施術時間	基本は鍼灸で1時間、あん摩だけだと45分。45分単位で施術をやって、準備、片付けやったり、次のお客さんの準備したりして、15分ぐらい間を空けて、またすぐ1時間だったり45分だったりいろいろ。午前中に3人、午後にやって6人。

現在の施術料収入	施術料	うちはマッサージ45分で3,000円、鍼灸で1時間やったら4,000円。
施術内容・方法	施術内容	鍼灸とマッサージで。
現在の施術料収入	安い施術料	お得なんですよ。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	お灸はね、かみさんいるときじゃないとやらない。めったにやらない、だからね。本当はやりたいんだけどね。助手さんがいれば、ここそこにお灸してって指示してね、やりたいんだけど。
施術内容・方法	灸施術	お灸はね、かみさんいるときじゃないとやらない。めったにやらない、だからね。本当はやりたいんだけどね。助手さんがいれば、ここそこにお灸してって指示してね、やりたいんだけど。
施術者としての思い	家族の協力	お灸はね、かみさんいるときじゃないとやらない。めったにやらない、だからね。本当はやりたいんだけどね。助手さんがいれば、ここそこにお灸してって指示してね、やりたいんだけど。
施術内容・方法	使用する灸	そうですね。台座付きのお灸。まあ、もぐさもやるときもあるけど、基本はお灸未経験者が多いから、台座灸で。
施術内容・方法	刺激量	患者さんに合わせてでしょうかね。元気な方は比較的刺激量を求めるから、まずはうつぶせで寝てもらって、ぐいぐい最初から押すんですけど、お年寄りの場合はそんなに刺激量はいらないので、まずは側臥位で寝てもらって、話しながら、リラックスしてもらいながら、徐々に攻めていくっていう感じとかね。やり方は少しずつ人によって、どこから始めるのかは変えていく。あとは、主訴があれば、主訴を先にやって、大分ほぐれてきたと思ったら全身に移るとか、そういうような感じですかね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	患者さんに合わせてでしょうかね。元気な方は比較的刺激量を求めるから、まずはうつぶせで寝てもらって、ぐいぐい最初から押すんですけど、お年寄りの場合はそんなに刺激量はいらないので、まずは側臥位で寝てもらって、話しながら、リラックスしてもらいながら、徐々に攻めていくっていう感じとかね。やり方は少しずつ人によって、どこから始めるのかは変えていく。あとは、主訴があれば、主訴を先にやって、大分ほぐれてきたと思ったら全身に移るとか、そういうような感じですかね。
施術内容・方法	患者のニーズ	患者さんに合わせてでしょうかね。元気な方は比較的刺激量を求めるから、まずはうつぶせで寝てもらって、ぐいぐい最初から押すんですけど、お年寄りの場合はそんなに刺激量はいらないので、まずは側臥位で寝てもらって、話しながら、リラックスしてもらいながら、徐々に攻めていくっていう感じとかね。やり方は少しずつ人によって、どこから始めるのかは変えていく。あとは、主訴があれば、主訴を先にやって、大分ほぐれてきたと思ったら全身に移るとか、そういうような感じですかね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	患者さんに合わせてやっていますね。全部単一的に同じようなやり方だと、気に入られなくなっちゃうから、患者さん重視で気に入ってもらえるようなやり方を工夫しながらやっていますけどね。
施術内容・方法	患者のニーズ	患者さんに合わせてやっていますね。全部単一的に同じようなやり方だと、気に入られなくなっちゃうから、患者さん重視で気に入ってもらえるようなやり方を工夫しながらやっていますけどね。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	見えないことではあるね。患者さんが、よく「ここが痛いんだよ」って、痛い所を手で指し示しても、どこが痛いんだか分からないから、結局「どこですか」と聞き直して、触ってもらって、そこを指で確認しながらやっていますけど、そういう手間暇は、面倒くささがありますね。あとは、文字が書けないから、お客さんにこっちの内容を伝えるのに文字では伝えられないんでね。次回の予約時間とか。
施術者としての思い	家族の協力	それは書いてもらう、家族に。いないときは前もって次の予約も決めちゃって、大体この時間だというのを、1日分書いてもらって、それを渡しているっていう感じです。
施術者としての思い	家族の協力	スタッフは家族です。かみさんと、うちのおやじとおふくろ。家庭内工業。
施術内容・方法	自宅での施術	訪問が主体。訪問が大体7割、来てもらうのが3割、4割ぐらいかな。
施術内容・方法	訪問による施術	訪問が主体。訪問が大体7割、来てもらうのが3割、4割ぐらいかな。

施術者としての思い	家族の協力	それも家族がいるときに移動できるようにしないとイケませんね。
視覚障害の状況	移動手段の確保	それも家族がいるときに移動できるようにしないとイケませんね。
施術所の経営状況	往診料頼みの施術	施設はね、そうですね、まとめてできればいいんですけども、まとめてやっちゃうと往療料が取れないんですよ。
施術所の経営状況	往診料頼みの施術	だから、1日1人、若しくは2人ぐらいですね。やってほしいっていう要望もあるのはあるんだけど、まあ、往療料取れないとこっちも商売にならないんで。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	こっちは、ほかにちょっと患者さんたくさんいるんで、ちょっと午前中に1人か2人しかできないんですけどっていうような感じで、断りながらね、やってますけど。
施術内容・方法	訪問による施術	大変。本当はちゃんと一人一人金額がもらえれば、まとめてドーンとやっちゃったほうが効率はいいしね、有り難いんだけど、まあ、そういう法律になってないからね。
施術所の経営状況	往診料頼みの施術	そういう仕組みになってないから、一軒一軒細かく回っていくしかないよね。
営業努力に関すること	広報活動	営業はね、本来、見えていけばいろいろ施設に行ってケアマネとか、施設長の方にお話してやりたいのは山々なんだけど、結局移動手段も家族に頼まなくちゃいけないし、家の者は嫌がるんだよね、そういうのしたくないから。うちのおやじ、おふくろなんてのは田舎者だし、かみさんも余り一緒に出たくないタイプだから、行ったり来たりするのが、そういうところは嫌なんだよね。まあ、こっちも施術もあるしね、普通の一般の仕事もあるし、なかなかできないんでね。
営業努力に関すること	口コミの効果	今やっている施設の人は、患者さんの家族の人がやっていたりとか、あとは俺のもとの友だちがやっていたりとか、そういう患者さん絡み、自分の知り合い絡みで行っている所だけだから。あと、向こうのケアマネさんのほうから家に来てくれて、こういう患者さんがいるんだけど、「先生、やってくれますか」とっていう話から、そこからのつながりでもらってたりとか。
営業環境に関すること	同業者との関係	そうそう。結構こっちの県南のほうでも、チャンスとか、いろいろ訪問系のマッサージの会社が来るんですよ。周りの施設なんかはそういう会社が来てやっていますよね。今まで、4、5年前ぐらいまではなかったんだけど、こここのところは営業かけられちゃって、上から来てますわ。
営業努力に関すること	口コミの効果	ここに来る人は口コミ。うちは宣伝やってないから。
営業努力に関すること	広報活動	電話帳は載せてる。でも、今まで電話帳で掛かってきたのは、この8年間やっていて2件だけ。
営業努力に関すること	広報活動	あとは冷やかかし。掛かってきて、そこは料金が幾らなんですかと。「料金は幾らですか」といきなり聞いてくるのは、大体他の業者なんだよ。そういうのばかりで、あとはセールスだよ。余計な電話ばかり。お客さんから電話が掛かってきて、お客さんになってくれたのは2人だけ。
営業努力に関すること	電話帳の効果	あとは冷やかかし。掛かってきて、そこは料金が幾らなんですかと。「料金は幾らですか」といきなり聞いてくるのは、大体他の業者なんだよ。そういうのばかりで、あとはセールスだよ。余計な電話ばかり。お客さんから電話が掛かってきて、お客さんになってくれたのは2人だけ。
施術内容・方法	患者への配慮	電話帳はよくないね。でも、載せてないとね。何か連絡取ったりね、患者さんのほうも急に連絡を入れたっていう場合に、電話帳に載せていないと調べられないから。
営業努力に関すること	広報活動	広告はね、時刻表に1回載せたときがあります。
営業努力に関すること	地元企業との関係	うん。折込みのチラシで、関鉄の時刻表が来るんですけど、その端っこのほうに企業が10社か20社ぐらい広告するんですよ、ちょっとしたスペースです。そこをお願いしますよって言われたから、うちはそんな所に載せてもらってもって言ったんだけど、しつこく電話が掛かってくるから。
営業努力に関すること	広報活動	そうそう。この金額、今回だけであれなんで「半額以下にしますんで」と言うから、「1万ならいいよ」と言って。
営業努力に関すること	広報のコスト	最初は3万とか4万とかって言ってたんだけど、払えないよって言ったら。
営業努力に関すること	広報の効果	全くなし。あったのかもしれないけど、分からないよね。「それを見て来た」と言う人はいないからね。言ってくればあれだけど。
営業努力に関すること	広報の効果	そうだね。「時刻表見て来ました」とっていう人はいないです。ちらっと目に入ってくるから、もしかしたら効果はあったのかもしれないけど。はっきりとは分からないよね。

施術者としての思い	研修への参加	全然、特にはやってないな。まあ、大学でそういう経営の勉強はしてきたけど。あと、ちょくちょくビジネス系のニュースは見るようにしてるけど、特に何かお金を払って講座を聴きに行くとか、そういうことは今のところはやってないですね。でも、鍼灸師会のほうで、何回か経営的なことの講座はあったけど、聴いていても大したことは言ってないよ。専門的な言葉を並べて言っているだけで。
施術所の経営状況	経営についての学習	全然、特にはやってないな。まあ、大学でそういう経営の勉強はしてきたけど。あと、ちょくちょくビジネス系のニュースは見るようにしてるけど、特に何かお金を払って講座を聴きに行くとか、そういうことは今のところはやってないですね。でも、鍼灸師会のほうで、何回か経営的なことの講座はあったけど、聴いていても大したことは言ってないよ。専門的な言葉を並べて言っているだけで。
施術所の経営状況	地域に合った経営	個人個人で違うからね、そこの成功した人の事例で言われても、こういう田舎じゃ全然違うしね。茨城だって、つくばとか守谷とかのほうに行くと、もう大都市だから、そういう所のやり方とこっちの田舎のやり方とじゃ全然違うもんね。
営業努力に関すること	口コミの効果	そうですね。この仕事はそうだと思いますよ。いくら宣伝かけても、結局評判、口コミが大事だから。今は結構どこの業界もそうですよね。
取扱患者の状況	患者数	平均すると6、7人ぐらいですか。多いときで10人。
取扱患者の状況	患者数	ないない。朝の8時からやって、夜の8時ぐらいまで。お昼の休憩を1時間入れて、あとは移動とかあると、ほとんどないね、10人だとね。少ないときで4人ぐらいかな。
取扱患者の状況	患者の状態	差があるね。ドタキャンする人も結構いるから、当日出掛けることになっちゃったとか、病院へ行かなくちゃいけないとか。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	あ、今は出ないですよ。それが一番困るんだよね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	書いてくれなくなっちゃった。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	そういうわけでもない。1回はやってあげるけど、2回目は無理だよって、この間も言われちゃったみたいで。1回目は書いてあげたけど、3か月も半年も掛けて治らない所だったら行くんじゃないかって言われて。
施術内容・方法	医療機関との連携	そういうわけでもない。1回はやってあげるけど、2回目は無理だよって、この間も言われちゃったみたいで。1回目は書いてあげたけど、3か月も半年も掛けて治らない所だったら行くんじゃないかって言われて。
取扱患者の状況	患者の状態	怒られたから、もうそこには行かないなんて言ってたけど、おばあちゃんも。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	もともと変な先生だったみたいだけども、その先生。今こどもでも8割方は書いてくれないよ。
施術所の経営状況	医師の判断	適用になる人も、見方次第なんだけども。腰が痛いって言えば、みんな腰痛だし、本来ならもらってもいいはずなんだろうけれども、なかなか検査しても分からないところがあるからね。レントゲンを幾ら撮っても。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	適用になる人も、見方次第なんだけども。腰が痛いって言えば、みんな腰痛だし、本来ならもらってもいいはずなんだろうけれども、なかなか検査しても分からないところがあるからね。レントゲンを幾ら撮っても。
施術所の経営状況	医師の判断	腰ね、幾らレントゲンで異常なくても痛い人は痛いし、痛くない人は痛くない。 よほど寝たきりで拘縮も激しくて、この患者さんは絶対にやったほうがいいだろうなっていう患者さんも、くれないっていう先生もいますよ。私は反対ですって言われて。やると「骨が折れちゃいますよ」って言われて。「骨が折れるまでやりませんよ、先生、分かりますよ、そのぐらい」って言うんですよ。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	腰ね、幾らレントゲンで異常なくても痛い人は痛いし、痛くない人は痛くない。 よほど寝たきりで拘縮も激しくて、この患者さんは絶対にやったほうがいいだろうなっていう患者さんも、くれないっていう先生もいますよ。私は反対ですって言われて。やると「骨が折れちゃいますよ」って言われて。「骨が折れるまでやりませんよ、先生、分かりますよ、そのぐらい」って言うんですよ。
施術所の経営状況	医師の判断	私は反対ですとか言って。このままにしておいたほうがいいですって。先生が。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	うん。じゃあ無理ですねって帰ってきたけどさ。医者がもうほとんど書いてくれないんです。

施術内容・方法	医療機関との連携	難しいですね、今はね。書いてくれる先生数人をお願いしに行くという感じ。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	難しいですね、今はね。書いてくれる先生数人をお願いしに行くという感じ。
施術内容・方法	医療機関との連携	そうそう。かかっている主治医の先生に駄目だって言われたら、私の知っている先生がいますから、そこに行って何回か受診して、それで書いてもらってくださいってお願いして、来るっていう場合が多いですね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	そうそう。かかっている主治医の先生に駄目だって言われたら、私の知っている先生がいますから、そこに行って何回か受診して、それで書いてもらってくださいってお願いして、来るっていう場合が多いですね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	A:同意をもらうのはね、うん。本来は口頭同意で構わないんだけど、最近はどうさくなっちゃって、同意書もらってこないと駄目だと言ってわれちゃうから、面倒くさいけどもらってきてってお願いして。
施術者としての思い	家族の協力	そうそう。まだそこまでいっていないので、自分でできるけど。盲人の人でもやってる人はいるみたいだね。
施術内容・方法	レセプトの索性	うん。音声ガイドでね。そういうソフトもあるみたいなんだけど、厳しいよね。
施術内容・方法	レセプトの索性	間違っちゃいけないし、返戻で戻ってきちゃうしね、1個でも抜けたらね。 今は、鍼灸師会のほうでも、お金を払えば事務員の人が代行してくれるみたいだから。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	そうそう。少しサポートしてくれる人がいれば、盲人の人でもできないことはないですよ。同意書取ってきてもらって、基本的な情報とか、そういうのを事務員の人に伝えれば向こうでしてくれるから。レセプトが大変なんですよ、レセプトと移動。
施術内容・方法	レセプトの索性	そうそう。少しサポートしてくれる人がいれば、盲人の人でもできないことはないですよ。同意書取ってきてもらって、基本的な情報とか、そういうのを事務員の人に伝えれば向こうでしてくれるから。レセプトが大変なんですよ、レセプトと移動。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	そうそう。少しサポートしてくれる人がいれば、盲人の人でもできないことはないですよ。同意書取ってきてもらって、基本的な情報とか、そういうのを事務員の人に伝えれば向こうでしてくれるから。レセプトが大変なんですよ、レセプトと移動。
施術者としての思い	視覚障害に伴う不便さ	いや、訪問ね、車に乗って行かなくちゃいけないから。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	いや、訪問ね、車に乗って行かなくちゃいけないから。
施術所の経営状況	医師の判断	こんな施術治療で保険でやってたら、マッサージなんて、1か所285円でね。たまに先生で1か所しかを付けてこない先生がいるんです。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	こんな施術治療で保険でやってたら、マッサージなんて、1か所285円でね。たまに先生で1か所しかを付けてこない先生がいるんです。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	先生は分からないから、そんな金額なんてね。まあ、往療付くからいいかって感じで。それでも涙ちょちょ切れるよね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	いや、そんなことないですよ。ちゃんと同意書の所に傷病名が書いてあれば、要は両膝変形膝関節症とか、頸椎症とかって、体幹と左右で大丈夫です。まあ、病名は何だって構わない。老齡症候群みたいな感じでも構わないし、筋麻痺と筋萎縮とね。
施術所の経営状況	医師の判断	何か付ければ。ただ、本当に医者を書くか書かないかだけの話だから。
営業環境に関すること	社会情勢	何年前かな、2年か3年ぐらい前かな、茨城の医師会の会長が通達で回したんだよね、同意書を勝手に書くなって。書くんだったら覚悟をもって書きなさいって。専門の先生じゃないと書けないんだから、整形の先生じゃないと書けないんだから、内科の先生とかほかの診療の先生が同意書を書いても構わないけど責任をもって書きなさいというふうに、通達が何回も何回も回ったみたいです。それ以来、ほとんど書かなくなっちゃって。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	多分ね。1回そういうのを目にしちゃった先生は、書けなくなっちゃうだろうね。できれば、医師会のほうの間違ったというか、極端な意見は、我々の業界にとってはちょっと厳しいね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	特に、盲人でやっている我々みたいなね。仕事なくなっちゃうから。

営業環境に関すること	同業者との関係	荒しているのは晴眼者の資格を持っていない経営者が。
営業環境に関すること	不正請求の実態	1か月、30日しかないのに25回行っているとかね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	毎日行っているようなもんだよ。
営業環境に関すること	不正請求の実態	毎日行っているようなもんだよ。
施術内容・方法	医療機関との連携	面倒くさいよね。本当に面倒くさい。いろいろ御機嫌も伺いに行かなくちゃいけないでしょ。やっぱり書いてもらって書き放しっていうわけにもいかないから、たまに手土産を持って行ったりとか。
施術所の経営状況	医師の判断	そういうことまでしながらやってんだけどね、それでも書かなくなっちゃった先生は何人もいるよね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	そういうことまでしながらやってんだけどね、それでも書かなくなっちゃった先生は何人もいるよね。
施術内容・方法	医療機関との連携	最初に行ったときは、先生みたいに丁寧に挨拶しに来てくれる鍼灸の先生は初めてですよなんて言われて、ウェルカムみたいな感じで、書きますからって言ってた先生が、その医師会の会長から回ってきた途端に、こういうのは書けません
施術所の経営状況	医師の判断	最初に行ったときは、先生みたいに丁寧に挨拶しに来てくれる鍼灸の先生は初めてですよなんて言われて、ウェルカムみたいな感じで、書きますからって言ってた先生が、その医師会の会長から回ってきた途端に、こういうのは書けません
施術所の経営状況	医師の判断	今まで書いていた患者さんは書きますけれども、新規に来る患者さんには、うちは内科しかやってない、書けないからって言われて、こいつ何なんだって、小さい男だと思って。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	基本的には主治医の先生がかかりつけのお医者さんに書いてもらうのが一番いいっていうふうに厚生労働省の通達では回っているんだけど、それは基本的なことだから、医師免許を持っていれば誰でも書ける。眼科医でも産婦人科医でも。
施術者としての思い	施術者としてのキャリア	俺、最初に自分で困おうと思って書いてもらったのは眼科医の先生。肩が張るから鍼の先生にかかりたいんですなんて言いながら書いてもらった。眼科医でも書いてくれるんだと思って。
施術所の経営状況	医師の判断	俺、最初に自分で困おうと思って書いてもらったのは眼科医の先生。肩が張るから鍼の先生にかかりたいんですなんて言いながら書いてもらった。眼科医でも書いてくれるんだと思って。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	書いてくれた。あとね、うちの患者さんで耳鼻科の先生に書いてもらった患者さんがいる。いつも行っている所は耳鼻科だからって言って。えー、書いてくれって。試しにこれ持って行ってみてって言ったら、書いてくれた。
施術所の経営状況	医師の判断	書いてくれた。あとね、うちの患者さんで耳鼻科の先生に書いてもらった患者さんがいる。いつも行っている所は耳鼻科だからって言って。えー、書いてくれって。試しにこれ持って行ってみてって言ったら、書いてくれた。
施術所の経営状況	医師の判断	そうそう。逆に、整形の先生のほうが書いてくれないからね。
施術所の経営状況	医師の判断	プライドが高いんでしょうね。これでやるんだったら、うちではできないよなんて言われて、患者さんはびびっちゃうからね。
取扱患者の状況	定期来院患者	数えてはないけど、かみさんに聞けば分かるけど、何人ぐらいいかな。20人ぐらいいかな。まあ、週に3回やる人もいるし、週に1回しかやらない人もいるし、少ない人だと月に1回とか2回の人もあるからね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	うん、保険の人はね。
取扱患者の状況	定期来院患者	定期的に来るのは、2、3人ぐらい。あとは不定期。1か月に1回電話が掛かってくる人もいれば、1年に1回ぐらいしか掛かってこない人もいるし、必ずお盆中に掛けてくる人もいる。
取扱患者の状況	定期来院患者	お盆休みなんじゃないの。
施術者としての思い	地域の特性	有り難いのは有り難いですけどね。それが1年に1回じゃね、商売にならないからね。安定した資金が欲しいからね。もうちょっと水戸とか土浦、つくば辺りの大都市だったら、所得層が高くなるから、現金で来るお客さんも増えるんだと思いますけど、この周りが田んぼだらけの田舎の状況だと所得が高いとはいえないから。

取扱患者の状況	患者の状態	みんな年金生活者で、本当に日々の暮らしも大変だっていう。国民年金の、じいちゃんばあちゃんが多いから。1,000円だって2,000円だって惜しいわけです。そういう人が、3,000円も4,000円も5,000円も払って来れないね。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	あるんですけど、1年に6,400円ぐらい。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	ああ、1,000円で考えるとね。6,400円分だと、うちでは2回分しかできないから。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	そう。2枚くれて、1回で3,200円分のチケット。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	それは自由。だから、6,400円分一気にもらって、それで1,000円ずつに分けて使ってもいいし、それは先生と患者さんで話し合って決めてやってくださいという感じで言われたんで。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	患者さんによって。 Q:じゃあ、全額それで払っちゃってもいいってということですか。 A:全額それで払っちゃってもいいし、分けてもいいし、いろいろだね。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	持って来る人はいますよ。でも、告知度が低いせいか、回覧版でしか回って来ないから、サッと見ないで流しちゃう人が多いんだよね。見ても何だか分かんないみたいな感じで。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	70歳以上。日立支部はすごいよね、あっちは。
施術所の経営状況	他の市町村の状況	そのぐらいあるとね。日立も多くなったよね。
取扱患者の状況	患者数	1日平均6人と考えて、休みの日を入れて、休みの日はそんな取らないんで、25日分で150人ぐらいになるかな。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	7、8割ぐらいが保険。現金で来る患者さんは1、2割ですね。あとは補助券で、それも数人いる。
周囲のサポートに関すること	公的な補助	基本的に、1回1枚で使ってくる人が多い。3,200円分で、45分。200円多めにもらっちゃうんですけど、それは1回分ということ。
営業環境に関すること	同業者との関係	そうだね、あれだね、最近流行の2,980円がこの辺にもいっぱいできてるんですよ。
現在の施術料収入	施術料に対する考え方	だから多分、4,000円取っちゃうと高いついていうイメージになっちゃうと思って、2,980円じゃなくて、きりのいい3,000円にして、3,000円1時間じゃできないから、45分単位で休憩も入れて、1時間ずつ回せばちょうどいいかなと思って、2,000円45分やったんですけど。
営業環境に関すること	同業者との関係	2,980円の影響が大きいな。看板に「2,980円」と出ているからね。
営業環境に関すること	同業者との関係	インパクトが高いね。また、混んでいるんだ、結構ね。
営業環境に関すること	同業者との関係	あるよね。気軽に立ち寄れそうな感じの所だから、若い人はみんなあそこへ行っちゃうよね。
現在の施術料収入	施術料	変わってない。最初は1時間3,600円でやっていたんですよ。ちょっと3,600円じゃ安いなと思ったんで、1時間やる場合は3,800円にしよう。それは途中で変えた。でも、3,600円でずっとやっている人には上げていなくて、3,600円のまま。新しく来た人には3,800円。
施術内容・方法	施術方法	1時間3,800円。45分はちょうどきりがいいので3,000円。長い時間やっていく人もいますけどね、75分とか90分とかやりたっている人もいる。
現在の施術料収入	施術料	1時間3,800円。45分はちょうどきりがいいので3,000円。長い時間やっていく人もいますけどね、75分とか90分とかやりたっている人もいる。
施術内容・方法	施術時間	1時間3,800円。45分はちょうどきりがいいので3,000円。長い時間やっていく人もいますけどね、75分とか90分とかやりたっている人もいる。
施術内容・方法	施術時間	うん、そしたらその都度プラスで、800円ずつ上がっていく。その辺の金額的な絡みっていうのは、地域によるよね。
現在の施術料収入	施術料	うん、そしたらその都度プラスで、800円ずつ上がっていく。その辺の金額的な絡みっていうのは、地域によるよね。
取扱患者の状況	患者数	本来なら、1時間で5、6,000円ぐらい欲しいんだよね。でないと、そんなにお客さんも来ないし、1日、保険をやらなかったら、現金で来るお客さんなんていうのは4人か5人ぐらい、4人来ればいいよね。
施術料収入に関すること	収入の見込み	それで3,000円でやっていたら、1万ちょっとだからね。暮らしていけない。休みの日も入れるとね、何とかギリギリやっていけるかなって感じです。店を自分で持ってやっていたら、1万ぐらいじゃ、ちょっと難しいね、経費削っちゃったからね。
取扱患者の状況	患者数	よほど、ひっきりなしに来ないとね。

現在の施術料収入	年収	売上げで言うと、いろいろあるけど施術だけでいったら、600、700万ぐらいかな。
施術料以外の収入	副収入	それ以外の収入はそんなないんだけど、不動産とか、株とかそういうのだけど、ほかは商品売ったりいろいろ、うちはやっていないから。
施術料以外の収入	年金の受給	年金もらってる。
施術料以外の収入	年金の受給	障害年金。微々たるものだけどね。結構大きいわな、あれをもらえているとね。万が一のときは、それだけでギリギリ。
施術料収入に関すること	収入の見込み	厳しいですね、それだけじゃね、とてもじゃないけどね。こうやって持ち家があればまだいいけどね。なかったら厳しいだろうね。
施術者としての思い	家族の協力	ばあさんがたまにアルバイトに行くだけ。かみさんもこの仕事を手伝っているし、うちのおやじは定年して家にいるから。
施術者としての思い	地域の特性	そうでしょ。田舎じゃなかなか患者さんが来ないから。
取扱患者の状況	患者の状態	少ないし、移動も掛かるしね。田舎だから、もともとマッサージやりたいなんていう人も少ないからね。この間、老人ホームに行ってサービスでやってあげた人なんか、95で「初めてマッサージになんてかかったよ」なんて言われて、何人もいるんだから。「冥土の土産でよかったよ」なんて。
取扱患者の状況	患者の状態	マッサージっていうと贅沢なものなんだろうね。
施術内容・方法	施術に対するイメージ	そうそう。よほど腰が痛いだの歩けないだのとなったらかかるけど、普段ちょっと肩が張るとか、腰が痛いぐらいじゃ、かかるもんじゃないっていうような感じなんだよね。贅沢なものだと。近所の人からも変な目で見られるから。
取扱患者の状況	患者意識	そうそう。あの母ちゃんは仕事もやらないでマッサージなんか受けるわ、みたいな感じで見られるのが嫌なんだよね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	開業でいけると思ったのは、保険が使えるからだよ。自費だけじゃ、とてもじゃないけど、この田舎じゃ無理だよな。年金暮らししているおじいちゃん、おばあちゃんが、1回当たりの施術の料金で200円か300円ぐらいだったら、定期的にやってくれるんだろうなと思ったから、保険があったから開業したんで、保険がなければ、こんな所ではとてもじゃないけれども開業できなかったね。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	いない。多分、俺が水海道じゃ初めてだと思う。周りの市町村の先生で、晴眼の先生でK先生もいるだろうけど、盲人でやったのは私が初めてだと思う。
営業環境に関すること	社会情勢	ああ、そういうものもあるね。今みたいに、いろいろな業者が入り込んできている状態でやるかと言ったら、ちょっと悩むかもしれない。同意書を書いてくれないでしょう。10年前ぐらいまでは、行けば「書いてあげるよ」っていう先生がまだいたから、これならいけるなと思ったんだよね。今、多分挨拶しに行くと「うちは、そういうのはできないんだよね」っていう所が多くなっちゃってるから、それでまず凹むかもしれない。
営業環境に関すること	同業者との関係	ああ、そういうものもあるね。今みたいに、いろいろな業者が入り込んできている状態でやるかと言ったら、ちょっと悩むかもしれない。同意書を書いてくれないでしょう。10年前ぐらいまでは、行けば「書いてあげるよ」っていう先生がまだいたから、これならいけるなと思ったんだよね。今、多分挨拶しに行くと「うちは、そういうのはできないんだよね」っていう所が多くなっちゃってるから、それでまず凹むかもしれない。
施術所の経営状況	経営のノウハウ	うん。あとはノウハウだよな。今まで、盲学校でも保険で開業した先生なんてのはいなかったじゃない。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	どうやっていいのかさっぱり分からなかったから、自分で一生懸命調べてやるしかなかったけど。きちんとノウハウが卒業する前に伝わっていれば、卒業したらすぐにやろうと思うかもしれないけど、今の盲学校では限界があるでしょ。
施術所の経営状況	経営のノウハウ	決めてた。けど、やはりいきなりじゃ怖かったから、1回訪問系のマッサージで働いてみて、やり方をちょっと盗んでからやろうかなと思ったから。本当はつくばの訪問系のマッサージで2年ぐらいやろうかなと思ったんだけど、また社長がひどいの上
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	決めてた。けど、やはりいきなりじゃ怖かったから、1回訪問系のマッサージで働いてみて、やり方をちょっと盗んでからやろうかなと思ったから。本当はつくばの訪問系のマッサージで2年ぐらいやろうかなと思ったんだけど、また社長がひどいの上

施術者としての思い	開業までの仕事	うん。障害者を人間として見てくれないと言うかね、適当に扱われてね。
施術者としての思い	経営者の不当な扱い	道具だね。結局給料も安くて、丸一日いても1か月で15、6万ぐらいかな。
施術者としての思い	経営者の不当な扱い	バスの時間がないから早く帰りたいと言ったら、「いいよ」って言うからそのまま帰ってたんです。定時の1時間ぐらい前かな、お客さんもいないし、訪問だから施設を回って、3時ぐらいには事務所に帰ってきて、2時間ぐらいボケッとしているだけなんです。お客さんいないならいいですかって言って、バスの時間がなくなっちゃうから1時間ちょっと早く帰ってたのね。そしたら、給料が振り込まれたら、その1時間半ぐらい全部削ってあるの。で、時給も、その削った分がめちゃくちゃ高く計算されててね、手取りが7万か8万ぐらいになっちゃったのよ。
施術者としての思い	経営者の不当な扱い	削るんだったら前もって言ってくれよって感じだよな。
施術者としての思い	開業までの仕事	ね、こっちだって生活あるんだからさ。
施術者としての思い	経営者の不当な扱い	すごい削り方だよな、給料半分になっちゃうんだからね。そういうやり方されるしさ。向こうは障害者雇用の手当でね、ほぼただ働き同然でやらせてるんだからね。
施術者としての思い	開業までの仕事	うん、1年ちょっとね。話を聞いていると、どこもそうだよな。
施術者としての思い	経営者の不当な扱い	無下に扱われちゃう場合が多いね。
施術内容・方法	経営者の施術に対する考え方	金儲けの手段になっちゃってるからね、施術者側に立っていないから。利用者からどっかが痛いとか、何かひどいことされたみたいなことを言われると、マッサージは軽くていいからとか、首はもまないでくれ、足はやらないでくれとか、それを全部の患者さんに対してやらないでくれっていうような話になっちゃったりして、足をもまない、首をもまないんじゃ、どうやってマッサージするんだよって。
施術者としての思い	経営者の適性	出ないように。寝たきりのおばあちゃんに少しやってあげて、動かしてあげたりすると喜ぶのにさ、動かすのは絶対に駄目とかさ、けがさせちゃうとまずいとか。動かさないでどうやってやれって言うんだよ。
施術内容・方法	経営者の施術に対する考え方	出ないように。寝たきりのおばあちゃんに少しやってあげて、動かしてあげたりすると喜ぶのにさ、動かすのは絶対に駄目とかさ、けがさせちゃうとまずいとか。動かさないでどうやってやれって言うんだよ。
営業環境に関すること	同業者との関係	うん。今、卒業生もチェーンに。
視覚障害の状況	盲学校への入学	入っちゃう人が多いでしょ。
施術者としての思い	後輩への思い	大丈夫ですか、その若い子たち。
営業環境に関すること	同業者との関係	今はどこが多いんですか。
営業環境に関すること	同業者との関係	レースが多いんだ。レースでも、県北のほうでしょ。
施術所の経営状況	給料体形	ああ、そうか。時給なんだね。
営業環境に関すること	同業者との関係	安いな。その辺の高校生のアルバイトのほうが。
施術者としての思い	後輩への思い	高いし、そうしたら運転手のほうが高いんじゃないの。
営業環境に関すること	同業者との関係	そうですか。運転手でも800円じゃ安いもんね。
営業環境に関すること	同業者との関係	こっちのほうでありますか、訪問系の……。
営業環境に関すること	同業者との関係	どのぐらい前の卒業生ですか。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	残ってたんですよ。だから、盲学校に1人で行けたんですよ、高速バスに乗って。乗り継ぎ、乗り継ぎで。今はできないな。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	病気になり始めたの。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	23のとき。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	会社に入って、すぐぐらい。で、筑波大の近くの眼科に行ったんだけど、これはうちでは診られないので筑波大に行ってくださいと言われて、すぐに筑波大に行って、そのときも先生自体は分かっていたんだろうけど、確定させるまでに1年ぐらい掛かったね。いろいろ検査して、教授会が何かで話し合って、ようやく病名が決まったんだよなって言われて、ベーチェット病だと言われて。
施術者としての思い	盲学校への入学	それからだから、前の仕事を辞める33までの10年間かな、働いて。で、辞めて1年ぐらいボケッとして、盲学校に入ったのが34か、35か。

施術者としての思い	盲学校への入学	盲学校は、こういうマッサージの仕事しかないだろうなと思って、最初はね、ちょっと調べて、そこの筑波技術大学に行ったんです。そしたら、フジイ先生だったかな、お会いしていろいろ聞いたんだけど、3年間勉強すればいいところを4年間やらなくちゃいけないよというのと、「学費が掛かりますよ」って言われちゃったの、大学だから。補助とか何とか、そういうのはないんですかって聞いたら、「ないです」って言われたから、これは大変だなと思って、ほかの所はないかなと思って、塩原を見に行ったんだ。塩原を見に行ったら設備も古くて、ここから通うの大変だなと思って。温泉があるのはいいけど、周りに何もなし、これで3年間やるのは大変だなと思って、水戸にもあるよっていう話を聞いたんで、水戸にも最後に行って、水戸はお金は掛からないけど試験があるからと思ったんだけど、何とかギリギリ受かったかな。何かしなくちゃいけないというふうに思ってたね、仕事を辞めてから。漠然としたイメージで、盲人で、あん摩マッサージなんだろうなと思って。ほかにも仕事はないかなと思ったんだけど、技術大学に行ったときに、あん摩マッサージ以外の科が、何だっけ。
施術者としての思い	進路への展望	そうそう、情報。情報っていつでも何ができるのだろうと思ってね。パソコンを駆使してやっているって言ってたけど、見えている状態でもパソコンを打つのが大変なのに、見えないで仕事となると、結構難しいだろうなと思って。あと、電話交換手とか、そんな話があったけど、電話交換手も今時な、盲人を使う会社なんてないだろうなと思って。結局、この仕事しかないのかなと思ったからなんだろうね。技術大学に行ったのが、最終的に決まったあれかな。
施術者としての思い	通常の仕事の限界	前の仕事はね、そう。住宅と不動産だったんだけど、見えないと案内もできないし、重要事項説明、契約をするときにお客さんに対して説明をするんだけど、その説明だってできないしね。現況はこうですよ、ああですよとか、杭の位置とか、そういうのはやっぱり見えてないとね、確認できないから。ただ事務所にいるだけで、座っていてね、パソコン打つだけならできるけど、不動産業っていうのはそうじゃないから。現場に行ってお客さんと打合せしてやらなくちゃならない仕事だったんで、ちょっと見えてないと無理かな、難しいかなっていうふうに。上司にも言われちゃったしね。
施術者としての思い	盲学校への入学	そうだね。ちょうど時期的によかったんじゃないかな、ちょうど盲学校の入試が3月だっけ。俺が盲学校に行ったのが正月前だったの、12月ぐらい。願書出さないともう間に合わないよみたいなことを言われて、行って、その次の日か1週間ぐらいのうちに写真を撮ってきて、すぐに送ったんだよね。勉強をどんなふうにすればいいんですかって聞いたら、高校入学ぐらいのあれかななんて言われて、数学とか理科とか勉強しなくちゃならないのって、参考書を買って行ったのが正月だったから、タイミングがよかったんだよね。 その願書を受け付けてもらえなかったら、また来年でしょ。1年間棒に振ったからね。
国家資格の取得	資格取得	覚えてない。何回だったかな。
国家資格の取得	資格取得	今が26回。過去間で結構やったような気がするんだよな。10年分ぐらいやったような気がするんだよな、10何回。
施術者としての思い	年齢	45。先生は幾つ。
施術者としての思い	後輩への思い	施術所として持てればいいですよ。今は自宅の中なので、施術所として独立して、駐車場付きで持てればいいなと思うけど。あとは、できれば、本当はこれからの後輩の人を育てていきたいと思うんだけどね、なかなか今の現状だと人を雇って給料を払えるほど、そこまではいかないから。患者さんがもっといればいいんだけどね。なかなか田舎だと限界があるね。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	地域性の問題	本当は、つくばとか守谷とかにお店を出してやれば、1人か2人ぐらい雇って、一緒にできると思うんだけど、現状だと、この常総市では難しいな。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	ここから守谷までだと、16キロを越える所と越えない所があるけど、行けないことはない。ただ、範囲が広くなっちゃうね。今やっている一番遠い所で8キロぐらいだから。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	常総市内でもやっぱり広いからね。端のほうまで行くと、行って帰ってくるだけで1時間掛かるからね。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	片道30分ぐらい掛かる所もあるから、そんな所だと効率が悪くなっちゃうんで。

施術所の経営状況	保険の取り扱い	はい。午前中に遠い所を1人やって、近場を1人か2人かやって、午後にまた反対側の遠いほうに行って、近場をちょこちょこって帰ってくるとか。
施術所の経営状況	往診の順	はい。午前中に遠い所を1人やって、近場を1人か2人かやって、午後にまた反対側の遠いほうに行って、近場をちょこちょこって帰ってくるとか。
施術所の経営状況	保険の取り扱い	そう、相手の都合もあるんだけど、やはり往療料を取れないと話にならないんで、取れるように工夫しながら、この患者さんは1日フリーだなとか、この患者さんは午後しか駄目だなとかっていうのを、うまく頭の中で考えながら順番は決めています
取扱患者の状況	患者の状態	そう、相手の都合もあるんだけど、やはり往療料を取れないと話にならないんで、取れるように工夫しながら、この患者さんは1日フリーだなとか、この患者さんは午後しか駄目だなとかっていうのを、うまく頭の中で考えながら順番は決めています
患者とのコミュニケーションの状況	患者からの信頼	今もそうなんだけど、ずっと長くかかってくれる患者さんは信頼関係ができていし、何でも話してくれるから、家族みたいな感じだよね。亡くなるギリギリまで施術を受けてくれている患者さんは何人もいるけど、印象に残るね。施術して、次の日に亡くなっちゃった患者さんもいるからね。危ないなと思ったんだけど、やってほしいっていうから、やりに行ったら、次の日かその次の日ぐらいに電話が掛かってきて、亡くなっちゃったよなんていうのもあるし。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	今もそうなんだけど、ずっと長くかかってくれる患者さんは信頼関係ができていし、何でも話してくれるから、家族みたいな感じだよね。亡くなるギリギリまで施術を受けてくれている患者さんは何人もいるけど、印象に残るね。施術して、次の日に亡くなっちゃった患者さんもいるからね。危ないなと思ったんだけど、やってほしいっていうから、やりに行ったら、次の日かその次の日ぐらいに電話が掛かってきて、亡くなっちゃったよなんていうのもあるし。
施術者としての思い	施術者としての充実感	有り難いことだよね。本当にやっててね、気持ちいいとか、助かったよっていうふうに言われると、うれしいね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	有り難いことだよね。本当にやっててね、気持ちいいとか、助かったよっていうふうに言われると、うれしいね。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	精一杯やってるけどね、満足度でいったら75%ぐらいかな。もうちょっといききたいね。
施術者としての思い	技術向上の意識	精一杯やってるけどね、満足度でいったら75%ぐらいかな。もうちょっといききたいね。
施術者としての思い	技術向上の意識	そうですね。目指すところはちょっと高めにね。
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	:収入に対する満足度としては、もうちょっと高くて85ぐらいまでいくかな。この障害を持った状態で、これだけでできれば、この田舎だしね。合格かなと思うよね。できれば、この年だから、周りの友だちを聞いていると金額が違うからね。
視覚障害の状況	身体障害者手帳の等級	1種1級。もう全盲になっちゃったから。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	光もない。光覚もない。先生も全然見えないんだよね。
視覚障害の状況	移動の困難さ	よく歩けるね、1人で。
視覚障害の状況	移動の困難さ	いやいや、感心するよ。俺、まだ1人じゃ行けないもん、知らない所。全鍼師会の会合だって行けないもん。この間、福祉会館で鍼灸祭りがあったんだけど、こっちのアカツカのほうだったら行けるんだけど、向こうの福祉会館のほうは。
施術者としての思い	インタビューア－への興味	うん、バスもね。でも、ああいう所でも行っちゃうんでしょ、佐々木先生は。

表 1 9 「対象12」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業継続年数	平成8年の9月。もう20年、21年になる。22年目に入りました。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業準備	そうです。盲学校を卒業してから、卒業と同時に着工して。
施術所と設備に関すること	施術所の建設	そうです。隣が自宅で、もともと農家なんで土地はあって。
施術内容・方法	施術に対する考え方	いつも後悔ですね。あの時、今のこれができてたら良かったんじゃないか。あの時なんでこれができなかったのかって言う後悔。後悔ばかりですね。仕事に関しては充実していると思うんですけど。あの時どうしてこれが分からなかったのかってことが多いです

施術内容・方法	施術内容	大まかには。気を送って、気の調整が終わってからマッサージをしています。あと鍼を進める場合とお灸は全然やらないですけど、メインは気を送ってからのあん摩ですね。
施術内容・方法	施術方法	徐々に目覚めてきたみたいな感じですね。
施術内容・方法	気を用いた施術	うーん、始まった頃からリングをしていて、そのリングの感覚を気で確認して。始まったときから徐々にって感じですね。
施術内容・方法	施術内容	所要時間。短い肩だと10分、長い方だと、病名がつくような症状の重い方だと初診で4・50分かかります、それは様々ですね病態に応じて。その後にあん摩を3・40分。できればトータル1時間で終わりにしようとしてるんですが、初診の患者さんだと1時間20分ぐらい、場合によっては1時間半ぐらいかかることがあります。
施術内容・方法	施術時間	所要時間。短い肩だと10分、長い方だと、病名がつくような症状の重い方だと初診で4・50分かかります、それは様々ですね病態に応じて。その後にあん摩を3・40分。できればトータル1時間で終わりにしようとしてるんですが、初診の患者さんだと1時間20分ぐらい、場合によっては1時間半ぐらいかかることがあります。
取扱患者の状況	患者数	どういうあれか、最初から付いてくれましたね。まあ、コンスタントに患者さんの数が伸びてきましたので。始まった当初でも月に7・80人ぐらい。少ない時はもうちょっと少ないけど、平均7・80人ぐらいやっていますので。極端に落ちたとか、そういうのはないですね。
施術内容・方法	気を用いた施術	患者さんにもよりますが。その状態に合わせて。揉むことのできない方もいらっしゃいますので、その方は気功だけで。
施術内容・方法	気を用いた施術	さまざまですね、それは。あらゆるものがありますね。極端なこと言えば、子供さんが風邪引いたって言うのから、そういうのからアトピーとか。子供さんとかは触ることは一切できないので、気功だけ。
施術内容・方法	施術内容	さまざまですね、それは。あらゆるものがありますね。極端なこと言えば、子供さんが風邪引いたって言うのから、そういうのからアトピーとか。子供さんとかは触ることは一切できないので、気功だけ。
施術内容・方法	施術に対する考え方	そうですね。何が原因でアトピーになってるかで、気の流れで調整しようとしていますね。
施術内容・方法	気を用いた施術	いかに信頼関係を持っていただけるか。その当たりの言葉とか、雰囲気とか、そういうのには気を遣ってますね。技術面はともかくそういうのをまず。オープンになっていただかないと、気功って自分の場合できないんですよ。一般的に行われている外気功ではなくて、外気功ではあるんだけど内気功をしていますから。体内を巡ってくるので患者さんにブロックされるとそれ以上は入れなかったり、気功なんて全然信じられないよって人は見えてこないし。どこでどういう風に繋がれるかって言うのが大事なところではありますね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	いかに信頼関係を持っていただけるか。その当たりの言葉とか、雰囲気とか、そういうのには気を遣ってますね。技術面はともかくそういうのをまず。オープンになっていただかないと、気功って自分の場合できないんですよ。一般的に行われている外気功ではなくて、外気功ではあるんだけど内気功をしていますから。体内を巡ってくるので患者さんにブロックされるとそれ以上は入れなかったり、気功なんて全然信じられないよって人は見えてこないし。どこでどういう風に繋がれるかって言うのが大事なところではありますね。
施術内容・方法	施術に対する考え方	いかに信頼関係を持っていただけるか。その当たりの言葉とか、雰囲気とか、そういうのには気を遣ってますね。技術面はともかくそういうのをまず。オープンになっていただかないと、気功って自分の場合できないんですよ。一般的に行われている外気功ではなくて、外気功ではあるんだけど内気功をしていますから。体内を巡ってくるので患者さんにブロックされるとそれ以上は入れなかったり、気功なんて全然信じられないよって人は見えてこないし。どこでどういう風に繋がれるかって言うのが大事なところではありますね。
施術内容・方法	気を用いた施術	そうですね。体の中には入れるか、全然邪気が見えないかそういうことですね。その人がこういう体調で、こんな症状があると言っても全然見えなかったりすると。オープンになってないのでは入れない。
取扱患者の状況	患者の状態	されたりされなかったりさまざまですね。こちらの気を感じて、こうなってますっておっしゃる人もいるし。何にも分かりませんって言う人もいるし。人によって違いますね。

患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	私気功とかに関しても何もマニュアルとかも持ってないんで。すべて患者さんに習ってきたって感じですね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	そうですね。患者さんが治療室に入ってくる足音とか。まず耳で確認して、その次に会話で確認して。それからゆっくり入っていく。患者さんが肩が痛い、腰が痛いって訴えてきますよね。そのとき自分の調子の悪いところは確かに表現してくれるんですけど、ぽろっと簡単なことお話しすることがあるんですよ。そういうのを無視しちゃうと肝心なところが抜けてしまうみたい。実はそっちに原因があって、そちらを改善しないと改善できないなんてのがあるので。力を入れないで患者さんが軽く話すような言葉をしっかり聞こうという心がけはしてますね。案外患者さん自身が気づいてない、だけどぽろっとでる、それがけっこう大事なところありますので。
患者とのコミュニケーションの状況	患者との信頼関係の構築	この中にいる分には。あとは患者さんも私一人だってことで気を遣ってくれますので。誰かいればなんて言ったらいいか、気の使い方も変わってくるんだと思うんですけど。私が見えなくて一人だから、こういうことは無理だろうなっていうのは分かって、手伝ってくれますわ。
施術所と設備に関すること	施術所の設備	えーっとね。この受付カウンターまで入れて三十二畳16坪、で、待合室が6坪。待合室は奥が洗面トイレになっていますけどね。まあ、玄関ホールまで入れて。ベッドは3台。4台おけるスペースはあるんですけど、一番奥だけは荷物置き場になっちゃってますが。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	開業の理由	そうですね。年も年でしたから。それで中途失明なので独り歩きって言うのがなかなか難しくて。他に勉強に以降って気はなかなか。まあ、中途半端な年齢で失明したので。中途半端っていうのはおかしいかも知れませんが50とか60だったら、もうそれであきらめて年金暮らしに使用と思ったんですけど。30後半で前の仕事を辞めたので、ちょっと今から遊んでるわけにも行かないので、最低でも食べるだけって気持ちで始まったんですけど。その食べるために、じゃあってこ
施術者としての思い	年齢	39で入学して卒業の時で42で。現在は63歳です。
施術者としての思い	盲学校への入学	39で入学して卒業の時で42で。現在は63歳です。
開業のきっかけと開業後の経過の状況	初期投資資金	一部だけで。生命保険なんかを解約したりして頭金を作って8割ぐらいはローンですね。
施術所の経営状況	当初の計画	野望はありましたので。だけど最初の考えと、徐々に自分の治療体型が変わってきたので。一人でするようになってしまったんですけどね。できたら、軌道に乗ったら何人かで、こうしてみたいのはあったんですけども。自分が気功の方にどんどん進むにつれて。あの、気功をしてスタッフに揉む、鍼を任せて、自分は気功だけをしようかなって、最初計画したんですけども。
施術所の経営状況	経営に対する考え方	野望はありましたので。だけど最初の考えと、徐々に自分の治療体型が変わってきたので。一人でするようになってしまったんですけどね。できたら、軌道に乗ったら何人かで、こうしてみたいのはあったんですけども。自分が気功の方にどんどん進むにつれて。あの、気功をしてスタッフに揉む、鍼を任せて、自分は気功だけをしようかなって、最初計画したんですけども。
施術内容・方法	患者のニーズ	それが途中で断念したのは患者さんが揉んでくれないなら来ないよって。違う人に揉んでもらうなら他で揉んでもらっても同じなんで。って言うことを言われてしょうがないかって気功だけでスタッフに任せるわけにはいかなかったこと
施術内容・方法	患者のニーズ	で 開業して数年して。大まかですけど、そういう声が聞こえるようになったのは。
営業努力に関すること	広報活動	ないですね。オープン当初はこの周辺にチラシを配ったりだとか、しましたけど。今は待合室にこの周辺の案内図を置いて、そこに電話番号と住所を一緒にあるのを。それを患者さんが持って行って配ってくれる。来てくれた患者さんがリピーター担って先先広げていく。ほとんどが一元の方はないです。すべて紹介で。
営業努力に関すること	口コミの効果	だから、気功ってなんだとか、何やるんだとかクエスチョンマークを抱いてくる方は今はいません。その人がこういう治療を受けて、こういう状態になったので、もしかしたら合うかも知れないから行ってみなよっていう。そのために、PRのためにうち周辺の略図

営業環境に関すること	社会情勢	ほんとタクシーで来られちゃうと分かんないと思うんですが、田舎で説明しにくい場所なんですよ。ど田舎で。で、地図があつて。今は車のカーナビとかスマホもナビとかあるんで前ほどでは無くなりましたが。最初始まった当初はFAX送って欲しいとか。20年前ですね。それがいつの間にかFAXの必要性がない。逆にFAXがあるとコマーシャルメッセージばかり送られてくるようになって。売り込みでいろいろ来ますんで、うっとうしくて、来ても見えないしらないし。5・6年？7・8年だったかな、使ったらFAX壊れちゃったのでそれ以来普通の電話に買えちゃったので、FA
施術所と設備に関すること	施術所の建設	いや、農村地帯。住宅とか、人口の多いところに出たかったけども予算がない。だから親の土地をもらって、農地を宅地に変えて治療室を作った。だから土地そのものは広いので、建物の資金だけあれば、いくらでも広く作れたんですけどね。たまたま見えているうちに、ここに自宅を建てたので、その続きに家に並べて、連結して作ったんですけどね。
営業努力に関すること	口コミの効果	そうですね口コミですから。遠い人もいますね。茨城をくるんだ周囲の県の方は来てますね。福島、栃木、千葉、埼玉、東京、神奈川。今来られている方で一番遠いのは静岡。こちらから移動になって遠くから来てる方っていうと、たまに九州とかね。島根とか、そういう方もいますけど。
取扱患者の状況	通院地域	そうですね口コミですから。遠い人もいますね。茨城をくるんだ周囲の県の方は来てますね。福島、栃木、千葉、埼玉、東京、神奈川。今来られている方で一番遠いのは静岡。こちらから移動になって遠くから来てる方っていうと、たまに九州とかね。島根とか、そういう方もいますけど
施術内容・方法	気功への理解	だいたいコンスタントっていうと神奈川県まで。だから、逆に田舎なので気功ってなんだと。気功なんかするなら早くもめよ。そういう人たちが多いので逆にドーナツ現象が起きて周囲の方は少ないんですよ。その周囲で、水戸ですとか、つくばとか、小山とか、宇都宮とか、都市部の患者さんが圧倒的に多いです
取扱患者の状況	通院地域	だいたいコンスタントっていうと神奈川県まで。だから、逆に田舎なので気功ってなんだと。気功なんかするなら早くもめよ。そういう人たちが多いので逆にドーナツ現象が起きて周囲の方は少ないんですよ。その周囲で、水戸ですとか、つくばとか、小山とか、宇都宮とか、都市部の患者さんが圧倒的に多いです
取扱患者の状況	患者の状態	ある程度リピーターになってきてくれている方もいるし、数回来て終わりになる方。1回で終わりの方もいます。
現在の施術料収入	施術料	一律4000円です。まあ、子供さんは気功だけなので2000円の方もいれば、気功の時間が長いと揉むのと同じように4000円いただく方と、その患者さんによってですね。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	鍼は当初はしてたんですけど、今は月に一人とか。従来勉強したとおりに鍼はしてたんですけど患者さんの体に気を送って、どういう鍼が必要ですかって聞いて。場所を決めて鍼を刺してました。治療しているうちにだんだん鍼の患者さんが居なくなっちゃったんです。今は患者さんの要求があつて、そして私が気を送って。凝ってるところとか、触った感触でももちろん針は刺せるけど、気を送ってここに必要性のあるところっていうのは分からないですって言うと、じゃあいいですって。こういうところに、こういう気を送ると、鍼が効果的な反応がありますねって言うと。一瞬迷って鍼の好きな患者さんは「はい」って。鍼があんまり経験のない人は自重するときには、やめておきましょうね、揉むだけにしましょうねっていって。無理押しは絶対にしないっす。
施術内容・方法	施術に対する考え方	鍼は当初はしてたんですけど、今は月に一人とか。従来勉強したとおりに鍼はしてたんですけど患者さんの体に気を送って、どういう鍼が必要ですかって聞いて。場所を決めて鍼を刺してました。治療しているうちにだんだん鍼の患者さんが居なくなっちゃったんです。今は患者さんの要求があつて、そして私が気を送って。凝ってるところとか、触った感触でももちろん針は刺せるけど、気を送ってここに必要性のあるところっていうのは分からないですって言うと、じゃあいいですって。こういうところに、こういう気を送ると、鍼が効果的な反応がありますねって言うと。一瞬迷って鍼の好きな患者さんは「はい」って。鍼があんまり経験のない人は自重するときには、やめておきましょうね、揉むだけにしましょうねっていって。無理押しは絶対にしないっす。

現在の施術料収入	施術料	それでも4000円。あん摩と区別しないでやる。だから所要時間の中であん摩の時間が短くなる。本来であれば鍼代ぐらい、ちょっと乗せてもいいかなって思うんですけど。区別しちゃうとめんどくさくて。4000円って言うのが高いのか安いのか
現在の施術料収入	施術料	そうです。一律4000円。一律って言うのはおかしいけど。あん摩だけの人とあん摩、鍼だけの人区別せずに4000円で。そこに徐々に、徐々に気が入ってきたと言うことですけどね。
現在の施術料収入	施術料に対する考え方	考えてます。だけれども上げたら大変なんだろう何だろうなあって人もいますから逆に4000で申しわけないっておつりいらないって5000円札置いていってくれる人もいますが。まあ、まれですけどね。本当のところ5・6000円ぐらいもらってもいいのかなあとは思ってますが。なんかのタイミングが合わないとは上げられない。だいたい1か月通してくるだけの患者さんが来るだけなんで。これがもっともっと忙しくなるようであれば、その時には値上げしてもいいのかなあって思って。今より患者さんの数が倍ぐらいに増えれば、値上げしてもいいのかなって思うんですけど。
現在の施術料収入	施術料	考えてます。だけれども上げたら大変なんだろう何だろうなあって人もいますから逆に4000で申しわけないっておつりいらないって5000円札置いていってくれる人もいますが。まあ、まれですけどね。本当のところ5・6000円ぐらいもらってもいいのかなあとは思ってますが。なんかのタイミングが合わないとは上げられない。だいたい1か月通してくるだけの患者さんが来るだけなんで。これがもっともっと忙しくなるようであれば、その時には値上げしてもいいのかなあって思って。今より患者さんの数が倍ぐらいに増えれば、値上げしてもいいのかなって思うんですけど。
施術内容・方法	予約による施術	完全予約制。突然来られても見られません。
施術内容・方法	施術時間	6人。1時間なるべく終わろうとしてるんですけど。1時間だと次の患者さんとぎりぎりになっちゃうんで、インターバルをとるために1時間半で患者さんを診てますので。
取扱患者の状況	患者数	午前中二人、午後4人の6人が自分の時間配分としては。だいたい1時間で終わりにしようって言う時間配分にはしてるんですけどね。でないと、終わった後患者さんがお茶飲んだりトイレ行ったり、ちょっと休憩とらないと
施術内容・方法	患者への配慮	Q 患者さん同士が重ならないようになっているんですね A なるべく。
施術内容・方法	予約による施術	そうです。空いてれば来月の何日空いてますよって言って、そこに入ってくれる方もいますけども。95%以上はだいたい電話ですね。
施術内容・方法	予約による施術	すべて私がしてます。毎月16日の日が、来月の予約の開始の日なんです。6日の午前中はもう殺到しちゃうので治療はしないで、電話だけ受けるだけにしていって、昼間から電話の数は少なくなるので。午後からは治療はするんですけど。ごめんね、多少電話くるけどって言って
施術内容・方法	予約による施術	予約内容は点字タイプライターでメモをとって、合間合間にノートに写しながら。
取扱患者の状況	患者情報	はい。名前と、紹介者名と、電話、住所、その人の生年月日、簡単ですけど、その人の伸長、体重、血圧。それだけ一応聞かせてもらって主訴、今どこが調子悪いか、既往歴を聞いて。服薬何を飲んでるかを聞いて。それだけ初心の時は聞いてますね。それで変更があった時には追加するみたいな。
取扱患者の状況	患者数	私のところ？まあ、ほぼ100%。今現在で、来月11月で空いているのは5枠。今空いてるのは。それも後半だけ5枠ぐらい空いている。たぶんこれから来た方がだいたい入るのかな。って感じです。でも、突然のキャンセルって言うのはありますからね。だから多い時には月5枠ぐらい空くときもありますけどね。少なくとも2・3回はドタキャンがりますので。日にち間違えっちゃったとか。寝すぎちゃって時間に間に合えないとか
取扱患者の状況	患者の状態	私のところ？まあ、ほぼ100%。今現在で、来月11月で空いているのは5枠。今空いてるのは。それも後半だけ5枠ぐらい空いている。たぶんこれから来た方がだいたい入るのかな。って感じです。でも、突然のキャンセルって言うのはありますからね。だから多い時には月5枠ぐらい空くときもありますけどね。少なくとも2・3回はドタキャンがりますので。日にち間違えっちゃったとか。寝すぎちゃって時間に間に合えないとか

施術内容・方法	患者のニーズ	月曜日と祝日だけでも、なんか祝日に依頼があると私の用事がなければ開けちゃうの方が多いんですけどね。で、祝日が土日と重なるときには、極力土日を希望される方が多いので祝日でも休めない。で、月曜日は完全に休んでるんですけど。なので月の営業日は25日ぐらいになりますか。
患者とのコミュニケーションの状況	患者とのコミュニケーション	月曜日でも、第1月曜日はここでゼロの会って言うのがあって、多い時には10人、少ない時には4・5人ぐらい集まってワイワイとお茶飲み会をしてるんですけど。原則としてはうちの患者さんであって、
取扱患者の状況	月の患者数	多い時で150人。その月の予約の入り具合。だからさわやかな時期とか、疲れやすい時とか。電話が集中するし。だいたい予約を開始した日に120から130の枠は埋まっちゃうんですけど。
取扱患者の状況	定期来院患者	まあ、半分ぐらいの方はリピーターですね。半分じゃ効かないかもしれませんね、6割ぐらい。6・7割。完全なるリピーターって言うのが半分。まあまあっていうリピーターが4分の1ぐらいで、7割以上はリピーターです。75%ぐらいはリピーターだと思います
取扱患者の状況	患者の状態	病名の付いた方は月4回までいいですよって。病名のない方は月2回までにしてくださいってお願いはしてるんですけど。
施術内容・方法	施術に対する考え方	病名の付いた方は月4回までいいですよって。病名のない方は月2回までにしてくださいってお願いはしてるんですけど。
施術内容・方法	施術に対する考え方	そうです。そのような方は月4回で、肩こりとかの人は月2回、2週に1回までにしてくださいって。患者さんによっては電話かけてきたときに日曜の午後全部くださいって言うような人もいますので、2回までにしてくださいって。
施術内容・方法	患者のニーズ	そうです。そのような方は月4回で、肩こりとかの人は月2回、2週に1回までにしてくださいって。患者さんによっては電話かけてきたときに日曜の午後全部くださいって言うような人もいますので、2回までにしてくださいって。
取扱患者の状況	患者の状態	整形外科というよりは内科的なもの。
取扱患者の状況	患者の状態	そうですね。それは個人差があるので何とも。
施術者としての思い	自己のケア	そうですね。自分自身を引き出して、自分自身に毎日気功の調整はしてますね。自分の体に対して。患者さんと同じようなマイナス要因があると、それが引き出されてしまうので。逆に患者さんと同じようなものがあって自分の隠れている者が引き出されたら、それがいい治療のチャンスとして、自分の中で治療して。隠れているものを調整して。それがきれいに、クリーンになれば次同じ患者さんを診ても、自分のところを通り抜けて壁にならないでぶつからないから自分も楽になってくるといえるのはあると思うんですけどね。
施術内容・方法	気を用いた施術	患者さんの気は通り抜けていかないよね。でも私は患者さんの中をめぐって、内気功なので一度患者さんの気をすべて受けるので。受けて、それで滞ってるところを調整しようとするので。患者さんのマイナスの部分はある程度私の中に残りますので
施術内容・方法	気を用いた施術	まあ、10分、15分経てば、重篤な方以外でしたら私の中に残らないのと。あと、このベッド3台置いているのは同じベッドは使わない。ベッドにはある程度前の患者さんの情報が残ってしまうので。3台を順繰りに回して使ってるっていうか
取扱患者の状況	患者の状態	そうですね。情報は残ります。重篤な方ほど残りますね。
取扱患者の状況	患者の状態	患者さん次第ですね。患者さんの気を流すのがうまくいけば、その後揉むのもそんなに疲れなないし。気の流れが悪いと、肉体に残る情報も強いので。どちらが疲れるとかはなくて、同じぐらいですね。
現在の施術料収入	年収	税務署に届けてるのは400万ぐらいです。あとはいろいろな経費で落として。
施術料以外の収入	副収入	ありません。それだけです。年金とか、そういうのは入ってきますけど。
施術者としての思い	開業までの仕事	いろいろしてきました。
施術者としての思い	開業までの仕事	関係あるかもしれない。直接気功って言うのではないですけど。集中する仕事はしてました。目と耳と鼻と指が一体にならないとできないような加工の仕事をしてましたもしかすると気候を扱えるようになった基盤かも。

施術者としての思い	開業までの仕事	はっきりとは。もしかすると多少訓練が始まってたかなあ。極端なことを言えば大根で作ったナイフで大根を切るようなことをやってた。極端な話。料理ではないですが、金属加工です。同じようなもので同じような金属を切ってた。同じ材質のもので。それで目と鼻と耳と指先の感覚で、歯を送るスピード。切れている音と、切れるときに発する臭いと、目で見ると切りくずがどう飛んでるか。あと全部見指先で送るスピードとか、そういうの一致しないとすぐ歯がパーンと飛んで行っちゃうんで、じゃなかったら、その部分が焼けて火を噴いちゃう。そうなるそこはパーになっちゃうので。切り口が鏡みたいになるように切っていないと。そういう仕事を10何年かしてました。金属の色を変えないように加工してたので、ちょっとするとあっという間に変色しちゃうので。ステンレスの加工をしてたんですけど。最初から鏡になってるとか、大理石の模様が入ってるとかっていうので。今は技術が進んでるのでレーザーで全然焼けずにピューっと切れちゃうんですけど、当時はレーザーの走りのところでレーザーで切ると焼き目がついちゃう、表面がパーになっちゃうので。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	単純な機械で加工するしかなかったのでものを捜査してました。なぜそういう仕事をしたのかって言うと、もともと色変でしたから。だから暗くなると動けなかったのでも自分の家で、そういう仕事をするのが。孫請けで持ってきて自分のうちでしたので。暗くなっても安心だったので。
視覚障害の状況	視覚障害の原因	単純な機械で加工するしかなかったのでものを捜査してました。なぜそういう仕事をしたのかって言うと、もともと色変でしたから。だから暗くなると動けなかったのでも自分の家で、そういう仕事をするのが。孫請けで持ってきて自分のうちでしたので。暗くなっても安心だったので。
視覚障害の状況	視覚障害の状況	もう子供のころから。だから気が付いた時から夜盲は始まっていたので。
視覚障害の状況	現在の視力	光覚ありません。
視覚障害の状況	盲学校選択の理由	食べるためです。
施術者としての思い	盲学校への入学	あることは知ってましたけど、内容までは分からなくて。1か月ぐらいでカルチャーショックを受けました、盲学校で。それまでは暗い、陰湿的な、冷たい世界だと勝手に思っていました。
施術者としての思い	盲学校のイメージの転換	それが4月の後半ぐらいの時にのんびり通路を歩いて帰ろうって思ったら、体育館から子供たちが鬼ごっこ。鬼ごっこしてるんですよ。それでわあーにぎやかだなんて思って、体育館の中を。その頃はある程度視力もあって通学だったので。ちらっと中を見るだけ見たんですよ。子供たちだけだと思ったら、体育館の中に体育の女の先生がいると知らなくて、子供たちと同じように奇声を上げて走り回ってて。一緒にやろうよって。やろうよって言っても、って見るだけって見たんだけど。ねえ、こんなに走ってんだよって。壁のところに来て、とんとノックして、どんとはぶつからないでいろんな方向に走り回ってんだよって。この中で弱視は一人であと3・4人は全盲ですからねって。全盲だけ一人として体育館の中で壁にぶつからないでしょって、ほんとに奇声あげて喜んで鬼ごっこしてる。何この明るさは！その明るさに自分の思ってた世界とは全く違う。それからなんか自分が盲というのと、もう一つは最後の頃ずいぶん視力が落ちて自分一人で必死になって行動してたんだけど、危ないって見てたらしいのね。あほな話ですけど。それで自分が白杖を使いなさいって言われて、白杖を持つようになったら周りの人が手を貸すことができるようになって良かったって。それまでは見えないのに必死になって行動してる時は、危ない危ないって思ってもどのタイミングでサポートしたらいいか声掛けらんなかったけど。白杖を持つようになって声をかけられるようになって良かったっていう声を聴くようになった。
視覚障害の状況	障害の克服	見えないんだけど、見えるふりをしてた。周りと同じように行動しなくちゃって思って。そういうのが周りには危なかった。盲学校に入ってああいう出来事が2週間とか3週間後に起きなくちゃ嫌だなあ、どうしようって……。だから寮にも入れなかった。ここから駅まで親に連れて行ってもらって、そこから電車で、あとはバスを乗り継いで通ったんですけども。結局寮には入れずじまいで。3年間通わせてもらいました。
施術者としての思い	盲学校への通学	見えないんだけど、見えるふりをしてた。周りと同じように行動しなくちゃって思って。そういうのが周りには危なかった。盲学校に入ってああいう出来事が2週間とか3週間後に起きなくちゃ嫌だなあ、どうしようって……。だから寮にも入れなかった。ここから駅まで親に連れて行ってもらって、そこから電車で、あとはバスを乗り継いで通ったんですけども。結局寮には入れずじまいで。3年間通わせてもらいました。

施術内容・方法	施術への興味	うん、そうですね。きっかけというか、盲学校に入る前の年の夏にから個人的にテレビでリング検査っていうのをみてたんです。それを通して、そのときテレビに出た方が色変の全盲の方が、視力をリングで取り戻したって。っていうのをみて自分も出れば違う方向もあるかと思って。夏に無理矢理テレビ局に問い合わせして聞いたら九州の久留米大だってことまでは分かって。電話して予約とったんですけど、あとで連絡しますってことで。１２月になってもないんですよ。そしたらテレビで放映になったあと、殺到して新しい患者さんをみられないんですって。だめだと思っていううちに、たまたまこの近くでリング学会に入られてて、そのリング治療をしている人がいるよって。たまたま聞いて。で、九州まで行かなくてもこの近くにそういう治療している人がいるんだったらってことで。通い始めてで、いろいろそのリングで。薬の適合とか、食べちゃいけないものとか、負担になるものとか。
施術内容・方法	リングとの出会い	うん、そうですね。きっかけというか、盲学校に入る前の年の夏にから個人的にテレビでリング検査っていうのをみてたんです。それを通して、そのときテレビに出た方が色変の全盲の方が、視力をリングで取り戻したって。っていうのをみて自分も出れば違う方向もあるかと思って。夏に無理矢理テレビ局に問い合わせして聞いたら九州の久留米大だってことまでは分かって。電話して予約とったんですけど、あとで連絡しますってことで。１２月になってもないんですよ。そしたらテレビで放映になったあと、殺到して新しい患者さんをみられないんですって。だめだと思っていううちに、たまたまこの近くでリング学会に入られてて、そのリング治療をしている人がいるよって。たまたま聞いて。で、九州まで行かなくてもこの近くにそういう治療している人がいるんだったらってことで。通い始めてで、いろいろそのリングで。薬の適合とか、食べちゃいけないものとか、負担になるものとか。
国家資格の取得	学習への意欲	そういうのをより分けながら見て、それで４月に盲学校の方に入学したので。そのときに、ほんとはリング学会には鍼灸師じゃなければ入れない、学会に。たまたまその先生がフォローしてくれて必ず鍼灸師になるからって特枠で、そのリングの会員になれるよって手続きしてくれて。リング学会の会員になって、通ったんです。そういうのもいろんなところで鍼灸師ばかりじゃなくてお医者さんだの、歯医者さんだのできるようになって。話を聞いている中で私は医学の知識がないので、勉強のきっかけになったかも知れませんがね。なかなか覚え悪かったけども、苦にはならなかったですね。入学前からリングとの出会いがあったので、かえってそういうことには興味があった。
施術者としての思い	学会への参加	そういうのをより分けながら見て、それで４月に盲学校の方に入学したので。そのときに、ほんとはリング学会には鍼灸師じゃなければ入れない、学会に。たまたまその先生がフォローしてくれて必ず鍼灸師になるからって特枠で、そのリングの会員になれるよって手続きしてくれて。リング学会の会員になって、通ったんです。そういうのもいろんなところで鍼灸師ばかりじゃなくてお医者さんだの、歯医者さんだのできるようになって。話を聞いている中で私は医学の知識がないので、勉強のきっかけになったかも知れませんがね。なかなか覚え悪かったけども、苦にはならなかったですね。入学前からリングとの出会いがあったので、かえってそういうことには興味があった。
施術者としての思い	学会への参加	そういうのをより分けながら見て、それで４月に盲学校の方に入学したので。そのときに、ほんとはリング学会には鍼灸師じゃなければ入れない、学会に。たまたまその先生がフォローしてくれて必ず鍼灸師になるからって特枠で、そのリングの会員になれるよって手続きしてくれて。リング学会の会員になって、通ったんです。そういうのもいろんなところで鍼灸師ばかりじゃなくてお医者さんだの、歯医者さんだのできるようになって。話を聞いている中で私は医学の知識がないので、勉強のきっかけになったかも知れませんがね。なかなか覚え悪かったけども、苦にはならなかったですね。入学前からリングとの出会いがあったので、かえってそういうことには興味があった。

周囲のサポートに関すること	周囲からの支援	オリンピック学会なんかに出る中でいろんな話を聞いて、それが言ってたところとかかね。いろんなところで見えない力が働いてサポートしてもらって。そのときに知り合った先生方とは今でもあって。そちらが私の知恵袋になってて、変に考えるとない頭だと間違うから。頸から上は先生たちに任せましたってことで、おつきあいさせていただいてる先生が何人かいるんです。そう言う先生方も、月に１回ぐらいここで、私の方が出て行けないので先生たちに来てもらって。
施術内容・方法	研修内容	いろいろですね。こんな状況にあるから、こうした方がいいよとか。新しい情報を入れてくれたり。で、気功の世界にも理解のある先生方なので、気功についての世界ではこういうのがありますとか、そう言うアドバイスとか。その先生たちもオリンピックとかしているんで西洋、東洋問わず、その西洋医学ではやってるけど、代替医学とか。いろいろ幅広く見てる人もたいていいますね。
施術者としての思い	視覚障害となった不安と希望	そうですね。見えてれば趣味もありましたし。それを断念せざるを得なかったって言うのはあります。やらざるを得なかったっていうのはありますね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	うん、なったこともありますよ。自分が信じて治療してきたのにもかかわらずそれがうまくいかなくて、患者さんに捨て台詞を言われて去って行かれたり、いろいろですね。私神じゃないんだから全部見えてるわけじゃないんだからって言いたいんだけど、向こうはすべて見えてるんでしょって言わんばかりに来てる方がいるのですね。そういう方がうまくいかないと辛いんですね。
施術者としての思い	施術者としての苦悩	あとは西洋医学でも限界が来てて、ここになんとか薬をも掴みたいって来てる方が亡くなられたりすると辛いんですね。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	まあ、その病気によっていろいろですけども、癌の患者さんとかね。ステージ４でどうしようもない方も見えてるので。で、そう言う方は苦しくて、今ここに治療法がないんだってきて、治療されると楽になったって言われたときが一番。治ってるわけじゃないんですけどね。
施術者としての思い	施術者としての充実感	抗がん剤で苦しくてきて、やっと息をつけるようになったとかね。そういうことはたくさんありますね。それだけでも楽にしましょうって。できれば治したいですけど、限界がありますので、そういう方が少しでも楽になれるような。そういう調整はしてるんですけど。癌の患者さんは何人か亡くなってますから、看取ってって最後まで見てるわけじゃないですけど、本当に最後の最後まで、すぐっていうほど。骨と皮だけになって、骨標本になるんじゃないかって言うぐらいまでやせ細ってまで来てくれてる方が何人もいたので。申しわけないなあって思いつつ、でもがんばろうねって。一縷の望みを捨てずに。まあ、患者さんとトラブって云々っていうのはあんまりないかな。
取扱患者の状況	患者の状態	患者さんが気に入らなくなれば、患者さんの方から去って行きますから。クレーム付けるよりは、うちにクレーム付けたって方はいないですね。何人か捨て台詞を言って来なくなった方はいますけど。クレマーになって問題起こされたってことは
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	これまでの延長ですね。だから失礼ですが、患者さんが教材であり、先生なので、今の地天よりもっと先に進んでいかないと治療ができないので。次から次へ今日よりは明日、明日よりはあさってって。どんどん新しい教材が来ますので。それをどういう風に克服したらいいかって言うのが夢ですけども、目指したい。できるのであればあらゆる病気を治したい
施術者としての思い	職業継続の意思	これまでの延長ですね。だから失礼ですが、患者さんが教材であり、先生なので、今の地天よりもっと先に進んでいかないと治療ができないので。次から次へ今日よりは明日、明日よりはあさってって。どんどん新しい教材が来ますので。それをどういう風に克服したらいいかって言うのが夢ですけども、目指したい。できるのであればあらゆる病気を治したい
施術内容・方法	施術内容	いや、あん摩もやって。
施術内容・方法	施術内容	少しずつ変わっては来てますね。ベースは学校のあん摩ですけど。もみ方としては上向きと、うつぶせと、とあとは座位でって。それで代替。だいたいうつぶせで１０分ちよっと、腹臥位で１０分ちよっと、それで座位で１０分ちよっとで４０分ぐらい

施術者としての思い	施術者としてのやりがい	そして気功が２０分ぐらいで。気功はマニュアルもないし、誰に教えてもらったものでもないの、患者さんが教材であり、先生です。習うことができない代わりに毎日が勉強ですね。
施術者としての思い	職業継続の意思	肉体が続くかぎり。患者さんからは１００歳までって。
施術内容・方法	気を用いた施術	やり方ってことですか。同じものを見える方であれば今ここでこういう状態になってるよね、っていうのが分かる方であれば。話は繋がるけど。私が見えてる世界が、内気功で入っていったときにこの辺にこんな形であるのは、これはもしかして癌じゃないとか、ただの潰瘍じゃないのって、そういうのが感じ取れる方であれば自分と一緒に進んで行ければ感じ取れると思うんですけども。ここにこんな黒い塊があるよねっていても、それを分かってもらえる方でないと、私がこういうことをしたから、ここにこうなってるっていうマニュアルがないから。私一代限りだと思います。
施術内容・方法	気を用いた施術	エネルギーですね。映像化はできないですけど、エネルギーですね。アウトラインを引くと、このぐらいの大きさで、イメージではこのぐらいの大きさで癌なのかってイメージだけですね。イメージのところずーっと抑えてきて、だいたい３センチぐらいかなって。映像では私は見えてない。
仕事としてのあはきに関すること	仕事への満足度	満足度って言われても難しいですね。これでいいのかっていうのは常にありますから。今見えてる世界が、患者さんにとって本当にベストなのかって。見えてるものが完全に確立している訳ではないので。それなりに迷いはある。その日その日調整だけはできるだけしたよねって言う、そのときの満足はありますが。これでいいのかっていうのは常につきま
施術内容・方法	施術に対する考え方	難しいですね。気の流れを整えるっていうのは患者さんに教えてるだけですね。こういう風な形で改善するといいですよって体に教えてるだけ。患者さんの中の病気を私が治しているわけじゃなくて、あくまで患者さんなので、ここにこういう気のつまりがあっているの、これをこういう風な形で動かすといいよねって教える。悪いものをもって捨ててるわけじゃないです。神のようにとって捨てられる用であれば、癌を取って捨てちゃえば簡単でいいんですけど。そこまではできないで。１００％確率されていないので、少しずつ少しずつ日々変わってきてるので自信がないですね。でも、今日できるベストは尽くすっていうのはあります。
施術料収入に関すること	収入に対する満足度	お金はたくさん入った方が、それはいいんですけど。月末になって、今月これくらい来たから、これくらいかっては思いますけど。日々仕事とお金はあんまり考えてないですよ。
施術者としての思い	施術者としてのやりがい	いかに改善することができるかっての方に私の意識は常に向いてますね。そちらに向いてると、お金は二の次ですから。そりゃ有り余るほどあった方が、贅沢な生活もできるし、欲しいものも買えるし、それでいいんだけども。それだけを意識してるわけじゃないかな。自分の、本当のことを言えば自分の意識はそっちじゃないなあって。結果ですね、お金は。
施術内容・方法	施術に対する考え方	思っはいますよ、自分の気功がもっともっと強くなれば５０００円でも、１００００円でもいいんじゃないかって。自分がそこまで治せてるかって、治せるんだったら１００００円でも２００００円でも、癌の患者さんがねえ１千万でも治れば末期の患者さんなんかでお金持ちは出すと思う。自分の治療をどの辺に持って行ったらいいかって言うのが、お金と一致していないので。自分の治療に満足していないので。できれば１万円でも５千円でもしたいとは思ってるけど。ともなってるかっていうと自信がないで。でも４０００円ぐらいないとね、ちょっとはおいしいものも食べたいし、一応必要経費もあるし。けっきょく自己中なんです。本当に患者さんと向き合っているのかって、なんとかしたいってことは向き合っているけど患者さんのためにしてるのかっていうと。

【 参考資料3 】 加藤康昭データおよびコード 表

I F

1	加藤 鍼灸徒弟制度聞き書き集。テープ2、トラック1。I Fさん。昭和43年9月30日、日曜日、I Fさん宅において。テープ1、トラック1。明治27年生まれ。学齢前に失明。明治42年、15歳で東京で入門。
2	加藤 ああ、お勉強しておりますね。
3	I はあ、はあ。
4	加藤 それで、盲学校のことは皆さん、よく……。
5	I ええ。
6	加藤 盲学校ができる前に、皆さんどうお勉強なされたかということを伺う……。
7	I ええ、そうですね。それは、ほとんど。
8	加藤 人がいらっしやなくて。
9	I いやね、それはいろんな系統を通ってきたもんなんです。
10	加藤 そういうことをお話いただきたいと。
11	I 初めに、浜松では学校っていうのはなかったもんですから、学校に入って勉強する前に、弟子に入ったんです。徒弟に入りましてね、徒弟にはなかなかやかましい規則がありましてね。
12	加藤 はあ、はあ。そんなところから、ひとつ。
13	I ……入れましてね、それで、それに……して、何でもかんでもとりあえず入れた乱暴なこと
14	加藤 それは、先生ご自身のお入りになった。
15	I ええ、私もそれで。
16	加藤 ああ、そうですか。いつごろのこととございますか。
17	I 大分県ですけどね、大分県ですけど、失明したのは学齢のときですけど。
18	加藤 ああ、小学校に入っておられる。
19	I ええ、小学校に入るときにね、したんですけど、その時分の小学校、入れてくれないんですね。小学校に入れてくれりゃいいと思って、でね、入れてくれないんです。
20	加藤 はあ、はあ。それは断られたわけですね。
21	I ええ、断られたんです。それで、盲学校に行くといいまして、なかなか入費もかかりますしね。それで、あんまりいい先生ないんですよ。
22	I ああ、盲学校にですね。
23	I ええ。まあ、いい先生ないんです。まあ、あそこに行っても大したことないと私は踏んだんです。それで、とにかく東京に行く……というので、東京のいろんなことを調べたところが、まあ、ほとんど無料で勉強ができるわけですね、自分が働けば。働けばできるわけで、まあ、私もは初めから働いたんです。働いて、それで……。
24	加藤 ……。
25	I 明治42年です。
26	加藤 42年ですか。そのとき15歳でいらっしやった。
27	I ええ、そうなんです。27年生まれですから。
28	加藤 27年ですか。ああ、そうですか。そうすると、75歳ぐらい。
29	I それで、東京に出ましてね、東京に出れば、自分が働けば、働いただけの1割くれるんで
30	加藤 はあ、歩合という。
31	I 歩合っていうやつですね。1割くれるんです。まあ、ごく少量ですね。少量ですけど、1割くれて、それで、教えてくれたんです。だけど、その時分の先生なんていうものは、わからないのが多くてね、本を読むのを嫌いましてね。
32	加藤 はあ、先生がでございませうか。
33	I ええ、先生が本を読むのが嫌いなんです。本を読むと怒るんですね。そんなものは読んでたんじゃ駄目だと。
34	加藤 ああ、弟子が本を読むと怒るわけですね。
35	I そうなんです。みんな、それで苦しんだんです。
36	加藤 弟子に入った方は勉強したいのに、先生のほうが、あまりそういう勉強をしては怒るわけとございませうね。
37	I ええ、自分の覚えるだけのことを覚えりゃいいんだと、こういう考えなんですね。
38	加藤 はあ。その先生は、お見えになった方でございませうか。
39	I いや、見えない人です。
40	加藤 見えない方。はあ、はあ。
41	I 見えない人でね、点字などでも、やっと読める人です。それで、私は、あまりいい先生じゃなかったです。鍼の先生としては最も、何ですね、低級な先生でしたね。
42	加藤 はあ、はあ。
43	I それで……、私が勉強することは文句言わなかったんです。そのかわりね、自分の家で弟子をとっておりまして、それを教えてくれと言うんです。
44	加藤 つまり、I 先生にほかの弟子を教えさせるわけとございませうか。
45	I ええ、そうそう。

46	加藤 兄弟子として教える。
47	I ええ、なんですね。そのかわり、私は特別待遇でね、よそにも習いにやってきました。
48	加藤 ああ、……か。
49	I そういうわけですけど、先生としては決していい先生じゃなかったです。それが、まあ私の幸せだったんですね。あまりいい先生に……、私なりの主義は、大体……の真似をしてはいけないという考えなんですね。
50	加藤 ああ、なるほど。
51	I 真似をしてはいけない。どんな偉い先生でも、その偉い先生の真似をしては駄目だ。真似をしたらその人以上にならないと、こういう考えを持っておりましたからね、それで、やっぱり、それが良かったんでしょうね。それで、私の……。
52	加藤 ……でございますね。
53	I ……それじゃあいけないと思います。やっぱり……独創的でなければ駄目だと、そういう考えを持ってありますもんですからね、だから他人の真似は絶対にしないと。だから私は……技術……私独特の技術でやっております。……。
54	加藤 なるほど。住み込まれたのは……。
55	I ……です。
56	加藤 それで、住み込みながらよそへ習いに行かれたというお話……、その辺り。
57	I それは、先生がね、……ている人はね……。……まあ、私のときから先生のような頑固なことは言わないってことで。
58	加藤 そうすると、1日のうち毎日……お入りになってからどのぐらい経ってから、その先生に通いに行かれたわけですか。
59	I そうですね、1年半ぐらい経ってからですね。
60	加藤 はあ。その先生は、新しい学問のほうをお習いになって……。
61	I ええ、新しい学問のほうをやっている人です。
62	加藤 それは、西洋医学。
63	I ええ、そうです。
64	加藤 生理、解剖、病理なんていうことを。
65	I ええ。
66	加藤 それは点字でお習いになったんですか。
67	I そうなんです。点字でございますね。
68	加藤 ああ、そうでございますか。
69	I ……で、まあ、その時分に点字の本というのには、この間、都盲協会の歴史を調べるために、いろんな人が集まって、自分の知ってることを話をしたんですが、まあ、医学の本というのはなかったです。……のは、『実用解剖学』というのがそれなんです。『実用解剖学』というのは、その時分の我々によかったんです。あの『実用解剖学』の著者は今田東という人ですが、あの人は、あの時分のイエス……の聖書の……訳された人だったんです。その本を点訳されて50部か60部か全員が買ったんですわ。買ったから、やれたんです。それが、まあ、いちばん初
70	加藤 教科書ができた……。
71	I ……のを、書いて写したんです。
72	加藤 ああ、なるほど。
73	I これが……なんですね。写すということは、最もいいことなんです。それが非常に役に立っていると私は思っておりますね。
74	加藤 ……それはでございますね。
75	I ……ことは徒弟制度ということとはよく……といいますけど、私はそうは思いません。決して徒弟制度は、あるけれども、……いいことはありません。それはなぜかという、一般に……嫌なんです。なぜ嫌なのかというと、先生が何も知らないんです。先生が知らないから、
76	加藤 そのころの盲学校と申しますと、どこの盲学校。
77	I まあ、東京の、東盲といった、あれですね。それから、そのほかの……。
78	加藤 そうでございますか。
79	加藤夫人 最初のお師匠さんは何とおっしゃる方だったんですか。
80	I ……。
81	加藤夫人 ……。
82	I ……。
83	加藤 それが……ね。
84	I ええ。
85	加藤夫人 そのお弟子さんは、先生がいらして、だいぶ増えてきて……。
86	I ……10人が15人ぐらいいたことありますけど、そんなにいないこともあったです。
87	加藤 多いときで15人。
88	I そうですね。
89	加藤夫人 皆さん、どういうふうに……。
90	I ……。

91	加藤	……。
92	I	そうなんです。私は、入門して、そうですね、1 カ月ぐらいで働きに出ました。
93	加藤	揉み方とか、そういうことを教わる……。
94	I	……教えるんです。ええ。
95	加藤	それから、鍼なんていうのはあとのほうで教えられるわけでございますね。まず、揉む
96	I	……私はもう大変に……だったと思います。
97	加藤	実験台になるわけですね。
98	I	ええ、そうなんです。好きなんですから。どんなことされたっていいんですから。
99	加藤	ああ、そうですか。
100	加藤夫人	いけないところがあるんじゃないでしょうか。
101	I	あるんですけどね、私はもう、そんないけないところがあるというのが間違ってると思
102	加藤	ああ、そうでございますか。
103	I	ええ。鍼というものは、どこを刺してもいいもんだと。悪いところはないないんだと。皆
104	加藤	ああ、いましたね。
105	I	あの人の場合ね、……という著書に、「鍼技の……」という文章があるんですよ。
106	加藤	はあ、はあ。
107	I	これは素晴らしいものですね。それによりますと、すべて鍼をやってもいいんだと。どうして
108	加藤	ああ、なるほど。
109	I	その本に、こういう文句があるんですよ。「青酸、セイヒ、これ猛毒ありといえども、医
110	加藤	私、鍼のことは素人でよく存じませんが、確かそうでございますね。それで、少し
111	I	まあ大体、午前中ですね。
112	加藤	それは個人教授、1 人対1 人……。
113	I	ええ、1 人1 人。
114	加藤	まあ……は違いますでしょうから、あれなんですけど、教科書を、やはり。
115	I	教科書なんぞ、ないです。
116	加藤	先生、もう一人……先生でしたか、そこで医学を習ってこられたことをお教えになるわ
117	I	そうでございますね。
118	加藤	……。
119	I	……学問……。
120	加藤	はあ、はあ。
121	I	だから、今のように……あった時代じゃないんです。
122	加藤	はあ、はあ。そうすると、先生もまた……。
123	I	私……なかったですよ。
124	加藤	ああ、そうですか。
125	I	ええ。昔のお弟子さんの教科書というの、杉山……。
126	加藤	ええ、何かよく……。
127	I	あれをね、こう、先生が暗唱してくれるんです。それを、じーっと、うつむきになって
128	加藤	ええ。
129	I	それで、聞いてて。
130	加藤	はい。
131	I	それで覚えたんです。そういうやり方をやってた時代ですね。
132	加藤	I 先生ご自身は、そういうご経験はない。
133	I	ありません。
134	加藤	ああ、そうでございますか。もうすでに、あれですね、西洋医学の段階でございます
135	I	それはありませんし、私は、当時あった医書はすべて、自分の手に入るだけのものは手に
136	加藤	ああ、そうでございますか。

137	I	写したというようなふうで、その辺に、まあ高級なものとしては、橋本節齋さんの『近世内科全書』だとか、それから『近世診断学』だとかね、そういうふうなものが……。
138	加藤	徒弟の規則がやかましいとおっしゃって……。
139	I	ええ。
140	加藤	……。
141	I	……7年以上も……。
142	加藤	年季は何年でございますか。
143	I	7年で、その7年が勤められれば。
144	加藤	お礼奉公なんていうのは。
145	I	お礼奉公なんていうのは、ないです。昔はそういうこともあったらしいんですけどね、それはないんです。
146	加藤	その間、親御さんが親元のほうで何か負担するということなことは。
147	I	いや、ありません。何もありません。
148	加藤	食費を持つとか。
149	I	昔はね、私も経験しないんですけど、昔、親元から食費を持って行ったもんだそうです。
150	加藤	ああ、そうでございますか。
151	I	……できない……宿に行きますでしょう。
152	加藤	ええ。
153	I	行きますと、やっぱり、患者さん側のほうで……してくれて、それで、自分がもっとよくなろう、よくなろうという、その1つの楽しみがあって、それで、だんだん、だんだん勉強が進んでくると、こういうことが……。……完全にすべて覚えていられたんです。話を聞いてきましてね、そのまま覚えて、それを書いて、その話のとおりを書いたもんなんです。
154	加藤	はあ。
155	I	……。
156	加藤	うちへ帰られて。
157	I	まあ、私は悪い癖が付いてしましましてね、何でも書き留めておくというものの習慣がなくなっちゃったんです。それが悪いことでね、もうこのごろになると何でも……。
158	加藤	何か書き留めると、今度は記憶のほうで……なんですね。
159	I	ええ、何でも見たんです。私もはいつうな本に云うもんですからね、東京にいるときは、その弟子に入って間もなく、東盲を出た人でね、その人が非常にたくさんの本を持っていた人があるんです。
160	加藤夫人	何とおっしゃる方。
161	I	それはたくさんの本を持っているんです。いろんな種類の本を持っている人。それで…
162	加藤	ああ、……。
163	加藤夫人	……。
164	I	……、ええ。
165	加藤	はあ、いまはご健在……。
166	I	あの人はね、非常に本を、お母さんから小遣いをせびっちゃ本を点訳させてね、それでやった……だから……何度も言うように小遣い……いろんな本持って……。
167	加藤	ああ、そうですか。
168	I	何でもありました。ですからあの方はね、旧訳聖書のね、まだ旧訳聖書出てなかった…、旧訳聖書は全部持っていました。
169	加藤	はあ、すごく膨大なものですね。
170	I	……、ええ。そういうものでもね、それから哲学でも心理学でも、いろんなものを持ってましたよ、その人は。それから、歴史学ね。
171	加藤	それでは、I先生は、オオキ先生のところにおられたころ、アキモト先生のところからの本をお借りしたりして勉強もなさったわけですか。
172	I	ええ、そうです。それで、しませんでしたね、そんな余計なものを読むと怒られるから。私は、向こうの気に入らないことをね、あえてすることはしなかったもんですからね。その先生というのはね、面白い人で、石鹸を買わせないんですよ。
173	I	ああ、オオキ先生がね。
174	I	そうです。お風呂へ行くのに石鹸を使っちゃいけないって、生意気だって、そう言うんです。それで、若いもんはみんな使わんですよ。私は、まあ、先生がそう言うから私は使わなかった。そ
175	加藤	徒弟の入門のときの規則でございますが、契約書を取り交わして、もし年季が明けないうちにやめたり、逃げていきましたり。
176	I	そういうときには食料費を払わなくちゃならない。
177	加藤	親元から返済しなくてははいけない。
178	I	ええ、そうなんです。
179	加藤	そういう例がもし……。
180	加藤夫人	やめられた方は、どういう原因でやめたのですか。

181	I	やっぱり家の事情でやめる場合はあるでしょう。今なら許されないことですよ。今なら、そんなことね。それで、許されないことなんですが、それから、その当時に自分が持っていたものを全部差し押さえてしまうんです。
182	加藤	お弟子さんが持っていたものを、師匠が、行李とか荷物はみんな押さえちゃう。
183	I	ええ、そうなんです。
184	加藤	それで、その上、親元からいままで住み込んでいた間の食費を弁済させると。
185	I	そうなんです。ええ。
186	加藤	それは、最初の約束を交換するわけですか。
187	I	ええ、そうなんです。そういう保証人がありましてね、保証人が立ち会いの下に契約書を交換するわけです。
188	加藤夫人	どういう方が保証人になられたんですか。
189	I	保証人というのはね、大抵、まあ、その先生の知ってる人が保証人になる。
190	加藤	なかなか、何ていうか、厳しいものだったんですね。
191	I	そういうわけなんですけどね、そういうことで、今ね、私はそうやって思ってるんですが、あんまり……やってもね、……なりたいたいという人はいないですよ。
192	加藤	そうでございますね。
193	I	そういう気がします。それはね、やっぱり……ですね。私は……。
194	加藤夫人	……。
195	I	……もとの師匠……もんですよ……。私の場合はそんなことはしません。昔、笛を吹いて流したんです。あれは、私の場合しません。
196	加藤	I 先生は、ご経験はない。
197	I	ないです。
198	加藤夫人	ほかのお弟子さんもやらない。
199	I	やらないです。
200	加藤夫人	その先生の教えている方針なんですか。
201	I	それはね、そのオオキさんという人は、それを1つの誉れにしてたんです。
202	加藤	ああ、なるほど。
203	I	私のところでは鳴らしなどさせない、というのが誉れだった。それはいいと思うんです。
204	加藤夫人	……何時ぐらいまで時間は。
205	I	そうですね、……10人ぐらいやってましたね。
206	加藤	10人ぐらい。じゃあ、だいぶ夜遅く……。
207	I	……。
208	加藤夫人	……。
209	I	……。
210	加藤夫人	……。多いようですけども。
211	I	……。
212	加藤夫人	都内……。
213	加藤	……方も……。
214	I	……はとらない……。
215	加藤	とらない……。
216	I	ええ。帰りますと……、……ますと落ち着かない。それで、とらないんです。それで、食い扶持を持ってくる人も嫌がりましたね。
217	加藤	ああ。それはどう……。
218	I	やっぱり、何でしょうね、ほかの者に対する……。
219	加藤夫人	お小遣いは、もらえない。
220	I	例えば1日にいくら働いたと。その1割くれるんです。
221	加藤夫人	ああ、1割。じゃあ、その方その方によって違う。
222	I	……ですね。……があるわけなんです。
223	加藤夫人	それはどういうことなんでしょうか。やるのはその人の意思であれするんじゃないくて、指名はあるんでしょうか。
224	I	大体指名は……、もう何ですね、そのうちお馴染みになってしまいます……、……というのが多いです。それをたくさん持ってくる人が……はおるわけなんです。その条件をよくするために、やっぱり自分も一生懸命……。
225	加藤	ああ、腕を磨くわけでございますね。I 先生の場合は、実技は……。
226	I	……そういうのはありません。
227	加藤	そうすると、外の何先生でしたっけ。
228	I	ええ、よめが……、それから、私ともは、……は……にやるんだというのを、……。
229	加藤	聞いてきたり。
230	I	聞いてきたり、見てきたりして、それで、盗むわけです。
231	加藤	それは、実際にやってもらって盗むんでしょうか。

232	I ええ、そうなんです。……が深いもんです。昔の制度に、こういう制度があったんです。そば屋の出前持ちは、そば屋の前では出前持ちの提灯を見せびらかさないで通るとというのが礼儀だったらしいですよ。そば屋の前を通るのに、出前持ちの提灯を見せびらかして通っちゃいかん、そういう礼儀があったんです。
233	加藤 ああ、なるほどね。
234	I それを、昔は流して歩きましょう。俺の看板下を吹いて歩くって、それで親父が怒ったもんです。
235	加藤 ああ。
236	I ……オオキ先生という人は、そういうことはない人です。なかなか太っ腹な人ですからね。なに、なに、そんなこと言ってることはないさ、やるだけのことをやってりゃいい、構うことはないよ、というたちでしたね。
237	加藤 ああ、そうですか。鍼というのは、先ほどなかなか教えてくれないっておっしゃいましたけど、どのぐらい経つと。
238	I 2年ぐらい経つと教えてくれます。
239	加藤 ああ、そうですか。とにかくオオキ先生は……でございますね。
240	I そうです。
241	加藤 専門じゃないからわからないんですが、灸なんかも教え……。
242	I 灸というものは、盲人では非常に……しにくいものです。
243	加藤 ああ、そうですか。
244	I 灸というのはね、皆さんご承知でないかもしれませんが、艾をつまむ堅さ、柔らかさ、それから身体にくっ付ける技術、そして、火をつける方法ですね、それは非常に……。その火のつけ方によって感じが違うのだそうです。熱くなくて、気持よく刺激が来ると……。
245	加藤 ああ、……微妙な……。
246	I ええ、そこが微妙なんです。……けど、盲人が灸をやるっていうのは、やめたほうがいいと心
247	加藤 ああ、そうですか。
248	I ええ。向こうが不安ですよ。
249	加藤 医学を外にお習いに行かれたそうですが、失礼ですが、そういうのは、授業料みたいなのは払うわけでございますか。
250	I それはね、先生のほうでお届けしてくれるんです。
251	加藤 オオキ先生のほうで。
252	I ええ。
253	加藤 ああ、そうでございますか。その後、外には何年ぐらいお習いに通われましたか。
254	I そうですね、……。
255	加藤 ああ、そうですか。それは、1日置きとか。
256	I まあ、そうでございます。それで、向こうは、向こう……なかったんですけどね、とにかく、こちらが熱心で、向こうで教えてくれたんです。
257	加藤 ああ……。何ていうか、そちらへ習いに行かれたのは、オオキ先生自体が十分教育してくださらなかったのと、I先生自体がもう少し、もっと勉強したいという、そのお気持ちで……
258	I そうでございますね、ええ。私は、あの当時から思ったんです。とにかく旧制中学ぐらいの勉強ができ……、そういう……勉強したもんです。
259	加藤 それは、アキモト先生……。
260	I ええ、アキモト先生のとときもあったけど、ほかにも、それ以上本を持ってる人がいて、それをみんな借りるんです。私にはいくらでも貸してくれましたからね。それで、……すると私は写して
261	加藤 ああ、なるほど。またその本を、写写してございませうね、写写しものを借りてきて、また
262	I ええ、そうなんです。
263	加藤 ああ、もちろん発行……。
264	I 昔は、だから相当発行があったんですよ。あのまま何でも……大変なもんですよ、もう
265	加藤 何か……。
266	I ……点訳しましたね。やったんです、……書は……。あれ、……自分の財政上から売ってしまったんですよ。……持ってた……。……やったんです。
267	加藤 大正の中ごろから……震災後ですか。……では。
268	I 大正、ええ、震災より前です。
269	加藤 杉山……皆さん……お赤飯を炊いて、……全部あげると……周りの……方が……ようなことをしてたんですが、そのときは……。
270	I そんなことは知りませんがね、……。
271	加藤 ああ、そうですか。
272	I あれはね、……。あれ……ですかね。……ですものね。
273	加藤 何か……思い出なんていうのはございますか。例えば……なんていうのをやった先生もあるそうでございますね。……。

274	I	それは……らしいです。昔は乱暴な……。……なんかね、板にやらせたんだそうですよ。
275	加藤	板を相手に。
276	I	……ですよ。
277	加藤	板を揉むわけですね。ああ。
278	I	それで腕を鍛えた。
279	加藤	ああ、腕の力を……。
280	I	ええ、……たんです。先生がこうやってギュウギュウやるんですよ、そういう……。
281	加藤	……。
282	I	……ね、民間企業なんです。……揉むのと押すのと……、軽く叩くと、その4つしかなかったのです。それで、適当な方法を用いたのが、鍼をやる人の……。それで、よく杉山流なんていってやってますが、……うまいのがいますよ。すごくうまいのがいる。やってみた……だけど、私どもはやりません……。
283	加藤	先ほど……っていいいますか、7年間なんですけど、その間ずっと変わらないものでございますか。
284	I	……1割ですね。
285	加藤夫人	お小遣いとしては十分なものだったんでしょうか。
286	I	さあ、……ありましたね。
287	加藤夫人	お腹がすくとか、そういうことはありませんでしたか。
288	I	いや、そんなことはありません。私どもはね、出かけていきますでしょう。行った先で何でもご馳走してくれますからね、お腹がすくっていいことはありません。
289	加藤夫人	ほかのお弟子さんも、みんなそうですか。
290	I	ええ、そうなんです。それが、腕前のいい奴は余計もらうのです。
291	加藤夫人	ああ、そうですか。
292	I	……やっぱり腕前……。
293	加藤夫人	オオキ先生の……。
294	I	……。……いますけど、それなんか、学校に行くって……。
295	加藤夫人	そのオオキ先生に。
296	I	ええ。そういう野蛮な人なんですよ。
297	加藤夫人	そのころの……さんたちは珍しい例だったんでしょうか。
298	I	まあ、そういう……。
299	加藤	学校に行かれて仕事のほうがお留守になるということも……。
300	I	……お留守になりましょう。……。私どもはどうしても、私は非常に、その時分には東盲の……いちばん最高だったんでしょう。最高だったんだけど、そこに入りたいと思ったんです。思ったんだけど、だんだん考えているうちに、私の知っている医療のことは決して知っていないということがわかったんです。先生がみんな知らない。
301	加藤	ああ、そうですか。
302	I	それで、私以上のものは知らないということがわかったので、もう東盲なんか行く必要はないと、そういう考えを持つようになった。
303	加藤夫人	奥村三策っていう先生は、だいぶ尊敬された先生だったようですけど。
304	I	あの人はね、非常に優れた才能を持っていた方なんです。だけど、技術的にはあまりうまくなかったらしいです。
305	加藤	ああ、なるほど。
306	I	技術的にはうまくなかったけど、学問的には大したもんだと。ですから、昔の校長の小西先生が、奥村先生の講義のときにはちゃんと礼をして入ってこられてね、そういうふうになさったそうですよ。やっぱり、何ですよ、相当に敬ったらしいです。
307	加藤	ああ、そうですか。昔は免許をどういうふうにとったか。
308	I	昔はね、師匠に付くでしょう。付きますとね、明治44年に内務省令が出ましたでしょう。あれは4年間の修業ということになってる。
309	加藤	その前……。
310	I	4年間の修業を先生に付いてしたという証明をもらうんです。その証明をもらえば、試験が受けられた。ところがね、その証明を出すのにお金を取った奴がいるんです。
311	加藤	ああ、先生のほうで。
312	I	ええ。
313	加藤	ああ、なるほど。
314	I	それは、だいぶ権威があったわけじゃなく。
315	加藤	I 先生は、明治44年以後に試験をお受けになったんですね。
316	I	ええ、明治44年、あのときに手続をすりゃ、ただくれたんですけど。ただくれたんだけど、私は嫌だって言って、私はちゃんと4年間勉強して、それで警視庁に試験を受けに行ったわけです。
317	加藤	何年ですか。大正に入ってからですか。

318	I	大正3年ですね。大正3年4月に行ったんです。それで、まあ行ってみるとね、随分ひどいの がいるんですよ。もう15回来ただのね、いうのがあるんですよ。それで、あなた初めてですかっ 言うから、初めてだよ、こんなもの……たまるもんかって言いましたら、その時分に私はいちばん
319	加藤夫人	その15回も20回も来るといふ方は、学理のほうが目なんですか。
320	I	それはね、勉強しないんですよ。勉強しない。山かけて来るんです。
321	加藤	しかし、乙種按摩というの、2年間で非常に簡単な試験なんですか。
322	I	ええ、乙種按摩というの2年間です。
323	加藤	それでも受からないんですか。
324	I	それは、マッサージができないんです。マッサージができないから、私は困るから、嫌だ から、4年間で甲種按摩術を受けたんです。
325	加藤	ああ、そうですか。じゃあ、晴眼者と同じものを。
326	I	同じものを受けたんです。
327	加藤夫人	15回も20回も落っこちたという方は、甲種に落っこちたんですか。
328	I	ええ、甲種に落っこちたんですけれどね、鍼も落ちたんです。
329	加藤夫人	じゃあ、技も学問のほうも。
330	I	ええ、両方よくないんです。私どもが試験を受けたときには、何が試験官だったですよ ね、クリキウタヒキ……っているでしょう、失明軍人。
331	加藤	ええ。
332	I	あの人が試験官でね、それから、富岡兵吉。
333	加藤	ああ、東盲の先生。
334	I	ええ、東盲の先生。それから、小川源助。その人たちが試験官で受けましたよ。やりました
335	加藤	試験は口頭でしょうか。
336	I	口頭です。口頭プラス技術を実際やるんです。
337	加藤	点字の筆記試験はないわけですね。
338	I	ええ、ないわけ。医者が口頭で言うんです。
339	加藤	ご記憶のところでは、そう難しい試験ではなかった。
340	I	ありません。
341	加藤	そうですか。
342	I	難しくありません。あんなの一気に、完全に。完全だったでしょうね。
343	加藤夫人	盲学校に行ってた方は大体通ったほうなんじゃないかと、それですと。
344	I	盲学校の指定という制度があったんですよ。その指定の盲学校を出た人は試験を受けなくてよ かったの。
345	加藤夫人	何回も受けに来られて落っこちるという方は、盲学校じゃなくて。
346	I	ええ、関係ないんです。
347	加藤夫人	ああ、お師匠さんに付いて習ってる方なんですね。
348	I	そうなんです。だから、勉強しないんですよ。
349	加藤	年季は7年ですけど、免許は4年経てば取れるわけでございますね。先生の場合、年季 は7年でしたけれども、4年目にはもう。
350	I	ええ、自由に受けられるんです。
351	加藤	それは、お師匠さんの許可とか何かが要るわけでございますか。
352	I	許可って、証明書が要るんです。
353	加藤	証明書が要る。お師匠さんが証明出さなきゃ。
354	I	出さなければいけないんですけどね。出さないなんてありませんよ。
355	加藤	ああ、そうですか。
356	I	自分のほうも出したほうがいいですから。
357	加藤	なるほど。そのときにお金を取った先生が。
358	I	私どもは取られませんけどね。
359	加藤	取った先生もいる。
360	I	いるんです。ええ。
361	加藤	免許を取ったあと、一人前になるわけ、一応法律的には。
362	I	ええ。
363	加藤	そういう場合に、お師匠さんの待遇なんかが変わる、そういうことは。
364	I	変わりませんけどね、私どもは先生の代診に行ったです。代診に出かけていった。あそこ に行ってくれ、ここへ行ってくれと言って、自分の行ったところに代診に行ったですね。こ れは随分私どもによかったんです。
365	加藤	勉強にもなりますし。
366	I	ええ、そうなんです。
367	加藤	だんだん、何ていうか、お得意が増えるということでございますね。で、年季を終えな くても免許を取ってしまえば、一人前の人で独立もできたわけでございますね。
368	I	ええ、できたわけなんです。

369	加藤 逃げ出すとか、そういうような人も。
370	I だからね、非常によそへ行くなんていうことを嫌ったんです。私なんぞ、親父さんが死んだときなんぞ、私は大分県ですけど、大分県にやってくれないんです。
371	加藤 ああ、そのまま帰ってこないと。
372	I ええ。ちょうど大正3年に免許取りましたでしょう。で、親父さん3年に死んだんですよ。それで、やっぱりやってくれません。
373	加藤 はあ、そんなふうだったんですか。
374	I そういうことがあったんです。
375	加藤 そういう点はちょっとあれでございますね。
376	I そうなんです。そういう点はいけません。今の、何ですね、民法上からもよくない。
377	加藤 実際は、臨床経験を豊かに積めるという点では、昔の徒弟制度というのは確かにあれでございましてね。お互いに、何ていうか、お弟子さんが替わっていくのを、お互いに業者の間で協定して、よそから逃げた人は雇わないというような、そんなことは。
378	I 私どもは、大正3年に免状を取りましてね、大正5年に大分県に帰りましてね、それで向こうで開業したんです。開業してね、ただみたいにあくやっただんです。まあ患者が来た来た。もう毎日30人以上来るんだ。で、こっちは疲れてしまう。それを今の人はやらないから駄目なんです。すぐ
379	加藤 独り立ちなさるお話が出たんですが、昔、商家でいきますと暖簾分けというようなことがございましたね、そういうようなことは。
380	I ないです。
381	加藤 援助は別に師匠は全然しないんですね。
382	I 本当はね、そうすべきものなんですけど、やっぱり師匠なんていうのはね、みんな貧乏なんです。貧乏なんだから、できないんですよ。
383	加藤 オオキ先生は、かなり流行られたんですか。
384	I 流行られたけど、あれは細君がだらしのない人でしたからね、貧乏してましたよ。冬になると、質に入れちゃあ米買ったもんですよ。
385	加藤 ああ、そうですか。例えば近くに独立して開業すると。
386	I それが、やかましかったんです。
387	加藤 やかましい。どういうふうには。
388	I 8町以内にね、8町以内っていうんですよ、随分ひどい話ですよ、8町以内に開業しちゃいかんと、こういう、吉田流にはその例があるんです。
389	加藤 ああ、吉田流では。はあ。吉田流というのは晴眼者の。
390	I ええ、晴眼者で、あれは吉田……。
391	(テープB面)
392	I ……やくざの遊び人みたいな人は、あんまが好きでね、非常にあんまが好きだったので、自分が独特のあんま術を考え出して、吉田流というのをつくったんです。
393	加藤 オオキ先生なんかの場合は、そういう8町とか、そういうことは。
394	I まあ、そんなことは言いません。そんなこと言わないのはなぜかと言うとね、どこに開業したっていいよ、開業する人が多けりゃ流行るんだから、だから開業してもいいよ、という人でした
395	加藤 ああ、そうですか。一般には。
396	I 一般に、昔の堅物屋はみんな、8町以内はいけないとかいうようなことを言ったんです
397	加藤 ああ、そうでございまして。先生は大分のほうとおっしゃいましたけれど、大分のほうには、これは全然鍼灸と関係ないんですけど、盲僧というものは。
398	I ありません。
399	加藤 ありませんか。
400	I あれはね、熊本県にあるんです。熊本県と鹿児島県にあるんです、盲僧はね。
401	加藤 ああ、そうでございまして。先生が大分を出られるころには、大分の盲学校ができたのは41……。何か、森清克という人が。
402	I 森清克さんがね、あれは軍人で、失明して、それで、やったんですけど、あそこは、俗に、足が利かなかつたり、手が悪かつたりするような人ばかり集めたもんなんです。
403	加藤 ああ、そうですか。
404	I それで、あれは、どうしてできたかという、長崎の盲学校を出た人が3人いたんです、その人たちが塾を開いてたんです。志柿という人と、小野田という人とね、それから佐藤という人と3人、塾を開いてね、それが合同して盲学校になったんだと思う。
405	加藤 ああ、なるほど。先生が東京へ出られるころには、もうそれは。
406	I あったんです。
407	加藤 塾の段階で。
408	I 塾だったんです、ええ。米を1升持っていきますとね、1日に1升。
409	加藤 1日に1升。
410	I ええ、1日に1升です。1升持っていきゃあよかったの。
411	加藤夫人 1日に1升ですか。

412	加藤	で、教えてもらうわけですか。
413	I	ええ、そうなんです。
414	加藤	1日1升というと、随分多いみたいな気がします。
415	I	ええ、まあ、それは食べやしないでしょうけど。
416	加藤	それは、住込みで1升ですか。
417	I	ええ、そうなんです。
418	加藤	それで、お弟子さんを使って働かせて、まあ9割ぐらいをお師匠さんが取るわけでご いますね。その上、食費を取る。
419	I	それで、いま大分にオオツカシゲオという人がいます。これは有名な人ですよ。
420	加藤	オオツカシゲオさん。
421	I	ええ。非常に流行ってる人です。有名な人です。
422	加藤	今でもお元気なんですか。
423	I	ええ、今いるんです。大したもんだ。それが、その大分盲学校を出た人です。
424	加藤	ああ、盲学校の出。
425	I	ええ、山に入ると、なかなかよく勉強した人では、それで、あれだけのものをアップした人 です。
426	加藤	先生は、そうすると、地元の盲学校はご存じだったけれども、そこじゃあ勉強できない ということで、東京にいらしたわけでごいますね。
427	I	東京に行けばどうにか道があるだろうというので、東京に来たわけなんです。それで、東京に 来たのは何かというと、経済的に非常に便利だったからですね。つまり、自分のほうから何も持っ ていかないでも、自分の働きによってやっていけるということは、それは大事なことだったんで
428	加藤	はあ。大分じゃあ、1升持っていくんじゃ、うちのほうからまいぶ仕送りをしなきゃ いけないわけでごいますね。
429	I	そうですね。その時分の1升だったら大変ですよ。
430	加藤	そうでごいましょうね。で、ご入門なさったのは15歳で、学齡のころ失明なさった。 まいぶお宅で、それじゃあ。
431	I	うちでね、随分勉強しました。少し大きな教科書だと読めたんです。
432	加藤	ああ、弱視の程度でごいましたんですね。
433	I	ええ。
434	加藤	ご自宅で、教科書とか何か。
435	I	大きい昔の教科書は読めたですよ。
436	加藤	ああ、なるほど。じゃあ、小学校ぐらいの知識は入門するときにはもう修得されていたわけ でごいますね。
437	I	ええ、そうでごいますね。
438	加藤	千葉勝太郎先生のお話が出たんですが、按摩専門運動というのはご存じですか。
439	I	ええ。あれは、あの人が按摩専門ということを言い出したんですがね、按摩専門というの に対しては非常に反対者が多かったんですよ。
440	加藤	それは、盲人の業者の間でも。
441	I	ええ、盲人の業者の間でも反対者が多かった。職業を専門するということはよくないとい う考えが多かったんです。それで、千葉勝太郎という人はなかなか偉い人であった。
442	加藤	はあ。
443	I	偉い人です。あの人の財産は、ほとんどが盲人の運動に注ぎ込んだんです。
444	加藤	千葉周作のお孫さんという話がありますね。
445	I	お孫さんです。
446	加藤夫人	千葉勝太郎の意見に反対だった、吉田コウゾウなんか反対だったでしょう。
447	I	ああ、吉田さんは反対です。
448	加藤	モリタさんはどうでしたか。
449	I	モリタさんも、あれはコウゾウ組ですからね、反対です。あの時分に鍼灸同盟会というの がありましてね、その鍼灸同盟会の連中は反対だった。
450	加藤夫人	鍼灸同盟会というのは、どういう性質の会なんですか。
451	I	やっぱり業者の会です。
452	加藤	盲人の業者の会でごいますね。
453	I	ええ、そうです。それで、千葉さんの会は「東京鍼灸協会」といったんです。
454	加藤	後に、保持協会。
455	I	保持協会は、ずっとあとです。千葉さんがまだ存命中は、「盲人鍼灸協会」といったんで
456	加藤	まいぶ派手にというのも変ですけど、板垣さん、かくしゃくとなさっていて。
457	I	ええ、板垣さんがね、何したんですけどね、あの時分に政治屋というのはね、盲人をうまく 利用しようとしたのが随分あったんですよ、選挙運動にね。
458	加藤	なるほどね。同情票みたいのが……。
459	I	ええ、その辺は今でも同じなんですよ。同じなんですよ。

460	加藤	タカギセイネンなんていう代議士がいましたですね。
461	I	ええ、いましたですね。あの人は、31のときに失明したんだそうですね。エンショウ皇太后陛下のご大喪のときに行って、目が非常に痛んでね、それで見えなくなったんだそうです
462	加藤	ああ、そうですか。
463	加藤夫人	明治22年ごろに「東京盲人協議会」というのがあったそうなんですけど、それと神田美土代町の講習会なんかとは関係は全くない。
464	I	ええ、そうです。
465	加藤	神田美土代町の講習会というのは、技盲の前身でございますね。
466	I	ええ、そうです。
467	加藤	そのことは、お聞きになったことがございますか。
468	I	技盲というのは、本願寺で東京盲人協会財団というのをつくってね、それで盲人教育を始めたんです。それで、あそこの本願寺の一部分を学校にしてね、それで始めたもんなんです。そこに入ったのが吉田コウゾウなんです。それで、今度、都に移管するときに、ほとんど今の文京盲が吸
469	加藤	ええ、そういうことでございますね。
470	I	吸収したけど、下らないやつを吸収しちゃったんです。実に下らないやつを吸収したです
471	加藤	どなたが昔の人でしょう。カスガ先生なんていうのは昔の方ですか。ミネギシ先生。いろいろ今の盲学校に対するご批判が出たわけですけども、要するに、実技と申しますか、臨床のほう
472	I	ええ。今の盲学校は臨床、このごろだい臨床のほうをやっていますが、あれはセリザワさんの型ではめ込んでやっていますからね。そう私は思うんですよ。あれは型ではめてる。それで、あの人は漢方のほうに持っていったね、それでセリザワさんの型ではめてやっているとこのうに思え
473	加藤	ああ、そうですか。私は今、東盲で教育学や英語を教えているので、鍼灸のことはよく存じませんが、セリザワ先生というのは、漢方と西洋医学を結び付けようとなさった。
474	I	ええ、そうなんです。大体あの人は漢方をたくさん読んでいますからね。かなりたくさん読んでます。
475	加藤	先生、大分から何年ごろまた東京にいらしたんですか。
476	I	東京には、明治42年に出てる。
477	加藤	そうじゃなくて、大分に大正5年にお帰りになられて開業なさいましたね。
478	I	ええ。
479	加藤	それから、また東京に。
480	I	東京には、大正7年に来ました。
481	加藤	大正7年にまたいらした。そうですか。それからずっと東京に。
482	I	ええ、そうなんです。向こうの人は、居てくれろとさんざん言ったんですけどね、ここに居たんじゃ駄目だと思ひましてね。ここに居たんじゃ、この土地のいい鍼医者になれるかもしれないけど、しかし、もうそれで止まりだ。そう思ったから東京に出てきたんです。それで私はね、中等教育から教育学、哲学、心理学、そういうふうなものにも進むことができましたね、それで一生懸
483	加藤	お勉強なさった。大正末から昭和初期にかけてでございますね。
484	I	ええ、そうです。昔は割合、その時分にはいい本を出したんですよ。
485	加藤	例えばどんな出版社。出版社と言うと変ですが、出版をなさった方。
486	I	出版した本が出たんです。どういのが出たかという、神戸に六甲社というのがあったです。あの方がね、活字で新聞を出したですね。点字の活字で、紙を濡らして印刷したんで
487	加藤	凸字でございますね。普通の字を出っ張らしたもの。
488	I	活字を使ったんですね。活字をいながら使ったんです。
489	加藤	それは点が出るんですか。
490	I	点が出るんです。
491	加藤	普通の文字じゃなくて。
492	I	ええ、文字じゃないです。点が出てね。非常に固い点ですよ。そういうのはね、早稲田文学だの、そんなものがだいぶ出たです。
493	加藤	ああ、そうでございますか。当時としては中等教育、あるいは専門教育程度のものがかなり作られていたということですね。
494	I	それから、もと点毎の初期に入ったコマタケさんという人があったですよ、京都の学校を卒業した。これが早稲田文学を出版しましてね、なかなかいい本を出してくれましたよ。
495	加藤	ああ、そうですか。左近允先生というのがお若くして亡くなられた。
496	I	ええ、若くて亡くなられたんですね。今の兵盲の前ですね。
497	加藤	そうですね、神戸訓盲院という時代ですね。
498	加藤夫人	先生は、オオキ先生のところにいらっしやいましたときに、大体1割いただいたということでしたけど、オオキ先生以外のお師匠さん、ほかのお師匠さんに付いてるお方の話でも、やはりそれぐらいだったんでございましょうか、当時一般に。

499	I	そうだったらいいですよ。私はあんまり調べないで、そんなこと気にしないでね。よそのことをあんまりしゃべりますとね、嫌がられるような気がいたしますもので、やりましたけど。でもね、小遣いには足りるんですよ。私どもは月に30～40円は働きましたからね。
500	加藤	当時、例えば1回治療するとどのぐらいになった時代ですか。
501	I	昔はね、いちばん初めに、かなりうまい人で20銭だったです。
502	加藤	20銭。それは、揉むほうですか。
503	I	ええ、揉むほうです。で、鍼は50銭だった。
504	加藤	それで50銭というのと、随分腕が、向かい方が、たぐと多かつたというところまでいいますね。
505	I	それでね、鍼は50銭とりましてね、それで、20銭とれる人は相当うまい人だったです。ええ。まあ今の人は知りませんよ、そんなこと。
506	加藤	本にも書いてないし、いろいろなことを伺って帰りたいと思います。大変不躰な、失礼なことをいろいろお伺いして、申し訳ございませんでした。なかなかそういう細かいことはわかりませんもんですから、是非伺いたい。どなたかこういう昔のことをご存じの方、先生、もしやご存じの
507	I	もっと昔の制度をよく知ってるのには、泉岳寺前に姥山さんという鍼医さんがいます。
508	加藤	もちろん、ご年輩の方でいらっしゃるんですね。
509	I	ええ、もう60いくつですね。それはよく知ってますよ。
510	加藤	それじゃあ、どうもいろいろとありがとうございました。
511	I	……昭和13年までやったんです。
512	加藤	大正10……。
513	I	大正13年まで。
514	加藤	ああ、11年から13年。
515	I	ええ。
516	加藤	当時、山下誠亮先生ですか、あの方が国民中……別の教科書。
517	I	ええ、あれはね、もう少しその前なんです。
518	加藤	前なんです。肥後先生というのは、点字を始められたのは。
519	I	あれはね。
520	加藤	ずっとあとですか。
521	I	ずっとあとです。あれは、私のところの機械を借りに来ましてね、今の奥さんが一緒に読みに来ましてね、それでやったもんなんです。
522	加藤	ああ、そうなんですか。
523	加藤夫人	先生のやっていらしたころは、やっぱり1点ずつの機械だったんですか。
524	加藤	足で1点ずつ。
525	I	足で踏むんです。
526	加藤夫人	で、出るのは1点ずつ出る機械。
527	I	1点ずつじゃないです。6点出るんです。
528	加藤夫人	じゃあ、高い機械だったんでございますね、当時。
529	I	私が使ってたのは、アメリカ製のやつを使ってみました。アメリカのね、クーパーの機械を。あれはいい機械です。もう、あれを使ったらほかのものは使えないぐらい。
530	加藤	当時としては最新の印刷機でございますね。
531	I	それが、ぶっ壊れてるんです。壊れて、もう使い道にならないぐらい壊れてる。修繕がきかなくて。それを修繕しながら、いしい点字の聖書を書いたんです。
532	加藤夫人	先生のご自宅に製版機を置いて。
533	I	いいえ、製版機は通って行って。
534	加藤夫人	どちらに製版機がございましたか。
535	I	柏木でやっていた。
536	加藤	柏木教会とご関係。
537	I	柏木教会のそばです。大久保の駅を降りて少し真っ直ぐ行きますとね、あそこに、いま交番がないかもしれないけど、昔は交番があったんです。その交番のところを左に曲がりますとね、すぐ
538	加藤	聖書っていいますと、カワゴエゲンタという方はご存じですか。
539	I	ええ、カワゴエゲンタ、知ってます。
540	加藤	I 先生のところまでご存命でしたか。
541	I	ええ、あの方はね、私もあそこの本を買いましたけど、あそこの本は随分自分勝手に抜き書きをやるんでね、困ったんです。抜き書きをやるんで困ったんですが、あの人……あそこに条件を付けましてね、抜き書きしないこと、そのかわり何部というのでやったんです。
542	加藤	カワゴエっていう方は、点字出版を専門にやっていらっしゃる。
543	I	ええ、専門でやってたんです。
544	加藤	見えない方なんですか。
545	I	ええ、見えない。
546	加藤夫人	東盲出られた方なんではないですか。

547	I	いや、そうじゃありません。
548	加藤夫人	ご自分で点字の……を選んで。
549	I	ええ、そうなんです。今の鍛冶町の裏のところに、元の町名だと下白壁町というのがあったでしょう。その下白壁町にいたんです。
550	加藤	I 先生がやられるころまで仕事を続けておられましたか。
551	I	やってみました。
552	加藤夫人	その方の機械は1点ずつの機械。
553	I	あれはね、ケイレン機って言ってね、山下さんがやったのと同じ。
554	加藤	山下先生も大分のご出身ですか。
555	I	そう、大分なんです。あの人は、ケイレン印刷機じゃあもうベテランですよ。
556	加藤	聖書っていうと、終戦後までありました文語の聖書、あの聖書の原版をおつくりになっ
557	I	ええ、そうなんです、新訳と旧訳とね。
558	加藤	ああ、……あったんだ。
559	加藤夫人	……あった。
560	I	文語の聖書をやったんです。
561	加藤	アメリカの聖書協会の支社か何か、東京かにございますね。
562	I	米国聖書協会というのがあったんですね。そこでやってたんです。ところが。
563	加藤	何かあれは大変格安、格安というのは値段が安いですけど、補助がアメリカから。
564	I	ええ、あれは安いわけですよ。ヨシモト先生が寄付してたんです。そんなこと言うとヨシモト先生に怒られるけど、ヨシモト先生が寄付してた。それで、聖書を30銭で売るというので、その分担金を聖書協会に払ってたんです。
565	加藤	私は全く終戦後ですけど、1部15円とか、物の高いところに、目の見え……紙代だけでもそのぐらいする……。
566	I	今の旧訳聖書の「イザヤ書」だの「創世記」なんていうのは莫大な厚いもんですが、あれが30銭ですもん、今の口語訳が。
567	加藤	そういうことをなすって……。
568	加藤夫人	よほど、お仕事を辞めてまで、先生、なさりたかったわけなんでございますか。
569	I	ええ、それはね、とにかく聖書には熱を入れたものです。とにかくこの1行に、そのたった1行によって魂が救われる人があるんだと、そういうふうな考えでやったから、どうしてもそうしなくちゃ駄目だった。二足の草鞋など穿くことはいけない。
570	加藤	そのころは、開業なさってるときよりは生活なんかだいぶ……。
571	I	それは……よ。とにかく、でもね、ヨシモト先生が私のところに送ってくれたんです。それはね、あの時分に月30円かな、30円送ってくれた。それで生活していったんです。
572	加藤	奥様と2人でなさっていたんですか。
573	I	ええ、家内はその後ですけどね。
574	加藤	そうすると、助手を使ってか何かで。
575	I	助手は使っておりません。
576	加藤	そうですか。それは全然知らないことだった。
577	I	私は看板も何も出さないでいても、その聖書を辞める時分には、月に150円ぐらいの収入があったんです。
578	加藤	鍼……。
579	I	ええ、看板出さないでね、それだけ収入があった。それを辞めたんです。
580	加藤	ああ、それだけ打ち込まれたわけですね。
581	加藤夫人	当時の方ご熱心ですね、お話伺いますと。
582	加藤	開拓期の方は、皆さん。
583	加藤夫人	本当にご熱心でいらっしゃいますね。
584	I	点字の印刷としては、あの聖書の点字がいちばん立派です。私が書いたんでそんなこと言っちゃ……、本当に立派です。あのぐらい立派に書いているのはありません。機械もいいんですけど。それと、内村鑑三先生の『羅馬書の研究』というのが5冊になってます、大きな本で。その5冊になってるのが、それなんどでも、読んでくださる方が、点字の最高だって言われたですからね。
585	加藤	先生、失礼ですが、無教会派、教派といいますか。
586	I	無教会派というとおかしいんですけどね。
587	加藤	内村先生の……。
588	I	無教会派という派はないんです。
589	加藤	ええ、派はない。矢内原先生。
590	I	無教会じゃない。つまり、教会には行かないというわけ。
591	加藤	ああ、なるほど。

592	I 教会が嫌がるんですよ。なぜかという、洗礼は要らないと言うでしょう。洗礼は救いのためにはならないんだ、救いのためには信仰だけだと。つまり、洗礼は受ける必要はない。受けてもいいけど、受けることが信仰の助けとなるなら受けたほうがいい、こう言うんです。教会じゃ、洗礼を受けなくてもいいなんて言うと、それは嫌いますよ。
593	加藤 そうですね。
594	I だから、私はまだ洗礼受けていません。
595	加藤 ヒラカタ先生も、矢内原先生とか内村先生の。
596	I あれは変わってるんです。あれは大変わりだ。あれはね、大体、セイロクデンの思想なんです。セイロクアドバンチスというのがあります。
597	加藤 ちょっと存じませんが。
598	I ……に。
599	加藤 はあ。
600	I あそこの思想が多いんです。

○ N

1	加藤 新案徒弟制度聞き書き集。テープ2、トラック2。○ Nさん 三島市大場 自宅において。最初、長谷川ヨシオさんの採録したもの。そのあと、昭和43年10月1日、加藤採録したもの。明治41年生まれ。幼児失明。12歳のとき、静岡県田方郡中郷村大場のアオキケイサイの門に入門、通い。同時に田方按鍼学校に入学。
2	○ 田方按鍼学校というのは、私ども師匠がね、お弟子を取ろうとすると自分が点字が覚えられないから。点字というのは明治23年に日本にできたでしょう。
3	加藤 はあ。
4	○ で、師匠は年取って全然覚えられないから、それで、つまり明治以前は鍼技やあんまは申請すれば村が、区長さんとか、あるいは村長さんの申請によって許可になったわけですよ。それが明治45年内務省令ができて、検定試験を受けなければ免許を取ることができない、というふうにして師匠は自分が点字ができないから、それでイナイダのムカシドの大村和吉郎という明治時代の衆議院議員がうちの師匠のいところで、その人たちがいろいろのお骨折り、とにかく
5	加藤 大村なんですか。
6	○ 大村和吉郎。
7	加藤 和吉郎ですか。
8	○ ええ。和吉郎という明治時代のこの辺の衆議院、その方やいろいろの方の援助で、とにかく師匠は点字ができないからお弟子が取れないと。お弟子を取っても点字を教えなきゃ検定試験を受けられないということになってね、それで明治45年内務省令が出てそれで学校を起こすことになったんですね。
9	ちょうど、いまの長岡町の古奈という所にイシバシさんという豪華な家があって、その家の娘さんがあって、その娘さんは10いくつのときにオヤギリフボタさまと盃までしたあと、急に失明してしまってね、うちではいま財産があるから何にもしなくてもいいけども、財産というのはそんなふうに困らないと。親のない後に食うことがいまに困ると思って、東京へ出してね、それで鍼按を学んで帰った方があったんですよ。その方は……でしたから。その方を講師に招いて学校をやるということになってね。それで財産がないから、全部寄付でやったから、それで自費は、学校っていったって、だから日曜学校なんですよ。毎日曜日やったんで
10	それで、駿豆線いまは離れているからね、これが駿豆鉄道というときに協力を得て、長岡から大場には汽車で来ればね、その当時、2等車って、いまで1等だね、2等のパスを無料で出してもらって、それから長岡から駅までの人力車、車代はね、師匠が持って、あと全部無報酬で、それで毎日曜日に寄って、この辺のお弟子さんをたくさん集めて教育したわけね。
11	明治45年に創立して、私どもが入ったのは大正8年ですけどね。10周年記念もやって、大正13年ころまでやったんですよ。毎日曜日にやって、みんなほとんど無料でやったね。その当時は、内務省令のときは、いまのように義務教育というのはなかったんです。普通は試験がない。何にも専門教育だけしか、つまり教授すればね、普通教育することは全然なかったです。それでも学校で私どもが習ったのは、昔ね、『点字読本』という盲人の教育本があったね。『点字読本』第1、第2、第3、第4まで買ったね。第1でもって「あいうえお」を教えて、2、3はもう小学校3、4年程度から5、6年程度までのことをいろいろ抜粋して作ってあつ
12	加藤 結局、国語みたいなものですか。
13	○ ええ、国語みたいなもの。それをやって、それから今度は解剖学へ入り、いちばん初め『生理解剖学初歩』というかな、それをやって、それからいよいよ本科みたいな、本科になってから奥村先生の『普通按摩鍼灸学』というかな、これを大体基礎として教育したね。私どもはそれだけしか教育。あとは自分で必要な参考書を読んだんですけどね。大体、按鍼学校では、『普通按摩鍼灸学』を教科書として、大体5年から7年の方にしかできないですね。それだけやれば、当時、試験
14	大正13年後の、実際の授業、専任も、師匠の所、私もいなくなったね。僕らも卒業して、あともうなかったものだから、自然に終わったですね。
15	加藤 イシバシという方の娘さんの名前は何と言われるんですか。
16	○ イシバシマスさんというね。
17	加藤 ああ、マスですね。
18	○ ええ、マスという方がホンアンショウの点字のほうを覚えておったから、で、毎週日曜日に来て、その当時みんなその先生が読むと、あとはもう筆記ですね。みんな筆記で。それから講義はウメバラシンキというこの在の方がね、やっぱり中途失明の方があって、その方が講義をしてくれた
19	加藤 医学のほうを。
20	○ ええ、医学、普通学も、それでね。
21	加藤 その方はどういう方だったんですか。
22	○ やっぱ盲人でね、中途失明で、やっぱり指南を業としておった方でね。
23	加藤 その方も点字は知らなかったんですか。

24	○ その方は点字知っていました。その方は点字もできるし、珠算もできるしね、何でもできた方です。そういった方がみんながほとんど無報酬でね、教育したですね。月謝も大して取れてないですね。いちばん多いの、財源は、イシバシ先生の車代、車費がいちばん主だったから。あとはみんな無料でもってやったですね。
25	点字を覚えるって、覚えたあと、だから大した教育って言ったって、そういうことを、それでも授業料を払っている。それで、おそらく10何年間授業をやって、それで駿豆鉄道では無料のパスを出しててね、2等車の。
26	加藤 大体、何時ころから始めてなんていうことはちゃんと決まっていたわけですか。
27	○ ええ、朝9時から始めて、4時まで。
28	加藤 ああ4時までやったわけですか。
29	○ ええ。
30	加藤 午前中は点字とかというふうに。
31	○ つまり、生徒はいくらもないから、段階をつけてね、つまり級も何もないから、昔なんて落第式だからね、つまり私らは、だからそれに入って点字読本をやるとか、あるいは翌年は今度は鍼灸学をやるとかっていってね、幾段階かに分けてやるんです。ただ、本当の昔の寺子屋式にやったですね。要は何年かの間に点字を覚えて、按摩鍼灸学を筆記して、みんな筆記で。仕上がったものが出来上がったわけだから、それで検定試験を受けたんです。
32	加藤 まず点字を覚えるということがやっぱりいちばん最初だったわけですね。
33	○ そうです。いまでも私その次は点字版をまずあてがわれて、それから「め」の字を突いて。私が10いくつのときだからね、いまの小学校4年か5年だね。「め」の字を突く。「め」の字は2週間ぐらいやらせ、大体全部突けるんですね。全部「め」の字が突けたら今度は先生がね、「1」を違えて「1」を突く。今度は「1、2」を突ける。今度は「1、4」とかね、「1、2、4」、それから「2、4」と。これを教わるともうできちゃうんです。
34	加藤 ああ、そうですね。
35	○ 今度は「あいうえお」をずうっとやってね、今度は「あいうえお」が出来上がると、今度は取ることを考える。実にうまくできているのが点字ですね。
36	加藤 そうですね。ええ、全く素晴らしい。
37	○ 大体、覚えるだけでは、私なんか12ぐらいだから、13、半年ぐらいかかったかね。突くことは突いても、読むことがなかなか大変だ、読むことが。それで『点字読本第1』というのを初めやってね、いまの何というかな、わからんけど。それで第2になると結構。
38	加藤 文章が。
39	○ ええ、文章でね。第3は小学校4年生から、大体6年程度のことですね、第4までで。それから二宮金次郎の勉強ですかね。つまり字を覚えたりいろいろのことをやって、それからようやく今度は解剖学へ移って、いちばん主たるものは『普通按摩鍼灸学』。いまないね。解剖学、局所解剖ですからね、全部、局所的にずうっとやってですね。頭から頭へ行ったり、筋肉から筋肉からね、全部局所的に。で、あとは自分でもって教科書、私どもはチカラクラ先生の『解剖学局処』、あれなんか読んだかな。それから検定試験のときには先輩が、ウチムラさんという方が各府県の施行鍼灸マッサージ試験問題何かというかな、大体ね、これが頁数にして430頁ぐらいあったかな。これを一通りずうっとね、遠回しを覚えちゃうとね、試験受ける必要なかったから。だから、大体それを覚えていくとね、試験が当たったですよ。だから私どもは17のときに、数えて17です、17のときに按摩術の試験にまず行って受かったんです。大正13年ね。年季中ですがね。ちょうど5人、師匠の所から、学校から5人出るんです。兄弟子が鍼技を受けた人がウエマツにスギサワかな。それからヤリザワさん、私どもではコサカ、ヤマモト、私、5人、あんまが3人、鍼技科が3人ぐらいと
40	加藤 ああ、そうですね。
41	○ 出たんですね。それとみんな、我々もね、どうもこれから学校が方々へ、各県に1校以上できると。それで学校ができてくる、ちゃんとした学校ができるとこんなことで圧倒されちゃう。それで、学校へ行くべきだというんで、学校へ行くべく運動を私なんか率先してやったですよ。また浜松もこうやって、静岡でもこうやってね、方々の学校の学則を取ったり、みんなそんなのはこれこれと大歓迎ですよ。そういったところが年季がもう大体明けて、まあまあぐらいうって見に行ったら
42	それで行くべく運動をしたところが、コサカがどうやら、まあ、じゃあ学校へ行くならやってやろうということで行けたんです。私とヤマモトジロウは、私は家庭の事情でもってピタッと断った。ヤマモトジロウもやめ。学校へ入ったのがカミヤマというのがいま裾野にいますかね、これは学校へ入ったです。これは横浜へ行っちゃった。それからコサカは静岡の学校へ入った。で、ウエマツというのが昔、鍼灸マッサージの免許を持ってから静岡へ行こうとしたのが、それは入れないんですよ。もう免状を持った者は入れる必要ないと言う。こっちは勉強したいと、いや、勉強と

43	ところが、これは静岡へ行って、トクダさんの所に婿へ入っちゃった。で、私はとうとう大場へ残って、家庭の事情でもってしょうがないから。私が出ていって、師匠も困るものだから、18でもって早いけども、入る道を取らせるとね。それで大正14年に鍼灸の試験を受けに行ったら受かったから。受かったらもう学校要らないと言うんですよ。それで大場で師匠を助けて、まだ年も明けないから、20歳まで年季だから、それでいてしまったです。それでヤマモトもいたんです。コサカが
44	昭和2年には師匠の奥さんが亡くなったものでね、あと女中を使っていたけど、しょうがないです。「何とかしてお前、あとやらんか」ということでね。私は年が明けたら出るつもりだったですわね。いや、もう田舎にいないだろうとね。それがね、どうしても家内を持ってあとやれと言うんですよ。それで昭和2年11月、いまの家内を探してね、結婚して、あとやるこ
45	加藤 昭和12年ですか。
46	○ いや、昭和2年。それで師匠の家でそのままあとは引き継ぐことになって、昭和3年1月から師匠の名前でもってね、つまりずっとあとを継いだんです。
47	で、昭和5年に震災で師匠の家が壊れて、それで初めて私は独立したけどね。学校は、だから私どもは最後だったです。大正13年卒業、あとはもうほとんどお弟子もなくて、自然に消滅したです
48	加藤 創立したのは45年ですか。
49	○ 明治45年です。だから明治45年から大正、10周年記念は私どもがやりましたね。盛大にやっただです。だから大正13年か14年ごろまでボツボツ授業。14年ぐらい、自然に終わったね。
50	加藤 その間、やっぱりイシバシさんという方と、それからウメバラと。
51	○ ウメバラさんがシンでもってやっただすね。
52	加藤 その場所はどこだったんですか。
53	○ 場所はね、大場に青年の集会所があったわけですよ。いまのバスで通ってくるすぐ近くに
54	加藤 住所はご存じですか。大場。
55	○ ええ、大場ですね。
56	加藤 ここは三島。
57	○ いや、三島市。元は中郷村。
58	加藤 中郷村ですか。
59	○ ええ、田方群中郷村大場という所です。だから、場所は青年のコウカイ、昔でいう青年が集会する所。そこをやっぱり皆で借りたんです。それで机が青年の集会所だから20ぐらいと、いくらぐらいあるかな。それで、教壇としてはちょうど人間の、おとなの大きさぐらいあるかね。模型が1
60	加藤 解剖も出来ると。
61	○ はい、解剖をやっているから、人体だけ。その代わりどこからか無理してね、経穴の付いたのを買ったりしてね。どっかで探して、それが三島ぐらいかな、経穴が全部付いてね。昔の先生の所だと寝台が1個と、教材は模型が大人だったですよ。1個、それですね。
62	加藤 その青年集会所みたいな所では実技の指導はなさんなかったんですか。
63	○ やっただす、だから寝台があって。
64	加藤 そこに実技の寝台もあったわけですか。
65	○ ええ、やっただすね。それから、実技は師匠がやった。実技は師匠がやって、目的は学校では主に学問のほうだけが目的というかね。それだけの検定試験が受けられないから。
66	加藤 それは先生というのはアオキ。
67	○ アオキケイサイといってね。
68	加藤 アオキケイサイという方ですか。
69	○ ええ、私の師匠はね。
70	加藤 先生のお生まれになったときとか、歳とか、あるいは先生について、ちょっとじゃあ。
71	○ その先生が生まれたのは、元治元年といったかな。私が入門したときには、師匠は50いくつかな。57、8だったと思いますね。現在、ご丈夫でいると、100いくつになるかな。大体、徳富蘇峰先
72	加藤 ああ、そうですか。
73	○ うん、うん。
74	加藤 徳富蘇峰先生で知られば、年代はわかりますか。
75	○ うん、うん、うん。私がお弟子に入ったときが、私が12で入った年でも57だと思ったね。
76	加藤 ああ、そうですか。
77	○ ええ。
78	加藤 亡くなられたのは。
79	○ 亡くなられたのは昭和17年に東京で終わったね。こちらを引き揚げるのは、昭和8年に引き揚げたかな。引き揚げた。
80	加藤 どの方だったわけですか。
81	○ 大場だったです。
82	加藤 ああ、大場でございますか。

83	○ ええ、大場の。大村和吉郎という明治時代の衆議院のいところになる、その方が率先して。最後、昔は内務省の指定になれば、その学校を出ただけで検定試験があったです。僕の師匠は指定でなかったから、結局。それで内務省が指定にしてみるという承認を持って行って、東京でもって倒れておしまいだから。だから、指定までこぎつけないで終わった。あくまで私立でもって。だから、師匠の名刺はいつも田方按鍼図学校を設立したという名刺を持ってね。校長じゃないです。校長は、いま三島に社会保険病院、あの病院の昔の院長ですね。ヤマザキセイショウという方が校長
84	加藤 ヤマザキセイショウという方ですか。
85	○ ヤマザキセイショウという方が。
86	加藤 お医者さんであったんですか。
87	○ お医者さんです、三島病院の、いま社会保険病院のずっと。
88	加藤 前身。
89	○ 前身ね。三島病院。その方が校長で、名前でね。校長であった。
90	加藤 その方も授業にはいらっしゃったことはあるんですか。
91	○ いや、ほとんど出なかったからね、名前だけで。その代わり校長で、師匠は設立者としてね、設立者兼講師。だから、教授というのは講師、みんな講師。
92	加藤 みんな講師だったから。
93	○ いわゆる講習所のですかね、学校というものの。名前が田方郡按鍼図学校ですね。キギョウだと按鍼学校、按鍼学校。あんまと鍼技だったから。
94	加藤 そのヤマザキというお医者さんはやっぱり大場にいらっしゃたんですか。
95	○ その方は三島だったんです。
96	加藤 ああ、三島で。
97	○ ええ。校長というのは一部だからね。名前を出したんです。医者が、つまり校長の名前を出したんです。
98	加藤 何かご存じだったわけですね、アオキ先生と。
99	○ 懇意な。
100	加藤 ああ、あったんですね。
101	○ みんな懇意な間柄だって、協力者はね、みんな房州で、創立も寄付でやった。寄付の帳面が残ってましたよ、ほとんど有志の所はね。みんなイケダとか……とかもらったのがね。つまり業者が、この辺の業者が協力してね、みんな自主的にですね。みんな真面目になってやったんです、……になるから。
102	加藤 ヤマザキというお医者さんは開業されていたわけですか。
103	○ 三島病院の院長だった。
104	加藤 ああ、三島病院の院長、ははあ。
105	○ 院長で。
106	加藤 三島病院ていったわけですか。
107	○ ええ、そうです。
108	加藤 社会保険病院の前身は。
109	○ ええ、俗にいう三島病院。あれは三島、三島病院と言ったね、きっと。病院として1つしかなかった。普通は医院だからね。三島病院とか沼津住友病院とかね、時の代表のね。
110	加藤 代表的な。
111	○ ええ。まあ13年ばかり、ずいぶん卒業生はあるんですよ。私とほかに三島辺りの衆も通ったね。この辺も、みんな生徒を出したね。
112	加藤 アオキ先生の人となりというが、そういうことをずっと、ちよつとお話したたけよせんか
113	○ アオキ先生という方も、そうですね、昔の方ですからね。
114	加藤 どういう所で勉強されたんですか、アオキ先生は。
115	○ みんな昔は年季に入って、師匠の所へ付いて。
116	加藤 大場にあったわけですか。
117	○ いや、大場にはなかったですよ。私、師匠は、勉強はね、この三島市中泉村にね、いま中泉町だね。ナガクボという所があったんです。そこにミンブさんという東京の、昔いたね、東京の杉山流の鍼灸を極めた方があって。
118	加藤 ミンブってお名前ですか。

119	○ ええ、名前。何と言ったかな。そこへまあ、昔のことだから、アオキさんというのは昔の豪家な息子だから。それで、師匠の分まで食い扶持を、普通は昔は五合扶持を持っていくのが普通でしょう。それを師匠の分まで米、荷物に付けていったというんだね。そして、昔の新前はですね、あんまと同時に鍼を勉強するには寒稽古というのをやったですよ。寒稽古ってどうするというと、いまよりずっと寒かったですね。宵に水を汲んでおいて、その水が凍って、それで朝4時、いちばんというか、4時から5時だね。一番鶏が鳴くと起きて、氏神さまへお参りをして、それから戸を開け放して、廊下へ簀を敷いて、それで手で氷を割って、氷の中に手をこうして、ブルブルっと音をさせて、それから自分の腿へ、両方へネジを打ったかな。片方は50本ずつ、両方は100本。毎日、毎日ですね、つまり昔は鍼医さんというのはともかく、いまの胃瘕癰ですね、瘰癧ね。これがいちばん
120	それから、向こうへ行って、患者が苦しんでいるのにね、手をあぶってなんていうことは許されなかったです。冷たくても鍼が扱えるようにと、その寒稽古がなければ鍼を持たせないですね。それで手をこうして、手を冷たくしてその鍼を50本痛に、そこへ打たなければ寒稽古は通らなかつ
121	それで師匠が見ていて、手をこうしろと、手をこうしろと言うから、ゴショゴショ音をさせるんだ。それで、鍼を打ったか打たないかということはどうしてわかるかと、確実にわかる方法があるわけです、師匠に。そこに正直に50本ずつ打てばですね、3日もやるといわゆる反応できれいに足が腫れちゃいます。歩けなくなる、向こうまで。歩けなくなるんです。そうすると腫れると、今度は師匠がその鍼をまた施してやり直す。そうすると何か昔の薬だね、その漢方薬、それをくれて、寝て起きると、汗をぐっすりかくとね、それが腫れがすうっとなくなってしまします。それでその寒稽
122	正直にやって、足が腫れるまでいかなければ、何年経っても卒業できないから、先生の鍼の許しを得ずにするのが多い。正直に、正直に鍼を刺せばね、必ず腿が腫れてしまうと言って。
123	加藤 ミンブという方は盲人だったんでしょうか。
124	○ ええ、もちろん盲人でしょう、はい。
125	加藤 それじゃあ晴眼の方でやっているという方はほとんどなかったですか。
126	○ 昔はもうなかったです、ほとんど。もう都会ではあったね、イシバシ先生のお師匠さんは晴眼だから。オカモトゲンシンと言ったかな。明治天皇の皇后陛下の鍼やったって言っていま
127	加藤 東京でですね。
128	○ 東京で。で、よくイシバシ先生が話しているのは、お迎えが来るとね、治療に行ってそれで治療してね、いつもその鍼が弱いんだってね。今度会うときね、鍼が弱いから、もっと強くするという、あっちからのなにがあったの。
129	それからね、胃倉に鍼したね。そうしたら「今日の鍼は結構だった」という一言を聞いたということですね。もう初めの効き始めは鍼は話ができねえから。黙って鍼をしてね、痛くねえから。弱いからというのをですね、もう少し強くしろと言われてね、それでとどめの鍼をしたから、「今日の鍼は結構だった」ということも聞いたということはよく言ったね。それは、イシバシ先生のお師匠さんは晴眼だったね。
130	加藤 イシバシ先生という方は、全然、鍼とかそういったことはやらなかったんですか。開業されなかったんですか。
131	○ 開業って、自分の家に来た者は、懇意な者はやったけども、営業はしてなかったです。何しろその当時、昔の財産家のお嬢さんだから、人が行かなかったんです。
132	行くのは、こういうふうにならんかと頼みごとの奴が行ったです。鍼を持っていましたですね。鍼をほとんど営業では使わなかったです。つまり、身上がつぶれずに、最後のときは効力もあるからと教えたけども、それもその当時はよかったんです。その後にして、いま、ほとんど跡形もなく家がなくなったけど。
133	加藤 アオキ先生のとこの年季が明けて、出たら。
134	○ そういうこともあったら、師匠が卒業すると間もなく、師匠が終わってから大場へ来たしね、ええ、自分の土地へ。それで、お弟子を集めてずっと何十年かね、私が来たときは57だから、25～26、30年ぐらいですかね、弟子を養成したのは、はい。私なんかいちばんしまいのほうなんです。昔の人はシンサイとかリョウサイとか言ってね、そういうのがありますがね、昔、みんなお弟子に入ると師匠の名前を借りて自分の名前、みんな名前を借りて、シンサイ、リョウサイとか言って、私の代はもう大正の末期だから、そういったものはだんだん薄らいできている。そのころはみんな名前も行くときすぐくれたね。私、12のときに、アオキ先生に来る前に三島のミタショウトクさ
135	加藤 ミタ。
136	○ ええ、ミタショウトクさんということだね。それですぐに名前をですね、じゃあミガシラだからとミガシラといって1カ月もいたよね。

137	急にそこが嫌になって話を聞くと、三島をこうして向こうから、トマリや新宿から大場へ行っていると聞いたんで、子どもながら嫌になる。向こう側の行ったら女の人が1人しかいない、お弟子がね。こっちへ大場のアオキさんには大勢いると言われた。アオキさんといえば自分の土地でしょう。それはそっちへ行ったほうがいいと思ってね、1カ月ばかり行ってとうとう辞めちゃったです。それから大場へ入ったんだからね。大正8年11月に入ったかな。それから、うちでは五合扶持というのはやらないから、で、弁当持って行って、早く。朝、弁当持って行って、一日いて夕方帰ってね。昔は何でも弟子にすると、2年ぐらいはゴロンゴロン遊ば
138	私、12のときにその三島のミタショウトウさんの所へ行ったときに、数え12は少し遅かったけど、本当の意味ではできませんが、10か11で行かなければいいものはできねえというわけでした。13になって入門した者は、大抵ぐれちゃうです。伸びないですね。本当の伸びる者は11ぐらいいでもって教えて、2年ぐらいい無駄飯食って、暇さえあれば柱を押したり。
139	加藤 柱というのは。
140	○ こう柱を押したり、指を。
141	加藤 ああ、押すわけですね。
142	○ ええ。それから、力出すようにと、暇さえあれば枕を押して、枕も箱枕ね、あれを押して、そうしてこの指を鍛えた。それから自分の腿をしょっちゅう揉むとかね。だから、私の指はこんなですよ、親指こう。これはこう反りますよ、こうね。こう反りますよ、こう。触ってください、指。触ってください、ずうっと。こっちもそうですね。だから、ここが反れる。この辺りまで、ここでもです。ここでしょう。
143	加藤 ええ。
144	○ これもですよ。だから、こうしてこうするでしょう。これね、これねえ。ここまで、ね、昔は。2年ぐらいいは、まあ、やりっこしてね。それで時折、師匠が肩をこうやってね、だんだん、だんだん慣らす。それできた者は近所へ揉みに行って、普通よりは半額とか7分とかもらってね、だんだん仕事が入った時分には一人前の人が3.5銭という、これは初め10銭から15銭という具合にね、だんだん値を上げて行ってね、そして師匠に入れるんですね。昔はそれが目的です、師匠は。お弟子をあちこち働かせてね。で、これでうまく師匠生計をとったですね。だから、技術的にはそのほうが本当なんですね。いま学校だから、学校、学校、学校というね。僕のころ、17から18のときには学校へ行かなきゃ、高校という学校へ行きたかったけど、行かなかったからね。実は技術的にはそうした練習をした者じゃなければ、いい臨床家はでき
145	加藤 てです。先生がいらした時分は、何人ぐらいいアオキ先生の所にはいらしたんですか。
146	○ 6、7人です。しょっちゅう6、7人と。私のときは8人ぐらいいいたね、だんだん減って行って、もう自然と人ともう、もう急に減ったですね。それでも5、6人はいたですね。その昔、明治の時代に三島に……ったという大臣がいたですね。
147	(テープ中断)
148	加藤 アオキ先生、あのアオキ先生はそういう。
149	○ みんな国民がね、昔、寒稽古をあんまのほうでも昔はその寒稽古をやったですね、やっぱり、寒いときね。冷たい苦労というのを、寒稽古をやったという。私たちは強制的にやらせなかったね。そういう話はしてもやんなかったね。
150	加藤 やっぱり昔は、ずうとこう。
151	○ ええ、そう、そう、そう、ずうとね、その当時、自分は寒稽古をしてるけど、あとはやらせなかったね、時代が違うからとね、やらせなかったね。師匠、自分はやっていると。だから、結局、それまでもういかないですね。
152	加藤 東京へ行かれたというのは、何か子どもさんか何か連れていらしたと。
153	○ ええ、自分はね、相続人が東京にいたものだから。それで、私にあとをやらせて、自分が行くつもりが、昭和5年の震災でもって家が全壊してしまったから。
154	加藤 この辺もですか。
155	○ ええ、そうです、全部。それで、私はそれから独立したですね。
156	加藤 先生はもう東京へ、アオキ先生は東京へ行かれちゃったわけですね。
157	○ ええ、そうです、そのとき行っちゃったです。それで、私はその隣へ宅地を買って、15坪の家を建てて、それからそこへ13年いて、いま、今度こっちへ越したですがね。結局、私は師匠の所へ15年いたわけです。
158	加藤 一緒に。

159	○ 一緒に15年いたわけですから、私は。だから、2年生いちばん、普通、7年ぐらいね。最低が、内務省令ができて4年以上と。4年以上行って、師匠に付いて勉強すれば受験資格があった、検定試験が。その代わり組合があって、組合は、いまは保健所ですが、昔は警察なんだね。2年間一定の師匠に付いて勉強して、その師匠が証明すれば受験資格があったです。昔は組合員には警察署長が集め、必ず出てきて訓示をするんですね。だから、ちゃんと警察の証明になるから、O Nは何年何月に入門、いたということをちゃんと証明する。警察が証明する、この人間はいたということ。それで検定試験を受けるだけになる。全部、警察が証明するんですよ。その昔が、つまり試験がなかったから。ただ、証明は必要だったらしいですね。村の区長さんとかね、村長さんが。試験はなかったです。試験は明治45年の内務省令によって試験がスタートになった。試験、試験について師匠が、つまり学校をつくったということは、自分は点字ができないから、それでみんなの協力
160	加藤 その場所というのはあれですか、その何というか、建物というのは相当大きかったわけですか、その青年も一緒に。
161	○ そうですね、大したことないね。それは1つが建物が……じやったので、そうですね、2間半の5間ぐらいかな。
162	加藤 そこには相当集まったわけですか。アオキ先生の所からも行かれた人も。
163	○ うん、だから、私たちの時代では7、8人だったね。いつもそのくらいでしょう。ただ、点字を教えて、『点字読本』の1、2、3、4やって、それから上達していくうちに解剖学をやるとい
164	加藤 アオキ先生の所にいた人だけではなかったわけですね。
165	○ ええ、三島辺りからも来た。
166	加藤 ああ、集まったわけですね。
167	○ ええ、そうです。
168	加藤 それでも合わせてもやっぱり7、8人の範囲で。
169	○ そうそう。
170	加藤 先生の所にそういった何か記録とか文献とか、そういったのはないでしょうね。
171	○ いま、ほとんどなくなったねえ。そうです、いくら見ても、私どもの卒業証書に名簿ないですね。本もほとんどないんじゃないかな。もうとにかく40から50年経つからね。
172	加藤 そうですね。
173	○ ええ。
174	加藤 なるほど。
175	○ 私が17のときに終わった、17か18で終わったからね。
176	加藤 ああ、そうですね。
177	○ もう43年前に消滅しているからね。それで、ヒラタさんの来る前には内務省指定はなかったかな。とにかく、ですからね。
178	加藤 補助金があった。
179	○ 補助金がね、補助金があったのは、私のやっているときには。
180	加藤 初めはこの分で。
181	○ ええ、やったの。大正13年に、軍は、昔はね、田方には郡庁があって、田方郡郡庁があつて、郡会議院があつて。それで郡制が廃止になったのは大正13年かと思ったね。それで郡制廃止について慈善事業に褒美があつて、そのときにもらったのが100円ですよ、田方郡からね。天皇陛下から、つまり慈善事業をご奨励の意味でもって、ネンカは2月11日にね、御下賜金が
182	加藤 ああ、2月11日にやったわけですか。
183	○ ええ、そうです。いままで郡がやると貰っていたらしいですよ。で、何か郡ももらったけど、そのまま使わずにしまっちゃったらしいです。それで、昭和4年にヒラタ先生が死んだね。死んだらば、おかみさんがね、その金を積んであったから、県に持ってったわけだよ。予算たりたから使っていないと言って。それで県のほうではそれはもう学校にやったものだから、あろうとなかろうと、あることにしてやったものだから、それで初めて。そうしたら昭和5年からその御下賜金の100円が田方の鍼学校へ回ってきたんだよ。突然、通知があつて、役場から話があつて、「今年に
184	加藤 昭和何年ですか。
185	○ 昭和5年。4年まではヒラタさんのほうへと。
186	加藤 ああ、行っていたんですか。
187	○ ヌマタ君も行っていたんです。4年にヒラタ先生が死んで、ヌマタ君も、いよいよ……廃校で通ったもので。それから昭和5年2月11日は、今度は田方の鍼学校へ、突然県から役場へ通知があつて、それから「お前行ってくれ」と言うんだよ。で、私、行ったですよ。初めて行ったけれども、ちょうど浜松盲学校のイワサ先生と。
188	加藤 誰ですか。
189	○ イワサ。
190	加藤 ああ、イワサさん。

191	○ ええ。それから静岡盲学校のクシミ先生と、まあ先輩でね、どちらも出るんですよ。私は1人でのこのこ行ったですよ。それで一緒に行ってくれて。それから、いよいよ出てですね、呼ばれてこうしてもらったからと。それで、ちょうど3年、昭和4年、5年、6年。あっ2年、2年いったのか、ええ、そう。5年に第1回行って、それで、5年11月、チュウサイでもって中学、請われて師匠、東京へ行ってね。それで、6年の分もまたきたです。それで、オオムロさんという、そのバクチ打ちの息子のオオムロナオキさんと言うんですね。それで「お前、行ってくれ」と言うんです。それで私、5年にも行ってきたんですよ。それで、6年、ああ、6年か。7年すぐは師匠が東京から戻ってきてね。それから師匠が戻ったかな。あっ、そのときは今度、7年、7年は三島盲学校を私が6年に行ったときにクシミさんがね、何か学校と問題があつてね、それで学校、喧嘩して
192	加藤 ああ、そうですね。
193	○ そうして東部盲学校は出来るんです。で、三島にミヤザキさんというマッサージ……があつたですよ。
194	加藤 ああ、そうですか。
195	○ うん。そのあと俺、すぐ学校をやっている、あとを引継いで。それで、その引き継ぎをやろうとしたところが、クシミさんに初め相談に行ったです、ミヤザキさんが。そうしたら、これ幸いとクシミさんが向こう、学校を辞めて、「俺、こっちへ学校つく」と。それでヒラマツ先生というのを引っ張ってきて、それで三島で始めたわけよ。それで申請に行ったところが、東部には田方按鍼学校があるからね、三島盲学校は許可できんと。それで三島盲学校を申請するために田方按鍼学校
196	それで随分もめたけど。こういうものが、せっかく御下賜金まである学校だもんね。辞めて三島も、静岡県東部盲学校だから、名前が都合悪いから、按鍼学校じゃね。クシミさんが静岡へ対抗してつくるべくやったわけですよ。それがうまくいなくてやめちゃったかね。
197	それで結局、やめちゃって、とうとう田方按鍼学校も廃校。申請はなかなかやれない。やめるんならすぐやめるけど、申請というのは容易じゃないと師匠言うけれども、そのとおり何回行ったか。大変だったよ。申請っていうのは何の、いまでもそういえばそうですが、1カ所はそこだけ戻しをして、ところが、窓口、トイレ、体育館はまた別々だから。全部やって訂正じゃないから。1回ごとに戻すから。とうとう、あと出来っぱなしにしてしまつて。ところが、イマ盲というのは東部盲人連盟ができて、それで運動してね。最近、盲人も税金も払うと。それから何でも東部へ盲学校を
198	加藤 いまのですね。
199	○ ええ。
200	加藤 実質的に、実質というか名目的にも廃止されたのは、田方按鍼学校は昭和7年ということになりますかね。
201	○ そう、そういうこと。
202	加藤 廃止、廃止始まったのは。
203	○ ええ、ええ、名前はね。
204	加藤 実質的には大正13年ごろ。
205	○ ええ、14年まで。
206	加藤 14年までで、あとは名前だけはあつたわけですね。
207	○ ええ、そうそうそう。で、御下賜金が来た、調査廃止でね。
208	加藤 調査はなかったわけですね。
209	○ なかったですね。ちょうどイシバシ先生も大正15年、昭和2年に死んだか。15年かな。そういう用があつてね、うん。
210	加藤 てつすると、その間はもうほとんど生徒はなかったわけですね、本当は昭和の、大正12
211	○ ええ、12年からまあ全然ない。
212	加藤 全然なかったですね。
213	○ ええ。
214	加藤 名前だけはあつたわけですね。
215	○ 名前は宗のはづでは持つていた。だから御下賜金が来たわけですね。実際はもうなかったで
216	加藤 なかったわけですね。
217	○ ええ。
218	加藤 その廃校のときの手続というのは、書類とかそういったのは、もう全然どこにもありそうもないんですか。
219	○ ええ、ない、ないです。ミヤザキさんもあれはないね。あと建たないし。廃校は簡単だったですけど。廃校は、この前の静岡県東部盲学校をつくるために廃校している。廃校しなきゃ。
220	加藤 廃校手続はどなたがやったんですか。
221	○ それはミヤザキさんがやったんです。ミヤザキさんは金もらつてね。
222	加藤 そのときには御下賜金は一応は三島盲学校のほうに出たんでしょうか。
223	○ それは出たらしい、ええ、1回は。

224	加藤 ああ、1回は。
225	○ ええ。もう昭和8年から全部終わっちゃったでしょう。どうなったかね。御下賜金が、私行ったときには、神山復生病院が500円ね。それからあと盲学校と静岡ホームかな。静岡ホームと神山復生病院と、それからその盲学校関係の3つね、こんなものだったな、うん。でも私も県の代表部
226	加藤 それでみんな集まって県のほうから出したわけですね。
227	○ えっ。
228	加藤 県を通じて御下賜金を得るお手伝い。
229	○ ここに宮内庁から經由して。小切手もらってきてね。私は2度行ったわ。ちょうどここ、こうやってね、大食堂でもってね、おでんが出て、みかんが出ておでんが出たかな。おでんがこう来ると、いつも先に立ってパーッとやるんだよね。私が行ったときは、クスミ先生がよく面倒を見てくれたからね。あの当時はずいぶん、1県で1円増やしてもらったら、学校は建つっていったね。計
230	加藤 ……した人との行事みたいなものがあつたんですってね。
231	○ ええ、県でね。
232	加藤 ……でやっぱりいつでもやりましたですか。
233	○ ええ、そうです、受け入れてたからね。うんに行ったですよ。その当時100円というと、いまの10万円ですね。
234	加藤 ああ、そうですね。
235	○ 月給は45円ぐらいだから。
236	加藤 はあ、はあ、はあ、そうですね。
237	○ ええ、いまの10万円ですわ。大したものですよ。いまの10万円ですわね。
238	加藤 そうですね。
239	○ だからその当時、クスミさんが案として金が1万円があつたらね、1万円、1万円があつたらば、つまり学校は維持できると言ったです。
240	加藤 1万円か2万円。
241	○ 1万円金集めれば。昔は利息よかったですよ。
242	加藤 ああ、そうですね。
243	○ 9 銭ですよ、ね、利息が。1万円あると900円利息があるんですよ。普通の収入が年収500円はいかないから。1万円の金があれば、本当にもう結構なことです。普通、金持ちも1万円金があれば
244	加藤 そうでしょうね。
245	○ 普通働く者が400円か500円しかねえやから。避んでおいて900円払うのは、これは金持ちで9
246	加藤 そうですね。
247	○ ねえ。
248	加藤 はい。
249	○ いまの3,000万円ぐらいかな。
250	加藤 ええ。
251	○ うん。
252	加藤 ええ。
253	○ いま3,000万円ある金持ちと比べるといいですよ。
254	加藤 ええ。
255	○ 1,000万円だって、月末、年で言うと50万円ぐらいなんだ。4万か5万じゃ、あんた、本当に貧乏暮らしですよ。金持ちの暮らしはできねえ。金、相当あつたですよ。だから、私は幸いその杉山流、つまり杉山流のミンブさんという方は東京へ出てきて杉山流の教育を受けて、その教育を受けたのを私の師匠に教えて、それから、その師匠から私もその杉山流の教育を受けたが、杉山流を引くにはということね、自分では杉山流の誇りを持っていますけど。一般にそういった感じがないと、ただコソコソ考えておって揉んでも、ちっともきかないですね。私の所と師匠とワダ先生の師匠ヒラタさんとね、全然違うですよ。ヒラタさんのほうは町場だから、ただパタパタ上っ側サッサッサッサッとやって、1週間経てばまた揉みたがるというのは、ヒラタさんですよ。私の師匠の所は治療をしてもらったならば、まあ揉むたっていえば、自慢だから。本当の俗にいう素人の急所、芯のどこ揉むから。だから、あんまして終わったときは、何ともないですよ。効かないわけですね。また来なきゃと言ってくるです。それで異感覚になるね。それで、あと治っちゃう。ヒラタ
256	鍼を刺すね。本当にギョッとやったときは何ともないです。もうちょっとやると言うんです。そういつてあと治ってくるんです。だけれども、私がやったときと倅がやったときと、倅がやったときは、みんな「ああ、さっぱりした」と言ってくるんですよ。そのときはうんと。それであとになってから異感覚がねえから。で、私がやったあとは異感覚はそのときはあげないですよ。で、だんだんといくと、スーとすると患者がよく言うんですよ。あとの気持は、同じにやるんだけど、

257	だから、病院だってやっぱりそう。本当の技術屋たちが、終わったときは何ともないです。むしろ葬ってやるんです。それで、あと異感覚が消えたときには、スーとするんです。これは大変です
258	加藤 先生、何か杉山は何か伝記なんか読みますとですね、鍼灸講習所を40何箇所か全国につくったんですけれどね。で、この辺にはそういった講習所といったものは、つまり江戸時代から明治にかけてはあったらしいんですよ。それともなかった。
259	○ 講習所というのはなかったらしいね。その流れを受けた勾当・検校と言って、この江間という所にある、江間には勾当さんがあったという話は聞いていましたね。いまの勾当さん、勾当、全部
260	加藤 ヒラヤマ村ですか。
261	○ いや、江間村ね。
262	加藤 ああ、江間村。
263	○ ええ、ムロオカさんってね、ちょっと聞いていますがね。
264	加藤 ムロオカというのは。
265	○ ええ、ムロオカ。あと、勾当のはつまで行つたらしいね。盲通、座頭まで行けば大変なもので
266	加藤 ああ、そうですね。
267	○ 座頭の位を持ったら、大場なら大場に座頭がいればね、大場中のお祝いごととはどんなお祝いごとでもちゃんとお膳を取れたですね。呼ぶことになっているけども、大変だから、つつい呼ばずにお膳を持ってくる。もし徹底的にやるときは、そこへ突っ込んで行って、中座敷へ座れば、座頭の中座敷というかね、座ってもいい権利になっているから、徳川時代には。
268	加藤 ああ、そうですね。
269	○ だから、私も子どものころ、よく騒ぐとね、騒ぐとハイトウ取りが来ると言うんです。配当取りは座頭なんです。賑やかなことがあれば、座頭が近付いて行って中座敷へ、どんな座敷でも座り込むという特権があったらしいね、昔は。座頭の位を取ったら大したものですよ。
270	加藤 ああ、そうですね。
271	○ うん。三島に何か杉山流の流れを受けた、やっぱり座頭さんかな、その方の衣装があって、その衣装を木像側に伏せて、開会式のときにね、開会式のときに木像に着せて飾ったという話は聞いて
272	加藤 勾当のムロオカという方ですか。
273	○ ええ。
274	加藤 その方はいつごろまで生きていた方ですか。
275	○ 明治以前でしょうね。
276	加藤 ああ、明治以前ですか。
277	○ やっぱり中央に出たらしいね。かすかに聞いていますがね。私も座頭は経験は一切なくてね、明治だから。それは明治以前でしょう。
278	加藤 ええ、明治以前ですかね、廃止になったのは。
279	○ ええ。
280	加藤 ヤスノイチというのは。
281	○ 三島で。
282	加藤 三島ですね。
283	○ ええ。
284	加藤 あの方の何かそういう、あの人ふうにあまりお受け。
285	○ あの方は杉山流でなかったらしいで。
286	加藤 ああ、そうですか。
287	○ ええ。杉山流は方針は全然違うから、杉山流でないね。
288	加藤 ああ、そうですか。
289	○ あれは吉田流がうまかったでしょう、式が。吉田流がうまかったらしいね。
290	加藤 それは按鍼学校の10年記念式典。
291	○ というのは大正13年です。
292	加藤 13年にやったわけですね。
293	○ ええ。
294	加藤 それ覚えておられると思うんですけど、その様子なんかどうですか。
295	○ そのときはまだ子どもだった。大正13年ぐらいかな。あっ、大正10年か、10年。
296	加藤 10年、はあ。
297	○ 大正10年。45年につくったから。
298	加藤 ああ、じゃあ、そうですね、はい。
299	○ 大正10年1月だから、僕が入って間もなかったね。僕ら、兄弟子が、何というか、読んだけどね、まだ死んじゃないけどね。式辞を読んでたな、あれね、師匠のところでね。
300	加藤 集まったわけですね。ほかからいろいろな偉い人も来た。
301	○ ああ、もう、ええ、そう、偉い人來ましたね、みんな。40～50人集まったんじゃないか
302	加藤 カミヤマさんという方は先生よりも上。

303	○ 年は3 つ、4 つ上ですよ。
304	加藤 大体同じごろ入った方ですか。
305	○ うーん、いちばん下。だから、みんなが途中でやめて学校へ行っちゃったから。みんな学校行っちゃったですよ。行けないのは私とヤマモト ジロウという、いま沼津にいるだけがね、残ったですよ。そのときは○の野郎、駄目にしやがったなんてねえ、田舎でどうして飯食うだなんて言われたけど。幸か不幸かとうとう大場へ行っちゃってね。あの当時、大場、田舎ですからね、とても大場で飯食えんと思ったですよ。師匠がいたけども、この周りだけですから
306	それで、私がいちばん恵まれたのは、小児鍼をね、小児鍼を覚えたことがね、ふとしたことから。これが、その今日あることのきっかけになったね。
307	加藤 先生、ご苦心などちょっと、もし差し支えなければお話いただければ。
308	○ 別に苦心ってないけども、昔はだから肩揉む専門ね。肩癱専門。たまたま師匠なんかは虎の巻があるのは息切れの患者ね、あったね。あとは普通の肩が張ったものとか、「へい」と揉んで、いまの業者のああいう状態ですね、あれから脱したのは、いわゆる昭和8 年に小児鍼を覚えたこと。これがこの辺で私の診療の、つまり目覚めた導火線だね。小児鍼を覚えたことが、それで初めてこの鍼ということになって、だんだん広がってね、いまでは西は静岡の先回りからね、静岡の金谷、島田、御前崎町とかねえ、あるいは東は東京、横浜。
309	○ 先生、今日やっていただけますか。
310	○ ああ、今日は休み。
311	○ ああ、休みですか。
312	○ ああ、どうかした。
313	○ ああ、えー。
314	○ この小児鍼ということがいちばんの私のあれです。いまでも私の中で小児鍼はね、薬あるようではなかなか置いてないね。いちばん多かったのは、昭和20年から27、28年までぐらいね。120～130人ぐらいだったですよ、毎日。4 時間から5 時間、毎日5 時間だね。いまは2 時間ぐらいしかないからね、30人か40人しかないね。毎日、時間を限って来るから大したものですよ
315	加藤 午前中ですか、この。
316	○ 昔は9 時で、いまは何でも目的は12時に終わる目的で、いま11時にやってね、1 時まで2 時間ぐらいね。いま、私、語学の先生含めてね、まあ私どもの時代にはすべからず、すべからずでもって、内務省時代には、ねえ、患者には施術という習ったからね。医師治療中の患者には主治医の承認を得なければ施術はできないという。それから、いろいろあやしちや悪い、こうしちや悪いと教科書にも腹部へ深く 刺し……
317	(テープB 面)
318	……私ども、いまの法律がこれからもっと進むとも思わないし。誠に都合のいい、いまの法律は。誠に都合のいいものだと思いますよ。我々は診断券もいらないし、いまの建前は患者の訴えを聞いて処置するだけなのです。だから、いまの法律は誠に都合がいいと思っているのです。診断券もいらないし、誠に都合がいいのです。大体、建前が訴えを聞いて処置すればいいのだから。診断を付けることはいかんと。胃が悪いとかいいとか、そういうことはいい。いいと悪いの2 つはいい、悪いから来たのだから。「あんたはどうも胃潰瘍だ」とか「あんたは胃がんだ」とかっていうことは違反になる。だから聴診器も使う人はあるけれど、私は使わない。無理に使わないのは、聴診器を主としては使わない。本当は使ってははいけな
319	加藤 そうですね。
320	○ 使うのを黙認してもらえばけど。私どもに許された診断法は、問診と打診音と。打診は生命線だと。私は打診しなきゃ、絶対何もできない。
321	加藤 先生は打診を相当多くされますか。
322	○ ええ、全部打診です。大人でも子どもでも、全部打診です。打診だけが許された方法だからね。
323	加藤 お話は長谷川先生の録音で伺っております。
324	○ 何言われても大丈夫だからとあなたが言っていたけど。
325	加藤夫人 本当にいろいろなことに詳しくて。
326	○ 学校というか、学校時代のこと。
327	加藤 先生は大正8 年、12歳のときに子弟纂修制に……。
328	○ ですよ。昔は大体盲人になると、義務教育がないものですから、大体10か11ぐらいでみんな入ったね、昔は。
329	加藤 そうですか。
330	○ 私、按鍼養成に行く 前にちょっと三島のミタ先生の所に初めて行ったのです。
331	加藤 ミタ。

332	○ ミタという方がいて、そこに行ったのですよ。その先生が、まず来てよかったと、12じゃあもう限界だと。11か12で入らなければ、いいものにならない。13じゃ駄目、だんだん年をとるにしたがってそういうことですね。13ぐらいで行ったんじゃ、どうしてもいいものが出来上がらないと、いまでも耳に残ってますね。私ども、大抵11か12で昔はみんな入ったね。学校がないから。その代わり、本当に。昨日もラジオでやっていたけれど、盲精薄児が来たのよ。実際、あれをそのまま師匠はやってくれた、昔の人は。どこだったか、島根県かどこからね。実際、着物の着方から鼻のかみ方から、師匠はみんな教えたね。しまいには着物の着方からね。昔はよそ行きとかね、ちゃん
333	加藤 ミタ先生の所でそのようなことを。
334	○ それは1カ月ぐらいですからね。でも、そこで1カ月習ったことが大変良くてね、アオキケイサイ先生の所に行ったとき、ケイサイ先生は、自分は厳しいしつけを受けたけど、非常に子どもには甘くてね。どうしても厳しいしつけはやっていなかったから、反対に私のほうが戸惑ったくら
335	加藤 そうでしたか。
336	○ 大勢お弟子がいてね。すべてが非常に柔らかで、最初のミタ先生ほど厳しく仕込まなかったね。ただ、いれぱいい。昔のお弟子を取って、7年なり10年なり契約で置いて、2年か3年経って少し揉み方を覚えたら、近所へ揉み治療へ出て、そしていろいろ覚えていくというのが昔の建前だから。だんだん……いくけれど、それはほとんど入れて。免許取ってから……。……。
337	加藤 そうすると年季は。
338	○ 大体7年ぐらいです。
339	加藤 それは人によって違うのですか。
340	○ 大体7年ぐらいだね。
341	加藤 それはお礼奉公などを含めてですか。
342	○ お礼奉公とは別に。それが終わってからお礼奉公1年。
343	加藤 1年間やるわけですね。
344	加藤夫人 鍼・灸・あんまで違うことはありますか。
345	○ 7年いる間に先にあんまを覚えて、それからもっと勉強していけば、つまり、年が進むと鍼まで教える。何年いたら鍼の免状取れるという条件がね。年が満たないと、あんまだけ。大体7年ぐらいいると、鍼の免許を取らせるね。
346	加藤 あんまだけでいいという人は短い5年ぐらいの方もいたのですか
347	○ 中途失明などは大体2年ぐらい、あんまだけだと。明治45年に出た内務省令によって、あれは2年だから。2年だから、2年いると。その当時は、明治45年に規則が出てから、いっぺんに試験が難しいから、当分の間、警察署長が認めると、2年いると現役認可と見たのね。県下で有効、通用する、その県だけで通用する、いわばお情け免許というかね。そういう人も
348	加藤 それは明治45年以後に。
349	○ 明治45年以後から大正末期までありましたから。当分のうちというのはね、当分のうちということですずっとありましたね。それは中途失明の人が入った。普通の者は、私ら盲人は乙種あんま術。目明きの者は甲種。乙種あんまのほうは2カ年間いると、試験受けることができた。2年から4年、5年といると、つまり、あんまの免許を取ると、今度は鍼の免許を取ると。まずもって、あんまの免許を取ることが前提だから。あんまの免許を取って、もうひと勉強というときに、あんまの免許を取った者は鍼の免許が取れるとか。
350	一定の師匠に4年以上付けば、鍼も灸の免許も全部取れる。それが昔の組合、いまも組合がありますが、組合と警察と非常に密接に連絡をしていますね。組合の総会には必ず警察署長も出る。まず、この組はここに何年間いたということを証明することは警察がする。何年何月に入門して、何日と。警察が認めた者が検定試験を受ける資格ができます。署長が認めなければ、試験はね。何でも4年以上いた者が検定試験を受ける資格ができますから。4年いるとあんまの免許は取れる。それから、いまひと勉強して、鍼も取れる、あるいは一遍に取ってもいい。一遍に受験してもいいし、別々に受験しても。私ども、ですから12歳で入って、17歳のときに数え17歳のときに、まずあんまの免許だったから。大正13年かね。それで、その翌年、今度鍼が当分どうでも、あんまの免許取ったもんで、それに兄弟子も出てしまったもんで、準備にね、試験の試験として受験をした
351	加藤 免許を受ける場合、お師匠さんが受ける許可するのですか。
352	○ もちろん、そうです。師匠の証明書がいる。
353	加藤 お師匠さんがまだだと言ったら、証明は出せないということですか。
354	○ 出せないわけです。
355	加藤 地方で、東京で修業の証明を出すのに、師匠のほうがお金を取ったなどという例がありますが、そのようなことはありましたか。
356	○ そういうのはなかったですね。年季でそこで働いていますから。年がら年中、つまり無給で働いたから。あんまの免許を取ると、稼いだお金から1割くれる。1円稼げば10銭もらえる。あんまの免許を取る前は1銭ももらえないわけです。
357	加藤 免許前は稼げないということですが、お小遣いくらいはたまにはくれるわけですか。

358	○ お小遣いも私の師匠の所は出なかったね。
359	加藤 盆、暮れの帰省などは。
360	○ そんなの全然ない。そういう仕組みだったでしょ。3年は長いでしょ。いずれにしろ年が長くて世話になったです。普通は7年ぐらいが年で、いると小遣いを。敷銭まではしなかったね。大場なんかは敷銭もしたりして、褒美に集まり、年明けのときには道具一式とか、お祝言の紋付とかを。誰でも真面目に務めた者は褒美をあげたんですね。だから、途中では何もな
361	加藤 先生は12歳でお入りになられて、20歳で年季が明けたことになりますか。
362	○ そうです。20歳年明けですね。
363	加藤 だいぶ長いですね。
364	○ ええ、8年間。大体、昔は徴兵的で、すべてあれが限界だから。私ども18のときに免許を取って、あんまの免許が18。そうしたら兄弟子が全部出てしまったのですよ。出てしまったものですから、私は割合有利な条件でまあ。兄弟子が出てしまつて、私が上になって、下に2人。同輩もいたし、下の者もいたし、兄弟子が出てしまったものですから。割合、条件がよくて、2割もらつて。自分は遊べたものですから、遊びといったって、師匠、自分の自由がおかしかったものだから、この男、免状取ったからと言って、私に無理矢理患者を押し付けて、自分は勝手なことをして、私にほとんど任せっぱなしで。こっちも免許取ったという、免状があるということを土台にして免許振
365	その当時、来た患者さんというのはほとんど肩癰とか腰痛とかというのが多くて、師匠の場合は内科的な治療を専門にやって、私らは肩こり専門でいたから。それで割合に楽に、師匠のああいう技までいかんけれど、無理矢理に押し付けられて、ぶつぶつ言いながらもやっていたね。
366	20歳のときに、来年年明けというときに、師匠のおかみさんが死んだ後、ちょうどいいのが見つからなくてね。そうしたら、誰かが心配して、うちに目の見えない娘があると。いま失明はしていないけれど、将来失明する寸前だと。いま信心はしているがゆくゆくは失明するから、そのうちにとするけれど若い衆がいるようだから、お弟子として入れてもらいたい。若い衆が喜ぶだから、将来結婚をするだから、できれば問題が起らないうちに、嫁としてやらしてくんなんかという話があったもので、師匠はその気になっちゃって、こっちはまだ20歳だったけど、どうせゆくゆくは所帯持つんだからと。いま、この家でここでやれば、何の問題もなくこのまま引き継げばいいと思つてね。こっちは出ようと思つていたけど師匠は出すまいとして、とうとうヒモにしてね、それで後継ぎになっちゃったんですよ。その結果は失敗で、すぐ次のがまたやってきた。21からまた、じゃあ今度お前は先生の看板で、いままでは俺のほうに金を入れてたと、これからはこの家を家賃として、その当時1カ月が普通の10倍ぐらいだったですかね、家賃が10倍ぐらいのをとんとんにして、お前の稼いだのを全部任せるから、お前自分で米買ってやってくれと。それで始めたのが数え
367	加藤 そうですか。それからずっと。
368	○ それからずっとです。それで3年いて、3年目の11月の昭和5年に伊豆震災があつて、家が崩壊して、師匠は息子さんが東京にいるからそこへ連れて行つたんです。そうしたら、お前たち勝手に入つたって、見たかないと。勝手に隣屋敷を無理に20坪の所に15坪の家建てて、金は1銭もないし、全部借金です。600円ぐらいだからいまの100万円だね。体一貫だつて、あそこに行くと200円……600円で家建てて、それで始めたんです。それが土台なんですよ。その当時のお弟子さんて皆、肩揉むこと習つて、肩を揉んで稼いでいる。患者さんが来ても先に弟子が下揉みをして、全部習つたとおりずっとひと通りやって、それから終わりましたつて言う、師匠があと鍼をやつたの
369	だから、いまでもこの辺では大抵の人が、まず患者が来たらひと通り全部揉んで、それから人により揉んであげたり、鍼までやる人もあるというわけで、いまでもそういうしきたりがだいぶこの
370	私もそれから始まつてだんだん考えて、いつの日かね、昭和12、13年ごろかね、だんだん式を変えて、鍼を張るということに切り替えるまでには非常に長かったです。その人が揉んでもらつてからじゃなければ、鍼をしないと申したから。それがとにかくお見せなさいと、ともかく診察して、それから鍼をして。どうもそれまでには相当の年月がかかった。その到達点というのが、いつも話すけれど、小児鍼を覚えたのが昭和8年です。この小児鍼を始めてから、初めてまず診察をするということに。それまでは何と言うか、ここへ座らせて肩揉んで、肩を揉んだら今度は布団に寝かせて足を揉んで。これがいまでもみんなやっているでしょう。ここへ座らせて肩を揉んで、肩を揉み
371	私はその中からどうにかこうにか小児鍼を基にして、治療法をだんだんだんだん開発して、随分患者からも非難もあり、喧嘩ごしでね、いまでもまだありますよ。最初のときも、昨日も困ると来て、朝8時ごろ来た人が4時ごろになって、「どうしたの」と言つたら、「わしや肩が張つて、肩をやつてもらわなきゃ駄目だ」と言つて、肩ばかりやつてもと言つて、無理に断つて、断わんなきゃ後が困るから。そういうことをずっと何十年かけて、いまでもまだあります。いまでも肩が張つたら断つちゃう、肩張つたらうちでやりませんよと。それまでになるにはなかなか。小児鍼

372	だから、よくみんなから言われるけど、よく君はその土地でやったと。昔は医者でも何でも、大抵旅に行かないと開業もしなかったね。旅に行けば生活できるから。大抵、昔の人は医者でも何でも土地ではやりません。生まれた所でやるもんじゃなかった。昔は成功しなかったですね。元が知れて馬鹿だって。私はとうとうこの土地に生まれて、この土地で仕事ができてる。「ほら、目が見えないあそこの倅だ。お前のケツ引っぱたい」って、盲になったおかげで盲はありがたいと言うぐらいになった。それは結局、大場に来てからね。普通は土地にはいなかったね。大抵、昔は盲人の類は人を雇って、非常にやっていたですね。それが私、いい按配で商売に恵まれたお蔭で、子どもも俺が盲だということを恥じることはなくなって、堂々と盲として通る。盲の子だっていう引け目を感じることはなかったように思うね。私の師匠なんか自分の子どもがなくて養子をしてあったけれども、中学に通っていると、学校へ来るときなんか、みんながお前は来るななんてことを言われたって。人力で歩いて、あんなのに乗りやがってと言ったけども、私はその点では比較的少なくて済んだ。それは結局、どっか、あの子どもは、長男は学校では優秀な成績を取っていたということで、だんだん、何でも1つ委でたところを取ろうというのが、短所があればその短所を埋めるべ
373	だから、いつでも言う。1本鍼打つにしても信念を持ってやる。1本の鍼でも大事なんだから、1本1本は自分の将来に繋がっている。まず、治療というのは誠心誠意愛を持って、患者さんの身になって、来た患者さんを何でも味方に引き付けるといって、でなきゃならんとね。いつも僕は鍼を打つとき言っているんですよ。たまたま怒鳴るときは怒鳴っても、急所急所をつかまえろということが秘訣だね。ともかく患者が言うけれども、患者をまるで吞んで、吞んでいるけれどもユーモアが、何となくユーモアがあるって。怒鳴っているようにいて、ユーモアがある。ちょっといま真似すると言ったけど、真似はまずいからやめとく。俺のやっていることとお前は違うんだと。同じことを言っても、患者の受け方が違うんだと。こつがあるんだと。怒鳴るようなふりをして、
374	(中断)
375	○ ラジオを聞いたり、あらゆる面から知識を得たんですね。この鍼の真理というのは、経絡、経絡とほとんど経絡に頼っていますが、ただ経絡だけでは解決できないものがたとある。経絡を離れたら勉強ができないから、経絡を基礎として経絡から一歩進まなきゃなんついうと、誰でもがほとんど経絡から一歩進まない限り、経絡にかじり付く人が多い。経絡を離れたら血が長く続く。とにかくそれはある。ただ、私は20年も前から講習会でも、経絡というのは診察には誠に必要なものだ。治療には経絡にあまり頼ると逆になるということもいつも言うんです。経絡どおり、あの人はこう、この人はこうとやっているとお客があるから、経絡は診察的には確かに価値がある。絶対、経絡は当てはまる。経絡と診察が間違いないというのはうんとある。ただ、治療はまた別だ。と。経絡どおりやればいいというのではなくて、治療はまた考えなくてはならないし、もっと鍼の
376	加藤夫人 おじいちゃん、おいくつでいらっしゃいますか。何年生まれですか。
377	○ 41年だから、今年ちょうど。
378	加藤夫人 明治41年生まれ。
379	○ ええ、今年還暦で。
380	加藤 住み込みではなくて、お宅から通われたということは。
381	○ それは、つまり昔のお弟子に行くところは、年も長く約束する家は食い扶持取らない。私の家では、向こうを束縛しないために、長居のうちは食い扶持は5合扶持。1日5合米を持ち込むのが普通なんです。私はね、家も貧乏だし、5合扶持大変だから、弁当持ちで通ったんです。家から。家は近かったから。朝、弁当持って1日ゴロゴロして、夏なんかはただ、いまのように扇風機がないから、兄弟子が治療しているそばからあおいだわね。2年ぐらい無駄飯って昔は食ったですね。その無駄飯ってということが、いわゆる基礎教育になるんですね。
382	加藤 その2年間は自分なりにいろいろ見習うわけですか。
383	○ 自然にそれは染み付くんだね。何でもね、覚えよう覚えようとして、教えよう教えようというのではなくて、自然にその感化を受けるね。
384	加藤 兄弟子なり師匠なりは、2年間、手は全然教えないのですか。
385	○ ええ。昔はあんまの型は教えます。それからときどきやる。回しておいて、悪い点は叱られる。回しておいて、こう口開けて打ったからね。2年間は通って、朝から来てゴロンゴロンして、用足しでもしたり、教材で指押しをしたり、下揉みだね。下揉みの下揉み、いちばん先
386	加藤夫人 下揉みの下揉み。
387	加藤 下揉みのまた下揉みですか。
388	加藤夫人 兄弟子の方を見習ってですか。
389	○ そう。兄弟子が先にやるから、患者さん待っている間退屈しないように揉んでいるとかね。自然に習うんですね。昔、私らの時代はあんまも鍼もそんなに寒稽古なんてしなかったけれど、いちばん初めの師匠は寒稽古もやったけど、2度目の所に行ったら、寒稽古はあまり。鍼は寒稽古したからね。何しろ、柱を揉んでね、柱をこう揉んでいく。私らは目が見えないからその真似ごとはした。だから、いまでも指はこんなに柔らかいですよ。この指、こんなに柔らかいでしょう。揉んできたからこの親指。

390	加藤夫人 おいしそうだね。
391	加藤 柱や板なども揉んだのですか。
392	○ ええ、堅いものを揉んで自分の手を柔らかくした。堅いものを揉んで、つまりこう反るよね。普通の場合でも端が当たるでしょう。私らの場合は骨が当たるんです。どんな場合でも飛び上がっちゃう。その時代があんまを上手に揉む、上手に揉むっていうようなことばかり昔は言っていたね。どういうのが上手だというと、手をプラプラ動かすことによって、上手。手際がいい人が上手って。これはいまでも一般であって、上手だっていうけども、本当は臨臨床的には上手っていうことはない。状況に合うことが上手。いま上手に1時間なら1時間プラプラ揉む人が、僕らが行っても多いですよ。ただ、サッサッサッと揉んで、時間だけ揉んで、さあこれよろしいと。相手がどう思うと、決められた時間だけ揉んでこいと。私らの時代は、大
393	加藤 2時間ですか。
394	○ 昔はね。1時間肩揉んで、それから横にして両足、両腰を大体1人2時間って。だんだん2時間が1時間半になり、1時間、40分、いまは50分、温泉場行くと45分ぐらいであげてくれるけど。サッサッサッとね。時間的にやっているから。温泉場は臨床じゃない、たださわやかだから。要するに、寝かしつけりゃいいから。もとは2時間が普通だった。
395	加藤夫人 実技というのは兄弟子の方から教えてもらうのですか。それともお師匠さんからですか。
396	○ お師匠さんからです。あとは兄弟子も直したり。またときどき師匠の合間を見てやってもらう。それで悪いところを改める。
397	加藤 先ほど寒稽古の話が出ましたが、○先生自身は寒稽古は。
398	○ 寒稽古たるものはちゃんとやらなかったね。それは聞いただけ。
399	加藤 その話を聞かせてください。
400	○ あんまの寒稽古はいまのように柱を、水に手をこうして柱を。冷たい水で。鍼の寒稽古は、昔は厳しかったね。いまより寒かったから、宵のうちに桶に水汲んでおいて、朝一番鶏が鳴くと起きて、お宮様にお参りをして、それで戸を開け放して、廊下へ簾を敷いて、凍っている氷を手で割って、その氷の水を手でガシャガシャと音をさせて自分の腿へ何十本か、片方25本ですかね、刺しちゃってね。音がしないといって、音がしないと水かけられたりするから、水をこうして、それで鍼をやる。確実にやったかやらんかということは、体に現れると。2日、3日完全にやると、いまで言う反応ですね、きれいに足が腫れてきちゃうです。そうすると確実に鍼をやったことになる。今度は師匠がすっかり薬を飲まして、いまで言う発汗剤ですね。葛根湯が何か飲まして、それで鍼をして、寝て起きるとスーとしちゃう。それからこっちは何十本どう刺そうとも、1つも反応を受けない。それで初めて卒業ということになる。昔はどんな寒いときに頼まれて行っても、すぐ鍼を使わなきゃいかんと。胃痙攣患者ね、ああいった患者が待っているから。患者を待たして手をあぶることだけは許されないから。一刻も早く鍼ができるようになって寒稽古をやった。でも、それで確実に自分の体を刺して、腫れが出てきた人が卒業で、それが来ないうちは鍼の許可はしてくれない
401	加藤 ○先生自身も。
402	○ その流れは受けているんだろうね。
403	加藤 杉山流三部書などというものは、お聞きになりましたか。
404	○ 昔はお弟子に入ると、師匠との間に、つまり口移し、全部ずっと暇さえあれば口移し。それを全部師匠は覚えておいて、お経を読むように、毎日毎日、口移しに昔は習ったね。それを7年間のうち全部習ってしまわなければ、実技に入らないと。全部学説は口移しに。そら暗記をしちゃって、それから実技はいわゆる自分のものにして、腫れがひくまでが限界だから。それで卒業だから。私らの時代は、師匠は点字ができなかったから、点字ができたら自分が設立者になって、学校をこしらえて、人を頼んで点字というものを。自分は点字は当てにならないから。だから、私どもは口移しじゃなくて。
405	加藤 それは習わなかったわけですね。
406	○ ええ、やらなかった。半年ほど後で、後に自分で買って読んだ。師匠からはいろいろお話はしてくれたけれどもね、口移しにやることはなかった。先生が何か聞くと、全部こうやって読んで、読んでいかなきゃ出てこない。
407	加藤夫人 アオキさんは点字をお使いにならなかったのですか。
408	○ ええ、できなかった。
409	加藤夫人 最後まで点字はお使いになりませんでしたか。
410	○ 師匠は点字は使わないから、学校をこしらえて人のために。
411	加藤夫人 先生はご自分で点字を覚えられたのですか。
412	○ 学校で。それから長岡町にイシバシさんというお嬢さんが、結婚適齢期に急に失明をしてね、その方が、昔東京のオカモトゲンシンという。
413	加藤 皇后陛下の。有名な方ですね。

414	○ その先生のお弟子さんにいったかね。いまはその失明当時は、家はあるというか、いまは身上があるからね、娘1人ぐらい食っていけないこともないけど、もし疲弊した場合にはと、手に職を付けるために勉強をしてきたけれど、まあ家はその当時はよかったから、家でもってほとんど開業っていう感じで遊びでいたんだね。その方が先生になって来ているわけ。ここから約6キロの所ですね。駅まで2キロぐらいの所を人力で。それからこの駿豆線でもって電車にね、それでもって大場に通って、1週間に1回、日曜学校だから、それで私ども教わったです。
415	加藤 そこで習われたんですね。
416	○ ええ。師匠は実技を出て。実技をやってから、1週間に1回ずつ。そのときの教科書は『点字読本』というのがあった。1、2、3、4をやった。たまたま小学校3、4年から、その当時5年、6年ぐらいだと、『点字読本』で教わったね。それからその次に『盲人用読本』っていうやつ。それが小学校5、6年程度の。それをやって、それが済むと、今度は専門学に入ってきた。いちばん最初『解剖生理初歩』というのがあってね。それをやって、その次に奥村先生の『普通点字按摩鍼灸学』というやつ。あれなんですよ。あれですよ、学校でやったのは。
417	加藤 算術とかそろばんは。
418	○ そういうのはやらなかった。ただ、本当にいまの『点字読本』をやって、『盲人用読本』もやって、それから『普通按摩学』かな。按摩鍼灸学ってあったね。いまはほとんどないよね。あれなんですよ。あれをひと通りやって、それで卒業です。その程度で試験は受けられたんです、そ
419	加藤夫人 どれくらい通われたのですか。日曜日ごとですか。
420	○ 日曜日ごとずっと。
421	加藤夫人 何年ぐらいですか。
422	○ 結局、私が入ったのが大正8年で、その学校は大正14年まで行いました。いまは廃校になってしまったね、自然に。イシバシ先生も亡くなり、師匠もあれしたもんだからね。10年はやったですよ。10年祭は僕はお祝いをしたから。それで駿豆鉄道っていうこの電車がありますね、駿豆鉄道でパスを出して。その当時、1等、2等、3等って言ったけど、2等車、いまの1等車ね。2等のパ
423	加藤 それは生徒にですか、先生にですか。
424	○ 先生に。
425	加藤 イシバシ先生ですか。
426	○ 先生のために2等のパスを出してくれて。それは向こうの車賃は師匠が負担して、人力車は、車賃は負担して、それから汽車賃は2等パスを出して。
427	加藤夫人 日曜日にはそちらで教えていらっしゃるのですか。
428	○ 日曜日は商売全部休んで、三島辺りからも。
429	加藤 ウメバラ先生ですね。
430	○ ええ、そう。これ中途失明者でもってね。
431	加藤 その方はどこで習われましたか。
432	○ ウメバラ先生は技術はあんまだけで、中途失明で昔の教育を受けた。
433	加藤 師匠さんの所に住み込まれて習われたのですか。
434	○ いや、通ってきたんです、そのために、応援にね。苦労した者はその程度ですよ。後は名前だけ、三島病院長の名前だけでもってね、校長といたって来やしない。校長と設立者と違う。許可を取るために端から校長になった。だからやることは、内容たるものは点字読むなんていう普通教
435	加藤夫人 そのお師匠さんのお弟子さんは、みんなそこにいらしたわけですか。
436	○ そうそう。その他は全部休んで。
437	加藤 その他、同業の方もみんなお弟子さんをやっぱり。
438	○ あったね。
439	加藤夫人 お師匠さんのお弟子さんは何人ぐらいいらしたのですか。
440	○ そうですね。私が入ったときは6人か7人いたね。ずっと5、6人ずつ、みんな昔は置いたんですね。それで稼がして、結局、助手に働かせて生計を立てていたわけだから。小さいながらもね。昔はみんなそれが目的だから。私はそれでいたわけ。
441	加藤 アオキケイサイ先生の下には女のお弟子さんもいらっしゃいましたか。
442	○ いました。女もいましたね。
443	加藤 按摩学校のほうにも、当然、女の生徒さんも来ていましたね。
444	○ ええ、いたですね。私ども先輩はずっとあるから。いま70ぐらいの、ほとんど没して、いや、ほとんどないな、もう全部ないな。
445	加藤 按摩学校の先生というのは、アオキ先生がイニシアティブを取られたのですが、同業者の方もかなり来ていましたか。
446	○ ええ、そういう方も来ていましたね。三島辺りからもね、来てました。
447	加藤 経済的にも同業者の方が支持をされたわけですか。

448	○ いやあ、どうかね。ほとんど師匠だろうね。考えてみれば、やっている件というのはほとんど主な、いちばん大きいものが、みんな無報酬だから。いちばん大きいのが、イシバシ先生の長岡から自宅までの車の代と、あとは無報酬だから。向こうにも遊んでいる身と思って退屈、仕事していないから、ちょうどいい退屈しのぎだった。みんな無報酬なんです。
449	加藤 授業料というのは取らなかったのですか。
450	○ 師匠は自分の弟子だから取らない、無報酬ですよ。よそから来る人からはいくらか取ったんだろう、そういう細かいことは知らない。いくらか取っていただろうけれども、私どもはいらない、ほとんどなかったね。その前の、明治45年の創立したから。
451	加藤 当時は外から来た方も少しは取ったわけですか。
452	○ 多かったですよ。それは私どもの時代は。私どもは、つまり大正8年に入ったんだから。45年にできて、私どもしまいのほうだ。大正十何年かな、10周年記念やったときは盛大でした、そのときはまだ。そのときは行政のほうやら何やらいっぱい集まってね。10周年記念やったんですよ。そのときは盛大でした。そのときはまだ私ども子どもでしたね。私どもが、そのとき何かな、やったことあったね。子どもだったから、15、16だから、14、15だ。入って3年ぐらいだ。学校で教えたことは、教科書として教えたのが奥村先生の『普通按摩鍼灸学』ね。あれが解剖学、局処解剖なんてね。皮膚、筋肉、骨でもってね。それから経穴は、経穴はやんなかったね。その当時、私どもは経穴なんか面倒くさいっていいね。ちょうど経穴廃止論の吉田コウトウ先生が孔穴ってつけるん
453	(中断)
454	○ 私みたいに、東京の……学校出たイチカワコウジ君ってやつでね。これは私の所に来て熱海に遊びに行って、江ノ島行こうって2人で行ったんですよ。初めて江ノ島へ行った。出会って初めてのいろいろのことがあって、それで杉山三部書買って読んだ、初めて読んだね。それまでは読まれたものは按鍼学ね。あとね、シカバアキラ先生の『解剖生理学』、それは初めて読んだね。
455	加藤 それは借りてですか。
456	○ 私どもつましくて、貧乏だったから、本買えなかったから、大抵借りて。師匠の勉強も大抵人に借りて。学校ではみんな筆記したんです。イシバシ先生の本を読んでね、自分では写したんですよ。それだけこつこつこつこつ入れて、1週間に何枚かだけね。朝9時から夕方4時まで、大抵
457	加藤 一般には、お弟子にされてからすぐ学校へ通われるわけですよ。
458	○ ええ、同時に。すぐ学校へ行っています。点字の仕方から教わってね。点字の仕方はイシバシ先生に教わったんです。「め」の字は1週間か2週間やって、全部「め」の字を紙に何枚書いても揃ったら初めて教える。だから、教え方っていうのは簡単なんです。点字のほうは。初め「め」の字やって、「め」の字ができれば、今度は「1」をつきました。それで「1、2」と。それであいう基礎を教える、今度は……。割合に教えるなんて幼いですね、方法は。
459	加藤 規則的にできていますからね。
460	加藤 その代わり、今度読むときが大変。読むときが大変なんです。人前でスースーと読めるようになるには、2年や3年じゃ。その当時、よく私ども兄弟子がね、読むのが上手だってね。小説を買って、山中鹿之助とかね、買ってよく読んでね。読むのに田舎になんか頼まれて行って、わざわざ読むのにね、一晩中近所の人を寄せて読んだなんて時代もある。いまのようにラジオやテレ
461	加藤夫人 講習学校へ行く目的は、免許を取りたいということで皆さん行ったのでしょうか。
462	○ もちろん、それは。
463	加藤 学科試験があるから。
464	加藤夫人 学科試験に受かるためですか。
465	○ ええ。明治45年に内務省令で検定試験ができたから、それで学校になったんです。
466	加藤 生徒の勧誘、募集などはしましたか。
467	○ あまりなかったですね。いくらかあったですけど、私ども勧誘は受けただけでも、子どもの時分、はじめそういう学校受けたけども、条件が、つまり食い扶持を持ち込むというのは条件が合わなくて、三島まで。それで1カ月ばかりの間に、偶然に、子どもだからもう……。……。2人の子どもが1人は目が見えて、1人が目が見えなくて、師匠が三島の町へ連れて出たら、お祭りで花火でしたと。清水から行った子は目が見えるから、歩けるから大場へ来てしまったと。あとでおかみさんが、師匠が見えるから下ろされたっていうことを患者が聞いたって。子どもながらに、俺は三島に行けると。大場の師匠は、お弟子がそんなこと言って、言わなくていいと。ここは連れていかないと。いやになっちゃったってね。それで1カ月前でとうとうそこやめてね。そこはやめて、それから改めてその年の11月かな、入ったんですよ。こっちまで入れ替えた。食い扶持もうちから弁
468	加藤 食費を出せば、少し年季が短くなったのですか。
469	○ ええ、そうですね。つまりお礼奉公なんかで縛らないと。自由に出て行く。だから、免状取れば、すぐにつまり稼げる。
470	加藤夫人 大体1割ですか。

471	○ 1 割。私ども臨床的免許だったからすぐ1 割なんで、そこで来年、鍼灸の免許取ったら、すぐ2 割にしてくれた。だんだん3 割までいった。3 割までいって、今度21歳からは師匠のあれを、こっちへ申し受けて、自分でやって、師匠に食い扶持と家賃と渡してね。師匠は口をあけて自分は自由でもって。あとは経済力はお前に任せると。それで、また3 年やったんです
472	加藤夫人 他の人は1 割どまりでしたか。
473	○ あんまの場合は1 割でしたね。だけど、1 割くれると言うのはあの師匠だけだった。他には食い扶持も取らないし、何もくれなかったです。師匠は初め食い扶持取る代わりに、1 割の割戻しがあるわけだから、条件が。他では大抵、昔貧乏だからね、……盲人のできるうちは大抵貧乏だからね、金がありゃいいんだ。年季も明けたといっても、実際は、昔はいまと違って、預けておけば飯食わしてくれたんだから。急がないから、お金のほうは7 円でもよがんすということでもって、みんないたですね。昔のことですよ。だからあれだったですよ。預けておけば、着物の着方からね、おしっこの仕方、鼻のかみ方から教えてくれて。しまいには、私どもの師匠よく言ったけれども、
474	加藤 そのようなことまで教えてくれたのですか。
475	○ ええ。全部、昔は教えて。
476	加藤夫人 いちばん最初にお師匠さんに紹介してくださったのは、どなたなのですか。
477	○ それは私、土地だから。
478	加藤夫人 初めからご存じだったのですね。
479	○ ええ。私ら同郷の間でなんで三島なんか知ったか。その当時はね、盲人でもあれば、ほうぼうでみんな知ったもんですよ。
480	加藤 どうして。
481	○ 失明者は引張りだこですよ。向こうからお願いしますよ。
482	加藤 三島のほうが最初、条件はよかったのですか。
483	○ ええ。食い扶持いらないから。年限が長いから。
484	加藤 どのくらいですか。
485	○ さあ、やっぱり7 年ぐらいかね。大体、いくつで入っても満20歳。適齢期が限度だから。20歳ぐらいまでだから。7 年いたら、どうやら鍼の免許まで取れる。
486	加藤 昔はどうなものでしょうか、入門のときに契約書みたいなものを交わしたものでしょうか
487	○ それはもちろんあれですよ、ほとんどの盲人ではないでしょうね。昔はそういう所はないらしいね。ほとんど無条件で、入れるのは当然だから。あまりそういうことは聞かないね。もし問題があったときには問題になるけども、ほとんど昔の人はそういうことは考えられないね。当然、年が明けるまでいるのが普通だから。もし、いないときは自分が損だから。一人前じゃないから、未完
488	加藤 年が明ける前に、一応免許を取ると自分で何とかできるわけですね。そのような形で師匠の所をやめたり、移っていったりするような人はあまりいませんでしたか。
489	○ そりゃあ、あったでしょうね。私も1 人会いました。私はね。親戚の者が頼んできてね、3 軒も行って、どこも務まらないから、家へ来たんですよ。ちょうど1 年と3 カ月ほどいたね。そうしたら三島に中年の者ができましてね。それと飲みに行き来きしてね。それは中途失明でもって、自分がケンコウに開業して、ほうぼうから弟子を集めてね、早く親父さんに預けて、それに引っかけてね。私も途中から引かれたことあるんですよ。今度は親から後で、後で食い扶持を請求し
490	加藤 明治のころの。
491	○ もちろん、そうですね。後で不履行の場合は請求できます。私なんか、初めは無条件でいいと思っていたけども、出ないでしょ、だからちょうどいいわけですよ。家から来てもらって、それから請求しようって。何をしようかと思って、ぶつけて、そしたら怪しむ。そうしたら向こうから誤りに来て、全部じゃないけど半分取ったかな。向こうじゃ契約書がないからって言うと、こっちが知ってるからと内容証明をぶつけることができるんだからね。事実は事実だから。普通はそうじゃ
492	加藤 途中で逃げたりする場合には、親元が食費を払うということですか。
493	○ ええ。請求されれば仕方ない。
494	加藤 入るときに、口約束みたいなことはなさるのですか。
495	○ それは、だから何年いたら年が明けるかって。何年間で年季かと。そんな間早で済む場合はね
496	加藤 いきなり鍼は教えてくれないのですか。鍼は何年目ぐらいから教えてくれるのですか。
497	○ それはあんまができ上がってから。それも私は。
498	加藤 人によりけりですか。
499	○ ええ、そうです。
500	加藤 2、3 年目ぐらいから。
501	○ 私ら早く入ったから、結局そうじゃないね。でも、そうだね、17ぐらいかね。いちばんそのころがわかるんだね。
502	加藤 見よう見まねというか。

503	<p>○ ええ、そうですね。刺し方はね。しかし、いつ覚えたとはなしに、覚えるのがいいですね。決して、教える、ああしろこうしろって、詰め込み式のものじゃないですね、これはもう。私はいま倅にも、指図しないです。自分で考えてやらなきゃって。わかったもんだけやれと、わかんないものはわかんないとはっきり言う。このごろは結構わかってきて。うちの方法は診察が主だから。診察をして、しかる後、うちはうちの型があって、慣れてくれば自ずと結果は出るんですよ。私、昔の式はさっきも言ったけど、まず座らせて肩を揉んで、肩を1時間揉んで、今度は寝かして足を揉むというのが昔のしきたりですよ。それが小児鍼を覚えたおかげです。小児鍼を覚えたおかげで、いまの内科的な治療へと発展していったわけです。昭和8年なんですよ。それが私のいちばんの開き、導火線だね。それ以前は、世襲的にただ肩を揉んで、足を揉んで、肩揉んでくれて、肩を揉んでいるだけじゃ、とてもこういう田舎で食えるわけじゃないですよ。その当時、大正13年に、12年に学校令ができて、学校へ行こう、行かなきゃ、これからは学校を出なきゃっていう運動を始めて、結局、6人でいて2人が学校へ行かすにそへ出て行って、2人が学校へ、1人は横浜の盲人学校行った。1人は、コサカっていうのは静岡の盲学校に入って。私はうちが反対で、私のおじになるのが東京で昔苦学して、親を泣かしたから、盲は苦学なんかできないって、とうとう駄目で。駄目だったのは、ヤマモトジロウっていうのが、これは親が反対で、結局、私とヤマモトジロウが残ったんですよ。コサカっていうのは静岡の学校行って。カミヤマっていうのが横浜の学校行って。私が残っちゃったんです。残っちゃって、兄弟子も出てしまっただけ残ったから、非常に条件のいい所で、割は上げてくれるわ、患者さんはあてがってくれる。大変なもんですよ、あてがってくれたからね。その当時来る人は、大体肩が張ったから揉んでくん、鍼してくんな、腰痛いから揉んでくんという人だから、結局、未熟ながらもどうにかこうにか。この男、免許取ったからと師匠が回してくるんだから、私も早く鍼持ったから、18歳、19で持って。いま考えると18、19ですよ、よくも患者に大胆に鍼をやったもんだって。その代わり、結構失敗もした。座っていて鍼するから、後ろ向いて怒るんですよ、昔は。大体、肩の治療は座っているものだから。またね、昔、子どもにはね、寝ていてもどんどんやった。寝返りうって嫌がったら揉んでやれば。いまでも三島辺りの連中は、起きてたほうが効くなんてね言うけれど、実はあれはうんと損なんだけどもね。昔、温泉場、いま温泉場じゃ、ほとんど寝られます。昔、寝るやつと起きるやつと分けていたんですよ。寝るやつは難しいんです。丸っこいでしょ。座っていて、両肩をトントコトントコ揉んだほうが。初め教わったから、いまでもそれでほとんどやっていますね。いま、だいが寝るやつに入ったんだけど、昔は肩揉むのは座ってないと嫌だなんてやったんですよ。いま考えてみると、座ったままやるより、やっぱり寝たほうが肩は楽なんですよ。うんと揉むのがくせだから、起きてても力が入るわけですよ。いまでもやっていますよ、言われたときに。寝ようよって言うと、いや起きているほうが効きそうだからってね。本当に時間的にも損だし、能力も損だしね。でも、いまそれをやっています。私はあんまのほうは忘れて鍼に移ったから、それから抜け出したけど。もちろん、そういう境遇だったんです。</p>
506	加藤 当時の検定試験のことを伺いたいのですが、試験問題は点字で出たのですか。
507	○ ええ、点字ですよ。問題は墨だけでも、答えは点字で。
508	加藤 墨字で問題は出て。読んでくれるのですか。
509	○ 読んでくれる。
510	加藤 答えは点字で。
511	<p>○ ええ、そうです。だから、私も大正13年に初めて行った。12年ごろまでは産婆、看護婦、鍼灸、マッサージ全部で1つで間に合ったですよ。少ないから。学校の課程としても、鍼灸5、6人だ、産婆は7、8人だ、看護婦さんも何だとか言って、1つで間に合ったですよ。この通りは産婆、この通りは看護婦、この通りは鍼灸ってね、みんな1人がやったですよ。</p>
512	(中断)
513	加藤夫人 田方の按鍼学校っていうのは、結局指定にはならなかったのですか。
514	<p>○ ええ、指定にも認定にもならなかった。昔大村和吉郎という師匠のいところになる人が代議士で、その人が全部やって、その人が文部省の指定を取りにいって東京へ行って、東京で倒れて死んじゃったから。だから指定にはならなかったです。沼津にヒラタさんって、沼津訓蒙院っていうのをやった方があって。</p>
515	加藤 ヒラタショウウケイさんですか。
516	○ ヒラタショウウケイさんです。あの方は。
517	加藤 あの方は明治40年に開いたことになっていますね。
518	○ だから師匠より早いです。開いたまま、授業は1つもやっていなかったです。
519	加藤 そうですか。
520	○ ええ。認可を取ってあったけど、授業は1つもやっていない。
521	加藤夫人 生徒さんも集まらなかったのですか。
522	○ ええ、そう。自分だけ、1人だけ、学校開かなかったから。
523	加藤 私塾みたいな自分の所だけで。

524	○ 名前だけ取ってね、何にもやらなかった。
525	加藤夫人 自分の家ではやっていたのですか。
526	○ どういうふうに行ったか知らないけどね。沼津訓蒙院って名前はあって。だから、大正時代に御下賜金が出たのは何年かな、何かでもって御下賜金があったね。それで昭和4年にヒラタ先生が死んだから。それであわててお金を使っていないから、銀行に積んであった金を県庁に持って行って、これ使わなかったからどうしますって。それはお前の所へやったものだからどうぞと。それで、その次に回ったのが昭和4年か。4年の年に今度新しい学校へお鉢が回ってね、来たんですよ。御下賜金をやるから来いと。
527	加藤夫人 結局、沼津は建物も建たなかったのですか。
528	○ なかったね。それで私が昭和4年に、初めて。4月11日のね、御下賜金を、私汽車で出て行ったね。
529	加藤夫人 紀元節に沸いたときですね。
530	○ ちょっと静盲のクスミ先生、浜盲のイワサ先生と2人おいでになり、こちらから出て行って、クスミ先生が手配してくれたね。1件100円だね。その当時の100円は大変ですよ。……45円とかね。本当に100円だから、いまの両替の。それで3年もらって、師匠が4年、5年。4年に私が1人で、5年師匠と2人で行って、6年は私が別れたから師匠が行って来たかな。それから今度ミヤザキさんっていうマッサージやった方が惜しいと、100円くるものを、親が学校建てるんだからって言ってね。学校をアオキさんから譲り受けて、それで三島で学校を始めたんですよ。初めクスミ先生が何か学校のことで自分が問題を起こしちゃったから、学校をよして、ヒラマツ先生を引っ張ってきてこっちへ来いと。東部盲学校をしようってね。いい学校を新設しようとしたですよ。それで東部には田方按鍼学校があるから、これがあったんじゃ、お前の学校は許可できないって、師匠からもらった学校を廃校にしちゃったんですよ。廃校にしたら新しい学校をつくらなきゃならないから、結局出なくなっちゃったね。授業は少しやったけども、結局半年ぐらいでやめちゃったでしょ。だから潰しっぱなし。えらくもめたよ。その場でやっていきやよかったけど、クスミさんが来て、学校で喧嘩して、学校に対抗する学校を創るんだと言って、飛んできて始めたんだけど、
531	加藤 いまの沼津のは昭和になってからできたのですか。
532	○ 昭和どころか、二十何年か。
533	加藤 戦後ではないですか。
534	○ 戦後ですよ。盲人会をつくったのが昭和23年かな。ヘレン・ケラー女史が。それを機会に盲人会つくった。その会が運動してつくったんだからね。
535	加藤 昔、アオキ先生の所では流しみたいなことはさせなかったのですか。
536	○ させなかったけど、自発的にやったね。三島辺りは全部、どこでもやったんです。師匠は流しをさせないことを建前に食い扶持を取ったわけですから。でも自発的に、11月になると商売は暇になるんですよ。無収に近いですよ。それでたまらなくなって出掛けるんですよ。まず竹屋に行って
537	加藤夫人 ああ、そうですか。
538	○ 僕、笛作った。昔は笛の作り方から皆教えられた、杉山流の。だから大したものですよ。ご飯の食べ方から、箸の持ち方から、鼻のかみ方から、ゆくゆくは笛の作り方まで皆心得ていたわけだ。私も作ったですよ。やっぱり竹を買ってきてね、あれを切って酢で煮てね、炭俵に縄かけて中
539	加藤夫人 竹の作り方はお師匠さんが教えてくれるのですか。
540	○ 教えるの。大体ね、指示して。
541	加藤 吹き方も流派で違うものですか。
542	○ あれは吹き方っていてもね。だんだんに、自然にこう。
543	加藤夫人 個人差が出てくるようになるのですか。
544	○ ええ。息の入れ方も3段になるんですよ。あれがなかなか難しいんですよ。
545	加藤夫人 それではお師匠さんは按笛を公認されていたわけですね。
546	○ 流して歩く。それは出ることは稼ぐのだから、行けとは言わないけれど。
547	加藤夫人 流して得た分は、全部その人の収入になるわけですか。
548	○ いや、ならない。
549	加藤夫人 何割かは。
550	○ いや全部。暇で遊んでしょうがないから行くんだから。三島辺りとか沼津は、みんなどこでもお弟子は、夜は強制的に。私も先輩が昭和3年に出て行って、横浜行ったけども、いちばん段階あるんだね、あんまさんが吹いてやるのと、呼んでやるのと。吹いてやる人がいちばん多いですよ。いちばん下は呼んじゃうんですね。あんまの……ってね。4分半がいちばん下でしょう。いちばん高級へいって得意回り。いく人か得意持てば、得意回りで吹かなくていい。得意はただ呼んじゃうからしないですね。そうすると引いた人が呼んで何かしら払ってくれる。
551	加藤夫人 近くだけなのでしょうか。温泉場とか遠くまで行くのですか。
552	○ いや暇だから、ピーって吹いていきや、きっとあるんですよ、ここら辺でも。

553	加藤夫人 それでは、あまり苦しいものではなかったのですね。東京ではよく 苦し かった話を しますけど。
554	○ いや、楽しいですよ。三島に私どもが修業時代、もうちょっと古いかね、三島ヤクメイカンっていう、この辺はたくさんいたからね。みんな出たんです、夜は。お互いに出て行ってね、出て行ってほうぼう集まってね、仕事をしたりしゃべったり。とても私なんか三島行ってもね、歩いていちばん行くですよ。歩いて、仕事が終わってから、どこか呼び込んで2 時まで3 時までもしゃべりましたね。とてもそれが楽しいんです。……
555	(テープ2 本目)
556	加藤 三島辺りまで流されたこともありますか。
557	加藤 三島、行ったです。何て言ったって立合いだからね。当時、スギタ君なんか沼津に行ったんです。沼津まで行った。三島まで1 時間ぐらいでしたね。いまのように交通が激しくないから。線路が敷いてある。
558	加藤 私ちょっと地理がわからないのですが、三島と長岡は。
559	○ ちょうど反対になる。
560	加藤 長岡のほうが遠いですか。
561	○ ここはいま大場で、これからあなたの向かっている北のほうは約4 キロか5 キロ行った所が三島なのです。反対に南に向かったほうが長岡で、6 キロぐらい。その先5、6 キロ行って修善寺がある。三島から沼津は、三島から沼津へ西へ沼津が約6 キロの所にあつて、みんな歩いたんです。いまでも1 人ピーがあるのがね、三島に流れがある、あるらしい。いまやもうピーピー吹いても歩けないし、吹いても疲れてしまうし。昔は幾人もずっと町中がピーピーピー、あちこちでうなり、それでお互いの笛の音を聞くと、誰かってわかる。
562	加藤夫人 わかるんだそうですね。
563	○ あれは誰だって。幾人でもみんなわかる。みんな特徴あるからね。
564	加藤 今日はどうだなんて。
565	○ お互いに。それでヤスユキさんのお弟子なんかは大勢いたからね、稼ぎが多くなってくるとね、ちょっと引っ込めろなんて言ってね。船賃まで取ったやつ、みんなあちこちあるでしょ。毎晩もう多い人はどこまでも行っちゃうから。どこでも女衆は出さないけど、男衆は夜は出したんだな、みんな。昼間下揉みしておいて、夜になるとみんな笛持って出たんですよ。出るのが普通だから。
566	加藤 今度はちょっと免許を取って一人前になって、独立した場合に。
567	○ 独立するにはね、家に帰って笛一丁あれば、すぐ始まる。それから始まるんですよ。
568	加藤 普通の商家ですと、暖簾分けといったように、本家のほうが営業資金などいろいろと世話をしますね。
569	○ そういうことはないですね。何にもないですね、昔は。ただ、年が明けて出れば、戻れば笛一丁だから。笛一丁で始まるんだから。
570	加藤 技術を覚えて。
571	○ ええ、技術を覚えるだけですよ。だから、私どもの師匠は土地が狭いし、田舎町だから。沼津辺り、ヒラタさんなんかだと、その土地には開業させなかったですね。
572	加藤 土地によって。
573	○ 非常に揉めて、ササハラさん、その人が無理矢理に開業したけど、それまではその土地には開業しなかった。
574	加藤 その土地では駄目。
575	○ 土地ではね、大抵。また、その金ないから、土地買うふうもないから。大抵、旅行ったり。どこへ行っても笛一丁で始まるんだから、あんまの開業っていうのは簡単ですよ。
576	加藤夫人 縄張りっていうのは、大体どのくらいの。
577	○ 縄張りなんてものはないけど、師匠の所にだけは開業しない。
578	加藤夫人 お師匠さんのいる町で開業してはいけないということなのですか。

579	<p>○ まめ、昔の入はね。同業を遠慮したわけだ。喧嘩して出ない限りは。私はついに喧嘩別れで出たんだから、土地に帰ったと。ということは、私が3年間いて、辞めて、今度は私の兄弟子が、私を見てた兄弟子が、どうしてもと東京行ったけども、東京にいたんじゃ、体のいい牢屋入っているみたいだから、こっちへ戻りたいと。それで私はもう3年いて働いて出されたから、約束が違うから、このままいたら、この家も道具も全部お前にくれるぞって言ったのが、全部出て道具も取られ、何ももらえなくて。家ももらえなきゃ、子ども2人いたけど出たから。それで自分は家を建てて始めたから、もう師匠からはもらわないと。その兄弟子が、「じゃあ、わしが行く」って、それこそ大場の町へ師匠がおいでって言ったって、兄弟子が来たんですよ。それで私、兄弟子の所に行ったんですよ。いままで僕とヤマモトジロウと師匠でいて。だから、その収入みたら、大体100円だと、その当時。100円ぐらいしかなかったと、やってみて、その当時は。100円と僕が言ったから、僕は100円で、僕は全部で100円の収入で、3年間で100円の欠損ができた。これから100円の収入の少なくとも、僕は半分は握ったよと。僕は半分でも、僕は自分と2人だから生活できると。あなたは師匠を抱えて、師匠が借金をつくったらば、あなたは50円でやっていかなかったらば。でも師匠は兄弟子一心だったから。私はそう計算をした。大場で見た目は100円しかない、せいぜいやって。100円のうち、少なくとも俺は4割か5割もらっていると。それで辛抱してもらった。向こうは100円のうち、僕が100円で賄っているところを、僕が半分取るんだから、半分でもって100円の経済かかるよというわけだから、僕は絶対勝つ自信があったから、とうとうちょうど2軒並んでね。2軒、隣屋敷に僕は家を作ったから、2軒並んで向こうは兄弟子と師匠と。だから、いまに○は逃げ出すと。まだ借金もしているし、兄弟子と兄弟弟子が、兄弟子と師匠が並んで対抗してりゃ、○、いまに逃げ出すということで、みんな見てたわ。いまに○は逃げ出すと。そうしたところから、兄弟子がとうとう逃げ出した。だから僕は、僕のほうじゃ、もらったんじやない</p>
580	加藤 お師匠さんの話でも結構ですが、昔は三部書一部ずつ上げると、赤飯を炊いて。
581	○ そりゃ、そうでしょ。
582	加藤夫人 ああ、そうですか。
583	○ 私はやらなかったから、そうだったらね。私の時代は師匠学校作っちゃってお前たち通って新しい勉強していかないと。三部書すると師匠の得となる。昔はそうでしょ。
584	加藤 何か上げると。
585	○ 私どもなんかはみんなやったです。よくみんな向き合ってね、手をこう繋ぎ合ってね、やったですよ。全部暗記ができた者は卒業だから。
586	加藤 それで同業者を呼んで披露したとか。
587	○ そういうのもありましたかね。
588	加藤 お聞きになりませんでしたか。
589	○ あまり聞いたことないね。そういったことは、私の師匠はいまでも点字は、新教育になっても点字教育になったから。点字教育になって違ったから。三部書なんていうのは師匠だけのものだったね。だから本を持ってましたよ。『ホサゲイズイ』なんていうの。つまり、昔、……だったね、持っていましたよ。……、巻き物を。書いてあったですよ。
590	加藤 田方の按鍼学校では、卒業証書などといったものは出ませんでしたか。
591	○ 僕はもらったね。もらったけど、もうないけど、もらったよ。僕はやっぱり予科。予科・本科って言うんだってね。
592	加藤 予科・本科というのではありませんか。
593	○ あったね。だから、『点字読本』で1、2、3、4ってね、盲人とか、こうあったのが予科ですよ。
594	加藤 なるほど。
595	○ それから、鍼灸学に入ったのが本科。卒業して本科ね。本科卒業した者が、受験資格になるわけだから。私どもの時代はね、試験が、先輩が苦労した方が、統一試験に。その方が『鍼灸試験問題答案集』ってやってね、300頁ぐらいのね、それを全部暗記しよったですよ。
596	加藤 覚えたわけですね。
597	○ はい。その中から大抵出たから。
598	加藤 なるほど。
599	○ 昔は○×式じゃなくて、みんな答えを書くんだから。いまでも覚えているのは、按鍼学校の本科のこっちの試験問題、私は書いて褒められた。これじゃあ、検定試験でも通るとね。血管収縮運動についてっていうかな、答えを書いたらね、検定試験でも通ると言われたね。
600	加藤 三島には瞽女さんというのが昔ありましたが、そのような話はお聞きになったことがありますか。
601	○ あったですよ。
602	加藤 明治の幕末に。
603	○ 私ども子どもの時分に、やっぱり来ましたね。
604	加藤 どの辺まで来たのですか。

605	○ 1 軒1 軒じゃなくて、いちばんその土地の名士の家ですね。それで一席やってもらっていくでしょ。
606	加藤 みんな集めてやるわけですか。
607	○ 集まるというか、もう集まらなかったな、私の子どものときには。大正7 年ごろね。瞽女になるのに歩いた人は、2 人、3 人ありましたよ。15のときにね、瞽女やっている人から三味線を習うと行ったけれども、何せ検定試験が忙しかったからね。好きだったけども。まだ、三味線よりバイオリンのほうがよかったんで、バイオリンもしたしね。
608	加藤 そうですか。
609	○ いまになって楽しかった、バイオリンやったほうが。三味線のほうが、いまになってたら、やっていなかったね。習いには行ったんですよ。だから、どこかでやってありますよ。やったけども、途中でやめてしまったね。師匠に隠れてやったけど、師匠も認めてくれて、習いに行ったんですよ。
610	加藤夫人 あまり娯楽をやると、お師匠さんはやかましいことはありませんでしたか。
611	○ いや、全然言わなかったね。あの当時もバイオリン行っちゃったね。若いときは歌謡曲のほうがいいからね。いまになってみると、三味線がおもしろいだろうが。
612	加藤 年をとると、何となく日本の音楽のほうが。
613	○ ラジオで聞いても民謡とか、あるいは和楽しか聞かないね。若いときはなかなかこう、なんて言いますかね、確かに時代のものだね、よくちらっと聞く。私が若いときはバイオリンが流行った、マンドリンとかね、流行ったのです。何だって、金がなかった、収入がね。普通の者の1 カ月收入が、その当時40～50円だからね。1 回50銭で、よくあっても5 人か3 人かね。いまだって、一般の収入、どうかな、わからんけども、あんまり10万ないんじゃないかな、最高がね。よく点字新聞なんかで、……だって収入5 万、5 万と言うけれど、5 万も稼げて娯楽に回したって。私は昭和10年ごろから娯楽時間、自分時間などというのは、その10年ごろ、ゴトウという同業者が来て、「○さん、あんたいつも仕事しているけど」。私ども若い年季時代にここから三島まで出て行ったらもう、出たら最後、朝出たら晩まで帰ってこなくて、1 日中同業者と遊び歩いて、少し用足しして帰ってくる。出て行ったらもう都合つかない。3 軒ぐらい回って帰ってくる、もう仕事がなかった。今日来て、いなきゃ、明日くるのだから、その当時は。1 日に3 人とか5 人しかいないのだから。今日いなきゃ、明日来るだろうからなんて呑気なものですよ。町を歩いて建具屋だ、あるいは鍛冶屋だ、それこそ職人が仕事をしていても、よくああして1 日仕事できるなあと思ったね。こっちは1 日のうち、仕事の時間は少ないわ、3 人か5 人だからね。寝ている時間のほうが長いんだから。今度は自分が逆で、朝起きて8 時に入って、夜9 時か10時。9 時と言っても、大体9 時半ぐらいに終わって。9 時までぐら
614	加藤 みなさん、盲学校へ随分入りたがっているということですが。
615	○ 学校へね。私らもそう言って、親から激怒され、ブレーキがかけられたから。そのときは断念したからといって、笑われ者だったですよ、そのときは。
616	加藤夫人 まだ入っていなかったのですか。
617	○ 2 人入って。2 人学校へ入って、2 人鞍替えて、私ら2 人は残ったんです。しばらく私はいちばん、そのときはへまだったね。いろいろ学校へ行く べく計画はあったのだけど、行けなかった。それで、いちばん下手なあんなだった。それで、敢えて言ったね。あんなが上手だと褒められると鍼が駄目、なんていうことも言ったこともあった。確かにそうだね、俺なんかあんなは下手だけど。何しろ、早く免状取っちゃったから。だから、いまごろ師匠が兄弟子が出てしまったから、師匠がうちに頼って、鍼で稼いでくれと。それから小児鍼を、偶然ちょっとしたことから小児鍼を覚えたことね。まず小児鍼が効いたですよ。そこで昔はあんなさんなかつたから私が行ったのです。大抵、東京の人、私のこと「君は杉山流だね」と、よく言ったね。東京では杉山流というものは晴眼者は弟子に取らない。目が見える人セイサ流だと、盲人は杉山流だから、あんな杉山流だねと。男性のほとんどのお客さんが入ってきて、「ああ、君
618	ある男がちょっと不義を起こして、うちを逃げ出してきた。大磯の人間が平塚で開業していて、同業者といい仲になっちゃってね。自分の奥さんはお腹が大きいのに、その奥さんをうちで逃げてきた。逃げるのに、奥さんに送らせて平塚の駅まで汽車に乗り込ませてもらって、大磯へ行くって乗り込んでおいて、途中から乗り越して広小路へ行って。ウチムラっていう先輩を女の人が尋ねてきた。ウチムラはうちが狭いからと言って、預けに来た、預かってくれて言ってきたわけ。
619	加藤夫人 いまでも。
620	○ それでその男に……。
621	(テープ終了)

H M

1	加藤 テープ2トラック3、H Mさん、江東区。明治37年東京に生まれる。大正2年10歳、小学校3年のときに失明。風眼。最初は当H Mさんの50年の回顧録から再録音。大正4年のこ
2	H あるとき、福井県と同村の人でタカムラキヨマツという人が、肩が張ってウノさんというあんまさんのところに治療に行った。いろいろな世間話から荒川の話に移り、「Mさんが目が見えなくなったそうですね。親御さんがこの職業にする希望があれば、油屋時代からお馴染みである、どんなお世話もいたします。是非よこしてください」とのことです。タカムラさんは「さっそく両親に話をいたします。なお、本人の意志、カズオの意見も聞いた上、ご挨拶いたします」。母は、いろいろと手を尽くしたが、とうとう治らず、あんまさんになるのか
3	兄カズオさんをはじめ、タカムラその他3、4人の意見に、治る見込みがないとすれば、1日も早く職に就けることが将来のためである。ここに意見が一致いたし、3月2日、12歳にして鍼、あんまの修行に出ることになりました。私の生活は一変して、盲人社会の1頁に踏み出すことになりました。今はすべての喜びも失い、暗黒の世界の人となり、これから私の将来はいかに転換していくものか、人生観の歩みが始まろうとしております。
4	さて、ウノ先生に入門いたしますと、明けても暮れても自分の膝を揉んだり、あるいは人の肩を借りて揉んでおります。こうして想像以上の辛いことばかりであった。ようやく一通りの治療を覚えました。はや、ここに1カ月を経過いたします。4月10日より、治療代300文、いわゆる3銭で流しに出ることになった。二晩、三晩はいかに無心な子どもでも「あんま上下300文」と怒鳴る声が出ません。
5	ある晩のこと、昔、油屋をやっていた通称地蔵横丁、今の小松橋の通りに流しに行った。「あんま上下」と怒鳴ると、私の声を聞きつけて、油屋時代の荒川を知っている人は「あれが荒川のミーちゃんか」とみんな泣いたそうである。親の光と世間の同情によって、あちらこちらより頼まれ、1日4、5人のお客があります。また、……の友達は母親に「僕の友達が、めくらになってあんまさんになったのだから呼んであげなよ」。親も仕方なく、まだ32、3の肩の張ることも知らないお母さんは、「揉むことはいいから、うちの子とも遊んでいきなさい」と、ご馳走をしてお金をくれて帰します。こうした状態で近ごろは朗らかにになり、いっそう楽
6	あるとき、福井県の兄より書面が来ました。「両親の丹精も空しく、実の目も治らず、すべてが水泡に帰し、今は鍼、あんまの修行に出られたる由、両親の心の中いかにばかりかと、ご用……察し仕り候。当方にも、とりわけおばあさんは声を上げて泣いており候。ある日、嫁のツギヨが目は見えなくとも、立派に職を持って社会人として立てる。もし脳膜炎でもあれば、生涯かわいそうであると言われて、老婆も安堵いたし候」と兄の書面に記してあった。両親は「あんま上下」と実の声を聞くと、夜も寝られない。まだ12ではかわいそうである。もう1、2年過ぎても遅くはないと思う。いっそうのこと家に連れてこようか。でも父はやはり男である。今からそんな甘いことでは一人前にならないと、受けつけなかったそうである。
7	当時の弟子は、その年齢と修行のしたる年数に応じて差別がありました。1貫文、いわゆる10銭の治療代をもらうには、少なくとも3、4年は修行いたします。1貫文になると、初めて笛を吹くことを許されます。このときは「笛祝い」と称し、赤飯を炊き、下駄、手ぬぐいに、1本の笛をくれます。これまでになるのには容易ではありません。こうした笛祝いのできる弟子が1人でも多く出ると、同業者に対し、先生の誇りとしてあります。当時の鍼医は必ず紋付きに羽織を着たものであります。これも平等ではなかった。最低はキャラコの紋付き、最高はナナコの羽織。糸織りの着物にのめりの下駄に白足袋といういでたちで、医者と間違える風采な鍼医もありました。また、中には……な汚い人もあります。昔は盲人の生活に上下の段階があり、中等の生活が少なかった。現在、ウノ先生……、12時半になると10分置きに流しに出かけます。まず1人が石島町、10分過ぎて来た者は千田町、20分後に出た者が海辺町と、それぞれ回る区域が別々であります。それは3人が遊ばないように計画を立てて回らした
8	寂しい秋が訪れ、相変わらず「あんま上下300文」と流しに歩きます。先生は、ぜひ年季証文を入れてもらいたい。ここに年季契約書を入れることになりました。この時代はいかなる職業も問わずして、年季証文を入れることは通常常識でありました。こうした年季証文は今日では見ることはできません。それでは参考までに、私の年季証文をご紹介します。
9	年季証文。「この度、不思議なるご縁をもち、不肖荒川ウヘイの一子実こと、鍼、あんまの修行につき、ウノキイチ先生宅に21歳まで勤めるべきことをお約束仕り候。但し年季終了の暁は、その恩義を謝し、なお1年間を礼奉公として勤めることを承知仕り候。また本人に不都合あるときは、その責任を親元にて負うべき候。なお本人病気の……には、薬料はもちろん、一切の費用は親元にて負担いたすべきこと、この段承知仕り候。本人途中にてやめたり、あるいは他の先生に移動したるときには、お世話に相なりたるときよりその当日までの月謝、食料扶持を納むることを承知いたし候。月謝2円、食料3円、計5円。この段承知仕り候こと実証なり。大正4年10月10日、深川千田町225番地、荒川ウヘイ。ウノキイチ先生」。

10	<p>当時、あんまさんの弟子に入ると、1カ年ないし2カ年は、2円、3円を食い扶持として払ったものであります。これは目の見えないため家の仕事ができないばかりでなく、非常に手がかかるので、いわゆる手数料として、親元より納めさせたものでないかと思ひます。こうして奉公人を1枚の紙に封じ、一切の自由を束縛したものであります。これはあんま、鍼の年季奉公に限らず、いかなる職業にも保証人と契約書は、この時代のお定まりであります。</p>
11	<p>さて、今日も昼過ぎから流しに出ました。夜になってもお客がない。お腹が空いてくる、体は寒くなる。目が見えていたころを思い浮かべ、知らず涙が溢れて、「あんま上下」と怒鳴る声も出なかった。今ごろは家の者は寝たかしら、友達は親の元にいられてうらやましいなど、さまざまなることを思い、また涙がとめどなく頬を伝わり、しばらくは座り物陰で泣いており</p>
12	<p>また我が家では両親の思いは同じであった。「今ごろは実はお客さんがあったかね」と話をしております。両親は毎夜10時の時計が打つまでは眠れなかったそうであります。さまざまなる苦労の中に、この年も終わります。</p>
13	<p>大正5年元旦を……、2月のみぞれの降る寒い夜であった。はや8時を過ぎてもお客は1人もありません。「あんま上下500文」と怒鳴ってくると、「実」と呼んでいる。はてなと耳を澄ませて聞くと、なつかしいおっかさんであった。母は小声で「寒いねえ」と私の手を引いて、家に入れた。「今夜は雪模様で家にいてさえ寒いのに、お前はどんなに寒いやろかと呼びに行ったのさ。心配しないで、時間はおっかさんが見ている」。焼き芋や大福餅を出してくれましたが、私は炬燵に入ると、疲れと暖かいのでいつしか眠った。</p>
14	<p>やがて時計は10時を打った。母はあんま賃2つ分の10銭と別に、10銭を私の手に握らせ、「雨の降る寒い夜はいつでもおいで」と門口まで送り出しました。母はいつまでも見送り、「端に寄るとドブがあるから気を付けて帰んな」と、私の姿が見えなくなるまで見守っていたそうであります。私は寝床に入っても、しばらくは涙が止まらず、眠られなかった。</p>
15	<p>2月26日の夜であった。筑波おろしの寒風は耳がちぎれるような寒さである。相変わらず流しをしているが、まだお客は1人もありません。去年までは珍しいのと、一時に湧いた同情でお客もありましたが、今は過去の夢であります。雨のために外套は濡れ、体が冷えてくる。そうそうは親のところへも行かれせん。</p>
16	<p>さまざまなることを考えながら「あんま上下500文」と怒鳴ってくると、路地の間から、「あんまさん」と呼ばれた。このときほどうれしかったことはなかった。路地を入ると6畳1間の長屋で、主は土方のようであった。2人治療して10銭と言えば、主がかわいそうだから15銭あげなさい。おかみさんは15銭を私の手に渡し、「この表にそば屋があるから、こんな寒い夜は天ぷらそばでも食べて、あったまってお帰り」。</p>
17	<p>せっかく親切に言ってくれるのに、食べないのも悪いような気がして、表に出ると、なるほど汚いそば屋があった。さっそく天ぷらそばを食べた。2銭5厘払って家に帰ると、先生はまだ火鉢にあたっていました。2人分の10銭を渡す。「お前はそば屋で天ぷらそばを食べていたな」。私ははっといたしました。「5銭多くもらったので食べました」。</p>
18	<p>先生は「お前らが表で何をしているか、またどこを歩いているか、この箱の中より出る棒の印ですぐわかる」。これは神様のおみくじの箱のようなものであります。私はびっくりいたしました。先生と言われる人は、恐ろしいものであると、両手を付いて謝罪いたしました。これからこういうことをしてはなりません。私が17、8になってから、これがあんまさんの賭博の道具であることがわかりました。</p>
19	<p>翌朝、突然患者が来しました。揉んで鍼をして35銭である。患者は5円の紙幣を出した。4円65銭の釣りをもらって患者は帰る。おかみさんは使いに出かけて留守であった。先生と弟子と4人でおりますが、全盲であります。しばらくして家主が家賃を取りに来ました。客から受け取りました5円紙幣を出すと「いや、これは先生、白紙です」「そんな馬鹿なことはありません。いま客からもらったばかりである」。もう先生は夢中であった。今日では5,000円以上に相</p>
20	<p>家主は紙幣を先生に持たせ、近所のおかみさんを2、3人連れてきた。初めて白紙であったことに先生は納得いたしました。もしおかみさんがいたなれば、こうしたこともなかったかと思ひます。本当に見えない者はかわいそうであります。</p>
21	<p>近ごろ先生は、金貸しを始めました。この貸付方法は次のとおりである。10円貸す場合には手数料として50銭取る。それに保証人が1人。これを毎日20銭ずつ日払いにて納めます。60日間に12円払うことになります。それに最初の50銭の手数料を加算すると、月に1割5分の利子になります。今は金に心が集中して欲が強くなり、あまり弟子にも教えることもいたしませ</p>
22	<p>ここに兄カズオさんの友人にして、カオルさんという人があります。あるとき私の将来について、母は話をいたしました。カオルさんは「それでは私の知っている先生があるが、これは日本橋数寄屋町で、しかし弟子を取るかどうかわかりませんが、今度休暇のときによく聞いて</p>
23	<p>カズオさんの友人のカオルさんが、日本橋数寄屋町のキシホウリンさんに尋ね、いろいろとお話をいたしましたところ、「ぜひ本人を連れておいでなさい」と話は順調に運ばれました。父に連れられて、数寄屋町のキシ先生宅にまいりました。先生は「今年もわずかであるから、年を明けて正月おいでなさい」と話は決まりました。この先生は盲人で将棋が2段であります。いま東京の将</p>

24	父はウノ先生に暇を取りに行きましたが、なかなか返事をしなかった。ようやくのこと、押し詰まる暮れの25日、暇をもらいました。こうしてさまざまなる中に、この年も終わっていき
25	大正6年、両親兄弟一家揃って久方振りに元旦を迎えました。何年振りに獅子舞が舞い込み、楽しい正月も三が日を終わり、5日早朝から父に連れられて、日本橋数寄屋町のキシハウリン先生宅に入門いたしました。ここは現在の日本橋通りと、呉服橋から竹橋に通じた通りの中間にして、いわゆる三越の裏通りから西河岸橋を渡り、呉服橋から京橋、大根河岸に通じた東中通りであります。周囲は大工町、数寄屋町、干物町、タニマキ町の4カ町は芸者屋街である
26	このホウリンさんの師匠は、日本橋呉服町、西河岸橋の角にあたる、390坪の邸宅を構えたるアマズミリュウホウと称する検校であります。徳川時代には盲人に3種の位がありました。すなわち検校・勾当・座頭の3段に区分されております。検校は1,000両、勾当が500両、また座頭は20両、江戸から145里の道中を一本の杖に頼り、京都に上りこうしたお金を納め、位を受け
27	検校は諸大名の出入りを許され、また勾当は旗本の出入りを許され、座頭は町方の盲人をリードして盲人の統率を図ったものという。検校は一万石の格式を持って、朱塗りのお駕籠で往来したものです。明治4年、廃藩置県とともに、こうした盲人の位も廃止いたしました。
28	それでは私の先生、キシハウリンさんの経歴をちょっと付け加えて申し上げます。ホウリンさんの祖父は勤皇党にして、幕末の折、橋本左内と同時に捕られ、戦時小塚原において死罪になりました。ホウリンさんは北品川北馬場に生まれ、元治元年、灸師呉服町アマズミ検校の門下に入り、後に山県・松方両元帥の介添えに相まって、歴史の正しいところから宮中にあんなとして参内した人である。ホウリンさんがこうして成功されたことは、アマズミ検校の甥に当たる人で、歌沢の師匠があった。ついに音声立たず、歌沢の芸道を娘に譲り、隠居した
29	慶応4年、ホウリンさん14歳にして、毎夜この隠居を治療に行った。ある日「お前もわしを治療するばかりでは、長い間には飽きがくる。どうじゃ、明日から将棋を教えてやろう」「誠に身に余る幸せと思いますが、それでは先生に叱られます」「いやいや、そのことなら気遣わぬともよい。わしから検校に話をしておくから、心配はいらん」「それでは何分よろしくお願
30	翌晩から、治療が終わると将棋の稽古をする。当時はあんま賃が6文であった。帰りには必ず1銭2厘持たせて帰します。こうして4年半という長い年月を、将棋の伝授を受けました。誠に奇人な人です。今日の人が見ると、昔の者は物好きな人もあったと思う方もありましようが、目明きと違って、目の見えない者に教えることは、なかなか困難なことであります。隠居が亡くなったときは、2段の格を修めました。
31	また、ここに忘れることができない恩人があります。これは「あけぼの」という芸者屋の抱え芸子で、マンリュウさんという人があります。このマンリュウさんが大倉喜八郎に身請けされました。マンリュウさんは一躍男爵夫人として、子爵伯爵の交際が交わるようになりました。大倉夫人はいつも先生の将棋の自慢をする、いわゆる宣伝をいたします。ついに島津、鍋島両公爵、山県、松方両元帥、本郷片町の伏見宮、渋谷の梨本宮に出入りを許され、大成功で
32	私が入門いたし間もないころであった。島津公より梅の盆栽をもらってきました。あるときいちばん良い枝を折ってしまった。私は青くなって長男の若旦那にお詫びいたしますと、「それは困ったことができた。お父さんの帰らないうちになんとかしなければ」と若旦那のいここにあたる、象牙の彫刻師を頼み、枝はみごとにつなかりました。
33	間もなく先生がお帰りになり、衣服を着替えると盆栽を撫で始めた。やがて女中を呼んで、「何かこの鉢にぶつけなかったかね」「まだ私はそちらの座敷には入りません」。今度はお嫁さんと呼びます。お嫁さんは私が折ったことを知っているから、「なんですか、お父さん」「この枝も葉も、他のものより威勢がないと思うが見てくれないか」。
34	目明きが見てもわからないのに、見えない人がどうしてわかるのかと、勘がいいというより不思議であった。若旦那の取りなしで、ようやく許してもらったことがあります。
35	先生の全盛時代には、当時60万の財産があり、昭和の今日では6億に相当いたします。長男……。私が入門したときには、大半の地所は手放して、もう下りでありました。先生は早くに奥さんと死別いたし、その後も後添えも持たず、4人の子どもは、ばあや・女中に預け、すべてが金の権力で家庭をまかない、従って家庭的な教育も伴わず家の秩序も無く、こうした影響によって良い子どもができなかった。したがってこの築き上げられた財産も破産したものかと
36	ある日、兄弟子のトウリンさんの話に、「これからの盲人は技術だけに頼ってはられないと思う。お前が30ぐらいになると、このままに進むと時代遅れのあんまさんになる。もちろん技術は大切であるが、これからの盲人は、盲学校に入り盲教育を受けることである」と兄弟子は説明してくれました。後に、この人は埼玉盲学校の教員を務めました。
37	私はさっそく深川の両親に相談いたしますと、「今はお前を学校に上げる力はない。そのうちに家が楽になれば、学校に上げる」。しかし「学校の入学準備は、ここに12円の貯蓄がある。これで一切をやってもらいたい。また、学校から帰れば流しをして、自分の食べ料は働ける」と話をいたしましたところ、両親もやっと納得いたしました。先生からお暇をもらって、9月1日から袴を着けて京橋築地3丁目、西本願寺内にある技術盲学校に入学いたしました。

38	9月30日、午前2時、突然津波が押し寄せ、嵐は猛勢を振るい、たちまちのうち勢力を増して、棚の物、柱時計までもぐる有り様である。低いところでは天井の裏板まで水浸しになり、犠牲者もたくさんにありました。シカ町では48人犠牲者が出て、各交番の前には棺箱が並び、涙なくしては見られません。またスナ村では490人の犠牲者があり、恐るべき惨事でありました。水は20日以上も退かず、従って通学もできません。
39	ある日、父は嵐のために壊れた屋根を修理に上がりました。修理最中に屋根から落ちて脊髄にヒビが入り、さっそく名倉に入院いたしました。ついに学校も思わしからず、退学いたしました。ここに上級生の近藤マサシという人があり、「僕があんまの資格を取らせてあげる。とにかく僕の家に来たまえ」と、誠に良い人に巡り会いました。この年も学校の失敗、大水害、父の負傷、さまざまな中に暮れていきます。
40	大正7年、水害の影響を受けて世間では畳の無い家が多く、……むしろを敷いて元日を迎えました。私は、4日より近藤さん宅に試験勉強に通います。これは江東橋たもとにあたる、いわゆる柳島2丁目であります。ただ今と違って電車も無く、往復1時間以上かかります。雨が降っても雪が降っても、今は勉強にいそしみ、すべての楽しみもなく勉強に集中いたしております。70日間に190問の問題を暗記いたします。何分にもまだ13歳6カ月の歳では、無理なこと
41	試験日が3月20日に決定いたしました。当時はあんまは晴眼が4カ年、盲人は2カ年修行し、先生の証明に基づき試験を受ける資格があります。父はウノ先生に事の次第を打ち明けて、依頼いたしました。が、拒絶されました。ここに猿江イワマチのヨネダと称する人の証明によって、ようやく試験を受けることになりました。当日は父に連れられて、警視庁の試験室に入ります。まずあんまの実地を初めとして、解剖学、生理学、あんま学、衛生学であります。4月10日にあんま術の試験が合格いたし、通知が参りました。私はもちろん、両親の喜びは格
42	さて、これから鍼の勉強であります。やはりキシ先生のもとに帰ることがよろしいのではないかと、両親の勧めに従って、再び日本橋の先生のもとに帰ることになりました。父に連れられ先生宅を訪ねますと、数寄屋町の立派な化粧品のお店は影もなく、自動車屋に変わっております。私はびっくりいたしました。子どもで深いことはわからなかったが、すでに昨年、お店が破産いたしましたことがわかりました。
43	さっそく尋ねますと、ハウリンさんはカミマキ町の大野屋という鰻屋の裏に移転いたしました。先生はじめ一同が、よく帰ってきたと喜んで迎えてくれました。わずか1カ年足らずの間に、がらっと変わりました。先生の周囲には、吉田流の晴眼の同業者が4、5軒包囲して、全く圧迫され時代に遅れた感が十分にあります。
44	あるとき、ナカイという待合から迎えがきました。この待合の主人はお菊さんと称し、先生が昔将棋の伝授を受けました、あの恩人歌沢の隠居の孫娘にあたります。今は常陸山、横綱の二号さんであります。大きな体を触って、私はびっくりいたしました。当時引退しても、まだ42貫あったそうであります。この巨大な体を治療し、終わると横綱自ら私の手に治療代を渡し、「みんな持っていらっしゃい」。
45	私は1円札だと思ったところ、10円紙幣であります。さっそくナカイの帳場に持って行きますと、「お前が真面目で治療したから、御大がくだすったのだ。もらっておきなさい」。私は本当にうれしかった。
46	大正9年、うららかな正月を迎えます。元日早々から忙しく、今は深川の親元にも帰れません。あれは2日の夜であったと思います。若松という料亭から迎えがありました。私は女中さんの案内に従い、座敷に入ると、客はかなり酔っております。周囲には私のお得意の芸者衆が客を取り巻き、ご機嫌を取り結び騒いでおります。
47	しばらく治療すると、「もうよろしい。お前もここへ来て飲め」「まだ治療中ですからお酒はいただきますせん」。タマフジ屋のタマエさんが「旦那、からかわないで帰しておやんなさいな」。しかし客は帰そうともしない。「どうだ、お銚子4本飲めば10円やるが飲まんか」。ギンスジムのフジコさんが「旦那、帰ってもいいんでしょう」「いや、飲まんうちは絶対帰さ
48	この時代には、こうしたお客がよくあります。芸者と平凡に飲んでるのがおもしろくない。なんか変わったことがしたくなる。妙な酒癖であります。私も治療代をもらっていないので、帰ることもできません。しかし飲んだことはないが、3合や4合の酒が飲めないことはない。飲んで10円もらえるならば、これはまんざらでもない。「旦那、いただきます」。私の前に銚子が並んだ。ツタオオノのハナエさんが、「ハウネンさん、大丈夫ですか」とコップになみなみと注いだ。私は水を飲むように息もつかず酒杯を飲み干した。すると目が回り、10円もらってようようのこと帰りました。家に帰ると嘔吐を發し、その苦しみはたとえようもありません。
49	3月15日に一斉に各銀行の取り付けが起り、4日間の間に株が大暴落いたし、政界財界に大きな反響を及ぼし、不況に陥りました。私もついに4月、キシ先生から暇を取ることにになり
50	さて我が家で開業することになりまして、看板を上げましたが、なかなか商売がありません。ほとんど流しが専門であります。昔は平気で流しもいたしました。が、もう年頃になると自分のまちはきまりが悪くて歩けません。それで猿江から大島方面を毎日流して歩きます。そのうち客も大変に多くなり、両親は喜んでおります。

51	大正10年、あるとき友達が3人遊びに来た。これは昼は工場に勤めて、夜は当時の演歌師で、毎晩縁日、あるいは祭りの盛り場で、バイオリンを弾きながら本を売ったものであります。「Mさん、バイオリンをやる気はないか。勘がいいからすぐ覚えられると思う。僕ら3人で教えてあげる」。さっそくバイオリンを6円50銭で求め、一心に稽古を始めました。習うより慣れろとか、5、6カ月は夢中でやっておりました。今は商売も上の空であります。
52	それではここに、演歌師についてちょっと申し上げたいと思います。演歌師は明治30年ごろ、大学生のアルバイトのようなもので始まったことであります。演歌の歌本は当時は瓦版大の本を作り、これを上野、浅草、新橋、銀座、こうした盛り場をバイオリンを弾きながら歌を歌って、本を売ったものであります。演歌師が増加するに従い、大正の初期から青年クラブというものができまして、すべての演歌の本をこの青年クラブで出版いたします。演歌の最も全盛時代は、大正の初期から関東大震災の12年までの時代が最も盛んであります。
53	また大正5、6年ごろから、演歌師に、営業と認め鑑札というものを所持せざる者は、直ちに差し止められたものであります。その反面には、1つの団体組織があり、おのおのの縄張りとして申しますか歩く範囲が定められております。ついに大正14年、青少年の風紀を乱すというところから、この演歌師の本が発売禁止となり、全国の演歌師がやむを得ず断念いたしました。
54	大正11年3月9日の日であった。日本橋のキシホウリンさんが危篤の知らせによって、急いで駆けつけましたところ、近くの弟子が3人先生を見守っております。30人の弟子を仕立てたそうではありますが、集まる人は少数であった。まずホウサク、ホウシン、ホウザン、ホウエイ、ホウキュウ、ショウリン、セイリン、ケイリン、トウリン、それにホウネンの10人であり
55	昔は鍼、あんまの弟子にはこうした名前があり、先生のホウの頭字をもらった人、あるいは下のリンの文字をもらった人、こうして名前を付けられたものであります。キシホウリンさんは家柄も良く、中年からたくさんの富を作り、盲人ながら将棋2段の格を修め、宮家から宮中に参内いたし、明治天皇を治療いたしたお方であります。先生は、嘉永、文久、元治、慶応、明治、大正の6代の年号を通り、69歳にして大往生いたしました。
56	お話は大正4年に戻ります。私、ウノ先生に鍼、あんまの弟子として入りまして、はやここに8カ年の歳月が夢のように過ぎました。ウノ先生も今や昔の影もなく、千田町のみなと湯の銭湯の裏長屋に移り、その日を送っております。ある晩のことでありました。先生宅を訪ねますと、5、6人の同業者がおりました。しばらくすると、その数を増して13人になった。そのうち奥の6畳に……布団を敷いた。一同は輪になってこれに座る。いま盲人の賭博が始まろう
57	私、かねて聞いておりましたが、現場にぶつかることは初めてであります。「先生、何が始まるのですか」「いま賭博が始まるころであるが、Mさんも入らないか。例えばお前が10銭出して、運があればこれが最終50銭になる。いわゆるチョボイチというものである」と、しきりに勧めます。また周囲からも「H入れ」と勧められる。私はとんだ所に来たと思ったが逃げることもできず、しばらく様子を見ております。
58	昭和の盲人は、こうした賭博は全くいたしません。昔の盲人は、これがために一家離散する者もたくさんにありました。当時はラジオもなく、娯楽としては寄席に行き落語、講談、浪花節を聞くことが何よりの楽しみであります。これも収入の乏しき人はなかなか行かれせん。また今日の盲人に比較して、知識が低かったことは事実であります。
59	これはある先生に年季に入り、教育もせず、今日では盲教育が発達いたし、義務制になり、力のない家庭は政府がこれを援助いたします。しかし幸せ薄き我々盲人に対しては、誠にありがたご時世であります。
60	はや、1時の時計が打った。私が帰ろうと立ち上がると、一斉に止めます。「いま帰ると巡査がやかましい」。やむを得ず私も手を出して、はや5時の時計が打った。4円30銭勝ちましたのでやめました。私の父もこの勝負事が好きのために、母も大変苦労いたしました。幸いたダシさん、カズオさんは、こうしたことは絶対にやりません。私も今日まで3、4回やったと思いますが、我々兄弟がこの勝負事を好きでなかったことは、人生間の最大の幸福であったと
61	おかみさんは「Mさん、いくら先生が勧めても、こんなものを覚えると立派な先生にはなれませんよ。二度とやってはいけません」と、こんこんと意見をいたしました。これはおかみさんの言うことが真実であります。このウノ先生も技術はたいへん上手であり、子飼いの盲人としては誠にしっかりしておりましたが、この賭博が好きなために生涯安定したる生活もできず、平凡な日を送り76歳にしてこの世を終わりました。
62	今まで全員が夢中でやっておりましたが、お腹が空いてきたようである。おかみさんがご飯を炊きはじめると、「Mさん、すまないが油揚げを10枚買ってきてくれないか」と30銭渡しました。私もやむを得ず揚げを買いに行った。巡査が突然「おいおい、君はどこへ行ったのかね、君の家はどこだね」「はい、揚げを買って帰るところであります」「こんな時間に見えない君を使いをさせずとも、目の見えるものがあるじゃろうが」「旦那、めくらは悪いことはできません。もういいでしょう」。巡査は「すまなかったね、気をつけて行きなさいよ」と巡査

63	これから約20分ほど過ぎると、3人の巡査が踏み込んだ。これが目明きであつたら、巡査に体当たりをしても半数は逃げられたと思いますが、何分にも全員が盲人のため、座ったままで捕まってしまった。私は幸いおかみさんと台所で話をしていたので、この巻き添えには入らなかった。あのときは本当にびっくりいたしました。巡査は賭博の道具を持って13人を警察に同行いたしました。「こんなにめくらを連れてきてどうするのか、もっと大きな犯罪を挙げてきたまえ」と、署長に叱られたそうであります。
64	それでは参考までに盲人の賭博について申しあげてみましょう。1個の竹筒の中に、音のしないように布が貼ってある。この中に6本の竹があります。上から蓋をして、その蓋の中央に穴がある。この筒を逆さに振ると、穴から1本棒が飛び出す。この棒の根本は、しっかり抜け出すことのないように止めてあります。筒の中の6本の竹には1から6までの印がある。まず竹の輪に刻みを付けてあるものが1である。両面を削ったものが2。中央に三角に削られたものが3。中央が四角に削られたものが4。なお竹に絹糸が無数に巻き付けてあるものが5。滑らかにして傷のないものが6であります。
65	こうして竹の棒の印を撫でて見るのであります。いわゆるさいころの代わりを務めるものである。丁半の場合には、この筒を2つ使って両方の筒から出る棒の印によって、丁半の勝負が
66	さて、私は近ごろは鍼の勉強は全くいたしません。もっぱらバイオリンを持って友達と、今日は亀戸のカトリ様、明日は羅漢様の縁日と、さまよって歩く。こうして目の見えない者が目明きと共に行動をすることは、誠に困難であり、また容易ではなかった。あるときは馬鹿にもされ、あるときは邪魔にもされます。しかしその反面に、この目明きを利用して有利なことも
67	母は毎朝食事が終わると、「実、自分の将来を考えないのか。よその人は目明きであれば、人夫もやれる、土方もできる。生活には心配がない。しかしお前は鍼とあんま以外に生活する仕事はない。なぜ勉強をして、鍼の免状を早く受けようという気持ちにならないのか。おっかさんやおとつあんは、一生生きてはおらない。自分を反省せんと、末はやくざなままで終わってしまう。バイオリンが上手になったからとて、何の足しになる。おっかさんの生きているうちにどうか免状を取って、安心させてくれ」と母は涙ぐんで意見をいたします。
68	母の言葉には頭が下がるばかりであります。こうして親に苦勞をかけることは、本当に親不孝である。すまないと心ではお詫びをしております。また夜になると、友達が迎えに来られて、断ることもできず出かけて行きます。
69	この演歌師は、4人の人が必要であります。まず1人が歌を歌う。1人がバイオリンを弾く。他の2人が群衆に割り込んで本を売ります。もし1人休まれると、バイオリンを弾きながら歌うか、または本を1人で売らなければなりません。これも呼吸があつて、短時間に一斉に売らないと、わずかな間に100と120の本はなかなか売することは困難であります。こうした状態で4人の1人が休むことは、非常に支障をきたします。この書物は10銭と20銭とありますが、すべて仕入れは7掛けであります。たとえば10銭の本は3銭、また20銭の本は1部6銭で仕入れられます。この本を10円売った場合には、元の3円を引いて7円を4人で分配いたします。
70	私、ちょうど2カ年演歌をやりましたが、1晩に180冊売ったのが最高であります。演歌にとっていちばん弱いのは、雨であります。夏は夕立が多く、本を売る仕度にかかった途端に雨に降られ、1冊の本も売らずに帰ったことは度々ありました。演歌師は1年を通じて4月の中旬から10月の中旬で終わります。演歌のバイオリンは、オーケストラの楽団に合奏するバイオリンとは異なり、我々演歌のバイオリンは、その人の音声に合わせて弾くのであります。これは立派な芸術であると信じております。昭和の今日にいたなら、この演歌師も貴重な存在と申しあげても、決して過言でないと思います。
71	それでは、ここに大正11年時代、いわゆる43年過去を顧みまして、1曲やってみたいと思います。それではこれより、演歌のそのままの画面をやりたいと思います。最初に客寄せの「神田橋」の曲からやります。
72	(バイオリン演奏及び歌)
73	H 大変本のほうに歌の数が出ておりますが、碑文谷の踏切、難波の女学生殺し、祇園の舞妓さんの心中、吉原の心中。20銭のほうの本にたくさん出ておりますから、みなさんお買い求め願います。後ろのほうを空けていただかないと交通がうるさいですから、道路を空けておいて、みなさん前のほうに寄ってください。それでは「金色夜叉」をやります。
74	(バイオリン演奏及び歌)
75	H こうして「船頭小唄」「流浪の旅」が流行いたしました翌年は、大正12年のあの関東大震災に、東京は枯れすすきとなり、何百万の市民が家もなく流浪の旅に出たという、これは歌は世にその流行を追うことは事実であります。予言的なところも十分にあると、私は信じてお
76	(バイオリン演奏及び歌)
77	加藤 大正12年、関東大震災で罹災、一家は福井へ帰る。

78	H 私も遊んではおられません。ここに勝見町のイト ウイワサクという 同業者より 笛をもらって流しに出掛けました。まず、ジョウナンの下町より……2 丁目を通り、新橋を渡り、木田からオトミの……を右に、ヨウガ寺よりジョウナンを回ったがお客は一人もありません。翌日は、停車場前から大名町、馬場の通り、片町通りからイチョウ町を回ったが、やはり客はなかった。翌晩は、アサイ学校から日の出町、観音町からクロ町を回ったが、やはり一人もお客はありません。5 日目の夜であった。ゴフク町から毛矢町を回って本町通りに出たら、ヤスカワさんというチントドン屋の女中さんが「もしもし、おひねりさん」と呼んだ。私はわからなかったから返事をしない。2、3 回呼ばれて自分であったことがわかった。当時は、福井では「あんまさん」とは呼びません。大半「おひねりさん」と呼んだものであります。このときほどうれしかったことはありません。治療をしながら東京の避難民であること。また、カツミで兄が理髪業を開業しておることを、つぶさに話
79	大正13年、雪の中で親子が元日を迎え、東京の思い出話に花を咲かせております。私も、ようやく生活が安定いたし、それから3 年間勉強し、その間に東京も復興することであろう。それには、しっかりした友達がほしい。やはり、我々盲人社会がある、いや、盲人でなければお互いの心理がわからない。幸いに、勝見町にヤマダイワサクという人がある。彼は、福井盲学校2 年で、彼の実家は一乗谷、昔の朝倉義景公のお城跡の近くで、アバカという所であります。いまは、通学するために、母親と二人で小さな家を借りて生活しております。あるとき、ヤマダ氏宅を訪れたところ、想像以上の自愛心の深い、しっかりした男である。お互いに解剖学、生理学の問題を出して議論をいたしました。が、到底太刀打ちができなかった。過去を顧みるに、バイオリンに夢中になって
80	私の徴兵検査が来ました。当日は、父に連れられて木田の郡役所にまいり、検査を受けました。身長5 尺5 寸2 分、体重15貫800であります。さて、ヤマダ君と相談の結果、福井盲学校に3 年の試験を受けましたが、ついに2 年に落とされました。これはやむを得ないところであります。私の多年にわたる願望も実現いたし、福井盲学校に通学を始めました。当時は、小倉の詰襟の服が6 円50銭、ゴムの短靴、下げ鞆、学帽、こうした費用が15円かかりました。
81	さて、1 学期の試験も始まります。夜は11時過ぎまで仕事がある。したがって、勉強をする暇もありません。朝、3 時頃……で勉強する状態であります。苦学のつらいことは依然感じるものがある
82	昭和2 年、私も大震災のために福井にまいり、盲学校に入学し、はや3 年7 カ月が夢中で経過し、過去を顧みるに、今日の喜びを迎えたことは、誠にたえがたき……に思います。今日は3 月23日、卒業式である。君が代、続いて校長先生のお話。なお、卒業生の答辞、私は総代として、卒業生の代表を務めました。なお、「仰げば尊し」の後輩の声に送られて、あのときは、わずかな瞬間でありましたが、感無量でありました。福井盲学校は、昨年、大正15年まで私立でありましたが、昭和2 年、いわゆる私は県立第1 回の卒業であります。「若いいのち」を1 曲やります。
83	(バイオリン演奏及び歌)
84	加藤 昭和43年10月12日午前、江東区千田町、H M方で採録。
85	H 私の先生から申しますと、文久元年にアマズミリュウホウという人に弟子入りして。
86	加藤夫人 アマズミリュウホウ。検校でいらっしゃる方ですね。
87	H ええ、そうです。呉服橋、呉服町に。
88	加藤 アマズミリュウホウ。
89	加藤夫人 あの方がご師匠さんでいらっしゃるのですか。
90	H いや、孫弟子です。
91	加藤夫人 ああ、そうですか。この方、明治の初期に検校で随分活躍なすった方ですね。
92	H ええ、そうです。その、先生に差し上げたものを書いてあります。
93	加藤 ああ、そうですか。
94	H 11人検校があったわけです。その先生が弟子入りして、当時は、あんま賃が6 文だそうですね。6 文というと、申し上げるまでもなく、1 銭より10厘足りないわけですね。
95	加藤 幕末でございますね。
96	H 幕末でなく、明治に入ってからですね。
97	加藤 H 先生の先生が……。
98	H キシホウリンという人。
99	加藤 その方がアマズミ 検校に入門したとき。
100	H 文久元年にね。入門してから2、3 年は出られなかったんです。ですから、当時は、先生が弟子入りしたときには小判2 両ですね。
101	加藤 小判2 両、それは。
102	H 弟子入り入門料です。
103	加藤 弟子のほうから師匠に納めるわけですね。
104	H それにお米2 俵。
105	加藤 お米2 俵。それは先生……ったときですね。
106	H ええ、そうです。
107	加藤 毎年ではなくて。

108	H	ええ、そうです。いや、毎年は米2俵ずつですね、食い扶持として。
109	加藤	そうすると、自分の食費以上ですね。
110	H	以上です。それは手数料というわけです。
111	加藤	教授料ですね。
112	加藤夫人	お米2俵は、お米でお納めになるのですか。
113	H	米のない者は金ですね。昔は、すべて米の量を加算した金を納めていた。
114	加藤	まあ、そうですね。
115	H	年季が明けるまでは羽織というものを着せないんだそうですよ。半纏と言ってね、奥さん、ご
116	加藤夫人	それで、紋かなんかは入ってないんですか。
117	H	ええ、背中に一つ紋が付いてるんです。
118	加藤夫人	それは、そのお師匠さんによって違うわけでしょう。
119	H	お師匠さんが出すんです、それは。
120	加藤夫人	そのお師匠さんの紋を付けるわけですね。
121	H	そうです。
122	加藤	お仕着せみたいなのですね。
123	H	ところが、お仕着せじゃないんです。
124	加藤	ああ、そうじゃないんですか。
125	H	それを買わせるんですよ。
126	加藤	ああ。
127	加藤	アマズミリュウホウという検校が乗ってた駕籠が、いま通り3丁目の丸善の所にカゴサスとい
128	加藤	うのがあったんです。
129	H	ええ。そこへ朱塗りの駕籠をね。当時、検校は朱塗りなんです。それから、位のある坊さんは
130	加藤夫人	網代の駕籠に乗ってたんです。駕籠の色は、朱塗りと網代と、位のある駕籠は2種類しかなかった
131	H	んです。駕籠を見れば何様か、坊さんか検校かということがわかる。
132	加藤夫人	勾当になりますと、また違いますでしょう、駕籠が。
133	H	勾当は駕籠に乗れなかったです。
134	加藤夫人	ああ、乗れなかったのですか。ああ、そうですか。
135	H	ええ。勾当は馬車に乗れないです。で、杖に位があつた。これは、いまの本に書いてないです
136	加藤	はあはあ。
137	H	これは、私、子どもだったから、あまり興味を持って聞かなかったからだけれど、とにかく、
138	加藤	昔は5尺7寸の杖をついたんです。これが6尺ということは、お仕置き場で。
139	H	むち打ちですか。
140	H	なんと言うんですか、責めに6尺棒を使ったんです。で、6尺っていう棒は使わなかったん
141	加藤	です、杖には。で、5尺7寸だか6寸だか、忘れたんですけど。
142	加藤	ああ、そうなんですか。
143	H	その上に玉が付いているのが座頭です。
144	加藤	ああ、玉がね。
145	H	丸い玉が。片シモクというのがどんなのだか、私知らないんですね。それが座頭なんですね。
146	加藤	勾当は両シモクなんですね。検校は杖に房が下がっているんです。その杖をついてね。どこかへ行
147	加藤	くときは駕籠の上にね、横に付けているんです。
148	加藤	ああ、なるほどね。
149	H	当時、その頃の盲人としては、まず、検校なんて、弟子には到底財産家の息子でなきゃ取らな
150	加藤	いんですよ、金がないから。
151	加藤	直接お弟子になるには、かなり積まないと入れない。
152	H	そうそう。積まないと受け付けられないんですね。
153	加藤	はあはあはあ。
154	H	協会で、ある、やっぱり有力なる人が話を持っていけば取るけど、さもないうちは弟子なん
155	加藤	か、やたらには取らないんです。当時、これは釈迦に説法のようにですけど、……なったでしょう
156	加藤	けど、杉山さんでしょ、盛んにやった……。それから終穴。
157	加藤	ええ。
158	H	先生の講義を聞くのに、ひと間、唐紙隔てて聞くんです。
159	加藤	検校ぐらい偉い先生になるとですか。
160	H	そうそう。教わるのに3畳ぐらい離れてないと。
161	加藤	はあはあはあ。
162	H	先生は年とって声が低いから聞き取れないんですよ。
163	加藤	はあはあはあ。それはハウリン先生のお話、体験ですね。
164	H	そうそう。アマズミ検校の講義がひと月に2、3回あるんだそうですよ。
165	加藤	それは、弟子が大勢。
166	H	全部並べといて。
167	加藤	ああ、隣の部屋で。

159	H ええ。直接こうやって滞在して聞けないんですよ。ひと間向こうで、襖は3寸か5寸しか開いてないんですよ。耳が遠い人とか、先生の声が低いと聞き取れないんですよ。
160	加藤 それを……のは難しゅうございますね。
161	H ああ、そうです。
162	加藤 何回も読んでくれるわけではございませんよね。
163	H ああ、その点は聞かなかったんですけどね。
164	加藤 筆記もできません、当時ですとね。
165	H それで点字がないでしょう、まだね。写本というのが1番弟子から3番ぐらいまでしか持っていないんです。それを聞かせてもらうのにまた金がいるんです。ただで読んでくれないんです。…
166	加藤夫人 1番弟子から3番弟子さんぐらいですと、やはり勾当ぐらいの。
167	H いやいや、検校のうちは取られないんです。
168	加藤夫人 ああ、そうですか。
169	H 位というものは、ここに書いてありますけど、京都へ行ってもらわないと位は取れないんで
170	加藤夫人 ああ。
171	H 検校、勾当、座頭。その下に一名があつたんです。一名は、当時杉山、いまのミョウク寺の所に杉山流、杉山本家として幕末まであつたんだそうですよ。そこで……もつたんですね。
172	加藤 ああ。
173	H 一名は、当時5円ですって。
174	加藤 そうすると一名は、……でよろしかったわけですか。
175	H そうです。その当時の検校相当の……が名前を出したんです。普通の検校じゃ出せないんで
176	加藤 総録という。
177	H そうです。総録です。
178	加藤夫人 関東の総録は、大体関東地方の方に……ですか。
179	H そうです。箱根山のこっちです。
180	加藤夫人 ああ、箱根山のこちら側ですか。
181	H はい、そうです。
182	加藤 それで、座頭以上になると京都へ行くんでしょうか。
183	H そうです。座頭まで行くんです。座頭は20両だそうです。
184	加藤 20両ね。ああ、そうですか。
185	H それから、検校は1,000両っていうけど嘘ですって。500両が本当です。それから勾当が300両
186	加藤 よく、ものの本に勾当と検校の間に別当という名前がときどき見えるのですが、別当なんていうのはあつたものでしょうか。お聞きになったことはありますか。
187	H 別当というものは、聞いたことがないですね。
188	加藤 検校、別当、勾当。
189	加藤夫人 別当の上に、また……別当というのが。
190	加藤 それは、その中にいくつかあるわけですね。勾当の中にいくつかあるんですけど。
191	加藤夫人 あまり実際にはお聞きになりませんでしたか。
192	H それは、その所によりじゃないですか。
193	加藤夫人 ああ、そうですか。
194	H 公に……じゃないんじゃないですか。それから、当時はめくらの乞食が多かつたんですね。親が力がないから、弟子に入れられないでしょう。弟子に行きや私らも食い扶持持つてつたんですから。大正4年に弟子に入ったときにね、2円の食い扶持持つてつたんです。で、仕着せ、小遣い、
195	加藤 江戸時代ですと、もっと厳しかった。
196	H ええ、江戸時代には。
197	加藤 もっとあれでしょうか、明治初期でしょうか。アマズミ 検校に入門した当時というのは、なかなか弟子にしてもらえなかった。
198	H してもらえなかったですね。当時、いちばん多いのは、28人いましたですね。
199	加藤 弟子が。
200	H ええ。とにかく、日本橋の次に西河岸の橋ってあるでしょ。あの左の角に380坪の邸宅を持つてたんですからね。で、弟子の部屋は、下駄履いてこっちこう行くと別にあるんです。
201	加藤夫人 それは、先生のお師匠さんですか。
202	H そうそうそう。
203	加藤夫人 アマズミ 先生のお弟子さんになるわけですね。
204	H そうです。
205	加藤 あっ、ちょっと失礼、28人いらしたというのは、アマズミ 検校の。
206	H の弟子です。
207	加藤 そのまた弟子の。
208	H いやいや。私の先生の兄弟弟子。
209	加藤 なるほど。それは明治に入ってからの話ですか。

210	H ええ、明治です。
211	加藤夫人 28人というのは。
212	加藤 アマズミ 検校の弟子です。
213	加藤夫人 お弟子さんに。
214	H キシホウリン。
215	加藤 だからキシ先生の兄弟弟子。
216	加藤夫人 その傀儡で28人ということですね。
217	H そうそう。
218	加藤 傀儡って。
219	加藤夫人 もっと多いわけですね。
220	H あの人は81まで生きたんですよね。
221	加藤夫人 ああ、そうですか。この方は明治9年に55歳ぐらいの方なんです、アマズミ 検校
222	加藤 ものの本によりますとですね。
223	加藤夫人 明治9年に55歳でいらした方なんです。
224	H ああ、そんじゃそうでしょう。
225	加藤夫人 そうすると30年ぐらい、明治36年ぐらいまで生きていらしたわけですね。
226	H 明治30年ぐらいまでですね。
227	加藤夫人 ああ、そうですか。
228	H 私の師匠は、キシホウリンという人は68で亡くなったんです。
229	加藤 ああ、そうですか。
230	H それが有名な先生です。普通の家庭には治療に行かないですから。
231	加藤 それはやっぱり、いい家庭に。
232	H それはね、この先生の歴史を話すと長いですけど。
233	加藤 はいはい。
234	H この先生の……、アマズミ リュウホウ 検校の甥っ子で歌沢の師匠があつて、その人が声がつぶれて、まあ、財産もあったんだけど。毎日先生が揉みに行つて、1人6文ですから、2人やって1
235	加藤 はいはい。
236	加藤 これだけの治療代もらつてただまっすぐ帰るんじゃ、お前もつまんないだろうと。将棋を教
237	加藤 はいはい。
238	H 私の師匠というのは、将棋3段か、そこらだったですね。
239	加藤夫人 セキズミ ハクリという方じゃないですか。
240	H そうじゃないんです。キシホウリンっていう人です。セキズミ ハクリというのは目明きで
241	加藤 あっ、そうなんですか。
242	加藤夫人 ああ、そうですか。検校じゃない。
243	H 勾当です。
244	加藤夫人 ああ、勾当で。
245	H 将棋が強い。
246	加藤夫人 目が見えても勾当に。
247	H ええ、目が見えるほうが本当は……。
248	加藤夫人 あっ、……でいらしたわけですか。
249	H ええ。徳川の盲人の保護条というのがそこに出てますけど。それは11カ条で、私、子どもだから、大事なことでしか覚えてないんです。あんまはめくらが専業と。盲人に危害を加えた者はいかなる理由を問わず所追放と。重き刑に処すという。それから、めくらに金を借りて返さない者は、伝馬町で百叩きに遭うんです。だから、めくらの金というのは、利息がうんと高かった。高いのを承知で貸すわけです。そういうことがそこに書いてありますので。なお先生は細かいことを随分言つたけど、私も17、8だから、そんなに興味がなかったんで、いまになると残念だなと思ひ
250	加藤 江戸時代に金貸しというのが、盲人の座頭金だとか、盛んに。
251	H 1つの副業だったんです。
252	加藤 そうでございますね。官を買うまでの金を貯めといて、それを貸したりなんか。
253	H それもあるし、そればかりじゃないんですね。大体それが、こういうことになるんです。早い話が、先生から5両を1分で私が金を借りるでしょう。そうしたら、ほかに2割で貸すんです。その口銭を……。とても1人揉んで、6文や8文でね、人に金貸すほど儲かるもん
254	加藤 それはそうですね。
255	H だから、いいお得意がつくでしょ。その旦那衆から5両1分で当時借りたんだと思いますよ。それを2割から、ひどいのは3割。
256	加藤 明治時代に入って、キシ先生もそういうご体験はあるのですか。
257	H あの人はやりません。
258	加藤夫人 あっ、やっぱりやる方とやらない方といらっしやったわけですか。
259	H そうそう。

260	加藤 江戸時代。
261	H いや、江戸時代でなく、明治もやりましたけど。その人によるんです。あの人はそのことして間がないんです。とにかく島津公ね。それから、明治天皇の侍従次官とか、南高輪にいた渡辺何とかがって言ったけな、それから、伊ワガキさん、フルサワ、板垣伯だね。それから、大倉喜八郎男爵、それで、山県元帥、松方元帥。それから、目白の細川様、本郷片町の東久邇宮、それから渋
262	加藤 ああ。そうすると、えらい身分のある人しか揉まない。
263	H てつてつ、揉まないんじやなくて、揉めないんですよ。↑廻行つたらさ口くらい締まないと
264	加藤 ああ、そんなに長いこと。長いことと言うより。
265	H 1 療治いくらじゃないんです。3 日ぐらいいて、包み金もらって帰ってくる。それで仕着せは27から買ったことないって。みんな御前のお下がりです。当時は、生まれもそうですけど、盲人には……っていいの悪いのが、いまよりもっと簡単にあったんです。
266	加藤 ああ、そうですか。そういうお話をちょっと、いいの悪いのと、ひとつお話を。
267	H 悪すぎるんですよ。街頭に立ってね、でろれん祭文うたったり、阿呆陀羅経やったりして。それで、女房は子どもをおぶって、周りの人に……を出してもらって、それで生活をしていくとい
268	加藤 それは、いつ頃のことですか。
269	H 幕末です。
270	加藤 幕末でございますか。なんか、……沿革史なんかでも祭文をうたったり、これは、ほとんどH先生の資料だと思うんですが。
271	H ええ。
272	加藤 祭文を語ったり、木魚を叩いたり、歌をうたう、そういう。
273	H ええ、そうそう。
274	加藤夫人 謎解きみたいなこともございましたでしょうかね。
275	H そんなことはないですね。めくらは門付けできないんですよ。空き家だかなんだかわからないの。だから、めくらってどっちに立っていいか。
276	加藤夫人 ああ。
277	H これが、めくらの悲しさですね。だから、縁日とか、お祭りとか。
278	加藤 昔、めくら相撲という、盲人相撲なんていうのはお聞きになったことはないですか。
279	H あります。それは何と言うのかね、仮に江東区なら深川なら深川で催すとか、局部的だったんですね、あれは。一般ではないんです。それから、ホウロク飛ばしというのがあったんで
280	加藤 ああ、なんか群馬のほうで聞きました。あれは……です。
281	H いや、ホウロクってよく、先生はご存じないかもしれないけど、昔、私が子どものときは豆炒るのにホウロク使った。
282	加藤 ええ、ええ。
283	H めれを手拭で縛って頭にかぶるんですよ。それをこつちから棒で打つんですよ。で、割れた骨が
284	加藤 それは、これにでもお聞きになったことが。
285	H ……でやったようですね。
286	加藤 ああ、そうですか。それは、明治期に入ってからですか。
287	H ええ、明治から。いや、これは徳川から続いているんです。
288	加藤 ああ、そうですか。
289	加藤夫人 明治何年頃までやってたんですか。
290	H それは、わからないですね。
291	加藤夫人 大体、何年ぐらいまであったのか。
292	H 10年ぐらいまであったんじゃないですか。
293	加藤 群馬県のほうでは、こんなことをやったのではないですか。
294	加藤夫人 それが一種の見せものになるわけでございますね。
295	H そうそうそう。それで、結局、周りから金をもらうんじゃないですか。それを集めておい
296	加藤 それは、その土地の盲人がやったのですか。
297	H やったんですね。
298	加藤 地方へ巡業するわけですか。
299	H いや、しないんです。巡業なんかできないです、めくらは。土地の困っているめくらが集まって、こういうことをやって、じゃあ人寄せていくらかもらうかと。まあ、生活費用だね、
300	加藤 なるほど。それから、検校が当時、幕末何人でしたっけ。
301	H 11人、そこに出ています。
302	加藤 はいはい。それは、この何というか、下町だけでございますか。
303	H そうじゃなくて江戸ですよ。
304	加藤夫人 江戸全体。
305	H 箱根山からこっちですよ。

306	加藤 ああ、そうでございますか。
307	H 関東です。
308	加藤 そうすると、ずいぶん少のうございますね。
309	H そうですね。
310	加藤 幕末、明治初期の。
311	H ええ、その40年間の間ですね。その間に、最後に11人しか残っていなかった。廃藩置県で検校の位を取られたときに11人しか残ってなかった。
312	加藤夫人 ああ、明治4年のときに。
313	H ええ、そうそう。だからここに、私が書いたのには、あまり長いので載せませんでした。が、「座頭ぜげん」というのがあったんです。これはあんまさんではないんです。
314	加藤 ぜげんというのは、人を紹介する。
315	H ええ、座頭の位を持ってて、鍼、あんまをやらないんです。
316	加藤 盲人ではないのですか。
317	H 盲人ですよ。
318	加藤 ああ、盲人で、はいはい。
319	H それはね、本所割下水、北割下水、南割下水に多くいたんですよ。
320	加藤 はあはあはあ。
321	H あすこに大きな下水があったんです。私らが子どものときまであったんですよ。その下水の周りに2、3人いたらしいですね。これが娘を酌婦に売ったり、娼婦に売ったりしてね。
322	加藤 はい。
323	H 検校、勾当、座頭は町奉行じゃないんです。係りは寺社奉行です。自身番が寺社奉行に報告して、座頭の位を取られたのが随分いるそうですよ。
324	加藤 そのぜげんをしたので。
325	H そうです。
326	加藤 そうすると、売る女の子は、目明きの子を吉原やなんかに売ったわけですか。
327	H そうです。
328	加藤 ちょっとよくわかりませんのですが、江戸時代のそういう、例えば、アマズミ 検校が鍼灸がご専門でいらっしゃるとして、私が音曲を習いたいとすると、アマズミ 検校のところではなく、ほかの音曲の師匠のところに弟子入りますね。
329	H ええ。
330	加藤 その弟子入りと、座頭とか検校、勾当という官位とは別個のものなののでしょうか。
331	H それは別個です。検校には2通りあったんですけどね、鍼灸で検校を取った人というのは、幾人もないらしいですね。みんな琵琶法師が多いんです。それと琴。これ以外には、杉山検校でも、61歳で検校を取ったっていうんですからね。ですから、検校というのは、なかなか取れなかったんですね。音曲といっても、当時は琵琶と琴しかないわけですね、三味線と。ですから、11人残っていた検校というのは、みんな鍼、マッサージの検校です。で、今井慶松検校とかね、ああいう検校
332	加藤 そうすると、まず僕が、例えば座頭の位を得たいと思ったら、どこかに弟子入りをしなくてははいけないわけですね。
333	H そうです。弟子入りしただけでは駄目なんです。弟子入りして、先生の許可を受けて、お前、座頭の位を受けろという、検校の許可がないといけないわけです。昔のね、早い話が、私は検定試験、鍼とあんま取りましたが、あの時分には師匠の証明を持ってね、警視庁へ、警察へ、台帳に書いていますから出すんです。で警視庁で試験する。まあ、あんな程度じゃないですか。
334	加藤 あっ、そうですか。
335	H あまり厳しくはないけど、検校から指令が下りるんですよ。お前、座頭の位を取れと。勾当もそうらしいですね。勾当になると、検校ではなく、総録の、検校取締の許可をもらうんで
336	加藤 ああ、なるほど。
337	加藤夫人 よく、お金をたくさん積めば一夜で検校になったという例が。
338	H いや、それは嘘ですね。
339	加藤夫人 ああ、そうですか。
340	H とにかく京都へ行くまでに1カ月半かかるんですから。それは小説ですよ。
341	加藤夫人 江戸時代のものに、よくそういうことが随筆の中なんかに残っているんですけども、そんなことはなかったのですか。
342	H そんな簡単なものじゃないらしいです。
343	加藤夫人 ああ、そうですか。
344	H 一丁前の学識があって、大名と対等に話ができるのは検校ですからね。
345	加藤 明治4年の廃藩置県で座頭の……廃止のとき、あそこの総録屋敷と、京都の……屋敷と没収されたときに、鍼灸の学問所がそれまであって、それも廃止されたということも聞くのですが、そういう鍼灸の学問所というものが、総録屋敷にあったのですか。

346	H ええ、当時、江戸には20カ所あったそうですよ。いまの講習所というかね。20カ所あって、1つだけ私は覚えているのがあるんですよ。本所小柳町にあったんです。それが焼けて、八丁堀に越したんです。八丁堀から築地3丁目に越したのが鍼術盲学校、……先生が教員やっている時分。あれ1つだけですね、大正時代まで残ったのは。昭和になってから小田原町に……が移って、昭和までは残ってたんですが、あとはみんな没収されちゃったんですよ。あれは、たしか何て言っただけ
347	加藤夫人 20年に盲人協会とか何とかいって、講習会がありましたでしょ。
348	加藤 それは後です。
349	加藤夫人 あっ、それはまた後なんですか。
350	加藤 ええ。そうすると、師匠に弟子入りして、師匠から習うのと、学問所でしょうか講習会で、そういうもので習うのと、どう。
351	H そういう所へは、弟子入りしているのは顔向けできないんです。年が明けて、開業した者がそこへ行って、講習料を納める。それは、こういう訳ですけど、どうでしょうかと言って、じゃあお前、許可もらってきてやるから来月から行けとかね。直接そこへ申し込んで明日から来ますと、そんな簡単なもんじゃないんです。
352	加藤夫人 もう既に開業している方が講習を。
353	H そうそう。あるいは年明けとかね。
354	加藤夫人 開業しているということは、検校の弟子になって。
355	H 独立している。
356	加藤夫人 独立している方が、更にその技を磨くために。
357	H ええ、そうそう。だから、いまで言うところですよ。我々が若い時分に、よくそこらに研究会があって、それと似たようなもの。それは来月からお願いします、ああ、来てくださいだけど、この講習所は、そんな簡単じゃなかったです。
358	加藤夫人 杉山講習所というのは、そういう性格の所だったんですね。
359	H そうです。
360	加藤 20カ所あった。
361	加藤夫人 独り立ちした人だけを対象にということですね。
362	H そうそうそう。それから、月謝を取って、寺社奉行から補助を受けて、それでやってたん
363	加藤夫人 それを教える方は、どういう方が多いのですか。
364	H 教える人は検校です。検校、勾当が、今日は何様がお出でだというんでね。
365	加藤夫人 ぐるぐる回って教えられるわけですか、その方が。
366	H そうです。当番があるんでしょ、検校の当番。
367	加藤夫人 循環しているわけなんですね。
368	H ええ、そうです。
369	加藤夫人 そうすると、東京、江戸の辺りがいちばん数が多いわけですか。
370	H ええ、江戸の。江戸だけでしょ、講習所があったのは。
371	加藤夫人 ああ、そうですか。関西はございませんか。
372	H ないんです。講習所を……だけの、盲人の数がいなかったんです。それと力がなかったんです
373	加藤夫人 ああ、教える方ですね。
374	H ええ。
375	加藤夫人 杉山講習所を中心にして、何カ所かあったわけですね。
376	H そう、20カ所。
377	加藤夫人 あっ、それがずっと残っていたわけなんですね。
378	H ええ、そうです。代々続いて、その昔はわかんないけどね。それから、これにも出ていきますけど、この町内におめでたがあると、この土地にシムラはじめ、3、4人いますよ。それで仮に、例えばシムラが先立ちになって、そのおめでたの家へ行くんですよ。そうすると、そこで鳥目をくれるんです。お鳥目という言葉は、今は若い人はわかんないでしょうけど。そうすると、それを1年座頭に預けとくんです。1年経つとそれをね、座頭って全くこすいよね、2割はねるんだって。5
379	加藤 そうすると、その配当というのは。
380	H その残ったのを5人なら5人で割る。
381	加藤 1年間貯めておくわけですね。
382	H そうです。それをまた貸しておくんです、よそへ。
383	加藤 なるほど。その集めに行く、例えばシムラさんならシムラさんというのは、座頭よりもっと
384	H 下ですよ、ずっと。その土地の土着のボスです。だから、この向こうで、錦糸町なら錦糸町で不幸があった場合には、錦糸町の名乗り出た人が行く、先立ちになってね。その一角、どこからどこまでという、縄張り区域が座頭にはあったんです。で、わかるんですよ。連絡をして、あしたの朝何時にお葬式だから、何時までに俺んどこへ寄ってこいって、おかみさん連が触れにお使いに歩
385	加藤夫人 そうして集められてきたお金というのは、座頭に預けられて、それで、座頭が年に一度配分するわけですね。
386	H ええ、配分するけど、座頭はそのお金をほかに貸すんです。座頭はそれで儲けるんです。

387	加藤夫人	そのお金は、座頭で取り仕切るわけなんですね。
388	H	そうです。1年に一遍ずつそれをもらいに行くのが、いちばんの楽しみなんです。
389	加藤夫人	その土地土地の座頭がいちばん実入りがいいわけですね。
390	H	そうです。
391	加藤夫人	そのあとは、みんな公平に配分されるのですか。
392	H	配分されるんです。だから、座頭以上の金は大変ですよ。座頭なんていうのは、深川区に1人しかいないんです。そこに出ているでしょう、下にヤマザキというの出ているのですが、それが
393	加藤夫人	その町の区域に1人とか、2人とか。
394	H	深川区に1人です。
395	加藤	てつすると、慶弔で集めた烏日の配当は座頭以上、つまり、勾当以上の人は関係ないわけ
396	H	勾当以上は関係しないです。そういう人は旗本とかね、また行く所が違うんです。町会じゃないんです。そういう所から、また……とか。
397	加藤	將軍のいろんな行事。
398	加藤夫人	お姫様のお輿入れとかなんかのときに、「座頭へ」と言って銀なんぼとか言って出ます
399	H	それは検校と勾当です。
400	加藤夫人	検校と勾当だけで分けられるのですか。
401	H	座頭はそこまでいかないんです。
402	加藤	下まで来ないんですか。
403	加藤夫人	ああ、偉い人だけで分けちゃうわけですね。
404	H	そうそうそう。おーい、お茶くれよ。
405	O	はい。
406	H	それは、座頭とは特段の差があるんです。
407	加藤夫人	ああ、そうですか。
408	加藤	それから、いろいろ、例えば検校ですと500両とか、そういうお金は、一旦総録なり。
409	H	京都へ。
410	加藤	京都へ納めて、それをまた。
411	H	早い話が、天皇陛下が10万石で押しこめられてた。そのために、経費がかかるでしょ。
412	加藤	ええ。
413	H	こういうものとか、坊さんの供えとか、これが天皇陛下のお小遣いなんですよ。
414	加藤	ああ。そうすると、買った検校なんかの500両は、皇室にいったわけですか。
415	H	そうです。
416	加藤	また、元に戻ってこないのですか。検校、勾当とかに。
417	H	こない、こない。それはこないですよ。出た金はこないです。私、そこまで先生から聞いてないんだけど、検校は2代、3代と続いたらしいです、……受けていって。仮に、私が検校だとするならば、私子どもがないでしょ。あったらなんです。子どもがないから、弟子を子どもにするとい
418	加藤夫人	養子ですね。
419	H	ええ、養子です。そういうことができたらしいです。
420	加藤夫人	あればできないんですね、そういうことは。
421	H	あって、目明きならできないです。
422	加藤夫人	もし、自分の子どもが目が見えたとすれば、それを置いて、見えない人を弟子にするということはできない。
423	H	いや、できるんです。
424	加藤	それはできる。
425	H	跡を継がないから。だから、検校の跡を継がせたいから。この弟子を継がせたいという
426	加藤	と、そのとき納めたのなら、やっぱりただなんじゃないんでしょうかね。
427	H	株ですね、早い話が。ご家人の株買うようなもんです。
428	加藤	よく、検校の息子が目明きですと、ご家人の株を買って。
429	加藤夫人	士分に取り立てられる。
430	加藤	勝海舟なんていうのは、おじいさんが検校だったとかね。そういう話はよく聞きますけれど
431	H	そういうことができたらしいですね。それから、もう一つ、私落としてそれに書かなかったのが、「盲人あんま專業論」を盛んに唱えた時代に、盲人には何も仕事、鍼、あんまを離れたらなくなると。なんか商売をやらしてくれという。
432	加藤	はい。
433	H	たばこ屋というのはね、もし、隣にたばこ屋があっても、盲人が始めるときは、無条件で許可するというのが、明治35年頃から、40年頃まであったらしいです。
434	加藤	はあ。
435	H	これは、わずかでなくなっちゃったんです。

436	加藤	そういう運動をしたわけですか。
437	H	ええ、そう。なぜなくなつたかという、たはこ産はいつの時代も真本がなければできないんです。
438	加藤	そうでございますね。
439	H	食うに困るめくらが、そういうのは出せっこないんです。ただ、一つの理屈に過ぎないものに終わっちゃったんです。こういうことがある、してやるぞという、ありがたいお言葉だけで終わっ
440	加藤	それは、どういう団体が運動したわけですか。
441	H	それは、盲人新……。
442	加藤	それは例の千葉さんなんかの。
443	H	そうそう、千葉さんの前ですね。
444	加藤	ああ、そうですか。
445	H	千葉さんは、あの人はずっと後から出た人なんです。
446	加藤	ああ、そうですか。一旦役所のほうから許可、許可というか、認可が出たのですか。
447	H	認可はなしです。こういう時代は、まだ。
448	加藤	ああ、そうですか。
449	H	認可が出たら、あんなにゴタつかないんです、盲人専門論もね。ただ、1つの団体を作っ
450	加藤夫人	て、名称をつけて、騒いだけなんですよ。先ほどの配当のことでちょっと。関東のほうなんかにありますね。例えば、勾当にな
451	H	るとか、検校に。座頭、勾当になるのにお金を師匠に納めますね、検校の屋敷、総録屋敷で
452	加藤夫人	ええ。
453	H	それは、やっぱり何というか、講習所とか。それから、めくらのようにかわいそうな、これは福祉のほうにも回りますけど。
454	加藤夫人	ああ、そうですか。
455	H	かわいそうな者は、食えないことはみんな食えないんですけど、特別かわいそうだというのには、そういうのを持って行くとかね。それから、見舞金、香典みたいな、見舞いまではいかないけど、香典ぐらい持って行ったんじゃないですか。
456	加藤夫人	それがすべてではありませんよね。
457	H	ええ、一般じゃないですね。
458	加藤夫人	大方のお金はどういうふうに。なんか、そのお金を配分するとかなんとかということはありませんか。
459	H	そういうことは、私聞いてないんですがね。
460	加藤夫人	ああ、そうですか。
461	加藤	今度は少し時代が下りまして。H先生のお話から出たと思うのですが、よく深川には辰巳講とか、本所の弁天講。
462	H	ええ、これは講習所ですよ。
463	加藤	ああ、講習所でございますか。
464	H	いまの20カ所の中に入っているんです。
465	加藤	ああ、そうですか。この中でちょっとお尋ねしたいのですが、ミマツ講。
466	加藤	ミマツ講というのは、これは、いま先生にお渡しした中に入っていますけど。
467	加藤	ああ、そうですか。
468	H	ハスギヤブツというのか八丁堀の北島町にいたんですよ。その人が、非常に杉山検校の崇拜者で
469	加藤	この人、盲人ですか。
470	H	ええ、盲人です。あの頃北島町というと、八丁堀の茅場町から少し東のほうに向いて、左のほうに入った小さなまちです。そこから、本所のミョウク寺まで毎月通ったんですって、命日に。雨が降っても行っているんだから。それで、ミョウク寺の坊さんが、当時、明治5年に
471	加藤	分けると。
472	H	ええ、一緒だったんですけどね、それを分けろと言うんで、やかましい時代があったんです。そのときに、ミョウク寺の杉山検校は仏なんですから、お木像様があるんですけど、出せないんだって言うんです。それで、これを持ってって、あんたがお祀りすれば来なくてもいいからと言って。それが、杉山検校の一周忌という人もあるし、七年という人もあるんですけど、七回忌ね。その刻ん
473	加藤	ああ、なるほど。
474	H	それをもらってきて、それでミマツ講という名前をつけて、で、こういう一つのまた、盲人の団体ができたわけです。
475	加藤	場所はどこですか。
476	H	北島町です。
477	加藤	北島町、ミマツというのは、どういう意味でミマツと。
478	H	どういう意味かね。それはわかんないんですけど、ミマツ講というのは確かにあったんで

479	加藤 先生がご存じの頃もございましたか。
480	H はいです。これは明治、大正の初期くらいまであつたんじゃないですか。5年くらいま
481	加藤 ミマツ講が……に渡り、三十数年。
482	H ええ、そうです。それで、京橋から、明石町からずっとあの辺の、当時は乗り物がないから、歩いてみんなその連中が来てね、それにはそういうこと書けないけど、それで、寄った後はガラッ
483	加藤 ゼイチクみたいな、竹の割ったような。
484	H ええ、そうそう。
485	加藤夫人 テントというのがあったと思いますね。
486	H ええ、テントもあった。
487	加藤夫人 テントというのはどういう、名前はどうしてテントと言うんでしょうか。カブは、なんかカブカ
488	H ええ、あれは、6本の棒が出てくる。
489	加藤夫人 テントというのはどういう。
490	H テントって私知らないんですよ、やっぱり竹です。竹で、両方で握ってて、両方で出して、棒を引くんです。テントというの、箱に入っていないんじゃないかな。
491	加藤 なんか、花札と同じようにするんですか。
492	H そうですね。棒でやるんです、竹でね。
493	加藤 そうすると、一応集まって、最初はいろいろ鍼灸のことを研究をなさるわけですね。
494	H ええ、研究して、それであとは。
495	加藤夫人 あとは、ヒラゴみたいなもので。
496	H それで、また無尽もあるんです。無尽やった後は、グレたのが残って、今度ガラやるわけですね。いい人は帰っちゃう。みんなガラやる人間ばかりじゃない。堅い人間はどんどん帰っちゃうんです。無尽までは堅い人なんです。何人か残った人間はガラやるわけです。
497	加藤夫人 そうすると、もちろん一人前になった方ばかりがやるわけなんですね。
498	H そうです、そうです。
499	加藤 こういう講なんていうのは、会費とかそういうものは取ってやったのですか。
500	H ええ、会費取ったんです。昔、3銭かな。
501	加藤 中心になった人がやはり、幕末からやっていたお師匠さんみたいな人が。
502	H それはスズキさんが、スズキキンゾウという人がもらってたんで、その人が発起人だけど、講習所に立っている人はまた別なんですね。午前中は講習で、午後は無尽をやって、あとはお開き
503	加藤 午前中集まる人たちは、業界。
504	H 業界です。
505	加藤 独立の。
506	H ええ、そうです。
507	加藤 お弟子さんではなくて。
508	H 弟子はよそへ出しません、昔の先生は。出すと仕事できないから。絶対出さないです。
509	加藤夫人 最後まで、明治の中期頃まで一人前の人の集まりだったのでしょうか、講習会というの
510	H そうです。
511	加藤夫人 免許を取れない人が免許を取るために勉強をするんじゃないのですか。
512	H いや、そうじゃないんですよ。そういう講習所は一つもないんです。
513	加藤夫人 ああ、そうですか。
514	H 当時は、そこへ来た弟子がよその弟子に入門すると、こういう。これも一つ参考のために、私は、焼ける前もこの場所で弟子が10人ぐらいました。当時、昭和になってからですよ、戦争までそれを用いてました。免許証を持っている、契約書。
515	加藤 どういうことを書くのですか。
516	H それは、何々の一子が、HならH先生の鍼、あんまの修業について入門いたしました。向こう何年間のうちに、もし、ほかの師匠に転じたり、あるいは、不都合あって出た場合には、月謝、食い扶持として計算して、1カ月何円払えと。そういうことを承知したという。それから、病氣病難の場合は、親元で速やかに引き取ること、ということを入れさせたものです。
517	加藤 必ず、文字に書いて、それをお取りになった。
518	H そうそう。みんなのをもらって取っておくんです。私のところは昭和12年ぐらまで取りましたかね。2、3年、5年ぐらまでやりました。ほかの者に聞いてみたら、いまH君、そんなもん取ったって、いないよって。いないのに食い扶持取れるかって。取れないから弟子に寄こすのに、取れるものなら学校へやるんだから。そんなもの、H君、無駄だよって言うから、それで私やめたんだけどね。私なんて、3人か4人取ったのがありまして、焼いちゃったけど。
519	加藤 H先生がキシ先生に入られたときも、もちろん証文。
520	H ええ、出しました。大正7年です。
521	加藤 年季は何年ぐらいに。
522	H 7年です。
523	加藤 それは、先生自身がお弟子さんを取られるようになってから、昭和に入って。
524	H 昭和入ってから5年。2年間短縮したんです。

525	加藤	その7年間というのは、お礼奉公は。
526	H	いや、別に1年。
527	加藤	更に1年間、結局、8年ということですか。
528	H	そうです。で、礼奉公は証文には書かないんです。
529	加藤	あめ、てフですが。もし、礼奉公をしない場合は、とついつことになるのですか。矢利運反
530	H	喧嘩別れですね。そんな、先生みたいに穏やかじゃないですよ。それは喧嘩別れです。そんなはずじゃなかったって、あってもなくても俺は証文もらってるって言われりゃそれまで
531	加藤夫人	随分厳しくあれですね。
532	H	そうですよ。それで、開業が、その先生の家から7丁以内にはできなかったんです。それは組合の連中もやいやい言ってくるしね、間に人も入るし、それでやっぱり人が間に入ったのが酒の1升ももらったら、まあ、H君、そういったっていいじゃないか。自分の所で仕込んだ弟子だ、ほかから来たんじゃないからねえから我慢してやれよと、そこへいっちゃうんじゃないです
533	加藤	7丁以内というのは、先生がお弟子に入られた頃からですか。
534	H	私のときは15丁以内です。
535	加藤	15丁以内。だんだん狭くなってきている。
536	H	だから、うちから出た弟子は区役所のところで開業しました。これは吉田流でも、杉山流でも同じだったですね。晴眼のほうのね。
537	加藤	15丁というのだいぶ広いですね。
538	H	広いですよ。ここから、江東の区役所まであるんです。昔は、得意取られちゃうっていうのね。その子についての得意というのが、その子に行っちゃうでしょ。自分の仕事なくなるで
539	加藤	ええ。
540	H	てれが、速くなら、速くまで自分は迎えに行けないから、自分のうちの者が行くて。汚い根性
541	加藤夫人	いちばんいい場所は、やっぱり偉い先生が、そこにいらっしゃるわけなんですね。
542	H	偉い先生ってわけじゃなくて、結局、力の問題ですからね、力のないめくらはみんな裏のほうですよ、家2畳借りたり、3畳借りたり。1軒持っても、4畳半1間ぐらいの棟割り長屋っていうんですか、いまの時代も同じですよ。力のある盲人は表にいるんですよ。ない者はアパートにいっぱいいますよ、江東区でも。いまの盲人も暮らしは厳しいもんですよ。
543	加藤	点母なんか見ると、4カ門だ、5カ門だなんていう、ちよつといいこと書いてございませ
544	H	いや、そう思いませんね。
545	加藤	広告だけでしょうよ。
546	H	それはなぜかという、先生、自分個人の働いた力ですからね。
547	加藤	そうですね。
548	H	……だとか、ああいうのは、お客があってもなくても給料で決まっていますから。我々の歩合制ですから。歩合制となると一人やっていくからだね。だから、結局仕事があれば、確かに5万にも8万にもなるでしょう、なきゃ1万か2万ですよ。
549	加藤	そうですね。
550	H	ええ。
551	加藤	その歩合のことでございますけど、先生がお弟子に入られた頃は、お弟子に入られて年季中の……給料とかはどうでしたか。
552	H	私の先生が入った、幕末頃から明治の前は歩合というのはなかったんだそうです。その時分には、1年に1回小遣いをくれたんです。
553	加藤	はあはあ。
554	H	あとは親から自分が持ってきた、先生から1文もくれない。明治になって、うちの先生なんかは歩合をもらわないんですから、明治20年ぐらいから歩合制度が始まったんじゃないですか、収入
555	加藤	それは、年季中でも1割もらえたのですか。
556	H	ええ、もらえたんです。私は1割もらったんです。
557	加藤	それは弟子に入ってすぐもらえたか。
558	H	いや、仕事しなきゃもらえないです。
559	加藤	ある程度仕事ができるようになってからでございますか。
560	H	私が最初始めたのは、上下300文です。
561	加藤	はあはあはあ。
562	H	いま歩合の話が出ましたから申し上げますけど、いま芝居なんかでも、映画でもピューツと笛を吹いてくるけど、あんな簡単なもんじゃないです、あの笛を吹くまでが、4年かかるんですよ、先生。笛をもらうのに。お前、笛を吹いていいぞという許可をもらうのに。
563	加藤	ああ、許可が。それまではどういう。
564	H	怒鳴ったわけです。というのは、「あんまア上下300も一ん」って怒鳴ったわけですよ。
565	加藤	そうすると、流して吹くほうが上等なわけでございますか。

566	H いや、上等じゃなく、怒鳴って歩くうちは笛は吹けないんです。というのは、1 貫文まで怒鳴るんです。1 貫文以上になると笛をもらえるんです。それには4 年かかるんです。4 年たないと1 貫文にならないんです。先生が、上下やって15銭なんだから。だから、弟子が先生と同じには、今は何でも同じですけど、昔は300文、500文、600文、700文、800文でね、弟子の腕によって値段に差があったんです。だから、入ってすぐ笛を吹くというのは、年輩の人で中年のめくらなら別だけどね、普通、小僧から行ったのは4 年かかるんです。どこそこの弟子は今晚笛祝いだって、いいねえ、私らも早く 笛祝いしてもらえるのはいつだろうって言ったくら
567	加藤夫人 ああ。
568	加藤 笛祝いというのをちょっと。
569	H 笛祝いばね、当時は道が悪いから、下駄なんかとても履けないんです、グサツと入っちゃつ、足が汚れちゃうから。それで、日和下駄を履くんです。下駄1 足と、手ぬぐい1 本、それに笛をくれるんです。うちによると、20銭ぐらいつけてくれるんですけどね。私は2 人先生取ったんですけど、1 人はウノキイチって言ってね、これは高利貸やってて、あんまりひどいんで親が日本橋のキシさんの所に弟子にやったわけなんだけど。荒川区にカキヌマムコウといってね、いま支部長してますけど、この人は私の兄弟子なんです。当時は、その人と私と、ウノさんの弟子は2 人しかいないんです。昔、2 銭玉、2 銭銅貨があったんです。あれ1 つ出して、お昼に3 人のおかず買ってこいって言うんです、当時3 銭買うとね、五目豆って豆と……と刻んだのが、どんぶり1 杯買えたんです。2 銭じゃお kaz の買いようがないんです。しょうがないから、天ぷらの揚げ玉を2 銭買ってきて、3 人で分けて醤油かけて食べて、それで流しに出るんですよ。おかみさんと喧嘩すると、先生1 人だからね。だから、お前、好きなもん買ってこいってね。買ってこいはいいけど、3 人で5 銭くれば大したもんだけどね。よく、夏になるとトウナス、その時分にはトウナス、よく車で売りに来たもんです、「トナス、トウナス」って。しまいものを買うんですよ。毎日トウナス煮て食わせるの。それが、今度はイモをね、「イモや、サツマイモ」って車で来るんです。そうすると、それを屑イモを買うんですよ、何俵って。それを毎日3 時頃蒸かして、イモ食べろ、イモ食べろってね。いまのカキヌマがね、「兄ちゃん、お前イモ食べたか」って言うから、うん、昨日うま
570	加藤 ええ。
571	H うち1 銭5 厘のおそば食べるの容易じゃないんですよ。お前ね、あれは何のためにやるんだ。先生はコメが減らないようにイモ食わせるんだから。カキヌマは私より5 つ多いですからね。だから年が多いだけにね。しまいには誰もイモ食うもん、いなくなっちゃったの。
572	加藤 ウノ先生というのは、安がるに、待遇が悪かったんでお出になったわけじゃないま
573	H そうそう、弟子がみんな行っちゃったんです。
574	加藤 どのぐらい、H 先生はそこにいらしたのですか。
575	H 私は1 年ぐらいですね。カキヌマは2 年半か3 年いたんですけど。
576	加藤 やっぱりそこも年季がございますでしょ。
577	H 年季証文入れたの。仕末書も大変でしたよ。簡単に寄こさなくて。
578	加藤 それで、キシ先生のほうへ弟子入りされたんですね。
579	H ええ。それもやっぱり、普通弟子取らないんです、あれだけの先生になると。
580	加藤 偉い先生。
581	H ええ。それで赤坂田町にね、新町にフカセおせきっていう、その人が、うちへ来る人の親戚なんです。その人が、早い話が、いま考えるとホウリンさんの2 号だったんだね、あれ。2 号か3 号か知らないけど、とにかく死ぬ前に最高、当時の金で62万あったっていうから。いま高島屋の地下は、あれは先生の地所です。それをみんな売っちゃったんですよ。先生が売ったんじゃない、結局子どもが外れちゃったの、4 人男の子がいて、みんな片っぱし親に隠れちゃ使うんだから。それで、そこへ頼んで弟子に入ったんですけど、これは流しをさせないです
582	加藤 のめ、それですか。それは、流しをさせないというのは、ギン先生の主義でございま
583	H いや、昔は流しさせたそうだけどね、私が行ったときには流ししないでね。しないでって言うけど、家に座ってるわけでしょう、退屈で。だから私、流し行きましたかね。
584	加藤 それはご自分のお考えで。
585	H そうです。それから、なんですね、本所の、当時は、私のウノ先生の、今度は弟子時代になるんですがね、これが明治27、8年の頃の時代の話です。本所にカワイテイショウ。
586	加藤 ああ、有名ですね。
587	H あのひと、これは座頭ですがね、四ノ橋にヤツチャ場があったんです。そこにクラハシというのがいたの。ミツメ通りにオオノっていたの。そのオオノの弟子が私の先生なんです。
588	【テープ6 A 面 H M 続き】
589	H ……すね、本所の……は。当時は、私のそのウノ先生の時代なんですかね。これが明治27、28年のころの時代の話……。本所にカワイセイショウと言って。
590	加藤 有名な先生ですね。

591	H ええ、あのひと、これは座頭ですがね、四ツ目の橋にやっちゃ場があったんです。そこに倉橋ってというのがいたんです。三ツ目通りにオオノっていたんです。そのオオノの弟子が私の先生なんです。仕事がないと、昼間食わせないんだって。昼抜きなんだって。それで3日もないと、2階へ連れて行ってひっぱたくんだって、遊んでたんだらうって。
592	加藤 それは流しではなくてうちに。
593	H 流しですよ。
594	加藤 流しで客を見つけないとですね。
595	H ええ、随分虐待したんですよ。仕事がないと、おまんま食わせないって。それで先生は、そこで暇とった。だから、そういう先生だからもっと弟子に待遇が良さそうなんだけどね。
596	加藤 それはウノ先生の体験ですね。
597	H ええ、そうそうそうそう。私が弟子にいる時分でも、今晚は肉だな、肉のにおいするなって言ったら、みんな目が悪いんだからお汁かけてんの。いまでも、犬だって、あんなお汁かけちゃ食わないよね。それで当時は、こぼすからみんなお汁かけてやるんだって。先生、体裁がいいよね、こぼすからお汁かけてやるって言って、それでみんな、先生とおかみさんで食っちゃってね、みんなはお汁ですよ、たまにネギが入っているぐらいなもので。そんな盲人の取
598	加藤 途中で辛くて逃げ出すような人も。
599	H ありました。
600	加藤 おかみ それをまた師匠のはりで、いついつ逃げられないような工夫なんかもいついつしたので
601	H そういうことはないけど、界限では弟子に採っちゃいけないってことで。
602	加藤 お互いに業者の間ですね。
603	H ええ、よその弟子は、近所のね。遠い所は移動してくるんだけど、周りの顔を知っている者の弟子は取り合わない。中ではまた、いまの時代も一緒に、引っこ抜きっていうのがあるんです。そうすると先生は、そこへ上がり込んでくるんですよ。昔の先生は気が強いから、いまのような常識だの何だのって言ってないですよ。杖を振り回して暴れ込んでくる。そういうのを私は、よく
604	加藤 年季は7年とおっしゃいましたが、これは鍼、灸、あんまで違ってくるのですか。
605	H それはやらないです、昔の弟子は。
606	加藤 みんな同じなんですか。
607	H ええ、そっくりです。昔は四官免許といって鍼にあんまにマッサージに灸と、これは学校の四官免許で、年季というのとは鍼とあんまぐらいなものです。
608	加藤 年季というのとは鍼とあんまですか。
609	H ええ、当時は、マッサージなんてどんなんだい、なんて言うのがあるんだから。
610	加藤夫人 やはり最初にあんまから教わって、あるいは何年か経たないと。鍼は何年ぐらいで教われるのでしょうか。その方によって。
611	H 鍼は、その先生によりますね。
612	加藤夫人 お弟子さんの腕にもよるわけですね。
613	H ええ。早いもんだと、出て行っちゃうから、だから大概、年季が明けて、あんまの免許を取るぐらいのものです。とても鍼までは取らせません。
614	加藤 取れますが、取らせないわけですか。
615	H そう……、取らせる必要ないから。
616	加藤 師匠の証明書が要ったわけですね、履歴書の。それを出さないわけですね。
617	H そうそう、師匠の証明がなければ出さないんです。まだお前は免状受ける資格がないとかまだ早いとかって、今年1年一生懸命やれば来年は取らせてやるからと。それで取らせてくれると思って一生懸命やると、どこそこのそういうことはないのだけれど、どこそこの誰その弟子が出るから、お前は次の次の来年になったらって。なったけど、願書を出せばすぐ受かるんだけど、それは
618	加藤 はい。
619	加藤夫人 はい。
620	H だから、ああ、そういうもんかなと思って、ええ。だから何のことはない。角兵衛獅子の親方みたいに、ただ仕事をさせて使う、手元に置いて手足を動かすというだけなもので
621	加藤夫人 でも、鍼を覚えさせれば、師匠の手伝いをしてもらえていいのではないでしょう
622	H いや、そのようなのではない。
623	加藤夫人 免許の。
624	H ええ、免許のない人はできない。
625	加藤夫人 いいえ、その師匠にとっては早く教えたほうが自分の手足になれて。
626	H それは奥さん、いい人だからそう言うんだよ。
627	加藤夫人 これは甘いですか。
628	H そりゃ、奥さんみたいな気持ちじゃ食っていられないよ。

629	加藤	では、免許を取ったら、みんな逃げ出してしまいますか。
630	H	逃げ出しちゃう、ええ。これはどういうものか、先生がやっぱり弟子と先生でいて、自分とこで修業させているんだけど、弟子が迎えにきて、先生じゃなく弟子にやってくれと言うんだよね、やっぱりいい気持ちないんだよね、同じ金が入るんだけど。
631	加藤	技術を習う順序のようなことを少し教えていただきたいのですが。
632	H	最初は、肩を一通り揉むんです。私、そう言うと噂みたいな話ですからね。300文に行っていたとき、まだ足の揉み方を知らないのです。肩揉みしか知らない。肩と首と頭と手、これだけが揉めるようになって1カ月かかる。それで流しに出た。
633	加藤	入門してから1カ月ですか。
634	H	ええ、入門して1カ月、それで300文で、ゼロ。
635	加藤	師匠から習ったのでしょうか。
636	H	師匠からです。
637	加藤	兄弟子からではなくて師匠からですか。
638	H	ええ、師匠です。
639	加藤夫人	明治何年ごろのことですか。
640	H	いや、大正です。大正の4年。
641	加藤	300文というところの辺りを。
642	H	足をもんでくれて言ったら、どうするんできたらね。
643	加藤	300文ですね。
644	H	今度来るとき習ってくっから、今日は顔だけ、はい、やりますっていうんからね、昔の先生っていいのはいい加減なものですよ。足を揉んですっかりできるようになるには2カ月かか
645		それはあんまのほうですけど、鍼は最初は新しい綿でね、その時分、当時は綿がいちばん鍼の通りがいい。それで鍼の押し手の構えと刺し手と管の持ち方を教えて、そのままふとんに刺すんですよ、綿に、先生の使った古い鍼で。新しいのなんか使わせないんだよ。それができるようになると、今度はこれで座布団の固い綿で稽古するんです。固い綿ってなかなか鍼が入ら
646	加藤	そうですか。
647	H	ええ。それがよく中へ入るようになったら、自分の膝へ打つんです。
648	加藤	自分の膝ですか。
649	H	ええ、膝で稽古する。膝、腫れちゃいますね、毎日打つてると。
650	加藤	何本ぐらい打つのですか。
651	H	そうですね、数はわからないけれど、ただ、半日は住まいにいますからね。先生が、自分が痛いからね、だから私のほうの膝で打って。だから管の持ち方、それは押し手が強過ぎるとか、親指をもっと引かなきゃ。縮んでくると、鍼がきしんで痛いんだとあって、そういうふうに教えるんですよ。シジンテンコウ、シジンテイなんて教えるのは、これは目明きですね。目が明いて、明いてから、お礼奉公になってから先生が技術を教えるから。いま考えると、ジャクタクジと
652	加藤	寒稽古とかそういうことはおやりになったら。
653	H	やります。3日やります。
654	加藤	何か朝早くから。
655	H	ええ、先生は襦袢を着ているんだけど、私はシャツです。震えていると、こんなことするくらいで震えて一人前になれるかと聞かれるんですよ、指に力がなくなると。震えるから力が入らない
656	加藤	はい。
657	加藤夫人	ええ。
658	H	そうすると、物差しで引っぱたくんですよ。
659	加藤	先生の肩を揉むわけですか。
660	H	ええ、そうです、そうです。先生は襦袢を着てんですよ。
661	加藤	鍼の寒稽古というのは。
662	H	鍼の寒稽古までは、私はいなかった。ホウリンさんの弟子になっちゃったしね。私の兄弟子がホウリンさんに行って、私は実は築地3丁目のジムヤに入ったんですけど、そのときにホウリンのリンをもらって、トウリンって言って、埼玉のウシマツの盲学校の教師をしていましたが、この人は兄弟子なんですけどね。だから、私はホウリンのホウをもらって、ホウネンというのですが、ホウネンはこの先生のところに一生目が明くまでいるのかって、だから、どうしてそんなことを聞くんだって言ったら、それはお前、なるほどこの先生はえらいと、えらいけどお前、この先生に付いていって、あんまが上手になって、鍼の免許も必ず取れるだろうと。だけどそれではお前、社会わかったいうけど、お前は盲人のいちばんレッドマークだと、その仕事ができるからいいってもんじゃないと。それはどういうわけだと言ったら、これからは盲教育だ、盲は盲の教育を受けなきゃね、お前が30ぐらいになると本当にお前は無学なあんまで終わっちゃうぞと。なるほど、そうだな
663	加藤	ええ、小学校5年の。

664	H ええ、自分は1年だ。建前は尋常で4年かそこらしか行ってないし、しばらく呑気してて学問の何も忘れちゃって、それにしちゃ頭が悪いから付いていられないの。それで今度は大正6年の大津波がきて、それで2学期の試験ができなかった。それで、今度は2年になれなかった。なれないなと思って1月からやめちゃった。そうしたら、一緒にいたのが5年生のコンドウマサシって、これも死にましたけれど、H君、あんまの免許を取らせてやる、だから帰ってこいと。柳島っていう、いまの錦糸町からずっと江東橋の際まで毎日、50日通ったんですよ。それで、当時のあんまの
665	加藤 問題集をね。
666	H ええ、問題集を。それで、試験に受けるのに先生のところへ、保証してくれって言ったら、それはできないって言っているんです。それでしょうがなくて、今度はほかの同級生に頼みにいく。それで、じゃ、3円出せって言う、証明料。支払いまして、警視庁で試験を受けて、免許を取ったのは15でした。
667	加藤 そうすると、キシ先生には内緒で受けてきたのですか。
668	H いや、キシ先生には行かない。
669	加藤 行かないって。
670	H ええ、行かない。
671	加藤夫人 そのときは何年ですか。
672	H 大正7年。
673	加藤夫人 大正7年に試験を受けられて。
674	H ええ、そうです。それで、キシ先生の所へ行ったときにはもうあんまの免許を持っていたわけですよ。
675	加藤 たしかウノ先生のころですか。
676	H そうです。ウノ先生の時代にあんまの免許を取らないうちに飛び出しちゃったわけなんです。
677	加藤 そうすると、技盲に行ってちょっと入られたころはどこにいらっしまったのですか。
678	H 千田町です。
679	加藤 千田町でお師匠さんの所、どこかへ。
680	H いや、親の家へ。親と先生のところ、2丁ぐらいしか離れてないの。
681	加藤 そうですか。キシ先生の所には住込みでいらっしまったのですか。
682	H そうです、住込みです。
683	加藤 近くても住込みだったのですか。
684	H ええ。あのテープ、持ってきてくれ。
685	H 家女性 はい。
686	H 奥さんね、7インチで私のはまだ完成してませんけども、いずれ、申し上げるまでもなく私は先生のような学者でないんで、そんなに上手には。本当に下手な吹き込みでね。私一代を吹き込んであるんです。それをお聞きいただければ結構だと思うんですよ。
687	加藤夫人 左様でございますか。それはこれと一緒にお借りしていいのでしょうか。
688	H ええ、どうぞ、どうぞ。
689	加藤 なるべく早くお返しします。
690	H いやいや、早くなくていいですよ、使わないですから。
691	加藤 はい。
692	H いくらか先生のお役に立てれば幸いだと思うんですよ。
693	加藤夫人 いろいろなことがいままででいちばん詳しくわかりました。
694	H そうですか。
695	加藤 ええ。
696	加藤夫人 もうこんなに聞かせていただく方はございませんね。
697	H そうですか。これに先生のね、どういうあれで先生がそこまで出世したかということが出ています。明治天皇のところに二度ほど出たんです、治療にね。宮中のお話を1回しましょ
698	加藤 そうですか。
699	H ええ。これはいまの宮中と違いまして、当時は宮中に入るときには証明みたいなものを持っていった。
700	加藤 証明。
701	H ええ。
702	加藤 身分証明ですか。
703	H ええ、身分証明ですね、それでその受付で、受付って門番ですね。
704	加藤 はい。

705	H それを見て通すんです。通すと今度は、受付の所は、早い話、土間ですね、いまで言うと、事務所みたいんじゃないですか。当時テーブルがあって、テーブルとは言わない、机って言ったんだけど、机と腰掛があったって言ったから。それで今度は30畳ぐらいの部屋に通されるんだ。そこは美容師とか髪結いさん、それに我々ですね、あんまさんとかそういう人たちが、20畳ぐらいの控えの間ですよ、力のあるっていう。左官、大工はそういうものはその事務所の隣にもう1つある、そういうのは。そこへ集まって仕事の配付を受けるわけです。我々のほうは、その同じ事務所みたいな所へ入って来ても一段上なんです。そして入っていくと、今度は用務の受付の人が来て、どうぞ、こちらへって。そこまでが付添いが付いていられます。それが、どうぞ、こちらへって言うときはもう先生1人なのです、天皇陛下の部屋まで。その次の部屋へ行くと、今度はお風呂に
706	加藤 清めるのでしょうか。
707	H ええ、そうそう。それで今度は出ていくと、よくあんなに揃えてって言いますよ。着物はピタッと合う着物をくれるんですって。
708	加藤 着替えさせるのですか。
709	H そうそう。というよりは、何か懐に持っているとお大変なんだ。
710	加藤夫人 ああ、なるほど。
711	H ええ。つまり、着物をそのまましていると懐まで調べられないでしょう。
712	加藤夫人 お風呂に入れるのもそういうことですね。
713	H ええ、そうそうそう。そうだって言いましたね。それで玄関の所へ出ていくと、陛下の下の方に3人来るときもあるし、5人来るときもある。もしご用のあるときには直に私にお話くださってね。陛下とは口をきかないの。強いとか弱いとかって。だから大変上手だってね、いい気持ちだって、明治天皇はね、そのほうはうまいなって言われたってね。陛下にうまいなってお言葉をいただいて、あんた、うれしいでしょって言われたと。それで16弁の菊の御紋が付いた馬車で、当時は電車がなかったので馬車で帰ってくるんだけどね、先生がキシ……四つ角にはお巡りが2人ずつ立っているんだってね。陛下の16の菊の御紋の馬車が来るんで。でも先生が総代でお巡りが……やっているんじゃないですよ。16弁の菊の御紋ですよ。何時何分にここを通るから、そういうわけでちゃんと、あれは監視役でしょう。それと、16の御紋のお茶菓子が出ると。それは
714	あとは包み金といって、当時、1回10円とかっていったね。いまの1万円でしょう。
715	加藤 それはキシ先生の……。
716	H ええ、そうです、そうです。
717	加藤 そうですか。学理というか、理論はどうやってお習いになられるのですか。例えば関係するのは解剖、生理が必要ですね。
718	H ええ。
719	加藤 それは師匠が教えてくれるわけでしょうか。
720	H ええ、くれるんです。
721	加藤 くれるのですか。
722	H ええ。
723	加藤 キシ先生が。
724	H ええ。キシ先生が、ホウリンさんが習う時分には、どんなこと先生に習ったんですかって、「犬に食いつかれたぞ、狂犬病といいまして」って習ったんです。そんな時代だったんです。狂犬病っていうのは何の病気だか、名前がわからなかった。だからそういうふうになつて例を挙げると、そうすると弟子がその言葉について、何て言うんですか、これ。
725	加藤夫人 繰り返すわけですね。
726	H ええ、口写しで教えたわけです。
727	加藤 それは一応西洋医学ということですね。
728	H そうそうそうそう。
729	加藤 杉山流は、キシ先生は……。
730	H そうです。
731	加藤 そういう杉山流の講義は、H先生もお聞きになったことがありますか。
732	H ないですね。でもキシホウリンさんは、「タイハイケイ11ケツってね、ツ……」、こういうふうに見えるんだ。
733	加藤 お経みたいに。
734	H ええ。それを繰り返して、もう今日はこれでよしって言う。そのあくる日は実地をね。その当時は、いまはないけど、いまはサロンパスとかああいうもんだけど、あんま膏っていうの
735	加藤 あんま膏。
736	H ええ、ええ、それで、それを切つて八の字に貼つてくれる。お風呂に入つたら取れちゃって
737	加藤 ええ。
738	H さあ、そうすると怒られるんですよ、なぜ取ったってね。それ、二度貼つてくれないんで
739	加藤 それは何のために貼るんですか。
740	H 穴メです、穴メ。

741	加藤 ケツメって。
742	H 穴をとる、鍼の穴メ。
743	加藤 私、素人でよくわかりませんが。
744	加藤夫人 ケツって穴。
745	H 経穴。
746	加藤 経穴ですか。
747	H ええ。
748	加藤 ああ、なるほど。
749	H 経穴の穴メ。
750	加藤 そこを絆創膏みたいに貼るわけですね。
751	H ええ、手で押したんじゃあわからないから絆創膏で。ヒヤッカクならここですから、そうやっ
752	加藤 なるほど。
753	H ええ、そうです、そうです。
754	加藤 H先生は、その生理、解剖、病理学をどなたから習ったのですか。
755	H それは学校です。
756	加藤 そうすると、免許を取る前に学校に行かれたわけですか。
757	H ええ、その時分には解剖はないんです、自分が1年に入ったときは。地理だの歴史だのあんま学があったけど、あんまの実地とか鍼の実地とかがあったけど、まだ生理学とか病理学、衛生などというものはなかったんです。
758	加藤 そのときに点字もお習いになったのですか。
759	H ええ、そうですよ。点字は、ウノ先生に行くときに習った。当時、点字はそうですね。
760	加藤夫人 ウノ先生というのは、キシ先生の前にお習いになったのですね。
761	H そうそうそう、いちばん最初の先生。
762	加藤夫人 最初は大正2年でしたか。
763	H ええ、そうです。最初は大正4年。
764	加藤夫人 4年ですか。
765	H ええ。
766	加藤 それからそのあと、大正5年にキシ先生にお入りになったわけですね。
767	加藤夫人 大正7年です。
768	H ええ、7年。
769	加藤 そうですか。先ほど福井の盲学校とおっしゃいましたが、福井の盲学校へわざわざいらっしゃったわけですか。
770	H そうなんです、関東大震災で、両親が福井に行くのでね。親にくっついていかなきゃしょうがないでしょう。それで行って、東京が復活するまで俺もこんなことしてたんじゃ、とてもじゃないが、東京へ帰って、人と一緒に並んでおまんまは食えないと。その間に盲学校に入って勉強して、卒業したところには東京は復活するだろうという計算の下で入ったわけなんです。「無学は恐れず」ってよく言うけども、学問がねえから。それで、3年飛び込んだんです。やっぱり先生は先生の力があるんだから。剣術使いじゃないけど、こっちにいるんだから、付き合うから、あんたは才
771	加藤 そうすると、そのときは、前のキシ先生の年季がまだ明けない。
772	H 明けないですよ。関東大震災で。年季が明いたのでもなきゃ。いや関東大震災前、2年前に暇とったんです。ということは、先生が中気になっちゃったんですよ。そこにいたって、カメ……で
773	加藤 ええ。
774	H いまなら行ったあのあとはやるのがないんだから、もう少しあそこで頑張りや、もっと成功したと思うよ。でも、たぶん俺のところは苦しいから。
775	それで今度は帰ってきて、子が生まれたところで小学校時代の者がいるんだから、だから目明きの友だちがいっぱいいるんですよ。それで、私の友だちに演歌師がいたんです。それで、バイオリン教えてやるから、だから、俺ら3人で交替で教えにくるから、バイオリンをやれ
776	加藤夫人 やっぱり見えない方ですか。
777	H 目明きです。
778	加藤夫人 目明きの演歌師。
779	H ええ、そうです、大正時代の演歌師が。
780	加藤夫人 ああ、流行ってたんですね。
781	H 流行っていましたね。半年ぐらい稽古して上手になったんですよ。しまいには、演歌っていうのは4人いなきゃできないんです。本を売る者が2人、バイオリンを弾く者が1人と歌う者が1人、4人組んでいないとできないんです。それで出てくれって言うんでね、私、演歌師を1年半ぐ
782	加藤 震災前のことですか。
783	H ええ、前。
784	加藤 いろいろな経験をなさったんですね。

785	H	だって、その当時はあんま師が50銭でしょう。
786	加藤	はい。
787	加藤夫人	ええ。
788	H	演歌師一晚1時間半やって2円50銭ぐらいになるんですよ。そのほうがいいからね、面白くて。このテーブルにみんな入っています。
789	加藤夫人	そうですか。
790	加藤	そうですか。
791	H	これは奥さんね、かなり面白いですよ。
792	加藤夫人	では、楽しみに聞かせていただきます。
793	H	先生が死んだところからみんな出てます。
794	加藤夫人	そうですか。
795	加藤	いまから申し上げる人をもしご存じでしたら、お教えてください。
796	H	はい。
797	加藤	昔の人です。
798	加藤夫人	麹町の元園町に熊谷実弥という方が。
799	H	ええ、聞いてます。
800	加藤夫人	ご存じですか。
801	H	ええ。
802	加藤	どういう。
803	加藤夫人	どういうふうにお聞きになっていますか。
804	H	いやあ、名前だけでね。
805	加藤夫人	ええ。それは、お師匠さんを通してお聞きになったということですか。
806	H	ええ、そうです、そうです。
807	加藤	この方は明治9年に盲人学校というのを作っているのですが。
808	H	それは私、聞かなかったですね。名前は響いた人ですよ、当時は。
809	加藤	業者ですか。
810	H	業者です。
811	加藤	当然、もうご存命ではないですね。
812	H	いや、もうもう。大正の初期辺りに亡くなったのではないですか。
813	加藤夫人	それで、お師匠さんはもちろんよく知っていた間柄だったわけですね。
814	H	知っているでしょう、先生はもう東京のヨシダコウゾウさんなんかと兄弟弟子ですからね。兄弟弟子っていうのではなく勉強仲間なのでしょう、コウゾウさんのほうが下ですけどね。
815	加藤夫人	どんなふうにお聞きになったか、覚えていらっしゃるでしょうか。
816	H	さあ、名前だけです、こういう偉い先生がいるんだっていうね。
817	加藤夫人	偉いということ。
818	H	ええ。
819	加藤夫人	かなり流行った方なのでしょうね。
820	H	それほどは流行らないですね。学者肌です。
821	加藤夫人	なるほど、そうですか。
822	加藤	それから浅草の瓦町。
823	加藤夫人	瓦町という所に。
824	H	ええ、俵町。
825	加藤夫人	瓦町。
826	H	瓦町。
827	加藤夫人	ええ。平野和雄という、これは目の見える方なのですが、その方が熊谷実弥を助けて盲人学校で普通のあれを教えたわけなのですが、あんま、鍼、灸ではなくて普通の。
828	H	そういう人の名はあんまり知らないですね。
829	加藤夫人	あまりご存じありませんか。
830	H	ええ。
831	加藤夫人	その方は明治22年ごろに通心玉という通信する方法なのですが、玉をいろいろ工夫してそろばんみたいな、棒に玉を挟んで、その中身によって通信する方法を、点字の代わりですね、そのことを工夫されたという記録があるのですが、そういうことをお聞きになったことはございま
832	H	年がもう、私らの時代になってからではもう。
833	加藤夫人	そうですか。では熊谷実弥を。
834	H	ええ、名前は聞いています。
835	加藤	そうですか。それから、浅草のアイザワゲンテイ。
836	加藤夫人	アイザワゲンテイという人も。
837	加藤	この人は鍼。
838	H	ええ。
839	加藤夫人	……ノ町。
840	H	流行ったんですよ。
841	加藤夫人	そうですか。
842	H	ええ。

843	加藤 この方は検校とか、そういう位は。
844	H 検校、位はないんですよ。
845	加藤夫人 もうないでしょう。
846	H だから、明治の人でしょう。
847	加藤夫人 ええ。
848	加藤 この人はですね、やはり明治8年にシンチ学校というのを。
849	加藤夫人 作ろうと計画されたことがあるのです。東京府に設立願が出ているのです。
850	H 先生、もうちょっとそういう早かったら、みんなあっちの国へ行っちゃったからね。
851	加藤夫人 本当にね。でも、流行った方としてはその……。
852	H 流行ったんです。
853	加藤夫人 そうなんですか。
854	H だから、さっき話したカワイセイショウという人と同じような人じゃないのかね。加藤 カワイセイショウという方は見える方ですか。
855	H 見えないです、全然。全盲です。
856	加藤 そうですか。
857	H とにかく蚤カラでね、それでケチでね、盲人がどんなために行ったら一銭の金も出さない。でも本所じゃ、カワイって言ったら大したもんですよ。
858	加藤 同じ本所でオシダという方はご存じないですか。
859	H オシダさんは名前だけ聞いているんだけど、これはね。
860	加藤夫人 深川のモロ町という。
861	加藤 あっ、深川のモロ町か。
862	H 深川には、モロ町はないですよ。
863	加藤夫人 あら、そうですか、新聞にはそう書いてありましたが。深川モロ町のオシダという人は何か四角い厚紙の端を少しずついろいろ、こうきって、ア・イ・ウ・エ・オというのを作って、お弟子さんに通信するのにそれで通信したという。
864	加藤 点字がないころ。
865	加藤夫人 点字がないころの話ですね。
866	H ええ。深川にモロ町っていうのはないですよ。
867	加藤夫人 そうですか。それでは……。
868	H ええ。
869	加藤夫人 オシダさんという方は。
870	H 名前だけは聞いているけど、どの人だとかね。こういう所にいたっていうところまでは聞かないけど、オシダっていう、当時の学者ですね。
871	加藤夫人 ああ、そうですか。
872	H そりゃね、妙なもので、昔は技術者と、学者と先生、2派になっていたんです。
873	加藤 ああ、そうですか。
874	H それが商売をやっていても、学者肌の人は付き合わんです、盲人の一般で商売している者は学
875	加藤 ええ。
876	H 話が合わないんです。
877	加藤夫人 その方たちは、その学をどういうふうにして学ばれたのでしょうか。
878	H そういう人は兄弟だの何だの本を読んでもらうんです。みんなそれでね。
879	加藤夫人 個人的にどなたかいらしたからなのですね。
880	H そーう、そうそう。だから、生活に余裕のある人なんです。
881	加藤 そういう人は学者。
882	H ええ。商売をしても、学者肌の商売をしているのが随分ありました。そういうのは、一般の盲人は付き合わないんですよ。いまなら尊敬してその人になるだけ近寄るとい、盲人が進んできたから。崇拝者として騒ぐけど、昔はそういう人は何だか煙ったくって。
883	加藤夫人 では、そういう方がいろいろ学校を作ろうとして計画したりなど。
884	H したんです、そうです。
885	加藤夫人 そういう例はときどきお聞きになりましたか。
886	H ええ、ありました。結局、駄目に終わっちゃったんですよ。
887	加藤夫人 計画したけれども、駄目だったということですね。
888	H ええ。それはオシダさんじゃなく、まだまだいっぱいいたんです、そういう人が。
889	加藤 少し点字資料を録音して、そのあともまた続く。
890	【H Mさん提供点字資料】
891	(2 頁)
892	私の先生は、キシホウリュウと称し、日本橋数寄屋町西中堀におられる。このキシホウリュウさんは、文久元年、日本橋呉服町にイマイズミリュウホウという検校に入門いたしました。このキシ先生より当時の盲人のあり方を伺いましたことを申し上げてみたいと思います。
893	検校シバウラに出入りいたし、一方石の格式が与えられ、朱塗りのお皿でお祝いたものであります。勾当は旗本に出入りいたし、なお、町家に入ります。なお、座頭は、町方の盲人の統率を図ります。また、座頭には、縄張りといって町の区域の区分されてあったと申します。
894	(3 頁)

895	これは町の豪商あるいは由緒ある家に、婚礼とか講のある場合には町内の盲人がセンタン5、6人つながり、その家に挨拶に行きます。センタンでは、かねて用意されてあるお経モクを盲人に渡します。これが婚礼の場合には家の祝いとして、また、不幸の場合には、供養の意味を持って盲人
896	そして、もらったお金を一旦座頭が預かり、その年の暮れには1万円の金額を計算いたし、例えば5両あるときは、その2割の1両を座頭が取り、残りの4両を他の者に分配するという。これが当時の盲人の大きな楽しみの1つでありました。また、座頭の中には、巧みに親をたぶらかし、娘を酌婦や娼妓に売りとばす悪質な盲人もあります。
897	(4 頁)
898	これが町奉行に知れると座頭は引き立てられ、調べた上即座に座頭の位は取り上げられ、取りつぶしになるという徳川の……盲人11箇条の盲人保護条が定められてありました。この2、3を申し上げますと、次のようなものであります。
899	一つ、 あんまは盲人に限る。晴眼者はこれを認めず。
900	一つ、 盲人に金貸し信用いたし、期日に返済せざるときは目印きの刑を受け、所追放にちな
901	一つ、 盲人に危害を犯せし者は理由の如何を問わず、その刑軽からず。
902	この時代の盲人は、食べるものを食べずに金を残し、金貸しをするのがもっぱら多く、こういう盲人は明治から大正のころまでありました。
903	(5 頁)
904	幕末は、江戸市中に検校11人、勾当20数人、なお、座頭は38組あったそうであります。当時はあんまの弟子入りするためには、中産階級の家庭の盲人でなくては到底弟子に採らなかつた。それは、弟子入りするときは本人の食料、小遣いはもちろん、寝具、為着せ、ちり紙に至るまで親元から運び、なお、先生に心付けのない者にはあんまり身を入れて教えないという風習が大正の初期のころまで数多くありました。したがって、貧困者の子供はあんまになることもできません。もっぱら木魚をたたいて歌を歌い、1文、2文の恵みを受ける。また、辻に立ってジロリンザエモンを肩にその日の生計を細々と立てる、誠に非人に等しくあわれな盲人がたくさんあったそうでありま
905	(6 頁)
906	・ 幕末、埼玉県出身で吉田久庵と称する人が現れて、晴眼のあんまの養成をいたし、花柳界、各旅館、遊郭に進出するという。これがために東京の中央、京橋、日本橋方面は晴眼者の圧迫に耐えかね、一家離散する者、親子心中する者、誠に許しがたい事態であります。京橋八丁堀に鈴木キンゾウという人が杉山検校の崇拝者で。
907	(7 頁)
908	毎月18日(検校の命日) には本所の杉山社に参拝するという、誠に奇特なお方であります。あるとき、弥勒寺の僧侶が、「 見えない方が京橋から参詣に来られることは容易なご苦労ではありません。それは杉山検校の一周忌に当たり、検校を刻まれた木像があるが、これは差し上げます」。鈴木氏は大変喜び、早速この木像をいただいて我が家に祀り、同志を集め、ミマツ講という講を作りました。後にこの木像は杉山学校、師範学校に安置してありましたが、20年の大空襲に備え疎開いたしました。現在に至るも木造の行方がはっきりいたしません。このミマツ講は30数人となり、
909	(8 頁)
910	当時、深川にも辰巳講があり、ヤマザキショウザン、ハシモトテンコウという人々が協力いたしました。本所には、また弁天講がありました。こうした講は、鍼の研究会のような小規模なグループにして、概ね無尽を主としたものであります。ここにドイという人が現れ、時の政治家板垣退助に現状の盲人の状態を訴えていただき、伯爵を背景にあんま専業が始まる。専業を旗印に盲人鍼按協会が生まれました。また、浅草、下谷、神田、本郷と各地に運動し、日々
911	また、ここに日本橋油町にタカギショウサイという盲人がありました。この盲人の一子マツタロウが日本町小伝馬町の質屋に丁稚として入り、傍ら法律の独学をいたし、後に弁護士にな
912	(9 頁)
913	タカギマツタロウは、我が父が盲人であったことから盲人に同情を寄せられ、あんま専業に活躍されました。このタカギマツタロウは、代議士連続3 回当選、憲政会の花形として活躍されたのであります。
914	明治41年、両国国技館において、初めての全国盲人大会を開き、国会においてはあんま盲人の専業とすべしと。既に専業案が通過するときの盲会の首脳部が鍼按協会である故、これは鍼の兼業にすべしと言って、あんま専業に鍼を主張したため廃案となりました。
915	(10 頁)
916	当時は東京15区にことごとく支部を結成いたし、会員は胸に三日月型のメダルを下げ、メダルには、「 盲人鍼按協会」という文字が彫りつけてあります。
917	時は流れて大正時代となり、大正9 年に鍼按協会を改名し、保持協会となり、なお、大正11 年には盲会の20周年を京橋区星製薬の7 階において開催いたしました。そのとき会長サクライイクゾウ、杉山盲学校の教師チノリョウセン、また、ドウメイ会会長オオヌキイタロウ、社会課長のオオセコ、神田小川町におられた杉山盲学校の教員千葉勝太郎(以下略) 。終わり。

918	【H氏自宅録音の続き】
919	H 37年ですね。
920	加藤 ああ、明治37年生まれですか。
921	H ええ、64です。目の見えない者を馬鹿にしちゃってね、もうものすごかったですよ。
922	加藤 吉田流には入門をした人もいますのでしょうか。
923	H いません、盲人は採らないです。
924	加藤 採らないですか。
925	H ええ、盲人はどんなことをしても採らない。いざりは流ししないしね。
926	加藤 いざりならいいのですね。
927	H しない、絶対しない。だから盲人のほうは軽蔑するほうがよかった。
928	加藤 また人の名前ですが。川越のほう、人間川のほうですが、杉山タケオという人はご存じない
929	H さあ、それは知らないです。あっちで知っているのは関根だけですね。
930	加藤 関根。
931	H ええ、あれは川越の盲学校の校長をやったんでしょう。その人の奥さんがいま話した私の兄弟子の、埼玉県ですから、盲学校にいつてるのが、関根君が死んだよってんでね、いづらか香典を持ってもらったんです。いま大正14年に84警察単位の組合が設立したんです。そのとき三多摩を入れて87の警察単位の組合で。ここに奥様お見えになるからわかるでしょう。これ、昭和18年に署長から感謝状をもらったときに相談役になったのですが。いまは……警察がなくなったのですが、こんな37、38で相談役というのは理屈に合わないんですけど。当時組合長をやっていて私、当時参事になったんです。参事は、東京都内に5,800人の盲人がいて、その中で17人の参事が選ばれたわけなんです。参事が地区へ帰って組合長ということは不合理だというんで、それで、ただちに相談役に推薦しろと。これ、37、38で相談役になっちゃった。その当時に関根さんと会って、奥さんが杉山検校の奥さんか、それか……
932	加藤夫人 杉山タケオ。
933	H あれを、じゃ、今度はトウ……を死んだら寄付しようかな。
934	加藤夫人 あれもよございますね。
935	H そうでしょう。
936	加藤夫人 ええ。検校服というのもありますね。あれはどなた、森。
937	加藤 渡辺。
938	加藤夫人 渡辺、じゃないです。
939	加藤 ……区長をやっていた人のお父さんが、検校で検校服を。
940	加藤夫人 サトウマサオキさんのお父さんが検校だった。その区長さんから。
941	H それで、検校か何かの話もいづらか資料はあったでしょう。
942	加藤 ええ、多少残っていますけれども何か。例えば、ムサシノショウウコさんという大変有名な検校がございましたね。
943	H ああ、ムサシノ。ええ、ムサシノ検校は有名です。
944	加藤 あの方の子孫が今どこにいるか、先生はご存じでしょうか。
945	H わからないですね。
946	加藤夫人 あの方の文書はよく雑誌などに出ていたのですが。
947	H 多摩川方面に昭和の初期ごろにいたということを聞いていましたけどね。
948	加藤夫人 多摩川のほうですか。
949	H ええ、あっちのほうにいますよ、たしか。だからもう狭い……なるともう駄目なんですよ、形がだいぶ変わっちゃうから。
950	加藤夫人 そこに文書がだいぶ残っていたそうですね、ムサシノ検校の。
951	H ええ、ムサシノは偉かったんですよ。学者ですよ、検校でも。
952	加藤夫人 でも、随分お弟子さんが多かったという話です。
953	H アダシノ検校っていうのは偉かったんですね。
954	加藤 昔の。
955	H ええ。
956	加藤 それは明治まで生きておられた。
957	H ええ、あの方が経穴膏をやったんですから。明治じゃないでしょ、あの方は嘉永辺りに死んだのではないですか。
958	加藤夫人 アカシカクイチのことですか。
959	H いや、そうじゃない、そうじゃない。
960	加藤 アカシカクイチとは全然違う。
961	H では、ひとつ電話で聞いてみます。
962	加藤 はい、よろしく願いいたします。
963	H イマニシさんというのは、秋葉校長の椅子を狙うだけあって偉い人だって。
964	加藤 ええ、偉い人です。なかなか。では、戦後はあんま専業でGHQのあのときまで活躍な
965	H そうです、そうです。
966	加藤 そうですね。

967	H	ええ。あれ、空襲後ですね。死んだのね。
968	加藤	そうですね。
969	加藤夫人	板垣さんがどうしてああいうふうになつたかというのは、何かきつ
970	H	それはね、これは事実か、何ですか、私は直接板垣さんで聞いたわけじゃないけど、警視庁に富岡さんという試験官がいたのをご存じですか。
971	加藤	富岡。
972	H	マッサージ、鍼、あんまの。
973	加藤	知りませんけれども。
974	H	そうですか。
975	加藤	はい。
976	H	その人は板垣さんの落とし胤だったんでね、盲人で。それは、板垣さんの女中さんか何かとできたの。あれは奥村さんの弟子ですよ、富岡さんは。もちろん……話ですよ。
977	加藤夫人	東盲の先生ではないのですか。
978	H	ええ、東盲はあれですよ。
979	加藤夫人	盲学校の先生をしていらっしゃった。
980	H	ええ、そうそう、富岡。
981	加藤	ああ、富岡。
982	H	ええ。あの人は何だか板垣さんの。
983	加藤	落とし胤。
984	H	ええ、そういう話ですね。それで富岡さんはあそこまで出世したんだということを、よく私は聞いています。私も、試験を受けたときには富岡さんでしたからね。
985	加藤夫人	……さん。
986	H	はい、……。
987	加藤夫人	いいえ、そうではなくて、やはりいきなりというのは失礼ですからね、こちらもよく事情は知りませんし。
988	H	この間シノハラさんから電話がかかって、先生、実はこういうわけなんだけどもって言うから、ああ、いいですよって言ったらね。知らないことはわからないけど、いっくらかご参考にな
989	加藤夫人	いままででいちばん収穫でしたね。こんなにお話していただくことはありません。
990	加藤	ちょっと2、3補足して。
991	H	ええ、結構です。
992	加藤	先生が弟子に入られるときには、例えば前は、江戸時代は米2俵とゴ……を何ぼという話でしたが、先生がおやりになるとときにはどういう条件でしたか。
993	H	それはめいめいでしたが、私の所は魚屋をしていましたから、親父は鯛2匹と弟子一同にお刺身を持って行って、それで2年間食いぶち、2年ずつ。向こう2年間、食いぶちを2年分納めること。そして帰ってきたらしいです。
994	加藤	それから先は稼ぐから食費はかからないということですね。
995	H	ええ、そうです、そうです。食いぶちが取れるようになるから2年間は遊びだというぐらい。遊びじゃないですよ。……足も曲げないで賽銭とられるんだから。昔はそういう制度が
996	加藤夫人	やはり親御さんが毎月何かを納めるわけなのですか。
997	H	そうそう、持っていくんです。
998	加藤	だから2年ずつ。
999	加藤夫人	引き続きね。
1000	H	食いぶちを持ってこないで、今度は弟子にしないんですよ、お前の所はずるいとかね。弟子がかわいそうですよ、親が遅れると。
1001	加藤	そうすると、困って食事が出せないと。
1002	H	だから、そういうのは乞食あんまですよ。どこか近所で今度は習った人から正式な弟子でなく素人、我流っていうんですか、そういうのが、何ですか、はなはだしいのになると、「あんまー、カミシモー、500モー」って怒鳴っておいて、「なっとー、なっとー」って納豆を
1003	加藤	そうですか、そんなのも。
1004	H	あつたんです、あんまでもって、合間に納豆を売ったりね。
1005	加藤	大正ごろにもありましたか。
1006	H	大正です。「ハエ叩き」にってんで、その時分は巾着を腰にぶら下げてね、子どもに。はえ叩きっていうのはいまでもあるでしょう。
1007	加藤	ええ、あります。
1008	H	ハエを叩いたり。
1009	加藤夫人	ええ。
1010	H	あれが昔はシュロの葉で出来ていたんです。いまはああいういいのが出来てる。それを1つ5円かそこらで、それを背中にしょって、「あんまー、カミシモー、500モー」って怒鳴ってから、「ハエ叩きに巾着、要りませんか」ってね。両方ありますから、そういうあんまさんがいっぱ

1011	加藤夫人 数から言えば、そういう方のほうが多かったわけなのですか。
1012	H そうです、そうです。
1013	加藤 そうすると、ちゃんと弟子入りされる方はまだいいほうでしたか。
1014	H そうです、そうです、中流階級ですよ。
1015	加藤夫人 それだけ納められる方たちが。
1016	H ええ、それは、親が楽じゃなきゃそれだけ納まらないもん。すごいの、いたですよ。あとはうちに飼っとくんですね、とりあえず、しょうがないから。
1017	加藤 そうですか。
1018	H ええ、ご飯を食わしてうちに置くんです、弟子にもやれないし、教えてくれる人もいないし。することがないしね、いまみたいだね。
1019	加藤夫人 近所で教わるときにも、そういう一人前になった方の所へ行って、やり方をざっと教わるわけですか。
1020	H そうです、そうやって。
1021	加藤夫人 待つときにも、やはり何かいづれが持つていつてお願いするわけなのでしょう。
1022	H ええ、もちろんね。昔の盲は欲が深いから、ただなんかで教えてくれない。それで、結局、いくらかできると流しに歩くんですよ。そうすると今度はム……で歩くと言って、先生がやかましいんですよ。
1023	加藤 免許を取るまでは流して歩いて、それは鑑札を持っていなくてもよかったのですか。
1024	H ええ、よかったんですよ、徒弟修行ですから。
1025	加藤 ああ、徒弟修業ということですよ。
1026	H ええ。それがね、流し禁止令が出たのは昭和10年です。昭和10年は資格のない者は流しできないということ、禁止令が出たんですよ。
1027	加藤 それまではよかったわけなのですか。
1028	H これはやったんですね、東京だけでなく。
1029	加藤 それからお師匠さんは自分の弟子が盲学校へ行くのを嫌がった。
1030	H ええ、嫌がったということは、弟子が盲学校へ行けば、師匠と離れちゃうから。だから結局、学校なんかへ入って何になるんだ、学校というんじゃ飯は食えないと、技術ができなくちゃ世の中へ立てないんだと、あそこの倅なんか学校へ行くと、あんなものロクなもんになんないって言われたものですよ。
1031	加藤 しかし、免許を取るには生理、病理を習わなければいけませんね。
1032	H そうです、そうです。
1033	加藤 お師匠さんにそういう教える力があればよろしいわけですが。
1034	H みんな試験問題ですよ。
1035	加藤 試験問題を教えます。
1036	H ええ、だから力がない者ばっかしできちゃうんです。それにあんまはいまや、先生の前ですけど、我々のような揉み方ができる者はいませんよ、いまの時代は。それは、物差しでひっぱたかれて習ったんだからね。
1037	加藤 何か柱や板を揉んだというような。
1038	H それは私の先生時代ですね。ハウリンさん時代です。それは力をはかったんです。
1039	加藤 いまは盲学校で埋居たけを教えようか、臨床などというのはお粗末だつたと怒りのです。
1040	H 私に言いたいことは、盲学校でいまの盲人の生活問題ということに絡んで、結局、遠くのほうばかり騒いで、地元の、それは学問も確かに時代が進んでいくんですから大事ですけど、技術というものをもうちょっと盲学校では厳しくやってもらわないと、駄目な盲人がかわいそうじゃないかと。これはいちばん、いくら学問があります何のって言ったって死活問題は金ですから、金を取るということは、要するに下手じゃ頼まない。上手なら、私のところは紹介でなきゃ商売しませんかね、お客を。今日は来るお客、何時から来てくれるって、断って、それでピタッと来ない、言いにくたってやらないんだから。でも、それは私が偉いんじゃないんです。私の先生が偉いんです。それだけに教えてくれたっていいことはね、これは見のがせないところなんです。いまどうにかやっている盲人の人は、その人は必ず偉いことは偉いけど、それをただ……まいと、先生は、私は本当に偉いもんだと思います。それと盲学校において、も
1041	加藤 そうですね、これから。
1042	加藤夫人 もう教える方がいらっしゃらないのでしょうか。
1043	H 盲人の生活というものは現在低下しつつありますよ。まして今は電気あんまだの、ああいふもんだの、指圧だの、ああいふものに我々マッサージ、あんまというものが圧倒されるということは、要するに技術が足りないんですよ。

1044	これは小咄ですけど。この先に清水橋という橋があるんです。そのそばに鈴木ヒロアンというあんま師ですけど、大正時代に他人が30銭の時分に1円ですよ、治療代。それでも、「お前のとこ、俺の治療にかかるほど身上持ちか」「俺は1円だぞ。それでよけりや行くけど、お前のとこ1円のあんま貰払えるか」っていうぐらいに頑張っていて、木場から人力車で迎えにいくんですよ。それはうまかったそうだね。3人いれば3円なんですよ。当時あんた、1日1円20～30銭しか労働者は取れない時分にね、木場の材木屋に行って3人やってくると、1円もらって、それで御飯食べて、
1045	加藤 そうですね、技術ですね。
1046	H でも、ほかのあんまさん、30銭で仕事がなくてしょうがない連中がいっぱいいるんだけど、その中に1人だけそういう型が変わっていても、それで結構いばって商売していったということは、要するに技術がよければそれだけいくんですよ。
1047	加藤 そうですね。
1048	加藤夫人 ハンジがテラウチヒサキチという。
1049	H ええ、その人は知っています。
1050	加藤 それはどういう方ですか。
1051	H どういう方かね、うちによく、先生のとこに見えたようだけど。とにかく……きながら弟子なんか採らないって。
1052	加藤 では、面識の仲ですね。
1053	H そう、もうメンタイでしたね。ちょうど先生のような温厚な方でした。
1054	加藤 こちら……。
1055	加藤夫人 シラキショウエンとかイケダワタルとか。
1056	H そういう人は名前だけで、私は会ったことはないんですがね。
1057	加藤夫人 そういう名前を知ってられる。
1058	H ええ。
1059	加藤 皆さん、盲人でいらっしゃいますか。
1060	加藤夫人 そういう方、これも1つの講なのではないかな、盲人教育会というの。これと別物な
1061	加藤 何か日本橋のモトギン町。
1062	加藤夫人 シロガネでもないですね。
1063	加藤 その辺りはありますでしょうか、日本橋区ですか。
1064	H モトギン町なんてなかったんじゃないかな、どの辺だろう。
1065	加藤 カメノオという。
1066	加藤夫人 盲人教育会、盲人教育会っていま名前は出ていたのですが、まだ。
1067	H それは、鍼灸協会時代の人じゃないかな。
1068	(テープ6B面)
1069	加藤夫人 フカワケンサイって方はご存じありませんか。これもちょっと古過ぎますね。
1070	加藤 松本ソウテイっていうのはないですか。
1071	加藤夫人 お聞きになった所ですね。
1072	H どこです、それ。
1073	加藤夫人 松本ソウテイは上野の国って書いて。
1074	加藤 だけど、江戸に出て修行をした方ですね。
1075	加藤夫人 ええ、江戸時代です。
1076	H ああ、幕末時代でしょう。
1077	加藤夫人 いいえ。
1078	加藤 明治初期に。
1079	加藤夫人 明治20年ぐらいに。
1080	H それから、ここに出てますがね、高木アツタロウって県会、代議士、あの人のお父さんのこともこれ、いまでも戦争当時まで書いてあります。
1081	加藤夫人 ああ、そうですか。
1082	加藤 高木って弁護士の人。
1083	H そうそう。代議士で、憲政会の総裁です。
1084	加藤 そうですか。
1085	H それから、オオヌキイタロウってね、あれが点字版こしらえてね、オオヌキ製っていう。神田、あそこは小石川八千代町にいてね、前はソウジ町って言ったんですけど。この人はとても、盲
1086	加藤 ああ、そうですか。
1087	加藤夫人 何年頃に点字版を作ったのですか。
1088	H あれは大正から昭和へかけてです。
1089	加藤夫人 ああ、そうですか。
1090	H ええ。大正の末期からね。大正の10年ごろかな。
1091	加藤夫人 お師匠さんのおつきになった範囲内では、お師匠さんの時代っていうのは結構、地方の方はそういったお師匠さんなんかとの交友があったものだから。
1092	H ないです。
1093	加藤夫人 ああ、全然。

1094	H ええ。
1095	加藤夫人 交通が不便であったから。
1096	H ええ、そうです。こういう人があるぐらいでね、こういう会とかこういうものは全然ないんですから。だから、程遠いんです。
1097	加藤夫人 昔は、何かカイザイだったって、よくいろいろ回ったらしいですね。
1098	H ええ、それは。
1099	加藤夫人 かなりのお金を集めて、そういうために方々財を。田舎のほうなんでしょうけれども、よく回ったってなようなことが出ておりますけれど。だから、案外、相当行き来したものかしらというふうに。
1100	H とにかく、もう交通が不便だから、大体夜商売。警察に追われてる盲人が多いんだからね。昼間商売やっちゃ、夜、この会の運動でも10時ごろから夜明けにかけて出たわけです。
1101	加藤 ああ、そうですか。
1102	H 昔の盲人ってのはね、5人も7人も、よその盲人の迷惑も考えないで起こして歩いたものです。私は……派であったんです。
1103	加藤 ああ。
1104	H だから、ここから四ノ木あたりまでと至るんです、これ、葛師の。と至るっていいんです。
1105	加藤 はあ。
1106	H というわけで。私は葛飾、江戸川、それから墨田ね。これ、盲人保持協会時代でね、から、今度は東京盲人協会になったときに、会をこしらえるのに夜中に歩いたもんです。
1107	加藤 ああ、そうでしたか。
1108	H ええ。とにかく盲人の運動はみんな夜中です。
1109	加藤 だから、神田の美土代町の講習会も最初は夜中にやっていた。
1110	H そうそう。
1111	加藤 そうですね。じゃあ、モリタコウエイ先生なんかは……。
1112	H あの人は新しいですよ。
1113	加藤 新しいですか。
1114	H ええ。
1115	加藤夫人 やっぱりいちばん熱心だったのは千葉勝太郎さんですか。
1116	H あの人はとにかくね、ゴリョウシロじゃない、クニシロか、クニシロの刀で割腹した。じゃあ、クニシロの刀を売ったら、借金をしまして、それで、死ななくてもよかったろうという噂もあったけども、あれはやっぱり剣客者の千葉周作でね。
1117	加藤 ええ、お孫さん。
1118	H ええ。剣客者の武士道で、その先祖伝来の伝わり物を買ってするっていうことは先祖にすまないと云うんで、自分の身を精神的に犠牲にしたっていうことは、あれは盲人として尊敬の念に絶えない人ですよ。
1119	加藤夫人 無尽講に身を入れてなさったそうですね。
1120	H 結局あの人は、みんな連帯で金を借りたんだろうけど、大体無尽が多かったんです。無尽がいけないって、無尽が流行なくなって、迫られて、いま子孫は千住にいますけどね。
1121	加藤 ああ、そうですか。
1122	H ええ。
1123	加藤夫人 どうも。
1124	加藤 また。
1125	H ちょっと待ってください。いまね。
1126	加藤 貴重な資料をありがとうございました。

Y K

1	加藤 Y Kさん。江東区深川。明治27年生まれ。昭和43年10月12日自宅において採録。
2	加藤 そんな昔の、初め、ご入門された方々から当時のことなど、いろいろ聞いております。
3	Y 昔はね、昔はっていうと。その時分は、明治時代は、私どもが始めた時分はね、何ですか、そこへ弟子入りなら弟子入りとしなくてもですね。池田さんって人がちょうど私どもの近所だったんですよ。すぐ傍でね、半丁ばかりしか離れてなかったんですけどもね、そこでもって。この池田さんって人はもうやっぱり古い人でしてね。その人に、検定試験を受けるについてね、証明してもらったわけです。
4	加藤 ああ、なるほど。
5	Y ですから、そこへ弟子として、徒弟として入ったわけじゃないんですけど、検定試験を受けるについて証明をしてもらってんです。
6	加藤 ああ、修行の。
7	Y そうなんです。
8	加藤 何年間したというような。
9	Y そうです、そうです。
10	加藤 それはいつ頃のことでございますか。
11	Y そうですね。その時分は大正でしたね。
12	加藤 ああ、そうでございますか。
13	Y ええ。
14	加藤 そうすると。
15	Y 大正12年が、あれが震災でしたからね。ですから、震災のときは私は31でしたからね。ですから10年、11年。私が証明してもらったのは22のときでしたからね。
16	加藤 ああ、そうでございますか。
17	Y ええ。
18	加藤 先生は、歴史では26年、26年とおっしゃいますね。
19	Y そうなんです。生まれなんです。
20	加藤 70、失礼ですが、5か6でいらっしゃいますね。
21	Y 70、満でいくと5なんですがね。
22	加藤 ああ、そうでございますか。
23	Y ええ。
24	加藤 私の父はちょうど明治25年でございますけども、息子みたいなもんですね。
25	Y ああ、そうですか。
26	加藤 その頃は検定っていうか。
27	Y その頃はね。
28	加藤 警視庁におられたですか。
29	Y そうなんです。警視庁のなんですね。その時分には年に4回ありましてね、試験がね。それで、12年前だから、ちょうど20歳のときですね。だから、大正に移るときかな。ちょうどそんなんでし
30	加藤 ああ、さようでございますか。失礼ですが、それまではどういう生活を送ってられた。
31	Y それまではね、私、3人兄弟でしてね、いちばん末でしてね、不幸にして盲人になったのは私
32	加藤 お小さいときで。
33	Y そうなんです。
34	加藤夫人 おいくつぐらいのときですか。
35	Y そうですね。7、8つ時分ですね。
36	加藤 ああ、そうですか。それから小学校にはお入りに。
37	Y 小学校はね、そうですね、1年かそこらしか行かなかったですね。
38	加藤 そうでありますか。
39	Y ええ。
40	加藤夫人 それからずうっとお宅に。
41	Y それからね、ずうっと、親が貧乏してましたけど、両親いたもんですから。それから私が
42	加藤 ああ、そうですか。
43	Y ですから、ずうっと私はよそに、別に年季っていうことは行かなかったわけなんですよ。
44	加藤 それじゃ親御さんの所で。
45	Y そうなんです。
46	加藤 暮らしていますか。
47	Y それで、同愛のほうにずうっと行ってたわけなんです。
48	加藤 同愛に入られたのは何年ですか。
49	Y 同愛に入ったのは、あれは20歳、同愛に入ったのは19か、19の、確か秋でしたかな。
50	加藤 ああ、そうございましたか。
51	Y あの時分に、その順には、いまと違って春でなくちゃいけないってのは。

52	加藤 ええ、いつでも。
53	Y 何のってことないんですよ。
54	加藤 なるほど。
55	Y でも、途中失明にしても、同愛からでも、いつでも学校へ入りたいからっていうと入れてくれたわけなんですよ。
56	加藤夫人 大正の初めでございますか。
57	Y ええ、そうですね。
58	加藤夫人 ずうっと東京においでになったんでございますか。
59	Y ええ、ずうっと。そうなんです。
60	加藤夫人 ああ、そうでございますか。
61	Y ええ。もうここへ。私、生まれは千葉県で917とも、ここへ2つくらいいんとさに来りやつたんですよからね。
62	加藤夫人 ああ、そうでございますか。
63	Y ええ。
64	加藤 同愛の盲学校へお入りになった動機は、ご自分で、何か大変ぶしつけなことをいろいろ伺っているのですけれども。
65	Y いいえ。やっぱり友だちがいましてね、その頃の、やっぱり同業者や何かのいましてね、同業者の家に年季したり何かしたりしてる人がありましてね、同じなんだから、学校へ僕ら行ってるから、行かないかってわけでしたね、じゃあ学校へ行ってみようっていうことですからね。とにかく家で遊んでてもしょうがないから、学校へ行ってみようっていうんで、それで行き始めたんです。
66	加藤 ああ、そうでございますか。
67	Y ええ。
68	加藤 神田の、じゃない、失礼、浅草の三筋町ですね。
69	Y そうなんです。浅草の三筋町。いまで言いますと。
70	加藤夫人 いまも三筋町ってございますね。
71	Y ええ。
72	加藤夫人 都電で。
73	Y ええ、そうです。あそこにね、ちょうど吾妻橋、こっちから行きまして渡ると、渡ってすぐ右側なんですよ。
74	加藤夫人 ああ、そうですか。
75	Y あそこに、それをこう何だか、うなぎ屋さんだったか何だかあったんですがね。その横丁を曲がってね、真っすぐ、そうですね、約2丁ぐらい行きますとね、そうすると、左側でね、昔のこつてね、屋敷が何かの、小さな屋敷跡みたいな家があったんです。そこを、借り受けてやったんです。
76	加藤 ああ、なるほど。
77	Y ですから、2階は確か8畳に4畳半かな。何でも2階が12畳だけありましてね。下がやっぱり3間ぐらいありましてね。それで、屋敷だったってそう大したものじゃないんですよけれどもね。前は門がありまして、その門から入って行くと、少し、家にして1軒かそこらの、前がずうっと空いてましてね。裏も少し空いてましたがね。そういう所でもって、何ですかね、ちょうどあの時分にオオギミさんっていう人が校長でした。オオギミさんがなにして、加藤さんっていう。
78	加藤 はい、加藤梅吉さんです。
79	Y ええ、梅吉さんってね。その人はまだその学校へなにする時分には小石川の師範科か何かにいた中で、在学中だったんですよ。
80	加藤 ああ、そうですか。
81	Y ええ。何でも1年ばかり、私ども行ってから、1年ばかり経ってから師範科を卒業して、そして、その時分に生徒があんまりいないもんですからね。
82	加藤 ああ、そう。何名ぐらい。
83	Y そうですね。あの時分でやっと、そう、40名いるか。
84	加藤 それでも40名おりましたか。
85	Y ええ、40名近くはいましたね。
86	加藤 それは男女、女の方も。
87	Y ええ、一緒なんですね。1年、2年、3年、4年までかな。
88	加藤 4年までですか。
89	Y ええ。4年までありましてね。
90	加藤 年輩からまちまちでございましたか。
91	Y そうですね。やっぱりそういう具合ですから、30になる人もいればね、中にはもう所帯持って子供のある人もいる。15、16から、そうですね、あれで50ぐらいまでいましたね。
92	加藤 ああ、そうでございますか。
93	Y ええ。
94	加藤 オオギミ先生っていうのは何をお教えになったんですか。
95	Y オオギミ先生はね、別に何って、何か教会の話をしてね。あの人は大体牧師ですからね。
96	加藤 牧師ですか。

97	Y	ですから、教会の、耶蘇の話ですね。たまには地理みたいな、歴史みたいなことも話しましたよね。そんなことしてたんでしょう。
98	加藤	そして、いわゆるシンリリョウって、シンエンのほうは加藤先生がお1人でお持ち。
99	Y	ええ、そうです。加藤先生が主任としてね。それで、もう1人、その時分に先生いましたよ、鈴木先生ってね。やっぱり浅草に、浅草のフクイ町かな、あの辺にいた人です。
100	加藤	開業しておられたんですね。
101	Y	ええ。開業してたんで。それあの、鈴木先生ってね、その方もほとんど同年輩か、1年か2年若かったかな。いま確か鈴木先生っていうのは丈夫かもしれませんよ。
102	加藤	ああ、そうですか。
103	Y	ええ。
104	加藤	山本先生より1年か2年年上ということでございますか。
105	Y	ええ、そうです。
106	加藤	ああ、そうでございますか。鈴木何という先生ですか。
107	Y	鈴木フクゾウって人なんです。元、何しろフクイ町にいた人って言えばわかるだろうと思うんですけどもね。
108	加藤	ああ、そうでございますか。
109	Y	何しろ古いから。もう何ですもの、その学校が焼けてから、そうですね。
110	加藤	一度本郷に移って、それからまた戻って来られたんですか。
111	Y	本郷のね、キンスケ町で焼けたんです。その三筋町から本郷へ行って、そして、本郷でもって大震災に遭ったわけですからね。
112	加藤	それから中野へ移る。
113	Y	それから中野へ行って。
114	加藤	今度の戦災には遭いませんでしたか。
115	Y	そうね。私、キンスケ町で焼けてからもう、そこには行かなかったですからね。
116	加藤	ああ、そうですか。
117	Y	加藤先生ってのはつい、去年かね、一昨年かね、一昨年亡くなるまでときどき会ってましたけ
118	加藤	ああ、そうでございますか。
119	Y	でも、その加藤先生はもう本郷で、じゃない、キンスケ町で焼けてからもう学校は出ないんで
120	加藤	ああ、そうですか。
121	Y	ええ。
122	加藤	山本先生はキンスケ町のほうにはお通いになられましたか。
123	Y	キンスケ町に。そうですね。本当の少しですね。
124	加藤	ああ、そうでございますか。
125	Y	2、3回も行ったかな。
126	加藤	同愛のほうは4年間通われたわけなんですか。
127	Y	そうです。4年行ったんです。
128	加藤	それで、当時の免許ですと、4年ですと、鍼灸、あんまで2年、履歴のほうはそれでもよろしゅうございますけれども。
129	Y	そうなんです。
130	加藤	池田先生の履歴の。
131	Y	池田先生のね。
132	加藤	更にいただいたっていうのはどういうわけでございますか。
133	Y	それはね、いちばん始まり、あんまのほうをね、なにをするときに2年なんでしてね。それで、そのときに一緒に、やっぱりね、鍼灸のほうも受けちゃったんですよ。
134	加藤	ああ、そうですか。それで、お受かりになってる。
135	Y	それで、みんな受かったもんですからね。
136	加藤	そうですか。
137	Y	だから、学校はどうでもいいと思ったけどもね。
138	加藤	それは同愛在学中でございますか。
139	Y	そうなんです。
140	加藤	ああ、そうですか。
141	Y	受かったのはね。
142	加藤	なるほど。
143	Y	ですから。
144	加藤	しかし、あの試験にお受かりになるにはお勉強なさらずにちゃ、やはり。
145	Y	ええ、やっぱり、ほら。それに、点字を習いましてね。
146	加藤	それは同愛で習われたんですか。
147	Y	そうです。
148	加藤	そうすると、学校よりも、どんどんご自分でお勉強なさったんですね。

149	Y ええ。多くね。やっぱり何ですわ、その時分に友だちに本をなにしたり何かしてね、それでやってたんですけど。
150	加藤 ああ、そうでございますか。
151	Y ですから、よく友だちにも言われて。君はもう試験は受かってんだからいいじゃないかなんてよく言われましたけどもね。
152	加藤夫人 お友だちは、ほとんどの方は試験を受けるために学校へいらしてたわけなんです
153	Y そうです。試験を受けるためにね。やっぱり。そう、私ども出たときももう10人ばかり一緒に出ましたかね。
154	加藤 熊谷先生はその前ですか。
155	Y そうですね。加藤さんの前ですね。
156	加藤 前の時代でございますか。
157	Y ええ。
158	加藤 そうすると、ニイツ先生なんていうのはずうっと後になるんですね。
159	Y そうですね。
160	加藤 山下先生。
161	Y もう加藤さんが辞めてから、ほとんど私どももう。
162	加藤 ご存じないですか。
163	Y そういう具合でね。それで、その時分の同級生の人たちなんて、いまほとんどいないです
164	加藤 いらっしゃいませんか。
165	Y ええ。東京には、そうね、つい去年か、一緒に古いの、私らも知ってたんだけど、亡くなりま
166	加藤 ああ、そうでございますか。
167	Y それから、あと。そうですね。
168	加藤 熊谷先生っていうのはまだお元気でいらっしゃいますけれども。
169	Y そうですね。
170	加藤 ちょっとお会いしまして。
171	Y ああ、そうですか。あの方はまだ。
172	加藤 いまは牧師さんの養老院って申しますか、そういうのが青梅のほうにございます。
173	Y ああ、そうですか。
174	加藤 奥様とご一緒にそこにお住まいでいらっしゃいます。
175	Y ああ、そうですか。
176	加藤夫人 先生は、そうしますと、同愛にはご両親のお宅から通ってるわけなんです。
177	Y そういうわけなんです。
178	加藤夫人 お友だちはもうほとんど自宅から通われたお方はいられたんですか。
179	Y そうですね。その時分に4、5人いましたね。やっぱり自分の家から。
180	加藤夫人 それで、お師匠さんのもとから通われたって方もいらっしゃいますね。
181	Y そういう方も少しはいましたね。
182	加藤夫人 そうでございますか。
183	Y ええ。
184	加藤 先生なんか、流しなんてご経験はございませんのですね。
185	Y ええ。流しもやってみたことありますよ。
186	加藤 ああ、そうですか。
187	加藤夫人 それで、お友だちがなさるので。
188	Y ええ、そうです。その理由、何がほら、年が若いからね、おもしろ半分で。
189	加藤 ああ、そうですか。
190	Y ちょっとあっちこっち歩いてみねえか、運動になるからと言われましてね。それで、ときどきこうやってみたりね。でも、親の家にいるもんですからね。ですから、呑気に、雨が降ったっちゃ休んでね、風が吹いちゃ休み、本当の退屈しのぎでね、ちっとばかりやってみました
191	加藤夫人 お友だちはそれで、その苦学してらした方もございましたんですか。
192	Y そうです。家にもね、苦学生はあれでも、そう、5、6人いましたよ。加藤さんに頼まれてね、加藤先生に頼まれて、寄宿舎みたいなもんやってみないかなんて、初め言われまして。そんな大げさなことやったってなんだってするから、じゃあ、呼んで、いけないのを2人でも3人でも面倒見ましょうよ、そう言ってね。家に、そうですね、5、6年の間いましたかね、みんな卒業して、家からも行きましたからね。
193	加藤 昔学生はお宅にいる間、昼間は、じゃなくて、学校から帰ってからは働く。
194	Y ええ、学校から帰ってね。
195	加藤 ああ、そうでございますか。

196	Y 夜でさあね。昼間はほとんど。昼間はあの時分に、帰りが大抵、そう、12時までって言うんですけどもね、大抵2時でしたね。2時から帰って来て、昼間1人でも2人でもありゃあなんですけども、ないと、ほとんど夜だけです。その時分には、また、寄宿料だって安いしね。あの時分で月に3円ぐらいですよ。
197	加藤 ああ、そうですか。
198	Y 日に10銭あったぐらいでね。でも、何ですよ、少し一生懸命にやる者は月にでも6、7円や8、9円とれるんですよ。
199	加藤 ああ、そうでしたか。そしたら食費なんか十分浮きますわね。
200	Y そうです。カミシモ、その時分で、そうですね、やり始めが8銭ぐらいですね。8銭ぐらいって言えばいいほうですよ。
201	加藤 ああ、そうでございますか。
202	Y で、お客によって10銭だけ揉んでくれればね。いくらだけ揉んでくれなんて言いますからね。ですから、どうやら月に3円や2円払っていかれるわけですからね。
203	加藤 なるほど。
204	Y それで、電車賃だって安い。
205	加藤 同愛にいられた頃、この前ちょっとお電話で伺ったんですが、先生方と生徒の勧誘にもちょっと行ったんですけど、どんなことをなさる、どういうことだけ、どういうことを。
206	Y そうですね。加藤さん、そういうことが大体好きなんですね。
207	加藤 ああ、なるほど。
208	Y それで、どうだろう、今日少し、そば屋に教えに行くから一緒に行かないかなんて言われてね。その商売仲間から大体辿っていくんですからね。例えば林君なら林君の近所へ行って、弟子でもいるような所へ、そして、どうだろう、お宅様の弟子を学校へ出さないかしら、もうこれからはとにかく学校制度になるんだからって。いろいろ話して、そして、納得のいくようにね。やっぱり主人と本人と、よく納得させなければ出しませんからね。大抵の人は自分とこ
209	加藤 出したがらない。
210	Y 出したがらないんですからね。
211	加藤 ああ、そうですか。
212	Y でも、これからどうしたって盲人っていうものは学校っていうものをどうしたってやらなきゃならないんだから。そう言って、いろいろ納得させてですね、そして、お教えして、そして、1回や2回でなかなか出さないんですよ。数回行かなければね。
213	加藤 いろいろとこう、いざこざ、何ていうか、業者の方と。
214	Y ええ、そうですね。いろいろ、この町の、町っていうのはなんですけど、支部の組合がその時分からあったんですよ。例えば深川なら深川とかね、本所なら本所とか、みんなその組合がありましてね、その組合から訪ねていきますとね。そうすると、同じ業者ですからね、ある程度までは教えてくれますからね。あそこの家は弟子は何人いるとか、男と女と何人いるとかね、学校へでも出るようなのがいるとかね、そう言って辿って行くわけですからね。
215	加藤 ああ、そうですか。
216	Y ええ。なかなかこれで、一緒にやると、それが何故かっていうと、どっちかっていうと、盲人になるくらいのはもう、それは貧困の家が多いんですよ。
217	加藤 ああ、家庭のね、貧しい所はね。
218	Y 家庭がね、貧しい者がね。ですから、その時分はよく、人によると、食いぶちぐらい送らなくちゃ困るとかね。でも、親が送れるのはいいけど、送れないのが多いんですよ。
219	加藤 そういう、送れない者はどういうふうにして。
220	Y だから、送れない者はしょうがないから、何ですよ、また1年でも半年でもいづらか、近所の者でも揉ましてもらって、そして、腕をならして、そして、おいおいいくらかずつでも取らして、そして、1年なり2年なりその腕ができるまでね。そういうふうにもするよかしょうがないからね。それで、今度は、じゃ、まず月にどのくらい取ると、取れるようになると、そこでもって歩合を払うわけなんです。1人についていくらか。例えば8銭取れば、そのうちの3銭をやるとかね、何割やるとかっていう具合にして、そうしてやるよか方法はないもんですからね。事実、親がどうしても送れないのは、そうでもしてやるよか方法はないと思ってね。そして、私どもポツポ
221	加藤 ああ、そうでございますか。同愛はキリスト教でございますわね。特に聖書とか、宗教教育をやったものでございましょうか。
222	Y そうですね。聖書、賛美歌だとかね、なにだとか、ときどきね、なにせ加藤さんがなにをして、そして、名古屋でもって、大体あの方はキリスト教、耶蘇から学校へ避難して、そして、小石川の東直へ入ったのもなにでも、そのなにで入ったらしいですね、教会の関係でね。
223	加藤 教会の関係のね。ああ、そうでございますか。
224	Y それですから、ときどき賛美歌なんてやらせましたけどね。
225	加藤 ああ、そうですか。
226	Y ええ。
227	加藤夫人 生徒さんは、それで感化される方はございますか。

228	Y	そうですね。でも、学校行ってるうちはね、じゃあ、賛美歌でも何でも、やるっていうとやりましたけども。でも、それから耶蘇のほうへそういうふうに凝って、あと、どうってこともな
229	加藤	ああ、そうですか。
230	Y	ええ。
231	加藤	当時試験を1年ぐらいでお受けになったそうですけど、あれは点字で、試験問題は点字でございますか。警視庁の。
232	Y	私どもなにした時分ですか。
233	加藤	はい、免許を取るの。
234	Y	口答ですよ。
235	加藤	口答ですか。
236	Y	ええ。あの時分には、そう、みんな口答でしたね。
237	加藤	鍼灸もみんなそうなんですか。
238	Y	そうなんです。
239	加藤	口答で。
240	Y	そうです。
241	加藤	答は口答。
242	Y	ええ、口答でね。
243	加藤	口答試問ですね、要するに。
244	Y	ええ。口答試問で、それで、何です、あくまでもこっちが答えるのにも、みんな受験者ですね、受験者が答えるのにもみんな口答なんです。
245	加藤	ああ、そうですか。
246	Y	ええ。筆記になったのはこれ、何でしょう、つい戦後でしょう。
247	加藤	ああ、そうでございますか。
248	Y	ええ。
249	加藤	先生は、試験の学理の生理、解剖なんていうのは、試験問題か何かを。
250	Y	ええ。みんな試験問題をやりまして、それで、やっぱり学校で教科書がありますからね。教科書でみんな、何です、読んで、そして、また先生の講義も聞いたしね。自分でいろいろ試験問題もあっちこっち買い集めまして、方々の試験答案集ってやつですね、そういう本がある
251	加藤	それ墨字で出とったんですか。
252	Y	点字でね、ありましたよ。
253	加藤	ああ、そうでございますか。
254	Y	ええ。
255	加藤夫人	どこで作られたんですか。
256	Y	それはね、いまでもやってる所は、その時分には、みんな教科書はトウゴウで買うんですよ。トウゴウでなにしていね。
257	加藤夫人	大向いで。
258	Y	大向いですね。それで、墨字のをまた写したりね、また、やってるんですよ。
259	加藤	ああ、読んでもらって。
260	Y	読んでね。そして、そういうのをやったり、それから方々の地方のね。例えば千葉県は今度はどういう試験があったとか、こういう試験の問題があったとか、そういうのまた集めてね、こしらえて、結構出してるんですね、河越ゲンキって人がね。
261	加藤	ああ、河越さんですか。
262	Y	河越さんってよく言いますがね。あの河越、あそこはまたそういうものばかり売ってるんで
263	加藤	ああ、そうでございますか。
264	Y	あそこでもってよく買いましたがね。
265	加藤	その河越屋さんってのは、場所はどこに。
266	Y	ええっと。
267	加藤夫人	神田のどこかですね。
268	Y	河越ね。ちょっと。
269	加藤夫人	春日町でございますか。
270	Y	いや。春日町じゃない。あれはね、ついあれに出てたけども。河越、ちと聞く。
271	加藤	よく聞く名前でございますね、河越さんって方は。
272	Y	そうです。
273	加藤	だからって。
274	Y	そこにね、同業者で、私どももね。私よかずうっと若いんです、加瀬って人がいるんですよ。これがいま盲人会のほうの会長をやっているんです。
275	加藤	ああ、そうでございますか。
276	Y	じきそこなんすけどもね。
277	加藤	ああ、そうですか。
278	Y	その人が、いまの支部のことだの何だのよく知ってますからね。

279	加藤	ああ、そうですか。
280	Y	それ河越屋さんなんて知ってますからね。
281	加藤	ああ、そうですか。
282	Y	私も聞いてたんだけども、どうも。何しろいまとまるで違いますね。
283	加藤	ああ、そうですか。
284	Y	その時分はもうみんな、私どもジョウクもほとんど、何ていうか、……に遅れたっていうかね、捨てられたもんかわからないけど、まあまあ、まるで違いますよね。その代わりには物も安いし、それからずっと呑気でしたよね。そんなに難しくされませんでしたよね。
285	加藤	実技のほうはやはり学校でお習いになるんでございますか。
286	Y	実技のほうはね、私ども、そういう具合にして、学校へ行きながら、また近所の人を初め揉んで、鍼にしても何にしても、私はね、こういうふうにしてやってたんですよ。日曜、休んだときにね。学校休んだときに近所の年寄り集めてね、お茶でも入れてやってね、それで、お婆さん、腰が痛けりゃ鍼してやるよとかね、それが始まりなんです。
287	加藤	ああ、なるほど。
288	Y	大抵私はそうしてやってました。そうすると、中には洗剤でも買ってきたりね。何しろ金には取らないからね。御足なんていらないよ、お婆さん、そう言ってね。そうしてやってたんですよ。そのほうが割合に研究ができるんですよ。
289	加藤	それで実地を積まれたわけですね。
290	Y	そうなんです。長年実を教えてくれる有難、実のノウハウを教えてくれる有難、いついつありまうわね。
291	加藤夫人	ええ。
292	Y	また、その人たちがまたよそ行って鍼をしてくるのはね、どんなだったかわかるんでね。
293	加藤	ああ、それでまたよそに習うわけですか。
294	Y	そういったような具合にしてやってましたけどね。
295	加藤夫人	それで、いちばん技術は身につくわけなんでございますね。
296	Y	そうなんです。生徒同士でやったってね、やはり痛いだのどうだのってね、みんなふざけててやらないんですよ。
297	加藤夫人	どなたか上手な方にやってもらいながら覚えるってようなことはなさいませんでしたか。
298	Y	そうですね。ときどき、1週に鍼灸の実習が、1週に2回ぐらいあるにはあるんですよ。そのときに先生を打つてみたり、先生の腰も打つてみたり、それやるんですよ。だって、そのときだってほら、先生だって大勢がなにするとね。何しろ10人にも打たれるもんですからね、もういいよいよって、勘弁なんていってね。
299	加藤夫人	それは加藤先生でいらっしゃるんですか。
300	Y	そうなんです。加藤先生と鈴木さんのほうとね、両方でもって交代でやります。
301	加藤夫人	そういう技術の面から言いますと、その池田さんとおっしゃる方には実技をやっていただいたっていうわけではございませんですね。
302	Y	ええ。その人にも多少はやりましたけどもね。もう、ほら、学校行ったりそっちになにしたりすると、そう両方はできないしね。
303	加藤夫人	いちばん技術を教わったのはどなたなんでございますか。
304	Y	いちばん、始まりってのは、何です、学校へ行く前に試験を受けるくらいですから、やっぱりその、割にね、ここいらに同業者が多いんですよ、開業してる人たちが。私どもがちょうど、そうですね、学校へ行ったり試験受ける時分にはもう相当開業してる者がいましたからね。ですからそこへ行って、こちら学校行ってるくらいだから……見られて……ね。お教わろうと思って、そして、先生、すまないけど、こうだとかああだとかね、行くんですよ。そうすると、君、こういうふうにして、学校じゃどうやるのなんて言ってみたりね、先輩の人はまたそういうふう言うんで
305	加藤夫人	ああ、そうですか。
306	Y	ですから、じゃ、こういうふうにして、いや、こうやったほうがいいよとかね、そういったような具合にしてやってたわけなんですよ。
307	加藤夫人	ああ、そうでございませうか。
308	Y	ええ。
309	加藤	ちょっと立ち入ったことで、ぶしつけで恐縮なんですけど。先生に履歴の証明を書いてもらうなんてのは、当時はやはりいくらもお礼をなされたもんでございますよね。
310	Y	そうですね。その時分ですから、別に金銭でいくらっていうなににじゃなしにね、お酒の好きな人の酒でも買ってってね。
311	加藤	ああ、なるほど。
312	Y	それで済んだんですよ。
313	加藤	その頃、年季といいますと、普通何年ぐらいでございましたか。

314	Y そうですね。大抵12、13から検査ぐらいの程度ですわね。7年、早くて5、6年ですね。途中で何かなんする人もあるしね、親が亡くなったとか、いや、仕事はやんなくちゃいけないと言えば、そこで1年や2年ないですね、家がね。早く年季が明けるようにしてあげたり、いろいろやってましたけどね。大体6、7年でしょうね。
315	加藤 それからお弟子さんに入るときに、何か契約書みたいなものを交わしたように。
316	Y よく言いますわね、証文とか何とかね。本当の形式にね、親が保証人になってましたね。
317	加藤 ああ、そうですか。
318	Y 親がない者は兄弟でも何でも、身寄りの者がなつて、そして、入れるつていつようなことで
319	加藤 入つてましたね。どういつかつなことを、ちよつとまだ立ち入りまうけど、書さまうんですか。どういつ
320	Y そうですね。途中において、何か自分でもって、わがままな結果なんですからね。自分が年の途中においてなんするときには、保証してる者がどういうことにするかっていう、そんな程度です
321	加藤 ああ、そうでございますか。
322	Y そんな、別にやかましいことを。それで、私どもは多くなんしましたけど、本当の証文を取ったってのはほとんどないんですよ。
323	加藤 ああ、そうですか。
324	Y ええ、大抵は口約束だよな。
325	加藤 かなり業者によっても、また違うんでございましょうね。人によっても。
326	Y ええ。人によつてね、まったくそれをばかに頑なにしてね。それで、途中でいやんなくて、本人がなんしたときには非常にやかましく言ったりする人もありますけどもね。
327	Y 家女性 あとは食費とつてしている人もいますしね。
328	加藤夫人 ああ、食費ね。
329	Y 長男もつて、そして、月いへらつて、そして、何こつていられるうちには
330	加藤 そうですか。なかなか70以上の方が、そういうご経験のある方が少なくなつてきてる。いろいろお話を聞くのは貴重なお話になってます。
331	加藤夫人 人によつては、やっぱりお師匠さんに入門しますときに前借するような例をお聞きになったことございますか。
332	Y そうですね。
333	加藤夫人 お家が困つててとか。
334	Y そんなのも中にはあるようすがね。
335	加藤夫人 個々の例でございます。
336	Y ええ、みんなやっぱり、その人、その家によつて。
337	加藤夫人 ええ、そうですね。
338	加藤 いまから考えてごらんになつて、当時、鍼屋以外に、例えば盲人、目の見えない方、どういふ、何か他に変わったお仕事をしておられた、お覚えございますでしょうか、この辺で。
339	Y そうですね。
340	加藤 やはり鍼、灸、あんまでなく。
341	Y まあ、なにですね。多く、私どもが生きてる中では、1人2人芸人になつてなつて、それも早く、年の若いうちに死にましたけどもね。
342	加藤 ああ、そうですか。
343	Y 途中で、生きてて浪花節になりたいなんて言つててね。でも、ミナト屋つていうコリュウアンの弟子になつてなつてね、そして、ミナト屋コイチロウとなつて、20、あれは24のときだか亡くな
344	加藤 ああ、そうですか。
345	Y 器用でしてね。うち来た、20人も、30人来てますけども、そんなの1人でしたね。
346	加藤 こちらで修行で住み込まれて、それから場所を替えられたわけですか。
347	Y そうなんです。うちに3年いてね、それで、途中でね、浪花節になりたいからつて、ああ、それじゃ、お前はやれと。何しろ風呂銭をやると、風呂代をやると、それ貯めといつて、何しろ4銭か。そのくらい好きだものね。
348	加藤 そうですか。
349	Y で、昔のことだから、風呂銭だつて20銭かそこらやなんでしょう。
350	加藤夫人 それ大正の末期でございませうね、そうしますと。
351	Y ええ。
352	加藤夫人 震災の後でございませうか。大震災の後になりますか。
353	Y 震災前にですね。
354	加藤夫人 前でございませうか。
355	Y ええ。
356	加藤 流しに出ますか。

357	Y 家女性 出るとね。そこじゃね、浪花節のレコードなんてかかっていると、そこへ立って聞いてしょうがないんです。
358	Y それぐらい好きだったんです。
359	加藤夫人 また、お上手だったんでしょうか。
360	Y それ言つちやつて上手ですね。もつレコードなんてね、2、3回聞くと、もつそれで見えちやうんです。
361	加藤夫人 ああ、やっぱり好きですね。
362	Y ええ、やっぱり好きなくらいだからね。
363	Y 家女性 兄弟や親がね、それ芸人にしたくなくてね、なんですけれども、先生、どうかおつかさんや兄さんにね、先生から頼んでくれればさしてくれるかもしれないって言ってね、親へ頼みに行って、そして、浪花節って。
364	加藤 ああ、そうですか。
365	Y そんなもんですね、うちにいた中ではね。でもあと、他に友だちとしちゃ、いまだやってんのあるけども、そりゃあ何でした、いまだっか、吾妻町のほうにいますけどもね。
366	加藤夫人 先生のお宅で、ここから。
367	Y うちから出たのはいまその、浪花節になった、それっきりですね。
368	加藤夫人 あとの方は順調に巣立ってらしたわけなんんでしょうか。
369	Y ええ。あとは大抵、みんなもう検査までいたりね、中にはまた親が早く死んでね、そして、2年かそこいら、18かな、そのときに、12から来たんですけどもね。目を開けさせてくれるなんていうので、それじゃあ、そうしなっと、そう言って目を開けさせたらね。そういうの
370	加藤夫人 目子校に通わなくて、元生のお宅にけで技術を見えだつていふ方がいっつしやいませんか。
371	Y ええ、そういうのもいます。
372	加藤夫人 それは盲学校に、どうしていらっしやらなかったのですか。
373	Y 行かないでね。
374	加藤夫人 行かなくてね。
375	Y 検定試験で。何しろ私どもに、4年なら4年の証明を出せば、それで試験を受けられるんですからね。
376	加藤夫人 試験を受ければ。そういう学理は、先生に教われるからなんでございますね。
377	Y そうです。みんなやっぱりその時分に本をなにしましてね、そしてもう、何です、暗記させるんですよ。昔はそうだったんですよ。
378	加藤 じゃあ、お暇を見ては山本先生が教えられるわけなんでございますね。
379	Y ええ、そうなんです。午前中なら午前中にね、1時間でも2時間でも教科書を見て、そしてまた、本人にもみんな点字を覚えさせましてね。そして、みんな本をあてがいはしてね、それで講義をしたり。もう随分、ほら、点字のなにが進んでますからね。
380	加藤夫人 それは奥村先生の本なんんでしょうか。
381	Y てつです。奥村さんかね。奥村さんが、あれは何だ、「鍼灸安譜」つていふのかね、唯かね。
382	加藤夫人 もうほとんどの方はあれを使つてらしたんですね。
383	Y ええ。みんなあれですよ。あれはまた点字でよく出てますからね。
384	加藤夫人 ああ、そうでございますね。
385	加藤 ちょっと、同愛のほうだけちょっとお聞きするの忘れまして。授業料つていうのは取りましたんでしょうか、月謝は。
386	Y あの時分、授業料はなかったな。
387	加藤 そうですか。
388	加藤夫人 みんな無料で。
389	Y そうなんです。あの時分にはただ、そう、授業料はなかったんだな。
390	加藤夫人 寄宿舍ももちろんございませんで、先生のお宅みたいな所に、そこからはお願いされる
391	Y そうなんです。寄宿舍はなかったですよ。
392	加藤 経営なんかは寄付金でやってたわけなんんでしょうか。
393	Y そうですね。寄付金で、何でしょう、オオギミさんが何でもあの時分に骨を折つてたよう
394	加藤 レイマンですか。リー・レイマンとか何とかいう宣教師のミフ教会でしょうか。お聞きになったことはございせんか。
395	Y そうですね。教会のほうのことはつい、あまりね。
396	加藤 そうですね。
397	Y ええ。よく知らないんですよ。やっぱり年が、その時分には若いもんだからね。あまり向こうでも深いことを話もしないし。ただ、先輩の者に、その時分の4年生ぐらいの者に話をちょいと聞きかじるぐらいのもんでね。
398	Y 家女性 いまで言いますと、不良じみていたんでしょう。

399	Y	何しろその時代が呑気でしたからね。
400	加藤夫人	ああ、そうですね。
401	加藤	1、2年の頃、まず入っては普通学科という、国語とかそういうものはおやりにならなかつ
402	Y	いえ、やりましたよ。
403	加藤	何か国語の教科書を使ってですか。
404	Y	ええ、普通科っていいましてね。
405	加藤	普通科があったわけですか。
406	Y	ええ。地理、歴史、それから国語、あの時分に数学っていいですかね。
407	加藤	算盤をお使いになりましたか。
408	Y	ええ。算盤はやりましたよ。はい。
409	加藤	そうですね。
410	Y	盲人の算盤ってのは、つい私どもは使わなかったけどもね。
411	加藤夫人	普通の算盤で。
412	Y	普通の算盤でもってやったほうがいいなってね、それで。
413	加藤夫人	普通の算盤を大きくもしないで、普通のまんまで。
414	Y	そう。
415	Y 家女性	そんな大きいものなんてないがね。
416	Y	大きな、昔のね。
417	加藤夫人	ああ、昔の、下にある、あるんですね。
418	Y	随分大きなのがありましたね。
419	Y 家女性	焼けるまであったんです。
420	Y	ああいうのね、なんしてね、これでやってみろなんてね、みんなやらせましたよ。けど、私どもはあんまり、ああいうの嫌いでしてね。なあに、鍼、あんまを覚えてれば、そんなに、何も普通科なんてね。地理だの歴史だの、少しはなにしましたけど、数学なんてあまりやりませんでしたね。暗算をさせたり、いろんなことをやらせましたっけ。
421	加藤	鍼按科と普通科と、学年で区別はないわけですね。
422	Y	そうです。
423	加藤	鍼按科の中でときどき普通の教科が入るわけなんでしょう。
424	Y	ええ。ただ、時間でもってね、何が地理の時間だとか、普通科が何時間だとか、それはやってたんですけどもね。
425	加藤	ああ、そうですね。
426	Y	だけど、大抵ハナの時間に、1時間かそこいらですね、やるのは、普通科はね。あとはみんな技術のほうばかり。
427	加藤	ああ、そうでございますか。
428	加藤夫人	技術科は4年でございますか。
429	Y	そうです。4年です、あの時分にね。
430	加藤	免許の履歴も4年になったんですね。
431	Y	そうなんです。
432	加藤夫人	それでは同級生の方は別に、そんなに苦学生というほどの方もいらっしゃらなかつたんでしょうか。
433	Y	そうですね。
434	加藤夫人	いま1人でやってらっしゃる方も中には、もちろんいらっしゃった。
435	Y	そうです。
436	加藤夫人	数からいいますと。
437	Y	たまにはね、なにですけど。
438	加藤夫人	多いというわけでもございせんか。
439	Y	そうですね。あれで、30~40人来てる中で、苦学生ってのはやっと10人もいましたかね。
440	加藤夫人	さようでございますか。
441	Y	ええ。あとは、やっぱり師匠をとってる者だからね、年季してる者だの、それから、また、中には自分の家から、親からね、通ってる者だの。
442	加藤	師匠の所の、住み込んでる方はかなりいらしたわけですね。
443	Y	そうですね。住み込んだ者はあれでも、3分の1ぐらいいたかな。
444	加藤	ああ、そうでございますか。
445	Y	ええ。何しろみんなで、あれで60人にはならなかったですもの。やっと40~50になったかな。そんなものでしたろ。
446	加藤	この辺はいったい、鍼按が盛ん、昔から利用者また多いっていうか。
447	Y	ええ。ごくね、昔は。そう、私らも始め立てのころには、そうですね、これがこういうふうになってたんですよ。警察の、何でね、管轄が、こっちは、ここいらは何です、ちょうど4つの警察に、三ノ橋警察っていいましてね、いまで両国署ですね。両国と、それから厩橋警察ってのがあ。それから太平警察ってね、向島と、4つの警察になってたんです。そのうちで、全体で開業し

448	加藤 ああ、そうでございますか。
449	Y 80名ぐらい免許証を持ってた。それで、そのうちで開業してる者が、そうですね、約あれでも、50軒はあったでしょうね。いまじゃそれがまるっきりね、何ですか、空襲をね、みんな田舎へ行きっぱなしだし、それから、それっきり死んだ者も。
450	加藤 いまはずっと少のうでございますね。
451	Y ええ、いまずっと少ないですよ。
452	加藤 ああ、そうですか。
453	Y はい。何しろ、ここいらにでもちよいとすぐ、10軒ぐらいありましたからね。この石原だけでも10軒や8軒あったんです。
454	加藤夫人 すると、開業なすったのは大正中でございますね。
455	Y ええ、そうです。
456	加藤夫人 そういうことは自分で、1人で。
457	Y 自分で開業したのはね、大正9年。
458	加藤夫人 同愛を出られてから。
459	Y そうです、そうです。
460	加藤夫人 その頃ですと、まだお師匠さんに弟子入りされてた方は8丁以内に店を張ってはいけなとか、そういうことがございましたんですね。
461	Y そういうことはなかったですね。
462	加藤夫人 先生の場合は同愛で、そういうこと関係がなかったからってわけでもございませんですか。
463	Y ええ。
464	加藤夫人 ご自由に選んで。
465	Y そうなんですよ。その時分にはね、例えばすぐ前でも、何故こうしたかっていうわけにもいかず、やっぱり。そしてほら、開業する者がみんな、何かそこに関係のある者が業者のね、いや、そこに弟子をしてたとかね、そういう関係で、何故、お前そこへ出たってことは言えなくてね。じゃあ、どうかすると、まるっきり区外のほうから来たのがね、あんなとこでやらなくてもよさそうなもんだなんていってね、よく言うこともありますけど、近所の者がやったのはまさか隣や
466	加藤 そうですね。遠慮するでしょうし。
467	Y そうです。
468	加藤夫人 お師匠さんに弟子入りされた方が1人いらっしゃるときには割に、暗黙のうちにそういうことがあったらしいですね。
469	Y ええ、よくね、1丁以内になにしちゃ困るとかね。
470	加藤夫人 先生の周りにいちゃあ。
471	Y そうです。そんなことよくね。
472	加藤夫人 先生の場合は、そういうご事情だったら自由なわけでございますね。
473	Y いえ。自分の、なにですわね。ですから。
474	加藤 この辺は震災と戦災と両方ありましたんですか。
475	Y そうなんです。
476	加藤 すっかり町の様子が変わったわけでございますか。
477	Y ええ、もうすっかり変わりましたね。
478	加藤夫人 先生、点字を初めて教わったのは、どなたから教わったんでございますか。
479	Y 私ね、やっぱり友だちがいましてね。その友だちは先に点字を知ってたもんですからね。
480	加藤夫人 その方は。
481	Y それがやっぱり同愛、ごく行き始まりでしてね。それで、あとは同愛の先生にね、ちよいと名刺書いてもらってね。それで、これは5音を覚えりゃ大抵わかるんですね。それで、自分でいろいろ
482	加藤夫人 ああ、そうですか。
483	Y ですから、点字ってものも3月かそこらでわかりましたね。
484	加藤夫人 ああ、そうですか。
485	Y ええ、大変ですね。
486	加藤 いろいろ古い方、数少ないですが、お尋ねして、回って歩いとります。
487	Y ああ、そうですか。
488	加藤 ときどきは地方にも。
489	Y ああ、そうですか。
490	加藤 こないだですけど。
491	加藤夫人 伊豆のほうまでありましたね。
492	加藤 三島の大場という所に。
493	加藤夫人 古い方がいらっしゃいましてね。
494	加藤 そういう方になっちゃいます。
495	加藤夫人 その方は小児鍼が得意だっておっしゃっていました。
496	Y ああ、そうですか。

497	加藤	近くまた岡山とか宮城県のほうにもちょっと行ってみようかと。
498	Y	そうですか。
499	加藤	それから林先生に伺ったんですが、村越先生でございますか、新内を。
500	Y	ええ。その人がね、やっぱり芸が好きでしてね。でも、商売はやっぱりこの鍼灸業者ですけれ
501	加藤	ああ、そうなんですか。
502	Y	その芸は当然やってないんですよ。
503	加藤	私は鍼灸のほうも、やっぱりいろいろな方から伺ってるんですが、その音曲のほうの方は全然、会ったことがないもんですから、村越先生に一度お会いしてみたいと思って。
504	Y	ああ、なるほどね。
505	加藤夫人	お宅は結構お近くなんでしょうか。
506	Y	そうです。
507	加藤夫人	押上とか伺いましたけども。
508	Y	ええ。
509	加藤	どうも、押上っていうと、京成電車の押上でございますか。上野からですか。
510	Y	いや。こっちのね。
511	Y 家女性	あの方面じゃないんですけどね。京成電車の位置は知ってますかしら。
512	加藤	京成の押上っていうのは上野。
513	Y 家女性	からですね。
514	加藤	ここから行くと、都電か何かに乗れますんですか。
515	Y 家女性	ええ。
516	Y	そうね。
517	Y 家女性	ここから行きますと、この電車トンネルの、東京駅から来るバスがあるんですよ。
518	加藤夫人	ああ、そうでございますか。
519	Y 家女性	ええ、そのバスに乗って来ますとね。
520	加藤	東京駅からの。
521	加藤夫人	東京駅からのバスですね。
522	加藤	何行きでございましょうか。
523	Y 家女性	それはね、平井に行くんです。
524	加藤夫人	平井行きの。
525	Y 家女性	ええ。それに乗りましてね。
526	Y	山口ガーデンの前でね。
527	Y 家女性	地名が変わったんですけどね。
528	Y	だけど、あそこへ行けばすぐわかるよ。
529	Y 家女性	押上の駅から2つ目です。
530	加藤	例のほうもらわれたわけですか。
531	Y	やっぱりその人は好きでしてね、何だろう、13、14からでしょう。
532	加藤	じゃあ鍼灸のほうも。
533	Y	ええ。鍼灸のほうもやっぱり師匠にね。年季かな、あの人は。年季か何かした。
534	Y 家女性	ええ、芸のほうは達者です。
535	加藤夫人	ああ、そうですか。
536	Y	ええ、三味線が上手でね。
537	加藤夫人	珍しい方でおられますね。
538	Y	三味線でも琴でも何でもやりましたね。
539	加藤夫人	ああ、そうですか。
540	Y	ええ、なかなか芸人ですよ。
541	加藤夫人	ああ、そうですか。
542	Y	だけど、芸一本で食べてるわけでもないですね。
543	加藤	いま、それじゃあ、開業なさっていらっしゃるんですか。
544	Y	そうです。開業して、息子もいるしね。
545	加藤	それじゃ、お忙しくていらっしゃるんですか。
546	加藤夫人	これからお伺いして、今日はいらっしゃるという林先生のお話、お電話おかけした所にはそういう話です。
547	加藤	いま……ですからね。
548	Y 家女性	もうなかったと思って。
549	Y	大抵いつでも遊んでますからね。
550	加藤	そうですか。
551	Y	大丈夫でしょう。
552	加藤	ちょっと電話して、それから伺っていきましょう。
553	Y	電話をかけてみますか。
554	加藤	そうですね。ちょっと拝借してみます。
555	Y	じゃ、ここに。

556	加藤夫人 ああ、そうでございますか。
557	加藤 ちょっと拝借いたします。
558	Y ええ、かまわないですよ。
559	加藤夫人 甲種と乙種と。
560	Y ええ、めづりましたね。乙種でした、めづるのはうはね。鍼灸は乙種も甲種もなかったです
561	加藤 そうでございますね。
562	Y ええ。
563	加藤夫人 甲種をお取りになった方も中にはいらしたんでございますか。
564	Y ええ。中には甲種で取ったものもありましたね。甲種ってのは、あの時分の、ほら、目が開いた者です。
565	加藤 ああ、そうですね。晴眼者の。
566	Y 晴眼者のほうが甲種となつて、乙種は盲人という、それだけ忌輿があつたわけですから
567	加藤夫人 乙種で十分だったわけでございますね。
568	Y そう。乙種の、ほら、別にね、免許すぐに。
569	加藤夫人 別に甲種だから、乙種だからって料金が変わったり。
570	Y そうなんです。それはなかったんですね。まあ、あの時分だから、免許証さえ取ればもうそれでいいっていう、みんな頭ですからね。
571	加藤 それで、免許を持っていないとうるさかったもんでございますか。
572	Y いや。免許は持ってなくてもね、あの時分には弟子入りしていれば、それである程度までは大抵差し支えなかったんですよ。何とも言われないしね。
573	加藤 開業してる場合は免許で。
574	Y ええ。開業する場合はどうでもこうでも免許を取らなくてはね。
575	加藤 その辺のご年輩の方とどちらかご旅行なすったそうですね。
576	Y ええ。老友会っていうのがありましてね、その老友会、毎年秋だとかね、春だとかね、年とった者ばかりで行くんですよ。いちばん……………
577	(テープ7)
578	………ときは私たちが組織したんですけど。組織してから2、3回行きましたかね。
579	加藤 ああ、そうですか。
580	Y で、もう一晩ぐらいやってくたびれるんですからね。ですからね。ええ。

表20 「I F」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
徒弟制の内容と状況	師匠への入門	初めに、浜松では学校っていうのはなかったものですから、学校に入って勉強する前に、弟子に入ったんです。徒弟に入りましてね、徒弟にはなかなかやかましい規則がありましてね。
施術者の経験と状況	乱暴	入れましてね、それで、それに……して、何でもかんでもとりあえず入れた乱暴なことをやってたんです。
施術者の経験と状況	盲人となった時期	大分県ですけどね、大分県ですけど、失明したのは学齢のときですけど。
学習・教材に関すること	入学巨脾	小学校に入るときにね、したんですけど、その時分の小学校、入れてくれないんですね。小学校に入れてくれりゃいいと思って、でね、入れてくれないんで断られたんです。それで、盲学校に行くといひまして、なかなか入費もかかりますしね。それで、あんまりいい先生ないんですよ。
施術者の経験と状況	学校への入学	ええ。まあ、いい先生ないんです。まあ、あそこに行っても大したことない私は踏んだんです。それで、とにかく東京に行く……というので、東京のいろんなことを調べたところが、まあ、ほとんど無料で勉強ができるわけですね、
施術者の経験と状況	東京への上京	自分が働けば。働けばできるわけで、まあ、私どもは初めから働いたんです。働いて、それで……。○加藤……。○I 明治42年です。
施術の方法と考える	仕事の開始	ええ、そうなんです。27年生まれですから。
施術者の経験と状況	出生年	それで、東京に出ましてね、東京に出れば、自分が働けば、働いただけの1割くれるんです。
施術料・収入の状況	仕事の対価	歩合っていうやつですね。1割くれるんです。あ、ごく少量ですね。少量ですけど、1割くれて、それで、教えてくれたんです。
施術料・収入の状況	仕事の対価	だけど、その時分の先生なんていうものは、わからないのが多くてね、本を読むのを嫌いましてね。
師匠の経験と状況	本が嫌いな師匠	ええ、先生が本を読むのが嫌いなんです。本を読むと怒るんですね。そんなものは読んでたんじゃ駄目だと。
師匠の教え	本が嫌いな師匠	ええ、先生が本を読むのが嫌いなんです。本を読むと怒るんですね。そんなものは読んでたんじゃ駄目だと。
同業者・仲間に関すること	弟子の苦しみ	そうなんです。みんな、それで苦しんだんです。
師匠の教え	師匠の考え	ええ、自分の覚えるだけのことを覚えりゃいいんだと、こういう考えなんです
講師・教師に関すること	盲人の講師	いや、見えない人です。
師匠の経験と状況	低級な師匠	見えない人でね、点字などでも、やっと読める人です。それで、私は、あまりいい先生じゃなかったです。鍼の先生としては最も、何ですね、低級な先生で
施術者の経験と状況	兄弟子として教える	それで……。私が勉強することは文句言わなかったんですね。そのかわりね、自分の家で弟子をとっておりましよう、それを教えてくれと言うんです。
施術者の経験と状況	特別待遇	ええ、なんですね。そのかわり、私は特別待遇でね、よそにも習いにやってくれました。
施術の方法と考える	手技に対する考える	そういうわけですけど、先生としては決していい先生じゃなかったです。それが、まあ私の幸せだったんですね。あまりいい先生に……。私なりの主義は、大体……の真似をしてはいけないという考えなんですね。
施術の方法と考える	独自の手技	……。それじゃあいけないと思います。やっぱり……。独創的でなけりゃ駄目だと、そういう考えを持っておりますもんですからね、だから他人の真似は絶対にしないと。だから私は……。技術……。私独特の技術でやっております。……。○加藤 そうすると、1日のうち毎日……。お入りになってからどのぐらい経ってから、その先生に通いに行かれたわけですか。○I そうですね、1年半ぐらい経ってからですね。○加藤 はあ。その先生は、新しい学問のほうをお習いになって……。○I ええ、新しい学問のほうをやっている人です。
同業者・仲間に関すること	新しい学問の先生	○加藤 それは、西洋医学。○I ええ、そうです。○加藤 生理、解剖、病理なんていうことを。○I ええ。
学習・教材に関すること	医学の知識	○加藤 それは、西洋医学。○I ええ、そうです。○加藤 生理、解剖、病理なんていうことを。○I ええ。
学習・教材に関すること	点字での学習	そうなんです。点字でございますね。
学習・教材に関すること	点字教材	で、まあ、その時分に点字の本というのは、この間、都盲協会の歴史を調べるために、いろんな人が集まって、自分の知ってることを話をしたんですが、まあ、医学の本というのはなかったです。
学習・教材に関すること	当時の教科書	……。のは、『実用解剖学』というのがそれなんです。『実用解剖学』というのは、その時分の我々によかったんです。あの『実用解剖学』の著者は今田東という人ですが、あの人は、あの時分のイエス……。の聖書の……。訳された人だったんです。その本を点訳されて50部か60部か会員が買ったんですね。買ったから、やれたんです。それが、まあ、いちばん初めなんです。
学習・教材に関すること	本の手写し	……。のを、書いて写したんです。
学習・教材に関すること	移すことが学習	これが……。なんですね。写すということは、最もいいことなんです。それが非常に役に立っていると私は思っておりますね。
徒弟制の内容と状況	徒弟制度の否定	……。ことは徒弟制度ということはよく……。といいますけど、私はそうは思いません。決して徒弟制度は、あるけれども、……。いいことはありません。
師匠の経験と状況	低級な師匠	それはなぜかという、一般に……。嫌なんですよ。なぜ嫌なのかというと、先生が何も知らないんです。先生が知らないから、私は嫌だったんです。
講習所・学校の状況	存在した盲学校	まあ、東京の、東盲といった、あれですね。それから、そのほかの……。○加藤 そうですね。それが、まあ、いちばん初めなんです。
師匠の経験と状況	弟子の数	……。10人か15人ぐらいいたことありますけど、そんなにいないこともあったで
徒弟制の内容と状況	師匠への入門	そうなんです。私は、入門して、そうですね、1カ月ぐらいで働きに出まし
徒弟制の内容と状況	練習台	ええ、そうなんです。好きなんですから。どんなことされたっていいんですか
施術の方法と考える	手技に対する考える	あるんですけどね、私はもう、そんないけないところがあるというのが間違っ
施術の方法と考える	刺鍼に対する考える	ええ。鍼というものは、どこを刺してもいいもんだと。悪いところはないないんだと。皆さんご存じかもしれないけど、大久保適齋という人がいるでしょ
施術の方法と考える	刺鍼に対する考える	あの人の場合ね、……。という著書に、「鍼技の……」という文章があるんです
施術の方法と考える	禁穴に対する考える	これは素晴らしいものですね。それによりますと、すべて鍼をやってもいいんだと。どうしてもいいんだと。だから、要穴だの、禁穴だの、そんなものをどうのこうの言っていられないと。もし禁穴……。なら、それは技術が未熟な……。解剖学がわかっていないこと、生理学がわかっていないこと、診断が確実でないこと、そういうふうなことから、未熟なものには禁穴というものがあ

施術の方法と 考え	禁穴に対する 考え	その本に、こういう 文句があるんですよ。「 青酸、セイヒ、これ猛毒ありといえども、医師薬籠中欠く べからざるものなり」って、こういう ふうに書いてある。ね。青酸だの、イヘイだの、そういうものは、自分の薬籠中のも のになれば使って効があるんだと、そういう 考えなんです。だから、暗に、禁穴だとか要穴だとかいうことを論じることは間違いだと、こう 言うんですね。
徒弟制の内容と 状況	練習の自汗	○加藤 私、鍼のことは素人でよく 存じませんけども、確かそうでございますね。それで、少しまた修業中のことを伺いたいのですけれども、先生が弟弟子 でしょうか、あるいは兄弟子に教えられたのかもしれませんが、それは 朝、こう 何時間とか教えるわけでございますか。 ○I まあ大体、午前中ですね。 ○加藤 それは個人教授、1 人対1 人……。 ○I ええ、1 人1 人。
学習・ 教材に関するこ	点字教材	教科書なんぞ、ないです。
学習・ 教材に関するこ	医学の知識	だから、今のように……あった時代じゃないんです。
学習・ 教材に関するこ	当時の教科書	ええ。昔のお弟子さんの教科書というのは、杉山……。
学習・ 教材に関するこ と	師匠の暗唱	○I あれをね、こう、先生が暗唱してくれるんです。それを、じーっと、う つむきになってね。 ○加藤 ええ。 ○I それで、聞いてて。 ○加藤 はい。 ○I それで覚えたんです。そういう やり方をやってた時代ですね。
学習・ 教材に関するこ と	自分で写した教科書	それはありませんし、私は、当時あった医書はすべて、自分の手に入るだけの ものは手に入れて、写した。
学習・ 教材に関するこ と	自分で写した教科書	写したというようなふうで、その辺に、まあ高級なものとしては、橋本節齋さ んの『 近世内科全書』だとか、それから『 近世診断学』だとかね、そういうふ
徒弟制の内容と 状況	年季の期間	7 年で、その7 年が勤められれば。
徒弟制の内容と 状況	必要なかったお礼奉公	○加藤 お礼奉公なんていうのは。 ○I お礼奉公なんていうのは、ないです。昔はそういうこともあったらしい んですけどね、それはないんです。 ○加藤 その間、親御さんが親元のほうで何か負担するというようなことは。 ○I いや、ありません。何もありません。
徒弟制の内容と 状況	授業料としての食い扶持	昔はね、私も経験しないんですけど、昔、親元から食費を持って行ったもん だそうです。
施術の方法と 考え	施術から学んだこと	行きますと、やっぱり、患者さん側のほうで……してくれて、それで、自分が もっとよくなろう、よくなろうという、その1 つの楽しみがあって、それで、 だんだん、だんだん勉強が進んでくると、こういうことが……。……完全にす べて覚えていられたんです。話を聞いてきましてね、そのまま覚えて、それ を書いて、その話のとおりを書いたもんなんです。
施術者の経験と 状況	悪い癖	まあ、私は悪い癖が付いてしましましてね、何でも 書き留めておくということの 習慣がなくなっちゃったんです。それが悪いことでね、もうこのごろになる
施術者の経験と 状況	人との出会い	ええ、何でも覚えたんです。私どもはいろんな人に会うもんですからね、東京 にいるときは、その弟子に入って間もなく、東盲を出た人でね、その人が非常 にたくさんの本を持っていた人があるんです。
学習・ 教材に関するこ と	た く さん の 本	それはた く さん の 本 を 持 っ て い る ん で す 。 い ろ ん な 種 類 の 本 を 持 っ て い る 人 。 それで……。
同業者・ 仲間に関する こと	点訳をさせた人	あの人はね、非常に本を、お母さんから小遣いをせびっちゃ本を点訳させて ね、それでやった……だから……何度も言うように小遣い……いろんな本持っ
学習・ 教材に関するこ と	点訳された旧約聖書	何でもありました。ですからあの方はね、旧訳聖書のね、まだ旧訳聖書出てな かった……、旧訳聖書は全部持っていました。
学習・ 教材に関するこ と	た く さん の 本	……、ええ。そういうものでもね、それから哲学でも心理学でも、いろんなも のを持ってきましたよ、その人は。それから、歴史学ね。
師匠の教え	師匠の考え	ええ、そうです。それで、しませんでね、そんな余計なものを読むと怒られる から。私は、向こうの気に入らないことをね、あえてすることはしなかったも んですからね。その先生というのはね、面白い人で、石鹼を買わせないんです
師匠の教え	師匠の考え	そうです。お風呂へ行くのに石鹼を使っちゃいけないって、生意気だって、そ う言うんです。それで、若いもんはみんな使わんですよ。私は、まあ、先生が そう言うから私は使わなかった。そんなふうな人でした。
徒弟制の内容と 状況	年季の期間	○加藤 徒弟の入門のときの規則でございますが、契約書を取り交わして、も し年季が明けないうちにやめたり、逃げていきましたり。 ○I そういうときには食料費を払わなくちゃならない。
徒弟制の内容と 状況	やめる事情	やっぱり家の事情でやめる場合はあるでしょう。今なら許されないこと です。今なら、そんなことね。それで、許されないことなんですが、それから、 その当時に自分が持っていたものを全部差し押さえてしまうんです。
徒弟制の内容と 状況	師匠の差し押さえ	お弟子さんが持っていたものを、師匠が、行李とか荷物はみんな押さえちゃ
徒弟制の内容と 状況	開ける前にやめれば請求される食い扶持	それで、その上、親元からいままで住み込んでいた間の食費を弁済させると。
徒弟制の内容と 状況	弟子入りする際の契約	ええ、そうなんです。そういう保証人がありましてね、保証人が立ち会いの下 に契約書を交換するわけです。
徒弟制の内容と 状況	弟子入りする際の契約	保証人というのはね、大抵、まあ、その先生の知ってる人が保証人になる。
流し の 状況	笛を吹いての流し	……もとの師匠……もんですよ……。私の場合はそんなことはしません。昔、 笛を吹いて流したんです。あれは、私の場合しません。
師匠の教え	師匠の考え	それはね、そのオオキさんという人は、それを1 つの誉れにしてたんです。
施術の方法と 考え	患者数	そうですね、……10人ぐらいやってましたね。
施術料・ 収入の状況	1日の収入	例えば1 日にいくら働いたと。その1 割くれるんです。
施術の方法と 考え	他人の手技	ええ、まあ外のと、それから、私どもは、どういう人はこういうふうにやるん だというのを、つまり。
実技の稽古	手技の練習	○加藤 聞いてきたり。 ○I 聞いてきたり、見てきたりして、それで、盗むわけです。
社会情勢に関するこ と	蕎麦屋の出前	ええ、そうなんです。……が深いもんです。昔の制度に、こういう制度があっ たんです。そば屋の出前持ちは、そば屋の前では出前持ちの提灯を見せびらか さないで通るとというのが礼儀だったらしいですよ。そば屋の前を通るのに、出 前持ちの提灯を見せびらかして通っちゃいかん、そういう礼儀があったんで
流し の 状況	流し の 経験	それを、昔は流して歩きましょう。俺の看板下を吹いて歩くって、それで親父 が怒ったもんです。

師匠の教え	師匠の考え	……オオキ先生という人は、そういうことはない人です。なかなか太っ腹な人ですからね。なに、なに、そんなこと言ってることはないさ、やるだけのことをやってりゃいい、構うことはないよ、というたちでしたね。
実技の稽古	鍼の手技	2 年ぐらい経つと教えてくれます。
実技の稽古	灸の手技	灸というものは、盲人では非常に……しにくいものです。
実技の稽古	灸の手技	灸というのはね、皆さんご承知でないかもしれませんが、艾をつまむ堅さ、柔らかさ、それから身体にくっ付ける技術、そして、火をつける方法ですね、それは非常に……。その火のつけ方によって感じが違うのだそうです。熱くなくて、気持よく刺激が来ると……。
実技の稽古	灸の手技	ええ、そこが微妙なんです。……けど、盲人が灸をやるっていうのは、やめたほうがいいと思いますね。
学習・教材に関する こと	授業料	○加藤 医学を外にお習いに行かれたそうですが、失礼ですが、そういうのは、授業料みたいなのは払うわけでございますか。 ○I それはね、先生のほうでお届けしてくれるんです。
学習・教材に関する こと	旧姓中学の勉強	そうでございますね、ええ。私は、あの当時から思ったんです。とにかく旧制中学ぐらいの勉強ができ……。そういう……。勉強したもんです。
学習・教材に関する こと	本の手写し	ええ、アキモト先生のときもあったけど、ほかにも、それ以上本を持ってる人がいて、それをみんな借りるんです。私にはいくらでも貸してくれましたからね。それで、……。すると私は写して返したから。
学習・教材に関する こと	本の売却	……。点訳しましたね。やったんです、……。書は……。あれ、……。自分の財政上から売ってしまったんですよ。……。持ってた……。……。やったんです。
実技の稽古	手技の練習	板を揉むわけですね。ああ。
施術の方法と 考え	杉山流の施術	……。ね、民間企業なんです。……。揉むのと押すのと……。軽く叩くと、その4 つしかなかったのです。それで、適当な方法を用いたのが、鍼をやる人の……。それで、よく杉山流なんていってやっていますが、……。うまいのがいますよ。すごくうまいのがいる。やってみた……。だけど、私どもはやりません……。
施術の方法と 考え	出先での食事のふるまい	いや、そんなことはありません。私どもはね、出かけていきますでしょう。行った先で何でもご馳走してくれますからね、お腹がすくっていうことはあり
施術料・収入の状況	実力で収入増加	ええ、そうなんです。それが、腕前のいい奴は余計もらうのです。
講師・教師に関する こと	学校の講師	……。お留守になりましょう。……。私どもはどうしても、私は非常に、その時分には東盲の……。いちばん最高だったんでしょう。最高だったんだけど、そこに入りたいなと思ったんです。思ったんだけど、だんだん考えているうちに、私の知っている医療のことは決して知っていないということがわかったんで
施術者の経験と 状況	入学する必要のない盲学校	それで、私以上のものは知らないということがわかったので、もう東盲なんか行く必要はないと、そういう考えを持つようになった。
同業者・仲間に関する こと	優れた先生	あの人はね、非常に優れた才能を持ってた方なんです。だけど、技術的にはあまりうまくなかったらしいです。
同業者・仲間に関する こと	優れた先生	技術的にはうまくなかったけど、学問的には大したもんだと。ですから、昔の校長の小西先生が、奥村先生の講義のときにはちゃんと礼をして入ってこられてね、そういうふうになさったそうですよ。やっぱり、何ですよね、相当に
検定試験・免許取得の 状況	内務省例による検定試験	昔はね、師匠に付くでしょう。付きますとね、明治44年に内務省令が出ましたでしょう。あれは4 年間の修業ということになってる。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験を受けるための証明	4 年間の修業を先生に付いてしたという証明をもらうんです。その証明をもらえば、試験が受けられた。ところがね、その証明を出すのにお金を取った奴がいるんです。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の受験資格	ええ、明治44年、あのときに手続をすりゃ、ただくれたんですけどね。ただくれたんだけど、私は嫌だと言って、私はちゃんと4 年間勉強して、それで警視庁に試験を受けに行ったわけですよ。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験	大正3 年ですね。大正3 年4 月に行ったんです。それで、まあ行ってみるとね、随分ひどいのがいるんですよ。もう15回来ただのね、いうのがいるんですよ。それで、あなた初めてですかって言うから、初めてだよ、こんなもの……。たまるもんかって言いましたら、その時分に私はいちばん良かったそうですけ
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の不合格者	それはね、勉強しないんですよ。勉強しない。山かけて来るんです。
検定試験・免許取得の 状況	乙種按摩	ええ、乙種按摩というのは2 年間です。
検定試験・免許取得の 状況	甲種按摩	それは、マッサージができないんです。マッサージができないから、私は困るから、嫌だから、4 年間で甲種按摩術を受けたんです。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の監督	ええ、両方よくないんです。私どもが試験を受けたときには、何が試験官だったですよ、クリキウタヒキ……。っているでしょう、失明軍人で。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の監督	ええ、東盲の先生。それから、小川源助。その人たちが試験官受けてましたよ。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の内容	口頭です。口頭プラス技術を実際やるんです。
検定試験・免許取得の 状況	口頭での試験	ええ、ないわけです。医者が口頭で言うんです。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の内容	難しくありません。あんなの一気に、完全に。完全だったでしょうね。
講習所・学校の状況	盲学校指定制度	盲学校の指定という制度があったでしょう。その指定の盲学校を出た人は試験を受けなくてよかったの。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の受験資格	年季は7 年ですけど、免許は4 年経てば取れるわけでございますね。先生の場合、年季は7 年でしたけれども、4 年目にはもう。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験を受けるための証明	許可って、証明書が要るんです。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験を受けるための証明	出さなけりゃいけないんですけどね。出さないなんてありませんよ。
施術者の経験と 状況	師匠の代診	○加藤 免許を取ったあと、一人前になるわけですよ、一応法律的には。 ○I ええ。 ○加藤 そういう場合に、お師匠さんの待遇なんかが変わる、そういうことは。 ○I 変わりませんけどね、私どもは先生の代診に行ったです。代診に出かけていった。あそこ行ってくれ、ここへ行ってくれと言って、自分の行ってた
施術の方法と 考え	施術の経験	勉強にもなりますし。
施術者としての独立に 関すること	独立	だんだん、何ていうか、お得意が増えるということでございますね。で、年季を終えなくても免許を取ってしまえば、一人前の人で独立もできたわけござ

徒弟制の内容と状況	逃げる弟子	○加藤 逃げ出すというか、そういうような人も。 ○I だからね、非常によそへ行くなんていうことを嫌ったんです。私なんぞ、親父さんが死んだときなんぞ、私は大分県ですけど、大分県にやってくれ
徒弟制の内容と状況	逃げる弟子	○加藤 ああ、そのまま帰ってこないと。 ○I ええ。ちょうど大正3年に免許取りましたでしょう。で、親父さん3年に死んだんですよ。それで、やっぱりやってくれません。
徒弟制の内容と状況	徒弟制度の否定	そうなんです。そういう点はいけません。今の、何ですネ、民法上からもよく
施術者としての独立に関すること	地元での開業	私どもは、大正3年に免状を取りましてね、大正5年に大分県に帰りましてね、それで向こうで開業したんです。
施術の方法と考え	患者数	開業してね、ただみたいにあくやっただんです。まあ患者が来た来た。もう毎日30人以上来るんだ。で、こっちは疲れてしまう。それを今の人はやらないから駄目なんです。すぐお金を取ることばかり考える。
師匠の経験と状況	師匠の援助	○加藤 援助は別に師匠は全然しないんですね。 ○I 本当はね、そうすべきものなんですけど、やっぱり師匠なんていうのはね、みんな貧乏なんです。貧乏なんだから、できないんですよ。
師匠の経験と状況	貧乏な師匠	流行られたけどね、あれは細君がだらしのない人でしたからね、貧乏してましたよ。冬になると、質に入れちゃあ米買ったもんですよ。
施術者としての独立に関すること	開業のルール	8町以内にね、8町以内っていうんですよ、随分ひどい話ですよ、8町以内に開業しちゃいかんと、こういう、吉田流にはその例があるんです。
同業者・仲間に関すること	吉田流の人	……やくざの遊び人みたいな人は、あんまが好きでね、非常にあんまが好きだったので、自分が独特のあんま術を考え出して、吉田流というのをつくった
師匠の教え	師匠の考え	まあ、そんなことは言いません。そんなこと言わないのはなぜかと言うとね、どこに開業したっていいよ、開業する人が多けりゃ流行るんだから、だから開業してもいいよ、という人でしたから。
施術者としての独立に関すること	開業のルール	一般に、昔の堅物屋はみんな、8町以内はいけなとかいうようなことを言ったんですよ。
社会情勢に関すること	盲僧	あれはね、熊本県にあるんです。熊本県と鹿児島県にあるんです、盲僧はね。
講習所・学校の状況	存在した盲学校	森清克さんがね、あれは軍人で、失明して、それで、やったんですけど、あそこは、俗に、足が利かなかったり、手が悪かったりするような人ばかり集めたもんなんです。
講習所・学校の状況	学校の創設	それで、あれは、どうしてできたかという、長崎の盲学校を出た人が3人いたんです、その人たちが塾を開いてたんです。志柿という人と、小野田という人とね、それから佐藤という人と3人、塾を開いてね、それが合同して盲学校になったんだと思う。
講習所・学校の状況	授業料	塾だったんです、ええ。米を1升持っていきますとね、1日に1升。
講習所・学校の状況	授業料	ええ、1日に1升です。1升持っていきゃあよかったの。
講習所・学校の状況	塾のシステム	それで、お弟子さんを使って働かせて、まあ9割ぐらいをお師匠さんが取るわけでございますね。その上、食費を取る。
同業者・仲間に関すること	盲学校の卒業生	それで、いま大分にオオツカシゲオという人がいます。これは有名な人ですよ。
同業者・仲間に関すること	盲学校の卒業生	ええ。非常に流行ってる人です。有名な人です。
同業者・仲間に関すること	盲学校の卒業生	ええ、今いるんです。大したもんだ。それが、その大分盲学校を出た人です。
同業者・仲間に関すること	盲学校の卒業生	ええ、出た人でね、なかなかよく勉強した人でね、それで、あれだけのものをつくり上げたんです。
施術者の経験と状況	東京への上京	東京に行けばどうか道があるだろうということで、東京に来たわけなんです。それで、東京に来たのは何かというと、経済的に非常に便利だったからですね。つまり、自分のほうから何も持っていないでも、自分の働きによってやっていけるということは、それは大きなことだったんです。
徒弟制の内容と状況	重い負担	はあ。大分じゃあ、1升持っていくんじゃ、うちのほうからもだいぶ仕送りをしなきゃいけないわけでございますね。
学習・教材に関すること	自宅での学習	○加藤 そうでございましょうね。で、ご入門なさったのは15歳で、学齡のころ失明なさった。だいぶお宅で、それじゃあ。 ○I うちでね、随分勉強しました。少し大きな教科書だと読めたんです。
施術者の経験と状況	視覚障害の程度	○加藤 ああ、弱視の程度でございましたんですね。 ○I ええ。
学習・教材に関すること	当時の教科書	大きい昔の教科書は読めたですよ。
施術の方法と考え	小学校の知識	○加藤 ああ、なるほど。じゃあ、小学校ぐらいの知識は入門するときにはもう修得されていたわけでございますね。 ○I ええ、そうでございますね。
社会情勢に関すること	あん摩専門の運動	ええ。あれは、あの人が按摩専門ということを言い出したんですがね、按摩専門というのに対しては非常に反対者が多かったんですよ。
社会情勢に関すること	あん摩専門の運動	ええ、盲人の業者の間でも反対者が多かった。職業を専門するということとはよくないという考えが多かったんです。それで、千葉勝太郎という人はなかなか偉い人であった。
社会情勢に関すること	盲人の運動	偉い人です。あの人の財産は、ほとんどが盲人の運動に注ぎ込んだんです。
社会情勢に関すること	鍼灸同盟会	モリタさんも、あれはコウゾウ組ですからね、反対です。あの時分に鍼灸同盟会というのがありましてね、その鍼灸同盟会の連中は反対だった。
社会情勢に関すること	鍼灸同盟会	○加藤夫人 鍼灸同盟会というのは、どういう性質の会なんですか。 ○I やっぱり業者の会です。
社会情勢に関すること	東京鍼按協会	ええ、そうです。それで、千葉さんの会は「東京鍼按協会」といったんです。
社会情勢に関すること	東京鍼按協会	保持協会は、ずっとあとです。千葉さんがまだ存命中は、「盲人鍼按協会」といったんです。
社会情勢に関すること	選挙運土	ええ、板垣さんがね、何したんですけどね、あの時分に政治屋というのはね、盲人をうまく利用しようとしたのが随分あったんですよ、選挙運動にね。
社会情勢に関すること	選挙運土	○加藤 なるほどね。同情票みたいのが……。 ○I ええ、その辺は今でも同じなんです。同じなんです。ええ、いましてですね。あの人は、31のときに失明したんだそうですね。エンショウ皇太后陛下のご大喪のときに行って、目が非常に痛んでね、それで見えなくなったんだそうですね。
同業者・仲間に関すること	盲人の政治家	○加藤夫人 明治22年ごろに「東京盲人協議会」というのがあったそうなんですけど、それと神田美土代町の講習会なんかとは関係は全くない。 ○I ええ、そうです。
社会情勢に関すること	東京盲人協議会	○加藤夫人 明治22年ごろに「東京盲人協議会」というのがあったそうなんですけど、それと神田美土代町の講習会なんかとは関係は全くない。 ○I ええ、そうです。
講習所・学校の状況	神田美土代町の講習会	○加藤 神田美土代町の講習会というのは、技盲の前身でございますね。 ○I ええ、そうです。

講習所・学校の状況	文京盲を吸収した技盲	技盲というのは、本願寺で東京盲人協会財団というのをつくってね、それで盲人教育を始めたんです。それで、あそこの本願寺の一部分を学校にしてね、それで始めたもんなんです。そこに入ったのが吉田コウゾウなんです。それで、今度、都に移管するときに、ほとんど今の文京盲が吸収してしまった。
学習・教材に関すること	型にはまった教育	ええ。今の盲学校は臨床、このごろだいぶ臨床のほうをやっていますが、あれはセリザワさんの型ではめ込んでやっていますからね。そう私は思うんですよ。あれは型ではめてる。それで、あの人は漢方のほうに持っていったね、それでセリザワさんの型ではめてやってるというふうに思えるんです。
講師・教師に関すること	学校の講師	○加藤 ああ、そうですか。私は今、東盲で教育学や英語を教えているので、鍼灸のことはよく存じませんですが、セリザワ先生というのは、漢方と西洋医学を結び付けようとなさった。 ○I ええ、そうなんです。大体あの人は漢方をたくさん読んでいますからね。かなりたくさん読んでます。
施術者の経験と状況	再上京	東京には、大正7年に来ました。
施術者の経験と状況	再上京して受けた中等教育	○加藤 大正7年にまたいらした。そうですか。それからずっと東京に。 ○I ええ、そうなんです。向こうの人は、居てくれるとさんざん言ったんですけどね、ここに居たんじゃ駄目だと思いましてね。ここに居たんじゃ、この土地のいい鍼医者になれるかもしれないけど、しかし、もうそれで止まりだと。そう思ったから東京に出てきたんです。それで私はね、中等教育から教育学、哲学、心理学、そういうふうなものにも進むことができてね、それで一生懸命その時分にはよく勉強したですよ。
学習・教材に関すること	良い本の出版	○加藤 お勉強なさった。大正末から昭和初期にかけてでございますね。 ○I ええ、そうです。昔は割合、その時分にはいい本を出したんですよ。
学習・教材に関すること	当時の教材	出版した本が出たんです。どういのが出たかという、神戸に六甲社というのがあったです。あの方がね、活字で新聞を出したですね。点字の活字で、紙を濡らして印刷したんです。
学習・教材に関すること	突字の教材	活字を使ったんですね。活字をいながら使ったんです。
学習・教材に関すること	良い本の出版	ええ、文字じゃないです。点が出てね。非常に固い点ですよ。そういうのはね、早稲田文学だの、そんなものがだいぶ出たです。
学習・教材に関すること	良い本の出版	それから、もと点毎の初期に入ったコマタケさんという人があったですよ、京都の学校を卒業した。これが早稲田文学を出版しましてね、なかなかいい本を出してくれましたよ。
同業者・仲間に関すること	無くなった先生	○加藤 ああ、そうですか。左近允先生というのがお若くして亡くなられた。 ○I ええ、若くて亡くなられたんですね。今の兵盲の前ですね。
歩合制	1割の歩合	○加藤夫人 先生は、オオキ先生のところにいらっしゃいましたときに、大体1割いただいたということでしたけど、オオキ先生以外のお師匠さん、ほかのお師匠さんに付いてるお方の話でも、やはりそれぐらいだったんでございましょうか、当時一般に。
施術料・収入の状況	月給	よそのことをあんまりしゃべりますとね、嫌がられるような気がいたしますもので、やりましたけど。でもね、小遣いには足りるんですよ。私どもは月に30〜40円は働きましたからね。
施術料・収入の状況	あん摩施術量	○加藤 当時、例えば1回治療するとどのぐらいになった時代ですか。 ○I 昔はね、いちばん初めに、かなりうまい人で20銭だったです。
施術料・収入の状況	あん摩施術量	○加藤 20銭。それは、揉むほうですか。○I ええ、揉むほうです。で、鍼は50銭だった。
施術料・収入の状況	鍼の施術量	それでね、鍼は50銭とりましてね、それで、20銭とれる人は相当うまい人だったです。ええ。まあ今の人は知りませんよ、そんなこと。
学習・教材に関すること	使用した点字機	私が使ってたのは、アメリカ製のやつを使ってました。アメリカのね、クーパーの機械を。あれはいい機械です。もう、あれを使ったらほかのものは使え
学習・教材に関すること	使用した点字機	それが、ぶっ壊れてるんです。壊れて、もう使い道にならないぐらい壊れてる。修繕がきかなくて。それを修繕しながら、いしい点字の聖書を書いたん
学習・教材に関すること	使用した製版機	○加藤夫人 先生のご自宅に製版機を置いて。 ○I いいえ、製版機は通っていった。 ○加藤夫人 どちらに製版機がございましたか。 ○I 柏木でやっていた。
学習・教材に関すること	使用した製版機	柏木教会のそばです。大久保の駅を降りて少し真っ直ぐ行きますとね、あそこに、いま交番がないかもしれないけど、昔は交番があったんです。その交番のところを左に曲がりますとね、すぐだったんですよ。
学習・教材に関すること	聖書の作成	○加藤 聖書っていいますと、カワゴエゲンタという方はご存じですか。 ○I ええ、カワゴエゲンタ、知ってます。
同業者・仲間に関すること	抜き書き	ええ、あの人はね、私もあそこの本を買いましたけど、あそこの本は随分自分勝手に抜き書きをやるんでね、困ったんです。抜き書きをやるんで困ったんですが、あの人…あそこに条件を付けましてね、抜き書きしないこと、そのかわり何部というのでやっ
同業者・仲間に関すること	点字出版	○加藤 カワゴエっていう方は、点字出版を専門にやっていたらっしゃった。 ○I ええ、専門でやってたんです。
同業者・仲間に関すること	盲人の出版社	○加藤 見えない方なんですか。 ○I ええ、見えない。
学習・教材に関すること	点字機	○加藤夫人 その方の機械は1点ずつの機械。 ○I あれはね、ケイレン機っていったね、山下さんがやったのと同じ。
学習・教材に関すること	点字機	そう、大分なんです。あの人は、ケイレン印刷機じゃあもうベテランですよ。
学習・教材に関すること	聖書の作成	○加藤 聖書っていうと、終戦後までありました文語の聖書、あの聖書の原版をおつくりになった。 ○I ええ、そうなんです、新訳と旧訳とね。
社会情勢に関すること	米国聖書協会	米国聖書協会というのがあったんですね。そこでやってたんです。ところが。
学習・教材に関すること	聖書の値段	ええ、あれは安いわけですよ。ヨシモト先生が寄付してたんです。そんなこと言うとヨシモト先生に怒られるけど、ヨシモト先生が寄付してた。それで、聖書を30銭で売るので、その分担保金を聖書協会に払ってたんです。
学習・教材に関すること	聖書の値段	今の旧訳聖書の「イザヤ書」だの「創世記」なんていうのは莫大な厚いものですが、あれが30銭ですもん、今の口語訳が。
学習・教材に関すること	聖書の作成	ええ、それはね、とにかく聖書には熱を入れたものです。とにかくこの1行に、そのたった1行によって魂が救われる人があるんだと、そういうふうな考えでやったから、どうしてもそうしなくちゃ駄目だった。二足の草鞋など穿く
同業者・仲間に関すること	仕送り	それは……よ。とにかく、でもね、ヨシモト先生が私のところに送ってくれたんです。それはね、あの時分に月30円かな、30円送ってくれた。それで生活していったんです。

施術者の経験と状況	家族の共力妻との作業	○加藤 奥様と2人でなさっていたんですか。 ○I ええ、家内はその後ですけどね。
施術料・収入の状況	月給	私は看板も何も出さないでいても、その聖書を辞める時分には、月に150円ぐらいの収入があったんです。
施術者の経験と状況	廃業	ええ、看板出さないでね、それだけ収入があった。それを辞めたんです。
学習・教材に関するこ と	点字本	点字の印刷としては、あの聖書の点字がいちばん立派です。私が書いたんでそんなこと言っちゃ……、本当に立派です。あのぐらい立派に書いているのはありません。機械もいいんですけど。それと、内村鑑三先生の『羅馬書の研究』というのが5冊になってます、大きな本で。その5冊になってるのが、それなんどでも、読んでくださる方が、点字の最高だって言われたですからね。
施術者の経験と状況	無教会派	○I 無教会派という派はないんです。 ○加藤 ええ、派はない。矢内原先生。 ○I 無教会じゃない。つまり、教会には行かないというわけ。
施術者の経験と状況	洗礼	教会が嫌がるんですよ。なぜかという、洗礼は要らないと言うでしょう。洗礼は救いのためにはならないんだ、救いのためには信仰だけだと。つまり、洗礼は受ける必要はない。受けてもいいけど、受けることが信仰の助けとなるなら受けたほうがいい、こう言うんです。教会じゃ、洗礼を受けなくてもいいなんて言うと、それは嫌いますよ。

表2 1 「 O N」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
師匠の経験と状況	自分の師匠	田方按鍼学校というのは、私ども師匠がね、お弟子を取ろうとすると自分が点字が覚えられないから。点字というのは明治23年に日本にできたでしょう。
社会情勢に関するこ と	明治以前の資格制度	で、師匠は年取って全然覚えられないから、それで、つまり明治以前は鍼技やあんまは申請すれば村が、区長さんとか、あるいは村長さんの申請によって許可になったわけですよ。
検定試験・免許取得の 状況	内務省例による検定試験	それが明治45年内務省令ができて、検定試験を受けなければ免許を取ることができない、というふうにして師匠は自分が点字ができないから、
講習所・学校の状況	学校の創設	それでイナイダのムカシドの大村和吉郎という明治時代の衆議院議員がうちの師匠のいとこで、その人たちがいろいろのお骨折り、とにかく学校をつくろう
検定試験・免許取得の 状況	内務省例による検定試験	ええ。和吉郎という明治時代のこの辺の衆議院、その方やらいろいろの方の援助で、とにかく師匠は点字ができないからお弟子が取れないと。お弟子を取っても点字を教えなきゃ検定試験を受けられないということになってね、それで明治45年内務省令が出てそれで学校を起こすことになったんですね。
講師・教師に関するこ と	学校の講師	ちょうど、いまの長岡町の古奈という所にイシバシさんという豪華な家があって、その家の娘さんがあって、その娘さんは10いくつのときにオヤギリフボタさまと盃までしたあと、急に失明してしまってね、うちではいま財産があるから何にもしなくてもいいけども、財産というのはそんなふうに困らないと。親のない後に食うことがいまに困ると思って、東京へ出してね、それで鍼按を学んで帰った方があったんですよ。その方は……でしたから。その方を講
講習所・学校の状況	寄付での運営	それで財産がないから、全部寄付でやったから、それで自費は、学校っていったって、だから日曜学校なんですよ。
講師・教師に関するこ と	講師の通勤	毎日曜日やったんです。 それで、駿豆線いまは離れているからね、これが駿豆鉄道というときに協力を得て、長岡から大場には汽車で来ればね、その当時、2等車って、いまで1等だね、2等のパスを無料で出してもらって、それから長岡から駅までの人力車、車代はね、師匠が持って、あと全部無報酬で、それで毎日曜日に寄って、この辺のお弟子さんをたくさん集めて教育したわけね。
講習所・学校の状況	開校10周年記念	明治45年に創立して、私どもが入ったのは大正8年ですけどね。10周年記念もやって、大正13年ころまでやったんですよ。毎日曜日にやって、みんなほとんど無料でやったね。
学習・教材に関するこ と	学習内容	その当時は、内務省令のときは、いまのように義務教育というのはなかったんです。普通は試験がない。何にも専門教育だけしか、つまり教授すればね、普通教育することは全然なかったです。
学習・教材に関するこ と	当時の教科書	それでも学校で私どもが習ったのは、昔ね、『点字読本』という盲人の教育本があったね。『点字読本』第1、第2、第3、第4まで買ったね。第1でもって「あいうえお」を教えて、2、3はもう小学校3、4年程度から5、6年程度までのことをいろいろ抜粋して作ってあったね。
学習・教材に関するこ と	学習内容	ええ、国語みたいなもの。それをやって、それから今度は解剖学へ入り、いちばん初め『生理解剖学初歩』というかな、それをやって、それからいよいよ本科みたいな、本科になってから奥村先生の『普通按摩鍼灸学』というかな、これを大体基礎として教育したね。私どもはそれだけしか教育。あとは自分で必要な参考書を読んだんですけどね。
学習・教材に関するこ と	当時の教科書	あとは自分で必要な参考書を読んだんですけどね。大体、按鍼学校では、『普通按摩鍼灸学』を教科書として、大体5年から7年の方にしかできないですね。それだけやれば、当時、試験は受かったです。
講習所・学校の状況	学校の廃止	大正13年後の、実際の授業、専任も、師匠の所、私もなくなったね。僕らも卒業して、あともうなかったものだから、自然に終わったですね。
学習・教材に関するこ と	聞き書き	ええ、マスという方がホンアンショウの点字のほうを覚えておったから、で、毎週日曜日に来て、その当時みんなその先生が読むと、あとはもう筆記ですね。みんな筆記で。
講師・教師に関するこ と	学校の講義	それから講義はウメバラシンキというこの在の方がね、やっぱり中途失明の方があって、その方が講義をしてくれたからね。
講習所・学校の状況	講義内容	ええ、医学、普通学も、それでね。
講師・教師に関するこ と	講師の状況	やっぱり盲人でね、中途失明で、やっぱり指南を業としておった方でね。
講師・教師に関するこ と	講師の状況	その方は点字知っていました。その方は点字もできるし、珠算もできるしね、何でもできた方です。そういった方がみんながほとんど無報酬でね、教育したですね。月謝も大して取れてないですね。いちばん多いの、財源は、イシバシ先生の車代、車費がいちばん主だったから。あとはみんな無料でもってやった
講師・教師に関するこ と	講師の待遇	点字を覚えるって、覚えたあと、だから大した教育って言ったって、そういうことを、それでも授業料を払っている。それで、おそらく10何年間授業をやって、それで駿豆鉄道では無料のパスを出しててね、2等車の。
講習所・学校の状況	講義時間	ええ、朝9時から始めて、4時まで。

学習・教材に関すること	寺子屋方式	つまり、生徒はいくらもないから、段階をつけてね、つまり級も何もないから、昔なんて落第式だからね、つまり私らは、だからそれに入って点字読本をやるとか、あるいは翌年は今度は鍼灸学をやるとかっていてね、幾段階かに分けてやるんです。ただ、本当の昔の寺子屋式にやったですね。要は何年かの間に点字を覚えて、按摩鍼灸学を筆記して、みんな筆記で。仕上がったものが出来上がったわけだから、それで検定試験を受けたんです。
学習・教材に関すること	点字の学習	そうです。いまでも私もその次は点字版をまずあてがわれて、それから「め」の字を突いて。私が10いくつのときだからね、いまの小学校4年か5年だね。「め」の字を突く。「め」の字は2週間ぐらいやらされ、大体全部突けるんですね。全部「め」の字が突けたら今度は先生がね、「1」を違えて「1」を突く。今度は「1、2」を突ける。今度は「1、4」とかね、「1、2、4」、それから「2、4」と。これを教わるともうできちゃうんです。
学習・教材に関すること	点字の学習	今度は「あいうえお」をずうっとやってね、今度は「あいうえお」が出来上がると、今度は取ることを考える。実にうまくできているのが点字ですね。
学習・教材に関すること	学習内容	ええ、文章でね。第3は小学校4年生から、大体6年程度のことですね、第4までで。それから二宮金次郎の勉強ですかね。つまり字を覚えたりいろいろのことをやって、それからようやく今度は解剖学へ移って、いちばん主たるものは『普通按摩鍼灸学』。
学習・教材に関すること	専門科目の学習	いまないね。解剖学、局所解剖ですからね、全部、局所的にずうっとやってですね。頭から頭へ行ったり、筋肉から筋肉からね、全部局所的に。で、あとは自分でもって教科書、私どもはチカラクラ先生の『解剖学局処』、あれなんかそれから検定試験のときには先輩が、ウチムラさんという方が各府県の施行鍼灸マッサージ試験問題何かというかな、大体ね、これが頁数にして430頁ぐらいあったかな。これを通りずうっとね、遠回しを覚えちゃうとね、試験受ける必要なかったから。だから、大体それを覚えていくとね、試験が当たったんですだから私どもは17のときに、数えて17です、17のときに按摩術の試験にまず行って受かったんです。大正13年ね。
同業者・仲間に関すること	試験を合格した仲間	年季中ですがね。ちょうど5人、師匠の所から、学校から5人出るんです。兄弟子が鍼技を受けた人がウエマツにスギサワかな。それからセリザワさん、私どもではコサカ、ヤマモト、私、5人、あんまが3人、鍼技科が3人ぐらいと2人が大正13年にみんな取ったわけですよ。
講習所・学校の状況	盲学校令	それで、私は出てしまっているから、ちょうどそのときに盲学校令というのが大正12年かな。
社会情勢に関すること	入学へ向けた運動	出たんですね。それとみんな、我々もね、どうもこれから学校が方々へ、各県に1校以上できると。それで学校ができてくると、ちゃんとした学校ができるとこんなことで圧倒されちゃう。それで、学校へ行くべきだというんで、学校へ行くべく運動を私なんか率先してやったですよ。また浜松もこうやって、静岡でもこうやってね、方々の学校の学則を取ったり、みんなそんなのはこれこれ
社会情勢に関すること	入学へ向けた運動	そういったところが年季がもう大体明けて、まあまあぐらいやって見に行っただから、これで行けと。 それで行くべく運動をしたところが、コサカがどうやら、まあ、じゃあ学校へ行くならやってやろうということで行けたんです。
施術者の経験と状況	家庭の事情	私とヤマモトジロウは、私は家庭の事情でもってピタッと断った。ヤマモトジロウもやめ。
同業者・仲間に関すること	学校に入った者	学校へ入ったのがカミヤマというのがいま裾野在にいますがね、これは学校へ入ったです。これは横浜へ行っちゃった。それからコサカは静岡の学校へ入っ
同業者・仲間に関すること	学校に入れなかった者	で、ウエマツというのが昔、鍼灸マッサージの免許を持ってから静岡へ行こうとしたのが、それは入れないんですよ。もう免状を持った者は入れる必要ないと言う。こっちは勉強したいと、いや、勉強と言ったって、もう免許を持っている、免許、それで入れないですよ。ところが、これは静岡へ行って、トクダさんの所に婿へ入っちゃった。
検定試験・免許取得の状況	鍼灸の試験	で、私はとうとう大場へ残って、家庭の事情でもってしょうがないから。私が出ていって、師匠も困るものだから、18でもって早いけども、入る道を取らせるとね。それで大正14年に鍼灸の試験を受けに行ったら受かったから。受かったらもう学校要らんとするんですよ。
徒弟制の内容と状況	年季中のこと	それで大場で師匠を助けて、まだ年も明けないから、20歳まで年季だから、それでいてしまったです。それでヤマモトもいたんです。コサカが出て、私とヤマモトとあと残って、というのが14年、15年。
施術者としての独立に関すること	師匠の跡継ぎ	昭和2年には師匠の奥さんが亡くなったものでね、あと女中を使っていたけど、しょうがないです。「何とかしてお前、あとやらんか」ということでね。私は年が明けたら出るつもりだったですわね。いや、もう田舎にいないだろうとね。それがね、どうしても家内を持ってあとやれと言うんですよ。それで昭和2年11月、いまの家内を探してね、結婚して、あとやることで承服。
施術者としての独立に関すること	師匠の跡継ぎ	いや、昭和2年。それで師匠の家でそのままあとは引き継ぐことになって、昭和3年1月から師匠の名前でもってね、つまりずっとあとを継いだんです。
施術者としての独立に関すること	独立	で、昭和5年に震災で師匠の家が壊れて、それで初めて私は独立したけどね。学校は、だから私どもは最後だったです。大正13年卒業、あとはもうほとんどお弟子もなくて、自然に消滅したですね。
講習所・学校の状況	学校の歴史	明治45年です。だから明治45年から大正、10周年記念は私どもがやりましたね。盛大にやったです。だから大正13年か14年ごろまでボツボツ授業。14年ぐらい、自然に終わったね。
講習所・学校の状況	学校の講師	ウメバラさんがシンでもってやったですね。
講習所・学校の状況	学校の場所	場所はね、大場に青年の集会所があったわけですよ。いまのバスで通ってくるすぐ近くにね。
講習所・学校の状況	学校の場所	ええ、大場ですね。
講習所・学校の状況	青年の集会所	ええ、田方群中郷村大場という所です。だから、場所は青年のコウカイ、昔でいう青年が集会する所。そこをやっぱり皆で借りたんです。それで机が青年の集会所だから20ぐらいと、いくらぐらいあるかな。それで、教壇としてはちょうど人間の、おとなの大きさぐらいあるかね。模型が1つあって。
学習・教材に関すること	当時の教材	はい、解剖をやっているから、人体だけ。その代わりどこからか無理してね、経穴の付いたのをを買ったりしてね。どっかで探して、それが三島ぐらいかな、経穴が全部付いてね。昔の先生の所だと寝台が1個と、教材は模型が大人だったですよ。1個、それですね。
師匠の教え	師匠から習う実技	ええ、やったですね。それから、実技は師匠がやった。実技は師匠がやって、目的は学校では主に学問のほうだけが目的というかね。それだけの検定試験が受けられないから。

師匠の経験と 状況	師匠の生まれ	その先生が生まれたのは、元治元年といったかな。私が入門したときには、師匠は50いくつかな。57、8だったと思いますね。現在、ご丈夫でいると、100いくつになるかな。大体、徳富蘇峰先生と同じだ。
師匠の経験と 状況	師匠の年齢	うん、うん、うん。私がお弟子に入ったときに、私が12で入った年でも57だと思ったね。
師匠の経験と 状況	師匠の死	亡くなったのは昭和17年に東京で終わったね。こちらを引き揚げるのは、昭和8年に引き揚げたかな。引き揚げた。
師匠の経験と 状況	師匠の思い	ええ、大場の。大村和吉郎という明治時代の衆議院のいことになる、その方が率先して。最後、昔は内務省の指定になれば、その学校を出ただけで検定試験があったです。僕の師匠は指定でなかったから、結局。それで内務省が指定にしてみるという承認を持っていて、東京でもって倒れておしまいだから。だから、指定までこぎつけないで終わった。あくまで私立でもって。だから、師匠の名刺はいつも田方按鍼図学校を設立したという名刺を持ってね。
講師・ 教師に関するこ と	校長は病院長	校長じゃないです。校長は、いま三島に社会保険病院、あの病院の昔の院長です。ね。ヤマザキセイシヨウという方が校長の名前でもってね。
講師・ 教師に関するこ	校長は病院長	お医者さんです、三島病院の、いま社会保険病院のずっと。
講師・ 教師に関するこ	校長は病院長	前身ね。三島病院。その方が校長で、名前だね。校長であった。
講師・ 教師に関するこ と	師匠も 講師	いや、ほとんど出なかったからね、名前だけで。その代わり校長で、師匠は設立者としてね、設立者兼講師。だから、教授というのは講師、みんな講師。
講習所・ 学校の状況	学校名	いわゆる講習所のですかね、学校というものの。名前が田方郡按鍼図学校ですね。キギョウだと按鍼学校、按鍼学校。あんまと鍼技だったから。
講師・ 教師に関するこ と	校長は病院長	ええ。校長というのは一部だからね。名前を出したんです。医者が、つまり校長の名前を出したんです。
講習所・ 学校の状況	学校運営の協力者	みんな懇意な間柄だって、協力者はね、みんな房州で、創立も寄付でやった。寄付の帳面が残ってましたよ、ほとんど有志の所はね。みんなイケダとか…とかもらったのがね。つまり業者が、この辺の業者が協力してね、みんな自主的にですね。みんな真面目になってやったんです、……になるから。
社会情勢に関するこ と	当時存在した病院	ええ、俗にいう三島病院。あれは三島、三島病院と言ったね、きっと。病院として1つしかなかった。普通は医院だからね。三島病院とか沼津住友病院とかね、時の代表のね。
講習所・ 学校の状況	卒業生	ええ。まあ13年ばかり、ずいぶん卒業生はあるんですよ。私とほかに三島辺りの衆も通ったね。この辺も、みんな生徒を出したね。
師匠の経験と 状況	自分の師匠	アオキ先生という方も、そうですね、昔の方ですからね。
徒弟制の内容と 状況	みんな入る 年 期	みんな昔は年季に入って、師匠の所へ付いて。
師匠の経験と 状況	師匠が学んだ杉山流	いや、大場にはなかったですよ。私、師匠は、勉強はね、この三島市中泉村にね、いま中泉町だね。ナガクボという所があったんです。そこにミンプさんという東京の、昔いたね、東京の杉山流の鍼按を極めた方があって。
徒弟制の内容と 状況	師匠の食い扶持	ええ、名前。何と言ったかな。そこへまあ、昔のことだから、アオキさんというのは昔の豪家な息子だから。それで、師匠の分まで食い扶持を、普通は昔は五合扶持を持っていくのが普通でしょう。それを師匠の分まで米、荷物に付けていったというんだね。
実技の稽古	鍼の寒稽古	そして、昔の新前はですね、あんまと同時に鍼を勉強するには寒稽古というのをやったですよ。寒稽古ってどうするというと、いまよりずっと寒かったですね。宵に水を汲んでおいて、その水が凍って、それで朝4時、いちばんとか、4時から5時だね。一番鶏が鳴くと起きて、氏神さまへお参りをして、それから戸を開け放して、廊下へ箆を敷いて、それで手で氷を割って、氷の中に手をこうして、ブルブルっと音をさせて、それから自分の腿へ、両方へネジを打ったかな。片方は50本ずつ、両方は100本。毎日、毎日ですね、つまり昔は鍼医さんというのはともかく、いまの胃痙攣ですね、癩ね。これがいちばん主な
実技の稽古	鍼の寒稽古	それから、向こうへ行って、患者が苦しんでいるのにね、手をあぶってなんていうことは許されなかったです。冷たくても鍼が扱えるようにと、その寒稽古がなければ鍼を持たせないですね。それで手をこうして、手を冷たくしてその鍼を50本痛に、そこへ打たなければ寒稽古は通らなかった。
実技の稽古	鍼の寒稽古	それで師匠が見ていて、手をこうしろと、手をこうしろと言うから、ゴショゴショ音をさせるんだ。それで、鍼を打ったか打たないかということはどうしてわかるかと、確実にわかる方法があるわけです、師匠に。そこに正直に50本ずつ打てばですね、3日もやるといわゆる反応できれいに足が腫れちゃうです。歩けなくなる、向こうまで。歩けなくなるんです。
実技の稽古	鍼の寒稽古	そうすると腫れると、今度は師匠がその鍼をまた施してやり直す。そうすると何か昔の薬だね、その漢方薬、それをくれて、寝て起きると、汗をぐっすりかくとね、それが腫れがすうっとなくなってしまいます。それでその寒稽古というも
実技の稽古	鍼の寒稽古	正直にやって、足が腫れるまでいかなければ、何年経っても卒業できないから、先生の鍼の許しを得ずにするのが多い。正直に、正直に鍼を刺せばね、必ず腿が腫れてしまうと言って。
師匠の経験と 状況	盲人の師匠	ええ、もちろん盲人でしょう、はい。
同業者・ 仲間に関するこ と	晴眼の先生	昔はもうなかったです、ほとんど。もう都会ではあったね、イシバシ先生のお師匠さんは晴眼だから。オカモト ゲンシンと言ったかな。明治天皇の皇后陛下の鍼やったって言っていました。
同業者・ 仲間に関するこ と	晴眼の師匠	東京で。で、よくイシバシ先生が話しているのは、お迎えが来るとね、治療に行ってそれで治療してね、いつもその鍼が弱いんだってね。今度会うときね、鍼が弱いから、もっと強くするという、あっちからのなにあったの。
同業者・ 仲間に関するこ と	晴眼の師匠	それからね、胃倉に鍼したね。そうしたら「今日の鍼は結構だった」という一言を聞いたということ。ね。もう初めの効き始めは鍼は話ができねえから。黙って鍼をしてね、痛くねえから。弱いからというのをですね、もう少し強くしろと言われてね、それでとどめの鍼をしたから、「今日の鍼は結構だった」ということも聞いたということ。はよく言ったね。それは、イシバシ先生のお師
講師・ 教師に関するこ と	講師の状況	開業って、自分の家に来た者は、懇意な者はやったけども、営業はしてなかったです。何しろその当時、昔の財産家のお嬢さんだから、人が行かなかったんです。ね。 行くのは、こういうふうにならんかと頼みごとの奴が行ったです。鍼を持っていましたですね。鍼をほとんど営業では使わなかったです。つまり、身上がつぶれずに、最後のときは効力もあるからと教えたけども、それもその当時は
師匠の経験と 状況	弟子の養成	そういうこともあったら、師匠が卒業すると間もなく、師匠が終わってから大場へ来たしね、ええ、自分の土地へ。それで、お弟子を集めてずっと何十年かね、私が来たときは57だから、25～26、30年ぐらいですかね、弟子を養成したのは、はい。私なんかいちばんしまいのほうなんですよ。

師匠の経験と 状況	師匠の名前	昔の人はシンサイとかリョ ウサイとか言ってね、そういう のがありますね、昔、みんなお弟子に入ると師匠の名前を借りて自分の名前、みんな名前を借りて、シンサイ、リョ ウサイとか言って、私の代はもう大正の末期だから、そう いったものはだんだん薄らいできている。そのころはみんな名前も 行く とすぐ
徒弟制の内容と 状況	師匠への入門	12のときに、アオキ先生に来る前に三島のミ タショ ウト クさん とこに入門し
徒弟制の内容と 状況	1か月の滞在	ええ、ミ タショ ウト クさん ということだね。それですぐに名前をです ね、じゃあミ ガシラだからとミ ガシラ といって1 カ月もいたよ ね。 急にそこが嫌になって話を聞くと、三島をこうして向こうから、ト マリや新宿から大場へ行っている と聞いたんで、子どもながら嫌になる。向こう 側の 行ったら女の人 が1 人しかいない、お弟子がね。こっちへ大場のアオキさんには大勢いると言われた。アオキさんといえ ば自分の土地でしょう。それはそっ ちへ行 ったほうがいいと思っ てね、1 カ月ばかり行ってとうとう 辞めちゃった
徒弟制の内容と 状況	師匠への入門	それから大場へ入ったんだからね。大正8 年11月に入 ったかな。それから、うちでは五合扶持というの はやらないから、で、弁当持 っていて、早く。朝、弁当持 っていて、一日いて夕方帰 っ てね。昔は何でも弟子にすると、2 年ぐ らいはゴロンゴロン遊ばせていた ね。
徒弟制の内容と 状況	師匠への入門	私、12のときにその三島のミ タショ ウト ウさん の所へ行 ったときに、数え12 は少し遅 かったけど、本当の意味ではできませんが、10か11で行かなければい いものはできねえというわけ でした ね。13になっ て入門した者は、大抵ぐれ ちゃうです。伸びないです ね。本当の伸びる者は11ぐ らいでもって教えて、2 年ぐ らい無駄飯食 っ て、暇さえあれば柱を押し たり。
実技の稽古	手技の練習	〇〇 こう柱を押し たり、指を。 〇加藤 ああ、押すわけ ですね。 〇〇 ええ。それから、力出すようにと、暇 さえあれば枕を押し して、枕も箱枕 ね、あれを押し して、そうしてこの指を鍛 えた。それから自分の腿をしょ っ ちゅう揉むとか ね。だから、私の指はこん なのですよ、親指 ころ。
実技の稽古	手技の練習	これもですよ。だから、こうしてこうする でしょう。これ ね、これねえ。こま まで、ね、昔は。2 年ぐ らいは、まあ、やり っ こして ね。
施術料・収入の状況	施術の開始	それで時折、師匠が肩をこうや っ てね、だんだん、だんだん慣らす。それ できた者は近所へ揉みに 行 っ て、普通よりは半額とか7 分とかもら っ てね、だんだん仕事が入 った時分には一人前の人 が3.5 銭とい う、これは初め10 銭から15 銭とい う 具合に ね、だんだん値を上げてい っ てね、そして師匠に入 れるん ですね。昔はそれが目的 です、師匠は。お弟子をあちこち働 かせ っ てね。で、これ っ うまく師匠生計をと っ た ですね。だから、技術的にはその ほう が本 当なん ですね。
実技の稽古	良い臨床科	いま学校だから、学校、学校、学校とい う ね。僕のころ、17から18のときには学校へ行 かなきゃ、高校という学校へ行 きたか っ ったけど、行 かなか っ たら ね。実は技術的にはそう した練習をした者 じゃなければ、いい臨床家はできな
師匠の経験と 状況	弟子の数	6、7 人です。しょ っ ちゅう6、7 人と。私のときは8 人ぐ らいいた ね、だん だん減 っ てい っ て、もう自然と人とも う、もう急に減 っ った ですね。それでも
実技の稽古	鍼の寒稽古	みんな国民が ね、昔、寒稽古をあんまの ほうでも昔はその寒稽古を や っ った ですね、や っ ぱり、寒いとき ね。冷たい苦労とい う のを、寒稽古を や っ ったとい う。私 たちは強制的にやら せな っ った ね。そうい う 話はしてもやん な っ った ね。
実技の稽古	師匠の話	ええ、そう、そう、そう、ずう っ と ね、その当時、自分 は寒稽古をしてる け っ ど、あとはやら せな っ った ね、時代が違 う からと ね、やら せな っ った ね。師匠、自分 はや っ てい っ と。だから、結局、それま だもうい かな い ですね。
師匠の経験と 状況	師匠の上京	ええ、自分 は ね、相続人が東京にいた も の だ から。それで、私にあとをやら せ っ て、自分が行く っ もりが、昭和5 年の震災でも っ て家が全壊 してしま っ ったか
施術者としての独立に 関すること	独立	ええ、そうです、全部。それで、私はそれから独立 した ですね。
施術者の経験と 状況	家の建築	ええ、そうです、そのとき行 っ ちゃ っ った っ だす。それで、私はその隣へ宅地を 買 っ て、15 坪の家を 建 っ て、それからそこへ13 年い っ て、いま、今度こ っ ちへ越
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の受験資格	一緒に15 年いたわけ っ だす、私は。だから、2 年生い ちば ん、普通、7 年ぐ らい ね。最低が、内務省令が でき っ て4 年以上と。4 年以上行 っ て、師匠に付 いて勉強すれば受験 資格があ っ った、検定試験が。
検定試験・免許取得の 状況	検定試験を受けるた めの証明	その代わり組合があ っ て、組合は、いまは保健所 っ だす、昔は警察なん だ ね。2 年間一定の師匠に付 いて勉強 して、その師匠が証明 すれば受験 資格があ っ った っ だす。昔は組合員には警察署長が 集 っ め、必ず出 っ てきて訓示をするん だ っ ね。だから、ちゃんと警察の証明に なるから、〇長重は何年何月に入門、いたとい う ことをちゃんと証明する。警察が証明 する、この人間はいたとい う ことを。それで検定試験を受 ける だけになる。
検定試験・免許取得の 状況	内務省例による検定 試験	その昔が、つまり試験がな っ ったから。ただ、証明は必要 だ っ たらしい っ だす ね。村の区長さんとか ね、村長さんが。試験はな っ った っ だす。試験は明治45 年の内務省令によ っ て試験がスタートにな っ った。
講習所・学校の状況	学校の創設	試験、試験について師匠が、つまり学校を っ っ ったとい う ことは、自分 は点字が できないから、それでみんなの協力を得 っ て学校を っ っ った ね。それが講習所 みたい な定款で や っ ったわけ っ けども。
講習所・学校の状況	学校の校舎	そうですね、大した こと ない ね。それは1 っ が建物 が……じや っ ったので、そう っ だす ね、2 間半の5 間ぐ らい かな。
講習所・学校の状況	生徒数の状況	うん、だから、私らの時代では7、8 人 だ っ った ね。いつもそのく らい っ だす
講習所・学校の状況	学習内容	ただ、点字を教 っ て、『点字読本』の1、2、3、4 や っ て、それから上達 してい っ ううちに解剖学を や るとい う こと だ から。
講習所・学校の状況	生徒数の状況	〇加藤 アオキ先生 の所 にいた人 だけ っ だはな っ ったわけ っ だす ね。 〇〇 ええ、三島 迎 りから も 来 っ だ。
講習所・学校の状況	学校の資料	いま、ほとんど なくな っ った ねえ。そう っ だす、いくら見 っ ても、私 っ どもの卒業証書に名簿 ない っ だす ね。本もほとんど ないん じや ない かな。もうとに っ かく40 から50
講習所・学校の状況	学校の廃止	私が17のときに 終 っ った、17か18で 終 っ ったから ね。
講習所・学校の状況	内務省の指定	もう43 年前に消滅 して いるから ね。それで、ヒラタさん の 来 る前には内務省指 定はな っ った かな。とに っ かく、 っ だすから ね。
社会情勢に 関すること	文政廃止	〇加藤 補助金があ っ った。 〇〇 補助金 が ね、補助金があ っ ったのは、私のや っ ているときには。 〇加藤 初めはこ の 分 だ。 〇〇 ええ、や っ ったの。大正13 年に、軍は、昔は ね、田方には郡庁があ っ て、田方郡郡庁があ っ て、郡会議院があ っ て。それで郡制が廃止にな っ ったのは大正13 年かと思 っ った ね。

社会情勢に関すること	補助金	それで郡制廃止について慈善事業に褒美があつて、そのときにもらったのが100円ですよ、田方郡からね。天皇陛下から、つまり慈善事業をご奨励の意味でもって、ネンカは2月11日にね、御下賜金があつたですよ。
社会情勢に関すること	補助金	ええ、そうです。いままで郡がやると貰っていたらしいですよ。で、何か郡ももらったけど、そのまま使わずにしまっちゃったらしいです。それで、昭和4年にヒラタ先生が死んだね。死んだらば、おかみさんがね、その金を積んであつたから、県に持ってったわけだよ。予算たりたから使つてないと言って。それで県のほうではそれはもう学校にやったものだから、あろうとなかろうと、あることにしてやったものだから、それで初めて。そうしたら昭和5年からその御下賜金の100円が田方の鍼学校へ回ってきたんだよ。突然、通知があつて、役場から話があつて、「今年になるから出てくれ」と。それで師匠は
講習所・学校の状況	田方の鍼学校	ヌマタ君も行ってたんです。4年にヒラタ先生が死んで、ヌマタ君も、いよいよ……廃校で通つたもので。それから昭和5年2月11日は、今度は田方の鍼学校へ、突然県から役場へ通知があつて、それから「お前行ってくれ」と言うんだよ。で、私、行つたですよ。初めて行つたけれども、ちょうど浜松盲学校の
講習所・学校の状況	田方の鍼学校	ええ。それから静岡盲学校のクシミ先生と、まあ先輩でね、どちらも出るんですよ。私は1人でこのこ行つたですよ。それで一緒に行つてくれて。それから、いよいよ出てですね、呼ばれてこうしてもらうんだからと。それで、ちょうど3年、昭和4年、5年、6年。あつた2年、2年いったのか、ええ、そう。5年に第1回行って、それで、5年11月、チュウサイでもって中学、請われて師匠、東京へ行ってね。それで、6年の分もまたきたです。それで、オオムロさんていう、そのバクチ打ちの息子のオオムロナオキさんと言うんですね。それで「お前、行ってくれ」と言うんです。それで私、5年にも行ってきたんですよ。それで、6年、ああ、6年か。7年すぐは師匠が東京から戻つてきてね。それから師匠が戻つたかな。あつた、そのときは今度、7年、7年は三島盲学校を私が6年にに行ったときにクシミさんがね、何か学校と問題があつて
講習所・学校の状況	存在した盲学校	そうして東部盲学校は出来るんですよ。で、三島にミヤザキさんというマッサージ……があつたですよ。
講習所・学校の状況	学校の廃止	うん。そのあと俺、すぐ学校をやっている、あとを引継いで。それで、その引き継ぎをやるうとしたところが、クシミさんに初め相談に行つたです、ミヤザキさんが。そうしたら、これ幸いとクシミさんが向こう、学校を辞めて、「俺、こっちへ学校つくる」と。それでヒラマツ先生というのを引っ張つてきて、それで三島で始めたわけよ。それで申請に行つたところが、東部には田方按鍼学校があるからね、三島盲学校は許可できんと。それで三島盲学校を申請
講習所・学校の状況	創立の混乱	それで随分もめたけどね。こういうものが、せっかく御下賜金まである学校だもんね。辞めて三島も、静岡県東部盲学校だから、名前が都合悪いから、按鍼学校じゃね。クシミさんが静盲へ対抗してつくるべくやったわけですよ。それがうまくいかなくてやめちゃつたかね。
講習所・学校の状況	申請は困難	それで結局、やめちゃつて、とうとう田方按鍼学校も廃校。申請はなかなかやれない。やめるんならすぐやめるけど、申請というのは容易じゃないと師匠言うけれども、そのとおり何回行つたか。大変だったよ。申請といつて何の、いまでもそういえばそうですが、1カ所はそこだけ戻しをして、ところが、窓口、トイレ、体育館はまた別々だから。全部やって訂正じゃないから。1回ごとに戻すから。とうとう、あと出来っぱなしにしてしまつて。
社会情勢に関すること	盲人の運動	つて。ところが、イマ盲というのは東部盲人連盟ができて、それで運動してね。最近、盲人も税金も払うと。それから何でも東部へ盲学校をつくれという運動を起こしていつて、それでイマ盲ができたんですよ。
講習所・学校の状況	学校の廃止	○加藤 実質的に、実質というか名目的にも廃止されたのは、田方按鍼学校は昭和7年ということになりますかね。 ○○ そう、そういうこと。
講習所・学校の状況	学校の廃止	○加藤 実質的には大正13年ごろ。 ○○ ええ、14年まで。
講習所・学校の状況	名前だけの学校	○加藤 14年までで、あとは名前だけはあつたわけですね。 ○○ ええ、そうそうそう。で、御下賜金が来た、調査廃止でね。 ○加藤 調査はなかったわけですね。 ○○ なかったですね。ちょうどイシバシ先生も大正15年、昭和2年に死んだか。15年かな。そういう用があつてね、うん。 ○加藤 そうすると、その間はもうほとんど生徒はなかったわけですね、本当は昭和の、大正12年。 ○○ ええ、12年からまあ全然ない。 ○加藤 全然なかったですね。 ○○ ええ。
社会情勢に関すること	補助金	名前は県のほうでは持っていた。だから御下賜金が来たわけですよ。実際はもうなかったです。
講習所・学校の状況	廃校時のこと	○加藤 その廃校のときの手續というのは、書類とかそういったのは、もう全然どこにもありそうもないんですか。 ○○ ええ、ない、ないです。ミヤザキさんもあれはないね。あと建たないし。廃校は簡単だったですけどね。廃校は、この前の静岡県東部盲学校をつくるために廃校している。廃校しなきゃ。
講習所・学校の状況	廃校時のこと	○加藤 廃校手續はどなたがやつたんですか。 ○○ それはミヤザキさんがやつたんです。ミヤザキさんは金もらつてね。
社会情勢に関すること	補助金	○加藤 そのときには御下賜金は一応は三島盲学校のほうに出たんでしょうか。 ○○ それは出たらしい、ええ、1回は。 ○加藤 ああ、1回は。 ○○ ええ。もう昭和8年から全部終わっちゃつたでしょう。どうなったかね。御下賜金が、私行つたときには、神山復生病院が500円ね。それからあと盲学校と静岡ホームかな。静岡ホームと神山復生病院と、それからその盲学校関
社会情勢に関すること	補助金	ここに宮内庁から經由して。小切手もらつてきてね。私は2度行つたわ。ちょうどどこ、こうやつてね、大食堂でもつてね、おでんが出て、みかんが出ておでんが出たかな。おでんがこう来ると、いつも先に立ってパーッとやるんだよね。私が行つたときは、クシミ先生がよく面倒を見てくれたからね。あの当時はずいぶん、1県で1円増やしてもらつたら、学校は建つていつてね。計画
社会情勢に関すること	補助金	ええ、そうです、受け入れてたからね。うんと行つたですよ。その当時100円という、いまの10万円ですね。
施術料・収入の状況	月給	月給は45円ぐらいだから。

講習所・学校の状況	学校の維持	だからその当時、クシミさんが案として金が1万円があったらね、1万円、1万円があったらば、つまり学校は維持できると言ったです。
社会情勢に関すること	良かったり即	1万円金集めれば。昔は利息よかったですよ。
社会情勢に関すること	成金	9 銖ですよ、ね、利息が。1万円あると900円利息があるんですよ。普通の収入が年収500円はいかないから。1万円の金があれば、本当にもう結構なことです。普通、金持ちも1万円金があれば成金さんですよ。
社会情勢に関すること	一般的年収	普通働く者が400円か500円しかねえやから。遊んでおいて900円転がれば、これは金持ちですよ。
社会情勢に関すること	お金の価値	いまの3,000万円ぐらいかな。
社会情勢に関すること	成金	いま3,000万円ある金持ちと比べるといいですよ。
施術の方法と 考え	杉山流の教育	1,000万円だって、月末、年で言うと50万円ぐらいなんだ。4万か5万じゃ、あんた、本当に貧乏暮らしですよ。金持ちの暮らしはできねえ。金、相当あったですよ。だから、私は幸いその杉山流、つまり杉山流のミンプさんという方は東京へ出てきて杉山流の教育を受けて、その教育を受けたのを私の師匠に教えて、それから、その師匠から私もその杉山流の教育を受けたが、杉山流を引くにはということだね、自分では杉山流の誇りを持っていますけど。一般にそういった感じがないと、ただコソコソ考えておって揉んでも、ちっともきかない私の所と師匠とワダ先生の師匠ヒラタさんとね、全然違うですよ。ヒラタさんのほうは町場だから、ただパタパタ上っ側サッサッサッサッとやって、1週間経てばまた揉みたがるというのは、ヒラタさんですよ。
同業者・仲間に関すること	手技の違い	私の師匠の所は治療をしてもらったらば、まあ揉むったっていえば、自慢だから。本当の俗にいう素人の急所、芯のどこ揉むから。だから、あんまして終わったときは、何ともないですよ。効かないわけですね。また来なきゃと言ってくるです。それで異感覚になるね。それで、あと治っちゃう。
施術の方法と 考え	異感覚	ヒラタさんのほうはサッサッサッサッと、異感覚ね、ある程度。終わったときには、ああ、気持ちよかったと言うんですね。これはもうすぐ戻るんです。
施術の方法と 考え	自らの施術	鍼を刺すね。本当にギュッとやったときは何ともないです。もうちょっとやると言うんです。そういつてあと治ってくるんです。だけれども、私がやったときと倅がやったときと、倅がやったときは、みんな「ああ、さっぱりした」と言ってくるんですよ。そのときはうんと。それであとになってから異感覚がねえから。で、私がやったあとは異感覚はそのときはあげないですよ。で、だんだんといくと、スーとすると患者がよく言うんですよ。あとの気持は、同じにやるんだけど、あとの気持は違うと言うんです、通の人は。
施術の方法と 考え	異感覚	だから、病院だってやっぱりそう。本当の技術屋たちが、終わったときは何ともないです。むしろ葬ってやるんです。それで、あと異感覚が消えたときには、スーとするんです。これは大変ですよ。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	講習所というのはなかったらしいね。その流れを受けた勾当・検校と言って、この江間という所にある、江間には勾当さんがあったという話は聞いていましたね。いまの勾当さん、勾当、全部言うね。勾当。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	○加藤 ヒラヤマ村ですか。 ○○ いや、江間村ね。 ○加藤 ああ、江間村。 ○○ ええ、ムロオカさんってね、ちょっと聞いていますがね。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	ええ、ムロオカ。あと、勾当のほうまで行ったらしいね。普通、座頭まで行けば大変なもんですよ、昔は。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	座頭の位を持ったら、大場なら大場に座頭がいればね、大場中のお祝いごととはどんなお祝いごとでもちゃんとお膳を取れたですね。呼ぶことになっているけども、大変だから、つつい呼ばずにお膳を持ってくる。もし徹底的にやるときは、そこへ突っ込んでいって、中座敷へ座れば、座頭の中座敷というかね、座ってもいい権利になっているから、徳川時代には。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	だから、私ども子どものころ、よく騒ぐとね、騒ぐとハイトウ取りが来ると言うんです。配当取りは座頭なんです。賑やかなことがあれば、座頭が近付いていって中座敷へ、どんな座敷でも座り込むという特権があったらしいね、昔は。座頭の位を取ったら大したものですよ。
江戸時代の位・制度に関すること	座頭の遺書	うん。三島に何か杉山流の流れを受けた、やっぱり座頭さんかな、その方の衣装があって、その衣装を木像側に伏せて、開会式のときにね、開会式のときに木像に着せて飾ったという話は聞いていますがね。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	○加藤 勾当のムロオカという方ですか。 ○○ ええ。 ○加藤 その方はいつごろまで生きていた方ですか。 ○○ 明治以前でしょうね。
社会情勢に関すること	明治以前の資格制度	やっぱり中央に出たらしいね。かすかに聞いていますがね。私ども座頭は経験は一切なくてね、明治だから。それは明治以前でしょう。
同業者・仲間に関すること	別な流派	○加藤 ヤスノイチというのは。 ○○ 三島で。 ○加藤 三島ですね。 ○○ ええ。 ○加藤 あの方の何かそういう、あの人ふうにあまりお受け。 ○○ あの方は杉山流でなかったらしいで。
同業者・仲間に関すること	吉田流の人	あれは吉田流がうまかったでしょう、式が。吉田流がうまかったらしいね。
講習所・学校の状況	開校10周年記念	○加藤 それは按鍼学校の10年記念式典。 ○○ というのは大正13年です。
講習所・学校の状況	開校10周年記念	そのときはまだ子どもだった。大正13年ぐらいかな。あつ、大正10年か、10
講習所・学校の状況	開校10周年記念	大正10年。45年につくったから。
講習所・学校の状況	開校10周年記念	大正10年1月だから、僕が入って間もなかったね。僕ら、兄弟子が、何というか、読んだけどね、まだ死んじやないけどね。式辞を読んだたな、あれね、師匠のところでね。
講習所・学校の状況	開校10周年記念	ああ、もう、ええ、そう、偉い人来ましたね、みんな。40～50人集まったんじゃないかな。
同業者・仲間に関すること	弟弟子	○加藤 カミヤマさんという方は先生よりも上。 ○○ 年は3つ、4つ上ですよ。 ○加藤 大体同じごろ入った方ですか。 ○○ うーん、いちばん下。だから、みんなが途中でやめて学校へ行っちゃったから。

施術者の経験と 状況	田舎での仕事	みんな学校行っちゃったですよ。行けないのは私とヤマモトジロウという、いま沼津にいただけがね、残ったですよ。そのときは〇の野郎、駄目にしやがったなんてねえ、田舎でどうして飯食うだなんて言われたけどね。幸か不幸かとうとう大場へ行っちゃってね。あの当時、大場、田舎ですからね、とても大場で飯食えんと思ったですよ。師匠がいたけども、この周りだけですからね。
施術の方法と 考え	小児鍼の習得	それで、私がいちばん恵まれたのは、小児鍼をね、小児鍼を覚えたことがね、ふとしたことから。これが、その今日あることのきっかけになったね。
施術の方法と 考え	小児鍼の習得	別に苦心ってないけども、昔はだから肩揉む専門ね。肩癱専門。たまたま師匠なんかは虎の巻があるのは息切れの患者ね、あったね。あとは普通の肩が張ったものとか、「へい」と揉んで、いまの業者のああいう状態ですね、あれから脱したのは、いわゆる昭和8年に小児鍼を覚えたこと。これがこの辺で私の診療の、つまり目覚めた導火線だね。
施術の方法と 考え	患者の獲得	小児鍼を覚えたことが、それで初めてこの鍼ということになって、だんだん広がってね、いまでは西は静岡の先送りからね、静岡の金谷、島田、御前崎町とかねえ、あるいは東は東京、横浜。
施術者の経験と 状況	小児鍼への自信	〇〇 先生、今日やっていただけますか。 〇〇 ああ、今日は休み。 〇〇 ああ、休みですか。 〇〇 ああ、どうかした。 〇〇 あの、えー。 〇〇 この小児鍼ということがいちばんの私のあれです。いまでも私の中で小児鍼はね、薬あるようではなかなか置いてないね。
施術の方法と 考え	患者数	いちばん多かったのは、昭和20年から27、28年までぐらいね。120～130人ぐらいだったですよ、毎日。4時間から5時間、毎日5時間だね。
施術の方法と 考え	患者数	いまは2時間ぐらいしかないからね、30人か40人しかないね。毎日、時間を限って来るから大したものですよ。
施術の方法と 考え	施術時間	昔は9時で、いまは何でも目的は12時に終わる目的で、いま11時にやってね、1時まで2時間ぐらいね。
施術の方法と 考え	施術に対する考え	いま、私、語学の先生含めてね、まあ私どもの時代にはすべからず、すべからずでもって、内務省時代には、ねえ、患者には施術といって習ったからね。医師治療中の患者には主治医の承認を得なければ施術はできないという。それから、いろいろああしちゃ悪い、こうしちゃ悪いと教科書にも腹部へ深く刺し…
施術の方法と 考え	施術に対する考え	……私ども、いまの法律がこれからもっと進むとも思わないし。誠に都合のいい、いまの法律は。誠に都合のいいものだと思いますよ。我々は診断券もいらないし、いまの建前は患者の訴えを聞いて処置するだけなのですよ。だから、いまの法律は誠に都合がいいと思っているのです。診断券もいらない、誠に都合がいいのですよ。大体、建前が訴えを聞いて処置すればいいのだから
施術の方法と 考え	施術に対する考え	診断を付けることはいかんと。胃が悪いとかいいとか、そういうことはいいい。いいと悪いの2つはいい、悪いから来たのだから。「あんたはどうも胃潰瘍だ」とか「あんたは胃がんだ」とかっていうことは違反になる。だから聴診器も使う人はあるけれど、私は使わない。無理に使わないのは、聴診器を主としては使わない。本当は使ってはいけないから。
施術の方法と 考え	施術に対する考え	使うのを黙認してもらえばだけど。私どもに許された診断法は、問診と打診音と。打診は生命線だと。私は打診しなきゃ、絶対何もできない。
施術の方法と 考え	打診を重視	ええ、全部打診です。大人でも子どもでも、全部打診です。打診だけが許された方法だからね。
講習所・学校の状況	学校時代のこと	〇加藤 お話は長谷川先生の録音で伺っております。 〇〇 何言われても大丈夫だからとあなたが言っていたけどね。 〇加藤夫人 本当にいろいろなことに詳しくて。 〇〇 学校というか、学校時代のこと。
徒弟制の内容と 状況	師匠への入門	そうですね。昔は大体盲人になると、義務教育がないものですから、大体10か11ぐらいでみんな入ったね、昔は。
師匠の経験と 状況	三島の先生	私、按鍼養成に行く前にちょっと三島のミタ先生の所に初めて行ったのです。ミタという方がいて、そこに行ったのですよ。その先生が、まず来てよかったと、12じゃあもう限界だと。11か12で入らなければ、いいものにならない。13じゃ駄目、だんだん年をとるにしたがってそういうことですね。13ぐらいで行ったんじゃ、どうしてもいいものが出来上がらないと、いまでも耳に残ってますね。私ども、大抵11か12で昔はみんな入ったね。学校がないから。
師匠の教え	師匠の生活指導	その代わり、本当に。昨日もラジオでやっていたけれど、盲精薄児が来たのよ。実際、あれをそのまま師匠はやってくれた、昔の人は。どこだったか、島根県かどこからね。実際、着物の着方から鼻のかみ方から、師匠はみんな教えたね。しまいには着物の着方からね。昔はよそ行きとかね、ちゃんとそういったことから皆教えたね。
徒弟制の内容と 状況	1か月の滞在	それは1カ月ぐらいですからね。でも、そこで1カ月習ったことが大変良くてね、アオキケイサイ先生の所に行ったとき、ケイサイ先生は、自分は厳しいしつけを受けたけど、非常に子どもには甘くてね。どうしても厳しいしつけはやっていなかったから、反対に私のほうが戸惑ったぐらい。
徒弟制の内容と 状況	徒弟の仕組み	大勢お弟子がいてね。すべてが非常に柔らかで、最初のミタ先生ほど厳しく仕込まなかったね。ただ、いれぱいい。昔のお弟子を取って、7年なり10年なり契約で置いて、2年か3年経って少し揉み方を覚えたら、近所へ揉み治療へ出て、そしていろいろ覚えていくというのが昔の建前だから。だんだん……いくけれど、それはほとんど入れて。免許取ってから……。……。
徒弟制の内容と 状況	年季中のこと	大体7年ぐらいです。
徒弟制の内容と 状況	年季の期間	〇加藤 それは人によって違うのですか。 〇〇 大体7年ぐらいだね。
徒弟制の内容と 状況	お礼奉公の期間	〇加藤 それはお礼奉公などを含めてですか。 〇〇 お礼奉公とは別に。それが終わってからお礼奉公1年。
徒弟制の内容と 状況	年季中のこと	7年いる間に先にあんまを覚えて、それからもっと勉強していけば、つまり、年が進むと鍼まで教える。何年いたら鍼の免状取れるという条件がね。年が満たないと、あんまだけ。大体7年ぐらいいいると、鍼の免許を取らせるね。
検定試験・免許取得の状況	お情け免許	〇加藤 あんまだけでいいという人は短い5年ぐらいの方もいたのですか 〇〇 中途失明などは大体2年ぐらい、あんまだけだと。明治45年に出た内務省令によって、あれは2年だから。2年だから、2年いると。その当時は、明治45年に規則が出てから、いっぺんに試験が難しいから、当分の間、警察署長が認めると、2年いると現役認可と見たのね。県下で有効、通用する、その県だけで通用する、いわばお情け免許というかね。そういう人もあったです。

検定試験・免許取得の状況	お情け免許	明治45年以後から大正末期までありましたから。当分のうちというのはね、当分のうちということですずっとありましたね。それは中途失明の人が入った。
検定試験・免許取得の状況	乙種按摩	普通の者は、私ら盲人は乙種あんま術。目明きの者は甲種。乙種あんまのほうは2カ年間いると、試験受けることができた。2年から4年、5年といると、つまり、あんまの免許を取ると、今度は鍼の免許を取ると。まずもって、あんまの免許を取ることが前提だから。あんまの免許を取って、もうひと勉強というときに、あんまの免許を取った者は鍼の免許が取れるとか。
検定試験・免許取得の状況	検定試験の受験資格	一定の師匠に4年以上付けば、鍼も灸の免許も全部取れる。それが昔の組合、いまも組合がありますが、組合と警察と非常に密接に連絡をしていますね。組合の総会には必ず警察署長も出る。まず、この組はここに何年間いたということを証明することは警察がする。何年何月に入門して、何日と。警察が認めた者が検定試験を受ける資格ができるんです。署長が認めなければ、試験はね。何でも4年以上いた者が検定試験を受ける資格ができますから。
検定試験・免許取得の状況	資格取得	4年いるとあんまの免許は取れる。それから、いまひと勉強して、鍼も取れる、あるいは一遍に取ってもいい。一遍に受験してもいいし、別々に受験しても。私ども、ですから12歳で入って、17歳のときに数え17歳のときに、まずあんまの免許だったから。大正13年かね。それで、その翌年、今度鍼が当分どうでも、あんまの免許取ったもんで、それに兄弟子も出てしまったもんで、準備にね、試験の試験として受験をしたら、運よく受かったんです。受かったら、
検定試験・免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	○加藤 免許を受ける場合、お師匠さんが受けろと許可するのですか。 ○○ もちろん、そうです。師匠の証明書がいる。
検定試験・免許取得の状況	師匠の判断	○加藤 お師匠さんがまだだと言ったら、証明は出せないということですか。 ○○ 出せないわけです。
検定試験・免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	○加藤 地方で、東京で修業の証明を出すのに、師匠のほうからお金を取ったなどという例がありますが、そのようなことはありましたか。○○ そういのはなかったですね。年季でそこで働いていますから。年がら年中、つまり無給で働いたから。
歩合制	1割の歩合	あんまの免許を取ると、稼いだお金から1割くれる。1円稼げば10銭もらえる。あんまの免許を取る前は1銭ももらえないわけです。
徒弟制の内容と状況	師匠からの小遣	○加藤 免許前は稼げないということですが、お小遣いくらいはたまにはくれるわけですか。 ○○ お小遣いも私の師匠の所は出なかったね。
徒弟制の内容と状況	年季中のこと	○加藤 盆、暮れの帰省などは。 ○○ そんなの全然ない。そういう仕組みだったでしょ。3年は長いでしょ。いずれにしろ年が長くて世話になったです。普通は7年ぐらいが年で、いと小遣いを。敷金まではしなかったね。大場なんかは敷金もしたりして、褒美に集まり、年明けのときには道具一式とか、お祝言の紋付とかを。誰でも真面目に務めた者は褒美をあげたんですね。だから、途中では何もなし。
徒弟制の内容と状況	年季の期間	○加藤 先生は12歳でお入りになられて、20歳で年季が明けたことになりすか。
徒弟制の内容と状況	年季中のこと	ええ、8年間。大体、昔は徴兵的で、すべてあれが限界だから。私ども18のときに免許を取って、あんまの免許が18。そうしたら兄弟子が全部出てしまったのですよ。出てしまったものですから、私は割合有利な条件でまあ。兄弟子が出てしまって、私が上になって、下に2人。同輩もいたし、下の者もいたし、兄弟子が出てしまったものですから。
歩合制	2割の歩合	。割合、条件がよくて、2割もらって。自分は遊べたものですから、遊びといたって、師匠、自分の自由がおかしかったものだから、この男、免状取ったからと言って、私に無理矢理患者を押し付けて、自分は勝手なことをして、私にほとんど任せっぱなしで。こっちも免許取ったという、免状があるということをもとにして免許振り回してね、やたらよくやったものです。
師匠の経験と状況	押し付けられる寒邪	その当時、来た患者さんというのはほとんど肩癰とか腰痛とかというのが多くて、師匠の場合は内科的な治療を専門にやって、私らは肩こり専門でいたから。それで割合に楽に、師匠のああいふ技までいかんけれど、無理矢理に押し付けられて、ぶつぶつ言いながらもやっていたね。
師匠の経験と状況	女将さんの死	20歳のときに、来年年明けというときに、師匠のおかみさんが死んだ後、ちょうどいいのが見つからなくてね。
施術者の経験と状況	師匠の跡継ぎ	そうしたら、誰かが心配して、うちに目の見えない娘があると。いま失明はしていないけれど、将来失明する寸前だと。いま信心はしているがゆくゆくは失明するから、そのうちにと思いうけれど若い衆がいるようだから、お弟子として入れてもらいたいと。若い衆が喜ぶだから、将来結婚をするだから、できれば問題が起こらないうちに、嫁としてやらしてくんなんかという話があったもので、師匠はその気になっちゃって、こっちはまだ20歳だったけど、どうせゆくゆくは所帯持つんだからと。いま、この家でここでやれば、何の問題もなくこのまま引き継げばいいと思ってね。こっちは出ようと思っていたけど師匠は出すまいとして、とうとうヒモにしてね、それで後継ぎになっちゃったんです
施術者としての独立に関すること	独立	その結果は失敗で、すぐ次のがまたやってきた。21からまた、じゃあ今度お前は先生の看板で、いままでは俺のほうに金を入れてたと、これからはこの家を家賃として、その当時1カ月が普通の10倍ぐらいだったですかね、家賃が10倍ぐらいのをとんとんにして、お前の稼いだのを全部任せるから、お前自分で米買ってやってくれと。それで始めたのが数え21のときです。そのまま全部引き受けて、21から所帯持ちちゃったんです
社会情勢に関すること	自然災害	それからずっとです。それで3年いて、3年目の11月の昭和5年に伊豆震災があって、家が崩壊して、師匠は息子さんが東京にいるからそこへ連れて行ったんです。そうしたら、お前たち勝手に入ったって、見たかないと。
師匠の経験と状況	600円の借金	勝手に隣屋敷を無理に20坪の所に15坪の家建てて、金は1銭もないし、全部借金です。600円ぐらいだからいまの100万円だね。体一貫だって、あそこに行くのと200円……600円で家建てて、それで始めたんです。それが土台なんですよ。
施術の方法と考え	施術の方法	その当時のお弟子さんて皆、肩揉むこと習って、肩を揉んで稼いでいる。患者さんが来ても先に弟子が下揉みをして、全部習ったとおりずっとひと通りやって、それから終わりましたって言うと、師匠があと鍼をやったのが昔の式で
施術の方法と考え	自らの施術	私もそれから始まってだんだん考えて、いつの日かね、昭和12、13年ごろかね、だんだん式を変えて、鍼を張るということに切り替えるまでには非常に長かったです。その人が揉んでもらってからじゃなければ、鍼をしないと思ったから。それがとにかくお見せなさいと、ともかく診察して、それから鍼をして。どうもそれまでには相当の年月がかかった。

施術の方法と 考え	小児鍼の習得	その到達点というのが、いつも話すけれど、小児鍼を覚えたのが昭和8 年です。この小児鍼を始めてから、初めてまず診察をするということに。
施術の方法と 考え	以前からの施術の仕方	それまでは何と言うか、ここへ座らせて肩揉んで、肩を揉んだら今度は布団に寝かして足を揉んで。これがいまでもみんなやっているでしょう。ここへ座らせて肩を揉んで、肩を揉み終わったら、今度は横になって足を揉んで、それで
施術の方法と 考え	自らの施術	私はその中からどうにかこうにか小児鍼を基にして、治療法をだんだんだんだん開発して、随分患者からも非難もあり、喧嘩ごしでね、いまでもまだありますよ。最初的时候も、昨日も困ると来て、朝8 時ごろ来た人が4 時ごろになって、「どうしたの」と言ったら、「わしゃ肩が張って、肩をやってもらわなきゃ駄目だ」と言って、肩ばかりやってもと言って、無理に断わって、断わんなきゃ後が困るから。そういうことをずっと何十年かけて、いまでもまだあります。いまでも肩が張ったら断わっちゃう、肩張ったらうちでやりませんよと。それまでになるにはなかなか。小児鍼を覚えたことがどうも。
施術者の経験と 状況	生まれた土地での成功は希	だから、よくみんなから言われるけど、よく君はその土地でやったと。昔は医者でも何でも、大抵旅に行かないと開業もしなかったね。旅に行けば生活できるから。大抵、昔の人は医者でも何でも土地ではやりません。生まれた所でやるもんじゃなかった。昔は成功しなかったですね。元が知れて馬鹿だって。
施術者の経験と 状況	あはき業で得られた自信	私はどうとうこの土地に生まれて、この土地で仕事ができる。「ほら、目が見えないあそこの倅だ。お前のケツ引っぱたいた」って、盲になったおかげで盲はありがたいと言うぐらいになった。それは結局、大場に来てからね。普通は土地にはいなかったね。大抵、昔は盲人の類は人を雇って、非常にやっていたですね。それが私、いい按配で商売に恵まれたお蔭で、子どもも俺が盲だということを恥じることはなくなって、堂々と盲として通る。盲の子だっていう引け目を感じることはなかったように思うね。
師匠の経験と 状況	師匠の養子	私の師匠なんか自分の子どもがなくて養子をしてあったけれども、中学に通っていると、学校へ来るときなんか、みんながお前は来るななんてことを言われたって。人力で歩いて、あんなのに乗りやがってと言ったけども、私はその点では比較的少なくて済んだ。それは結局、どっか、あの子どもは、長男は学校では優秀な成績を取っていたということ、で、だんだん。
施術者の経験と 状況	長所を伸ばすという心がけ	何でも1 つ秀でたところを取ろうというのが。短所があればその短所を埋めるべく、長所を伸ばせという、私何かラジオで聞いたな。私はその精神で。
施術者の経験と 状況	患者の身になった施術	だから、いつでも言う。1 本鍼打つにしても信念を持ってやる。1 本の鍼でも大事なんだから、1 本1 本は自分の将来に繋がっている。まず、治療というものは誠心誠意愛を持って、患者さんの身になって、来た患者さんを何でも味方に引き付けるということでなきゃならんね。
施術の方法と 考え	患者の受け止め方	いつも僕は鍼を打つとき言っているんですよ。たまたま怒鳴るときは怒鳴っても、急所急所をつかまえろということが秘訣だね。ともかく 患者が言うけれども、患者をまるで吞んで、吞んでいるけれどもユーモアが、何となくユーモアがあるって。怒鳴っているようにいて、ユーモアがある。ちょっといま真似すると聞いたけど、真似はまずいからやめとく。俺のやっていることとお前は違うんだと。同じことを言っても、患者の受け方が違うんだと。こつがあるんだと。怒鳴るようなふりをして、ユーモアがなきゃいかんと。それはそっくりに
施術の方法と 考え	経絡を基礎とした考え	ラジオを聞いたり、あらゆる面から知識を得たんですね。この鍼の真理というものは、経絡、経絡とほとんど経絡に頼っていますが、ただ経絡だけでは解決できないものがたんとある。経絡を離れたら勉強ができないから、経絡を基礎として経絡から一歩進まなきゃならないと、誰でもがほとんど経絡から一歩進まない限り、経絡にかじり付く人が多い。経絡を離れたら血が長く続く。
施術の方法と 考え	施術に対する考え	とにかくそれはある。ただ、私は20年も前から講習会でも、経絡というものは診察には誠に必要なものだ。治療には経絡にあまり頼ると逆になるということもいつも言うんです。経絡どおり、あの人はこう、この人はこうとやっていると言っているから、経絡は診察的には確かに価値がある。絶対、経絡は当てはまる。経絡と診察が間違いないというのはうんとある。ただ、治療はまた別だと。経絡どおりやればいいというのではなくて、治療はまた考えなくてはならないし、もっと鍼の真理というものを深く研究しなきゃいかん。
施術者の経験と 状況	インタビュー当時の年齢	○加藤夫人 明治41年生まれ。 ○○ ええ、今年還暦で。
徒弟制の内容と 状況	通いでの年期	○加藤 住み込みではなくて、お宅から通われたということは。 ○○ それは、つまり昔のお弟子に行くところは、年も長く約束する家は食い扶持取らない。私の家では、向こうを束縛しないために、長居のうちは食い扶持は5 合扶持。1 日5 合米を持ち込むのが普通なんです。私はね、家も貧乏だし、5 合扶持大変だから、弁当持ちで通ったんです、家から。家は近かったか
徒弟制の内容と 状況	無駄飯は基礎教育	朝、弁当持って1 日ゴロゴロして、夏なんかはただ、いまのように扇風機がないから、兄弟子が治療しているそばからあおいだわね。2 年ぐらい無駄飯って昔は食ったですね。その無駄飯って言うことが、いわゆる基礎教育になるんで
徒弟制の内容と 状況	自然に受ける感か	○加藤 その2 年間は自分なりにいろいろ見習うわけですか。 ○○ 自然にそれは染み付くんだね。何でもね、覚えよう覚えようとして、教えよう教えようというのではなくて、自然にその感化を受けるね。
実技の稽古	2年は食い扶持も取れない	○加藤 兄弟子なり師匠なりは、2 年間、手は全然教えないのですか。 ○○ ええ。昔はあんまの型は教えます。それからときどきやる。回しておいて、悪い点は叱られる。回しておいて、こう口開けて打ったからね。2 年間は通って、朝から来てゴロンゴロンして、用足しでもしたり、教材で指押しをしたり、下揉みだね。下揉みの下揉み、いちばん先に。
実技の稽古	あん摩は自然に習う	○加藤 下揉みのまた下揉みですか。 ○加藤夫人 兄弟子の方を見習ってですか。 ○○ そう。兄弟子が先にやるから、患者さん待っている間退屈しないように揉んでいるとかね。自然に習うんですね。
実技の稽古	鍼の寒稽古	昔、私らの時代はあんまも鍼もそんなに寒稽古なんてしなかったけれど、いちばん初めの師匠は寒稽古もやったけど、2 度目の所に行ったら、寒稽古はあまり。鍼は寒稽古したからね。
実技の稽古	手技の練習	何しろ、柱を揉んでね、柱をこう揉んでいく。私らは目が見えないからその真似ごととはした。だから、いまでも指はこんなに柔らかいですよ。この指、こんなに柔らかいでしょう。揉んできたからこの親指。
実技の稽古	手技の練習	ええ、堅いものを揉んで自分の手を柔らかくした。堅いもの揉んで、つまりこう反るよね。普通の場合でも端が当たるでしょう。私らの場合は骨が当たるんです。どんな場合でも飛び上がっちゃう。その時代があんまを上手に揉む、上手に揉むって言うようなことばかり昔は言っていたね。

施術の方法と 考え	上京に合わすことが上手	どうい うのが上手だとい うと、手をブラブラ動かすことによっ て、上手。手際が いい人が上手って。これはいまでも一般であって、上手だっていうけども、本当は臨 床的には上手っていうことは ない。状況に合わすことが上手。
施術の方法と 考え	施術時間	いま上手に1 時間なら1 時間ブラブラ揉む人が、僕らが行っても多いですよ。ただ、サッ サッ サッと揉んで、時間だけ揉んで、さあこれでよろしいと。相手がどう 思うと、決められた時間だけ揉んでこいと。私らの時代は、大体1 人当
施術の方法と 考え	施術時間	昔はね。1 時間肩揉んで、それから横にして両足、両腰を大体1 人2 時間って。だんだん2 時間が1 時間半になり、1 時間、40分、いまは50分、温泉場行くと45分ぐらいであげてくれるけど。
施術の方法と 考え	温泉でのあん摩	サッ サッ サッとね。時間的にやっているから。温泉場は臨床じゃない、たださわやかだから。要するに、寝かしつけりゃいいから。もとは2 時間が普通だっ
師匠の教え	師匠から 習う 実技	○加藤夫人 実技とい うのは兄弟子の方から教えてもらうのですか。それともお師匠さんからですか。 ○○ お師匠さんからです。あとは兄弟子も直したり。またときどき師匠の合間を見てやってもらう。それで悪いところを改める。
実技の稽古	あん摩の寒稽古	○加藤 先ほど寒稽古の話が出ましたが、○先生自身は寒稽古は。 ○○ 寒稽古たるものはちゃんとやらなかったね。それは聞いただけ。
実技の稽古	あん摩の寒稽古	あんまの寒稽古はいまのように柱を、水に手をこうして柱を。冷たい水で。
実技の稽古	鍼の寒稽古	鍼の寒稽古は、昔は厳しかったね。いまより寒かったから、宵のうちに桶に水汲んでおいて、朝一番鶏が鳴くと起きて、お宮様にお参りをして、それで戸を開け放して、廊下へ筵を敷いて、凍っている氷を手で割って、その氷の水を手でガシャガシャと音をさせて自分の腿へ何十本か、片方25本ですかね、刺しちゃってね。音がしないといっ て、音がしないと水かけられたりするから、水
学習・ 教材に関するこ と	卒業の条件	確実にやったかやらんかとい うことは、体に現れると。2 日、3 日完全にやると、いまで言う反応ですね、きれいに足が腫れてきちゃうです。そうすると確実に鍼をやったことになる。今度は師匠がすっかり薬を飲まして、いまで言う発汗剤ですね。葛根湯か何か飲まして、それで鍼をして、寝て起きるとスーとしちゃう。それからこっちは何十本どう刺そうとも、1 つも反応を受けない。
実技の稽古	鍼の寒稽古	昔はどんな寒いときに頼まれて行っても、すぐ鍼を使わなきゃいかんと。胃瘕攣患者ね、ああいっ た患者が待っているから。患者を待たして手をあぶることだけは許されないから。一刻も早く鍼ができるようにって寒稽古をやった。でも、それで確実に自分の体を刺して、腫れが出てきた人が卒業で、それが来ないうちは鍼の許可はしてくれないわけ、昔は。その後は何十本刺そうと、一向に反応が起きない。極端まで行ってしまえば。
学習・ 教材に関するこ と	口移しでの勉強	○加藤 杉山流三部書などとい うものは、お聞きになりましたか。 ○○ 昔はお弟子に入ると、師匠との間に、つまり口移し、全部ずっと暇さえあれば口移し。それを全部師匠は覚えておいて、お経を読むように、毎日毎日、口移しに昔は習ったね。それを7 年間のうち全部習ってしまわなければ、実技に入らないと。全部学説は口移しに。そら暗記をしちゃって、それから実技はいわゆる自分のものにして、腫れがひくまでが限界だから。それで卒業だから。私らの時代は、師匠は点字ができなかったから、点字ができたなら自分が設立者になって、学校をこしらえて、人を頼んで点字とい うものを。自分は点字は当てにならないから。だから、私どもは口移しじゃなくて。
学習・ 教材に関するこ と	点字での学習	ええ、やらなかった。半年ほど後で、後に自分で買って読んだ。師匠からはいろいろお話はしてくれ たけれどもね、口移しにやることはなかった。先生が何か聞くと、全部こうやって読んで、読んでいかなきゃ出てこない。
師匠の経験と 状況	師匠はできなかった点字	○加藤夫人 アオキさんは点字をお使いにならなかったのですか。 ○○ ええ、できなかった。 ○加藤夫人 最後まで点字はお使いになりませんでしたか。 ○○ 師匠は点字は使わないから、学校をこしらえて人のために。
学習・ 教材に関するこ と	点字の学習	○加藤夫人 先生はご自分で点字を覚えられたのですか。 ○○ 学校で。それから長岡町にイシバシさんとい うお嬢さんが、結婚適齢期に急に失明をしてね、その方が、昔東京のオカモト ゲンシンとい う。
講師・ 教師に関するこ と	学校の講師	○加藤 皇后陛下の。有名な方ですね。 ○○ その先生のお弟子さんにいったかね。いまはその失明当時は、家はあるとい うか、いまは身上があるからね、娘1 人ぐらい食っていけないこともないけど、もし疲弊した場合にはと、手に職を付けるために勉強をしてきたけれど、まあ家はその当時はよかったから、家でもってほとんど開業っていう感じで遊びでいたんだね。その方が先生になって来ているわけ。ここから約6 キロの所ですね。駅まで2 キロぐらいの所を人力で。それからこの駿豆線でもって電車でね、それでもって大場に通って、1 週間に1 回、日曜学校だから、それ
学習・ 教材に関するこ と	当時の教材	ええ。師匠は実技を出て。実技をやってから、1 週間に1 回ずつ。そのときの教科書は『 点字読本』とい うのがあった。1、2、3、4 をやった。たまたま小学校3、4 年から、その当時5 年、6 年ぐらいだと、『 点字読本』で教わったね。それからその次に『 盲人用読本』っていうやつ。
学習・ 教材に関するこ と	専門科目の学習	それが小学校5、6 年程度の。それをやって、それが済むと、今度は専門学に入ってきた。いちばん最初『 解剖生理初歩』とい うのがあってね。それをやって、その次に奥村先生の『 普通点字按摩鍼灸学』とい うやつ。あれなんですよ。あれですよ、学校でやったのは。
学習・ 教材に関するこ と	卒業と 試験	○加藤 算術とかそろばんは。 ○○ そうい うのはやらなかった。ただ、本当にいまの『 点字読本』をやっ て、『 盲人用読本』もやって、それから『 普通按摩鍼学』かな。按摩鍼灸学ってあったね。いまはほとんどないよね。あれなんですよ。あれをひと通りやって、それで卒業です。その程度で試験は受けられたんです、その当時は。
講習所・ 学校の状況	通学した期間	○加藤夫人 どれくらい通われたのですか。日曜日ごとですか。 ○○ 日曜日ごとずっと。 ○加藤夫人 何年ぐらいですか。 ○○ 結局、私が入ったのが大正8 年で、その学校は大正14 年まで行いました。いまは廃校になってしまったね、自然に。イシバシ先生も亡くなり、師匠もあれしたもんだからね。
社会情勢に関するこ と	学校運営の協力者	10 年はやったですよ。10 年祭は僕はお祝いをしたから。それで駿豆鉄道っていうこの電車が ありますね、駿豆鉄道でパスを出して。その当時、1 等、2 等、3 等って言ったけど、2 等車、いまの1 等車ね。2 等のパスを、無料でパスを

講師・教師に関する こと	学校運営の協力者	○加藤 それは生徒にですか、先生にですか。 ○○ 先生に。 ○加藤 イシバシ先生ですか。 ○○ 先生のために2等のバスを出してくれて。それは向こうの車賃は師匠が負担して、人力車は、車賃は負担して、それから汽車賃は2等バスを出して。
講師・教師に関する こと	盲人の講師	○○ 日曜日は商売全部休んで、三島辺りからも。 ○加藤 ウメバラ先生ですね。 ○○ ええ、そう。これ中途失明者でもってね。
講師・教師に関する こと	盲人の講師	○○ ウメバラ先生は技術はあんまだけで、中途失明で昔の教育を受けた。 ○加藤 師匠さんの所に住み込まれて習われたのですか。 ○○ いや、通ってきたんです、そのために、応援にね。苦労した者はその程度ですよ。
講師・教師に関する こと	校長は病院長	後は名前だけ、三島病院長の名前だけでもってね、校長といったって来やしない。校長と設立者と違う。許可を取るために端から校長になった。だからやることは、内容たるものは点字読むなんていう普通教育は全然やらなくてね。あ
師匠の経験と 状況	師匠の弟子	○加藤夫人 そのお師匠さんのお弟子さんは、みんなそこにいらしたわけですか。
師匠の経験と 状況	弟子の数	○加藤夫人 お師匠さんのお弟子さんは何人ぐらいいらしたのですか。 ○○ そうですね。私が入ったときは6人か7人いたね。ずっと5、6人ずつ、みんな昔は置いたんですね。それで稼がして、結局、助手に働かせて生計を立てていたわけだから。小さいながらもね。昔はみんなそれが目的だから。私はそれでいたわけ。
同業者・仲間に関する こと	女性の弟子	○加藤 アオキケイサイ先生の下には女のお弟子さんもいらっしやいましたか。
同業者・仲間に関する こと	女性の生徒	○加藤 按鍼学校のほうにも、当然、女の生徒さんも来ていましたね。 ○○ ええ、いたですね。私ども先輩はずっとあるから。いま70ぐらいの、ほとんど没して、いや、ほとんどないな、もう全部ないな。
講師・教師に関する こと	学校の講師	○加藤 按鍼学校の先生というのは、アオキ先生がイニシアティブを取られたのだけれど、同業者の方もかなり来ていましたか。 ○○ ええ、そういう方も来ていましたね。三島辺りからもね、来てました。
師匠の経験と 状況	師匠の経済的負担	○加藤 経済的にも同業者の方が支持をされたわけですか。 ○○ いやあ、どうかね。ほとんど師匠だろうね。考えてみれば、やっている件というのはほとんど主な、いちばん大きいものが、みんな無報酬だから。いちばん大きいのが、イシバシ先生の長岡から自宅までの車の代と、あとは無報酬だから。向こうにも遊んでいる身と思って退屈、仕事していないから、ちょうどいい退屈しのぎだった。みんな無報酬なんです。
講習所・学校の状況	取らない授業料	○加藤 授業料というのは取らなかったのですか。 ○○ 師匠は自分の弟子だから取らない、無報酬ですよ。よそから来る人からはいくらか取ったんだろう、そういう細かいことは知らない。いくらか取っていただろうけれども、私どもはいらない、ほとんどなかったね。その前の、明治45年の創立したから。
講習所・学校の状況	外からの生徒	○加藤 当時は外から来た方も少しは取ったわけですか。 ○○ 多かったですよ。それは私どもの時代は。私どもは、つまり大正8年に入っただから。45年にできて、私どもしまいのほうだ。
講習所・学校の状況	開校10周年記念	大正十何年かな、10周年記念やったときは盛大でした、そのときはまだ。そのときは行政のほうやら何やらいっぱい集まってね。10周年記念やったんですよ。そのときは盛大でした。そのときはまだ私ども子どもでしたね。私どもが、そのとき何かな、やったことあったね。子どもだったから、15、16だか
学習・教材に関する こと	専門科目の学習	入って3年ぐらいだ。学校で教えたことは、教科書として教えたのが奥村先生の『普通按摩鍼灸学』ね。あれが解剖学、局処解剖なんてね。皮膚、筋肉、骨でもってね。それから経穴は、経穴はやんなかったね。その当時、私どもは経穴なんか面倒くさいって言ってね。ちょうど経穴廃止論の吉田コウトウ先生が孔穴ってつけるんで。孔穴がいいんだろうって言ってね、経穴なんて何かおかしくてできなかったね。言葉が変だったね。
学習・教材に関する こと	読んだ専門書	私みたい、東京の……学校出たイチカワコウジ君ってやつでね。これは私の所に来て熱海に遊びに行って、江ノ島行こうって2人で行ったんですよ。初めて江ノ島へ行った。出会って初めていろいろのことがあって、それで杉山三部書買って読んだ、初めて読んだね。それまでは読まれたものは按鍼学ね。あとね、シカバアキラ先生の『解剖生理学』、それは初めて読んだね。
学習・教材に関する こと	本の手写し	○加藤 それは借りてですか。 ○○ 私どもつましくて、貧乏だったから、本買えなかったから、大抵借りて。師匠の勉強も大抵人に借りて。学校ではみんな筆記したんです。イシバシ先生の本を読んで、自分では写したんですよ。それだけこつこつこつ入れて、1週間に何枚かだけどね。朝9時から夕方4時まで、大抵のものはやっ
学習・教材に関する こと	点字の学習	○加藤 一般には、お弟子にされてからすぐ学校へ通われるわけですよ。ね。 ○○ ええ、同時に。すぐ学校へ行っています。点字の仕方から教わってね。点字の仕方はイシバシ先生に教わったんです。「め」の字は1週間か2週間やって、全部「め」の字を紙に何枚書いても揃ったら初めて教える。だから、教え方っていうのは簡単なんですね。点字のほうは。初め「め」の字やって、「め」の字ができたら、今度は「1」をつきました。それで「1、2」と。それでああいう基礎を教える、今度は……。割合に教えるなんて幼いですね、方
学習・教材に関する こと	点字の学習	その代わり、今度読むときが大変。読むときが大変なんです。人前でスースーと読めるようになるには、2年や3年じゃ。その当時、よく私ども兄弟子かね、読むのが上手だってね。小説を買って、山中鹿之助とかね、買ってよく読んでね。読むのに田舎になんか頼まれて行って、わざわざ読むのにね、一晚中近所の人を寄せて読んだなんて時代もある。いまのようにラジオやテレビが
検定試験・免許取得の 状況	免許を取る目的	○加藤夫人 講習学校へ行く目的は、免許を取りたいということで皆さん行ったのでしょうか。 ○○ もちろん、それは。 ○加藤 学科試験があるから。
検定試験・免許取得の 状況	内務省例による検定試験	ええ。明治45年に内務省令で検定試験ができたから、それで学校になったんです。
徒弟制の内容と 状況	授業料としての食い扶持	○加藤 生徒の勧誘、募集などはしましたか。 ○○ あまりなかったですね。いくらあったですけど、私ども勧誘は受けただけども、子どもの時分、はじめそういう学校受けただけども、条件が、つまり食い扶持を持ち込むというのは条件が合わなくて、三島まで。

徒弟制の内容と状況	1か月の滞在	それで1 カ月ばかりの間に、偶然に、子どもだからもう……。……。2 人の子どもが1 人は目が見えて、1 人が目が見えなくて、師匠が三島の町へ連れて出たら、お祭りで花火でしたと。清水から行った子は目が見えるから、歩けるから大場へ来てしまったと。あとでおかみさんが、師匠が見えるから下ろされたっていうことを患者が聞いたって。子どもながらに、俺は三島に行けると。大場の師匠は、お弟子がそんなこと言って、言わなくていいと。ここは連れていかないと。いやになっちゃったってね。それで1 カ月前でとうとうそこやめそこはやめて、それから改めてその年の11月かな、入ったんですよ。こっちまで入れ替えた。食い扶持もうちから弁当持って通うということで、それで2 年間通ったんですよ。”
徒弟制の内容と状況	師匠への入門	○加藤 食費を出せば、少し年季が短くなったのですか。 ○○ ええ、そうですね。つまりお礼奉公なんかで縛らないと。自由に出て行く。だから、免状取れば、すぐにつまり稼げる。
歩合制	歩合の変遷	1 割。私ども臨床的免許だったからすぐ1 割なんで、そこで来年、鍼灸の免許取ったら、すぐ2 割にしてくれた。
徒弟制の内容と状況	師匠に渡す食い扶持と家賃	だんだん3 割までいった。3 割までいって、今度21歳からは師匠のあれを、こっちへ申し受けて、自分でやって、師匠に食い扶持と家賃と渡してね。師匠は口をあけて自分は自由でもって。あとは経済力はお前に任せると。それで、また3 年やったんですよ。
歩合制	1割の歩合	あんまの場合は1 割でしたね。だけど、1 割くれると言うのはあの師匠だけだった。他には食い扶持も取らないし、何もくれなかったです。師匠は初め食い扶持取る代わりに、1 割の割戻しがあるわけだから、条件が。他では大抵、昔貧乏だからね、……。盲人のできるうちは大抵貧乏だからね、金がありゃいいんだ。年季も明けたといっても、実際は、昔はいまと違って、預けておけば飯食わしてくれただから。急がないから、お金のほうは7 円でもよがんすとい
師匠の教え	師匠の生活指導	昔のことですよ。だからあれだったですよ。預けておけば、着物の着方からね、おしっこの仕方、鼻のかみ方から教えてくれて。しまいいには、私どもの師匠よく言ったけれども、つまりお膳の並べ方からね、どこに何があると。
同業者・仲間に関する こと	盲人の常法	ええ。私ら同郷の間でなんで三島なんか知ったか。その当時はね、盲人でもあれば、ほうぼうでみんな知ったもんですよ。 ○加藤 どうして。 ○○ 失明者は引張りだですよ。向こうからお願いしますよ。
徒弟制の内容と状況	三島の条件	○加藤 三島のほうが最初、条件はよかったのですか。 ○○ ええ。食い扶持いらないから。年限が長いから。 ○加藤 どのくらいですか。 ○○ さあ、やっぱり7 年ぐらいかね。大体、いくつで入っても満20歳。適齢期が限度だから。20歳ぐらいまでだから。7 年いたら、どうやら鍼の免許まで
徒弟制の内容と状況	存在しない契約書	○加藤 昔はどうなのでしょう、入門のときに契約書みたいなものを交わしたものでしょうか。 ○○ それはもちろんあれですよ、ほとんどの盲人ではないでしょうね。昔はそういう所はないらしいね。ほとんど無条件で、入れるのは当然だから。あまりそういうことは聞かないね。もし問題があったときには問題になるけども、ほとんど昔の人はそういうことは考えられないね。当然、年が明けるまでいるのが普通だから。もし、いないときは自分が損だから。一人前じゃないから、未完成で出れば。完成するのは当然いれば完成だよ。
徒弟制の内容と状況	開ける前にやめれば請求される食い扶持	○加藤 年が明ける前に、一応免許を取ると自分で何とかできるわけですね。そのような形で師匠の所をやめたり、移っていったりするような人はあまりいませんでしたか。 ○○ そりゃあ、あったでしょうね。私も1 人会いました。私はね。親戚の者が頼んできてね、3 軒も行って、どこも務まらないから、家へ来たんですよ。ちょうど1 年と3 カ月ほどいたね。そうしたら三島に中年の者ができましてね。それと飲みに行き来ましてね。それは中途失明でもって、自分がケンコウに開業して、ほうぼうから弟子を集めてね、早く親父さんに預けて、それに引っかかってね。私も途中から引かれたことあるんですよ。今度は親から後で、後で食い扶持を請求した。初め無条件で入れたけども、不履行の場合は後で請求。
施術者の経験と状況	不履行な場合の請求	もちろん、そうですね。後で不履行の場合は請求できます。私なんか、初めは無条件でいいと思っていたけども、出ないでしょ、だからちょっといいわけですよ。家から来てもらって、それから請求しようって。何をしようかと思って、ぶつけて、そしたら怪しむ。そうしたら向こうから誤りに来て、全部じゃないけど半分取ったかな。向こうじゃ契約書がないからって言うのと、こっちが知ってるからと内容証明をぶつけることができるんだからね。事実は事実だから
徒弟制の内容と状況	開ける前にやめれば請求される食い扶持	○加藤 途中で逃げたりする場合には、親元が食費を払うということですか。 ○○ ええ。請求されれば仕方がない。
徒弟制の内容と状況	口約束での契約	○加藤 入るときに、口約束みたいなことはなさるのですか。 ○○ それは、だから何年いたら年が明けるかって。何年間で年季かと。そんな簡単に済む場合はね。
実技の稽古	先に習うあん摩	○加藤 いきなり鍼は教えてくれないのですか。鍼は何年目ぐらいから教えてくれるのですか。 ○○ それはあんまができて上がってから。それも私は。
実技の稽古	鍼の練習	○加藤 2、3 年目ぐらいから。 ○○ 私ら早く入ったから、結局そうじゃないね。でも、そうだね、17ぐらいかね。いちばんそのころがわかるんだね。
実技の稽古	自然に学ぶ鍼の刺し方	○加藤 見よう見まねというか。 ○○ ええ、そうですね。刺し方はね。しかし、いつ覚えたとはなしに、覚えるのがいいですね。決して、教える、ああしろこうしろって、詰め込み式のものじゃないですね、
施術の方法と考え	施術から学んだこと	これはもう。私はいま倅にも、指図しないです。自分で考えてやらなきゃって。わかったもんだだけやれと、わかんないものはわかんないとはっきり言う。このごろは結構わかってきて。うちの方法は診察が主だから。診察をして、しかる後、うちはうちの型があって、慣れてくれば自ずと結果は出るんですよ。
施術の方法と考え	以前からの施術の仕方	私、昔の式はさっきも言ったけど、まず座らせて肩を揉んで、肩を1 時間揉んで、今度は寝かして足を揉むというのが昔のしきたりですよ。
施術の方法と考え	小児鍼の習得	それが小児鍼を覚えたおかげです。小児鍼を覚えたおかげで、いまの内科的な治療へと発展していったわけです。昭和8 年なんですよ。それが私のいちばんの開き、導火線だね。
施術の方法と考え	以前からの施術の仕方	それ以前は、世襲的にただ肩を揉んで、足を揉んで、肩揉んでくれて、肩を揉んでいるだけじゃ、とてもこういう田舎で食えるわけじゃないですよ。

社会情勢に関すること	入学へ向けた運動	その当時、大正13年に、12年に学校令ができて、学校へ行こう、行かなきゃ、これからは学校を出なきゃっていう運動を始めて、私なんかすぐ運動してね。私も10回陳情とかしてね。浜松だの、静岡だの、大阪だの、ほうぼうの学校の学則取ってね、運動したんですよ。
社会情勢に関すること	入学へ向けた運動	結局、6人でいて2人が学校へ行かずによそへ出て行って、2人が学校へ、1人は横浜の盲人学校行った。1人は、コサカっていうのは静岡の盲学校に入って。私はうちが反対で、私のおじになるのが東京で昔苦学して、親を泣かしたから、盲は苦学なんかできないって、とうとう駄目で。駄目だったのは、ヤマモトジロウっていうのが、これは親が反対で、結局、私とヤマモトジロウが残ったんですよ。コサカっていうのは静岡の学校行って。カミヤマっていう
施術者の経験と状況	弟子として残ったことで条件は向上	私が残っちゃったんです。残っちゃって、兄弟子も出てしまっただけ残ったから、非常に条件のいい所で、割は上げてくれるわ、患者さんはあてがってく
施術の方法と考える	師匠から宛がわれた患者	大変なもんですよ、あてがってくれたからね。その当時来る人は、大体肩が張ったから揉んでくん、鍼してくんな、腰痛いから揉んでくんという人だから、結局、未熟ながらもどうにかこうにか。この男、免許取ったからと師匠が回してくるんだから、私も早く鍼持ったから、18歳、19で持って。いま考えると18、19ですよ、よくも患者に大胆に鍼をやったもんだって。
施術の方法と考える	施術の経験	その代わり、結構失敗もした。座っていて鍼するから、後ろ向いて怒るんですよ、昔は。大体、肩の治療は座っているものだから。またね、昔、子どもにはね、寝ていてもどンドンやった。寝返りうって嫌がったら揉んでやれば。いまでも三島辺りの連中は、起きてたほうが効くなんてね言うけれど、実はあれはうんと損なだけだね、昔、起きていて肩を揉むと、それがずっとしきたりになってね、いまでも起きていて踏んばったほうが効くなんて言って、ユサユサ
施術の方法と考える	施術の方法	温泉場、いま温泉場じゃ、ほとんど寝られます。昔、寝るやつと起きるやつと分けていたんですよ。寝るやつは難しいんです。丸っこいでしょ。座っていて、両肩をトントコトントコ揉んだほうが。初め教わったから、いまでもそれでほとんどやっていますね。いま、だいぶ寝るやつに入ったんだけど、昔は肩揉むのは座ってないとか嫌だなんてやったんですよ。いま考えてみると、座ったままやるより、やっぱり寝たほうが肩は楽なんですよ。うんと揉むのがくせだから、起きてても力が入るわけですよ。いまでもやっていますよ、言われたときに。寝ようよって言うと、いや起きているほうが効きそうだからってね。本当に時間的にも損だし、能力も損だしね。でも、いまそれをやっています。私はあんまのほうは忘れて鍼に移ったから、それから抜け出したけどね。
検定試験・免許取得の状況	検定試験の内容	○加藤 当時の検定試験のことを伺いたいのですが、試験問題は点字で出たのですか。 ○〇 ええ、点字ですよ。問題は墨だけでも、答えは点字で。
検定試験・免許取得の状況	検定試験の内容	○加藤 墨字で問題は出て。読んでくれるのですか。 ○〇 読んでくれる。 ○加藤 答えは点字で。 ○〇 ええ、そうです。だから、私ども大正13年に初めて行った。12年ごろまでは産婆、看護婦、鍼灸、マッサージ全部で1つで間に合ったですよ。少ないから。学校の課程としても、鍼灸5、6人だ、産婆は7、8人だ、看護婦さんも何だとか言って、1つで間に合ったですよ。この通りは産婆、この通りは看護婦、この通りは鍼灸ってね、みんな1人がやったですよ。
講習所・学校の状況	指定にならなかった按鍼学校	○加藤夫人 田方の按鍼学校っていうのは、結局指定にはならなかったのですか。 ○〇 ええ、指定にも認定にもならなかった。昔大村和吉郎という師匠のいところになる人が代議士で、その人が全部やって、その人が文部省の指定を取りにいくって東京へ行って、東京で倒れて死んじゃったから。だから指定にならな
講習所・学校の状況	授業をやらない学校	○加藤 ヒラタショウウケイさんですか。 ○〇 ヒラタショウウケイさんです。あの方は。 ○加藤 あの方は明治40年に開いたことになっていますね。 ○〇 だから師匠より早いです。開いたまま、授業は1つもやっていなかったです。 ○加藤 そうですか。
講習所・学校の状況	名前だけの学校	○加藤夫人 生徒さんも集まらなかったのですか。 ○〇 ええ、そう。自分だけ、1人だけ、学校開かなかったから。 ○加藤 私塾みたいな自分の所だけで。 ○〇 名前だけ取ってね、何にもやらなかった。
社会情勢に関すること	回ってきた御下賜金	どういうふうにしたか知らないけどね。沼津訓蒙院って名前はあって。だから、大正時代に御下賜金が下がったのは何年かな、何かでもって御下賜金があったね。それで昭和4年にヒラタ先生が死んだから。それであわててお金を使っていないから、銀行に積んであった金を県庁に持って行って、これ使わなかったからどうしますって。それはお前の所へやったものだからどうぞと。それで、その次に回ったのが昭和4年か。4年の年に今度新しい学校へお鉢が回ってね、来たんですよ。御下賜金をやるから来いと。
社会情勢に関すること	回ってきた御下賜金	なかったね。それで私が昭和4年に、初めて。4月11日のね、御下賜金を、私汽車で出て行ったね。
社会情勢に関すること	受け取った御下賜金	ちょうど静岡のクスミ先生、浜盲の伊ワサ先生と2人おいでになり、こちらから出て行って、クスミ先生が手配してくれたね。1件100円だね。その当時の100円は大変ですよ。……45円とかね。本当に100円だから、いまの両替の。それで3年もらって、師匠が4年、5年。4年に私が1人で、5年師匠と2人で行って、6年は私が別れたから師匠が行って来たかな。
講習所・学校の状況	廃校時のこと	それから今度ミヤザキさんっていうマッサージやった方が惜しいと、100円くるものを、親が学校建てるんだからって言ってね。学校をアオキさんから譲り受けて、それで三島で学校を始めたんですよ。初めクスミ先生が何か学校のことで自分が問題を起こしちゃったから、学校をよして、ヒラマツ先生を引っ張ってきてこっちへ来いと。東部盲学校をしようってね。いい学校を新設しようとしたですよ。それで東部には田方按鍼学校があるから、これがあったんじゃ、お前の学校は許可できないって、師匠からもらった学校を廃校にしちゃったんですよ。廃校にしたら新しい学校をつくらなきゃならないから、結局出なく
講習所・学校の状況	もめながらもうまくいかない学校	授業は少しやったけども、結局半年ぐらいでやめちゃったでしょ。だから潰しっぱなし。えらくもめたよ。その場でやっていきやよかったけど、クスミさんが来て、学校で喧嘩して、学校に対抗する学校を創るんだと言って、飛んできて始めたんだけど、うまくいなくて。

講習所・学校の状況	盲人会の運動でできた盲学校	だから東部になかった。今度初めて、24年に僕は盲人会をつくって、盲人会の運動によって沼津に初めて学校ができたね。
講習所・学校の状況	沼図にできた盲学校	○加藤 いまの沼津のは昭和になってからできたのですか。 ○○ 昭和どころか、二十何年か。 ○加藤 戦後ではないですか。
社会情勢に関すること	盲人会の設立	戦後ですよ。盲人会をつくったのが昭和23年かな。ヘレン・ケラー女史が。それを機会に盲人会つくった。その会が運動してつくったんだからね。
流しの状況	自己判断での流し	○加藤 昔、アオキ先生の所では流しみたいなのはさせなかったのですか。 ○○ させなかったけど、自発的にやったね。三島辺りは全部、どこでもやっただんです。師匠は流しをさせないことを建前に食い扶持を取ったわけですから。でも自発的に、11月になると商売は暇になるんですよ。無収に近いですよ。それでたまらなくなって出掛けるんですよ。まず竹屋に行って竹を買って僕、笛作った。昔は笛の作り方から皆教えられた、杉山流の。だから大したものですよ。ご飯の食べ方から、箸の持ち方から、鼻のかみ方から、ゆくゆくは笛の作り方まで皆心得ていたわけだ。私も作ったですよ。やっぱり竹を買ってきてね、あれを切って酢で煮てね、炭俵に縄かけて中をこう。
流しの状況	習う笛の作り方	○加藤 吹き方も流派で違うものですか。 ○○ あれは吹き方っていてもね。だんだんに、自然にこう。 ○加藤夫人 個人差が出てくようになるのですか。 ○○ ええ。息の入れ方も3段になるんですよ。あれがなかなか難しいんです
流しの状況	流しの稼ぎ	流して歩く。それは出ることは稼ぐのだから、行けとは言わないけれど。
流しの状況	流しの稼ぎ	○加藤夫人 流して得た分は、全部その人の収入になるわけですか。 ○○ いや、ならない。 ○加藤夫人 何割かは。 ○○ いや全部。暇で遊んでしようがないから行くんだから。三島辺りとか沼津は、みんなどこでもお弟子は、夜は強制的に。
施術者の経験と状況	あん摩さんの段階	私ども先輩が昭和3年に出て行って、横浜行っただけども、いちばん段階あるんだね、あんまさんが吹いてやるのと、呼んでやるのと。吹いてやる人がいちばん多いですよ。いちばん下は呼んじゃうんですね。あんまの……ってね。4分半がいちばん下でしょう。いちばん高級へいってお得意回り。いく人かお得意持てば、お得意回りで吹かなくていい。お得意はただ呼んじゃうからしないです。そうすると引いた人が呼んで何かしら払ってくれる。
流しの状況	流しの稼ぎ	いや暇だから、ピーって吹いていきや、きつとあるんですよ、ここら辺でも。
流しの状況	楽しかった流し	いや、楽しいですよ。三島に私どもが修業時代、もうちょっと古いかね、三島ヤクメイカンっていう、この辺はたくさんいたからね。みんな出たんです、夜は。お互いに出て行ってね、出て行ってほうぼう集まってね、仕事をしたりしゃべったり。とても私なんか三島行ってもね、歩いていちばん行くですよ。歩いて、仕事が終わってから、どこか呼び込んで2時までも3時までもしゃべりましたね。とてもそれが楽しいんです。……
流しの状況	流しで移動する距離	三島、行ったです。何て言っただって立合いだからね。当時、スギタ君なんか沼津に行ったんです。沼津まで行った。三島まで1時間ぐらいでした。ね。いまのように交通が激しくないから。線路が敷いてある。
流しの状況	笛の音で誰かが分かる	ここはいま大場で、これからあなたの向かっている北のほうは約4キロか5キロ行った所が三島なのです。反対に南に向かったほうが長岡で、6キロぐらい。その先5、6キロ行って修善寺がある。三島から沼津は、三島から沼津へ西へ沼津が約6キロの所にあって、みんな歩いたんです。いまでも1人ピーがあるのがね、三島に流れがある、あるらしい。いまやもうピーピー吹いても歩けないし、吹いても疲れてしまうし。昔は幾人もずっと町中がピーピーピー、あちこちでうなり、それでお互いの笛の音を聞くと、誰かってわかる。
流しの状況	笛の音で誰かが分かる	あれは誰だって。幾人でもみんなわかる。みんな特徴あるからね。
流しの状況	笛を吹いての流し	お互いに。それでヤスユキさんのお弟子なんかは大勢いたからね、稼ぎが多くなってくるとね、ちょっと引込めろなんて言ってね。船賃まで取ったやつ、みんなあちこちあるでしょ。毎晩もう多い人はどこまでも行っちゃうから。どこでも女衆は出さないけど、男衆は夜は出したんだな、みんな。昼間下揉みしておいて、夜になるとみんな笛持って出たんですよ。
施術者としての独立に関すること	独立	独立するにはね、家に帰って笛一丁あれば、すぐ始まる。それから始まるんですよ。
施術者としての独立に関すること	師匠からの支援はない	○加藤 普通の商家ですと、暖簾分けといったように、本家のほうが営業資金などいろいろと世話をしますね。 ○○ そういうことはないですね。何にもないですね、昔は。ただ、年が明けて出れば、戻れば笛一丁だから。笛一丁で始まるんだから。
施術者としての独立に関すること	師匠により異なる独立条件	ええ、技術を覚えるだけですよ。だから、私どもの師匠は土地が狭いし、田舎町だから。沼津辺り、ヒラタさんなんかだと、その土地には開業させなかった
同業者・仲間に関すること	無理矢理に開業する人	非常に揉めて、ササハラさん、その人が無理矢理に開業したけど、それまではその土地には開業しなかった。
流しの状況	笛1本で始まる施術	土地ではね、大抵。また、その金ないから、土地買うふうもないから。大抵、旅行ったり。どこへ行っても笛一丁で始まるんだから、あんまの開業っていうのは簡単ですよ。
施術者としての独立に関すること	開業のルール	縄張りなんてものはないけど、師匠の所にだけは開業しない。
同業者・仲間に関すること	戻ってきた兄弟子	まあ、昔の人はね。同業を遠慮したわけだ。喧嘩して出ない限りは。私はついに喧嘩別れで出たんだから、土地に帰ったと。ということは、私が3年間いて、辞めて、今度は私の兄弟子が、私を見てた兄弟子が、どうしてもと東京行っただけども、東京にいたんじゃ、体のいい牢屋入っているみたいだから、こっちへ戻りたいと。それで私はもう3年いて働いて出されたから、約束が違うから、このままいたら、この家も道具も全部お前にくれるぞって言ったのが、全部出て道具も取られ、何ももらえなくて。家ももらえなきゃ、子ども2人いたけど出たから。それで自分は家を建てて始めたから、もう師匠からはもらわないと。その兄弟子が、「じゃあ、わしが行く」ってって、それこそ大場
同業者・仲間に関すること	3年で生じた損失	それで私、兄弟子の所に行ったんですよ。いままで僕とヤマトジロウと師匠でいて。だから、その収入みたら、大体100円だと、その当時。100円ぐらいしかなかったと、やってみて、その当時は。100円と僕が言ったから、僕は100円で、僕は全部で100円の収入で、3年間で100円の欠損ができた。

施術者としての独立に関すること	師匠の2軒隣りでの営業	これから100円の収入の少なくとも、僕は半分は握ったよと。僕は半分でも、僕は自分と2人だから生活できると。あなたは師匠を抱えて、師匠が借金をつくったらば、あなたは50円でやっていかなかったらば。でも師匠は兄弟子一心だったから。私はそう計算をした。大場で見た目は100円しかない、せいぜいやって。100円のうち、少なくとも俺は4割か5割もらっていると。それで辛抱してもらった。向こうは100円のうち、僕が100円で賄っているところを、僕が半分取るんだから、半分でもって100円の経済かかるよというわけだから、僕は絶対勝つ自信があったから、とうとうちょうど2軒並んでね。2軒、隣屋敷に僕は家を作ったから、2軒並んで向こうは兄弟子と師匠と。だから、いままだ借金もしているし、兄弟子と兄弟弟子が、兄弟子と師匠が並んで対抗してりゃ、〇、いまに逃げ出すということで、みんな見てたわ。いまに〇は逃げ出すと。そうしたところがね、兄弟子がとうとう逃げ出した。だから僕は、僕のほうじゃ、もらったんじゃない、取ったんだって。師匠のほうは、僕の先生を通して電話したんだから、僕が取ったんだと、こうこうこういうわけで。師匠は僕にくれなかった。あとの株は兄弟子にくれて、僕は出されたから。それで
施術者の経験と状況	逃げる弟子	私はやらなかったから、そうだったらね。私の時代は師匠学校作っちゃってお前たち通って新しい勉強していかないと。三部書すると師匠の得となる。昔は私どもなんかはみんなやりました。よくみんな向き合ってたね、手をこう繋ぎ合ってたね、やりましたよ。全部暗記ができた者は卒業だから。
師匠の教え	やらなかった三部書	あまり聞いたことないね。そういったことは、私の師匠はいまでも点字は、新教育になっても点字教育になったから。点字教育になって違ったから。三部書なんていうのは師匠だけのものだったね。だから本を持ってましたよ。『ホサゲイズイ』なんていうの。つまり、昔、……だってね、持っていましたよ。…
実技の稽古	卒業の条件	…、巻き物を。書いてあったですよ。
師匠の経験と状況	師匠だけの三部書	〇加藤 田方の按鍼学校では、卒業証書などといったものは出ませんでしたか。
講習所・学校の状況	受け取った卒業証書	〇〇 僕はもらったね。もらったけど、もうないけど、もらったよ。僕はやつ
講習所・学校の状況	予科の内容	〇加藤 予科・本科というのはありましたか。
学習・教材に関すること	当時の教材	〇〇 あったね。だから、『点字読本』で1、2、3、4ってね、盲人とか、こうあったのが予科ですよ。
検定試験・免許取得の状況	筆記での資格試験	それから、鍼灸学に入ったのが本科。卒業して本科ね。本科卒業した者が、受験資格になるわけだから。私どもの時代はね、試験が、先輩が苦労した方が、統一試験に。その方が『鍼灸試験問題答案集』ってやってね、300頁ぐらいのね、それを全部暗記しよったですよ。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	昔は〇×式じゃなくて、みんな答えを書くんだから。いまでも覚えているのは、按鍼学校の本科のこっちの試験問題、私は書いて褒められた。これじゃあ、検定試験でも通るとね。血管収縮運動についてっていうかな、答えを書いたらね、検定試験でも通ると言われたね。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	〇加藤 三島には瞽女さんというのが昔ありましたが、そのような話はお聞きになったことがありますか。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	〇〇 あったですよ。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	〇加藤 明治の幕末に。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	〇〇 私ども子どもの時分に、やっぱり来ましたね。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	〇〇 1軒1軒じゃなくて、いちばんその土地の名士の家ですね。それで一席やってもらっていくでしょ。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	〇加藤 みんな集めてやるわけですか。
あはき以外での生活の糧に関すること	瞽女さんの訪問	〇〇 集まるというか、もう集まらなかったな、私の子どものときには。大正7年ごろね。瞽女になるのに歩いた人は、2人、3人ありましたよ。15のときにね、瞽女やっている人から三味線を習うと行ったけれども、何せ検定試験が忙しかったからね。好きだったけども。まだ、三味線よりバイオリンのほうがよかったんで、バイオリンもしたしね。
娯楽・余暇に関すること	習ったバイオリン	いまになって楽しかった、バイオリンやったほうが。三味線のほうが、いまになってたら、やっていなかったね。習いには行ったんですよ。だから、どこかでやってありますよ。やったけども、途中でやめてしまったね。師匠に隠れてやったけど、師匠も認めてくれて、習いに行ったんですよ。
娯楽・余暇に関すること	若い時は良かったバイオリン	いや、全然言わなかったね。あの当時もバイオリン行っちゃったね。若いときは歌謡曲のほうがいいからね。いまになってみると、三味線がおもしろいだろう
娯楽・余暇に関すること	若い時にはやった楽器	ラジオで聞いても民謡とか、あるいは和楽しか聞かないね。若いときはなかなかこう、なんて言いますかね、確かに時代のものだね、よくちらっと聞く。私が若いときはバイオリンが流行った、マンドリンとかね、流行ったのです。
施術料・収入の状況	少ない収入	何だって、金がなかった、収入がね。普通の者の1カ月収入が、その当時40～50円だからね。1回50銭で、よくあっても5人か3人かね。いまだって、一般の収入、どうかな、わからんけども、あんまり10万ないんじゃないかな、最高がね。よく点字新聞なんかで、……だって収入5万、5万と言うけれど、5万
徒弟制の内容と状況	年季中のこと	私は昭和10年ごろから娯楽時間、自分時間などというのは、その10年ごろ、ゴトウという同業者が来て、「〇さん、あんたいつも仕事しているけど」。私ども若い年季時代にここから三島まで出て行ったらもう、出たら最後、朝出たら晩まで帰ってこなくて、1日中同業者と遊び歩いて、少し用足して帰ってくる。出て行ったらもう都合つかない。3軒ぐらい回って帰ってくる、もう仕事なかった。今日来て、いなきや、明日くるのだから、その当時は。1日に3人とか5人しかいないのだから。今日いなきや、明日来るだろうからなんて呑気なものですよ。町を歩いて建具屋だ、あるいは鍛冶屋だ、それこそ職人が仕事をしても、よくああして1日仕事できるなあと思ったね。こっちは1日のうち、仕事の時間は少ないわ、3人か5人だからね。寝ている時間のほうが
施術の方法と考え	昭和10年ごろの仕事	今度は自分が逆で、朝起きて8時に入って、夜9時か10時。9時と言っても、大体9時半ぐらいに終わって。9時までぐらいだと、何にも、少なくとも20年ばかりやっているけれどね。
施術者の経験と状況	親からの入学反対	学校へね。私もそう言って、親から激怒され、プレーキがかけられたから。そのときは断念したからといって、笑われ者だったですよ、そのときは。
講習所・学校の状況	どうしても入学できなかった学校	2人入って。2人学校へ入って、2人鞍替えて、私ら2人は残ったんです。しばらく私はいちばん、そのときはへまだったね。いろいろ学校へ行くべく計画はあったのだけど、行けなかった。
師匠の経験と状況	師匠の思い	それで、いちばん下手なあんまだった。それで、敢えて言ったね。あんまが上手だと褒められると鍼が駄目、なんていうことも言ったこともあった。確かにそうだね、俺なんかあんまは下手だけど。何しろ、早く免状取っちゃったから。だから、いまごろ師匠が兄弟子が出てしまったから、師匠がうちに頼っ

施術の方法と 考え	小児鍼の習得	それから小児鍼を、偶然ちょっとしたことから小児鍼を覚えたことね。まず小児鍼が効いたですよ。
施術の方法と 考え	杉山流の施術	そこで昔はあんまさんなかったから私が行ったのです。大抵、東京の人、私のこと「君は杉山流だね」と、よく言ったね。東京では杉山流というものは晴眼者は弟子に取らない。目が見える人セイサ流だと、盲人は杉山流だから、あんた杉山流だねと。男性のほとんどのお客さんが入ってきて、「ああ、君は杉山
施術者の経験と 状況	巻き込まれた面島後と	ある男がちょっと不義を起こして、うちを逃げ出してきた。大磯の人間が平塚で開業していて、同業者といい仲になっちゃってね。自分の奥さんはお腹が大きいのに、その奥さんをうちやって逃げてきた。逃げるのに、奥さんに送らせて平塚の駅まで汽車に乗り込ませてもらって、大磯へ行くなって乗り込んでおいて、途中から乗り越して広小路へ行って。ウチムラっていう先輩を女の人が尋ねてきた。ウチムラはうちが狭いからと言って、預けに来た、預かってく

表2 2 「 H M」コード 一覧

カテゴリー	コード	文章
施術者の経験と 状況	受け入れ先の常法	あるとき、福井県の同村の人でタカムラキヨマツという人が、肩が張ってウノさんというあんまさんのところに治療に行った。いろいろな世間話から荒川の話に移り、「Mさんが目が見えなくなったそうですね。親御さんがこの職業にする希望があれば、油屋時代からお馴染みである、どんなお世話もいたします。是非よこしてください」とのことです。
徒弟制の内容と 状況	師匠への入門	タカムラさんは「さっそく両親に話をいたします。なお、本人の意志、カズオの意見も聞いた上、ご挨拶いたします」。母は、いろいろと手を尽くしたが、とうとう治らず、あんまさんになるのかとわっと泣き出した。 兄カズオさんをはじめ、タカムラその他3、4人の意見に、治る見込みがないとすれば、1日も早く職に就けることが将来のためである。ここに意見が一致いたし、3月2日、12歳にして鍼、あんまの修行に出ることになりました。
施術者の経験と 状況	入門に際しての不安と 絶望	私の生活は一変して、盲人社会の1頁に踏み出すことになりました。今はすべての喜びも失い、暗黒の世界の人となり、これから私の将来はいかに転換していくものか、人生観の歩みが始まるうとしております。
実技の稽古	辛いあん摩の練習	さて、ウノ先生に入門いたしますと、明けても暮れても自分の膝を揉んだり、あるいは人の肩を借りて揉んでおります。こうして想像以上の辛いことばかりであった。ようやく一通りの治療を覚えまして。はや、ここに1カ月を経
流しの状況	うまくいかない流し	4月10日より、治療代300文、いわゆる3銭で流しに出ることになった。二晩、三晩はいかに無心な子どもでも「あんま上下300文」と怒鳴る声が出ません。
流しの状況	流しでの客	ある晩のこと、昔、油屋をやっていた通称地蔵横丁、今の小松橋の通りに流しに行った。「あんま上下」と怒鳴ると、私の声を聞きつけて、油屋時代の荒川を知っている人は「あれが荒川のミーちゃんか」とみんな泣いたそうである。親の光と世間の同情によって、あちらこちらより頼まれ、1日4、5人の
同業者・仲間に関する こと	友人の家でのもてなし	また、……の友達は母親に「僕の友達が、めくらになってあんまさんになったのだから呼んであげなよ」。親も仕方なく、まだ32、3の肩の張ることも知らないお母さんは、「揉むことはいいから、うちの子どもと遊んでいきなさい」と、ご馳走をしてお金をくれて帰します。こうした状態で近ごろは朗らかになり、いっそう楽しく働いております。
施術者の経験と 状況	兄からの手紙	あるとき、福井県の兄より書面が来ました。「両親の丹精も空しく、実の目も治らず、すべてが水泡に帰し、今は鍼、あんまの修行に出られたる由、両親の心中いかばかりかと、ご用………察し仕り候。当方にも、とりわけおばあさんは声を上げて泣いており候。ある日、嫁のツギヨが目は見えなくとも、立派に職を持って社会人として立てる。もし脳膜炎でもあれば、生涯かわいそうであると言われて、老婆も安堵いたし候」と兄の書面に記してあった。両親は「あんま上下」と実の声を聞くと、夜も寝られない。まだ12ではかわいそうである。もう1、2年過ぎても遅くはないと思う。いっそうのこと家に連れてこようか。でも父はやはり男である。今からそんな甘いことでは一人前にな
流しの状況	笛を使う許可	当時の弟子は、その年齢と修行のしたる年数に応じて差別がありました。1貫文、いわゆる10銭の治療代をもらうには、少なくとも3、4年は修行いたします。1貫文になると、初めて笛を吹くことを許されます。
流しの状況	笛祝い	このときは「笛祝い」と称し、赤飯を炊き、下駄、手ぬぐいに、1本の笛をくれます。これまでにするには容易ではありません。こうした笛祝いのできる弟子が1人でも多く出ると、同業者に対し、先生の誇りとしてあります。
施術者の経験と 状況	身に着けるものによる 違い	当時の鍼医は必ず紋付きに羽織を着たものであります。これも平等ではなかった。最低はキャラコの紋付き、最高はナナコの羽織。糸織りの着物にのめりの下駄に白足袋といういでたちで、医者と間違える風采な鍼医もありました。また、中には………な汚い人もあります。昔は盲人の生活に上下の段階があり、中等の生活が少なかった。
流しの状況	流しの地域を分ける	現在、ウノ先生………、12時半になると10分置きに流しに出かけます。まず1人が石島町、10分過ぎて来た者は千田町、20分後に出た者が海辺町と、それぞれ回る区域が別々であります。それは3人が遊ばないように計画を立てて回らしたものだと思えます。 寂しい秋が訪れ、相変わらず「あんま上下300文」と流しに歩きます。
徒弟制の内容と 状況	弟子入りする際の契約	先生は、ぜひ年季証文を入れてもらいたい。ここに年季契約書を入れることになりました。この時代はいかなる職業も問わずして、年季証文を入れることは通常常識でありました。こうした年季証文は今日では見ることはできません。それでは参考までに、私の年季証文をご紹介します。
徒弟制の内容と 状況	契約書の内容	年季証文。「この度、不思議なご縁をもち、不肖荒川ウヘイの一子実こと、鍼、あんまの修行につき、ウノキイチ先生宅に21歳まで勤めるべきことをお約束仕り候。但し年季終了の暁は、その恩義を謝し、なお1年間を礼奉公として勤めることを承知仕り候。また本人に不都合あるときは、その責任を親元にて負うべき候。なお本人病気の……には、薬料はもちろん、一切の費用は親元にて負担いたすべきこと、この段承知仕り候。本人途中にてやめたり、あるいは他の先生に移動したときには、お世話に相なりたるときよりその当日までの月謝、食料扶持を納むることを承知いたし候。月謝2円、食料3円、計5円。この段承知仕り候こと実証なり。大正4年10月10日、深川千田町225番地、

徒弟制の内容と状況	授業料としての食い扶持	当時はあんまさんの弟子に入ると、1カ年ないし2カ年は、2円、3円を食い扶持として払ったものであります。これは目の見えないため家の仕事ができないばかりでなく、非常に手がかかるので、いわゆる手数料として、親元より納めさせたものでないかと思います。こうして奉公人を1枚の紙に封じ、一切の自由を束縛したものであります。これはあんま、鍼の年季奉公に限らず、いかなる職業にも保証人と契約書は、この時代のお定まりであります。
流しの状況	流しの経験	さて、今日も屋過ぎから流しに出ました。夜になってもお客がない。お腹が空いてくる、体は寒くなる。目が見えていたころを思い浮かべ、知らず涙が溢れて、「あんま上下」と怒鳴る声も出なかった。今ごろは家の者は寝たかしら、友達は親の元にいられてうらやましいなと、さまざまなることを思い、また涙がとめどなく頬を伝わり、しばらくは座り物陰で泣いております。
施術者の経験と状況	弟子に出した両親の思い	また我が家では両親の思いは同じであった。「今ごろは実はお客さんがあったかね」と話をしております。両親は毎夜10時の時計が打つまでは眠れなかったそうであります。さまざまなる苦労の中に、この年も終わります。
流しの状況	流しの経験	大正5年元旦を……、2月のみぞれの降る寒い夜であった。はや8時を過ぎてもお客は1人もありません。「あんま上下500文」と怒鳴ってくると、「実」と呼んでいる。はてなと耳を澄ませて聞くと、なつかしいおっかさんであった。母は小声で「寒いねえ」と私の手を引いて、家に入れた。「今夜は雪模様で家にいてさえ寒いのに、お前はどんなに寒いやろかと呼びに行ったのさ。心配しないで、時間はおっかさんが見ている」。焼き芋や大福餅を出してくれましたが、私は炬燵に入ると、疲れと暖かいのでいつしか眠った。
流しの状況	流しの経験	やがて時計は10時を打った。母はあんま賃2つ分の10銭と別に、10銭を私の手に握らせ、「雨の降る寒い夜はいつでもおいで」と門口まで送り出しました。母はいつまでも見送り、「端に寄るとドブがあるから気を付けて帰んな」と、私の姿が見えなくなるまで見守っていたそうであります。私は寝床に入っても、しばらくは涙が止まらず、眠られなかった。
流しの状況	流しで捕まらない客	2月26日の夜であった。筑波おろしの寒風は耳がちぎれるような寒さである。相変わらず流しをしているが、まだお客は1人もありません。去年までは珍しいのと、一時に湧いた同情でお客もありましたが、今は過去の夢であります。雨のために外套は濡れ、体が冷えてくる。そうそうは親のところへも行か
流しの状況	流しの稼ぎ	さまざまなることを考えながら「あんま上下500文」と怒鳴ってくると、路地の間から、「あんまさん」と呼ばれた。このときほどうれしかったことはなかった。路地を入ると6畳1間の長屋で、主は土方のようであった。2人治療して10銭と言え、主がかわいそうだから15銭あげなさい。
施術の方法と考え	チップで食べたてんぷら蕎麦	おかみさんは15銭を私の手に渡し、「この表にそば屋があるから、こんな寒い夜は天ぷらそばでも食べて、あったまってお帰り」。せつかく親切に言ってくれるのに、食べないのも悪いような気がして、表に出ると、なるほど汚いそば屋があった。
施術の方法と考え	蕎麦を食べたことを師匠に知られる	さっそく天ぷらそばを食べた。2銭5厘払って家に帰ると、先生はまだ火鉢にあたっていました。2人分の10銭を渡す。「お前はそば屋で天ぷらそばを食べていたな」。私ははっといたしました。「5銭多くもらったので食べまし
娯楽・余暇に関するこ	盲人の賭博	先生は「お前らが表で何をしているか、またどこを歩いているか、この箱の中より出る棒の印ですぐわかる」。これは神様のおみくじの箱のようなものであります。私はびっくりいたしました。先生と言われる人は、恐ろしいものであると、両手を付けて謝罪いたしました。これからこういうことをしてはなりません。私が17、8になってから、これがあんまさんの賭博の道具であることが
施術の方法と考え	盲人をだます患者	翌朝、突然患者が来ました。揉んで鍼をして35銭である。患者は5円の紙幣を出した。4円65銭の釣りをもって患者は帰る。おかみさんは使いに出かけて留守であった。先生と弟子と4人でおりますが、全盲であります。しばらくして家主が家賃を取りに来ました。客から受け取りました5円紙幣を出すと「いや、これは先生、白紙です」「そんな馬鹿なことはありません。いま客からもらったばかりである」。もう先生は夢中であった。今日では5,000円以上に相当いたします。家主は紙幣を先生に持たせ、近所のおかみさんを2、3人連れてきた。初めて白紙であったことに先生は納得いたしました。もしおかみさんがいたなれ
師匠の経験と状況	金貸しを始めた師匠	近ごろ先生は、金貸しを始めました。この貸付方法は次のとおりである。10円貸す場合には手数料として50銭取る。それに保証人が1人。これを毎日20銭ずつ日払いにて納めます。60日間に12円払うことになります。それに最初の50銭の手数料を加算すると、月に1割5分の利子になります。今は金に心が集中して欲が強くなり、あまり弟子にも教えることもいたしません。
施術者の経験と状況	母が心配する将来	ここに兄カズオさんの友人にして、カオルさんという人があります。あるとき私の将来について、母は話をいたしました。カオルさんは「それでは私の知っている先生があるが、これは日本橋数寄屋町で、しかし弟子を取るかどうか分かりませんが、今度休暇のときによく聞いてきましょう」。
施術者の経験と状況	新たな師匠との出会い	によく聞いてきましょう」。 カズオさんの友人のカオルさんが、日本橋数寄屋町のキシホウリンさんに尋ね、いろいろとお話をいたしましたところ、「ぜひ本人を連れておいでなさい」と話は順調に運ばれました。父に連れられて、数寄屋町のキシ先生宅にまいりました。先生は「今年もわずかであるから、年を明けて正月おいでなさい」と話は決まりました。この先生は盲人で将棋が2段であります。いま東京の将棋界でも、目明きも及ばないと評判の人であります。
徒弟制の内容と状況	何とかもらったヒマ	父はウノ先生に暇を取りに行きましたが、なかなか返事をしなかった。ようやくのこと、押し詰まる暮れの25日、暇をもらいました。こうしてさまざまなる中に、この年も終わっていきます。
施術者の経験と状況	師匠への入門	大正6年、両親兄弟一家揃って久方振りに元旦を迎えました。何年振りかに獅子舞が舞い込み、楽しい正月も三が日を終わり、5日早朝から父に連れられて、日本橋数寄屋町のキシホウリン先生宅に入門いたしました。
師匠の経験と状況	師匠の所在地	ここは現在の日本橋通りと、呉服橋から竹橋に通じた通りの中間にして、いわゆる三越の裏通りから西河岸橋を渡り、呉服橋から京橋、大根河岸に通じた東中通りであります。周囲は大工町、数寄屋町、干物町、タニマキ町の4カ町は芸者屋街であります。
江戸時代の位・制度に関するこ	検校である師匠	このホウリンさんの師匠は、日本橋呉服町、西河岸橋の角にあたる、390坪の邸宅を構えたるアマズミリュウホウと称する検校であります。

江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	徳川時代には盲人に3種の位がありました。すなわち検校・勾当・座頭の3段に区分されております。検校は1,000両、勾当が500両、また座頭は20両、江戸から145里の道中を一本の杖に頼り、京都に上りこうしたお金を納め、位を受けたものであります。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	検校は諸大名の出入りを許され、また勾当は旗本の出入りを許され、座頭は町方の盲人をリードして盲人の統率を図ったものという。検校は一万石の格式を持って、朱塗りのお駕籠で往来したものです。
社会情勢に関すること	盲人の位	明治4年、廃藩置県とともに、こうした盲人の位も廃止いたしました。
師匠の経験と状況	師匠の経歴	それでは私の先生、キシホウリンさんの経歴をちょっと付け加えて申しあげます。ホウリンさんの祖父は勤皇党にして、幕末の折、橋本左内と同時に捕らわれ、戦時小塚原において死罪になりました。ホウリンさんは北品川北馬場に生まれ、元治元年、灸師呉服町アマズミ検校の門下に入り、後に山県・松方両元帥の介添えに相まって、歴史の正しいところから宮中にあんまとして参内した人である。ホウリンさんがこうして成功されたことは、アマズミ検校の甥に当たる人で、歌沢の師匠があった。ついに音声が立たず、歌沢の芸道を娘に譲り、隠居いたしました。
師匠の経験と状況	師匠の将棋の稽古	慶応4年、ホウリンさん14歳にして、毎夜この隠居を治療に行った。ある日「お前もわしを治療するばかりでは、長い間には飽きがくる。どうじゃ、明日から将棋を教えてやろう」「誠に身に余る幸せと思いますが、それでは先生に叱られます」「いやいや、そのことなら氣遣わぬともよい。わしから検校に話をしておくから、心配はいらん」「それでは何分よろしく願いいたします
師匠の経験と状況	師匠の将棋の稽古	翌晩から、治療が終わると将棋の稽古をする。当時はあんま賃が6文であった。帰りにはず1銭2厘持たせて帰します。こうして4年半という長い年月を、将棋の伝授を受けました。誠に奇特な人であります。今日の人を見ると、昔の者は物好きな人もあったと思う方もありますが、目明きと違って、目の見えない者に教えることは、なかなか困難なことであります。隠居が亡くなったときは、2段の格を修めました。
師匠の経験と状況	師匠の恩人	また、ここに忘れることができない恩人があります。これは「あけぼの」という芸者屋の抱え芸子で、マンリュウさんという人があります。このマンリュウさんが大倉喜八郎に身請けされました。マンリュウさんは一躍男爵夫人として、子爵伯爵の交際が交わるようになりました。大倉夫人はいつも先生の将棋の自慢をする、いわゆる宣伝をいたします。ついに島津、鍋島両公爵、山県、松方両元帥、本郷片町の伏見宮、渋谷の梨本宮に出入りを許され、大成功であ
施術者の経験と状況	入門して間もなくのエピソード	私が入門いたし間もないころであった。島津公より梅の盆栽をもらってきました。あるときいちばん良い枝を折ってしまった。私は青くなって長男の若旦那にお詫びいたしますと、「それは困ったことができた。お父さんの帰らないうちになんとかしなければ」と若旦那のいとこにあたる、象牙の彫刻師を頼み、枝はみごとにつなかりました。
師匠の経験と状況	師匠の観察力	間もなく先生がお帰りになり、衣服を着替えると盆栽を撫で始めた。やかて女中を呼んで、「何かこの鉢にぶつけなかったかね」「まだ私はそちらの座敷には入りません」。今度はお嫁さんと呼びます。お嫁さんは私が折ったことを知っているから、「なんですか、お父さん」「この枝も葉も、他のものより威勢がないと思うが見てくれなにか」。 目明きが見てもわからないのに、見えない人がどうしてわかるのかと、勘がいいというより不思議であった。若旦那の取りなしで、ようやく許してもらったことがあります。
師匠の経験と状況	師匠の破産	先生の全盛時代には、当時60万の財産があり、昭和の今日では6億に相当いたします。長男……。私が入門したときには、大半の地所は手放して、もう下りであります。先生は早くに奥さんと死別いたし、その後も後添えも持たず、4人の子どもは、ばあや・女中に預け、すべてが金の権力で家庭をまかない、従って家庭的な教育も伴わず家の秩序も無く、こうした影響によって良い子どもができなかった。したがってこの築き上げられた財産も破産したものか
施術者の経験と状況	兄弟子の言葉	ある日、兄弟子のトウリンさんの話に、「これからの盲人は技術だけに頼ってはいられないと思う。お前が30ぐらいになると、このままに進むと時代遅れのあんまさんになる。もちろん技術は大切であるが、これからの盲人は、盲学校に入り盲教育を受けることである」と兄弟子は説明してくれました。後に、この人は埼玉盲学校の教員を務めました。
施術者の経験と状況	両親の説得	私はさっそく深川の両親に相談いたしますと、「今はお前を学校に上げる力はない。そのうちに家が楽になれば、学校に上げる」。しかし「学校の入学準備は、ここに12円の貯蓄がある。これで一切をやってもらいたい。また、学校から帰れば流しをして、自分の食べ料は働ける」と話をいたしましたところ、両親もやっと納得いたしました。
施術者の経験と状況	学校への入学	先生からお暇をもらって、9月1日から袴を着けて京橋築地3丁目、西本願寺内にある技術盲学校に入学いたしました。
社会情勢に関すること	自然災害	9月30日、午前2時、突然津波が押し寄せ、嵐は猛勢を振るい、たちまちのうち勢力を増して、棚の物、柱時計までもぐる有り様である。低いところでは天井の裏板まで水浸しになり、犠牲者もたくさんにありました。シカ町では48人犠牲者が出て、各交番の前には棺箱が並び、涙なくしては見られません。またスナ村では490人の犠牲者があり、恐るべき惨事でありました。水は20日以上も退かず、従って通学もできません。
施術者の経験と状況	家庭の事情	ある日、父は嵐のために壊れた屋根を修理に上がりました。修理最中に屋根から落ちて脊髄にヒビが入り、さっそく名倉に入院いたしました。ついに学校も思わしからず、退学いたしました。
同業者・仲間に関すること	上級生の支援	ここに上級生の近藤マサシという人があり、「僕があんまの資格を取らせてあげる。とにかく僕の家に来たまえ」と、誠に良い人に巡り会いました。この年も学校の失敗、大水害、父の負傷、さまざまな中に暮れていきます。
同業者・仲間に関すること	上級生の支援	大正7年、水害の影響を受けて世間では畳の無い家が多く、……むしろを敷いて元日を迎えました。私は、4日より近藤さん宅に試験勉強に通います。これは江東橋たもとにあたる、いわゆる柳島2丁目であります。ただ今と違って電車も無く、往復1時間以上かかります。雨が降っても雪が降っても、今は勉強にいそしみ、すべての楽しみもなく勉強に集中いたしております。70日間に190問の問題を暗記いたします。何分にもまだ13歳6カ月の歳では、無理なこと
検定試験・免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	試験日が3月20日に決定いたしました。当時はあんまは晴眼が4カ年、盲人は2カ年修行し、先生の証明に基づき試験を受ける資格があります。父はウノ先生に事の次第を打ち明けて、依頼いたしました。ここに猿江イワマチのヨネダと称する人の証明によって、ようやく試験を受けること
#REF!	検定試験の内容	当日は父に連れられて、警視庁の試験室に入ります。まずあんまの実地を初めとして、解剖学、生理学、あんま学、衛生学であります。
検定試験・免許取得の状況	検定試験の合格	4月10日にあんま術の試験が合格いたし、通知が参りました。私はもちろん、両親の喜びは格別でありました。
施術者の経験と状況	親の勧めの入門	さて、これから鍼の勉強であります。やはりキシ先生のもとに帰ることがよろしいのではないかと、両親の勧めに従って、再び日本橋の先生のもとに帰ることになりました。

師匠の経験と 状況	師匠の破産	父に連れられ先生宅を訪ねますと、数寄屋町の立派な化粧品のお店は影もなく、自動車屋に変わっております。私はびっくりいたしました。子どもで深いことはわからなかったが、すでに昨年、お店が破産いたしたことがわかりまし
徒弟制の内容と 状況	再び迎えてく れた師匠	さっそく 尋ねますと、ホウリンさんはカミ マキ町の大野屋という 鰻屋の裏に移転いたしました。先生はじめ一同が、よく 帰ってきたと 喜んで迎えてくれました。わずか1 カ年足らずの間に、がらっと変わりました。先生の周囲には、吉田流の晴眼の同業者が4 、5 軒包囲して、全く 圧迫され時代に遅れた感が十
施術の方法と 考え	横綱の施術	あるとき、ナカイという 待合から迎えがきました。この待合の主人はお菊さんと称し、先生が昔将棋の伝授を受けました、あの恩人歌沢の隠居の孫娘にあたります。今は常陸山、横綱の二号さんであります。大きな体を触って、私はびっくりいたしました。当時引退しても、まだ42貫あったそうであります。この巨大な体を治療し、終わると横綱自ら私の手に治療代を渡し、「 みんな持つ
施術料・ 収入の状況	いただいた施術量	私は1 円札だと思ったところ、10円紙幣であります。さっそく ナカイの帳場に持って行きますと、「 お前が真面目で治療したから、御大がくだすったのだ。もらっておきなさい」。私は本当にうれしかった。
施術の方法と 考え	料亭での施術	大正9 年、うららかな正月を迎えます。元日早々から忙しく、今は深川の親元にも帰れません。あれは2 日の夜であったと思います。若松という 料亭から迎えがありました。私は女中さんの案内に従い、座敷に入ると、客はかなり酔っております。周囲には私のお得意の芸者衆が客を取り 巻き、ご機嫌を取り
施術の方法と 考え	料亭での施術	しばらく 治療すると、「 もうよろしい。お前もここへ来て飲め」「 まだ治療中ですからお酒はいただきません」。タマフジ屋のタマエさんが「 旦那、からかわないで帰しておやんなさいな」。しかし客は帰そうともしない。「 どうだ、お銚子4 本飲めば10円やるが飲まんか」。ギンスジムラの方ジコさんが「 旦那、帰ってもいいんでしょう」「 いや、飲まんうちは絶対帰さん」。この時代には、こうしたお客がよく あります。芸者と平凡に飲んでいるのがおもしろくない。
施術の方法と 考え	お客に出された酒	私も 治療代をもらっていないので、帰ることもできません。しかし 飲んだことではないが、3 合や4 合の酒が飲めないことはない。飲んで10円もらえるならば、これはまんざらでもない。「 旦那、いただきます」。私の前に銚子が並んだ。ツタオオノのハナエさんが、「 ホウネンさん、大丈夫ですか」とコップになみなみと注いだ。私は水を飲むように息もつかず酒杯を飲み干した。すると目が回り、10円もらってようよう のこと帰りました。家に帰ると嘔吐を発生、
社会情勢に関する こと	株の暴落から 不況に	3 月15日に一斉に各銀行の取り 付けが起こり、4 日間の間に株が大暴落いたし、政界財界に大きな反響を及ぼし、不況に陥りました。私もついに4 月、キシ先生から暇を取る ことになりました。
施術者としての独立に関する こと	自宅で開業	さて我が家で開業することになりまして、看板を上げましたが、なかなか商売がありません。
流し の状況	流し の稼ぎ	ほとんど流しが専門であります。昔は平気で流しもいたしました。が、もう年頃になると自分のまちはきまりが悪くて歩けません。それで猿江から大島方面を毎日流して歩きます。そのうち客も大変に多くなり、両親は喜んでおります。
娯楽・ 余暇に関する こと	友達に誘われ始めたバイオリン	大正10年、あるとき友達が3 人遊びに来た。これは昼は工場に勤めて、夜は当時の演歌師で、毎晩縁日、あるいは祭りの盛り 場で、バイオリンを弾きながら本を売ったものであります。「 Mさん、バイオリンをやる気はないか。勤がいいからすぐ覚えられると思う。僕ら3 人で教えてあげる」。さっそくバイオリンを6 円50銭で求め、一心に稽古を始めました。習うより慣れろとか、5 、6 カ月は夢中でやっておりまし。今は商売も上の空であります。
社会情勢に関する こと	大正時代に流行った演歌師	それではここに、演歌師についてちょっと申し上げたいと思います。演歌師は明治30年ごろ、大学生のアルバイト のようなもので始まったことであります。演歌の歌本は当時は瓦版大の本を作り、これを上野、浅草、新橋、銀座、こうした盛り 場をバイオリンを弾きながら 歌を歌って、本を売ったものであり
社会情勢に関する こと	大正時代に流行った演歌師	演歌師が増加するに従い、大正の初期から 青年クラブというものができまして、すべての演歌の本をこの青年クラブで出版いたします。演歌の最も全盛時代は、大正の初期から 関東大震災の12年までの時代が最も 盛んであります。
社会情勢に関する こと	大正時代に流行った演歌師	また大正5 、6 年ごろから、演歌師に、営業と 認め鑑札というものを所持せざる者は、直ちに差し止められたものであります。その反面には、1 つの団体組織があり、おのおのの縄張り と申しますか歩く 範囲が定められております。ついに大正14年、青少年の風紀を乱すというところから、この演歌師の本が発売禁止となり、全国の演歌師がやむを得ず断念いたしました。
師匠の経験と 状況	師匠の危篤	大正11年3 月9 日の日であった。日本橋のキシホウリンさんが危篤の知らせによって、急いで駆けつけましたところ、近く の弟子が3 人先生を見守っております。30人の弟子を仕立てたそう ありますが、集まる人は少数であった。
師匠の教え	師匠から 貰った名前	まずホウサク、ホウシン、ホウザン、ホウエイ、ホウキュウ、ショウリン、セイリン、ケイリン、トウリン、それにホウネンの10人です。昔は鍼、あんまの弟子にはこうした名前があり、先生のホウの頭字をもらった人、あるいは下のリンの文字をもらった人、こうして名前を付けられたもの
師匠の経験と 状況	師匠の死	キシホウリンさんは家柄も良く、中年からたくさんの富を作り、盲人ながら将棋2 段の格を修め、宮家から宮中に参内いたし、明治天皇を治療いたしたお方です。先生は、嘉永、文久、元治、慶応、明治、大正の6 代の年号を通り、69歳にして大往生いたしました。
師匠の経験と 状況	初めの師匠	お話は大正4 年に戻ります。私、ウノ先生に鍼、あんまの弟子として入りまして、はやここに8 カ年の歳月が夢のように過ぎました。ウノ先生も今や昔の影もなく、千田町のみなと湯の銭湯の裏長屋に移り、その日を送っておりま
娯楽・ 余暇に関する こと	盲人の賭博	ある晩のことでありました。先生宅を訪ねますと、5 、6 人の同業者がおりました。しばらくすると、その数を増して13人になった。そのうち奥の6 畳に…布団を敷いた。一同は輪になってこれに座る。いま盲人の賭博が始まろうと するところであった。
娯楽・ 余暇に関する こと	盲人の賭博	私、かねて聞いておりましたが、現場にぶつかることは初めてであります。「 先生、何が始まるのですか」「 いま賭博が始まる ところであるが、Mさんも入らないか。例えばお前が10銭出して、運があればこれが最終50銭になる。いわゆるチョ ボイチというものである」と、しきりに勧めます。また周囲からも「 Hも入れ」と勧められる。私はとんだ所に来た と思ったが逃げることもでき
娯楽・ 余暇に関する こと	当時の娯楽	昭和の盲人は、こうした賭博は全く いたしません。が、昔の盲人は、これがために一家離散する者もたくさんに ありました。当時はラジオもなく、娯楽としては寄席に行つて落語、講談、浪花節を聞くことが何よりの楽しみであります。これも収入の乏しき人はなかなか行けません。

同業者・仲間に関する こと	教育を受けない盲人	また今日の盲人に比較して、知識が低かったことは事実であります。 これはある先生に年季に入り、教育もせず、今日では盲教育が発達いたし、義務制になり、力のない家庭は政府がこれを援助いたします。しかし幸せ薄き我々盲人に対しては、誠にありがたいご時世であります。
娯楽・余暇に関するこ と	盲人の賭博	はや、1 時の時計が打った。私が帰ろうと立ち上がると、一斉に止めます。「いま帰ると巡査がやかましい」。やむを得ず私も手を出して、はや5 時の時計が打った。4 円30銭勝ちましたのでやめました。私の父もこの勝負事が好きのために、母も大変苦労いたしました。幸いタダシさん、カズオさんは、こうしたことは絶対にやりません。私も今日まで3、4 回やったと思いますが、我々兄弟がこの勝負事を好きでなかったことは、人生間の最大の幸福であった
施術者の経験と 状況	女将さんからのアドバ イス	おかみさんは「Mさん、いくら先生が勧めても、こんなものを覚えると立派な先生にはなれませんよ。二度とやってはいけません」と、こんこんと意見をいたしました。これはおかみさんの言うことが真実であります。
師匠の経験と 状況	師匠の死	このウノ先生も技術はたいへん上手であり、子飼いの盲人としては誠にしっかりしておりましたが、この賭博が好きのために生涯安定したる生活もできず、平凡な日を送り76歳にしてこの世を終わりました。
娯楽・余暇に関するこ と	お使いに出る	今まで全員が夢中でやっておりましたが、お腹が空いてきたようである。おかみさんがご飯を炊きはじめると、「Mさん、すまないが油揚げを10枚買ってきてくれないか」と30銭渡しました。
施術者の経験と 状況	巡査に声をかけられる	私もやむを得ず揚げを買いに行った。巡査が突然「おいおい、君はどこへ行ったのかね、君の家はどこだね」「はい、揚げを買って帰るところであります」「こんな時間に見えない君を使いをさせずとも、目の見えるものがあるじゃろうが」「旦那、めくらは悪いことはできません。もういいでしょう」。巡査は「すまなかったね、気をつけて行きなさいよ」と巡査と別れた。
娯楽・余暇に関するこ と	盲人の賭博	これから約20分ほど過ぎると、3 人の巡査が踏み込んだ。これが目明きであつたら、巡査に体当たりをしても半数は逃げられたと思いますが、何分にも全員が盲人のため、座ったままで捕まってしまった。私は幸いおかみさんと台所で話をしていたので、この巻き添えには入らなかった。
娯楽・余暇に関するこ と	盲人の賭博	あのときは本当にびっくりいたしました。巡査は賭博の道具を持って13人を警察に同行いたしました。「こんなにめくらを連れてきてどうするのか、もっと大きな犯罪を挙げてきたまえ」と、署長に叱られたそうであります。
娯楽・余暇に関するこ と	盲人の賭博	それでは参考までに盲人の賭博について申しあげてみましょう。1 個の竹筒の中に、音のしないように布が貼ってある。この中に6 本の竹があります。上から蓋をして、その蓋の中央に穴がある。この筒を逆さに振ると、穴から1 本棒が飛び出す。この棒の根本は、しっかり抜け出すことのないように止めてあります。筒の中の6 本の竹には1 から6 までの印がある。まず竹の輪に刻みを付けてあるものが1 である。両面を削ったものが2。中央に三角に削られたものが3。中央が四角に削られたものが4。なお竹に絹糸が無数に巻き付けてあるものが5。滑らかにして傷のないものが6 であります。
娯楽・余暇に関するこ と	盲人の賭博	こうして竹の棒の印を撫でて見るのであります。いわゆるさいころの代わりを務めるものである。丁半の場合には、この筒を2 つ使って両方の筒から出る棒の印によって、丁半の勝負が決まります。
施術者の経験と 状況	晴眼者との行動	さて、私は近ごろは鍼の勉強は全くいたしません。もっぱらバイオリンを持って友達と、今日は亀戸のカトリ様、明日は羅漢様の縁日と、さまよって歩く。こうして目の見えない者が目明きと共に行動をすることは、誠に困難であり、また容易ではなかった。あるときは馬鹿にもされ、あるときは邪魔にもされます。しかしその反面に、この目明きを利用して有利なこともたくさんにあ
施術者の経験と 状況	母が心配する 将来	母は毎朝食事が終わると、「実、自分の将来を考えないのか。よその人は目明きであれば、人夫もやれる、土方もできる。生活には心配がない。しかしお前は鍼とあんま以外に生活する仕事はない。なぜ勉強をして、鍼の免状を早く受けようという気持ちにならないのか。おっかさんやおとつあんは、一生生きてはおらない。自分を反省せんと、末はやくざなままで終わってしまう。バイオリンが上手になったからとて、何の足しになる。おっかさんの生きているうちにどうか免状を取って、安心させてくれ」と母は涙ぐんで意見をいたしま
あはき 以外での生活の 糧に関すること	演歌師の活動	母の言葉には頭が下がるばかりであります。こうして親に苦勞をかけることは、本当に親不孝である。すまないと心ではお詫びをしております。また夜になると、友達が迎えに来られて、断ることもできず出かけて行きます。
社会情勢に関すること	演歌師の活動	この演歌師は、4 人の人が必要であります。まず1 人が歌を歌う。1 人がバイオリンを弾く。他の2 人が群衆に割り込んで本を売ります。もし1 人休まれますと、バイオリンを弾きながら歌うか、または本を1 人で売らなければなりません。これも呼吸があって、短時間に一斉に売らないと、わずかな間に100と120の本はなかなか売れることは困難であります。
あはき 以外での生活の 糧に関すること	演歌師の活動	こうした状態を4 人の1 人が休むことは、非常に支障をきたします。この書物は10銭と20銭とありますが、すべて仕入れは7 掛けであります。たとえば10銭の本は3 銭、また20銭の本は1 部6 銭で仕入れます。この本を10円売った場合には、元の3 円を引いて7 円を4 人で分配いたします。
あはき 以外での生活の 糧に関すること	演歌師の活動	私、ちょうど2 カ年演歌をやりましたが、1 晩に180冊売ったのが最高であり演歌にとつていちばん弱いのは、雨であります。夏は夕立が多く、本を売る仕度にかかった途端に雨に降られ、1 冊の本も売らずに帰ったことは度々ありました。演歌師は1 年を通じて4 月の中旬から10月の上旬で終わります。
娯楽・余暇に関するこ と	演歌師のバイオリンも 芸術	演歌のバイオリンは、オーケストラの楽団に合奏するバイオリンとは異なり、我々演歌のバイオリンは、その人の音声に合わせて弾くのであります。これは立派な芸術であると信じております。昭和の今日にいたなら、この演歌師も貴重な存在と申しあげても、決して過言でないと思います。
娯楽・余暇に関するこ と	演歌師の再現	それでは、ここに大正11年時代、いわゆる43年過去を顧みまして、1 曲やってみたいと思います。それではこれより、演歌のそのままの画面をやりたいと思います。最初に客寄せの「神田橋」の曲からやります。
あはき 以外での生活の 糧に関すること	演歌師の再現	大変本のほうに歌の数が出ておりますが、碑文谷の踏切、難波の女学生殺し、祇園の舞妓さんの心中、吉原の心中。20銭のほうの本にたくさん出ておりますから、みなさんお買い求め願います。後ろのほうを空けていただかないと交通がうるさいですから、道路を空けておいて、みなさん前のほうに寄ってください。それでは「金色夜叉」をやります。
あはき 以外での生活の 糧に関すること	演歌師の再現	こうして「船頭小唄」「流浪の旅」が流行いたしました翌年は、大正12年のあの関東大震災に、東京は枯れすすきとなり、何百万の市民が家もなく 流浪の旅に出たという、これは歌は世にその流行を追うことは事実ですが、予言的なところも十分にあると、私は信じております。次は……。

流し の 状況	福井での流し	○加藤 大正12年、関東大震災で罹災、一家は福井へ帰る。 ○H 私も遊んではおられません。ここに勝見町のイト ウイワサクという 同業者より笛をもらって流しに出掛けました。
流し の 状況	福井での流し	まず、ジョ ウナンの下町より……2 丁目を通り、新橋を渡り、木田からオトミの……を右に、ヨウガ寺よりジョ ウナンを回ったがお客は一人もありません。翌日は、停車場前から大名町、馬場の通り、片町通りからイッチョウ町を回ったが、やはり客はなかった。翌晩は、アサイ学校から日の出町、観音町からクロ町を回ったが、やはり一人もお客はありません。
施術の方法と 考え	初めてのお客	5 日目の夜であった。ゴフク町から毛矢町を回って本町通りに出たら、ヤスカワさんというチントドン屋の女中さんが「もしもし、おひねりさん」と呼んだ。私はわからなかったから返事をしない。2、3 回呼ばれて自分であったことがわかった。当時は、福井では「あんまさん」とは呼びません。大半「おひねりさん」と呼んだものであります。このときほどうれしかったことはありません。
施術の方法と 考え	お客の紹介を受ける	治療をしながら東京の避難民であること。また。カツミで兄が理髪業を開業しておることを、つぶさに話しました。ようやく、ヤスカワさんでも信用をいたし、これから、ヤスカワさんの紹介でたくさんのお客をお世話くださいまし
施術者の経験と 状況	避難場所で迎える 正月	大正13年、雪の中で親子が元日を迎え、東京の思い出話に花を咲かせております。私も、ようやく 生活が安定いたし、それから3 年間勉強し、その間に東京も復興することであろう。
同業者・ 仲間に関する こと	友人と の出会い	それには、しっかりした友達がほしい。やはり、我々盲人社会がある、いや、盲人でなければお互いの心理がわからない。幸いに、勝見町にヤマダイワサクという人がある。彼は、福井盲学校2 年で、彼の実家は一乗谷、昔の朝倉義景公のお城跡の近くで、アバカという所であります。いまは、通学するために、母親と二人で小さな家を借りて生活をしております。
同業者・ 仲間に関する こと	友人と の出会い	あるとき、ヤマダ氏宅を訪れたところ、想像以上の自愛心の深い、しっかりした男である。お互いに解剖学、生理学の問題を出して議論をいたしました。が、到底太刀打ちができなかった。過去を顧みるに、バイオリンに夢中になって勉強をしなかったことがよくわかります。
施術者の経験と 状況	徴兵検査	私の徴兵検査が来しました。当日は、父に連れられて木田の郡役所にまいり、検査を受けました。
施術者の経験と 状況	福井の盲学校への入学	さて、ヤマダ君と相談の結果、福井盲学校に3 年の試験を受けましたが、ついに2 年に落とされました。これはやむを得ないところであります。私の多年にわたる願望も実現いたし、福井盲学校に通学を始めました。
講習所・ 学校の状況	入学の費用	当時は、小倉の詰襟の服が6 円50銭、ゴムの短靴、下げ鞆、学帽、こうした費用が15円かかりました。
施術者の経験と 状況	苦学の辛さ	さて、1 学期の試験も始まります。夜は11時過ぎまで仕事がある。したがって、勉強をする暇もありません。朝、3 時頃……で勉強する状態であります。苦学のつらいことは依然感じるものがあります。
施術者の経験と 状況	福井の盲学校卒業	昭和2 年、私も大震災のために福井にまいり、盲学校に入学し、はや3 年7 カ月が夢中で経過し、過去を顧みるに、今日の喜びを迎えたことは、誠にたとえがたき……に思います。今日は3 月23日、卒業式である。君が代、続いて校長先生のお話。なお、卒業生の答辞、私は総代として、卒業生の代表を務めました。なお、「仰げば尊し」の後輩の声に送られて、あのときは、わずかな瞬間でありましたが、感無量でありました。
講習所・ 学校の状況	県立となった福井盲学校	福井盲学校は、昨年、大正15年まで私立でありましたが、昭和2 年、いわゆる私は県立第1 回の卒業であります。「若いいのち」を1 曲やります。
師匠の経験と 状況	師匠の弟子時代	私の先生から申しますと、文久元年にアマズミリュウホウという人に弟子入り
江戸時代の位・ 制度に関する こと	検校である師匠	○加藤夫人 アマズミリュウホウ。検校でいらっしゃる方ですね。 ○H ええ、そうです。呉服橋、呉服町に。
施術者の経験と 状況	自らは孫弟子	○加藤 アマズミリュウホウ。 ○加藤夫人 あの方がご師匠さんでいらっしゃるのですか。 ○H いや、孫弟子です。
江戸時代の位・ 制度に関する こと	検校である師匠	○加藤夫人 ああ、そうですか。この方、明治の初期に検校で随分活躍なすった方ですね。 ○H ええ、そうです。その、先生に差し上げたものを書いてあります。
施術料・ 収入の状況	明治初期の施術量	11人検校があつたわけです。その先生が弟子入りして、当時は、あんま賃が6 文だそうですよ。6 文というと、申し上げるまでもなく、1 銭より10厘足りな
師匠の経験と 状況	師匠の弟子時代	○H キシホウリンという人。 ○加藤 その方がアマズミ 検校に入門したとき。 ○H 文久元年にね。入門してから2、3 年は出られなかったんです。ですから、当時は、先生が弟子入りしたときには小判2 両ですね。
徒弟制の内容と 状況	入門量	○加藤 小判2 両、それは。 ○H 弟子入り入門料です。 ○加藤 弟子のほうから師匠に納めるわけですね。 ○H それにお米2 俵。 ○加藤 お米2 俵。それは先生……つたときですね。
徒弟制の内容と 状況	手数料としての米二俵	○加藤 毎年ではなくて。 ○H ええ、そうです。いや、毎年は米2 俵ずつですね、食い扶持として。 ○加藤 そうすると、自分の食費以上ですね。 ○H 以上です。それは手数料というわけです。
徒弟制の内容と 状況	米二俵はお金で納めるものもいた	○加藤夫人 お米2 俵は、お米でお納めになるのですか。 ○H 米のない者は金ですね。昔は、すべて米の量を加算した金を納めていた。
徒弟制の内容と 状況	年季中のこと	○H 年季が明けるまでは羽織というものを着せないんだそうですよ。半纏と言ってね、奥さん、ご存じかもしれませんが、襟があつてね、紐が付いてないんです。 ○加藤夫人 それで、紋かなんかは入ってないんですか。 ○H ええ、背中に一つ紋が付いてるんです。 ○加藤夫人 それは、そのお師匠さんによって違うわけでしょう。 ○H お師匠さんが出すんです、それは。
徒弟制の内容と 状況	自分で購入する半纏	○加藤 お仕着せみたいなものですね。 ○H ところが、お仕着せじゃないんです。 ○加藤 ああ、そうじゃないんですか。 ○H それを買わせるんですよ。 ○加藤 ああ。

江戸時代の位・制度に関すること	検校の位	○加藤 アマズミリュウホウという検校が乗ってた駕籠が、いま通り3丁目の丸善の所にカゴサスというのがあったんです。 ○加藤 ああ、カゴサスね。 ○H ええ。そこへ朱塗りの駕籠をね。当時、検校は朱塗りなんです。それから、位のある坊さんは網代の駕籠に乗ってたんです。駕籠の色は、朱塗りと網代と、位のある駕籠は2種類しかなかったんです。駕籠を見れば何様か、坊さんか検校かということがわかる。
江戸時代の位・制度に関すること	位によって違う杖	○加藤夫人 勾当になりますと、また違いますでしょう、駕籠が。 ○H 勾当は駕籠に乗れなかったです。 ○加藤夫人 ああ、乗れなかったのですか。ああ、そうですか。 ○H ええ。勾当は駕籠に乗れないです。で、杖に位があった。これは、いまの本に書いてないですけどね。
江戸時代の位・制度に関すること	座頭の杖	○H これは、私、子どもだったから、あまり興味を持って聞かなかったからだけれど、とにかく、昔は5尺7寸の杖をついたんです。これが6尺ということは、お仕置き場で。 ○加藤 むち打ちですか。 ○H なんと言うんですか、責めに6尺棒を使ったんです。で、6尺っていう棒は使わなかったんです、杖には。で、5尺7寸だか6寸だか、忘れたんですけど。 ○加藤 ああ、そうなんですか。
江戸時代の位・制度に関すること	位によって違う杖	○H 丸い玉が。片シモクというのがどんなのだから、私知らないんですね。それが座頭なんですね。勾当は両シモクなんですね。検校は杖に房が下がっているんです。その杖をついてね。どこかへ行くときは駕籠の上にね、横に付けているんです。
江戸時代の位・制度に関すること	検校の弟子	○H 当時、その頃の盲人としては、まず、検校なんて、弟子には到底財産家の息子でなきゃ取らないんですよ、金がないから。 ○加藤 直接お弟子になるには、かなり積まないと入れない。 ○H そうそう。積まないと受け付けられないんですね。
江戸時代の位・制度に関すること	検校の弟子	○H 協会で、ある、やっぱり有力な人が話を持っていけば取るけど、さもないうちは弟子なんか、やたらには取らないんです。当時、これは釈迦に説法のようにですけど、……なったでしょうけど、杉山さんでしょ、盛んにやった…
師匠の教え	検校の講義	○H 先生の講義を聞くのに、ひと間、唐紙隔てて聞くんです。 ○加藤 検校ぐらい偉い先生になるとですか。 ○H そうそう。教わるのに3畳ぐらい離れてないと。 ○加藤 はあはあはあ。
師匠の教え	検校の講義	○H 先生は年にとって声が低いから聞き取れないんですよ。 ○加藤 はあはあはあ。それはハウリン先生のお話、体験ですね。 ○H そうそう。アマズミ 検校の講義がひと月に2、3回あるんだそうです
江戸時代の位・制度に関すること	検校の講義	○加藤 それは、弟子が大勢。 ○H 全部並べといて。 ○加藤 ああ、隣の部屋で。 ○H ええ。直接こうやって滞在して聞けないんですよ。ひと間向こうで、襖は3寸か5寸しか開いてないんですよ。耳が遠い人とか、先生の声が低いと聞き取れないんですよ。 ○加藤 それを……のは難しゅうございますね。
同業者・仲間に関すること	写本を持つ弟子	○加藤 何回も読んでくれるわけではございませんよね。 ○H ああ、その点は聞かなかったんだけどね。 ○加藤 筆記もできません、当時ですとね。 ○H それで点字がないでしょう、まだね。写本というのが1番弟子から3番ぐらいまでしか持っていないんです。それを聞かせてもらうのにまた金がいるんです。ただで読んでくれないんです。……。
江戸時代の位・制度に関すること	京都に行かないともらえない位	○加藤夫人 1番弟子から3番弟子さんぐらいですと、やはり勾当ぐらいの。 ○H いやいや、検校のうちは取られないんです。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。 ○H 位というものは、ここに書いてありますけど、京都へ行ってもらわないと位は取れないんです。
江戸時代の位・制度に関すること	杉Y家でもらえる一名	○H 検校、勾当、座頭。その下に一名があったんです。一名は、当時杉山、いまのミョウク寺の所に杉山流、杉Y家として幕末まであったんだそうですよ。そこで……もらったんですね。 ○加藤 ああ。
施術料・収入の状況	位の値	○H 一名は、当時5円ですって。 ○加藤 そうすると一名は、……でよろしかったわけですか。 ○H そうです。その当時の検校相当の……が名前を出したんです。普通の検校じゃ出せないんです。
同業者・仲間に関すること	関東の総録	○加藤 総録という。 ○H そうです。総録です。 ○加藤夫人 関東の総録は、大体関東地方の方に……ですか。 ○H そうです。箱根山のこっちです。 ○加藤夫人 ああ、箱根山のこちら側ですか。 ○H はい、そうです。
江戸時代の位・制度に関すること	位の値	○加藤 それで、座頭以上になると京都へ行くんでしょうか。 ○H そうです。座頭まで行くんです。座頭は20両だそうです。 ○加藤 20両ね。ああ、そうですか。
江戸時代の位・制度に関すること	位の値	○H それから、検校は1,000両っていうけど嘘ですって。500両が本当です。
江戸時代の位・制度に関すること	位の値	それから勾当が300両です。

江戸時代の位・制度に関すること	存在しなかった別当	○加藤 よく、ものの本に勾当と検校の間に別当という名前がときどき見えるのですが、別当なんていうのはあったのでしょうか。お聞きになったことはありますか。 ○H 別当というのは、聞いたことがないですね。 ○加藤 検校、別当、勾当。 ○加藤夫人 別当の上に、また……別当というのが。 ○加藤 それは、その中にいくつかあるわけですね。勾当の中にいくつかあるんですけど。 ○加藤夫人 あまり実際にはお聞きになりませんでしたか。 ○H それは、その所によりじゃないですか。
社会情勢に関すること	盲人で乞食	公に……じゃないんじゃないですか。それから、当時はめくらの乞食が多かったんですね。親が力がないから、弟子に入れられないでしょう。
徒弟制の内容と状況	授業料としての食い扶持	弟子に行きや私らも食い扶持持ってたんですから。大正4年に弟子に入ったときにね、2円の食い扶持持ってたんです。で、仕着せ、小遣い、一切親持
江戸時代の位・制度に関すること	検校の弟子	○加藤 江戸時代ですと、もっと厳しかった。 ○H ええ、江戸時代には。 ○加藤 もっとあれでしょうか、明治初期でしょうか。アマズミ 検校に入門した当時というのは、なかなか弟子にしてもらえなかった。 ○H してもらえなかったですね。当時、いちばん多いのは、28人いましたで
師匠の経験と状況	師匠の邸宅	○H ええ。とにかく、日本橋の次に西河岸の橋ってあるでしょ。あの左の角に380坪の邸宅を持ってたんですからね。で、弟子の部屋は、下駄履いてこっちこう行くと別にあるんです。 ○加藤夫人 それは、先生のお師匠さんですか。 ○H そうそうそう。
江戸時代の位・制度に関すること	検校の弟子の数	○加藤 あっ、ちょっと失礼、28人いらしたというのは、アマズミ 検校の。 ○H の弟子です。 ○加藤 そのまた弟子の。 ○H いやいや。私の先生の兄弟弟子。 ○加藤 なるほど。それは明治に入ってからの話ですか。 ○H ええ、明治です。
江戸時代の位・制度に関すること	検校の没年	○加藤夫人 28人というのは。 ○加藤 アマズミ 検校の弟子です。 ○加藤夫人 お弟子さんに。 ○H キシホウリン。 ○加藤 だからキシ先生の兄弟弟子。 ○加藤夫人 その傀儡で28人ということですね。 ○H そうそう。 ○加藤 傀儡って。 ○加藤夫人 もっと多いわけですね。 ○H あの人は81まで生きたんですよ。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。この方は明治9年に55歳ぐらいの方なんです、アマズミ 検校は。
師匠の経験と状況	師匠の死	○加藤夫人 明治9年に55歳でいらした方なんです。 ○H ああ、そんじゃそうでしょう。 ○加藤夫人 そうすると30年ぐらい、明治36年ぐらいまで生きていらしたわけですね。 ○H 明治30年ぐらいまでですね。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。 ○H 私の師匠は、キシホウリンという人は68で亡くなったんです。 ○加藤 ああ、そうですか。
師匠の経験と状況	師匠の施術	○H それが有名な先生です。普通家庭には治療に行かないですから。 ○加藤 それはやっぱり、いい家庭に。 ○H それはね、この先生の歴史を話すと長いんですけど。
師匠の経験と状況	師匠の施術	○H この先生の……、アマズミ リュウホウ 検校の甥っ子で歌沢の師匠があつて、その人が声がつぶれて、まあ、財産もあつたんだけど。毎日先生が揉みに行って、1人6文ですから、2人やって1銭2厘です。
師匠の経験と状況	師匠の将棋の稽古	○加藤 これだけの治療代もらってただまっすぐ帰るんじゃ、お前もつまないだろうと。将棋を教えてやると。それで、1時間将棋を教えて、1時間揉んで帰っただけなんですね。それが2年、3年半だったかしらん、毎晩ね。 ○加藤 はいはい。 ○H 私の師匠というのは、将棋3段か、そこらだったですね。
同業者・仲間に関すること	晴眼の先生	○加藤夫人 セキズミ ハクリという方じゃないですか。 ○H そうじゃないんです。キシホウリンっていう人です。セキズミ ハクリというのは目明きですよ。
江戸時代の位・制度に関すること	晴眼の勾当	○H 勾当です。 ○加藤夫人 ああ、勾当で。 ○H 将棋が強い。 ○加藤夫人 目が見えても勾当に。 ○H ええ、目が見えるほうが本当は……。 ○加藤夫人 あっ、……でいらしたわけですか。
江戸時代の位・制度に関すること	徳川の盲人11箇条の内容	○H ええ。徳川の盲人の保護条というのがそこに出てますけど。それは11カ条で、私、子どもだから、大事なことだけしか覚えてないんです。あんまはめくらが専業と。盲人に危害を加えた者はいかなる理由を問わず所追放と。重き
あはき以外での生活の糧に関すること	金貸しをする盲人	それから、めくらに金を借りて返さない者は、伝馬町で百叩きに遭うんです。だから、めくらの金というのは、利息がうんと高かった。高いのを承知で貸すわけです。そういうことがそこ書いてありますので。なお先生は細かいことを随分言ったけど、私も17、8だから、そんなに興味がなかったんで、いまになると残念だなと思いますよ。
あはき以外での生活の糧に関すること	金貸しをする盲人	○加藤 江戸時代に金貸しというのが、盲人の座頭金だとか、盛んに。 ○H 1つの副業だったんです。 ○加藤 そうでございますね。官を買うまでの金を貯めといて、それを貸したりなんか。

あはき以外での生活の糧に関すること	金貸しをする盲人	○H それもあるし、そればかりじゃないんですね。大体それが、こういうことになるんです。早い話が、先生から5両を1分で私が金を借りるでしょう。そうしたら、ほかに2割で貸すんです。その口銭を……。とても1人揉んで、6文や8文でね、人に金貸すほど儲かるもんじゃないんです。 ○加藤 それはそうですよね。 ○H だから、いいお得意がつくでしょ。その旦那衆から5両1分で当時借りたんだと思いますよ。それを2割から、ひどいのは3割。
師匠の経験と状況	金貸しはしなかった師匠	○加藤 明治時代に入って、キシ先生もそういうご体験はあるのですか。 ○H あの人はやりません。 ○加藤夫人 あっ、やっぱりやる方とやらない方といらっしやったわけですか。 ○H そうそう。
師匠の経験と状況	師匠の施術	○H いや、江戸時代でなく、明治もやりましたけど。その人によるんです。あの人はそんなことしてる間がないんです。とにかく島津公ね。それから、明治天皇の侍従次官とか、南高輪にいた渡辺何とかって言ったけな、それから、伊ワガキさん、フルサワ、板垣伯だね。それから、大倉喜八郎男爵、それで、山県元帥、松方元帥。それから、目白の細川様、本郷片町の東久邇宮、それから渋谷の梨本宮、そういう所に出入りしてたの。
師匠の経験と状況	師匠の施術	○加藤 ああ。そうすると、えらい身分のある人しか揉まない。 ○H そうそう、揉まないんじゃないくて、揉めないんですよ。1遍行ったら3日ぐらい帰さないんだもの。 ○加藤 ああ、そんなに長いこと。長いことと言うより。 ○H 1療治いくらないんです。3日ぐらいいて、包み金もらって帰ってくる。それで仕着せは27から買ったことないって。みんな御前のお下がりです。当時は、生まれもそうですけど、盲人には……っていいのと悪いのが、いまよりもっと簡単にあったんです。
あはき以外での生活の糧に関すること	悪い盲人	○加藤 ああ、そうですか。そういうお話をちょっと、いいのと悪いのと、ひとつお話を。 ○H 悪すぎるんですよ。街頭に立ってね、でろれん祭文うたったり、阿呆陀羅経やったりして。それで、女房は子どもをおぶって、周りの人に……を出してもらって、それで生活をしていくという、盲人が……じゃないですか。 ○加藤 それは、いつ頃のことですか。 ○H 幕末です。
あはき以外での生活の糧に関すること	芸能で生きる盲人	○加藤 幕末でございますか。なんか、……沿革史なんかでも祭文をうたったり、これは、ほとんどH先生の資料だと思うんですが。 ○H ええ。 ○加藤 祭文を語ったり、木魚を叩いたり、歌をうたう、そういう。 ○H ええ、そうそう。
あはき以外での生活の糧に関すること	謎解きはしない盲人	○加藤夫人 謎解きみたいなこともございましたでしょうかね。 ○H そんなことはないですね。めくらは門付けできないんですよ。空き家だかなんだかわからないの。だから、めくらってどっちに立っていいか。 ○加藤夫人 ああ。 ○H これが、めくらの悲しさですね。だから、縁日とか、お祭りとか。
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人相撲	○加藤 昔、めくら相撲という、盲人相撲なんていうのはお聞きになったことはないですか。 ○H あります。それは何と言うのかね、仮に江東区なら深川なら深川で催すとか、局部的だったんですね、あれは。一般ではないんです。それから、ホウロク飛ばしというのがあったんです。
あはき以外での生活の糧に関すること	ホ一六飛ばし	○加藤 ああ、なんか群馬のほうで聞きました。あれは……です。 ○H いや、ホウロクってよく、先生はご存じないかもしれないけど、昔、私が子どものときは豆炒るのにホウロク使った。 ○加藤 ええ、ええ。 ○H あれを手拭で縛って頭にかぶるんですよ。それをこっちから棒で打つんです。で、割れた者が負けなんです。
あはき以外での生活の糧に関すること	ホ一六飛ばし	○加藤 それは、これにでもお聞きになったことが。 ○H ……でやったようですね。 ○加藤 ああ、そうですか。それは、明治期に入ってからですか。 ○H ええ、明治から。いや、これは徳川から続いているんです。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○加藤夫人 明治何年頃までやってたんですか。 ○H それは、わかりませんね。 ○加藤夫人 大体、何年ぐらいまであったのか。 ○H 10年ぐらいまであったんじゃないですか。
あはき以外での生活の糧に関すること	土地の盲人が見世物としてやる	○加藤 群馬県のほうでは、こんなことをやったのではないですか。 ○加藤夫人 それが一種の見せものになるわけでございますね。 ○H そうそうそう。それで、結局、周りから金をもらうんじゃないですか。それを集めておいて。 ○加藤 それは、その土地の盲人がやったのですか。 ○H やったんですね。
あはき以外での生活の糧に関すること	巡業はしない盲人	○加藤 地方へ巡業するわけですか。 ○H いや、しないんです。巡業なんかできないです、めくらは。土地の困っているめくらが集まって、こういうことをやって、じゃあ人寄せていくらかもらうかと。まあ、生活費用だね、これは。
江戸時代の位・制度に関すること	幕末に存在した検校	○加藤 なるほど。それから、検校が当時、幕末何人でしたっけ。 ○H 11人、そこに出ています。 ○加藤 はいはい。それは、この何というか、下町だけでございますか。 ○H そうじゃなくて江戸ですよ。
江戸時代の位・制度に関すること	幕末に存在した検校	○加藤夫人 江戸全体。 ○H 箱根山からこっちですよ。 ○加藤 ああ、そうでございますか。 ○H 関東です。 ○加藤 そうすると、ずいぶん少のうございますね。 ○H そうですね。

江戸時代の位・制度に関すること	廃藩置県で検校の位は取り上げられる	○加藤 幕末、明治初期の。 ○H ええ、その40年間の間ですね。その間に、最後に11人しか残っていなかった。廃藩置県で検校の位を取られたときに11人しか残ってなかった。 ○加藤夫人 ああ、明治4年のときに。
江戸時代の位・制度に関すること	悪質な座頭	○H ええ、そうそう。だからここに、私が書いたのには、あまり長いので載せませんでしたが、「座頭ぜげん」というのがあったんです。これはあんまさんではないんです。 ○加藤 ぜげんというのは、人を紹介する。 ○H ええ、座頭の位を持ってて、鍼、あんまをやらないんです。 ○加藤 盲人ではないのですか。 ○H 盲人ですよ。
江戸時代の位・制度に関すること	悪質な座頭	○H それはね、本所割下水、北割下水、南割下水に多くいたんですよ。 ○加藤 はあはあはあ。 ○H あすこに大きな下水があったんです。私らが子どものときまであったんですよ。その下水の周りに2、3人いたらしいですね。これが娘を酌婦に売ったり、娼婦に売ったりしてね。
江戸時代の位・制度に関すること	悪質な座頭	○H 検校、勾当、座頭は町奉行じゃないんです。係りは寺社奉行です。自身番が寺社奉行に報告して、座頭の位を取られたのが随分いるですよ。 ○加藤 そのぜげんをしたので。 ○H そうです。
江戸時代の位・制度に関すること	存在した座頭ぜげん	○加藤 そうすると、売る女の子は、目明きの子を吉原やなんかに売ったわけですか。 ○H そうです。
江戸時代の位・制度に関すること	弟子入りと位は別	○加藤 ちょっとよくわかりませんのですけれど、江戸時代のそういう、例えば、アマズミ 検校が鍼灸がご専門でいらっしゃるとして、私が音曲を習いたいとすると、アマズミ 検校のところでなく、ほかの音曲の師匠のところに弟子入りますね。 ○H ええ。 ○加藤 その弟子入りと、座頭とか検校、勾当という官位とは別個のものなのでしょうか。
江戸時代の位・制度に関すること	なかなか取れない検校	検校には2通りあったんですけどね、鍼灸で検校を取った人というのは、幾人もないらしいですね。みんな琵琶法師が多いんです。それと琴。これ以外には、杉山検校でも、61歳で検校を取ったっていうんですからね。ですから、検校というのは、なかなか取れなかったんですね。
江戸時代の位・制度に関すること	残った検校は鍼あん摩	音曲といっても、当時は琵琶と琴しかないわけですね、三味線と。ですから、11人残っていた検校というのは、みんな鍼、マッサージの検校です。
あはき以外での生活の糧に関すること	音曲の検校	で、今井慶松検校とかね、ああいう検校はまた音曲のほうで別なんです。それは、これに入っていないわけです。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	○加藤 そうすると、まず僕が、例えば座頭の位を得たいと思ったら、どこかに弟子入りをしなくてははいけないわけですね。 ○H そうです。弟子入りしただけでは駄目なんです。弟子入りして、先生の許可を受けて、お前、座頭の位を受けろという、検校の許可がないといけない
検定試験・免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	昔のね、早い話が、私は検定試験、鍼とあんま取りましたが、あの時分には師匠の証明を持ってね、警視庁へ、警察へ、台帳に書いていますから出すんです。で警視庁で試験する。まあ、あんな程度じゃないですか。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	○H あまり厳しくはないけど、検校から指令が下りるんですよ。お前、座頭の位を取れと。勾当もそうらしいですね。勾当になると、検校ではなく、総録の、検校取締の許可をもらうんですね。 ○加藤 ああ、なるほど。
江戸時代の位・制度に関すること	位はお金のみでは得られない	○加藤夫人 よく、お金をたくさん積みば一夜で検校になったという例が。 ○H いや、それは嘘ですね。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。
江戸時代の位・制度に関すること	京都に行かないともらえない位	○H とにかく京都へ行くまでに1カ月半かかるんですから。それは小説ですよ。 ○加藤夫人 江戸時代のものに、よくそういうことが随筆の中なんかに残っているんですけども、そんなことはなかったのですか。 ○H そんな簡単なものじゃないらしいです。
講習所・学校の状況	廃藩置県で廃止された講習所	○H 一丁前の学識があって、大名と対等に話ができるのは検校ですからね。 ○加藤 明治4年の廃藩置県で座頭の……廃止のとき、あそこの総録屋敷と、京都の……屋敷と没収されたときに、鍼灸の学問所がそれまであって、それも廃止されたということも聞くのですが、そういう鍼灸の学問所というものが、総録屋敷にあったのですか。 ○H ええ、当時、江戸には20カ所あったそうですよ。いまの講習所というかいまの講習所というかね。20カ所あって、1つだけ私は覚えているのがあるんですよ。本所小柳町にあったんです。それが焼けて、八丁堀に越したんです。八丁堀から築地3丁目に越したのが鍼術盲学校、……先生が教員やっている時分。あれ1つだけですね、大正時代まで残ったのは。昭和になってから小田原町に……が移って、昭和までは残ってたんですが、あとはみんな没収されちゃったんですよ。あれは、たしか何て言ったけな。
講習所・学校の状況	開業したものが入る講習所	○加藤夫人 20年に盲人協会とか何とかいって、講習会がありましたでしょ。 ○加藤 それは後です。 ○加藤夫人 あっ、それはまた後なんですか。 ○加藤 ええ。そうすると、師匠に弟子入りして、師匠から習うのと、学問所でしようか講習会で、そういうもので習うのと、どう。 ○H そういう所へは、弟子入りしているのは顔向けできないんです。年が明けて、開業した者がそこへ行って、講習料を納める。それは、こういう訳ですけど、どうでしょうかと言って、じゃあお前、許可もらってきてやるから来月から行けとかね。直接そこへ申し込んで明日から来ますと、そんな簡単なもん
講習所・学校の状況	簡単には入れない講習所	○加藤夫人 もう既に開業している方が講習を。 ○H そうそう。あるいは年明けとかね。 ○加藤夫人 開業しているということは、検校の弟子になって。 ○H 独立している。 ○加藤夫人 独立している方が、更にその技を磨くために。 ○H ええ、そうそう。だから、いまで言うところですよ。我々が若い時分に、よくそこらに研究会があって、それと似たようなもの。それは来月からお願います、ああ、来てくださーいけど、この講習所は、そんな簡単じゃな

講習所・学校の状況	講習所の数	○加藤夫人 杉山講習所というのは、そういう性格の所だったんですね。 ○H そうです。 ○加藤 20カ所あった。
講習所・学校の状況	月謝が必要な講習所	○加藤夫人 独り立ちした人だけを対象にということですね。 ○H そうそうそう。それから、月謝を取って、寺社奉行から補助を受けて、それでやってたんです。
講師・教師に関すること	講習所の講師は検校	○加藤夫人 それを教える方は、どういう方が多いのですか。 ○H 教える人は検校です。検校、勾当が、今日は何様がお出でだというんでね。 ○加藤夫人 ぐるぐる回って教えられるわけですか、その方が。
講習所・学校の状況	江戸にのみあった講習所	○加藤夫人 そうすると、東京、江戸の辺りがいちばん数が多いわけですか。 ○H ええ、江戸の。江戸だけでしょ、講習所があったのは。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。関西はございませんか。 ○H ないんです。講習所を……だけの、盲人の数がいなかったんです。それと力がなかったんですね。 ○加藤夫人 ああ、教える方ですね。 ○H ええ。
講習所・学校の状況	講習所の数	○加藤夫人 杉山講習所を中心にして、何カ所かあったわけですね。 ○H そう、20カ所。 ○加藤夫人 あっ、それがずっと残っていたわけなんですね。
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人の挨拶	○H ええ、そうです。代々続いて、その昔はわかんないけどね。それから、これにも出ていますけど、この町内におめでたがあると、この土地にシムラはじめ、3、4 人いますよ。それで仮に、例えばシムラが先立ちになって、そのおめでたの家へ行くんですよ。そうすると、そこで鳥目をくれるんです。お鳥目という言葉は、今は若い人はわかんないでしょうけど。
江戸時代の位・制度に関すること	座頭に集まるお金	そうすると、それを1 年座頭に預けとくんです。1 年経つとそれをね、座頭って全くこすいよね、2 割はねるんだって。5 両もらうと、そのうちの2 両はねちゃう。 ○加藤 そうすると、その配当というのは。 ○H その残ったのを5 人なら5 人で割る。 ○加藤 1 年間貯めておくわけですね。
江戸時代の位・制度に関すること	座頭の縄張	○加藤 なるほど。その集めに行く、例えばシムラさんならシムラさんというのは、座頭よりもっと下の人ですか。 ○H 下ですよ、ずっと。その土地の土着のボスです。だから、この向こうで、錦糸町なら錦糸町で不幸があった場合には、錦糸町の名乗り出た人が行く、先立ちになってね。その一角、どこからどこまでという、縄張り区域が座頭にはあったんです。で、わかるんですよ。連絡をして、あしたの朝何時にお葬式だから、何時までに俺んとこへ寄ってこいって、おかみさん達が触れにお使いに歩くんですよ。そうしたら、のこのこ出て行くんですよ。
江戸時代の位・制度に関すること	座頭に集まるお金	○加藤夫人 そうして集められてきたお金というのは、座頭に預けられて、それで、座頭が年に一度配分するわけですね。 ○H ええ、配分するけど、座頭はそのお金をほかに貸すんです。座頭はそれで儲けるんです。 ○加藤夫人 そのお金は、座頭で取り仕切るわけなんですね。 ○H そうです。1 年に一遍ずつそれをもらいに行くのが、いちばんの楽しみなんです。
江戸時代の位・制度に関すること	座頭に集まるお金	○加藤夫人 その土地土地の座頭がいちばん実入りがいいわけですね。 ○H そうです。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	○加藤夫人 そのあとは、みんな公平に配分されるのですか。 ○H 配分されるんです。だから、座頭以上の金は大変ですよ。座頭なんていうのは、深川区に1 人しかいないんです。そこに出ているでしょう、下にヤマザキというのが出ているのですが、それが座頭です。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	○加藤夫人 その町の区域に1 人とか、2 人とか。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	○H 深川区に1 人です。
江戸時代の位・制度に関すること	鳥目の配糖は勾当以上には無関係	○加藤 そうすると、慶弔で集めた鳥目の配当は座頭以上、つまり、勾当以上の人は関係ないわけですね。 ○H 勾当以上は関係しないです。そういう人は旗本とかね、また行く所が違うんです。町会じゃないんです。そういう所から、また……とか。
江戸時代の位・制度に関すること	検校と勾当の取り分	○加藤 将軍のいろんな行事。 ○加藤夫人 お姫様のお興入れとかなんかのときに、「座頭へ」と言って銀なんぼとか言って出ますわね。 ○H それは検校と勾当です。 ○加藤夫人 検校と勾当だけで分けられるのですか。 ○H 座頭はそこまでいかないんです。 ○加藤 下まで来ないんですか。 ○加藤夫人 ああ、偉い人だけで分けちゃうわけですね。
江戸時代の位・制度に関すること	位の値	○H それは、座頭とは特段の差があるんです。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。 ○加藤 それから、いろいろ、例えば検校ですと500両とか、そういうお金は、一旦総録なり。 ○H 京都へ。 ○加藤 京都へ納めて、それをまた。
江戸時代の位・制度に関すること	位の値	○H 早い話が、天皇陛下が10万石で押しこめられてた。そのために、経費がかかるでしょ。 ○加藤 ええ。 ○H こういうものだから、坊さんの供えとか、これが天皇陛下のお小遣いなんですよ。 ○加藤 ああ。そうすると、買った検校なんかの500両は、皇室にいったわけですか。
江戸時代の位・制度に関すること	収めた金は戻らない	○加藤 ああ。そうすると、買った検校なんかの500両は、皇室にいったわけですか。 ○H そうです。 ○加藤 また、元に戻ってこないのですか。検校、勾当とかに。 ○H こない、こない。それはこないですよ。出た金はこないです。

江戸時代の位・制度に関すること	弟子に継がせることはできる検校	私、そこまで先生から聞いてないんだけど、検校は2代、3代と続いたらしいです、……受けていって。仮に、私が検校だとするならば、私子どもがないでしょ。あったらなんです。子どもがないから、弟子を子どもにするというと、未来の検校に。 ○加藤夫人 養子ですね。
江戸時代の位・制度に関すること	検校は晴眼者ではない	○加藤夫人 あればできないんですね、そういうことは。 ○H あって、目明きならできないです。 ○加藤夫人 もし、自分の子どもが目が見えたとすれば、それを置いて、見えない人を弟子にするということとはできない。 ○H いや、できるんです。 ○加藤 それはできる。
江戸時代の位・制度に関すること	弟子に継がせることはできる検校	○H 跡を継がないから。だから、検校の跡を継がせたいから。この弟子を継がせたいというと、そのとき納めたのなら、やっぱりただなんじゃないんでしょうかね。 ○加藤 ああ、なるほど。検校の株みたいなもの。
江戸時代の位・制度に関すること	検校は晴眼者ではない	○加藤 よく、検校の息子が目明きですと、ご家人の株を買って。 ○加藤夫人 士分に取り立てられる。 ○加藤 勝海舟なんていうのは、おじいさんが検校だったとかね。そういう話はよく聞きますけれども。
社会情勢に関すること	盲人の運動	○H そういことができたらしいですね。それから、もう一つ、私落としてそれに書かなかったのが、「盲人あんま専業論」を盛んに唱えた時代に、盲人には何も仕事、鍼、あんまを離したらなくなると。なんか商売をやらしてくれという。
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人の煙草屋	○H たばこ屋というのはね、もし、隣にたばこ屋があっても、盲人が始めるときは、無条件で許可するというのが、明治35年頃から、40年頃まであったらしいです。 ○加藤 はあ。
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人の煙草屋	○加藤 そうい運動をしたわけですか。 ○H ええ、そう。なぜなくなったかという、たばこ屋はいつの時代も資本がなければできないんです。 ○加藤 そうでございますね。 ○H 食うに困るめくらが、そういのは出せっこないんです。ただ、一つの理屈に過ぎないものに終わっちゃったんです。こういことがある、してやるぞという、ありがたいう言葉だけで終わっちゃったんです。
社会情勢に関すること	盲人の運動	○加藤 それは、どうい団体が運動したわけですか。 ○H それは、盲人新……。 ○加藤 それは例の千葉さんなんかの。 ○H そうそう、千葉さんの前ですね。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○H 千葉さんは、あの人はずっと後から出た人なんです。
あはき以外での生活の糧に関すること	盲人の煙草屋	○加藤 ああ、そうですか。一旦役所のほうから許可、許可というか、認可が出たのですか。 ○H 認可はなしです。こうい時代は、まだ。 ○加藤 ああ、そうですか。
社会情勢に関すること	盲人の運動	○H 認可が出たら、あんなにゴタつかないんです、盲人専業論もね。ただ、1つの団体を作って、名称をつけて、騒いだけなんです。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人に還元される検校に収めた金	○加藤夫人 先ほどの配当のことでちょっと。関東のほうなんかにありますね。例えば、勾当になるとか、検校に。座頭、勾当になるのにお金を師匠に納めますね、検校の屋敷、総録屋敷ですか。 ○H ええ。 ○加藤夫人 その納められたお金はどういふうになるのですか。 ○H それは、やっぱり何というか、講習所とか。それから、めくらのようにかわいそうな、これは福祉のほうにも回りますけど。
社会情勢に関すること	支払われた香典	○加藤夫人 ああ、そうですか。 ○H かわいそうな者は、食えないことはみんな食えないんだけど、特別かわいそうだというのには、そういのもを持って行くとかね。それから、見舞金、香典みたいな、見舞いまではいかないけど、香典ぐらい持って行ったんじゃないかな。
社会情勢に関すること	配当はされないお金	○加藤夫人 大方のお金はどういふうに。なんか、そのお金を配分するとかなんとかということはありませんか。 ○H そういことは、私聞いてないんですがね。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。
講習所・学校の状況	存在した講習所	○加藤 今度は少し時代が下りまして。H先生のお話から出たと思うのですが、よく深川には辰巳講とか、本所の弁天講。 ○H ええ、これは講習所ですよ。 ○加藤 ああ、講習所でございますか。 ○H いまの20カ所の中に入っているんです。
同業者・仲間に関すること	杉山検校の崇拝者	○加藤 ああ、そうですか。この中でちょっとお尋ねしたいのですが、ミマツ講。 ○加藤 ミマツ講というの、これは、いま先生にお渡しした中に入っていますけど。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○H スズキキンゾウというのが八丁堀の北島町にいたんですよ。その人が、
同業者・仲間に関すること	杉山検校の崇拝者	○H ええ、盲人です。あの頃北島町という、八丁堀の茅場町から少し東のほうに向いて、左のほうに入った小さなまちです。そこから、本所のミョウク寺まで毎月通ったんですって、命日に。雨が降っても行っているんだから。
社会情勢に関すること	神仏を分離した時代	それで、ミョウク寺の坊さんが、当時、明治5年に神仏を。 ○加藤 分けろと。 ○H ええ、一緒だったんですけどね、それを分けろと言うんで、やかましい時代があったんです。
社会情勢に関すること	神仏を分離した時代	そのときに、ミョウク寺の杉山検校は仏なんですから、お木像様があるんだけど、出せないんだって言うんです。それで、これを持ってって、あんたがお祀りすれば来なくてもいいからと言って。それが、杉山検校の一周忌という人もあるし、七年という人もあるんだけど、七回忌ね。その刻んだものだそうで
講習所・学校の状況	ミマツ講に集まる盲人	○H それをもらってきて、それでミマツ講という名前をつけて、で、こうい一つのまた、盲人の団体ができたわけです。

講習所・学校の状況	ミ マツ 講の場所	○加藤 場所はどこですか。 ○H 北島町です。 ○加藤 北島町、ミ マツというのは、どういう意味でミ マツと。 ○H どういう意味かね。それはわかんないんですけど、ミ マツ 講というのは確かにあったんです。
講習所・学校の状況	ミ マツ 講が存在した期間	○加藤 先生がご存じの頃もございましたか。 ○H ないです。これは明治、大正の初期ぐらいまであったんじゃないですか。5 年ぐらいまで。
講習所・学校の状況	講習所に集まる盲人	○加藤 ミ マツ 講が……に渡り、三十数年。 ○H ええ、そうです。それで、京橋から、明石町からずっとあの辺の、当時は乗り物がないから、歩いてみんなその連中が来てね、それにはそういうこと書けないけど、それで、寄った後はガラって、……。 ○加藤 ゼイチクみたいな、竹の割ったような。 ○H ええ、そうそう。
娯楽・余暇に関すること	テント とに興じる盲人	○加藤 夫人 テントというのがあったと思いますね。 ○H ええ、テントもあった。 ○加藤 夫人 テントというのはどういう、名前は どうしてテント と言うんでしょうか。ガラは、なんかガラガラってやって。 ○H ええ、あれは、6 本の棒が出てくる。 ○加藤 夫人 テントというのはどういう。 ○H テントって私知らないんですよ、やっぱり竹です。竹で、両方で握ってて、両方で出して、棒を引くんですね。テントというのは、箱に入っていない
講習所・学校の状況	ミ マツ 講での勉強	○加藤 なんか、花札と同じようにするんですか。 ○H そうですね。棒でやるんです、竹でね。 ○加藤 そうすると、一応集まって、最初はいろいろ鍼灸のことを研究をなさるわけですね。 ○H ええ、研究して、それであとは。
娯楽・余暇に関すること	盲人の賭博	○加藤 夫人 あとは、ヒラゴみたいなもので。 ○H それで、また無尽もあるんです。無尽やった後は、グレたのが残って、今度ガラやるわけです。いい人は帰っちゃう。みんなガラやる人間ばかりじゃない。堅い人間はどんどん帰っちゃうんです。無尽までは堅い人なんです。何人か残った人間はガラやるわけです。 ○加藤 夫人 そうすると、もちろん一人前になった方ばかりがやるわけなんですね。
講習所・学校の状況	ミ マツ 講の会費	○加藤 こういう講なんていうのは、会費とかそういうものは取ってやったのですか。 ○H ええ、会費取ったんです。昔、3 銭かな。
講習所・学校の状況	ミ マツ 講の創立	○加藤 中心になった人がやはり、幕末からやっていたお師匠さんみたいな人が。 ○H それはスズキさんが、スズキキンゾウという人がもらってたんで、その
講習所・学校の状況	ミ マツ 講での勉強	午前中は講習で、午後は無尽をやって、あとはお開きと。残る者は残ると。
講習所・学校の状況	ミ マツ 講に集まる盲人	○加藤 午前中集まる人たちは、業界。 ○H 業界です。 ○加藤 独立の。 ○H ええ、そうです。
師匠の経験と 状況	外には出さない弟子	○加藤 お弟子さんではなくて。 ○H 弟子はよそへ出しません、昔の先生は。出すと仕事できないから。絶対出さないです。
講習所・学校の状況	講習所に集まる盲人	○加藤 夫人 最後まで、明治の中期頃まで一人前の人の集まりだったのでしょうか、講習会というのは。 ○H そうです。 ○加藤 夫人 免許を取れない人が免許を取るために勉強をするんじゃないのですか。 ○H いや、そうじゃないんですよ。そういう講習所は一つもないんです。 ○加藤 夫人 ああ、そうですか。
徒弟制の内容と 状況	弟子入り する際の契約	○H 当時は、そこへ来た弟子がよその弟子に入門すると、こういう。これも一つ参考のために、私は、焼ける前もこの場所で弟子が10人ぐらいいました。当時、昭和になってからですよ、戦争までそれを用いてました。免許証を持つ
徒弟制の内容と 状況	契約書の内容	○加藤 どういうことを書くのですか。 ○H それは、何々の一子が、H ならH 先生の鍼、あんまの修業について入門いたしました。向こう何年間のうちに、もし、ほかの師匠に転じたり、あるいは、不都合あって出た場合には、月謝、食い扶持として計算して、1 カ月何円払えと。そういうことを承知したという。それから、病氣病難の場合は、親元で速やかに引き取ること、ということを入れさせたものです。○加藤 必ず、文字に書いて、それをお取りになった。 ○H そうそう。みんなのをもらって取っておくんです。私のところは昭和12年ぐらいまで取りましたかね。2、3 年、5 年ぐらいまでやりました。ほかの者に聞いてみたら、いまH 君、そんなもん取ったって、いないよって。いないのに食い扶持取れるかって。取れないから弟子に寄こすのに、取れるものなら学校へやるんだから。そんなもの、H 君、無駄だよって言うから、それで私やめたんだけどね。私なんて、3 人か4 人取ったのがありまして、焼いちゃったけど。
徒弟制の内容と 状況	弟子入り する際の契約	○加藤 必ず、文字に書いて、それをお取りになった。 ○H そうそう。みんなのをもらって取っておくんです。私のところは昭和12年ぐらいまで取りましたかね。2、3 年、5 年ぐらいまでやりました。
徒弟制の内容と 状況	とるのを やめた契約書	ほかの者に聞いてみたら、いまH 君、そんなもん取ったって、いないよって。いないのに食い扶持取れるかって。取れないから弟子に寄こすのに、取れるものなら学校へやるんだから。そんなもの、H 君、無駄だよって言うから、それで私やめたんだけどね。私なんて、3 人か4 人取ったのがありまして、焼い
徒弟制の内容と 状況	弟子入り する際の契約	○加藤 H 先生がキシ先生に入られたときも、もちろん証文。 ○H ええ、出しました。大正7 年です。
徒弟制の内容と 状況	年季の期間	○加藤 年季は何年ぐらいに。 ○H 7 年です。 ○加藤 それは、先生自身がお弟子さんを取られるようになってから、昭和に入って。 ○H 昭和入ってから5 年。2 年間短縮したんです。
徒弟制の内容と 状況	お礼奉公の期間	○加藤 その7 年間というのは、お礼奉公は。 ○H いや、別に1 年。 ○加藤 更に1 年間、結局、8 年ということですか。

徒弟制の内容と状況	契約書には書かないお礼奉公	○H　そうです。で、礼奉公は証文には書かないんです。
徒弟制の内容と状況	お礼奉公をしなければ喧嘩別れ	○加藤　ああ、そうですか。もし、礼奉公をしない場合は、どういうことになるのですか。契約違反ではない。 ○H　喧嘩別れですね。そんな、先生みたいに穏やかじゃないんですよ。それは喧嘩別れです。そんなはずじゃなかったって、あってもなくても俺は証文もらってるって言われりゃそれまでです。 ○加藤夫人　随分厳しくあれですね。
施術者としての独立に関すること	開業のルール	○H　そうですよ。それで、開業が、その先生の家から7丁以内にはできなかったんです。それは組合の連中もやいやい言うてくるしね、間に人も入るし、それでやっぱり人が間に入ったのが酒の1升ももらったら、まあ、H君、そういったっていいじゃないか。自分の所で仕込んだ弟子だ、ほかから来たんじゃないかねえから我慢してやれよと、そこへいっちゃうんじゃないですか。
施術者としての独立に関すること	開業のルール	○加藤　7丁以内というのは、先生がお弟子に入られた頃からですか。 ○H　私のときは15丁以内です。 ○加藤　15丁以内。だんだん狭くなってきている。 ○H　だから、うちから出た弟子は区役所のところで開業しました。これは吉田流でも、杉山流でも同じだったですね。晴眼のほうのね。 ○加藤　15丁というのだいぶ広いですね。
施術者としての独立に関すること	開業のルール	○H　広いですよ。ここから、江東の区役所まであるんです。昔は、得意取られちゃうっていうのね。その子についての得意というのが、その子に行っちゃうでしょ。自分の仕事なくなるでしょ。 ○加藤　ええ。 ○H　それが、遠くなら、遠くまで自分は迎えに行けないから、自分のうちの者が行くと。汚い根性ですよ。
同業者・仲間に関すること	力のある盲人がいいところにいる	○加藤夫人　いちばんいい場所は、やっぱり偉い先生が、そこにいらっしゃるわけなんですネ。 ○H　偉い先生ってわけじゃなくて、結局、力の問題ですからね、力のないめくらはみんな裏のほうですよ、家2畳借りたり、3畳借りたり。1軒持っても、4畳半1間ぐらいの棟割り長屋っていうんですか、いまの時代も同じですよ。
社会情勢に関すること	貧困の盲人	力のある盲人は表にいるんですよ。ない者はアパートにいっぱいいますよ、江東区でも。いまの盲人も暮らしは厳しいもんですよ。
社会情勢に関すること	貧困の盲人	○加藤　点毎なんか見ますと、4万円だ、5万円だなんていう、ちょっといいこと書いてございますけどネ。 ○H　いや、そう思いませんね。 ○加藤　広告だけでしょうよ。 ○H　それはなぜかという、先生、自分個人の働いた力ですからね。 ○加藤　そうですね。
施術料・収入の状況	お客の数で変わる収入	○H　……だとか、ああいうのは、お客があってもなくても給料で決まっていますから。我々のは歩合制ですから。歩合制となると一人やっていくらだからね。だから、結局仕事があれば、確かに5万にも8万にもなるでしょう、なきゃ1万か2万ですよ。
師匠の経験と状況	年季中は小遣いのみ	○加藤　その歩合のことでございますけど、先生がお弟子に入られた頃は、お弟子に入られて年季中の……給料とかはどうでしたか。 ○H　私の先生が入った、幕末頃から明治の前は歩合というのはなかったんだそうです。その時分には、1年に1回小遣いをくれたんです。 ○加藤　はあはあ。
歩合制	1割の歩合	○H　あとは親から自分が持ってきた、先生から1文もくれない。明治になって、うちの先生なんかは歩合をもらわないんですから、明治20年ぐらいから歩合制度が始まったんじゃないですか、収入の1割ですね。 ○加藤　それは、年季中でも1割もらえたのですか。 ○H　ええ、もらえたんです。私は1割もらったんです。
歩合制	弟子の歩合	○加藤　それは弟子に入ってすぐもらえましたか。 ○H　いや、仕事しなきゃもらえないです。 ○加藤　ある程度仕事ができるようになってからでございますか。 ○H　私が最初始めたのは、上下300文です。
流しの状況	笛を使う許可	○H　いま歩合の話が出ましたから申し上げますけど、いま芝居なんかでも、映画でもピューッと笛を吹いてくるけど、あんな簡単なもんじゃないです、あの笛を吹くまでが、4年かかるんですよ、先生。笛をもらうのに。お前、笛を吹いていいぞという許可をもらうのに。
流しの状況	笛を使えるまでは叫ぶ	○加藤　ああ、許可が。それまではどういう。 ○H　怒鳴ったわけですよ。というのは、「あんまア上下300も一ん」って怒鳴ったわけですよ。
流しの状況	1貫文になるまでもらえない笛	○加藤　そうすると、流して吹くほうが上等なわけでございますか。 ○H　いや、上等じゃなくて、怒鳴って歩くうちは笛は吹けないんです。というのは、1貫文まで怒鳴るんです。1貫文以上になると笛をもらえるんです。それには4年かかるんです。4年たたないと1貫文にならないんです。
施術料・収入の状況	弟子により違う施術量	先生が、上下やって15銭なんだから。だから、弟子が先生と同じには、今は何でも同じですけど、昔は300文、500文、600文、700文、800文てね、弟子の腕によって値段に差があったんです。
流しの状況	笛を使う許可	だから、入ってすぐ笛を吹くというのは、年輩の人で中年のめくらなら別だけどね、普通、小僧から行ったのは4年かかるんです。
流しの状況	笛祝い	どこそこの弟子は今晚笛祝いだって、いいねえ、私らも早く笛祝いしてもらるのはいつだろうって言ったくらいなんですよ。 ○加藤夫人　ああ。 ○加藤　笛祝いというのをちょっと。 ○H　笛祝いはね、当時は道が悪いから、下駄なんかとても履けないんです、グサッと入っちゃう、足が汚れちゃうから。それで、日和下駄を履くんです。下駄1足と、手ぬぐい1本、それに笛をくれるんです。うちによると、20銭ぐらいつけてくれるんですけどね。
師匠の経験と状況	二人の師匠	私は2人先生取ったんですけど、1人はウノキイチって言ってね、これは高利貸やってて、あんまりひどいんで親が日本橋のキシさんの所に弟子にやったわけなんだけど。荒川区にカキヌマムコウといってね、いま支部長してますけど、この人は私の兄弟子なんです。当時は、その人と私と、ウノさんの弟子は

徒弟制の内容と状況	師匠のお使い	昔、2 銭玉、2 銭銅貨があったんです。あれ1 つ出して、お屋に3 人のおかず買ってこいって言うんです、当時3 銭買うとね、五目豆って豆と……と刻んだのが、どんぶり1 杯買えたんです。2 銭じゃおかずの買いようがないんです。
徒弟制の内容と状況	3人で食べる揚げ玉	しょうがないから、天ぶらの揚げ玉を2 銭買ってきて、3 人で分けて醤油かけて食べて、それで流しに出るんですよ。おかみさんと喧嘩すると、先生1 人だ
徒弟制の内容と状況	師匠のお使い	だから、お前、好きなもん買ってこいってね。買ってこいはいいけど、3 人で5 銭くれれば大したもんだけだね。
社会情勢に関すること	売りに来た野菜	よく、夏になるとトウナス、その時分にはトウナス、よく車で売りに来たもんです、「トナス、トウナス」って。しまいものを買うんですよ。毎日トウナス煮て食べるの。
社会情勢に関すること	売りに来た野菜	それが、今度はイモをね、「イモや、サツマイモ」って車で来るんです。そうすると、それを屑イモを買うんですよ、何俵って。
徒弟制の内容と状況	師匠に食べさせられた芋	それを毎日3 時頃蒸かして、イモ食べろ、イモ食べろってね。いまのカキヌマがね、「兄ちゃん、お前イモ食べたか」って言うから、うん、昨日うまかったって。あんなもん食べちゃ駄目だって、お前、おなか空かないかって。なるほど、9 時頃になると、おなか減ってしょうがなくなっちゃうんです。おそば
徒弟制の内容と状況	師匠に食べさせられた芋	○H うちは1 銭5 厘のおそば食べるの容易じゃないんですよ。お前ね、あれは何のためにやるんだ。先生はコメが減らないようにイモ食わせるんだから。カキヌマは私より5 つ多いですからね。だから年が多いだけにね。しまいには誰もイモ食うもん、いなくなっちゃったの。
徒弟制の内容と状況	待遇が悪く1年で離れた師匠	○加藤 ウノ先生というのは、要するに、待遇が悪かったんでお出になったわけでございますね。 ○H そうそう、弟子がみんな行っちゃったんです。 ○加藤 どのぐらい、H 先生はそこにいらしたのですか。 ○H 私は1 年ぐらいですね。カキヌマは2 年半か3 年いたんですけど。
徒弟制の内容と状況	大変だった始末書	○加藤 やっぱりそこも年季でございますでしょ。 ○H 年季証文入れたの。仕末書も大変でしたよ。簡単に寄こさなくて。
徒弟制の内容と状況	口利きしてもらっての入門	○加藤 それで、キシ先生のほうへ弟子入りされたんですね。 ○H ええ。それもやっぱり、普通弟子取らないんです、あれだけの先生になると。 ○加藤 偉い先生。 ○H ええ。それで赤坂田町にね、新町にフカセおせきっていう、その人が、うちへ来る人の親戚なんです。その人が、早い話が、いま考えるとハウリンさんの2 号だったんだね、あれ。2 号か3 号か知らないけど、とにかく死ぬ前に
師匠の経験と状況	師匠の破産	いま高島屋の地下は、あれは先生の地所です。それをみんな売っちゃったんですよ。先生が売ったんじゃない、結局子どもが外れちゃったの、4 人男の子がいて、みんな片っぱし親に隠れちゃ使うんだから。
流しの状況	流しができない日本橋	それで、そこへ頼んで弟子に入ったんですけど、これは流しをさせないですよ、日本橋は。 ○加藤 ああ、そうですか。それは、流しをさせないというのは、キシ先生の主義でございますか。 ○H いや、昔は流しさせたそうだけどね、私が行ったときには流ししないで
流しの状況	自己判断での流し	しないでって言うけど、家に座ってるわけでしょう、退屈で。だから私、流し行きましたかね。 ○加藤 それはご自分のお考えで。 ○H そうです。
師匠の経験と状況	師匠の弟子時代	それから、なんですね、本所の、当時は、私のウノ先生の、今度は弟子時代になるんですがね、これが明治27、8年の頃の時代の話です。本所にカワイティショウ。 ○加藤 ああ、有名ですね。 ○H あのひと、これは座頭ですがね、四ノ橋にヤツチャ場があったんです。そこにクラハシというのがいたの。ミツメ通りにオオノっていたの。そのオオ
師匠の経験と状況	師匠の境遇	仕事がないと、昼間食わせないんだって。昼抜きなんだって。それで3 日もないと、2 階へ連れていってひっぱたくんだって、遊んでたんだらうって。 ○加藤 それは流しではなくてうちに。 ○H 流しですよ。 ○加藤 流しで客を見つけないとですね。 ○H ええ、随分虐待したんですよ。仕事がないりゃおまんま食わせないって。それで先生は、そこで暇とった。だから、そういう先生だからもっと弟子に待遇が良さそうなもんだけだね。
師匠の経験と状況	初めの師匠に出された食事	○加藤 それはウノ先生の体験ですね。 ○H ええ、そうそう。私が弟子にいる時分でも、今晩は肉だな、肉のにおいするなって言ったら、みんな目が悪いんだからお汁かけてんの。いまでも、犬だって、あんなお汁かけちゃ食わないよね。それで当時は、こぼすからみんなお汁かけてやるんだって。先生、体裁がいいよね、こぼすからお汁かけてやるって言って、それでみんな、先生とおかみさんと食っちゃってね、みんなはお汁ですよ、たまにネギが入っているぐらいなもので。そんな盲人の取
施術者の経験と状況	逃げる弟子	○加藤 途中で辛くて逃げ出すような人も。 ○H ありました。
徒弟制の内容と状況	近所の者は弟子に取らない	○加藤 それをまた師匠のほうで、いろいろ逃げられないような工夫なんかもいろいろしたのですか。 ○H そういうことはないけど、界限では弟子に採っちゃいけないってことで。 ○加藤 お互いに業者の間ですね。 ○H ええ、よその弟子は、近所のね。遠い所は移動してくるんだけど、周り中ではまた、いまの時代も一緒に、引っこ抜かっていうのがあるんです。そう
師匠の経験と状況	引き抜きがあると乗り組んでくる師匠	すると先生は、そこへ上がり込んでくるんですよ。昔の先生は気が強いから、いまのような常識だの何だのって言っていないですよ。杖を振り回して暴れ込んでくる。そういうのを私は、よく聞きましたね。

徒弟制の内容と 状況	年季中のこと	<p>○加藤 年季は7 年とおっしゃいましたが、これは鍼、灸、あんまで違ってくるのですか。</p> <p>○H それはやらないです、昔の弟子は。</p> <p>○加藤 みんな同じなんですか。</p> <p>○H ええ、そっくりです。昔は四官免許といって鍼にあんまにマッサージに灸と、これは学校の四官免許で、年季というのは鍼とあんまぐらいなものです。</p> <p>○加藤 年季というのは鍼とあんまですか。</p> <p>○H ええ、当時は、マッサージなんてどんなんだい、なんて言うのがいるんだから。</p>
師匠の教え	年季中にはとらせない鍼	<p>○H ええ、当時は、マッサージなんてどんなんだい、なんて言うのがいるんだから。</p> <p>○加藤夫人 やはり最初にあんまから教わって、あるいは何年か経たないと。鍼は何年ぐらいで教われるのでしょうか。その方によって。</p> <p>○H 鍼は、その先生によりますね。</p> <p>○加藤夫人 お弟子さんの腕にもよるわけですね。</p> <p>○H ええ。早いもんだと、出て行っちゃうから、だから大概、年季が明けて、あんまの免許を取るぐらいのものです。とても鍼までは取らせません。</p>
徒弟制の内容と 状況	なかなか受けさせてもらえない鍼の検定試験	<p>○加藤 取れますが、取らせないわけですか。</p> <p>○H そう……、取らせる必要ないから。</p> <p>○加藤 師匠の証明書が要ったわけですね、履歴書の。それを出さないわけですね。</p> <p>○H そうそう、師匠の証明がなければ出さないんです。まだお前は免状受ける資格がないとかまだ早いとあって、今年1 年一生懸命やれば来年は取らせてやるからと。それで取らせてくれると思って一生懸命やると、どこそこのそういうことはないのだけれど、どこそこの誰その弟子が出るから、お前はこの次の来年になったらって。なったけど、願書を出せばすぐ受かるんだけど、それは弟子だから知らないですよ。</p>
徒弟制の内容と 状況	弟子の役割	<p>○H だから、ああ、そういうもんかなと思って、ええ。だから何のことはない。角兵衛獅子の親方みたいに、ただ仕事をさせて使う、手元に置いて手足を動かすというだけなものなのです。</p>
師匠の教え	鍼を教えたくない師匠	<p>○加藤夫人 でも、鍼を覚えさせれば、師匠の手伝いをしてもらえていいのではないのでしょうか。</p> <p>○H いや、そのようなのはない。</p> <p>○加藤夫人 免許の。</p> <p>○H ええ、免許のない人はできない。</p> <p>○加藤夫人 いいえ、その師匠にとっては早く教えたほうが自分の手足になれて。</p> <p>○H それは奥さん、いい人だからそう言うんだよ。</p> <p>○加藤夫人 これは甘いですか。</p> <p>○H そりゃ、奥さんみたいな気持ちじゃ食っていけないよ。</p>
同業者・仲間に関する こと	鍼を取れば逃げ出す弟子	<p>○加藤 では、免許を取ったら、みんな逃げ出してしまいますか。</p> <p>○H 逃げ出しちゃう、ええ。これはどういうものか、先生がやっぱり弟子と先生でいて、自分とこで修業させているんだけど、弟子が迎えにきて、先生じゃなく弟子にやってくれと言うんだよね、やっぱりいい気持ちしないんだよね、同じ金が入るんだけど。</p>
実技の稽古	入門1か月で覚えるあん摩	<p>○加藤 技術を習う順序のようなことを少し教えていただきたいのですが。</p> <p>○H 最初は、肩を一通り揉むんです。私、そう言う噂みたいな話ですからね。300文に行っていたとき、まだ足の揉み方を知らないのです。肩揉みしか知らない。肩と首と頭と手、これだけが揉めるようになって1 カ月かかる。それ</p>
師匠の教え	師匠から 習う 実技	<p>○加藤 入門してから1 カ月ですか。</p> <p>○H ええ、入門して1 カ月、それで300文で、ゼロ。</p> <p>○加藤 師匠から習ったのでしょうか。</p> <p>○H 師匠からです。</p> <p>○加藤 兄弟子からではなくて師匠からですか。</p> <p>○H ええ、師匠です。</p>
施術者の経験と 状況	実技を 習った 都市	<p>○加藤夫人 明治何年ごろのことですか。</p> <p>○H いや、大正です。大正の4 年。</p>
師匠の教え	師匠からの指導	<p>○加藤 300文というとのの辺りを。</p> <p>○H 足をもんでくれって言ったら、どうするんですと言ったらね。</p> <p>○加藤 300文ですね。</p> <p>○H 今度来るとき習ってくっから、今日は顔だけ、はい、やりますっていうんからね、昔の先生っていうのはいい加減なものですよ。</p>
実技の稽古	2か月で全身が揉めるようになる	<p>足を揉みますすっかりできるようになるには2 カ月かかりますね。</p>
実技の稽古	鍼の練習	<p>それはあんまのほうですけど、鍼は最初は新しい綿でね、その時分、当時は綿がいちばん鍼の通りがいい。それで鍼の押し手の構えと刺し手と管の持ち方を教えて、そのままふとんに刺すですよ、綿に、先生の使った古い鍼で。新しいのなんか使わせないんだよ。</p>
実技の稽古	鍼の練習	<p>それができるようになると、今度はこれで座布団の固い綿で稽古するんです。固い綿ってなかなか鍼が入らないですよ、先生。</p> <p>○加藤 そうですか。</p> <p>○H ええ。それがよく中へ入るようになったら、自分の膝へ打つんです。</p> <p>○加藤 自分の膝ですか。</p> <p>○H ええ、膝で稽古する。膝、腫れちゃいますね、毎日打ってると。</p>
師匠の教え	師匠から 習う 実技	<p>○H そうですね、数はわからないけれど、ただ、半日は住まいにいますからね。先生が、自分が痛いからね、だから私のほうの膝で打って。だから管の持ち方、それは押し手が強過ぎるとか、親指をもっと引かなきゃ。縮んでくると、鍼がきしんで痛いんだとあって、そういうふうに教えるんですよ。</p>
師匠の教え	師匠から 習う 実技	<p>シジテンコウ、シジンテイなんて教えるのは、これは目明きですね。目が明いて、明いてから、お礼奉公になってから先生が技術を教えるから。いま考えると、ジャクタクジとかシンセイホウとか、杉山十八技術のそれだけです。</p>
実技の稽古	あん摩の寒稽古	<p>○加藤 寒稽古とかそういうことはおやりになったら。</p> <p>○H やります。3 日やります。</p> <p>○加藤 何か朝早くから。</p> <p>○H ええ、先生は襦袍を着ているんだけど、私はシャツです。震えていると、こんなことするくらいで震えて一人前になれるかと聞かれるんですよ、指に力がなくなると。震えるから力が入らないでしょ。</p>
実技の稽古	あん摩の寒稽古	<p>○H そうすると、物差しで引っぱたくんですよ。</p> <p>○加藤 先生の肩を揉むわけですか。</p> <p>○H ええ、そうです、そうです。先生は襦袍を着てんですよ。</p>

実技の稽古	鍼の寒稽古	○加藤 鍼の寒稽古というのは。 ○H 鍼の寒稽古までは、私はいなかった。
講師・教師に関するこ と	盲学校の先生	ホウリンさんの弟子になっちゃったしね。私の兄弟子がホウリンさんに行っ て、私は実は築地3丁目のジムヤに入ったんですけど、そのときにホウリンの リンをもらって、トウリンって言って、埼玉のウシマツの盲学校の教師をして いましたが、この人は兄弟子なんですけどね。
施術者の経験と 状況	兄弟子の言葉	だから、私はホウリンのホウをもらって、ホウネンというのですが、ホウネン はこの先生のところに一生目が明くまでいるのかって、だから、どうしてそんな ことを聞くんだって言ったら、それはお前、なるほどこの先生はえらいと、え らいけどお前、この先生に付いていって、あんまが上手になって、鍼の免許も 必ず取れるだろうと。だけどそれではお前、社会わかったいうけど、お前は盲 人のいちばんレッドマークだと、その仕事ができるからいいってもんじゃない と。それはどういうわけだと言ったら、これからは盲教育だ、盲は盲の教育を 受けなきゃね、お前が30ぐらいになると本当にお前は無学なあんまで終わっ
施術者の経験と 状況	盲学校への入学	なるほど、そうだなと思って、それから技盲に入ったんです。ところが、5年 6年のことを教えるんですよ。 ○加藤 ええ、小学校5年の。 ○H ええ、自分は1年だ。建前は尋常で4年かそこらしか行ってないし、し ばらく呑気してて学問の何も忘れちゃって、それにしちゃ頭が悪いから付いて いられないの。
施術者の経験と 状況	進級できず退学	それで今度は大正6年の大津波がきて、それで2学期の試験ができなかった。 それで、今度は2年になれなかった。
同業者・仲間に関する こと	上級生の支援	なれないなと思って1月からやめちゃった。そうしたら、一緒にいたのが5年 生のコンドウマサシって、これも死にましたけれど、H君、あんまの免許を取 らせてやる、だから帰ってこいと。柳島っていう、いまの錦糸町からずっと江 東橋の際まで毎日、50日通ったんですよ。
学習・教材に関するこ と	試験対策	それで、当時のあんまの試験問題で190ぐらい覚えたかな。 ○加藤 問題集をね。 ○H ええ、問題集を。
検定試験・免許取得の 状況	証明量を払っての試験 受験	それで、試験に受けるのに先生のところへ、保証してくれって言ったら、それは できないって言っているんです。それでしょうがなくて、今度はほかの同級生 に頼みにいく。それで、じゃ、3円出せって言う、証明料。支払いまして、警 視庁で試験を受けて、免許を取ったのは15でした。
検定試験・免許取得の 状況	行けない師匠のところ	○加藤 そうすると、キシ先生には内緒で受けてきたのですか。 ○H いや、キシ先生には行かない。 ○加藤 行かないって。 ○H ええ、行かない。
検定試験・免許取得の 状況	あん摩の免許取得	○H 大正7年。 ○加藤夫人 大正7年に試験を受けられて。 ○H ええ、そうです。それで、キシ先生の所へ行ったときにはもうあんまの 免許を持っていたわけです。
徒弟制の内容と 状況	あん摩の免許を取らず 飛び題した最初の師匠	○加藤 たしかウノ先生のところですか。 ○H そうです。ウノ先生の時代にあんまの免許を取らないうちに飛び出し ちゃったわけなんです。
施術者の経験と 状況	親元から通った盲学校	○加藤 そうすると、技盲に行ってちょっと入られたころはどこにいらっ しやったのですか。 ○H 千田町です。 ○加藤 千田町でお師匠さんの所、どこかへ。 ○H いや、親の家へ。親と先生のところと、2丁ぐらいしか離れてないの。
徒弟制の内容と 状況	住込みで入った二人目 の師匠	○加藤 そうですか。キシ先生の所には住込みでいらっしやったのですか。 ○H そうです、住込みです。 ○加藤 近くても住込みだったのですか。 ○H ええ。あのテープ、持ってきてくれ。 H家女性 はい。
師匠の経験と 状況	師匠の施術	○H そうですか。これに先生のね、どういうあれで先生がそこまで出世した かということが出ています。明治天皇のところに二度ほど出たんです、治療に ね。宮中のお話を1回しましょう。 ○加藤 そうですか。
師匠の経験と 状況	宮中での施術	○H ええ。これはいまの宮中と違いまして、当時は宮中に入るときには証明 みたいなものを持っていった。 ○加藤 証明。 ○H ええ。 ○加藤 身分証明ですか。 ○H ええ、身分証明ですね、それでその受付で、受付って門番ですね。
師匠の経験と 状況	宮中での施術	○H それを見て通すんです。通すと今度は、受付の所は、早い話、土間です ね、いまで言うと、事務所みたいなじゃないですか。当時テーブルがあって、 テーブルとは言わない、机って言ったんだけど、机と腰掛があったって言った から。それで今度は30畳ぐらいの部屋に通されるんだ。そこは美容師とか髪結 いさん、それに我々ですね、あんまさんとかそういう人たちが、20畳ぐらいの 控えの間ですよ、力のあるっていう。左官、大工はそういうものはその事務所 の隣にもう1つある、そういうのは。そこへ集まって仕事の配付を受けるわけ です。我々のほうは、その同じ事務所みたいな所へ入って来ても一段上なんで
師匠の経験と 状況	宮中での施術	そして入っていくと、今度は用務の受付の人が来て、どうぞ、こちらへって。 そこまでが付添いが付いていられるんです。それが、どうぞ、こちらへって言 うときはもう先生1人なのです、天皇陛下の部屋まで。その次の部屋へ行く と、今度はお風呂に入ってくださいと、風呂へ入れるのだそうです。 ○加藤 清めるのでしょうか。
師匠の経験と 状況	宮中での施術	○H ええ、そうそう。それで今度は出ていくと、よくあんなに揃えてって言 いますよ。着物はピタッと合う着物をくれるんですって。 ○加藤 着替えさせるのですか。 ○H そうそう。というよりは、何か懐に持っているとか大変なんだ。 ○加藤夫人 ああ、なるほど。 ○H ええ。つまり、着物をそのまましていると懐まで調べられないでしょう。 ○加藤夫人 お風呂に入れるのもそういうことでですね。 ○H ええ、そうそうそう。

師匠の経験と 状況	宮中での施術	そうだって言いましたね。それで玄関の所へ出ていくと、陛下の下の方に3人来るときもあるし、5人来るときもある。もしご用のあるときには直に私にお話くださいってね。陛下とは口をきかないの。強いとか弱いとかって。だから大変上手だってね、いい気持ちだって、明治天皇はね、そのほうはうまいなって言われたってね。陛下にうまいなってお言葉をいただいて、あんた、う
師匠の経験と 状況	宮中での施術	それで16弁の菊の御紋が付いた馬車で、当時は電車がないですから馬車で帰ってくるんだけどね、先生がキシ……四つ角にはお巡りが2人ずつ立っているんだってね。陛下の16の菊の御紋の馬車来るんで。でも先生が総代でお巡りが……やっているんじゃないですよ。16弁の菊の御紋ですよ。何時何分にここを通るから、そういうわけでちゃんと、あれは監視役でしょう。それと、16の御紋のお茶菓子が2つ出るんですって。それは菊の御紋が付いているんです。それと、16の御紋のお茶菓子が2つ出るんですって。それは菊の御紋が付いているんです。そういう話です。
師匠の経験と 状況	宮中での施術	
師匠の経験と 状況	師匠の施術	あとは包み金といって、当時、1回10円とかっていったね。いまの1万円でしよう。 ○加藤 それはキシ先生の……。
師匠の教え	師匠からの指導	○加藤 そうですか。学理というか、理論はどうやってお習いになられるのですか。例えば関係するのは解剖、生理が必要ですね。 ○H ええ。 ○加藤 それは師匠が教えてくれるわけでしょうか。 ○H ええ、くれるんです。 ○加藤 くれるのですか。
学習・教材に関する こと	口移しでの勉強	○H ええ。 ○加藤 キシ先生が。 ○H ええ。キシ先生が、ホウリンさんが習う時分には、どんなこと先生に習ったんですかって、「犬に食いつかれたぞ、狂犬病といまして」って習ったんです。そんな時代だったんです。狂犬病っていうのは何の病気だか、名前がわからなかった。だからそういうふうな1つの例を挙げると、そうすると弟子がその言葉について、何て言うんですか、これ。 ○加藤夫人 繰り返すわけですね。 ○H ええ、口写しで教えたわけです。 ○加藤 それは一応西洋医学ということですね。 ○H そうそうそうそう。
師匠の教え	師匠からは習わなかった杉山流	○加藤 杉山流は、キシ先生は……。 ○H そうです。 ○加藤 そういう杉山流の講義は、H先生もお聞きになったことがありますか。 ○H ないですね。でもキシホウリンさんは、「タイハイケイ11ケツってね、
師匠の教え	つぼに貼るあんま膏	○H ええ。それを繰り返して、もう今日はこれでよしって言う。そのあくる日は実地をね。その当時は、いまはないけど、いまはサロンパスとかああいうもんだけど、あんま膏っていうのがあった。 ○加藤 あんま膏。 ○H ええ、丸いんで、それを切って穴のどこへ貼ってくれって。お風呂に入ったら取れちゃうでしょ。 ○加藤 ええ。 ○H さあ、そうすると怒られるんですよ、なぜ取ったってね。それ、二度貼ってくれないんですよ。
師匠の教え	つぼに貼るあんま膏	○加藤 それは何のために貼るんですか。 ○H 穴メです、穴メ。 ○加藤 ケツメって。 ○H 穴をとる、鍼の穴メ。 ○加藤 私、素人でよくわかりませんが。 ○加藤夫人 ケツって穴。 ○H 経穴。 ○加藤 経穴ですか。 ○H ええ。 ○加藤 ああ、なるほど。 ○H 経穴の穴メ。 ○加藤 そこを絆創膏みたいに貼るわけですね。 ○H ええ、手で押したんじゃあわからないから絆創膏で。ヒヤッカクならここですから、そうやって貼るわけです。 ○加藤 なるほど。 ○H ええ、そうです、そうです。
講習所・学校の状況	学校での勉強	○加藤 H先生は、その生理、解剖、病理学をどなたから習ったのですか。 ○H それは学校です。
講習所・学校の状況	学校での勉強	○加藤 そうすると、免許を取る前に学校に行かれたわけですか。 ○H ええ、その時分には解剖はないんです、自分が1年に入ったときは。地理だの歴史だのあんま学があったけど、あんまの実地とか鍼の実地とかがあったけど、まだ生理学とか病理学、衛生などというものはなかったんです。
学習・教材に関する こと	点字の学習	○加藤 そのときに点字もお習いになったのですか。 ○H ええ、そうですよ。点字は、ウノ先生に行くときに習った。当時、点字はそうですね。 ○加藤夫人 ウノ先生というのは、キシ先生の前にお習いになったのですね。 ○H そうそうそう、いちばん最初の先生。 ○加藤夫人 最初は大正2年でしたか。 ○H ええ、そうです。最初は大正4年。 ○加藤夫人 4年ですか。 ○H ええ。
施術者の経験と 状況	師匠への入門	○加藤 それからそのあと、大正5年にキシ先生にお入りになったわけですね。 ○加藤夫人 大正7年です。

施術者の経験と 状況	福井の盲学校への入学	○加藤 そうですか。先ほど福井の盲学校とおっしゃいましたが、福井の盲学校へわざわざいらっしゃったわけですか。 ○H そうなんです、関東大震災で、両親が福井に行く のでね。親にくっついていかなきゃしょうがないでしょう。それで行って、東京が復活するまで俺もこんなことしてたんじゃ、とてもじゃないが、東京へ帰って、人と一緒には並んでおまんまは食えないと。その間に盲学校に入って勉強して、卒業したころには東京は復活するだろうという 計算の下で入ったわけなんです。
講習所・ 学校の状況	3年在籍した福井盲学校	「無学は恐れず」ってよく言うけども、学問がねえから。それで、3 年飛び込んだんです。やっぱり先生は先生の力があるんだから。剣術使いじゃないけど、こっちにいるんだから、付き合うから、あんたは才能も資格ないから、2 年なら入れる。2 年なら1 年得するんですから、3 年間で帰ってきたんです。
施術者の経験と 状況	震災前にとったひま	○加藤 そうすると、そのときは、前のキシ先生の年季がまだ明けない。 ○H 明けないですよ。関東大震災で。年季が明いたのでもなきゃ。いや関東大震災前、2 年前に暇とったんです。ということは、先生が中気になっちゃったんですよ。そこにいたって、カメ……で働く だけでしょう。 ○加藤 ええ。
娯楽・ 余暇に関するこ と	バイオリンとの出会	○H いまなら行ったあのあとはやるのがないんだから、もう少しあそこで頑張っちゃ、もっと成功したと思うよ。でも、たぶん俺のそこは苦しいから。 それで今度は帰ってきて、子が生まれたところで小学校時代の者がいるんだから、だから目明きの友だちがいっぱいいるんですよ。それで、私の友だちに演歌師がいたんです。それで、バイオリン教えてやるから、だから、俺ら3 人で交替で教えにくるから、バイオリンをやれと。
娯楽・ 余暇に関するこ と	大正時代に流行った演歌師	○加藤夫人 やっぱり 見えない方ですか。 ○H 目明きです。 ○加藤夫人 目明きの演歌師。 ○H ええ、そうです、大正時代の演歌師が。 ○加藤夫人 ああ、流行ってたんですね。
あはき 以外での生活の 糧に関するこ	演歌師の滑動	○H 流行ってましたね。半年ぐらい稽古して上手になったんですよ。しまいには、演歌っていうのは4 人いなきゃできないんです。本を売る者が2 人、バイオリンを弾く 者が1 人と歌う 者が1 人、4 人組んでいないとできないんです。それで出てくれって言うんでね、私、演歌師を1 年半ぐらいやったんで
施術者の経験と 状況	震災前にとったひま	○加藤 震災前のことですか。 ○H ええ、前。 ○加藤 いろいろな経験をなさったんですね。
あはき 以外での生活の 糧に関するこ	演歌師の滑動	○H だって、その当時はあんま師が50銭でしょう。 ○加藤 はい。 ○加藤夫人 ええ。 ○H 演歌師一晚1 時間半やって2 円50銭ぐらいになるんですよ。そのほう がいいからね、面白くて。このテープにみんな入っています。 ○加藤夫人 そうですか。
同業者・ 仲間に関する こ	名を知る人	○H これは奥さんね、かなり面白いですよ。 ○加藤夫人 では、楽しみに聞かせていただきます。 ○H 先生が死んだところからみんな出てます。 ○加藤夫人 そうですか。 ○加藤 いまから申し上げる人をもしご存じでしたら、お教えてください。 ○H はい。 ○加藤 昔の人です。 ○加藤夫人 麹町の元園町に熊谷実弥という 方が。 ○H ええ、聞いてます。 ○加藤夫人 ご存じですか。 ○H ええ。
同業者・ 仲間に関する こ	名を知る人	○加藤 どういう。 ○加藤夫人 どういうふうにお聞きになっていますか。 ○H いやあ、名前だけでね。 ○加藤夫人 ええ。それは、お師匠さんを通してお聞きになったということですか。
講師・ 教師に関するこ と	学校を作った人	○加藤 この方は明治9 年に盲人学校というのを作っているのですが。 ○H それは私、聞かなかったですね。名前は響いた人ですよ、当時は。 ○加藤 業者ですか。 ○H 業者です。 ○加藤 当然、もうご存命ではないですね。 ○H いや、もうもう。大正の初期辺りに亡くなったのではないですか。
師匠の経験と 状況	師匠の勉強仲間	○加藤夫人 それで、お師匠さんはもちろんよく知っていたらした間柄だったわけですね。 ○H 知っているでしょう、先生はもう 東京のヨシダコウゾウさんなんかと兄弟弟子ですからね。兄弟弟子っていう のではなく 勉強仲間なのでしょう、コウゾウさんのほうが下ですけどね。
同業者・ 仲間に関する こ	名を知る人	○加藤夫人 どんなふうにお聞きになったか、覚えていらっしゃいますか。 ○H さあ、名前だけです、こういう 偉い先生がいるんだっていうね。 ○加藤夫人 偉いということ。 ○H ええ。 ○加藤夫人 かなり流行った方なのでしょうね。 ○H それほどは流行らないですね。学者肌です。 ○加藤夫人 なるほど、そうですか。
同業者・ 仲間に関する こ	名を知らない人	○加藤 それから浅草の瓦町。 ○加藤夫人 瓦町という所に。 ○H ええ、俵町。 ○加藤夫人 瓦町。 ○H 瓦町。 ○加藤夫人 ええ。平野和雄という、これは目の見える方なのですが、その方が熊谷実弥を助けて盲人学校で普通のあれを教えたわけなのですが、あんま、鍼、灸ではなくて普通の。 ○H そういう 人の名はあんまり知らないですね。 ○加藤夫人 あまりご存じありませんか。

同業者・仲間に関する こと	通信法の考按	○H ええ。 ○加藤夫人 その方は明治22年ごろに通心玉という通信する方法なのですが、玉をいろいろ工夫してそろばんみたいな、棒に玉を挟んで、その中身によって通信する方法を、点字の代わりですね、そのことを工夫されたという記録があるのですが、そういうことをお聞きになったことはございませんか。 ○H 年がもう、私らの時代になってからではもう。
同業者・仲間に関する こと	名を知る人	○加藤夫人 そうですか。では熊谷実弥を。 ○H ええ、名前は聞いています。
同業者・仲間に関する こと	名を知る人	○加藤 そうですか。それから、浅草のアイザワゲンテイ。 ○加藤夫人 アイザワゲンテイという人も。 ○加藤 この人は鍼。 ○H ええ。 ○加藤夫人 ……ノ町。 ○H 流行ったんですよ。 ○加藤夫人 そうですか。 ○H ええ。 ○加藤 この方は検校とか、そういう位は。 ○H 検校、位はないんですよ。 ○加藤夫人 もうないでしょう。 ○H だから、明治の人でしょう。 ○加藤夫人 ええ。
講師・教師に関する こと	学校を作ろうと計画した人	○加藤 この人はですね、やはり明治8年にシンチ学校というのを。 ○加藤夫人 作ろうと計画されたことがあるのです。東京府に設立願が出ているのです。 ○H 先生、もうちょっとそういう早かったら、みんなあっちの国へ行っちゃったからね。 ○加藤夫人 本当にね。でも、流行った方としてはその……。 ○H 流行ったんです。 ○加藤夫人 そうなんですか。
同業者・仲間に関する こと	盲人の人	○H だから、さっき話したカワイセイショウという人と同じような人じゃないのかね。○加藤 カワイセイショウという方は見える方ですか。 ○H 見えないです、全然。全盲です。 ○加藤 そうですか。 ○H とにかく 蜚カラでね、それでケチでね、盲人がどんなために行ったらって一銭の金も出さない。でも本所じゃ、カワイって言ったら大したもんですよ。
同業者・仲間に関する こと	名を知る人	○加藤 同じ本所でオシダという方はご存じないですか。 ○H オシダさんは名前だけ聞いているんだけど、これはね。 ○加藤夫人 深川のモロ町という。 ○加藤 あっ、深川のモロ町か。 ○H 深川には、モロ町はないですよ。
同業者・仲間に関する こと	通信法の考按	○加藤夫人 あら、そうですか、新聞にはそう書いてありましたが。深川モロ町のオシダという人は何か四角い厚紙の端を少しずついろいろ、こうきって、ア・イ・ウ・エ・オというのを作って、お弟子さんに通信するのにそれで通信したという。 ○加藤 点字がないころ。 ○加藤夫人 点字がないころの話ですね。 ○H ええ。深川にモロ町っていうのはないですよ。 ○加藤夫人 そうですか。それでは……。
同業者・仲間に関する こと	名を知る人	○加藤夫人 オシダさんという方は。 ○H 名前だけは聞いているけど、どの人だとかね。こういう所にいたっていうところまでは聞かないけど、オシダっていう、当時の学者ですね。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。
社会情勢に関する こと	2 派になっていた	○H そりゃね、妙なもので、昔は技術者と、学者と先生、2 派になっていたんです。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○H それが商売をやっていても、学者肌の人は付き合わんです、盲人の一般で商売している者は学がないでしょ。 ○加藤 ええ。
同業者・仲間に関する こと	学を学べるのは裕福な人	○加藤夫人 その方たちは、その学をどういうふうにして学ばれたのでしょうか。 ○H そういう人は兄弟だの何だの本を読んでもらうんです。みんなそれでね。 ○加藤夫人 個人的にどなたかいらしたからなのですね。
同業者・仲間に関する こと	学のある盲人は嫌われた	○H ええ。商売をしていても、学者肌の商売をしているのが随分ありました。そういうのは、一般の盲人は付き合わないんですよ。いまなら尊敬してその人になるだけ近寄るとい、盲人が進んできたから。崇拜者として騒ぐけど、昔はそういう人は何だか煙ったくって。 ○加藤夫人 では、そういう方がいろいろ学校を作ろうとして計画したりなど。
講習所・学校の状況	学校を計画した人は多かった	○加藤夫人 そういう例はときどきお聞きになりましたか。 ○H ええ、ありました。結局、駄目に終わっちゃったんですよ。 ○加藤夫人 計画したけれども、駄目だったということですね。 ○H ええ。それはオシダさんじゃなくて、まだまだいっぱいいたんです、そういう人が。
師匠の経験と状況	検校である師匠	私の先生は、キシハウリュウと称し、日本橋数寄屋町西中堀におられる。このキシハウリュウさんは、文久元年、日本橋呉服町にイマイズミリュウホウという検校に入門いたしました。このキシ先生より当時の盲人のあり方を伺いましたことを申し上げてみたいと思います。
江戸時代の位・制度に関する こと	検校の位	検校シバウラに出入りいたし、一万石の格式が与えられ、朱塗りのお皿でお祝いしたものであります。
江戸時代の位・制度に関する こと	盲人の位	勾当は旗本に出入りいたし、なお、町家に入ります。
江戸時代の位・制度に関する こと	盲人の位	なお、座頭は、町方の盲人の統率を図ります。また、座頭には、縄張りといって町の区域の区分されてあったと申します。

あはき 以外での生活の糧に関すること	盲人の挨拶	これは町の豪商あるいは由緒ある家に、婚礼とか講のある場合には町内の盲人がセンタン5、6人つながり、その家に挨拶に行きます。センタンでは、かねて用意されてあるお経モクを盲人に渡します。これが婚礼の場合には家の祝いとして、また、不幸の場合には、供養の意味を持って盲人に施すと言われま
江戸時代の位・制度に関すること	座頭に集まるお金	そして、もらったお金を一旦座頭が預かり、その年の暮れには1カ年の金額を計算いたし、例えば5両あるときは、その2割の1両を座頭が取り、残りの4両を他の者に分配するという。これが当時の盲人の大きな楽しみの1つであ
江戸時代の位・制度に関すること	悪質な座頭	また、座頭の中には、巧みに親をたぶらかし、娘を酌婦や娼妓に売りとばす悪質な盲人もあります。
江戸時代の位・制度に関すること	取り上げられる座頭の位	これが町奉行に知れると座頭は引き立てられ、調べた上即座に座頭の位は取り上げられ、取りつぶしになるという徳川の……盲人11箇条の盲人保護条が定められてありました。
江戸時代の位・制度に関すること	徳川の盲人11箇条の内容	この2、3を申し上げますと、次のようなものであります。 この2、3を申し上げますと、次のようなものであります。 一つ、 あんまは盲人に限る。晴眼者はこれを認めず。
江戸時代の位・制度に関すること	徳川の盲人11箇条の内容	一つ、 あんまは盲人に限る。晴眼者はこれを認めず。
江戸時代の位・制度に関すること	徳川の盲人11箇条の内容	一つ、 盲人に危害を犯せし者は理由の如何を問わず、その刑軽からず。
あはき 以外での生活の糧に関すること	金貸しをする盲人	この時代の盲人は、食べるものを食べずに金を残し、金貸しをするのがもっぱら多く、こういう盲人は明治から大正のころまでありました。
江戸時代の位・制度に関すること	盲人の位	幕末は、江戸市中に検校11人、勾当20数人、なお、座頭は38組おったそうであります。
徒弟制の内容と状況	弟子入りできるのは中流階級	当時はあんまの弟子入りするためには、中産階級の家庭の盲人でなくては到底弟子に採らなかった。それは、弟子入りするときは本人の食料、小遣いはもちろん、寝具、為着せ、ちり紙に至るまで親元から運び、なお、先生に心付けのない者にはあんまり身を入れて教えないという風習が大正の初期のころまで数
社会情勢に関すること	貧困の盲人	したがって、貧困者の子供はあんまになることもできません。もっぱら木魚をたたいて歌を歌い、1文、2文の恵みを受ける。また、辻に立ってジロリンザエモンを肩にその日の生計を細々と立てる、誠に非人に等しくあわれな盲人がたくさんおったそうであります。
社会情勢に関すること	晴眼者あん摩の擡頭	・幕末、埼玉県出身で吉田久庵と称する人が現れて、晴眼のあんまの養成をいたし、花柳界、各旅館、遊郭に進出するという。
社会情勢に関すること	晴眼者あん摩の擡頭	これがために東京の中央、京橋、日本橋方面は晴眼者の圧迫に耐えかね、一家離散する者、親子心中する者、誠に許しがたい事態であります。
同業者・仲間に関すること	杉山検校の崇拝者	京橋八丁堀に鈴木キンゾウという人が杉山検校の崇拝者で。 (7頁) 毎月18日(検校の命日)には本所の杉山社に参拝するという、誠に奇特なお方であります。
講習所・学校の状況	ミマツ講の創立	す。あるとき、弥勒寺の僧侶が、「見えない方が京橋から参詣に来られることは容易なご苦労ではありません。それは杉山検校の一周忌に当たり、検校を刻まれた木像があるが、これは差し上げます」。鈴木氏は大変喜び、早速この木像をいただいて我が家に祀り、同志を集め、ミマツ講という講を作りました。
社会情勢に関すること	所在不明となった木造	後にこの木像は杉山学校、師範学校に安置してありましたが、20年の大空襲に備え疎開いたしました。現在に至るも木造の行方がはっきりいたしません。
同業者・仲間に関すること	運動に力入れた同氏	このミマツ講は30数人となり、こうした人々が盲会を作ることに関心を持ち、盲会の運動に踏み切りました。
講習所・学校の状況	鍼の研究グループ	当時、深川にも辰巳講があり、ヤマザキショウザン、ハシモトテンコウという人々が協力いたしました。本所には、また弁天講がありました。こうした講は、鍼の研究会のような小規模なグループにして、概ね無尽を主としたもので
社会情勢に関すること	盲人鍼按協会	ここにドイという人が現れ、時の政治家板垣退助に現状の盲人の状態を訴えていただき、伯爵を背景にあんま専業が始まる。専業を旗印に盲人鍼按協会が生まれました。
社会情勢に関すること	広がる盲人の運動	また、浅草、下谷、神田、本郷と各地に運動し、日々に拡張いたします。
同業者・仲間に関すること	盲人の政治家	また、ここに日本橋油町にタカギショウサイという盲人がいました。この盲人の一子マツタロウが日本町小伝馬町の質屋に丁稚として入り、傍ら法律の独学をいたし、後に弁護士になり。 (9頁) タカギマツタロウは、我が父が盲人であったことから盲人に同情を寄せられ、あんま専業に活躍されました。このタカギマツタロウは、代議士連続3回当選、憲政会の花形として活躍されたのであります。
社会情勢に関すること	あん摩専業の運動	明治41年、両国国技館において、初めての全国盲人大会を開き、国会においてはあんま盲人の専業とすべしと。既に専業案が通過するときの盲会の首脳部が鍼按協会である故、これは鍼の兼業にすべしと言って、あんま専業に鍼を主張したるため廃案となりました。
社会情勢に関すること	盲人鍼按協会	当時は東京15区にことごとく支部を結成いたし、会員は胸に三日月型のメダルを下げて、メダルには、「盲人鍼按協会」という文字が彫りつけてありま
社会情勢に関すること	協会20周年	時は流れて大正時代となり、大正9年に鍼按協会を改名し、保持協会となり、なお、大正11年には盲会の20周年を京橋区星製薬の7階において開催いたしました。
施術者の経験と状況	インタビュー当時の年齢	○H 37年ですね。 ○加藤 ああ、明治37年生まれですか。 ○H ええ、64です。目の見えない者を馬鹿にしちゃってね、もうものすごかったですよ。
社会情勢に関すること	吉田流は盲人を取らない	○加藤 吉田流には入門をした人もいるのでしょうか。 ○H いません、盲人は採らないです。 ○加藤 採らないですか。 ○H ええ、盲人はどんなことをしても採らない。いざりは流ししないしね。
同業者・仲間に関すること	名を知らない人	○加藤 いざりならいいですね。 ○H しない、絶対しない。だから盲人のほうは軽蔑するほうがよかった。 ○加藤 また人の名前ですが。川越のほう、入間川のほうですが、杉山タケオという人はご存じないでしょうか。 ○H さあ、それは知らないです。あっちで知っているのは関根だけですね。

講師・教師に関すること	盲学校の校長をやった人	○加藤 関根。 ○H ええ、あれは川越の盲学校の校長をやったんでしょう。その人の奥さんがいま話した私の兄弟子の、埼玉県ですから、盲学校にいつてるのが、関根君が死んだよってんでね、いくらか香典を持ってってもらったんです。
施術者の経験と状況	務めた参事	いま大正14年に84警察単位の組合が設立したんです。そのとき三多摩を入れて87の警察単位の組合で。ここに奥様お見えになるからわかるでしょう。これ、昭和18年に署長から感謝状をもらったときに相談役になったのですが。いまは……警察がなくなったのですが、こんな37、38で相談役というのは理屈に合わないんですけど。当時組合長をやっている私、当時参事になったんです。
施術者の経験と状況	若くて相談役となった	参事は、東京都内に5,800人の盲人がいまして、その中で17人の参事が選ばれたわけです。参事が地区へ帰って組合長ということは不合理だというんで、それで、ただちに相談役に推薦しろと。これ、37、38で相談役になっちゃった。参事は、東京都内に5,800人の盲人がいまして、その中で17人の参事が選ばれたわけです。参事が地区へ帰って組合長ということは不合理だというんで、それで、ただちに相談役に推薦しろと。これ、37、38で相談役になっちゃった。
同業者・仲間に関すること	杉山検校の掛け軸	その当時に関根さんと会って、奥さんが杉山検校の掛け軸をうちに買ってくれて持ってきたんです。それがうちにありますけど、大したもんですよ。先生が全盛時代に描かしたんだってね。 ○加藤夫人 杉山タケオ。 ○H あれを、じゃ、今度はトウ……を死んだら寄付しようかな。 ○加藤夫人 あれもよございますね。 ○H そうでしょう。
江戸時代の位・制度に関すること	有名な検校	○加藤夫人 ええ。検校服というのがありますね。あれはどなた、森。 ○加藤 渡辺。 ○加藤夫人 渡辺、じゃないです。 ○加藤 ……区長をやっていた人のお父さんが、検校で検校服を。 ○加藤夫人 サト ウマサオキさんのお父さんが検校だった。その区長さんから。 ○H それで、検校が何かの話もいくら資料はあったでしょう。 ○加藤 ええ、多少残っていますけれども何か。例えば、ムサシノショ ウコさんという大変有名な検校がございましたね。
同業者・仲間に関すること	所在が不明な検校の子孫	○加藤 あの方の子孫が今どこにいるか、先生はご存じでしょうか。 ○H わからないですね。 ○加藤夫人 あの方の文書はよく雑誌などに出ていたのですが。 ○H 多摩川方面に昭和の初期ごろにいたということを聞いていましたけどね。 ○加藤夫人 多摩川のほうですか。 ○H ええ、あっちのほうにいますよ、たしか。だからもう狭い……なる
江戸時代の位・制度に関すること	検校でも学者	○加藤夫人 そこに文書がだいぶ残っていたそうですね、ムサシノ検校の。 ○H ええ、ムサシノは偉かったんですよ。学者ですよ、検校でも。 ○加藤夫人 でも、随分お弟子さんが多かったという話です。
江戸時代の位・制度に関すること	検校でも学者	○H アダシノ検校っていうのは偉かったんですね。 ○加藤 昔の。 ○H ええ。 ○加藤 それは明治まで生きておられた。 ○H ええ、あの人が経穴膏をやったんですから。明治じゃないでしょ、あの人は嘉永辺りに死んだのではないですか。
同業者・仲間に関すること	尋ね人	○加藤夫人 アカシカクイチのことですか。 ○H いや、そうじゃない、そうじゃない。 ○加藤 アカシカクイチとは全然違う。 ○H では、ひとつ電話で聞いてみます。 ○加藤 はい、よろしくお願いいたします。
同業者・仲間に関すること	戦後まで活躍した人	○H イマニシさんというのは、秋葉校長の椅子を狙うだけあって偉い人だって。 ○加藤 ええ、偉い人です。なかなか。では、戦後はあんま専業でGHQのあのときまで活躍なさって。 ○H そうです、そうです。 ○加藤 そうですね。 ○H ええ。あれ、空襲後ですね。死んだのね。
検定試験・免許取得の状況	検定試験の監督	○加藤夫人 板垣さんがどうしてああいうふうになつたことにご熱心になったかというのは、何かきっかけがある。 ○H それはね、これは事実か、何ですか、私は直接板垣さんで聞いたわけじゃないけど、警視庁に富岡さんという試験官がいたのをご存じですか。 ○加藤 富岡。 ○H マッサージ、鍼、あんまの。 ○加藤 知りませんけれども。 ○H そうですか。
講師・教師に関すること	落とし胤は盲学校の先生	○H その人は板垣さんの落とし胤だったんでね、盲人で。それは、板垣さんの女中さんか何かとできたの。あれは奥村さんの弟子ですよ、富岡さんは。もちろん……話ですよ。
講師・教師に関すること	落とし胤は盲学校の先生	○加藤夫人 東盲の先生ではないのですか。 ○H ええ、東盲はあれですよ。 ○加藤夫人 盲学校の先生をしていらっしやった。 ○H ええ、そうそう、富岡。 ○加藤 ああ、富岡。 ○H ええ。あの人は何だか板垣さんの。 ○加藤 落とし胤。
検定試験・免許取得の状況	検定試験の監督	○H ええ、そういう話ですね。それで富岡さんはあそこまで出世したんだということを、よく私は聞いています。私も、試験を受けたときには富岡さんでしたからね。 ○加藤夫人 ……さん。

同業者・仲間に関する こと	内容のある話	○加藤夫人 いいえ、そうではなくて、やはりいきなりというのは失礼ですからね、こちらもよく事情は知りませんし。 ○H この間シノハラさんから電話がかかって、先生、実はこういうわけなんだけどって言うから、ああ、いいですよって言ったからね。知らないことはわからないけど、いっくらかご参考になりましたか。 ○加藤夫人 いままででいちばん収穫でしたね。こんなにお話していただくことはありません。
徒弟制の内容と状況	授業料としての食い扶持	○加藤 ちょっと2、3補足して。 ○H ええ、結構です。 ○加藤 先生が弟子に入られるときには、例えば前は、江戸時代は米2俵とゴ……を何ぼという話でしたが、先生がおやりになるとときにはどういう条件でしたか。 ○H それはめいめいでしたが、私の所は魚屋をしていましたから、親父は鯛2匹と弟子一同にお刺身を持って行って、それで2年間食いぶち、2年ずつ。
徒弟制の内容と状況	2年は食い扶持も取れない	○加藤 それから先は稼ぐから食費はかからないということですね。 ○H ええ、そうです、そうです。食いぶちが取れるようになるから2年間は遊びだというぐらい。遊びじゃないですよ。……足も曲げないで賽銭とられるんだから。昔はそういう制度があったんだ。
徒弟制の内容と状況	授業料としての食い扶持	○加藤夫人 やはり親御さんが毎月何かを納めるわけなのですか。 ○H そうそう、持っていくんです。 ○加藤 だから2年ずつ。 ○加藤夫人 引き続きね。
徒弟制の内容と状況	授業料としての食い扶持	○H 食いぶちを持ってこないで、今度は弟子にしないんですよ、お前の所はずるいとかね。弟子がかわいそうですよ、親が遅れると。 ○加藤 そうすると、困って食事が出せないよ。
社会情勢に関すること	乞食あん摩	○H だから、そういうのは乞食あんまですよ。どこか近所で今度は習った人から正式な弟子でなく素人、我流っていうんですか、そういうのが、何ですか、はなはだしいのになると、「あんまー、カミシモー、500モー」って怒鳴っておいで、「なっとー、なっとー」って納豆を売って歩くんです。 ○加藤 そうですか、そんなもの。 ○H あったんです、あんまでもって、合間に納豆を売ったりね。 ○加藤 大正ごろにもありましたか。 ○H 大正です。「ハエ叩き」ってんで、その時分は巾着を腰にぶら下げてね、子どもに。はえ叩きっていうのはいまでもあるでしょう。
流しの状況	乞食あん摩	○加藤 ええ、あります。 ○H ハエを叩いたり。 ○加藤夫人 ええ。 ○H あれが昔はシュロの葉で出来ていたんです。いまはああいういいのが出来てる。それを1つ5円かそこらで、それを背中にしょって、「あんまー、カミシモー、500モー」って怒鳴ってから、「ハエ叩きに巾着、要りませんか」ってね。両方ありますから、そういうあんまさんがいっぱいあるんです
社会情勢に関すること	乞食あん摩	○加藤夫人 数から言えば、そういう方のほうが多かったわけなのですか。 ○H そうです、そうです。
徒弟制の内容と状況	弟子入りできるのは中流階級	○H そうです、そうです。 ○加藤 そうすると、ちゃんと弟子入りされる方はまだいいほうでしたか。 ○H そうです、そうです、中流階級ですよ。 ○加藤夫人 それだけ納められる方たちが。 ○H ええ、それは、親が楽じゃなきゃそれだけ納まらないもん。すごいの、いたですよ。
社会情勢に関すること	うちの中にいる盲人	。あとはうちに飼っとくんですね、とりあえず、しょうがないから。 ○加藤 そうですか。 ○H ええ、ご飯を食わしてうちに置くんです、弟子にもやれないし、教えてくれる人もいないし。することがないしね、いまみたいだね。
実技の稽古	近所で教わるあん摩	○加藤夫人 近所で教わるするときにも、そういう一人前になった方の所へ行って、やり方をざっと教わるわけですか。 ○H そうです、そうやって。
流しの状況	免許がなくともできた流し	○加藤夫人 そうするときにも、やはり何かいっくらか持って行ってお願いするわけなのでしょね。 ○H ええ、もちろんね。昔の盲は欲が深いから、ただなんかで教えてくれない。それで、結局、いっくらかできると流しに歩くんですよ。そうすると今度はム……で歩くと言って、先生がやかましいんですよ。 ○加藤 免許を取るまでは流して歩いて、それは鑑札を持っていなくてもよかったのですか。 ○H ええ、よかったんですよ、徒弟修行ですから。 ○加藤 ああ、徒弟修業ということですよ。
流しの状況	流し禁止令	○H ええ。それがね、流し禁止令が出たのは昭和10年です。昭和10年は資格のない者は流しできないということ、禁止令が出たんですよ。 ○加藤 それまではよかったわけなのですか。 ○H これはやったんですね、東京だけでなく。
師匠の教え	学校に行かせたくない師匠	○加藤 それからお師匠さんは自分の弟子が盲学校へ行くのを嫌がった。 ○H ええ、嫌がったということは、弟子が盲学校へ行けば、師匠と離れちゃうから。だから結局、学校なんかへ入って何になるんだ、学校というんじゃ飯は食えないと、技術ができなくちゃ世の中へ立てないんだと、あそこの倅なんか学校へ行くと、あんなものロクなもんになんないって言われたものですよ。
師匠の教え	師匠からの指導	○加藤 しかし、免許を取るには生理、病理を習わなければいけませんね。 ○H そうです、そうです。 ○加藤 お師匠さんにそういう教える力があればよろしいわけですが。 ○H みんな試験問題ですよ。 ○加藤 試験問題を教えます。
実技の稽古	厳しく指導された実技	○H ええ、だから力がない者ばっかしできちゃうんです。それにあんまはいまや、先生の前ですけど、我々のような揉み方ができる者はいませんよ、いまの時代は。それは、物差しでひっぱたかれて習ったんだからね。 ○加藤 何か柱や板を揉んだというような。 ○H それは私の先生時代ですね。ホウリンさん時代です。それは力をはかったんです。

講習所・学校の状況	盲学校も技術指導に力を入れるべき	○加藤 いまは盲学校で理屈だけを教えますが、臨床などというのはお粗末だったと思うのですが。 ○H 私に言いたいことは、盲学校でいまの盲人の生活問題ということに絡んで、結局、遠くのほうばかり騒いでて、地元の、それは学問も確かに時代が進んでいくんですから大事ですけど、技術というものをもうちょっと盲学校では厳しくやってもらわないと、駄目な盲人がかawaiiそうじゃないかと。これはいちばん、いくら学問があります何のって言ったって死活問題は金ですから、金を取るということは、要するに下手じゃ頼まない。
施術の方法と 考え	自信をもって提供する自らの技術	上手なら、私のところは紹介でなきゃ商売しませんがね、お客を。今日は来るお客、何時から来てくれるって、断って、それでピタッと来ない、言いにくたってやらないんだから。でも、それは私が偉いんじゃないんです。私の先生が偉いんです。それだけに教えてくれたっていうことはね、これは見のがせないところなんです。いまどうにかやっている盲人の人は、その人は必ず偉いことは偉いけど、それをただ……まいと、先生は、私は本当に偉いもんだと思います。それと盲学校において、もうちょっとこの技術というものを厳しく やらない
施術者の経験と 状況	技術力がないことで生活が低下する	○加藤 そうですね、これから。 ○加藤夫人 もう教える方がいらっしやらないのでしょうか。 ○H 盲人の生活というものは現在低下しつつありますよ。まして今は電気あんまだの、ああいうもんだの、指圧だの、ああいうものに我々マッサージ、あんまというものが圧倒されるということは、要するに技術が足りないんです
施術料・収入の状況	技術力があれば取れる施術量	これは小咄ですけど。この先に清水橋という橋があるんです。そのそばに鈴木ヒロアンというあんま師ですけど、大正時代に他人が30銭の時分に1 円ですよ、治療代。それでも、「お前のとこ、俺の治療にかかるほど身上持ちか」「俺は1 円だぞ。それでよけりゃ行くけど、お前のとこ1 円のあんま貰払えるか」っていうぐらいに頑張っていて、木場から人力車で迎えにいくんですよ。それはうまかったそうだね。3 人いれば3 円なんですよ。当時あんた、1 日1 円20～30銭しか労働者は取れない時分にね、木場の材木屋に行って3 人やってくると、1 円もらって、それで御飯食べて、それで帰ってくる。それはやっぱ
施術料・収入の状況	技術力があれば取れる施術量	○H でも、ほかのあんまさん、30銭で仕事がなく てしょうがない連中がいっぱいいるんだけど、その中に1 人だけそういう型が変わっていても、それで結構いばって商売していけたということは、要するに技術がよければそれだけいくんですよ。
同業者・仲間に関する こと	名を知る人	○加藤夫人 ハンジがテラウチヒサキチという。 ○H ええ、その人は知っています。
同業者・仲間に関する こと	温厚な先生	○加藤 それはどういう方ですか。 ○H どういう方かね、うちによく、先生のとこに見えたよう だけど。とにかく……きながら弟子なんか採らないって。 ○加藤 では、面識の仲ですね。 ○H そう、もうメンタイでしたね。ちょうど先生のような温厚な方でした。 ○加藤 こちら……。
同業者・仲間に関する こと	名を知る人	○加藤夫人 シラキショウエンとかイケダワタルとか。 ○H そういう人は名前だけで、私は会ったことはないんですがね。 ○加藤夫人 そういう名前を知ってられる。 ○H ええ。
社会情勢に関する こと	盲人教育界	○加藤 皆さん、盲人でいらっしやいますか。 ○加藤夫人 そういう方、これも1 つの講なのではないかね、盲人教育会というの。これと別物なのではないか。 ○加藤 何か日本橋のモトギン町。 ○加藤夫人 シロガネでもないですね。 ○加藤 その辺りはありますでしょうか、日本橋区ですか。 ○H モトギン町なんてなかったんじゃないかな、どの辺だろう。 ○加藤 カメノオという。
社会情勢に関する こと	鍼灸協会時代の人	○加藤夫人 盲人教育会、盲人教育会っていま名前は出ていたのですが、まだ。
同業者・仲間に関する こと	名を知らない人	○加藤夫人 フカワケンサイって方はご存じありませんか。これもちょっと古過ぎますね。 ○加藤 松本ソウテイっていうのはないですか。 ○加藤夫人 お聞きになった所ですね。 ○H どこです、それ。 ○加藤夫人 松本ソウテイは上野の国って書いて。 ○加藤 だけど、江戸に出て修行をした方ですね。 ○加藤夫人 ええ、江戸時代です。 ○H ああ、幕末時代でしょう。 ○加藤夫人 いいえ。 ○加藤 明治初期に。 ○加藤夫人 明治20年ぐらいに。
同業者・仲間に関する こと	盲人の政治家	○H それから、ここに出てますがね、高木アツタロウって県会、代議士、あの人のお父さんのこともこれ、いまも戦争当時まで書いてあります。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。 ○加藤 高木って弁護士の人。 ○H そうそう。代議士で、憲政会の総裁です。
同業者・仲間に関する こと	点字版を作った人	○加藤 そうですか。 ○H それから、オオヌキイタロウってね、あれが点字版こしらえてね、オオヌキ製っていう。神田、あそこは小石川八千代町にいてね、前はソウジ町って言ったんですけど。この人はとても、盲会の花形でした。 ○加藤 ああ、そうですか。
学習・教材に関する こと	大正から昭和にかけて作られた点字版	○加藤夫人 何年頃に点字版を作ったのですか。 ○H あれは大正から昭和へかけてです。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。 ○H ええ。大正の末期からね。大正の10年ごろかな。
同業者・仲間に関する こと	地域の師匠との交流はない	○加藤夫人 お師匠さんのおつきになった範囲内では、お師匠さんの時代っていうのは結構、地方の方はそういったお師匠さんなんかとの交友があったものだから。 ○H ないです。 ○加藤夫人 ああ、全然。

師匠の経験と 状況	地域の師匠との交流はない	○加藤夫人 交通が不便であったから。 ○H ええ、そうです。こういう人があるぐらいでね、こういう会とかこういうものは全然ないんですから。だから、程遠いんです。
師匠の経験と 状況	交通が不便で進まない師匠の交流	○加藤夫人 昔は、何かカイザイだったって、よくいろいろ回ったらしいですね。 ○H ええ、それは。 ○加藤夫人 かなりのお金を集めて、そういうために方々財を。田舎のほうなんでしょうけれども、よく回ったってなようなことが出ておりますけれど。だから、案外、相当行き来したものかしらというふうに。 ○H とにかく、もう交通が不便だから、大体夜商売。警察に追われてる盲人が多いんだからね。昼間商売やっちゃ、夜、この会の運動でも10時ごろから夜明けにかけて出たわけです。
社会情勢に関すること	逃げ歩く 盲人	○H 昔の盲人ってのはね、5 人も7 人も、よその盲人の迷惑も考えないで起こして歩いたものです。私は……派であったんです。 ○加藤 ああ。 ○H だから、ここから四ツ木あたりまで2 里あるんです、これ、葛飾の。2 里歩いていくんですよ。 ○加藤 はあ。
社会情勢に関すること	盲人の運動	○H というわけで。私は葛飾、江戸川、それから墨田ね。これ、盲人保持協会時代でね、から、今度は東京盲人協会になったときに、会をこしらえるのに夜中に歩いたもんです。 ○加藤 ああ、そうございましたか。 ○H ええ。とにかく 盲人の運動はみんな夜中です。
講習所・ 学校の状況	夜中にやる講習所	○加藤 だから、神田の美土代町の講習会も最初は夜中にやっていた。 ○H そうそう。 ○加藤 そうですね。じゃあ、モリタコウエイ先生なんかは……。 ○H あの人は新しいですよ。 ○加藤 新しいですか。 ○H ええ。
同業者・ 仲間に関すること	切腹したものの孫	○加藤夫人 やっぱいいちばん熱心だったのは千葉勝太郎さんですか。 ○H あの人はとにかくね、ゴリョウシロじゃない、クニシロか、クニシロの刀で割腹した。じゃあ、クニシロの刀を売ったら、借金をしまして、それで、死ななくてもよかったろうという噂もあったけども、あれはやっぱり 剣客者の
同業者・ 仲間に関すること	盲人として尊敬	○加藤 ええ、お孫さん。 ○H ええ。剣客者の武士道で、その先祖伝来の伝わり物を売ってするっていうことは先祖にすまないと言うんで、自分の身を精神的に犠牲にしたっていうことは、あれは盲人として尊敬の念に絶えない人ですよ。
同業者・ 仲間に関すること	運動のため借りた金	○加藤夫人 無尽講に身を入れてなさったそうですね。 ○H 結局あの人は、みんな連帯で金を借りたんだろうけど、大体無尽が多かったんです。無尽がいけないって、無尽が流行なくなって、迫られて、いま子孫は千住にいるそうだけだね。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○H ええ。 ○加藤夫人 どうも。 ○加藤 また。 ○H ちょっと待ってください。いまね。 ○加藤 貴重な資料をありがとうございました。

表23 「 Y K」コード一覧

カテゴリー	コード	文章
検定試験・ 免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	昔はね、昔はっていうと。その時分は、明治時代は、私どもが始めた時分はね、何ですか、そこへ弟子入りなら弟子入りとしなくてもですね。池田さんって人がちょうど私どもの近所だったんですよ。すぐ傍でね、半丁ばかりしか離れてなかったんですけどもね、そこでもって。この池田さんって人はもうやっぱり 古い人でしてね。その人に、検定試験を受けるについてね、証明しても
検定試験・ 免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	ですから、そこへ弟子として、徒弟として入ったわけじゃないんですけど、検定試験を受けるについて証明をしてもらってんです。
検定試験・ 免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	○加藤 ああ、修行の。 ○Y そうなんです。 ○加藤 何年間したというような。 ○Y そうです、そうです。
検定試験・ 免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	大正12年が、あれが震災でしたからね。ですから、震災のときは私は31でしたからね。ですから10年、11年。私が証明してもらったのは22のときでしたから
施術者の経験と 状況	インタビュー当時の年齢	○加藤 先生は、歴史では26年、26年とおっしゃいますね。 ○Y そうなんです。生まれなんです。 ○加藤 70、失礼ですが、5 か6 でいらっしゃいますね。 ○Y 70、満でいくと5 なんですがね。
検定試験・ 免許取得の状況	警視庁での検定試験	○加藤 その頃は検定っていうか。 ○Y その頃はね。 ○加藤 警視庁におられたですか。 ○Y そうなんです。
検定試験・ 免許取得の状況	検定試験の回数	警視庁のなんですね。その時分には年に4 回ありましてね、試験がね。それで、12年前だから、ちょうど20歳のときですね。だから、大正に移るときかな。ちょうどそんなんでしたね。
施術者の経験と 状況	3人兄弟の末っ子	それまではね、私、3 人兄弟でしてね、いちばん末でしてね、不幸にして盲人になったのは私だけで。
施術者の経験と 状況	盲人となった時期	○加藤 お小さいときで。 ○Y そうなんです。 ○加藤夫人 おいくつぐらいのときですか。 ○Y そうですね。7 、8 つ時分ですね。
施術者の経験と 状況	1年ほどしか行かなかった小学校	小学校はね、そうですね、1 年かそこらしか行かなかったですね。

施術の方法と 考え	少徒弟制の生活	○加藤夫人 それからずうっとお宅に。 ○Ｙ それからね、ずうっと、親が貧乏してましたけど、両親いたもんですから。それから私が25まで父が生きてましてね、それから母は大震災で死にましてね。
施術者の経験と 状況	しなかった弟子入り	ですから、ずうっと私はよそに、別に年季っていうことは行かなかったわけなんですよ。
施術者の経験と 状況	同愛に入った年齢	○Ｙ それで、同愛のほうにずうっと行ってたわけなんです。 ○加藤 同愛に入られたのは何年ですか。 ○Ｙ 同愛に入ったのは、あれは20歳、同愛に入ったのは19か、19の、確か秋でしたかな。 ○加藤 ああ、そうでございましたか。
講習所・ 学校の状況	同愛に入る時期	あの時分に、その順には、いまと違って春でなくちゃいけないってのは。
講習所・ 学校の状況	入学の時期	でも、途中失明にしても、同愛からでも、いつでも学校へ入りたいからっていうと入れてくれたわけなんですよ。
講習所・ 学校の状況	入学の時期	○加藤夫人 大正の初めでございますか。 ○Ｙ ええ、そうですね。
施術者の経験と 状況	2歳以降住む東京	○加藤夫人 ずうっと東京においでになったんでございますか。 ○Ｙ ええ、ずうっと。そうなんです。 ○加藤夫人 ああ、そうでございますか。 ○Ｙ ええ。もうここへ。私、生まれは千葉県ですけども、ここへ2 つぐらいとときに来ちゃったんですからね。
施術者の経験と 状況	学校に入学した理由	○加藤 同愛の盲学校へお入りになった動機は、ご自分で、何か大変ぶしつけなことをいろいろ伺っているのですけれども。 ○Ｙ いいえ。やっぱり友だちがいましてね、その頃の、やっぱり 同業者や何かのいましてね、同業者の家に年季したり何かしたりしてる人がありましてね、同じなんだから、学校へ僕ら行ってるから、行かないかってわけでしたね、じゃあ学校へ行ってみようっていうことですからね。とにかく 家で遊んでてもしょうがないから、学校へ行ってみようっていうんで、それで行き始めた
講習所・ 学校の状況	浅草に会った学校	○加藤 神田の、じゃない、失礼、浅草の三筋町ですね。 ○Ｙ そうなんです。浅草の三筋町。いまで言いますと。 ○加藤夫人 いまも三筋町ってございますね。 ○Ｙ ええ。
施術者の経験と 状況	都電での通学	○加藤夫人 都電で。 ○Ｙ ええ、そうです。あそこにね、ちょうど吾妻橋、こっちから行きまして渡ると、渡ってすぐ右側なんですよ。
講習所・ 学校の状況	学校の校舎	あそこに、それをこう何だか、うなぎ屋さんだったか何だかあったんですがね。その横丁を曲がってね、真っすぐ、そうですね、約2 丁ぐらい行きますとね、そうすると、左側でね、昔のこってね、屋敷か何かの、小さな屋敷跡みたいな家があったんです。そこを、借り受けてやったんですよ、きっと。
講習所・ 学校の状況	学校の校舎	ですから、2 階は確か8 畳に4 畳半かな。何でも2 階が12畳だけありましてね。下がやっぱり3 間ぐらいありましてね。それで、屋敷だったってそう大したもんじゃないんですけれどもね。前は門がありまして、その門から入って行くと、少し、家にして1 軒かそこらの、前がずうっと空いてましてね。裏も少し空いてましたがね。そういう所でもって、何ですかね、
講習所・ 学校の状況	当時の校長	ちょうどあの時分にオオギミさんっていう人が校長でしてね。オオギミさんがなにして、加藤さんっていう。 ○加藤 はい、加藤梅吉さんです。 ○Ｙ ええ、梅吉さんってね。その人はまだその学校へなにする時分には小石川の師範科か何かにいた中で、在学中だったんですよ。
講習所・ 学校の状況	生徒数の状況	ええ。何でも1 年ばかり、私ども行ってから、1 年ばかり経ってから師範科を卒業して、そして、その時分に生徒があんまりいないもんですからね。 ○加藤 ああ、そう。何名ぐらい。 ○Ｙ そうですね。あの時分でやっと、そう、40名いるか。 ○加藤 それでも40名おりましたか。 ○Ｙ ええ、40名近く はいましたね。
講習所・ 学校の状況	修業年限	○加藤 それは男女、女の方も。 ○Ｙ ええ、一緒なんですね。1 年、2 年、3 年、4 年までかな。 ○加藤 4 年までですか。 ○Ｙ ええ。4 年までありましてね。 ○加藤 年輩からまちまちでございましたか。
同業者・ 仲間に関する こと	さまざまな状況の生徒	そうですね。やっぱりそういう 具合ですから、30になる人もいればね、中にはもう 所帯持って子供のある人もいる。15、16から、そうですね、あれで50ぐらいまでいましたね。
講師・ 教師に関する こと	牧師の先生	○加藤 オオギミ 先生っていうのは何を お教えになったんですか。 ○Ｙ オオギミ 先生はね、別に何って、何か教会の話をしてね。あの人は大体牧師ですからね。
講習所・ 学校の状況	講義内容	ですから、教会の、耶蘇の話ですね。たまには地理みたいな、歴史みたいなことも 話しましたよね。そんなことしてたんでしょう。
講師・ 教師に関する こと	専門の先生	○加藤 そして、いわゆるシンリリョウって、シンエンのほう は加藤先生がお1 人でお持ち。 ○Ｙ ええ、そうです。加藤先生が主任としてね。それで、もう1 人、その時分に先生いましたよ、鈴木先生ってね。やっぱり 浅草に、浅草のフクイ町かな、あの辺にいた人です。
講師・ 教師に関する こと	開業している腺性	○加藤 開業しておられたんですね。 ○Ｙ ええ。開業してたんで。それあの、鈴木先生ってね、その方もほとんど同年輩か、1 年か2 年若かったかな。いま確か鈴木先生っていうのは丈夫かも しませんよ。
同業者・ 仲間に関する こと	先生の年齢	○加藤 Ｙ 先生より1 年か2 年年上ということでございますか。 ○Ｙ ええ、そうです。 ○加藤 ああ、そうでございますか。鈴木何という 先生ですか。 ○Ｙ 鈴木フクゾウって人なんです。元、何しろフクイ町にいた人って言えばわかるだろうと思うんですけどもね。

講習所・学校の状況	学校が移った先での被災	何しろ古いから。もう何ですもの、その学校が焼けてから、そうですね。 ○加藤 一度本郷に移って、それからまた戻って来られたんですか。 ○Ｙ 本郷のね、キンスケ町で焼けたんです。その三筋町から本郷へ行って、そして、本郷でもって大震災に遭ったわけですからね。
講習所・学校の状況	中野に移った学校	○加藤 それから中野へ移る。 ○Ｙ それから中野へ行って。 ○加藤 今度の戦災には遭いませんでしたか。 ○Ｙ そうね。私、キンスケ町で焼けてからもう、そこには行かなかったです
講師・教師に関するこ と	交流のあった先生	加藤先生ってのはつい、去年かね、一昨年かな、一昨年亡くなるまでときどき 会ってましたけど。
講師・教師に関するこ と	学校をやめた先生	でも、その加藤先生はもう本郷で、じゃない、キンスケ町で焼けてからもう学 校は出ないんですよ。
施術者の経験と状況	2・3回通ったキンスケ 町	○加藤 Ｙ先生はキンスケ町のほうにはお通いになりましたか。 ○Ｙ キンスケ町に。そうですね。本当の少しですね。 ○加藤 ああ、そうでございますか。 ○Ｙ 2、3回も行ったかな。
講習所・学校の状況	4年通った同愛	○加藤 同愛のほうは4年間通われたわけなんですか。 ○Ｙ そうです。4年行ったんです。 ○加藤 それで、当時の免許ですと、4年ですと、鍼灸、あんまで2年、履歴 のほうはそれでもよろしゅうございますけれども。 ○Ｙ そうなんです。
検定試験・免許取得の 状況	2年で受けた鍼	○加藤 池田先生の履歴の。 ○Ｙ 池田先生のね。 ○加藤 更にいただいたっていうのはどういうわけでございますか。 ○Ｙ それはね、いちばん始まり、あんまのほうをね、なにをするときに2年な んでしてね。それで、そのときに一緒に、やっぱりね、鍼灸のほうも受け
検定試験・免許取得の 状況	検定試験の合格	それで、みんな受かったもんですからね。
学習・教材に関するこ と	点字の学習	ええ、やっぱり、ほら。それに、点字を習いましてね。 ○加藤 それは同愛で習われたんですか。 ○Ｙ そうです。
学習・教材に関するこ と	自分で進めた勉強	○加藤 そうすると、学校よりも、どんどんご自分でお勉強なさったんです ね。 ○Ｙ ええ。多くね。やっぱり何ですわ、その時分に友だちに本をなにしたり
施術者の経験と状況	合格後の友人からの試 適	ですから、よく友だちにも言われて。君はもう試験は受かってんだからいい じゃないかなんてよく言われましたけどもね。
検定試験・免許取得の 状況	試験を受けるために 通った学校	○加藤夫人 お友だちは、ほとんどの方は試験を受けるために学校へいらして たわけなんですか。 ○Ｙ そうです。試験を受けるためにね。やっぱり。そう、私ども出たときも もう10人ばかり一緒に出ましたかね。
講師・教師に関するこ と	学校の講師	○加藤 熊谷先生はその前ですか。 ○Ｙ そうですね。加藤さんの前ですね。 ○加藤 前の時代でございますか。 ○Ｙ ええ。 ○加藤 そうすると、ニイツ先生なんていうのはずうっと後になるんですね。 ○Ｙ そうですね。 ○加藤 山下先生。 ○Ｙ もう加藤さんが辞めてから、ほとんど私どももう。 ○加藤 ご存じないですか。
同業者・仲間に関する こと	いなくなった同級生	そういう具合でね。それで、その時分の同級生の人たちなんて、いまほとんど いないですよ。 ○加藤 いらっしゃいませんか。 ○Ｙ ええ。東京には、そうね、つい去年か、一緒に古いの、私らも知ってた んだけど、亡くなりましてね。
講師・教師に関するこ と	元気である先生	○加藤 熊谷先生っていうのはまだお元気でいらっしゃいますけれども。 ○Ｙ そうですね。 ○加藤 ちょっとお会いしまして。
同業者・仲間に関する こと	先生の所在	○加藤 いまは牧師さんの養老院って申しますか、そういうのが青梅のほうに ございます。 ○Ｙ ああ、そうですか。 ○加藤 奥様とご一緒にそこにお住まいでいらっしゃいます。
講習所・学校の状況	自宅からの通学	○加藤夫人 先生は、そうしますと、同愛にはご両親のお宅から通ってるわけ なんです。 ○Ｙ そういうわけなんです。 ○加藤夫人 お友だちはもうほとんど自宅から通われたお方はいられたんです か。
講習所・学校の状況	師匠のところから通う 生徒	○加藤夫人 それで、お師匠さんのもともとから通われたって方もいらっしゃいま すね。
流しの状況	流しの経験	○加藤 先生なんか、流しなんてご経験はございませんのですね。 ○Ｙ ええ。流しもやってみたことがありますよ。
流しの状況	興味本位での流し	○加藤夫人 それで、お友だちがなさるので。 ○Ｙ ええ、そうです。その理由、何がほら、年が若いからね、おもしろ半分
流しの状況	退屈しのぎでの流し	ちっとあっちこっち歩いてみねえか、運動になるからと言われましてね。それ で、ときどきこうやってみたりね。でも、親の家にいるもんですからね。です から、呑気に、雨が降ったっちゃ休んでね、風が吹いちゃ休み、本当の退屈し のぎでね、ちっとばかりやってみましたけどね。
学習・教材に関するこ と	苦学生の状況	○加藤夫人 お友だちはそれで、その苦学してらした方もございましたんです か。 ○Ｙ そうです。家にもね、苦学生はあれでも、そう、5、6人いましたよ。 加藤さんに頼まれてね、加藤先生に頼まれて、寄宿舍みたいなもんやってみな いかなんて、初め言われまして。そんな大げさなことやったってなんだってす るから、じゃあ、呼んで、いけないのを2人でも3人でも面倒見ましようよ、
学習・教材に関するこ と	苦学生の状況	○加藤 昔学生はお宅にいる間、昼間は、じゃなくて、学校から帰ってからは 働く。

社会情勢に関すること	当時の寄宿量	○Ｙ 夜でさあね。屋間はほとんど。屋間はあの時分に、帰りが大抵、そう、12時までって言うんですけどもね、大抵2時でしたね。2時から帰って来て、屋間1人でも2人でもありゃあなんすけども、ないと、ほとんど夜だけですから。その時分には、また、寄宿料だって安いしね。あの時分で月に3円ぐらいに10銭あったぐらいでね。でも、何ですよ、少し一生懸命にやる者は月にでも6、7円や8、9円とれるんですよ。
流しの状況	流しの稼ぎ	○加藤 ああ、そうでしたか。そしたら食費なんか十分浮きますわね。
流しの状況	流しの稼ぎ	○Ｙ そうです。カミシモ、その時分で、そうですね、やり始めが8銭ぐらい
施術の方法と 考え	患者の要望	○加藤 ああ、そうでしたか。そしたら食費なんか十分浮きますわね。 ○Ｙ そうです。カミシモ、その時分で、そうですね、やり始めが8銭ぐらいです。8銭ぐらいって言えばいいほうですよ。 ○加藤 ああ、そうございますか。 ○Ｙ で、お客によって10銭だけ揉んでくれればね。いくらだけ揉んでくれないて言いますからね。ですから、どうやら月に3円や2円払っていかれるわけですからね。
講習所・ 学校の状況	生徒や先生の勧誘	○加藤 同愛にいられた頃、この前ちょっとお電話で伺ったんですが、先生方と生徒の勧誘にもちょっと行ったんですけど、どんなことをなさる、どういうことだけ、どういうことを。 ○Ｙ そうですね。加藤さん、そういうことが大体好きなんですね。 ○加藤 ああ、なるほど。
講習所・ 学校の状況	生徒勧誘の状況	それで、どうだろう、今日少し、そば屋に教えに行くから一緒に行かないかなんて言われてね。その商売仲間から大体辿っていくんですからね。例えば林君なら林君の近所へ行って、弟子でもいるような所へ、そして、どうだろう、お宅様の弟子を学校へ出さないかしら、もうこれからはとにかく学校制度になるんだからって。いろいろ話して、そして、納得のいくようにね。やっぱり主人と本人と、よく納得させなければ出ませんからね。大抵の人は自分とこの城
講習所・ 学校の状況	1度で納得する人はいない	でも、これからもうどうしたって盲入っていうものは学校っていうものをどうしたってやらなきゃならないんだから。そう言って、いろいろ納得させてですね、そして、お教えて、そして、1回や2回でなかなか出さないんですよ。
社会情勢に関すること	各町の組合からの情報提供	ええ、そうですね。いろいろ、この町の、町っていうのはなんですけど、支部の組合がその時分からあったんですよ。例えば深川なら深川とかね、本所なら本所とか、みんなその組合がありましてね、その組合から訪ねていきますとね。そうすると、同じ業者ですからね、ある程度までは教えてくれますからね。あそこの家は弟子は何人いるとか、男と女と何人いるとかね、学校へでも出るようなのがいるとかね、そう言って辿って行くわけですからね。
社会情勢に関すること	貧困の盲人	ええ。なかなかこれで、一緒にやると、それが何故かっていうと、どっちかっていうと、盲人になるくらいの者はもう、それは貧困の家が多いんですよ。
社会情勢に関すること	学校に通えない盲人	家庭がね、貧しい者がね。ですから、その時分はよく、人によると、食いぶちぐらい送らなくちゃ困るとかね。でも、親が送れるのはいいけど、送れないのが多いんですよ。
実技の稽古	近所の人で練習	だから、送れない者はしょうがないから、何ですよ、また1年でも半年でもいくらか、近所の者でも揉ましてもらって、そして、腕をならして、そして、おいおいいくらずつでも取らして、そして、1年なり2年なりその腕ができるまでね。そういうふうにもするよかししょうがないからね。
歩合制	お金を取れるようになると歩合制	それで、今度は、じゃ、まず月にどのくらい取ると、取れるようになると、そこでもって歩合を払うわけなんです。1人についていくらとか。例えば8銭取れば、そのうちの3銭をやるとかね、何割やるとかっていう具合にして、そうしてやるよか方法はないもんですからね。事実、親がどうしても送れないのは、そうでもしてやるよか方法はないと思ってね。そして、私どもポツポツ、
講習所・ 学校の状況	同愛での宗教教育	そうですね。聖書、賛美歌とかね、なにだとか、ときどきね、なにせ加藤さんがなにをして、そして、名古屋でもって、大体あの人はキリスト教、耶穌から学校へ避難して、そして、小石川の東盲へ入ったのもなにでも、そのなにで入ったらしいですね、教会の関係でね。
講習所・ 学校の状況	同愛での宗教教育	それですから、ときどき賛美歌なんてやらせましたけどね。
講習所・ 学校の状況	同愛での宗教教育	○加藤夫人 生徒さんは、それで感化される方はございますか。 ○Ｙ そうですね。でも、学校行ってるうちはね、じゃあ、賛美歌でも何でも、やるっていうとやりましたけども。でも、それから耶穌のほうへそういうふう凝って、あと、どうっていうこともなさそうですね。
検定試験・ 免許取得の状況	口頭での試験	○加藤 当時試験を1年ぐらいでお受けになったそうですね、あれは点字で、試験問題は点字でございますか。警視庁の。 ○Ｙ 私どもなににした時分ですか。 ○加藤 はい、免許を取るの。 ○Ｙ 口答ですよ。
検定試験・ 免許取得の状況	口頭での試験	○加藤 口答ですか。 ○Ｙ ええ。あの時分には、そう、みんな口答でしたね。 ○加藤 鍼灸もみんなそうなんですか。 ○Ｙ そうなんです。
検定試験・ 免許取得の状況	口頭での試験	○加藤 答は口答。 ○Ｙ ええ、口答でね。 ○加藤 口答試問ですね、要するに。 ○Ｙ ええ。口答試問で、それで、何です、あくまでもこっちが答えるのにも、みんな受験者ですね、受験者が答えるのにもみんな口答なんです。
検定試験・ 免許取得の状況	筆記での資格試験	え。筆記になったのはこれ、何でしょう、つい戦後でしょう。
学習・ 教材に関すること	試験対策	○加藤 先生は、試験の学理の生理、解剖なんていうのは、試験問題か何かを。 ○Ｙ ええ。みんな試験問題をやりまして、それで、やっぱり学校で教科書がありますからね。教科書でみんな、何です、読んで、そして、また先生の講義
学習・ 教材に関すること	当時の教材	自分でいろいろ試験問題もあっちこっち買い集めまして、方々の試験答案集ってやつですね、そういう本があるんですよ。 ○加藤 それ墨字で出とったんですか。 ○Ｙ 点字でね、ありましたよ。

学習・教材に関すること	教材の取得	○加藤夫人 どこで作られたんですか。 ○Ｙ それはね、いまでもやってる所は、その時分には、みんな教科書はトウゴウで買うんですよ。トウゴウでなにしてね。 ○加藤夫人 大向いで。 ○Ｙ 大向いですね。それで、墨字のをまた写したりね、また、やってるんですよ。
学習・教材に関すること	過去問の収集と出版	○Ｙ 大向いですね。それで、墨字のをまた写したりね、また、やってるんですよ。 ○加藤 ああ、読んでもらって。 ○Ｙ 読んでね。そして、そういうのをやったり、それから方々の地方のね。例えば千葉県は今度はどういう試験があったとか、こういう試験の問題があった
学習・教材に関すること	教材の取得	河越さんってよく言いますかね。あの河越、あそこはまたそういうもののばっかり売ってるんですよ。 ○加藤 ああ、そうでございますか。 ○Ｙ あそこでもってよく買いましたがね。
学習・教材に関すること	教材の取得	○加藤 その河越屋さんってのは、場所はどこに。 ○Ｙ ええっと。 ○加藤夫人 神田のどこかですね。 ○Ｙ 河越ね。ちょっと。 ○加藤夫人 春日町でございますか。 ○Ｙ いや。春日町じゃない。あれはね、ついあれに出てたけども。河越、ち
同業者・仲間に関すること	盲人会の会長	そこにね、同業者で、私どももね。私よかずうっと若いんですね、加瀬って人がいるんですよ。これがいま盲人会のほうの会長をやってるんです。
社会情勢に関すること	会長なら知る支部のこと	その人が、いまの支部のことだの何だのよく知ってますからね。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○Ｙ それ河越屋さんなんて知ってますからね。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○Ｙ 私も聞いてたんだけども、どうも。何しろいまとまるで違いますね。
検定試験・免許取得の状況	検定試験の内容	その時分はもうみんな、私どももジョウクもほとんど、何ていうか、……に遅れたっていうか、捨てられたもんかわからないけど、まあまあ、まるで違いますよね。その代わりには物も安いし、それからずっと呑気でしたよね。そんなに難しくされませんでしたよね。
実技の稽古	実技の練習	○加藤 実技のほうはやはり学校でお習いになるんでございますか。 ○Ｙ 実技のほうはね、私ども、そういう具合にして、学校へ行きながら、また近所の人を初め揉んで、鍼にしても何にしても、私はね、こういうふうにしてやってたんですよ。
実技の稽古	近所の人で鍼の練習	日曜、休んだときにね。学校休んだときに近所の年寄り集めてね、お茶でも入れてやってね、それで、お婆さん、腰が痛けりゃ鍼してやるよとかね、それが始まりなんです。
実技の稽古	近所の人で練習	大抵私はそうしてやってました。そうすると、中には洗剤でも買ってきたりね。何しろ金は取らないからね。御足なんていらないよ、お婆さん、そう言ってね。そうしてやってたんですよ。そのほうが割合に研究ができるんですよ。
施術の方法と 考え	施術から 学んだこと	○加藤 それで実地を積まれたわけですね。 ○Ｙ そうなんです。長年灸を教えてくれる者ね、灸のツボを教えてくれる者ね、いろいろありますわね。
同業者・仲間に関すること	鍼の手技	○Ｙ また、その人たちがまたよそ行って鍼をしてくるのはね、どんなだったかわかるんでね。 ○加藤 ああ、それでまたよそに習うわけですか。 ○Ｙ そういったような具合にしてやってましたけどね。 ○加藤夫人 それで、いちばん技術は身につくわけなんでございますね。
学習・教材に関すること	実技の練習	そうなんです。生徒同士でやったってね、やはり痛いだのどうだのってね、みんなふざけててやらないんですよ。
講習所・学校の状況	学校での実技指導	そうですね。ときどき、1週に鍼灸の実習が、1週に2回ぐらいあるにはあるんですよ。そのときに先生を打ってみたり、先生の腰も打ってみたり、それやるんですよ。だって、そのときだってほら、先生だって大勢がなにするとね。何しろ10人にも打たれるもんですからね、もういいよいいよって、勘弁なんて
講師・教師に関すること	学校の講師	そうなんです。加藤先生と鈴木さんのほうとね、両方でもって交代でやりま
検定試験・免許取得の状況	検定試験を受けるための証明	○加藤夫人 そういう技術の面から言いますと、その池田さんとおっしゃる方には実技をやっていただいたっていうわけではございませんですね。 ○Ｙ ええ。その人にも多少はやりましたけどもね。もう、ほら、学校行ったりそっちになにしたりすると、そう両方はできないしね。
同業者・仲間に関すること	同業の先輩から 習う 実技	○加藤夫人 いちばん技術を教わったのはどなたなんでございますか。 ○Ｙ いちばん、始まりってのは、何ですね、学校へ行く前に試験を受けるくらいですから、やっぱりその、割にね、ここいらに同業者が多いんですよ、開業してる人たちが。私どもがちょうど、そうですね、学校へ行ったり試験受ける時分にはもう相当開業してる者がありましたからね。ですからそこへ行って、こちら学校行ってるくらいだから……見られて……ね。お教わろうと思って、そして、先生、すまないけど、こうだとかああだとかね、行くんですよ。そうすると、君、こういうふうにして、学校じゃどうやるのなんて言ってみた
同業者・仲間に関すること	同業の先輩から 習う 実技	ですから、じゃ、こういうふうにして、いや、こうやったほうがいいよとかね、そういったような具合にしてやってたわけなんですよ。
師匠の経験と 状況	証明量を 払っての試験 受験	○加藤 ちょっと立ち入ったことで、ぶしつけで恐縮なんですけど。先生に履歴の証明を書いてもらうなんてのは、当時はやはりいくらかお礼をなされたものでございますよね。 ○Ｙ そうですね。その時分ですから、別に金銭でいくらっていうなにじゃなしにね、お酒の好きな人の酒でも買ってってね。
徒弟制の内容と 状況	年季の期間	○加藤 その頃、年季といいますと、普通何年ぐらいでございましたですか。 ○Ｙ そうですね。大抵12、13から検査ぐらいの程度ですわね。7年、早くて5、6年ですね。途中で何かなんする人もあるしね、親が亡くなったとか、いや、仕事はやらなくちゃいけないと言えば、そこで1年や2年ないですね、家がね。早く年季が明けるようにしてあげたり、いろいろやってましたけどね。
徒弟制の内容と 状況	弟子入り する際の契約	○加藤 それからお弟子さんに入るときに、何か契約書みたいなものを交わしたように。 ○Ｙ よく言いますわね、証文とか何とかね。本当の形式にね、親が保証人になってましたね。

徒弟制の内容と状況	弟子入りする際の契約	親がない者は兄弟でも何でも、身寄りの者になって、そして、入れるっていうようなことでやってましたね。
徒弟制の内容と状況	契約書の内容	○加藤 どういうふうなことを、ちょっとまた立ち入りますけど、書きますんですか。どういうこと。 ○Ｙ そうですね。途中において、何か自分でもって、わがままな結果なんですからね。自分が年の途中においてなんするときには、保証してる者がどういうことにするかっていう、そんな程度ですわね。
徒弟制の内容と状況	存在しない契約書	そんな、別にやかましいことを。それで、私どもは多くなんしましたけど、本当の証文を取ったってのはほとんどないんですよ。
徒弟制の内容と状況	ここで異なる契約方法	ええ、大抵は口約束だよね。 ○加藤 かなり業者によっても、また違うんでございましょうね。人によっても。 ○Ｙ ええ。人によつてね、まったくそれをばかに頑なにしてね。それで、途中でいやんになって、本人がなんしたときには非常にやかましく言ったりする人
徒弟制の内容と状況	授業料としての食い扶持	○Ｙ 家女性 あとは食費としてしている人もいますしね。 ○加藤夫人 ああ、食費ね。 ○Ｙ 食費もとって、そして、月いくらって、そういつてね、さして、向こうでいられるうちはね。
同業者・仲間に関する こと	前借する弟子	○加藤夫人 人によつては、やっぱりお師匠さんに入門しますときに前借する ような例をお聞きになったことございますか。 ○Ｙ そうですね。 ○加藤夫人 お家が困っててとか。 ○Ｙ そんなのも中にはあるようですがね。 ○加藤夫人 個々の例でございます。 ○Ｙ ええ、みんなやっぱり、その人、その家によって。 ○加藤夫人 ええ、そうですね。
あはき以外での生活の 糧に関すること	芸能で生きる盲人	○加藤 いまから考えてごらんになって、当時、鍼屋以外に、例えば盲人、目の 見えない方、どういう、何か他に変わったお仕事をしておられた、お覚えご ざいますでしょうか、この辺で。 ○Ｙ そうですね。 ○加藤 やはり鍼、灸、あんまでなく。 ○Ｙ まあ、なにですね。多く、私どもが生きてる中では、1 人2 人芸人にな ってなって、それも早く、年の若いうちに死にましたけどもね。
あはき以外での生活の 糧に関すること	芸能で生きる盲人	途中で、生きてて浪花節になりたいなんて言つててね。でも、ミナト屋つてい うコリュウアンの弟子になってなってね、そして、ミナト屋コイチロウとなっ て、20、あれは24のときだか亡くなりましたけどね。
あはき以外での生活の 糧に関すること	芸能で生きる盲人	器用でしてね。うち来た、20人も、30人来てますけども、そんなの1 人でした ね。
同業者・仲間に関する こと	進路変更した弟子	○加藤 こちらで修行で住み込まれて、それから場所を替えられたわけです か。 ○Ｙ そうなんです。うちに3 年いてね、それで、途中でね、浪花節になりた いからって、ああ、それじゃ、お前はやれと。何しろ風呂銭をやると、風呂代
社会情勢に関すること	当時の風呂大	○Ｙ で、昔のことだから、風呂銭だって20銭かそこらやなんでしょう。 ○加藤夫人 それ大正の末期でございますね、そうしますと。 ○Ｙ ええ。 ○加藤夫人 震災の後でございますか。大震災の後になりますか。 ○Ｙ 震災前にですね。
あはき以外での生活の 糧に関すること	芸能で生きる盲人	○加藤 流しに出ますか。 ○Ｙ 家女性 出るとね。そこじゃね、浪花節のレコードなんてかかっていると、 そこへ立って聞いてしょうがないんです。 ○Ｙ それぐらい好きだったんです。 ○加藤夫人 また、お上手だったんでしょうか。 ○Ｙ それ言っちゃうと上手ですね。もうレコードなんてね、2、3 回聞くと、 もうそれで覚えちゃうんです。 ○加藤夫人 ああ、やっぱり好きですね。 ○Ｙ ええ、やっぱり好きなくらいだからね。
徒弟制の内容と状況	弟子に頼まれた家族の 説得	○Ｙ 家女性 兄弟や親がね、それ芸人にしたくなくてね、なんですけれども、 先生、どうかおっかさんや兄さんにね、先生から頼んでくれればさしてくれる かもしれないって言つてね、親へ頼みに行つて、そして、浪花節つて。 ○加藤 ああ、そうですか。 ○Ｙ そんなもんですね、うちにいた中ではね。でもあと、他に友だちとし ちゃ、いまだやってんのあるけども、そりゃあ何でした、いまだっか、吾妻町 のほうにいますけどもね。 ○加藤夫人 先生のお宅で、ここから。 ○Ｙ うちから出たのはいまその、浪花節になった、それっきりですね。
同業者・仲間に関する こと	順調に巣立った弟子	○加藤夫人 あとの方は順調に巣立ってらしたわけなんでしょうか。 ○Ｙ ええ。あとは大抵、みんなもう検査までいたりね、中にはまた親が早く 死んでね、そして、2 年かそこら、18かな、そのときに、12から来たんです けどもね。目を開けさせてくれるなんていうので、それじゃあ、そうしなつ と、そう言つて目を開けさせたらね。そういうのもありますし。
講習所・学校の状況	学校には通わなかった 弟子	○加藤夫人 盲学校に通わないで、先生のお宅だけで技術を覚えたつていう方 はいらっしゃいませんか。 ○Ｙ ええ、そういうのもいます。
同業者・仲間に関する こと	自分の意思で学校に行 かなかった弟子	○Ｙ 検定試験で。何しろ私どもに、4 年なら4 年の証明を出せば、それで試 験を受けられるんですからね。 ○加藤夫人 試験を受ければ。そういう学理は、先生に教われるからなんでご ざいますね。
師匠の教え	師匠からの指導	○Ｙ そうです。みんなやっぱりその時分に本をなにしましてね、そしても う、何です、暗記させるんですよ。昔はそうだったんですよ。 ○加藤 じゃあ、お暇を見てはＹ先生が教えられるわけなんでございますね。
師匠の教え	弟子への点字指導	○Ｙ ええ、そうなんです。午前中なら午前中にね、1 時間でも2 時間でも教 科書を見て、そしてまた、本人にもみんな点字を覚えさせましてね。そして、 みんな本をあてがいがましてね、それで講義をしたり。もう随分、ほら、点字の なになが進んでますからね。

学習・教材に関するこ と	当時の教材	○加藤夫人 それは奥村先生の本なんでしょう か。 ○Ｙ そうです。奥村さんがね。奥村さんが、あれは何だ、「 鍼按要論」って いうのがね、確かね。
学習・教材に関するこ	当時の教材	ええ。みんなあれですよ。あれはまた点字でよく 出てますからね。
講習所・学校の状況	同愛の授業料	○加藤 ちょっと、同愛のほうだけちょっとお聞きするの忘れまして。授業 料っていうのは取りましたんでしょう か、月謝は。 ○Ｙ あの時分、授業料はなかったな。
講習所・学校の状況	存在しない寄宿舍	○加藤夫人 みんな無料で。 ○Ｙ そうなんですよ。あの時分にはただ、そう だ、授業料はなかったんだ な。 ○加藤夫人 寄宿舍ももちろんございまして、先生のお宅みたいな所に、そ こからはお願いされるわけですね。
講習所・学校の状況	寄付での運営	○加藤 経営なんかは寄付金でやってたわけなんでしょう か。 ○Ｙ そうですね。寄付金で、何でしょう、オオギミさんが何でもあの時分に 骨を折ってたようでしたね。
講習所・学校の状況	分からない運営の詳細	○加藤 レイマンですか。リー・レイマンとか何とかいう 宣教師のミフ教会で しょう か。お聞きになったことはございせんか。 ○Ｙ そうですね。教会のほうのことはつい、あまりね。 ○加藤 そうでございますか。 ○Ｙ ええ。よく知らないんですよ。やっぱり 年が、その時分には若いもんだ からね。あまり向こうでも深いことを話もしないし。ただ、先輩の者に、その 時分の4 年生ぐらいの者に話をちょいと聞きかじるぐらいのもんでね。
学習・教材に関するこ と	算盤を用いた学習	○Ｙ 何しろその時代が呑気でしたからね。 ○加藤夫人 ああ、そうですね。 ○加藤 1、2 年の頃、まず入っては普通学科という、国語とかそういうもの はおやりにならなかったんですか。 ○Ｙ いえ、やりましたよ。 ○加藤 何か国語の教科書を使ってですか。 ○Ｙ ええ、普通科っていいましてね。 ○加藤 普通科があったわけですか。 ○Ｙ ええ。地理、歴史、それから国語、あの時分に数学っていいですかね。 ○加藤 算盤をお使いになりましたか。 ○Ｙ ええ。算盤はやりましたよ。はい。 ○加藤 そうですか。 ○Ｙ 盲人の算盤ってのは、つい私どもは使わなかったけどもね。
学習・教材に関するこ と	算盤を用いた学習	○Ｙ 普通の算盤でもってやったほう がいいなってね、それで。 ○加藤夫人 普通の算盤を大きくもしないで、普通のまんまで。 ○Ｙ そう。 ○Ｙ 家女性 そんな大きいものなんてないがね。 ○Ｙ 大きな、昔のね。 ○加藤夫人 ああ、昔の、下にある、あるんですね。 ○Ｙ 随分大きなのがありましたね。
学習・教材に関するこ と	苦手だった数学	○Ｙ 家女性 焼けるまであったんです。 ○Ｙ ああいうのね、なんしてね、これでやってみろなんてね、みんなやらせ ましたよ。けど、私どもはあんまり、ああいうの嫌いでしてね。なあに、鍼、 あんまを覚えてれば、そんなに、何も普通科なんてね。地理だの歴史だの、少 しはなにしましたけど、数学なんてあまりやりませんでしたね。暗算をさせたり、 いろんなことをやらせましたっけ。
講習所・学校の状況	鍼とあん摩で区別のな いカリキュラム	○加藤 鍼按科と普通科と、学年で区別はないわけですね。 ○Ｙ そうです。 ○加藤 鍼按科の中でときどき普通の教科が入るわけなんでしょう。 ○Ｙ ええ。ただ、時間でもってね、何が地理の時間だとか、普通科が何時間 だとか、それはやってたんですけどもね。
講習所・学校の状況	学校での勉強	○Ｙ だけど、大抵ハナの時間に、1 時間かそこいらですね、やるのは、普通 科はね。あとはみんな技術のほうばかり。 ○加藤 ああ、そうでございますか。
講習所・学校の状況	修業年限	○加藤夫人 技術科は4 年でございますか。 ○Ｙ そうです。4 年です、あの時分にね。
同業者・仲間に関する こと	同級生にはいなかった 苦学生	○Ｙ そうなんです。 ○加藤夫人 それでは同級生の方は別に、そんなに苦学生という ほどの方もい らっしゃらなかったんでしょう か。 ○Ｙ そうですね。
同業者・仲間に関する こと	さまざまな状況の生徒	○Ｙ そうですね。あれで、30～40人来てる中で、苦学生ってのはやっと10人 もいましたかね。 ○加藤夫人 さようでございますか。 ○Ｙ ええ。あとは、やっぱり師匠をとってる者だからね、年季してる者だ の、それから、また、中には自分の家から、親からね、通ってる者だの。
講習所・学校の状況	師匠のところから通う 生徒	○加藤 師匠の所の、住み込んでる方はかなりいらしたわけですね。 ○Ｙ そうですね。住み込んだ者はあれでも、3 分の1 ぐらいいたかな。 ○加藤 ああ、そうでございますか。 ○Ｙ ええ。何しろみんなで、あれで60人にはならなかったですもの。やっと 40～50になったかな。そんなものでしたろ。
施術者の経験と 状況	地域での開業者数	○加藤 この辺はいっぱい、鍼按が盛ん、昔から利用者また多いっていうか。 ○Ｙ ええ。ごくね、昔は。そう、私らも始め立てのころには、そうですね、 これがこういうふうになってたんですよ。警察の、何でね、管轄が、こっち は、ここいらは何です、ちょうど4 つの警察に、三ノ橋警察っていいまして ね、いまで両国署ですね。両国と、それから厩橋警察ってのがある。それから 太平警察ってね、向島と、4 つの警察になってたんです。そのうちで、全体で いまじゃそれがまるつきりね、何ですか、空襲をね、みんな田舎へ行きっぱなし だし、それから、それっきり死んだ者も。 ○加藤 いまはずっと少のうございますね。 ○Ｙ ええ、いまずっと少ないですよ。
同業者・仲間に関する こと	今は少なくなった同業 者	

同業者・仲間に関する こと	周囲にも 多く あった同 業者	○Ｙ はい。何しろ、ここいらにでもちよいとすぐ、10軒ぐらいありましたからね。この石原だけでも10軒や8 軒あったんです。 ○加藤夫人 すると、開業なすったのは大正中でございますね。 ○Ｙ ええ、そうです。
施術者としての独立に 関すること	開業の時期	○加藤夫人 同愛を出られてから。 ○Ｙ そうです、そうです。
施術者としての独立に 関すること	開業のルール	○加藤夫人 その頃ですと、まだお師匠さんに弟子入りされてた方は8 丁以内に店を張ってはいけないとか、そういうことがございましたんですね。 ○Ｙ そういうことはなかったですね。 ○加藤夫人 先生の場合は同愛で、そういうこと関係がなかったからってわけでもございませんですか。 ○Ｙ ええ。 ○加藤夫人 ご自由に選んで。 ○Ｙ そうなんですよ。その時分にはね、例えばすぐ前でしても、何故こうしたかっていうわけにもいかず、やっぱり。そしてほら、開業する者がみんな、何かそこに関係のある者が業者のね、いや、そこに弟子をしてたとかね、そういう関係で、何故、お前そこへ出たってことは言えなくてね。じゃあ、どうかすると、まるっきり区外のほうから来たのがね、あんなとこでやらなくてもよさそうなもんだなんていってね、よく言うこともありますけど、近所の者がやったのはまさか隣や前や、そんなことないですね。
施術者としての独立に 関すること	開業のルール	○加藤夫人 お師匠さんに弟子入りされた方が1 人いらっしゃるときには割に、暗黙のうちにそういうことがあったらしいですね。 ○Ｙ ええ、よくね、1 丁以内になにしちゃ困るとかね。 ○加藤夫人 先生の周りにいちゃあ。 ○Ｙ そうです。そんなことよくね。
社会情勢に関する こと	戦災と 震災	○加藤 この辺は震災と戦災と両方ありましたんですか。 ○Ｙ そうなんです。 ○加藤 すっかり町の様子が変わったわけでございますか。 ○Ｙ ええ、もうすっかり変わりましたね。
学習・教材に関する こと	点字の学習	○加藤夫人 先生、点字を初めて教わったのは、どなたから教わったんでございますか。 ○Ｙ 私ね、やっぱり友だちがいましてね。その友だちは先に点字を知ってたもんですからね。 ○加藤夫人 その方は。 ○Ｙ それがやっぱり同愛、ごく行き始まりでしてね。それで、あとは同愛の先生にね、ちよいと名刺書いてもらってね。それで、これは5 音を覚えりゃ大抵わかるんですね。それで、自分でいろいろ工夫してな。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。
学習・教材に関する こと	点字の学習	ですから、点字つてもものも3 月かそこらでわかりましたね。
社会情勢に関する こと	各地での聞き 歩き	○加藤 いろいろ古い方、数少ないですが、お尋ねして、回って歩いとります。 ○Ｙ ああ、そうですか。 ○加藤 ときどきは地方にも。 ○Ｙ ああ、そうですか。 ○加藤 こないだですけど。 ○加藤夫人 伊豆のほうまでありましたね。 ○加藤 三島の大場という所に。 ○加藤夫人 古い方がいらっしゃいましてね。 ○加藤 そういう方になっちゃいます。 ○加藤夫人 その方は小児鍼が得意だっておっしゃっていました。 ○Ｙ ああ、そうですか。 ○加藤 近くまた岡山とか宮城県のほうにもちよっと行ってみようかと。
同業者・仲間に関する こと	芸が好きな先生	○加藤 それから林先生に伺ったんですが、村越先生でございますか、新内を。 ○Ｙ ええ。その人がね、やっぱり芸が好きでしてね。でも、商売はやっぱりこの鍼灸業者ですけれどもね。 ○加藤 ああ、そうなんでございますか。
同業者・仲間に関する こと	名を知る人	○加藤 私は鍼灸のほうも、やっぱりいろいろな方から伺ってるんですが、その音曲のほうの方は全然、会ったことがないもんですから、村越先生に一度お会いしてみたいと思って。 ○Ｙ ああ、なるほどね。 ○加藤夫人 お宅は結構お近く なんでございましょうか。 ○Ｙ そうです。 ○加藤夫人 押上とか伺いましたけども。 ○Ｙ ええ。 ○加藤 どうも、押上っていうと、京成電車の押上でございますか。上野からですか。 ○Ｙ いや。こっちのね。 ○Ｙ 家女性 あの方面じゃないんですけどね。京成電車の位置は知ってますかしら。 ○加藤 京成の押上っていうのは上野。 ○Ｙ 家女性 からですね。 ○加藤 ここから行くと、都電か何かに乗れますんですか。 ○Ｙ 家女性 ええ。

同業者・仲間に関する こと	先生の所在	○Ｙ 家女性 ここから行きますと、この電車トンネルの、東京駅から来るバスがあるんですよ。 ○加藤夫人 ああ、そうでございますか。 ○Ｙ 家女性 ええ、そのバスに乗って来ますとね。 ○加藤 東京駅からの。 ○加藤夫人 東京駅からのバスですね。 ○加藤 何行きでございましょうか。 ○Ｙ 家女性 それはね、平井に行くんです。 ○加藤夫人 平井行きの。 ○Ｙ 家女性 ええ。それに乗りましてね。 ○Ｙ 山口ガーデンの前でね。 ○Ｙ 家女性 地名が変わったんだけどね。 ○Ｙ だけど、あそこへ行けばすぐわかるよ。 ○Ｙ 家女性 押上の駅から２つ目です。
徒弟制の内容と状況	師匠への入門	○Ｙ やっぱしその人は好きでしてね、何だろう、13、14からでしょう。 ○加藤 じゃあ鍼灸のほうも。 ○Ｙ ええ。鍼灸のほうもやっぱり師匠にね。年季かな、あの人は。年季か何かした。 ○Ｙ 家女性 ええ、芸のほうは達者です。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。
同業者・仲間に関する こと	三味線が上手な先生	○Ｙ ええ、三味線が上手でね。 ○加藤夫人 珍しい方でおられますね。 ○Ｙ 三味線でも 琴でも何でもやりましたね。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。 ○Ｙ ええ、なかなか芸人ですよ。 ○加藤夫人 ああ、そうですか。
同業者・仲間に関する こと	開業する芸の得意な先生	○Ｙ だけど、芸一本で食べてるわけでもないですね。 ○加藤 いま、それじゃあ、開業なさっていらっしゃるんですか。 ○Ｙ そうです。開業して、息子もいるしね。 ○加藤 それじゃ、お忙しくていらっしゃるんですか。 ○加藤夫人 これからお伺いして、今日はいらっしゃるという林先生のお話、お電話おかけした所にはそういう話です。 ○加藤 いま……ですからね。 ○Ｙ 家女性 もうなかったと思って。 ○Ｙ 大抵いつでも遊んでますからね。 ○加藤 そうですか。 ○Ｙ 大丈夫でしょう。 ○加藤 ちょっと電話して、それから伺っていきましょう。 ○Ｙ 電話をかけてみますか。 ○加藤 そうですね。ちょっと拝借してみます。 ○Ｙ じゃ、ここに。 ○加藤夫人 ああ、そうでございますか。 ○加藤 ちょっと拝借いたします。 ○Ｙ ええ、かまわないですよ。
検定試験・免許取得の 状況	取得した免許	○加藤夫人 甲種と乙種と。 ○Ｙ ええ、ありましたね。乙種でした、あんまのほうはね。鍼灸は乙種も甲種もなかったですね。 ○加藤 そうでございますね。 ○Ｙ ええ。
検定試験・免許取得の 状況	甲種をとったものもいた	○加藤夫人 甲種をお取りになった方も中にはいらしたんでございますか。 ○Ｙ ええ。中には甲種で取ったものもありましたね。甲種ってのは、あの時分の、ほら、目が開いた者です。 ○加藤 ああ、そうですね。晴眼者の。 ○Ｙ 晴眼者のほうが甲種となって、乙種は盲人という、それだけ恩典があったわけですからね。
検定試験・免許取得の 状況	乙種と甲種の違いはなし	○加藤夫人 乙種で十分だったわけでございますね。 ○Ｙ そう。乙種の、ほら、別にね、免許すぐに。 ○加藤夫人 別に甲種だから、乙種だからって料金が変わったり。 ○Ｙ そうなんです。それはなかったんですね。まあ、あの時分だから、免許証さえ取ればもうそれでいいっていう、みんな頭ですからね。
検定試験・免許取得の 状況	弟子でいれば不必要な 免許	○加藤 それで、免許を持っていないとうるさかったもんでございますか。 ○Ｙ いや。免許は持ってなくてもね、あの時分には弟子入りしていれば、それである程度までは大抵差し支えなかったんですよ。何とも言われないうしね。
検定試験・免許取得の 状況	開業するのに必要な免許	○加藤 開業してる場合は免許で。 ○Ｙ ええ。開業する場合はどうでもこうでも免許を取らなくてはね。
施術者の経験と状況	老友会の旅行	○加藤 その辺のご年輩の方とどちらかご旅行なすったそうですね。 ○Ｙ ええ。老友会っていうのがありましてね、その老友会、毎年秋だとかね、春だとかね、年とった者ばかりで行くんですよ。いちばん……………